備急千金要方

唐 孫思邈

內容

備急千金要方.....1
《備急千金要方》.....72
備急千金要方 卷一 諸論.....73
論大醫習業第一.....73
論大醫精誠第二.....73
論治病略例第三.....74
論診候第四.....75
議處方第五.....76
論用藥第六.....77
玉石上部.....77
玉石中部.....78
玉石下部.....78
草藥上部.....78
草藥中部.....79
草藥下部.....80
木藥上部.....80
木藥中部.....81
木藥下部.....81
獸上部.....81

獸中部 81
獸下部 82
蟲魚上部 82
蟲魚中部 82
魚蟲下部 82
果上部 82
果下部 83
菜上部 83
菜中部 83
米上部 83
米中部 83
論合和第七 83
論服餌第八 87
論藥藏第九 89
備急千金要方 卷二婦人方上 89
求子第一 89
七子散 90
朴硝蕩胞湯 90
紫石門冬丸 91
白薇丸 91
金城太守白薇丸 91
慶雲散 92
承澤丸 92
大黃丸 92
吉祥丸 92

硝石大黄丸 92
秦椒丸 92
灸法 93
丹參丸 93
妊娠惡阻第二 93
半夏茯苓湯 94
茯苓丸 94
青竹茹湯 94
橘皮湯 94
養胎第三 95
烏雌雞湯方 96
補胎湯 96
艾葉湯方 96
黃連湯 96
雄雞湯方 97
茯神湯 97
菊花湯方 97
調中湯 97
阿膠湯方 98
安中湯 98
麥門冬湯方 98
柴胡湯 98
蔥白湯方 99
杏仁湯 99
芍藥湯 99

葵子湯 100
半夏湯 100
豬腎方 100
丹參膏 100
甘草散 101
千金丸 101
蒸大黃丸 101
滑胎令易產**方** 101
妊娠諸病第四 101
蔥白湯 102
旋複花湯 102
竹瀝湯 102
馬通湯 105
膠艾湯 106
蟹爪湯 106
香豉湯 106
鯉魚湯 109
產難第五 109
羚羊角散 110
子死腹中第六 111
真珠湯 111
逆生第七 112
胞胎不出第八 113
牛膝湯 113
下乳第九 114

鐘乳湯 114
漏蘆湯 115
漏蘆散 115
單行石膏湯 115
麥門冬散 115
單行鬼箭湯 116
甘草散 116
鯽魚湯 116
備急千金要方 卷三婦人方中 116
虛損第十 117
四順理中丸 117
桃仁煎 117
石斛地黃煎 117
地黃羊脂煎 118
地黃酒 118
羊肉湯 118
豬腎湯 118
羊肉黃湯 118
鹿肉湯 119
獐骨湯 119
當歸芍藥湯 119
杏仁湯 119
乳蜜湯 119
五石湯 120
三石湯 120

内**補黄湯**.....120
吳**茱萸湯**.....120
豬膏煎.....120
鯉魚湯.....120
桂枝加附子湯.....121
虛煩第十一.....121
薤白湯.....121
竹根湯.....121
人參當歸湯.....121
甘竹茹湯.....121
知母湯.....121
竹葉湯.....122
淡竹茹湯.....122
赤小豆散.....122
蒲黄散.....122
蜀漆湯.....122
芍藥湯.....122
中風第十二.....123
大豆紫湯.....123
獨活紫湯.....123
小獨活湯.....123
甘草湯.....123
獨活湯.....123
雞糞酒.....124
竹葉湯.....124

防風湯 124
鹿肉湯 124
獨活湯 124
大豆湯 124
五石湯 125
四石湯 125
小柴胡湯 125
三物黄芩湯方 125
甘草湯 125
羊肉湯 125
葛根湯 126
防風酒 126
木防己膏 126
浴湯 126
茯神湯 126
遠志湯 127
茯苓湯 127
安心湯 127
甘草丸 127
人參丸 127
大遠志丸 127
心腹痛第十三 128
蜀椒湯 128
大岩蜜湯 128
乾地黄湯 128

芍藥湯 128
當歸湯 128
桃仁芍藥湯 129
羊肉湯 129
羊肉當歸湯 129
羊肉杜仲湯 129
羊肉地黃湯 129
內**補當歸建中湯** 129
內**補芎湯** 130
大補中當歸湯 130
桂心酒 130
生牛膝酒 130
吳**茱萸湯** 130
蒲黃湯 131
敗醬湯 131
芎湯 131
獨活湯 131
芍藥黃湯 131
惡露第十四 132
乾地黃湯 132
桃仁湯 132
澤蘭湯 132
甘草湯 132
大黃湯 132
柴胡湯 132

蒲黄湯 133
銅鏡鼻湯 133
小銅鏡鼻湯 133
梔子湯 133
生地黄湯 133
大黄干漆湯 133
麻子酒 134
升麻湯 134
下痢第十五 135
膠蠟湯 135
桂蜜湯 135
當歸湯 136
白頭翁湯 136
鱉甲湯 136
龍骨丸 136
阿膠丸 136
澤蘭湯 137
乾地黄湯 137
生地黄湯 137
藍青丸 137
赤石脂丸 137
赤散 137
黑散 138
黄散 138
龍骨散 138

淋渴第十六.....138
栝蔞湯.....138
雞湯.....138
石韋湯.....139
葵根湯.....139
茅根湯.....139
滑石散.....139
竹葉湯.....139
雜治第十七.....140
破積烏頭丸.....140
竹茹湯.....140
濃朴湯.....141
溫經湯.....141
半夏濃朴湯.....141
昆布丸.....141
五加酒.....142
黃芩散.....142
硫黃散.....142
當歸散.....142
當歸洗湯.....143
陰瘡膏.....143
白玉湯.....145
桑根白皮湯.....145
灸法.....146
備急千金要方 卷四婦人方下.....146

補益第十八 147
柏子仁丸 147
大五石澤蘭丸 147
小五石澤蘭丸 147
增損澤蘭丸 147
大補益當歸丸 148
白芷丸 148
紫石英柏子仁丸 148
鐘乳澤蘭丸 148
大澤蘭丸 148
小澤蘭丸 149
紫石英天門冬丸 149
三石澤蘭丸 149
大平胃澤蘭丸 149
澤蘭散 149
月水不通第十九 150
乾薑丸 150
桃仁湯 150
芒硝湯 150
硝石湯 150
干漆湯 151
前胡牡丹湯 151
黃芩牡丹湯 151
牡丹丸 151
乾地黃當歸丸 151

干漆丸 152
浸酒方 152
當歸丸 152
鱉甲丸 152
禹余糧丸 153
牡蒙丸 153
大虻蟲丸 153
桂心酒 153
虎杖煎 154
桃仁煎 154
五京丸 154
雞鳴紫丸 155
遼東都尉所上丸 155
牡蠣丸 155
赤白帶下崩中漏下第二十 155
白堊丸 155
赤石脂丸 156
白石脂丸 156
小牛角散 156
龍骨散 156
白馬蹄丸 157
白馬散 157
雲母芎散 158
慎火草散 158
禹余糧丸 158

增損禹余糧丸 158
當歸湯 159
伏龍肝湯 159
大牛角中仁散 160
生地黃湯 160
丹參酒 161
牡丹皮湯 161
白堊丸 161
鹿茸散 162
芎湯 162
馬通湯 163
馬蹄屑湯 163
馬蹄丸 163
慎火草散 164
灸法 164
月經不調第二十一 164
白堊丸 164
桃仁湯 164
杏仁湯 165
大黃朴硝湯 165
茱萸虻蟲湯 165
抵當湯 165
七熬丸 165
桃仁散 166
牡丹大黃湯 166

陽起石湯.....166
牛膝丸.....166
備急千金要方 卷五 少小嬰孺方.....167
序例第一.....167
紫丸.....168
黑散.....168
擇乳母法.....169
初生出腹第二.....169
驚癇第三.....172
候癇法：.....173
龍膽湯.....175
大黃湯.....175
白羊鮮湯.....175
增損續命湯.....175
石膏湯.....175
二物石膏湯.....176
桂枝湯.....176
二物驢毛散.....176
茵芋丸.....176
鎮心丸.....176
丹參赤膏.....176
五物甘草生摩膏.....177
灸法.....177
客忤第四.....179
一物豬蹄散.....180

一物馬通浴湯 180
一物豬通浴湯 180
白蘚皮湯 181
龍角丸 181
川芎散 181
一物前胡丸 182
千金湯 182
傷寒第五 182
麥門冬湯 182
芍藥四物解肌湯 183
麻黃湯 183
五味子湯 183
莽草浴湯 183
雷丸浴湯 183
李葉浴湯 184
柳枝浴湯 184
青木香浴湯 184
十二物寒水石散 184
李根湯 184
升麻湯 184
大黃湯 184
蜀漆湯 185
竹葉湯 185
調中湯 185
生地黃湯 185

二物通汗散 186
二物茯苓粉散 186
三物黃連粉散 186
犀角飲子 186
恆山湯 186
咳嗽第六 187
竹瀝湯方 187
紫菀湯 187
五味子湯 187
射干湯 188
杏仁丸 188
八味生薑煎 188
四物款冬丸 188
菖蒲丸 188
桂枝湯 189
麻黃湯 189
癖結脹滿第七 189
紫雙丸 189
牛黃丸 190
芒硝紫丸 190
牛黃雙丸 190
牛黃鱉甲丸 190
芫花丸 191
真珠丸 191
鱉甲丸 191

鱉頭丸 191
桂心橘皮湯 191
地黄丸 191
馬通粟丸 192
當歸丸 192
馬齒蘩丸 192
半夏丸 192
藿香湯 193
癰疽瘰第八 193
漏蘆湯 193
五香連翹湯 194
連翹丸 194
麻黄湯 194
拓湯 194
五香枳實湯 195
水銀膏 196
苦參湯 196
枳實丸 196
澤蘭湯 197
藜蘆膏 197
苦參湯 197
小兒雜病第九 200
白石脂散 200
雀屎丸 202
升麻湯 203

半夏熨湯.....203
五等丸.....204
鱉頭丸.....205
除熱結腸丸.....206
地膚子湯.....207
蒲黃湯.....208
備急千金要方 卷六 七竅病.....209
目病第一.....210
神曲丸.....210
補肝丸.....211
補肝丸.....211
補肝散.....211
補肝散.....211
補肝蕪菁子散.....211
補肝散.....212
梔子仁煎方.....212
瀉肝湯方.....212
大棗煎方.....212
洗眼湯.....213
洗眼湯.....215
鼻病第二.....219
通草散方.....220
生地黃湯.....222
口病第三.....223
薔薇丸.....224

五香丸 226
熏衣香方 228
濕香方 228
百和香 228
衣香方 228
舌病第四 229
唇病第五 230
潤脾膏 230
甲煎唇脂 230
齒病第六 232
含漱湯 234
喉病第七 235
烏膏 235
母薑酒 237
耳疾第八 238
面藥第九 243
五香散 243
澡豆方 243
澡豆洗手面方 243
澡豆方 244
澡豆方。 244
玉屑面膏方 244
面脂 245
煉脂法 245
玉屑面脂方 245

面脂.....245
面膏.....246
豬蹄湯.....246
豬蹄漿.....246
白面方.....246
鹿角散.....246
桃花丸.....247
鉛丹散.....247
白楊皮散.....247
白瓜子丸.....249
梔子丸.....250
備急千金要方 卷七 風毒腳**氣方**.....252
論風毒狀第一.....252
湯液第二.....255
第一竹瀝湯.....255
第二大竹瀝湯.....255
第三竹瀝湯.....255
麻黃湯.....256
第二服獨活湯方.....256
第三服兼補濃朴湯.....256
第四服風引獨活湯兼補方.....256
防風湯.....256
獨活湯.....256
越婢湯.....257
風引湯.....257

大鱉甲湯.....257
小鱉甲湯.....257
風緩湯.....258
犀角旋複花湯方.....258
大犀角湯.....258
犀角麻黄湯.....259
茱萸湯.....259
小風引湯.....259
四物附子湯.....259
道人深師增損腎瀝湯.....259
石膏湯.....260
半夏湯.....260
烏頭湯.....260
追毒湯.....260
風緩湯.....260
紫蘇子湯.....260
附子湯.....261
防風湯.....261
甘草湯.....261
恆山甘草湯.....261
丹參牛膝煮散.....261
諸散第三.....262
八風散.....262
大八風散.....262
內**補石斛秦艽散**.....262

秦艽散 263
單服松脂 263
淮南八公石斛萬病散 263
茱萸散 263
酒醴第四 263
石斛酒 263
烏麻酒方 264
鐘乳酒 264
枸杞菖蒲酒 264
虎骨酒 264
蓼酒 264
小黃酒 264
黃酒 265
茵芋酒 265
大金牙酒 265
鐘乳酒 265
秦艽酒 266
術膏酒 266
松葉酒 266
側子酒 266
諸膏第五 267
神明白膏 267
衛侯青膏 267
神明青膏 267
太傅白膏 268

曲魚膏 268
野葛膏 268
蒼梧道士陳元膏 268
裴公八毒膏 269
備急千金要方 卷八 治諸風方 269
論雜風狀第一 269
諸風第二 271
小續命湯 271
小續命湯 271
大續命湯 272
西州續命湯 272
大續命散 272
續命煮散 273
排風湯 273
大八風湯 273
八風散 273
小八風散 274
烏頭湯 274
蒼耳散 274
地黃煎 274
大防風湯 275
大戟洗湯 275
金牙酒 275
常山太守馬灌酒 276
蠻夷酒 276

魯王酒 276
獨活酒 277
灸法 277
賊風第三 278
桂枝酒 278
大定心湯 278
乾薑附子湯 278
側子酒 278
芎湯 278
荊瀝湯 279
白朮酒 279
依源麻黃湯 279
半夏湯 279
當歸丸 279
依源麻黃續命湯 280
八風防風散 280
溫中生薑湯 280
腎瀝湯 280
茵芋酒 280
乾地黃丸 280
大岩蜜湯 281
小岩蜜湯 281
排風湯 281
烏頭湯 281
防風湯 282

羌活湯 282
防己湯 282
大棗湯 282
犀角湯 282
石膏湯 283
松膏 283
松節酒 283
松膏酒 283
松葉酒 283
偏風第四 283
防風湯 283
葛根湯 284
麻子湯 284
仲景三黃湯 285
白薇薏苡湯 285
獨活寄生湯 285
菊花酒 285
杜仲酒 285
風痱第五 286
竹瀝湯 286
煮散 286
荊瀝湯 286
獨活煮散 287
五補丸 287
風懿第六 287

獨活湯 287
石南湯 288
針灸法 288
桂湯 288
附子散 289
甘草湯 289
枳茹酒 290
角弓反張第七 290
倉公當歸湯 290
秦艽散 290
吳**秦艽散** 291
風痺第八 291
防己黃湯 291
黃耆湯 291
鐵精湯 291
白薇散 292
附子酒 292
麻子酒 292
備急千金要方 卷九 傷寒方 292
傷寒例第一 292
辟溫第二 294
屠蘇酒 294
太乙流金散 295
雄黃散 295
殺鬼燒藥方 295

虎頭殺鬼丸 295
辟溫殺鬼丸 295
雄黃丸 296
赤散 296
粉身散 296
預備一物柏枝散 296
蕨薤湯 298
傷寒膏第三 298
青膏 298
黃膏 298
白膏 298
發汗散第四 299
度瘴發汗青散 299
五苓散 299
崔文行解散 299
六物青散 299
青散 300
詔書發汗白薇散 300
華佗赤散 300
赤散 300
烏頭赤散 300
水解散 300
發汗湯第五 301
桂枝湯 301
麻黃湯 302

大青龍湯.....302
陽毒升麻湯.....302
陰毒甘草湯.....302
陰旦湯.....302
陽旦湯.....303
六物解肌湯.....303
解肌湯.....303
解肌升麻湯.....303
葛根龍膽湯.....303
七物黃連湯.....304
三七湯.....304
五香麻黃湯.....304
雪煎.....304
發汗丸第六.....305
神丹丸.....305
麥奴丸.....305
宜吐第七.....305
瓜蒂散.....305
水道散.....306
宜下第八.....306
大承氣湯.....306
抵當丸.....306
抵當湯.....306
承氣湯方.....306
生地黃湯.....306

大柴胡加葳蕤知母湯 307
豉丸 307
發汗吐下後第九 307
竹葉湯 307
桂枝麻黃湯 307
小青龍湯 307
四物甘草湯 308
梔子湯 308
濃朴湯 308
玄武湯 308
葛根黃連湯 308
茯苓湯 308
大陷胸丸 309
大陷胸湯 309
生薑瀉心湯 309
甘草瀉心湯 309
白虎湯 309
青葙子丸 310
大青湯 310
灸法 310
備急千金要方 卷十 傷寒方下 310
傷寒雜治第十 311
苦參湯 311
凝雪湯 311
栝蔞湯 311

蘆根飲子.....311
漏蘆連翹湯.....312
豬膽湯.....312
木香湯.....313
赤石脂禹余糧湯.....314
麻黃升麻湯.....314
牡蠣散.....315
勞複第十一.....315
黃龍湯.....316
枳實梔子湯.....316
麥門冬湯.....317
百合第十二.....318
百合知母湯.....318
百合滑石代赭湯.....318
百合雞子湯.....319
百合地黃湯.....319
傷寒不發汗變成狐惑第十三.....319
赤小豆當歸散.....320
瀉心湯.....320
傷寒發黃第十四.....320
黃芩藥桂酒湯.....320
桂枝黃湯.....320
麻黃醇酒湯方.....321
大黃丸.....321
茵陳湯.....321

三黃散 321
五苓散 321
秦椒散 322
小半夏湯 322
大茵陳湯 322
苦參散 322
麻黃連翹赤小豆湯 323
茵陳湯 323
大黃黃柏梔子芒硝湯 323
茵陳丸 323
枳實大黃梔子豉湯 324
茯苓丸 324
半夏湯 324
牛膽丸 325
茵陳丸 325
硝石礬石散 325
滑石石膏散 325
針灸黃膽法 325
溫瘧第十五 327
鱉甲煎丸 327
柴胡栝蔞根湯 327
蜀漆散 327
牡蠣湯 328
白虎加桂湯 328
麻黃湯 328

恆山丸 329
梔子湯 329
蜀漆丸 329
烏梅丸 330
大五補湯 330
鯪鯉湯 330
烏梅丸 330
恆山丸 331
恆山湯 331
藜蘆丸 331
刺灸法 331
禳瘧法 331
治瘧符 332
診溪毒証第十六 332
備急千金要方 卷十一 肝臟 332
肝臟脈論第一 333
肝虛實第二 336
前胡湯方 337
>防風煮散方 337
>遠志煮散方 337
>地黃煎方 337
>補肝湯方 337
>補肝散 338
>補肝酒 338
>防風補煎方 338

>檳榔湯方 338
肝勞第三 338
豬膏酒方 339
虎骨酒補方 339
筋極第四 339
堅症積聚第五 340
三台丸 341
五石烏頭丸方 341
烏頭丸方 341
恆山丸 341
神明度命丸 342
陷胸湯方 342
太一神明陷冰丸 342
蜥蜴丸 342
大五明野狼毒丸 343
小野狼毒丸 343
野狼毒丸 343
甘遂湯方 343
野葛膏 343
硝石大丸 344
土瓜丸 344
大黃湯方 345
備急千金要方 卷十二 膽腑方 346
膽腑脈論第一 346
膽虛實第二 347

半夏湯.....347
溫膽湯.....347
千裡流水湯.....348
酸棗湯.....348
梔子湯.....348
灸法.....348
咽門論第三.....349
髓虛實第四.....349
羌活補髓丸.....349
柴胡發泄湯.....349
風虛雜補酒煎第五.....349
巴戟天酒.....349
五加酒.....350
天門冬大煎.....350
填骨萬金煎.....350
小鹿骨煎.....351
地黃小煎.....351
陸抗膏.....351
枸杞煎.....351
夏姬**杏仁煎方**.....352
桃仁煎方.....352
膏煎.....352
吐血第六.....353
黃土湯.....353
生地黃湯.....353

堅中湯 353
柏葉湯 354
澤蘭湯 354
犀角地黄湯 355
當歸湯 355
竹茹湯 355
赤小豆散 356
乾地黄丸 356
麥門冬湯 356
針灸法 356
萬病丸散第七 356
芫花散 357
耆婆萬病丸 358
仙人玉壺丸方 360
張仲景三物備急丸 361
大理氣丸 361
大麝香丸 362
小麝香丸 362
紫葛丸 362
太乙神精丹 362
作土釜法 363
作六一泥法 363
倉公散 363
小金牙散 364
大金牙散 364

備急千金要方 卷十三 心臟方 364
心臟脈論第一 364
心虛實第二 368
石膏湯 368
瀉心湯 368
大黃黃連瀉心湯 369
竹瀝湯 369
茯神煮散 369
安心煮散 369
茯苓補心湯 370
半夏補心湯 370
牛髓丸 370
大補心湯 370
補心丸 370
心勞第三 370
大黃泄熱湯 371
脈極第四 371
生地黃煎 371
灸法 371
脈虛實第五 371
防風丸 371
升麻湯 371
麻黃調心泄熱湯 372
針灸法 372
心腹痛第六 372

九痛丸 372
桂心三物湯 372
烏頭丸 373
五辛湯 373
犀角丸 373
高良薑湯 374
當歸湯 374
溫中當歸湯 375
羊肉當歸湯 375
溫脾湯 375
生薑湯 375
熨蒸法 375
針灸法 375
胸痺第七 376
栝蔞湯 376
枳實薤白桂枝湯 376
茯苓湯 376
治中湯 376
通氣湯 377
細辛散 377
蜀椒散 377
前胡湯 377
熨背散 377
下氣湯 377
檳榔湯 378

灸法.....378
頭面風第八.....378
芎酒.....378
人參湯.....378
防風湯.....378
茵芋湯.....379
鴟頭酒.....379
大三五七散.....379
小三五七散.....379
茯神湯.....379
防風散.....379
摩頭散.....380
入頂散.....380
杏仁膏.....380
大豆酒.....380
薯蕷散.....381
菊花散.....381
頭風摩散方.....381
沐頭湯.....382
犀角湯.....382
防風散.....383
沐頭湯.....383
摩膏.....383
生發膏.....384
松瀝煎.....385

王不留行湯 386
松脂膏 386
備急千金要方 卷十四 小腸腑方 387
小腸腑脈論第一 387
小腸虛實第二 388
柴胡澤瀉湯 388
大黃丸 388
灸法 388
舌論第三 389
風眩第四 389
續命湯 389
奔豚湯 389
防己地黃湯 389
薯蕷湯 390
防風湯 390
薯蕷丸 390
薯蕷煎 390
天雄散 390
人參丸 390
灸法 391
食禁 391
風癲第五 391
虎睛丸 392
雄雌丸 392
續命風引湯 393

紫石煮散……393
川芎湯……393
鴟頭丸……393
地黄門冬酒……394
天門冬酒……394
灸法……394
鼈甲湯……395
九物牛黄丸……395
十黄散……395
別離散……395
四物鳶頭散……395
五邪湯……395
茯神湯……396
人參湯……396
虎睛湯……396
針灸法……397
遠志湯……398
茯神湯……398
補心湯……398
小定心湯……399
大定心湯……399
荊瀝湯……399
鎮心湯……400
大鎮心散……400
小鎮心散……400

鎮心丸 400
大鎮心丸 400
小鎮心丸 401
定志小丸 401
紫石英酒 401
好忘第七 401
枕中方 401
開心散 401
菖蒲益智丸 402
八味散方 402
備急千金要方 卷十五脾臟方 403
脾臟脈論第一 403
脾虛實第二 406
瀉熱湯 406
射干煎方 406
三黃瀉熱湯方 407
大黃瀉熱湯 407
檳榔散 407
溫脾丸 408
麻豆散 408
白朮散 408
平胃丸 408
大曲丸 409
消食斷下丸 409
乾薑散 409

消食丸 409
曲丸 409
脾勞第三 410
半夏湯 410
消食膏酒 410
肉極第四 410
解風痺湯 410
西州續命湯 410
越婢湯 411
石南散 411
大黃酒 411
肉虛實第五 411
五加酒 411
半夏湯 411
秘澀第六 412
麻子仁丸 412
三黃湯 412
五柔丸 412
大五柔丸 413
濡臟湯 413
芒硝丸 414
走馬湯 414
巴豆丸 414
練中丸 415
灸法 415

灸法.....415
熱痢第七.....416
陟厘丸.....417
烏梅丸.....418
松皮散.....418
苦參橘皮丸.....418
三黄白頭翁湯.....418
龍骨丸.....418
白頭翁湯.....419
茯苓湯.....420
溫脾湯.....420
黄連湯.....420
女萎丸.....420
聖湯.....421
灸法.....421
冷痢第八.....421
溫脾湯.....422
建脾丸.....422
增損建脾丸.....422
駐車丸.....422
大桃花湯.....422
倉米湯.....423
附子湯.....423
馬藺子丸.....423
濃朴湯.....423

四續丸 423
椒艾丸 424
下痢丸 424
麥丸 424
烏梅丸 424
七味散 424
豬肝丸 425
羊脂煎 425
斷痢湯 425
瀉心湯 425
香蘇湯 425
女曲散 426
疳濕痢第九 426
八物茜根湯 427
小兒痢第十 428
溫中湯 428
溫中大黃湯 428
黃柏湯 428
治中結陽丸 428
梔子丸 428
藜蘆丸 429
四物粱米湯 429
龍骨湯 429
大黃湯 429
生金牛黃湯 429

澤漆茱萸湯 429
枳實散 430
備急千金要方 卷十六 胃腑方 431
胃腑脈論第一 431
胃虛實第二 433
瀉胃熱湯方 433
補胃湯 433
人參散 433
喉嚨論第三 433
反胃第四 433
大半夏湯 435
灸法 435
治中散 435
嘔吐噦逆第五 436
半夏湯 436
小半夏加茯苓湯 436
前胡湯 436
小麥湯 436
豬苓散 436
犀角人參飲子 437
橘皮湯 437
半夏乾薑散 437
大黃甘草湯 437
灸法 438
噎塞第六 439

五噎丸 439
竹皮湯 439
乾薑湯 439
通氣湯 440
羚羊角湯 440
脹滿第七 442
溫胃湯 442
大半夏湯 442
附子粳米湯 442
濃朴三物湯 442
濃朴七物湯 443
吳**茱萸湯** 443
大桂湯 443
灸法 443
痼冷積熱第八 444
露宿丸 444
大露宿丸 444
赤丸 445
半夏湯 445
生薑湯 445
甘草湯 445
茱萸硝石湯 445
大建中湯 445
大黃附子湯 446
大烏頭湯 446

烏頭桂枝湯 446
朴硝煎方 446
五石湯 447
竹葉湯 447
半夏湯 447
承氣湯 447
地黃煎 447
細丸 448
備急千金要方 卷十七肺臟方 448
肺臟脈論第一 448
肺虛實第二 452
橘皮湯 452
瀉肺散 452
酥蜜膏酒 453
補肺湯 454
麻子湯 454
餳煎 454
小建中湯 455
肺勞第三 455
麻黃引氣湯 455
半夏湯 455
濃朴湯 455
氣極第四 456
鐘乳散 456
黃耆湯 456

大露宿丸 456
硫黃丸 456
大前胡湯 456
竹葉湯 457
灸法 457
積氣第五 457
七氣丸 457
七氣丸 457
七氣湯 457
五膈丸 458
大蒜煎 458
桔梗破氣丸 458
檳榔湯 458
半夏湯 459
貝母湯 459
麻黃湯 459
奔氣湯 459
枳實湯 459
下氣湯 460
黎勒丸 460
竹葉飲子 460
人參湯 460
海藻橘皮丸 461
白石英散 462
白石英丸 462

補傷散 463
理氣丸 463
灸法 464
肺痿第六 464
甘草乾薑湯 464
甘草湯 465
生薑甘草湯 465
麻黃湯 465
肺癰第七 465
桔梗湯 465
瀉肺湯 465
皂莢丸 466
黃昏湯 466
葦莖湯方 466
桂枝去芍藥加皂莢湯 466
飛尸鬼疰第八 466
五疰湯 466
蜈蚣湯 467
桃皮湯 467
桃奴湯 467
小附著散 468
大附著散 468
金牙散 468
大金牙散 468
白朮散 468

太乙備急散 469
龍牙散 469
備急丸 469
墨奴散 469
鸛骨丸 470
蜥蜴丸 470
桔梗丸 470
十痓丸 470
太乙神明陷冰丸 470
江南度世丸 471
大度世丸 471
雷氏千金丸 471
灸法 472
備急千金要方 卷十八 大腸腑方 473
大腸腑脈論第一 473
大腸虛實第二 474
生薑泄腸湯 474
黃連補湯 474
肛門論第三 475
皮虛實第四 475
蒴蒸湯 475
梔子煎 475
咳嗽第五 475
小青龍湯 476
射干麻黃湯 477

濃朴麻黃湯 477
澤漆湯 477
麥門冬湯 477
麻黃石膏湯 478
十棗湯 478
溫脾湯 478
百部根湯 478
海藻湯 478
白前湯 478
麻黃散 479
蜀椒丸 479
通氣丸 479
射干煎 480
杏仁煎 480
通聲膏方 480
杏仁飲子 480
蘇子煎 481
芫花煎 481
款冬煎 481
紫菀丸 482
款冬丸 482
五味子湯 482
竹皮湯 483
百部丸 483
鐘乳七星散 483

七星散 483
治嗽熏法 484
灸法 484
痰飲第六 485
小半夏湯 485
甘草湯 485
十棗湯 485
小青龍湯 485
木防己湯 486
濃朴大黄湯 486
小半夏加茯苓湯 486
五苓散 486
椒目丸 486
甘遂半夏湯 486
大茯苓湯 486
茯苓湯 487
大半夏湯 487
半夏湯 487
乾棗湯 487
當歸湯 487
吳**茱萸湯** 488
前胡湯 488
旋複花湯 488
薑椒湯 488
薑附湯 489

撩膈散 489
斷膈湯 489
松蘿湯 489
杜蘅湯 489
蜜煎 489
蔥白湯 490
大五飲丸 490
旋複花丸 490
中軍候黑丸 490
順流紫丸 490
九蟲第七 491
蘼蕪丸 492
懊惱散 494
青葙散 494
薑蜜湯 494
杏仁湯 494
桃皮湯 494
豬膽苦酒湯 495
雄黃兌散 495
備急千金要方 卷十九腎臟方 496
腎臟脈論第一 496
腎虛實第二 499
瀉腎湯 499
腎勞第三 500
梔子湯 501

麻黄根粉.....501
精極第四.....501
竹葉黄芩湯.....501
棘刺丸.....502
韭子丸.....503
韭子散.....503
棗仁湯.....503
禁精湯.....503
羊骨湯.....503
灸法.....504
骨極第五.....504
三黄湯.....504
灸法.....504
骨虚實第六.....505
虎骨酒.....505
腰痛第七.....505
杜仲酒.....506
腎著湯.....506
杜仲丸.....506
丹參丸.....507
獨活寄生湯.....507
腰痛導引法.....507
針灸法.....507
補腎第八.....508
建中湯.....508

小建中湯.....509
黃耆建中湯.....509
前胡建中湯.....509
樂令建中湯.....509
黃湯.....509
大建中湯.....510
腎瀝湯.....510
增損腎瀝湯.....511
五補湯.....511
凝唾湯.....511
補湯方.....511
人參湯.....511
內**補散**.....512
石斛散.....512
腎瀝散.....512
薯蕷散.....513
鐘乳散.....513
寒食鐘乳散.....513
地黃散.....513
三石散.....513
石韋丸.....514
五補丸.....514
無比薯蕷丸.....514
大薯蕷丸.....515
八味腎氣丸.....515

腎氣丸 515
黃湯 516
神化丸 516
三仁九子丸 516
填骨丸 516
通明丸 516
補虛益精大通丸 517
赤石脂丸 517
鹿角丸 517
蓯蓉丸 517
乾地黃丸 517
覆盆子丸 518
補益方 518
曲囊丸 518
磁石酒 519
石英煎 519
麋角丸方 519
備急千金要方 卷二十 膀胱腑方 520
膀胱腑脈論第一 520
膀胱虛實第二 521
龍骨丸 522
胞囊論第三 522
榆**皮通滑泄熱煎** 522
滑石湯 522
灸法 523

三焦脈論第四 524
三焦虛實第五 524
澤瀉湯 524
麥門冬理中湯 524
黃理中湯 525
黃連丸 525
濃朴湯 525
大黃瀉熱湯 525
藍青丸 526
黃連煎 526
柴胡通塞湯 526
赤石脂湯 526
止嘔人參湯 526
香豉湯 527
黃柏止泄湯 527
人參續氣湯 527
茯苓丸 527
伏龍肝湯 527
當歸湯 528
灸法 528
霍亂第六 528
治中湯 529
桂枝湯 529
當歸四逆加吳茱萸生薑湯 529
四逆湯 529

通脈四逆湯 529
四順湯 530
竹葉湯 530
甘草瀉心湯 530
小青龍湯 530
附子粳米湯 530
理中散 530
人參湯 531
杜若丸 531
灸法 532
雜補第七 533
琥珀散 533
蓯蓉散 533
禿雞散 533
天雄散 533
石硫黃散 534
杜仲散 534
蓯蓉散 535
白馬莖丸 535
備急千金要方 卷二十一 消渴淋閉方 536
消渴第一 536
茯神湯 536
豬肚丸 537
浮萍丸 537
黃連丸 537

栝蔞粉 537
枸杞湯 538
鉛丹散 538
茯神丸方 538
酸棗丸 538
豬腎薺湯方 539
增損腎瀝湯 539
地黃丸 539
九房散 540
黃湯 541
棘刺丸 541
骨填煎 541
茯神煮散 541
枸杞湯 542
巴郡太守奏三黃丸 542
阿膠湯 542
灸法 542
淋閉第二 543
地膚子湯 543
灸法 546
灸法 546
灸法 546
石韋散 547
灸法 547
灸法 548

溺血第三 548
水腫第四 549
中軍候黑丸 550
大豆散 551
麥門冬飲方 552
徐王煮散 552
褚澄漢防己煮散 552
茯苓丸 552
澤漆湯 553
豬苓散 553
麻豆煎 553
苦瓠丸 554
麻黃煎 555
大豆散 555
麻子湯 555
大豆煎 555
摩膏 556
麝香散 556
備急千金要方 卷二十二 癰腫毒方 556
疔腫第一 556
齊州榮姥丸 558
趙嬈方 558
玉山韓光方 559
灸方 560
癰疽第二 560

五香連翹湯.....562
黃竹葉湯.....562
八味黃散方.....562
王不留行散.....562
內**補散**.....562
排膿內**塞散**.....563
豬蹄湯.....563
麝香膏.....563
食惡肉膏方.....563
漆頭茹散.....563
白茹散.....564
生肉膏.....564
蛇銜生肉膏.....564
五香湯.....564
漏蘆湯.....564
丹參膏方.....564
小竹瀝湯.....565
白薇散方.....565
蒺藜散.....565
藜蘆膏.....565
瞿麥散.....565
薏苡仁散.....565
黃茯苓湯.....566
內**消散**.....566
皮散.....566

梔子湯 566
五利湯 566
乾地黃丸 566
地黃煎 567
枸杞煎 567
灸方 568
烏麻膏 569
松脂膏 569
青龍五生膏 569
滅瘢膏 570
練石散 570
麻子小豆湯 571
發背第三 572
內**補散** 573
李根皮散 573
大內**塞排膿散** 573
丹毒第四 574
升麻膏方 574
升麻湯 574
癮疹第五 577
石南湯 577
青羊脂膏 578
瘭疽第六 579
豬蹄湯 581
苦瓠散 583

烏膏.....585
備急千金要方 卷二十三 痔漏方.....587
九漏第一.....588
空青商陸散.....588
狸骨知母散.....588
治鼠漏方：.....588
地黃膏.....589
荏子桔梗丸.....589
雄黃黃芩散.....589
石防風散.....589
礬石白朮散.....589
地膽甘草散.....589
雌黃芎藥丸.....590
斑蝥白芷丸.....590
灸法.....594
五白膏.....594
曾青散.....594
薔薇丸.....595
腸癰第二.....596
大黃牡丹湯.....596
腸癰湯方.....596
赤龍皮湯方.....597
天麻湯方.....597
飛烏膏方.....597
黃連胡粉散.....597

鹿角散 597
灸法 597
連翹湯 598
蒺藜丸 598
排膿散 599
五痔第三 599
槐子丸 600
小槐實丸 600
槐子酒 600
皮丸 601
槐皮膏 602
灸法 602
疥癬第四 602
茹膏 603
九江散 605
惡疾大風第五 607
岐伯神聖散 608
野狼毒散 608
鍛石酒 608
備急千金要方 卷二十四 解毒雜治方 609
解食毒第一 609
解百藥毒第二 612
雞腸草散 613
解毒藥散方： 614
解五石毒第三 614

蔥白豉湯.....615
甘草湯方.....615
桂心湯方.....615
杜仲湯.....615
大麥奴湯方.....616
人參湯方.....616
生麥門冬湯.....616
大黃湯方.....616
栝蔞根湯方.....616
芒硝湯方.....616
人參湯.....616
生麥門冬湯方.....617
參桂湯方.....617
大麥湯.....617
蔥白豉湯.....617
生麥門冬湯方.....617
大黃黃芩湯.....617
栝蔞根湯.....618
浴法.....618
寒食散.....618
梔子豉湯.....618
蔥白豉湯.....618
理中湯.....618
人參湯.....618
冷熱熨法.....619

檳榔湯 619
鴨通湯 620
解散 620
下散法 620
蠱毒第四論 620
太上五蠱丸 621
太乙追命丸 621
萬病丸 621
犀角丸 622
八物茜根湯 623
北地太守酒 623
胡臭漏腋第五 623
鍛石散 624
六物散 624
脫**肛第六** 625
豬肝散 625
壁土散 625
灸法 626
癭瘤第七 626
五癭丸方 626
陷腫散 626
生肉膏 627
灸法 627
陰第八 627
治丸方 627

灸法.....628
蒺藜子湯.....628
豬蹄湯.....628
蔥白膏方.....628
備急千金要方 卷二十五 備急方.....630
卒死第一.....630
還魂湯.....632
灸法.....632
蛇蟲等毒第二.....636
五香散.....641
野葛膏.....641
解水毒飲子： 642
灸法.....645
諸般傷損第三.....645
白馬蹄散.....646
當歸散.....646
黃散.....647
鹿角散.....647
大豆紫湯.....648
膠艾湯.....648
大膠艾湯.....648
竹皮湯.....648
桃仁湯.....648
蒲黃散.....649
火瘡等証第四.....652

灸瘡.....653
薤白膏.....653
金瘡.....654
內**補散**.....655
治金瘡內**漏血不出方**： 655
治金瘡內**漏方**： 655
二物湯.....655
內**塞散**.....656
續斷散.....656
地黃膏.....656
備急千金要方 卷二十六 食治方.....658
序論第一.....658
果實第二.....660
菜蔬第三.....661
谷米第四.....664
鳥獸第五.....665
備急千金要方 卷二十七 養性.....668
養性序第一.....669
道林養性第二.....671
居處法第三.....673
按摩法第四.....673
天竺國按摩法.....673
老子按摩法.....673
調氣法第五.....674
服食法第六.....675

去三蟲丸方 675
服天門冬方 675
服地黃方 675
黃精膏方 676
服烏麻法 676
餌柏實方 676
餌松子方 676
服松脂方 676
采松脂法 676
煉松脂法 677
餌茯苓方 677
茯苓酥方 677
茯苓膏方 677
服枸杞根方 677
枸杞酒方 677
餌雲母水方 678
煉鐘乳粉法 678
鐘乳散 678
西岳真人靈飛散方 678
黃帝雜忌法第七 679
房中補益第八 679
備急千金要方 卷二十八 脈法 680
平脈大法第一 680
診五臟脈輕重法第二 681
指下形狀第三 681

五臟脈所屬第四 682
分別病形狀第五 682
三關主對法第六 683
五臟積聚第七 685
陰陽表裡虛實第八 685
何時得病第九 686
扁鵲華佗察聲色要訣第十 686
診五臟六腑氣絕**証候第十一** 687
診四時相反脈第十二 687
診脈動止投數疏數死期年月第十三 688
扁鵲診諸反逆死脈要訣第十四 688
診百病死生要訣第十五 689
診三部脈虛實決死生第十六 690
備急千金要方 卷二十九 針灸上 690
明堂三人圖第一 691
仰人頭面三十六穴遠近法第二 691
胸博第二行六穴遠近法第三 691
胸博第三行六穴遠近法第四 692
胸博第四行六穴遠近法第五 692
腹中第一行十四穴遠近法第六 692
腹第二行十一穴遠近法第七 692
腹第三行十二穴遠近法第八 692
腹第四行七穴遠近法第九 692
手太陰肺經十穴第十 693
手厥陰心主經八穴第十一 693

手少陰心經八穴第十二.....693
足太陰脾經十一穴第十三.....693
足陽明胃經十五穴第十四.....693
伏人頭上第一行五穴遠近法第一.....694
頭上第二行三穴遠近法第二.....694
頭上第三行三穴遠近法第三.....694
伏人耳後六穴遠近法第四.....694
脊中第一行十一穴遠近法第五.....694
脊中第二行二十一穴遠近法第六.....694
脊中第三行十三穴遠近法第七.....694
手少陽三焦經十七穴遠近法第八.....695
手太陽小腸經九穴遠近法第九.....695
足太陽膀胱經十七穴遠近法第十.....695
側人耳頸二十穴遠近法第一.....695
側脅十穴遠近法第二.....696
側人手陽明大腸經二十穴遠近法第三.....696
足少陽膽經十五穴遠近法第四.....696
足厥陰肝經十一穴遠近法第五.....696
足少陰腎經十一穴遠近法第六.....697
手三陰三陽穴流注法第二（上）.....697
足三陰三陽穴流注法第二（下）.....697
針灸禁忌法第三.....698
五臟六腑變化旁通訣第四.....699
用針略例第五.....699
灸例第六.....700

太醫針灸宜忌第七 701
備急千金要方 卷三十 針灸下 703
孔穴主對法第八 703
頭面第一 704
心腹第二 706
四肢第三 711
風痺第四 712
熱病第五 714
癭瘤第六 716
雜病第七 716
婦人病第八 717
小兒病第九 718

《備急千金要方》

夫清濁剖判，上下攸分，三才肇基，五行□落，萬物淳朴，無得而稱。燧人氏出，觀斗極以定方名，始有火化。伏羲氏作，因之而畫八卦、立庖廚，滋味既興， 瘵萌起。大聖神農氏憫黎元之多疾，遂嘗百藥以救療之，猶未盡善。黃帝受命，創製九針，與方士岐伯、雷公之倫，備論經脈，旁通問難，詳究義理，以為經論，故後世可得依而暢焉。春秋之際，良醫和緩，六國之時，則有扁鵲，漢有倉公，仲景，魏有華佗，並皆探賾索隱，窮幽洞微，用藥不過二三，灸灶不逾七八，而疾無不愈者。晉宋以來，雖複名醫間出，然治十不能愈五六，良由今人嗜欲太甚，立心不常，淫放縱逸，有闕攝養所致耳。余緬尋聖人設教，欲使家家自學，人人自曉。君親有疾不能療之者，非忠孝也。末俗小人，多行詭詐，倚傍聖教而為欺，遂令朝野士庶咸恥醫術之名。多教子弟誦短文，枸小策，以求出身之道。醫治之術，闕而弗論，吁可怪也。嗟乎！深乖聖賢之本意。吾幼遭風冷，屢造醫門，湯藥之資，罄盡家產。所以青衿之歲，高尚茲典；白首之年，未嘗釋卷。至於切脈診候，采藥合和，服餌節度，將息避慎，一事長於己者，不遠千裡伏膺取決。至於弱冠，頗覺有悟，是以親鄰國中外有疾厄者，多所濟益。在身之患，斷絕醫門，故知方藥本草不可不學。吾見諸方部帙浩博，忽遇倉猝，求檢至難，比得方訖，疾已不救矣。嗚呼！痛夭枉之幽厄，惜墮學之昏愚，乃博采群經，刪裁繁重，務在簡易，以為《備急千金要方》一部，凡三十卷。雖不能究盡病源，但使留意於斯者，亦思過半矣。以為人命至重，有貴千金，一方濟之，德逾於此，故以為名也。未可傳於士族，庶以貽厥私門。張仲景曰：當今居世之士，曾不留神醫藥，精究方術，上以療君親之疾，下以救貧賤之厄，中以保身長全，以養其生。而但競逐榮勢，企

踵權豪，孜孜汲汲，唯名利是務，崇飾其末，而忽棄其本，欲華其表而悴其內，皮之不存，毛將安附？進不能愛人知物，退不能愛躬知己，卒然遇邪風之氣，嬰非常之疾，患及禍至而後震栗。身居厄地，蒙蒙昧昧，戇若游魂，降志屈節，欽望巫祝，告究歸天，束手受敗。 百年之壽命，將至貴之重器，委付庸醫，恣其所措，咄嗟喑嗚，厥身已斃，神明消滅，變為異物，幽潛重泉，徒為涕泣。夫舉世昏迷，莫能覺悟，自棄若是，夫何榮勢之云哉。此之謂也。

備急千金要方 卷一 諸論

唐 孫思邈

論大醫習業第一

凡欲為大醫，必須諳《素問》、《甲乙》、《黃帝針經》、明堂流注、十二經脈、三部九候、五臟六腑、表裡孔穴、本草藥對，張仲景、王叔和、阮河南、范東陽、張苗、靳邵等諸部經方，又須妙解陰陽祿命，諸家相法，及灼龜五兆、《周易》六壬，並須精熟，如此乃得為大醫。若不爾者，如無目夜游，動致顛殞。次須熟讀此方，尋思妙理，留意鑽研，始可與言於醫道者矣。又須涉獵群書，何者？若不讀五經，不知有仁義之道。不讀三史，不知有古今之事。不讀諸子，睹事則不能默而識之。不讀《內經》，則不知有慈悲喜舍之德。不讀《莊》《老》，不能任真體運，則吉凶拘忌，觸塗而生。至於五行休王，七耀天文，並須探賾。若能具而學之，則於醫道無所滯礙，盡善盡美矣。

論大醫精誠第二

張湛曰：夫經方之難精，由來尚矣。今病有內同而外異，亦有內異而外同，故五臟六腑之盈虛，血脈榮衛之通塞，固非耳目之所察，必先診候以審之。而寸口關尺有浮沉弦緊之亂，穴流注有高下淺深之差，肌膚筋骨有濃薄剛柔之異，唯用心精微者，始可與言於茲矣。今以至精至微之事，求之於至粗至淺之思，其不殆哉！若盈而益之，虛而損之，通而徹之，塞而壅之，寒而冷之，熱而溫之，是重加其疾而望其生，吾見其死矣。故醫方卜筮，藝能之難精者也。既非神授，何以得其幽微。世有愚者，讀方三年，便謂天下無病可治；及治病三年，乃知天下無方可用。故學人必須博極醫源，精勤不倦，不得道聽途說，而言醫道已了，深自誤哉。

凡大醫治病，必當安神定志，無欲無求，先發大慈惻隱之心，誓願普救含靈之苦。若有疾厄來求救者，不得問其貴賤貧富，長幼妍媸，怨親善友，華夷愚智，普同一等，皆如至親之想。亦不得瞻前顧後，自慮吉凶，護惜身命，見彼苦惱，若己有之，深心淒愴，勿避險，晝夜寒暑，飢渴疲勞，一心赴救，無作功夫形跡之心。如此可為蒼生大醫。反此則是含靈巨賊。自古名賢治病，多用生命以濟危急，雖曰賤畜貴人，至於愛命，人畜一也。損彼益己，物情同患，況於人乎？夫殺生求生，去生更遠，吾今此方，所以不用生命為藥者，良由此也。

其虻蟲、水蛭之屬，市有先死者，則市而用之，不在此例。只如雞卵一物，以其混沌未分，必有大段要急之處，不得已隱忍而用之，能不用者，斯為大哲亦所不及也。其有患瘡痍下痢，臭穢不可瞻視，人所惡見者，但發慚愧、淒憐、憂恤之意，不得起一念蒂芥之心，是吾之志也。

夫大醫之體，欲得澄神內視，望之儼然，寬裕汪汪，不皎不昧，省病診疾，至意深心，詳察形候，纖毫勿失，處判針藥，無得參差。雖曰病宜速救，要須臨事不惑，唯當審諦覃思，不得於性命之上，率爾自逞俊快，邀射名節，甚不仁矣。又到病家，縱綺羅滿目，勿左右顧眄，絲竹湊耳，無得似有所娛，珍饈迭荐，食如無味，兼陳，看有若無。所以爾者，夫一人向隅，滿堂不樂，而況病患苦楚，不離斯須，而醫者安然歡娛，傲然自得，茲乃人神之所共恥，至人之所不為，斯蓋醫之本意也。

夫為醫之法，不得多語調笑，談謔喧嘩，道說是非，議論人物，炫耀聲名，訾毀諸醫，自矜己德。偶然治瘥一病，則昂頭戴面，而有自許之貌，謂天下無雙，此醫人之膏肓也。老君曰：人行陽德，人自報之；人行陰德，鬼神報之。人行陽惡，人自報之；人行陰惡，鬼神害之。尋此二途，陰陽報施豈誣也哉。所以醫人不得恃己所長，專心經略財物，但作救苦之心，於冥運道中，自感多福者耳。又不得以彼富貴，處以珍貴之藥，令彼難求，自炫功能，諒非忠恕之道。志存救濟，故亦曲碎論之。學人不可恥言之鄙俚也。

論治病略例第三

夫天布五行以植萬類，人稟五常以為五臟，經絡腑輸，陰陽會通，玄冥幽微，變化難極。

《易》曰：非天下之至賾，其孰能與於此？觀今之醫，不念思求經旨，以演其所知，各承家技，始終循舊，省病問疾，務在口給。相對斯須，便處湯藥，按寸不及尺，握手不及足，人迎趺陽，三部不參，動數發息，不滿五十，短期未知決診，九候曾無仿佛，明堂闕庭，盡不見察，所謂窺管而已。夫欲視死別生，固亦難矣。此皆醫之深戒，病者可不謹以察之，而自防慮也。

古來醫人，皆相嫉害。扁鵲為秦太醫令李醯所害，即其事也。一醫處方，不得使別醫和　合，脫或私加毒藥，令人增疾，漸以致困。如此者非一，特須慎之，寧可不服其藥，以任天真，不得使愚醫相嫉，賊人性命，甚可哀傷。

夫百病之本，有中風傷寒、寒熱溫瘧、中惡霍亂、大腹水腫、腸　下痢、大小便不通、奔豚上氣、咳逆嘔吐、黃膽消渴、留飲癖食、堅積症瘕，驚邪癲癎、鬼疰、喉痺齒痛、耳聾目盲，金瘡　折、癰腫惡瘡、痔　瘤癭，男子五勞七傷、虛乏羸瘦，女子帶下崩中、血閉陰蝕，蟲蛇蠱毒所傷，此皆大略宗兆，其間變動枝葉，各依端緒以取之。又有冷熱勞損，傷飽房勞，驚悸恐懼，憂恚怵惕，又有產乳落胎，墮下瘀血，又有貪餌五石，以求房中之樂。此皆病之根源，為患生諸枝葉也。不可不知其本末，但向醫說，男女長幼之病，有半與病源相附會者，便可服藥也。男子者，眾陽所歸，常居於燥。陽氣游動，強力施泄，便成勞損。

損傷之病，亦以眾矣。若比之女人，則十倍易治。凡女子十四以上，則有月事。月事來日得風冷濕熱、四時之病相協者，皆自說之。不爾與治誤相觸動，更增困也。處方者，亦應問之。

凡用藥皆隨土地所宜，江南嶺表，其地暑濕，其人肌膚薄脆，腠理開疏，用藥輕省。關中河北，土地剛燥，其人皮膚堅硬，腠理閉塞，用藥重複。

世有少盛之人，不避風濕，觸犯禁忌，暴竭精液，雖得微疾，皆不可輕以利藥下之。一利大重，竭其精液，困滯著床，動經年月也。凡長宿病，宜服利湯，不須盡劑，候利之足則止。病源未除者，於後更合耳。稍有氣力堪盡劑，則不論也。

病源須服利湯取除者，服利湯後，宜將丸散時時助之。

凡病服利湯得瘥者，此後慎不中服補湯也。若得補湯，病勢還複成也，更重瀉之，則其人重受弊也。若初瘥，氣力未甚平複者，但消息之，須服藥者，當以平藥和之。夫常患之人，不妨行走，氣力未衰，欲將補益。冷熱隨宜丸散者，可先服利湯，瀉除胸腹中壅積痰實，然後可服補藥也。夫極虛勞應服補湯者，不過三劑即止。若治風病應服治風湯者，皆非三五劑可知也。自有滯風洞虛，即服十數劑，乃至百餘日可瘥也。故曰：實則瀉之，虛則補之。

夫二儀之內，陰陽之中，唯人最貴。人者，稟受天地中和之氣，法律禮樂，莫不由人。人始生，先成其精，精成而腦髓生。頭圓法天，足方象地，眼目應日月，五臟法五星，六腑法六律，以心為中極。大腸長一丈二尺，以應十二時；小腸長二丈四尺，以應二十四氣；身有三百六十五絡，以應一歲；人有九竅，以應九州；天有寒暑，人有虛實；天有刑德，人有愛憎；天有陰陽，人有男女；月有大小，人有長短。所以服食五穀不能將節，冷熱鹹苦更相抵觸，共為攻擊，變成疾病。凡醫診候，固是不易，又問而知之，別病深淺，名曰巧醫。仲景曰：凡欲和湯合藥，針灸之法，宜應精思，必通十二經脈，辨三百六十孔穴榮衛氣行，知病所在，宜治之法，不可不通。古者上醫相色，色脈與形不得相失，黑乘赤者死，赤乘青者生。中醫聽聲，聲合五音，火聞水聲，煩悶干驚；木聞金聲，恐畏相刑。脾者土也，生育萬物，回助四旁，善者不見，死則歸之，太過則四肢不舉，不及則九竅不通，六識閉塞，猶如醉人。四季運轉，周而複始。下醫診脈，知病源由，流轉移動，四時逆順，相害相生，審知臟腑之微，此乃為妙也。

論診候第四

夫欲理病，先察其源，候其病機。五臟未虛，六腑未竭，血脈未亂，精神未散，服藥必活。若病已成，可得半愈。病勢已過，命將難全。

夫診候之法，常以平旦，陰氣未動，陽氣未散，飲食未進，經脈未盛，絡脈調均，氣血未亂，精取其脈，知其逆順，非其時不用也。深察三部九候而明告之，古之善為醫者，上醫醫國，中醫醫人，下醫醫病。又曰上醫聽聲，中醫察色，下醫診脈。又曰上醫醫未病之病，中醫醫欲病之病，下醫醫已病之病。若不加心用意，於事混淆，即病者難以救矣。

何謂三部？寸關尺也。上部為天，肺也；中部為人，脾也；下部為地，腎也。何謂九候？部各有三，合為九候。上部天，兩額動脈，主頭角之氣也；上部地，兩頰動脈，主口齒之氣也；上部人，耳前動脈，主耳目之氣也。中部天，手太陰，肺之氣也；中部地，手陽明，胸中之氣也；中部人，手少陰，心之氣也。下部天，足厥陰，肝之氣也；下部地，足少陰，腎之氣也；下部人，足太陰，脾之氣也。合為九候。

夫形盛脈細，少氣不足以息者死；形瘦脈大，胸中多氣者死；形氣相得者生；三五不調者病；三部九候皆相失者死。愚醫不通三部九候，及四時之經，或用湯藥倒錯，針灸失度，順方治病，更增他疾，遂致滅亡。哀哉蒸民，枉死者半，可謂世無良醫。為其解釋經說，地水火風，和合成人。凡人火氣不調，舉身蒸熱；風氣不調，全身強直，諸毛孔閉塞；水氣不調，身體浮腫，氣滿喘粗；土氣不調，四肢不舉，言無音聲。火去則身冷，風止則氣絕，水竭則無血，土散則身裂，然愚醫不思脈道，反治其病，使臟中五行共相克切，如火熾燃，

重加其油，不可不慎。凡四氣合德，四神安和，一氣不調，百一病生。四神動作，四百四病同時俱發。又云：一百一病，不治自愈；一百一病，須治而愈；一百一病，難治難愈；一百一病，真死不治。

張仲景曰：欲療諸病，當先以湯蕩滌五臟六腑，開通諸脈，治道陰陽，破散邪氣，潤澤枯朽，悅人皮膚，益人氣血。水能淨萬物，故用湯也。若四肢病久，風冷發動，次當用散。

散能逐邪，風氣濕痺，表裡移走，居無常處者，散當平之。次當用丸，丸藥者，能逐風冷，破積聚，消諸堅癖，進飲食，調和榮衛，能參合而行之者，可謂上工，故曰醫者意也。又曰：不須汗而強汗之者，出其津液，枯竭而死。須汗而不與汗之者，使諸毛孔閉塞，令人悶絕而死。又不須下而強下之者，令人開腸，洞泄不禁而死；須下而不與下之者，使人心內懊，脹滿煩亂，浮腫而死。又不須灸而強與灸者，令人火邪入腹，干錯五臟，重加其煩而死。

灸而不與灸之者，令人冷結重凝，久而彌固，氣上沖心，無地消散，病篤而死。

黃帝問曰：淫邪泮衍奈何？岐伯對曰：正邪從外襲內，而未有定舍，及淫於臟，不得定處，與榮衛俱行，而與魂魄飛揚，使人臥不得安而喜夢也。凡氣淫於腑，則有餘於外，不足於內；氣淫於臟，則有餘於內，不足於外。問曰：有餘、不足有形乎？對曰：陰盛則夢涉大水而恐懼，陽盛則夢蹈大火而燔灼，陰陽俱盛則夢相殺毀傷；上盛則夢飛揚，下盛則夢墮墜；甚飽則夢與（巢源云：夢行）甚飢則夢取（巢源云：夢臥）；肝氣盛則夢怒，肺氣盛則夢恐懼、哭泣，心氣盛則夢喜笑及恐畏，脾氣盛則夢歌樂、體重、手足不舉，腎氣盛則夢腰脊兩解而不屬。凡此十二盛者，至而瀉之立已。厥氣客於心，則夢見丘山煙火；客於肺，則夢飛揚，見金鐵之器奇物；客於肝，則夢見山林樹木；客於脾，則夢見丘陵大澤，壞屋風雨；客於腎，則夢見臨淵，沒居水中；客於膀胱，則夢見游行；客於胃，則夢見飲食；客於大腸，則夢見田野；客於小腸，則夢見聚邑、街衢；客於膽，則夢見斗訟、自刳；客於陰器，則夢交接斗內；客於項，則夢見斬首；客於胯，則夢見行走而不能前進，及池渠阱 中居；客於股，則夢見禮節拜跪；客於胞，則夢見溲溺便利。凡此十五不足者，至而補之立已。善診候者，亦可深思此意，乃盡善盡美矣。

《史記》曰：病有六不治：驕恣不論於理，一不治也；輕身重財，二不治也；衣食不能適，三不治也；陰陽並臟氣不定，四不治也；形羸不能服藥，五不治也；信巫不信醫，六不治也。生候尚存，形色未改，病未入腠理，針藥及時，能將節調理，委以良醫，病無不愈。

議處方第五

夫療寒以熱藥，療熱以寒藥，飲食不消以吐下藥，鬼疰蠱毒以蠱毒藥，癰腫瘡瘤以瘡瘤藥，風濕以風濕藥，風勞氣冷各隨其所宜。雷公云：藥有三品，病有三階，藥有甘苦，輕重不同，病有新久，寒溫亦異，重熱膩滑，咸醋藥石、飲食等，於風病為治，餘病非對。輕冷粗澀，甘苦藥草、飲食等，於熱病為治，餘病非對。輕熱辛苦、淡藥、飲食等，於冷病為治，餘病非對。其大綱略顯其源流，自余睹狀可知。臨事製宜，當識斯要。

《藥對》曰：夫眾病積聚，皆起於虛，虛生百病。積者，五臟之所積，聚者，六腑之所聚。如斯等疾，多從舊方，不假增損，虛而勞者，其弊萬端，宜應隨病增減。古之善為醫者，皆自采藥，審其體性所主，取其時節早晚，早則藥勢未成，晚則盛勢已歇。今之為醫，不自采藥，且不委節氣早晚，只供采取，用以為藥。又不知冷熱消息，分兩多少，徒有療病之心，永蔵薤；虛而欲吐，加人參；虛而不安，亦加人參；虛而多夢紛紜，加龍骨；虛而多熱，加地黃、牡蠣、地膚子、甘草；虛而冷，加當歸、芎 、乾薑；虛而損，加鐘乳、棘刺、肉蓯蓉、巴戟天；虛而大熱，加黃芩、天門冬；虛而多忘，加茯神、遠志；虛而驚悸不安，加龍齒、紫石英、沙參、小草；冷則用紫石英、小草；若客熱即用沙參、龍齒；不冷不熱無用之；虛而口乾，加麥門冬、知母；虛而吸

吸，加胡麻、覆盆子、柏子仁；虛而多氣，兼微咳，加五味子、大棗；虛而身強，腰中不利，加磁石、杜仲；虛而多冷，加桂心、吳茱萸、附子、烏頭；虛而小便赤，加黃芩；虛而客熱，加地骨皮、白水黃　；虛而冷，用隴西黃　；虛而痰，複有氣，加生薑、半夏、枳實；虛而小腸利，加桑螵蛸、龍骨、雞　；虛而小腸不利，加茯苓、澤瀉；虛而溺白加濃朴。諸藥無有一一歷而用之，但據體性冷熱，的相主對，聊敘增損之一隅，入處方者宜準此。

論用藥第六

上藥一百二十種，為君，主養命以應天。無毒，多服、久服不傷人。欲輕身益氣，不老延中藥一百二十種，為臣，主養性以應人。有毒無毒，斟酌其宜。欲遏病，補虛羸者，本　中經。

下藥一百二十五種，為佐使，主治病以應地，多毒，不可久服。欲除寒熱邪氣，破積聚、愈疾者，本下經。

三品合三百六十五種，法三百六十五度，每一度應一日，以成一歲。倍其數，合七百三十名也。

凡藥有君臣佐使，以相宣攝，合和者，宜用一君、二臣、三佐、五使，又可一君、三臣、又有陰陽配合，子母兄弟，根莖花實，草石骨肉。有單行者，有相須者，有相使者，有相畏者，有相惡者，有相反者，有相殺者。凡此七情，合和之時，用意視之。當用相須、相使者良，勿用相惡、相反者。若有毒宜製，可用相畏，相殺者，不爾勿合用也。

又有酸、鹹、甘、苦、辛五味，又有寒、熱、溫、涼四氣，及有毒、無毒、陰乾、曝乾、采造時月、生熟、土地所出、真偽

玉石上部

玉泉（畏款冬花）
玉屑（惡鹿角）
丹砂（惡磁石，畏鹹水）
曾青（畏菟絲子）
石膽（水英為使，畏牡桂、菌桂、芫花、辛夷、白薇）
雲母（澤瀉為使，畏　甲及流水，惡徐長卿）
鐘乳（蛇床子、菟絲子為使，惡牡丹、玄石、牡蒙，畏紫石英、　草）
朴硝（畏麥句薑）
硝石（火為使，惡苦參、苦菜，畏女菀）
芒硝（石韋為使，惡麥句薑）
礬石（甘草為使，惡牡蠣）
滑石（石韋為使，惡曾青）　紫石英（長石為使，畏扁青、附子，不欲　甲、黃連、麥句薑）
白石英（惡馬目毒公）
赤石脂（惡大黃，畏芫花）
黃石脂（曾青為使，惡細辛，畏蜚蠊、扁青、附子）
白石脂（燕糞為使，惡松脂，畏黃芩）
太一余糧（杜仲為使，畏鐵落、菖蒲、貝母）

玉石中部

水銀(畏磁石)
殷孽(惡防己, 畏朮)
孔公孽(木蘭為使, 惡細辛)
陽起石(桑螵蛸為使, 惡澤瀉、菌桂、雷丸、蛇蛻皮, 畏菟絲子)
凝水石(畏地榆, 解巴豆毒)
石膏(雞子為使, 惡莽草、毒公)
磁石(柴胡為使, 畏黃石脂, 惡牡丹、莽草)
玄石(惡松脂、柏子仁、菌桂)
理石(滑石為使, 畏麻黃)

玉石下部

青琅 (得水銀良, 畏雞骨, 殺錫毒)
石(得火良, 棘針為使, 惡虎掌、毒公、 屎、細辛畏水)
特生 石(得火良, 畏水)
方解石(惡巴豆)代赭(畏天雄)
大鹽(漏蘆為使)

草藥上部

六芝(薯蕷為使, 得發良, 惡恆山, 畏扁青、茵陳)
天門冬(垣衣、地黃為使, 畏曾青)
麥門冬(地黃、車前為使, 惡款冬、苦瓠, 畏苦參、青)
朮(防風、地榆為使)
女萎、蕨蕤(畏鹵鹼)
乾地黃(得麥門冬、清酒良, 惡貝母, 畏蕪荑)
菖蒲(秦艽、秦皮為使, 惡地膽、麻黃)
遠志(得茯苓、冬葵子、龍骨良, 殺天雄、附子毒, 畏真珠、蜚蠊、藜蘆、齊蛤)
澤瀉(畏海蛤、文蛤)
薯蕷(紫芝為使, 惡甘遂)
菊花(朮、枸杞根、桑根白皮為使)
甘草(朮、干漆、苦參為使, 惡遠志, 反甘遂、大戟、芫花、海藻)
人參(茯苓為使, 惡溲疏, 反藜蘆)
石斛(陸英為使, 惡凝水石、巴豆, 畏白僵蠶、雷丸)
牛膝(惡螢火、龜甲、陸英, 畏車前)
細辛(曾青、棗根為使, 惡野狼毒、山茱萸、黃, 畏滑石、硝石, 反藜蘆)
獨活(蠡實為使)
柴胡(半夏為使, 惡皂莢, 畏女菀、藜蘆)
子(荊子、薏苡仁為使, 惡細辛、乾薑)
葪 子(得荊子、細辛良, 惡乾薑、苦參)
龍膽(貫眾為使, 惡防葵、地黃)

菟絲子(得酒良，薯蕷、松脂為使，惡 菌)
巴戟天(覆盆子為使，惡朝生，雷丸、丹參)
蒺藜子(烏頭為使)
防風(惡乾薑、藜蘆、白蘞、芫花，殺附子毒)
絡石(杜仲、牡丹為使，惡鐵落，畏菖蒲、貝母)
黃連(黃芩、龍骨、理石為使，惡菊花、芫花、玄參、白蘚皮，畏款冬，勝烏頭，解巴 豆毒)
沙參(惡防己，反藜蘆)
丹參(畏鹹水，反藜蘆)
天名精(垣衣為使)
決明子(菴實為使，惡大麻子)
芎 (白芷為使)
續斷(地黃為使，惡雷丸)
黃 (惡龜甲)
杜若(得辛夷、細辛良，惡柴胡、前胡)
蛇床子(惡牡丹、巴豆、貝母)
茜根(畏鼠婦)
飛廉(得烏頭良，惡麻黃)
薇銜(得秦皮良)
五味子(蓯蓉為使，惡葳蕤，勝烏頭)

草藥中部

當歸(惡 茹，畏菖蒲、海藻、牡蒙)
秦艽(菖蒲為使)
黃芩(山茱萸、龍骨為使，惡蔥實，畏丹砂、牡丹、藜蘆)
芍藥(雷丸為使，惡石斛、芒硝，畏硝石、鱉甲、小薊，反藜蘆)
乾薑(秦椒為使，惡黃連、黃芩、天鼠糞，殺半夏、莨菪毒)
本(惡 茹)
麻黃(濃朴為使，惡辛夷、石韋)
葛根(殺野葛、巴豆、百藥毒)
前胡(半夏為使，惡皂角，畏藜蘆)
貝母(濃朴、白薇為使，惡桃花，畏秦艽、 石、莽草、反烏頭)
栝蔞(枸杞為使，惡乾薑，畏牛膝、干漆，反烏頭)
玄參(惡黃 、乾薑、大棗、山茱萸，反藜蘆)
苦參(玄參為使，惡貝母、漏蘆、菟絲子，反藜蘆)
石龍芮(大戟為使，畏蛇蛻皮、吳茱萸)
石韋(滑石、杏仁為使，得菖蒲良)
狗脊(蕳 為使，惡敗醬)
蕳 (薏苡為使，畏葵根、大黃、柴胡、牡蠣、前胡)
瞿麥(草、牡丹為使，惡桑螵蛸)
白芷(當歸為使，惡旋複花)
紫菀(款冬為使，惡天雄、瞿麥、雷丸、遠志，畏茵陳)
白蘚皮(惡桑螵蛸、桔梗、茯苓、蕳)

白薇(惡黃 、大黃、大戟、乾薑、干漆、大棗、山茱萸)
紫參(畏辛夷)
仙靈脾(薯蕷為使)
款冬花(杏仁為使，得紫菀良，惡皂莢、硝石、玄參，畏貝母、辛夷、麻黃、黃芩、黃連、黃耆、青葙)
牡丹(畏菟絲子)
防己(殷孽為使，惡細辛、畏葶，殺雄黃毒)
女菀(畏鹵鹹)
澤蘭(防己為使)
地榆(得發良，惡麥門冬)
海藻(反甘草)

草藥下部

大黃(黃芩為使) 桔梗(節皮為使，畏白芨、龍膽、龍眼)
甘遂(瓜蒂為使，惡遠志，反甘草)
葶藶(榆皮為使，得酒良，惡僵蠶、石龍芮)
芫花(決明為使，反甘草)
澤漆(小豆為使，惡薯蕷)
大戟(反甘草)
鉤吻(半夏為使，惡黃芩)
藜蘆(黃連為使，反細辛、芍藥、五參、惡大黃)
烏頭烏喙(莽草為使，反半夏、栝蔞、貝母、白蘞、白芨，惡藜蘆)
天雄(遠志為使，惡腐婢)
附子(地膽為使，惡蜈蚣，畏防風、甘草、黃耆、人參、烏韭、大豆)
貫眾(菌為使)
半夏(射干為使，惡皂莢，畏雄黃、生薑、乾薑、秦皮、龜甲，反烏頭)
虎掌(蜀漆為使，畏莽草)
蜀漆(栝蔞為使，惡貫眾)
恆山(畏玉札)
野狼牙(蕪荑為使，惡秦艽、地榆)
白蘞(代赭為使，反烏頭)
白芨(紫石英為使，惡理石、李核仁、杏仁)
菌(得酒良，畏雞子)
茹(甘草為使，惡麥門冬)
蘞草(畏鼠婦)
夏枯草(土瓜為使)
野狼毒(大豆為使，惡麥句薑)
鬼臼(畏垣衣)

木藥上部

茯苓、茯神(馬 為使，畏牡蒙、地榆、雄黃、秦艽、龜甲、惡白蘞)
柏子仁(牡蒙、桂心、瓜子為使，畏菊花、羊蹄、諸石、面曲)

杜仲(惡蛇蛻、玄參)
干漆(半夏為使，畏雞子)
蔓荊子(惡烏頭、石膏)
牡荊實(防風為使，惡石膏)
五加皮(遠志為使，畏蛇蛻、元參)
黃柏(惡干漆)
辛夷(芎　為使，惡五石脂，畏菖蒲、蒲黃、黃連、石膏、黃環)
酸棗仁(惡防己)
槐子(天雄、景天為使)

木藥中部

濃朴(乾薑為使，惡澤瀉、寒水石、硝石)
山茱萸(蓼實為使，惡桔梗、防風、防己)
吳茱萸(蓼實為使，惡丹參、硝石、白堊，畏紫石英)
秦皮(大戟為使，惡吳茱萸)
占斯(解野狼毒毒)
梔子(解躑躅毒)
秦椒(惡栝蔞、防葵，畏雌黃)
桑根白皮(續

木藥下部

黃環(鳶尾為使，惡茯苓、防己)
石南(五加皮為使)
巴豆(芫花為使，惡　草，畏大黃、黃連、藜蘆，殺斑蝥毒)
蜀椒(杏仁為使，畏款冬)
欒華(決明為使)
雷丸(荔實、濃朴為使，惡葛根)
溲疏(漏蘆為使)
皂莢(柏子為使，惡麥門冬，畏空青、人參、苦參)

獸上部

龍骨(得人參、牛黃良，畏石膏)
龍角(畏干漆、蜀椒、理石)
牛黃(人參為使，惡龍骨、地黃、龍膽、蜚蠊、畏牛膝)
白膠(得火良，畏大黃)　阿膠(得火良，畏大黃

獸中部

犀角(松脂為使，惡　菌、雷丸)
羊角(菟絲子為使)

鹿茸(麻勃為使)
鹿角(杜仲為使)

獸下部

麋脂(畏大黃，惡甘草)。

蟲魚上部

蜜蠟(惡芫花、齊蛤)
蜂子(畏黃芩、芍藥、牡蠣)
牡蠣(貝母為使，得甘草、牛膝、遠志、蛇床良，惡麻黃、吳茱萸、辛夷)
桑螵蛸(畏旋複花)
海蛤(蜀漆為使，畏狗膽、甘遂、芫花)
龜甲(惡沙參、蜚蠊)

蟲魚中部

伏翼(莧實、雲實為使)
皮(得酒良，畏桔梗、麥門冬)
蜥蜴(惡硫黃、斑蝥、蕪荑)
露蜂房(惡乾薑、丹參、黃芩、芍藥、牡蠣)
蟲(畏皂莢、菖蒲)
蠐螬(蜚蠊為使，惡附子)
鱉甲(惡礬石)
魚甲(蜀漆為使，畏狗膽、甘遂、芫花)
烏賊魚骨(惡白蘞、白芨)
蟹(殺莨菪毒、漆毒)
天鼠糞(惡白蘞、白薇)

魚蟲下部

蛇蛻(畏磁石及酒)
蜣螂(畏羊角、石膏)
斑蝥(馬刀為使，畏巴豆、丹參、空青，惡膚青)
地膽(惡甘草)
馬刀(得水良)

果上部

大棗(殺烏頭毒)

果下部

杏仁(得火良，惡黃 、黃芩、葛根，解錫、胡粉毒，畏莽草)

菜上部

冬葵子(黃芩為使)

菜中部

蔥實(解藜蘆毒)

米上部

麻 、麻子(畏牡蠣、白薇，惡茯苓)

米中部

大豆及黃卷(惡五參、龍膽，得前胡、烏喙、杏仁、牡蠣良，殺烏頭毒)
大麥(食蜜為使)
醬(殺藥毒、火毒)。

上一百九十七種有相製使，其餘皆無，故不備錄。

或曰：古人用藥至少，分兩亦輕，瘥病極多；觀君處方，非不煩重，分兩亦多，而瘥病 不及古人者，何也？答曰：古者日月長遠，藥在土中，自養經久，氣味真實，百姓少欲，稟 氣中和，感病輕微，易為醫療。今時日月短促，藥力輕虛，人多巧詐，感病濃重，難以為醫。

病輕用藥須少， 重用藥即多。此則醫之一隅，何足怪也。又古之醫者，自將采取，陰乾、曝乾，皆悉如法，用藥必依土地，所以治十得九。今之醫者，但知診脈處方，不委采藥時節。

至於出處土地，新陳虛實，皆不悉，所以治十不得五六者，實由於此。夫處方者，常須加意，重複用藥，藥乃有力。若學古人，徒自誤耳。將來學人，須詳熟之。

凡紫石英、白石英、朱砂、雄黃、硫黃等，皆須光明映澈，色理鮮淨者為佳。不然令人身體乾燥，發熱口乾而死。

凡草石藥，皆須土地堅實，氣味濃烈，不爾，治病不愈。

凡野狼毒、枳實、橘皮、半夏、麻黃、吳茱萸，皆欲得陳久者良，其餘唯須精新也。

論合和第七

問曰：凡合和湯藥，治諸草石蟲獸，用水升數消殺之法則云何？答曰：凡草有根、莖、枝、葉、皮、骨、花、實，諸蟲有毛、翅、皮、甲、頭、足、尾、骨之屬，有須燒煉炮炙，生熟有定，一如後法。順方者福，逆之者殃。

或須皮去肉，或去皮須肉，或須根莖，或須花 實。依方煉治，極令淨潔，然後升合稱兩，勿令參差，藥有相生相殺，氣力有強有弱，君臣 相理，佐使相持，若不廣通諸經，則不知有好有惡。或醫自以意加減，不依方分，使諸草石 強弱相欺，入人腹中不能治病，更加斗爭，草石相反，使人迷亂，力甚刀劍。若調和得所，雖未能治病，猶得安利五臟，於病無所增劇。例曰：諸經方用藥，所有熬煉節度，皆腳注之。

今方則不然，於此篇具條之，更不煩方下別注也。

凡藥治擇熬炮訖，然後稱之以充用，不得生稱。

凡用石藥及玉，皆碎如米粒，綿裹納湯酒中。

凡鐘乳等諸石，以玉槌水研，三日三夜，漂煉務令極細。

凡銀屑，以水銀和成泥。

凡 石、赤泥團之，入火半日，乃熟可用，仍不得過之。不煉，生入藥，使人破心肝。

凡朴硝、礬石，燒令汁盡，乃入丸散。芒硝、朴硝，皆絞湯訖，納汁中，更上火兩三沸，烊盡 凡湯中用丹砂、雄黃者，熟末如粉，臨服納湯中，攪令調和服之。

凡湯中用完物，皆擘破，乾棗、梔子之類是也。用細核物，亦打碎，山茱萸、五味子、蕤核、決明子之類是也。細花子物，正爾完用之，旋複花、菊花、地膚子、葵子之類是也。

米麥豆輩，亦完用之。

凡橘皮、吳茱萸、菽等，入湯不 咀。

凡諸果實仁，皆去尖及雙仁者，湯揉撻去皮，仍切之。用梔子者去皮，用蒲黃者湯 成下。

凡麥門冬、生薑入湯，皆切。三搗三絞，取汁，湯成去滓下之，煮五六沸，依如升數，不可共藥煮之。一法薄切用。

凡麥門冬，皆微潤，抽去心。

凡麻黃，去節，先別煮兩三沸，掠去沫，更益水如本數，乃納餘藥，不爾令人煩。寸斬 之，小草、瞿麥五分斬之，細辛、白前三分斬之，膏中細銼也。

凡牛膝、石斛等，入湯酒拍碎用之。石斛入丸散者，先以砧槌極打令碎，乃入臼，不爾 搗不熟，入酒亦然。

凡桂、濃朴、杜仲、秦皮、木蘭輩，皆削去上虛軟甲錯，取裡有味者稱之。茯苓、豬苓 削去黑皮，牡丹、巴戟天、遠志、野葛等皆捶破去心，紫菀洗去土，曝乾乃稱之。薤白、蔥 白，除青令盡。莽草、石南、茵芋、澤蘭剔取葉及嫩莖，去大枝。鬼臼、黃連皆除根毛。石 葦拭去毛。辛夷去毛及心。蜀椒去閉口者及目。用大棗、烏梅皆去核。用鬼 凡茯苓、芍藥，補藥須白者，瀉藥須赤者。

凡菟絲子，暖湯淘汰去沙土，干漉，暖酒漬，經一宿，漉出，曝微白搗之。不盡者更以 酒漬，經三五日乃出，更晒，微干搗之，須臾悉盡，極易碎。

凡用甘草、濃朴、枳實、石南、茵芋、藜蘆、皂莢之類皆炙之。而枳實去穰，藜蘆去頭，皂莢去皮子。

凡用椒實，微熬令汗出，則有勢力。

凡湯丸散，用天雄、附子、烏頭、烏喙、側子，皆 灰炮，令微拆，削去黑皮乃稱之。

惟薑附湯及膏酒中生用，亦削去皮乃稱之，直理破作七八片。

凡半夏，熱湯洗去上滑，一云十洗四破，乃稱之，以入湯。若膏酒丸散皆 灰炮之。

凡巴豆去皮心膜，熬令紫色。桃仁、杏仁、葶藶、胡麻，諸有脂膏藥，皆熬黃黑，別搗，令如膏，指 視泯泯爾，乃以向成散，稍稍下臼中，合研搗，令消散，乃複都以輕絹 之，須盡，又納臼中，依法搗數百杵也。湯膏中雖有生用者，並搗破。

凡用麥 、曲末、大豆黃卷、澤蘭、蕪荑皆微炒。干漆炒，令煙斷。用烏梅入丸散者熬 之。用熟艾者先炒細擘，合諸藥搗，令細散，不可篩者，納散中和之。

凡用諸毛羽齒牙蹄甲龜鱉鯪鯉等甲皮肉骨角筋鹿茸等皆炙之，蛇蛻皮微炙。

凡用斑蝥等諸蟲，皆去足翅，微熬，用桑螵蛸中破炙之，牡蠣熬，令黃色，僵蠶、蜂房 微炒之。

凡湯中用麝香、犀角、鹿角、羚羊角、牛黃、須末如粉，臨服納湯中攪，令調和服之。

凡丸散用膠，先炙，使通體沸起燥，乃可搗，有不沸處更炙之。斷下湯直爾用之，勿 炙。諸湯中用阿膠，皆絞湯畢，納汁中更上火兩三沸，令烊。

凡用蜜，先火煎，掠去沫，令色微黃，則丸經久不壞，掠之多少，隨蜜精粗，遂至大稠，於丸彌佳。

凡丸中用蠟，烊投少蜜中，攪調以和藥。

凡湯中用飴糖。皆湯成下，諸湯用酒者，皆臨熟下之。

凡藥有宜丸者、宜散者、宜湯者、宜酒漬者、宜膏煎者，亦有一物兼宜者，亦有不入湯 酒者，並隨藥性，不得違之。其不宜湯酒者列之如下：

朱砂(熟入湯) 雌黃 雲母 陽起石(入酒) 礬石(入酒) 硫黃(入酒) 鐘乳(入酒) 孔公孽(入酒) 石(入酒) 銀屑 白堊 銅鏡鼻 胡粉 鉛丹 鹵鹹(入酒) 鍛石 (入酒)藜灰

上石類一十七種。

野葛 野狼毒 毒公 鬼臼 莽草 蒴 (入酒) 巴豆 躑躅(入酒) 皂莢(入酒) 菌蕈(入酒) 薇銜(入酒) 白芨 牡蒙 飛廉 蛇銜 占斯 辛夷 石南(入酒) 楝實 虎杖 (入酒單漬) 虎掌 蓄根 羊桃(入酒) 麻勃 苦瓠 瓜蒂 陟厘 野狼跋子(入酒) 雲實 槐 子(入酒) 地膚子 蛇床子(入酒) 青葙子 莞蔚子 王不留行 萯 子 菟絲子(入酒)

上草木之類四十八種。

蜂子 蜜蠟 白馬莖 狗陰 雀卵 雞子 雄鵲 伏翼 鼠婦 樗雞 螢火 □僵蠶 蜈蚣 蜥蜴 斑蝥 芫青 亭長 蛇膽 虻蟲 蜚蠊 螻蛄 馬刀 赭魁 蝦蟆 皮生鼠 生龜(入酒) 蝸牛 諸鳥獸(入酒) 蟲魚膏 骨髓 膽血 屎溺

上蟲獸之類二十九種

古秤唯有銖兩而無分名，今則以十黍為一銖，六銖為一分，四分為一兩，十六兩為一斤。此則神農之秤也。吳人以二兩為一兩，隋人以三兩為一兩，今依四分為一兩稱為定。方家凡云等分者，皆是丸散，隨病輕重，所須多少，無定銖兩，三種五種，皆悉分兩同等耳。

凡丸散云若干分兩者，是品諸藥宜多宜少之分兩，非必止於若干之分兩也。假令日服三方寸 匕，須瘥止，是三五兩藥耳。凡散藥有云刀圭者，十分方寸匕之一，準如桐子大也。方寸匕 者，作匕正方一寸，抄散取不落為度。錢匕者，以大錢上全抄之。若云半錢匕者，則是一錢 抄取一邊爾，並用五銖錢也。錢五匕者，今五銖錢邊五字者以抄之，亦令不落為度。一撮者，四刀圭也，十撮為一勺，兩勺為一合。以藥升分之者，謂藥有虛實輕重不得用斤兩，則以升 平之。藥升方作上徑一寸，下徑六分，深八分，納散藥，勿按抑之，正爾微動令平調耳。今 人分藥不複用此。

凡丸藥，有云如細麻大者，即胡麻也。不必扁扁，但令較略大小相稱爾。如黍粟者亦然。

以十六黍為一大豆也。如麻子者，即今大麻子，準三細麻也。如胡豆者，今青斑豆也，以二大麻子準之。如小豆者，今赤小豆也，粒有大小，以三大麻子準之。如大豆者，以二小豆準 之。如梧桐子者，以二大豆準之。一方寸匕散，以蜜和得如梧桐子十丸為定。如彈丸及雞子黃者，以十梧桐子準之。

凡方云巴豆若干枚者，粒有大小，當先去心皮乃稱之，以一分準十六枚。附子、烏頭若 干枚者，去皮畢，以半兩準一枚。枳實若干枚者，去穰畢，以一分準二枚。橘皮一分準三枚。

棗有大小，以三枚準一兩。云乾薑一累者，以半兩為正(《本草》云一兩為正)。凡方云 一升者，洗畢，稱五兩為正。椒一升，三兩為正。吳茱萸一升，五兩為正。菟絲子一升，九 兩為正。 子一升，四兩為正。蛇床子一升，三兩半為正。地膚子一升，四兩為正。此其 不同也。云某子一升者，其子各有虛實輕重不可通以稱準，皆取平升為正。

凡方云桂一尺者，削去皮畢，重半兩為正。甘草一尺者，重二兩為正。云某草一束者，重三兩為正。一把者，重二兩為正。

凡云蜜一斤者，有七合。豬膏一斤者，一升二合。

凡湯酒膏藥，舊方皆云 咀者，謂稱畢，搗之如大豆。又使吹去細末，此於事殊不允當。藥有易碎難碎，多末少末，稱兩則不複均平，今皆細切之較略，令如 咀者，乃得無 末而片粒調和也。凡云末之者謂搗篩如法也。

凡丸散，先細切曝燥乃搗之，有各搗者，有合搗者，並隨方所言。其潤濕藥如天門冬、乾地黃輩，皆先切曝乾，獨搗，令偏碎，更出細擘，曝乾。若值陰雨，可微火烘之，既燥小停冷乃搗之。

凡濕藥，燥皆大耗，當先增分兩，須得屑乃稱之為正。其湯酒中不須如凡篩丸藥，用重密絹，令細，於蜜丸即易熟。若篩散草藥，用輕疏絹，於酒中服即不泥。其石藥亦用細絹篩，令如丸藥者。

凡篩丸散藥畢，皆更合於臼中，以杵搗之數百過，視其色理和同為佳。

凡煮湯，當取井華水，極令淨潔，升斗分量勿使多少，煮之調和，候火用心，一如煉法。

凡煮湯，用微火，令小沸，其水數依方多少，大略二十兩藥用水一斗，煮取四升，以此 為率。皆絞去滓而後酌量也。然則利湯欲生，少水而多取汁者，為病須快利，是以少水而多取汁。補湯欲熟，多水而少取汁者，為病須補益，是以多水而少取汁，好詳視之，不得令水 多少。湯熟，用新布，兩人以尺木絞之，澄去 濁。分再服、三服者，第二、第三服以紙覆，令密，勿令泄氣。欲服，以銅器於熱湯上暖之，勿令器中有水氣。

凡漬藥酒，皆須切細，生絹袋盛之，乃入酒密封。隨寒暑日數，視其濃烈，便可漉出，不必待至酒盡也。滓可曝燥，微搗，更漬飲之，亦可散服。

凡建中、腎瀝諸補湯滓，合兩劑加水煮竭，飲之亦敵一劑新藥。貧人當依此用。皆應先 曝令燥也。

凡合膏，先以苦酒漬，令淹浹，不用多汁，密覆勿泄。云 時者，周時也。從今旦至明 旦，亦有止一宿。煮膏當三上三下，以泄其藥勢，令藥味得出，上之使匝匝沸，乃下之，取 沸靜，良久乃止。寧欲小生，其中有薤白者，以兩頭微焦黃為候，有白芷、附子者，亦令小黃色為度。豬肪皆勿令經水，臘月者彌佳。絞膏亦以新布絞之。若是可服之膏，膏滓亦堪酒 煮飲之。可摩之膏，膏滓則宜以敷病上，此蓋欲兼盡其藥力故也。

凡膏中有雄黃、朱砂輩，皆別搗細研如面，須絞膏畢乃投中，以物疾攪至於凝強，勿使沉聚在下不調也。有水銀者，於凝膏中研，令消散，胡粉亦爾。

凡搗藥法，燒香洒掃淨潔，不得雜語喧呼，當使童子搗之，務令細熟，杵數可至千萬，杵過多為佳。

凡合腎氣薯蕷及諸大補五石大麝香丸、金牙散、大酒煎膏等，合時煎時，並勿令婦人、小兒、產母、喪孝、痼疾，六根不具足人及雞犬六畜等見之，大忌，切宜慎之。其續命湯、麻黃等諸小湯不在禁忌之限。比來田野下裡家因市得藥，隨便市上僱人搗合，非止諸不如法。

至於石斛、菟絲子等難搗之藥，費人功力，賃作搗者隱主悉盜棄之。又為塵埃穢氣入藥中，羅篩粗惡隨風飄揚，眾口嘗之，眾鼻嗅之，藥之精氣，一切都盡，與朽木不殊。又複服餌，不能盡如法，服盡之後，反加虛損，遂謗醫者，處方不效，夫如此者，非醫之咎，自緣發意 甚誤，宜熟思之。

論服餌第八

若用毒藥治病，先起如黍粟，病去即止，不去倍之，不去十之，取去為度。病在胸膈以 上者，先食而後服藥；病在心腹以下者，先服藥而後食；病在四肢血脈者，宜空腹而在旦； 病在骨髓者，宜飽滿而在夜。

凡服丸散，不云酒水飲者，本方如此，是可通用也。

凡服利湯欲得侵早，凡服湯欲得稍熱服之，即易消下不吐。若冷則吐嘔不下，若太熱即 破人咽喉，務在用意。湯必須澄清，若濁令人心悶不解，中間相去如步行十裡久再服。若太 促數，前湯未消，後湯來沖，必當吐逆，仍問病者腹中藥消散，乃可進服。

凡服湯法，大約皆分為三服。取三升，然後乘病患穀氣強進。一服最須多，次一服漸少，後一服最須少，如此即甚安穩。所以病患於後氣力漸微，故湯須漸漸少。凡服補湯，欲得服 三升半，晝三夜一，中間間食，

則湯氣溉灌百脈，易得藥力。凡服湯不得太緩太急也。又須 左右仰覆臥各一，食頃即湯勢遍行腹中，又於室中行皆可，一百步許一日勿出外即大益。

凡服湯三日常忌酒，緣湯忌酒故也。凡服治風湯，第一服濃覆取汗，若得汗即須薄覆，勿令大汗，中間亦須間食。不爾人無力，更益虛羸。

凡丸藥皆如梧桐子大，補者十丸為始，從一服漸加，不過四十丸，過亦損人。云一日三度服，欲得引日多時不闕。藥氣漸漬，熏蒸五臟，積久為佳，不必頓服，早盡為善。徒棄名 藥，獲益甚少。

凡人四十以下，有病可服瀉藥，不甚須服補藥，必若有所損，不在此限。四十以上，則不可服瀉藥，須服補藥。五十以上四時勿闕補藥，如此乃可延年，得養生之術耳。其方備在 第二十七卷中。《素問》曰，實則瀉之，虛則補之，不虛不實，以經調之，此其大略也。

凡有臟腑積聚，無問少長，須瀉則瀉；凡有虛損，無問少長，須補即補，以意量 凡服痔漏疳 等藥，皆慎豬雞魚油等味，至瘥。

凡服瀉藥，不過以利為度，慎勿過多，令人下利無度，大損人也。

凡諸惡瘡，瘥後皆百日慎口，不爾即瘡發也。

凡服酒藥，欲得使酒氣相接，無得斷絕，絕不得藥力。多少皆以知為度，不可令至醉，及吐則大損人也。

凡服藥，皆斷生冷酢滑，豬犬雞魚，油面蒜及果實等。其大補丸散，切忌陳臭宿滯之物，有空青忌食生血物。天門冬忌鯉魚，白朮忌桃李及雀肉、胡荽、大蒜、青魚 等物，地黃 忌蕪荑，甘草忌菘菜、海藻，細辛忌生菜，菟絲子忌兔肉，牛膝忌牛肉；黃連、桔梗忌豬肉，牡丹忌胡荽，藜蘆忌狸肉，半夏、菖蒲忌飴糖及羊肉，恒山、桂心忌生蔥、生菜，商陸忌 犬肉，茯苓忌醋物，柏子仁忌濕面，巴豆忌蘆筍羹及豬肉，鱉甲忌莧菜。

凡服藥，忌見死尸及產婦穢污觸之，兼及忿怒憂勞。

凡餌湯藥，其粥食肉菜皆須大熟。熟即易消，與藥相宜。若生則難消，複損藥力。仍須 少食菜及硬物，於藥為佳，亦少進鹽醋乃善，亦不得苦心用力及房室喜怒。是以治病用藥力，唯在食治將息得力，大半於藥有益。所以病者務在將息節慎，節慎之至，可以長生，豈惟病 愈而已。

凡服瀉湯及諸丸散酒等，至食時須食者，皆先與一口冷醋飯，須臾乃進食為佳。

凡人忽遇風發，身心頓惡，或不能言，有如此者，當服大小續命湯及西州續命、排風、越婢等湯，於無風處密室之中，日夜四五服，勿計劑數多少，亦無慮虛，常使頭面手足腹背 汗出不絕為佳。服湯之時，湯消即食粥，粥消即服湯，亦少與羊肉 將補。若風大重者，相續五日五夜，服湯不絕，即經二日停湯。以羹 自補將息四體，若小瘥即當停藥，漸漸將息。如其不瘥，當更服湯攻之，以瘥為度。

凡患風，服湯，非得大汗，其風不去。所以諸風方中皆有麻黃，至如西州續命，即用八 兩，越婢六兩，大小續命或用一兩、三兩、四兩，故知非汗不瘥，所以治風非密室不得，輒 服湯藥，徒自誤耳。惟更加增，未見損減矣。

凡人五十以上，大虛者，服三石更生，慎勿用五石也。四時常以平旦服一二升，暖飲終生勿絕及一時，勿食蒜、油、豬、雞、魚、鵝、鴨、牛、馬等肉，即無病矣。

論藥藏第九

存不忘亡，安不忘危，大聖之至教。救民之瘼，恤民之隱，賢人之用心。所以神農鳩集 百藥，黃帝纂錄《針經》，皆預備之常道也。且人 瘵多起倉猝，不與人期，一朝嬰已，豈 遑知救，想諸好事者，可貯藥藏用，以備不虞。所謂起心雖微，所救惟廣。見諸世祿之家，有善養馬者，尚貯馬藥數十斤，不見養身者有蓄人藥一錙銖，以此之類，極可愧矣。貴畜而 賤身，誠可羞矣。傷人乎？不問馬，此言安用哉？至如人，或有公私使命，行邁邊隅，地既 不毛，藥物焉出？忽逢瘴癘，素不資貯，無以救療，遂拱手待斃，以致夭歿者，斯為自致，豈是枉橫，何者？既不能深心以自衛，一朝至此，何嘆惜之晚哉？故置藥藏法，以防危殆云爾。

石藥、灰土藥、水藥、根藥、莖藥、葉藥、花藥、皮藥、子藥、五穀、五果、五菜、諸獸齒牙、骨、角、蹄、甲、皮毛、尿屎等藥，酥髓、乳酪、醍醐、石蜜、砂糖、飴糖、酒、醋、膠、曲、 、豉等藥。

上件藥依時收采以貯藏之，蟲豸之藥不收采也。

稱、斗、升、合、鐵臼、木臼、絹羅、紗羅、馬尾羅、刀砧、玉槌、瓷缽、大小銅銚、鐺、釜、銅鐵匙等。

上合藥所須極當預貯。

凡藥皆不欲數數晒曝，多見風日，氣力即薄歇，宜熟知之。諸藥未即用者，俟天大晴時，於烈日中曝，令大干，以新瓦器貯之，泥頭密封，須用開取，即急封之，勿令中風濕之氣，雖經年亦如新也。其丸散以瓷器貯，密蠟封之，勿令泄氣，則三十年不壞。諸杏仁及子等藥，瓦器貯之，則鼠不能得之也。凡貯藥法，皆須去地三四尺，則土濕之氣不中也。

備急千金要方 卷二婦人方上

唐 孫思邈

求子第一

（論六首 方一十五首 灸法六首 轉女為男法三首）論曰：夫婦人之別有方者，以其胎妊生產崩傷之異故也。是以婦人之病，比之男子十倍 難療。經言，婦人者，眾陰所集，常與濕居，十四以上，陰氣浮溢，百想經心，內傷五臟，外損姿顏，月水去留，前後交互，瘀血停凝，中道斷絕，其中傷墮不可具論矣。然五臟虛實 交錯，惡血內漏，氣脈損竭，或飲食無度，損傷非一，或瘡痍未愈，便合陰陽，或便利於懸 廁之上，風從下入，便成十二痼疾，所以婦人別立方也。若是四時節氣為病，虛實冷熱為患 者，故與丈夫同也。惟懷胎妊而挾病者，避其毒藥耳。其雜病與丈夫同，則散在諸卷中，可 得而知也。然而女人嗜欲多於丈夫，感病倍於男子，加以慈戀，愛憎，嫉妒，憂恚，染著堅 牢，情不自抑，所以為病根深，療之難瘥。故養生之家，

特須教子女學習此三卷婦人方，令其精曉，即於倉卒之秋，何憂畏也。夫四德者，女子立身之樞機，產育者，婦人性命之長務，若不通明於此，則何以免於夭枉者哉。故傅母之徒亦不可不學，常宜繕寫一本，懷挾隨身，以防不虞也。

論曰：人之情性皆願賢己。而疾不及人，至於學問，則隨情逐物，墮於事業，詎肯專一，推求至理，莫不虛棄光陰，沒齒無益。夫婚姻養育者，人倫之本，王化之基。聖人設教備 論，厥旨後生莫能精曉，臨事之日，昏爾若愚，是則徒願賢己，而疾不及人之謬也，斯實不達賢己之趣，而妄徇虛聲以終無用。今具述求子之法，以貽後嗣，同志之士，或可覽焉。

論曰：夫欲求子者，當先知夫妻本命，五行相生，及與德合，並本命不在子休廢死墓中 者，則求子必得。若其本命，五行相克，及與刑殺沖破，並在子休廢死墓中者，則求子了不可得，慎無措意，縱或得者，於後終亦累人。若其相生並遇福德者，仍須依法如方避諸禁忌，則所誕兒子，盡善盡美，難以具陳（禁忌法，受胎時日推旺相貴宿日法，在二十七卷中）。

論曰：凡人無子，當為夫妻俱有五勞七傷，虛羸百病所致，故有絕嗣之患。夫治之之法，男服七子散，女服紫石門冬丸及坐藥蕩胞湯，無不有子也。

七子散

治丈夫風虛目暗，精氣衰少無子，補不足方。

五味子 鐘乳粉 牡荊子 菟絲子 車前子 菥 子 石斛 乾地黃 薯蕷 杜仲 鹿 茸遠志（各八銖） 附子炮 蛇床子 川芎（各六銖） 山茱萸 天雄 人參 茯苓 黃耆 牛膝（各三銖） 桂心（十銖） 蓯蓉（十銖） 巴戟天（十二銖）
上二十四味，治下篩，酒服方寸匕，日二，不知，增至二匕，以知為度，禁如藥法。不能酒者，蜜和丸服亦得。

（一方加覆盆子八銖，求子法一依後房中篇。

朴硝蕩胞湯

治婦人立身以來全不產，及斷緒久不產三十年者方。

朴硝 牡丹 當歸 大黃 桃仁（生用，各三銖） 細辛 濃朴 桔梗 人參 赤芍藥 茯
上十八味， 咀，以清酒、水各五升合煮，取三升，日三夜一，分四服，每服相去三時，更服如常，覆被取少汗。汗不出，冬日著火籠之。必下積血及冷赤膿，如赤小豆汁，本為 婦人子宮內有此惡物使然。或天陰臍下痛，或月水不調，為有冷血不受胎。若斟酌下盡，氣力弱大困，不堪更服，亦可二三服即止。如大悶不堪，可服酢飯冷漿，一口即止。然恐去惡 物不盡，不大得藥力，若能忍服盡大好。一日後仍著導藥。（《千金翼》不用桔梗、甘草）

治全不產及斷緒，服前朴硝湯後，著坐導藥方：

皂莢炙 山茱萸（《千金翼》作苦瓠） 當歸（各一兩） 細辛 五味子 乾薑（各二兩） 大黃
上十味為末，以絹袋盛，大如指，長三寸，盛藥令滿，納婦人陰中。坐臥任意，勿行走 急，小便時去之，更安新者。一日一度，必下青黃冷汁，汁盡即止，可幸御，自有子。若未 見病出，亦可至十日安之。（一本別

有葶藶、砒霜各半兩），此藥為服朴硝湯恐去冷惡物出不盡，以導藥下之。值天陰冷不疼，不須著導藥。亦有著鹽為導藥者，然不如此藥。其服朴硝 湯後，即安導藥，經一日外，乃服紫石門冬丸。

紫石門冬丸

治全不產及斷緒方。

紫石英 天門冬（各三兩） 當歸 芎 紫葳 卷柏 桂心 烏頭 乾地黃 牡蒙（《 千金翼》作牡荊，《外台》作牡蒙） 禹余糧 石斛 辛夷（各二兩） 人參 桑寄生 續 斷細辛 濃朴 乾薑 食茱萸 牡丹 牛膝（各二十銖） 柏子仁（一兩） 薯蕷 烏賊 骨甘草（各一兩半）
上二十六味為末，蜜和丸如梧子大，酒服十丸，日三，漸增至三十丸，以腹中熱為度。

不禁房室，夫行不在，不可服。禁如藥法。比來服者，不至盡劑即有娠。

白薇丸

主令婦人有子方。

白薇 細辛 防風 人參 秦椒 白蘞（一作白芷） 桂心 牛膝 秦艽 蕪荑 沙參 芍（各二十銖） 桃仁 紫石英（各一兩半） 鐘乳 乾地黃 白石英（各二兩） 鼠婦（半兩） 水 蛭虻蟲（各十五枚） 吳茱萸（十八銖） 麻布叩頭（一尺燒）
上三十二味為末，蜜和丸如梧子大，酒服十五丸，日再，稍加至三十丸，當有所去。小覺有異即停服。

又方 治婦人久無子或斷緒上熱下冷，百病皆治之方。

白薇 乾地黃 乾薑 車前子 蜀椒（各十八銖） 紫石英 本 石膏 子 卷 柏（各二十銖） 赤石脂（一兩） 澤蘭 白龍骨 遠志 麥門冬 茯苓 太乙余糧（各二兩） 當 歸芎 蛇床子（各一兩） 白芷 覆盆子 桃仁 人參（各一兩半） 桂心 蒲黃（各二兩 半） 細辛（三兩） 橘皮（半兩）
上二十八味為末，蜜和丸如梧子大，酒服十五丸，日再，漸增至四十丸，以知為度，亦 可至五十丸。慎豬雞生冷，酢滑魚蒜驢馬牛肉等，覺有娠即停。三月正擇食時，可食牛肝及 心。至四月、五月不須，但不可故殺，令子短壽，遇得者大良。

金城太守白薇丸

治月水不利，閉塞絕產十八年，服此藥二十八日有子方。

白薇 細辛（各三十銖） 人參 杜蘅（《古今錄驗》用牡蠣） 牡蒙 濃朴 半夏 白 僵 蠶當歸 紫菀（各十八銖） 牛膝 沙參 乾薑 秦艽（各半兩） 蜀椒 附子 防風（各一兩半）
上十七味為末，蜜和丸如梧子大，先食服三丸，不知可增至四五丸。此藥不可常服，覺 有娠即止，用之大驗（崔氏有桔梗、丹參各十八銖）。

論曰：古者求子，多用慶雲散、承澤丸，今代人絕不用此。雖未試驗，其法可重，故述 之。

慶雲散

治丈夫陽氣不足，不能施化，施化無成方。

覆盆子　五味子（各一升）　天雄（一兩）　石斛　白朮（各三兩）　桑寄生（四兩）　天門冬　（九兩）　紫石英（二兩）　菟絲子（一升）
上九味治下篩，先食，酒服方寸匕，日三。素不耐冷者，去寄生，加細辛四兩。陽氣不少而無子者，去石斛加檳榔十五枚，良。

承澤丸

治婦人下焦三十六疾，不孕絕產方。

梅核仁　辛夷（各一升）　葛上亭長（七枚）　溲疏（二兩）　本（一兩）　澤蘭子（五合）
上六味為末，蜜丸如大豆，先食服二丸，日三。不知稍增之。若腹中無堅癖積聚者，去亭長，加通草一兩。惡甘者，和藥先以苦酒搜散，乃納少蜜和為丸。

大黃丸

治帶下百病無子。服藥十日下血，二十日下長蟲及青黃汁，三十日病除，五大黃（破如米豆，熬令黑）　柴胡　朴硝（熬）　乾薑（各一升）　芎　（五兩）　蜀　椒（二兩）　茯苓（如雞子大一枚）
上七味為末，蜜和丸，如梧桐子大，先食，服七丸，米飲下，加至十丸，以知為度，五日微下。

吉祥丸

治女人積年不孕方。

天麻　柳絮　牡丹　茯苓　乾地黃　桂心（各一兩）　五味子　桃花　白朮　芎　（各二兩）　覆盆子（一升）　桃仁（一百枚）　菟絲子　楮實子（各一升）
上十四味為末，蜜和丸如豆大，每服空心，飲苦酒下五丸，日中一服，晚一服。

硝石大黃丸

治十二瘕癖及婦人帶下，絕產無子，並服寒食藥而腹中有癖者，當先服大丸下之，乃服寒食藥耳。大丸不下水穀，但下病耳。不至令人虛極。方見十一卷中。

秦椒丸

治婦人絕產，生來未產，蕩滌腑臟，使玉門受子精方。

秦椒　天雄（各十八銖）　人參　元參　白薇　鼠婦　白芷　黃耆　桔梗　露蜂房　白僵蠶　桃仁　蟅螬　白薇　細辛　蕪荑（各一兩）　牡蒙　沙參　防風　甘草　牡丹皮　牛膝　卷柏　五味子　芍藥　桂心　大黃　石斛　白朮（各二十銖）　柏子仁　茯苓　當歸　乾薑　（各一兩半）　澤蘭　乾地黃　芎　（各一兩十八銖）　干漆　紫石英　白石英　附子（各二兩）　鐘乳（

上四十四味為末，蜜和丸，如梧子大，酒服十丸，日再，稍加至二十丸。若有所去如豆 汁鼻涕，此是病出。覺有異即停。

灸法

婦人絕子，灸然谷五十壯。在內踝前直下一寸。

婦人絕□不生，胞門閉塞，灸關元三十壯，報之。

婦人妊子不成，若墮落，腹痛，漏見赤，灸胞門五十壯，在關元左邊二寸是也。右邊二寸 婦人絕嗣不生，灸氣門穴，在關元旁三寸，各百壯。婦人子臟閉塞，不受精，疼，灸胞 門五十壯。

婦人絕嗣不生，漏赤白，灸泉門十壯，三報之，穴在橫骨當陰上際。

論曰：陰陽調和，二氣相感，陽施陰化，是以有娠，而三陰所會則多生女。但妊娠二月 名曰始膏，精氣成於胞裡。至於三月，名曰始胎，血脈不流，象形而變，未有定儀，見物而 化，是時男女未分，故未滿三月者，可服藥方術轉之，令生男也。

丹參丸

治婦人始覺有孕，養胎並轉女為男方。

丹參 續斷 芍藥 白膠 白朮 柏子仁 甘草（各二兩） 人參 芎 乾薑（各三十銖） 吳茱萸 橘皮 當歸（各一兩十八銖） 白芷 冠纓（燒灰，各一兩） 乾地黃（一兩半） 蕪荑
上十九味為末，蜜和丸，如梧子大，酒服十丸，日再，稍加至二十丸。

又方 取原蠶屎一枚，井花水服之，日三。

又方 取弓弩弦一枚，絳囊盛，帶婦人左臂，一法以系腰下，滿百日去之。

又方 取雄黃一兩，絳囊盛帶之，要女者，帶雌黃。

又方 以斧一柄，於產婦臥床下置之，仍系刃向下，勿令人知。如不信者，待雞抱卵時，依此置於窠下，一窠兒子盡為雄也。

妊娠惡阻第二

（論二首 方四首 法二首）論曰：何以知婦人妊娠？脈平而虛者，乳子法也。經云，陰搏陽別，謂之有子。此是血 氣和調，陽施陰化也。診其手少陰脈動甚者，妊子也。少陰，心脈也。心主血脈，又腎名胞 門、子戶，尺中，腎脈也，尺中之脈，按之不絕，法妊娠也。三部脈沉浮正等，按之無絕者，有娠也。

妊娠初時，寸微小，呼吸五至。三月而尺數也。

妊娠四月，欲知男女者，左疾為男，右疾為女，左右俱疾為產二子。又法，左手沉實為 男，右手浮大為女，左右手俱沉實，猥生二男，俱浮大猥生二女。尺脈若左偏大為男，右偏 大為女，左右俱大產二子，大者如實狀。又法，左手尺中浮大者男，右手尺中沉細者女。若 來而斷絕者，月水不利。又法，左右尺俱浮為產

二男，不然，女作男生。俱沉為產二女，不爾男作女生。又法，得太陰脈為男，得太陽脈為女，太陰脈沉，太陽脈浮。又遣妊娠人面南 行遠，複呼之，左回首者是男，右回首者是女。又婦人妊娠，其夫左乳房有核是男，右乳房 有核是女。

妊娠欲知將產者，懷妊離經，其脈浮，設腹痛引腰脊，為今出也。但離經者不病也。又法，欲生，其脈離經，夜半覺痛，日中則生也。

論曰：凡婦人虛羸，血氣不足，腎氣又弱，或當風飲冷太過，心下有痰水者，欲有胎而喜病阻。所謂欲有胎者，其人月水尚來，顏色、肌膚如常，但苦沉重，憒悶不欲飲食，又不知其患所在，脈理順時平和，則是欲有娠也。如此經二月，日後便覺不通，則結胎也。阻病者，患心中憒憒，頭重眼眩，四肢沉重，懈惰不欲執作，惡聞食氣，欲啖鹹酸果實，多臥少起，世謂惡食。其至三四月日以上，皆大劇吐逆，不能自勝舉也。此由經血既閉，水漬於臟，臟氣不宣通，故心煩憒悶，氣逆而嘔吐也。血脈不通，經絡痞澀，則四肢沉重，挾風則頭目眩也。覺如此候者，便宜服半夏茯苓湯，數劑後將茯苓丸痰水消除便欲食也。既得食力，體強氣盛，力足養胎，母便健矣。古今治阻病，方有十數首，不問虛實冷熱，長少，殆死者，活於此方。

半夏茯苓湯

治妊娠阻病，心中憒悶，空煩吐逆，惡聞食氣，頭眩體重，四肢百節疼煩 沉重，多臥少起，惡寒，汗出，疲極黃瘦方。

半夏 生薑(各三十銖) 乾地黃 茯苓(各十八銖) 橘皮 旋複花 細辛 人參 芍藥 芎 桔梗 甘草(各十二銖)
上十二味 咀，以水一斗，煮取三升，分三服，若病阻積月日不得治，及服藥冷熱失候，病變客熱煩渴，口生瘡者，去橘皮、細辛，加前胡、知母各十二銖。若變冷下痢者，去乾地黃芩六銖。餘依方服一劑得下後，消息，看氣力冷熱增損方調定，更服一劑湯，便急服茯苓丸，能食便強健也。忌生冷醋滑油膩，菘菜，海藻。

茯苓丸

治妊娠阻病，患心中煩悶，頭眩體重，憎聞飲食氣，便嘔逆吐悶顛倒，四肢垂弱，不自勝持，服之即效。先服半夏茯苓湯兩劑，後服此方。

茯苓 半夏 桂心(熬) 乾薑 橘皮 人參(各一兩) 白朮 葛根 甘草 枳實(各二兩)不用干

青竹茹湯

治妊娠惡阻，嘔吐不下食方。

青竹茹 橘皮(各十八銖) 茯苓 生薑(各一兩) 半夏(三十銖)
上五味 咀，以水六升煮取二升半，分三服，不瘥頻作。

橘皮湯

治妊娠嘔吐不下食方。

橘皮 竹茹 人參 白朮(各十八銖) 生薑(一兩) 濃朴(十二銖)
上六味 咀, 以水七升煮取二升半, 分三服, 不瘥重作。

養胎第三

(論二首 方二十三首 禁忌一首 逐月養胎二十首) 論曰：舊說凡受胎三月, 逐物變化, 稟質未定。故妊娠三月, 欲得觀犀象猛獸, 珠玉寶物, 欲得見賢人君子盛德大師, 觀禮樂鐘鼓俎豆, 軍旅陳設, 焚燒名香, 口誦詩書, 古今箴誡, 居處簡靜, 割不正不食, 席不正不坐, 彈琴瑟, 調心神, 和性情, 節嗜欲。庶事清淨, 生子皆良, 長壽忠孝, 仁義聰惠, 無疾, 斯蓋文王胎教者也。

論曰：兒在胎, 日月未滿, 陰陽未備, 腑臟骨節皆未成足, 故自初訖於將產, 飲食居處皆有禁忌。

妊娠食羊肝, 令子多厄。

妊娠食山羊肉, 令子多病。

妊娠食驢馬肉, 令子延月。食騾肉難產。

妊娠食兔肉、犬肉, 令子無音聲及缺唇。

妊娠食雞子及干鯉魚, 令子多瘡。

妊娠食雞肉、糯米, 令子多寸白蟲。

妊娠食椹並鴨子, 令子倒出, 心寒。

妊娠食雀肉並豆醬, 令子滿面多 黑子。

妊娠食雀肉、飲酒, 令子心淫情亂, 不畏羞恥。

妊娠食鱉, 令子項短。

妊娠食冰漿, 絕胎。

妊娠勿向非常之地大小便, 必半產殺人。

徐之才逐月養胎方：

妊娠一月名始胚, 飲食精熟, 酸美受御, 宜食大麥, 毋食腥辛, 是謂才正。

妊娠一月, 足厥陰脈養, 不可針灸其經(如大敦、行間、太沖、中封、五裡、中 等穴是也。)
足厥陰內屬於肝, 肝主筋及血, 一月之時, 血行痞澀, 不為力事, 寢必安靜, 無令恐畏。

妊娠一月, 陰陽新合為胎, 寒多為痛, 熱多卒驚, 舉重腰痛腹滿胞急, 卒有所下, 當預安之, 宜服烏雌雞湯。

烏雌雞湯方

烏母雞(一只，治如食法) 茯苓 阿膠(各二兩) 吳茱萸(一升) 麥門冬(五合) 人參 芍藥 白朮(各三兩) 甘草 生薑(各一兩)
上十味 咀，以水一斗二升煮雞，取汁六升，去雞下藥，煎取三升，納酒三升，並膠烊盡，取三升，放溫，每服一升，日三。

補胎湯

若曾傷一月胎者，當預服此方。

細辛(一兩) 防風(二兩) 乾地黃 白朮(各三兩) 生薑(四兩) 吳茱萸 大麥(各五合) 烏梅(一升)
上八味 咀，以水七升，煮取二升半，分三服，先食服。多寒者，倍細辛、茱萸。熱多，渴者，去之，加天花粉二兩。若有所思去大麥，加柏子仁三合。(一方有人參一兩。)

妊娠二月名始膏，無食辛臊，居處必靜，男子勿勞，百節皆痛，是為胎始結。

妊娠二月，足少陽脈養，不可針灸其經(如膽竅、邱墟、付陽、絕骨、外立、陽陵泉等穴是也。)
足少陽內屬於膽，主精，二月之時，兒精成於胞裡，當慎護驚動也。

妊娠二月始陰陽踞經，有寒多壞，不成，有熱即萎悴，中風寒，有所動搖，心滿，臍下懸

艾葉湯方

艾葉 丹參 當歸 麻黃(各二兩) 人參 阿膠(各三兩) 甘草(一兩) 生薑(六兩) 大棗(十二枚)
上九味 咀，以酒三升，水一斗煮，減半去滓，納膠煎，取三升，分三服。

(一方用烏母雞一只，宿肥者，治如食法，割頭取血，納三升酒中相和，雞以水一斗二升

黃連湯

若曾傷二月胎者，當預服此方。

黃連 人參(各一兩) 吳茱萸(五合) 生薑(三兩) 生地(五兩，一方用阿膠)
上五味 咀，以酢漿七升煮取三升，分四服，日三夜一。十日一作，若頗覺不安，加烏梅一升。加烏梅者，不用酢漿，只用水耳。(一方用當歸半兩。

妊娠三月名始胎，當此之時，未有定儀，見物而化，欲生男者操弓矢，欲生女者弄珠璣，欲子美好數視璧玉，欲子賢良端坐清虛，是謂外象而內感者也。

妊娠三月，手心主脈養，不可針灸其經(如中沖、勞宮、大陵、內關、間使、 門、曲澤 妊娠三月為定形，有寒大便青，有熱小便難，不赤則黃，猝驚恐憂愁嗔怒喜頓仆，動於經脈，腹滿繞臍，苦痛，或腰背痛，猝有所下，宜服雄雞湯。

雄雞湯方

雄雞(一只，治如食法) 黃芩 白朮 生薑(各一兩) 麥冬(五合) 芍藥(四兩) 大棗(十二枚，掰) 甘草 人參 茯苓 阿膠(各二兩)
上十一味 咀，以水一斗五升煮雞，減半，出雞納藥，煮取半，納清酒三升，並膠煎，取三升，分三服，一日令盡，當溫臥。

(一方用當歸、芎各二兩，無黃芩、生薑。

茯神湯

若曾傷三月胎者，當預服此方。

茯神 丹參 龍骨(各一兩) 阿膠 當歸 甘草 人參(各二兩) 大棗(二十一枚)赤小豆(二十一粒)
上九味 咀，以酢漿一斗，煮取三升，分四服，先食服，七日後服一劑，腰痛者加桑寄生二兩(深師有薤白二兩，麻子一升)。

妊娠四月始受水精，以成血脈，食宜稻粳，羹宜魚雁，是謂盛血氣以通耳目而行經絡。

妊娠四月手少陽脈養，不可針灸其經(如關沖、陽池、內關、三陽、天井、曲垣等穴是也。)手少陽內輸三焦，四月之時，兒六腑順成，當靜形體，和心志，節飲食。

妊娠四月，有寒，心下慍慍欲嘔，胸膈滿，不欲食，有熱，小便難，數數如淋狀，臍下苦急，猝風寒，頸項強痛，寒熱，或驚動身軀，腰背腹痛，往來有時，胎上迫胸，心煩不得安，猝有所下，宜服菊花湯。

菊花湯方

菊花(雞子大，一枚) 麥門冬(一升) 大棗(十二枚) 人參(一兩半) 甘草 當 歸(各二兩) 麻黃 阿膠(各三兩) 半夏(四兩) 生薑(五兩)
上十味 咀，以水八升，煮減半，納清酒三升並膠煎，取三升，分三服，溫臥，當汗以粉粉之，護風寒四五日。

(一方用烏雌雞一只煮水煎藥。

調中湯

若曾傷四月胎者，當預服此方。

白芍 生薑(各四兩) 濃朴 枳實 生李根白皮 白朮 柴胡(各三兩) 續斷 川芎 甘草(各一兩) 當歸(一兩半) 烏梅(一升)
上二味 咀，以水一斗，煮取三升，分四服，日三夜一，八日後複服一劑。

妊娠五月始受火精，以成其氣，臥必晏起，沐浴浣衣，深其居處，濃其衣服，朝吸天光以避寒殃，其食稻麥，其羹牛羊，和以茱萸，調以五味，是謂養氣，以定五臟。

妊娠五月，足太陰脈養，不可針灸其經（如隱白、大都、公孫、商邱、三陰交、漏谷、陰陵泉等穴是也。）足太陰內輸於脾，五月之時，兒四肢皆成，無大飢，無甚飽，無食乾燥，無自炙熱，無太勞倦。

妊娠五月多熱，苦頭眩，心亂嘔吐，有寒，苦腹滿痛，小便數，猝有恐怖，四肢疼痛，寒熱；胎動無常處，腹痛悶頓欲仆，猝有所下，宜服阿膠湯。

阿膠湯方

阿膠（四兩） 人參（一兩） 生薑（六兩） 當歸 芍藥 甘草 黃芩（各二兩） 旋複花（二合） 吳茱萸（七合） 麥冬（一升）
上十味 咀，以水九升，煮藥減半，納清酒三升並膠，微火煎取三升半，分四服，日三夜一，先食服便愈，不瘥再服。

一方用烏母雞一只，割取咽血納酒中，以水煮雞，以煎藥減半，納酒並膠煎，取三升半，分四服。

安中湯

若曾傷五月胎者，當預服此方。

黃芩（一兩） 當歸 川芎 乾地黃 人參（各二兩） 甘草 芍藥（各三兩） 生薑（六兩） 麥冬（一升） 五味子 大麻仁（各五合） 大棗（三十五枚）
上十二味 咀，以水七升，清酒五升，煮取三升半，分四服，日三夜一，七日複服一劑

妊娠六月，始受金精，以成其筋，身欲微勞，無得靜處，出游於野，數觀走犬，及視走馬，食宜鷙鳥猛獸之肉，是謂變腠理，紉筋，以養其力，以堅背膂。

妊娠六月，足陽明脈養，不可針灸其經（如萬厲、豐隆、陰市、上下廉、三裡等穴是也。）足陽明內屬於胃，主其口目，六月之時，兒口目皆成，調五味，食甘美，無大飽。

妊娠六月，猝有所動不安，寒熱往來，腹內脹滿，身體腫，驚怖，忽有所下，腹痛如欲產，手足煩疼，宜服麥冬湯。

麥門冬湯方

麥冬（一升） 人參 甘草 黃芩（各二兩） 乾地黃（三兩） 阿膠（四兩） 生薑（六兩）
上八味 咀，以水七升，煮減半，納清酒二升，並膠煎取三升，分三服，中間進糜粥。

一方用烏母雞一只煮水以煎藥。

柴胡湯

若曾傷六月胎者，當預服此方。

柴胡(四兩) 白朮 芍藥(一方作紫葳) 甘草 麥冬 芎 (各二兩) 生薑(六 兩) 干 地黃(五兩) 大棗(三十枚) 蒞蓉(一兩)
上十味 咀, 以水一斗, 煮取三升, 分四服, 日三夜一。中間進糜粥, 勿食生冷及堅硬之物。七日更服一劑。

妊娠七月, 始受木精, 以成其骨, 勞身搖肢, 無使定止, 動作屈伸, 以運血氣, 居處必燥, 飲食避寒, 常食稻粳, 以密腠理, 是謂養骨而堅齒。

妊娠七月手太陰脈養, 不可針灸其經(如少商、魚際、列缺、尺澤、天衍等穴是也。)手太陰內屬於肺, 主皮毛, 七月之時, 兒皮毛已成, 無大言, 無號哭, 無薄衣, 無洗浴, 無寒飲。

妊娠七月, 忽驚恐搖動腹痛, 猝有所下, 手足厥冷, 脈若傷寒, 煩熱腹滿, 短氣, 常苦頸項及腰背強, 宜服蔥白湯。

蔥白湯方

蔥白(長三四寸, 十四莖) 半夏 麥冬(各一升) 旋複花(一合) 黃芩(一兩) 人參(一兩半) 甘草 當歸 黃耆 (各三兩) 阿膠(四兩) 生薑(八兩)
上十一味 咀, 以水八升煮減半, 納清酒三升及膠煎取四升, 每服一升, 日三夜一。溫臥, 當汗出。若不出者, 加麻黃二兩, 煮、服如前法。若秋後勿強責汗。

一方以黃母雞一只, 割咽取血, 納酒中煮雞, 取汁以煎藥。

杏仁湯

若曾傷七月胎者, 當預服此方。

杏仁 甘草(各二兩) 紫菀(一兩) 鐘乳 乾薑(各二兩) 麥冬 吳茱萸(各一升) 粳 米(五合) 五味子(五合)
上九味 咀, 以水八升, 煮取三升半, 分四服, 日三夜一, 中間進食, 七日服一劑。

一方用白雞一只煮汁煎藥。

妊娠八月始受土精, 以成膚革, 和心靜息, 無使氣極, 是謂密腠理, 而光澤顏色。

妊娠八月, 手陽明脈養, 不可針灸其經(如商陽、二間、合谷、上下廉、三裡、曲池、肩井、肩 等穴是也。)手陽明內屬於大腸, 主九竅, 八月之時, 兒九竅皆成, 無食燥物, 無輒失食, 無忍大起。

妊娠八月中風寒, 有所犯觸, 身體盡痛, 乍寒乍熱, 胎動不安, 常苦頭眩痛, 繞臍下寒, 時時小便白如米汁, 或青或黃, 或使寒栗, 腰背苦冷而痛, 目□□, 宜服芍藥湯。

芍藥湯

芍藥 生薑(各四兩) 濃朴(二兩) 甘草 當歸 白朮 人參(各三兩) 薤白(切, 一升)
上八味 咀, 以水五升, 清酒四升, 合煮取三升, 分三服, 日再夜一。

一方用烏母雞煮汁以煎藥。

葵子湯

若曾傷八月胎者，當預服此方。

葵子（二升） 甘草 濃朴（各二兩） 白朮 柴胡（各三兩） 芍藥（四兩） 生薑（六兩） 大棗（二十枚）
上八味 咀，以水九升，煮取三升，分三服，日三。十日一劑。

一方用烏雌雞一只，煮水以煎藥。

妊娠九月，始受石精，以成皮毛，六腑百節，莫不畢備，飲醴食甘，緩帶自持而待之，是謂養毛髮致才力。

妊娠九月，足少陰脈養，不可針灸其經（如涌泉、然谷、太溪、交信、築賓、複溜等穴 是也。）足少陰內屬於腎，腎主續縷。九月之時，兒脈續縷皆成，無處濕冷，無著炙衣。

妊娠九月，若猝得下痢，腹滿懸急，胎上沖心，腰背痛不可轉側，短氣，宜服半夏湯。

半夏湯

半夏 麥門冬（各五兩） 吳茱萸 當歸 阿膠（各三兩） 乾薑（一兩） 大棗（十二枚）
上七味 咀，以水九升，煮取三升，去滓，納白蜜八合，微火上溫，分四服，痢即止

一方用烏母雞一只，煮汁以煎藥。

豬腎方

若曾傷九月胎者當預服此方。

豬腎（一具） 茯苓 桑寄生 乾薑 乾地黃 川芎（各三兩） 白朮（四兩） 麥冬（一升） 附子（中者一枚） 大豆（三合）
上十味 咀，以水一斗，煮腎令熟，去腎納諸藥，煎取三升半，分四服，日三夜一，十日更一劑。

妊娠十月，五臟俱備，六腑齊通，納天地氣於丹田，故使關節人神皆備，俟時而生。

妊娠一月始胚，二月始膏，三月始胞，四月形體成，五月能動，六月筋骨立，七月毛髮生，八月臟腑具，九月穀氣入胃，十月諸神備，日滿即產矣。宜服滑胎藥，入月即服。

丹參膏

養胎臨月服，令滑而易產方。

丹參（半斤） 川芎 當歸（各三兩） 蜀椒（五合，有熱者以大麻仁五合代）
上四味 咀，以清酒漬濕停一宿以成，煎豬膏四升，微火煎，膏色赤如血，膏成，新布絞去滓，每日取如棗許，納酒中服之，不可逆服。至臨月乃可服，舊用常驗。

甘草散

令易生，母無疾病，未生一月，日預服，過三十日，行步動作如故，兒生墮地皆不自覺方。

甘草（二兩） 黃芩（一方用茯苓） 乾薑 吳茱萸 大豆黃卷 麻子仁 桂心 大麥 □（一方用粳米，各三兩）

千金丸

主養胎，及產難顛倒胞不出，服一丸，傷毀不下，產餘病汗不出，煩滿不止，氣逆滿，以酒服一丸，良。一名保生丸方。

甘草 貝母 秦椒 大豆黃卷 乾薑 桂心 黃芩 粳米（一作糯米） 石斛 石膏（各六銖） 當歸（十三銖） 麻子（三合）
上十二味為末，蜜和丸如彈子大，每服一丸，日三，用棗湯下。

一方用蒲黃一兩。

蒸大黃丸

治妊娠養胎令易產方。

大黃（三十銖，蒸） 枳實 川芎 白朮 杏仁（各十八銖） 芍藥 乾薑 濃朴（各十二銖） 吳茱萸（一兩）
上九味為末，蜜和丸如梧子大，空腹酒下二丸，日三，不知稍加之。

滑胎令易產方

阿膠（八兩） 滑石（二兩） 車前子（一升）
上三味治下篩，飲服方寸匕，日再，至生月乃服。藥利九竅，不可先服。

妊娠諸病第四

（此篇有十章 方八十九首 灸法三首）第一 胎動及數墮胎（方六首 灸法一首）

治妊娠二三月，上至八九月，胎動不安，腰痛已有所見方：

艾葉 阿膠 川芎（《肘後》不用） 當歸（各三兩） 甘草（一兩）
上五味 咀以水八升，煮取三升，去滓，納膠令消，分三服，日三。

治妊娠胎動去血，腰腹痛方：

阿膠（二兩） 川芎 當歸 青竹茹（各三兩）
上四味 咀，以水一斗半，煮銀二斤，取六升，去銀納藥煎，取二升半，納膠令烊，分三服，不瘥仍作。

一方用甘草二兩。

葱白湯

治妊娠胎動不安腹痛方。

葱白(切，一升) 阿膠(二兩) 當歸 續斷 川芎(各三兩)
上五味 咀，以水一斗，先煮銀六七兩，取七升，去銀納藥，煎取二升半，下膠令烊，分三服、不瘥重作。

治妊娠胎動，晝夜叫呼，口噤唇搴及下重痢不息方。

艾葉一升 咀，以好酒五升煮取四升，去滓更煎，取一升服。口閉者格口灌之，藥下即瘥。亦治妊娠腰痛及妊娠熱病，並妊娠卒下血。

旋複花湯

治妊娠六七月胎不安常服之方。

旋複花(一兩) 半夏 芍藥 生薑(各二兩) 枳實 濃朴 白朮 黃芩 茯苓(各三兩)
上九味 咀，以水一斗煮取二升半，分五服，日三夜二，先食服。

治妊娠數墮胎方：

取赤小豆為末，酒服方寸匕，日二。亦治妊娠數月，月水尚來者。

又方 妊娠三月灸膝下一寸七壯。

第二 漏胞(方四首)

治妊娠下血如故，名曰漏胞，胞干便死方：

生地黃半斤， 咀，以清酒二升，煮三沸，絞去滓服之，無時，能多服佳。(姚大夫加 黃雌雞一頭，治如食法，崔氏取雞血和藥中服之。)

治妊娠血下不止，名曰漏胞，血盡子死方：

乾地黃，搗末，以三指撮，酒服，不過三服。

又方 生地黃汁一升，以清酒四合，煮三四沸，頓服，不止頻服。

又方 乾薑(二兩) 乾地黃(四兩)
上二味治下篩，以酒服方寸匕，日再，三服。

第三 子煩(方二首)

竹瀝湯

治妊娠常苦煩悶，此是子煩。

竹瀝(一升) 麥冬 防風 黃芩(各三兩) 茯苓(四兩)
上五味， 咀，以水四升，合竹瀝煮取二升，分三服，不瘥再作。

又方 時時服竹瀝隨多少取瘥止。

第四 心腹腰痛及脹滿方(二十首)

治妊娠心痛方：

青竹皮一升，以酒二升煮三兩沸，頓服之。

又方 破生雞子一枚，和酒服之。

又方 白蜜(三兩) 羊脂(八兩) 青竹茹(一升)
上三味合煎，食頃服如棗核大三枚，日三。

又方 蜜一升，和井底泥，泥心下。

又方 燒棗二七枚為末，童便服立愈。

治妊娠腹中痛方：

生地黃三斤，搗絞取汁，用清酒一升，合煎減半頓服，良。

又方 燒車 脂，納酒中服，亦治妊娠咳嗽，並難產三日不出。

又方 取蜜一升，頓服，良。

治妊娠腹中滿痛入心，不得飲食方：

黃芩(三兩) 白朮(六兩) 芍藥(四兩)
上三味 咀，以水六升煮取三升，分三服，半日令藥盡。微下水，令易生，月飲一劑 為

治妊娠忽苦心腹痛方：

燒鹽令赤熱，三指撮，酒服之立瘥。

治妊娠傷胎結血心腹痛方：

取小兒尿二升，頓服之立瘥，大良。

治妊娠中惡心腹痛方：

新生雞子二枚，破著杯中，以糯米粉和如粥，頓服。亦治妊娠猝胎動不安，或但腰痛，或胎轉搶心，或下血不止。

又方 以水三升洗夫靴，剔汁溫服。

治妊娠中蟲心腹痛方：

燒敗鼓皮，酒服方寸七，須臾自呼蟲主姓名。

治妊娠腰痛方：

大豆二升，以酒三升，煮取二升，頓服之。亦治常人猝腰痛。

又方　麻子三升，以水五升，煮取汁三升，分五服，亦治心痛。

又方　香豉（二兩）榆白皮（三兩
上二味熟搗，蜜丸如桐梧子大，服二七丸。亦治心痛。

又方　燒牛屎焦末，水服方寸七，日三服。

又方　地黃汁八合，酒五合，合煎，分溫服。

治妊娠脹滿方：

秤錘燒之，淬酒中服。亦治妊娠猝下血。

第五　傷寒（方一十六首）

治妊娠傷寒，頭痛壯熱，肢節煩疼方：

石膏（八兩）大青　黃芩（各三兩）蔥白（切，一升）前胡　知母　梔子仁（各四兩）
上七味　咀，以水七升煮取二升半，去滓，分五服，相去如人行七八裡久再服。

治妊娠頭痛壯熱，心煩嘔吐、不下食方：

知母（四兩）粳米（五合）生蘆根（一升）青竹茹（三兩）
上四味　咀，以水五升煮取二升半，緩緩飲之，盡更作，瘥止。

治妊娠傷寒服湯後，頭痛壯熱不歇，宜用此湯拭其身：

麻黃（半斤）竹葉（切，一升）石膏末（三升）
上三味以水五升煮取一升，去滓，冷，以拭身體。又以故布　頭額胸心，燥則易之，患　瘧

治妊娠傷寒方：

蔥白（十莖）生薑（二兩，切）
上二味以水三升，煮取一升半，頓服取汗。

治妊娠中風寒熱，腹中絞痛，不可針灸方：

鯽魚一頭，燒作灰，搗末，酒服方寸七，取汗。

治妊娠遭時疾，令子不落方：

取灶中黃土，水和塗臍，干複塗之。一方酒和塗方五寸。又泔清和塗之並佳。

又方 犬尿泥塗腹，勿令乾。

治妊娠熱病方：

蔥白（五兩） 豆豉（二升）
上二味以水六升煮取二升，分二服，取汗。

又方 蔥白一把，以水三升煮，令熟服之，取汗，食蔥令盡。亦主安胎。若胎已死者，須臾即出。

又方 車轄脂，酒服，大良。

又方 井底泥，泥心下三寸，立愈。

又方 青羊屎，塗腹上。

又方 水服伏龍肝一雞子大。

治大熱煩悶者方：

葛根汁二升，分三服，如人行五裡久進一服。

又方 燒大棗七枚為末，酒和服。

又方 槐實燒灰，取方寸匕，酒和服。

第六 瘧病（方二首） 妊娠患瘧方：

恆山（二兩） 甘草（一兩） 黃芩（三兩） 烏梅（十四枚） 石膏（八兩）
上五味 咀，以酒水各一升半，合漬藥一宿，煮三四沸，去滓，初服六合，次服四合，後服二合，凡三服。

又方 恆山 竹葉（各三兩） 石膏（八兩） 粳米（一百粒，崔氏《外台》作糯米，《集驗》、《救急》作秫米）
上四味 咀，以水六升，煮取二升半，去滓，分三服。第一服取未發前一食頃服之，第過發後乃進粥食。

第七 下血（方十一首）

治妊娠忽暴下血數升，胎燥不動方：

榆白皮（三兩） 當歸 生薑（各二兩） 乾地黃（四兩） 葵子（一升，《肘後》不用）
上五味 咀，以水五升，煮取二升半，分三服，不瘥更作服之。甚良。

馬通湯

治妊娠猝驚奔走，或從高墮下，暴出血數升方。

馬通汁(一升) 乾地黃 阿膠(各四兩) 當歸 艾葉(各三兩)
上五味 咀, 以水五升, 煮取二升半, 去滓, 納馬通汁及膠, 令烊, 分三服, 不瘥重作。

膠艾湯

治妊娠二三月, 上至七八月, 其人頓仆失踞, 胎動不下, 傷損, 腰腹痛欲死, 若有所見, 及胎奔上搶心, 短氣方。

艾葉(三兩) 阿膠 川芎 白芍 甘草 當歸(各二兩) 乾地黃(四兩)
上七味 咀, 以水五升, 好酒三升, 合煮取三升, 去滓納膠, 更上火令消盡, 分三服, 日三, 不瘥更作。

治妊娠猝下血方：

葵子一升, 以水五升, 煮取二升, 分三服, 瘥止。

又方 生地黃切一升, 以酒五升, 煮取三升, 分三服, 亦治落身後血。

又方 葵根莖燒作灰, 以酒服方寸匕, 日三。

蟹爪湯

治妊娠僵仆失據, 胎動轉上搶心, 甚者血從口出, 逆不得息, 或注下血一斗五升, 胎不出, 子死則寒熨人腹中, 急如產狀, 虛乏少氣, 困頓欲死, 煩悶反覆, 服藥母即得安, 下血亦止, 其當產者立生方。

蟹爪(一升) 甘草 桂心(各二尺) 阿膠(二兩)
上四味 咀, 以東流水一斗煮取三升, 去滓, 納膠烊盡, 能為一服佳, 不能者食頃再服。若口急不能飲者, 格口灌之, 藥下便活也, 與母俱生。若胎已死, 獨母活也。若不僵仆, 平安妊娠無有所見, 下血服此湯即止。或云桂不安胎, 亦未必爾。

治妊娠胎墮下血不止方：

丹參十二兩, 咀, 以清酒五升煮取三升, 溫服一升, 日三。

又方 地黃汁和代赭末, 服方寸匕。

又方 桑蠍蟲屎燒灰, 酒服方寸匕。

香豉湯

治半產, 下血不盡, 苦來去煩滿欲死方。

香豉一升半, 以水三升煮三沸, 漉去滓, 納鹿角末一方寸匕, 頓服之, 須臾血自下。

鹿 第八 小便病(方十五首 灸法一首)

治妊娠小便不利方：

葵子(一升) 榆白皮(一把, 切)
上二味以水五升煮五沸, 每服一升, 日三。

又方 葵子 茯苓(各一兩
上二味為末, 以水服方寸匕, 日三, 小便利則止。(仲景云：妊娠有水氣, 身重, 小便不利, 洒淅惡寒, 起即頭眩。)

治妊娠患子淋方：

葵子一升, 以水三升, 煮取二升, 分再服。

又方 葵根一把, 以水三升, 煮取二升, 分再服。

治妊娠小便不通利方：蕪菁子十合為末, 水和服方寸匕, 日三。

治妊娠尿血方：

黍穰燒灰, 酒服方寸匕, 日三。

治婦人無故尿血方：

龍骨五兩, 治下篩, 酒服方寸匕, 空腹服, 日三, 久者二十服愈。

又方 爪甲 亂髮
上二味並燒灰, 等分, 酒服方寸匕, 日三, 飲服亦得。

又方 桂心 鹿角屑 大豆黃卷(各一兩)
上三味治下篩, 酒服方寸匕, 日三服。

又方 取夫爪甲燒作灰, 酒服之。

又方 取故船上竹茹, 曝乾搗末, 酒服方寸匕, 日三。亦主遺尿。

治婦人遺尿不知出時方：

白薇 芍藥(各一兩)
上二味治下篩, 酒服方寸匕, 日三。

又方 礬石 牡蠣(各二兩)
上二味治下篩, 酒服方寸匕, 亦治丈夫。

又方 胡燕窠中草燒末, 酒服半錢匕, 亦治丈夫。

又方 燒遺尿人荐草灰, 服之瘥。

又方 灸橫骨當陰門七壯。

第九 下痢(方八首 灸法一首)

治妊娠下痢方：

人參 黃芩 酸石榴皮(各三兩) 櫸皮(四兩) 粳米(三合)
上五味 咀，以水七升，煮取二升半，分三服。

又方 白楊皮一斤 咀，以水一大升，煮取二小升，分三服。

又方 燒中衣帶三寸為末，服之。

又方 羊脂如棋子大十枚，溫酒一升，投中頓服之，日三。

治妊娠患濃血赤滯、魚腦白滯，腹臍絞痛，不可忍者方：

薤白(切，一升) 酸石榴皮 阿膠(各二兩) 黃柏(三兩，《產寶》作黃連) 地榆(四兩)
上五味 咀，以水七升，煮取二升半，分三服，不瘥更作。

治妊娠注下不止方：

阿膠 艾葉 酸石榴皮(各二兩)
上三味 咀。以水七升，煮取二升，去滓納膠令烊，分三服。

治妊娠及產已寒熱下痢方：

黃連(一升) 黃柏(一斤) 梔子(二十枚)
上三味 咀，以水五升漬一宿，煮三沸，服一升，一日一夜令盡。嘔者加橘皮一兩，生薑二兩。亦治丈夫常痢。

治婦人痢、欲痢輒先心痛腹脹滿，日夜五六十行方：

石榴皮 曲 黃柏(一作麥) 烏梅 川連 艾(各一兩) 防己(二兩，一作防風)阿膠
上十味為末，蜜和丸如梧子大，飲服二十丸，日三，漸加至三十、四十丸。

治婦人水泄痢方：

灸氣海百壯三報。

第十 水腫(方五首)

治妊娠體腫有水氣，心腹急滿方：

茯苓 白朮(各四兩，崔氏無術) 黃芩 杏仁(各三兩) 旋複花(二兩)
上五味 咀，以水六升，煮取二升半，分三服。

鯉魚湯

治妊娠腹大，胎間有水氣方。

鯉魚（一頭，二斤） 白朮（五兩） 生薑（三兩） 芍藥 當歸（各三兩） 茯苓（四兩）
上六味 咀，以水一斗二升先煮魚，熟澄清，取八升，納藥煎，取三升，分五服。

治妊娠毒腫方：

蕪菁根洗淨去皮，搗酢和如薄泥，勿令有汁，猛火煮之二、三沸，適性敷腫以帛急裹之，日再。寒時溫覆。非根時用子，若腫在咽中，取汁含咽之。

又方 燒 牛屎酢和敷之，干則易，亦可服方寸匕，日三。

治妊娠手腳皆腫攣急方：

赤小豆（五升） 商陸根（一斤，切）
上二味以水三斗，煮取一斗，稍稍飲之，盡更作。一方加澤漆一斤。

產難第五

（論一首八條 方二十一首 針法一首）論曰：產婦雖是穢惡，然將痛之時，及未產已產，並不得令死喪污穢家人來，視之則生難，若已產者則傷兒也。

婦人產乳，忌反支月。若值此月，當在牛皮上，若灰上勿令水血惡物著地則殺人。及浣濯衣水，皆以器盛，過此忌月乃止。

凡生產不依產圖，脫有犯觸，於後母子皆死，若不至死，即母子俱病，庶事皆不稱心。

若能依圖，無所犯觸，母即無病，子亦易養。凡欲產時特忌多人瞻視，惟得二三人在旁，待產訖，乃可告語諸人也。若人眾看視，無不難產。

凡產婦第一不得匆匆忙怕，旁人極須穩審，皆不得預緩預急及憂悒，憂悒則難產。若腹痛眼中火生，此兒回轉，未即生也。兒出訖，一切人及母皆忌問是男是女，兒始落地，與新汲井水五咽，忌與暖湯物，勿令母看視穢污。

凡產婦慎食熱藥、熱面，食常識此。飲食當如人肌溫溫也。

凡欲臨產時，必先脫尋常所著衣，以籠灶頭及灶口，令至密即易產也。

凡產難及子死腹中，並逆生與胞胎不出，諸篇方可通檢用之。

治產難，或半生，或胎不下，或子死腹中，或著脊及坐草數日不產，血氣上搶心，母面無顏色，氣欲絕者方：

醇酒(二升) 白蜜 成煎豬膏(各一升)
上三味合煎取二升，分再服。不能再服，可隨所能服之。治產後惡血不除，上搶心，痛煩急者，以地黃汁代醇酒。

治產難方：

槐枝(切，二升) 榆白皮(切) 大麻仁(各一升) 瞿麥 通草(各五兩) 牛膝(四兩)
上六味 咀，以水一斗二升，煮取三升半，分五服。

又方 吞皂莢子二枚。

又方 取廁前已用草二七枚，燒灰水調服之。

又方 令夫唾婦口中二七過立出。

又方 針兩肩井入一寸瀉之，須臾即分娩。

治產難三日不出方：

取鼠頭燒作屑，井花水服方寸七，日三。

又方 車軸脂吞大豆許兩丸。

又方 燒藥杵令赤，納酒中飲之。

又方 燒大刀環，以酒一杯沃之，頓服即出，救死不分娩者。

治產難累日，氣力乏盡，不能得生，此是宿有病者方：

阿膠(二兩) 赤小豆(二升)
上二味以水九升，煮豆令熟，去滓，納膠令烊，一服五合，不覺更服，不過三服即出。

又方 槐子(十四枚) 蒲黃(一合
上二味合納酒中溫服，須臾，不生再服之。水服亦得。

又方 生薑汁 生地黃汁(各半升)
上二味合煎熟，頓服之。

治產難及日月未足而欲產者方：

知母一兩為末，蜜丸如兔屎大，每服一丸，痛不止更服一丸。

羚羊角散

治產後心悶，是血氣上沖心所致者方。

羚羊角一枚，燒作灰，治下篩，以東流水服方寸七，若不瘥，須臾再服。取悶瘥乃止。

又方 羊角燒作灰，以溫酒服方寸匕，不瘥須臾再進。(《備急方》以治產難)

治產乳運絕方：
半夏一兩搗篩，丸如大豆，納鼻孔中即愈。此扁鵲法也。

又方 神曲末，水服方寸匕。亦治難產。

又方 赤小豆搗為散，東流水服方寸匕，不瘥更服。

又方 含釅醋 面即愈，凡悶即 之愈。

又方 取釅醋和產血如棗大服之。

治心悶方：產後心悶，眼不得開，即當頂上取發如兩指大，強以人牽之，眼即開。

子死腹中第六

(論一首 方十七首) 論曰：凡婦人產難，死生之候，母面赤，舌青者，兒死母活。母唇口青，口兩邊沫出者，母子俱死。母面青，舌赤，口中沫出者，母死子活。

治動胎及產難，子死腹中，並妊娠二兒一死一生，服之令死者出，生胎安，神驗方：

蟹爪(一升) 甘草(二尺) 阿膠(三兩)
上三味以東流水一斗，先煮蟹爪、甘草得三升，去滓，次納膠令烊，頓服之，不能分再服，若人困拗口納藥，藥入即活，煎藥作東向灶，用葦薪煮之。

真珠湯

治胎死腹中方。

熟真珠(一兩) 榆白皮(切，一升)
上二味，以苦酒三升，煮取一升，頓服之立出。

治子死腹中不出方：以牛屎塗母腹上，立出。

又方 取灶心黃土三指撮，以酒服之立出。土當著兒頭上，亦治逆生及橫生不出，手足先見者。

又方 取夫尿二升煮，令沸飲之。

又方 酢二升，拗口開灌之。

又方 吞槐子二七枚，亦治逆生。

又方 三家雞卵各一枚，三家鹽各一撮，三家水各一升，合煮，令產婦東向飲之，立

又方瞿麥一斤，以水八升煮取二升，服一升，不出再服。

治胎死腹中，乾燥著背方：

葵子（一升） 阿膠（五兩）
上二味以水五升，煮取二升，頓服之，未出再煮服。

治妊娠未足月而胎卒死不出，其母欲死方：

以苦酒濃煮大豆，每服一升，死胎立出。不能頓服，分再服。

一方用醇酒煮大豆，亦治積聚成瘕。

治妊娠胎死腹中，若子生，胞衣不出，腹中引腰背痛方：

甘草（一尺） 筒桂（四寸） 雞子（一枚） 蒲黃（二合） 香豉（二升）
上五味以水六升，煮取一升，頓服之，胎胞穢惡盡去，大良。

治妊娠得病須去胎方：

以雞子一枚，鹽三指撮和服立下。（此與阮河南療難產相同）

又方 麥芽一升為末，蜜和一升，服之立下。

又方 七月七日神曲三升，酢一升，煮兩沸，宿不食，平旦頓服之即下。

又方 大麥曲五升，酒一斗，煮三沸，去滓，分五服，令盡，當宿勿食，其子如糜，令母肥盛無疾苦。

逆生第七

（論一首 方十四首）論曰：凡產難，或兒橫生、側生，或手足先出，可以針錐刺兒手足，入一二分許，兒得痛驚轉即縮，自當回順也。

治逆生方：

以鹽塗兒足底，又可急爪抓之，並以鹽摩產婦腹上即愈。

又方 以鹽和粉塗兒足下即順。（《子母秘錄》云：以鹽和胡粉。）

又方 取梁上塵如彈丸許二枚，治末三指撮，溫酒服之。

治逆生及橫生不出，手足先見者方：

燒蛇蛻皮為末，服一刀圭，（亦云三指撮），面向東，酒服即順。

又方 取蟬殼二枚，治為末，三指撮許，溫酒服之。（崔氏《外台》、《子母秘錄》作彈丸二枚為末，酒服。）

又方 取夫陰毛二七莖，燒，以豬膏和丸如大豆，吞之，兒手即持丸出，神驗。

又方 取蛇蛻皮燒灰，豬膏和丸，向東服。

又方 以手中指取釜底墨交畫兒足下即順生。

又方 取父名書兒足下即順生。

治橫生及足先出者方：

取梁上塵灶突墨，酒服之。

又方 取車 中脂，書兒足下及掌中。

治縱橫生不可出者方：

菟絲子末，酒若米汁服方寸七，即生。車前子亦好，服如上法。

又方 以若酒服灶突墨塵。

治產時子但趨穀道方 熬鹽熨之自止。

胞胎不出第八

（方二十二首）

牛膝湯

治產兒胞衣不出、令胞爛方。

牛膝 瞿麥（各一兩） 當歸 通草（各一兩半） 滑石（二兩，一作桂心二兩） 葵 子（半 升）
上六味 咀，以水九升，煮取三升，分三服。

治產難，胞衣不出橫倒者，及兒死腹中，母氣欲絕方：

半夏 白薇（各二兩）
上二味，治下篩，服方寸七，產難一服，橫生二服，倒生三服，兒死四服。亦可加代赭、瞿麥各二兩為佳。

治胎死腹中，若母病欲下之方：

取榆白皮細切，煮汁三升，服之即下，難生者亦佳。

又方 牛膝（三兩） 葵子（一升）
上二味以水七升，煮取三升，分三服。

又方 澤蘭葉（三兩） 滑石（五合） 生麻油（二合）
上三味以水一升半，煮澤蘭取七合，去滓，納滑石、麻油，頓服之。

治胞衣不出方：

取小麥合小豆，煮令濃，飲其汁立出。亦治橫逆生者。

又方　瓜瓣二七枚，服之立出，良。

又方　取水煮弓弩弦，飲其汁五合，即出。亦可燒灰，酒服。

又方　取宅中所埋柱，掘出取坎底，當柱下土大如雞子，酒和服之良。

又方　墨三寸為末，酒服。

又方　取蒲黃如棗許，以井花水服。

又方　苦酒服真珠一兩。

又方　雞子一枚，苦酒一合，和飲之。

治逆生胎不出方：

取灶屋上墨，以酒煮一兩沸，取汁飲之。

治產後胞不得出方：

井底土如雞子中黃，以井花水和服之，立出。

治子死腹中，若衣不出，欲上搶心方：

急取蟻蛭土三升，熬令熱，囊盛熨心下，令胎不得上搶心，良。

又方　末灶突中墨三指撮許，以水若酒調服之，立出，當著兒頭生。

又方　取夫內衣蓋井上，立出。

又方　取炊薇當戶前燒服之。

下乳第九

（方二十一首）

鐘乳湯

治婦人乳無汁方。

石鐘乳　硝石（一用滑石）　白石脂（各六銖）　通草（十二銖）　桔梗（半兩、切）
上五味　咀，以水五升煮三沸，三上三下，去滓，納硝石，令烊，分服。

又方　石鐘乳　通草（各等分）
上二味為末，粥飲服方寸匕，日三。後可兼養兩兒。（通草橫心者是，勿取羊桃根色黃無益）

一方二味，酒五升，漬一宿，明旦煮沸，去滓，服一升，日三，夏冷服，冬溫服。

又方　石鐘乳（四兩）甘草（二兩，一方不用）漏蘆（三兩）通草　栝蔞根（各五兩）
上五味　咀，以水一斗，煮取三升，分三服。（一云用栝蔞實一枚）

又方　石鐘乳　通草（各一兩）漏蘆（半兩）桂心　甘草　栝蔞根（各六銖）
上六味治下篩，酒服方寸匕，日三，最驗。

又方　石鐘乳　漏蘆（各二兩）
上二味，治下篩，飲服方寸匕，即下。

漏蘆湯

治同前。

漏蘆　通草（各二兩）石鐘乳（一兩）黍米（一升）
上四味　咀，米宿漬揩撻，取汁三升，煮藥三沸，去滓。作飲飲之，日三。

漏蘆散

治同前。

漏蘆（半兩）石鐘乳　栝蔞根（各一兩）蠐螬（三合）
上四味治下篩，先食糖水，服方寸匕，日三。

單行石膏湯

治同前。

石膏四兩研細，以水二升，煮三沸，稍稍服，一日令盡。

麥門冬散

治同前。

麥門冬　石鐘乳　通草　理石
上四味各等分，治下篩，先食，酒服方寸匕，日三。

又方　麥門冬　通草　理石　石鐘乳　土瓜根　大棗　蠐螬
上七味等分，治下篩，食畢用酒服方寸匕，日三。

又方　母豬蹄一具，粗切，以水二斗熟煮，得五六升汁飲之，不出更作。

又方　豬蹄（二枚，熟炙，捶碎）通草（八兩，切細）
上二味以清酒一斗浸之，稍稍飲之，不出更作。（《外台》豬蹄不炙，以水一斗煮，取　四升入酒，四升更煮，飲之。）

又方 栝蔞根切一升，酒四升，煮三沸，去滓，分三服。

又方 栝蔞根 漏蘆（各三兩） 石鐘乳（四兩） 白頭翁（一兩） 滑石 通草（各二兩）
上六味，治下篩，以酒服方寸匕，日三。

又方 取栝蔞子尚青色大者一枚熟搗，以白酒一斗，煮取四升，去滓，溫服一升，日三。

黃色小者用二枚亦好。

又方 土瓜根治下篩，服半錢匕，日三。乳如流水。

單行鬼箭湯

治同前。

鬼箭五兩，以水六升，煮取四升，每服八合，日三。亦可燒作灰，水服方寸匕，日三。

甘草散

治同前。

甘草（一兩） 通草（三十銖） 石鐘乳（三十銖） 雲母（二兩半） 屋上散草（二把，燒成 灰）
上五味治下篩，食後溫漏蘆湯服方寸匕，日三，乳下止。

又方 燒死鼠作屑，酒服方寸匕，日三，立下，勿令知。

又方 燒鯉魚頭為末，酒服三指撮。

鯽魚湯

下乳汁方。

鯽魚（一尾，長七寸） 豬肪（半斤，切） 漏蘆 石鐘乳（各八兩）
上四味，切豬肪，魚不須洗治，以清酒一斗二升合煮，魚熟藥成，絞去滓，適寒溫，分五服。其間相去鬚臾，一飲令藥力相及為佳，乳即下。

備急千金要方 卷三婦人方中

唐 孫思邈

（凡八類）

虛損第十

（論一首五條 方二十首）論曰：婦人非只臨產須憂，至於產後，大須將慎，危篤之至，其在於斯。勿以產時無他，乃縱心恣意，無所不犯。犯時微若秋毫，感病廣於嵩岱，何則？產後之病，難治於餘病也。婦人產訖，五臟虛羸，惟得將補，不可轉瀉。若其有病，不須 藥。若行 藥，轉更增虛，就中更虛，向生路遠。所以婦人產後百日以來，極須殷勤，憂畏勿縱心犯觸及即便行房。

若有所犯，必身反強直，猶如角弓反張，名曰蓐風，則是其犯候也。若似角弓，命同轉燭，凡百女人，宜好思之。苟或有微不慎，戲笑作病，一朝困臥，控告無所。縱多出財寶，遍處求醫，醫者未必解此。縱得醫來，大命已去，何處追尋。學人於此一方，大須精熟，不可同於常方耳。特忌上廁便利，宜室中盆上佳。

凡產後滿百日，乃可合會，不爾至死，虛羸百病滋長，慎之。

凡婦人皆患風氣，臍下虛冷，莫不由此，早行房故也。

凡產後七日內惡血未盡，不可服湯，候臍下塊散，乃進羊肉湯，痛甚切者，不在此例。

後兩三日消息可服澤蘭丸，比至盈月，丸盡為佳。不爾虛損，不可平複也。全極消瘦，不可救者，服五石澤蘭丸。凡在蓐，須服澤蘭丸補之，服法必七日外，不得早服也。

凡婦人因暑月產乳，取涼太多，得風冷，腹中積聚，百病競起，迄至於老，百方治不能瘥，桃仁煎主之。出蓐後服之，婦人縱令無病，每至秋冬，須服一兩劑，以至年內，常將服之佳。

四順理中丸

產訖可服此方。

甘草 人參 白朮 乾薑（各一兩）
上四味為末，蜜和丸如梧子大，服十丸，稍增至二十丸，新生臟虛，所以養臟氣也。

桃仁煎

治婦人產後百疾，諸氣補益悅澤方。

桃仁一千二百枚，搗令細熟，以上好酒一斗五升，研濾三四遍，如作麥粥法，以極細為 佳，納長頸瓷瓶中，密塞以面封之，納湯中煮一伏時不停火，亦勿令火猛，使瓶口常出在湯上，無令沉沒，熟訖出，溫酒服一合，日再服，雖丈夫亦可服也。

石斛地黃煎

治婦人虛羸短氣、胸逆滿悶。風氣方。

石斛 甘草 紫菀（各四兩） 桃仁（半升） 桂心（二兩） 大黃（八兩） 麥門冬（二升） 茯苓（一斤） 生地黃汁 醇酒（各八升）

上十味為末，於銅器中炭火上熬，納鹿角膠一斤，耗得一斗，次納飴三斤，白蜜三升和調，更於銅器中釜上煎，微耗，以生竹攪，無令著，耗令相得，藥成先食酒服，如彈子一丸，日三，不知稍加至二丸。一方用人參三兩。

地黃羊脂煎

治婦人產後欲令肥白，飲食平調方。

生地黃汁（一斗） 生薑汁 白蜜（各五升） 羊脂（二斤）
上四味，先煎地黃，令得五升，次納羊脂合煎，減半，納薑汁複煎，令減，合蜜著銅器中，

地黃酒

治產後百病。未產前一月，當預釀之。產訖，蓐中服之方。

地黃汁（一升） 好曲（一斗） 好米（二升）
上三味，先以地黃汁漬曲令發，準家法醞之，至熟，封七日，取清服之，常使酒氣相接，勿令斷絕，慎蒜、生冷，酢滑豬雞魚，一切婦人皆須忌之。但夏三月熱不可合，春秋冬並得合服地黃，並滓納米中炊合用之。一石、十石一準此，一升為率。先服羊肉當歸湯，三劑，乃服之佳。

羊肉湯

治產後虛羸，喘乏，自汗出，腹中絞痛方。

肥羊肉（去脂三斤） 當歸（一兩，姚氏用蔥白） 桂心（二兩） 甘草（二兩） 芎（三兩《子母秘錄》作豉一升） 芍藥（《子母秘錄》作蔥白） 生薑（各四兩） 乾地黃（五兩）
上八味， 咀，以水一斗半先煮肉，取七升，去肉，納餘藥，煮取三升，去滓，分三服，不瘥重作（《翼方》有蔥白一斤。《子母秘錄》有胸中微熱加黃芩、麥門冬各一兩，頭痛加石膏一兩，中風加防風一兩，大便不利加大黃一兩，小便難加葵子一兩，上氣咳逆加五味子一兩。）

豬腎湯

治產後虛羸，喘乏，乍寒乍熱，如瘧狀，名蓐勞方。

豬腎（去脂，剖一具） 香豉（綿裹） 白粳米 蔥白（各一斗）
上四味，以水三斗，煮取五升，去滓，任情服之，不瘥更作（《廣濟方》有人參、當歸各

羊肉黃湯

治產後虛乏補益方。

羊肉（三斤） 黃耆（三兩） 大棗（三十枚） 茯苓 甘草 當歸 桂心 麥門冬 乾地黃
上十味， 咀，以水二斗煮羊肉，取一斗，去肉，納諸藥，煎取三升，去滓，分三服，日三。

鹿肉湯

治產後虛羸勞損補乏方。

鹿肉(四斤) 乾地黃 甘草 芎 (各三兩) 黃耆 芍藥 麥門冬 茯苓(各二兩)人參 當歸 生薑(各二兩) 半夏(一升) 大棗(二十枚)
上十三味， 咀，以水二斗五升，煮肉，取一斗三升，去肉，納藥，煎取五升，去滓，分四服，日三夜一。

獐骨湯

治產後虛乏，五勞七傷，虛損不足，臟腑冷熱不調方。

獐骨(一具) 遠志 黃耆 芍藥 乾薑 防風 茯苓 濃朴(各三兩) 當歸 橘皮 甘草 獨活 芎 (各二兩) 桂心 生薑(各四兩)
上十五味， 咀，以水三斗煮獐骨，取二斗，去骨，納藥煎取五升，去滓分五服。

當歸芍藥湯

治產後虛損，逆害飲食方

當歸(一兩半) 芍藥 人參 桂心 生薑 乾地黃 甘草(各一兩) 大棗(二十枚)
上八味， 咀，以水七升，煮取三升，去滓，分三服，日三。

杏仁湯

治產後氣虛方

杏仁 橘皮 白前 人參(各三兩) 蘇葉 半夏(各一升) 桂心(四兩) 生薑(十兩) 麥門冬(一兩)
上九味， 咀，以水一斗二升煮取三升半，去滓，分五服。

治婦人產後上氣，奔豚、積勞、臟氣不足，胸中煩躁，關元以下如懷五千錢狀方：

濃朴 桂心 當歸 細辛 芍藥 石膏 桔梗(各三兩) 甘草 黃芩 澤瀉(各二兩)吳茱萸(五兩,《千金翼》作大黃) 乾地黃(四兩) 乾薑(一兩)
上十三味， 咀，以水一斗二升，煮取三升，去滓，分三服，服三劑佳。

乳蜜湯

治產後七傷，虛損，少氣不足，並主腎勞寒冷補氣方。

牛乳(七升，無則用羊乳) 白蜜(一升半) 當歸 人參 獨活(各三兩) 大棗(二十枚)
上八味， 咀，諸藥以乳蜜中煮取三升，去滓，分四服。

五石湯

治產後虛冷七傷，時寒熱，體痛乏力，補腎，治百病方。

紫石英 鐘乳 白石英 赤石脂 石膏 茯苓 白朮 桂心 芎 甘草(各二兩) 薤白(六兩) 人參 當歸(各三兩) 生薑(八兩) 大棗(二十枚)
上十五味，五石並為末，諸藥各 咀，以水一斗二升，煮取三升六合，去滓，分六服。若中風，加葛根、獨活各二兩，下痢加龍骨一兩。

三石湯

主病如前方。

紫石英 生薑 當歸 人參 甘草(各二兩) 白石英 鐘乳(各二兩半) 茯苓 乾地黃
上十二味，三石為末， 咀諸藥，以水一斗二升煮取三升，去滓，分四服。若中風，加葛根四兩。

內補黃湯

治婦人七傷，身體疼痛，小腹急滿，面目黃黑，不能飲食並諸虛乏不足，少氣，心悸不安方。

黃 當歸 芍藥 乾地黃 半夏(各三兩) 茯苓 人參 桂心 遠志 麥門冬 甘草 五味子 白朮 澤瀉(各二兩) 乾薑(四兩) 大棗(三十枚)
上十六味， 咀，以水一斗半，煮取三升，去滓，一服五合，日三夜一服。

吳茱萸湯

治產後虛羸，盜汗，澀惡寒方。

吳茱萸三兩，以清酒三升漬一宿，煮如蟻鼻沸，減得二升許，半分之頓服一升，日再，間日再作服。亦治產後腹中疾痛。

豬膏煎

治產後體虛，寒熱自汗出方。

豬膏 生薑汁 白蜜(各一升) 清酒(五合)
上四味，煎令調和，五上五下，膏成隨意以酒服方寸匕，(當炭火上熬)。

鯉魚湯

治婦人體虛，流汗不止，或時盜汗方。

鯉魚(二斤) 豉 蔥白(切，各一升) 乾薑 桂心(各二兩)
上五味， 咀四物，以水一斗煮魚，取六升，去魚，納諸藥，微火煮取二升，去滓，分二服。取微汗即愈，勿用生魚。

桂枝加附子湯

治產後風虛，汗出不止，小便難，四肢微急，難以屈伸者方。

桂枝　芍藥　生薑（各三兩）甘草（一兩半）附子（二枚）大棗（十二枚）
上六味，　咀，以水七升，煎取三升，分三服。

虛煩第十一

（方十一首）

薤白湯

治產後胸中煩熱逆氣方。

薤白　半夏　甘草　人參　知母（各二兩）石膏（四兩）栝蔞根（三兩）麥門冬（半升）
上八味，　咀，以水一斗三升，煮取四升，去滓，分五服，日三夜二，熱甚即加石膏、知母各一兩。

竹根湯

治產後虛煩方。

甘竹根細切一斗五升，以水二斗，煮取七升，去滓，納小麥二升，大棗二十枚，複煮麥熟三四沸，納甘草一兩，麥門冬一升，湯成去滓，服五合，不瘥更服取瘥。短氣亦服之。

人參當歸湯

治產後煩悶不安方。

人參　當歸　麥門冬　乾地黃　桂心（各一兩）大棗（二十枚）粳米（一升）芍藥（四兩）淡竹葉（三升）
上九味，　咀，以水一斗二升，先煮竹葉及米，取八升，去滓，納藥煮取三升，去滓，分三服。若煩悶不安者，當取豉一升，以水三升煮取一升，盡服之，甚良。

甘竹茹湯

治產後內虛、煩熱短氣方。

甘竹茹（一升）人參　茯苓　甘草（各一兩）黃芩（三兩）
上五味，　咀，以水六升，煮取二升，去滓，分三服，日三。

知母湯

治產後乍寒乍熱，通身溫壯，胸心煩悶方。

知母（三兩）芍藥　黃芩（各二兩）桂心　甘草（各一兩）
上五味，　咀，以水五升，煮取二升半，分三服。

一方不用桂心加生地。

竹葉湯

治產後心中煩悶不解方。

生淡竹葉　麥門冬(各一升)　甘草(二兩)　生薑　茯苓(各三兩)　大棗(十四枚)小麥(五合)
上七味，　咀，以水一斗，先煮竹葉、小麥，取八升，納諸藥，煮取三升，去滓，分三服。若心中虛悸者，加人參二兩。其人食少無穀氣者，加粳米五合。氣逆者加半夏二兩。

淡竹茹湯

治產後虛煩，頭痛、短氣欲絕，心中悶亂不解方。

生淡竹茹(一升)　麥門冬　小麥(各五合)　甘草(一兩)　生薑(三兩,《產寶》用干葛)
上六味，　咀，以水一斗煮竹茹、小麥，取八升，去滓，納諸藥，煮取一升，去滓，分二服，羸人分作三服，若有人參入一兩，若無人參，納茯苓一兩半亦佳。人參、茯苓皆治心煩悶及心虛驚悸，安定精神，有則為良，無自依方服一劑，不瘥更作。若氣逆者加半夏二兩

赤小豆散

治產後虛煩，不能食，虛滿方。

赤小豆三七枚，燒作末，以冷水和，頓服之良。

蒲黃散

治產後煩悶方。

蒲黃以東流水和方寸匕，服極良。

蜀漆湯

治產後虛熱往來，心胸煩滿，骨節疼痛及頭痛壯熱，晡時輒甚，又如微瘧方

蜀漆葉　桂心　甘草　黃芩(各一兩)　黃耆　(五兩)　知母　芍藥(各二兩)　生地黃(一斤)
上八味，　咀，以水一斗，煮取三升，分三服。治寒熱不傷人。

芍藥湯

治產後虛熱頭痛方。

白芍藥　乾地黃　牡蠣(各五兩　桂心(三兩
上四味，　咀，以水一斗，煮取二升半，去滓，分三服，日三。此湯不傷損人，無毒，亦治腹中拘急痛。若通身發熱，加黃芩二兩。

中風第十二

（論一首 方三十首）論曰：凡產後角弓反張及諸風病，不得用毒藥，惟宜單行一兩味，亦不得大發汗，特忌 轉吐瀉利，必死無疑，大豆紫湯，產後大善。

大豆紫湯

治產後百病及中風痱瘂，或背強口噤，或但煩熱，苦渴，或頭身皆重，或身癢，劇者嘔逆直視，此皆因虛風冷濕及勞傷所為方。

大豆（五升） 清酒（一斗）
上二味，以鐵鐺猛火熬豆，令極熱，焦煙出，以酒沃之，去滓，服一升，日夜數服，服 盡，更合小汗則愈。一以去風，二則消血結。如妊娠傷折，胎死在腹中三日，服此酒即瘥。

獨活紫湯

治產後百日中風瘂口噤不開，並治血氣痛，勞傷，補腎方。

獨活（一斤） 大豆（五升） 酒（一斗三升）
上三味，先以酒漬獨活，再宿，若急，須微火煮之，令減三升，去滓，別熬大豆極焦，使煙出，以獨活酒沃之，去豆服一升，日三夜二。

小獨活湯

治如前狀方。

獨活（八兩） 葛根 生薑（各六兩） 甘草（二兩）
上四味 咀，以水九升，煮取三升，去滓，分四服，微汗佳。

甘草湯

治在蓐中風，背強不得轉動，名曰風瘂方。

甘草 乾地黃 麥門冬 麻黃（各二兩） 栝蔞根 芎 黃芩（各三兩） 杏仁（五十枚）
上九味， 咀，以水一斗五升，酒五升合煮葛根，取八升，去滓，納諸藥，煮取三升，去滓，分再服，一劑不瘥，更合良。（《千金翼》崔氏有前胡三兩）

獨活湯

治產後中風，口噤不能言方。

獨活 生薑（各五兩） 防風 秦艽 桂心 白朮 甘草 當歸 附子（各二兩） 葛根（三兩） 防己（一兩）
上十一味， 咀，以水一斗二升，煮取三升，去滓，分三服。

雞糞酒

治產後中風及百病，並男子中一切風，神效方。

雞糞（一升，熬令黃） 烏豆（一升，熬令聲絕，勿焦）
上二味，以清酒三升半，先淋雞糞，次淋豆取汁，一服一升，溫服取汗，病重者凡四五日服之，無不愈。

竹葉湯

治產後中風，發熱面正赤，喘氣頭痛方。

淡竹葉（一握） 葛根（三兩） 防風（二兩） 桔梗 甘草 人參 桂心（各一兩） 大附子（一枚） 生薑（五兩） 大棗（十五枚）
上十味， 咀，以水一斗，煮取二升半，去滓，分三服，日三，溫覆，使汗出。若頸 項強者，用大附子。若嘔者加半夏四兩。

防風湯

治產後中風，背急短氣方。（《千金翼》作裡急短氣） 防風 獨活 葛根（各五兩） 當歸 芍藥 人參 甘草 乾薑（各二兩）
上八味， 咀，以水九升，煮取三升，去滓，分三服，日三。

鹿肉湯

治產後風虛，頭痛壯熱，言語邪僻方。

鹿肉（三斤） 芍藥 獨活 秦艽 黃芩 黃耆 （各三兩） 半夏（一升） 乾地黃（二兩） 桂心 芎 （各一兩） 生薑（六兩） 甘草 阿膠（各一兩） 茯苓（《千金翼》作茯神） 人參 （各四兩）
上十五味， 咀，以水二斗，煮肉得一斗二升，去肉，納藥，煎取三升，去滓，納膠令烊，分四服，日三夜一。

獨活湯

治產後中風方。

獨活（一斤） 桂心（三兩） 秦艽（五兩）
上三味， 咀，以酒一斗半，漬三日，飲五合，稍加至一升，不能多飲，隨性服。

大豆湯

治產後卒中風，發病倒悶不知人，及妊娠挾風，兼治在蓐諸疾方。

大豆（五升，炒令微焦） 葛根 獨活（各八兩） 防己（六兩）
上四味， 咀，以酒一斗二升，煮豆取八升，去滓，納藥，煮取四升，去滓，分六服，日四夜二。

五石湯

治產後卒中風，發疾口噤，倒悶吐沫，瘈瘲 眩冒不知人，及濕痺緩弱，身體痙，妊娠 百病方。

紫石英（三兩） 鐘乳 赤石脂 石膏 白石英 牡蠣 人參 黃芩 白朮 甘草 桔 萯 根芎 桂心 防己 當歸 乾薑（各二兩） 獨活（三兩） 葛根（四兩）
上十八味末五石， 咀諸藥，以水一斗四升煮取三升半，分五服，日三夜二。一方有滑 石、寒水石各二兩，棗二十枚。

四石湯

治產後卒中風，發疾口噤，瘈瘲 悶滿不知人，並緩急諸風，毒痺，身體痙強，及挾胎中風，婦人百病方。

紫石英 白石英 石膏 赤石脂（各三兩） 獨活 生薑（各六兩） 葛根（四兩） 桂心 芎 甘草 芍藥 黃芩（各二兩）
上十二味 咀，以水一斗二升，煮取三升半，去滓，分五服。日三夜二。

小柴胡湯

治婦人在蓐得風，蓋四肢苦煩熱，皆自發露所為，若頭不痛但煩熱，與三物黃芩湯，頭痛與小柴胡湯方。

柴胡（半斤） 黃芩 人參 甘草（各三兩） 生薑（二兩） 大棗（十二枚） 半夏（半升）
上七味， 咀，以水一斗二升，煮取六升，去滓，服一升，日三服。

三物黃芩湯方

黃芩 苦參（各二兩） 乾地黃（四兩）
上三味 咀，以水八升，煮取二升，去滓，適寒溫，服一升，日二，多吐下蟲。

甘草湯

治產後腹中傷絕，寒熱恍惚，狂言見鬼，此病中風內絕，臟氣虛所為方。

甘草 芍藥（各五兩） 通草（三兩，《產寶》用當歸） 羊肉（三斤）
上四味 咀，以水一斗六升，煮肉，取一斗，去肉納藥，煮取六升，去滓，分五服，日三夜二。

羊肉湯

治產後中風，久絕不產，月水不利，乍赤乍白，及男子虛勞冷甚方。

羊肉（二斤） 成擇大蒜（去皮，切） 香豉（各三升）
上三味，以水一斗三升，煮取五升，去滓，納酥一升，更煮取三升，分溫三服。

葛根湯

治產後中風，口噤痙痺，氣息迫急，眩冒困頓，並產後諸疾方。

葛根 生薑(各六兩) 獨活(四兩) 當歸(三兩) 甘草 桂心 茯苓 石膏 人參 白朮 川芎 防風(各二兩)
上十二味 咀，以水一斗二升，煮取三升，去滓，分三服，日三。

防風酒

治產後中風方。

防風 獨活(各一斤) 女萎 桂心(各二兩) 茵芋(一兩) 石斛(五兩)
上六味 咀，以酒二斗漬三宿，初服一合，稍加至三、四合，日三。

治產後中柔風，舉體疼痛，自汗出者及餘百疾方：

獨活(八兩) 當歸(四兩)
上二味 咀，以酒八升，煮取四升，去滓，分四服，日三夜一，取微汗。(葛氏單用獨活。《短劇》加當歸。若上氣者加桂心二兩，不瘥更作。

木防己膏

治產後中風方。

木防己(半斤) 茵芋(五兩)
上二味 咀，以苦酒九升漬一宿，豬膏四升，煎三上三下膏成，炙手摩千遍瘥。

浴湯

治產後中風流腫方。

鹽(五升，熬令赤) 雞毛(一把，燒作灰)
上二味，以水一石煮鹽作湯，納雞毛灰著湯中，適冷暖以浴，大良。又浴婦人陰冷腫痛，凡風腫，面欲裂破者，以紫湯一服瘥，神效。(紫湯是炒黑豆作者)

治產後中風頭面手臂通滿方：

大豆三升，以水六升，煮取一升半，去豆澄清，更煎取一升。納白朮八兩，附子、獨活各三兩，生薑八兩，添水一斗，煮取五升，納好酒五升，合煎，取五升，去滓，分五服，日 三夜二，間粥頻服三劑。

茯神湯

治產後忽苦，心中忡悸，或志意不定，恍恍惚惚，言語錯謬，心虛所致方。

茯神(四兩) 人參 茯苓(各三兩) 芍藥 甘草 當歸 桂心(各一兩) 生薑(八兩)大棗(三十枚)
上九味 咀，以水一斗，煮取三升，去滓，分三服，日三良。

遠志湯

治產後忽苦心中忡悸不定，志意不安，言語錯誤，惚惚憒憒，情不自覺方。

遠志　麥門冬　人參　甘草　當歸　桂心（各二兩）芍藥（一兩）茯苓（五兩）生薑（六兩）大棗（二十枚）
上十味　咀，以水一斗煮取三升，去滓，分三服，日三。羸者分四服。產後得此，正是心虛所致。無當歸用芎，若其人心胸逆氣，加半夏三兩。

茯苓湯

治產後暴苦心悸不安，言語錯謬，恍恍惚惚，心中憒憒，此皆心虛所致方。

茯苓（五兩）甘草　芍藥　桂心　當歸（各二兩）生薑（六兩）麥門冬（一升）大棗（三十枚）
上八味　咀，以水一斗，煮取三升，去滓，分三服，日三。無當歸可用芎　。若苦心志不安，加人參二兩，亦可納遠志二兩。若苦煩悶短氣，加生竹葉一升，先以水一斗三升，煮竹葉取一斗，納藥。若有微風，加獨活三兩，麻黃二兩，桂心二兩，用水一斗五升。若頸強苦急，背膊強者，加獨活，葛根各三兩，麻黃、桂心各二兩，生薑八兩，用水一斗半。

安心湯

治產後心忡悸不定，恍恍惚惚，不自知覺，言語錯誤，虛煩短氣，志意不定，此是心虛所致方。

遠志　甘草（各二兩）人參　茯神　當歸　芍藥（各三兩）麥門冬（一升）大棗（三十枚）
上八味　咀，以水一斗，煮取三升，去滓，分三服，日三。若苦虛煩短氣者，加淡竹葉二升，水一斗二升，煮竹葉取一斗，納藥。若胸中少氣者，加甘草為三兩善。

甘草丸

治產後心虛不足，虛悸，心神不安，吸吸乏氣，或若恍恍惚惚，不自知覺者甘草　遠志　菖蒲（各三兩）人參　麥門冬　乾薑　茯苓（各二兩）澤瀉　桂心（各一兩）大棗（五十枚）
上十味為末，蜜和丸如大豆，酒服二十丸，日四五服，夜再服，不知稍加。若無澤瀉，以白朮代之。若胸中冷，增乾薑。

人參丸

治產後大虛，心悸，志意不安，不自覺恍惚恐畏，夜不得眠，虛煩少氣方。

人參　甘草　茯苓（各三兩）麥門冬　菖蒲　澤瀉　薯蕷　乾薑（各二兩）桂心（一兩）
上十味為末，以蜜棗膏和丸如梧子，未食酒服二十丸，日三夜一，不知稍增。若有遠志，納二兩佳。若風氣加當歸、獨活各三兩。亦治男子虛損心悸。

大遠志丸

治產後心虛不足，心下虛悸志意不安，恍恍惚惚，腹中拘急痛，夜臥不安，胸中吸吸少氣，內補傷損，益氣，安定心神，亦治虛損方。

遠志 甘草 桂心 茯苓 麥門冬 人參 當歸 白朮 澤瀉 獨活 菖蒲(各三兩) 薯蕷 阿膠(各二兩) 乾薑(四兩) 乾地黃(五兩)
上十五味為末，蜜和丸如大豆，未食溫酒服二十丸，日三，不知稍增，至五十丸。若大虛，身體冷，少津液，加鐘乳三兩為善。

心腹痛第十三

(方二十六首)

蜀椒湯

治產後心痛，此大寒冷所為方。

蜀椒(二合) 芍藥(一兩) 當歸 半夏 甘草 桂心 人參 茯苓(各二兩) 蜜(一升)
上十味 咀，以水九升，煮椒令沸，然後納諸藥，煮取二升半，去滓，納薑汁及蜜煎 取三升，一服五合，漸加至六合，禁勿冷食。

大岩蜜湯

治產後心痛方。

乾地黃 當歸 獨活 甘草 芍藥 桂心 細辛 小草(各二兩) 吳茱萸(一升) 乾薑(三兩)
上十味 咀，以水九升，煮取三升，納蜜五合重煮，分三服，日三。(胡洽不用獨活、桂心、甘草，《千金翼》不用蜜)

乾地黃湯

治產後兩脅滿痛，兼治百病方。

乾地黃 芍藥(各三兩) 當歸 蒲黃(各二兩) 生薑(五兩) 桂心(六兩) 甘草(一兩)
上八味 咀，以水一斗，煮取二升半，去滓，分三服，日三。

芍藥湯

治產後苦少腹痛方。

芍藥(六兩) 桂心 生薑(各三兩) 甘草(二兩) 膠飴(八兩) 大棗(十二枚)
上六味 咀，以水七升，煮取四升，去滓，納飴令烊，分三服，日三。

當歸湯

治婦人寒疝，虛勞不足，若產後腹中絞痛方。

當歸 芍藥(各二兩,《子母秘錄》作甘草) 生薑(五兩) 羊肉(一斤)
上四味 咀,以水八升煮羊肉,熟取汁煎藥,得三升,適寒溫服七合,日三。(《金匱 要略》、胡洽不用芍藥,名小羊肉湯。)

桃仁芍藥湯

治產後腹中疾痛方。

桃仁(半升) 芍藥 川芎 當歸 干漆 桂心 甘草(各二兩)
上七味, 咀,以水八升,煮取三升,分三服。

羊肉湯

治產後及傷寒,大虛上氣,腹痛兼微風方。

肥羊肉(二斤,無羊肉用獐鹿肉代) 茯苓 黃耆 乾薑(各三兩) 甘草 獨活 桂心 人參(各二兩) 麥門冬(七合) 生地黃(五兩) 大棗(十二枚)
上十一味, 咀,以水二斗,煮肉,取一斗,去肉納藥,煮取三升半,分四服,日三夜一。(《千金翼》無乾薑)

羊肉當歸湯

治產後腹中心下切痛,不能食,往來寒熱,中風乏氣力方。

羊肉(三斤) 當歸 黃芩(《肘後》用黃) 芎 防風(《肘後》用人參) 甘草(各二
上八味, 咀,以水一斗二升,先煮肉熟,減半,納餘藥,取三升,去滓,分三服,日三。(胡洽以黃 代黃芩,白朮代芍藥,名大羊肉湯。《子母秘錄》以桂心代防風,加大棗十七枚良)

羊肉杜仲湯

治產後腰痛咳嗽方。

羊肉(四斤) 杜仲 紫菀 當歸 白朮 桂心(各三兩) 五味子 細辛 款冬花 人參
上十八味, 咀,以水二斗半煮肉,取汁一斗五升,去肉納藥,煎取三升半,去滓,分五服,日三夜二。

羊肉地黃湯

治產後三日腹痛,補中益臟,強氣力消血方。

羊肉(三斤) 生地黃(切,二升) 桂心 當歸 甘草 芎 人參(各二兩) 芍藥(三兩)
上八味 咀,以水二斗煮肉,取一斗,去肉納藥煎取三升,分四服,日三夜一。

內補當歸建中湯

治產後虛羸不足,腹中 痛不止,吸吸少氣,或苦小腹拘急,痛引腰背,不能飲食,產後一月,日得服四、五劑為善,令人力壯方。

當歸(四兩) 芍藥(六兩) 甘草(二兩) 生薑(六兩) 桂心(三兩) 大棗(十枚)
上六味 咀, 以水一斗, 煮取三升, 去滓, 分三服, 一日令盡。若大虛納飴糖六兩, 湯 成納之於火上暖, 令飴消。若無生薑則以乾薑三兩代之。若其人去血過多, 崩傷內竭不止, 加地黃六兩, 阿膠二兩。合八種作湯, 或去滓, 納阿膠。若無當歸以芎 代之。

內補芎湯

治婦人產後虛羸及崩傷過多, 虛竭, 腹中絞痛方。

芎 地黃(各四兩) 芍藥(五兩) 桂心(二兩) 甘草 乾薑(各三兩) 大棗 (四十枚)
上七味, 咀, 以水一斗二升, 煮取三升, 去滓, 分三服, 日三。不瘥, 複作, 至三劑。若有寒, 苦微下, 加附子三兩, 治婦人虛羸少氣, 傷絕, 腹中拘急痛, 崩傷虛竭, 面目無 色

大補中當歸湯

治產後虛損不足, 腹中拘急或溺血, 少腹苦痛, 或從高墮下犯內, 及金瘡血多, 內傷男 子亦服之方。

當歸 續斷 桂心 芎 乾薑 麥門冬(各三兩) 芍藥(四兩) 吳茱萸(一升) 干 地黃(六兩) 甘草 白芷(各二兩) 大棗(四十枚)
上十二味 咀, 以酒一斗, 漬藥一宿, 明旦以水一斗合煮, 取五升, 去滓, 分五服, 日 三夜二, 加黃 二兩益佳。

桂心酒

治產後小腹痛及猝心腹痛方。

桂心三兩, 以酒三升, 煮取二升, 去滓, 分三服, 日三。

生牛膝酒

治產後腹中苦痛方。

生牛膝五兩, 以酒五升, 煮取二升, 分二服。若用干牛膝根以酒漬一宿, 然後可煮。

治產後腹中如弦, 常堅痛無聊賴方:

當歸末二方寸匕, 納蜜一升煎, 適寒溫頓服之。

吳茱萸湯

治婦人先有寒冷, 胸滿痛, 或心腹刺痛, 或嘔吐食少, 或腫, 或寒, 或下痢, 氣息綿 欲絕, 產後益劇, 皆主之方。

吳茱萸(二兩) 防風 桔梗 乾薑 甘草 細辛 當歸(各十二銖) 乾地黃(十八 銖)
上八味 咀, 以水四升煮取一升半, 去滓, 分再服。

蒲黃湯

治產後餘疾，胸中少氣，腹痛，頭疼，餘血未盡，除腹中脹滿欲死方。

蒲黃 生地黃 生薑(各五兩) 芎 桂心(各一兩) 芒硝(一兩) 桃仁(二十枚) 大棗(十五枚)
上八味 咀，以水九升，煮取二升半，去滓，納芒硝，分三服，日三，良。

敗醬湯

治產後疹痛引腰，腹中如錐刀所刺方。

敗醬(三兩) 桂心 芎 (各一兩半) 當歸(一兩)
上四味 咀，以清酒二升，水四升，微火煮取二升，去滓，適寒溫服七合，日三，食前 服之。(《千金翼》只用敗醬一味)

芎湯

治產後腹痛方。

芎 甘草(各二兩) 蒲黃 女萎(各一兩半) 芍藥 大黃(各三十銖) 當歸(十八銖)
上十二味 咀，以水一斗，酒三升，合煮取二升，去滓，分四服，日三夜一。

獨活湯

治產後腹痛引腰痛拘急痛方。

獨活 當歸 桂心 芍藥 生薑(各三兩) 甘草(二兩) 大棗(二十枚)
上七味 咀，以水八升，煮取三升，去滓，分三服，服後相去如人行十裡久再進。

芍藥黃湯

治產後心腹痛方。

芍藥(四兩) 黃耆 白芷 桂心 生薑 人參 芎 當歸 乾地黃 甘草(各二兩) 茯苓(三兩) 大棗(十枚)
上十二味， 咀，以酒水各五升，合煮取三升，去滓，先食服一升，日三。(《千金翼 》無人參、當歸、川芎、地黃、茯苓，為七味)

治產後腹脹痛不可忍者方：

煮黍粘根為飲，一服即愈。

治婦人心痛方：

布裹鹽，如彈丸，燒作灰，酒服愈。

又方 燒秤錘投酒中服亦佳。

又方 炒大豆投酒中服佳。

惡露第十四

(方二十八首)

乾地黃湯

治產後惡露不盡，除諸疾，補不足方。

乾地黃(三兩) 芎 桂心 黃耆 當歸(各二兩) 人參 防風 茯苓 細辛 芍藥 甘草(各一兩)
上十一味 咀，以水一斗，煮取三升，去滓，分三服，日再夜一。

桃仁湯

治產後往來寒熱、惡露不盡方。

桃仁(五兩) 吳茱萸(二升) 黃耆 當歸 芍藥(各三兩) 生薑 醍醐(百煉酥) 柴胡 (各八兩)
上八味 咀，以酒一斗，水二升，合煮取三升，去滓，適寒溫，先食服一升，日三。

澤蘭湯

治產後惡露不盡，腹痛不除，小腹急痛，痛引腰背，少氣力方。

澤蘭 當歸 生地黃(各二兩) 生薑(三兩) 甘草(一兩半) 芍藥(一兩) 大棗(十枚)
上七味 咀，以水九升，煮取三升，去滓，分三服，日三。墮身欲死，服亦瘥。

甘草湯

治產乳餘血不盡，逆搶心胸，手足逆冷，唇乾腹脹短氣方。

甘草 芍藥 桂心 阿膠(各三兩) 大黃(四兩)
上五味 咀，以東流水一斗煮取三升，去滓，納阿膠令烊，分三服，一服入腹中，面即 有顏色，一日一夜盡此三升，即下腹中惡血一二升，立瘥。當養之如新產者。

大黃湯

治產後惡露不盡方。

大黃 當歸 甘草 生薑 牡丹 芍藥 (各三兩) 吳茱萸(一升)
上七味 咀，以水一斗，煮取四升，去滓，分四服，一日令盡。加人參二兩，名人參大黃湯。

柴胡湯

治產後往來寒熱，惡露不盡方。

柴胡 生薑(各八兩) 桃仁(五十枚) 當歸 黃耆 芍藥(各三兩) 吳茱萸(二升)
上七味 咀, 以水一斗三升, 煮取三升, 去滓, 先食服一升, 日三。(《千金翼》以清 酒一斗煮。)

蒲黃湯

治產後餘疾, 有積血不去, 腹大短氣, 不得飲食, 上沖胸脅, 時時煩憒逆滿, 手足 疼, 胃中結熱方。

蒲黃(半兩) 大黃 芒硝 甘草 黃芩(各一兩) 大棗(三十枚)
上六味 咀, 以水五升, 煮取一升, 清朝服至日中。下若不止, 進冷粥半盞即止。若 不下, 與少熱飲自下。人羸者半之。(《千金翼》名大黃湯而無芒硝)

銅鏡鼻湯

治產後餘疾, 惡露不除, 積聚作病, 血氣結搏, 心腹疼痛方。

銅鏡鼻(十八銖, 燒末) 大黃(二兩半) 芍藥 乾地黃 芎 干漆 芒硝(各二兩) 亂髮(雞子大, 燒) 大棗(三十枚)
上九味 咀, 以水七升, 煮取二升二合, 去滓, 納髮灰, 銅鏡鼻末, 分三服。

小銅鏡鼻湯

治如前狀方。

銅鏡鼻(十銖, 燒末) 大黃 甘草 黃芩 芒硝 乾地黃(各二兩) 桃仁(五十枚)
上七味 咀, 以酒六升, 煮取三升, 去滓, 納鏡鼻末, 分三服。亦治遁尸心腹痛, 及 三十六尸疾。

梔子湯

治產後兒生處空, 流血不盡, 小腹絞痛方。

梔子三十枚, 以水一斗, 煮取六升, 納當歸、芍藥各二兩, 蜜五合, 生薑五兩, 羊脂 一兩, 於梔子汁中煎取二升, 分三服, 日三。

生地黃湯

治產後三日至七日腹中餘血未盡, 絞痛強滿, 氣息不通方。

生地黃(五兩) 生薑(三兩) 大黃 芍藥 茯苓 細辛 桂心 當歸 甘草 黃芩 (各一兩半) 大棗(二十枚)
上十一味 咀, 以水八升, 煮取二升半, 去滓, 分三服, 日三。

大黃干漆湯

治新產後有血, 腹中切痛方。

大黃 干漆 乾地黃 桂心 乾薑(各二兩)
上五味 咀，以水三升，清酒五升，煮取三升，去滓，溫服一升，血當下。若不瘥，明 旦服一升，滿三服，病無不瘥。

麻子酒

治產後血不去方。

麻子五升搗，以酒一斗，漬一宿，明旦去滓，溫服一升，先食服。不瘥，夜服一升，當 吐下。忌房事一月，將養如初產法。

升麻湯

治產後惡物不盡，或經一月、半歲、一歲方。

升麻三兩，以清酒五升漬，煮取二升，去滓，分再服，當吐下惡物，勿怪，良。

治產後惡血不盡，腹中絞刺痛不可忍方：

大黃 黃芩 桃仁(各三兩) 桂心 甘草 當歸(各二兩) 芍藥(四兩) 生地黃 (六兩)
上八味 咀，以水九升，煮取二升半，去滓，食前分三服。

治產後漏血不止方：

露蜂房 敗船茹
上二味等分作灰，取酪若漿服方寸匕，日三。

又方 大黃(三兩) 芒硝(一兩) 桃仁 水蛭 虻蟲(各三十枚) 甘草 當歸(各二兩)
上八味 咀，以水三升、酒二升合煮，取三升，去滓，分三服，當下血。

治產後血不可止者方：

干菖蒲三兩，以清酒五升漬，煮取三升，分再服，即止。

治產後惡血不除，四體並惡方：

續骨木二十兩，破如算子大，以水一斗，煮取三升，分三服。相去如人行十裡久，間食 粥，或小便數，或惡血下即瘥。此木得三遍煮。

治產後下血不盡，煩悶腹痛方：

羚羊角(燒成炭，刮取三兩) 芍藥(二兩，熬令黃) 枳實(一兩，熬令黃)
上三味治下篩，煮水作湯，服方寸匕，日再夜一，稍加至二匕。

又方 鹿角燒成炭，搗篩，煮豉汁，服方寸匕，日三夜再，稍加至二匕，不能用豉清煮 水作湯服之。

又方　搗生藕取汁飲二升，甚驗。

又方　生地黃汁一升，酒三合和，溫頓服之。

又方　赤小豆搗散，取東流水和服方寸匕，不瘥更作。

治產後血瘕痛方：古鐵一斤，秤錘、斧頭、鐵杵亦得，炭火燒令赤，納酒五升，稍熱服之神妙。

治婦人血瘕，心腹積聚，產乳餘疾絕生，小腹堅滿，貫臍中熱，腰背痛，小便不利，大便難，不下食，有伏蟲，臚脹癰疽腫，久寒留熱，胃脘有邪氣方：

半夏（一兩六銖）石膏　藜蘆　牡蒙　蓯蓉（各十八銖）桂心　乾薑（各一兩）烏　喙（半兩）巴豆（六十銖，研如膏）
上九味為末，蜜丸如小豆，服二丸，日三。及治男子疝病。

治婦人血瘕痛方：

乾薑　烏賊魚骨（各一兩）
上二味治下篩，酒服方寸匕，日三。

又方　末桂心溫酒服方寸匕，日三。

下痢第十五

（方十九首）

膠蠟湯

治產後三日內下諸雜五色痢方。

阿膠　黃柏（各一兩）蠟（如博棋三枚）當歸（一兩半）黃連（二兩）陳廩米（一升）
上六味　咀，以水八升煮米，蟹目沸，去米，納藥，煮取二升，去滓，納膠蠟，令烊，分四服，一日令盡。

桂蜜湯

治產後餘寒下痢，便膿血赤白，日數十行，腹痛，時時下血方。

桂心　乾薑　甘草（各二兩）附子（一兩）蜜（一升）當歸（二兩）赤石脂（十兩）
上七味　咀，以水六升，煮取三升，去滓，納蜜，煎一兩沸，分三服，日三。

治產後下赤白，腹中絞痛方：

芍藥　乾地黃（各四兩）甘草　阿膠　艾葉　當歸（各八兩）
上六味　咀，以水七升，煮取二升半，去滓，納膠令烊，分三服。

治產後赤白下久不斷，身面悉腫方：

大豆(微熬) 小麥 蒲黃(各一升) 吳茱萸(半升)
上四味, 以水九升, 煮取三升, 去滓, 分三服。此方神驗。亦可以水五升, 酒一斗, 煎 取四升, 分四服。

治產後痢赤白, 心腹刺痛方：

薤白(一兩) 當歸(二兩) 酸石榴皮(三兩) 地榆根(四兩) 粳米(五合)
上五味 咀, 以水六升, 煮取二升半, 去滓, 分三服。(《必效方》加濃朴一兩, 阿膠、人參、甘草、黃連各一兩半)

當歸湯

治產後下痢赤白, 腹痛方。

當歸 龍骨(各三兩) 乾薑 白朮(各二兩) 芎 (二兩半) 甘草 白艾(熟者) 附子(各一兩)
上八味 咀, 以水六升, 煮取二升, 去滓, 分三服, 一日令盡。

白頭翁湯

治產後下痢兼虛極方。

白頭翁 阿膠 秦皮 黃連 甘草(各二兩) 黃柏(三兩)
上六味 咀, 以水七升, 煮取二升半, 去滓, 納膠令烊, 分三服, 日三。

鱉甲湯

治產後早起中風冷, 泄痢及帶下方。

鱉甲(如手大) 當歸 黃連 乾薑(各二兩) 黃柏(長一尺, 廣三寸)
上五味 咀, 以水七升, 煮取三升, 去滓, 分三服, 日三。(《千金翼》加白頭翁一兩

龍骨丸

治產後虛冷下血及谷下晝夜無數, 兼治產後惡露不斷方。

龍骨(四兩) 乾薑 甘草 桂心(各二兩)
上四味為末, 蜜和丸, 暖酒服二十丸, 如梧子, 日三。一方用人參、地黃各二兩。

阿膠丸

治產後虛冷洞下, 心腹絞痛兼泄瀉不止方。

阿膠(四兩) 人參 甘草 龍骨 桂心 乾地黃 白朮 黃連 當歸 附子(各二兩)
上十味為末, 蜜丸如梧子大, 溫酒服二十丸, 日三服。

澤蘭湯

治產後餘疾，寒下凍膿，裡急，胸脅滿痛，咳嗽、嘔血，寒熱，小便赤黃，大便不利方。

澤蘭　石膏（各二十四銖）當歸　甘草　濃朴（各十八銖）遠志（三十銖）本　芎（各十五銖）乾薑　人參　桔梗　乾地黃（各十二銖）白朮　蜀椒　白芷　柏子仁　防風山茱　白皮　麻子仁（各半升）
上二十一味，　咀，以水一斗五升，先納桑白皮，煮取七升半，去之，納諸藥，煮取三升五合，去滓，分三服。

乾地黃湯

治產後下痢方。

乾地黃（三兩）白頭翁　黃連（各一兩）蜜蠟（一方寸）阿膠（手掌大，一枚）
上五味　咀，以水五升，煮取二升半，去滓，納膠、蠟令烊，分三服，日三。（《千金　翼》有乾薑一兩）

生地黃湯

治產後忽著寒熱下痢方。

生地黃（五兩）甘草　黃連　桂心（各一兩）大棗（二十枚）赤石脂（二兩）淡　竹葉（二升，一作竹皮）
上七味　咀，以水一斗煮竹葉，取七升，去滓，納藥，煮取二升半，分三服，日三。

藍青丸

治產後下痢方。

藍青（熬）附子（炮）鬼臼　蜀椒（各一兩半）濃朴　阿膠（炙）甘草（各二兩）艾　葉龍骨
上十四味為末，蜜和丸如梧子，空腹，每服以飲下二十丸。一方用赤石脂四兩。

赤石脂丸

治產後虛冷下痢方。

赤石脂（三兩）當歸　白朮　黃連　乾薑　秦皮　甘草（各二兩）蜀椒　附子（炮　各一兩）
上九味為末，蜜丸如梧子大，酒服二十丸，日三。（《千金翼》作散，空腹飲服方寸匕。）

赤散

治產後下痢方。

赤石脂　代赭（各三兩）桂心（一兩）
上三味治下篩，酒服方寸匕，日三，十日愈。

黑散

治產後下痢方。麻黃　貫眾　桂心（各一兩）　細辛（二兩）　甘草　干漆（各三兩）
上六味治下篩，酒服五撮，日再。五日愈。麥粥下尤佳。

黃散

治產後下痢方。

黃連（二兩）　黃芩　蟲　乾地黃（各一兩）
上四味治下篩，酒服方寸匕，日三，十日愈。

龍骨散

治產後痢方。

五色龍骨　代赭　赤石脂　黃柏根皮（蜜炙令焦）　艾（各一兩半）　黃連（二兩）
上六味治下篩，飲服方寸匕，日三。

淋渴第十六

（方九首）

栝蔞湯

治產後小便數兼渴方。

栝蔞根　麥門冬　甘草　黃連（各二兩）　人參　生薑（各三兩）　大棗（十五枚）　桑　螵　蛸（二十枚）
上八味　咀，以水七升煮取二升半，分三服。

又方　治產後渴不止方。

栝蔞根（四兩）　人參　麥門冬（各三兩）　甘草（崔氏無）　乾地黃（各二兩）　大棗（二十枚）　土瓜根（五兩，崔氏用蘆根）
上七味　咀，以水一斗二升，煮取六升，分六服。

雞湯

治產後小便數方。

雞（二十具）　雞腸（三具，洗）　乾地黃　當歸　甘草（各二兩）　濃朴　人參（各三兩）　蒲黃（四兩，世本作麻）　生薑（五兩）　大棗（二十枚）
上十味　咀，以水一斗煮　及腸、大棗，取七升，去滓，納諸藥，煎取三升半，分三服。

治婦人結氣成淋，小便引痛上至小腹，或時溺血，或如豆汁，或如膠飴，每發欲死，食 不生肌，面目萎黃，師所不能治方：

貝齒（四枚，燒作末） 葵子（一升） 石膏（五兩，碎滑石二兩，末）
上四味，以水七升煮二物，取二升，去滓，納二末，用豬脂一合，更煎三沸，分三服，日三，不瘥再合服，效。

石韋湯

治產後猝淋、氣淋、血淋、石淋方。

石韋 黃芩 通草 甘草（各二兩） 榆皮（五兩） 大棗（三十枚） 葵子（二升） 白朮（《產寶》用芍藥） 生薑（各三兩）
上九味 咀，以水八升煮取二升半，分三服。（《集驗》無甘草、生薑。崔氏同《產寶 》不用薑、棗）

葵根湯

治產後淋瀝方。

葵根（二兩） 車前子（一升） 亂髮（燒灰） 大黃 桂心 滑石（各一兩） 通草（三兩） 生薑（六兩） 冬瓜練（七合一作汁）
上九味 咀，以水七升，煮取二升半，分三服。（《千金翼》不用冬瓜練）

茅根湯

治產後淋方。

白茅根（一斤） 瞿麥 茯苓（各四兩） 地脈 人參（各二兩） 生薑（三兩） 桃 膠甘草 （各一兩） 鯉魚齒（一百枚）
上九味 咀，以水一斗，煮取二升半，分三服。

滑石散

治產後淋方。

滑石（五兩） 通草 車前子 葵子（各四兩）
上四味治下篩，酢漿水服方寸匕，稍加至二匕。

竹葉湯

治產後虛渴少氣力方。

竹葉（三升） 生薑 半夏（各三兩） 大棗（十四枚） 小麥（五合） 甘草 茯苓 人參（各一兩） 麥門冬（五兩）
上九味 咀，以水九升，煮竹葉、小麥取七升，去滓、納諸藥，更煎取二升半，一服 五合，日三夜一。

雜治第十七

（方五十九首，灸法九首）

破積烏頭丸

治婦人心腹積聚，氣悶脹，疝瘕，內傷瘀血，產乳餘疾及諸不足。勞氣食氣，胃滿吐逆，其病頭重結痛，小便赤黃，大下氣方。

烏頭 黃芩 巴豆（各半兩） 半夏（三兩） 大黃（八兩） 戎鹽（一兩半） 蟲 桂心苦參（各十八銖） 人參 硝石（各一兩）
上十一味為末，以白蜜、青牛膽拌和，搗三萬杵，丸如梧子，隔宿勿食，酒服五丸，安 臥須臾當下。黃者，小腹積也；青者，疝也；白者，內風也；如水者，留飲也；青如粥汁，膈上邪氣也；血如腐肉者，傷也；赤如血者，產乳餘疾也；如蟲刺者，蟲也。既下必渴，渴 飲粥湯，飢食酥糜，三日後當溫食，食必肥濃，三十日平複。

竹茹湯

治婦人汗血、吐血、尿血、下血方。

竹茹（二升） 人參 芍藥 桔梗 芎 當歸 甘草 桂心（各一兩） 乾地黃（四兩）
上九味 咀，以水一斗，煮取三升，分三服。

治婦人自少患風，頭眩眼疼方：

石南（一方用石韋） 細辛 天雄 茵芋（各二兩） 薯蕷 防風 貫眾 獨活 蘼蕪（各四兩） 乾薑 山茱萸（各三兩）
上十一味 咀，以酒三斗漬五日，初飲二合，日三服，後稍稍加之。

治婦人經服硫黃丸，忽患頭痛項冷，冷歇又心胸煩熱，眉骨眼 癢痛，或有時生瘡，喉中乾燥，四體痛癢方：

栝蔞根 麥門冬 龍膽（各三兩） 大黃（二兩） 杏仁（二升） 土瓜根（八兩）
上六味為末，蜜丸，如梧子，飲服十丸，日三服，後漸加之。

治婦人患癖，按時如有三五個而作水聲，殊不得寢食，常心悶方：

牽牛子三升治下篩，飲服方寸匕，日一服。三十服後，可服好硫黃一兩。

治婦人忽與鬼交通方：

松脂（二兩） 雄黃（一兩，末）
上二味先烊松脂，乃納雄黃末，以虎爪攪令相得，藥成取如雞子中黃，夜臥以著熏籠中 燒，令病患取自升其上，以被自覆，惟出頭，勿令過熱，及令氣得泄也。

濃朴湯

治婦人下焦勞冷，膀胱腎氣損弱，白汁與小便俱出方。

濃朴如手大，長四寸，以酒五升，煮兩沸，去滓，取桂一尺為末，納汁中調和，一宿勿食，旦頓服之。

溫經湯

治婦人小腹痛方。

茯苓（六兩） 土瓜根 芍藥（各三兩） 薏苡仁（半升）
上四味 咀，以酒三升漬一宿，旦加水七升，煎取二升，分再服。

半夏濃朴湯

治婦人胸滿心下堅，咽中帖帖，如有炙肉臠，吐之不出，咽之不下方。

半夏（一升） 濃朴（三兩） 茯苓（四兩） 生薑（五兩） 蘇葉（二兩）
上五味 咀，以水七升，煮取四升，分四服，日三夜一，不瘥頻服。一方無蘇葉、生薑

治婦人氣方：

平旦服烏牛尿，日一止。

昆布丸

治婦人胸中伏氣方。

昆布 海藻 芍藥 桂心 白石英 款冬花 桑白皮 人參（各二兩） 柏子仁 茯苓 鐘乳（各二兩半） 紫菀 甘草（各一兩） 乾薑（一兩六銖） 吳茱萸 五味子 細辛（各一兩 半） 杏仁（一百枚） 橘皮 蘇子（各五合）
上二十味為末，蜜丸，如梧子，酒服二十丸，日再，加至四十丸。

治婦人無故憂恚，胸中迫塞，氣不下方：

芍藥 滑石 黃連 石膏 山茱萸 前胡（各一兩六銖） 大黃 細辛 麥門冬 生薑（各一兩） 半夏（十八銖） 桂心（半兩）
上十二味為末，蜜丸如梧子，酒服二十丸，加至三十丸，日三服。

治婦人斷產方：

蠶子故紙方一尺，燒為末，酒服之，終身不產。

治勞損產後無子，陰中冷溢出，子門閉，積年不瘥，身體寒冷方：

防風（一兩半） 桔梗（三十銖） 人參（一兩） 菖蒲 半夏 丹參 濃朴 乾薑 紫 菀 杜蘅（各十八銖） 秦艽 白薇 牛膝 沙參（各半兩）

上十四味為末，白蜜和丸如小豆，食後服十五丸，日三服。不知加至二十丸。有娠止，夫不在勿服之，服藥後七日方合陰陽。

五加酒

治產後癖瘦，玉門冷方。

五加皮（二升） 蛇床子（一升） 杜仲（一斤） 乳床（半斤，即孔公孽） 乾地黃（二兩） 枸杞子（二升） 丹參（二兩） 乾薑（三兩） 天門冬（四兩）
上九味 咀，以絹袋子盛，酒三斗，漬三宿，一服五合，日再，稍加至十合佳。

治子門閉，血聚腹中生肉，臟寒所致方：

干漆（半斤） 生地黃汁（三升） 生牛膝汁（一斤）
上三味，先搗漆為散，納汁中攪，微火煎為丸，如梧子，酒服三丸，日再，覺腹中痛，食後服之。

治產後勞玉門開而不閉方：

硫黃（四兩） 吳茱萸（一兩半） 菟絲子（一兩六銖） 蛇床子（一兩）
上四味為散，以水一升煎二方寸匕，洗玉門，日再洗。

治產後陰道開而不閉方：

鍛石一斗熬，令燒草，以水二斗投之，適寒溫，入汁中，坐漬之，須臾複易，坐如常法，甚效。

黃芩散

治婦人陰脫方。

黃芩 皮 當歸（各半兩） 芍藥（一兩） 牡蠣 竹皮（各二兩半） 狐莖（一具，《千金翼》用松皮）
上七味治下篩，飲服方寸匕，日三。禁舉重、房勞，冷食。

硫黃散

治同前。

硫黃 烏賊骨（各半兩） 五味子（三銖）
上三味治下篩，以粉其上良，日再三粉之。

當歸散

治同前。

當歸 黃芩（各二兩） 皮（半兩） 牡蠣（二兩半） 芍藥（一兩六銖）
上五味治下篩，酒服方寸匕。日三服，禁舉重良。

治產後陰下脫方：

蛇床子一升，布裹炙熨之。亦治產後陰中痛。

又方 燒人屎為末，酒服方寸七，日三。

又方 燒弊帚頭為灰，酒服方寸七。

又方 鱉頭五枚燒末，以井花水服方寸七，日三。

又方 皂莢（半兩） 半夏 大黃 細辛（各十八銖） 蛇床子（三十銖）
上五味治下篩，用薄絹囊盛，大如指，納陰中，日二易，即瘥。

又方 吳茱萸 蜀椒（各一升） 戎鹽（如雞子大）
上三味皆熬，令變色，為末，以綿裹如半雞子大，納陰中，日一易，二十日瘥。

治陰下挺出方：

蜀椒（《廣濟方》不用） 烏頭 白芰（各半兩）
上三味為末，以方寸七綿裹，納陰中入三寸，腹中熱易之，日一度，明旦乃複著，七日愈。

治婦人陰脫若脫肛方：

羊脂，煎訖，適冷暖以塗上，以鐵精敷脂上，多少令調，以火炙布令暖，熨肛上，漸推納之，然後末磁石，酒服方寸七，日三。

當歸洗湯

治產後臟中風冷陰腫痛方。

當歸 獨活 白芷 地榆（各三兩） 敗醬（《千金翼》不用） 礬石（各二兩）
上六味， 咀，以水一斗半，煮取五升，適冷暖，稍稍洗陰，日三。

又方 熟搗桃仁敷之良，日三度。

陰瘡膏

治男女陰瘡膏方。

米粉（一酒杯） 芍藥 黃芩 牡蠣 附子 白芷（各十八銖）
上六味 咀，以不中水豬膏一斤，微火上煎，三上三下，候白芷黃膏成，絞去滓，納粉 和令相得，敷瘡上，並治口瘡。

治陰中痛生瘡方：

羊脂(一斤) 杏仁(一斤) 當歸 白芷 川芎(各一兩)
上五味為末，以羊脂和諸藥納缽中，置甑內蒸之，三升米頃藥成，取如大豆許，綿裹納陰中，日一。

治男女陰中瘡濕癢方：

黃連 梔子 甘草 黃柏(各一兩) 蛇床子(二兩)
上五味治下篩，為細末，以粉瘡上，無汁以豬脂和塗之。深者，用綿裹納瘡中，日二。

治陰瘡方：

蕪荑 芎 黃芩 甘草 礬石 雄黃 附子 白芷 黃連(各六銖)
上九味 咀，以豬膏四兩，合煎敷之。治陰中癢，如蟲行狀方：

礬石(十八銖) 川芎(一兩) 丹砂(少許)
上三味治下篩，以綿裹藥著陰中，蟲自死。

治陰中癢入骨困方：

大黃 黃芩 黃 (各一兩) 芍藥(半兩) 元參 丹參(各十八銖) 吳茱萸(三十銖)
上七 味治下篩，酒服方寸匕，日三。

又方 野狼牙兩把，以水五升，煮取一升洗，日五六度。

治男女陰蝕略盡方：

蛤蟆 兔屎
上二味等分為末，取敷瘡上。

又方 蛇床子(一方用芎) 當歸 芍藥 甘草(各一兩) 地榆(三兩)
上五味 咀，以水五升，煮取二升洗，日三夜二。

又方 蒲黃(一升) 水銀(一兩)
上二味研，以粉其上。

又方 肥豬肉十斤，以水煮，取熟去肉，盆中浸之，冷易，不過三兩度。亦治陰中癢有蟲。

治女人交接輒血出方：

桂心 伏龍肝(各二兩)
上二味為末，酒服方寸匕，立止。

治童女交接，陽道違理及為他物所傷，血出流離不止方：

取釜底墨少許研胡麻以敷之。

又方 燒繭絮灰敷之。

又方 燒青布並髮灰敷之，立愈。

治合陰陽輒痛，不可忍方：

黃連（一兩半） 牛膝 甘草（各一兩）
上三味 咀，以水四升，煮取二升，洗，日四度。

治婦人傷於丈夫，四體沉重，噓吸頭痛方：

香豉 蔥白（各一升） 生地黃（八兩） 生薑（四兩） 甘草（二兩） 芍藥（五兩）
上六味 咀，以水七升，煮取二升半，分三服，不瘥重作，慎房事。（《集驗方》無生薑、甘草）

白玉湯

治婦人陰陽過度，玉門疼痛，小便不通方。

白玉（一兩半） 白朮 當歸（各五兩） 澤瀉 蒐蓉（各二兩）
上五味 咀，以酒一斗，煎玉五十沸，去玉納藥，煎取二升，分再服，相去一炊頃。

治動胎見血，腰痛小腹疼，月水不通，陰中腫痛方：

蒲黃 當歸（切，各二兩） 蔥白（一斤，切） 吳茱萸 阿膠（各一兩）
上五味，以水九升，煮取二升半，去滓，納膠令烊，分三服。

治妊娠為夫所動，欲死，單行竹瀝汁方：

取淡竹，斷兩頭節，火燒中央，器盛兩頭，得汁飲之，立效。

桑根白皮湯

治傷於丈夫，苦頭痛，欲嘔，心悶方。

桑根白皮（半兩） 乾薑（二兩） 桂心（五寸） 大棗（二十枚）
上四味 咀，以水一斗，煮取三升，去滓，分三服，適衣無令汗出。

治嫁痛單行方：

大黃十八銖，取好酒一升，煮三沸，頓服之佳。

治小戶嫁痛連日方：

甘草（三兩） 芍藥（半兩） 生薑（十八銖） 桂心（六銖）
上四味 咀，以酒二升，煮三沸，去滓，盡服神效。

又方 牛膝五兩，以好酒三升煮取一升半，去滓，分三服。

治小戶嫁痛方：烏賊魚骨燒為屑，酒服方寸匕，日三。

治陰寬大令窄小方：

兔屎 干漆（各半兩） 鼠頭骨（二枚） 雌雞肝（二枚，陰乾百日）
上四味為末，蜜丸如小豆，月初七日，合時著一丸陰頭，令徐徐納之，三日知，十日小，五十日如十五歲童女。（一本無干漆，有礬石。）

治陰冷令熱方：

納食茱萸於牛膽中，令滿。陰乾百日，每取二七枚，綿裹之，齒嚼令碎，納陰中，良久 熱如火。

灸法

月水不利，奔豚上下並無子，灸四滿三十壯，穴在丹田兩邊，相去各開寸半。丹田在臍 下二寸是也。

婦人胞落頹，灸臍中三百壯。

又灸身交五十壯，三報，在臍下橫紋中。

又灸背脊當臍五十壯。

又灸玉泉五十壯，三報。

又灸龍門二十壯，三報，在玉泉下，女人入陰內外之際。此穴卑今廢不針灸。

婦人胞下垂注，陰下脫，灸挾玉泉三寸，隨年壯，三報。

婦人陰冷腫痛，灸歸來三十壯，三報，挾玉泉五寸是其穴。

婦人欲斷產，灸右踝上一寸，二壯即斷。

備急千金要方 卷四婦人方下

唐 孫思邈

（凡四類）

補益第十八

（論一首 方十四首）論曰：凡婦人欲求美色，肥白罕比，年至七十與少不殊者，勿服紫石英，令人色黑，當 服鐘乳澤蘭丸也。

柏子仁丸

治婦人五勞七傷，羸冷瘦削，面無顏色，飲食減少，貌失光澤，及產後斷緒 無子，能久服，令人肥白補益方。

柏子仁 黃耆 乾薑 白石英 鐘乳（各二兩）川椒（一兩半）杜仲 當歸 甘草（各四十二銖）濃朴 桂心 桔梗 赤石脂 蓯蓉 五味子 白朮 細辛 獨活 人參 石斛 白芷 芍藥（各一兩）澤蘭（二兩六銖）本 蕪荑（各十八銖）紫石英（二兩）乾地黃
上三十味為末蜜和，酒服二十丸如梧子，不知加至三十丸。（《千金翼》無烏頭，有龍骨、防葵、茯苓、秦艽各半兩為三十三味並治產後半身枯悴。）

大五石澤蘭丸

治婦人風虛寒中，腹內雷鳴，緩急風頭痛寒熱，月經不調，繞臍惻惻痛，或心腹痞堅，逆害飲食，手足常冷，多夢紛紜，身體痺痛，榮衛不和，虛弱不能動搖，及產後虛損，並宜服方。

鐘乳 禹余糧 紫石英 甘草 黃耆（各二兩半）石膏 白石英 川椒 乾薑（各二兩 ）澤蘭（二兩六銖）當歸 桂心 川芎 濃朴 柏子仁 乾地黃 細辛 茯苓 五味子龍骨（各一兩半）石斛 遠志 人參 續斷 白朮 防風 烏頭（各三十銖）山茱萸 紫 菀（各一兩）白芷 本 蕪荑（各十八銖）
上三十二味為末，蜜丸梧子大，酒服二十丸加至三十丸。（《千金翼》有陽起石二兩。）

小五石澤蘭丸

治婦人勞冷虛損，飲食減少，而無光色，腹中冷痛，經候不調，呼吸少 氣無力。補益溫中方。

鐘乳 紫石英 礬石（各一兩半）白石英 赤石脂 當歸 甘草（各四十二銖）石膏 陽起石 乾薑（各二兩）澤蘭（二兩六銖）蓯蓉 龍骨 桂心（各二兩半）白朮 芍藥濃 朴人參 川椒 山茱萸（各三十銖）柏子仁 本（各一兩）蕪荑（十八銖）
上二十三味為末，蜜和丸如梧子大 酒服二十丸，加至三十丸，日三。

增損澤蘭丸

治產後百病，理血氣，補虛勞方。

澤蘭 甘草 當歸 川芎（各四十二銖）附子 乾薑 白朮 白芷 桂心 細辛（各一兩）防風 人參 牛膝（各三十銖）柏子仁 乾地黃 石斛（各三十六銖）濃朴 本 蕪荑（各半兩）麥門冬（二兩）
上二十味為末，蜜丸如梧子大，空心酒下十五丸至二十丸

大補益當歸丸

治產後虛羸不足，胸中少氣，腹中拘急疼痛，或引腰背痛，或所下過多，血不止，虛 極乏氣，晝夜不得眠，及崩中，面目脫色，唇乾口燥。亦治男子傷絕，或從高墮下，內有所傷，臟虛吐血，及金瘡傷犯皮肉方。

當歸 川芎 續斷 乾薑 阿膠 附子 白朮 吳茱萸 芍藥(各二兩) 白芷(三兩)桂心 乾地黃(十兩) 甘草(四兩)
上十三味為末，蜜和丸如梧子大，酒服二十丸，日三夜一，不知加至五十丸。若有真蒲 黃加一升絕妙。

白芷丸

治產後所下過多，及崩中傷損，虛竭少氣，面目脫色，腹中痛方。

白芷(五兩) 乾地黃(四兩) 續斷 乾薑 當歸 阿膠(各三兩) 附子(一兩)
上七味為末，蜜丸如梧子大，酒服二十丸，日四五服。無當歸 川芎代，入蒲黃一兩妙，無續斷，大薊根代。

紫石英柏子仁丸

治女子遇冬天時行溫風，至春夏病熱頭痛，熱毒風虛，百脈沉重，下赤白，不思飲食，而頭眩心悸，酸 恍惚，不能起居方。

紫石英 柏子仁(各三兩) 烏頭 桂心 當歸 山茱萸 澤瀉 川芎 石斛 遠志 寄生 蓯蓉 乾薑 甘草(各二兩) 川椒 杜蘅(一作杜仲) 辛夷(各一兩) 細辛(一兩半)
上十八味為末，蜜和丸如梧子，酒服二十丸，漸加至三十丸，日三服。一方用牡蠣一兩

鐘乳澤蘭丸

治婦人久虛羸瘦、弱甚，肢體煩痛，臍下結冷，不能食，面目瘀黑，憂恚不樂，百病 方。

鐘乳(三兩) 澤蘭(三兩六銖) 防風(四十二銖) 人參 柏子仁 麥門冬 乾地黃 石膏 石斛(各一兩半) 川芎 甘草 白芷 牛膝 山茱萸 薯蕷 當歸 本(各三十銖) 細辛
上二十一味為末，蜜丸如梧子，酒服二十丸，加至四十丸，日二服。

大澤蘭丸

治婦人虛損及中風餘病疝瘕，陰中冷痛；或頭風入腦，寒痺筋攣緩急，血閉無子，面 上游風去來，目淚出多涕唾，忽忽如醉；或胃中冷逆胸中嘔不止，及泄痢淋瀝；或五臟六腑 寒熱不調，心下痞急，邪氣咳逆；或漏下赤白，陰中腫痛，胸脅支滿；或身體皮膚中澀如麻 豆，苦癢，痰癖結氣；或四肢拘攣，風行周身，骨節疼痛，目眩無所見；或上氣惡寒洒淅如瘧；或喉痺鼻，風癇癲疾；或月水不通，魂魄不定，飲食無味，並產後內衄，無所不治，服之令人有子方。

澤蘭(二兩六銖) 本 當歸 甘草(各一兩十八銖) 紫石英(三兩) 川芎 干 地黃 柏子仁 五味子(各一兩半) 桂心 石斛 白朮(各一兩六銖) 白芷 蓯蓉 濃朴 防風薯蕷 茯苓 乾薑 禹余糧 細辛 卷柏(各一兩) 川椒 人參 杜仲 牛膝 蛇床子 續 斷艾葉 蕪荑(各十八銖) 赤石脂 石膏(各二兩)

上三十二味為末，蜜和丸如梧子大，酒服二十至四十丸。久赤白痢，去乾地黃、石膏、麥門冬、柏子仁，加大麥 、陳曲、龍骨、阿膠、黃連各一兩半，有鐘乳加三兩良。一方有枳實十八銖，麥冬一兩半。

小澤蘭丸

治產後虛羸勞冷，身體 瘦方。

澤蘭（二兩六銖） 當歸 甘草（各一兩十八銖） 川芎 柏子仁 防風 茯苓（各一兩） 白芷 川椒 本 細辛 白朮 桂心 蕪荑 人參 食茱萸 濃朴（各十八銖） 石膏（二兩）
上十八味為末，蜜和丸如梧子大，酒服二十丸，日三服，稍加至四十丸。無疾者，依此 方春秋二時常服一劑，甚良。有病虛羸黃瘦者服如前。

（一方無茯苓、石膏，有芍藥、乾薑。

紫石英天門冬丸

治風冷在子宮、有子常墮落，或始為婦便患心痛，仍成心疾，月水都未曾來，服之肥 充，令人有子方。

紫石英 天門冬 禹余糧（各三兩） 蕪荑 烏頭 蓯蓉 桂心 甘草 五味子 柏子仁 石斛 人參 澤蘭 遠志 杜仲（各二兩） 川椒 卷柏 寄生 石南 雲母 當歸 烏賊 骨（各一兩）
上二十二味為末，蜜丸如梧子，酒服二十丸，日二服，加至四十丸。

三石澤蘭丸

治風虛不足，通血脈，補寒冷方（亦名石斛澤蘭丸）。

鐘乳 白石英（各四兩） 紫石英 防風 本 茯神（各一兩六銖） 澤蘭（二兩六銖）黃 石斛 石膏（各二兩） 甘草 當歸 川芎（各一兩十八銖） 白朮 桂心 人參 乾薑 獨活 乾地黃（各一兩半） 白芷 桔梗 細辛 柏子仁 五味子 川椒 黃芩 蓯蓉 芍藥 秦艽 防葵（各
上三十二味為末，蜜丸如梧子大，酒服二十丸，加至三十丸，日二三服。

大平胃澤蘭丸

治男子女人五勞七傷諸不足，定志意，除煩滿，手足虛冷羸瘦，及月水往來不調，體 不能動等病方。

澤蘭 細辛 黃耆 鐘乳（各三兩） 柏子仁 乾地黃（各二兩半） 大黃 前胡 遠志 紫石英（各二兩） 川芎 白朮 川椒（各一兩半） 白芷 丹參 枳實（一作梔子） 芍藥 桔梗 秦艽 沙參 桂心 濃朴 石斛 苦參 人參 麥門冬 乾薑（各一兩） 附子（一枚）吳茱萸 麥 （各五合） 陳曲（一升） 棗（五十枚作膏）
上三十二味為末，蜜丸梧子大，酒服二十丸，加至三十丸，令人肥健。（一本無乾薑，有當歸三兩。）

澤蘭散

治產後風虛方。

澤蘭(五分) 禹余糧 防風 石膏 白芷 乾地黃 赤石脂 肉蓯蓉 鹿茸 川芎(各八分) 本 川椒 白朮 柏子仁(各五分) 桂心 甘草 當歸 乾薑(各七分) 蕪 荑 細辛 濃
上二十二味為末, 治下篩, 酒服方寸匕, 日三。

月水不通第十九

(方三十三首)

乾薑丸

治婦人寒熱羸瘦, 酸消怠惰, 胸中支滿, 肩背脊重痛, 腹裡堅滿積聚, 或痛不可忍, 引腰小腹痛, 四肢煩疼, 手足厥逆, 寒至肘膝, 或煩滿, 手足虛熱, 意欲投水中, 百節盡痛, 心下常苦懸痛, 時寒時熱, 惡心, 涎唾喜出, 每愛鹹酸甜苦之物, 身體或如雞皮, 月經不通, 大小便苦難, 食不生肌方。

乾薑 川芎 茯苓 硝石 杏仁 水蛭 虻蟲 桃仁 蠐螬 柴胡 蟲(各一兩) 芍藥人參 大黃 川椒 當歸(各二兩)
上十六味為末, 蜜丸梧子大, 空心飲下三丸, 不知加至十丸。(《千金翼》以療婦人瘕 結, 脅肋下疾)

桃仁湯

治婦人月水不通方。

桃仁 朴硝 牡丹皮 射干 土瓜根 黃芩(各三兩) 芍藥 大黃 柴胡(各四兩) 牛 膝桂心(各二兩) 水蛭 虻蟲(各七十枚)
上十三味 咀, 以水九升煮取二升半, 去滓分三服。

又方 桃仁(一升) 當歸 土瓜根 大黃 水蛭 虻蟲 芒硝(各二兩) 牛膝 麻 子仁
上十味 咀, 以水九升煮取三升半, 去滓納硝令烊, 分為三服。(《肘後》無當歸、麻 子仁, 用牡丹、射干、黃芩、芍藥、柴胡各三兩。《千金翼》無虻蟲)

芒硝湯

治同前。

芒硝 丹砂末 當歸 芍藥 土瓜根 水蛭(各二兩) 大黃(三兩) 桃仁(一升)
上八味 咀, 以水九升煮取三升, 去滓納丹砂、芒硝, 分三服。

硝石湯

治血瘕, 月水留瘀血大不通, 下病散堅血方。

硝石 附子 虻蟲(各三兩) 大黃 細辛 乾薑 黃芩(各一兩) 芍藥 土瓜根 丹 參
上十六味 咀、以酒五升、水九升漬藥一宿。明旦煎取四升, 去滓, 下朴硝、硝石烊 盡, 分四服, 相去如炊頃。去病後, 食黃鴨羹, 勿見風。

干漆湯

治月水不通，小腹堅痛不得近方。

干漆　蕨蕤　芍藥　細辛　附子　甘草（各一兩）當歸　桂心　芒硝　黃芩（各二兩）大黃（三兩）吳茱萸（一升）
上十二味　咀，以清酒一斗浸一宿，煮取三升，去滓，納硝烊盡，分三服，相去如一炊頃。

治月經不通，心腹絞痛欲死，通血止痛方：

當歸　大黃　芍藥（各三兩）吳茱萸　乾地黃　乾薑　川芎　虻蟲　水蛭（各二兩）細辛甘草　桂心（各一兩）梔子（十四枚）桃仁（一升）
上十四味　咀，以水一斗五升，煮取五升，分五服。一本有牛膝、麻仁各三兩。

前胡牡丹湯

治婦人盛實，有熱在腹，月經瘀閉不通，及勞熱熱病後，或因月經來得熱不前胡　牡丹　元參　桃仁　黃芩　射干　旋複花　栝蔞根　甘草（各二兩）芍藥　茯苓　大黃　枳實（各三兩）
上十三味　咀，以水一斗煮取三升，分三服。

黃芩牡丹湯

治婦人從小至大，月經未嘗來，顏色萎黃，氣力衰少，飲食無味方。

黃芩　牡丹　桃仁　瞿麥　川芎（各二兩）芍藥　枳實　射干　海藻　大黃（各三兩）虻蟲（七十枚）蠐螬（十枚）水蛭（五十枚）
上十三味　咀，以水一斗，煮取三升，分三服，服兩劑後，灸乳下一寸黑圓際，各五十壯。

牡丹丸

治婦人女子諸病後，月經閉絕不通，及從小來不通，並新產後瘀血不消，服諸湯利血後，餘未平，宜服之，取平複方。

牡丹（三兩）芍藥　元參　桃仁　當歸　桂心（各二兩）虻蟲　水蛭（各五十枚）蠐螬（三十枚）瞿麥　川芎　海藻（各一兩）
上十二味為末，蜜和丸如梧子大，酒下十五丸，加至二十丸，血盛者作散，服方寸匕，腹中當轉如沸，血自化成水去。如小便赤少，除桂心用地膚子一兩。

乾地黃當歸丸

治月水不通，或一月再來，或隔月不至，或多或少或淋瀝不斷，或來而腰腹刺痛不可　忍，四體噓吸不欲飲食，心腹堅痛，有青黃黑色水下，或如清水，不欲行動，舉體沉重，惟　思眠臥，欲食酸物，虛乏黃瘦方。

乾地黃（三兩）當歸　甘草（各一兩半）牛膝　芍藥　乾薑　澤蘭　人參　牡丹（各一兩六銖）丹參　川椒　白芷　黃芩　桑耳　桂心（各一兩）蟲（四十枚）川芎（一兩十八　銖）桃仁
上二十一味為末，蜜丸如梧子，每日空心酒下十五丸，漸加至三十丸，以知為度。

治月經不通方：

取葶藶一升為末，蜜丸如彈子大，綿裹納陰中，入三寸，每丸一宿易之，有汙出止。

干漆丸

治月經不通，百療不瘥方。

干漆　土瓜根　射干　芍藥（各一兩半）牡丹　牛膝　黃芩　桂心　吳茱萸　大黃　柴胡（各一兩）桃仁　鱉甲（各二兩）蟲　蠐螬（各四十枚）水蛭　虻蟲（各七十枚）大麻　仁（四合）亂髮（雞子大二枚）子（二合）
上二十味為末，以蜜和為丸，每日酒下十五丸梧子大，漸加至三十丸，日三，仍用後浸　酒服前丸藥。

浸酒方

大麻子（三升）子（二升）桃仁（一升）桂心　灶屋貟煤（各四兩）土瓜　根射　干
上八味　咀，以清酒三斗，絹袋盛藥浸五宿，以一盞下前丸藥甚良，或單服之亦好。

當歸丸

治女人臍下　結刺痛，如蟲所嚙，及如錐刀所刺，或赤白帶下十二疾，腰背疼痛，月　水或在月前，或在月後方。

當歸　葶藶　附子　吳茱萸　大黃（各二兩）黃芩　桂心　乾薑　牡丹　川芎（各一兩）細辛　秦椒　柴胡　濃朴（各一兩六銖）牡蒙（一方無）甘草（各一兩）虻蟲　水蛭　（各五十枚）
上十八味為末，蜜丸如梧子，空心酒下十五丸，日再，有胎勿服之。

又方　治腰腹痛，月水不通利方：

當歸　川芎（各四兩）虻蟲　烏頭　丹參　干漆（各一兩）人參　牡蠣　土瓜根　水　蛭　（各二兩）桃仁（五十枚）
上十一味為末，以白蜜丸如梧子大，酒下三丸，日三服。

鱉甲丸

治女人小腹中積聚，大如七八寸盤面，上下周流，痛不可忍，手足苦冷，咳噫腥臭，兩脅熱如火炙，玉門冷如風吹，經水不通，或在月前，或在月後，服之一月便瘥，有孕。此　是河內太守魏夫人方。

鱉甲　桂心（各一兩半）蜂房（半兩）元參　川椒　細辛　人參　苦參　丹參　沙　參　吳茱萸（各十八銖）蟲　水蛭　乾薑　牡丹　附子　皂莢　當歸　芍藥　甘草　防葵（各一兩）蠐螬（二十枚）虻蟲　大黃（各一兩六銖）
上二十四味為末，蜜丸如梧子大，酒下七丸，日三，稍加之以知為度。

又方　治婦人因產後虛冷堅結積在腹內，月經往來不時，苦腹脹滿，繞臍下痛，引腰背，手足煩，或冷熱，心悶致不欲食方：

鱉甲(一兩半) 乾薑 赤石脂 丹參 禹余糧 當歸 白芷(一作白朮) 乾地黃(各一兩六銖) 代赭 甘草 鹿茸 烏賊骨 僵蠶(各十八銖) 桂心 細辛 川椒 附子(各一兩)
上十七味為末, 蜜和丸如梧子大, 空心酒下五丸, 加至十丸。

禹余糧丸

治婦人產後積冷堅癖方。

禹余糧 烏賊骨 吳茱萸 桂心 川椒(各二兩半) 當歸 白朮 細辛 乾地黃 人參 芍藥 川芎 前胡(各一兩六銖) 乾薑(三兩) 礬石(六銖) 白薇 紫菀 黃芩(各十八 銖) 蟲(一兩)
上十九味為末, 蜜和丸如梧子大, 空心酒下, 若飲下二十丸, 日二, 不知則加之。

牡蒙丸

治婦人產後十二 病, 帶下無子, 皆是冷風寒氣, 或產後未滿百日, 胞絡惡血未盡, 便利於懸圊上, 及久坐, 濕寒入胞裡, 結在小腹, 牢痛為之積聚, 小如雞子, 大者如拳, 按 之跳手隱隱然, 或如蟲嚙, 或如針刺, 氣時搶心, 兩脅支滿, 不能食, 飲食不消化, 上下通 流, 或守胃脘, 痛連玉門背膊, 嘔逆, 短氣, 汗出, 少腹苦寒, 胞中創, 咳引陰痛, 小便自 出, 子門不正, 令人無子, 腰胯疼痛, 四肢沉重淫躍, 一身盡腫, 乍來乍去, 大便不利, 小便淋瀝, 或月經不通, 或下如腐肉, 青黃赤白黑等如豆汁, 夢想不祥方。(一名紫蓋 牡蒙濃朴 硝石 前胡 乾薑 蟲 牡丹 川椒 黃芩 桔梗 茯苓 細辛 葶藶 人參 川芎 吳茱萸 桂心(各十八銖) 大黃(二兩半) 附子(一兩六銖) 當歸(半 兩)
上二十味為末, 蜜和, 更搗萬杵, 丸如梧子大, 空心酒服二丸, 日三服, 不知則加之至 五六丸, 下青白黃赤如魚子者, 病根出矣。

治月經不通, 結成 瘕如石, 腹大骨立, 宜此破血下 方:

大黃 硝石(各六兩) 巴豆 川椒(各一兩) 代赭 柴胡(熬變色) 水蛭 丹參 (熬令紫色) 土瓜根(各三兩) 干漆 川芎 乾薑 虻蟲 茯苓(各二兩)
上十四味為末, 巴豆別研, 蜜和丸如梧子, 空心酒服二丸, 不知加至五丸, 日再服。(《千金翼》無柴胡、水蛭、丹參、土瓜根)

大虻蟲丸

治月經不通五七年, 或腫滿氣逆, 腹脹瘕痛, 宜服此, 數有神驗方。

虻蟲(四百枚) 蠐螬(一升) 乾地黃 牡丹 干漆 芍藥 牛膝 土瓜根 桂心(各四兩) 吳茱萸 桃仁 黃芩 牡蒙(各三兩) 茯苓 海藻(各五兩) 水蛭(三百枚) 芒 硝 (一兩) 人參(一兩半) 葶藶(五合)
上十九味為末, 蜜丸梧子大, 每日空心酒下七丸, 不知加之, 日三服。

桂心酒

治月經不通, 結成 瘕方。

桂心 牡丹 芍藥 牛膝 干漆 土瓜根 牡蒙(各四兩) 吳茱萸(一升) 大黃(三兩) 辛(各一兩) 僵蠶(五十枚) 大麻仁 灶突墨(各三升) 乾地黃(六兩) 虎杖根 鱉甲(各五兩)

上二十四味 咀，以酒四斗分兩瓮，浸之七日並一瓮盛，攪令調和，分作四瓮，初服 二合，日二，加至三四合。

虎杖煎

治腹內積聚，虛脹雷鳴，四肢沉重，月經不通，亦治丈夫病方。取高地虎杖根細銼二斛，以水二石五斗，煮取一大斗半，去滓，澄濾令淨，取好醇酒五升和煎，令如餳，每服一合，消息為度，不知則加之。

又方 治月經不通結瘕，腹大如瓮，短氣欲死方：

虎杖根（百斤，去頭，去土，曝乾切） 土瓜根 牛膝（各取汁二斗）
上三味 咀，以水一斛浸虎杖根一宿，明旦煎取二斗，納土瓜、牛膝汁，攪令調和，煎 令

桃仁煎

治帶下經閉不通方。

桃仁 虻蟲（各一升） 朴硝（五兩） 大黃（六兩）
上四味為末，別治桃仁，以醇苦酒四升納銅鐺中，炭火煎至二升，下大黃、桃仁、虻蟲 等，攪勿住手，當欲可丸，下朴硝，更攪勿住手，良久出之，可丸乃止。取一丸如雞子黃投 酒中，預一宿勿食服之，至晡時，下如大豆汁，或如雞肝凝血蝦蟆子，或如膏，此是病下也

治月經不通甚極閉塞方：

牛膝（一斤） 麻子（三升蒸） 土瓜根（三兩） 桃仁（二升）
上四味 咀，以好酒一斗五升浸五宿，一服五合，漸加至一升，日三，能多益佳。

治產後風冷，留血不去停結，月水閉塞方：

桃仁 麻子仁（各二升） 子（一升）
上三味 咀，以好酒三斗浸五宿，每服五合，日三，稍加至一升。

治月經不通，臍下堅結，大如杯盤，發熱往來，下痢羸瘦，此為血瘕。若生肉 不可為 也，療之之方：

生地黃（三十斤取汁） 干漆（一斤為末）
上二味，以漆末納地黃汁中，微火煎，令可丸，每服酒下如梧子大三丸，不知加之，常 以食後服。

五京丸

治婦人腹中積聚，九痛七害，及腰中冷引小腹，害食，得冷便下方。

乾薑 川椒（各三兩） 附子（一兩） 吳茱萸（一升） 當歸 野狼毒 黃芩 牡蠣（各二兩）
上八味為末，蜜和丸如梧子，初服三丸，日二，加至十丸。此出京氏五君，故名五京，久寒冷困者當服之。

雞鳴紫丸

婦人 瘕積聚方。

皂莢(一分) 藜蘆 甘草 礬石 烏喙 杏仁 乾薑 桂心 巴豆(各二分) 前胡 人參(各四分) 代赭(五分) 阿膠(六分) 大黃(八分)
上十四味為末, 蜜丸如梧子, 雞鳴時服一丸, 日益一丸至五丸止, 仍從一起。下白者, 風也。赤者, 瘕也。青微黃者, 心腹病。

遼東都尉所上丸

治臍下堅癖, 無所不治方。

恆山 大黃 巴豆(各一分) 天雄(二枚) 苦參 白薇 乾薑 人參 細辛 野狼牙 龍 膽沙參 玄參 丹參(各三分) 芍藥 附子 牛膝 茯苓(各五分) 牡蒙(四分) 蘆(六分)
上二十味為末, 蜜丸, 宿勿食, 服五丸, 日三, 大羸瘦, 月水不調, 當二十五日服之, 下長蟲, 或下種種病, 出二十五日, 服中所苦悉愈, 肌膚盛, 五十日萬病除, 斷緒者有子。

牡蠣丸

治經閉不通, 不欲飲食方。

牡蠣(四兩) 大黃(一斤) 柴胡(五兩) 乾薑(三兩) 川芎 茯苓(各二兩半) 川椒(十兩) 葶藶子 芒硝 杏仁(各五合) 水蛭 虻蟲(各半兩) 桃仁(七十枚)
上十三味為末, 蜜丸如梧子大, 飲服七丸, 日三。

赤白帶下崩中漏下第二十

(論二首 方六十三首 灸法八首) 論曰：諸方說三十六疾者, 十二 、九痛、七害、五傷、三痼不通是也。何謂十二, 是所下之物, 一曰狀如膏, 二曰如黑血, 三曰如紫汁, 四曰如赤肉, 五曰如膿痂, 六曰如豆 汁, 七曰如葵羹, 八曰如凝血, 九曰如清血、血似水, 十曰如米泔, 十一曰如月浣乍前乍卻, 十二曰經度不應期也。何謂九痛？一曰陰中痛傷, 二曰陰中淋瀝痛, 三曰小便即痛, 四曰寒冷痛, 五曰經來即腹中痛, 六曰氣滿痛, 七曰汁出陰中如有蟲嚙痛, 八曰脊下分痛, 九曰腰胯痛。何謂七害？一曰竅孔痛不利, 二曰中寒熱痛, 三曰小腹急堅痛, 四曰臟不仁, 五曰子門不端引背痛, 六曰月浣乍多乍少, 七曰害吐。何謂五傷？一曰兩脅支滿痛, 二曰心痛引脅, 三曰氣結不通, 四曰邪思泄利, 五曰前後痼寒。何謂三痼？一曰羸瘦不生肌膚, 二曰絕產乳, 三曰經水閉塞。病有異同具治之方。

白堊丸

治女人三十六疾方(又方見後。

白堊 龍骨 芍藥(各十八銖) 黃連 當歸 茯苓 黃芩 瞿麥 白薇 石韋 甘草 牡蠣 細辛 附子 禹余糧 白石脂 人參 烏賊骨 本 甘皮 大黃(各半兩)
上二十一味為末, 蜜和丸如梧子大, 空腹飲服十丸, 日再, 不知加至二十, 日知, 一月 百病除。若十二, 倍

牡蠣、禹余糧、烏賊骨、白石脂、龍骨。若九痛，倍黃連、白薇、甘草、當歸。若七害，倍細辛、 本，甘皮，加椒、茱萸各一兩。若五傷，倍大黃、石韋、瞿 麥。若三痼，倍人參，加赤石脂、礬石、巴戟天各半兩。合藥時隨病增減之。

赤石脂丸

治女人腹中十二疾，一曰經水不時，二曰經來如清水，三曰經水不通，四曰不周時，五曰生不乳，六曰絕無子，七曰陰陽減少，八曰腹苦痛如刺，九曰陰中冷，十曰子門相引痛，十一曰經來凍如葵汁狀，十二曰腰急痛。凡此十二病，得之時，因與夫臥起，月經不去，或臥濕冷地，及以冷水洗浴，當時取快，而後生百病，或瘡痍未瘥，便合陰陽，及起早作勞，衣單席薄，寒從下入方。

赤石脂 半夏(各一兩六銖) 川椒 乾薑 吳茱萸 當歸 桂心 丹參 白薇 防風(各一兩) 蘆(半兩)
上十一味為末，蜜和丸如梧子大，每日空心酒服十丸，日三，不知稍加，以知為度。

白石脂丸

治婦人三十六疾，胞中痛，漏下赤白方。

白石脂 烏賊骨 禹余糧 牡蠣(各十八銖) 赤石脂 乾地黃 乾薑 龍骨 桂心 石 葦白薇 細辛 芍藥 黃連 附子 當歸 黃芩 川椒 鐘乳 白芷 川芎 甘草(各半 兩)
上二十二味為末，蜜和丸如梧子大，每日空心酒下十五丸，日再。一方有黃柏半兩。

小牛角散

治帶下五賁；一曰熱病下血；二曰寒熱下血；三曰經脈未斷，為房事則血漏；四曰經來舉重，傷任脈下血；五曰產後臟開經利。五賁之病，外實內虛方。

牛角 (一枚，燒令赤) 鹿茸 禹余糧 當歸 乾薑 續斷(各二兩) 阿膠(三兩)烏賊骨 龍骨(各一兩) 赤小豆(二升)
上十味治下篩，空腹以酒服方寸匕，日三。(《千金翼》無鹿茸、烏賊骨)

龍骨散

治淳下十二病絕產，一曰白帶，二曰赤帶，三曰經水不利，四曰陰胎，五曰子臟堅，六曰臟癖，七曰陰陽患病痛，八曰內強，九曰腹寒，十曰臟閉，十一曰五臟酸痛，十二曰夢與鬼交，宜服之。(淳下一本作腹下。

龍骨(三兩) 黃柏 半夏 灶中黃土 桂心 乾薑(各二兩) 石韋 滑石(各一兩)烏賊骨 代赭(各四兩) 白僵蠶(五枚)
上十一味治下篩，酒服方寸匕，日三，白多者加烏賊骨，僵蠶各二兩，赤多者加代赭五兩，小腹泠加黃柏二兩，子臟堅加乾薑、桂心各二兩。以上各隨病增之，服藥三月有子即住藥，藥太過多生兩子，當審方取好藥。寡婦童女不可妄服。

治女子帶下諸病方：

大黃(蒸三斗米下) 附子 茯苓 牡蒙 牡丹 桔梗 葶藶(各三兩) 濃朴 川芎 人參當歸 虻蟲 川椒 吳茱萸 柴胡 乾薑 桂心(各半兩) 細辛(二兩半)
上十八味為末, 蜜和丸如梧子大, 每日空心酒服二丸, 不知加之, 以腹中溫溫為度。(一本有麻子、澤蘭, 無川椒、葶藶。

治帶下百病無子, 服藥十四日下血, 二十日下長蟲及青黃汁出, 三十日病除, 五十日肥 白方：

大黃(破如豆粒, 熬令黑色) 柴胡 朴硝(各一斤) 川芎(五兩) 乾薑 川椒(各一升)
上七味為末, 蜜和丸如梧子大, 先食米飲服七丸, 不知加至十丸, 以知為度。

治帶下方：

枸杞根(一升) 生地黃(五升)
上二味 咀, 以酒一斗, 煮取五升, 分為三服

治婦人及女子赤白帶下方：

禹余糧 當歸 川芎(各一兩半) 赤石脂 白石脂 阿膠 龍骨 石韋(各一兩六銖) 烏賊骨 黃柏 白薇 黃芩(一用黃連) 續斷 桑耳 牡蠣(各一兩)
上十五味為末, 蜜和丸如梧子大, 空心飲下十五丸, 日再, 加至三十丸為度。

白馬蹄丸

治女人下焦寒冷, 成帶下赤白浣方。

白馬蹄 鱉甲 附子 龜甲 川椒(各一兩) 磁石 甘草 杜仲 當歸 續斷 蓆 禹余糧 桑耳 川芎 鯉魚甲(各二兩)
上十五味為末, 蜜和丸如梧子大, 以酒服十丸, 加至三十丸, 日三服。(一本無龜甲)

白馬散

治帶下方(下白者取白馬, 下赤者取赤馬, 隨色取之。) 白馬 (二兩) 龜甲(四兩) 鱉甲(十八銖) 牡蠣(一兩十八銖)
上四味下篩, 空心酒下方寸匕, 日三服, 加至一匕半。

治五色帶下方：

服大豆紫湯, 日三服。(方見前三卷風篇中。)

又方 燒馬左蹄為末, 以酒服方寸匕, 日三服。

又方 燒狗頭和毛皮骨為末, 以酒服方寸匕。

又方 煮甑帶汁服一杯良。

又方 燒馬蹄底護干為末, 酒服方寸匕, 日三。

雲母芎散

衛公治五崩身瘦，咳逆煩滿少氣，心下痛，面生瘡，腰痛不可俯仰，陰中腫如有瘡狀，毛中癢，時痛與子臟相通，小便不利，常拘急，頭眩，頸項急痛，手足熱，氣逆沖急，心煩 不得臥，腹中急痛，食不下，吞酸噫苦，上下腸鳴，漏下赤白青黃黑汁，大臭如膠污衣狀，皆是內傷所致。中寒即下白，熱即下赤，多飲即下黑，多食即下黃，多藥即下青，或喜或怒，心中常恐，或憂勞便發動，大惡風寒方。

雲母 芎 代赭 東門邊木(燒，各一兩) 白僵蠶 烏賊骨 白堊 皮(各六銖) 鱉甲(一作龜甲) 桂心 伏龍肝 生鯉魚頭(各十八銖)
上十二味治下篩，酒服方寸匕，日三夜一。(一方有龍骨、干葛。)

慎火草散

治崩中漏下赤白青黑，腐臭不可近，令人面黑無顏色，皮骨相連，月經失度，往來無 常，小腹弦急，或苦絞痛上至心，兩脅腫脹，食不生肌膚，令人偏枯，氣息乏少，腰背痛連 脊，不能久立，嗜臥困懶方。(又方見後。) 慎火草 白石脂 禹余糧 鱉甲 乾薑 細辛 當歸 川芎 石斛 芍藥 牡蠣(各二兩)
上十六味治下篩，空腹酒服方寸匕，日三，稍加至二匕。若寒多者加附子、川椒，熱多者加知母，黃芩各一兩，白多者加乾薑、白石脂，赤多者加桂心、代赭各二兩。

禹余糧丸

治崩中赤白不絕困篤方。

禹余糧(五兩) 白馬蹄(十兩) 龍骨(三兩) 鹿茸(二兩) 烏賊骨(一兩)
上五味為末，蜜丸如梧子大，酒服二十丸，日再，以知為度。

增損禹余糧丸

治女人勞損因成崩中狀，如月經來去多不可禁止，積日不斷，五臟空虛，失色黃瘦，崩竭暫止，少日複發，不耐動搖，小勞輒劇，治法且宜與湯，未宜與此丸也。發時服湯，減 退即與此丸。若是疾久，可以長與此方。

禹余糧 龍骨 人參 桂心 紫石英 烏頭 寄生 杜仲 五味子 遠志(各二兩) 澤瀉當歸 石斛 蓯蓉 乾薑(各三兩) 川椒 牡蠣 甘草(各一兩)
上十八味為末，蜜丸梧子大，空心酒下十丸，漸加至二十丸，日三服。

治女人白崩及痔病方：

槐耳 白蘞 艾葉 蒲黃 白芷(各二兩) 黃耆 人參 續斷 當歸 禹余糧 橘皮 茯苓 乾地黃 皮(各三兩) 豬後懸蹄(二十個) 白馬蹄(酒浸一宿熬) 牛角 (各四兩)
上十七味為末，蜜丸，空心酒下二十丸，日二，加之

治婦人忽暴崩中，去血不斷，或如鵝鴨肝者方：

小薊根(六兩) 當歸 阿膠 續斷 青竹茹 川芎(各三兩) 生地黃(八兩) 釜 月下土 (絹裹) 地榆(各四兩) 馬通(一升, 赤帶用赤馬, 白帶用白馬)
上十味 咀, 以水八升和馬通汁, 煮取三升, 分三服, 不止頻服三四劑, 未全止。

續服後丸方：

續斷 甘草 地榆 鹿茸 小薊根 丹參(各三十銖) 乾地黃(二兩半) 川芎 赤 石脂《集驗》作 柏葉)
上十四味為末, 蜜丸如梧子大, 空心酒服十丸, 日再, 後稍加至三十丸。

治女人崩中去赤白方：

白馬蹄(五兩) 蒲黃 鹿茸 禹余糧 白馬鬃毛 小薊根 白芷 續斷(各四兩) 人參 兩)
上十八味為末, 蜜丸如梧子大, 空心飲服二十丸, 日再, 加至四十丸。

當歸湯

治崩中去血虛羸方。

當歸 川芎 黃芩 芍藥 甘草(各二兩) 生竹茹(二升)
上六味 咀, 以水一斗煮, 竹茹取六升, 去滓, 納諸藥煎取三升半, 分三服。忌勞動 嗔怒, 禁房事百日。

治崩中晝夜十數行, 眾醫所不能瘥者方：

川芎八兩 咀, 以酒五升煮取三升, 分三服, 不飲酒者, 水煮亦得。

治崩中下血出血一斛, 服之即斷, 或月經來過多, 及過期不來者, 服之亦佳方：

吳茱萸 當歸(各三兩) 川芎 人參 芍藥 牡丹 桂心 阿膠 生薑 甘草(各二兩) 半夏(八兩) 麥門冬(一升)
上十二味 咀, 以水一斗, 煮取三升, 分三服。

治暴崩中去血不止方：

牡蠣 兔骨(各二兩半, 炙)
上二味治下篩, 酒服方寸匕, 日三。

治女人白崩方：

川芎 桂心 阿膠 赤石脂 小薊根(各二兩) 乾地黃(四兩) 伏龍肝(如雞子大七枚)
上七味 咀, 以酒六升水四升合煮取三升, 去滓, 納膠令烊盡, 分三服, 日三。(《千 金翼》只六味, 無伏龍肝)

伏龍肝湯

治崩中去赤白, 或如豆汁方。

伏龍肝(如彈丸大，七枚) 生薑(五兩) 生地黃(四升，一方五兩) 甘草 艾葉 赤 石 脂桂心(各二兩)
上七味 咀，以水一斗煮取三升，分四服，日三夜一。

大牛角中仁散

治積冷崩中，去血不止，腰背痛，四肢沉重，虛極方。

牛角仁(一枚，燒) 續斷 乾地黃 桑耳 白朮 赤石脂 礬石 乾薑 附子 龍骨 當歸(各三兩) 人參(一兩) 蒲黃 防風 禹余糧(各二兩)
上十五味治下篩，以溫酒未食服方寸匕，日三，不知稍加。

治崩中去血，積時不止，起死方：

肥羊肉(三斤) 乾薑 當歸(各三兩) 生地黃(二升)
上四味 咀，以水二斗煮羊肉，取一斗三升，下地黃汁及諸藥，煮取三升，分四服即斷。尤宜羸瘦人服之。

生地黃湯

治崩中漏下，日去數升方。

生地黃(一斤) 細辛(三兩)
上二味 咀，以水一斗煮取六升，服七合，久服佳。

治崩中漏下赤白不止，氣虛竭方：

龜甲 牡蠣(各三兩)
上二味治下篩，酒服方寸匕，日三。

又方 燒亂髮灰，酒和，服方寸匕，日三。

又方 桑耳(二兩半) 鹿茸(十八銖)
上二味以醋五升漬，炙燥漬盡為度，治下篩，服方寸匕，日三。

又方 燒鹿角為末，酒服方寸匕，日三。

又方 燒桃核為末，酒服方寸匕，日三。

又方 地榆 知母(各指大，長一尺)
上二味 咀，以醋三升，東向灶中治極濃，去滓服之。

又方 桑木中蝪屎燒灰，酒服方寸匕。

治崩中下血，羸瘦少氣，調中補虛止血方：

澤蘭 川椒(二兩六銖) 本 柏子仁 山茱萸 濃朴(各十八銖) 乾地黃 牡蠣 (各一兩半) 代赭 桂心 防風 細辛 乾薑(各一兩) 甘草 當歸 芎 (各一兩十八銖) 蕪荑(半兩)

上十七味治下篩，空心溫酒服方寸匕，日三，神良。一方加白芷、龍骨各十八銖，人參 一兩十八銖，為二十味。

治崩中方：

白茅根（三斤） 小薊根（五斤）
上二味 咀，以水五斗，煎取四斗，稍稍服之。（《外台》用酒煎。）

丹參酒

治崩中去血，及產後餘疾方。

丹參 艾葉 地榆 忍冬 地黃（各五斤）
上五味銼，先洗臼熟舂，以水漬三宿，出滓，煮取汁，以黍米一斛炊飯釀酒，酒熟，榨 之，初服四合，後稍稍添之。

牡丹皮湯

治崩中血盛，並服三劑即瘥方。

牡丹皮 乾地黃 斛脈（各三兩） 禹余糧 艾葉 龍骨 柏葉 濃朴 白芷 伏龍肝 青竹茹 川芎 地榆（各二兩） 阿膠（一兩） 芍藥（四兩）
上十五味 咀，以水一斗五升，煮取五升，分五服，相去如人行十裡久，再服。

治崩中單方：

燒牛角末，以酒服方寸匕，日三服，亦治帶下。

又方 桑耳燒令黑為末，酒服方寸匕，日二服，亦治帶下。

又方 生薊根一斤半，搗取汁溫服，亦可酒煮服之。

又方 羊胰一具以醋煮，去血服之，即止，忌豬、魚、醋滑物，犯之便死。亦治帶下治白崩方：

灸小腹橫紋當臍孔直下百壯，又灸內踝上三寸左右各百壯。

論曰：治漏血不止，或新傷胎，乃產後餘血不消作堅，使胞門不閉，淋漓去血，經逾日 月不止者，未可以諸斷血湯，宜且與牡丹丸散等，待血堅消便停也。堅血消者，所去淋瀝便 自止，亦漸變消少也。此後有餘傷毀，不複處此，乃可作諸主治耳。婦人產乳去血多，傷胎 去血多，崩中去血多，金瘡去血多，拔牙齒去血多，未止，心中懸虛，心悶眩冒，頭重，目 暗，耳聾滿，舉頭便悶欲倒，宜且煮當歸、川芎各三兩，以水四升，煮取二升，去滓，分二服即定，展轉續次合諸湯治之。

白堊丸

治女人三十六疾，胞中病，漏下不絕方（又方見前）。

邯鄲白堊 禹余糧 白芷 白石脂 乾薑 龍骨 桂心 瞿麥 大黃 石韋 白薇 細辛芍藥 甘草 黃連 附子 當歸 茯苓 鐘乳 川椒 黃芩(各半兩) 牡蠣 烏賊骨 (各
上二十三味為末, 蜜丸如梧子大, 空心酒服五丸, 日再服, 不知加至十丸。

治女人漏下, 或瘥或劇, 常漏不止, 身體羸瘦, 飲食減少, 或赤或白或黃, 使人無子者方
上七味治下篩, 空心酒服方寸匕, 日二。

白多者加牡蠣、龍骨、烏賊骨, 赤多者加赤石脂、禹余糧, 黃多者加伏龍肝、桂心, 隨 病加之。(張文仲同亦療崩中,《肘後》無白龍骨, 以粥飲服)

鹿茸散

治婦人漏下不止方。

鹿茸 阿膠(各三兩) 烏賊骨 當歸(各二兩) 蒲黃(一兩)
上五味治下篩, 空心酒服方寸匕, 日三, 夜再服。

治女人產後漏下, 及痔病下血方:

礬石(一兩) 附子(一枚)
上二味為末, 蜜丸如梧子大, 空心酒下二丸, 日三, 稍加至五丸, 數日瘥, 能百日服之, 永斷。

芎湯

治帶下漏血不止方。

芎 乾地黃 黃耆 芍藥 吳茱萸 甘草(各二兩) 當歸 乾薑(各三兩)
上八味 咀, 以水一斗, 煮取三升, 分三服。若月經後因有赤白不止者, 除地黃、吳茱萸, 加杜仲、人參各二兩。

治漏下去血不止方:

取水蛭治下篩, 酒服一錢許, 日二, 惡血消即能愈。

治漏下神方:

取槐子燒末, 酒服方寸匕, 日三, 立瘥。

治漏下去黑方:

干漆 麻蕡(舊本作麻黃) 細辛 桂心(各一兩) 甘草(半兩)
上五味治下篩, 以指撮著米飲中服之。

治漏下去赤方:

白朮(二兩) 白薇(半兩) 黃柏(二兩半)
上三味治下篩, 空心酒服方寸匕, 日三。

治漏下去黃方：

黃連 大黃 桂心(各半兩) 黃芩 蟲 乾地黃(各六銖)
上六味治下篩, 空心酒服方寸匕, 日三。

治漏下去青方：

大黃 黃芩 白薇(各半兩) 桂心 牡蠣(各六銖)
上五味治下篩, 空心酒服方寸匕, 日三。

治漏下去白方：

鹿茸(一兩) 白薸(十八銖) 狗脊(半兩)
上三味治下篩, 空心米飲服方寸匕, 日三。

治女子漏下, 積年不斷困篤方：

取鵲重巢柴, 燒灰作末, 服方寸匕, 日三服, 三十日愈, 甚良。重巢者, 去年在巢中產, 今年又在上作重巢產者是也。

馬通湯

治漏下血, 積月不止方。

赤馬通汁(一升, 取新馬屎絞取汁, 乾者水浸絞取汁) 生艾葉 阿膠(各三兩) 當 歸 乾薑(各二兩) 好墨(半丸)
上六味 咀, 以水八升, 酒二升, 煮取三升, 去滓, 納馬通汁及膠微火煎, 取二升, 分再服, 相去如人行十裡久。

馬蹄屑湯

治白漏不絕方。

白馬蹄 赤石脂(各五兩) 禹余糧 烏賊骨 龍骨 牡蠣(各四兩) 附子 乾地黃 當歸(各三兩) 甘草(二兩) 白僵蠶(一兩)
上十一味 咀, 以水二斗, 煮取九升, 分六服, 日三, 即愈。

馬蹄丸

治白漏不絕方。

白馬蹄 禹余糧(各四兩) 龍骨(三兩) 烏賊骨 白僵蠶 赤石脂(各二兩)
上六味為末, 蜜丸如梧子大, 酒服十丸, 不知加至三十丸。

慎火草散

治漏下方。(又方見前。

慎火草(十兩熬黃) 當歸 鹿茸 阿膠(各四兩) 龍骨(半兩)
上五味治下篩，先食酒服方寸匕，日三。

蒲黃散 治漏下不止方。

蒲黃(半升) 鹿茸 當歸(各二兩)
上三味治下篩，酒服五分匕，日三，不知稍加至方寸匕。

灸法

女人胞漏下血不可禁止，灸關元兩旁相去三寸。

女人陰中痛引心下，及小腹絞痛，腹中五寒，灸關儀百壯。穴在膝外邊上一寸宛宛中是女人漏下赤白及血，灸足太陰五十壯。穴在內踝上三寸，足太陰經內踝上三寸，名三陰交。

女人漏下赤白，月經不調，灸交儀三十壯。穴在內踝上五寸。

女人漏下赤白，灸營池四穴三十壯。穴在內踝前後兩邊，池中脈上，一名陰陽是。

女人漏下赤白，四肢酸削，灸漏陰三十壯。穴在內踝下五分，微動腳脈上。

女人漏下赤白泄注，灸陰陽，隨年壯，三報。穴在足□趾下屈裡表頭白肉際是。

月經不調第二十一

(方二十三首 灸法一首)

白堊丸

治婦人月經一月再來，或隔月不來，或多或少，淋瀝不斷，或來而腰腹痛，噓吸不能 食，心腹痛，或青黃黑色，或如水，舉體沉重方。

白堊 白石脂 牡蠣 禹余糧 龍骨 細辛 烏賊骨(各一兩半) 當歸 芍藥 黃連 茯苓 乾薑 桂心 人參 瞿麥 石韋 白芷 白薇 附子 甘草(各一兩) 川椒(半兩)
上二十一味為末，蜜丸梧子大，空心酒下二十丸，日三。至月候來時，日四五服為佳。

桃仁湯

治產後及墮身，月水不調，或淋瀝不斷，斷後複來，狀如瀉水，四體噓吸不能食，腹中 堅痛，不可行動，月水或前或後，或經月不來，舉體沉重，惟欲眠臥，多思酸物方。

桃仁(五十枚) 澤蘭 甘草 川芎 人參(各二兩) 牛膝 桂心 牡丹皮 當歸(各三兩) 芍藥 生薑 半夏(各四兩) 地黃(八兩) 蒲黃(七合)
上十四味 咀, 以水二斗, 煮取六升半, 分六服。

杏仁湯

治月經不調, 或一月再來, 或兩月三月一來, 或月前或月後, 閉塞不通方。

杏仁(二兩) 桃仁(一兩) 大黃(三兩) 水蛭 虻蟲(各三十枚)
上五味 咀, 以水六升, 煮取二升, 分三服。一服當有物隨大小便有所下, 下多者止 之, 少者勿止, 盡三服。

大黃朴硝湯

治經年月水不利, 胞中有風冷所致, 宜下之方。

大黃 牛膝(各五兩) 朴硝 牡丹 甘草 紫菀(各三兩, 一作紫葳) 代赭(一兩) 桃 仁虻蟲 水蛭 乾薑 細辛 焰硝(各二兩, 舊本作芒硝) 麻仁(五合)
上十四味 咀, 以水一斗五升, 煮取五升, 去滓, 納硝令烊, 分五服, 五更為首, 相去一炊頃, 自下後將息。忌見風。

茱萸虻蟲湯

治久寒月經不利, 或多或少方。

吳茱萸(三升) 虻蟲 水蛭 蟲 牡丹(各一兩) 生薑(一斤) 小麥 半夏(各一升) (一兩半) 芍藥(二兩)
上十五味 咀, 以酒一斗, 水二斗, 煮取一斗, 去滓, 適寒溫, 一服一升, 日三。不飲酒者, 以水代之。湯欲成乃納諸蟲。不耐藥者, 飲七合。

抵當湯

治月經不利, 腹中滿, 時自減, 並男子膀胱滿急方。

虎掌(《千金翼》作虎杖) 大黃(各二兩) 桃仁(三十枚) 水蛭(二十枚)
上四味以水三升, 煮取一升, 盡服之, 當下惡血為度。

七熬丸

治月經不利, 手足煩熱, 腹滿默默不欲寤, 心煩方。

大黃(一兩半) 前胡(一作柴胡) 芒硝(熬, 各五兩) 葶藶 川椒(並熬, 各六 銖) 生薑川芎 茯苓(各十五銖) 杏仁(九銖, 熬) 桃仁(二十枚熬) 虻蟲(熬) 水蛭 (各半合, 熬)
上十二味為末, 蜜丸梧子大, 空腹飲服七丸, 日三, 不知加一倍。(一方有 蟲、牡丹 各

桃仁散

治月經來繞臍痛，上沖心胸，往來寒熱，如瘧疰狀方。

桃仁（五十枚） 蟲（二十枚） 桂心（五寸） 茯苓（一兩） 薏苡仁 牛膝 代 赭（各二兩） 大黃（八兩）
上八味治下篩，隔宿勿食，溫酒服一錢匕，日三。

治月經往來腹腫腰腹痛方：

蟲（四枚） 川椒 乾薑（各六銖） 大黃 女青 桂心 川芎（各半兩）
上七味治下篩，取一刀圭，先食酒服之，日三，十日微下，善養之。

牡丹大黃湯

治月經不調，或月前或月後，或如豆汁，腰痛如折，兩腳疼，胞中風寒，下大黃 朴硝（各四兩） 牡丹（三兩）
桃仁（一升） 人參 陽起石 茯苓 甘草 水 蛭 虻蟲（各二兩）
上十味 咀，以水九升，煮取三升，去滓，納朴硝令烊盡，分三服，相去如一飯頃。

陽起石湯

治月水不調，或前或後，或多或少，或赤或白方。

陽起石 甘草 續斷 乾薑 人參 桂心（各二兩） 附子（一兩） 赤石脂（三兩） 伏 龍 肝（五兩） 生地黃（一升）
上十味，以水一斗，煮取三升二合，分四服，日三夜一。

治婦人憂恚，心下支滿，膈中伏熱，月經不利，血氣上搶心，欲嘔不可多食，懈怠不能 動方：

大黃 芍藥 虻蟲（各二兩） 土瓜根 川椒 黃芩 白朮 地骨皮（一作炭皮） 乾薑 川芎（各一兩） 桂心 干漆（各一兩半）
上十二味為末，蜜丸梧子大，每服十丸，日三，不知加之。（《千金翼》有炭皮，作炭 皮丸。）

牛膝丸

治產後月水往來，乍多乍少，仍複不通，時時疼痛，小腹裡急，下引腰身重方 牛膝 芍藥 人參 大黃（各三兩） 牡丹皮 甘草 當歸 川芎（各二兩） 桂心（一兩）
上十四味為末，蜜丸梧子大，酒服五丸，日三，不知稍增。

又方 鹿角末服之良。

又方 生地黃汁三升，煮取二升服之。

又方 飲人乳汁三合，善。

又方 燒月經衣井花水服之。

又方 燒白狗屎焦為末 酒服方寸匕，日三。

又方 取白馬尿，服一升良。

治月經不斷方：

船茹一斤，淨洗，河水四升半，煮取二升，分二服。

又方 服地黃酒良。

又方 服大豆酒佳。

又方 燒箕舌灰酒服之。

又方 灸內踝下白肉際青脈上，隨年壯。

備急千金要方 卷五 少小嬰孺方

唐 孫思邈

（凡五類）

序例第一

（論三首 方二首 擇乳母法）論曰：夫生民之道，莫不以養小為大，若無於小，卒不成大。故《易》稱積小以成大。

《詩》有厥初生民，《傳》曰聲子生隱公，此之一義，即是從微至著，自少及長，人情共見，不待經史，故今斯方先婦人小兒，而後丈夫耆老者，則是崇本之義也。然小兒氣勢微弱，醫士欲留心救療，立功痊難，今之學人，多不存意，良由嬰兒在於襁褓之內，乳氣腥臊，醫者操行英雄，詎肯瞻視，靜言思之，可為太息者矣。《短劇方》云：凡人年六歲以上為小，十六歲以上為少，（《巢源》、《外台》作十八以上為少），三十以上為壯（《巢源》、《外台》作二十以上為壯），五十以上為老。其六歲以下，經所不載，所以乳下嬰兒有病難治者皆為無所承據也。中古有巫妨（《巢源》作巫方）者，立小兒《顱囟經》，以占夭壽，判疾病死生，世相傳授，始有小兒方。逮於晉宋，江左推諸蘇家，傳習有驗，流於人間。齊有徐王者，也有《小兒方》三卷，故今之學人，頗得傳授。然徐氏位望隆重，何暇留心於少小，詳其方意，不甚深細，少有可采，未為至秘。今博采諸家及自經用有效者，以為此篇，凡百居家，皆宜達茲。 又曰：小兒病與大人不殊，惟用藥有多少為異。其驚癇客忤解顱不行等八九篇合為此卷，下痢等餘方並散在諸篇，可披而得之。

凡生後六十日瞳子成，能咳笑應和人。百日任脈成，能自反覆，（一作百五十日。）百八十日尻骨成，能獨坐。二百一十日掌骨成，能匍匐。三百日臏骨成，能獨立。三百六十日膝骨成，能行。此其定法，若不能依期，必有不平之處。

凡兒生三十二日一變。六十四日再變，變且蒸。九十六日三變。一百二十八日四變，變 且蒸。一百六十日五變。一百九十二日六變，變且蒸。二百二十四日七變。二百五十六日八變，變且蒸。二百八十八日九變。三百二十日十變，變且蒸。積三百二十日小蒸畢後，六十四日大蒸，蒸後六十四日複大蒸，蒸後一百二十八日複大蒸。凡小兒自生三十二日一變，再變為一蒸，凡十變而五小蒸，又三大蒸，積五百七十六日，大小蒸都畢，乃成人。小兒所以變蒸者，是榮其血脈，改其五臟，故一變，竟輒覺情態有異。其變蒸之候，變者上氣，蒸者體熱，變蒸有輕重，其輕者體熱而微驚，耳冷尻冷，上唇頭白泡起如魚目珠子，微汗出，其重者體壯熱而脈亂，或汗或不汗，不欲食，食輒吐，目白睛微赤，黑睛微白。又云：目者重，赤黑者微。變蒸畢，目睛明矣，此其証也。單變小微，兼蒸小劇，凡蒸平者五日而衰，遠者十日而衰，先期五日後之五日為十日之中，熱乃除耳。兒生三十二日一變，二十九日 先期而熱，便治之如法，至三十六七日蒸乃畢耳。恐不解了，故重說之。且變蒸之時，不欲驚動，勿令旁多人，兒變蒸或早或晚不如法者多。又初變之時或熱甚者，違日數不歇，審計變蒸之日，當其時有熱微驚，慎不可治及灸刺，但和視之。若良久熱不可已，少與紫丸微下，熱歇便止。若於變蒸之中，加以時行溫病，或非變蒸時而得時行者，其診皆相似，惟耳及 尻通熱，口上無白泡耳。當先服黑散以發其汗，汗出，溫粉粉之，熱當歇，便就瘥。若猶不都除，乃與紫丸下之。兒變蒸時若有寒加之，即寒熱交爭，腰腹夭糾，啼不止者，熨之則愈也。(熨法出下編炙粉絮熨者是。)變蒸與溫壯傷寒相似，若非變蒸，身熱耳熱尻亦熱，此乃為他病，可作餘治，審是，變蒸不得為餘治也。

又一法，凡兒生三十二日始變，變者身熱也。至六十四日再變，變且蒸，其狀臥端正也。至九十六日三變，定者候丹孔出而泄。至一百二十八日四變，變且蒸，以能咳笑也。至一百六十日五變，以成機關也。至一百九十二日六變，變且蒸，五機成也。至二百二十四日七變，以能匍匐也。至二百五十六日八變，變且蒸，以知欲學語也。至二百八十八日九變，以亭亭然也。凡小兒生至二百八十八日九變四蒸也，當其變之日，慎不可妄治之，則加其疾。

變且蒸者是兒送迎月也，蒸者甚熱而脈亂，汗出是也。近者五日歇，遠者八九日歇也。當是蒸上不可灸刺妄治之也。

紫丸

治小兒變蒸，發熱不解，並挾傷寒溫壯，汗後熱不歇，及腹中有痰癖，哺乳不進，乳則吐，食癇，先寒後熱方。

代赭 赤石脂(各一兩) 巴豆(三十枚) 杏仁(五十枚)
上四味為末，巴豆、杏仁別研為膏，相和，更搗二千杵，當自相得，若硬，入少蜜同搗之，密器中收。三十日兒服如麻子一丸，與少乳汁令下，食頃後，與少乳勿令多，至日中當小下熱除。若未全除，明旦更與一丸。百日兒服如小豆一丸，以此準量增減。夏月多熱，善令發疹，二三十日輒一服佳。紫丸無所不療，雖下不虛人。

黑散

治小兒變蒸中挾時行溫病，或非變蒸時而得時行者方。

麻黃 杏仁(各半兩) 大黃(六銖)
上三味，先搗麻黃大黃為散，別研杏仁如脂，乃細細納散，又搗，令調和納密器中。一月兒服小豆大一枚，以乳汁和服，抱令得汗，汗出溫粉粉之，勿使見風。百日兒服如棗核，以兒大小量之。

凡乳母者，其血氣為乳汁也。五情善惡，悉是血氣所生也。其乳兒者，皆宜慎於喜怒。

夫乳母形色所宜，其候甚多，不可求備。但取不胡臭、癭 、氣嗽、 疥、痴癃、白禿、瘍、沈唇、耳聾、 鼻、癲癇，無此等疾者，便可飲兒也。師見其故灸瘢，便知其先疾之源 也。

初生出腹第二

（論二首 凡十二事 相兒壽夭法）論曰：小兒初生，先以綿裹指，拭兒口中及舌上青泥惡血，此為之玉衡。（一作銜。）若 不急拭，啼聲一發，即入腹成百疾矣。

兒生落地不作聲者，取暖水一器灌之，須臾當啼。兒生不作聲者，此由難產少氣故也，可取兒臍帶向身卻捋之，令氣入腹，仍呵之至百度，啼聲自發；亦可以蔥白徐徐鞭之，即啼。

兒已生即當舉之，舉之遲晚，則令中寒，腹內雷鳴，乃先浴之，然後斷臍，不得以刀割 之，須令人隔單衣物咬斷，兼以暖氣呵七遍，然後纏結。所留臍帶，令至兒足趺上，短則中寒，令兒腹中不調，常下痢。若先斷臍，然後浴者，臍中水，臍中水則發腹痛。其臍斷訖，連臍帶中多有蟲，宜急剔撥去之，不爾入兒腹成疾。斷兒臍者，當令長六寸，長則傷肌，短則傷臟，不以時斷。若 汁不盡，則暖氣漸微，自生寒，令兒臍風。

生男宜用其父舊衣裹之，生女宜用其母故衣，皆勿用新帛為善，不可令衣過濃，令兒傷皮膚，害血脈，發雜瘡而黃，兒衣綿帛特忌濃熱，慎之慎之。凡小兒始生，肌膚未成，不可暖衣，暖衣則令筋骨緩弱，宜時見風日，若都不見風，則令肌膚脆軟，便宜中傷，皆當以故絮衣之，勿用新綿也。凡天和暖無風之時，令母將兒於日中嬉戲，數見風日，則血凝氣剛，肌肉牢密，堪耐風寒，不致疾病。若常藏在幃帳之中，重衣溫暖，譬猶陰地之草木，不見風日，軟脆不堪風寒也。

凡裹臍法，椎治白練令柔軟，方四寸，新綿濃半寸，與帛等合之，調其緩急，急則令兒 吐。兒生二十日，乃解視臍。若十許日兒怒啼，似衣中有刺者，此或臍燥，還刺其腹，當 解之易衣更裹。裹臍時閉戶下帳，燃火令帳中溫暖，換衣亦然，仍以溫粉粉之，此謂冬時寒 也。若不愈，燒絳帛末粉之。若過一月臍有汁不愈，燒蝦蟆灰粉之，日三四次。若臍中水及 中冷，則令兒腹絞痛，夭糾啼呼，面目青黑，此是中水之過，當炙粉絮以熨之，不時治護。

臍至腫者當隨輕重，重者便灸之，乃可至八九十壯，輕者臍不大腫，但出汁。時時啼呼者，搗當歸末和胡粉敷之，炙絮日熨之，至百日愈，以啼呼止為候。若兒糞青者冷也，與臍中水 同。

兒洗浴斷臍竟 抱畢，未可與朱蜜，宜與甘草湯。以甘草如手中指一節許，打碎，以水 二合煮，取一合，以綿纏沾取，與兒吮之，連吮汁，計得一蜆殼入腹止，兒當快吐，吐去心胸中惡汁也。如得吐，餘藥更不須與。若不得吐，可消息計如飢渴，須臾更與之若前。所服 及更與並不得吐者，但稍稍與之，令盡此一合止。如得吐去惡汁，令兒心神智慧無病也。飲 一合盡都不吐者，是兒不含惡血耳，勿複與甘草湯，乃可與朱蜜以鎮心神，安魂魄也。

兒新生三日中，與朱蜜者不宜多，多則冷兒，脾胃冷腹脹，喜陰癇，氣急變噤痙而死。

新生與朱蜜法，以飛煉朱砂如大豆許，以赤蜜一蜆殼和之，以綿纏箸頭沾取，與兒吮之，得三沾止，一日令盡此一豆許，可三日與之，則用三豆許也，勿過此，則傷兒也。與朱蜜竟，可與牛黃如朱蜜多少也，牛黃益肝膽除熱，定精神止驚，辟惡氣，除小兒百病也。

新生三日後，應開腸胃，助穀神，可研米作濃飲，如乳酪濃薄，以豆大與兒咽之，頻咽 三豆許止，日三與之，滿七日可與哺也。兒生十日始哺如棗核，二十日倍之，五十日如彈丸，百 兒不勝穀氣，令生病，頭面身體喜生瘡，愈而複發，令兒 弱難養。三十日後雖哺勿多，若 不嗜食，勿強與之，強與之不消，複生疾病。哺乳不進者，腹中皆有痰癖也，當以四物紫丸 微下，節哺乳，數日便自愈。小兒微寒熱，亦當爾利之，要當下之，然後乃瘥。

凡乳兒不欲太飽，飽則嘔吐，每候兒吐者，乳太飽也，以空乳乳之即消，日四。乳兒若 臍未愈，乳兒太飽，令風中臍也。夏不去熱乳，令兒嘔逆；冬不去寒乳，令兒咳痢。母新房 以乳兒，令兒羸瘦，交脛不能行。母有熱以乳兒，令變黃不能食。母怒以乳兒，令喜驚發氣疝，又令上氣疝癲狂。母新吐下以乳兒，令虛羸。母醉以乳兒，令身熱腹滿。

凡新生小兒，一月內常飲豬乳，大佳。

凡乳母乳兒，當先極，散其熱氣，勿令汁奔出，令兒噎，輒奪其乳，令得息，息已，複乳之，如是十返五返，視兒飢飽，節度，知一日中幾乳而足，以為常。又常捉去宿乳。兒 若臥，乳母當以臂枕之，令乳與兒頭平乃乳之，令兒不噎。母欲寐則奪其乳，恐填口鼻，又不知飢飽也。

浴兒法：

凡浴小兒湯極須令冷熱調和，冷熱失所，令兒驚，亦致五臟之疾也。凡兒冬不可久浴，浴久則傷寒。夏不可久浴，浴久則傷熱。數浴背冷，則發癇。若不浴，又令兒毛落。新生浴 兒者，以豬膽一枚，取汁投湯中以浴兒，終身不患瘡疥。勿以雜水浴之。

兒生三日，宜用桃根湯浴，桃根、梅根、李根各二兩，枝亦得， 咀，以水三斗煮二十沸，去滓，浴兒，良，去不祥，令兒終身無瘡疥。

治小兒驚，辟惡氣，以艾虎湯浴，艾一斤，虎頭骨一枚，以水三斗煮為湯浴，但須浴則煮用之。

凡小兒初出腹有鵝口者，其舌上有白屑如米，劇者鼻中亦有之，此由兒在胞胎中受穀氣盛故也，或妊娠時嗜糯米使之然。治之之法以發纏箸頭沾井花水撩拭之，三日如此，便脫去，如不脫，可煮栗 汁，令濃，以綿纏箸頭拭之。若春夏無栗，可煮栗木皮，如用井花水法。

小兒初出腹有連舌，舌下有膜如石榴子中隔連其舌下，後喜令兒言語不發不轉也，可以 爪摘斷之，微有血出無害；若血出不止，可燒發作灰末敷之，血便止也。

小兒出腹六七日後，其血氣收斂成肉，則口舌喉頰裡清淨也。若喉裡舌上有物，如蘆籜 盛水狀者，若懸癰有脹起者，可以綿纏長針，留刃處如粟米許大，以刺決之，令氣泄，去青 黃赤血汁也，一刺之止消息，一日未消者，來日又刺之，不過三刺，自消盡，餘小小未消，三刺亦止，自然得消也。有著舌下如此者，名重舌。有著頰裡及上 如此者，名重 。有著齒齦上者，名重齦。皆刺去血汁也。

小兒生輒死，治之法：

當候視兒口中懸雍前上 有泡者，以指摘取頭決，令潰去血，勿令血入咽，入咽殺兒，急急慎之。小兒初出腹，骨肉未斂，肌肉猶是血也，血凝乃堅成肌肉耳，其血沮敗不成肌肉，則使面目繞鼻口左右悉黃而啼，閉目聚口撮面，口中乾燥，四肢不能伸縮者，皆是血脈不斂 也，喜不育。若有如此者，皆宜與龍膽湯也。(方出本卷驚癇篇。) 相兒壽夭法：

兒初生叫聲連延相屬者，壽。

聲絕而複揚急者，不壽。

啼聲散，不成人。

啼聲深，不成人。

臍中無血者，好。

臍小者，不壽。

通身軟弱如無骨者，不壽。

鮮白長大者，壽。

自開目者，不成人。

目視不正數動者，大非佳。

汗血者，多厄不壽。

汗不流，不成人。

小便凝如脂膏，不成人。

頭四破，不成人。

常搖手足者，不成人。

早坐、早行、早齒、早語，皆惡性，非佳人。

頭毛不周匝者，不成人。

發稀少者強，不聽人(一作不聰)。

額上有旋毛，早貴，妨父母。

兒生枕骨不成者，能言而死。

尻骨不成者，能倨而死。

掌骨不成者，能匍匐而死。

踵骨不成者，能行而死。

臏骨不成者，能立而死。

身不收者，死。

魚口者，死。

股間無生肉者，死。

頤下破者，死。

陰不起者，死。

陰囊下白者，死；赤者，死。

卵縫通達黑者，壽。

論曰：兒三歲以上，十歲以下，視其性氣高下，即可知其夭壽大略。兒小時識悟通敏過 人者，多夭，大則頂 、顏回之流是也。小兒骨法成就威儀回轉遲舒稍費人精神雕琢者，壽。其預知人意回旋敏速者，亦夭。即楊修、孔融之徒是也。由此觀之，夭壽大略可知也，亦 猶梅花早發不睹歲寒，甘菊晚成終於年事，是知晚成者，壽之兆也。

驚癇第三

（論三首 方十三首 灸法二十六首）論曰：少小所以有癇病及痙病者，皆由臟氣不平故也。新生即癇者，是其五臟不收斂，血氣不聚，五脈不流，骨怯不成也，多不全育。其一月四十日以上至期歲而癇者，亦由乳養 失理，血氣不和，風邪所中也，病先身熱，掣 驚啼叫喚而後發癇。脈浮者為陽癇，病在六 腑，外在肌膚，猶易治也。病先身冷，不驚掣，不啼呼，而病發時，脈沉者，為陰癇，病在 五臟，內在骨髓，極難治也。病發身軟時醒者，謂之癇也。身強直反張如弓不時醒者，謂之 痙也，諸反張，大人脊下容側手，小兒容三指者，不可複治也。凡脈浮之與沉，以判其病在 陰陽表裡耳。其浮沉複有大小滑澀虛實遲快諸証，各依脈形為治。

《神農本草經》說：小兒驚癇有一百二十種，其証候微異於常，便是癇候也。初出腹，血脈不斂，五臟未成，稍將養失宜，即為病也。時不成人，其經變蒸之後有病，餘証並寬，惟中風最暴卒也。小兒四肢不好驚掣，氣息小異，欲作癇，及變蒸日滿不解者，並宜龍膽湯 也。

凡小兒之癇有三種，有風癇，有驚癇，有食癇。然風癇、驚癇時時有耳，十兒之中未有一二是風驚者。凡是先寒後熱發者，皆是食癇也。驚癇當按圖灸之，風癇當與豬心湯，食癇 當下，乃與紫丸佳，凡小兒所以得風癇者，緣衣暖汗出，風因入也。風癇者，初得之時，先 屈指如數，乃發作者，此風癇也。驚癇者，起於驚怖，大啼乃發作者，此驚癇也。驚癇微者急持之，勿複更驚之或自止也。其先不哺乳，吐而變熱後發癇者，此食癇，早下則瘥，四味 紫丸逐癖飲最良，去病速而不虛人，赤丸（方中本無赤丸，詳後，癖結脹滿篇第一方，紫雙 丸用朱砂色當赤，疑即赤丸也）瘥快，病重者當用之。

凡小兒不能乳哺，當與紫丸下之。小兒始生，生氣尚盛，但有微惡，則須下之，必無所損，及其愈病，則致深益，若不時下，則成大疾，疾成則難治矣。凡下，四味紫丸最善，雖 下不損人，足以去疾。若四味紫丸不得下者，當以赤丸下之。赤丸不下，當倍之。若已下而 有餘熱不盡，當按方作龍膽湯稍稍服之，並摩赤膏（方見本篇末）。風癇亦當下之，然當以 豬 心湯下之。驚癇但按圖灸之，及摩生膏（方見本篇末），不可大下也，何者？驚癇心氣不定（一作足），下之內虛，益令甚爾。驚癇甚者，特為難治，故養小兒，常慎驚，勿令聞大聲，抱 持之間，當安徐勿令驚怖。又天雷時，當塞兒耳，並作餘細聲以亂之也。

凡養小兒，皆微驚以長其血脈，但不欲大驚，大驚乃灸驚脈，若五六十日灸者，驚複更 甚，生百日後灸驚脈乃善。兒有熱不欲哺乳，臥不安，又數驚，此癇之初也，服紫丸便愈，不愈複與之。兒眠時小驚者，一月輒一，以紫丸下之，減其盛氣，令兒不病癇也。

兒立夏後有病，治之慎勿妄灸，不欲吐下，但以除熱湯浴之，除熱散粉之（除熱湯、散，見下編傷寒條中），除熱赤膏摩之，又以膏塗臍中，令兒在涼處，勿禁水漿，常以新水飲之。

小兒衣甚薄，則腹中乳食不消，不消則大便皆醋臭，此欲為癖之漸也，便將紫丸以微消 之，服法，先從少起，常令大便稀，勿大下也，稀後便漸減之，不醋臭，乃止藥也。

凡小兒冬月下無所畏，夏月下難瘥，然有病者，不可不下，下後腹中當小脹滿，故當節 哺乳數日，不可妄下。又乳哺小兒常令多少有常劑，兒漸大當小小增之，若減少者，此腹中已有小不調也，便微服藥，勿複哺之，但當與乳，甚者十數日，微者五六日止，哺自當如常。

若都不肯食哺，而但欲乳者，此是有癖，為疾重要，當下之，不可不下，不下則致寒熱，或吐而發癇，或更致下痢，此皆病重不早下之所為也，此即難治矣。但先治其輕時，兒不耗損 而病可速愈。

凡小兒屎黃而臭者，此腹中有伏熱，宜微將服龍膽湯。若白而醋臭者，此挾宿食不消也，當服紫丸，微者少與藥，令內消，甚者小增藥，令小下，皆複節乳哺數日，令胃氣平和，若 不節乳哺，則病易複，複下之則傷其胃氣，令腹脹滿，再三下之尚可，過則傷矣。

凡小兒有癖，其脈大必發癇，此為食癇，下之便愈，當審候掌中與三指脈不可令起，而 不時下致於發癇，則難療矣。若早下之，此脈終不起也，脈在掌中尚可早療，若至指則病增 矣。

凡小兒腹中有疾生，則身寒熱，寒熱則血脈動，動則心不定，心不定則易驚，驚則癇發速也。

候癇法：

夫癇，小兒之惡病也，或有不及求醫而致困者也。然氣發於內，必先有候，常宜審察其 精神，而探其候也。

手白肉魚際脈黑者，是癇候；魚際脈赤者，熱；脈青大者，寒；脈青細為平也。

鼻口乾燥，大小便不利，是癇候。

眼不明上視喜陽，是癇候。

耳後完骨上有青絡盛，臥不靜，是癇候，青脈刺之令血出也。

小兒發逆上啼笑面暗，色不變，是癇候。

鼻口青時小驚，是癇候。

目閉青時小驚，是癇候。

身熱頭常汗出，是癇候。

身熱吐 而喘，是癇候。

身熱目時直視，是癇候。

喜欠，目上視，是癇候。

身熱，目視不精，是癇候。

目瞳子卒大黑於常，是癇候。

臥惕惕而驚，手足振搖，是癇候。

臥夢笑，手足動搖，是癇候。

意氣下而妄怒，是癇候。

咽乳不利，是癇候。

身熱小便難，是癇候。

吐痢不止，厥痛時起，是癇候。

弄舌搖頭，是癇候。

以上諸候二十條，皆癇之初也，見其候，便抓其陽脈所應灸，抓之皆重手，令兒驟啼，及足絕脈，亦依方與湯。直視瞳子動，腹滿轉鳴下血，身熱口禁不得乳，反張脊強，汗出發熱，為臥不悟，手足掣，善驚，凡八條，癇之劇者也，如有此，非複湯抓所能救，便當時 灸之。 論曰：若病家始發便來詣師，師可診候，所解為法作次序治之，以其節度首尾取 瘥也。病家已經雜治無次序，不能製病，病則變異其本候，師便不知其前証虛實，只依後証 作治，亦不得瘥也。要應精問察之，為前師所配依，取其前蹤跡以為治，乃無逆耳。前師處 湯本應數劑乃瘥，而病家服一兩劑未效，便謂不驗，以後更問他師，師不尋前人為治寒溫次序，而更為治，而不次前師治則弊也。或前已下之，後須平和療以接之，而得瘥也；或前人未下之，或不去者，或前治寒溫失度，後人應調治之，是為治敗病，皆須邀射之，然後免耳。

不依次第，及不審察，必及重弊也。

龍膽湯

治嬰兒出腹，血脈盛實，寒熱溫壯，四肢驚掣，發熱大吐　者。若已能進哺，中食實　不消，壯熱及變蒸不解，中客人鬼氣，並諸驚癇，方悉主之。十歲以下小兒皆服之，小兒龍　膽湯第一。此是新出腹嬰兒方，若日月長大者，以次依此為例，若必知客忤及有魅氣者，可　加各如龍膽多少也，一百日兒加三銖，二百日兒加六銖，一歲兒加半兩，餘藥皆準耳。

龍膽　鉤藤皮　柴胡　黃芩　桔梗　芍藥　茯苓(一作茯神)　甘草(各六銖)　蜣螂(二枚)　大黃(一兩)
上十味　咀，以水一升，煮取五合為劑也，服之如後節度。藥有虛實，虛藥宜足數合水也。兒生一日至七日，分一合為三服；兒生八日至十五日，分一合半為三服；生十六日至二十日，分二合為三服；兒生二十日至三十日，分三合為三服；兒生三十日至四十日，盡以五合為三服。皆得下即止，勿再服也。

大黃湯

治少小風癇積聚腹痛夭矯二十五癇方。

大黃　人參　細辛　乾薑　當歸　甘皮(各三銖)
上六味　咀，以水一升煮取四合，服之如棗許大，日三。

白羊鮮湯

治小兒風癇，胸中有痰方。

白羊鮮(三銖，即白鮮皮)　蚱蟬(二枚)　大黃(四銖)　甘草　鉤藤皮　細辛(各二銖)　牛黃(如大豆四枚)　蛇蛻皮(一寸)
上八味　咀，以水二升半，煮取一升二合，分五服，日三。若服已盡而癇不斷者，可　更加大黃、鉤藤各一銖，以水漬藥半日，然後煮之。

增損續命湯

治小兒猝中風惡毒，及久風四肢角弓反張不隨，並　曳僻不能行步方。

麻黃　甘草　桂心(各一兩)　川芎　葛根　升麻　當歸　獨活(各十八銖)　人參　黃芩　石膏(各半兩)　杏仁(二十枚)
上十二味　咀，以水六升煮麻黃，去上沫，乃納諸藥，煮取一升二合，三歲兒分為四服，一日令盡，少取汗，得汗以粉粉之。

石膏湯

治小兒中風，惡痱不能語，口眼了戾，四肢不隨方。

石膏(一合)　麻黃(八銖)　甘草　射干　桂心　芍藥　當歸(各四銖)　細辛(二銖)
上八味　咀，以水三升半，先煮麻黃三沸，去上沫，納餘藥，煮取一升，三歲兒分四服，日三。

治少小中風，狀如欲絕湯方：

大黃 牡蠣 龍骨 栝蔞根 甘草 桂心(各十二銖) 赤石脂 寒水石(各六銖)
上八味 咀, 以水一升納藥重半兩煮, 再沸, 絞去滓, 半歲兒服如雞子大一枚, 大兒 盡服, 入口中即愈, 汗出粉之, 藥無毒可每日二服。有熱加大黃, 不汗加麻黃, 無寒水石, 朴硝代之。

二物石膏湯

治少小中風, 手足拘急方。

石膏(如雞子大一枚, 碎) 真珠(一兩) 上以水二升煮石膏五六沸, 納真珠, 煮取一升, 稍稍分服。

桂枝湯

治少小中風, 脈浮發熱自汗出, 項強, 鼻鳴, 乾嘔方(即傷寒篇, 本方見於十一

二物驢毛散

治少小新生中風方。

驢毛(取背前交脊上會中拔取如手拇指大一把) 麝香(二豆大) 上以乳汁和, 銅器中微火煎, 令焦熟出, 為末。小兒不能飲, 以乳汁和之, 葦筒貯瀉著咽中, 然後飲乳令入腹。

茵芋丸

治少小有風癇疾, 至長不除, 或遇天陰節變便發動, 食飲堅強亦發。百脈攣縮, 行步 不正, 言語不便者, 服之永不發方。

茵芋葉 鉛丹 秦艽 鉤藤皮 石膏 杜蘅 防葵(各一兩) 菖蒲 黃芩(各一兩半) 松蘿(半兩) 蜣螂(十枚) 甘草(三兩)
上十二味為末, 蜜丸小豆大, 三歲以下服五丸, 三歲以上服七丸, 五歲以上服十丸, 十歲以上可至十五丸。

鎮心丸

治小兒驚癇百病鎮心氣方。

銀屑(十二銖) 水銀(二十銖) 牛黃(六銖) 大黃(六分) 茯苓(三分) 茯神 遠志 防己 白薇 雄黃 人參 芍藥(各二分) 紫石英 真珠 防葵 鐵精(各四分)
上十六味, 先以水銀和銀屑如泥, 別治諸藥和丸。二歲兒如麻子二丸, 隨兒大小增之。

一方無牛黃。

丹參赤膏

治少小心腹熱除熱方。

丹參 雷丸 芒硝 戎鹽 大黃(各二兩)
上五味 咀，以苦酒半升浸四鐘一宿，以成煉豬肪一斤煎，三上三下，去滓，乃納芒硝，膏成，以摩心下，冬夏可用。一方但用丹參雷丸，亦佳。

五物甘草生摩膏

治少小新生肌膚幼弱，喜為風邪所中，身體壯熱，或中大風，手足驚 甘草 防風(各一兩) 白朮 桔梗(各二十銖) 雷丸(二兩半)
上五味 咀，以不中水豬肪一斤煎為膏，以煎藥，微火上煎，消息視稠濁，膏成，去滓，取如彈丸大一枚，炙手以摩兒百遍，寒者更熱，熱者更寒，小兒雖無病，早起常以膏摩囟上及手足心，甚辟風寒。

灸法

論曰：小兒新生無疾，慎不可逆針灸之，如逆針灸，則忍痛動其五臟，因喜成病。河洛 關中土地多寒，兒喜病痙，其生兒三日，多逆灸以防之，又灸頰以防噤，有噤者舌下脈急，牙車筋急，其土地寒，皆決舌下去血，灸頰以防噤也。吳蜀地溫，無此疾也。古方既傳之，今人不詳南北之殊，便按方而用之，是以多害於小兒也。所以田舍小兒，任其自然皆得，無 有夭橫也。

小兒驚啼，眠中四肢掣動，變蒸未解，慎不可針灸抓之，動其百脈，仍因驚成癇也，惟 陰癇噤痙可針灸抓之。

凡灸癇，當先下兒使虛，乃承虛灸之。未下有實而灸者，氣逼前後不通，殺人。

癇發平旦者，在足少陽。晨朝發者，在足厥陰。日中發者，在足太陽。黃昏發者，在足太陰。人定發者，在足陽明。夜半發者，在足少陰。

上癇發時病所在，視其發早晚，灸其所也。夫癇有五臟之癇，六畜之癇，或在四肢，或在腹內，當審其候，隨病所在灸之，雖少必瘥，若失其要，則為害也。

肝癇之為病面青，目反視，手足搖，灸足少陽、厥陰各三壯。

心癇之為病面赤，心下有熱，短氣息微數，灸心下第二肋端宛宛中，此為巨闕也，又灸手心主及少陰各三壯。

脾癇之為病，面黃腹大，喜痢，灸胃脘三壯，挾胃脘旁灸二壯，足陽明、太陰各二壯。

肺癇之為病，面目白，口沫出，灸肺俞三壯，又灸手陽明、太陰各二壯。

腎癇之為病，面黑，正直視不搖如尸狀，灸心下二寸二分三壯，又灸肘中動脈各二壯，又灸足太陽、少陰各二壯。

膈癇之為病，目反，四肢不舉，灸風府，又灸頂上鼻人中下唇承漿，皆隨年壯。

腸癇之為病，不動搖、灸兩承山，又灸足心兩手勞宮，又灸兩耳後完骨，各隨年壯，又灸臍中五十壯。

上五臟癇証候。

馬癇之為病，張口搖頭，馬鳴欲反折，灸項風府、臍中三壯，病在腹中，燒馬蹄末，服之良。

牛癇之為病，目正直視腹脹，灸鳩尾骨及大椎各三壯，燒牛蹄末，服之良。

羊癇之為病，喜揚目吐舌，灸大椎上三壯。

豬癇之為病，喜吐沫，灸完骨兩旁各一寸七壯。犬癇之為病，手足攣，灸兩手心一壯，灸足太陽一壯，灸肋戶一壯。

雞癇之為病，搖頭反折，喜驚自搖，灸足諸陽各三壯。

上六畜癇証候。

小兒暴癇，灸兩乳頭，女兒灸乳下二分。

治小兒暴癇者，身軀正直如死，及腹中雷鳴，灸太倉及臍中上下兩旁各一寸，凡六處，又灸當腹度取背，以繩繞頸下至臍中竭，便轉繩向背順脊下行，盡繩頭，灸兩旁各一寸五壯。

若面白啼聲色不變，灸足陽明、太陰。

若目反上視，眸子動，當灸囟中，取之法，橫度口盡兩吻際，又橫度鼻下亦盡兩邊，折 去鼻度半，都合口為度，以額上發際上行度之。灸度頭一處，正在囟上未合骨中，隨手動者是，此最要處也。次灸當額上入發二分許，直望鼻為正。次灸其兩邊，當目瞳子直上入發際 二分許。次灸頂上回毛中。次灸客主人穴在眉後際動脈是。次灸兩耳門，當耳開口則骨解開 動張陷是也。次灸兩耳上，卷耳取之，當卷耳上頭是也；一法大人當耳上橫三指，小兒各自取其指也。次灸兩耳後完骨上青脈，亦可以針刺令血出。次灸玉枕，項後高骨是也。次灸兩風池，在項後兩轅動筋外發際陷中是也。次灸風府，當項中央發際，亦可與風池三處高下相等。次灸頭兩角，兩角當回毛兩邊起骨是也。

上頭部凡十九處，兒生十日可灸三壯，三十日可灸五壯，五十日可灸七壯，病重俱灸之。

輕者灸囟中、風池、玉枕也，艾使熟，炷令平正著肉，火勢乃至病所也；艾若生，炷不平正，不著肉，徒灸多炷，故無益也。

若腹滿短氣轉鳴，灸肺募，在兩乳上第二肋間宛宛中，懸繩取之，當瞳子是。次灸膻中。

次灸胸堂。次灸臍中。次灸薜息，薜息在兩乳下第一肋間宛宛中是也。次灸巨闕，大人去鳩尾下一寸，小兒去臍作六分分之，去鳩尾下一寸是也，並灸兩邊。次灸胃脘。次灸金門，金 門在穀道前囊之後當中央是也，從陰囊下度至大孔前，中分之。

上腹部十二處，胸堂、巨闕、胃脘，十日兒可灸三壯，一月以上可五壯，陰下縫中可三壯，或云隨年壯。

若脊強反張、灸大椎，並灸諸臟俞及督脊上當中，從大椎度至窮骨，中屈，更從大椎度 之，灸度下頭，是督脊也。

上背部十二處，十日兒可灸三壯，一月以上可灸五壯。若手足掣 驚者，灸尺澤，次灸陽明，次灸少商，次灸勞宮，次灸心主，次灸合谷，次灸三間，次灸少陽。

上手部十六處，其要者陽明，少商，心主，尺澤，合谷，少陽也，壯數如上。

又灸伏兔，次灸三裡，次灸腓腸，次灸鹿溪，次灸陽明，次灸少陽，次灸然谷。

上足部十四處，皆要可灸，壯數如上。手足陽明，謂人四指，凡小兒驚癇皆灸之。若風病大

客忤第四

（論二首 方二十七首 灸法一首）論曰：少小所以有客忤病者，是外人來氣息忤之，一名中人，是為客忤也。雖是家人，或別房異戶，雖是乳母及父母或從外還，衣服經履鬼神粗惡暴氣，或牛馬之氣，皆為忤也。

執作喘息乳氣未定者，皆為客忤。其乳母遇醉或房勞，喘後乳兒最劇，能殺兒也，不可不慎。

凡諸乘馬行，得馬汗氣臭，未盥洗易衣裝便向兒邊，令兒中馬客忤。兒卒見馬來，及聞 馬鳴驚，及馬上衣物馬氣，皆令小兒中馬客忤。慎護之，特重一歲兒也。

凡小兒衣，布帛綿中不得有頭發，履中亦爾，白衣青帶，青衣白帶，皆令中忤。

凡非常人及諸物從外來，亦能驚小兒至致病。欲防之法，諸有從外來人及有異物入戶，當將兒避之，勿令見也，若不避者，燒牛屎，令常有煙氣置戶前，則善。

小兒中客為病者，無時不有此病也。而秋初一切小兒皆病者，豈是一切小兒悉中客邪。

夫小兒所以春冬少病，秋夏多病者，秋夏小兒陽氣在外，血脈嫩弱，秋初夏末，晨夕時有暴冷，小兒嫩弱，其外則易傷，暴冷折其陽，陽結則壯熱，胃冷則下痢，是故夏末秋初，小兒多壯熱而下痢，未必皆是中客及魅也。若治少小法，夏末秋初常宜候天氣溫涼也。有暴寒卒冷者，其少小則多患壯熱而下痢也，慎不可先下之，皆先殺毒後下之耳。

《玄中記》云，天下有女鳥，名曰姑獲（《肘後》、《子母秘錄》作烏獲），一名天帝女，一名隱飛鳥，一名夜行游女，又名鈞星鬼，喜以陰雨夜過飛鳴，徘徊人村裡，喚得來者是也。

鳥純雌無雄不產，陰氣毒化生，喜落毛羽於人中庭，置兒衣中，便令兒作癇，病必死，即化 為其兒也。是以小兒生至十歲，衣被不可露也，七八月尤忌。

凡中客忤之為病，類皆吐下青黃白色，水穀解離腹痛天糾，面色變易，其候似癇，但眼 不上插耳，其脈急數者是也，宜與龍膽湯下之，加人參當歸，各如龍膽稱分等多少也。

小兒中客，急視其口中懸雍左右，當有青黑腫脈核如麻豆大，或赤或白或青，如此便宜用針速刺潰去之，亦可爪摘決之，並以綿纏釵頭拭去血也。

少小中客之為病，吐下青黃赤白汁，腹中痛，及反倒偃側，喘似癇狀，但目不上插少睡 耳，面變五色，其脈弦急，若失時不治，小久則難治矣。欲療之方：

用豉數合，水拌令濕，搗熟丸如雞子大，以摩兒囟及手足心，各五六遍畢，以丸摩兒心及

治少小中客忤，項強欲死方：

取衣中白魚十枚，為末以敷母乳頭上，令兒飲之，入咽立愈。（一方二枚著兒母手，掩 兒臍中，兒吐下愈，亦以摩兒項及脊強處。）

又方 吞麝香大豆許，立愈。

治小兒卒中忤方：

剪取驢前膊胛上旋毛，大如彈子，以乳汁煎之，令毛消藥成，著乳頭飲之，下喉即愈。

又方 燒母衣帶三寸，並發合乳汁，服之。

又方 取牛鼻津服之。或牛口沫敷乳頭，飲之。

一物豬蹄散

治小兒寒熱及赤氣中人方。

取豬後足懸蹄，燒末搗篩，以飲乳汁一撮，立效

治少小猝中客忤，不知人者方：

取熱馬屎一丸，絞取汁飲兒，下咽便愈。亦治中客忤而□啼，面青腹強者。

一物馬通浴湯

治少小中忤方。

馬通三升，燒令煙絕，以酒一斗煮三沸去滓，浴兒即愈。

一物豬通浴湯

治小兒中人忤，□啼面青腹強者方。

豬通二升，以熱湯灌之，適寒溫浴兒。

治少小客忤，二物黃土塗頭方：

取灶中黃土、蚯蚓屎等分搗，合水和如雞子黃大，塗兒頭上及五心，良。一方云用雞子清和如泥。

治小兒卒客忤方：

銅鏡鼻燒令赤，著少許酒中，大兒飲之，小兒不能飲者含與之，即愈。

治小兒中馬客忤而吐不止者方：

灸手心主間使大都隱白三陰交各三壯，可用粉丸如豉法，並用唾，唾而咒之，咒法如下。

咒客忤法：咒曰：摩家公，摩家母，摩家子兒苦客忤，從我始，扁鵲雖良不如善唾。良咒訖，棄丸道中。

又法：取一刀橫著灶上，解兒衣，發其心腹訖，取刀持向兒咒之唾，輒以刀向心腹，啡啡曰（音非出唾貌），煌煌日，出東方，背陰向陽，葛公葛公，不知何公，子來不視，去罔顧，過與生人忤，梁上塵，天之神，戶下土，鬼所經，大刀環犀對灶君。二七唾客愈。兒驚唾 啡啡如此。二七啡啡，每唾以刀擬之咒，當三遍乃畢，用豉丸如上法，五六遍訖，取此丸破 視其中有毛，棄丸道中，客忤即愈矣。

小兒魆法：

論曰：凡小兒有魆病者，是婦人懷娠，有惡神導其腹中胎，妒嫉他小兒令病也。魆者，小鬼也（音奇），妊娠婦人不必悉招魆魅，人時有此耳。魆之為疾，喜微微下痢，寒熱或有去 來，毫毛鬢發□不悅，是其証也，宜服龍膽湯。凡婦人先有小兒未能行，而母又孕，使兒飲此乳，亦作 也，令兒黃瘦骨立，發落壯熱，是其証也。

治魆方： 炙伏翼，熟咀哺之。

又方 燒伏翼末，飲服之。

又方 以水二升煮 蓄、冬瓜各四兩，取浴之。

白蘜皮湯

治少小客魆挾實方。

白蘜皮 大黃 甘草（各一兩）芍藥 茯苓 細辛 桂心（各十八銖）
上七味 咀，以水二升，煮取九合，分三服。

小兒夜啼：

龍角丸

治小兒五驚夜啼方（崔氏名五驚丸）。

龍角（六銖） 牡蠣（一作牡丹） 川大黃（各九銖） 黃芩（半兩） 蚱蟬（二枚） 牛黃（如小豆五枚）
上六味末，蜜丸如麻子，蓐裡兒服二丸，隨兒大小增減。

川芎散

治小兒夜啼，至明即安寐方。

川芎 白朮 防己（各半兩）
上三味治下篩，以乳和與兒服之，量多少，又以兒母手掩臍中，亦以摩兒頭及脊，驗。

二十日兒未能服散者，以乳汁和之，服如麻子一丸。兒大能服藥者，以意斟酌之。

一物前胡丸

治少小夜啼方。

前胡隨多少搗末，蜜和丸如大豆，服一丸，日三，稍加至五六丸，以瘥為度。

千金湯

治小兒暴驚啼絕死，或有人從外來，邪氣所逐，令兒得疾，眾醫不治方。

川椒　左顧牡蠣（各六銖碎）
上二味以醋漿水一升，煮取五合，每服一合。

又方　伏龍肝　交道中土（各一把）
上二味治下篩，水和少許飲之。

又方　取馬骨燒灰，敷乳上飲，兒啼即止。治小兒夜啼不已，醫所不治者方：

取野狼屎中骨，燒灰為末，水服如黍米粒大二枚，即定。

又方　燒　皮三寸灰，著乳頭飲之。

治小兒驚啼方：

取雞屎白熬末，以乳服之，佳。

又方　酒服亂髮灰，良。

又方　以妊娠時食飲偏有所思者物，哺兒則愈。

傷寒第五

（論一首　方三十首　灸法一首）

論曰：夫小兒未能冒涉霜雪，乃不病傷寒也，大人解脫之久，傷於寒冷，則不論耳，然　天行非節之氣，其亦得之，有時行疾疫之年，小兒出腹，但患斑者也，治其時行節度，故如大人法，但用藥，分劑少異，藥小冷耳。

麥門冬湯

治小兒未滿百日傷寒，鼻衄身熱嘔逆方。

麥門冬（十八銖）　石膏　寒水石　甘草（各半兩）　桂心（八銖）
上五味　咀，以水二升半，煮取一升，每服一合，日三。

芍藥四物解肌湯

治少小傷寒方。

芍藥　黃芩　升麻　葛根(各半兩)
上四味　咀以水三升，煮取九合，去滓，分五服，期歲以上，分三服。

麻黃湯

治少小傷寒，發熱咳嗽，頭面熱者方。

麻黃　生薑　黃芩(各一兩)　甘草　桂心　石膏　芍藥(各半兩)　杏仁(十枚)
上八味　咀，以水四升，煮取一升半，分二服，兒若小以意減之。

治小兒傷寒方：葛根汁　淡竹瀝(各六合)
上二味相和，二三歲兒分三服，百日兒斟酌服之，不宜生，煮服佳。

治小兒時氣方：桃葉三兩搗，以水五升，煮十沸，取汁，日五六遍淋之，若複發，燒雄　鼠屎二枚，燒水調服之。

五味子湯

治小兒傷寒，病久不除，瘥後複劇，瘦瘠骨立方。

五味子(十銖)　麥門冬　黃連　黃芩　大黃　前胡(各六銖)　芒硝(五銖)　石膏　(一兩)
上十味　咀，以水三升，煮取一升半，服二合，得下便止，計大小增減之。

莽草浴湯

治少小傷寒方。

莽草(半斤)　牡蠣(四兩)　雷丸(三十枚)　大黃(一兩)　蛇床子(一升)
上五味　咀以水三斗，煮取斗半，適寒溫以浴兒，避眼及陰。

又方　治小兒猝寒熱，不佳，不能服藥方。

莽草　丹參　桂心(各三兩)　菖蒲(半斤)　雷丸(一升)　蛇床子(二兩)
上六味　咀以水二斗，煮三五沸，適寒溫以浴兒，避眼及陰。

雷丸浴湯

治小兒忽寒熱方。

雷丸(二十枚)　大黃(四兩)　黃芩(一兩)　苦參　石膏(各三兩)　丹參(二兩)
上六味　咀，以水二斗，煮取一斗半浴兒，避眼及陰，浴訖以粉粉之，勿濃衣，一宿複浴。

李葉浴湯

治少小身熱方。

李葉隨多少， 咀，以水煮，去滓，浴兒，良。

柳枝浴湯

治小兒生一月至五月，乍寒乍熱方。

柳枝細切，煮取汁洗兒，若渴，絞冬瓜汁服之。

青木香浴湯

治小兒壯熱羸瘠方。

青木香（四兩） 麻子仁 竹葉（各一升） 虎骨（五兩） 白芷（三兩）
上五味 咀，以水二斗，煮取一斗，稍稍浴兒。

十二物寒水石散

治少小身體壯熱，不能服藥方。

寒水石 芒硝 滑石 石膏 赤石脂 青木香 大黃 甘草 黃芩 防風 川芎 麻黃 根 上各等分，合治下篩，以粉一升，藥屑三合相和，複以篩篩之，以粉兒身，日三。

李根湯

治小兒暴有熱，得之二三日者方。

李根 桂心 芒硝（各十八銖） 麥門冬 甘草（各一兩）
上五味 咀，以水三升，煮取一升，分五服。

升麻湯

治小兒傷寒，變熱毒病，身熱面赤，口燥，心腹堅急，大小便不利，或口瘡者，或因 壯熱，便四肢攣掣驚，乃成癇疾，時發時醒，醒後身熱如火者，悉主之方。

升麻 白薇 麻黃 蕨蕤 柴胡 甘草（各半兩） 黃芩（一兩） 朴硝 大黃 鉤藤 （各六銖）
上十味 咀，以水三升先煮麻黃去上沫，納諸藥煮，取一升。兒生三十日至六十日，一服二合；六十日至百日，一服二合半；百日至二百日，一服三合。

大黃湯

治小兒肉中挾宿熱，瘦瘠，熱進退休作無時方。

大黃 甘草 芒硝(各半兩) 桂心(八銖) 石膏(一兩) 大棗(五枚)
上六味 咀, 以水三升, 煮取一升, 每服二合。

又方 治小兒腹大短氣, 熱有進退, 食不安穀為不化方。

大黃 黃芩 甘草 麥門冬 芒硝(各半兩) 石膏(一兩) 桂心(八銖)
上七味 咀, 以水三升, 煮取一升半, 分三服。期歲以下小兒作五服。

蜀漆湯

治小兒潮熱方。

蜀漆 甘草 知母 龍骨 牡蠣(各半兩)
上五味 咀, 以水四升, 煮取一升, 去滓, 一歲兒少少溫服半合, 日再。

竹葉湯

治小兒夏月患腹中伏熱, 溫壯來往, 或患下痢, 色或白或黃, 三焦不利方。

竹葉(切) 小麥(各五合) 柴胡 麥門冬 人參 甘草(各半兩) 茯苓(十八銖)黃芩(一兩六銖)
上八味 咀, 以水四升, 煮竹葉小麥, 取三升, 去竹葉小麥, 下諸藥煮, 取一升半, 分三服。若小兒夏月忽壯熱燒人手, 洞下黃溏, 氣力 然, 脈極洪數, 用此方加大黃二兩, 再服得下, 即瘥。

又方 治五六歲兒溫壯, 腹中急滿, 息不利, 或有微腫, 亦中極羸, 不下飲食, 堅痞, 手足逆冷方。

竹葉(切一升) 小麥(半升) 甘草 黃芩 栝蔞根 澤瀉 茯苓 知母 白朮 大黃(各一兩) 桂心(二銖) 生薑(一兩半) 人參 麥冬 半夏(各二兩) 當歸(十八銖)
上十六味 咀, 以水七升, 煮竹葉、小麥, 取四升, 去滓, 納諸藥煎, 取一升六合, 分四服。

治小兒連壯熱, 實滯不去, 寒熱往來, 微驚悸方：

大黃(一兩) 黃芩 栝蔞根 甘草(各十八銖) 滑石(二兩) 桂心 牡蠣 人參 龍骨
上十二味 咀, 以水四升, 煮取一升半, 每服三合, 一日一夜令盡, 雖吐亦與之。(一本加紫石英半兩。)

調中湯

治小兒春秋月晨夕中暴冷, 冷氣折其四肢, 熱不得泄, 則壯熱冷氣入胃, 變下痢, 或欲赤白滯起數去, 小腹脹痛極壯熱, 氣脈洪大, 或急數者, 服之熱便歇, 下亦瘥也, 但壯熱 不吐下者, 亦主之方。

葛根 黃芩 茯苓 桔梗 芍藥 白朮 本 大黃 甘草(各六銖)
上九味 咀, 以水二升, 煮取五合, 服法如前篇龍膽湯下, 量兒大小以意服之。

生地黃湯

治小兒寒熱進退, 啼呼腹痛方。

生地黃 桂心(各二兩)
上二味 咀以水三升, 煮取一升, 期歲以下服二合, 以上三合。一方七味, 有芍藥、寒水石

又方 治小兒傷寒發黃方。

搗土瓜根汁三合, 服之。

又方 搗韭根汁, 澄清, 取如大豆許, 滴兒鼻中, 即出黃水, 瘥。

又方 搗青麥汁服之。

又方 小豆(三七枚) 瓜蒂(二七枚) 糯米(四十枚)
上三味為末, 吹入鼻中。

二物通汗散

治少小有熱不汗方。

粉(半斤) 雷丸(四兩) 上搗為細末和下篩, 以粉兒身。

二物茯苓粉散

治少小頭汗方。

茯苓 牡蠣(各四兩) 上治下篩, 以粉八兩, 合搗為散, 有熱輒以粉, 汗即止。

三物黃連粉散

治少小盜汗方。

黃連 牡蠣 貝母(各十八銖) 上以粉一升, 合搗下篩, 取粉兒身, 佳。

犀角飲子

此由心臟熱之所感, 宜服此方。

犀角(十八銖) 茯神(一兩) 麥門冬(一兩半) 甘草(半兩) 白朮(六銖)
上五味 咀, 以水九合, 煎取四合, 分服。加龍齒一兩, 佳。

恆山湯

治小兒溫瘧。

恆山(切一兩) 小麥(三合) 淡竹葉(切一升)
上三味以水一升半, 煮取五合, 量兒大小分服。

又方 鹿角末 臨發時先服一錢匕。

又方 燒鱉甲灰，以酒服一錢匕，至發時服三匕，並以火炙身。

又方 燒雞 中黃皮為末，和乳與服，男雄女雌。

又方 灸兩乳下一指，三壯。

卷五下少小嬰孺方下

（凡四類）

咳嗽第六

（方十四首）小兒出胎二百許日，頭身患小小瘡，治護小瘥，複發，五月中忽小小咳嗽，微溫和治之，因變癇，一日二十過發，四肢縮動，背脊□□，眼反，須臾氣絕，良久複蘇，已與常治癇湯，得快吐下，經日不間，爾後單與竹瀝汁，稍進，一日一夕中合進一升許，發時小疏，明日與此竹瀝湯，得吐下，發便大折，其間猶稍稍與竹瀝汁。

竹瀝湯方

竹瀝（五合） 黃芩（三十銖） 木防己 羚羊角 白朮（各六銖，一作白蘞） 大黃（二兩） 茵芋（三銖） 麻黃 白薇 桑寄生 葶（一方無） 甘草（各半兩）
上十二味 咀，以水二升半，煮取藥減半，納竹瀝，煎取一升，分服二合，相去一食久。進一服。

紫菀湯

治小兒中冷及傷寒暴嗽，或上氣咽喉鳴氣逆，或鼻塞清水出方。

紫菀 杏仁 黃芩 當歸 甘草 橘皮 青木香 麻黃 桂心（各六銖） 大黃（一兩）
上十味 咀，以水三升，煮取九合，去滓，六十日至百日兒一服二合半，一百日至二百日兒一服三合。

五味子湯

治小兒風冷入肺，上氣氣逆，面青，喘迫咳嗽，晝夜不息，食則吐不下方。

五味子 當歸（各半兩） 麻黃 乾薑 桂心 人參 紫菀 甘草（各一兩） 款冬花 細辛（各三銖）大黃（一兩半）
上十一味 咀，以水二升半，煮取九合，去滓，兒六十日至百日一服二合半，一百日 至二百日一服三合，其大黃別浸一宿下。（一方無款冬花、大黃，有大棗三枚。

治小兒大人咳逆短氣，胸中吸吸，呵出涕唾，嗽出臭膿方：

燒淡竹瀝，煮二十沸，小兒一服一合，日五服。大人一升，亦日五服。不妨食，息乳哺

治小兒寒熱咳逆，膈中有乳癖，若吐不欲食方：

乾地黃(四兩) 麥冬 五味子 蜜(各半斤) 大黃 硝石(各一兩)
上六味 咀, 以水三升, 煮取一升, 去滓, 納硝石、蜜, 煮令沸, 服二合, 日三, 胸中當有宿乳汁一升許出。大者服五合。

射干湯

治小兒咳逆, 喘息如水雞聲方。

射干 麻黃 紫菀 甘草 生薑(各一兩) 半夏(五枚) 桂心(五寸) 大棗(二十枚)
上八味 咀, 以水七升, 煮取一升五合, 去滓, 納蜜五合, 煎一沸, 分溫服二合, 日 三。

又方 半夏(四兩) 紫菀 桂心 生薑 細辛 阿膠 甘草(各二兩) 蜜(一合) 款 冬花(二
上九味 咀, 以水一斗, 煮半夏取六升, 去滓, 納諸藥煮取二升五合, 五歲兒服一升, 二歲兒服六合, 量兒大小多少加減之。

杏仁丸

治大人小兒咳逆上氣方。

杏三升, 熟搗如膏, 蜜一升為三份, 以一份納杏仁搗, 令強, 更納一份搗之如膏, 又納一份搗熟止, 先食已含咽之, 多少自在, 日三, 每服不得過半方寸匕, 則利。

又方 半夏(二斤去皮, 河水洗六七度完用) 甘草(四兩) 白礬(一斤研末) 丁香縮 砂草蔻 川升麻(各四兩)
上七味, 以好酒一斗與半夏拌, 和勻同浸, 春冬三七日, 夏秋七日, 密封口, 日足取出, 用冷水急洗, 風吹乾, 每服一粒, 嚼破, 用薑湯下, 或乾吃, 候六十日乾方得服。(疑非孫思邈方。)

八味生薑煎

治少小嗽方。

生薑(七兩) 乾薑(四兩) 桂心(二兩) 甘草 款冬花 紫菀(各三兩) 杏仁 蜜 (各一斤) 上合諸藥為末, 微火上, 煎取如飴 。量其大小多少與兒含咽之, 百日小兒如棗核許, 日四五服, 甚有驗。

四物款冬丸

治小兒嗽, 晝瘥夜甚, 初不得息, 不能複啼方。

款冬花 紫菀(各一兩半) 桂心(半兩) 伏龍肝(六銖) 上為末, 蜜和如泥, 取如棗核大 敷乳頭令兒飲之, 日三敷之, 漸漸令兒飲之。

菖蒲丸

治小兒暴冷嗽, 及積風冷嗽, 兼氣逆鳴方。

菖蒲 烏頭 杏仁 礬石 細辛 皂莢(各六銖) 款冬花 乾薑 桂心 紫菀(各十八銖)川椒(五銖) 吳茱萸(六合)
上十二味為末，蜜丸如梧子，三歲兒飲服五丸，加至十丸，日三。兒小以意減之，兒大以意加之。暴嗽數服便瘥。

桂枝湯

治少小十日以上至五十日，卒得謦咳，吐乳，嘔逆，暴嗽，晝夜不得息方。

桂枝(半兩) 甘草(二兩半) 紫菀(十八銖) 麥冬(一兩十八銖)
上四味 咀，以水二升，煮取半升，以綿著湯中，捉綿滴兒口中，晝夜四五過與之。節 乳哺。

治少小卒肩息上氣，不得安，此惡風入肺方。

麻黃湯

麻黃(四兩) 甘草(一兩) 桂心(五寸) 五味子(半斤) 半夏 生薑(各二兩)
上六味 咀，以水五升，煮取二升，百日兒服一合，大小節度服之，便愈。

癖結脹滿第七

(方三十首 灸法一首)

紫雙丸

治小兒身熱頭痛，飲食不消，腹中脹滿，或小腹絞痛，大小便不利，或重下數起，小兒無異疾，惟飲食過度，不知自止，哺乳失節，或驚悸寒熱，惟此丸治之不瘥，更可重服。

小兒欲下，是其蒸候;哺食減少，氣息不快，夜啼不眠，是腹內不調;悉宜用此丸，不用它藥，數用神驗。

千金不傳方：(臣億等詳序例中凡云，服紫丸者即前變蒸篇十四味者是也。云服紫丸不下者，服赤丸，赤丸瘥快，病重者當用之，方中並無赤丸，而此用朱砂，又力緊於紫丸，疑此即赤丸也。) 巴豆 蕤核仁(各十八銖) 麥冬(十銖) 甘草(五銖) 朱砂 甘遂(各二銖) 牡 蠣蠟(各八銖)
上八味以湯熟洗巴豆，研，新布絞去油，別搗甘草、甘遂、牡蠣、麥門冬下篩訖，研蕤核仁令極熟，乃納散更搗二千杵。藥燥不能丸，更入少蜜足之。半歲兒服如荏子一雙，一歲二歲兒服如半麻子一雙，三四歲者服如麻子二丸，五六歲者服如大麻子二丸，七歲八歲服如小豆二丸，九歲十歲微大於小豆二丸，常以雞鳴時服，至日出時不下者，熱粥飲數合即下，丸皆雙出也。下甚者，飲以冷粥即止。

治小兒胎中宿熱，乳母飲食粗惡辛苦，乳汁不起兒，乳哺不為肌膚，心腹痞滿，萎黃瘦 瘠，四肢痿 繚戾，服之可令充悅方：

芍藥 柴胡(各二兩) 大黃 人參(各一兩)乾薑(如熱以枳實代) 甘草(各半兩) 鱉甲 茯苓(各一兩半)
上八味為末，蜜丸如大豆，服一丸，一歲以上乳服三丸，七歲兒服十丸，日二。

牛黃丸

治小兒宿乳不消，腹痛驚啼方。

牛黃（三銖） 附子（一枚） 真珠 巴豆 杏仁（各一兩）
上五味搗附子、真珠為末，下篩，別搗巴豆、杏仁令如泥，納藥及牛黃搗一千二百杵，藥成，若乾入少蜜足之。百日兒服如粟米一丸，三歲兒服如麻子一丸，五六歲兒服如胡豆一丸，日二，先乳哺了服之，膈上下悉當微轉，藥完出者病愈，散出者更服，以藥完出為度。

芒硝紫丸

治小兒宿食癖氣痰飲，往來寒熱不欲食，消瘦方。

芒硝 大黃（各四兩） 半夏 甘遂（各二兩） 代赭（一兩） 巴豆（二百枚） 杏仁（一百 二十枚）
上七味為末，別搗巴豆杏仁治如膏，旋納藥末搗三千杵，令相和合，強者納少蜜。百日 兒服如胡豆一丸，過百日至一歲服二丸，隨兒大小以意節度，當候兒大便中藥出為愈，若不出，更服如初。

治八歲以上兒熱結痰實，不能食，自下方：

白芍 梔子 知母 大黃（各二兩） 柴胡（一兩六銖） 升麻 黃連 黃芩（各二兩 半） 竹葉（切一升半） 桔梗（一兩半） 細辛（十五銖）
上十一味 咀，以水六升，煮取一升八合，去滓，分四服，十歲兒為三服。一本有枳實、杏仁各一兩半，無桔梗、黃連。

治十五以下兒熱結多痰，食飲減，自下方：

大黃 柴胡 黃芩 枳實（各一兩十八銖） 升麻 白芍 知母 梔子（各二兩半） 生薑（十八銖） 杏仁（二兩） 竹葉（切，一升半）
上十一味 咀，以水六升半，煮取二升，十歲至十五者分三服。

牛黃雙丸

治小兒結實，乳食不消，心腹痛方。

牛黃 太山甘遂（各半兩） 真珠（六銖） 杏仁 芍藥 黃芩（各一兩） 巴豆（十八銖）
上七味為末蜜丸，一歲兒飲服如麻子二丸，但隨大小加減之。

牛黃鱉甲丸

治少小癖實壯熱，食不消化，中惡忤氣方。

牛黃 濃朴 茯苓 桂心 白芍 乾薑（各半兩） 麥曲 柴胡 大黃 鱉甲 枳實 川芎（各一兩）
上十二味為末，蜜丸如小豆大，日三服，以意量之。

芫花丸

治小兒心下痞，痰癖結聚，腹大脹滿，身體壯熱，不欲哺乳方。

芫花　黃芩（各一兩）　大黃　雄黃（各二兩半）
上四味為末，蜜和更搗一千杵，三歲兒至一歲以下服如粟米一丸，欲服丸納兒喉中，令母與乳。若長服消病者，當以意消息與服之，與乳哺相避。

真珠丸

治小兒痰實結聚，宿癖羸露，不能飲食方。

真珠（半兩）　麥冬（一兩）　薤仁（二百枚）　巴豆（四十枚）
上四味為末蜜丸，期歲兒服二丸如小豆大，二百日兒服如麻子二丸，漸增以知為度，當　下病赤黃白黑葵汁，下勿絕藥，病盡下自止。久服使小兒肥白，甚驗。

鱉甲丸

治少小腹中結堅，脅下有疹，手足煩熱方。

鱉甲　白芍　大黃（各三十銖）　茯苓　柴胡　乾薑（各二十四銖）　桂心（六銖）　蟲　螬蟅（各二十枚）
上九味以末蜜和，服如梧子七丸，漸漸加之，以知為度。

鱉頭丸

治小兒痞氣，脅下腹中有積聚堅痛方。

鱉頭（一枚）　甘皮（半兩）　虻蟲　蟲　桃仁（各十八銖）
上五味為末蜜丸，服如小豆二丸，日三，大便不利，加大黃十八銖，以知為度。

治小兒羸瘦，宜常服不妨乳方：

甘草五兩為末蜜丸，一歲兒如小豆十丸，日三，服盡即更合。

桂心橘皮湯

治小兒五六日不食，氣逆方。

桂心　人參（各半兩）　橘皮（三兩）　黍米（五合）　成薰薤（五兩）
上五味　咀，以水七升先煮藥，煎取二升，次下薤米，米熟藥成，稍稍服之。

地黃丸

治少小胃氣不調，不嗜食生肌肉方。

乾地黃 大黃(各一兩六銖) 茯苓(十八銖) 當歸 柴胡 杏仁(各半兩)
上六味為末, 以蜜丸如麻子大, 服五丸, 日三。

馬通粟丸

治少小脅下有氣內痛, 喘逆氣息難, 往來寒熱, 羸瘦不食方。

馬通中粟(十八銖) 杏仁 紫菀 細辛(各半兩) 五味子 石膏 秦艽 半夏 茯苓(各六銖)
上九味為末蜜丸, 服如小豆十丸, 日三, 不知加至二十丸。

治少小腹脹滿方：

燒父母指甲灰, 乳頭上飲之。

又方 韭根汁和豬脂, 煎細細服之。

又方 車轂中脂和輪下土如彈丸, 吞之立愈。

又方 米粉、鹽等分, 炒變色, 腹上摩之。

當歸丸

治小兒胎寒□啼, 腹中痛, 舌上黑, 青涎下方(一名黑丸)。

當歸 野狼毒(各九銖) 吳茱萸(一作杏仁) 川椒(各半兩) 細辛 乾薑 附子(各十八 銖) 巴豆(十枚) 豉(七合)
上九味搗八種下篩, 秤藥末令足, 研巴豆如膏, 稍稍納藥末, 搗令相得, 蜜和, 桑杯盛, 蒸五升米飯, 下出搗一千杵, 一月兒服如黍米一丸, 日一夜二, 不知稍加, 以知為度, 亦

治水癖。

馬齒鼈丸

治小兒胎寒□啼, 驚癇腹脹, 不嗜食, 大便青黃, 並大人虛冷內冷, 或有實不可吐下方。

腹內溫 為

治小兒忽患腹痛, 夭矯汗出, 名曰胎寒方：

煮梨葉濃汁七合, 可三四度飲之。

半夏丸

治小兒暴腹滿欲死方。

半夏隨多少, 微火炮之, 搗末, 酒和服如粟米粒大五丸, 日三, 立愈。

治小兒霍亂吐痢方：

人參(一兩) 濃朴 甘草(各半兩) 白朮(十八銖)
上四味 咀, 以水二升二合, 煮取半升, 六十日兒服一合, 百日兒分三服, 期歲兒分二服, 中間隔乳服之。乳母忌生冷油膩等。一方加乾薑一分或加生薑三分。

藿香湯

治毒瓦斯吐下, 腹脹逆害乳哺方。

藿香(一兩) 生薑(三兩) 青竹茹 甘草(各半兩)
上四味 咀, 以水二升, 煮取八合, 每服一合, 日三, 有熱加升麻半兩。

治孩子霍亂已用立驗方：

人參 蘆籜(各半兩) 扁豆藤(二兩) 倉米(一撮)
上四味 咀, 以水二升, 煮取八合分溫服。

又方 人參(一兩) 木瓜(一枚) 倉米(一撮)
上三味 咀, 以水煮分服, 以意量之, 立效。

治小兒霍亂方：

牛涎灌口中一合。

又方 研尿滓, 乳上服之。

治少小吐痢方：

亂髮(半兩燒灰) 鹿角(六銖)
上二味為末, 米汁服一刀圭, 日三服。

治小兒癖, 灸兩乳下一寸各三壯。

癰疽瘰第八

(論一首 方六十三首 灸法一首)

漏蘆湯

治小兒熱毒癰疽, 赤白諸丹毒瘡癤方。

漏蘆 連翹(《肘後》用白薇) 白蘞 芒硝(《肘後》用芍藥) 甘草(各六銖) 大黃 一兩 升麻 枳實 麻黃 黃芩(各九銖)
上十味 咀, 以水一升半, 煎取五合, 兒生一日至七日取一合分三服, 八日至十五日 取一合半分三服, 十六日至二十日取二合分三服, 二十日至三十日取三合分三服, 三十日至 四十日取五合分三服(《肘後》治

大人各用二兩，大黃三兩。以水一斗煮取三升，分三服，其丹毒須針　去血，《經心錄》無連翹有知母、芍藥、犀角各等分）。

五香連翹湯

治小兒風熱毒腫，腫色白，或有惡核瘰癧，附骨癰疽，節解不舉，白丹。

走竟身中，白疹瘙不已方。

青木香　薰陸香　雞舌香　沉香　麻黃　黃芩（各六銖）大黃（二兩）麝香（三銖）連　翹海藻　射干　升麻　枳實（各半兩）竹瀝（三合）
上十四味　咀，以水四升煮藥減半納竹瀝，煮取一升二合，兒生百日至二百日一服三合，二百日至期歲一服五合。（一方不用麻黃。

連翹丸

治小兒無故寒熱，強健如故，而身體頸項結核瘰癧，及心脅腹背裡有堅核不痛，名為結　風氣腫方。

連翹　桑白皮　白頭翁　牡丹　防風　黃柏　桂心　香豉　獨活　秦艽（各一兩）海　藻（半兩）
上十一味為末，蜜丸如小豆，三歲兒飲服五丸，加至十丸，五歲以上者以意加之。

治丹毒大赤腫，身壯熱，百治不折方：

寒水石（十六銖）石膏（十三銖）藍青（十二銖，冬用乾者）犀角　柴胡　杏仁（各八　銖）知母（十銖）甘草（五銖）羚羊角（六銖）芍藥　黃芩（各七銖）梔子（十一銖）竹　瀝（一升）生葛汁（四合澄清）蜜（二斤）
上十五味　咀，以水五升並竹瀝煮，取三升三合，去滓，納杏仁脂、葛汁蜜微火煎，取　二升，一二歲兒服二合，大者量加之。

麻黃湯

治小兒丹腫及風毒風疹方。

麻黃（一兩半）獨活　射干　甘草　桂心　青木香　石膏　黃芩（各一兩）
上八味　咀，以水四升，煮取一升，三歲兒分為四服，日再。

又方　治小兒惡毒丹及風疹方。

麻黃　升麻　葛根（各一兩）射干　雞舌香　甘草（各半兩）石膏（半合）
上七味　咀，以水三升，煮取一升，三歲兒分三服，日三。

拓湯

治小兒數十種丹方。

大黃　甘草　當歸　川芎　白芷　獨活　黃芩　芍藥　升麻　沉香　青木香　木蘭皮（各一兩）芒硝（三兩）
上十三味　咀，以水一斗二升，煮取四升，去滓，納芒硝，以綿　湯中，適寒溫拓　之，乾則易之，取瘥止。

治小兒溺灶丹，初從兩股及臍間起，走入陰頭，皆赤方：

桑根皮切一斗，以水二斗，煮取一斗，以洗浴之。

治小兒丹毒方：

搗慎火草，絞取汁塗之，良。其丹毒方具在別卷（第二十二卷）。

治小兒赤游腫，若遍身，入心腹，即能殺人方：

搗伏龍肝為末，以雞子白和敷，干易之。

又方　白豆末水和敷之，勿令乾。

治小兒半身皆紅赤，漸漸長引者方：

牛膝　甘草
上二味　咀，合得五升，以水八升，煮三沸，去滓，和伏龍肝末敷之。

治小兒身赤腫起者方：

熬米粉令黑，以唾和敷之。

又方　伏龍肝　亂髮灰
上二味為末，以膏和敷之。

治小兒猝腹皮青黑方：

以酒和胡粉敷上，若不急治，須臾便死。

又　灸臍上下左右，去臍半寸，並鳩尾骨下一寸，凡五處各三壯。

五香枳實湯

治小兒著風熱，　堅如麻豆粒，瘡癢搔之，皮剝汁出，或遍身頭面，常　青木香（九銖）　麝香（六銖）　雞舌香　薰陸香　沉香　防風　秦艽　漏蘆（各半兩）　升　麻黃芩　白蘞　麻黃（各一兩）　枳實（一兩半）　大黃（一兩十八銖）
上十四味　咀，以水五升，煮取一升八合，兒五六歲者一服四五合，七八歲者一服六合，十歲至十四五者加大黃半兩，足水為一斗，煮取二升半，分三服。

治小兒火灼瘡，一身盡有如麻豆，或有膿汁，乍痛乍癢方：

甘草　白芍　白蘞　黃芩　黃連　黃柏　苦參（各半兩）
上七味為末，以蜜和敷之，日二夜一，亦可作湯洗之。

治小兒上下遍身生瘡方：

芍藥 川連 黃芩(各三兩) 苦參(八兩) 大黃(二兩) 蛇床子(一升) 黃柏 (五兩) 菝(一斤)
上八味 咀, 以水二斗, 煮取一斗, 以兒洗浴。

治小兒瘡初起, 漿似火, 瘡名 瘡, 亦名爛瘡方：

桃仁熟搗, 以面脂和敷之, 亦治遍身赤腫起。

又方 馬骨燒灰敷之。

水銀膏

治小兒熱瘡方。

水銀 胡粉 松脂(各三兩)
上三味以豬脂四升煎松脂, 水氣盡, 下二物攪令勻不見水銀以敷之。

苦參湯

浴小兒身上下百瘡不瘥方。

苦參(八兩) 地榆 川連 王不留行 獨活 艾葉(各五兩) 竹葉(二升)
上七味 咀, 以水三斗, 煮取一斗以浴兒瘡上, 浴訖敷黃連散。

治三日小兒頭面瘡起, 身體大熱方：

升麻 柴胡 石膏(各六銖) 甘草 當歸(各十二銖) 大黃 黃芩(各十八銖)
上七味 咀, 以水四升, 煮取二升分服, 日三夜一, 量兒大小用之。

治小兒頭面身體悉生瘡方：

榆白皮隨多少曝令燥, 下篩, 醋和塗綿以敷瘡上, 蟲自出, 亦可以豬脂和塗之。

枳實丸

治小兒病風瘙癢痛如疥, 搔之汁出, 遍身 如麻豆粒, 年年喜發, 面目虛肥, 手 足乾枯, 毛髮細黃, 及肌膚不光澤, 鼻氣不利, 此則少時熱盛極, 體當風, 風熱相搏所得也, 不早治之, 成大風疾方。

枳實(一兩半) 菊花 蛇床子 防風 刺蒺藜 白薇 浮萍(各一兩) 天雄 麻黃 漏 蘆(各半兩)
上十味為末, 蜜丸如大豆許。五歲兒飲服十丸, 加至二十丸, 日二。五歲以上者隨意加 之。兒大者可為散服。

治小兒風瘙癮疹方：蒴 防風 羊桃 石南 秦椒 升麻 苦參 茵芋 芫花(一云 莞蔚) 刺蒺藜 蛇床子 枳實 礬石(各一兩)
上十三味 咀, 以漿水三斗, 煮取一斗, 去滓, 納礬令小沸, 浴之。

又方 牛膝末酒服方寸匕, 漏瘡多年不瘥, 搗末敷之, 亦主骨疽癲疾瘰癧絕妙。

澤蘭湯

主丹及癮疹入腹殺人方。

澤蘭　川芎　附子　茵芋　本　莽草　細辛(各十二銖)
上七味　咀，以水三升，煮取一升半，分四服，先與此湯，然後作餘治。

論曰：小兒頭生小瘡，浸淫疽癢，黃膏出不生痂，連年不瘥者，亦名妒頭瘡，以赤龍皮　湯及天麻湯洗之，內服漏蘆湯，外宜敷飛烏膏散，及黃連胡粉、水銀膏散，(方具見別卷。

藜蘆膏

治小兒一切頭瘡，久即疽癢不生痂方。

藜蘆　黃連　雄黃　黃芩　松脂(各二兩)　礬石(五兩)　豬脂(半斤)
上七味為末，煎令調和，先以赤龍皮天麻湯洗訖敷之。(赤龍皮即槲皮。)

治小兒頭瘡，經年不瘥方：

松脂　苦參　黃連(各一兩半)　大黃　胡粉(各一兩)　黃芩　水銀(各一兩六銖)　礬　石(半兩)　蛇床子(十八銖)
上九味為末，以臘月豬脂和研，水銀不見敷之。

又方　取屋塵末和油瓶下滓，以皂莢湯洗敷之。

又方　發中生瘡頂白者，皆以熊白敷之。

小兒頭瘡方：

胡粉(一兩)　川連(二兩)
上二味為末，洗瘡去痂拭乾敷之即瘥，更發如前敷之。

又方　胡粉　連翹(各一兩)　水銀(半兩)
上三味，以水煎連翹，納胡粉、水銀和調敷之。

又方　白松脂　胡粉(各二兩)　水銀(一兩)　豬脂(四兩)
上四味合煎，去滓，納水銀粉調敷之，大人患同。

苦參湯

治小兒頭瘡方。

苦參　黃芩　川連　黃柏　甘草　大黃　川芎(各一兩)　蒺藜子(三合)
上八味　咀，以水六升，煮取三升，漬布拓瘡上，日數過。

治小兒禿頭瘡方：

取雄雞屎陳醬汁、苦酒和，以洗瘡了敷之。

又方 芫花臘月豬油和如泥，洗去痂敷之，日一度(《千金翼》治白禿)。

治小兒頭禿瘡方：

葶藶子細末，先洗敷之。

又方 不中水蕪青葉燒灰，和豬脂敷之。

治小兒頭禿瘡，無發苦癢方：

野葛(末) 豬脂 羊脂(各一兩)
上三味合煎，令消待冷以敷之，不過三上。

治少小頭不生發，一物楸葉方：

楸葉搗取汁敷頭上，立生。

治小兒頭不生發方：

燒鯽魚灰末以醬汁和敷之。

治小兒 瘡方：

塚中鍛石濃敷之，良。

又方 燒桑根灰敷之，並燒烏羊角作灰，相和敷之。

治小兒 疽方：

丹砂 大黃(各三十銖) 雄黃 漆頭 茹 雌黃(各二十四銖) 礬石 莽草(各十八 銖) 川連(三十六銖)
上八味 咀，以豬脂一升三合，微火煎，三上三下膏成，去滓，下諸石末攪凝敷之。

治小兒惡瘡方：

熬豉令黃為末，敷瘡上，不過三敷愈。

治小兒疽極，月初即生，常有黃水出方：

以醋和油煎令如粥，及熱敷之，二日易，欲重敷，則以皂莢湯洗瘡，仍敷之。

治小兒月蝕瘡，隨月生死方：

以胡粉和酥敷之，五日瘥。

治月蝕九竅皆有瘡者方：

燒蚯蚓屎末，和豬膏敷之。

治小兒浸淫瘡方：

灶中黃土 髮灰
上二味各等分為末，以豬脂和敷之。

治小兒黃爛瘡方：

四交道中土 灶下土
上二味各等分為末敷之。亦治夜啼。

又方 燒艾灰敷之。

又方 燒牛屎敷之，亦可滅瘢。

治小兒疥方：

燒竹葉為灰，雞子白和敷之，日三，亦治□瘡。

又方 燒亂髮灰和臘月豬脂敷之。

又方 以臭酥和胡粉敷之。

治小兒頭面瘡疥方：

麻子五升為末，以水和絞取汁，與蜜和敷之。若有白犬膽敷之，大佳。

治小兒濕癬方：

枸杞根搗末，和臘月豬脂敷之。

又方 桃青皮搗末，和醋敷之，日二。

又方 煎馬尿洗之。

又方 燒狗屎灰和豬脂塗之。

又方 揩破以牛鼻上津敷之。

治小兒身上生赤疵方：

取馬尿洗，日四五度。

治小兒身上有赤黑疵方：

取狗熱屎敷之，皮自卷落。

治小兒疣目方：

以針及小刀子決目四面，令似血出，取患瘡汁黃膿敷之，莫近水三日，即膿潰根動脫落。

小兒雜病第九

（方一百十一首 灸法十三首）

治小兒臍中生瘡方：

桑汁敷乳上，使兒飲之。

又方 飲 羊乳及血。

治小兒風臍遂作惡瘡，歷年不瘥方：

取東壁土敷之，大佳。若汁不止，燒蒼耳子粉之。

又方 干螬螬蟲末粉之，不過三四度瘥。

治小兒臍不合方：

取車轄脂燒灰，日一敷之。

又方 燒蜂房灰為末敷之。

治小兒臍中生瘡方：

燒甑帶灰和膏敷之。

治小兒臍赤腫方：

杏仁（半兩） 豬頰車髓（十八銖）
上二味先研杏仁如脂，和髓敷臍中腫上。

白石脂散

治小兒臍汁不止，兼赤腫方。

以白石脂細研，熬令微暖以粉臍瘡，日三四度。

治小兒鵝口，不能飲乳方：

鵝屎汁瀝兒口中。

又方 黍米汁塗之。

又方 取小兒父母亂髮洗淨，纏桃枝沾取井花水，東向向日以發拭口中白乳，以置水中七過瀝洗，三朝作之。

治小兒心熱，口為生瘡，重舌鵝口方：

柘根銼五升，無根弓材亦佳，以水五升，煮取二升，去滓，煎取五合，細細敷之，數次良。

治口瘡白漫漫方：

先以父淨發拭口，次取桑汁塗之。

治重舌舌強，不能收唾方：

鹿角末如大豆許安舌下，日三四度。亦治小兒不能乳。

又方 取蛇蛻燒末，以雞毛沾醇醋點藥，掠舌下愈。

治小兒重舌方：

取田中蜂房燒灰，和酒塗喉下愈。

又方 衣魚塗舌上。

又方 灶月下黃土末，苦酒和塗舌上。赤小豆末醋和塗舌上。

又方 黃柏以竹瀝漬取，細細點舌上，良。

治重舌方：

灸行間，隨年壯，穴在足大趾歧中。又灸兩足外踝上三壯。

治小兒舌上瘡方：

蜂房燒灰，屋間塵各等分，和勻敷之。

又方 桑白汁塗乳，與兒飲之。

又方 羊蹄骨中生髓和胡粉敷之。

治舌腫強滿方：

滿口含糖醋良。

又方 飲 羊乳即瘥。

治小兒口瘡不得吮乳方：

大青(十八銖) 黃連(十二銖)
上二味 咀, 以水三升, 煮取一升二合, 一服一合, 日再夜一。

又方 蜜(二斤) 甘草(如指大三寸) 臘月豬脂(一斤)
上三味合煎相得, 含如棗大, 稍稍咽之, 日三。

又方 礬石如雞子大, 置醋中, 塗兒足下二七遍愈。

治小兒燕口, 兩吻生瘡方：

燒髮灰和豬脂敷之。

治小兒口下黃肌瘡方：

取 羊髭燒灰, 和臘月豬脂敷之。角亦可用。

治口旁惡瘡方：

亂髮灰 故絮灰 黃連 乾薑
上四味等分為散, 以粉瘡上, 不過三遍。

治口噤, 赤者心噤, 白者肺噤方：

雞屎白棗大, 綿裹, 以水一合煮二沸, 分再服。

治小兒口噤方：

鹿角粉 大豆末
上二味等分, 和乳塗乳上飲兒。

又方 驢乳 豬乳(各二升)
上二味合煎得一升五合, 服如杏仁許, 三四服瘥。

雀屎丸

治小兒猝中風, 口噤不下一物方。

雀屎如麻子丸之, 飲下即愈, 雞屎白亦佳。

治小兒口中涎出方 以白羊屎納口中。

又方 以東行牛口中沫塗口中及頤上。

又方 桑白汁塗之瘥。

治小兒卒毒腫著喉頸, 壯熱妨乳方：

升麻 射干 大黃(各一兩)
上三味 咀, 以水一升五合, 煮取八合, 一歲兒分三服, 以滓敷腫上, 冷更暖, 以敷, 大兒以意加之。

升麻湯

治小兒喉痛, 若毒瓦斯盛, 便咽塞, 並治大人咽喉不利方。

升麻 生薑 射干(各二兩) 橘皮(一兩)
上四味 咀, 以水六升, 煮取二升, 去滓, 分三服。

治小兒喉痺腫方：

魚膽二七枚以和灶底土塗之, 瘥。

治小兒喉痺方：桂心 杏仁(各半兩)
上二味為末, 以綿裹如棗大, 含, 咽汁。

治小兒解顱方：

熬蛇蛻皮為末, 和豬頰車中髓敷頂, 日三四度。

又方 豬牙頰車髓敷囟上瘥。

半夏熨湯

治小兒腦長解顱不合, 羸瘦色黃, 至四五歲不能行方。

半夏 生薑 川芎(各一升) 細辛(三兩) 桂心(一尺) 烏頭(十枚)
上六味 咀, 以醇苦酒五升漬之, 時, 煮三沸, 絞去滓, 以綿一片浸藥中, 適寒溫以 熨囟上, 冷更溫之, 複熨如前, 朝暮各三四熨乃止, 二十日可愈。

治小兒解顱, 生蟹足敷方：

生蟹足 白薇(各半兩)
上二味搗末, 以乳汁和敷顱上, 立愈。

治小兒解顱, 三物細辛敷方：

細辛 桂心(各半兩) 乾薑(十八銖)
上三味為末, 以浮汁和敷顱上, 干複敷之, 兒面赤即愈。

治小兒囟開不合方：

防風(一兩半) 柏子仁 白芰(各一兩)
上三味為末, 以乳和敷囟上, 日一, 十日知, 二十日即愈。

又方 取豬牙車骨煎取髓，敷囟上愈。

小兒囟陷方：

灸臍上下各半寸，及鳩尾骨端，又足太陰各一壯。

治小兒狐疝傷損生 方：

桂心（十八銖） 白朮（一兩十八銖） 地膚子（二兩半）
上三味為末，以蜜和丸，白酒服如小豆七丸，日三，亦治大人。

又方 芍藥 茯苓（各十八銖） 防葵（一作防風） 大黃（各半兩） 半夏 桂心 川 椒（各六銖）
上七味為末，蜜和服如大豆一丸，日五服，可加至三丸。

五等丸

治小兒陰偏大，又卵核堅 方。

黃柏 香豉 牡丹 防風 桂心（各二兩）
上五味為末，蜜丸如大豆，兒三歲飲服五丸，加至十丸。兒小以意酌量著乳頭上服之。

治小兒卵腫方：

取雞翅六莖燒灰服之，隨卵左右取翮（《古今錄驗》云，治陰大如斗。）

治小兒氣 方：

土瓜根 芍藥 當歸（各一兩）
上三味 咀，以水二升，煮取一升，取五合，日二。

又方 三月上除日取白頭翁根搗碎，隨偏處敷之，一宿作瘡，二十日愈。

治氣 方：

灸足厥陰大敦，左灸右，右灸左，各一壯。

治小兒陰瘡方：

以人屎灰敷之，又狗屎灰，又狗骨灰，又馬骨灰，皆可敷之。

治小兒歧股間連陰囊生瘡，汁出，先癢後痛，十日五日自瘥，或一月或半月複發，連年 不瘥方：

灸瘡搔去痂，帛拭令乾，以蜜敷，更溲面作燒餅，熟即以餳塗餅上熨之，冷即止，再度 瘥。

治小兒陰腫方：

狐莖炙搗末，酒服之。

又方 灸大敦七壯。

又方 斫桑木白汁塗之。

又方 搗蕪菁敷上。

又方 搗垣衣敷上。

又方 以衣中白魚敷之。

又方 豬屎五升水煮沸，布裹安腫上。

治小兒陰瘡方：

取野狼牙濃煮汁洗之。

又方 黃連、胡粉等分，以香脂油和敷之。

治小兒核腫，壯熱有實方：

青木香 甘草 石膏 甘遂(各十八銖) 麝香(三銖) 大黃 前胡(各一兩) 黃芩(半 兩)
上八味 咀，以水七升 煮取一升九合，每服三合，日四夜二。

鱉頭丸

治小兒積冷久下瘥後餘脫肛不瘥，腹中冷，腫中疼痛不得入者方。

鱉頭(二枚炙令焦) 磁石(四兩) 桂心(三兩) 小 皮(一枚炙令焦)
上四味為末，蜜丸如大豆，兒二歲至五歲，服五至十丸，日三。兒大以意加之。

小兒脫肛方：

灸頂上旋毛中三壯，即入。

又 灸尾翠骨三壯。

又 灸臍中隨年壯。

治小兒疳濕瘡方：

鐵衣著下部中，即愈。

又方 灸第十五椎挾脊兩旁七壯，未瘥加七壯。

治小兒疳瘡方：

以豬脂和胡粉敷之。五六度

又方 嚼麻子敷之，日六七度。

又方 羊膽二枚和醬汁於下部灌之。豬脂亦佳。

治濕瘡方：

濃煎地榆汁，洗浴，每日二度。治小兒久痢膿濕 方：

艾葉五升，以水一斗，煮取一升半，分為三服。

除熱結腸丸

斷小兒熱，下黃赤汁沫，及魚腦雜血，肛中瘡爛坐 生蟲方。

川連 柏皮 苦參 鬼臼 獨活 橘皮 芍藥 阿膠（各半兩）
上八味為末，以藍汁及蜜丸如小豆，日服五丸至十丸（冬無藍汁，可用藍子一合，舂蜜 和丸）。

治小兒蛔蟲方：

削楝木上蒼皮，以水煮取汁飲之，量大小多少，為此有小毒。

治小兒羸瘦有蛔蟲方：

蘆二兩，以水一升，米二合，煮取米熟去滓，與服。

又方 蓄三兩水一升，煮取四合，分服之，搗汁服亦佳。

又方 桃白皮（三兩） 東引吳茱萸根白皮（四兩
上二味 咀，以酒一升二合，漬之一宿，漸與服取瘥。

又方 取豬膏服之（一云治蟯蟲）。

又方 搗槐子納下部中，瘥（一云治蟯蟲）。

又方 楝實一枚納孔中（一云治蟯蟲）。

治寸白蟲方：

東行石榴根一把，水二升，煮取三合，分服。

又方 桃葉搗，絞取汁，服之。

治小兒三蟲方：

雷丸 川芎
上二味各等分為末，服一錢匕，日三。

治大便竟出血方：

鱉頭一枚炙令黃黑為末，以飲下五分匕，多少量兒大小，日三服。

治小兒尿血方：

燒鵲巢灰井花水服之，亦治夜尿床。

又方 灸第七椎兩旁各五寸，隨年壯。

治小兒遺尿方：

瞿麥 石韋 龍膽 皂莢 桂心（各半兩） 雞腸草 人參（各一兩） 車前子（一兩 六銖）
上八味為末蜜丸，每食後服如小豆大五丸，日三，加至六七丸。

又方 小豆葉搗汁服。

又方 燒雞腸為末，漿水服方寸匕，日三。

又方 灸臍下一寸半，隨年壯。

又方 灸大敦三壯，亦治尿血。

地膚子湯

治小兒熱毒入膀胱中，忽患小便不通，欲小便則澀痛不出，出少如血，須臾 地膚子 瞿麥 知母 黃芩 枳實 升麻 葵子 豬苓（各六銖） 通草 海藻 橘皮 （各三銖） 大黃（十八銖）
上十二味 咀，以水三升，煮取一升，一日至七日兒服一合，為三服，八日至十五日兒 一合半為三服，十六日至二十日兒二合為三服，四十日兒以此為準，五十日以上七歲以下以 意加藥益水。

小兒淋方：

車前子一升水二升，煮取一升，分服。

又方 煮冬葵子汁服之。

又方 取蜂房、亂髮燒灰，以水服一錢匕，日再。

治小兒小便不通方：車前草（切，一升） 小麥（一升）
上二味以水二升，煮取一升二合，去滓煮粥服，日三四。

又方 冬葵子一升，以水二升，煮取一升分服，入滑石末六銖。

治小兒 方：

蜥蜴一枚燒末，酒服之。

治小兒吐血方：

燒蛇蛻皮為末，以乳服之，並治重舌。

又方　取油三分，酒一分，和之，分再服。

治小兒鼻塞生息肉方：

通草　細辛（各一兩）
上二味搗末，取藥如豆，著綿纏頭納鼻中，日二。

治小兒鼻塞不通，濁涕出方：

杏仁（半兩）川椒　附子　細辛（各六銖）
上四味　咀，以醋五合漬藥一宿，明旦以豬脂五合煎，令附子色黃，膏成去滓，冷更以　塗絮導鼻孔中，日再，兼摩頂。

治小兒　耳方：

末石硫黃以粉耳中，日一夜一。

治小兒耳瘡方：

燒馬骨灰敷之。

又方　燒雞屎白，筒中吹入。

治小兒齒落久不生方：

取雄鼠屎二七枚，以一屎拭一齒根處，盡此止，二十一日即生（雄鼠屎頭尖）。

治小兒四五歲不語方：

末赤小豆，酒和敷舌下。

又方　灸足兩踝各三壯。

治小兒不能乳方：

雀屎四枚為末，著乳頭飲兒，兒大十枚。

蒲黃湯

治小兒落床墜地，如有瘀血，腹中陰陰，寒熱不肯乳哺，但啼哭叫喚方。

蒲黃　麥冬　大黃　黃芩（各十銖）甘草（八銖）芒硝（七銖）黃連（十三銖）
上七味　咀，以水二升，煮取一升，去滓納芒硝，分三服，消息視兒羸瘦半之，大小便　血即愈，忌冷食。

治小兒食不知飢飽方：

鼠屎二七枚燒為末，服之。

治小兒食土方：

取肉一斤繩系曳地，行數裡勿洗，火炙與食。

治小兒噦方：

生薑汁　牛乳(各五合)
上二味煎取五合，分二服。

又方　取牛乳一升，煎取五合，分五服。

治小兒　方：

灶中灰鹽等分，相和熬，熨之。

治小兒誤吞針方：

取磁石如棗核大，或吞或含，其針立出。

治小兒誤吞鐵等物方：

艾蒿一把銼，以水五升，煮取一升半，服之即下。

治小兒蠷　咬繞腹匝即死方：

搗蒺藜葉敷之，無葉，子亦可。

又方　取燕窠中土豬脂和敷之，乾則易之。

備急千金要方　卷六　七竅病

唐　孫思邈

目病第一

(論一首，証三條，方七十一首，咒法二首，灸法二十八首) 論曰：凡人年四十五以後，漸覺眼暗，至六十以後，還漸目明。治之法，五十以前，可服瀉肝湯，五十以後，不可瀉肝，目中有疾，可敷石膽散藥等，無病不敷散，但補肝而已，自有肝中有風熱，令人眼昏暗者，當灸肝俞，及服除風湯丸散數十劑，當愈。

生食五辛，接熱飲食，熱餐麵食，飲酒不已，房室無節，極目遠視，數看日月，夜視星 火，夜讀細書，月下看書，抄寫多年，雕鏤細作，博弈不休，久處煙火，泣淚過多，刺頭出血過多。

上十六件並是喪明之本，養性之士宜慎護焉，又有馳騁田獵，冒涉風霜，迎風追獸，日夜不息者，亦是傷目之媒也。恣一時之浮意。為百年之痼疾，可不慎歟！凡人少時不自將慎，年至四十，即漸眼昏，若能依此慎護，可得白首無他。所以人年四十已去，常須瞑目，勿顧他視，非有要事，不宜輒開，此一術，護慎之極也。其讀書博弈等過度患目者，名曰肝勞，若欲治之，非三年閉目不視，不可得瘥，徒自瀉肝，及作諸治，終是無效。人有風疹，必多眼暗，先攻其風，其暗自瘥。

足太陽陽明，手少陽脈動，發目病。黃帝問曰：余嘗上清冷之台，中陛而顧，匍匐而前，余私異之，竊內怪之。或獨冥視，安心定氣，久而不解，披發長跪，俯而視，複久之，又不已，卒然自止，何氣使然？岐伯對曰：五臟六腑之精氣，皆上注於目，而為之睛，睛之窠 者為眼，骨之精為瞳子，筋之精為黑眼，血之精為其胳窠，氣之精為白眼，肌肉之精為約束窠契，筋骨血氣之精而與脈並為系，系上屬於腦，後出於項中，故邪中於項，因逢身之虛，其入深則隨眼系以入於腦，入於腦則轉，轉則引目系急，急則目眩以轉矣。邪中其睛，則其睛所中者不相比則睛散，睛散則歧，故見兩物。目者五臟六腑之精也，營衛魂魄之所榮也，神氣之所生也，故神勞則魂魄散，志意亂，是故瞳子黑眼法於陰，白眼赤脈法於陽，故陰陽合揣(《靈樞》作俱轉)而精明矣。目者心之使也，心者神之舍也，故神分精亂而不專，(《靈樞》作轉)卒然見非常之處，精神魂魄散不相得，故曰惑。帝曰：余疑何其然也？余每之東苑，未嘗不惑，去之則複，余惟獨為東苑勞神乎？何其異也。岐伯曰：不然，夫心有所喜，神有所惡，卒然相感，則精亂視誤，故神惑神移乃複，是故間者為迷，甚者為惑。目 外 決於面者為銳，在內近鼻者，上為外 下為內 。目赤色者病在心，白色者病在肺，青色者病在肝，黃色者病在脾，黑色者病在腎，黃色不可名者病在胸中。診目痛赤脈從上下者太陽病，從下上者陽明病，從外走內者少陽病。夫鼻洞，鼻洞者濁下不止，傳為鼽瞢瞑目，故得之氣厥。足陽明有挾鼻入於面者，名曰懸顱，屬口對，入系目本，視有過者取之。損有餘，益不足，反者益甚。足太陽有通項入於腦者，正屬目本名曰眼系，頭目固痛，取之在項中兩筋間，入腦乃別陰蹻，陰陽相交，陽入陰出，陽交於銳，陽氣盛則 目矣，陰氣絕則為之眼瞑矣。

神曲丸

主明目，百歲可讀注書方。

神曲(四兩) 磁石(二兩研) 光明砂(一兩研)
上三味末之，煉蜜為丸如梧子大，飲服三丸，日三，不禁，常服益眼力，眾方不及，學者宜知此方神驗不可言，當秘之(一名磁朱丸)。

補肝治眼漠漠不明，瓜子散方(亦名十子散方)。

冬瓜子 青葙子 菥蓂子 枸杞子 牡荊子 蒺藜子 菟絲子 蕪菁子 決明子 地膚 子柏子仁(各二合) 牡桂(二兩) 蕤仁(一合, 一本云二兩) 細辛(半兩, 一本云 一兩半) 根(二兩) 車前子(一兩)
上十六味治下篩, 食後以酒服方寸匕, 日二, 神驗。

補肝丸

治眼暗方。

青葙子 桂心 葶藶子 杏仁 細辛 菥蓂子 枸杞子 五味子(各一兩) 茯苓 黃芩 防風 地膚子 澤瀉 決明子 麥門冬 蕤仁(各一兩六銖) 車前子 菟絲子(各二合) 乾地黃(二兩) 兔肝(一具)
上二十味末之, 蜜丸。飲下二十丸, 如梧子, 日再, 加至三十丸。

補肝丸

治眼暗□□不明, 寒則淚出, 肝痺所損方。

兔肝(二具) 柏子仁 乾地黃 茯苓 細辛 蕤仁 枸杞子(各一兩六銖) 防風 芎
上十四味末之, 蜜丸。酒服, 如梧子二十丸, 日再服, 加至四十丸。

補肝散

治目失明漠漠方。

青羊肝一具(去上膜薄切之, 以新瓦瓶子未用者淨拭之, 納肝於中, 炭火上炙之, 令極乾, 汁盡末之) 決明子(半升) 蔘子(一合熬令香)
上三味合治下篩。以粥飲, 食後服方寸匕, 日二, 稍加至三匕, 不過兩劑。能一歲服之, 可夜讀細書。

補肝散

治三十年失明方。

細辛 鐘乳粉(煉成者) 茯苓 雲母粉(煉成者) 遠志 五味子(等分)
上六味治下篩。以酒服五分匕, 日三, 加至一錢匕。

補肝蕪菁子散

常服明目方。

蕪菁子三升(淨淘, 以清酒三升煮令熟, 曝乾)

治下篩。以井花水和服方寸匕, 稍加至三匕。無所忌, 可少少作服之, 令人充肥, 明目洞視, 水煮酒服亦可(《千金翼》同, 用水煮, 三易水)。

又方 胡麻一斗, 蒸三十遍, 治下篩, 每日酒服一升。

又方 服小黑豆, 每日空心吞二七粒。

又方 三月三日采蔓菁花，陰乾，治下篩，空心井花水服方寸匕，久服，長生明目，可夜讀細書。

補肝散

治男子五勞七傷明目方。

地膚子一斗（陰乾末之） 生地黃十斤（搗取汁）
上二味以地黃汁和散，曝乾，共為末。以酒服方寸匕，日二服。

又方 白瓜子七升，絹袋盛攪，沸湯中三遍，曝乾，以醋五升浸一宿，曝乾，治下篩。

酒服方寸匕，日三。服之百日，夜寫細書。

梔子仁煎方

治肝實熱，目 痛如刺 梔子仁 薤仁 決明子（各一兩） 車前葉 秦皮（各一兩六銖） 石膏（二兩碎如小豆大）
上九味 咀。以井花水三升，煮取七合，去滓下蜜，更煎，取四合，以綿濾之，乾器貯，密封，勿使草芥落中，以藥汁細細仰臥，以敷目中。

瀉肝湯方

治眼赤漠漠不見物，息肉生。

柴胡 芍藥 大黃（各四兩） 決明子 澤瀉 黃芩 杏仁（各三兩） 升麻 枳實 梔子仁 竹葉（各二兩）
上十一味 咀。水九升，煮取二升七合，分三服。熱多體壯，加大黃一兩；羸老，去大黃，加梔子仁五兩。

治眼風赤暗方。

前胡 芍藥（各四兩） 生地黃（十兩） 芒硝 黃芩 茯苓 白芷 枳實（各三兩） 人參
上十五味 咀。以水一斗二升先煎竹葉，取九升，去滓下諸藥，煮取三升半，分三服 洗肝干藍煎方

治肝熱不止，沖眼，眼 赤，赤脈息肉痛閉不開，熱勢彭彭不歇，及目睛黃。

干藍 車前葉 苦竹葉（各三升） 細辛 秦皮 薤仁 梔子仁 芍藥（各三兩） 決明子（四兩） 升麻（二兩）
上十味 咀。以水二斗，先煮乾藍、車前、竹葉，取一斗，去滓澄清，取八升，納藥，煮取三升，分三服。須利，加芒硝二兩。

大棗煎方

治目熱 赤，生赤脈侵睛，息肉急痛，閉不開，如芥在眼㾦痛。

大棗（七枚去皮核） 黃連（二兩碎，綿裹） 淡竹葉（切五合）
上三味，以水二升煮竹葉，取一升，澄清取八合，納棗肉、黃連煎取四合，去滓令淨，細細以敷目 中。

治目中息肉方。

驢脂 石鹽(末
上二味和合，令調注目兩 頭，日三夜一瘥。

又方 五加不聞水聲者根，去土取皮，搗末一升，和上酒二升，浸七日外，一日兩時服之，禁醋，二七日遍身生瘡。若不出，未得藥力，以生熟湯浴之，取毒瘡出瘥。

洗眼湯

治熱上出攻，目生障翳、目熱痛汁出方。

秦皮 黃柏 決明子 黃連 黃芩 薤仁(各十八銖) 梔子(七枚) 大棗(五枚)
上八味 咀。以水二升浸，煮取六合，澄清，仰臥洗目，日一。

治目生翳方。

貝子十枚燒灰，治下篩，取如胡豆著翳上，日二。正仰臥，令人敷之，炊久乃拭之。息肉者，加真珠、如貝子等分。

治目赤及翳方。

烏賊骨 鉛丹(大小等分
上二味合研細，和白蜜如泥蒸之，半食久，冷，著眼四，日一。

又方 熟羊眼睛，曝乾，治下篩，敷目兩角。

又方 白羊髓敷之。

又方 新生孩子胞衣，曝乾，燒末，敷目 中。

又方 古錢(一枚)，鹽(方寸七)。上二味合治下篩，敷目 中。

治目風淚出浮翳多膿爛 方。

乾薑 礬石 薤仁 細辛 黃連 戎鹽 決明子(各六銖) 銅青(三銖)
上八味 咀。以少許水浸一宿，明旦以好白蜜八合和之，著銅器中，綿蓋器上，著甑中，以三斗麥屑蒸之，飯熟藥成，絞去滓，以新死大雄鯉魚膽二枚和納藥中，又以大錢七枚常著藥底，兼常著銅器中，竹簪綿裹頭，注目 頭，晝夜三四，不避寒暑，數著藥干，又以魚膽和好，覆藥器頭，勿令氣歇。

治熱翳漫睛方。

以羊筋漱口熟嚼，夜臥開目納之，即閉目睡，去膜，明日即瘥。(《千金翼》以治眼目不明)

治風翳方。

取死豬鼻燒灰，治下篩，日一，向日，水服方寸七。

治目熱生膚赤白膜方。

取雄雀屎細直者，人乳和，熟研以敷之，當漸消爛。

又方　以蛔蟲燒為末敷之。

治人馬白膜漫睛方。

以雞翎截之，近黑睛及當白睛嗍之，膜自聚，鉤針鉤挽之，割去即見物，以綿當眼上著血斷，三日瘥。

治目白膚風淚下，蕩風散方。(《刪繁方》名真朱散）光明朱砂(半兩）貝齒(五枚炭上熟燒為末）衣中白魚(七枚）乾薑(三銖）
上四味於新瓷缽內研之，濃帛三下為散。仰臥，令人取小指爪挑少許敷目中，取瘥為度。

(《千金翼》名真朱散。主目翳覆瞳，睛不見物）

治目中生息肉，膚翳稍長欲滿目，閉瞳子，及生珠管方。

貝齒(七枚燒末之）真珠(等分）
上二味合治如粉。以注翳肉上，日三度甚良。亦治目中瞇不出。

治目生珠管方。

滑石(一本作冷石）手爪甲(燒）龍骨　貝齒　丹砂(各等分）
上五味治下篩。以新筆點，取當珠管上，日三度，良。

治毒病後，目赤痛有翳方。

以青布掩目上，以冷水漬青布，數易之。

治熱病後生翳方。

豉二七枚，燒末之，納管中。以吹目中。

治熱病後眼暗失明方。

以羊膽敷之，旦暮各一。

治風眼爛　方。

竹葉　黃連(各一兩）柏白皮(一兩半）
上三味　咀。以水二升，煮取五合，稍用滴目兩，日三四度。

治胎赤眼方。

取槐木枝如馬鞭大，長二尺，齊頭油麻一匙，置銅缽中，旦使童子以木研之，至暝止。

夜臥時，洗目敷，日三，良。

治目爛赤方。

取三指撮鹽，置古文錢上，重重火燒赤，投少醋中，足淹錢以綿沾汁注目 中。

治目中風冷淚出， 赤癢，乳汁煎方。

黃連（十八銖） 薤仁（半兩） 乾薑（一兩）
上三味 咀。以人乳汁一升浸藥一宿，明旦以微火煎，取二合，綿絞去滓，取如黍米 許，納目 頭，日再。（張文仲方三味等分）

治目中風腫痛，除熱揉眼方。

礬石三兩，燒令汁盡，以棗膏和如彈丸，揉眼上下，食頃，日三止。

洗眼湯

治目赤痛方。

甘竹葉（二七枚） 烏梅（三枚） 古錢（三枚）
上三味，以水二升漬藥半日，東向灶煮二沸，三上三下，得二合，臨欲眠，注目 。

治目猝腫方。

以醋漿水作鹽湯洗之，日四五度。

治目猝癢痛方。

削乾薑，令圓滑，納 中，有汁拭卻薑，複納之，味盡易之。

五臟客熱上沖，眼內外受風，令目痛不明方。

地膚子 瓜子仁 青葙子 蒺藜子 菥蓂子 藍子 菟絲子 薤仁（《千金翼》作車前 子各二合） 柏子仁（一合半） 決明子（五合） 細辛（一兩六銖） 桂心（一兩十八銖） 大黃（二兩） 黃連（一兩半） 螢火（六銖）
上十五味末之，蜜丸。每服如梧子三十丸，食後服，日三（《千金翼》無柏子仁）。

治目赤痛方。

雄黃（一銖） 細辛 黃連 乾薑（各二銖）
上四味合治如粉，以綿裹釵股唾濡頭注藥末，納大 頭，急閉目，目中淚出，須臾止，勿將手近，勿將帛，勿洗之。

又方 雄黃 乾薑 黃連 礬石（各六銖）
上四味合治並如前方，一方加細辛六銖。

治眼赤暗方。

杏仁（杏未熟時取仁搗汁一合） 古青錢（三枚） 青鹽（一兩六銖
上三味合納 器中，封頭勿泄氣，百日後出，著目四 頭，日二三，避風冷。

治眼暗赤冷淚方。

薤仁 波斯鹽
上二味等分，治下篩，以驢生脂和，每夜敷目四角，以一粟大，密室中將息一月，日瘥。忌五辛。失明者，三十日敷之。

治目痛及淚出不止方。

削附子作蠶屎大，納目中臥，良。

治目不明淚出方。

以烏雞膽，臨臥敷之。

治雀盲方。

地膚子（五兩） 決明子（一升）
上二味末之，以米飲汁和丸，食後服二十丸至三十丸，日二盡即更合，瘥止。

治雀目術。

令雀盲人至黃昏時看雀宿處，打令驚起，雀驚起乃咒曰：紫公紫公，我還汝盲，汝還我 明，如此日日瞑三過作之，眼即明，曾試有驗（《肘後》云刪繁載支太醫法）

治肝氣虛寒，眼青□□不見物，真珠散方。

真珠（一兩研） 白蜜（二合） 鯉魚膽（一枚） 鯉魚腦（一枚）
上四味和合，微火煎兩沸綿裹納目中，當汁出藥歇，更為之。

治目□□無所見方。

青羊肝一具，細切，以水一斗納銅器中煮，以曲餅覆上，上鑽兩孔如人眼，正以目向就 熏目，不過，再熏之。即瘥。（《千金翼》治眼暮無所見，不用曲餅）

治眼暗方。

以銅器盛大酢三四升，煎七八日，覆器濕地，取銅青一合，以三月杏白仁一升取汁，和 銅青敷之，日不過三四度，大良。

又方 古錢(七枚) 銅青 乾薑 石鹽 胡粉(各中棗大) 黃連(三銖) 烏頭(棗 核大) 蕤仁(一百十枚) 葴子(棗大) 細辛(五銖) 酢(二合) 清酒(五合) 楸 葉(一把取 汁
上十三味, 治下篩, 合煎, 取三分去一, 盛瓷器中。若燥取人乳和, 敷目, 慎風冷。

又方 每朝含黃柏一爪甲許, 使津置掌中拭目訖, 以水洗之, 至百日眼明。此法乃可終生行之, 永除眼疾, 神良。

又方 柴胡(六銖) 決明子(十八銖)
上二味治下篩, 人乳汁和敷目。可夜書, 見五色。

治眼暗方。

七月七日生苦瓠中白, 絞取汁一合, 以醋一升、古文錢七枚浸之, 微火煎之, 減半, 以 米許大, 納 中。

治眼漠漠無所見方。

蕤仁 秦皮 黃連(各十八銖) 螢火(七枚) 決明子(一合)
上五味 咀, 以水八合微火煎, 取三合, 冷, 以綿注洗目, 日三度。

常服蕪菁子, 主輕身益氣明目方。

芜菁子一升, 以水四升煮, 令汁盡出, 曝乾, 複以水四升煮如前法, 三煮三曝, 治下篩, 飲服方寸匕。(《千金翼》云百日身熱瘡出, 不久自瘥) 明目令發不落方。

十月上巳日收槐子, 納新淨瓮中, 以盆密封口, 三七日發封, 洗去皮取子, 從月一日服 一枚, 二日二枚, 日別加計, 十日服五十五枚, 一月日服一百六十五枚, 一年服一千九百八 十枚, 小月減六十枚。此藥主補腦, 早服之, 發不白, 好顏色, 長生益壽。先病冷人勿服之(《肘後》云扁鵲方)。

又方 牛膽中漬槐子, 陰乾百日, 食後吞一枚, 十日身輕, 三十日白發再黑, 至百日通 神。

治目中瞇不出方。

以蠶砂一粒吞之, 即出。

治稻麥芒等入目中方。

取生蝳螬, 以新布覆目上, 持蝳螬從布上摩之, 芒出著布, 良。

治砂石草木入目中不出方。

以雞肝注之。

又方 以書中白魚和乳汁, 注目中。

治目中瞇法。

旦起對門戶跪拜云：戶門狹小, 不足宿客, 乃便瘥。

治目為物所傷觸，青黑方。

煮羊肉令熱熨，勿令過熱，豬肝亦得。

治目痛不得睡方。

暮炙新青布熨，並蒸大豆袋盛枕之，夜恆令熱。

目中赤痛，從內 始取之陰蹺。

目中痛不能視，上星主之，先取，後取天牖、風池。

青盲遠視不明，承光主之。

目瞑遠視□□，目窗主之。

目□□赤痛，天柱主之。

目眩無所見，偏頭痛，引目外 而急，頷厭主之。

目遠視不明，惡風，目淚出，憎寒，頭痛，目眩瞢，內 赤痛，遠視□□，無見，癢 青盲無所見，遠視□□，目中淫膚，白幕覆瞳子，巨 主之。

目不明、淚出、目眩瞢，瞳子癢，遠視□□，昏夜無見，目 動，與項口參相引 僻，目痛、僻戾、目不明，四白主之。

目赤目黃，顴 主之。

目，水溝主之。

目痛不明，齦交主之。

目瞑身汗出，承漿主之。

青盲目、惡風寒，上關主之。

青盲，商陽主之。

□目□□，偏歷主之。

眼痛，下廉主之。

□目□□少氣，灸五裡，右取左，左取右。

目中白翳，前谷主之。

目痛泣出，甚者如脫，前谷主之。

白幕覆珠子，無所見，解溪主之。

眼暗，灸大椎下，數節第十當脊中安灸二百壯，惟多為佳，至驗。

肝勞邪氣眼赤，灸當容百壯，兩邊各爾，穴在眼小 近後當耳前，三陽三陰之會處，以 兩手按之，有上下橫脈，則是與耳門相對是也。

眼急痛不可遠視，灸當瞳子上入發際一寸，隨年壯。穴名當陽，風翳。患右目，灸右手 中指，本節頭骨上五壯，如小麥大，左手亦如之。

風癢赤痛，灸人中近鼻柱二壯，仰臥灸之。

目卒生翳，灸大指節橫紋三壯，在左灸右，在右灸左，良。

鼻病第二

（論一首，方五十五首，灸法六首）

治鼻塞，腦冷，清涕出方。

通草 辛夷（各半兩） 細辛 甘遂（一作甘草） 桂心 川芎 附子（各一兩）
上七味末之，蜜丸，綿裹納鼻中，密封塞，勿令氣泄，丸如大麻子，稍加微覺小痛，搗薑為丸即愈，用白狗膽汁和之，更佳。

治鼻塞，常有清涕出方。

細辛 蜀椒 乾薑 川芎 吳茱萸 附子（各十八銖） 桂心（一兩） 皂莢屑（半兩）豬膏（一升）
上九味 咀，以綿裹，苦酒漬一宿，取豬膏煎，以附子色黃為度，去滓，綿裹納鼻孔中，並摩鼻上。涕出不止，灸鼻兩孔與柱齊七壯。

治鼻塞窒香膏方。

白芷 川芎 通草（各十八銖） 當歸 細辛 莽草（《短劇》並《翼》作薰草） 辛夷（各三十銖）
上七味 咀，以苦酒漬一宿，以不中水豬肪一升煎，三上三下，以白芷色黃膏成，去滓，綿沾如棗核大，納鼻中，日三（《短劇》加桂心十八銖）。

治鼻不利香膏方。

當歸 薰草（《古今錄驗》用木香） 通草 細辛 薤仁（各十八銖） 川芎 白芷（各半 兩） 羊髓（四兩豬脂亦得）
上八味 咀，以微火合煎，三上三下，白芷色黃膏成，去滓，取如小豆大，納鼻中，日二。先患熱後鼻中生赤爛瘡者，以黃芩、梔子代當歸、細辛。

治鼻窒，氣息不通方。

小薊一把 咀，以水三升，煮取一升，分二服

又方 瓜蒂末少許吹鼻中，亦可綿裹塞鼻中。

又方 槐葉（五升） 蔥白（切一升） 豉（一合）
上三味，以水五升，煮取三升，分溫三服。

治鼻塞多年，不聞香臭，清水出不止方。

取當道車轍過蒺藜一把，搗，以水三升煎取熟，先仰臥，使人滿口含取一合汁，灌鼻中，使入不過，再度大噓，必出一兩個息肉，似赤蛹，（一方有黃連等分同煎。

治鼻 方。

通草 細辛 附子
上三味各等分末之，以蜜和，綿裹少許，納鼻中。

又方 甘遂 通草 細辛 附子（等分
上四味末之，以白雄犬膽和為丸，如棗核大，綿裹納鼻中。辛熱涕出，四五升瘥。亦治息肉。

又方 炙皂莢末之如小豆，以竹管吹鼻中。

又方 乾薑末蜜和，塞鼻中，吹亦佳。

又方 鐵鎖磨石，取末，以豬脂和，綿裹納之，經日，肉出瘥。

又方 以馬新屎汁，仰頭含滿口，灌鼻中。

又方 伏面臨床前，以新汲冷水淋玉枕上，後以瓜蒂末，綿裹塞之。

治 鼻有息肉，不聞香臭方。

瓜丁 細辛
上二味各等分末之，以綿裹如豆大許，塞鼻中，須臾即通。

通草散方

治鼻中息肉不通利。

通草（半兩） 礬石（一兩） 真珠（一兩）
上三味末之，捻綿如棗核，取藥如小豆，著綿頭，納鼻中，日三易之。一方有桂心、細辛各一兩，同前搗末和，使之。

治鼾鼻、鼻中息肉不得息方。

礬石（六銖） 藜蘆（六銖） 瓜蒂（二七枚） 附子（十一銖）
上四味各搗篩，合和，以小竹管吹藥如小豆許於鼻孔中，以綿絮塞鼻中，日再，以愈為度（《古今錄驗》葶藶半兩）。

治鼻中息肉方。

炙 皮末，綿裹塞之三日。

又方 細篩釜底墨，水服之三五日。

治鼻中息肉不聞香臭方。

燒礬石末，以面脂和，綿裹著鼻中，數日息肉隨藥消落。

又方 末瓜丁如小豆許，吹入鼻中必消，如此三數度。

又方 細辛 釜底墨
上二味末之，水和，服方寸匕。

又方 綿裹瓜蒂末塞鼻中。

治鼻中息肉梁起，羊肺散方。

羊肺（一具干之） 白朮（四兩） 蓯蓉 通草 乾薑 川芎（各二兩）
上六味末之，食後以米飲服五分匕，加至方寸匕。

又方 通草（十三銖） 真珠（六銖） 礬石 細辛（各一兩）
上四味末之，捻綿如棗核，沾散如小豆，並綿納鼻中，日再三。鼻中息肉，灸上星三百壯，穴在直鼻入發際一寸。

又灸挾上星兩旁相去三寸，各一百壯。

治鼻中生瘡方。

燒祀灶飯末，以敷鼻中。

又方 燒故馬絆末，敷鼻中。

又方 偷孝子帽以拭之。

又方 烏牛耳垢敷之。

又方 以牛鼻津敷之。

又方 搗杏仁乳敷之，亦燒核，壓取油，敷之。

又方 燒牛、狗骨灰，以臘月豬脂和，敷之。

治疳蟲蝕鼻生瘡方。

燒銅箸頭，以醋淬之數過，取酢敷之，又以人屎灰塗之，瘥。

治鼻痛方。

常以油塗鼻內外，酥亦得。

治卒食物，從鼻中縮入腦中，介介痛不出方。

牛脂若羊脂如指頭大，納鼻中，以鼻吸取脂，須臾脂消，則物逐脂俱出也。

論曰：鼻頭微白者亡血，設令微赤非時者死，病患色白者皆亡血也。凡時行衄不宜斷之，如一、二升以上，恐多者可斷，即以龍骨末吹之。九竅出血者，皆用吹之。

治大便出血，及口鼻皆出血，血上胸心，氣急，此是勞熱所致方。

生地黃（八兩） 蒲黃（一升） 地骨皮（五兩） 黃芩 芍藥 生竹茹（各三兩）
上六味 咀。以水八升，煮取二升七合，分溫三服。

凡吐血、衄血、溺血，皆臟氣虛、膈氣傷或起驚悸，治之方。

生竹皮（一升） 芍藥（二兩） 川芎 當歸 桂心 甘草（各一兩） 黃芩（二兩）
上七味 咀。以水一斗煮竹皮，減三升下藥，煎取二升，分三服。

治衄血方。

伏龍肝（二枚如雞子大） 生地黃（六兩） 川芎（一兩） 桂心（三兩） 細辛（六 銖） 白芷
上十味 咀。以水三升，酒七升，煮取三升，分三服。

生地黃湯

主衄方。

生地黃（八兩） 黃芩（一兩） 阿膠（二兩） 柏葉（一把） 甘草（二兩
上五味 咀。以水七升，煮取三升，去滓，納膠煎取二升半，分三服。

又方 生地黃三斤（切） 阿膠二兩 蒲黃六合
上三味以水五升，煮取三升，分三服。

治鼻出血不止方。

乾地黃 梔子 甘草（等分）
上三味治下篩。酒服方寸匕，日三。如鼻疼者，加豉一合；鼻有風熱者，以蔥涕和服如梧子五丸。

治鼻衄方。

地黃汁五合，煮取四合，空腹服之，忌酒炙肉，且服粳米飲。

又方 飲小薊汁。

又方　以冷水淨漱口，含水以蘆管吹二孔中，即止。

又方　取亂髮五兩，燒作灰，以管吹鼻中棗核大。不止，益吹之，以血斷止。並水服方　寸七，日三，甚者夜二。已困不識人者，服亦佳。

又方　取人屎尖燒灰，水服並吹少許鼻中，止。

又方　五月五日取人屎，燒作灰，冷水服五分七。

又方　以膠貼鼻頭上，至頂及發際三寸，止。

又方　新馬屎汁灌鼻中，及飲之。

又方　以濕布敷胸上。

又方　淳醋和土塗陰囊上，干，易之。

又方　韭根蔥根取汁，懸頭著一棗大納鼻中，少時更著，兩三度瘥，蔥白搗汁亦得。

治鼻出血不止方。

搗楮葉汁，飲三升，大良。

又方　張弓令弦向上，病兒仰臥枕，弦放，四體如常臥法，衄時癢癢，便灸足大趾節橫　理三毛中十壯，劇者百壯，衄不止，灸之，並治陰卵腫。

又灸風府一穴四壯，不止，又灸。

又灸涌泉二穴各百壯。

口病第三

（論一首，方五十九首，灸法二首）論曰：凡患口瘡及齒，禁油、面、酒、醬、酸、醋、鹹、膩、乾棗，瘥後仍慎之。若不久慎，尋手再發，發即難瘥。薔薇根，角蒿，為口瘡之神藥，人不知之。

凡口中、面上息肉轉大，以刀決潰去膿血，即愈。

治口中瘡，久不瘥，入胸中並生瘡，三年以上不瘥者方　濃煎薔薇根汁，含之，又稍稍咽之，日三夜一，冬用根，夏用莖葉。

又方　角蒿灰敷之，一宿知、二宿瘥，有汁吐之，不得咽也。

治口瘡不歇方。

牛膝　生　荷根（各三兩）　黃柏（一兩）
上三味　咀。以綿裹，酒三升漬一宿，微火煎一兩沸，細細含之。

治膀胱熱不已，口舌生瘡，咽腫，升麻煎方。

升麻　玄參　薔薇根白皮　射干（各四兩）大青　黃柏（各三兩）蜜（七合）
上七味　咀。以水七升，煮取一升五合，去滓，下蜜更煎兩沸，細細含咽之。

治口數生瘡，連年不瘥方。

薔薇根　黃芩　當歸　桔梗　黃耆　白蘞　鼠李根皮　大黃　芍藥　續斷　黃柏　葛根（各一兩）
上十二味末之，以酒服方寸匕，日二服，亦可漿水服之。

治胃中客熱，唇口乾燥生瘡方。

茯苓　黃芩　甘草　大黃　薔薇根（各三十銖）枳實　杏仁　黃連（各二兩）桂心（半　兩）栝蔞根（十八銖）
上十味末之，食前漿水服方寸匕，日二。

治口熱生瘡方。

升麻（三十銖）黃連（十八銖《古今錄驗》用黃柏）
上二味末之，綿裹含，咽汁，亦可去之。

治口瘡方。

薔薇根皮（四兩）黃柏（三兩）升麻（三兩）生地黃（五兩）
上四味　咀，以水七升，煮取三升，去滓含之，瘥止。含極吐，卻更含。

治口中瘡爛，痛不得食方。

杏仁（二十枚）甘草（一寸）黃連（六銖）
上三味末之，合和綿裹杏仁大，含之，勿咽，日三夜一。

薔薇丸

方治口瘡身體有熱氣痱瘰。

薔薇根　黃芩　鼠李根　當歸　葛根　白蘞　石龍芮（《千金翼》作黃連）黃柏　芍藥
上十二味末之，蜜和服如梧子十丸，日三服。

治口吻瘡方。

以楸白皮及濕貼之三四度瘥。

又方　取經年葵根欲腐者彌佳，燒作灰，及熱敷之。

又方　以新炊飯了甑，及熱以唇口向甑，唇上熨之，二七下三兩上，瘥止。

又方 梔子 甘草(各十八銖) 細辛(三十銖) 桂心(十二銖) 川芎(一兩)
上五味末之, 蜜丸, 食後服七丸, 日再服, 瘥止。

又方 川芎 白芷 橘皮 桂心 棗肉(各一兩半)
上五味末之, 以蜜和為丸, 食後服十五丸, 又含之, 以瘥為度。此方甚驗。

治口肥瘡方。

熬灶上飯令焦, 末, 敷之。

治燕吻瘡方。

白楊枯枝鐵上燒, 取 及熱敷之。

又方 以木履尾, 納 灰中, 令熱, 取柱兩吻各二七遍。

治口旁惡瘡方。

亂髮灰 故絮灰 黃連末 乾薑末
上四味等分, 合和為散, 以粉瘡上, 不過三遍。

治口中瘡, 咽喉塞不利, 口燥膏方。

豬膏 白蜜(各一斤) 黃連(一兩)
上三味合煎去滓, 攪令相得, 含如半棗, 日四、五, 夜二。

治熱病口爛咽喉生瘡, 水漿不得入膏方。

當歸 射干 升麻(各一兩) 附子(半兩) 白蜜(四兩)
上五味 咀, 以豬脂四兩先煎之, 令成膏, 下著地, 勿令大熱, 納諸藥, 微火煎令附子色黃, 藥成絞去滓, 納蜜, 複上火一兩沸, 令相得, 置器中, 令凝, 取如杏仁大, 含之, 日四五遍, 輒咽之。

治失欠、頰車蹉開張不合方。

一人以手指牽其頤, 以漸推之, 則複入矣。推當疾出指, 恐誤嚙傷人指也。

治失欠頰車蹉方。

消蠟和水敷之。

失欠頰車蹉, 灸背第五椎, 一日二七壯, 滿三日未瘥, 灸氣沖二百壯, 胸前喉下甲骨中, 是亦名氣堂。

又灸足內踝上三寸宛宛中或三寸五分百壯三報。此三陰交穴也。

治卒口噤不開方。

以附子搗末, 納管中, 強開口, 吹口中。

治口中熱乾，甘草丸方。

甘草　人參　半夏　生薑　烏梅肉(各二兩半)　棗膏(二兩半)
上六味末之，蜜丸如彈子大，旋含咽汁，日三。

治口乾方。

羊脂若豬脂雞子大，擘之納半升醋中，漬一宿，絞取汁含之。

治口乾除熱下氣方。

石膏(五合碎)　蜜(二升)
上二味以水三升煮石膏，取二升，納蜜，煮取二升，去滓，含如棗核大，咽汁盡，更含　之。

治虛勞口乾方。

麥門冬(二兩末)　大棗(三十枚肉)
上二味，以蜜一升和，令熟五升米下，蒸之，任性服。

又方　羊脂如雞子大，淳酒半升，棗七枚擘，合漬七日，取棗食之，愈。

又方　酸棗(一升)　酸石榴子(五合)　葛根(三兩)　麥門冬(四兩)　覆盆子(三合)　烏　梅(五合)　甘草　栝蔞實(各三兩)
上八味末之，以蜜丸含如棗大，以潤為度。

五香丸

治口及身臭，令香止煩散氣方。

豆蔻　丁香　藿香　零陵香　青木香　白芷　桂心(各一兩)　香附子(二兩)　甘松　香　當歸(各半兩)　檳榔(二枚)
上十一味末之，蜜和丸，常含一丸，如大豆，咽汁，日三夜一。亦可常含，咽汁，五日口香，十日體香，二七日衣被香，三七日下風人聞香，四七日洗手水落地香，五七日把他手　亦香。慎五辛，下氣去臭。

治口氣臭穢，常服含香丸方。

丁香(半兩)　甘草(三兩)　細辛　桂心(各一兩半)　川芎(一兩)
上五味末之，蜜和，臨臥時，服二丸如彈子大。

又方　常以月旦日未出時，從東壁取步，七步回，面垣立，含水　壁七遍，口即美香。

又方　桂心　甘草　細辛　橘皮
上四味等分，治下篩，以酒服一錢匕，瘥止。

又方　川芎　白芷　橘皮　桂心(各四兩)　棗肉(八兩)
上五味末之，次納棗肉，干則加蜜，和丸如大豆，服十丸，食前食後常含之，或吞之，七日大香。

治口中臭方。

桂心(《古今錄驗》用細辛) 甘草(各等分)
上二味末之, 臨臥以三指撮酒服, 二十日香。

又方 細辛、豆蔻。含之甚良。

又方 蜀椒 桂心(各等分)
上二味末之, 酒服三指撮。

主口香去臭方。

甘草(三十銖) 川芎(二十四銖) 白芷(十八銖)
上三味治下篩, 以酒服方寸匕, 日三服, 三十日口香。

又方 松根白皮 瓜子仁 大棗
上三味治下篩, 以酒服方寸匕, 日二, 一百日衣被香。

又方 瓜子仁 川芎 本 當歸 杜蘅(各六銖) 細辛(半兩) 防風(二兩)
上七味治下篩, 食後飲服方寸匕, 日三服, 五日口香, 十日身香, 二十日肉香, 三十日衣被香, 五十日遠聞香, (一方加白芷十八銖。

又方 橘皮(二十銖) 桂心(十八銖) 木蘭皮(一兩) 大棗(二十枚)
上四味, 治下篩, 酒服方寸匕, 日三, 久服身香。亦可以棗肉丸之, 服二十丸, 如梧子大, 稍加至三十丸。(一方有川芎十八銖。)

又方 濃煮細辛汁, 含之久, 乃吐之。又方 井花水三升漱口, 吐廁中, 良。

又方 香薷一把, 水一斗, 煎取三升, 稍稍含之。

又方 甜瓜子作末, 蜜和, 每日空心洗漱訖, 含一丸如棗核大, 亦敷齒。

又方 熬大豆, 令焦, 及熱酢沃取汁含之。

治七孔臭氣, 皆令香方。

沉香(五兩) 本(三兩) 白瓜瓣(半升) 丁香(五合) 甘草 當歸 川芎 麝 香(各二兩)
上八味末之, 蜜丸, 食後服如小豆大五丸, 日三, 久服令舉身皆香。

治身體臭, 令香方。

白芷 甘子皮(各一兩半) 瓜子仁(二兩) 本 當歸 細辛 桂心(各一兩)
上七味治下篩, 酒服方寸匕, 日三, 五日口香, 三七日身香。

又方 甘草 松根皮 甜瓜子 大棗
上四味各等分, 治下篩, 食後服方寸匕, 日三。七日知, 一百日大香。

熏衣香方

雞骨煎香 零陵香 丁香 青桂皮 青木香 楓香 鬱金香(各三兩) 薰陸香 甲香 蘇合香 甘松香(各二兩) 沉水香(五兩) 雀頭香 藿香 白檀香 安息香 艾納香(各一兩) 麝香(半兩)
上十八味末之, 蜜二升半煮, 肥棗四十枚, 令爛熟, 以手痛搦, 令爛如粥, 以生布絞去滓, 用和香, 乾濕如捺, 搗五百杵, 成丸, 密封七日乃用之, 以微火燒之, 以盆水納籠下, 以殺火氣, 不爾, 必有焦氣也。

又方 沉香 煎香(各五兩) 雀頭香 藿香 丁子香(各一兩)
上五味治下篩, 納麝香末半兩, 以粗羅之, 臨熏衣時, 蜜和用。

又方 兜婁婆香 薰陸香 沉香 檀香 煎香 甘松香 零陵香 藿香(各一兩) 丁 香 (十八銖) 苜蓿香(二兩) 棗肉(八兩)
上十一味粗下, 合棗肉總搗, 量加蜜, 和用之。

濕香方

沉香(二斤七兩九銖) 甘松 檀香 雀頭香(一作藿香) 甲香 丁香 零陵香 雞 骨煎 香(各三兩九銖) 麝香(二兩九銖) 薰陸香(三兩六銖)
上十味末之, 欲用以蜜和, 預和歇, 不中用。

又方 沉香(三兩) 零陵香 煎香 麝香(各一兩半) 甲香(三銖) 薰陸香 甘 松香(各六銖) 檀香(三銖) 藿香 丁子香(各半兩)
上十味, 粗篩, 蜜和, 用熏衣瓶盛, 埋之久窖, 佳。

百和香

通道俗用者方。

沉水香(五兩) 甲香 丁子香 雞骨香 兜婁婆香(各二兩) 薰陸香 白檀香 熟 捷香 兩) 雀頭 香蘇合香 安息香 麝香 燕香(各半兩)
上二十味末之, 酒漉令軟, 再宿, 酒氣歇, 以白蜜和, 納瓷器中, 蠟紙封, 勿令泄, 冬 月開取用, 大佳。

衣香方

零陵香 藿香(各四兩) 甘松香 茅香(各三兩) 丁子香(一兩) 苜蓿香(二兩)
上六味各搗, 加澤蘭葉四兩, 粗下用之, 極美。

又方 零陵香(二兩) 藿香 甘松香 苜蓿香 白檀香 沉水香 煎香(各一兩)
上七味合搗, 加麝香半兩, 粗篩, 用如前法。

又方 藿香(四兩) 丁香(七枚) 甘松香 麝香 沉香 煎香
上六味粗篩, 和為干香以 衣, 大佳。

(方十一首) 舌主心臟, 熱即應舌生瘡裂破, 引唇揭赤, 升麻煎泄熱方。

蜀升麻 射干(各三兩) 柏葉(切一升) 大青(二兩) 苦竹葉(切五合) 赤蜜 (八合) 生蘆根 薔薇根白皮(各五兩) 生玄參汁(三合) 地黃汁(五合)
上十味 咀, 以水四升, 煮取一升, 去滓, 下玄參汁, 令兩沸, 次下地黃汁, 兩沸, 次下蜜, 煎取一升七合, 綿惹取汁, 安舌上含, 細細咽之。

舌上瘡不得食, 舌本強, 頸兩邊痛, 此是心虛熱所致, 治之方。

柴胡 升麻 芍藥 梔子仁 通草(各二兩) 黃芩 大青 杏仁(各一兩半) 生薑 石膏(各四兩)
上十味 咀, 以水一斗九升煮, 取三升半, 分四服, 日三夜一, 滓可重煎服之。

治舌卒腫, 滿口溢出, 如吹豬胞, 氣息不得通, 須臾不治殺人方 急以指刮破舌兩邊, 去汁即愈, 亦可以鈹刀, 決兩邊破之, 以瘡膏敷之。

又方 刺舌下兩邊大脈, 血出, 勿使刺著舌下中央脈, 出血不止, 殺人。不愈, 血出數 升, 則燒鐵篦, 令赤, 熨瘡數過以絕血也。

又方 半夏十二枚, 洗熟, 以醋一升, 煮取八合, 稍稍含嗽之。吐出, 加生薑一兩, 佳

治舌腫強滿口方。

滿口含糖醋少許時, 熱通即止。

治舌腫起如豬胞方。

釜下墨末, 以醋濃敷舌上下, 脫去更敷, 須臾即消。若先決出血汁, 竟敷之, 彌佳。凡 此患, 人皆不識, 或錯治益困, 殺人甚急。但看其舌下自有噤蟲形狀, 或如螻蛄, 或如臥蠶 子, 細看之有頭尾, 其頭少白, 燒鐵釘烙頭上, 使熟, 即自消。

治舌脹滿口不得語方。

蟲(三十枚) 鹽(一升)
上二味, 以水三升, 煮三沸, 含之, 稍稍咽之, 日三。

治舌強不得語方。

礬石 桂心
上二味等分, 末之, 安舌下, 立瘥。

舌上黑有數孔, 大如箸, 出血如涌泉, 此心臟病, 治之方。

戎鹽 黃芩(一作葵子) 黃柏 大黃(各五兩) 人參 桂心 甘草(各二兩)
上七味末之, 蜜和, 以飲服十丸如梧子, 日三, 亦燒鐵烙之。

治舌上出血如泉方。

燒鐵篦熟爍孔中，良。

唇病第五

（甲煎法二首，方二十首，灸法二首）

潤脾膏

治脾熱唇焦枯無潤方。

生地黃汁（一升） 生麥門冬（四兩） 生天門冬（切一升） 葳蕤（四兩） 細辛 甘草川 芎白朮（各二兩） 黃耆 升麻（各三兩） 豬膏（三升）
上十一味 咀，諸藥苦酒淹一宿，綿裹藥，臨煎下生地黃汁，與豬膏共煎取膏鳴，水氣盡去滓，取細細含之。

甲煎唇脂

治唇裂口臭方。

先以麻搗泥，泥兩口好瓷瓶，容一斗以上，各濃半寸曝令乾。

甘松香（五兩） 艾納香 苜蓿香 茅香（各一兩） 藿香（三兩） 零陵香（四兩）
上六味先以酒一升，水五升相和作湯，洗香令淨，切之，又以酒水各一升浸一宿，明旦納於一斗五升烏麻油中，微火煎之，三上三下，去滓，納上件一口瓶中，令少許不滿，然後取：

兩） 丁香 （一兩） 麝香（一兩） 甲香（一兩）
上八味，先酒水相和作湯，洗香令淨，各別搗碎，不用絕細，以蜜二升、酒一升和香，納上件瓷瓶中令實滿，以綿裹瓶口，又以竹篾交橫約之，勿令香出。先掘地埋上件油瓶，令口與地平，以香瓶合覆油瓶上，令兩口相當，以麻搗泥泥兩瓶口際，令牢密，可濃半寸許，用糠壅瓶上，濃五寸，燒之，火欲盡，即加糠，三日三夜，勿令火絕，計糠十二石訖，停三日，令冷出之。別煉蠟八斤，煮數沸，納紫草十二兩煎之，數十沸，取一莖紫草向爪甲上研看紫草骨白，出之。又以綿濾過與前煎相和，令調，乃納朱砂粉六兩，攪令相得，少冷未凝之間，傾竹筒中紙裹筒上麻纏之，待凝冷解之，任意用之，計此可得五十挺。

甲煎口脂，治唇白無血色及口臭方。

燒香澤法

沉香 甲香 丁香 麝香 檀香 蘇合香 薰陸香 零陵香 白膠香 藿香 甘松香 澤蘭
上十二味各六兩，胡麻油五升，先煎油令熟，乃下白膠、藿香、甘松、澤蘭，少時下火，綿濾納瓷瓶中，餘八種香搗作末，以蜜和，勿過濕，納著一小瓷瓶中令滿，以綿幕口，竹十字絡之。以小瓶覆大瓶上，兩口相合，密泥泥之。乃掘地埋油瓶，令口與地平，乃聚干牛糞燒之，七日七夜不須急，滿十二日燒之彌佳，待冷出之即成。其瓶並須熟泥匀濃一寸，曝乾，乃可用，（一方用糠火燒之。

煉蠟合甲煎法

蠟(二兩) 紫草(二兩)
上先煉蠟，令消，乃納紫草煮之，少時候看，以紫草於指甲上研之，紫草心白即出之，下蠟，勿令凝，即傾弱一合甲煎於蠟中，均攪之訖，灌筒中，則勿觸動之，冷凝乃取之，便成好口脂也。敷口面，日三。

治緊唇方。

纏白布作大燈炷如指，安斧刃上，燃炷令刃汗出，拭以敷唇上，日二三度，故青布亦佳，並治沈唇。

又方 青布灰以酒服之，亦可脂和塗。

又方 以蛇皮拭之，燒為灰，敷之。

又方 水服螭螬灰，良。

又方 自死螻蛄灰敷之。

又方 又火炙蠟貼唇上，瘥。

又方 炙松脂貼上，瘥。

緊唇，灸虎口，男左女右。

又灸承漿三壯。

治沈唇方。

以干螭螬燒末和豬脂，臨臥敷之。

又方 燒鱉甲及頭，令煙盡，末敷之，日三。

治唇生瘡方。

以頭垢敷之，日三。

又方 以胡粉敷之。

治唇邊生瘡，連年不瘥方。

以八月藍葉十斤絞取汁洗，不過三日瘥。

治唇生核方。

豬屎平量一升，以水投，絞取汁，溫服之。

治唇舌忽生瘡方。

燒雞屎白末，以布裹著病上，含之。

治唇黑腫、痛癢不可忍方。

取大錢四文於石上，以臘月豬脂磨取汁，塗之。

又方　以竹弓彈之，出其惡血，瘥。

又方：燒亂髮及蜂房、六畜毛，作灰，豬脂和敷之，亦治沈唇。

治冬月唇乾坼、血出方。

搗桃仁，以豬脂和，敷之。

治遠行唇口面皴裂方。

熟煎豬脂，將行夜，常敷面臥，行萬裡，野宿不損。

齒病第六

（論一首，方三十八首，灸法二首）論曰：凡齒齦宣露，多是疳　及月蝕，以角蒿灰夜敷齦間，使滿，勿食油，不過二三夜，瘥。食油及乾棗即發，所以患齒者，忌油乾棗及桂心。每旦以一捻鹽納口中，以暖水含，揩齒及叩齒百遍，為之不絕，不過五日，口齒即牢密。凡人齒齦不能食果菜者，皆由齒根露　也，為此鹽湯揩齒、叩齒法，無不愈也，神良。凡人好患齒病，多由月蝕夜食飲之所致也，識者深宜慎之。所以日月蝕未平時，特忌飲食，小兒亦然。

治齲齒及蟲痛方。

白附子　知母　細辛（各六銖）川芎　高良薑（各十二銖）
上五味末之，以綿裹少許著齒上，有汁吐出，一日兩度，含之，亦治口氣。

又方　切白馬懸蹄如米許，以綿裹著痛處孔中，不過三度。

治　齒蟲齒，積年不瘥，從少至老方。

雀麥草一名杜姥草，似牛毛草，以苦瓠葉四十枚淨洗，露一宿，平旦取草屈長二寸，廣　一寸，濃五分，以瓠葉裹縛之，作五六十裹子，取三年醶醋浸之，至日中取兩裹納火中，炮令極熱，納口中齒外邊熨之，冷則易之，取銅器以水納中，解裹於水中洗之，得蟲長三分，老者黃赤色，小者白色，多者得三四十枚，少者得一二十枚。

治蟲齒方　莨菪子三合，如無，蔥子、韭子並得，以青錢七文，燒令赤，取小口罌子令可口含得者，將錢納罌子中，取一撮許莨菪子安錢上，令炮炮聲，仍與半合許水淋，令氣上，從罌出，將口含罌口，令氣莫出，用熏齒，冷複更作，取三合藥盡為劑。非止蟲齒得瘥，或風齒、齲　齒、齒中病悉主之，口中多津，即吐之。

又方　白楊葉切一升，水三升，煮取一升，含之。

又方 大醋一升煮枸杞根白皮一升，取半升含之，蟲立出。

又方 取桃仁少許，以釵頭穿向燈上燒之，煙出，經少時吹滅，即納入口安蟲齒上咬之，不過五六度。（一方作胡桃仁。

治疳蟲蝕齒根方。

地龍置石上，著一撮鹽，須臾化為水，以面展取，卻待凝濃，取以納病上，又以皂莢去 皮塗上，蟲即出。

又方 純麻子燭燼研，以井花水塗之。

又方 黑 羊脂、莨菪子各等分，先燒鐵鋤斧銼令赤，納其中，煙出，以布單覆頭，令煙氣入口熏之。

治齒齦腫痛，及蟲痛方。

黃芩 甘草 桂心 當歸 細辛 蛇床子（各一兩）
上六味 咀，以醋漿水七升，煮取三升，去滓含之，日三夜二。

治齒有孔不得食、面腫方。

莽草（十葉） 豬椒附根皮（長四寸者七枚）
上二味 咀，以漿水二升，煮取一升，滿口含，倦即吐卻，日二三度。

治齒根腫方。

松葉（一把切） 鹽（一合）
上二味以酒三升，煮取一升含之。

治齒根動欲脫落方 生地黃綿裹著齒上，咋之，又 咀，以汁漬齒根，日四、五著之，並咽汁，十日大佳。

治齒根動痛方。

生地黃 獨活（各三兩）
上二味 咀，以酒一升漬一宿，以含之。

治齒齦間津液、血出不止方。

生竹茹二兩，醋煮含之。

又方 細辛（二兩） 甘草（一兩）
上二味 咀。以醋二升煎取一升，日夜旋含之。

又方 礬石一兩，燒水三升，煮取一升，先拭血，乃含之，已後不用朽人牙根，齒落不用之可也。

治齒間血出方。

以苦竹葉濃煮之，與鹽少許，寒溫得所，含之，冷吐。

又方 溫童子小便半升，取三合含之，其血即止。

治齒出血不止方。

刮生竹皮二兩，苦酒浸之，令其人解衣坐，使人含 其背上三過。仍取竹茹濃煮汁，勿與

治酒醉、牙齒涌血出方。

當歸（二兩） 桂心 細辛 甘草（各一兩） 礬石（六銖）
上五味 咀。以漿水五升，煮取二升含之，日五六，夜三。

又方 燒釘令赤，注血孔中，止。

治頭面風，口齒疼痛不可忍方。

蜀椒（二合） 莽草（十葉） 雀李根 獨活（各二兩） 細辛 川芎 防風（各一兩）
上七味 咀。以酒二升半，煮三五沸，去滓含之，冷吐，更含之，勿咽汁。（張文仲有白朮二兩）

又方 雞屎白燒灰，以綿裹置齒痛上，咬咋之。

又方 雞屎白以醋漬煮，稍稍含之。

又方 煮枸杞汁含之。

又方 生地黃（一節），蒜（一瓣）。上二味熟搗綿裹著痛上，咬之，勿咽汁，汁出吐之，日日

又方 含驢尿，須臾止。

風齒疼痛，灸外踝上高骨前交脈三壯。

又以線量手中指至掌後橫紋，折為四分，量橫紋後當臂中灸二壯愈，隨左右。

含漱湯

治齒痛方。

獨活（三兩） 黃芩 川芎 細辛 藭菱（各二兩） 當歸（三兩） 丁香（一兩）
上七味 咀。以水五升，煮取二升半，去滓含嗽之，須臾悶乃吐，更含之。（《古今 錄驗》同，有甘草二兩）

又方 含白馬尿，隨左右含之，不過三五口。

治齒痛漱湯方。

腐棘刺二百枚，以水二升，煮取一升，旋旋含之，日四五度，以瘥止。

又方 川芎 細辛 防風 礬石 附子 藜蘆 莽草
上七味各等分作末，綿裹如彈丸大。酒浸安所患處，含之勿咽，日三，刺破，極佳。

又方　蚯蚓糞水和，作稠泥團，以火燒之，令極赤如粉，以臘月豬膏和，敷齒齦上，日三兩度，永瘥。

又方　取自死蚯蚓乾者搗末，著痛處，即止。

治齒齦痛、不可食生果方。

生地黃　桂心
上二味合嚼之，令味相得，咽之。

又方　馬齒莧一把嚼之，即瘥。

治牙癰塞、口噤不開方。

附子（大者一枚）　黃連（十八銖）　礬石（一兩）
上三味末之。納管中，強開口吹之，入喉間，細細吹之。

喉病第七

（証一條，方五十首，針灸法二首）　凡卒喉痺不得語，服小續命湯，加杏仁一兩。（方出第八卷中）

烏膏

喉嚨者，脾胃之候，若臟熱，喉則腫塞，神氣不通，烏　膏主之方。

生烏（十兩）　升麻（三兩）　羚羊角（二兩）　薔薇根（切一升）　艾葉（六銖生者尤佳）　芍藥（二兩）　通草（二兩）
生地黃（切五合）　豬脂（二斤）
上九味　咀。綿裹，苦酒一升，淹浸一宿，納豬脂中，微火煎取，苦酒盡，膏不鳴為度，去滓，薄綿裹膏似大杏仁，納喉中，細細吞之。

治喉腫痛，風毒沖心胸方。

豉（一升半）　犀角　射干　杏仁　甘草（各二兩）　羚羊角（一兩半）　芍藥（三兩）　梔子（七枚）　升麻（四兩）
上九味　咀。以水九升，煮取三升，去滓，納豉煮一沸，分三服，喉腫胸脅支滿，灸尺澤百壯。

治風毒咽水不下，及瘰癧腫方。

升麻　芍藥（各四兩）　射干　杏仁　楓香　葛根　麻黃（各三兩）　甘草（二兩）
上八味　咀。以水八升，煮取二升半，分三服。

又方　以水服莨菪子末兩錢匕，神良。

治喉痺方　荊瀝，稍稍咽之。

又方　臘月豬尾燒末，水服之。

又方　燒牛角末，酒服之。

又方 熬杏仁令黑，含或末服之。

又方 含雞屎白。

又方 巴豆去皮，針線穿，咽入牽出。

又方 馬藺子半升，水二升，煮取一升半，服之。

又方 煮桃皮汁三升，服之。

又方 燒荊汁服之，又水三升煮荊一握，取一升，分三服。

治喉痺及毒瓦斯方。

桔梗二兩，水三升，煮取一升，頓服之。

又方 生薑二斤，搗取汁，蜜五合，微火煎相和，服一合，日五。

又方 附子一枚，剖作大片，蜜塗，炙令黃，含咽汁，甘盡更塗，炙如前法。

又方 剝大蒜，塞耳鼻，日二易。

喉痺，刺手小指爪紋中，出三大豆許血，逐左右刺，皆須慎酒、面、毒物。

治喉痺、猝不得語方。

濃煮桂汁，服一升，亦可末桂，著舌下，漸咽之，良。

又方 煮大豆汁含之，無豆用豉，亦佳。

又方 以酒五合和人乳汁半升，分二服。

又方 燒炊箕作灰三指撮，水服之。

又方 芥子末水和敷之，干則易。

又方 商陸、苦酒熬令濃，熱敷之。

又方 末桂心如棗核大，綿裹著舌下，須臾破。

治喉猝腫、不下食方。

以韭一把，搗熬敷之，冷則易。

又方 含上好醋，口舌有瘡，亦佳。

治懸雍咽熱、暴腫長方。

乾薑、半夏等分，末，以少少著舌上。

又方　鹽末，以箸頭張口柱之，日五。

治懸雍咽中生息肉、舌腫方。

日初出時向日張口，使婦人用左裙裾柱其頭上，七下，瘥。

又方　羊蹄草煮取汁，口含之。

又方　鹽豉和塗之。

又方　取四五歲小兒尿，合鹽含之。

凡喉痺深腫連頰，吐氣數者，名馬喉痺，治之方。

馬銜一具，水三升，煮取一升，分三服。

又方　氈中蒼耳三七枚，燒末，水服之。

又方　馬鞭草根一握，勿中風，截去兩頭，搗取汁服。

又方　燒谷奴灰，酒服之，立破。

母薑酒

咽門者，肝膽之候，若臟熱，咽門則閉而氣塞，若腑寒，咽門則破而聲嘶。母薑酒主之方。

母薑汁（二升）　酥　牛髓　油（各一升）　桂心　秦椒（各一兩）　防風（一兩半）　川　芎　獨活（各一兩六銖）
上九味末之，納薑汁中煎，取相淹濡，下髓酥油等，令調，微火，三上三下煎之，平旦　溫清酒一升，下二合膏，即細細吞之，日三夜一。

又方　丹參　升麻　雄黃　杏仁　鬼臼　甘草　射干（各一兩）　麝香（半兩）
上八味末之，以蜜為丸如梧子。飲下一丸，加至五丸，日三。酒服亦佳。咽痛失聲不利，用之良。

治咽傷語聲不徹方。

酒（一升）　乾薑（二兩半末）　酥（一升）　通草　桂心　石菖蒲（各二兩末）
上六味合和，服一七，日三。

又方　酒（一升）　酥（一升）　乾薑末（十兩
上三味以酒二合，酥一七，薑末二七，相和服，日三，食後服之。亦治肺癰。

治啞塞咳嗽方。

桂心（六銖）　杏仁（十八銖）
上二味末之，以蜜丸如杏仁大。含之，細細咽汁，日夜勿絕。

治咽痛，逆氣不能食方。

麻子（一升熬令黑）以酒一升淋取汁，空心一服一升，漸至二升，多汗好覆。勿觸風冷。

此方兼理產婦及丈夫中風。如角弓反張、口噤不開，大驗，與紫湯氣力同。

治猝咽痛方。

懸木枸燒末，水服方寸匕，日三。

又方 燒炊帚一枚，漿水服方寸匕。

治猝風咽腫面腫方。

杏仁末和雞子黃，更搗敷上，干複易之，七八度。若腫汁出，煮醋和伏龍肝敷，干更易 之。

治猝尸咽方。

燒履鼻繩為灰，暖水服之。

又方 燒麻子脂，服之。

治咽喉不利下氣方。

射干 杏仁 人參 附子 桂心（各一兩）
上五味末之，蜜丸如指大，含一丸，稍稍咽之，令藥味相接。

治咽喉中痛癢，吐之不出，咽之不入，似得蟲毒方。

含生薑五十日，瘥。

又方 以青布裹麻黃，燒，以竹筒盛，煙熏咽中。

耳疾第八

（方五十五首）

治腎熱背急攣痛，耳膿血出，或生肉塞之，不聞人聲方。

磁石 白朮 牡蠣（各五兩）甘草（一兩）生麥門冬（六兩）生地黃汁（一升）芍藥（四兩）蔥白（一升）大棗（十五枚）
上九味 咀。以水九升，煮取三升，分三服。

治腎熱，面黑目白，腎氣內傷，耳鳴吼鬧、短氣，四肢疼痛，腰背相引，小便黃赤方。

羊腎(一具治如食法) 白朮(五兩) 生薑(六兩) 玄參(四兩) 澤瀉(二兩) 芍藥茯苓(各三兩) 淡竹葉(切二升) 生地黃(切一升)
上九味 咀。以水二斗煮羊腎、竹葉，取一斗，去滓澄之，下藥，煮取三升，分三服，不已，三日更服一劑。

治腎熱、耳膿血出溜，日夜不止方。

鯉魚腦一枚 鯉魚腸一具(洗細切) 鯉魚 三斤 烏麻子(熬令香)一升
上四味先搗麻子碎，次下餘藥搗為一家，納器中，微火熬暖，布裹敷耳得，兩食頃開之，有白蟲出，複更作藥。若兩耳並膿出，用此為一劑，敷兩耳。若只一耳，分藥為兩劑敷，不過三敷，耳便瘥。慎風冷。

治腎虛寒，腰脊苦痛，陰陽微弱，耳鳴焦枯方。

生地黃汁(二升) 生天門冬汁 白蜜(各三升) 羊腎(一具炙) 白朮 麥曲(各一斤) 甘草 乾薑 地骨皮(各八兩) 桂心 杜仲 黃耆 (各四兩) 當歸 五味子(各三兩)
上十四味末之，納盆中，取前三物汁和研，微火上暖盆，取熱更研，日曝乾，常研，令離盆，酒服方寸匕，日再。

治耳聾鳴、汁出，皆由腎寒，或一二十年不瘥方。

故鐵(二十斤燒赤，水五斗浸三宿，去鐵澄清) 柘根(三十斤水一石煮取五斗，去滓 澄 清) 菖蒲(切五斗水一石煮取五斗，去滓澄清)
上三味合一石五斗，用米二石，並曲二斗，釀如常法，酒用一月封頭開清，用磁石吸 者三斤，搗為末，納酒中，浸三宿，飲之，日夜飲，常取小小醉而眠，取聞人語乃止藥。

又方 服天門冬酒百日瘥方(在第十四卷中)。

又方 礬石少許，以生菖蒲根汁和，點入耳中。

治勞聾，氣聾，風聾，虛聾，毒聾，久聾耳鳴方。

山茱萸 乾薑 巴戟天 芍藥 澤瀉 桂心 菟絲子 黃耆 乾地黃 遠志 蛇床子石斛 當歸 細辛 蓯蓉 牡丹 人參 甘草 附子(各二兩) 菖蒲(一兩) 羊腎(二枚)
上二十三味末之，蜜丸如梧子大。食後服十五丸，日三，加至三四十丸止。皆緣腎虛耳，故作補腎方，又作薄利九竅藥即瘥。

治耳聾方。

生地黃(極粗者長一寸半) 巴豆 杏仁(各七枚) 印成鹽(兩顆) 頭發(如雞子大，燒 灰)
上五味治下篩，以綿薄裹，納耳中一日一夜，若小損即去之。直以物塞耳，耳中黃水及 膿出，漸漸有效，不得更著。不著一宿後，更納一日一夜，還去之，依前。

又方 蔴麻仁(五合) 杏仁 菖蒲 磁石 桃仁(各三分) 巴豆(一分) 石鹽(三分) 附子(二分) 薰陸香 松脂(各十分) 蠟(八分) 通草(三分)
上十二味先搗草、石令細，別研諸仁如脂，納松脂、蠟，合搗數千杵，令可丸乃止。以 如棗核大綿裹塞耳，一日四五度，出之轉捻，不過三四日，易之。

又方 磁石(四兩) 天門冬 地骨皮 生薑(各三兩) 山茱萸 茯苓 菖蒲 川芎 枳實白芷 橘皮 甘草 土瓜根 牡荊子(各二兩) 竹瀝(二升)
上十五味 咀。以水八升煮減半，納瀝煮取二升五合，分三服，五日一劑，三日乃著散納耳中，如後方。

石菖蒲 白薇 牡丹 山茱萸 牛膝 土瓜根(各二兩) 磁石(四兩)
上七味治下篩，綿裹塞耳，日一易之。仍服大三五七散佳(方在第十三卷中)。

又方 薰陸香 蓖麻 松脂 蠟 亂髮灰 石鹽
上六味等分末之。作丸綿裹塞耳，時易之，瘥止。

治耳聾方。

巴豆(十四枚) 成煉松脂(半兩)
上二味合治丸如黍米大，綿裹以簪頭著耳中，一日一易。藥如硬，微火炙之，以汗出乃 愈，大效。

又方 雄鯉魚腦(二兩) 防風 菖蒲 細辛 附子 川芎(各六銖)
上六味 咀，以魚腦合煎，三沸，三上三下之，膏香為成，濾去滓，冷，以一棗核灌 耳中，以綿塞之。(《古今錄驗》用療風聾年久、耳中鳴者，以當歸代防風，以白芷代川芎)

又方 竹筒盛鯉魚腦，炊飯處蒸之，令烊，注耳中。

又方 菖蒲、附子各等分末之，以麻油和，以綿裹納耳中。(《廣濟方》以療耳猝痛求 死者又方 礬石 甘草 菖蒲 當歸 細辛 防風 川芎 白芷 附子 烏賊骨 皂莢(各半兩) 巴豆(十四枚)
上十二味薄切，三升醋漬一宿，以不中水雞膏九合煎，三上三下。以巴豆黃，膏成，去滓，納雄黃末，攪調，取棗核大瀝耳中，綿塞之，日三易。

又方 燒鐵令赤，投酒中飲之，仍以磁石塞耳中，日一易。夜去之，旦別著。

又方 蓖麻(一百顆去皮) 大棗(十五枚去皮核)
上二味熟搗丸如杏仁，納耳中二十日，瘥。

又方 芥子搗碎，以男兒乳和，綿裹納之。

又方 取柴胡苗汁灌耳中，再度瘥。

又方 作一坑可容二升許，著炭火其中，坑似窖形，以磚覆口上，磚上作一孔子，容小指，磚孔上著地黃一升，以木盆覆之，以泥泥盆下，勿泄，盆底上鑽一小孔，可容箸，其孔 上著三重布，以耳孔當盆上熏，久若悶，去黃水，發裹鹽塞之，不過二三度，神效。

又方 搗豉作餅填耳內，以地黃長五六分，削一頭令尖，納耳中，與豉餅底齊，餅上著楸葉，蓋之，剜一孔如箸頭，透餅於上，灸三壯。

又方 作泥餅子，濃薄如餛飩皮，覆耳上四邊，勿令泄氣，當耳孔上以草刺泥餅，穿作 一小孔，於上以艾灸之百壯，候耳中痛不可忍即止。側耳瀉卻黃水出盡，即瘥。當灸時，若 泥干，數易之。

又方 酒三升，碎牡荊子二升，浸七日，去滓，任性服盡，雖三十年久聾亦瘥。

又方 截箭竿二寸納耳中，以面擁四畔，勿令泄氣，灸筒上七壯。

又方 硫黃、雄黃各等分為末，綿裹納耳中，數日聞人語聲。

又方 桂心（十八銖） 野葛（六銖） 成煎雞肪（五兩
上三味 咀，於銅器中微火煎三沸，去滓，密貯勿泄，以葦筒盛如棗核大，火炙令少熱，欹臥傾耳灌之，如此十日耵聹自出，大如指，長一寸，久聾不過三十日，以發裹膏深塞。莫 使泄氣，五日乃出之。（《千金翼》云治二十年耳聾）

治耳聾齒痛赤膏方。

桂心 大黃 白朮 細辛 川芎（各一兩） 乾薑（二兩） 丹參（五兩） 蜀椒（一升） 巴 豆（十枚） 大附子（二枚）
上十味 咀，以苦酒二升浸一宿，納成煎豬肪三斤，火上煎，三上三下，藥成，去滓，可服可摩。耳聾者綿裹納耳中，齒冷痛，則著齒間，諸痛皆摩。若腹中有病，以酒和服如棗許大。咽喉痛，取棗核大吞之。

又方 以綿裹蛇膏塞耳，神良。

又方 淳酢微火煎附子一宿，削令可入耳，以綿裹塞之。

治猝耳聾方。

細辛 菖蒲（各六銖） 杏仁 曲末（各十銖）
上四味和搗為丸，乾即著少豬脂，如棗核大，綿裹納耳中，日一易，小瘥，二日一易，夜去，旦塞之。

治三十年耳聾方。

故鐵三十斤，以水七斗，浸三宿，取汁，入曲釀米七斗，如常造酒法，候熟，取磁石一斤，研末，浸酒中，三日乃可飲，取醉；以綿裹磁石納耳中，好覆頭臥，酒醒去磁石，即瘥

治耳鳴聾方。

當歸 細辛 川芎 防風 附子 白芷（各六銖）
上六味末之，以鯉魚腦八兩合煎，三上三下，膏成，去滓，以棗核大灌耳中，旦以綿塞 耳孔。

治耳鳴如流水聲，不治久成聾方。

生烏頭掘得，乘濕削如棗核大，納耳中，日一易之，不過三日，愈。亦療癢及猝風聾。

治耳鳴水入方。

通草 細辛 桂心（各十八銖） 菖蒲（一兩） 附子（六銖） 礬石（六銖） 當歸 甘草（各十二銖） 獨活（一兩半）
上九味末之，以白鵝脂半合，稍稍和如棗核，綿裹納耳中，日三，旋旋和用（一本用蔥 涕半合）。

治耳聾有膿散方。

烏賊骨 釜底墨 龍骨 伏龍肝(各半兩) 附子(一兩) 禹余糧(六銖)
上六味末之，取皂莢子大，綿裹納耳中，日一易，取瘥。不瘥者有蟲，加麝香一豆大。

治耳聾有膿，不瘥有蟲方。

鯉魚腸(一具切) 醋(三合)
上二味和搗，帛裹納耳中，兩食頃，當悶痛，有白蟲著藥，去之，更入新者，蟲盡乃止，藥擇去蟲，還可用。

又方 先以紙纏去耳中汁，以礬石末粉耳中。次石鹽末粉其上，食久乃起，不過再度，永瘥。

又方 搗桂和鯉魚腦納耳中，不過三四度。

治 耳出膿汁方。

礬石 烏賊骨 黃連 赤石脂
上四味等分末之，以綿裹如棗核。納耳中，日三。(《短劇》不用赤石脂，姚氏加龍骨 一兩，《千金翼》同姚氏)

治 耳，耳中痛，膿血出方。

取釜月下灰，敷耳中，日三易之，每換，以篦子去之，再著，取瘥止。

治 耳方。

桃仁熟搗，以故緋絹裹，納耳中，日三易，以瘥為度。

治底耳方。

黃礬燒，綿裹納耳中，不過二三日愈。或以葦管吹耳中。(《肘後》以療耳卒腫出膿)

治耳聾，干耵聹不可出方。

搗自死白項蚯蚓，安蔥葉中，面封頭，蒸之令熟，並化為水，以汁滴入耳中，滿即止，不過數度，即挑易出，瘥後，發裹鹽塞之。(《肘後》以療蚰蜒入耳效)

又方 灌酢三年者最良，綿塞之，半日許，必有物出。

治百蟲入耳方 末蜀椒一撮，以半升醋調灌耳中，行二十步即出。

又方 取桃葉火熨，卷之以塞耳，立出。

又方 車肛脂敷耳孔，蟲自出。(《肘後》以療 耳膿血)

又方 以蔥涕灌耳中，蟲即出，亦治耳聾。

治蜈蚣入耳方。

炙豬肉令香，掩耳即出。

治蚰蜒入耳方。

炒胡麻搗之，以葛袋盛，傾耳枕之，即出。

又方　以牛酪灌之，滿耳即出，出當半消。若入腹中，空腹食好酪一二升，即化為黃水　而出，不盡更服手用，神效。(《千金翼》作牛乳)

治耳中有物不可出方。

以弓弦從一頭令散，敷好膠柱，著耳中物上停之，令相著，徐徐引出。

面藥第九

(方八十一首)

五香散

治　黑運赤氣，令人白光潤方。

畢豆(四兩)　黃耆　白茯苓　蕨蕤　杜若　商陸　大豆黃卷(各二兩)　白芷　當歸　白附子　冬瓜仁　杜蘅　白僵蠶　辛夷仁　香附子　丁子香　蜀水花　旋複花　防風　木蘭　芎　本　皂莢　白膠　杏仁　梅肉　酸漿　水萍　天門冬　白朮　土瓜根(各三兩)　豬胰(
上三十二味下篩，以洗面，二七日白，一年與眾別。

澡豆方

洗手面，令白淨悅澤。

白芷　白朮　白蘚皮　白蘞　白附子　白茯苓　羌活　蕨蕤　栝蔞子　桃仁　杏仁　菟絲子　商陸　土瓜根　川芎(各一兩)　豬胰(兩具大者細切)　冬瓜仁(四合)　白豆面(一升)　面(三升，漬豬胰為餅，曝乾搗篩)
上十九味合搗，篩入面，豬胰拌勻更搗。每日常用，以漿水洗手面，甚良。

澡豆洗手面方

治面黑不淨。

白蘚皮　白僵蠶　川芎　白芷　白附子　鷹屎白　甘松香　木香(各三兩一本用　本)　土瓜根(一兩，一本用甜瓜子)　白梅肉(三七枚)　大棗(三十枚)　麝香(二兩)　雞子白(七枚)　豬胰(三具)　杏仁(三十枚)　白檀香　白朮　丁子香(各三兩，一本用細辛)　冬瓜仁(五合)　面(三升)
上二十味，先以豬胰和面曝乾，然後合諸藥，搗末，又以白豆屑二升為散，旦用洗手面，十日色白如雪，三十日如凝脂，神驗(《千金翼》無白僵蠶、川芎、白附子、大棗，有桂心三兩)。

澡豆方

洗面藥。

豬胰(五具細切) 畢豆面(一升) 皂莢(三挺) 栝蔞實(三兩一方不用) 藏蕤 白茯苓 土瓜根(各五兩)
上七味搗篩, 將豬胰拌和, 更搗令勻, 每旦取洗手面, 百日白淨如素。

洗面藥方。

白芷 白蘞 白朮 桃仁 冬瓜仁 杏仁 藏蕤(各等分) 皂莢(倍多)
上八味絹篩, 洗手面時即用。

洗面藥, 除 悅白方。

豬胰(兩具去脂) 豆面(四升) 細辛 白朮(各一兩) 防風 白蘞 白芷(各二兩) 商
上十味和土瓜根一兩, 搗, 絹羅, 即取大豬蹄一具, 煮令爛作汁, 和散為餅, 曝燥, 更搗為

澡豆治手乾燥少潤膩方。

大豆黃(五升) 苜蓿 零陵香子 赤小豆(各二升去皮) 丁香(五合) 麝香(一兩) 冬 瓜仁 茅香(各六合)
豬胰(五具細切)
上九味細搗, 羅, 與豬胰相合和, 曝乾、搗, 絹篩, 洗手面。

澡豆方。

白芷 青木香 甘松香 藿香(各二兩) 冬葵子(一本用冬瓜仁) 栝蔞仁(各四兩) 零 陵香(二兩) 畢豆面(三升大豆黃面亦得)
上八味搗篩, 用如常法。

桃仁澡豆, 主悅澤, 去 方。

桃仁 蕪菁子(各一兩) 白朮(六合) 土瓜根(七合) 黑豆面(二升)
上五味合和, 搗篩, 以醋漿水洗手面。

澡豆主手乾燥常少潤膩方。

豬胰(五具干之) 白茯苓 白芷 本(各四兩) 甘松香 零陵香(各二兩) 白 商陸((五兩) 大豆末(二升絹下) 蒴 灰(一兩)
上九味為末, 調和訖, 與豬胰相和, 更搗令勻。欲用, 稍稍取以洗手面, 八九月則合冷 處貯之, 至三月已後勿用, 神良。

玉屑面膏方

治面無光澤, 皮肉皴黑, 久用之, 令人潔白光潤。

玉屑(細研) 川芎 土瓜根 蕨薤 桃仁 白附子 白芷 冬瓜仁 木蘭 辛夷(各一兩) 菟絲子 本 青木香 白僵蠶 當歸 黃耆 藿香 細辛(各十八銖) 麝香 防風(各半兩) 鷹屎白(一合) 豬胰(三具細切) 蜀水花(一合) 白犬脂 鵝脂 熊脂(各一升)
上二十八味, 先以水浸豬、鵝、犬、熊脂, 數易水, 浸令血脈盡, 乃可用。 咀諸藥, 清酒一斗漬一宿, 明旦生擘豬鵝等脂安藥中, 取銅鐺於炭火上, 微微煎, 至暮時乃熟, 以綿 濾, 置瓷器中, 以敷面, 仍以練系白芷片, 看色黃, 即膏成, 其豬胰取浸藥酒, 取汁, 安 鐺中, 玉屑、蜀水花、鷹屎白、麝香末之, 膏成, 安藥中攪令勻。

面脂

主悅澤人面, 耐老方。

白芷 冬瓜仁(各三兩) 蕨薤 細辛 防風(各一兩半) 商陸 川芎(各三兩) 當 歸 本 蘼蕪 土瓜根(去皮) 桃仁(各一兩) 木蘭皮 辛夷 甘松香 麝香 白僵蠶 白 附子梔子花 零陵香(半兩) 豬胰(三具切, 水漬六日, 欲用時, 以酒 取汁漬藥)
上二十一味薄切, 綿裹, 以豬胰汁漬一宿, 平旦以前, 豬脂六升, 微火三上三下, 白芷 色

煉脂法

凡合面脂, 先須知煉脂法, 以十二月買極肥大豬脂, 水漬七八日, 日一易水, 煎, 取清 脂沒水中。煉鵝、熊脂, 皆如此法。

玉屑面脂方

玉屑 白附子 白茯苓 青木香 蕨薤 白朮 白僵蠶 密陀僧 甘松香 烏頭 商陸 石膏 黃耆 胡粉 芍藥 本 防風 芒硝 白檀(各一兩) 當歸 土瓜根 桃仁 芎 白頭翁 零陵香 細辛 知母(各半兩) 豬脂(一升) 羊腎脂 (
上三十三味切, 以酒、水各一升, 合漬, 一宿出之, 用銅器微火煎, 令水氣盡, 候白芷 色黃, 去滓, 停一宿, 旦以柳枝攪白, 乃用之。

又方令黑者皆白, 老者皆少方。

玉屑 寒水石 珊瑚 川芎 當歸 土瓜根 菟絲 本 辛夷仁 細辛 蕨薤 商陸 白芷 防風 黃耆 白僵蠶 桃仁 木蘭皮 藿香 前胡 蜀水花 桂心 冬瓜仁 半夏 白蘞 青木香 杏仁 蘼蕪 芒硝 旋複花 杜蘅 麝香 白茯苓 秦椒 白頭翁 石 秦皮 杜若 蜀椒 蕪菁子 升麻 黃芩 白薇 梔子花(各六銖) 栝蔞仁(一兩) 熊 脂 豬肪脂(一升)
上五十四味 咀, 酒漬一宿, 納脂等合煎, 三上三下, 酒氣盡, 膏成, 絞去滓, 下麝香 末一

面脂

治面上皴黑, 凡是面上之疾皆主之方。

丁香 零陵香 桃仁 土瓜根 白蘞 防風 沉香 辛夷 梔子花 當歸 麝香 本 商陸 芎 (各三兩) 蕨薤(一本作白芨) 藿香(一本無) 白芷 甘松香(各二兩半) 菟 絲子(三兩) 白僵蠶 木蘭皮(各二兩半) 蜀水花 青

木香(各二兩) 冬瓜仁(四兩) 茯苓(三
上二十九味 咀, 先以美酒五升, 豬胰六具, 取汁, 漬藥一宿, 於豬脂中極微火煎之, 三上三下, 白芷色黃, 以綿一大兩納生布中, 絞去滓, 入麝香末, 以白木篦攪之, 至凝乃 止, 任性用之, 良。

面膏

去風寒, 令面光悅, 卻老去皺方。

青木香 白附子 芎 白蠟 零陵香 香附子 白芷(各二兩) 茯苓 甘松(各一兩)
上十味 咀, 以水、酒各半升, 浸藥經宿, 煎三上三下, 候水酒盡, 膏成, 去滓, 敷面 作妝, 如有 皆落。

豬蹄湯

洗手面, 令光潤方。

豬蹄(一具) 桑白皮 川芎 蕨蕤(各三兩) 白朮(二兩) 白茯苓(三兩) 商 陸(二兩一作當歸) 白芷(三兩)
上八味 咀, 以水三斗煎豬蹄及藥, 取一斗, 去滓, 溫一盞, 洗手面, 大佳。

令人面白淨悅澤方。

白蘞 白附子 白朮 白芷(各二兩) 本(三兩) 豬胰(三具, 水漬去赤汁盡, 研)
上六味末之, 先以蕪菁子半升, 酒水各半升, 相和, 煎數沸, 研如泥, 合諸藥, 納酒水 中。以瓷器貯, 封三日, 每夜敷面, 旦以漿水洗之。

豬蹄漿

急面皮, 去老皺, 令人光淨方。

大豬蹄一具, 淨治如食法, 以水二升, 清漿水一升不渝, 釜中煮成膠, 以洗手面, 又以 此藥和澡豆, 夜塗面, 旦用漿水洗面皮, 即急。

白面方

牡蠣(三兩) 土瓜根(一兩)
上二味末之, 白蜜和之, 塗面即白如玉。旦以溫漿水洗之, 慎風日。

鹿角散

令百歲老人面如少女, 光澤潔白方。

鹿角(長一握) 牛乳(三升) 川芎 細辛 天門冬 白芷 白附子 白朮 白蘞(各三兩) 杏仁(二七枚) 酥(三兩)
上十一味 咀, 其鹿角先以水漬一百日, 出與諸藥納牛乳中, 緩火煎令汁盡, 出角, 以 白練袋貯之, 餘藥勿取。至夜取牛乳石上摩鹿角, 取塗面, 旦以漿洗之, 無乳, 小便研之亦 得。

令人面潔白悅澤，顏色紅潤方。

豬胰（五具） 蕪菁子（二兩） 栝蔞子（五兩） 桃仁（三兩）
上四味以酒和，熟搗，敷之，慎風日。

又方 采三株桃花，陰乾，末之，空心飲服方寸七，日三，並細腰身。

又方 以酒漬桃花服之，好顏色，治百病，三月三日收。

桃花丸

治面黑，令人潔白光悅方。

桃花（二升） 桂心 烏喙 甘草（各一兩）
上四味末之，白蜜為丸，服如大豆許十丸，日二。十日易形。（一方有白附子、甜瓜子、杏仁各一兩，為七味。

鉛丹散

治面黑，令人面白如雪方。

鉛丹（三十銖） 真女菟（六十銖）
上二味治下篩，酒服一刀圭，日三，男十日知，女二十日知，知則止。黑色皆從大便中出矣，面白如雪。

白楊皮散

治面與手足黑，令光澤潔白方。

白楊皮（十八銖，一方用橘皮） 桃花（一兩） 白瓜子仁（三十銖）
上三味治下篩，溫酒服方寸七，日三。欲白，加瓜子；欲赤，加桃花。三十日面白，五十日手足俱白。

治面 內外治方。

成煉松脂為末，溫酒服三合，日三服，盡三升，無不瘥。

治外膏方 白芷 白蠟（各二兩） 白附子 辛夷 防風 烏頭 藿香（各半兩） 本（一兩） 蕨 薤 油（二合）
上十六味薄切，醋漬，浹浹然一宿，合煎，候白芷色黃，膏成。以皂莢湯洗面，敷之，又方 白礬 石硫黃 白附子（各六銖）
上三味為末，以醋一盞漬之三日，夜淨洗面，敷之，莫見風日，三七日慎之，白如雪。

又方 雞子（三枚） 丁香（一兩） 胡粉（一兩細研）
上三味，先以醋一升漬七日後，取雞子白調香粉，令勻，以漿水洗面，敷之。

治面 方。

李子仁末和雞子白，敷一宿即落。

又方 白羊乳(二升) 羊胰(二具水浸、去汁、細擘) 甘草(二兩末)
上三味相和一宿, 先以醋漿水洗面, 生布拭之, 夜敷藥兩遍, 明旦以豬蹄湯洗卻, 每夜 洗之。

又方 白附子末酒和, 敷之即落。

又方 桂心 石鹽 蜜(各等分)
上三味末之, 相和以敷。

治人面 黑, 膚色粗陋, 皮濃狀丑方。

羊脛骨末, 以雞子白和敷之, 旦以白粱米泔洗之, 三日白如珂雪。

又方 白蜜和茯苓粉敷之, 七日愈。

又方 杏仁(末之) 雞子白
上二味相和, 夜塗面, 明旦以米泔洗之。

又方 杏仁酒浸皮脫, 搗, 絹袋盛, 夜拭面。

又方 酒浸雞子三枚, 密封, 四七日成, 敷面, 白如雪。

治面, 令悅澤光白潤好及手皴方。

豬蹄(兩具治如食法) 白粱米(一斗洗令淨)
上二味, 以水五斗合煮豬蹄爛, 取清汁三斗, 用煮後藥。

白茯苓 商陸(各五兩) 葳蕤(一兩) 白芷 本(各二兩)
上五味 咀, 以前藥汁三斗, 並研桃仁一升, 合煮, 取一斗五升, 去滓, 瓷瓶貯之, 納 甘松、零陵香末各一兩入膏中, 攪令勻, 綿幕之, 每夜用塗手面。

面多, 面皮粗澀, 令人不老, 皆主之方。

朱砂 雄黃(各二兩) 水銀霜(半兩) 黃鷹糞(二升) 上胡粉(二兩)
上五味並細研如粉, 以面脂和淨洗面, 夜塗之, 以手細摩令熱, 明旦不廢作妝, 然須五日一洗面, 一塗不過三遍, 所有惡物一切皆除, 數倍少嫩, 慎風日。不傳, 神秘。

治 烏鬣令面潔白方。

馬珂(二兩) 珊瑚 白附子 鷹屎白(各一兩)
上四味研成粉, 和勻, 用人乳調以敷面, 夜夜著之, 明旦以溫漿水洗之。

治面黑生 方。

白蘞(十二銖) 生 石(《救急方》無 石) 白石脂(各六銖) 杏仁(三銖)
上四味, 研, 和雞子白, 夜臥, 塗面上, 旦用井花水洗之。

治面，令人悅白方。

栝蔞子（六合） 麝香（半兩） 白石脂（五合） 雀屎（二合去黑）
上四味搗篩，別研麝香、雀糞、白石脂和合，取生菟絲苗汁，和之如薄泥，先用澡豆洗 去面上膩，以塗 上，日夜三四過，旦以溫漿水洗之，任意作妝。

治 子面不淨方。

以上朱砂研細如粉，和白蜜塗之，旦以醋漿洗之，大驗。

又方 白附子 香附子 白檀 馬珂 紫檀（各一兩）
上五味末之，白蜜和如杏仁大，陰乾，用時以水研塗面，旦以溫水洗。忌風油，七日面 如蓮花。

治面 方。

沉香 牛黃 薰陸香 雌黃 鷹屎 丁香 玉屑（各十二銖） 水銀（十銖）
上八味末之，蜜和以敷。

治面黑 皮皺皴散方。

白附子 密陀僧 牡蠣 茯苓 川芎（各二兩）
上五味末之，和以 羊乳，夜塗面，以手摩之，旦用漿水洗，不過五六度。一重皮脫，瘥矣。

治面 方。水和丹砂末服方寸七，男七日，女二七日，色白如雪。

白瓜子丸

治面，令色白方。

白瓜子（二兩） 本 遠志 杜蘅（各一兩） 天門冬（三兩） 白芷 當歸 車前子 雲母粉（各一兩） 柏子仁 細辛 橘皮 栝蔞仁 鉛丹 白石脂（各半兩）
上十五味末之，蜜和，空腹服如梧子，二十丸，日三。

去面上齄子黑痣方。

夜以暖漿水洗面，以生布揩齄子令赤痛，水研白旃檀，取汁令濃，以塗齄子上，旦以暖 漿水洗之，仍以鷹屎白粉其上。

治粉滓 方。

白蘞（十二銖） 白石脂（六銖）
上二味搗篩，以雞子白和，夜臥塗面，旦用井花水洗。

去粉滓 皴 及茸毛，令面悅澤光潤如十四五歲時方。

黃 白朮 白蘞 蕨蕺 土瓜根 商陸 蜀水花 鷹屎白(各一兩) 防風(一兩半) 白芷 細辛 青木香 川芎 白附子 杏仁(各二兩)
上十五味末之, 以雞子白和作挺, 陰乾, 石上研之, 以漿水塗面, 夜用, 旦以水洗, 細 絹羅如粉, 佳。

治面粉滓方。

熬礬石以清酒和敷之, 不過三上。

又方 搗生菟絲苗汁塗, 不過三上。

治面 方。

羊膽 牛膽(各一具) 淳酒(一升)
上三味合煮, 三五沸, 敷之。

治年少氣盛、面生 瘡方。

胡粉(半兩) 水銀(一兩)
上二味, 以臘月豬脂和, 熟研, 令水銀消散, 向暝以粉面, 旦起布拭之, 慎勿水洗, 至 暝又塗之不過三上, 瘥(一方有真珠)。

白膏治面 疥癩惡瘡方。

附子(十五枚) 野葛(一尺五寸) 蜀椒(一升)
上三味 咀, 以酢漬一宿, 豬膏一斤煎, 令附子黃, 去滓塗之, 日三。

梔子丸

治酒 鼻 方。

梔子仁(三升) 川芎(四兩) 大黃(六兩) 豉(三升) 木蘭皮(半兩) 甘草 (四兩)上六 味末之, 蜜和, 服十丸如梧桐子, 日三, 稍加至十五丸。

敷鼻 方。

蒺藜子 梔子仁 豉(各一升) 木蘭皮(半斤, 一本無)
上四味末之, 以醋漿水和如泥, 夜塗上, 日未出時, 暖水洗之, 亦滅癜痕。

治面 方。

鷓 屎一升, 末之, 以臘月豬脂和, 令勻, 夜敷之。

治面上風方。

玉屑 密陀僧 珊瑚(各二兩) 白附子(三兩)
上四味末之, 以酥和, 夜敷面上, 旦洗之, 亦滅癜痕。

治面 甚者方。

冬葵子 柏子仁 茯苓 冬瓜子
上四味各等分末之，酒服方寸匕，食後服，日三。

治面 方 薺 肉桂（各二兩）
上二味為末，以醋漿，服方寸匕，日一服。亦治 及滅瘢去黑痣。

又方 枸杞根（一十斤） 生地黃（三斤）
上二味，先搗篩枸杞，又搗碎地黃，曝乾，合篩，空腹酒服方寸匕，日三，久服顏如童 子，秘之。

治面 方。

木蘭皮一斤，以三年醋漬，令沒百日，曝乾，末之，溫酒服方寸匕，日三。

治面有熱毒惡瘡方 胡粉（熬） 黃柏（炙） 黃連（各等分）
上三味末之，以粉上，瘥止，若瘡干，以面脂調塗之，日三。

治滅瘢痕方 豬脂三斤飼烏雞一只，三日令盡，後取白屎，納白芷當歸各一兩，煎白芷色黃，去滓，納以鷹屎白半兩攪調，敷之，日三。

又方 禹余糧半夏等分為末，以雞子黃和，先以新布拭瘢處令赤，後用藥敷之，勿見風，日二，十日瘥，十年者亦滅。

又方 鷹屎白（一合） 辛夷（一兩） 白附子 杜若 細辛（各半兩）
上五味 咀，以酒五合浸一宿，以羊髓五兩，微火煎，三上三下，去滓，小傷瘢上敷之，日三。

滅瘢痕無問新舊必除方。

以人精和鷹屎白，敷之，日二，白蜜亦得。

治瘢痕凸出方。

春夏以大麥，秋冬以小麥，好細絹下篩，以酥和封上。

又方 鷹屎白（一兩） 衣白魚（二七枚）
上二味末之，蜜和以敷，日三五度，良。

又方 以熱瓦熨之。

又方 以凍凌熨之。

又方 鷹屎白（二兩） 白僵蠶（二兩半）
上二味末之，以白蜜和敷，日三。慎五辛生菜。

又方 臘月豬脂四升，煎大鼠一枚，令消盡，以生布拭瘢處令赤，塗之，不過四五上。

治身及面上印紋方 針刺字上破，以醋調赤土敷之，干又易，以黑滅即止。

又方 以未盈月兒屎敷上，一月即沒。

備急千金要方 卷七 風毒腳氣方

唐 孫思邈

（凡五類）

論風毒狀第一

論曰：考諸經方往往有腳弱之論，而古人少有此疾。自永嘉南渡，衣纓士人，多有遭者。

嶺表江東，有支法存、仰道人等，並留意經方，偏善斯術；晉朝仕望，多獲全濟，莫不由此 二公。又宋齊之間，有釋門深師師道人述法存等諸家舊方為三十卷，其腳弱一方近百餘首。

魏周之代，蓋無此病，所以姚公《集驗》殊不殷勤，徐王撰錄未以為意。特以三方鼎峙，風教未一，霜露不均，寒暑不等，是以關西、河北不識此疾。自聖唐開辟，六合無外。南極之地，襟帶是重，爪牙之寄，作鎮於彼，不習水土，往者皆遭。近來，中國士大夫雖不涉江表，亦有居然而患之者，良由今代天下風氣混同，物類齊等所致之耳。然此病發初得先從腳起，因即脛腫，時人號為腳氣。深師云：腳弱者即其義也。深師述支法存所用永平山敷、施連、范祖耀、黃素等諸腳弱方，凡八十餘條，皆是精要；然學人尋覽，頗覺繁重，正是方集耳，猝欲救急，莫測指南。今取其所經用灼然有效者，以備倉猝，餘者不複具述。

論何以得之於腳。問曰：風毒中人，隨處皆得，作病何偏著於腳也？答曰：夫人有五臟，心肺二臟，經絡所起在手十指；肝腎與脾三臟，經絡所起在足十趾。夫風毒之氣，皆起於地。地之寒暑風濕皆作蒸氣，足常履之，所以風毒之中人也必先中腳；久而不瘥，遍及四肢 腹背頭項也；微時不覺，痼滯乃知。經云：次傳、間傳是也。

論得已便令人覺不。凡腳氣病，皆由感風毒所致。得此病，多不令人即覺。會因它病，一度乃始發動。或奄然大悶，經三兩日不起，方乃覺之。諸小庸醫，皆不識此疾，漫作餘病

治之，莫不盡斃，故此病多不令人識也。始起甚微，食飲嬉戲，氣力如故。惟猝起腳屈弱不能動，有此為異耳。黃帝云：緩風濕痺是也。

論風毒相貌。夫有腳未覺異，而頭項臂膊已有所苦，有諸處皆悉未知，而心腹五內已有所困。又風毒之中人也，或見食嘔吐憎聞食臭，或有腹痛下痢，或大小便秘澀不通，或胸中沖悸、不欲見光明，或精神昏憒，或喜迷忘、語言錯亂，或壯熱頭痛，或身體酷冷疼煩，或覺轉筋，或腫不腫，或 腿頑痺，或時緩縱不隨，或複百節攣急，或小腹不仁，此皆腳氣狀 貌也，亦云風毒腳氣之候也。其候難知，當須細意察之，不爾必失

其機要。一朝病成，難可以理，婦人亦爾。又有婦人產後，春夏取涼，多中此毒，宜深慎之。其悶熱掣 、驚悸心煩、嘔吐氣上，皆其候也。又但覺臍下冷痞， 然不快，兼小便淋瀝，不同生平，即是腳 氣之候。頑弱名緩風，疼痛為濕痺。

論得之所由。凡四時之中，皆不得久立、久坐濕冷之地；亦不得因酒醉汗出，脫衣、靴、襪當風取涼，皆成腳氣。若暑月久坐、久立濕地者，則濕熱之氣蒸人經絡，病發必熱，四肢酸痛煩悶。若寒月久坐、久立濕冷地者，則冷濕之氣上入經絡，病發則四體酷冷轉筋。若 當風取涼得之者，病發則皮肉頑痺，諸處 動，漸漸向頭。凡常之日，忽然暴熱，人皆不能 忍得者，當於此時必不得頓取於寒以快意也，卒有暴寒複不得受之，皆生病也。世有勤功力 學之士，一心注意於事，久坐行立於濕地，不時動轉，冷風來擊，入於經絡，不覺成病也。

故風毒中人，或先中手足十指，因汗毛孔開，腠理疏通，風如急箭，或先中足心，或先中足趺，或先中膝以下 脛表裡者。若欲使人不成病者，初覺即灸所覺處二三十壯，因此即愈，不複發也。黃帝云：當風取涼，醉已入房，能成此疾。

論冷熱不同。問曰：何故得者有冷有熱？答曰：足有三陰三陽，寒中三陽，所患必冷； 暑中三陰，所患必熱，故有表裡冷熱不同。熱者治以冷藥，冷者療以熱藥，以意消息之。脾 受陽毒即熱頑，腎受陰濕即寒痺。

論因腳氣續生諸病。雖患腳氣，不妨乳石動發，皆須服壓石藥療之。夫因患腳氣續生諸 病者，則以諸藥對之。或小便不利，則以豬苓、茯苓及諸利小便藥治之；大便極堅者，則以 五柔麻仁丸等治之；遍體腫滿成水病者，則取治水方中諸治水之藥治之。餘皆效此，更無拘 忌。

論須療緩急。凡小覺病候有異，即須大怖畏，決意急治之勿緩。傷緩氣上入腹，或腫或不腫，胸脅逆滿，氣上肩息，急者死不旋踵，寬者數日必死，不可不急治也。但看心下急氣喘不停，或自汗數出，或乍寒乍熱，其脈促短而數，嘔吐不止者皆死。

論虛實可服藥不可服藥。凡腳氣之疾，皆由氣實而死，終無一人以服藥致虛而殂。故腳 氣之人，皆不得大補，亦不可大瀉，終不得畏虛，故預止湯不服也，如此者皆死不治也。

論看病問疾人。世間大有病患親朋故舊交游來問疾，其人曾不經一事，未讀一方，自騁 了了，詐作明能談說異端。或言是虛，或道是實；或云是風，或云是蠱；或道是水，或云是痰，紛紜謬說，種種不同。破壞病患心意，不知孰是；遷延未定，時不待人； 然致禍，各自散走。是故大須好人及好名醫，識病深淺，探賾方書，博覽古今，是事明解者。看病不爾，大誤人事，竊悲其如此者眾，故一一顯析，具述病之由狀，令來世病者讀之以自防備也。但 有一狀相應，則須依方急治，勿取外人言議，自貽憂悔；但詳方意，人死不難莫信他言，以 自誤也。余嘗為人撰門冬煎。（方見十二卷膽腑門，名天門冬煎。）此方治腳氣大有驗，病者須用之論脈候法。凡腳氣雖複，診候多塗，而三部之脈，要須不違四時者為吉，其逆四時者勿治。餘如脈經所說，此中不複具載。其人本黑瘦者易治，肥大肉濃赤白者難愈；黑人耐風濕，赤白不耐風；瘦人肉硬，肥人肉軟，肉軟則受疾至深，難愈也。

論腫不腫。凡人久患腳氣不自知別，於後因有他疾發動，治之得瘥後，直患嘔吐而複腳 弱，余診之，乃告為腳氣。病者曰：某平生不患腳腫，何因名為腳氣。不肯服湯。余醫以為 石發，狐疑之間，不過一旬而死。故腳氣不得一向以腫為候，亦有腫者，有不腫者。其以小腹頑痺不仁者，腳多不腫。小腹頑後不過三五日，即令人嘔吐者，名腳氣入心，如此者死在 旦夕。凡患腳氣到心難治，以其腎水克心火故也。

論須慎不慎。凡腳氣之病，極須慎房室，羊肉牛肉，魚蒜葧菜菘菜蔓菁瓠子，酒麵酥油 乳糜，豬雞鵝鴨。有方用鯉魚頭，此等並切禁，不得犯之。並忌大怒。惟得食粳粱粟米，醬 豉蔥韭薤椒薑橘皮，又不得食諸生果子酸醋之食，犯者皆不可瘥。又大宜生牛乳生栗子矣。

論善能治者幾日可瘥。凡腳氣病，枉死者眾。略而言之，有三種：一覺之傷晚，二驕狠 恣傲，三狐疑不決，此三種正當枉死之色。故世間誠無良醫，雖有良醫，而病患有性靈堪受 入者，更複鮮少，故雖有騏驥而不遇伯樂，雖有尼父而人莫之師，其為枉橫亦猶此也。今 有病者，有受入性依法，使余治之，不過十日，可得永瘥矣；若無受入性者，亦不須為治，縱令治之，恐無瘥日也。非但腳氣，諸病皆然。良藥善言，觸目可致，不可使人必服；法為 信者施，不為疑者說。

論灸法。凡腳氣，初得腳弱便速灸之，並服竹瀝湯。灸訖可服八風散，無不瘥者。惟急 速治之，若人但灸而不能服散，服散而不灸，如此者半瘥半死。雖得瘥者，或至一二年複更 發動。覺得便依此法速灸之，及服散者治十十愈。此病輕者登時雖不即惡，治之不當，根源 不除，久久期於殺人，不可不精以為意。初灸風市，次灸伏兔，次灸犢鼻，次灸膝兩眼，次灸三裡，次灸上廉，次灸下廉，次灸絕骨。凡灸八處，第一風市穴，可令病患起，正身平立。垂兩臂直下，舒十指掩著兩髀，便點當手中央指頭髀大筋上是，灸之百壯，多亦任人。輕 者不可減百壯，重者乃至一處五六百壯。勿令頓灸，三報之佳。第二伏兔穴，令病患累夫端 坐，以病患手夫掩橫膝上，夫下旁與曲膝頭齊上旁側夫際當中央是，灸百壯，亦可五十壯。

第三犢鼻穴，在膝頭蓋骨上際外骨邊平處，以手按之得節解則是。一云在膝頭下近外三骨箕踵中動腳以手按之得窟解是，灸之五十壯，可至百壯。第四膝眼穴，在膝頭骨下兩旁陷者宛 宛中是。第五三裡穴，在膝頭骨節下一夫附脛骨外是，一云在膝頭骨節下三寸，人長短大小當以病患手夫度取，灸之百壯。第六上廉穴，在三裡下一夫，亦附脛骨外是，灸之百壯。第 七下廉穴，在上廉下一夫，一云附脛骨外是，灸之百壯。第八絕骨穴，在腳外踝上一夫，亦云四寸是。凡此諸穴，灸不必一頓灸盡壯數，可日日報灸之，三日之中，灸令盡壯數為佳。

凡病一腳則灸一腳，病兩腳則灸兩腳，凡腳弱病皆多兩腳。又一方云如覺腳惡，便灸三裡及絕骨各一處。兩腳惡者，合四處灸之，多少隨病輕重。大要雖輕不可減百壯，不瘥速以次灸之，多多益佳。一說灸絕骨最要。人有患此腳弱不即治，及入腹，腹腫大上氣，於是乃須大法灸，隨諸輸及諸管開節腹背盡灸之，並服八風散，往往得瘥。諸管輸節解法，並在第二十九卷中。覺病入腹，若病患不堪痛，不能盡作大灸，但灸胸心腹諸穴，及兩腳諸穴，亦有得好瘥者。

凡量一夫之法，覆手並舒四指對度四指上中節上橫過為一夫。夫有二種，有三指為 一夫者，此腳弱灸以四指為一夫也。亦依支法存舊法。梁丘、犢鼻、三裡、上廉、下廉、解 溪、太沖、陽陵泉、絕骨、昆倉、陰陵泉、三陰交、足太陰、複溜、然谷、涌泉、承山、束骨等，此一十八穴，舊法多灸百會、風府。五臟六腑俞募頃來，灸者悉覺引氣向上，所以不取其法。氣不上者可用之。其要病已成恐不救者，悉須灸之。其足十趾去趾奇一分，兩足凡八穴，曹氏乃曰八沖，極下氣有效。其足十趾端名曰氣端，日灸三壯，並大神要。其八沖可日灸七壯。氣下即止。病者非深相委悉，慎勿為人灸之。慎之。凡灸八沖艾炷須小作之。

論服湯藥色目。風毒之氣入人體中，脈有三品，內外証候相似，但脈有異耳。若脈浮大而緩，宜服續命湯兩劑應瘥。若風盛宜作越婢湯加白朮四兩。若脈浮大緊轉快，宜作竹瀝湯。

若病患脈微而弱，宜服風引湯，此人脈多是因虛而得之。若大虛短氣力乏，可其間作補湯，隨病冷熱而用之。若未愈，更服竹瀝湯。若病患脈浮大而緊快，此是三品之中最惡脈也。或沉細而快者，此脈正與浮大而緊者同是惡脈，浮大者病在外，沉細者病在內，治亦不異，當 消息以意耳。其形尚可，而手腳未容至弱，

數日之中，氣上即便命終。如此之脈，往往有人得之，無一存者。急服竹瀝湯，日服一劑。切要湯勢常令相及，勿令半日之中空無湯也。此 湯竹汁多，服之若不極熱，輒停在胸心，更為人患，每服當使極熱。若服竹瀝湯得下者必佳 也。若已服三劑竹瀝湯，病及脈勢未折而苦脹滿，可以大鱉甲湯下之；湯勢盡而不得下，可以丸藥助湯令下，下後更服竹瀝湯，趣令脈勢折氣息料理便停服。三十二物八風散佳。凡初得病便摩野葛膏，日再，頑痺腳弱都愈乃止。若服竹瀝湯脈勢折如未病時，氣力轉勝腳，故未能行，體力充足，然後漸微行步。病重者瘥，後半年始能扶人行耳。既覺脈及體內瘥，但 當勤服八風散，勿以腳未能行，輕加余治，未必全得益，更生諸惡失此諸治也。猥人邊亦勿行野葛膏。有人聞竹瀝湯云，恐傷腰腳者，即勿與治。宜知此法，此皆人無受入性，不可與醫故也，不為疑者說此之謂也。竹瀝湯有三首，輕者服前方，重者以次第後方。此風毒乃相注易病患，宜將空缺服小金牙散，以少許塗鼻孔耳門，病困人及新亡人喜易人強健人，宜將 服之。亦以塗耳鼻乃可臨近亡人及視疾者，絳囊帶一方寸匕男左女右臂上，此散毒宜從少為 始。（金牙散方在十四卷膽腑門）。病患惟宜飲赤小豆散，冬服側子金牙酒續命湯。治風毒，病初得，似時行毒病，而脈浮緩，終不變快，此不治。或數日而死，或十日而死，或得便不識人，或發黃，或發斑，或目赤，或下部穿爛者，此最急得之。即先服續命湯一劑，須服葛根湯麻黃湯下之。若此不折，更與續命湯兩三劑必瘥。此病大急常令湯勢相接，不可使半日缺湯即便殺人。（續命湯方見十卷諸風門。）

湯液第二

第一竹瀝湯

治兩腳痺弱，或轉筋皮肉不仁，腹脹起如腫，按之不陷，心中惡，不欲食或患冷方。

竹瀝（五升） 甘草 秦艽 葛根 黃芩 麻黃 防己 細辛 桂心 乾薑（各一兩） 茯苓（三兩） 防風 升麻（各一兩半） 附子（二枚） 杏仁（五十枚）
上十五味 咀，以水七升合竹瀝，煮取三升，分三服，取汗（《千金翼方》無茯苓、杏仁，有白朮一兩）

第二大竹瀝湯

治猝中風，口噤不能言，四肢緩縱，偏痺攣急，風經五臟，恍惚恚怒無常，手足不隨 方。

竹瀝（一斗四升） 獨活 芍藥 防風 茵芋 甘草 白朮 葛根 細辛 黃芩 川芎 （各二兩） 桂心 防己 人參 石膏 麻黃（各一兩） 生薑 茯苓（各三兩） 烏頭（一枚）
上十九味 咀，以竹瀝煮取四升，分六服，先未汗者取汗，一狀相當即服。

第三竹瀝湯

治風毒入人五內，短氣，心下煩熱，手足煩疼，四肢不舉，皮肉不仁，口噤不能言方。

竹瀝（一斗九升） 防風 茯苓 秦艽（各三兩） 當歸 黃芩 人參 川芎 細辛 桂心甘草 升麻（千金翼作通草） 麻黃 白朮（各二兩） 附子（二枚） 川椒（一兩） 葛根（五兩） 生薑（八兩）
上十八味 咀，以竹瀝煮取四升，分五服，初得病即須摩膏，日再，痺定止（千金翼無 麻黃川椒生薑）。

麻黃湯

治惡風毒瓦斯，腳弱無力，頑痺，四肢不仁，失音不能言，毒瓦斯沖心。有人病者，但一病相當即服此第一服，次服第二、第三、第四方。

麻黃（一兩） 大棗（二十枚） 茯苓（三兩） 杏仁（三十枚） 防風 白朮 當歸 升 麻 川芎 芍藥 黃芩 桂心 麥冬 甘草（各二兩）
上十四味 咀，以水九升清酒二升合，煮取二升半，分四服，日三夜一，覆令小汗，粉之，莫令見風。

第二服獨活湯方

獨活（四兩） 乾地黃（三兩） 生薑（五兩） 葛根 桂心 甘草 麻黃 芍藥（各二兩）
上八味 咀，以水八升清酒二升合，煎取二升半，分四服，日三夜一。腳弱，特忌食 瓠子、葅菜，犯之一世治不愈。

第三服兼補濃朴湯

並治諸氣咳嗽，逆氣嘔吐方。

濃朴 川芎 桂心 乾地黃 芍藥 當歸 人參（各二兩） 黃耆 甘草（各三兩） 吳茱萸（二升） 半夏（七兩） 生薑（一斤）
上十二味 咀，以水二斗煮豬蹄一具，取汁一斗二升，去上肥，納清酒三升合，煮取 三升，分四服，相去如人行二十裡久。

第四服風引獨活湯兼補方

獨活（四兩） 茯苓 甘草（各三兩） 升麻（一兩半） 人參 桂心 防風 芍藥 當歸 黃耆 乾薑 附子（各二兩） 大豆（二升）
上十三味 咀，以水九升清酒三升合，煮取三升半，分四服，相去如人行二十裡久，更進服。

防風湯

治腳痺，並治毒瓦斯上沖心胸，嘔逆宿癖，積氣疝氣，一病相當即服此方。

防風 麻黃 川芎 人參 芍藥 當歸 茯苓 半夏 甘草 橘皮（各一兩） 鱉甲 生薑桂心（各二兩） 杏仁（一兩半） 赤小豆（一升） 貝子 烏梅（各五枚） 大棗（二十枚） 吳茱萸（五合） 犀角 羚羊角（各半兩） 薤白（十四枚）
上二十二味 咀，以水一斗，煮取三升，分三服，一日令盡。一方用水一斗二升，間 食糜。一方半夏三兩，隨時用。

獨活湯

治腳痺方。

獨活(四兩) 當歸 防風 茯苓 芍藥 黃耆 葛根 人參 甘草(各二兩) 大豆(二升) 附子(一枚) 乾薑(三兩)
上十二味 咀, 以水一斗清酒二升合, 煮取三升, 分三服。

越婢湯

治風痺腳弱方。

麻黃(六兩) 石膏(八兩) 白朮(四兩) 大附子(一枚) 生薑(三兩) 甘草(二兩) 大棗(十五枚)
上七味 咀, 以水七升先煮麻黃, 再沸掠去沫, 入諸藥煮取三升, 分三服, 覆取汗(胡 洽方只五味;若惡風者加附子一枚, 多痰水者加白朮四兩)。

治腳弱神驗方：

防己 川椒 細辛 桂心 麻黃 石膏 獨活 防風 黃芩 茵芋 葛根 川芎 芍藥 甘草(各一兩) 生薑 茯苓(各三兩) 烏頭(二枚)
上十七味 咀, 以竹瀝一斗煮取四升, 分六服, 令一日一夜服盡, 其間可常作赤小豆飲。有人腳弱先服常用竹瀝湯四劑, 未覺增損作此方, 後覺得力。又云脈沉細快, 風在內者作此湯也。

風引湯

治兩腳疼痺腫, 或不仁拘急, 屈不得行方。

麻黃 石膏 獨活 茯苓(各二兩) 吳茱萸 附子 秦艽 細辛 桂心 人參 防風川芎 防己 甘草(各一兩) 乾薑(一兩半) 白朮(三兩) 杏仁(六十枚)
上十七味 咀, 以水一斗六升, 煮取三升, 分三服, 取汗。

大鱉甲湯

治腳弱風毒, 攣痺氣上, 及傷寒惡風, 溫毒, 山水瘴氣熱毒, 四肢痺弱方
鱉甲(二兩) 防風 麻黃 白朮 石膏 知母 升麻 茯苓 橘皮 川芎 杏仁 人參 犀角 青木香 雄黃(各半兩) 大棗(二十枚) 貝齒 烏頭(各七枚) 生薑(三兩) 薤 白(十四枚) 麝香(三銖) 赤小豆(三合) 吳茱萸(五合)
上三十一味 咀, 以水二斗, 煮取四升, 分六服, 相去十裡久, 得下止。一方用大黃 半兩, 畏下可只用六銖。一方用羚羊角半兩, 毒盛可用十八銖(胡洽有山茱萸半升為三十二味。千金翼無知母升麻橘皮川芎人參當歸玉竹)

小鱉甲湯

治身體虛脹如微腫, 胸心痞滿, 有氣壯熱, 小腹濃重兩腳弱方。

鱉甲 黃芩 升麻 麻黃 羚羊角 桂心 杏仁(各三兩) 前胡(四兩) 烏梅(二十枚) 薤白(三十枚)
上十味 咀, 以水一斗, 煮取二升七合, 分三服, 此常用。若體強壯欲須利者, 加大黃二兩。

風緩湯

治腳弱，舉體痺不仁，熱毒瓦斯入臟，胸中滿塞不通，食即嘔吐方。

獨活　麻黃　犀角（各三兩，一方用羚羊角）半夏（一升）大棗　烏梅（各二十枚）桂心　鱉甲　升麻　橘皮　枳實　甘草　吳茱萸　大黃（各一兩）生薑　石膏（各六兩）貝　齒（七枚）
上十七味　咀，以水一斗四升，煮取四升，分五服，日三夜二，不瘥至三劑必瘥。

治腳氣初發，從足起至膝脛骨腫痛者方：

取蜱麻葉切搗蒸薄裹之，日二三易即消，蜱麻子似牛蜱蟲故名蜱麻也，若冬月無蜱麻取　蒴根搗研，和酒糟三分根一分，合蒸熱，及熱封裹腫上，如前法，日二即消。亦治不仁頑痺（此方非湯，不當見此，然以前後三方俱出蘇長史，更不分出。）若腫毒已入　至小腹脹，小便澀少者方：

取烏特牛尿一升，一服，日二，取消乃止。（《千金翼》云，羸瘦人二分尿一分牛乳合煮，乳浮結乃服之。）若腫已消仍有此候者，急服此湯方（蘇長史方神驗：）

麻黃　射干　人參　茯苓　防己　前胡　枳實（各二兩）半夏　犀角　羚羊角　青木　香　橘皮　杏仁　升麻（各一兩）生薑（五兩）獨活（三兩）吳茱萸（一升）
上十七味　咀，以水一斗二升，煮取四升，分五服，相去二十裡久，中間進少粥，以助胃氣。此湯兩日服一劑，取病氣退乃止，以意消息之。若熱盛喘煩者，加石膏六兩、生麥　冬一升，去吳茱萸。若心下堅加鱉甲一兩。

夫腳氣之病，先起嶺南，稍來江東，得之無漸。或微覺疼痺，或兩脛腫滿，或行起澀弱，或上入腹不仁，或時冷熱，小便秘澀，喘息氣沖喉，氣急欲死，食嘔不下，氣上逆者，皆　其候也，若覺此証先與犀角旋複花湯方（方列後。）

犀角旋複花湯方

犀角　旋複花（各二兩）橘皮　茯苓　生薑（各三兩）大棗（七枚）香豉（一升）紫蘇莖葉（一握）
上八味　咀，以水八升，煮取二升七合，分三服，相去十裡久服之，以氣下小便利為　度。（崔氏名小犀角湯，如其不下服後大犀角湯。）

大犀角湯

療腳氣毒沖心變成水，身體遍腫，悶絕欲死方。

犀角　旋複花　防己　白朮　桂心　橘皮　黃芩　生薑　桑白皮　前胡　茯苓（各二兩）香豉（一升）大棗（十枚）紫蘇莖葉（一握）
上十四味　咀，以水九升，煮取二升七合，分三服，相去十裡久，取下氣為度。若得氣下，小便利，腳腫即消，能食。若服湯竟不下，氣急不定，仍服後犀角麻黃湯。（崔氏又以白前代白朮，無防己、黃芩、桑白皮名旋複花湯。）

犀角麻黃湯

犀角 麻黃 防風 獨活（崔氏用茯苓）防己 川芎 白朮 羚羊角(崔氏用附子）當歸 黃芩(各二兩）石膏（四兩）生薑 甘草 杏仁(崔氏用細辛）桂心(各
上十五味 咀，以水二斗煮麻黃，去沫取汁八升，下藥煎取三升，分三服，相去十裡久，服訖，覆取汗。若不瘥，五日後更服一劑，取汗同前。

茱萸湯

治腳氣入腹，困悶欲死，腹脹方(蘇長史方。）吳茱萸(六升）木瓜(兩顆切）
上二味，以水一斗三升煮，取三升，分三服，相去如人行十裡久，進一服。或吐或汗或利或大熱悶，即瘥（此起死回生方。）

小風引湯

治中風，腰腳疼痛弱者方(胡洽名大風引湯。）獨活 茯苓 人參(各三兩）防風 當歸 甘草 乾薑 石斛(各二兩胡洽作黃 ）附子(一枚）大豆(二升）
上十味 咀，以水九升酒三升，煮取三升，分四服，服別相去如人行十裡久(胡洽云：

名小風引湯。刪繁方無石斛，以療肉極寒、肌肉變、舌萎，名曰惡風腰痛腳弱。）

四物附子湯

風濕相搏，骨節煩疼，四肢拘急不可屈伸，近之則痛，自汗出而短氣，小便不利，惡風不欲去衣，或頭面手足時時浮腫方。

附子(二枚）桂心(四兩）白朮(三兩）甘草(二兩）
上四味 咀，以水六升，煮取三升，分三服，微汗愈。大汗煩者，一服五合。體腫者加防己四兩。悸氣，小便不利加茯苓三兩，既有附子，今加生薑三兩。

治腳弱風毒實及嶺南瘴氣面腫，乍寒乍熱似瘧狀，腳腫氣上心悶，咳嗽癱緩頑痺方：

麻仁 升麻 麻黃 射干 菖蒲 芒硝 甘草 大黃(各半兩）豉(三合）
上九味 咀，以水六升，煮取二升半納芒硝，又煎三沸，分三服。微利一二行解毒熱，有腫滓敷之，凡覺氣滿輒服一劑佳。

道人深師增損腎瀝湯

治風虛勞損挾毒，腳弱痛痺或不隨，下焦虛冷，胸中微有客熱，心虛驚悸不得眠，食 少失氣味，日夜數過心煩迫不得臥，小便不利，又時複下。湘東王至江州，王在嶺南病悉如此極困篤，餘作此湯令服，即得力。病似此者，服無不瘥，隨宜增損之方。

黃 甘草 芍藥 麥冬 人參 肉蓯蓉 乾地黃 赤石脂 茯神 地骨白皮 當歸 遠志 磁石 枳實 防風 龍骨(各一兩）桂心 川芎(各二兩）生薑(四兩）五味子(三合）大棗(三十枚）白羊腎(一具）半夏(一升）
上二十三味 咀，以水二斗煮羊腎，取汁一斗二升納諸藥，煮取四升，分五服。不利 下者除龍骨赤石脂，小

便澀以赤茯苓代茯神加白朮三兩，多熱加黃芩一兩，遺溺加桑螵蛸二十枚（胡洽方無黃　、肉蓯蓉、赤石脂、地骨皮、磁石、枳實、防風、龍骨、半夏，有黃芩　為十五味。）

石膏湯

治腳氣風毒，熱氣上沖頭面，面赤矜急，鼻塞去來，來時令人昏憒，心胸恍惚。或苦驚悸，身體戰掉，手足緩縱。或酸痺頭目眩重，眼反鼻辛，熱氣退場門中。或患味甜，諸惡不可名狀者方。

石膏　龍膽　升麻　芍藥　貝齒　甘草　鱉甲　黃芩　羚羊角（各一兩）　橘皮　當歸　（各二兩）
上十一味　咀，以水八升，煮取三升，分三服。

半夏湯

治腳氣上入腹，腹急上沖胸，氣急欲絕方。

半夏（一升）　桂心（八兩）　乾薑（五兩）　甘草　人參　細辛　附子（各二兩）　川椒（二合）
上八味　咀，以水一斗，煮取三升，分三服。初稍稍進，恐氣沖上，格塞不得下，小小服，通人氣耳。

烏頭湯

治風冷腳痺疼痛，攣弱不可屈伸方。

烏頭　細辛　川椒（各一兩）　甘草　秦艽　附子　桂心　芍藥（各二兩）　乾薑　茯苓　防風　當歸（各三兩）　獨活（四兩）　大棗（二十枚）
上十四味　咀，以水一斗二升，煮取四升，分五服，若熱毒多服益佳。

追毒湯

治腳弱，風熱上入心腹，煩悶欲絕方。

半夏　生薑（各四兩）　黃耆　甘草　當歸　人參　濃朴　獨活　橘皮（各一兩）　枳實　麻黃　乾地黃　芍藥（各二兩）　桂心（三兩）　貝子（七枚）　大棗（二十枚）
上十六味　咀，以水一斗二升，煮取三升六合，分四服，日三夜一。

風緩湯

治腳弱體痺不仁，毒瓦斯上入臟，胸中滿塞不通，食輒吐失味方。

獨活　甘草　石膏（各三兩）　羚羊角　犀角（各半兩）　麻黃　防風　當歸　升麻　橘皮　吳茱萸　桂心　半夏　鱉甲（各二兩）　枳實（一兩）　生薑（六兩）　大棗（二十枚）　貝齒　（七枚）　烏頭（二兩一作烏梅十枚）
上十九味　咀，以水一斗四升，煮取四升，一服一升。若有少虛熱者，加乾地黃二兩。

紫蘇子湯

治腳弱上氣，昔宋湘東王在南州患腳氣困篤，服此湯大得力方。

紫蘇子 半夏(各一升) 前胡 濃朴 甘草 當歸(各一兩) 橘皮(三兩) 大棗(二十枚) 生薑(一斤) 桂心(四兩)
上十味 咀, 以水一斗三升, 煮取二升半, 分五服, 日三夜二。

附子湯

治濕痺緩風, 身體疼痛如欲折, 肉如錐刺刀割方。

附子(三枚) 茯苓 人參 甘草 桂心 芍藥(各三兩) 白朮(四兩)
上七味 咀, 以水八升, 煮取三升, 分三服。

防風湯

治肢體虛風微痙發熱, 肢節不隨, 恍惚狂言, 來去無時, 不自覺悟。南方支法存所用。

多得力溫和, 不損人, 為勝於續命、越婢、風引等湯。羅廣州一門, 南州士人常用, 亦治腳弱, 甚良方。

防風 麻黃 秦艽 獨活 生薑 半夏(各二兩) 當歸 遠志 甘草 防己 人參 黃芩 升麻 芍藥(各一兩) 石膏(半兩) 麝香(六銖)
上十六味 咀, 以水一斗三升, 煮取四升, 一服一升, 初服濃覆取微汗, 亦當兩三行下, 其間相去如人行十裡久。更服有熱加大黃二兩。先有冷心痛疾者, 倍用當歸, 加桂心三兩, 不用大黃。(一方用白朮一兩。

甘草湯

治腳弱, 舉身浮腫, 反胃, 食穀吐逆, 胸中氣結不安而寒熱, 下痢不止, 小便難, 服 此湯即益。亦服女曲散, 利小便腫消, 服大散摩膏有驗方。

甘草 人參(各一兩) 半夏(一升) 桂心 川椒(各三兩) 小麥(八合) 大棗(二十枚) 生薑(八兩) 吳茱萸(二升)
上九味 咀, 以水一斗三升煮小麥, 取一斗, 去小麥, 納諸藥煮取三升, 分六服(女曲 散見第十五卷第八篇中)。

恆山甘草湯

若寒熱日再三發, 可服此方。

恆山(三兩) 甘草(一兩半)
上二味 咀, 以水四升, 煮取一升半, 分三服, 相去五裡久一服。

丹參牛膝煮散

治腳痺弱, 氣滿身微腫方。

丹參 牛膝 桑白皮 杏仁 升麻 茯苓 豬苓(各四兩) 犀角 黃芩 橘皮 防己 白前 澤瀉 桂心 秦艽(各三兩) 生薑 李根白皮(各二兩) 大麻仁(一升)

上十八味搗粗篩，以水一升半，納散方寸匕，煮取七合輕絹濾去滓，頓服日再。夏月熱 不得服丸散，此煮散頃年常用，大驗。

治腰髂不隨，兩腳攣腫方：

川椒四升，以水四斗，煮取二斗半，瓮盛，下著火暖之，懸板為橋，去湯二寸許，以腳 踏板柱腳坐，以綿絮密塞，勿令泄氣。若疲即出，入被以粉摩之一食久，更入瓮，常令瓮下火不絕，勿使湯冷。如此消息，不過七日得伸展，並腫亦消。

諸散第三

（例一首 方七首）例曰：大法春秋宜服散。

八風散

治風虛面青黑土色不見日月光。腳氣痺弱準經面青黑主腎，不見日月光主肝，宜補腎

治肝方。

菊花（三兩） 石斛 天雄（各一兩半） 人參 附子 甘草（各一兩六銖） 鐘乳 山藥 川斷 黃耆 澤瀉 麥冬 遠志 細辛 龍膽 秦艽 石韋 菟絲子 牛膝 菖蒲 杜仲茯苓 乾地黃 柏子仁 蛇床子 防風 白朮 乾薑 蓐 山茱萸（各一兩） 五味子 烏 頭
上三十三味治下篩，酒服方寸匕，日三，不效加至二匕。

大八風散

治諸緩風濕痺腳弱方 巴戟肉 黃耆 桂心 細辛 天雄 蓐 肉蓯蓉 牡荊子 山藥 菊花 蕨薤 山萸 秦艽 黃芩 石斛 白朮 礬石 濃朴 龍膽 人參 蜀椒（各半兩） 附子 五味子（各十八銖） 菖蒲 茯苓 牛膝（千金翼作乾薑） 烏喙 遠志（各一兩） 桔梗（三十銖） 川 芎 白薇 芍藥（各六銖）
上三十二味治下篩，酒服半寸匕，日三。未驗，稍增令微覺。（胡洽無桔梗）

內補石斛秦艽散

治風虛腳弱，手足拘攣，疼痺不能行。腳趺腫上膝，小腹堅如繩約，氣息常如憂恚，不能食飲，皆由五勞七傷，腎氣不足，受風濕故也，此方悉主之。

石斛 附子 天雄 桂心 獨活 天冬（各一兩） 秦艽 烏頭 人參 乾薑 當歸 防風杜仲（各三十銖） 山萸 莽草 桔梗 細辛 麻黃 前胡 五味子（各十八銖） 川 椒 白芷 白朮（各半兩）
上二十三味治下篩，酒服方寸匕，日再服，不知稍增至二匕，虛人三建皆炮，實人亦可生用。風氣者本因腎虛，既得病後，毒瓦斯外滿則灸泄其氣，內滿則藥馳之，當其救急，理必 如是。至於風消退，四肢虛弱，餘毒未除，不可便止，宜服此散。推陳致新，極為良妙，此 既人情可解，無可疑焉（三建皆炮者天雄附子烏頭，若虛人乾薑亦宜）

秦艽散

治風無久新卒得不知人，四肢不仁，一身盡痛，偏枯不隨，不能屈伸，洒洒寒熱，頭 目眩，或口面 僻方。

秦艽 乾薑 桔梗 附子（各一兩） 天雄 當歸 天冬 人參 白朮 川椒（各十銖） 烏頭 細辛（各十八銖） 甘草 白芷 山茵肉 麻黃 前胡 防風 五味子（各半兩）
上十九味治下篩，酒服方寸七，日三，若老人少服之。（胡洽方無天冬、前胡，有莽草、桂心、防己、蕖 、白薇、黃 為二十三味）

單服松脂

治一切風及大風，腳弱風痺方。薰陸法亦同。

松脂三十斤，以棕皮袋盛系頭，鐺底布竹木，置袋於上，以石五六顆壓之，下水於鐺中令滿，煮之。膏浮出得盡以後量，更二十沸，接置於冷水中，易袋洗鐺更煮，如此九遍。藥 成搗篩為散，以粗羅下之，用酒服一方寸七，日二。初和藥以冷酒，藥入腹後飲熱酒，行藥 以知為度。如覺熱即減，不減令人大小便秘澀。若澀宜食蔥羹。仍自不通宜服生地黃汁，微 取泄利。除忌大麻子以外無所禁。服松脂三十日後，即覺有驗，兩腳似有水流下是效。如恐 秘澀，和一斤松脂、茯苓與棗栗許大酥即不澀，服經一百日後，腳氣當愈。

淮南八公石斛萬病散

治風濕疼腰腳不隨方。

防風 茯苓 菊花 細辛 川椒 乾薑 雲母 蒐蓉 人參 乾地黃 附子 石斛 杜仲遠志 菟絲子 天雄 蕖 桂心 牛膝 蛇床子 白朮 薯蕷 巴戟 菖蒲 川斷 山茵（各一兩） 五味子（半兩）
上二十七味治下篩，酒服方寸七，日再。

茱萸散

治冷風腳跛偏枯，半身不隨，晝夜呻吟，醫所不治方。

吳茱萸 乾薑 白薇 牡荊（千金翼作牡桂） 附子 天雄 狗脊 干漆 薯蕷 秦艽 防風（各半兩）
上十一味治下篩，先食服方寸七，日三。藥入肌膚中淫淫然，三日知，一月瘥。

酒醴第四

（例一首 方十七首）例曰：凡合酒皆薄切藥，以絹袋盛藥納酒中，密封頭，春夏四五日，秋冬七八日，皆以味足為度。去滓服酒，盡後其滓搗，酒服方寸七，日三。大法冬宜服酒，至立春宜停。

石斛酒

治風虛氣滿，腳痛痺攣，弱不能行方。

石斛 丹參 五加皮(各五兩) 側子 秦艽 杜仲 山萸 牛膝(各四兩) 桂心 乾薑 羌活 川椒 橘皮 黃耆 白前 川芎 茵芋 當歸(各三兩) 苡仁(一升) 防風(二兩)鐘乳(八兩, 搗碎別絹袋盛, 系大藥袋內)
上二十一味 咀, 以酒四斗漬三日, 初服三合, 日再, 稍稍加以知為度。

烏麻酒方

烏麻五升微熬搗碎, 以酒一斗漬一宿, 隨所能飲之, 盡更作甚良。

鐘乳酒

治風虛勞損, 腳疼冷痺羸瘦攣弱不能行方。

鐘乳(八兩) 丹參(六兩) 石斛 杜仲 天冬(各五兩) 牛膝 防風 黃耆 川芎 當歸(各四兩) 附子 桂心 秦艽 乾薑(各三兩) 山萸肉 苡仁(各一升)
上十六味 咀, 以清酒三斗漬之三日, 初服三合, 日再, 後稍加之, 以知為度。

枸杞菖蒲酒

治緩急風, 四肢不隨, 行步不正, 口急及四體不得屈伸方。

菖蒲(五十斤) 枸杞根(一百斤)
上二味細銼, 以水四石, 煮取一石六斗, 去滓, 釀二斛米酒, 熟稍稍飲之。

虎骨酒

治骨髓疼痛, 風經五臟方。

虎骨一具, 炭火炙令黃色, 槌刮取淨搗研, 得數升清酒六升漬五宿, 隨性多少稍飲之。

《易》云：虎嘯風生, 龍吟雲起。此亦有情與無情相感, 治風之效, 故亦無疑。

蓼酒

治胃脘冷不能飲食, 耳目不聰明, 四肢有氣, 冬臥腳冷, 服此酒十日後, 目既精明, 體又充壯方。

八月三日, 取蓼曝燥, 把之如五升大, 六十把水六石, 煮取一石, 去滓, 以釀酒如常法。隨多少飲之, 已用訖效甚速。

小黃酒

治風虛痰癖, 四肢偏枯, 兩腳弱, 手不能上頭。或小腹縮痛, 脅下攣急, 心下有伏水, 脅下有積飲, 夜喜夢, 悲愁不樂, 恍惚善忘, 此由風虛五臟受邪所致。或久坐腰痛, 耳聾猝 起, 眼眩頭重。或舉體流腫疼痺, 飲食惡冷, 澀澀惡寒, 胸中痰滿, 心下寒疝, 藥皆主之。

及婦人產後餘疾, 風虛積冷不除者方。

黃 附子 川椒 防風 牛膝 細辛 桂心 獨活 白朮 川芎 甘草(各三兩) 秦艽烏頭(《集驗》用山藥三兩) 大黃 葛根 乾薑 山萸肉(各二兩) 當歸(二兩半)
上十八味 咀, 少壯人無所熬煉, 虛老人微熬之, 以絹袋盛, 清酒二斗漬之, 春夏五日, 秋冬七日。可先食服一合, 不知可至四五合, 日三服。此藥攻痺甚佳, 亦不令人吐悶。小熱宜冷凍飲料食, 大虛加蓯蓉二兩, 下利加女萎三兩, 多忘加石斛菖蒲紫石英各二兩, 心下多水者加茯苓人參各二兩、薯蕷三兩。酒盡, 可更以酒二斗重漬滓。服之不爾可曝滓搗。下酒服方寸匕, 不知稍增之, 服一劑得力, 令人耐寒冷補虛, 治諸風冷神良。

黃酒

治風虛腳疼痿弱, 氣悶不自收攝兼補方。

黃 秦艽 川椒 乾薑 獨活 白朮 川芎 蓯蓉 細辛 牛膝(各三兩) 葛根 當 歸(各三兩半) 甘草(三兩) 山萸 桂心(各二兩) 菖蒲(二兩半) 柏子仁 天雄 鐘 乳防風(各二兩) 大黃(一兩) 烏頭(三兩) 石斛(二兩) 石南(一兩) 附子(三兩)
上二十五味 咀, 無所熬煉, 清酒三斗漬之。先食服一合, 不知可至五合, 日三。以攻 痺為佳, 大虛加蓯蓉, 下利加女萎, 多忘加菖蒲, 各三兩。(胡洽有茯苓二兩, 澤瀉三兩, 人參、茵芋、半夏、栝蔞、芍藥各一兩, 無秦艽、川芎、牛膝、蓯蓉、甘草、葛根、當歸、菖蒲、鐘乳、大黃, 為二十二味, 名大黃 湯)

茵芋酒

治大風頭眩重, 目瞀無所見, 或仆地氣絕半日乃蘇, 口 噤不開, 半身偏死, 拘急痺 痛, 不能動搖, 歷節腫痛, 骨中酸疼, 手不能上頭, 足不得屈伸, 不能躡履, 行欲傾跛, 皮 中動淫淫如有蟲啄, 瘡癢搔之生瘡, 甚者狂走, 有此諸藥皆主之方。

茵芋 烏頭 石南 附子 細辛 獨活 防風 川椒 女萎 卷柏 桂心 天雄 秦艽 防己(各一兩) 躑躅(二兩)
上十五味 咀, 少壯人無所熬煉, 虛老人薄熬之, 清酒二斗漬之, 冬七日, 夏三日, 春 秋五日。初服一合, 不知加至二合, 寧從少起, 日再, 以微痺為度。(胡洽無川椒、獨活、卷柏, 為十二味)

大金牙酒

治瘴癘毒瓦斯中人, 風冷濕痺, 口 面戾, 半身不遂, 手足拘攣, 歷節腫痛, 甚者小腹不仁, 名曰腳氣, 無所不治方。

金牙(一斤) 側子 附子 天雄 人參 蓯蓉 茯苓 當歸 防風 黃耆 山藥 細辛 桂心 蕘 蕨蕤 白芷 桔梗 黃芩 遠志 牡荊子 川芎 地骨皮 五加皮 杜仲濃朴 枳實 白朮 牛膝 丹參(各三兩) 獨活(半斤) 茵芋 石南 狗脊(各二兩) 磁石(十兩) 薏苡仁 麥冬(各一升) 生石斛(八兩) 蒴 (四兩) 生地黃(切二升)
上三十九味 咀, 以酒八斗漬七日, 溫服一合, 日四五夜一。石藥細研, 別絹袋盛, 共 藥同漬。藥力和善, 主治極多, 凡是風虛四體小覺有風 者, 皆須將服之, 無所不治也。服 者一依方修合, 不得輒信人言, 浪有加減。

鐘乳酒

治虛損, 通順血脈, 極補下氣方。

鐘乳 石斛 蓯蓉(各五兩) 附子 甘菊(各二兩)
上五味 咀, 以清酒三斗漬, 服二合, 日再, 稍增至一升。

秦艽酒

治四肢風, 手臂不收, 髀腳疼弱, 或有拘急攣縮屈指, 偏枯痿, 小不仁頑痺者悉主之方。

秦艽 天冬 五加皮 牛膝 附子 桂心(各三兩) 巴戟肉 杜仲 石南 細辛(各二兩)
上十二味 咀, 以酒二斗漬之, 得氣味, 可服三合, 漸加至五六合, 日三夜一。

術膏酒

治腳弱風虛, 五勞七傷萬病皆主之方。

生白朮洗淨一石五斗(搗取汁三斗煎取半) 濕荊二十五束, 束別三尺圍各長二尺五寸徑頭二寸(燒取瀝三斗煎取半) 青竹三十束束別三尺圍各長二尺五寸徑一寸(燒取瀝三斗煎取半) 生地黃根五大斗粗大者(搗取汁三斗煎取半) 生五加根(三十六斤淨洗訖銼於大釜內以水四石煎之, 去滓澄清取汁七斗, 以銅器中盛大釜內, 水上煎之, 取汁三斗五升, 其煎諸藥法, 一準五加例。)
上件白朮等五種藥, 總計得汁九斗五升, 好糯米一石五斗, 上小麥曲八斤, 曝乾為末, 以藥汁六斗漬曲五日, 待曲起, 第一投淨淘米七斗, 令得三十遍。下米置淨席上, 以生布拭之, 勿令不淨, 然後炊之。下 以餘藥汁浸, 調強弱更蒸之, 待 上痂生然後下於席上, 調強弱冷熱如常釀酒法, 醞之瓮中密蓋頭。三日後第二投更淘米四斗, 一如前法投之, 三日後即加藥如下。

桂心 甘草 白芷 細辛 防風 當歸 麻黃 川芎(各六兩) 附子(五兩) 牛膝 (九兩) 乾薑 五加皮(各一斤)
上十二味 咀訖, 第三投以米四斗淨淘如前法, 還以餘汁澆 重蒸, 待上痂生下置席上, 調冷熱如常釀法, 和上件藥投之, 三日外然後嘗甘苦得中訖, 密封頭二七日, 乃壓取清酒。

一服四合, 日再服, 細細加, 以知為度。溫酒不得過熱, 慎生冷醋滑豬鯉魚蒜牛肉等。

松葉酒

主治腳弱十二風痺不能行, 服更生散數劑, 及眾治不得力, 服此一劑便能遠 行, 不過兩劑方。

松葉六十斤 咀, 以水四石, 煮取四斗九升, 以釀五斗米如常法。別煮松葉汁, 以漬 米並 飯, 泥釀封頭七日發, 澄飲之取醉, 得此力者甚眾, 神妙。

治腳氣方:

好豉三斗蒸一石米, 下曝乾, 如是三上, 以酒五斗漬七日, 去滓飲, 惟醉為佳。酒盡更 以二斗半漬之, 飲之如初。

側子酒

治風濕痺不仁, 腳弱不能行方。

側子 牛膝 丹參 山萸 蒴 根 杜仲 石斛(各四兩) 防風 乾薑 川椒 細辛 獨活 秦艽 桂心 川芎 當歸 白朮 茵芋(各三兩) 五加皮(五兩) 薏苡仁(一升)
上二十味 咀, 絹袋盛, 清酒四斗漬六宿。初服三合, 稍加以知為度, 患目昏頭眩者彌精。

諸膏第五

(例一首 方八首) 例曰：凡作膏常以破除日, 無令喪孝、污穢產婦、下賤人、雞犬、禽獸見之, 病在外火炙摩之, 在內溫酒服如棗核許。

神明白膏

治百病。中風惡氣及頭面諸病, 青盲風目爛 管翳、耳聾鼻塞、齲齒齒根挺痛及癰痔 瘡癬疥等方。

吳茱萸 川椒 川芎 白朮 前胡(崔氏作白前) 白芷(各一升) 附子(三十銖) 桂心當歸 細辛(各二兩)
上十味 咀, 淳苦酒於銅器中, 淹浸諸藥, 一宿以成。煎豬膏十斤, 炭火上煎三沸, 三
上三下, 白芷色黃為候。病在腹內, 溫酒服, 如彈丸, 一枚, 日三。目痛取如黍米納兩 中, 以目向風, 無風可以扇扇之。諸瘡痔齲齒耳鼻百病主之, 皆以膏敷, 病在皮膚炙手摩病上, 日三。(《肘後》九味無桂心)

衛侯青膏

治百病久風, 頭眩鼻塞, 清涕淚出, 霍亂吐逆, 傷寒咽痛, 脊背頭項強, 偏枯拘攣。

或緩或急或心腹久寒, 積聚疼痛, 咳逆上氣, 往來寒熱, 鼠漏瘰癧, 歷節疼腫, 關節盡痛, 男子七傷, 臚脹腹滿, 羸瘦不能飲食, 婦人生產餘疾諸病, 疥, 惡瘡癰腫陰蝕, 黃膽, 發背馬鞍牛領瘡腫方。

當歸 栝蔞根 乾地黃 甘草 川椒(各六兩) 半夏(七合) 桂心 川芎 細辛 附子(各四兩) 黃芩 桔梗 天雄 藜蘆 皂莢(各一兩半) 濃朴 烏頭 莽草 乾薑 人參 黃連 寄生 川斷 戎鹽(各三兩) 黃野葛(二分) 生竹茹(六升) 巴豆(二十枚) 石 南 杏仁(各一兩) 豬脂(三斗) 苦酒(一斗六升)
上三十一味 咀, 諸藥以苦酒漬一宿, 以豬脂微火上煎之, 三下三上, 膏成。病在內以 酒服如半棗, 以外摩之, 日三。

神明青膏

治鼻中干灌之並摩服方。

川椒(五合) 皂莢 黃芩 石南 黃連 雄黃 桂心 藜蘆(各三銖) 白朮 川芎 大黃澤瀉(各七銖) 烏頭 川斷 莽草 人參(各五銖) 半夏 當歸(各十二銖) 干 地黃 (十一銖) 蕨蕤 細辛(各十銖) 附子 桔梗(各二銖) 乾薑(六銖) 戎鹽(杏子大一枚)
上二十五味 咀, 以苦酒一斗漬之, 羊髓一斤, 為東南三隅灶, 納諸藥, 炊以葦薪。作 三聚新好土, 藥沸即下, 置土聚上, 三沸三下訖, 藥成, 以新布絞去滓。病在外火炙摩之, 在內溫酒服如棗核, 日三, 後稍益, 以知為度。

太傅白膏

治百病。傷寒咽喉不利，頭項強痛，腰脊兩腳疼，有風痺濕腫難屈伸，不能行步，若風頭眩鼻塞，有附息肉生瘡，身體隱疹風瘙，鼠漏瘰癧，諸疽惡瘡，馬鞍牛領腫瘡，及久寒結 堅在心，腹痛胸痺，煩滿不得眠飲食，咳逆上氣，往來寒熱，婦人產後餘疾，耳目鼻口諸疾 悉主之。亦曰太一神膏方。

川椒 升麻（切各一升） 附子（三兩） 巴豆 川芎（各三十銖） 杏仁（五合） 狸 骨細辛（各一兩半） 白芷（半兩） 甘草（二兩） 白朮（六兩）

一方用當歸三兩。

上十二味 咀，苦酒淹漬一宿，以豬脂四斤微火煎之，先削附子一枚，以繩系著膏中，候色黃膏成，去滓。傷寒心腹積聚，諸風腫疾，頸項腰脊強，偏枯不仁，皆摩之，日一。

癰腫惡瘡鼠漏瘰癧，炙手摩之。耳聾，取如大豆灌之。目痛，炙緲縹。白翳如珠當瞳，視無 所見，取如糜米敷白上，令其人自以手掩之，須臾即愈，便以水洗，視如平複，且勿當風，三十日後乃可行。鼻中痛，取如大豆納鼻中並以摩之。齲齒痛，以綿裹如大豆著痛齒上咋之。

中風面目鼻口，僻以摩之。若晨夜行辟霜霧，眉睫落數數以鐵漿洗，用膏摩之。

曲魚膏

治風濕痛痺，四肢 弱，偏跛不仁，並癰腫惡瘡方。

大黃 黃芩 莽草 巴豆 野葛 牡丹 躑躅 芫花 川椒 皂莢 藜蘆 附子（各一兩）
上十二味 咀，以苦酒漬藥一宿以成，煎豬膏三斤，微火煎三沸一下，另納白芷一片，三上三下，白芷色黃，藥成去滓，微火炙手摩病上，日三。

野葛膏

治惡風毒腫，疼痺不仁，瘰癧惡瘡，癰疽腫脛，腳弱偏枯百病方。

野葛 犀角 蛇銜 莽草（外台作茵芋） 烏頭 桔梗 升麻 防風 川椒 乾薑 鱉甲 雄黃 巴豆（各一兩） 丹參（三兩） 躑躅花（一升）
上十五味 咀，以苦酒四升漬之一宿以成，煎豬膏五斤，微火煎三上三下，藥色小黃去滓，以摩病上。此方不可施之猥人，慎之（胡洽無丹參躑躅，有細辛，又蘇恭以白芷、防己、吳茱萸、附子、當歸代巴豆、雄黃、蛇銜、防風、鱉甲）

蒼梧道士陳元膏

主一切風濕骨肉疼痛痺方。

當歸 細辛 川芎（各一兩） 桂心（五寸） 天雄（三十枚） 生地（三斤） 白芷（一兩半）
上十二味 咀，以地黃汁漬藥一宿，煎豬肪去滓，納藥煎十五沸去滓，納丹砂末熟攪，用火炙手摩病上，日

千遍瘥（胡洽有人參、防風各三兩，附子三十枚，雄黃二兩，為十五味。《肘後》、《千金翼》有附子二十二銖，雄黃二兩半，大醋三升，為十五味。崔氏與《千金翼》同。）

裴公八毒膏

治猝中風毒，腹中絞刺痛，飛尸入臟，及魘寢寐不寤，尸厥奄忽不知人，宿食不消。溫酒服如棗核大，得下止。若毒瓦斯甚，咽喉閉塞不能咽者，折齒納蔥葉口中，以膏灌蔥葉中令下。病腫者向火摩腫上。若歲中多溫，欲省病及行霧露中，酒服之，納鼻 中亦得方。

川椒 當歸 雄黃 丹砂（各二兩） 烏頭 巴豆（各一升） 薤白（一斤） 莽草（四兩）
上八味 咀，以苦酒三升漬一宿，用豬脂五斤，東向灶葦薪火煎之，五上五下，候薤 白黃色絞去滓。研雄黃丹砂如粉，納之攪至凝乃止，膏成盛不津器中，諸蜈蚣蛇蜂等毒者，以膏置瘡上，病在外悉敷之摩之。以破除日合〔一方用 石一兩蜈蚣二枚，是名八毒膏（《肘後》不用巴豆、莽草，名五毒膏。）〕

備急千金要方 卷八 治諸風方

唐 孫思邈

（凡八類）

論雜風狀第一

（論二十五首）岐伯曰：中風大法有四，一曰偏枯，二曰風痱，三曰風懿，四曰風痺。夫諸急猝病多是風，初得輕微，人所不悟，宜速與續命湯，依 穴灸之。夫風者百病之長，岐伯所言四者說，其最重也。

偏枯者，半身不遂，肌肉偏不用而痛，言不變智不亂，病在分腠之間。溫臥取汗，益其不足，損其有餘，乃可複也。（《甲乙經》云：溫臥取汗則巨取之。） 風痱者，身無痛，四肢不收，智亂不甚。言微可知，則可治。甚則不能言，不可治。

風懿者，奄勿不知人，咽中塞窒窒然。（巢源作噫噫然有聲。）舌強不能言，病在臟腑，先 源作眼下及鼻人中左右白者可治，一黑一赤吐沫者不可治。） 風痺、濕痺、周痺、筋痺、脈痺、肌痺、皮痺、骨痺、胞痺，各有証候。形如風狀，得脈別也，脈微澀，其証身體不仁。

凡風多從背五臟俞入諸臟受病。肺病最急，肺主氣息又冒諸臟故也。肺中風者，其人偃 臥而胸滿短氣冒悶汗出者，肺風之証也。視目下鼻上兩邊下行至口，色白者尚可治。急灸肺 俞百壯，服續命湯，小兒減之。若色黃者，此為肺已傷化為血矣，不可複治；其人當妄言、掇空指地，或自拈衣尋縫，如此數日死。若為急風邪所中，便迷漠恍惚、狂言妄語，或少氣、不能複言；若不求師即治，宿昔而死。即覺便灸肺俞及膈俞、肝俞數十壯，急服續命 湯可救也。若涎唾出不收者，既灸當並與湯也。諸陽受風亦恍惚妄語，與肺病相似，然著緩 可經久而死。

肝中風者，其人但踞坐不得低頭，繞兩目連額上色微有青者，肝風之証也。若唇色青、面黃尚可治，急灸肝俞百壯，服續命湯。若大青黑，面一黃一白者，此為肝已傷，不可複治，數日而死。

心中風者，其人但得偃臥，不得傾側，悶亂冒絕汗出者，心風之証也。若唇正赤尚可治，急灸心俞百壯，服續命湯。若唇或青或白、或黃或黑者，此為心已壞為水，面目亭亭時悚動 者，不可複治，五六日死。（一云旬日死）脾中風者，其人但踞坐而腹滿，身通黃，吐咸汁出者，尚可治。急灸脾俞百壯，服續命 湯。若目下青、手足青者，不可複治。

腎中風者，其人踞坐而腰痛，視脊左右未有黃色如餅粢大者，尚可治。急灸腎俞百壯，服續命湯。若齒黃、赤鬢、發直，面土色者，不可複治。

大腸中風者，臥而腸鳴不止。灸大腸俞百壯，可服續命湯。

賊風邪氣所中則傷於陽，陽外先受之，客於皮膚，傳入於孫脈。孫脈滿則入傳於絡脈，絡脈滿則輸於大經中成病。歸於六腑則為熱，不時臥止為啼哭。其脈堅大為實，實者外堅，充滿不可按之，按之則痛也。經絡諸脈旁支去者，皆為孫脈也。

凡風之傷人，或為寒中，或為熱中，或為癘風，或為偏枯，或為賊風。故以春甲乙傷於風者為肝風，以夏丙丁傷於風者為心風，以四季戊己傷於風者為脾風，以秋庚辛傷於風者為 肺風，以冬壬癸傷於風者為腎風。風中五臟六腑之俞亦為臟腑之風。各入其門戶所中，則為 偏風。風氣循風府而上，則為腦風。風入頭則為目風眼寒。飲酒中風則為酒風。入房汗出中風則為內風。新沐中風則為首風。久風入房中風則為腸風。外在腠理則為泄風。故曰：風者百病之長也。至其變化，乃為他病，無常方焉。是知風者，善行而數變，在人肌膚中，內不得泄，外不得散，因人動靜，乃變其性。有風遇寒則食不下，遇熱則肌肉消而寒熱。有風遇陽盛則不得汗，遇陰盛則汗自出。肥人有風，肌肉濃則難泄，喜為熱中目黃。瘦人有風，肌 肉薄則常外汗，身中寒目淚出。有風遇於虛，腠理開則外出，淒淒然如寒狀，覺身中有水淋 狀，時如竹管吹處，此是其証也。有風遇於實，腠理閉則內伏，令人熱悶是其証也。

新食竟取風為胃風，其狀惡風頸多汗，膈下塞不通，食飲不下，脹滿形瘦，腹大失衣則憒滿，食寒即洞泄，新熱食竟入水自漬及浴者，令人大腹，為水病。

因醉取風為漏風，其狀惡風多汗少氣，口乾喜渴，近衣則身如火燒，臨食則汗流如雨，骨節懈情不欲自勞。

新沐浴竟取風為首風，其狀惡風而汗多頭痛。

新房室竟取風為納風，其狀惡風，汗流沾衣。

勞風之為病，法在肺下，使人強上而目脫；唾出若涕，惡風而振寒，候之三日及五日，中不精明者是也；七、八日，微有青黃膿涕如彈丸大，從口鼻出為善，不出則傷肺。

風邪客於肌膚，虛癢成風疹癗瘡。風邪入深，寒熱相搏則內枯。邪客半身入深，真氣去 則偏枯。邪客關機中即攣，筋中亦然。邪淫於臟，夢臟大形小。淫於腑，夢臟小形大。邪隨 目系入腦，則目轉眩。邪中睛，則散視見兩物。風邪入臟，寒氣客於中，不能發則喑啞，喉 痺舌緩，不時服藥針灸。風逐脈流入臟，使人猝喑緩縱噤痙致死。風入陽經則狂，入陰經則癲。陽邪入陰，病則靜。陰邪入陽，病則怒。

若因熱食，汗浴通，腠理得開，其風自出則覺肉中如針刺，步行運力欲汗亦如此也。

凡覺肌肉中如刺，皆由腠理閉，邪氣閉在肌中因欲出也，宜解肌湯則善。

夫目 動、口唇動偏，皆風入脈，故須急服小續命湯。將八風散摩神明白膏、丹參 膏依經針灸之。

諸痺由風、寒、濕三氣並客於分肉之間。迫切而為沫，得寒則聚，則排分肉；肉裂則痛，痛則神歸之；神歸之則熱，熱則痛解；痛解則厥；厥則他痺發，發則如是。此內不在臟而 外未發於皮膚，居分肉之間，真氣不能周，故為痺也。其風最多者，不仁則腫，為行痺，走 無常處。其寒多者，則為痛痺。其濕多者，則為著痺。冷汗濡，但隨血脈上下不能左右去者，則為周痺也。在肌中更發更止，左以應左，右以應右者，為偏痺也。

夫痺，其陽氣少而陰氣多者，故令身寒從中出。其陽氣多而陰氣少者，則痺且熱也。

諸痺風勝者則易愈，在皮間亦易愈，在筋骨則難痊也。久痺入深，令營衛澀，經絡時疏 則不知痛。

風痺病不可已者，足如履冰，時如入湯，腹中股 淫濼，煩心頭痛。傷脾腎時嘔眩，時 自汗出。傷心目眩。傷肝悲恐，短氣不樂。傷肺不出三年死。（一云三日。） 太陽中風，重感於寒濕則變痙也。痙者，口噤不開，脊強而直，如發癎之狀，搖頭馬鳴，腰反折；須臾十發，氣息如絕，汗出如雨，時有脫。易得之者，新產婦人及金瘡血脈虛竭。小兒臍風，大人涼濕得痙風者皆死。溫病熱盛入腎，小兒癎。熱盛皆痙，痙、喑、厥，癲皆相似。故久厥成癲，宜審察之。其重者，患耳中策策痛，皆風入腎經中也。不治流入腎，則喜卒然體痙直如死，皆宜服小續命湯兩三劑。若耳痛腫，生汁作癰癤者，乃無害也。惟風宜防耳，針耳前動脈及風府神良。

諸風第二

（方二十九首，灸法三十六首）

小續命湯

治猝中風欲死，身體緩急口目不正，舌強不能語，奄奄忽忽，神情悶亂。

諸風服之皆驗，不虛方令人。

麻黃 防己（崔氏《外台》不用） 人參 黃芩 桂心 白芍藥 甘草 川芎 杏仁（各一兩） 防風（一兩半） 附子（一枚） 生薑（五兩）
上十二味 咀，以水一斗二升，先煮麻黃三沸去沫，納諸藥，煮取三升，分三服甚良。不瘥更合三四劑必佳。取汗隨人風輕重虛實也。有人腳弱，服此方至六七劑得瘥。有風疹 家，天陰節變，輒合服之，可以防喑。〔一本云，恍惚者，加茯神、遠志。如骨節煩疼，本 有急》無川芎、杏仁，只十味。延年無防風。）

小續命湯

治中風冒昧不知痛處，拘急不得轉側，四肢緩急，遺矢便利。此與大續命湯同，偏宜產後失血並老小人。

麻黃 桂心 甘草（各二兩） 生薑（五兩） 人參 川芎 白朮（前方用杏仁） 附子防己 芍藥 黃芩（各一兩） 防風（一兩半）
上十二味 咀，以水一斗二升，煮取三升，分三服。（《古今錄驗》無桂心，名續命湯，胡洽《千金翼》同。）

又方 治風歷年歲或歌、或哭、或大笑，言語無所不及方。

麻黃（三兩） 人參 桂心 白朮（各二兩） 芍藥 甘草 防己 黃芩 川芎 當歸（各一兩）
上十味 咀，以水一斗二升，煮取三升，分三服，日三，覆取汗。

大續命湯

治肝癘風猝然喑啞。依古法用大小續命二湯通治五臟偏枯賊風方。

麻黃（八兩） 石膏（四兩） 桂心 乾薑 川芎（各二兩） 當歸 黃芩（各一兩） 杏仁（七十枚） 荊瀝（一升）
上九味 咀，以水一斗，先煮麻黃兩沸，掠去沫，下諸藥煮取四升，去滓。又下荊瀝 煮數沸，分四服，能言。未瘥後服小續命湯。舊無荊瀝，今增之，效如神。（《千金翼》有甘草。）

又方 治大風經臟，奄忽不能言，四肢垂曳，皮肉痛癢不自知方。

獨活 麻黃（各三兩） 川芎 防風 當歸 葛根 生薑 桂心 茯苓 附子 細辛 甘草（各一兩）
上十二味 咀。以水一斗二升，煮取四升，分五服，老小半之。若初得病便自大汗者減 麻黃，不汗者依方。上氣者，加吳茱萸二兩、濃朴一兩。乾嘔者，倍加附子一兩。 者，加 橘皮二兩。若胸中吸吸少氣者，加大棗十二枚。心下驚悸者，加茯苓一兩。若熱者，可除生薑加葛根。初得風未須加減，但且作三劑，停四五日，以後更候。視病虛實平論之行湯。行 針依穴灸之。

又方 治與前大續命湯同，宜產婦及老小等方。

麻黃 川芎（各三兩） 乾薑 石膏 人參 當歸 桂心 甘草（各一兩） 杏仁（四十枚）
上九味 咀，以水一斗，煮取三升，分三服。（《外台》名續命湯，范汪同云，是張仲景方本欠兩味。）

西州續命湯

治中風痱（一作入臟），身體不知自收，口不能言，冒昧不識人，拘急背痛 不得轉側方。

麻黃（六兩） 石膏（四兩） 桂心（二兩） 甘草 川芎 乾薑 黃芩 當歸（各一兩） 杏仁（三十枚）
上九味 咀，以水一斗二升煮麻黃，再沸掠去上沫，後下諸藥，煮取四升。初服一升 猶能自覺者，勿熟眠；可臥濃覆，小汗出已漸減衣，勿複大覆，可熟眠矣。前服不汗者，後 複一升。汗後稍稍，五合一服，安穩乃服，勿頓服也。汗出則愈，勿複服。飲食如常無禁忌，勿見風。並治上氣咳逆。若面目大腫，但得臥，服之大善。凡服此湯不下者，人口噓其背，湯則下過矣，病患先患冷汗者，不可服此湯。若虛羸人，但當稍與五合為佳。有輒行此湯與產婦及羸人，喜有死者，皆為頓服三升，傷多且湯濁不清故也。但得清澄而稍稍服，微取汗者，皆無害也。（胡洽方《古今錄驗》名大續命湯）

大續命散

治八風十二痺，偏枯不仁。手足拘急疼痛，不得伸屈；頭眩不能自舉，起止顛倒；或臥苦驚如墮地狀，盜汗、臨事不起，婦人帶下無子。風入五臟，甚者恐怖，見鬼來收攝；或與鬼神交通，悲愁哭泣，忽忽欲走方。

麻黃 烏頭 防風 桂心 甘草 蜀椒 杏仁 石膏 人參 芍藥 當歸 茹(《翼 方》作川芎) 黃芩 茯苓 乾薑(各一兩)
上十五味治下篩，以酒服方寸匕，日再後加，以知為度。

續命煮散

治風無輕重，皆主之方。

麻黃 川芎 獨活 防己 甘草 杏仁(各三兩) 桂心 附子 茯苓 升麻 細辛 人參防風(各二兩) 石膏(五兩) 白朮(四兩)
上十五味粗篩下，以五方寸匕納小絹袋子中，以水四升和生薑三兩，煮取二升半，分三服，日日勿絕，慎風冷。大良吾嘗中風，言語蹇澀，四肢 曳，處此方日服四服，十日十夜，服之不絕得愈。

排風湯

治男子婦人風虛濕冷，邪氣入臟，狂言妄語，精神錯亂。其肝風發則面青，心悶亂，吐逆嘔沫，脅滿頭眩重，耳不聞人聲，偏枯筋急，曲 而臥。其心風發則面赤，翕然而熱，悲傷嗔怒，張目呼喚。其脾風發則面黃，身體不仁，不能行步，飲食失味，夢寐倒錯，與亡 人相隨。其肺風發則面白，咳逆唾膿血，上氣奄然而極。其腎風發則面黑，手足不遂，腰痛 難以俯仰，痺冷骨疼，諸有此候，令人心驚，志意不定，恍惚多忘。服此安心定志，聰耳明 目。通臟腑、諸風疾悉主之。

白蘞皮 白朮 芍藥 桂心 川芎 當歸 杏仁 防風 甘草(各二兩) 獨活 麻黃 茯苓(各三兩) 生薑(四兩)
上十三味 咀，以水一斗，煮取三升，每服一升，覆取微汗，可服三劑。

大八風湯

治毒風頑痺 曳，手腳不遂，身體偏枯，或毒弱不任。或風入五臟，恍恍惚惚，多語 善忘，有時恐怖。或肢節疼痛，頭眩煩悶。或腰脊強直不得俯仰，腹滿不食，咳嗽。或始遇 病時猝倒悶絕，即不能語便失音，半身不隨不仁沉重，皆由體虛恃少不避風冷所致方。

當歸(一兩半) 五味子 升麻(各一兩半) 烏頭 黃芩 芍藥 遠志 獨活 防風 川 芎麻黃 秦艽 石斛 人參 茯苓(各一兩) 杏仁(四十枚) 黃耆 紫菀(各一兩) 石膏 (一兩) 甘草 桂心 乾薑(各二兩) 大豆(一升，《翼方》云二合)
上二十三味 咀，以水一斗三升、酒二升合煮取四升，強人分四服，羸人分六服。

八風散

治八風十二痺。猥退半身不遂，歷節疼痛，肌肉枯燥，皮膚 動，或筋緩急痛不在一處。猝起目眩，失心恍惚，妄言倒錯，身上 瘰，面上起 或黃汗出，更相染漬，或燥或濕，顏色乍赤乍白，或青或黑，角弓反張，乍寒乍熱方。

麻黃 白朮(各一斤) 羌活(三斤) 黃芩(一斤五兩) 大黃(半斤) 栝蔞根 甘草欒 荊天雄 白芷 防風 芍藥 天冬 石膏(各十兩) 山萸 食茱萸 躑躅(各五升) 茵 芋 (十四兩) 附子(三十枚) 細辛 乾薑 桂心(各五兩) 雄黃 朱砂 丹參(各六兩)

上二十五味治下篩，酒服方寸匕，初每日一服，三十日後，日再，五十日知，百日瘥，一年平複，長服不已佳。先食服。

小八風散

治迷惑如醉，狂言妄語，驚悸恐怖，恍惚見鬼，喜怒悲憂，煩滿顛倒，邑邑短氣不得語，語則失忘。或心痛徹背，不嗜飲食，惡風不得去帷帳，時複疼熱，惡聞人聲，不知痛癢，身悉振搖，汗出，猥退，頭重浮腫，抓之不知痛，頸項強直，口面 戾，四肢不隨不仁偏枯，攣掣不得屈伸，悉主之方。

天雄 當歸 人參（各五分） 附子 天冬 防風 蜀椒 獨活（各四分） 烏頭 秦艽 細辛 白朮 乾薑（各三分） 麻黃 五味子 桔梗 山萸 柴胡 莽草 白芷（各二分）
上二十味治下篩，合相得。酒服半方寸匕，漸至全匕，日三服，以身中覺如針刺狀，藥 行也。

烏頭湯

治八風五尸惡氣游走胸心、流出四肢，來往不住，短氣欲死方。

烏頭 芍藥 乾薑 桂心 細辛 乾地黃 當歸 吳茱萸 甘草（各二兩）
上九味 咀，以水七升，煮取二升半，分三服。

蒼耳散

治諸風方。當以五月五日午時干地刈取蒼耳葉，洗曝燥搗下篩，酒若漿服一方寸匕，日三。作散，若吐逆可蜜為丸，服十丸，準前計一方寸匕數也。風輕易治者，日再服。若身體有風處皆作粟肌出，或如麻豆粒，此皆為風毒出也。可以鈹針刺潰去之，皆黃汁，出盡乃 止。五月五日多取陰乾之，著大瓮中，稍取用之。此草辟惡。若欲看病省疾者，便服之，令人無所畏。若時氣不和，舉家服之。若病胃脹滿、心悶發熱即服之，並殺三蟲。腸痔，能進 食，一周年服之佳，七月七、九月九皆可采用。

治心風虛熱，發即恍惚煩悶、半身不仁攣急方：

荊瀝 竹瀝（各五升） 枸杞根白皮 麥冬（各一升） 香豉（三合） 人參 茯苓 梔子仁 黃芩 川芎 桂心 細辛 杏仁 防風 白蘚皮（各二兩） 生薑 石膏 甘草（各三兩）
上十八味 咀，以水二斗，和竹瀝、荊瀝煮取三升，分四服，相去如人行六七裡。凡五劑間三日服一劑。（一用防己三兩）

治虛熱恍惚驚邪恐懼方：

荊瀝（三升） 竹瀝（三升） 香豉（三合） 牛黃（十八銖） 麥冬 人參（各三兩） 升麻 鐵精（各一兩） 天冬 龍齒 茯苓 梔子（各二兩）
上十二味 咀，以水二斗，煮取三升去滓，下牛黃、鐵精，更煎五六沸，取一升七合 分五服，相去十裡久。

地黃煎

治熱風心煩悶及脾胃間熱不下食冷補方。

生地黃汁(二升) 枸杞根汁(三升) 生薑汁 酥(各三升) 荊瀝 竹瀝(各五升) 天冬 人參(各八兩) 茯苓(六兩) 大黃 梔子仁(各四兩)
上十一味搗篩五物為散, 先煎地黃等汁成煎, 次納散藥攪和。每服一七, 日再漸加至三七, 覺利減之。

又方 黃芩 干藍 芍藥 鼠尾草(各三兩) 梔子仁 生葛(各六兩) 羚羊角(五兩) 豉(一升, 綿裹)
上八味 咀, 以水七升, 煮取二升五合, 分三服。

治積熱風方：

地骨皮 葳蕤 丹參 黃耆 麥冬 澤瀉(各三兩) 清蜜 薑汁(各一合) 生地汁(一升)
上九味 咀, 以水六升煮取二升, 去滓, 納生地汁更緩火煮減一升, 納蜜及薑汁又煮 一沸, 藥成, 溫服三合, 日再。

大防風湯

治中風發熱、無汗、肢節煩、腹急痛、大小便不利方。

防風 當歸 麻黃 白朮 甘草(各十八銖) 黃芩(三十銖) 乾地黃 山茱萸 茯苓 附子(各一兩)
上十味 咀, 以水九升, 煮取二升半, 一服七合。大小便不利納大黃、人參各十八 銖、大棗三十枚、生薑三兩, 煮取三升, 分三服。(深師加天冬一兩。)

大戟洗湯

治中風發熱方。

大戟 苦參(等分)
上二味為末, 以藥半升, 白酢漿一斗煮三沸, 適寒溫洗之, 從上下寒乃止立瘥。小兒三指撮漿水四升煮洗之。

金牙酒

療積年八風五疰, 舉身 曳、不得轉側、行步跛 、不能收攝。又暴口噤失音、言語 不正、四肢背脊筋急、腫痛流走不常、勞冷積聚少氣、乍寒乍熱, 三焦不調, 脾胃不磨飲 、結實逆害、飲食酢咽、嘔吐、食不生肌、醫所不能治者方。

金牙(碎如米粒, 小絹袋盛) 乾地黃 地膚子(無子用莖, 蘇恭用蛇床子) 蒴 根 附子防風 細辛 莽草(各四兩) 羌活(一斤, 胡洽用獨活) 蜀椒(四合)
上十味 咀, 以絹袋盛, 用酒四斗於瓷罌中漬, 密閉頭, 勿令泄氣。春夏三四宿, 秋冬 六七宿, 酒成去滓, 日服一合。此酒無毒, 及可小醉, 常令酒氣相接不盡, 一劑病無不愈, 又令人肥健。酒盡自可加諸藥各三兩, 惟蜀椒五兩用酒如前, 勿加金牙也。冷加乾薑四兩。

服此酒勝灸刺。起三十年諸風 曳神驗。(《肘後》、《備急》用升麻、乾薑各四兩, 人參二兩, 石斛、牛膝各五兩、不用蒴 根, 為十四味。蘇恭不用地黃, 為十三味。一方用蒺藜四兩

常山太守馬灌酒

除風氣、通血脈、益精華、定六腑、聰耳明目、悅澤顏色、頭白更黑、齒落更生。服 藥二十日力勢倍，六十日志氣充盈，八十日能夜書，百日致神明。房中強壯如三十時，力能 引弩。年八十人服之亦當有子。病在腰膝，悉主之方。

天雄（二兩，生用） 商陸根 躑躅 蜀椒（各一兩） 烏頭（一枚大者） 附子（五枚） 桂心白薇 茵芋 乾薑（各一兩）
上十味 咀，以絹袋盛，酒三斗漬，春夏五日，秋冬七日，去滓。初服半合，稍加至兩三合。搗滓為散，酒服方寸七，日三，以知為度。夏日恐酒酸，以油單覆之下井中近水，令不酸也。（《千金翼》無商陸、桂心，為八味）

蠻夷酒

治久風枯攣三十年著床及諸惡風眉毛墮落方。

乾地黃 獨活 丹參 石（各一兩） 麥冬 附子 甘遂（各二兩） 赤石脂（二兩半） 乾薑 蕪荑 芫花 柏子仁（各一合） 蘇子（一升） 蓯蓉 茯神（一作茯苓） 金牙 薯蕷 白朮 杜仲 石南 牡荊子 山萸 款冬（各十八銖） 白芷 烏喙 烏頭 人參 野狼毒 蜀 椒防風 細辛 礬石 寒水石 牛膝 麻黃 川芎 當歸 柴胡 芍藥 牡蠣 桔梗 狗 脊（《翼》作枸杞） 天雄（各半兩） 石斛 桂心（各六銖）
上四十五味 咀，以酒二斗漬，夏三日，春秋六日，冬九日，一服半合，密室中合藥，勿令女人、六畜見之，三日清齋乃合。（《千金翼》無川芎，云加大棗四十枚更佳）

又方 治八風十二痺偏枯不隨、宿食久寒虛冷、五勞七傷及婦人產後餘疾、月水不調 皆主之方。

石 桂心 白朮 野狼毒 半夏 石南 白石脂 龍膽 續斷 芫花 代赭 白石英 茹 石韋 元參 天雄 山萸 防風 桔梗 藜蘆 卷柏 寒水石 細辛 烏頭 躑躅 蜀椒 白芷 秦艽 菖蒲（各一兩） 礬石 附子 遠志（各二兩） 石膏（二兩半） 蜈 蚣（二枚 ）
上三十四味 咀，以酒二斗漬四日，服一合，日再。十日後去滓，曝乾搗篩為散，酒 服方寸七，日再，以知為度。（胡洽四十二味無桂心、細辛、烏頭、躑躅、蜀椒，而有芒硝、恆山 黃芩、黃連、大黃、麻黃、地黃、前胡、甘草、菟絲子、芍藥、紫菀各一兩、杏二十枚同搗篩，絹袋盛，用水三斗、面三斤、黍米三斗作飯，依釀酒法以藥袋置釀中，春秋七 日，冬十日，夏三日，酒成服半雞子殼，日三服，曝藥為末，酒服方寸七，以身體暖為度）

魯王酒

治風眩心亂、耳聾目暗、淚出、鼻不聞香臭、口爛生瘡、風齒瘰癧、喉下生癰、煩熱 厥逆上氣、胸脅肩胛痛、手不能上頭、不能帶衣、腰脊不能俯仰、腳痺不仁、難以久立。八 風十二痺、五緩六急、半身不遂、四肢偏枯、筋攣不可屈伸；賊風咽喉閉塞、哽哽不利或如錐刀所刺、行人皮膚中無有常處。久久不治，入人五臟，或在心下，或在膏肓，游走四肢，偏有冷處如風所吹，久寒積聚風濕，五勞七傷，虛損，百病悉主之方。

茵芋 烏頭 躑躅（各三十銖） 天雄 防己 石斛（各二十四銖） 細辛 牛膝 甘草 柏子仁 通草 桂心 秦艽 茵陳 山茱萸 黃芩 附子 瞿麥 乾地黃 王不留行（胡洽 作天冬，《翼方》作王蓀） 杜仲 澤瀉 石南 防風 遠志（各十八銖）

上二十五味 咀，以酒四斗漬十日，每服一合加至四五合，以知為度。(《千金翼》名 此為魯公酒，有乾薑。胡洽無防已，以絹囊盛藥，用水二斗、法曲二斤，同漬三四宿，出藥 囊，炊二斗黍米納汁釀之，酒熟飲如雞子大，日二，稍飲，以知為度。)

又方 治風偏枯半死，行勞得風若鬼所擊，四肢不遂、不能行步、不自帶衣、攣 五緩六急，婦人帶下、產乳中風、五勞七傷。

乾薑 躑躅 桂心 甘草 川芎 川斷 細辛 附子 秦艽 天雄 石膏 紫菀(各五兩) 葛根 通草 防風 柏子仁 巴戟天 石斛 石南 山萸 石龍芮(各四兩) 牛膝 天冬(各八兩) 烏頭(二十枚) 蜀椒(半斤)
上二十五味 咀，以水五升漬三宿；法曲一斤合漬秫米二斗，合釀三宿；去滓，炊糯 米一斗，醞三宿。藥成先食服半合，日再，待米極消盡乃去滓，曝乾末服。

獨活酒

治八風十二痺方。

獨活 石南(各四兩) 防風(三兩) 附子 烏頭 天雄 茵芋(各二兩)
上七味 咀，以酒二斗漬七日，每服半合，日三，以知為度。

灸法

扁鵲云，治猝中惡風，心悶煩毒欲死。急灸足大趾下橫紋，隨年壯立愈。若筋急不能 行者，內踝筋急灸內踝上四十壯，外踝筋急灸外踝上三十壯立愈。若眼戴睛上插灸目兩 後 二十壯。若不能語灸第三椎上百壯。若不識人灸季肋頭七壯。若眼反口噤、腹中切痛灸陰囊 下第一橫理十四壯，灸猝死亦良。治久風猝風緩急、諸風猝發動不自覺知，或心腹脹滿，或半身不遂，或口噤不言、涎唾自出、目閉耳聾，或身冷直，或煩悶恍惚、喜怒無常，或唇青 口白戴眼角弓反張，始覺發動即灸神庭一處七壯，穴在印堂直上發際是。次灸曲差二處各七 壯，穴在神庭兩旁各一寸半是。次灸上關二處各七壯，一名客主人穴，在耳前起骨上廉陷者中是。次灸下關二處各七壯，穴在耳前下廉動脈陷者中是。次灸頰車二穴各七壯，穴在曲頰 陷者中是。次灸廉泉一處七壯，穴在當頭直下骨後陷者中是。次灸囟會一處七壯，穴在神庭
上二寸是。次灸百會一處七壯，穴在當頂上正中央是。次灸本神二處各七壯，穴在耳正直上入發際二分是穴(又作四分)。次灸天柱二處各七壯，穴在項後兩大筋外入發際陷者中是。

次灸陶道一處七壯，穴在大椎節下間是。次灸風門二處各七壯，穴在第二椎下兩旁各一寸半 是。次灸心俞二處各七壯，穴在第五椎下兩旁各一寸半是。次灸肝俞二處各七壯，穴在第九 椎下兩旁各一寸半是。次灸腎俞二處各七壯，穴在第十四椎下兩旁各一寸半是。次灸膀胱 二處各七壯，穴在第十九椎下兩旁各一寸半是。次灸曲池二處各七壯，穴在兩肘外曲頭陷者中屈肘取之是。次灸肩 二處各七壯，穴在兩肩頭正中兩骨間陷者中是。次灸支溝二處各七 壯，穴在手腕後臂外三寸兩骨間是。次灸合谷二處各七壯，穴在手大指虎口兩骨間陷者中是。

陷者中是。次灸陽輔二處各七壯，穴在外踝上絕骨端陷者中是。次灸昆侖二處各七壯，穴在 外踝後跟骨上陷者中是。

治風灸上星及百會各二百壯，前頂二百四十壯、腦戶及風府各三百壯。一云治大風灸百會七百壯。治百種風。灸腦後項大椎平處兩廂量二寸三分，須取病患指寸量，兩廂各灸百壯 得瘥。治風耳鳴。從耳後量八分

半，裡許有孔，灸一切風得瘧，狂者亦瘧，兩耳門前後各灸一百壯。治猝病惡風欲死、不能語及肉痺不知人。灸第五椎名曰藏輸，百五十壯，多至三百壯便愈。心俞穴在第五節，（一云第七節）對心橫三間寸，主心風腹脹滿，食不消化，吐血酸削，四肢羸露，不欲飲食，鼻衄目眩，□□不明，肩頭脊下痛，小腹急，灸二三百壯。大腸俞在十六椎兩邊相去一寸半。主風腹中雷鳴、腸 泄利、食不消化、小腹絞痛、腰 脊疼強，或大小便難、不能飲食，灸百壯，三日一報。掖門在腋下攢毛中一寸，名太陽陰，一名掖間。灸五十壯，主風。絕骨在外踝上三寸，灸百壯，治風身重、心煩、足脛疼。

賊風第三

（論一首 方二十九首 灸法六首）

桂枝酒

治肝虛寒，猝然喑啞不聲、踞坐不得、面目青黑、四肢緩弱、遺失便利、桂枝 川芎 獨活 牛膝 薯蕷 甘草（各三兩） 附子（二兩） 防風 茯苓 天雄 茵芋 杜仲 蒴 根 白朮（各四兩） 乾薑（五兩） 躑躅（一升） 豬椒葉根皮（各一升）大棗（四十枚）
上十八味 咀，以酒四斗漬七日，每服四合，日二，加至五、六合。

肝風占候其口不能言，當灸鼻下人中。次灸大木椎次灸肝俞，第九椎下是，五十壯、餘處隨年壯。眼暗灸之得明，二三百壯良。

大定心湯

治心氣虛悸恍惚方。（見十六卷小腸腑中。）

乾薑附子湯

治心虛寒風，半身不遂、骨節離解、緩弱不收，便利無度，口面 邪斜方。

乾薑 附子（各八兩） 桂心 麻黃（各四兩） 川芎（三兩）
上五味 咀，以水九升，煮取三升，分三服，三日後服一劑。

側子酒

治心寒或笑或呻口欬方。（見前七卷腳氣門中。

芎湯

治猝中風，四肢不仁、善笑不息方。

芎（一兩半） 黃芩 石膏（一方用黃連） 當歸 秦艽 麻黃 桂心 乾薑 甘草（各一兩） 杏仁（二十一枚）
上十味 咀，以水九升，煮取三升，分三服。

荊瀝湯

治心虛寒、陰氣傷、寒損心驚掣悸，語聲寬急混濁，口 冒昧，好自笑、荊瀝（三升） 母薑（取汁，一升） 麻黃 白朮 川芎（各四兩） 防風 桂心 升 麻茯苓遠志 人參 羌活 當歸（各二兩） 防己 甘草（各二兩）
上十五味 咀，以水一斗五升煎麻黃兩沸，去沫，次下諸藥，煮取三升，去滓，下荊 瀝、薑汁煎取四升。分四服，日三夜一。

白朮酒

補心志定氣。治心虛寒，氣性反常，心手不隨，語聲冒昧。其疾源癘風損心，具如前方 所說無窮。

白朮（切） 地骨皮 荊實（各三升） 菊花（二斗）
上四味，以水三石，煮取一石五斗，去滓澄清取汁，釀米二石，用曲如常法。酒熟隨能 飲之，常取半醉，勿令至吐。

治心風寒方：

灸心俞各五十壯，第五節兩邊各一寸半是。

依源麻黃湯

治脾虛寒癘風所傷，舉體消瘦，語音沉澀如破鼓聲，舌強不轉而好咽唾，口噤唇黑，四肢不舉，身重如山，便利無度方。（見別卷中。）

半夏湯

溫中下氣治脾寒，語聲憂懼，舌本卷縮，嗔喜無度， 悶恍惚脹滿方。

半夏 大麻仁（熬研為脂） 生薑（各一升） 芍藥 茯苓 五味子 桂心 橘皮（各三兩）
上十二味 咀，以水一斗二升，煮取三升，去滓，下大麻仁脂，更上火一沸，分三服

當歸丸

補脾安胃、調氣止痛。治脾虛寒身重不舉、語音沉鼓、癘風傷痛、便利無度 當歸 酸棗仁 乾薑（各八兩） 川芎 乾地黃 天雄（各六兩） 黃耆 地骨皮（各七兩） 大棗（二十枚） 吳茱萸（五合） 甘草 秦椒葉 濃朴 秦艽（各四兩） 桂心 防風 附子白朮（各五兩）
上十八味為末，蜜丸如梧子，酒服三十丸加至四十丸，日再服。

脾風占候聲不出或上下手，當灸手十指頭，次灸人中。次灸大椎。次灸兩耳門前脈，去 耳門上下行一寸是。次灸兩大指節上下各七壯。

治脾風方（脾風者，總呼為八風。） 灸脾俞挾脊兩邊各五十壯。凡人脾俞無定，所隨四季月應病，即灸藏輸是脾穴，此法甚 妙。

依源麻黃續命湯

治肺虛寒癘風所中，噓吸戰掉，聲嘶塞而散下，氣息短備，四肢痺弱，面色青黃，遺 矢便利，冷汗出。

麻黃（六兩） 大棗（五十枚） 杏仁 白朮 石膏（各四兩） 桂心 人參 乾薑 茯苓（各三兩） 當歸 川芎 甘草（各一兩）
上十二味 咀，以水一斗二升煮麻黃，去沫，次下諸藥，煎取三升，去滓，分三服。舊 方無白朮、茯苓，今方無黃芩，轉以依經逐病增損。

八風防風散

治肺寒虛傷、語音嘶下、拖氣用力戰掉，緩弱羸瘠、癘風入肺方。

防風 獨活 川芎 秦椒 乾薑 黃耆 附子（各四十二銖） 天雄 麻黃 五味子 山 茱萸 石膏（各三十六銖） 秦艽 桂心 薯蕷 細辛 當歸 防己 人參 杜仲（各三十銖） 甘草（十一銖） 貫眾（二枚） 甘菊 紫菀（各二十四銖）
上二十四味治下篩，每服方寸匕，酒調進至兩匕，日再。

溫中生薑湯

治肺虛寒羸瘦緩弱、戰掉噓吸、胸滿肺痿方。

生薑（一斤） 桂心 橘皮（各四兩） 甘草 麻黃（各三兩）
上五味 咀，以水一斗，煮取二升半，分三服，煎麻黃兩沸去沫，然後入諸藥合煮。

治肺寒方：灸肺俞百壯。

腎瀝湯

治腎寒虛為癘風所傷。語音蹇吃，不轉偏枯、 腳偏跛蹇、緩弱不能動。口，言音 混濁、便利仰人。耳偏聾塞、腰背相引，隨病用藥，依源增損方。

羊腎（一具） 黃耆 川芎 桂心 當歸 人參 防風 甘草 五味子（各三兩） 元 參 茯苓 芍藥（各四兩） 磁石（五兩） 地骨皮（二升，切） 生薑（八兩）
上十五味 咀，以水一斗五升煮羊腎，取七升下諸藥，取三升去滓，分三服，可服三劑。

茵芋酒

治耳聾口欹等病（方見七卷腳氣門中。

乾地黃丸

治腎虛呻吟、喜恚怒、反常心性、陽氣弱、腰背強急髓冷方。

乾地黃 山茱萸 天門冬 桂心 續斷(各一兩半) 柏子仁 杜仲 牛膝 蓯蓉(各四十二銖) 茯苓 天雄 鐘乳(各二兩) 松脂 遠志 乾薑(各三十銖) 菖蒲 薯蕷 甘草(各一兩)
上十八味為末, 蜜丸梧子大, 酒服三十丸, 日二, 加至四十丸。

治腎寒方：

灸腎俞百壯。

大岩蜜湯

治賊風腹中絞痛並飛尸遁注, 發作無時, 發即搶心脹滿, 脅下如錐刀刺, 並主少陰傷 寒方。

梔子(十五枚) 甘草 乾地黃 細辛 羊脂(青羊角亦得) 乾薑 吳茱萸 芍藥(《小品》用 川芎) 茯苓 當歸 桂心(各一兩)
上十一味 咀, 以水八升, 煮取三升去滓, 納脂令烊, 分三服, 溫服, 相去如人行十裡頃, 若痛甚者加羊脂三兩、當歸、芍藥、人參各一兩。心腹脹滿堅急者加大黃三兩。(胡 洽不用梔子、羊脂、茯苓、桂心, 名岩蜜湯。)

小岩蜜湯

治惡風角弓反張、飛尸入腹絞痛、悶絕往來、有時筋急, 少陰傷寒、口噤不大黃(二兩) 雄黃 青羊脂(各一兩) 當歸 乾薑 桂心 乾地黃 芍藥 甘草 細辛 (各四兩) 吳茱萸(二兩)
上十一味 咀, 以水二斗, 煮取六升, 分六服。重者加藥, 用水三斗, 煮取九升, 分十服。

排風湯

治諸毒風邪氣所中, 口噤悶絕不識人, 及身體疼煩、面目手足暴腫者方。

犀角 貝子 升麻 羚羊角(各一兩)
上四味治下篩為粗散, 以水二升半納四方寸匕, 煮取一升, 去滓, 服五合。殺藥者, 以 意增之。若腫, 和雞子敷上, 日三度。老小可斟酌加減神良。亦可多合備用。

烏頭湯

治寒疝腹中絞痛, 賊風入腹攻五臟, 拘急不得轉側, 叫呼發作, 有時使人陰縮、手足厥逆方。

烏頭(十五枚,《要略》用五枚) 大棗(十枚) 甘草(二兩) 芍藥(四兩) 桂心(六兩) 老薑(一斤)
上六味 咀, 以水七升煮五物, 取三升, 去滓;別取烏頭, 去皮四破, 蜜二升, 微火煎, 令減五六合, 納湯中煮兩小沸, 去滓。服一合, 日三間食, 強者三合, 以如醉狀為知, 不知增之。

治賊風所中腹內攣急方：

麻黃(四兩) 甘草(一尺) 石膏 鬼箭羽(一名衛茅, 各雞子大)
上四味 咀, 以東流水二升, 煮取一升, 頓服之。

論曰：夫歷節風著人久不治者，令人骨節蹉跌，變成癲病，不可不知。古今以來，無問 貴賤，往往苦之，此是風之毒害者也。治之雖有湯藥而並不及松膏、松節酒。若羈旅家，貧 不可急辦者，宜服諸湯，猶勝不治，但於痛處灸三七壯佳。

防風湯

治身體四肢節解如墮脫腫，按之皮陷、頭眩短氣，溫溫悶亂欲吐者方。

防風 白朮 知母 桂心（各四兩） 川芎 芍藥 杏仁 甘草（各三兩） 半夏 生薑（各五兩）
上十味 咀，以水一斗，煮取三升，分四服，日三夜一。（《古今錄驗》無半夏、杏仁、川芎。用附子二枚）

羌活湯

治中風身體疼痛、四肢緩弱不遂、及產後中風方。

羌活 桂心 芍藥 葛根 麻黃 乾地黃（各三兩） 甘草（二兩） 生薑（五兩）
上八味 咀，以清酒三升、水五升，煮取三升，溫服五合，日三服。

防己湯

治風歷節四肢疼痛如槌鍛不可忍者方。

防己 茯苓 白朮 桂心 生薑（各四兩） 甘草（三兩） 人參（二兩） 烏頭（七 枚）
上八味 咀，以苦酒一升、水一斗，煮取三升半，一服八合，日三夜一。當覺焦熱痺 忽忽然，慎勿怪也。若不覺複合服，以覺乃止。凡用烏頭皆去皮，熬令黑乃堪用。不然至毒 人，宜慎之。《翼方》不用苦酒。

治風濕體痛欲折、肉如錐刀所刺方：

附子 乾薑 芍藥 茯苓 人參 甘草 桂心（各三兩） 白朮（四兩）
上八味 咀，以水八升，煮取三升，日三服。（一方，去桂心用乾地黃二兩。

大棗湯

治歷節疼痛方。

大棗（十五枚） 附子（一枚） 甘草（一尺） 黃耆 （四兩） 生薑（二兩） 麻黃 （五兩）
上六味 咀，以水七升，煮取三升，每服一升，日三。

犀角湯

治熱毒流入四肢、歷節腫痛方。

犀角（二兩） 羚羊角（一兩） 前胡 黃芩 梔子仁 射干（各三兩） 大黃 升麻 （各四兩） 豉（一升）
上九味 咀，以水九升，煮取三升，去滓，分三服。

石膏湯

逐風毒方。

石膏(雞子大三枚) 雞子(二枚) 甘草(一尺) 麻黃(三兩) 杏仁(四十枚)
上五味 咀, 以水三升, 破雞子納水中烊, 令相得, 納藥煮取一升。服之覆取汗, 汗不出, 燒石熨, 取汗出為佳。

松膏

治歷節諸風百節酸痛不可忍方。

松脂三十斤煉五十遍, 酒煮十遍, 不能五十遍, 二十遍亦可, 煉酥三升, 溫和松脂三升, 熟攪令極調勻。旦空腹酒服方寸匕, 日三。數數食面粥為佳, 慎血腥生冷物、醋、果子, 百日以後瘥。

松節酒

治歷節風四肢疼痛猶如解落方。

松節(三十斤) 豬椒葉(三十斤, 碎銼, 各用水四石煮, 取一石)
上二味澄清合漬, 干曲五斤候發, 以糯米四石五斗釀之, 依家醞法四, 勿令傷冷熱, 第一 時下後諸藥。

柏子仁 天雄 蕘 川芎(各五兩) 秦艽(六兩) 人參 茵芋(各四兩) 防風(十兩)磁石(十二兩末) 獨活(十五兩)
上十味 咀, 納飯中炊, 如常 法, 足訖封, 頭四七日壓取清, 適性服之, 勿

松膏酒

治歷節風方。

松膏一升, 酒三升, 浸七日, 每服一合, 日再, 數劑愈。

松葉酒

松葉三十斤, 酒二石五斗, 漬三七日, 服一合, 日五六度。

偏風第四

(方十二首 針灸法五首)

防風湯

治偏風甄權處療安平公方。

防風 川芎 白芷 牛膝 狗脊 蕘 白朮(各一兩) 羌活 葛根 附子(《外台 》作人參) 杏仁(各二兩) 薏苡仁 石膏 桂心(各三兩) 麻黃(四兩) 生薑(五兩)

上十六味 咀，以水一斗二升，煮取三升，分三服。一劑覺好，更進一劑，即一度針，九劑九針即瘥。灸亦得。

針風池一穴、肩 一穴、曲池一穴、支溝一穴、五樞一穴、陽陵泉一穴、巨虛下廉一穴。凡針七穴即瘥。

仁壽宮備身患腳奉敕，針環跳一穴、陽陵泉一穴、巨虛下廉一穴、陽輔一穴。凡針四穴即能起行。

大理趙卿患風腰腳不隨不能跪起行，針上 一穴、環跳一穴、陽陵泉一穴、巨虛下廉一穴。凡針四穴即能跪起。

庫狄欽患偏風不得挽弓，針肩 一穴即得挽弓。甄權所行。

治猥退風半身不遂失音不語者方：

杏仁去雙仁及皮尖三斗洗，入臼搗二斗令碎，研如寒食粥法，取汁八升，煎取四升，口 嘗看香滑即熟，如未及此，則為不熟，唯熟為妙，停極冷。然後納好曲一斗六升，煎取八升，第一遍 也。次一炊，複取杏仁三升研取一斗二升汁，煎取六升，第二 也。次一炊，準第二 取杏仁汁多少為第三 也。若疑米不足，別更取二升杏仁研，取八升汁煎取四升。

更斟酌炊米 之。若猶不足，更研杏仁二升，取八升汁，煎取四升更 之，以熟為限。一石 米杏仁三斗。所以節次研杏仁者，恐並煎汁酢故也。若冬日任意並煎，準計三斗杏仁取汁一石六斗，煎取八斗四升漬曲。以分之 酒熟封四七日，開澄取清，然後壓糟，糟可乾末，和酒服之，大驗秘方。

又方 蔥麻子脂一升、酒一斗銅缽盛，著酒中一日，煮之令熟，服之。

又方 灸百會 次灸本神 次灸承漿 次灸風府 次灸肩 次灸心俞 次灸手五裡次灸手髓孔 次灸手少陽 次灸足五裡 次灸足髓孔 次灸足陽明各五百壯。

治大風半身不遂方：

鹽砂二石熟蒸，分作直袋三枚，各受七斗，熱盛一袋著患處，如冷即取餘袋一依前法，數數易換，百不禁瘥止，須羊肚釀粳米、蔥白、薑、椒、豉等爛煮熱吃，日食一枚十日止。

又方 蒸鼠壤土袋盛熨之瘥。

葛根湯

治四肢緩弱、身體疼痛不遂、婦人產後中柔風及氣滿方。

葛根 芍藥 桂心 乾地黃 羌活（各三兩） 麻黃 甘草（各二兩） 生薑（六兩）
上八味 咀，以清酒三升，水五升，煮取三升，溫服五合，日三。

麻子湯

治大風周身四肢攣急，風行在皮膚，身勞強服之不虛人，又治精神蒙昧者方 秋麻子（三升，淨擇，水漬一宿） 防風 桂心 生薑 石膏（碎綿裹） 橘皮（各二兩） 麻黃（三兩） 竹葉 蔥白（各一握） 香豉（一合）

上十味 咀，先以水二斗半煮麻子，令極熟，漉去滓，取九升。別煮麻黃兩沸掠去沫，納諸藥汁中煮取三升去滓，分三服，空腹服。當微汗，汗出以粉塗身，極重者不過兩三劑，輕者一兩劑瘥。有人患大風賊風刺風，加獨活三兩，比之小續命湯，準當六七劑。

仲景三黃湯

治中風手足拘攣、百節疼痛、煩熱心亂、惡寒、經日不欲飲食方。

麻黃（三十銖） 黃芩（十八銖） 黃耆 細辛（各十二銖） 獨活（一兩）
上五味 咀，以水五斗，煮取二升，分二服，一服小汗，兩服大汗。心中熱加大黃半 兩，脹滿加枳實六銖，氣逆加人參，心悸加牡蠣，渴加栝蔞各十八銖，先有寒加附子一枚。

白薇薏苡湯

治風濕攣不可屈伸方。

白薇 薏苡仁 芍藥 桂心 酸棗仁 牛膝 乾薑 甘草（各一升） 附子（三枚）
上九味 咀，以淳酒二斗漬一宿，微火煎三沸，每服一升，日三，扶杖起行。不耐酒 五合。（《翼方》有車前子。）

獨活寄生湯

夫腰背痛者，皆由腎氣虛弱、臥冷濕地當風得之，不時速治，喜流入腳膝為偏枯冷痺 緩弱疼重、或腰痛攣腳重痺，宜急服此方。

獨活（三兩） 寄生（《古今錄驗》用續斷） 杜仲 牛膝 細辛 秦艽 茯苓 桂心 防風川芎 乾地黃 人參 甘草當歸 芍藥（各二兩）
上十五味 咀，以水一斗，煮取三升，分三服，溫身勿冷。風虛下利者，除乾地黃。服 湯取蒴 葉火燎濃安席上及熱眠上。冷複燎之。冬月取根、春取莖熬臥之佳。其餘敷熨不及 蒴蒸為愈也。諸處風濕亦用此法，新產竟便患腹痛不得轉動，及腰腳攣痛不得屈伸痺弱者，宜服此湯除風消血。（《肘後》有附子一枚，無寄生、人參、甘草、當歸。）

菊花酒

治男女風虛寒冷腰背痛，食少羸瘦無顏色、噓吸少氣，去風冷補不足方。

菊花 杜仲（各一斤） 防風 附子 黃耆 乾薑 桂心 當歸 石斛（各四兩） 紫石英
上十五味 咀，以酒七斗漬五日，一服二合，稍加至五合。日三（《千金翼》不用乾薑。）

杜仲酒

治腰腳疼痛不遂風虛方。

杜仲（八兩） 石南（二兩） 羌活（四兩） 大附子（五枚）
上四味 咀，以酒一斗漬三宿，每服二合，日再。偏宜冷病婦人服之。

風痱第五

（論二首 方九首 灸法一首）論曰：夫風痱者，猝不能語口噤，手足不遂而強直者是也。治之以伏龍肝五升為末，冷水八升和攪，取汁飲之，能盡為善。(《肘後》此方治心煩恍惚，腹中痛滿，絕而複蘇。）自此以下九方皆主此風，用之次第宜細尋之。

論曰：凡欲醫此病，當知先後次第，不得漫投湯藥以失機宜，非但殺人，因茲遂為痼疾。已既得之，當進三味竹瀝，飲少似有勝於常，更進湯也。竹瀝飲子，患熱風者，必先用此製其熱毒。

竹瀝湯

治四肢不收、心神恍惚、不知人不能言方。

竹瀝（二升） 生葛汁（一升） 生薑汁（三合）
上三味相和，溫暖，分三服。平旦、日晡、夜各一服，服訖覺四體有異似好，次進後湯 方：

竹瀝（一升） 生葛汁（五合） 川芎 防己 附子 人參 芍藥 黃芩 甘草 桂心（各一兩） 生薑（四兩） 羚羊角（二兩） 石膏（六兩） 杏仁（四十枚） 麻黃 防風（各一兩半）
上十六味 咀，以水七升煮減半，納瀝煮取二升五合，分三服，取汗，間五日更服一劑，頻與三劑，漸覺少減，仍進後方。

竹瀝（三升） 防風 升麻 羚羊角 防己 桂心 芎 （各二兩） 麻黃（三兩）
上八味 咀，以水四升合竹瀝煮取二升半，分三服，兩日服一劑。常用加獨活三兩最 佳，此方神良，頻進三劑。若手足冷者加生薑五兩、白朮二兩。若未除更進後方。

竹瀝（一升） 甘草（一本作葛根二兩） 人參 川芎 獨活 升麻（各一兩） 防風 麻黃 枚）
上十七味 咀，以水八升煮減半，納瀝煮取二升半，分三服，相去如人行十裡久，更 服。若有氣者，加橘皮、牛膝、五加皮一兩。

煮散

凡風痱服前湯得瘥，訖可常服此除風方。

防風 防己 獨活 秦艽 黃耆 芍藥 人參 白朮 茯神 川芎 遠志 升麻 石 斛牛膝 羚羊角 丹參 甘草 濃朴 天門冬 五加皮 地骨皮 黃芩(《翼方》作薯蕷） 桂心各（一兩，一云各四兩） 乾地黃 橘皮 生薑 麻黃（各三兩） 檳榔 本(《翼 方》作附子） 杜仲(《翼方》作麥門冬） 烏犀角（各二兩，《翼方》作山茱萸） 薏苡仁（一升石膏六兩，一云三兩）
上三十三味搗篩為粗散，和攪令勻，每服以水三升、藥三兩煮取一升，綿濾去滓，頓服之，取汗，日一服。若覺心中熱煩、以竹瀝代水煮之。

荊瀝湯

凡患風人多熱，常宜服此方。

荊瀝　竹瀝　生薑汁(各三合)
上三味相合，溫暖為一服，每日旦服煮散，午後進此，平複好瘥乃止。

獨活煮散

治諸風痱方。

獨活(八兩)　川芎　芍藥　茯苓　防風　防己　葛根(各一兩)　羚羊角　當歸　人參　桂心　麥門冬　石膏(各四兩)　磁石(十兩)　甘草(三兩)　白朮(三兩)
上十六味各切銼，分為二十四份，每份入生薑、生地黃切一升、杏仁二七枚，以水二升，煮取七合。或日晚、或夜中、或日一服，或間日服，無所忌。

五補丸

凡風服湯藥多患虛熱翕翕然，宜除熱方。

防風　人參　蓯蓉　乾地黃　羚羊角　麥門冬　天門冬(各一兩半)　芍藥　獨活　乾薑　白朮　丹參　食茱萸(一云山茱萸)　甘草　茯神　升麻　黃　甘菊　地骨皮　石斛　牛　膝　五加皮　薯蕷(各三十銖)　秦艽　川芎　桂心　防己　生薑屑　黃芩(各一兩)　附子(十八　銖)　石膏(三兩)　寒水石(三兩)
上三十二味為末，蜜和丸如梧子大，生薑蜜湯服二十丸，日三，稍加至三十丸，忌油面　蒜生冷酢滑及豬羊雞魚等肉。

論曰：古人立方，皆準病根冷熱製之。今人臨急造次搜尋，故多不驗。所以欲用方者，先定其冷熱，乃可檢方，用無不效，湯酒既爾，丸散亦然。凡此風之發也，必由熱盛，故有竹瀝、葛汁等諸冷藥焉。後之學人，不能仔細識其方意，故有茲論具而述之。其人無密室者，不可與療風。強人居室不密，尚中風邪，況服藥之人乎。

治風痱不能語手足不遂方：

度病者手小指內歧間至指端為度，以置臍上直望心下，以丹注度上端畢，又作兩度。續　所注上合其下，開其上取其本，度橫置其開上令三合，其狀如倒作〝〞字形。男度左手，女度

風懿第六

(論三首　方二十三首　針灸法六首)

獨活湯

治風懿不能言，四肢不收、手足　曳方。

獨活(四兩)　桂心　芍藥　栝蔞根　生葛(各二兩)　生薑(六兩)　甘草(三兩)
上七味　咀，以水五升，煮取三升，分三服，日三。

論曰：脾脈絡胃挾咽，連舌本，散舌下。心之別脈系舌本，今心脾二臟受風邪，故舌強不得語也。

治中風口噤不能言方：

防己 桂心 麻黃(各二兩) 葛根(三兩) 甘草 防風 芍藥(各一兩) 生薑(四兩)
上八味 咀，以水六升，煮取二升半，分三服，喑啞不語皆治之。

石南湯

治六十四種風注走入皮膚中如蟲行，腰脊強直、五緩六急、手足拘攣，隱疹搔之則作瘡、風尸身癢，猝風面目腫起，手不出頭、口噤不能言方。

石南 乾薑 黃芩 細辛 人參(各一兩) 桂心 麻黃 當歸 芎 (各一兩半) 甘草(二兩) 乾地黃(十八銖) 食茱萸(三十銖)
上十二味 咀，以水六升、酒三升，煮取三升，分三服，大汗勿怪。

治中風口噤不知人者方：

芥子(一升) 酢(三升)
上二味煮取一升，敷頭以布裹之，日一度。(《肘後》以治猝不得語。)

又方 豉(五升) 吳茱萸(一升)
上二味以水七升，煮取三升，漸飲之。(《肘後》以治不能語。)

又方 白朮四兩，以酒三升，煮取一升，頓服。

又方 服荊瀝一升。

又方 服淡竹瀝一升。

針灸法

中風口噤不得開，灸機關(《翼》名頰車)二穴。穴在耳下八分小近前，灸五壯，即得語，又灸，隨年壯。僻者逐僻，左右灸之。中風失喑不能言語，緩縱不隨，先灸天窗五十壯，息火仍移灸百會五十壯，畢還灸天窗五十壯者。始發先灸百會，則風氣不得泄。內攻五臟，喜閉伏仍失音也。所以先灸天窗，次百會佳。一灸五十壯悉泄火勢，複灸之，視病輕重，重者一處三百壯大效。凡中風服藥益劇者，但是風穴悉皆灸之三壯，無不愈也。

論曰：風寒之氣客於中，滯而不能發，故喑不能言及喉痺失音，皆風邪所為也，入臟皆能殺人。故附之於治風之末。凡尸厥而死脈動如故，此陽脈下墜，陰脈上爭，氣閉故也。針百會入三分，補之，炙熨斗熨兩脅下，又灶突墨彈丸大，漿水和服之。又針足中趾頭去甲如韭葉，又刺足大趾甲下內側去甲三分。

桂湯

治猝失音方。

濃煮桂汁服一升，覆取汗。亦可末桂著舌下，漸漸咽汁。

又方 濃煮大豆汁，含亦佳，無豆用豉。

治猝不得語方：

酒五合，和人乳汁中半分，分為二服。

論曰：夫眼 動口唇偏，皆風入脈，急與小續命湯、附子散、摩神明膏（見前七卷腳氣門）、丹參膏（見二十四卷癰疽門），依穴灸之，喉痺舌緩亦然。風入臟，使人喑啞卒死，口眼相引，牙車急，舌不轉 僻者，伏龍肝散和雞冠血及鱉血塗，干複塗之，並灸吻邊橫文赤白際，逐左右，隨年壯報之至三報，三日不瘥，更報之。

附子散

治中風手臂不仁口面 僻方 附子 桂心（各五兩） 細辛 防風 人參 乾薑（各六兩）
上六味治下篩，酒服方寸匕，日三，稍增之。

甘草湯

治偏風積年不瘥，手腳枯細，面口 僻，精神不定，言語倒錯方。

甘草 桂心 川芎 麻黃 當歸 芍藥（各一兩） 人參（二兩） 附子 側子（各二枚） 獨活 防己（各三兩） 生薑 石膏 茯神（各四兩） 白朮 黃芩 細辛（各一兩） 秦艽 防風（各一兩半） 菊花（一升） 淡竹瀝（四升）
上二十一味 咀，以水一斗，先煮麻黃去沫，取七升，納竹瀝及諸藥，煮取三升，分四服，服三服訖，間一杯粥後，更進一服，待藥勢自汗。慎風冷醋蒜面乳酪魚等。

治中風面目相引，口偏著耳，牙車急，舌不得轉方：

獨活（三兩） 生地黃汁 竹瀝（各一升）
上三味合煎，取一升頓服之即愈。又方 牡蠣 礬石 附子 灶下黃土（等分）
上四味為末，取三年雄雞冠血和藥敷其上，持鏡候之，才欲複故便急洗去之，不速去，便過不複還也。（《千金翼》云，偏右塗左，偏左塗右。）

又方 竹瀝（三升） 防風 防己 升麻 桂心 川芎（各二兩） 麻黃（四兩） 羚羊角（三兩）
上八味 咀，以水四升合竹瀝煮取一升半，分三服，日服一劑，常用效。

治口耳僻方：防風 附子 葛根（各二兩） 柏實 麻黃（各三兩） 獨活 生薑（各四兩） 杏仁（三十枚）
上八味 咀，以水一斗、酒二升，煮取三升，分四服。

又方 青松葉一斤搗，令汁出，酒一斗漬二宿，近火一宿。初服半升，漸至一升，頭面汗出即止。

又方 酒煮桂取汁，以故布拓病上，正則止，左 拓右，右 拓左，此秘方不傳，余常用，大效。

治卒中風口 不止方：

取空青末如豆大一枚。含之即愈。

又方 炒大豆三升令焦，以酒三升淋，取汁頓服。(《肘後》以治口噤不開。)

又方 大皂莢一兩去皮子下篩，以三年大酢和，左 塗右，右 塗左，干更塗之

又方 以葦筒長五寸，以一頭刺耳孔中，四畔以面密塞之，勿令泄氣。一頭納大豆一顆，並艾燒令燃，灸七壯即瘥。患右灸左，患左灸右，耳病亦可灸之。

又方 灸手交脈三壯，左灸右，右灸左，其炷如鼠屎形，橫安之，兩頭下火。

枳茹酒

主諸藥不能瘥者方。

枳實上青刮取末，欲至心止，得茹五升，微火炒去濕氣，以酒一斗漬，微火暖，令得藥 味，隨性飲之，主口僻眼急大驗。治緩風急風並佳。(《肘後》以治身直不得屈伸反覆者，枳樹皮亦得。)

角弓反張第七

(方六首)

治卒半身不遂，手足拘急不得屈伸，身體冷，或智或痴，或身強直不語，或生或死，狂 言不可名狀，角弓反張，或欲得食，或不用食，或大小便不利皆療之方：(《古今錄驗》名 八風續命湯) 人參 桂心 當歸 獨活 黃芩 乾薑 甘草(各十八銖) 石膏(一兩半) 杏仁(四十枚)
上九味 咀，以井華水九升煮取三升，分三服，日三，覆取汗，不汗更合加麻黃五兩合服。

倉公當歸湯

治賊風口噤角弓反張痙者方。

當歸 防風(各十八銖) 獨活(一兩半) 附子(一枚) 細辛(半兩) 麻黃(三十銖)
上六味 咀，以酒五升，水三升煮取三升，服一升。口不開者，格口納湯，一服當蘇，二服小汗，三服大汗。

又方 酒一斗，膠二斤，煮令烊，得六升，每服一升，稍服得愈。

又方 單服荊瀝良。

秦艽散

治半身不遂、言語錯亂，乍喜乍悲、角弓反張、皮膚風癢方。

秦艽 獨活(胡洽用烏頭) 黃耆 人參 甘菊(各二兩，胡洽用蜀椒) 茵芋(十八 銖，胡 洽用 草) 防風 石斛(胡洽用蓆) 山茱萸 桂心(各二兩半) 附子 川芎(胡洽 用桔梗)細辛 當歸 五味子 甘草 白朮 乾薑 白蘞皮(胡洽用白蘞，各三十銖) 麻黃 天雄遠志(各一兩，胡洽用防己)
上二十二味治下篩，酒服方寸匕，日再，漸漸加至二匕。又云治風無新久並補。

吳秦艽散

治風注入肢體百脈，身腫，角弓反張，手足酸疼，皮膚習習，身體盡痛，眉毛墮落，耳聾驚悸，心滿短氣，魂志不定，陰下濕癢，大便有血，小便赤黃，五勞七傷，萬病皆治方。

秦艽　蜀椒　人參　茯苓　牡蠣　細辛　栝蔞根　麻黃（各十八銖）乾薑　附子　白朮　桔梗　桂心　獨活　當歸（各一兩）黃芩　柴胡　牛膝　天雄　石南　杜仲　莽草　烏頭（各半兩）甘草　川芎　防風（各一兩半）
上二十六味治下篩，盛以葦袋，食前溫酒一升服方寸七，日三服，急行七百步許，更飲酒一升，忌如常法。

風痺第八

（論一首　方九首）論曰：血痺病從何而得之？師曰：夫尊榮人骨弱肌膚盛，因疲勞汗出，臥不時動搖加被　微風遂得之，形如風狀。（巢源云其狀如被微風所吹。）但以脈自微澀，澀在寸口，關上緊，宜針引陽氣，令脈和緊去則愈。

防己黃湯

治風濕脈浮身重汗出惡風方。

甘草（二兩）黃耆（五兩）漢防己（四兩）生薑　白朮（各三兩）大棗（十二枚）
上六味　咀，以水六升煮取三升，分三服，服了坐被中，欲解如蟲行皮中，臥取汗。

黃耆湯

治血痺陰陽俱微，寸口關上微，尺中小緊，外証身體不仁如風狀方。

蜀黃耆　人參（《要略》無）芍藥　桂心（各二兩）生薑（六兩）大棗（十二枚）
上六味　咀，以水六升，煮取二升，服七合，日三服，令盡。

治風痺游走無定處，名曰血痺大易方：

蕘　薯蕷　牛膝　澤瀉（各二兩）白朮　地膚子（各半兩）干漆　螬蠹　車前子　狗　脊天雄（各十銖）茵芋（六銖）山茱萸（三十銖）乾地黃（二兩半）
上十四味為末，蜜和丸如梧桐子大，酒下十丸，日三，後稍加。

治游風行走無定，腫或如盤大，或如甌，或著腹背，或著臂，或著腳，悉主之方：

海藻　茯苓　防風　獨活　附子　白朮（各三兩）大黃（五兩）當歸（一本作當陸）鬼
上九味　咀，以酒二斗漬五日，初服二合，漸加，以知為度。

鐵精湯

治三陰三陽厥逆寒食，胸脅支滿，病不能言，氣滿胸中急，肩息，四肢時寒　熱不隨，喘悸煩亂，吸吸少氣，言輒飛揚虛損方。

黃鐵(三十斤，以流水八斗揚之三千遍，以炭燒，令赤，投冷水複燒七遍，如此澄清，取汁二斗煮藥) 人參(三兩) 半夏 麥門冬(各一升) 白薇 黃芩 甘草 芍藥(各四兩)石膏(五兩) 生薑(二兩) 大棗(二十枚)
上十味 咀，納前汁中煮取六升，服一升日三服，兩日令盡。

治諸風痺方：

防風 甘草 黃芩 桂心 當歸 茯苓(各一兩) 秦艽 葛根(各二兩) 生薑(五兩) 大棗(三十枚) 杏仁(五十枚)
上十一味 咀，以酒水各四升，煮取三升，分三服，取汗。

白薇散

治風痺腫，筋急展轉易常處方。

白薇(半兩) 附子(六銖)
上二味治下篩，酒服半刀圭，日三。不知增至一刀圭，身中熱行為候十日便覺。

附子酒

治大風冷痰癖脹滿諸痺方 大附子一枚，重二兩者(亦云二枚)，酒五升漬，春五日。每服一合，日再，以瘥為度。

麻子酒

治虛勞百病，傷寒風濕，及婦人帶下，月水往來不調，手足疼痺著床，服之令人肥健 方。

麻子(一石) 法曲(一斗)
上二味先搗麻子成末，以水二石著釜中，蒸麻子極熟，炊一石米頃出滓，隨汁多少，如家醞法，候熟，取清酒，隨性飲之。

備急千金要方 卷九 傷寒方

唐 孫思邈

(凡九類)

傷寒例第一

(論三首) 論曰：《易》稱天地變化，各正性命，然則變化之跡無方，性命之功難測，故有炎涼寒懊風雨晦冥，水旱妖災蟲蝗怪異，四時八節種種施化不同，七十二候日月營運各別，終其晷度，方得成年，是謂歲功

畢矣。天地尚且如然，在人安可無事？故人生天地之間，命有遭際，時有否泰、吉凶悔吝、苦樂安危、喜怒愛憎、存亡憂畏、關心之慮，日有千條，謀身之道，時生萬計，乃度一日。是故天無一歲不寒暑，人無一日不憂喜，故有天行溫疫，病者即天地變化之一氣也，斯蓋造化必然之理，不得無之。故聖人雖有補天立極之德，而不能廢之。雖不能廢之，而能以道御之。其次有賢人善於攝生，能知撙節，與時推移，亦得保全。天地有斯瘴癘，還以天地所生之物以防備之。命曰知方，則病無所侵矣。然此病也，俗人謂之橫病，多不解治，皆云日滿自瘥，以此致枉者，天下大半。凡始覺不佳，即須救療，迄至於病愈，湯食競進，折其毒勢，自然而瘥，必不可令病氣自在恣意攻人，拱手待斃，斯為誤矣。今博采群經以為上下兩卷，廣設備擬，好養生者，可得詳焉。

《短劇》曰：古今相傳稱傷寒為難治之疾，時行溫疫是毒病之氣，而論治者，不判傷寒與時行溫疫為異氣耳，云傷寒是雅士之辭。天行溫疫，是田舍間號耳，不說病之異同也。考之眾經，其實殊矣，所宜不同，方說宜辨，是以略述其要。經言：春氣溫和，夏氣暑熱，秋氣清涼，冬氣冰冽，此四時正氣之序也。冬時嚴寒，萬類深藏，君子周密則不傷於寒。或觸冒之者乃為傷寒耳。其傷於四時之氣，皆能為病，而以傷寒為毒者，以其最為殺癘之氣也，中而即病，名曰傷寒。不即病者，其寒毒藏於肌骨中，至春變為溫病，至夏變為暑病。暑病熱極，重於溫也。是以辛苦之人，春夏多溫病熱病者，皆由冬時觸冒寒冷之所致，非時行之氣也。凡時行者，是春時應暖而反大寒，夏時應熱而反大冷，秋時應涼而反大熱，冬時應寒而反大溫，此非其時而有其氣，是以一歲之中，病無長少多相似者，此則時行之氣也。傷寒之病，逐日深淺以施方治。今世人得傷寒，或始不早治，或治不主病，或日數久淹困乃告師。師苟依方次第而療則不中病，皆宜臨時消息製方，乃有效耳。

華佗曰：夫傷寒始得一日在皮，當摩膏火炙之即愈。若不解者，二日在膚，可依法針，服解肌散發汗，汗出即愈。若不解，至三日在肌，複一發汗即愈。若不解者，止勿複發汗也。至四日在胸，宜服藜蘆丸，微吐之則愈。若病困，藜蘆丸不能吐者，服小豆瓜蒂散，吐之則愈也。視病尚未醒，醒者，複一法針之。五日在腹，六日入胃，入胃乃可下也。若熱毒在外胃若實熱為病，三死一生皆不愈。胃虛熱入爛胃也。其熱微微者赤斑出，此候五死一生。劇者黑斑出者，此候十死一生。但論人有強弱，病有難易，得效相倍也。得病無熱，但狂言煩躁，不安，精彩言語不與人相主當者，勿以火迫之，但以豬苓散一方寸匕服之，當逼與新汲水一升若二升，強飲之。令以指刺喉中，吐之病隨手愈。若不能吐者，勿強與水，水停則結心下也，當更以餘藥吐之，皆令相主，不爾更致危矣。若此病輩，不時以豬苓散吐解之者，其死殆速耳。亦可先以去毒物及法針之尤佳。夫飲膈實者，此皆難治。此三死一生也。病者過日不以時下，則熱不得泄，亦胃爛斑出。春夏無大吐下，秋冬無大發汗。發汗法，冬及始春大寒時，宜服神丹丸，亦可摩膏火炙。若春末及夏月始秋，此熱月不宜火炙及重覆，宜服六物青散。若崔文行度瘴散赤散雪煎亦善。若無丸散及煎者，但單煮柴胡數兩。傷寒時行，亦可服以發汗，至再三發汗不解，當與湯，實者轉下之。其脈朝夕快者，為 實也。朝平夕快者，非也，轉下湯為可早與，但當少與勿令大下耳，少與當數其間也。諸虛煩熱者，與傷寒相似。然不惡寒，身不疼痛，故知非傷寒也，不可發汗。頭不痛，脈不緊數，故知非裡實，不可下也，如此內外皆不可攻，而強攻之必遂損竭，多死難全也。此虛煩但當與竹葉湯。若嘔者與橘皮湯一劑，不愈為可重與也。此法數用，甚有效驗。傷寒後虛煩亦宜服此湯。

王叔和曰：夫陽盛陰虛(《外台》作表和裡病)，汗之則死，下之則愈。陽虛陰盛(《外台》作裡和表病)，下之則死，汗之則愈。夫如是則神丹安可以誤發，甘遂何可以妄攻。虛盛之治(《外台》作表裡之治)，相背千裡，吉凶之機，應若影響。然則桂枝下咽，陽盛則斃(《外台》作表和則斃)。承氣入胃，陰盛以亡(《外台》作裡平以亡)。若此陰陽虛實之交錯，其候至微，發汗吐下之相反，其禍至速，而醫術淺狹不知不識，病者殞沒，自謂其分。至令冤魂塞於冥路，夭死盈於曠野，仁愛鑒茲，能不傷楚。夫傷寒病者，起自風寒，入於腠理，與精氣分爭，營衛痞隔，周行不通，病一日至二日，氣在孔竅皮膚之間，故病者頭痛惡寒，腰背強重，此邪

氣在表，發汗則愈。三日以上氣浮在上部，填塞胸心，故頭痛胸中滿，當吐之則愈。五日以上氣沉結在臟，故腹脹身重，骨節煩疼，當下之則愈。明當消息病之狀候，不可亂投湯藥，虛其胃氣也。經言脈微不可吐，虛細不可下。又夏月亦不可下也，此醫之大禁也。脈有沉浮轉能變化，或人得病數日，方以告醫，雖云初覺，視病已積日在身，其疹瘵結成，非複發汗解肌所除，當診其脈，隨時情勢救解求免也，不可苟以次第為固，失其機要，乃致禍矣。此傷寒次第，病三日以內發汗者，謂當風解衣，夜臥失覆，寒溫所中，並時有疾疫賊風之氣而相染易，為惡邪所中也。至於人自飲食生冷過多，腹藏不消，轉動稍難，頭痛身溫，其脈實大者，便可吐下之，不可發汗也。

陳廩丘云：或問得病連服湯藥發汗，汗不出如之何？答曰：醫經云，連發汗汗不出者，死病也。吾思也，可蒸之如蒸中風法，熱溫之氣於外迎之，不得不汗出也。後以問張苗，苗云，曾有人做事疲極汗出，臥單簟中冷得病，但苦寒，諸醫與丸散湯，四日之內凡八過發汗，汗不出，苗令燒地布桃葉蒸之，即得大汗，於被中就粉敷身，使極燥乃起便愈，後數以此發汗，汗皆出也。人性自有難汗出者，非唯病使其然也，蒸之則無不汗出也。諸病發熱惡寒脈浮洪者，便宜發汗，溫粉粉之，勿令遇風，當發汗。而其人適失血及大下利，則不可大汗也，數少與桂枝湯，使體潤，汗出連日，當自解也。

論曰：凡人有少苦似不如平常，即須早道，若隱忍不治，冀望自瘥，須臾之間，以成痼疾。小兒女子益以滋甚。若時氣不和，當自戒謹。若小有不和即須治療，尋其邪由及在腠理，以時早治，鮮不愈者。患人忍之數日乃說，邪氣入臟則難可製止。雖和緩亦無能為也。癰疽疔腫，喉痺客忤，尤為其急，此自養生之要也。凡作湯藥，不可避晨夜時日吉凶，覺病須臾，即宜便治，不等早晚，則易愈矣。服藥當如方法，若縱意違師，不須治之也。凡傷寒多從風寒得之，始表中風寒，入裡則不消矣，未有溫覆而當不消也。凡得時氣病，五六日而渴欲飲水，飲不能多，不當與也。所以爾者，腹中熱尚少，不能消之，便更為人作病矣。若至七八日大渴欲飲水者，猶當依証而與之，與之勿令極意也。言能飲一斗者與五升。若飲而腹滿小便澀，若喘若噦，不可與之。忽然大汗出者，欲自愈也，人得病能飲水，欲愈也。凡溫病可針刺者五十九穴。又身之穴六百五十有五，其三十六穴灸之有害，七十九穴刺論曰：夫尋方學之要，以救速為貴。是以養生之家，常須預合成熟藥，以備倉卒之急，今具之於下。

辟溫第二

（方三十三首　濕　病証條）

屠蘇酒

辟疫氣令人不染溫病及傷寒之方。

大黃（十五銖）白朮　桂心（各十八銖）桔梗　蜀椒（各十五銖）烏頭（六銖）菝葜（十二銖）
上七味　咀絳袋盛，以十二月晦日日中懸沉井中令至泥。正月朔旦平曉出藥，置酒中煎　數沸，於東向戶中飲之。屠蘇之飲先從小起，多少自在，一人飲一家無疫，一家飲一裡無疫，飲藥酒得三朝，還滓置井中，能仍歲飲，可世無病。當家內外有井，皆悉著藥辟溫氣也。

（一方有防風一兩。

又　正月旦取東行桑根如指大長七寸，以丹塗之，懸門戶上，又令人帶之。

又方　正旦吞麻子、赤小豆各二七粒，又以二七粒投井中。

又方 常以七月七日合家吞赤小豆，向日吞二七枚。

又方 七月七日男吞大豆七枚，女吞小豆二七枚。

又方 神仙教人立春後有庚子日，溫蕪菁菹汁，合家大小並服，不限多少。

太乙流金散

辟溫氣方。

雄黃（三兩） 雌黃（二兩） 礬石（一兩半） 鬼箭羽（一兩半，即衛茅） 羊角（燒，二兩）
上五味治下篩，三角絳袋盛。一兩帶心前，並掛門戶上。若逢大疫之年，以月旦青布裹 一刀圭，中庭燒之。溫病患亦燒熏之。

雄黃散

辟溫氣方。

雄黃（五兩） 朱砂 菖蒲 鬼臼（各二兩）
上四味治下篩，以塗五心、額上、鼻人中及耳門。

殺鬼燒藥方

辟溫氣。

雄黃 丹砂 雌黃（各一斤） 羚羊角（ 羊角亦得） 蕪荑 虎骨 鬼臼 鬼箭羽 野 丈 人（即白頭翁） 石長生 豬屎 馬懸蹄（各三兩） 青羊脂 菖蒲 白朮（各八兩） 蜜 蠟（八斤）
上十六味末之，以蜜蠟和為丸如彈許大，朝暮及夜中，戶前微火燒之。

虎頭殺鬼丸

辟溫方。

虎頭（五兩） 朱砂 雄黃 雌黃（各一兩半） 鬼臼 皂莢 蕪荑（各一兩）
上七味末之，以蜜蠟和為丸如彈子大，絳袋盛系臂，男左女右，懸屋四角，晦望夜半，中庭燒一丸。

辟溫殺鬼丸

熏百鬼惡氣方。

雄黃 雌黃（各二兩） 龍骨 龜甲 鯪鯉甲 皮（各三兩） 羊角 虎骨（各七 兩） 檮雞（十五枚） 空青（一兩） 芎 真珠（各五兩） 東門上雞頭（一兩）
上十三味末之，烊蠟二十兩，並手丸如梧子，正旦門戶前燒一丸，帶一丸，男左女右，辟百惡。獨宿吊喪問病各吞一丸小豆大，天陰大霧日燒一丸於戶牖前佳。

雄黃丸

漢建寧二年，太歲在酉，疫氣流行，死者極眾。有書生丁季回從蜀青城山來，東過南 陽，從西市門入，見患疫癘者頗多，遂於囊中出藥，人各惠之一丸。靈藥沾唇，疾無不瘥。

市中疫鬼數百千餘見書生施藥，悉皆驚怖而走。乃有鬼王見書生，謂有道法兼自施藥，感眾 鬼等奔走若是。遂詣書生欲求受其道法。書生曰，吾無道法，乃囊中之藥呈於鬼王，鬼王睹 藥，驚惶叩頭乞命而走。此方藥帶之入山能辟虎野狼蟲蛇，入水能除水怪蛟蜃。

雄黃 雌黃 曾青 鬼臼 真珠 丹砂 虎頭骨 桔梗 白朮 女青 川芎 白芷 鬼 督郵 蕪荑 鬼箭羽 藜蘆 菖蒲 皂莢(各一兩)
上十八味末之，蜜丸如彈子大，絹袋盛，男左女右帶之。卒中惡病及時疫，吞如梧子一丸，燒彈大一丸戶內。

赤散

辟溫疫氣傷寒熱病方。

藜蘆 躑躅花(各一兩) 丹皮 皂莢(各一兩六銖) 附子 桂心 真珠(各一兩) 細辛
上九味末之，納真珠合治之。分一方寸匕置絳囊中帶之，男左女右，著臂自隨。覺有病 之時，便以粟米大納著鼻中。又酒服一錢匕，覆取汗，日三服，當取一過汗耳。

又方 凡時行疫癘，常以月望日，細銼東引桃枝，煮湯浴之。

粉身散

辟溫病常用方。

川芎 白芷 本(各等分)
上三味治下篩，納米粉中以粉身。

斷溫疫轉相染著，乃至滅門延及外人，無敢視者方：

赤小豆 鬼箭羽 鬼臼 雄黃(各二兩)
上四味末之，以蜜和，服如小豆一丸，可與病患同床無妨。

預備一物柏枝散

天氣不和疾疫流行方。

取南向社中柏東南枝曝令乾，搗末，酒服方寸匕，神良。

治溫病令不相染方：

以桃樹中蠹屎末之，水服方寸匕。

又方 術豉等分，酒漬服之妙。

又方 赤豆一升，新布袋盛，納井中三日出，舉家服二七枚。

又方 松葉末之，酒服方寸匕，日三服。

治溫令不相染方：

新布袋盛大豆一升，納井中一宿出，服七枚。

又方 白蜜和上色朱砂粉一兩，以太歲日平旦，大小勿食，向東方立，吞服三七丸如麻子大，勿令齒近之，並吞赤小豆七枚，投井泉中。

治瘴氣方：蒜（五十子並皮碎之）豉心（一升）
上二味以三歲男兒尿二升煮五六沸，去滓服之。（蒜疑蔥之誤。）

又方 青竹茹二升，以水四升煮取三升，分作三服。

治患霧氣者，心內煩悶少氣，頭痛項急，起則眼眩欲倒，身微熱戰掉不安，時複憎寒，心中欲吐，吐時無物方：

新豬屎二升半，納好酒一升攪令散，以生布絞取汁，更以綿濾頓服之取盡。即地鋪暖臥 覆蓋，鋪前著火，當汗出。若得汗，當細細去上衣，勿使心寒，寒即不瘥，看汗自乾乃起。

慎風冷。亦治瘧及風勞蠱毒。

治肝腑臟溫病陰陽毒，頸背雙筋牽，先寒後熱，腰強急縮，目中生花方：

桂心（一兩） 白朮 芒硝 大青 梔子（各三兩） 柴胡（五兩） 石膏 生薑（各八兩） 生地黃 香豉（各一升）
上十味 咀，以水九升煮取三升，分三服。

治肝腑臟溫病陰陽毒，先寒後熱，頸筋攣牽，面目赤黃，身中直強方：

元參（一兩） 細辛（二兩） 梔子 黃芩 升麻 芒硝（各三兩） 石膏（三兩） 竹 葉（切，五升） 車前草（曝，切，二升）
上九味 咀，以水一斗半煮竹葉、車前，取七升去滓，下諸藥煎至三升，納芒硝，分三服。

治心腑臟溫病陰陽毒，戰掉不安驚動方：

大青 黃芩 梔子 知母 芒硝（各三兩） 麻黃（四兩） 元參（六兩） 石膏 生葛根（各八兩） 生地黃（切，一升）
上十味 咀，以水九升煮取三升，去滓，納芒硝，分三服。

治脾腑臟溫病陰陽毒，頭重頸直，皮肉痺，結核隱起方：

大青 羚羊角 升麻 射干 芒硝（各三兩） 梔子（四兩） 寒水石（五兩） 元參（八兩）
上八味 咀，以水七升煮取三升，分三服。

治肺腑臟溫病陰陽毒，咳嗽連續聲不絕嘔逆方：

麻黃 梔子 紫菀 大青 元參 葛根(各三兩) 桂心 甘草(各二兩) 杏仁 前胡((各四兩) 石膏(八兩)
上十一味 咀，以水九升煮取三升，分三服。

治腎腑臟溫病，身面如刺，腰中欲折，熱毒內傷方：

茵陳蒿 梔子 芒硝(各三兩) 苦參 生葛(各四兩) 生地黃 石膏(各八兩) 蔥 白 豉(各一升)
上九味 咀，以水九升煮取二升半，下芒硝，分三服。

葳蕤湯

治風溫之病，脈陰陽俱浮，汗出體重，其息必喘，其形狀不仁嘿嘿，但欲眠，下之者則小便難，發其汗者必語，加燒針者則耳聾難言，但吐下之則遺矢便利，如此疾者，宜服之方。

葳蕤 白薇 麻黃 獨活 杏仁 川芎 甘草 青木香(各二兩) 石膏(三兩)
上九味 咀，以水八升煮取三升，去滓，分三服，取汗。若一寒一熱，加朴硝一分及 大黃三兩下之。(《短劇方》云：葳蕤湯治冬溫及春月中風，傷寒則發熱頭腦痛，咽喉乾，舌強胸內疼，心胸痞滿，腰背強。)

傷寒膏第三

(方三首)

青膏

治傷寒頭痛，項強，四肢煩疼方。

當歸 川芎 蜀椒 白芷 吳茱萸 附子 烏頭 莽草(各三兩)
上八味 咀，以醇苦酒漬之，再宿以豬脂四斤煎令藥色黃，絞去滓，以溫酒服棗核大三枚，日三服，取汗，不知稍增。可服可摩。如初得傷寒，一日苦頭痛背強，宜摩之佳。

黃膏

治傷寒敕色頭痛項強賊風走注方。

大黃 附子 細辛 乾薑 蜀椒 桂心(各半兩) 巴豆(五十枚)
上七味 咀，以醇苦酒漬一宿，以臘月豬脂一斤煎之，調適其火，三上三下藥成。傷寒 赤色發熱，酒服如梧子大一枚。又以火摩身數百過，兼治賊風絕良。風走肌膚，游風所在，摩之神效。此趙泉方也。

白膏

治傷寒頭痛，向火摩身體，酒服如杏核一枚，溫覆取汗，摩身當千過，藥力乃行，並

治惡瘡、小兒頭瘡，牛領馬鞍皆治之。先以鹽湯洗之，以布拭之敷膏。癰腫火炙摩千過，日再自消者方。

天雄 烏頭 莽草 羊躑躅(各三兩)
上四味 咀, 以苦酒三升漬一宿, 作東向露灶又作十二, 聚濕土各一升許大, 取成煎 豬脂三斤, 著銅器中, 加灶上炊以葦薪令釋, 納所漬藥炊令沸, 下著土聚上, 沸定複上, 如是十二過, 令土盡遍, 藥成去滓。傷寒咽喉痛, 含如棗核一枚, 日三。摩時令勿近目。

發汗散第四

(方十一首)

度瘴發汗青散

治傷寒敕色, 惡寒發熱, 頭痛項強體疼方。

麻黃(三兩半) 桔梗 細辛 吳茱萸 防風 白朮(各一兩) 烏頭 乾薑 蜀椒 桂心(各一兩六銖)
上十味治下篩, 溫酒服方寸匕, 溫覆取汗, 汗出止。若不得汗, 汗少不解, 複服如法。

若得汗足, 如故頭痛發熱, 此為內實, 當服 豉丸。若翟氏丸。如得便頭重者, 可以二大豆 許, 納鼻孔中, 覺燥涕出, 一日可三四度, 必愈。兼辟時行病。

五苓散

主時行熱病但狂言煩躁, 不安, 精彩言語不與人相當者方。

豬苓 白朮 茯苓(各十八銖) 桂心(十二銖) 澤瀉(三十銖)
上五味治下篩, 水服方寸匕, 日三, 多飲水, 汗出即愈。

崔文行解散

治時氣不和傷寒發熱者方。

桔梗 細辛(各四兩) 白朮(八兩) 烏頭(一斤)
上四味治下篩, 若中傷寒服錢五匕, 覆取汗解。若不覺, 複小增之, 以知為度。若時氣不和, 旦服錢五匕。辟惡氣欲省病者服一服, 皆酒服。

六物青散

治傷寒敕色惡寒方。

附子 白朮(各一兩六銖) 防風 細辛(各一兩十八銖) 桔梗 烏頭(各三兩十八 銖)
上六味治下篩, 以溫酒服錢五匕, 不知稍增之。服後食頃不汗出者, 進溫粥一杯以發之, 溫覆汗 可也。勿令流離, 勿出手足也, 汗出止。若汗大出不止者, 溫粉粉之, 微者不須粉。不得汗者, 當更服之。得汗而不解者, 當服神丹丸。

青散

治春傷寒頭痛發熱方。

苦參 濃朴 石膏(各三十銖) 大黃 細辛(各二兩) 麻黃(五兩) 烏頭(五枚)
上七味治下篩。覺傷寒頭痛發熱，以白湯半升和藥方寸匕投湯中，熟訖去滓盡服覆取汗，汗出溫粉粉之良久。一服不除，宜重服之。或當微下利者，有大黃故也。

詔書發汗白薇散

治傷寒三日不解者方。

白薇(十二銖) 杏仁 貝母(各十八銖) 麻黃(一兩八銖)
上四味治下篩，酒服方寸匕，自覆臥汗出即愈。

華佗赤散

治傷寒頭痛身熱，腰背強引頸，及中風口噤瘧不絕，婦人產後中風寒經氣丹砂(十二銖) 蜀椒 蜀漆 乾薑 細辛 黃芩 防己 桂心 茯苓 人參 沙參 桔 梗女萎(即葳蕤) 烏頭(各十八銖) 雄黃(二十四銖) 吳茱萸(三十銖) 麻黃 代 赭(各二兩半)
上十八味治下篩，酒服方寸匕，日三。耐藥者二匕。覆令汗出。欲治瘧先發一時，所服 藥二匕半，以意消息之。細辛、薑、桂、丹砂、雄黃不熬，餘皆熬之。

赤散

治傷寒頭痛項強、身熱腰脊痛往來有時方。

乾薑 防風 沙參 細辛 白朮 人參 蜀椒 茯苓 麻黃 黃芩 代赭 桔梗 吳茱 萸(各一兩) 附子(二兩)
上十四味治下篩，先食，酒服一錢匕，日三。

烏頭赤散

治天行疫氣病方。

烏頭(一兩半) 皂莢(半兩) 雄黃 細辛 桔梗 大黃(各一兩)
上六味治下篩，清酒或井華水服一刀圭，日二，不知稍增，以知為度。除時氣疫病，若 牛馬六畜中水行疫，亦可與方寸匕，人始得病一日時，服一刀圭，取兩大豆許，吹注兩鼻孔 中。

水解散

治時行頭痛壯熱一二日方。

桂心 甘草 大黃(各二兩) 麻黃(四兩)
上四味治下篩，患者以生熟湯浴，訖以暖水服方寸匕，日三，覆取汗，或利便瘥。力強 人服二方寸匕。(《延年秘錄》有黃芩、芍藥各二兩。《古今錄驗》無甘草，有芍藥。治天行熱病生 瘡疼痛及解肌出汗)

治時病表裡大熱欲死方：

大黃 寒水石 芒硝 石膏 升麻 麻黃 葛根（各等分）
上八味治下篩，水服方寸匕，日三。

發汗湯第五

（例一首 方十九首）例曰：大法春夏宜發汗。凡發汗欲令手足皆周至 然一時間許益佳，但不可如水流離耳。若病不解，當更重發汗，汗出多則亡陽，陽虛不可重發汗也。凡服湯藥發汗中病便止，不必盡劑也。凡云可發汗而無湯者，丸散亦可用，要以汗出為解，然不及湯，隨証良驗。

凡病無故自汗出，複發其汗愈，衛複和故也。

夫脈浮者，病在外，可發汗，宜桂枝湯。

夫脈浮大而數者，亦可發汗，宜桂枝湯。

夫病常自汗出者，此為營氣和，營氣和而外不解，此為衛氣不和也。營行脈中，衛行脈外，複發其汗，衛和則愈，宜桂枝湯。

夫病患臟無他病，時時發熱自汗出而不愈者，此衛氣不和故也，先其時發汗則愈，宜桂枝湯。

太陽病，發熱汗出者，此為營弱衛強，故令汗出，欲救邪風，宜桂枝湯。

太陽病，頭痛發熱汗出惡風寒，宜桂枝湯。

太陽病，下之微喘者，表未解也，宜桂枝加濃朴杏仁湯。

太陽病外証未解者，不可下，宜桂枝湯。

太陽病，先發其汗，不解而複下之，其脈浮者不愈。浮為在外而反下之，故令不愈。今脈浮，故知在外，當須解表則愈，宜桂枝湯。

太陽病下之，氣上沖者，可與桂枝湯，不上沖，不可與。

凡桂枝本為解肌，若脈浮緊，發熱無汗者，勿與之，常知此，勿誤也。

桂枝湯

治中風其脈陽浮而陰弱，陽浮者熱自發，陰弱者汗自出。澀澀惡風，淅淅惡寒，翕翕發熱，鼻鳴乾嘔方。

桂枝 芍藥 生薑（各三兩） 甘草（二兩） 大棗（十二枚）
上五味 咀三物，切薑擘棗，以水七升煮棗令爛，去滓，乃納諸藥，水少者益之，煮令微沸，得三升，去滓。服一升，日三，小兒以意減之。初服少，多便得汗出者，小闊其間。

不得汗者，小促其間，令藥勢相及汗出，自護如法，特須避風。病若重，宜夜服。若服一劑 不解，病証不變者，當複服之。至有不肯汗出，服兩三劑乃愈。服此藥食頃，飲熱粥以助藥 力。

麻黃湯

治傷寒頭及腰痛，身體骨節疼，發熱惡寒，不汗而喘方。

麻黃（三兩） 桂枝 甘草（各一兩） 杏仁（七十枚，喘不甚用五十枚）
上四味 咀，以水九升煮麻黃減二升，去沫，納諸藥，煮取二升半，絞去滓，服八合，覆令汗。

大青龍湯

治中風傷寒，脈浮緊，發熱惡寒，身體疼痛，汗不出煩躁方。

麻黃（六兩） 桂心 甘草（各二兩） 石膏（如雞子一枚，碎） 生薑（三兩） 杏仁（四十枚） 大棗（十二枚）
上七味 咀，以水九升煮麻黃去沫，乃納諸藥，煮取三升，分服一升，濃覆，當大汗出，溫粉粉之即止，不可再服，服之則筋惕肉，此為逆也。不汗乃再服。

陽毒升麻湯

治傷寒一二日便成陽毒，或服藥吐下之後變成陽毒，身重腰背痛，煩悶不安，狂言，或走或見鬼，或吐血下痢，其脈浮大數，面赤斑斑如錦文，咽喉痛，唾膿血，五日可治，至七 日不可治宜服方。

升麻 甘草（各半兩） 當歸 蜀椒 雄黃 桂心（各六銖）
上六味 咀，以水五升煮取二升半，分三服，如人行五裡進一服，溫覆手足，毒出則汗，汗出則解，不解重作，服之得吐亦佳。（仲景無桂心有鱉甲手大一片，《肘後》與《千 金》同《古今錄驗》有梔子六銖、鱉甲如手一片。）

陰毒甘草湯

治傷寒初起一二日便結成陰毒，或服藥六七日以上至十日變成陰毒，身重背強，腹中絞痛，咽喉不利，毒瓦斯攻心，心下堅強，短氣不得息，嘔逆唇青面黑，四肢厥冷，其脈沉細 緊數，仲景云此陰毒之候，身如被打，五六日可治，至七日不可治也方。

甘草 升麻（各半兩） 當歸 蜀椒（各六銖） 鱉甲（一兩）
上五味 咀，以水五升煮取二升半，分三服，如人行五裡頃更進一服，溫覆發汗，毒 當從汗出，汗出則愈。若不汗則不除，重作服。（仲景方無蜀椒。）

陰旦湯

治傷寒肢節疼痛，納寒外熱虛煩方。

芍藥 甘草（各二兩） 乾薑 黃芩（各三兩） 桂心（四兩） 大棗（十五枚）
上六味 咀，以水一斗煮取五升，去滓，溫服一升，日三夜二，覆令小汗。

陽旦湯

`治傷寒中風脈浮，發熱往來，汗出惡風，頭項強，鼻鳴乾嘔，桂枝湯主之。隨病加減 如下方。

以泉水一斗煮取四升分服一升，日三。自汗者，去桂枝加附子一枚。渴者去桂加栝蔞根 三兩。利者去芍藥、桂，加乾薑三累、附子一枚炮。心下悸者，去芍藥加茯苓四兩。虛勞裡急正陽旦主之。煎得二升，納膠飴半斤，為再服。若脈浮緊發熱者，不可與之。

六物解肌湯

治傷寒發熱身體疼痛方。

葛根（四兩） 茯苓（三兩） 麻黃 牡蠣 生薑（各二兩） 甘草（一兩）
上六味 咀，以水八升煮取三升，分三服。再服後得汗，汗通即止。（《古今錄驗》無 生薑、甘草。）

解肌湯

治傷寒溫病方。

葛根（四兩） 麻黃（一兩） 黃芩 芍藥 甘草（各二兩） 大棗（十二枚）
上六味 咀，以水一斗煮取三升，飲一升，日三。三四日不解，脈浮者，宜重服發汗。脈沉實者，宜以 豉丸下之。（《延年秘錄》有桂心一兩。）

治疫氣傷寒三日以前不解者方：

香豉（一升綿裹） 蔥白（切一升） 童子小便（三升）
上三味，先熬豉蔥令相得，則投小便煮取二升，分再服，徐徐服之，覆令汗，神驗。

治傷寒時氣溫疫頭痛壯熱脈盛始得一二日者方：

丹砂一兩末之，以水一斗煮取一升，頓服之，覆取汗。

解肌升麻湯

治時氣三四日不解方。

升麻 芍藥 石膏 麻黃 甘草（各一兩） 杏仁（三十枚） 貝齒（三枚，一作貝母 十八 銖）
上七味 咀，以水三升煮取一升，盡服，溫覆發汗便愈。

葛根龍膽湯

治傷寒三四日不瘥，身體煩毒而熱方。

葛根（八兩） 龍膽 大青（各半兩） 升麻 石膏 葳蕤（各一兩） 甘草 桂心 芍藥 黃芩 麻黃（各二兩） 生薑（二兩）
上十二味 咀，以水一斗煮葛根取八升，納餘藥煮取三升，分四服，日三夜一。

治傷寒四五日頭痛壯熱四肢煩疼不得飲食方：

梔子仁 黃連 黃柏 大黃(各半兩) 好豉(一升) 蔥白(七莖)
上六味 咀，以水八升煮上四物六七沸，納後蔥白、豉煮得三升，頓服一升，日三服，湯訖溫覆，令汗出粉之，得汗便止。後服勿複取汗，不得汗者複服重發，此藥無忌，特宜老小，神良。

七物黃連湯

治夏月傷寒，四肢煩疼發熱，其人喜煩嘔逆支滿，劇如禍祟，寒熱相搏，故令喜煩方。

黃連 茯苓 黃芩(各十八銖) 芍藥 葛根(各一兩) 甘草(一兩六銖) 小麥(三合)
上七味 咀，以水七升煮取三升，冷分三服。不能一升者，可稍稍服之湯，勢安乃臥。藥主毒瓦斯，服湯之後胸中熱及咽喉痛皆瘥，明日複煮一劑，如法服之。此湯無毒，但除熱 下氣安病患。小兒服者取三分之一，以水四升煮得二升，稍稍服之。

三七湯

治傷寒中風得之三日至七八日不解，胸脅痛，四肢逆，乾嘔水漿不下，腹中宿食不消，重下血一日數十行方。

茯苓(如雞子大) 黃芩 人參(各三兩) 栝蔞根(四兩) 芒硝 乾地黃(各一升) 大黃
上九味搗篩令相得，以散三方寸匕，水一升煮令三沸，絞去滓，服之，日三，溫覆，汗出即愈，病劇與六七匕。

五香麻黃湯

治傷寒忽發腫，或著四肢或在胸背虛腫浮如吹狀，亦著頭面唇口頸項，劇者偏著腳脛外如軸大而不痛不赤，著四肢者乃欲不遂，悉主之方。

麝香(半兩) 薰陸香 雞舌香(各一兩) 沉香 青木香 麻黃 防風 獨活 秦艽 蕨 薤甘草(各二兩) 白薇 枳實(各二兩)
上十三味 咀，以水九升煮取三升，分三服，覆取汗後外摩防己膏。

治傷寒三日外與前藥不瘥脈勢仍數者，陽氣猶在經絡未入臟腑方：

桂枝 黃芩 甘草(各二兩) 升麻 葛根 生薑(各三兩) 芍藥(六兩) 石膏(八 兩) 梔子(二七枚)
上九味 咀，以水九升煮取二升七合，分三服，相去十裡久。若前兩服訖即得汗，後 服即停。不得汗更進一服，得汗即止。不得汗者明日去梔子加麻黃二兩，足水二升，再依方 服。

雪煎

治傷寒方。

麻黃(十斤) 大黃(一斤十三兩) 杏仁(一斗四升)
上三味 咀，以雪水五斛四斗漬麻黃於東向灶釜中三宿，納大黃攪令調，炊以桑薪煮得二斛，去滓，複納釜

中，搗杏仁，納汁中，複炊之，可餘六七斗汁，絞去滓，置銅器中，又以雪水三斗合煎之，攪令調，得二斗四升，藥成可丸，冷凝，丸如彈丸。有病者以三沸白湯五

發汗丸第六

（方二首）

神丹丸

治傷寒敕澀，惡寒發熱，體疼者方。

附子　烏頭（各四兩）　人參　茯苓　半夏（各五兩）　朱砂（一兩）
上六味末之，蜜丸，以真丹為色，先食服，如大豆二丸，生薑湯下，日三，須臾進熱粥二升許，重覆出汗止。若不得汗，汗少不解複服如前法。若得汗足應解而不解者，當服桂枝湯。此藥多毒，熱者令飲水，寒者溫飲解之。治瘧先發服二丸。（《要略》用細辛不用人參

麥奴丸

治傷寒五六日以上不解，熱在胸中，口噤不能言，惟欲飲水，為壞傷寒。醫　所不能治成為死人，精魂已竭，心下才溫，以杖發其口開灌藥咽中，藥得下即愈。麥奴丸一曰黑奴丸，二曰水解丸。

釜底墨　灶突墨　梁上塵　麥奴　黃芩　大黃　芒硝（各一兩）　麻黃（二兩）
上八味末之，蜜丸，如彈子大，以新汲水五合研一丸破漬置水中，當藥消盡服之，病者渴欲飲水，極意不問升數，欲止複強飲，能多飲為善，不欲飲水當強飲。服藥須臾當寒，寒　竟

宜吐第七

（例一首　方二首）例曰：大法春宜吐，凡服吐藥，中病便止，不必盡劑也。

病如桂枝証，頭不痛項不強，而脈寸口浮，胸中硬滿，氣上沖咽喉不得息者，此以內有久　病胸上諸寒，胸中郁郁而痛不能食，欲得使人按之，反有涎出，下利日十餘行，而其人脈　少陰病，飲食入口即吐，心中愠愠然欲吐，複不能吐者，宜吐之，宿食在上脘宜吐之。

病手足逆冷脈乍結者，客氣在胸中，心下滿而煩，飢不能食者，以病在胸中，宜吐之。

瓜蒂散

病如桂枝証，頭不痛，項不強，寸脈微浮，胸中痞堅，氣上沖咽喉不得息者，此為胸有寒也，宜吐之方。

瓜蒂　赤小豆（各一兩）
上二味治下篩，取一錢匕，香豉一合，熟湯七合煮作稀粥，去滓，取汁和散，溫頓服之，不吐者少少加，得快吐乃止。（張文仲以白湯三合和服。）

水道散

治時氣病，煩熱如火，狂言妄語欲走方。

甘遂（半兩） 白芷（二兩） 大黃（四兩） 濃朴（八兩） 枳實（五枚） 芒硝（三合）
上六味 咀，以水一斗先煮濃朴、枳實，取五升，去滓，納大黃煎取二升去滓，下芒 硝更煎一兩沸，分再服，得快利止。

宜下第八

（方八首

大承氣湯

治熱盛，腹中有燥屎， 語者方：

大黃（四兩） 濃朴（八兩） 枳實（五枚） 芒硝（五合）
上四味 咀，以水一斗先煮二物，取五升，去滓，納大黃煎取二升去滓，納芒硝更上微火一二沸，分溫再服，得下餘勿服。

抵當丸

下血方。

水蛭 虻蟲（各二十枚） 桃仁（二十二枚） 大黃（三兩）
上四味為末，蜜和合，分為四丸，以水一升煮一丸，取七合，頓服之。 時當下血，不下更服。

抵當湯

治同前。

水蛭 虻蟲（各三十枚） 桃仁（二十三枚） 大黃（三兩）
上四味 咀，以水五升煮取三升，去滓，服一升，不下更服。

承氣湯方

枳實（五枚） 芒硝（半斤） 大黃（四兩） 甘草（二兩）
上四味 咀，以水五升煮取二升，去滓，適寒溫分三服，如人行五裡進一服，取下利 為度，若不得利盡服之。

生地黃湯

治傷寒有熱，虛羸少氣，心下滿，胃中有宿食，大便不利方。

生地黃(三斤), 大黃(四兩) 甘草(一兩) 芒硝(二合) 大棗(二枚)
上五味合搗, 令相得, 蒸五升米, 下, 熟絞汁, 分再服。

大柴胡加葳蕤知母湯

治傷寒七八日不解, 默默心煩, 腹中有干屎, 語方。

柴胡(半斤) 葳蕤 知母(各二兩) 大黃 甘草(各一兩) 人參 黃芩 芍藥(各三兩) 生薑(五兩) 半夏(半升)
上十味 咀, 以水一斗煮取三升, 去滓, 服一升, 日三, 取下為效。(《集驗》用枳實 四枚, 不用芍藥。)

治傷寒頭痛壯熱百節疼痛方：

柴胡 梔子仁 芍藥 知母(各四兩) 升麻 黃芩 大青 杏仁(各三兩) 石膏(八 兩) 香豉(一升)
上十味 咀, 以水九升煮取二升七合, 分溫三服, 若熱盛加大黃四兩。

豉丸

治傷寒留飲宿食不消方。

豉(一升) 杏仁(六十枚) 黃芩 黃連 大黃 麻黃(各四兩) 芒硝 甘遂(各三兩) 巴豆(去油, 二百枚)
上九味為末, 以蜜和丸, 如大豆, 服二丸, 不得下者增之。(崔氏云此黃素方。

發汗吐下後第九

(脈証七首 方十七首 灸法一首) 傷寒已解半日許, 複心煩熱, 其脈浮數者, 可更發汗, 宜桂枝湯。凡發汗後飲水者, 必 喘, 宜慎也。

竹葉湯

治發汗後表裡虛煩不可攻者, 但當與此方。

竹葉(二把) 半夏(半升) 麥冬(一斤) 人參 甘草(各二兩) 生薑四兩) 石膏(一斤
上七味 咀, 以水一斗煮取六升, 去滓, 納粳米半升, 米熟去之, 分服一升, 日三。張 文仲不用生薑。

桂枝麻黃湯

服桂枝湯大汗後脈洪大者, 與桂枝湯。若形如瘧, 一日再發, 汗出便解者, 屬桂枝二麻黃一湯方。

桂枝(一兩十七銖) 麻黃(十六銖) 芍藥 生薑(各一兩六銖) 甘草(一兩二銖) 杏仁 (十六枚) 大棗(五枚)
上七味 咀, 以水五升煮麻黃再沸去沫, 納諸藥煮取二升, 適寒溫分再服, 取微汗而

小青龍湯

治傷寒表未解, 心下有水氣, 乾嘔發熱而咳, 或渴或痢或噎或小便不利、小腹滿或喘 者方。

桂心 麻黃 甘草 乾薑 芍藥 細辛(各三兩) 五味子 半夏(各半兩)
上八味 咀, 以水一斗煮麻黃減二升, 去上沫, 納諸藥煮取三升, 分三服, 相去十裡許 複服之。若渴者去半夏加栝蔞根三兩。若微痢去麻黃加薤花如一雞子大熬令赤色。若噎加附子一枚。若小便不利小腹滿者去麻黃加茯苓四兩。若喘去麻黃加杏仁半升, 數用神效。

四物甘草湯

治傷寒發汗出而喘, 無大熱, 與此方。

甘草(二兩) 麻黃(四兩) 石膏(半斤) 杏仁(五十枚)
上四味 咀, 以水七升先煮麻黃去沫, 令減二升, 納諸藥煎取三升, 分三服。

梔子湯

治發汗若下後煩熱, 胸中窒氣逆搶心者方。

梔子(十四枚) 香豉(四合, 綿裹)
上二味, 以水四升先煮梔子, 取二升半, 次納豉煮取一升半, 分二服, 溫進一服得快吐止後服。

濃朴湯

治發汗後腹脹滿方。

濃朴(八兩) 人參(一兩) 甘草(二兩) 生薑(八兩) 半夏(半升)
上五味 咀, 以水一斗煮取三升, 分三服。

玄武湯

治太陽病發汗汗出不解, 其人仍發熱, 心下悸, 頭眩, 身 動, 振振欲擗 茯苓 芍藥 生薑(各三兩) 白朮(二兩) 附子(一枚)
上五味 咀, 以水八升煮取二升, 溫服七合。

葛根黃連湯

治太陽病反下之利遂不止脈促者, 表未解喘而汗出者方。

葛根(半斤) 黃連 黃芩(各三兩) 甘草(二兩)
上四味 咀, 以水八升先煮葛根減二升, 納諸藥煮取二升, 去滓, 分再服。

茯苓湯

治傷寒發汗吐下後, 心下逆滿, 氣上沖胸, 起即頭眩, 其脈沉緊, 發汗則動經, 身為 振搖者方。

茯苓(四兩) 白朮 桂心(各三兩) 甘草(二兩)
上四味 咀, 以水六升煮取三升, 去滓分三服。

大陷胸丸

治結胸病，項亦強如柔痙狀，下之即和方。

大黃（八兩） 芒硝 杏仁（熬） 葶藶（各五兩）
上四味，搗篩大黃、葶藶，餘二味別研如脂和散，取如彈丸大一枚，甘遂末一錢匕，白 蜜二合，水一升，煮取八合，溫頓服之，病乃自下，如不下更服，取下為效。

傷寒六七日結胸熱實，其脈沉緊心下痛，按之正堅，宜大陷胸湯。

太陽病重發汗而複下之，不大便五六日，舌上干而渴，日晡小有潮熱，心胸大煩，從心下至小腹堅滿而痛不可近，其方如下。

大陷胸湯

甘遂末（一錢匕） 大黃（切，六兩）芒硝（一升）
上三味，以水六升先煮大黃取二升，去滓，納芒硝一沸，次納甘遂，分再服，一服得快 利止後服。

生薑瀉心湯

治傷寒發汗後，胃中不和，心下痞堅，乾噫食臭，脅下有水氣，腹中雷 生薑（四兩） 甘草 人參 黃芩（各三兩） 乾薑 黃連（各一兩） 半夏（半升） 大棗（十二枚）
上八味 咀，以水一斗煮取六升，去滓，分服一升，日三。

甘草瀉心湯

治傷寒中風，醫反下之，其人下痢，日數十行，穀不化，腹中雷鳴，心下痞堅結滿，干 嘔，心煩不能得安，師見心下痞謂病不盡，複下之，其痞益甚，此非結熱，但以胃中虛客氣上逆使之然也，宜治之方。

甘草（四兩） 黃芩 乾薑（各二兩） 黃連（一兩） 半夏（半升） 大棗（十二枚）
上六味 咀，以水一斗煮取六升，去滓。分服一升，日三。

白虎湯

治傷寒吐下後七八日不解，結熱在裡，表裡俱熱，時時惡風大渴，舌上乾燥而煩，欲 飲水數升者方。

石膏（一升） 知母（六兩） 甘草（二兩） 粳米（六合）
上四味 咀，以水一斗煮米熟，去滓，分服一升，日三。諸亡血及虛家不可與白虎湯。

若立夏後至立秋前得用之，立秋後不可服，春三月尚凜冷亦不可與之，與之則嘔利腹痛。

傷寒無大熱而口乾渴，心煩，背微惡寒，宜服白虎湯。

傷寒脈浮，發熱無汗，其表不解，不可與白虎湯。

渴欲飲水無表証，宜白虎湯。

若渴欲飲水，口燥舌乾者，宜白虎湯。

青葙子丸

治傷寒後結熱在內煩渴者方。

青葙子（五兩） 黃芩 栝蔞根 苦參（各一兩） 黃柏（二兩） 龍膽 梔子仁 黃連（各三兩）
上八味為末，蜜丸如梧子大，先食服七丸，日三，不知稍加。（一本云餳和為丸。）

大青湯

治傷寒熱病十日以上，發汗不解及吐下後諸熱不除，及下痢不止，斑出皆治 大青（四兩） 甘草 阿膠（各二兩） 豆豉（一升）
上四味 咀，以水八升煮取三升，去滓，煮三沸去豉，納阿膠令烊，頓服一升，日三服。欲盡複作，常使有餘，渴者當飲，但除熱止吐下，無毒。深師治勞複。（《肘後》有赤 石脂三兩。胡洽《集驗》同。）

治傷寒後不了了朝夕有熱如瘧狀方：

知母（二兩） 麻黃 甘草 芍藥 黃芩 桂心（各一兩）
上六味 咀，以水七升煮取二升半，服五合，日三，溫覆令微汗。若心煩不得眠，其人欲飲水，當稍稍飲之，令胃中和則愈。

灸法

初得病，或先頭痛身寒熱，或澀澀欲守火，或腰背強直，面目如飲酒狀，此傷寒初得一二日，但烈火灸心下三處。第一處去心下一寸名巨闕，第二處去心下二寸名上脘，第三處去 心下三寸名胃脘，各灸五十壯。然或人形大小不同，恐寸數有異，可繩度隨其長短寸數 最佳，取繩從心頭骨名鳩尾頭度，取臍孔，中屈繩取半，當繩頭名胃脘。又中屈半繩更分為 二分，從胃脘向上度一分即是上脘。又上度取一分即是巨闕。大人可灸五十壯，小兒可三壯，亦隨其年灸之大小以意斟量也。

若病者三四日以上，宜先灸胸上二十壯。以繩度鼻正上盡發際，中屈繩斷去半，便從發際入發中，灸繩頭名天聰，又灸兩顳，又灸兩風池，又灸肝俞百壯，餘處各二十壯，又灸太沖三十壯，神驗。

備急千金要方 卷十 傷寒方下

唐 孫思邈

（凡七類）

傷寒雜治第十

（論一首 方五十一首 灸法一首）論曰：凡除熱解毒無過苦酸之物，故多用苦參、青葙、艾、梔子、葶藶、苦酒、烏梅之屬，是其要也，夫熱盛非苦酸之物不解也。熱在身中，既不時治，治之又不用苦酸之藥，此如救火不以水也，必不可得脫免也。又曰，今諸療多用辛甘，薑、桂、人參之屬，此皆貴價難得，常有比行求之，轉以失時。而苦參、葶藶、青葙、艾之屬，所在盡有，除熱解毒最良，勝於向之貴價藥也。前後數參並用之，得病內熱者，不必按藥次也，便以青葙、苦參、艾、苦酒療之，但稍與促其間，無不解也。扁鵲曰：病在腠理，湯熨之所及。病在血脈，針石 之所及。病在骨髓，無可奈何？而凡醫治病或言且待使病成乃頓去之，此為妄矣，當預約束家中及所部曲，具語解此意，使有病者知之為要。

治溫氣病欲死方：

苦參一兩，以酒二升煮取一升，盡飲之，當吐，則除諸毒病，服之覆取汗皆愈（張文 仲及《肘後》云，治熱毒瓦斯垂死，破棺千金湯。）

苦參湯

治熱病五六日以上方。

苦參（三兩） 黃芩（二兩） 生地黃（八兩）
上三味 咀，以水八升煎取二升，適寒溫服一升，日再。

凝雪湯

治時行毒病七八日，熱積聚胸中煩亂欲死，起死人拓湯方。

芫花一升，以水三升煮取一升半，漬故布敷胸上，不過三敷，熱即除，當溫暖四肢護厥逆也。

栝蔞湯

治傷寒中風五六日以上，但胸中煩，乾嘔方。

栝蔞實（一枚） 黃芩 甘草（各三兩） 生薑（四兩） 大棗（十二枚） 柴胡（八兩）
上六味 咀，以水一斗二升煮取五升，絞去滓，適寒溫服一升，日三。

蘆根飲子

治傷寒後嘔噦反胃及乾嘔不下食方。

生蘆根（切） 青竹茹（各一升） 生薑（三兩） 粳米（三合）
上四味，以水七升先煮千裡鞋底一只，取五升澄清，下藥煮取二升半，隨便飲，不瘥，重作取瘥。

治傷寒後嘔噦方：通草（三兩） 生蘆根（切，一升） 橘皮（一兩） 粳米（三合）
上四味 咀，以水五升煮取二升，隨便稍飲，不瘥更作，取瘥止。

治傷寒後虛羸少氣嘔吐方：

石膏　麥冬　半夏(各一升)　竹葉(二把)　人參(二兩)
上五味　咀，以水一斗煮取六升，去滓，納粳米一升，米熟湯成，飲一升，日二服。

一方加生薑五兩。(此方是仲景竹葉湯方，前卷汗後門中已有，但少甘草，分兩小別。)

治毒熱攻手足赤腫　熱疼痛欲脫方：

煮馬屎若羊屎汁漬之，日三度。

又方　濃煮虎杖根，適寒溫以漬手足令至踝上一尺止。

又方　稻穰灰汁漬之。

又方　取好酒煮苦參漬之。

又方　豬膏和羊屎塗之亦佳。

又方　取常思草絞取汁漬之(一名蒼耳。)

漏蘆連翹湯

治時行熱毒變作赤色癰疽丹疹、熱毒赤腫及眼赤痛生障翳方。

漏蘆　連翹　黃芩　麻黃　白薇　甘草(各二兩)　枳實　大黃(各三兩)　兩)
上九味　咀，以水九升煮取三升，分三服，相去如人行五裡久，更服。熱盛者可加芒　硝二兩。

豬膽湯

治傷寒五六日斑出方。

豬膽　苦酒(各三合)　雞子(一枚)
上三味合煎三沸，強者盡服之，羸者須煎六七沸，分為二服，汗出即愈。

治人及六畜時氣熱病豌豆瘡方：

濃煮黍穰汁洗之。一莖是　穰，即不瘥，瘡若黑者，搗蒜封之。

又方　煮芸苔洗之。

治熱病後豌豆瘡方：

黃連三兩，以水二升煮取八合，頓服之。

又方　真波斯青黛大如棗，水服之瘥。

又方 青木香二兩，以水三升煮取一升，頓服之愈。

又方 小豆末、雞子白和敷之。

木香湯

治瘡出煩疼者方。

青木香（二兩） 薰陸香 礬石 丁香（各一兩） 麝香（半兩）
上五味 咀，以水四升煮取一升半分再服。熱毒盛者加犀角一兩，無犀角以升麻代之。

病輕者去礬石，神驗。

又方 芒硝和豬膽塗上勿動，痂落無痕，仍臥黃土末上良。此病小便澀有血者，內壞瘡皆黑靨，不出膿者死，不治也。

治內發瘡盛方：

酢（四合） 大豬膽（一具）
上二味合煎三沸，服一合，日五，服之良。

治豌豆瘡初發覺欲作者方：

煮大黃五兩，服之愈。

治時行病發瘡方：

取好蜜遍身摩瘡上，亦可以蜜煎升麻摩之並數數食之。

又方 灸兩手腕研子骨尖上三壯，男左女右。

治傷寒鼻衄肺間有餘熱故也，熱因血自上不止，用此方：

牡蠣（一兩半） 石膏（一兩六銖）
上二味治，下篩，酒服方寸七，日三四。亦可蜜丸如梧子大，用治大病瘥後小勞便鼻衄者。

治傷寒熱病喉中痛閉塞不通方：

生烏扇（一斤，切） 豬脂（一斤）
上二味合煎，藥成去滓，取如半雞子大，薄綿裹之，納喉中稍稍咽之取瘥。

又方 升麻 芍藥 羚羊角（各三兩） 通草（四兩） 射干（二兩） 生蘆根（切，一升）
上六味 咀，以水七升煮取二升半，分作三服。

治熱病口中苦下氣除熱喉中鳴煎方：

石膏(半升) 蜜(一升)
上二味以水三升先煮石膏取二升，次納蜜複煎取如餳，含如棗核許，盡複含之大良。

治傷寒熱病後口乾喜唾咽痛方：

大棗(二十枚) 烏梅(十枚)
上二味合搗蜜和，含如杏核大，咽其汁甚驗。

赤石脂禹余糧湯

傷寒服湯藥而下利不止，心下痞堅，服瀉心湯。竟複以他藥下之，利不止，醫以理中與之而利益甚，理中治中焦，此利在下焦治之方：

禹余糧 赤石脂(各一斤，碎)
上二味以水六升煮取二升，分三服，複利不止者，當利其小便。

治傷寒後下利膿血方：

阿膠(一兩) 黃柏(二兩) 黃連(四兩) 梔子仁(十四枚)
上四味 咀，以水六升煮取二升，去滓，納阿膠更煎，令消，分為三服。(《甲乙》方無黃柏，有黃芩。)

治赤白下膿，小兒得之三日皆死，此有 蟲在下部方：

麝香 礬石 巴豆 附子 真珠 雄黃(等分
上六味治合，取桑條如箭竿長三寸，以綿纏頭二寸，唾濡綿展，取藥著綿上，納穀道中半日，複易之，日再，神效。

麻黃升麻湯

治傷寒六七日，其人大下後脈沉遲，手足厥逆，下部脈不至，咽喉不利，唾膿血，泄利不止，為難治者方。

麻黃 知母 萸蓼(亦作菖蒲) 黃芩(各三兩) 升麻 芍藥 當歸 乾薑 石膏 茯苓 白朮 桂心 甘草 麥冬(各二兩《傷寒論》作天門冬)
上十四味 咀，以水一斗先煮麻黃減二升，去上沫，納諸藥煮取三升，分服一升，微取汗愈。

治溫毒及傷寒內虛外熱攻胃，下黃赤汁及爛肉汁赤滯下，伏氣腹痛諸熱毒方：

梔子(二十枚) 豉(一升) 薤白(一握)
上三味以水四升，先煮梔子、薤白令熟，次納豉煮取二升半，分三服，頻服取瘥。

治病後虛腫方：

豉五升 醇酒一斗
上二味煮三沸，及熱頓服。不耐酒者隨性覆取汗。

治汗不止方：

地黃三斤切，以水一斗煮取三升，分作三服。

又方　白朮葉作飲飲之。

又方　白朮方寸七，以飲服之。

治卒得汗不止方：

以溫酒服牛羊脂愈。（一云服牛羊屎亦止。）

治盜汗及汗無時方：

以韭根四十九枚，水二升煮一升，頓服之。

又方　豉一升，以酒二升漬三日，服不瘥，更合服，不過三劑即止。

止汗方：

杜仲　牡蠣（等分）
上二味治下篩，臨夜臥，以水服五錢匕。

牡蠣散

治臥即盜汗，風虛頭痛方。

牡蠣　白朮　防風（各三兩）
上三味治，下篩，酒服方寸七，日二。此方一切泄汗，服之三日皆愈。

又方　牡蠣　雷丸　麻黃根（各三兩）乾薑　甘草（各一兩）米粉（二升）
上六味治，下篩，隨汗處粉之。

勞複第十一

（論二首　方十八首　食忌九條）論曰：凡熱病新瘥及大病之後，食豬肉及羊血肥魚油膩等必當大下利，醫所不能治也，必至於死。若食餅餌粢黍飴哺膾炙棗栗諸果物。脯　及堅實難消之物，胃氣尚虛弱不能消化，必更結熱。適以藥下之，則胃氣虛冷，大利難禁，不下之必死，下之複危，皆難救也。熱病及大病之後多坐此死，不可不慎也。

病新瘥後，但得食糜粥，寧少食令飢慎勿飽，不得他有所食，雖思之，勿與之也，引日轉久，可漸食羊肉白糜若羹汁雉兔鹿肉，不可食豬狗肉也。新瘥後當靜臥，慎勿早起。梳頭洗面，非但體勞，亦不可多言語用心使意勞煩，凡此皆令人勞複，故督郵顧子獻得病已瘥未健，請華佗視脈，曰，雖瘥尚虛未得複，陽氣不足，慎勿勞事，余勞尚可，女勞則死，當吐舌數寸。其婦聞其夫瘥，從百餘裡來省之，經宿交接，中間三日發熱口噤，臨死舌出數寸。

病新瘥未滿百日，氣力未平複，而犯房室略無不死。有士蓋正者，疾愈後六十日已能行射獵，犯房室即吐涎而死。及熱病房室名為陰陽易之病，皆難治多死。近者有一士大夫小得傷寒瘥已十餘日，能乘馬往來，自謂平複，犯房室即小腹急痛，手足拘攣而死。

時病瘥後未滿五日，食一切肉面者，病更發大困。

時病瘥後新起飲酒及韭菜，病更發。

時病新瘥食生魚，下利必不止。

時病新瘥食生菜，令顏色終身不平複。

時病新瘥汗解飲冷水者，損心包，令人虛不複。

時病新瘥食生棗及羊肉者，必膈上作熱蒸。

時病新瘥食羊犬等肉者，必作骨中蒸熱。

時病新瘥食魚肉與瓜生菜令人身熱。(一本作腫。

時病新瘥食蒜膾者，病發必致大困。

黃龍湯

治傷寒瘥後更頭痛壯熱煩悶方。(仲景名小柴胡湯。

柴胡(一斤) 半夏(半斤) 黃芩(三兩) 人參(二兩) 甘草(二兩) 生薑(四兩) 大棗(十二枚)
上七味 咀，以水一斗煮取五升，去滓，服五合，日三。不嘔而渴者去半夏，加栝蔞根 四兩。

補大病後不足虛勞方(萬病虛勞同用：

取七歲以下五歲以上黃牛新生者乳一升，以水四升煎取一升，如人體溫稍稍飲之，不得過多，十日服不絕為佳。

枳實梔子湯

治大病瘥後勞複者方。

枳實(三枚) 梔子(十四枚) 豉(一升，綿裹)
上三味 咀，以酢漿七升，先煎減三升，次納枳實、梔子煮取二升，次納豉煮五六沸，去滓，分再服，覆取汗。如有宿食者納大黃，如博棋子五六枚。

治傷寒溫病後勞複或食或飲或動作方：

梔子仁(三七枚) 石膏(五兩) 香豉(一升) 鼠屎(尖頭大者二十枚)
上四味 咀，以水七升煮取三升，分三服。

治食大飽不消、勞複、脈實者方：

豉（一升） 鼠屎（二十枚） 梔子（七枚） 大黃（三兩）
上四味 咀，以水六升煮取二升，分三服，微取汗，應小鴨溏者止，不溏者複作。

治新瘥早起及食多勞複方：

豉（五合） 鼠屎（尖頭者二十一枚）
上二味，以水二升煮取一升，盡服之，溫臥令小汗愈。崔氏加梔子七枚尤良。（《肘後》有麻子仁一升，加水一升。亦可納枳實三枚，蔥白一虎口）

治重病新瘥，早起勞及飲食多致發欲死方：

燒鱉甲末飲服方寸匕。

治病新瘥，遇美飲食食過多，食複者方：

取所食餘燒為末，飲調服二錢匕，日三服。

麥門冬湯

治勞複氣欲絕起死人方。

麥門冬（一兩） 甘草（二兩） 京棗（二十枚） 竹葉（切，一升）
上四味 咀，以水七升煮粳米一升令熟去米，納諸藥煎取三升，分三服，不能服者綿滴湯納口中用之有效。

治食勞方：

面二升煮取汁服之。

又方 杏仁五十枚，以酢二升煎取一升，服之取汗。

欲令病患不複方：

燒頭垢如梧桐子大，服之。

治傷寒瘥後一年，心下停水不能食者方：

生地黃（五斤） 白朮（一斤） 好曲（二斤）
上三味合搗，令相得，曝乾下篩，酒服方寸匕，日三，加至二匕。

論曰：婦人溫病雖瘥，若未平複、血脈未和、尚有熱毒而與之交接，得病者名為陰易病。

其人身體重，熱上沖胸，頭重不能舉，眼中生眵（一作膜來），四肢（一云膝脛）拘急、小解離，經脈緩弱血氣虛，骨髓竭便噓噓吸吸，氣力轉少，著床不能動搖，起止仰人或引歲月方死。醫者張苗說，有婢得病瘥後數十日，有六人奸之皆死。

治婦人得病易丈夫，丈夫得病易婦人方：

取女人中 近隱處燒服方寸七，日三，小便即利，陰頭微腫，此為愈矣。女人病可取男，一如此法。

治交接勞複，陰卵腫縮，腹中絞痛便欲死方：

取所交接婦人衣服，以覆男子立愈。

令病患不複方：

取女人手足爪二十枚，女人中衣帶一尺燒，以酒若米飲汁服之。

治男子新病起近房內複者方：

取女人月經赤帛燒服方寸七，亦治陰卵腫縮入腹絞痛欲死。

治病後發亂不可理，通頭法：

生麻油二斤，將頭發解開安銅沙羅中，用油淹漬之，細將釵子理發斯須並自通矣。

百合第十二

（論二首 方七首）論曰：百合病者，謂無經絡百脈一宗悉致病也。皆因傷寒虛勞，大病已後不平複，變成斯病。其狀惡寒而嘔者，病在上焦也，二十三日當愈。其狀腹滿、微喘、大便堅，三四日一大便，時複小溏者，病在中焦也，六十三日當愈。其狀小便淋瀝難者，病在下焦也，三十三日當愈。各隨其証以治之。百合之為病令人意欲食，複不能食，或有美時，或有不用聞飲食臭時，如有寒其實無寒，如有熱其實無熱，常默默欲臥複不得眠，至朝口苦小便赤澀，欲行複不能行，諸藥不能治，治之即劇吐利，如有神靈所為也。百合病身形如和其脈微數，其候每溺時即覺頭痛者，六十日乃愈。百合病候之溺時頭不覺痛，淅淅然寒者四十日愈。百合病候之溺時覺快，然但覺頭眩者二十日愈。百合病証，其人或未病而預見其候者，或已病四五日而出，或一月二十日後見其候者，治之善誤也，依証治之。

論曰：百合病見在於陰而攻其陽，則陰不得解也，複發其汗為逆也。見在於陽而攻其陰，則陽不能解也，複下之其病不愈。（《要略》云，見於陽者以陽法救之，見於陰者以陰法解之。見陽攻陰複發其汗，此為逆其病，難治。見陰攻陽乃複下之，此亦為逆其病難治。）

百合知母湯

治百合病已經發汗後更發之方。

百合（七枚，擘） 知母（三兩）
上二味，以泉水先洗漬百合一宿，當沫出水中，明旦去水。取百合更以泉水二升煮取一升置之。複取知母切，以泉水二升煮取一升，汁合和百合汁中，複煮取一升半，分再服，不瘥更依法合服。

百合滑石代赭湯

治百合病下後更發者方。

百合(七枚，擘) 滑石(三兩) 代赭(一兩)
上三味，先以泉水漬百合一宿，明旦去水，更以泉水二升煮百合取一升，去滓。又以水二升煮餘二味，取一升，納百合汁，如前法複煎取一升半，分再服。

百合雞子湯

治百合病已經吐後更發者方。

以百合七枚擘漬一宿去汁，以泉水二升煮取一升，取雞子黃一枚納汁中，攪令調，分再

百合地黃湯

治百合病始不經發汗吐下，其病如初者方。

以百合七枚擘，漬一宿去汁，以泉水二升煮取一升，納生地黃汁一升，複煎取一升半，分再服，大便當去惡沫為驗也。

治百合病經月不解變成渴者方：

百合根一升，以水一斗漬一宿，以汁先洗病患身，後食白湯餅，勿與鹽豉也，渴不瘥，可用栝蔞根並牡蠣等分為散，飲服方寸匕，日三。

治百合病變而發熱者方：

百合根(一兩，干) 滑石(三兩)
上二味治，下篩，飲服方寸匕，日三，當微利，利止勿複服，熱即除。(一本云治百合病

治百合病變腹中滿痛者方：

但取百合根隨多少，熬令黃色，搗篩為散，飲服方寸匕，日三，滿消痛止。

傷寒不發汗變成狐惑第十三

(論一首 方三首) 論曰：狐惑之病，其氣如傷寒默默然欲眠目不得閉，起臥不安。其毒在咽喉為惑病，在陰肛為狐病，狐惑之病並惡飲食聞食臭，其面目翕赤、翕白、翕黑，毒食於上者則聲喝也(喝一作嗄)，毒食下部者則干咽也，此由溫毒瓦斯所為。食於上者瀉心湯主之，食於下者苦參 湯淹洗之，食於肛外者熏之，並用雄黃三片稍置瓦瓶中，炭火燒，向肛熏之並服湯也。

治狐惑湯方：

黃連(四兩) 薰草(四兩)
上二味 咀，白酢漿一斗漬一宿，煮取二升，分三服。

赤小豆當歸散

其人脈數，無熱微煩，默默但欲臥，汗出，初得之三四日目赤如鳩眼，得之七八日其四 黃黑，能食者膿已成也，治之之方。

以赤小豆三升漬之，令生牙足，乃複干之，加當歸三兩為末，漿水服方寸七，日三，即 愈。

瀉心湯

其病形不可攻，不可灸。因火為邪，血散脈中，傷脈尚可，傷臟則劇，井輸益腫黃汁出，經合外爛，肉腐為癰膿，此為火疽，醫所傷也。夫脈數者不可灸，因火為邪，即為煩，因虛逐實血走脈中，火氣雖微，內攻有力，焦骨傷筋血難複也，應在瀉心。瀉心湯兼治下痢不止，腹中 堅而嘔吐，腸鳴者方。

半夏（半升） 黃芩 人參 乾薑（各三兩） 黃連（一兩） 甘草（三兩） 大棗（十二枚）
上七味 咀，以水一斗煮取六升，分服一升，日三。

傷寒發黃第十四

（論三首 証五首）方三十四首 針灸圖 論曰：黃有五種，有黃汗、黃膽、穀疸、酒疸、女勞疸。黃汗者，身體四肢微腫、胸滿、不渴、汗出如黃柏汁，良由大汗出卒入水中所致。黃膽者，一身面目悉黃，如橘由暴得熱 以冷水洗之，熱因留胃中，食生黃瓜熏上所致，若成黑疸者多死。穀疸者，食畢頭眩，心忪 怫 發赤斑黃黑，由大醉當風八水所致。女勞疸者，身目皆黃，發熱惡寒，小腹滿急，小便難，由大勞大熱而交接，竟入水所致，但依後方治之。

黃汗之為病，身體浮腫發熱，汗出不渴，狀如風水，汗沾衣色正黃如柏汁，其脈自沉，從何得之？此病以汗出入水中浴，水從汗孔入得之。

黃芩藥桂酒湯

治黃汗方。

黃（五兩） 芍藥（三兩） 桂心（三兩）
上三味 咀，以苦酒一升、水七升合煎取三升，飲一升，當心煩也，至六七日稍稍自除。

心煩者苦酒阻故也。

桂枝黃湯

治諸病黃膽宜利其小便，假令脈浮當以汗解方。

桂枝 芍藥 生薑（各三兩） 甘草（二兩） 黃耆（五兩） 大棗（十二枚）
上六味 咀，以水八升微火煎取三升，去滓，溫服一升，覆取微汗。須臾不汗者，飲 稀熱粥以助湯，若不汗更服湯。

麻黃醇酒湯方

治傷寒熱出表發黃膽方，麻黃三兩，以醇酒五升煮取一升半，盡服之，溫覆汗出愈。冬 月寒時用清酒，春月宜用水。

治黃膽方：

瓜蒂 秫米 赤小豆（各二七枚）
上三味治，下篩，病重者取如大豆二枚，納注鼻孔中痛縮鼻，須臾當出黃汁或從口中出 汁升餘則愈。病輕者如一豆，不瘥，間日複用。又下裡間，以筒使人極吹鼻中，無不死，大慎之。（《刪繁》療天行毒熱通貫臟腑沉伏骨髓之間，或為黃膽、黑疸、赤疸、白疸、穀疸、馬黃等病，喘息須臾不絕。）

大黃丸

治同前。

大黃 葶藶子（各二兩）
上二味為末，蜜和丸，如梧子大，未食每服十丸，日三，病瘥止。

又方 大黃（二兩） 黃連（三兩） 黃柏 黃芩（各一兩） 曲衣（五合）
上五味為末，蜜丸，如梧子大，先食服三丸，日三，不知加至五丸。

茵陳湯

治黃膽身體面目盡黃方。

茵陳 黃連（各三兩） 黃芩（二兩） 大黃 甘草 人參（各一兩） 梔子（二七枚）
上七味 咀，以水一斗煮取三升，分三服，日三。亦治酒疸、酒癖。

三黃散

治同前。

大黃 黃連 黃芩（各四兩）
上三味治，下篩，先食服方寸匕，日三。亦可為丸。

五苓散

治黃膽利小便方。

豬苓 茯苓 澤瀉 白朮 桂心（各三十銖）
上五味，搗篩為散，渴時水服方寸匕，極飲水即利小便，及汗出愈（此方與第九卷方相同

秦椒散

治黃膽飲少溺多方。

秦椒(六銖) 瓜蒂(半兩)
上二味治下篩，水服方寸匕，日三。

小半夏湯

治黃膽小便色不異，欲自利腹滿而喘者，不可除熱，熱除必噦方。

半夏 生薑(各半斤)
上二味 咀，以水七升煮取一升五合，分再服。有人常積氣結而死，其心上暖，以此湯 少許汁入口遂活。

治黃膽方：

取生小麥苗搗絞取汁，飲六七合，晝夜三四飲，三四日便愈。無小麥， 麥亦得用之。

治黃膽變成黑疸，醫所不能治者方：

土瓜根搗汁一小升，頓服，日一，平旦服至食時，病從小便出，先須量病患氣力，不得多服，力衰則起不得。

治發黃身面目悉黃如金色，小便如濃煮柏汁，眾醫不能療者方：

茵陳 梔子(各二兩) 黃芩 大黃 柴胡 升麻(各三兩) 龍膽(二兩)
上七味 咀，以水八升煮取二升七合，分三服。若身體羸去大黃加梔子仁五六兩，生地黃一升。(《延年秘錄》無茵陳，有梔子四兩、栝蔞三兩、芒硝二兩，《近效方》加枳實二兩。) 夫黃發已久變作桃皮色，心下有堅，嘔逆不下飲食，小便極赤少，四肢逆冷，脈深沉極微細 遲者，不宜服此方，得下必變 也。宜與大茵陳湯除大黃，加生地黃五兩，服盡湯，消息看 脈小浮出形小見，不甚沉微，便可治也。脈浮見者，黃當明，不複作桃皮色，心下自寬也。

大茵陳湯

治內實熱盛發黃，黃如金色，脈浮大滑實緊數者。夫發黃多是酒客勞熱，食少胃中熱，或溫毒內熱者，故黃如金色方。

茵陳 黃柏(各一兩半) 大黃 白朮(各三兩) 黃芩 甘草 茯苓 栝蔞根 前胡 枳實(各一兩) 梔子(二十枚)
上十一味 咀，以水九升煮取三升，分三服，得快下，消息三四日，更治之。

苦參散

治人無漸忽然振寒發黃，皮膚黃曲塵出，小便赤少，大便時閉，氣力無異，飲食不妨，已服諸湯散餘熱不除，久黃者宜吐下方。

苦參 黃連 瓜蒂 黃柏 大黃(各一兩) 葶藶(二兩)
上六味治，下篩，飲服方寸匕，當大吐，吐者日一服，不吐日再，亦得下服，五日知可消息，不覺退更服之，小折便消息之。

治發黃方：

茵陳 黃柏 梔子 大黃(各三兩) 黃連(二兩)
上五味 咀，以水九升煮取三升，分三服，先服湯後服丸。

大黃(五兩) 茵陳 梔子(各三兩) 黃芩 黃柏(各二兩)
上六味為末，蜜丸如梧子大，飲服二十丸，令微利。

麻黃連翹赤小豆湯

治傷寒瘀熱在裡，身體必發黃方。

麻黃 連翹 甘草(各二兩) 生薑(三兩) 大棗(十二枚) 杏仁(三十枚) 赤 小豆(一升)生梓白皮(二升，切)
上八味 咀，以勞水一斗，先煮麻黃去沫，次納諸藥，煎取三升，分三服。

茵陳湯

治傷寒七八日內實瘀熱結，身黃如橘，小便不利，腹微脹滿，宜下之方。

茵陳(六兩) 大黃(三兩) 梔子(十四枚)
上三味 咀，以水一斗二升，先煮茵陳取五升，去滓，次納梔子、大黃煎取三升，分服 一升，日三，小便當利如皂莢沫狀，色正赤，當腹減，黃悉隨小便去也。(范汪用療穀疸，《短劇方》用石膏一斤)

大黃黃柏梔子芒硝湯

治發黃腹滿，小便不利而赤，自汗出，此為表和裡實當下之方。

大黃(三兩) 黃柏 芒硝(各四兩) 梔子(十五枚)
上四味 咀，以水六升煮取二升，去滓，納芒硝緩煎取一升，先食頓服之。

茵陳丸

治時行病急黃，並瘴癘疫氣及 瘧方。

茵陳 梔子 芒硝 杏仁(各三兩) 巴豆(半兩) 恆山 鱉甲(各二兩) 豉(五合) 大黃(五兩)
上九味為末，以餳和丸，如梧子大，飲服三丸，以吐利為佳。不知加一丸。初覺體氣有異，急服之即瘥，神效。

治急黃熱氣骨蒸兩目赤脈方：

芒硝(一兩) 大黃(一兩半末) 生地黃汁(八合)
上三味合和，一服五合，日二，以利為度，不須二服。

治風疸小便或黃或白，洒洒寒熱，好臥不欲動方：

三月艾（一束搗，取汁銅器中煎如漆，密封之） 苦參 大黃 黃連 凝水石 栝蔞根 葶 藶（各六銖）
上七味以六味為末，艾煎和丸，如梧子大。先食服五丸，日二，可加至二十丸。有熱加 苦參，渴加栝蔞，小便澀加葶藶，小便多加凝水石，小便白加黃連，大便難加大黃。寸口脈 浮而緩，浮則為風，緩則為痺。痺非中風，四肢苦煩，脾色必黃，瘀熱以行。趺陽脈緊而數，數則為熱，熱則消穀，緊則為寒，食則滿也。尺脈浮為傷腎，趺陽脈緊為傷脾。風寒相搏，食穀即眩。穀氣不消，胃中苦濁，濁氣下流，小便不通，陰被其塞，熱流膀胱，身故盡黃，名曰穀疸。

治勞疸、穀疸丸：

苦參（三兩） 龍膽（一兩）
上二味為末，牛膽和為丸，如梧子大，先食以麥粥飲服五丸，日三，不知稍加之，（《刪 繁方》加梔子仁三七枚，以豬膽和為丸。） 夫人病酒疸者，或無熱，靖言了了，腹滿欲吐嘔者，宜吐之方，前苦參散七味者是酒疸，必小便不利，其候當心中熱，足下熱，是其証也。

夫酒疸下之久久為黑疸，目青面黑，心中如啖蒜薤狀，大便正黑，皮膚爪之不仁，其脈 浮弱，雖黑微黃故知之。

枳實大黃梔子豉湯

治傷寒飲酒，食少飲多，痰結發黃，酒疸心中懊惱，而不甚熱或乾嘔方。

枳實（五枚） 大黃（三兩） 豆豉（半升） 梔子（七枚）
上四味 咀，以水六升煮取二升，分三服，心中熱疼懊惱皆主之。

凝水石散 治肉疸，飲少小便多如白泔色，此病得之從酒方。

凝水石 白石脂 栝蔞根 桂心（各三十銖） 菟絲子 知母（各十八銖）
上六味治，下篩，麥粥飲服五分匕，日三服，五日知，十日瘥。

茯苓丸

治心下縱橫堅而小便赤是酒疸者方。

茯苓 茵陳 乾薑（各一兩） 白朮（熬） 枳實（各三十銖） 半夏 杏仁（各十八 銖） 甘
上十味為末，蜜和丸，如梧子大，空腹服三丸，日三，稍稍加，以小便利為度。（《翼 方》加黃連一兩，大黃十八銖，名茵陳丸，治黑疸，身體暗黑小便澀。）

半夏湯

治酒 蔭，胸心脹滿，骨肉沉重，逆害飲食，乃至小便赤黃，此根本虛勞風冷，飲食 沖心，由脾胃內痰所致方。

半夏(一升) 生薑 黃芩 當歸 茵陳(各一兩) 前胡 枳實 甘草 大戟(二兩) 茯苓白朮(各三兩)
上十一味 咀, 以水一斗煮取三升, 分作三服。

牛膽丸

治酒疸身黃曲塵出方。

牛膽(一枚) 芫花(一升) 薤花(半升) 瓜蒂(三兩) 大黃(八兩)
上五味四味 咀, 以清酒一斗漬一宿, 煮減半, 去滓, 納牛膽微火煎, 令可丸, 如豆 大, 服一丸, 日移六七尺。不知複服一丸至八丸, 膈上吐, 膈下下, 或不吐而自愈。

茵陳丸

治氣淋臚脹腹大, 身體面目悉黃, 及酒疸短氣不得息方。

茵陳 天門冬 梔子(各四兩) 大黃 桂心(各三兩) 通草 石膏(各二兩) 半夏(半 升)
上八味蒸, 大黃、通草、天冬、梔子、半夏曝令乾, 合搗篩, 蜜丸如大豆, 服三丸, 日三。忌生魚, 以豆羹服, 不得用酒。(一方去石膏, 納滑石二兩,)不知加至十丸。

硝石礬石散

治女勞疸方。

硝石 礬石(各半兩)
上二味治, 下篩, 大麥粥汁服方寸七, 日三, 重衣覆取汗, 病隨大小便出, 小便正黃, 大便正黑。

濕疸之為病, 始得之一身盡疼, 發熱面色黑黃, 七八日後壯熱, 熱在裡有血, 當下去之如豚肝狀, 其小腹滿者, 礬石滑石散急下之, 亦治一身盡黃目黃, 腹滿小便不利方 :

礬石 滑石(各五兩)
上二味治, 下篩, 以大麥粥汁服方寸七, 先食服之日三, 便利如血者已當汗出瘥。

滑石石膏散

滑石 石膏(等分
上二味治, 下篩, 大麥粥汁服方寸七, 日三, 小便極利則瘥。

針灸黃膽法

正面圖第一(寅門 上齦裡 上 挾人中 挾承漿 舌下 唇裡 顳 巨闕 上脘 陰縫)寅 病。

上齦裡穴 正當人中及唇, 針三, 治馬黃黃膽等病。

上 穴 入口裡邊在上縫赤白脈是, 針三, 治馬黃黃膽四時等病。

舌下穴 挾舌兩邊, 針治黃膽等病。

唇裡穴 正當承漿裡邊逼齒齦，針三，治馬黃黃膽寒暑溫疫等病。

顳 穴 在眉眼尾中間，上下有來去絡脈是。針灸之，治四時寒暑所苦疸氣溫病等。

挾人中穴 火針治馬黃黃膽疫通身並黃語音已不轉者。

挾承漿穴 去承漿兩邊各一寸，治馬黃急疫等病。

巨闕穴 在心下一寸，灸七壯，治馬黃黃膽急疫等病。

上脘穴 在心下二寸，灸七壯，治馬黃黃膽等病。

男陰縫穴 撥陰反向上灸，治馬黃黃膽等病。若女人玉門頭門頭是穴，男女針灸無灸無 在。

覆面圖第二（風府 熱府肺俞 心俞 肝俞 脾俞 腎俞 腳後跟）風府穴 在項後入發際一寸，去上骨一寸針之，治頭中百病馬黃黃膽等病。

熱府穴 在第一節下兩旁相去各一寸五分，針灸無在，治馬黃黃膽等病。

肺俞穴 從大椎數第三椎兩旁相去各一寸五分，灸主黃膽，通治百毒病。

心俞穴 從肺俞數第二椎兩旁相去各一寸五分。

肝俞穴 從心俞數第四椎兩旁相去各一寸五分。

脾俞穴 從肝俞數第二椎兩旁相去各一寸五分。

腎俞穴 從脾俞數第三椎兩旁相去各一寸五分。

腳後跟穴 在白肉後際針灸隨便，治馬黃黃膽寒暑諸毒等病。

側面圖第三（耳中 頰裡 手太陽 臂石子頭 錢孔 太沖）耳中穴 在耳門孔上橫梁是，針灸治馬黃黃膽寒暑疫毒等病。

頰裡穴 從口吻邊入往對頰裡去口一寸針，主治馬黃黃膽寒暑溫疫等病，頰兩邊同法 手太陽穴 手小指端，灸，隨年壯，治黃膽。

臂石子頭穴 還取病患手自捉臂，從腕中太澤（澤當作淵）紋向上一夫接白肉際，灸七 壯，治馬黃黃膽等病。

錢孔穴 度乳至臍中屈肋頭骨是，灸百壯，治黃膽。

太沖穴 針灸隨便，治馬黃黃膽溫疫毒等病。

溫瘧第十五

（論一首 方三十一首 灸刺法十九首 禳瘧法一首 符二首）論曰：夫瘧者皆生於風，夏傷於暑，秋為 瘧也。問曰：瘧先寒而後熱者何也？對曰 ：夫寒者陰氣也，風者陽氣也，先傷於寒而後傷於風，故先寒而後熱也，病以時作，名曰寒瘧。問曰：先熱而後寒者何也？對曰：先傷於風而後傷於寒，故先熱而後寒也，亦以時傷，名曰溫瘧。其但熱而不寒者，陰氣先絕，陽氣獨發，則少氣煩悶，手足熱而欲嘔，名曰癉瘧。

問曰：夫病溫瘧與寒瘧，而皆安舍，舍於何臟？對曰：溫瘧者，得之冬中於風寒，氣藏於骨髓之中，至春則陽氣獨發，邪氣不能自出，因遇大暑，腦髓爍，肌肉消，腠理發泄，因有所用力，邪氣與汗皆出，此病邪氣先藏於腎，其氣先從內出之於外也。如是則陰虛而陽盛，盛則病矣。衰則氣複反入，入則陽虛，虛則寒矣。故先熱而後寒，名曰溫瘧。問曰：癉瘧何如？對曰：癉瘧者，肺素有熱，氣盛於身，厥逆上沖，中氣實而不外泄。因有所用力，腠理開，風寒舍於皮膚之內分肉之間，發則陽氣盛，陽氣盛而不衰則病矣。其氣不及於陰，故但熱而 不寒，氣內藏於心而外舍於分肉之間，令人消爍脫肉，故命曰癉瘧。夫瘧之旦發也，陰陽之且移也，必從四肢始也。陽已傷陰從之，故氣未並，先其時一食頃用細左索緊束其手足十指，令邪氣不得入，陰氣不得出，過時乃解。

夫瘧脈自弦也，弦數者多熱，弦遲者多寒，弦小緊者可下之，弦遲者可溫之。若脈緊數 者可發汗，針灸之。脈浮大者吐之瘥。脈弦數者風發也，以飲食消息止之。

瘧歲歲發至三歲，或連月發不解者，以脅下有痞也。治之不得攻其痞，但得虛其津液。

先其時發其汗，服湯已，先小寒者引衣自覆，汗出小便利即愈。瘧者，病患形瘦，皮上必粟 起也。病瘧以月一日發，當以十五日愈。設不瘥當月盡解也，今不愈當云何？師曰：此病結 為瘕名曰瘧母，急當治之。

鱉甲煎丸

主治方。

成死鱉（十二斤治如食法，《要略》作鱉甲三兩） 半夏 人參 大戟（各八銖） 瞿 麥 阿膠 紫葳（一作紫菀） 牡丹皮 石韋 乾薑 大黃 濃朴 桂心 海藻（《要略》作赤 硝） 葶藶 蜣螂（各十二銖） 蜂窩 桃仁 芍藥（各一兩） 烏羽（燒，一作烏扇） 黃芩（各十八銖） 蟲 虻蟲（各三十銖《要略》作鼠婦） 柴胡（一兩半）
上二十四味為末，取 灶下灰一斗，清酒一斛五斗，以酒漬灰，取酒煮鱉甲盡爛泯泯如漆，絞去滓，下諸藥煎為丸，如梧子大，未食服七丸，日三。（仲景方無大戟海藻多赤硝。）

柴胡桔蔞根湯

治瘧而發渴者方。

柴胡（八兩） 黃芩 人參 甘草 生薑（各三兩） 大棗（十二枚） 桔蔞根（四兩）
上七味 咀，以水一斗二升煮取六升，去滓，煎取三升，溫服一升，日三。

蜀漆散

多寒者牡瘧也，治之方。

蜀漆 雲母 龍骨(等分)
上三味治，下篩，先未發一炊頃，以酢漿服半錢，臨發服一錢。溫瘧加蜀漆半分。雲母燒三晝夜。

牡蠣湯

牡瘧者多寒治之方。

牡蠣 麻黃(各四兩) 甘草(二兩) 蜀漆(三兩，無以恆山代之。

上四味先洗蜀漆三過去腥， 咀，以水八升煮蜀漆、麻黃得六升，去沫，乃納餘藥煮 取三升，飲一升，即吐出，勿複飲之。

有癉瘧者，陰氣孤絕，陽氣獨發而脈微，其候必少氣煩滿，手足熱欲嘔，但熱而不寒。

邪氣內藏於心，外舍於分肉之間，令人消爍脫肉也。

有溫瘧者，其脈平無寒時，病六七日，但見熱也，其候骨節疼煩時嘔，朝發暮解，暮發朝解，名溫瘧。

白虎加桂湯

治之方。

石膏(一斤) 知母(六兩) 甘草(二兩) 粳米(六合)
上四味 咀，以水一斗二升煮米爛去滓，加桂心三兩煎取三升，分三服，覆令汗，先寒 發熱汗出者愈。

麻黃湯

治瘧須發汗方。

麻黃 栝蔞根 大黃(各四兩) 甘草(一兩)
上四味 咀，以水七升煮取二升半，分三服，未發前食頃一服，臨發一服，服後皆濃覆 服汗。

治瘧或間日發者或夜發者方：

恆山 竹葉(各一兩) 秫米(一百粒) 石膏(八兩)
上四味 咀，以水八升銅器中漬藥，露置星月下高淨處，橫刀其上，明日取藥，於病患 房中以銅器緩火煎取三升，分三服，清旦一服，未發前食頃一服，臨發一服，三服訖，靜室 中臥，莫共人語，當一日勿洗面手及漱口，勿進食，取過時不發乃澡洗進食，並用藥汁塗五心胸前頭面，藥滓置頭邊，曾用神效。(《救急方》用烏梅二七枚)

又方 先作羊肉 面餅飽食之，並進少酒隨所能，令欣欣有酒氣入密室中，燃炭火濃覆 取大汗即瘥。

又方 燒黑牛尾頭毛作灰，酒服方寸七，日三。

恆山丸

治 瘧說不可具方。

恆山 知母 甘草 大黃(各十八銖) 麻黃(一兩)
上五味為末，蜜和丸，如梧子大，未食服五丸，日二，不知漸增，以瘥為度。《肘後》無大黃。

又方 治瘧經數年所不瘥者，兩劑瘥，一月以來一劑瘥方。

恆山三兩為末，為雞子白和，並手丸如梧子大，置銅器中。於湯中煮令熟殺腥氣則止，以竹葉飲服二十丸，欲吐但吐至發令得三服，時早可斷食，而晚不可斷食，可竹葉汁煮糜少 食之。

梔子湯

治同前。

梔子(十四枚) 秫米(十四粒) 恆山(三兩) 車前葉(二七枚，炙乾)
上四味 咀，以水九升煮取三升，分三服，未發一服，發時一服，發後一服，以吐利 四五行為度，不止，冷飯止之。

又方 恆山(三兩) 烏賊骨 升麻 鱉甲 附子(各一兩)
上五味 咀，絹袋盛，以酒六升漬之，小令近火轉之，一宿成一服，一合比發可數服 或吐下。

治瘧方： 鱉甲(方寸，炙) 烏賊骨(二寸) 附子(炮) 甘草(各一兩) 恆山(二兩)
上五味 咀，以酒二升半漬之，露一宿，明日塗五心手足過發時，瘧斷。若不斷可飲 一合許瘥。

治瘧無問新久者方：

小便(一升半) 蜜(三七)
上二味煮三沸，頓服，每發日平旦時服，自至發勿食，重者漸退不過三服瘥。

又方 車前子 鼠尾草(各一虎口)
上二味以水五升煮取二升，未發前服盡。

又方 馬鞭草汁五合，酒三合，分三服。

又方 搗莧菅根燒為灰，和水服一合，量人大小強弱用之。

又方 瓜蒂二七枚，搗水漬一宿服之。

又方 常以七月上寅日采麻花為末，酒服方寸匕。

蜀漆丸

治勞瘧並積勞寒熱發有時似瘧方。

蜀漆 麥冬 知母 白薇 地骨皮 升麻(各三十銖) 甘草 鱉甲 烏梅肉 蕨蕤(各一兩) 恆山(一兩半) 石膏(二兩) 豉(一合)
上十三味為末, 蜜和丸, 如梧子大, 飲服十丸, 日再, 服之稍稍加至二三十丸, 此神驗, 無不瘥也。(一方加光明砂一兩)

烏梅丸

治寒熱勞瘧, 形體羸瘦, 痰結胸中, 食飲減少, 或因行遠, 久經勞役, 患之積年不瘥方。

烏梅肉 豆豉(各一合) 升麻 地骨皮 柴胡 前胡 鱉甲 恆山(各一兩) 元參 肉 蓯蓉 百合 蜀漆 人參 知母 桂心(各半兩) 桃仁(八十一枚)
上十六味為末, 蜜丸, 空心煎細茶下三十丸, 日二服, 老少孩童量力通用無所忌。

治勞瘧積時不斷, 眾治無效方：

生長大牛膝一握, 切, 以水六升煮取二升, 分再服。第一服取未發前食頃, 第二服取臨 發時。

大五補湯

治時行後變成瘴瘧方。

人參 白朮 茯苓 甘草 乾地黃 黃耆 當歸 芍藥(各三兩) 芎 遠志 桔梗 (各二兩) 桂心(三十銖) 竹葉(五兩) 大棗(二十枚) 生枸杞根 生薑(各一斤) 半夏 麥冬(各一升)
上十八味 咀, 以水三斗煮竹葉、枸杞取二斗, 次納諸藥煎取六升, 分六服, 一日一夜令盡。

鯪鯉湯

治乍寒乍熱, 乍有乍無, 山瘴瘧方。

鯪鯉甲(十四枚) 鱉甲 烏賊骨(各一兩) 恆山(三兩) 附子(一枚)
上五味 咀, 以酒三升漬一夕, 發前稍稍啜飲勿絕吐之, 兼以塗身, 斷食, 過時乃食 飲。

烏梅丸

治肝邪熱為瘧, 令人顏色蒼蒼, 氣息喘悶, 戰掉狀如死者, 或久熱勞微動如瘧, 積年 不瘥方。

烏梅肉 蜀漆 鱉甲 蕨蕤 知母 苦參(各一兩) 恆山(一兩半) 石膏(二兩) 香 豉(一合) 甘草 細辛(各十八銖)
上十一味為末, 蜜丸如梧子大, 酒服十丸, 日再, 飲服亦佳。

治心熱為瘧不止, 或止後熱不歇, 乍來乍去, 令人心煩, 甚欲飲清水反寒, 多不甚熱者方：

甘草(一兩) 蜀漆(三兩) 恆山 鱉甲(各四兩) 石膏(五兩) 香豉(一合) 梔 子烏 梅(各三十枚) 竹葉(切, 二升)
上九味 咀, 以水九升煮取三升, 分三服。

恆山丸

治脾熱為瘧，或渴或不渴，熱氣內傷不泄，令人病寒，腹中痛，腸中鳴，汗恆山（三兩） 甘草（半兩） 知母 鱉甲（各一兩）
上四味為末，蜜丸如梧子，未發前酒服十丸，臨發時一服，正發時一服。

恆山湯

治肺熱痰聚胸中，來去不定轉而為瘧其狀令人心寒，甚則發熱，熱間則善驚，如有所見者方。

恆山（三兩） 甘草（半兩） 秫米（三百二十粒）
上三味 咀，以水七升煮取三升，分三服，至發時令三服盡。

又方 治腎熱發為瘧，令人淒淒然，腰脊痛宛轉，大便難，目 然，身掉不定，手足寒方。

恆山（三兩） 烏梅（三七枚） 竹葉（切，一升） 香豉（八合） 蔥白（一握）
上五味 咀，以水九升煮取三升，分三服，至發令盡。

藜蘆丸

五臟並有瘧候，六腑則無，獨胃腑有之。胃腑瘧者，令人且病也，善飢而不能食，食 而支滿腹大治之方。

藜蘆 恆山 皂莢 牛膝（各一兩） 巴豆（三十枚）
上五味，先熬藜蘆、皂莢、色黃合搗為末，蜜和丸，如小豆大，旦服一丸，正發時一丸，一日勿飽食。（《肘後》無恆山、牛膝）

刺灸法

肝瘧刺足厥陰見血。心瘧刺手少陰。脾瘧刺足太陰。肺瘧刺手太陰陽明。腎瘧刺足少陰太陽。胃瘧刺足太陰陽明，橫脈出血。凡灸瘧必先問其病之所先發者，先灸之，從頭項發者，於未發前預灸大椎尖頭，漸灸過時止。從腰脊發者灸腎俞百壯。從手臂發者灸三間。瘧灸上星及大椎至發時令滿百壯，灸艾柱如黍米粒，俗人不解，取穴務大柱也。覺小異即灸百會七 壯，若後更發又七壯，極難愈者不過三灸，以足踏地，以線圍足一匝，中折，從大椎向百會灸，線頭三七壯，炷如小豆狀。又灸風池二穴三壯。凡一切瘧無問遠近，正仰臥以線量兩乳間，中屈，從乳向下灸，度頭隨年壯，男左女右。五臟一切諸瘧灸尺澤七壯，穴在肘中約上動脈是也。諸瘧而脈不見者，刺十指間出血，血去必已，先視身之赤如小豆者盡取之。瘧刺 足少陰血出愈。瘧上星主之，穴在鼻中央直發際一寸陷容豆是也，灸七壯，先取，後 取天牖、風池。瘧日西而發者臨泣主之，穴在目 上入發際五分陷者，灸七壯。瘧實則腰背 痛，虛則鼽衄，飛揚主之，穴在外踝上七寸，灸七壯。瘧多汗腰痛不能俯仰，目如脫項如拔昆侖主之，穴在足外踝後跟骨上陷中，灸三壯。

禳瘧法

未發前抱大雄雞一頭著懷中，時時驚動令雞作聲立瘥。

治瘧符

瘧小兒父字石拔，母字石錘，某甲（著患瘧人姓名，）患瘧人竊讀之曰，一切天地山水 城 隍、日月五星皆敬灶君，今有一瘧鬼小兒罵灶君作黑面奴，若當不信，看文書急急如律令。

上件符必須真書，前後各留白紙一行，擬著灶君額上，瓦石壓之，不得壓字上，勿令人近符。若得專遣一人看符大好，亦勿令灰土敷符上，致使字不分明出見，著符次第如後。若 明日日出後發，須令人夜掃灶君前及額上，令淨至發，日旦，令患人整衣帽立灶前讀符，使人自讀必須分明，讀符勿錯一字，每一遍若別人讀一遍，患人跪一拜，又以手捉患人一度。

若患人自讀，自捉衣振云人姓某甲，如此是凡三遍讀三拜了，以淨瓦石壓兩角，字向上著灶 額上，勿令壓字上。若瘧日西發具如上法三遍讀符，至午時更三遍，讀如上法。如夜發，日暮更三遍讀並如上法，其灶作食亦得，勿使動此符。若有兩灶，大灶上著符，若有露地灶，屋裡灶上著，只有露灶依法著之，仍須手捉符，其符法如後。若有客患會須客經停過三度發三度委曲著符如上法，符亦云客姓名患瘧，乞拘錄瘧鬼小兒如下。凡治久患者，一著符一漸 瘥，亦可五度著符，如始可全瘥，又須手把符如下。

王良符，張季伯書之，急急如律令。

上王良符依法長卷兩手握，念佛端坐，如須行動檢校插著胸前，字頭向上。

上二符各依法一時用，不得闕一符。萬一不瘥，但得一發輕，後發日更讀即瘥，一一仔 細依法，若字參差即不瘥。

診溪毒証第十六

江東江南諸溪，源間有蟲，名短狐溪毒，亦名射工，其蟲無目，而利耳能聽，在山源 溪水中聞人聲，便以口中毒射人，故謂射工也。其蟲小毒輕者及相逐者，射著人影者，皆不即作瘡，先病寒熱，身不喜冷，體強筋急，頭痛目疼，張口欠咳嗽，呼吸悶亂，朝旦少蘇醒，晡夕輒複寒熱。或似傷寒發石散動，亦如中尸便不能語，病候如此，自非其土地人不常數行 山水中，不知其証，便謂是傷寒發石散動，作治乖僻毒盛發瘡，複疑是瘭疽，乃至吐下去血。

複恐

備急千金要方 卷十一 肝臟

唐 孫思邈

肝臟脈論第一

論曰：夫人稟天地而生，故內有五臟六腑、精氣骨髓、筋脈；外有四肢九竅、皮毛爪齒、咽喉唇舌、肛門胞囊。以此總而成軀。故將息得理，則百脈安和；役用非宜，即為五勞、七 傷、六極之患。有方可救，雖病無他；無法可憑，奄然永往。所以此之中帙卷。卷皆備述五臟六腑等血脈根源，循環流注，與九竅應會處所。並論五臟六腑等輕重、大小、長短、闊狹、受盛多少。仍列對治方法，丸散酒煎湯膏摩熨及灸針孔穴並窮於此矣。其能留心於醫術者，可考而行之。其冷熱、虛實、風氣、準藥性而用之，則內外百 無所逃矣。凡五臟在天為五星，在地為五岳，約時為五行，在人為五藏，五藏者，精神魂魄意也。論陰陽，察虛實，知病源，用補瀉，應稟三百六十五節，終會通十二經焉。

論曰：肝主魂，為郎官，隨神往來，謂之魂，魂者，肝之藏也。目者，肝之官，肝氣通 於目，目和則能辨五色矣；左目甲，右目乙，循環紫宮，榮華於爪；外主筋，內主血；肝重四斤四兩，左三葉，右四葉，凡七葉；有六童子、三玉女守之；神名藍藍，主藏魂，號為魂臟，隨節應會。故云肝藏血，血舍魂，在氣為語，在液為淚；肝氣虛則恐，實則怒；肝氣虛則夢見園苑生草得其時，夢伏樹下不敢起；肝氣盛則夢怒，厥氣客於肝則夢山林樹木。

凡人臥，血歸於肝，肝受血而能視，足受血而能步，掌受血而能握，指受血而能攝。

凡肝臟象木，與膽合為腑，其經足厥陰，與少陽為表裡，其脈弦。相於冬，旺於春。春時萬物始生，其氣來濡而弱，寬而虛，故脈為弦，濡即不可發汗，弱則不可下，寬者開，開者通，通者利，故名曰寬而虛。

春脈如弦，春脈肝也，東方木也，萬物之所以始生也。故其氣來濡弱，輕虛而滑，端直以長，故曰弦，反此者病。何如而反？其氣來實而弦，此謂太過，病在外；其氣來不實而微，此兩脅 滿。肝脈來濡弱，招招如揭竿末梢曰平（《巢源》作綽綽如按琴瑟之弦，如揭長竿）。

春以胃真肝脈至內外急，如循刀刃責責然（《巢源》作賾賾然），如按琴瑟弦（《巢源》作如新張弓弦），色青白不澤，毛折乃死。

春胃微弦曰平，弦多胃少曰肝病，但弦無胃曰死，胃而有毛曰秋病，毛甚曰今病。

肝藏血，血舍魂，悲哀動中則傷魂，魂傷則狂妄，其精不守（一作狂妄不精，不敢正當人），令人陰縮而攣筋，兩脅肋骨舉（一作不舉），毛悴色夭死於秋。

足厥陰氣絕，則筋縮引卵與舌。厥陰者，肝脈也，肝者，筋之合也，筋者，聚於陰器，而脈絡於舌本，故脈弗營則筋縮急，筋縮急則引卵與舌，故唇青舌卷，卵縮則筋先死，庚篤辛死，金勝木也。

肝死臟，浮之弱，按之中如索不來，或曲如蛇行者死。

春肝木旺，其脈弦細而長曰平，反得沉濡而滑者，是腎之乘肝母之歸，子為虛邪，雖病易治。反得浮大而洪者，是心之乘肝，子之乘母為實邪，雖病自愈；反得微澀而短（《千金翼》云微浮而短澀）者，是肺之乘肝，金之克木為賊邪，大逆，十死不治；反得大而緩者，是脾之乘肝，土 左手關上陰絕者，無肝脈也，若癰遺溺難言，脅下有邪氣，善吐，刺足少陽，治陽。

左手關上陰實者，肝實也。苦肉中痛，動善轉筋，吐，刺足厥陰治陰。

肝脈來濯濯如倚竿，如琴瑟弦，再至曰平，三至曰離經病，四至脫精，五至死，六至命盡，足厥陰脈也。

肝脈急甚為惡言（一作妄言），微急為肥氣，在脅下如覆杯，緩甚為嘔，微緩為水瘕痺，大甚為內癰，善嘔衄，微大為肝痺縮，咳引少腹；小甚為多飲，微小為消癉，滑甚為頹疝，微滑為遺溺，澀甚為淡飲，微澀為瘈瘲筋攣。

肝脈搏堅而長，色不青，當病墜，若搏因血在脅下，令人喘逆，其濡而散色澤者，當病溢飲，溢飲者，渴暴多飲而溢入肌膚腸胃之外也（《素問》溢入作易入）。

青脈之至也，長而左右彈，有積氣在心下支，名曰肝痺。得之寒濕，與疝同法，腰痛足清、頭痛。

扁鵲云：肝有病則目奪精，虛則寒，寒則陰氣壯，壯則夢山樹等，實則熱，熱則陽氣壯，壯則夢怒。

肝在聲為呼，在變動為握，在志為怒，怒傷肝，精氣並於肝則憂，肝虛則恐，實則怒，怒而不已，亦生憂矣。

色主春，病變於色者，取之滎。

病先發於肝者，頭目眩，脅痛支滿；一日至脾，閉塞不通，身痛體重；二日至胃而腹脹 ；三日至腎，少腹腰脊痛，脛酸；十日不已死，冬日入夏早食。

病在肝，平旦慧，下晡甚，夜半靜。

假令肝病，西行若食雞肉得之，當以秋時發病，以庚辛日也。

家有血腥死，女子見之以明要為災，不者，若感金銀物得之。

凡肝病之狀，必兩脅下痛引少腹，令人善怒，虛則目 無所見，耳無所聞，善恐，如人將捕之，若欲治之，當取其經足厥陰與少陽，氣逆則頭目痛、耳聾不聰、頰腫取血者。

肝脈沉之而急，浮之亦然，苦脅痛有氣支滿引少腹而痛，時小便難，苦目眩頭痛，腰背痛，足為寒時癰，女人月事不來，時亡時有，得之少時有所墮墜。

肝病其色青，手足拘急，脅下苦滿，或時眩冒，其脈弦長，此為可治，宜服防風竹瀝湯、秦艽散。春當刺大敦，夏刺行間，冬刺曲泉，皆補之；季夏刺太沖，秋刺中，皆瀉之。

又當灸期門百壯，背第九椎五十壯。

邪在肝，則兩脅中痛，寒中，惡血在內， 善，節時腫，取之行間以引脅下，補三裡以溫胃中，取血脈以散惡血，取耳間青脈以去其 。

凡有所墮墜，惡血留內，若有所大怒，氣上而不能下，積於左脅下，則傷肝。

肝中風者，頭目，兩脅痛，行常傴，令人嗜甘如阻婦狀。

肝中寒者，其人洗洗惡寒，翕翕發熱，面翕然赤，涔涔有汗，胸中煩熱。

肝中寒者，其人兩臂不舉，舌本（又作大）燥，善太息，胸中痛，不得轉側，時盜汗、咳，食已吐其汁。

肝主胸中，喘，怒罵，其脈沉，胸中又窒，欲令人推按之，有熱鼻窒。肝傷，其人脫肉 又臥口欲得張，時時手足青，目瞑，瞳仁痛，此為肝臟傷所致也。

肝水者，其人腹大不能自轉側，而脅下腹中痛，時時津液微生，小便續通。

肝脹者，脅下滿而痛引少腹。

肝著，其病患常欲蹈其胸上，先未苦時但欲飲熱。

診得肝積，脈弦而細，兩脅下痛，邪氣走心下，足脛寒，脅痛引少腹，男子積疝，女子瘕淋，身無膏澤，善轉筋，爪甲枯黑，春瘥秋劇，色青也。

肝之積名曰肥氣，在左脅下如覆杯，有頭足如龜鱉狀，久久不愈，發咳逆 瘧連歲月不已，以季夏戊己日得之，何也？肺病傳肝，肝當傳脾，脾適以季夏旺，旺者不受邪，肝複欲 還肺，肺不肯受，因留結為積，故知肥氣以季夏得之。

肝病胸滿脅脹，善恚怒叫呼，身體有熱而複惡寒，四肢不舉，面白，身體滑，其脈當弦 長而急，今反短澀，其色當青而反白者，此是金之克木，襄公問扁鵲曰：吾欲不診脈，察其音，觀其色，知其病生死，可得聞乎？答曰：乃聖道 之大要，師所不傳，黃帝貴之，過於金玉。入門見病，觀其色、聞其呼吸，則知往來出入，吉凶之相。角音人者，主肝聲也，肝聲呼，其音琴，其志怒，其經足厥陰。厥逆少陽則營衛不通，陰陽交雜，陰氣外傷，陽氣內擊，擊則寒，寒則虛，虛則猝然喑啞不聲，此為厲風入肝，續命湯主之（方在第八卷中）。但踞坐不得低頭，面目青黑，四肢緩弱，遺矢便利，甚則不可治，賒則旬月之內，桂枝酒主之（方在第八卷中）。又呼而哭，哭而反吟，此為金克木，陰擊陽，陰氣起而陽氣伏，伏則實，實則熱，熱則喘，喘則逆，逆則悶，悶則恐畏，目視不明，語聲切急，謬說有人，此為邪熱傷肝，甚則不可治。若唇色雖青，向眼不應可治，地黃 煎主之（方在肝病為瘧者，令人色蒼蒼然，太息，其狀若死者，烏梅丸主之（方在第十卷中）。若其人本來少於悲恚，忽爾嗔怒，出言反常、乍寬乍急，言未竟以手向眼，如有所畏，若不即病，禍必至矣，此肝病聲之候也。若其人虛，則為寒風所傷；若實，則為熱氣所損。陽則瀉之，陰則補之。

青為肝，肝合筋，青如翠羽者吉。肝主目，目是肝之餘，其人木形相比，於上角蒼色，小頭長面大肩，平背直身，小手足，有材好勞，心小力多，憂勞於事，耐春夏不耐秋冬，秋冬感而生病，足厥陰。佗佗然脅廣合堅脆傾正，則肝應之。正青色小理者，則肝小，小則臟安，無脅下之病；粗理者則肝大，大則虛，虛則寒，逼胃迫咽，善膈中，且脅下痛。廣脅反者則肝高，高則實，實則肝熱，上支賁加脅下急為息賁，合脅危（一作兔）。 者則肝下，下則逼胃，脅下空，空則易受邪。脅骨堅者，則肝堅，堅則臟安難傷；脅骨弱者，則肝脆，脆則善病消癉易傷；脅腹好相者，則肝端正，端正則和利難傷；脅骨偏舉者則肝偏傾，偏傾則脅下偏痛。

凡人分部陷起者，必有病生。膽少陽為肝之部，而肝氣通於內外，部亦隨而應之。沉濁為內，浮清為外，若色從外走內者，病從外生，部處起；若色從內出外者，病從內生，部處陷。納病前治陰後治陽，外病前治陽後治陰。陽主外，陰主內，凡人死生休否，則臟神前變形於外，人肝前病，目則為之無色，若肝前死，目則為之脫精，若天中等分，墓色應之，必死不治。看應增損斟酌賒促，賒則不出四百日內，促則不延旬月之間，肝病少愈而猝死。何以知之？曰：青白色如拇指大， 點見顏頰上，此必猝死。肝絕八日死，何以知之？面青目赤，但欲伏眠，視而不見人，汗出如水不止，（一日二日死。）面黑目青者不死，青如草滋死，吉凶之色在於分部。順順而見，青白入目必病，不出其年，若年上不應，三年之中，禍必應春、木、肝、脈、色青，主足少陽脈也，春取絡脈分肉，春者木始治，肝氣始生，肝氣急，其風疾，經脈常深，其氣少不能深入，故取絡脈分肉之間，其脈根本並在竅陰之間，應在窗籠之其筋，起於小趾次趾之上，結外踝，上循 外廉；結於

膝外廉，其支者別起於外輔骨，上走髀，前者結伏兔之上；後者結於尻，其直者上 乘季脅，上走腋前廉，挾於膺乳，結於缺盆；直者上出腋，貫缺盆，出太陽之前，循耳後，上額角，交巔上，下走頷上結於鼽，其支者結於目外 為外維。

其脈起於目銳，上抵頭角，下耳後，循頸行手少陽之前，至肩上卻交出手少陽之後，入缺盆。其支者從耳後入耳中，出走耳前至銳 後。其支者別銳，下大迎，合手少陽於下。加頰車，下頸合缺盆以下胸中，貫膈、絡肝、屬膽、循脅裡，出氣街，繞毛際，橫入髀 厭中；其直者從缺盆下腋循胸，過季脅，下合髀厭中，以下循髀陽，出膝外廉，下外輔骨之前，直下抵絕骨之端，下出外踝之前，循足跗上，出小趾次趾之端。其支者，別跗上，入大趾之間，循大趾歧內出其端，還貫入爪甲，出三毛，合足厥陰為表裡。厥 寸，應在背俞，同會於手太陰。

其足少陽之別名曰光明，去踝五寸是也，別走厥陰，下絡足趺。主肝生病，病實則膽熱，熱則厥，厥則陽病，陽脈反逆大於寸口一倍，病則胸中有熱，心脅頭頷痛，缺盆腋下腫，虛則膽寒，寒則痿， 則陰病，陰脈反小於寸口，病則胸中有寒，少氣口苦，身體無膏澤，外至 絕骨外踝前及諸節皆痛，若陰陽俱靜與其俱動，如引繩俱頓者病也（此盡是足少陽膽 經筋脈支別為病，今取足厥陰肝經附於後）。

足厥陰之脈起於大趾聚毛之際，上循足趺上廉，去內踝一寸，上踝八寸交出太陰之後 上內廉，循股陰入毛中，環陰器抵少腹，挾胃屬肝絡膽，上貫膈，布脅肋，循喉嚨之後，上入頏顙，連目系，上出額與督脈會於巔（一本云其支者從少腹與太陰少陽結於腰髁下第三第四骨空中）；其支者從目系下頰裡，環唇內，其支者複從肝別貫膈，上注肺中。是動則病 腰痛不可以俯仰，丈夫 疝，婦人少腹腫，甚則嗌干，面塵脫色。是主肝所生病者，胸滿嘔 逆，洞泄狐疝，遺溺閉癃。盛者則寸口大一倍於人迎，虛者則寸口反小於人迎也。

足厥陰之別，名曰蠱溝，去內踝上五寸，別走少陽，其別者循經上睪結於莖。其病氣逆 則睪腫卒疝，實則挺長熱，虛則暴癢，取之所別。足厥陰之筋，起於大趾之上，上結於內踝之前，上循 上結內輔之下上，循陰股結於陰器，結絡諸筋。

春三月者，主肝膽青筋牽病也，其源從少陰而涉足少陽，少陽之氣始發，少陰之氣始衰，陰陽怫鬱於腠理，皮毛之病俱生，表裡之 因起，從少陽發動反少陰，氣則臟腑受癘而生，其病相反。若腑虛則為陰邪所傷，腰背強急，腳縮不伸， 中欲折，目中生花，若臟實則為 陽毒所損，澀澀前寒而後熱，頸外雙筋牽不得屈伸，頸直背強，眼赤黃，若欲轉動稱身回側，故曰青筋牽病（方在傷寒上卷）。

扁鵲曰：灸肝肺二俞，主治丹毒牽病，當依源處治，調其陽，理其陰，臟腑之疾不生矣。

肝虛實第二

（脈四條，方十一首，灸法一首）肝實熱：

左手關上脈陰實者，足厥陰經也，病苦心下堅滿，常兩脅痛，息忿忿如怒狀，名曰肝實 熱也。

治肝實熱，陽氣伏邪熱，喘逆悶恐，目視物無明，狂悸非意而言，竹瀝泄熱湯方。

竹瀝（一升） 麻黃（三分） 石膏（八分） 生薑 芍藥（各四分） 大青 梔子仁 升 麻 茯苓 玄參 知母（各三分） 生葛（八分）
上十二味 咀，以水九升，煮取二升半，去滓，下竹瀝，煮兩三沸，分三服。須利，下芒硝三分，去芍藥，加生地黃五分（《刪繁方》無石膏、生薑、芍

前胡湯方

治肝實熱、目痛、胸滿、氣急塞，瀉肝。

前胡 秦皮 細辛 梔子仁 黃芩 升麻 薤仁 決明子(各三兩) 苦竹葉(切，一升) 車前葉(切，一升) 芒硝(三兩)
上十一味 咀，以水九升，煮取三升，去滓，下芒消，分三服。(又一方有柴胡三兩，共十二味。

>防風煮散方

治肝實熱，夢怒虛驚。

防風 茯苓 蕨薤 白朮 橘皮 丹參(各一兩三分) 細辛(二兩) 甘草(一兩) 升 麻黃芩(各一兩半) 大棗(三七枚) 射干(一兩) 酸棗仁(三分)
上十三味治下篩，為粗散，以方寸兩匕帛裹，以井花水二升煮，時時動裹子，煎取一升，分服之，日二。

>遠志煮散方

治肝邪熱，出言反常，乍寬乍急。

遠志 射干 杏仁 大青(各一兩半) 茯神 葛根 甘草 麥門冬(各一兩) 芍藥(二兩
上十三味治下篩，為粗散，以水二升五合煮竹葉一升，取汁用煮藥一七半，煎取八合 為一服，日二。以綿裹散煮之。

>地黃煎方

治邪熱傷肝，好生悲怒，所作不定、自驚恐。

生地黃 淡竹葉 生薑 車前草 干藍(各切一升) 丹參 玄參(各四兩) 茯苓(二兩) 石膏(五兩) 赤蜜(一升)
上十味 咀，以水九升，煮取三升，去滓停冷，下蜜 肝膽俱實：

左手關上脈陰陽俱實者，足厥陰與少陽經俱實也，病苦胃脹嘔逆，食不消，名曰肝膽俱 實 肝虛寒：

左手關上脈陰虛者，足厥陰經也，病苦脅下堅、寒熱，腹滿、不欲飲食，腹脹悒悒不樂，婦人月經不利，腰腹痛，名曰肝虛寒也。

>補肝湯方

治肝氣不足，兩脅下滿，筋急不得大息，四肢厥冷，發搶心腹痛，目不明了，及婦人心痛，乳癰，膝熱，消渴，爪甲枯，口面青者。

甘草 桂心 山茱萸(各一兩(《千金翼》作烏頭) 細辛 桃仁(《千金翼》作薤仁) 柏 子仁 茯苓 防風(各二兩) 大棗(二十四枚)
上九味 咀，以水九升，煮取五升，去滓，分三服。

>補肝散

治左脅偏痛久，宿食不消，並目□□昏，風淚出，見物不審，而逆風寒偏甚，消 食破氣止淚方。

山茱萸 桂心 薯蕷 天雄 茯苓 人參(各五分) 川芎 白朮 獨活 五加皮 大黃 (各七分) 防風 乾薑 丹參 濃朴 細辛 桔梗(各一兩半) 甘菊花 甘草(各一兩) 貫 眾(半兩) 橘皮(三分) 陳麥曲 大麥 (各一升)
上二十三味治下篩，酒下方寸匕，日二，若食不消，食後服;若止痛，食前服之。

>補肝酒

治肝虛寒，或高風眼淚等雜病，釀松膏酒方。

松脂十斤細銼，以水淹浸一周日，煮之，細細接取上膏，水竭，更添之，脂盡更水煮如前，煙盡去，火停冷，脂當沉下，取一斤，釀米一石、水七斗、好曲末二斗，如家常釀酒法，仍冷下飯，封一百日，脂、米、曲並消盡，酒香滿一室，細細飲之

又方 取枸杞子搗碎，先納絹袋中，率一斗枸杞子、二斗酒漬訖，密封泥瓮勿泄，曝乾，天

>防風補煎方

治肝虛寒，目□□視物不明，諦視生花。

防風 細辛 川芎 白蘚皮 獨活 甘草(各三兩) 橘皮(二兩) 大棗(三七枚) 甘 竹 葉(
上十味 咀，以水一斗二升，先煮九味，取四升去滓，下蜜更煎兩沸，分四服，日三夜 一，若五六月以燥器貯，冷水藏之。

>檳榔湯方

治肝虛寒，脅下痛、脹滿氣急，目昏濁、視物不明。

檳榔(二十四枚) 母薑(七兩) 附子(七枚) 茯苓 橘皮 桂心(各三兩) 桔 梗白朮 (各四兩) 吳茱萸(五兩)
上九味 咀，以水九升，煮取三升，去滓，分溫三服。若氣喘者，加川芎三兩，半夏四兩，甘草二兩。

肝虛目不明，灸肝俞二百壯，小兒斟酌可灸三七壯。

肝膽俱虛：

左手關上脈陰陽俱虛者，足厥陰與少陽經俱虛也，病如恍惚，尸厥不知人，妄見，少氣不能言，時時自驚，名曰肝膽俱虛也。

肝勞第三

(論一首，方二首) 論曰：肝勞病者，補心氣以益之，心旺則感於肝矣。人逆春氣則足少陽不生，而肝氣納變，順之則生，逆之則死，順之則治，逆之則亂，反順為逆，是謂關格，病則生矣。

豬膏酒方

治肝勞虛寒，關格勞澀，閉塞不通，毛悴色夭。

豬膏　薑汁（各四升）
上二味，以微火煎取三升，下酒五合和煎，分為三服。

虎骨酒補方

治肝虛寒勞損，口苦，關節骨疼痛，筋攣縮，煩悶。

虎骨一升（炙焦，碎如雀頭）丹參（八兩）乾地黃（七兩）地骨皮　乾薑　川芎（各四兩）豬椒根　白朮　五加皮　枳實（各五兩）
上十味　咀，絹袋盛，以酒四斗浸四日，初服六七合，漸加至一升，日再服。

筋極第四

（論三首，方七首，灸法七首）論曰：夫六極者，天氣通於肺，地氣通於咽，風氣應於肝，雷氣動於心，穀氣感於脾，雨氣潤於腎。六經為川，腸胃為海，九竅為水注之氣，所以竅應於五臟，五臟邪傷，則六腑　生極，故曰五臟六極也。

論曰：凡筋極者主肝也，肝應筋，筋與肝合，肝有病從筋生。又曰：以春遇病為筋痺，筋痺不已，複感於邪，內舍於肝，則陽氣入於內，陰氣出於外，若陰氣外出，出則虛，虛則筋虛，筋虛則善悲，色青蒼白見於目下，若傷寒則筋不能動，十指爪皆痛，數好轉筋，其源　以春甲乙日得之傷風，風在筋為肝虛風也。若陽氣內發，發則實，實則筋實，筋實則善怒，嗌干傷熱則咳，咳則脅下痛不能轉側，又腳下滿痛，故曰肝實風也。然則因其輕而揚之，因　其重而減之，因其衰而彰之。審其陰陽以別柔剛，陽病治陰，陰病治陽。善治病者，病在皮　毛、肌膚、筋脈而治之，次治六腑，若至五臟則半死矣。

扁鵲云：筋絕不治九日死，何以知之？手足爪甲青黑，呼罵口不息，筋應足厥陰，足厥　陰氣絕，則筋縮引卵與舌，筋先死矣。

治筋實極則咳，咳則兩脅下縮痛，痛甚則不可轉動，橘皮通氣湯方。

橘皮（四兩）白朮　石膏（各五兩）細辛　當歸　桂心　茯苓（各二兩）香豉（一升）上八味　咀，以水九升，煮取三升，去滓，分三服。

治筋實極，則兩腳下滿，滿而痛，不得遠行，腳心如割，筋斷折痛不可忍，丹參煮散方　丹參（三兩）川芎　杜仲　續斷　地骨皮（各二兩）當歸　通草　乾地黃　麥門冬　升　麻禹余糧　麻黃（各一兩十八銖）牛膝（二兩六銖）生薑（切，炒取焦乾）牡蠣（各二兩）
上十七味治下篩，為粗散，以絹袋子盛散二方寸匕，以井花水二升煮，數動袋子，煮取　一升，頓服，日二。

治筋實極，手足爪甲或青或黃、或黑烏黯，四肢筋急煩滿，地黃煎方。

生地黃汁（三升）生葛汁　生玄參汁（各一升）大黃　升麻（各二兩）梔子仁　麻黃　犀角（各三兩）石膏（五兩）芍藥（四兩）

上十味 咀，以水七升煮七物，取二升，去滓，下地黃汁，煎一兩沸，次下葛汁等，煎 取三升，分三服，日再。

治筋虛極、筋痺，好悲思，顏色蒼白，四肢噓吸，腳手拘攣，伸動縮急，腹中轉痛，五加酒方。

五加皮（一斤）枳刺（二升） 大麻仁（三升） 豬椒根皮 丹參（各八兩） 桂心 當 歸甘草（各三兩） 天雄 秦椒 白蘞 通草（各四兩） 乾薑（五兩） 薏苡仁（半升） 川芎（五
上十五味 咀，以絹袋盛，清酒四斗漬，春夏四日，秋冬六七日。初服六七合，稍稍加，以知為度。

治筋虛極，則筋不能轉，十指爪皆痛，數轉筋，或交接過度，或病未平複交接，傷氣，內筋絕，舌卷唇青，引卵縮， 脈疼急，腹中絞痛，或便欲絕，不能飲食，人參酒方。

人參 防風 茯苓 細辛 秦椒 黃耆 當歸 牛膝 桔梗（各一兩半） 乾地黃 丹參 棗（三十枚） 五加皮（一升） 生薑（切，炒乾） 烏麻（碎）（各
上二十二味 咀，鐘乳別以小袋子盛，以清酒二斗半浸五宿，溫服三合，日再，無所聞，隨意增進。（一本無烏麻，用杜仲二兩半。

治交接損，卵縮筋攣方。

燒婦人月經衣灰，服方寸匕。

治筋絕方 熬蟹腦足髓納瘡中，筋即續。

勞冷氣逆，腰髖冷痺，腳屈伸難，灸陽蹻一百壯，在外踝下容爪。

腰背不便，轉筋急痺筋攣，灸第二十一椎，隨年壯。

轉筋，十指筋攣急，不得屈伸，灸腳外踝骨上七壯。

失精筋攣，陰縮入腹，相引痛，灸中封五十壯，在內踝前筋裡宛宛中。

失精筋攣，陰縮入腹，相引痛，灸下滿各五十壯，老人加之，小兒隨年壯。又云，此二穴，喉腫厥逆，五臟所苦，鼓脹，並悉主之。

轉筋脛骨痛不可忍，灸屈膝下廉橫筋上三壯。

腹脹轉筋，灸臍上一寸二十壯。

堅症積聚第五

（論一首，方四十四首，灸法六首） 論曰：病有積有聚，何以別之？答曰：積者，陰氣也；聚者，陽氣也。故陰沉而伏，陽浮而動，氣之所積，名曰積；氣之所聚名曰聚。故積者，五臟之所生；聚者，六腑之所成。

故積者陰氣也，其始發有常處，其痛（一作病）不離其部，上下有所終始，左右有所窮已。

聚 者陽氣也，其始發無根本，上下無所留止，其痛無常處，謂之聚也。故以是別知積聚也。

經絡受病，入於腸胃，五臟積聚，發伏梁、息賁、肥氣、痞氣、奔豚。積聚之始生至其已成，奈何？曰：積之始生，得寒乃生，厥止乃成積。人之善病腸中積者，何以候之？曰：

皮薄而不澤，肉不堅而淖澤，如此則腸胃傷惡，惡則邪氣留止積聚，乃作腸胃之積。寒溫不次，邪氣稍止，至其蓄積留止，大聚乃起病。有身體腰、髀、股、 皆腫，環臍而痛，是為 何病？曰：病名伏梁，此風根也。不可動，動之為水溺瀝之病。少腹盛，左右上下皆有根者，伏梁也，裹膿血居腸胃之外，不可治，治之每切按之致死。此下則因陰，必下膿血，上則迫 胃脘生（王冰云當作出）膈，挾胃脘內癰，此久病也，難療。居臍上為逆，慎勿動，亟奪其氣溢於大腸

三台丸

治五臟寒熱積聚，臚脹腸鳴而噫，食不生肌膚，甚者嘔逆，若傷寒寒瘧已愈，令不複發，食後服五丸，飲多者吞十丸，常服令人大小便調和，長肌肉方。

大黃（熬） 前胡（各二兩） 硝石 葶藶 杏仁（各一升） 濃朴 附子 細辛 半夏（各一兩） 茯苓（半兩）
上十味，末之，蜜和，搗五千杵，服如梧子五丸，稍加至十丸，以知為度。

五石烏頭丸方

治男子女人百病虛弱勞冷，宿寒久癖，及症瘕積聚，或嘔逆不下食，並風濕諸病，無不治之者。

鐘乳（煉） 紫石英 硫黃 赤石脂 礬石 枳實 甘草 白朮 紫菀 山茱萸 防風白薇 桔梗 天雄 皂莢 細辛 蓯蓉 人參 附子 藜蘆（各一兩六銖） 乾薑 吳茱萸 蜀椒 桂心 麥門冬（各二兩半） 烏頭（三兩） 濃朴 遠志 茯苓（各一兩半） 當歸（二兩） 棗
上三十二味末之，蜜和，搗五千杵，酒服如梧子十丸，日三，稍加之。

烏頭丸方

治男子女人寒冷，腹內積聚，邪氣往來，厥逆搶心，心痛痺悶。吐下不止，婦人產後羸 瘦。

烏頭（十五枚） 吳茱萸 蜀椒 乾薑 桂心（各二兩半） 前胡 細辛 人參 川芎 白朮（各一兩六銖） 皂莢 紫菀 白薇 芍藥（各十八銖） 乾地黃（一兩半）
上十五味末之，蜜丸，酒下如梧子十丸，日三，稍加之，以知為度。

治心腹疝瘕，脅下及小腹滿，堅痛有積，寒氣入腹，使人腹中冷，發甚則上搶心氣滿，食飲喜嘔方。

大黃 茯苓（各一兩半） 吳茱萸 桂心 黃芩 細辛 人參 蜀椒 乾薑（各一兩六 銖） 牡丹 甘草 川芎 蓯蓉 蟲（各十八銖） 芍藥 防葵 虻蟲 濃朴 半夏（各一兩） 男髮灰（半兩）
上二十味，末之，以蜜丸，服如梧子五丸，日再，漸加之。

恆山丸

治脅下邪氣積聚，往來寒熱如溫瘧方。

恆山 蜀漆 白薇 桂心 甲 白朮 附子 鱉甲 蟲 貝齒(各一兩半) 蜚虻 (
上十一味, 末之, 蜜丸如梧子, 以米汁服五丸, 日三。

又方 蒸鼠壤土熨之, 冷即易, 腹中切痛, 炒鹽半升令焦, 納湯中飲之, 大吐瘥。若手 足痛者, 燒青布, 納小口器中, 熏痛處。

神明度命丸

治久患腹內積聚, 大小便不通, 氣上搶心, 腹中脹滿, 逆害飲食, 服之甚 大黃 芍藥(各二兩)
上二味, 末之, 蜜丸, 服如梧子四丸, 日三, 不知, 可加至六七丸, 以知為度。

治萬病積聚方 七八月收葍藜子, 不限多少, 以水煮過熟, 取滓曝令乾, 搗篩, 蜜丸, 酒服如梧子七丸, 以知為度。其汁煎如飴服之。

陷胸湯方

治胸中心下結積, 食飲不消。

大黃 栝蔞實 黃連(各二兩) 甘遂(一兩)
上四味 咀, 以水五升, 煮取二升五合, 分三服。

太一神明陷冰丸

治諸疾, 破積聚, 心下支滿, 寒熱鬼注, 長病咳逆唾噫, 辟除眾惡, 殺鬼逐邪氣, 鬼擊 客忤中惡, 胸中結氣、咽中閉塞, 有進有退, 繞臍惻惻, 隨上下按之挑手, 心中慍慍, 如有蟲狀, 毒注相染滅門方。

雄黃(油煮一日) 丹砂 石 當歸 大黃(各二兩) 巴豆(一兩) 芫青(五枚) 桂心(三兩) 真珠 附子(各一兩半) 蜈蚣(一枚) 烏頭(八枚) 犀角 鬼臼 射罔 黎 蘆(各一兩) 麝香 牛黃 人參(各半兩) 杏仁(四十枚) 蜥蜴(一枚) 斑蝥(七枚) 樗 雞(三七 枚) 地膽(三七枚)
上二十四味, 末之, 蜜和, 搗三萬杵, 丸如小豆先食飲, 服二丸, 日二, 不知, 稍加 之, 以藥二丸安門戶上, 令眾惡不近, 傷寒服之無不即瘥。若至病家及視病患, 夜行獨宿, 服二丸, 眾惡不敢近。(此方與第十七卷尸疰篇方重)

蜥蜴丸

治症堅水腫、蜚尸、遁尸、百注、尸注、骨血相注。惡氣鬼忤, 蠱毒、邪氣往來, 夢寤 存亡, 留飲結積, 虎野狼所嚙, 犬所咋, 鴆毒入人五臟, 服藥已消殺其毒, 食不消, 婦人邪 鬼忤, 亦能遣之方。

蜥蜴(二枚) 蜈蚣(二枚) 地膽(五十枚) 蟲(三十枚) 杏仁(三十枚) 蜣 螂(十四枚) 虻蟲(三十枚) 朴硝(一兩十八銖) 澤漆 桃奴 犀角 鬼督郵 桑赤雞(各十八銖) 芍藥 虎骨(各一兩半) 甘草(一兩) 巴豆(一兩十八銖) 款冬花(十八銖) 甘遂 (一兩六 銖) 乾薑(一兩)
上二十味, 末之, 別製巴豆、杏仁如膏, 納藥末研調, 下蜜, 搗二萬杵, 丸如麻子。先 食飲, 服三丸, 日一, 不知加之。不敢吐下者, 一丸, 日一服。有人風冷注, 癖堅二十年者得瘥。(此方與第十七

大五明野狼毒丸

治堅癖痞在人胸脅，或在心腹方。

野狼毒 乾地黃（各四兩） 附子 大黃 蓯蓉 人參 當歸（各一兩） 半夏（二兩） 乾薑 朴防己旋複花（各半兩） 巴豆（二十四枚） 杏仁（三十枚）
上二十一味，末之，蜜和，服如梧子二丸，日二夜一，以知為度。

小野狼毒丸

治病與前同方。

野狼毒（三兩） 旋複花（二兩） 附子 半夏 白附子 茹（各二兩）
上六味，末之，蜜和，搗五千杵，飲服如梧子三丸，加至十丸，日三。（《肘後方》無 半夏、白附子、 茹，只三味）。

野狼毒丸

治堅癖方 野狼毒（五兩） 半夏 杏仁（各三兩） 桂心（四兩） 附子 蜀椒 細辛（各二兩）
上七味，末之，別搗杏仁蜜和飲服，如大豆二丸。

甘遂湯方

治暴堅久痞腹有堅。

甘遂 黃芩 芒硝 桂心 細辛（各一兩） 大黃（三兩）
上六味 咀，以水八升，煮取二升半，分三服。

治卒暴症，腹中有物堅如石，痛如斫刺，晝夜啼呼，不治，百日必死方。

牛膝二斤 咀，曝之令乾，以酒一斗浸之，密塞器口，煎取半，服半升，一服便吐去宿 食，神效。

治卒暴症方。

取商陸根搗碎，蒸之，以新布籍腹上，以藥鋪著布上，以衣物覆其上，冷複易之，數日用之，旦夕勿息。

又方 蒜（十片，取五月五日戶上者，去皮） 桂（一尺二寸） 灶中黃土（如雞子大一枚）
上三味合搗，以淳苦酒和，塗布上以掩病處，不過三日消。凡蒜亦佳（《肘後方》不用

野葛膏

治暴症方。

野葛（一尺） 當歸 附子 雄黃（油煮一日） 細辛（各一兩） 烏頭（二兩） 巴 豆（一百枚） 蜀椒（半兩）
上八味 咀，以大醋浸一宿，豬膏二斤煎附子色黃，去滓，納雄黃粉，攪至凝，敷布上，以掩症上，複以油重布上，複安十重紙

硝石大丸

治十二症瘕，及婦人帶下，絕產無子，並欲服寒食散而腹中有症瘕實者，當先服大丸下之，硝石（六兩，朴硝亦得）大黃（八兩）人參 甘草（各二兩）
上四味，末之，以三年苦酒三升，置銅器中，以竹箸柱器中。一升作一刻，凡三升作三刻，以置火上，先納大黃，常攪不息，使微沸盡一刻，乃納餘藥，又盡一刻，有餘一刻，極 微火使可丸，如雞子中黃。欲合藥，當先齋戒一宿，勿令小兒、女人、奴婢等見之。欲下病 者，用二丸。若不能服大丸者，可分作小丸，不可過四丸也。欲令大不欲令細，能不分為善。

若人羸者可少食，強者不須食，二十日五度服。其和調半日乃下。若婦人服之下者，或如雞 肝，或如米汁，正赤黑，或一升或三升。下後慎風冷，作一杯粥食之，然後作羹，自養如產婦法，六月則有子，禁生魚、豬肉、辛菜，若寒食散者自如藥法，不與此同日一服。

土瓜丸

治諸臟寒氣積聚，煩滿熱飲食，中蠱毒，或食生物，及水中蠱卵生，入腹而成蟲蛇，若 為魚鱉留飲宿食；婦人產瘕，帶下百病，陰陽不通利，大小便不節，絕傷墮落，寒熱交結，唇口焦黑，身體消瘦，嗜臥少食、多魘，產乳胞中餘疾，股裡熱，心腹中急結，痛引陰中方。

土瓜根（末）桔梗（末各半升）大黃（一斤蒸二升米下，曝乾）杏仁（一升）
上四味，末之，蜜丸如梧子。空腹飲服三丸，日三，不知加之，以知為度。

治凡所食不消方 取其餘類燒作末，酒服方寸匕，便吐去宿食即瘥。有食桃不消作病者，以時無桃，就樹間得槁桃燒服之，登時吐，病出，甚良。

治猝食不消，欲成症積方。

煎艾汁如飴，取半升一服之，便刺吐去宿食，神良（《今古錄驗方》白艾五尺圍一束，薏苡根一大把，二味煎）。

治食魚肉等成症結在腹內，並諸毒瓦斯方。

狗屎五升，燒末，綿裹之，以酒一斗浸再宿，濾取清，分十服，日三服，三日使盡，隨 所食症結即便出矣。

治雜中食瘀實不消，心腹堅痛者方。

以水三升煮白鹽一升，令消，分三服，刺吐去食也，並治暴症。

治症堅，心下有物大如杯，不得食，食則腹滿、心腹絞痛方。

葶藶子 大黃（各二兩）澤漆（四兩）
上三味，末之，別研葶藶為膏，下二味搗五百杵，入蜜，更搗千杵，服如梧子五丸，不知加之，日三服。

治少腹堅大如盤，胸中脹，食不消，婦人瘦瘠者方。

暖水服髮灰一方寸匕，日再服，並灸肋端。

又方 飲服上好曲末方寸七，日三瘥。又灸三焦俞，隨年壯。

治伏梁氣方 白馬尿銅器中承取，旦旦服一升。

治症瘕方 槲樹白皮煎令可丸，服之，取知病動若下減之。

治患症結病及爪病似爪形、日月形，或在臍左右，或在臍上下，若鱉在左右脅下，或當 心如合子大，複有手腳。治之法先針其足，以椒熨之方。

取一新盆子受一斗者，盆底鑽一百二十孔，孔上著椒三合，上著一重紙，紙上著冷灰一升，灰上著熱灰半升，上著剛炭火一斤，經一食頃，盆底熱徹，當病上，初安氈一重，即安 火盆，火盆大熱，以漸更加一重，若火更熱不可忍，加至三重，暫歇，食一口冷凍飲料，還上火，消二分許即停，經三日勿著，及至七日決得頓瘥，然後食美食自補。若小不瘥，作露宿丸服之（方在第十六卷中）。

治腹中積症方 葶藶子一升（熬），酒五升浸七日，服三合，日三。

治蛇症方 白馬尾切長五分，以酒服方寸七，大者自出。更服二分者一方寸七，中者亦出。更服三分者一方寸七，小者複出。不可頓作一服，殺人。（馬尾，一本作馬毛）。

大黃湯方

治蛇症 大黃 茯苓（各半兩一本作黃芩） 烏賊骨（二枚） 皂莢（六枚如豬牙者） 甘草（如指大者一尺） 芒硝（如雞子一枚）
上六味 咀。以水六升煮三沸，去滓，納硝，適寒溫，盡服之，十日一劑，作如上法，欲服之，宿無食，平旦服，當下病根也。

治鱉症腹堅硬腫起大如盤，睡臥不得方。

取藍一斤，搗，水三升，絞取汁，服一升，日二。

又方 蒴 根白皮一握，研取汁，以水和，頓服之。

又方 白馬尿一升，雞子三枚，取白合，煎取二合，空腹頓服之，不移時當吐病出。

治食中得病，為鱉症在心下，堅強方。

雞屎一升，炒令黃，取五合，以酒一升浸，更取半，搗為末，以所浸酒服方寸七，日二，三日中作一劑。

治蛟龍病，開皇六年三月八日，有人食芹得之，其人病發似癲癎，面色青黃，因食寒食 餳過多，便吐出蛟龍，有頭及尾。從茲有人患此疾，令服寒食餳三斗，大驗。

山野人有嚙虱，在腹生長為虱症病，治之方。

故敗篦子（一枚） 故敗梳（一枚）
上二物各破為兩份，各取一份燒為末，又取一份以水五升，煮取一升，以服前燒末，頓 服須斯出矣。

治米症常欲食米，若不得米則胸中清水出方。

雞屎（一升） 白米（五合）
上二味合炒，令米焦，搗末，以水二升，頓服取盡，須臾吐出病如研米。若無米當出痰，永憎米，不複食。

治肉症思肉不已，食訖複思者方。

空腹飲白馬尿三升，吐肉出，肉不出必死。

治發症，由人因食而入，久即胸間如有蟲，上下去來，惟欲飲油，一日之中乃至三二升，不欲飲食者方。

油一升，以香澤煎之，大 勞貯之，安病患頭邊。令口鼻臨油上，勿令得飲，敷鼻面 令有香氣，當叫喚取飲，不得與之，必當疲極大睡，其發症當從口出飲油，人專守視之，並置鍛石一裹，見症出，以灰粉手捉症抽出，須臾抽盡，即是發也。初從腹中出，形如不流水中濃菜，隨發長短，形亦如之。

又方 酒三升，煮豬脂二升，三沸，一服一升，日二，白馬尿服之亦佳。無馬，白牛亦 得。

症瘕，灸內踝後宛宛中隨年壯，又灸氣海百壯。

久冷，及婦人症瘕，腸鳴泄利，繞臍絞痛，灸天樞百壯，三報之，萬勿針。穴在挾臍兩邊各二寸。

積聚堅滿，灸脾募百壯，穴在章門季肋端。

心下堅，積聚冷脹，灸上脘百壯，三報之。穴在巨闕下一寸許。

積聚堅大如盤，冷脹，灸胃脘二百壯，三報之，穴在巨闕下二寸。

備急千金要方 卷十二 膽腑方

唐 孫思邈

（凡七類）

膽腑脈論第一

（論一首） 論曰：膽腑者主肝也，肝合氣於膽。膽者中清之腑也。（《難經》云膽者清淨之腑。《甲 乙》云中精之腑。）號將軍，決曹吏。重三兩三銖，長三寸三分。在肝短葉間下，貯水、精汁二合（《難經》作三合）。能怒能喜，能剛能柔，目下窠大，其膽乃橫。凡腦、膽、髓、骨、脈、女子胞，此六者，地氣之所生也，皆藏於陰而象於地，故藏而不瀉，名曰奇恒之腑。若胃、大腸、小腸、三焦、膀胱，此五者，天氣之所生也，其氣象天，故瀉而不藏此受五臟濁氣，名曰傳化之腑，此不能久留，輸瀉者也，所謂五臟者藏精氣（《甲乙》作神）而不

瀉，故滿而不能實。六腑者，傳化物而不藏，故實而不能滿。所以然者，水穀入口則胃實而腸虛，食下則腸實而胃虛，故曰實而不滿，滿而不實也。

左手關上陽絕者，無膽脈也。苦膝疼，口中苦、瞇目善畏如見鬼，多驚少力，刺足厥陰治陰，在足大趾間，或刺三毛中。左手關上陽實者，膽實也。若腹中不安，身軀習習也，刺足少陽治陽，在足上第二趾本節後一寸是。

膽病者，善太息，口苦嘔宿汁，心澹澹恐如人將捕之，咽仲介介然，數唾候。在足少陽之本末，亦見其脈之陷下者灸之。其寒熱刺陽陵泉。若善嘔有苦長太息。心中澹澹善悲恐如人將捕之。邪在膽，逆在胃，膽液則口苦，胃氣逆則嘔苦汁，故曰嘔膽，刺三裡以下，胃氣逆，刺足少陽血絡以閉膽卻調其虛實，以去其邪也。

膽脹者，脅下痛脹，口苦太息。

肝前受病移於膽，肝咳不已則嘔膽汁。

厥氣客於膽則夢斗訟。(《甲乙》云夢斗訟自刳。）肝應筋。爪濃色黃者膽濃；爪薄色紅者膽薄；爪堅色青者膽急；爪軟色赤者膽緩；爪直色白無約者膽直；爪惡色黑多敗者膽結。

扁鵲云：足厥陰與少陽為表裡，表清裡濁，其病若實。極則傷熱，熱則驚動精神而不守，臥起不定。若虛則傷寒，寒則恐畏頭眩不能獨臥。發於玄水，其根在膽，先從頭面起，腫至足。(方見治水篇中。）膽有病則眉為之傾，病患眉系傾者七日死。

足少陽之脈，是動則病口苦，善太息，心脅痛，不能反側，甚則面微塵，身無膏澤，足外反熱是為陽厥，是主骨所生病者，頭痛，角頷痛，目銳 痛，缺盆中腫痛，腋下腫馬刀挾 癭，汗出振寒瘧胸中脅肋，髀膝外至絕骨外踝前及諸節皆痛，小趾次趾不用。盛者，則人迎大一

膽虛實第二

(脈二首 方九首 灸法二首）膽實熱 左手關上脈陽實者，足少陽經也。病苦腹中氣滿，飲食不下，咽乾頭痛，洒洒惡寒，脅 痛，名曰膽實熱也。

半夏湯

治膽腑實熱精神不守瀉熱方。

半夏 宿薑(各三兩） 黃芩(一兩） 生地黃(五兩） 遠志 茯苓(各二兩） 秫 米(一升） 酸棗仁(五合）
上八味 咀，以千裡長流水五斗煮秫米，令蟹目沸揚之千餘遍，澄清，取九升煮藥，取 三升半分三服。(《集驗方》治虛煩悶不得眠，無地黃、遠志，有麥門冬、桂心各三兩，甘草、人參各二兩。）膽虛寒 左手關上脈陽虛者，足少陽經也。病苦眩厥痿，足趾不能搖 不能起，僵仆目黃，失 精，名曰膽虛寒也。

溫膽湯

治大病後虛煩不得眠，此膽寒故也，宜服之方。

半夏 竹茹 枳實(各二兩) 橘皮(三兩) 甘草(一兩) 生薑(四兩)
上六味 咀, 以水八升煮取二升, 分三服。(一本有茯苓二兩、紅棗十二枚)

千裡流水湯

治虛煩不得眠方。

麥門冬、半夏(各三兩) 茯苓(四兩) 酸棗仁(二升) 甘草 桂心 黃芩 遠志 葶
上十二味 咀, 以千裡流水一斛煮米, 令蟹目沸揚萬遍澄清, 取一斗煮藥取二升半, 分三服。

酸棗湯

治虛勞煩攪, 奔氣在胸中, 不得眠方。

酸棗仁(三升) 人參 桂心 生薑(各二兩) 石膏(四兩) 茯苓 知母(各三兩) 甘草 (一兩半)
上八味 咀, 以水一斗先煮棗仁取七升, 去滓, 下藥煮取三升, 分三服, 日三。

治虛勞煩悶不得眠方：

大棗(二七枚) 蔥白(七莖)
上二味以水三升煮取一升, 去滓頓服。

梔子湯

治大下後虛勞不得眠, 劇者顛倒懊惱欲死方。(仲景云, 發汗吐下後, 虛煩不得眠, 若 劇者必反覆顛倒, 心中懊惱, 梔子湯主之。) 大梔子(十四枚) 豉(七合)
上二味, 以水四升先煮梔子取二升半, 納豉更煮三沸, 去滓。每服一升, 安者勿更服。

若上氣嘔逆, 加橘皮二兩, 亦可加生薑二兩。

治煩悶不得眠方： 枸杞白皮、生地黃(各五兩) 麥門冬 甘草 前胡(各五兩) 茯苓
上十味 咀, 以水八升煮取三升七合, 分四服。

治虛勞不得眠方：

酸棗仁 榆葉(等分)
上二味為末, 蜜丸如梧桐子大, 每服十五丸, 日再。

又方 乾薑四兩為末, 湯和頓服, 覆取汗愈。

灸法

膽實熱灸濁浴, 隨年壯, 穴在挾膽俞旁相行去五寸。

膽虛灸三陰交各二十壯, 穴在內踝上一夫。

咽門論第三

（論一首）論曰：夫咽門者，應五臟六腑往來神氣陰陽通塞之道也。喉嚨包囊舌者，並津液調五味 之氣本也，不可不研乎。咽門者，肝膽之候也，主通五臟六腑津液神氣應十二時。若臟熱則咽門閉而氣塞，若腑寒則咽門破而聲嘶，母薑酒主之。（方見六卷喉病門。）熱則通之，寒則補之，若寒熱調和，病不生矣。

髓虛實第四

（論一首，方二首）論曰：髓虛者，腦痛不安，實者勇悍。凡髓虛實之應主於肝膽。若其腑臟有病，病從髓生，熱則應臟，寒則應腑。

羌活補髓丸

治髓虛腦痛不安膽腑中寒方。

羌活 川芎 當歸（各三兩） 桂心（二兩） 人參（四兩） 棗肉（研如脂） 羊髓 酥 （各一升） 牛髓 大麻仁（各二升熬研如脂）
上十味先搗五種干藥為末，下棗膏，麻仁又搗，相濡為一家，下二髓並酥，納銅缽中，重湯煎取為丸如梧子大，酒服三十丸，日二服，稍加至四十丸。

柴胡發泄湯

治體實勇悍驚熱主肝熱方。

柴胡 升麻 黃芩 細辛 枳實 梔子仁 芒硝（各三兩） 淡竹葉 生地黃（各一升） 澤瀉（四兩）
上十味 咀，以水九升煮取三升，去滓，下硝，分三服。

風虛雜補酒煎第五

（方十九首）

巴戟天酒

治虛羸陽道不舉，五勞七傷，百病能食下氣方。

巴戟天 牛膝（各三升） 枸杞根白皮 麥門冬 地黃 防風（各二斤）
上六味並生用，如無生者用乾者，亦得 咀，以酒一石四斗浸七日，去滓，溫服，常令酒氣相續，勿至醉吐，慎生冷，豬、魚、油、蒜。春七日，秋冬二七日，夏勿服。先患冷者，加乾薑、桂心各一斤。好忘加遠志一斤，大虛勞加五味子，蓯蓉各一斤。陰下濕加五加根皮 一斤。有石斛加一斤佳。

每加藥一斤，即加酒七升。此酒每年九月中旬即合，十月上旬即服。設服餘藥，以此酒 下之

又方 巴戟天 生牛膝（各三斤）
上二味 咀，以酒五斗淹浸，服如前法。

五加酒

治虛勞不足方。

五加皮　枸杞根白皮(各一斗)
上二味　咀，以水一石五斗煮取汁七斗，分取四斗浸曲一斗，餘三斗用拌飯下米，多少　如常釀法，熟壓取服之，多少任性，禁如藥法，倍日將息。

天門冬大煎

治男子五勞七傷八風十二痺傷中六極。一氣極則多寒痺腹痛，喘息驚恐頭痛。二肺極則寒痺腰痛，心下堅有積聚，小便不利，手足不仁。三脈極則顏色苦青逆意，喜恍惚失氣，狀　似悲泣之後。苦舌強咽喉乾，寒熱惡風不可動，不嗜食，苦眩喜怒妄言。四筋極則拘攣小腹堅脹，心痛膝寒冷，四肢骨節皆疼痛。五骨極則肢節厥逆，黃膽消渴，癰疽妄發，重病浮腫　如水病狀。六肉極則發痓如得擊，不複言，甚者至死複生，眾醫所不能治。此皆六極七傷所致，非獨房室之為也。

憂恚積，思喜怒悲歡，複隨風濕結氣，咳時嘔吐食已變，大小便不利，時泄利重下，溺　血上氣吐下，乍寒乍熱，臥不安席，小便赤黃，時時惡夢，夢與死人共飲食，入塚神室魂飛　魄散。

筋極則傷肝，傷肝則腰背相引難可俯仰。氣極則傷肺，傷肺則小便有血，目不明。髓極　則陰痿不起，住而不交。骨極則傷腎，傷腎則短氣不可久立，陰疼惡寒，甚者卵縮陰下生瘡　濕癢，手搔不欲住汁出，此皆為腎病，甚者多遭風毒，四肢頑痺，手足浮腫，名曰腳弱，一名腳氣，醫所不治，此悉主之方。

天門冬　生地黃(切，各三斗半　搗壓盡取汁)　白蜜(三升，煉)　酥(三升，煉)　枸　杞根(切，三斗，洗淨，以水一石五斗煮取一斗三升澄清)　獐骨(一具，搗碎。以水一石　煮　取五斗澄清)
上六味並大斗銅器中，微火先煎門冬，地黃減半乃合，煎取大斗二斗，下後件散藥，煎　取一斗，納銅器，重釜煎令隱掌，可丸如梧子大。平旦空腹酒服二十丸，日二，加至五十丸。

慎　茯苓　桂心　白朮　蕨蕤　五加皮　菖蒲　遠志　澤瀉　薯蕷　柏子仁　人參　石斛　牛膝　杜仲　覆盆子　細辛　獨活　枳實　川芎　大豆黃卷　黃耆　肉蓯蓉　續斷　狗脊　胡麻子　蓆　白芷　橘皮　茯神　巴戟天　石南(各二兩)　阿膠(十兩)　甘草(六兩)　蜀椒　薏苡仁(各一升)　大棗(一百枚，煮作膏)　鹿角膠(五兩)　蔓荊子(三兩)
上三十八味治，下篩，納煎中有牛髓、鹿髓各加三升尤佳。小便澀去柏子仁，加秦艽二兩，乾地黃六兩。陰痿失精去蕨蕤，加五味子二兩。頭風去柏子仁，加菊花、防風各二兩。

小便利陰氣弱，去細辛防風，加山茱萸二兩。腹中冷去防風加乾薑二兩。無他疾依方修合。

凡此煎，九月下旬采藥，立冬日合服，至五月上旬止，若十二月臘日合者，經夏至至七月下旬止。若停留經夏不壞，當於舍北陰處入地深六尺填沙置藥中，上加沙覆之則經夏不損也。

女人先患熱者得服，患冷者勿服。

填骨萬金煎

治內勞少氣，寒疝裡急，腹中喘逆，腰脊痛方。

生地(三十斤取汁) 肉蓯蓉 甘草 阿膠(各一斤) 麥門冬 乾地黃(各三斤) 乾薑 桑白皮 茯 牛髓(三斤) 白蜜(十斤) 清酒(四斗) 麻子仁(三升) 大棗(一百五十枚) 當歸 (十四兩) 干漆(二十
上二十三味, 先以清酒二斗六升, 納桑根白皮、麻子仁、棗、膠為刻識之。又加酒一斗 四升 大瓮盛飲, 吞如彈丸一枚, 日三。若夏月暑熱煮煎轉味, 可以蜜與地黃汁和諸藥成丸如梧子, 服十五丸, 不知稍加至三十丸。

又方 治男子風虛勞損兼時氣方。

甘草(一斤) 石斛 防風 蓯蓉 山茱萸 茯苓 人參 薯蕷(各四兩) 桂心 牛 膝 五味子 菟 絲子 巴戟天 川芎(各三兩並為末) 生地骨皮 生地黃汁(各一升) 丹參(二兩) 生麥門 冬汁 牛髓 白蜜(各三升) 生薑汁(一升) 胡麻(二升, 以水二斗煮取四升, 去滓)
上二十二味先煮地黃、地骨皮、胡麻汁減半, 納牛髓、蜜、薑、門冬等汁, 微火煎, 餘 八升 下諸藥散和, 令調, 納銅器中湯上煎令可丸如梧子大, 酒服三十丸, 日二服加至五十丸。

小鹿骨煎

(一云獐骨) 治一切虛羸皆服之方。

鹿骨(一具, 碎) 枸杞根(切, 二升)
上二味各以水一斗, 別器各煎汁五升, 去滓澄清, 乃合一器同煎, 取五升, 日二服盡, 好將慎, 皆用大斗。

地黃小煎

治五勞七傷羸瘦干削方。

乾地黃(末, 一升) 胡麻油(半升) 蜜(二升) 豬脂(一斤)
上四味銅器中煎, 令可丸如梧子大, 飲服三丸, 日二, 稍加至十丸。久久常服, 大有所益, 瘦黑者肥充。

陸抗膏

治虛冷枯瘦身無精光虛損諸不足方。

牛髓 羊脂(各二升) 酥(《經心錄》用豬脂) 生薑汁 白蜜(各三升)
上五味先煎酥令熟, 次納薑汁, 次納蜜, 次納羊脂、牛髓, 後微火煎三上三下, 令薑汁 水氣盡即膏成, 攪令凝止, 溫酒服, 隨人能否, 不限多少, 令人肥健發熱也。(《經心錄》雲 治百病勞虛風濕補益神效。男女通可服之良)。

枸杞煎

補虛羸, 久服輕身不老神驗方。

九月十日取生濕枸杞子一升、清酒六升, 煮五六沸取出熟研, 濾取汁。令其子極淨曝令乾, 搗末, 和前汁微火煎, 令可丸, 酒服二方寸匕, 日二, 加至三匕, 亦可丸, 服三十丸。

夏姬杏仁煎方

(《太上肘後王經方》名杏金丹)：

杏仁三升納湯中，去皮尖雙仁，熟搗，盆中水研，取七八升汁，以鐵釜置 火上，取羊 脂四斤就釜內磨消，納杏仁汁溫之四五日，色如金狀，餌如彈子，日三服，百日肥白，易容 人不又方 杏仁去皮尖熬黃搗，服如梧子，日三。治枯瘦令人潤澤無所禁。咳逆上氣喉中百病，心下煩不得咽物者，得茯苓、款冬、紫菀並力大良。其藥生熱熟冷，喉中如有息肉者亦服之。

桃仁煎方

桃仁 蜜(各一斤) 酥(半斤) 胡麻(一升，末) 牛乳(五升) 地黃(十斤，取汁)
上六味合煎如餳，旋服之。

治五勞七傷方：

白羊頭蹄(一具，淨，治以草火燒令黃赤，以淨綿急塞鼻及腦孔) 胡椒 蓽茇 乾薑 (各一兩) 蔥白(一升) 豉(三升)
上七味先以水煮頭及蹄半熟，即納藥煮令極爛去藥，冷暖任性食之：日一具，七日凡七 具。忌生冷，酢滑，五辛。陳臭等物

治虛勞補方：

羊肚(一具，切) 白朮(一升)
上二味以水二斗煮取六升，每服二升，日三為度。

又方 豉(一升，蒸三遍) 薤白(一斤，切)
上二味以水七升煮取三升，分三服，小取汗。

膏煎

治虛羸瘦方。

不中水豬肪煎取一升，納蔥白一握，煎令黃，出納盆中，平旦空腹服訖，暖覆臥至晡時，食白粥，粥不得稀，過三日服補方如下。

羊肝(一具) 羊脊膂肉(一條) 曲末(半斤) 枸杞根(十斤)
上四味以水三斗煮枸杞，取一斗去滓，細切肝等納汁中，著蔥豉鹽如羹法合煎，看如稠 糖即好，食之七日，禁如藥法。

補虛方：

豬肚(一具) 人參(五兩) 蜀椒(一兩) 乾薑(三兩半) 蔥白(七兩) 白粱 米(半升，《翼》用粳米)
上六味， 咀，諸藥令相得，和米納肚中縫合，勿令泄氣，取水四斗半，緩火煮爛，空腹食之大佳，兼下少飯。

吐血第六

（論二首 方二十九首 針灸法十五首）論曰：稟丘云：吐血有三種，有內衄，有肺疽，有傷胃。內衄者出血，如鼻衄但不從鼻 孔出 悶便 滿悶吐之時，血從吐後出，或一合半升一升是也。傷胃者，因飲食大飽之後，胃中冷則不能 消化，不腹絞痛出清液，得年少時 茹二味 中但自 然，心中不悶者輒自愈。假令煩躁心中悶亂，紛紛嘔吐，顛倒不安，醫工又以黃 土湯，阿膠散，益加悶亂卒致不濟，如此悶者，當急吐之。

急吐方 瓜蒂（三分）杜蘅 人參（各一分）
上三味治，下篩，服一錢匕，或無水漿，但得下即可。羸人小減之，吐去青黃或吐血一二升無苦。

黃土湯

治吐血方。

伏龍肝（雞子大，二枚）桂心 乾薑 當歸 芍藥 白芷 甘草 阿膠 芎（各一兩）生地黃（二兩）細辛（半兩）吳茱萸（二升）
上十二味 咀，以酒七升、水三升合煮，取三升半，去滓，納膠，煮取三升，分三服。

亦治血衄。

又方 治卒吐血及衄血方。

伏龍肝（半升）甘草 乾薑（仲景作地黃）白朮 阿膠 黃芩（各三兩）
上六味 咀，以水一斗煮取三升，去滓，下膠，分三服。

生地黃湯

治憂恚嘔血煩滿少氣胸中痛方。

生地黃（一斤）大棗（五十枚）阿膠 甘草（各三兩）
上四味 咀，以水一斗煮取四升，分四服，日三夜一。

堅中湯

治虛勞內傷，寒熱嘔逆吐血方。

糖（三斤）芍藥 半夏 生薑 甘草（各三兩）桂心（二兩）大棗（五十枚）
上七味 咀，以水二斗煮取七升，分七服，日五夜二。（《翼方》無甘草、桂心，有生地黃）

治噫止唾血方：

石膏（四兩）濃朴（三兩）麻黃 生薑 五味子 半夏 杏仁（各二兩）小麥（一升）
上八味 咀，以水一斗煮麻黃，去沫澄取七升，納藥煮取二升半，分再服。

治吐血胸中塞痛方：

芍藥 乾薑 茯苓 桂心 當歸 大黃 芒硝(各三兩) 阿膠 甘草 人參(各二兩) 麻黃(一兩) 乾地黃(四兩) 虻蟲 水蛭(各八十枚) 大棗(二十枚) 桃仁(一百枚)
上十六味 咀, 以水一斗七升煮取四升, 分五服, 日三夜二。

柏葉湯

治吐血內崩上氣面色如土方。

乾薑 阿膠 柏葉(各二兩) 艾(一把)
上四味 咀, 以水五升煮取一升, 納馬通汁一升, 煮取一升, 頓服。(仲景不用阿膠,《短劇》、《肘後》俱不用柏葉)

治吐血酒客溫疫中熱毒乾嘔心煩方：

蒲黃 犀角 栝蔞根 甘草(各二兩) 葛根 桑寄生(各二兩)
上六味 咀, 以水七升, 煮取三升, 分三服

澤蘭湯

治傷中裡急, 胸脅攣痛欲嘔血, 時寒時熱, 小便赤黃, 此皆傷於房勞故也。

澤蘭 糖(各一斤) 桂心 桑根白皮 人參(各二兩) 遠志(二兩) 生薑(五兩) 麻仁(一升)
上八味 咀, 以醇酒一斗五升, 煮取七升, 去滓, 納糖, 食前服一升, 日三夜一, 勿勞動。

治忽吐血一二口, 或是心衄, 或是內崩方：

螬蠐(五枚) 牛膝(生) 王不留行 牡丹 麥門冬(各二兩) 蕳 芍藥 乾地黃(各四兩) 續斷 阿膠(各三兩)
上十味 咀, 以生地黃汁五升、赤馬通汁三升, 煮取三升, 分三服。不瘥更合數劑, 取瘥止。

又方 熟艾三雞子許, 水五升煮取二升, 頓服。

又方 燒亂髮灰, 水服方寸匕, 日三服。(《集驗》雲治舌上忽出血如簪孔者, 亦治小便出血者。)

治虛勞吐血方：

生地黃肥者五升搗, 以酒一升煮沸三上三下, 去滓頓服。

又方 凡吐血服桂心末方寸匕, 日夜可二十服。(《肘後》亦云療下血。)

又方 生地黃五斤絞取汁, 微火煎三沸, 投白蜜一斤, 又煎取三升, 每服半升, 日三。主胸痛, 百病久服佳。

又方 柏葉一升, 以水六升煮取三升, 分三服。

又方 生地黃汁(半升) 川大黃末(一方寸匕)
上二味先溫地黃汁一沸, 次納大黃攪和, 空腹頓服, 日三瘥。

犀角地黃湯

治傷寒及溫病應發汗而不汗之內蓄血、及鼻衄、吐血不盡，內餘瘀血，大便黑、面黃，消瘀血方。

犀角（一兩） 生地黃（八兩） 芍藥（三兩） 牡丹皮（二兩）
上四味 咀，以水九升煮取三升，分三服。喜妄如狂者加大黃二兩，黃芩三兩。其人脈大來遲，腹不滿自言滿者，為無熱，但依方不須有所增加。

治五臟熱結吐血、衄血方：

伏龍肝（雞子大一枚） 生竹茹（一升） 芍藥 當歸 黃芩 芎 甘草（各二兩） 生地黃（一斤）
上八味 咀，以水一斗三升先煮竹茹，減三升，下諸藥取二升，分三服。（《翼方》有桂心。）

當歸湯

治衄血吐血方。

當歸 乾薑 芍藥 阿膠（各二兩） 黃芩（三兩）
上五味 咀，以水六升煮取二升，分三服。

治上焦熱膈傷、吐血、衄血或下血連日不止欲死並主之方：

艾葉 竹茹（各一升） 阿膠（如手掌大） 乾薑（二兩）
上四味 咀，以水三升煮取一升，去滓。納馬通汁半升煮取一升，頓服。取新馬屎與少 水和絞取汁服。

（一方不用竹茹，加乾薑作七兩。

治虛勞崩中吐血，下血，上氣短，氣欲絕，面黑如漆方：

黃 芍藥 芎 甘草（各四兩） 生薑（一斤）
上五味 咀，以酒五升浸一宿，明旦更以水五升，煮取四升，分四服，日三夜一。下陰中毒如湯沃雪，凡夏月不得宿浸藥。酒客勞熱發痔下血穀道熱者，去生薑用生地黃代之，凡進三

竹茹湯

治吐血，衄血，大小便下血方。

竹茹（二升） 甘草 川芎 黃芩 當歸（各六分） 芍藥 白朮 人參 桂心（各一兩）
上九味 咀，以水一斗煮取三升，分四服，日三夜一。

治九孔出血方：

搗荊葉汁，酒服二合。（一本作荊芥。）

治吐血蠱毒痔血，女子腰腹痛，大便後出清血者方：

取東向 荷根搗絞取汁二升，頓服立瘥。

赤小豆散

諸下血先見血後見便為遠血，宜服黃土湯（方見本門七味仲景方是）。先見便後見血，宜服赤小豆散方。

赤豆（三升，熬令折） 當歸（三兩）
上二味治，下篩，每服方寸匕，日三。

乾地黃丸

治虛勞，胸腹煩滿疼痛瘀血往來，臟虛不受谷，氣逆不得食，補中乾地黃（三兩） 當歸 乾薑 麥門冬 甘草 黃芩（各二兩） 濃朴 干漆 枳實 防風蟲（各五十枚）
上十八味為末，蜜丸如梧子大，先食服十丸，日三，稍加。

麥門冬湯

治凡下血虛極方。

麥門冬 白朮（各四兩） 甘草（一兩） 牡蠣 芍藥 阿膠（各三兩） 大棗（二十枚）
上七味 咀，以水八升煮取二升，分再服。

針灸法

胸中瘀血 滿，脅膈痛不能久立，膝痿寒，三裡主之。嘔血肩脅痛，口乾心痛與背相引不可咳，咳引腎痛，不容主之。心膈下嘔血，上脘主之，唾血振寒咽乾，太淵主之。

嘔血，大陵及 門主之。嘔血上氣，神門主之。內傷唾血不足，外無膏澤，刺地五會。

虛勞吐血，灸胃脘三百壯，亦主勞嘔逆吐血少食多飽多唾（一作多睡）。吐血唾血，灸胸堂 百壯，不吐血唾血，上氣咳逆，灸肺俞隨年壯。

吐血嘔逆，灸手心主五十壯（《千金翼》云大陵是）。凡口鼻出血不止，名腦衄，灸上星 五十壯，入發際一寸是。大便下血。

灸第二十椎，隨年壯。

萬病丸散第七

（論二首 方十三首）論曰：聖人之道，以慈濟物，博求眾藥以備不虞，倉促之際應手皆得，故有萬病方焉。

余以此方散在群典，乃令學人難用，討尋遂鳩撮要妙以為斯品，庶使造次可得好事，君子安 不忘危，無事之暇，可預和合，以備 瘵也。

芫花散

治一切風冷痰飲症癖 瘧，萬醫所不治者皆治之。一各登仙酒。一各三建散。(《翼方》) 名大排風散)

芫花 桔梗 紫菀 大戟 王不留行 烏頭 附子 天雄 白朮 五加皮 蕘花 野狼毒 莽草(俗名魚藥，又名鼠藥) 欒荊，栝蔞根 躑躅 麻黃 白芷 荊芥 茵芋(各十分) 車前子 石斛 人參 石南 石長生(各七分) 蛇床子 蓐 牛膝 狗脊 菟絲子 蓯蓉 秦艽(各五分) 藜蘆 薯蕷 薏苡仁 巴戟天 細辛 當歸 川芎 乾地黃 食茱萸 杜仲 濃朴 黃耆 山茱萸 乾薑 芍藥 桂心 黃芩 吳茱萸 防己 遠志 蜀椒 獨活 五味子 牡丹 橘皮 通草 柴胡 柏子仁 本 菖蒲 茯苓 續斷(各二分)
上六十四味(《翼方》無白朮、食茱萸，有麻花、半夏、赤車使者、高良薑，紫蕨)並 不治不擇不炙不熬，但振去塵土，搗以粗羅下之，即與服。)凡是豬，雞、五辛、生冷、酢滑 任意食之，無所忌。惟諸豆皆殺藥不得食。

藥散(三兩) 細曲(末二升) 糯米(三升) 真酒(五升) 先以三大斗水煮米作粥，須極熟。冬月揚去火氣。春月稍涼，夏月揚絕火氣令極冷。秋 稍溫。次下曲末，搦使和柔相得，重下藥末，搦使突突然好熟，乃下真酒重搦使散，盛不津 器中，以淨杖攪散，經宿即飲，直以布蓋，不須密封。凡服藥平旦空心服之，以知為度。微 覺發動流入四肢，頭面習習然為定。勿更加之，如法服之。常常內消，非理加增，必大吐利，服散者，細下篩服一方寸匕，和水酒漿飲，無知稍增，以知為度，服丸者，細下篩，蜜丸如梧子，每服七丸，但此藥或丸或散皆可，惟不得作湯。若欲得補不令吐瀉，但取內消，大益 勝於五石，兼治諸病功效一等，然作酒服佳於丸散，美而易服，流行迅疾，若有患人抱病多時，積 宿食大塊，久氣症瘕積聚，一切痼結者，即須一兩度增，令吐下泄去惡物盡後，少服內消便為補益。凡服藥填勿早食，早食觸藥必當大吐、吐亦無損，須臾還定。但令人咽 喉痛，三兩日後始瘥，服者宜知之。平旦服藥至午時待藥勢定，宜先食冷飯菹飲冷漿水，及 午後藥勢一定，任意熱食無忌。若藥勢未定，不得強起行，行即暈悶旋倒，眼花暗然迷絕，此是逐風所致，不須疑怪。風盡之後，縱令多服更佳，不然悶時但坐但臥須臾醒，然不異於常。若其定後，任意所之若必便旋，當策杖如廁，少覺煩亂即須坐定，坐定即醒，醒乃可行。

病在膈上，久冷痰 積聚，症結疝瘕，宿食堅塊，咳逆上氣等一切痼結重病，終日吐唾，逆 氣上沖胸喉、此皆胃口積冷所致，三焦腸間宿冷以成諸疾。如此例便當吐卻此等惡物，輕者一度下，轉藥令吐卻。若重者三五度下之令盡，其吐狀法，初吐冷氣沫，次吐酢水，須臾吐黃汁大濃，甚苦似牛涎。病若更多者，當吐出紫痰，似紫草汁，非常齒，有此者例入死道，不久定死。若有疰者吐血，陳久黑血，新者鮮血，吐罷永瘥不發。下此吐藥，當吐時大悶，須臾自定，即不虛 得冷凍飲料食已，耳不虛聾，手足不痺，若胃口有前件等病勢久成者，正當 吐時，有一塊物塞胸喉，吐複不出，咽複不入，當有異種大悶，更加一二合藥酒，重投藥下，少時即當吐出塊物如拳大，真似 雞子黃著地，以刀斫碎，重者十塊，輕者三五枚。凡人有上件等病，若服藥時不吐卻者，當時雖得漸損，一二年後還發，為此故須下吐藥。欲服取 吐者，當以春三月服之，春宜吐故也。凡膈上冷，小腹滿，腸鳴，膀胱有氣冷，利多者，須加利藥於此酒內服之便去惡物。利法，出泔澱如清水、如黃汁、如青泥，輕者一兩度下利藥，得利以盡病源，重者五度下利藥，令使頻，得大利以盡病根。利法，旦起服藥，比至晡時可得兩三行，即斷後服。凡長病患，瘦弱虛損，老人貴人，此等人但令少服，積日漸漸加增，令多內消瘥。除久病不加吐利也。藥若傷多，吐利困極不止者，水服生大豆末方寸匕，即定，及藍葉、烏豆葉嚼以咽之，登時即定。此據大困時用之，小困時不須也。凡在世人有虛損陽衰，消瘦骨立者服之非常補益。旬月之間肌膚充悅，顏色光澤，髓溢精滿，少壯一等，凡眾 萬病皆除之。治一切風病癘節風，二十兩和酒五斗，賊風、熱風、大風，上同。偏風、痺 腿風、癱緩風，十二兩和酒三斗。此七種並帶熱，須加冷藥押使常數便利。賊風掣，八兩和酒二斗。濕風周痺，上同腰腳攣痛，十二兩和酒三斗，筋節攣急，八兩和酒二斗，重病後 汗不流，初覺三服，一服一盞，年久服一升。食熱食如錐刀刺者，八兩和酒二斗。

口 面戾 一眼不合者，初得，四兩和酒一斗，年久，十二兩和酒三斗。頭面風似蟲行，又似毛髮在面 上者，八兩和酒二斗。起即頭旋良久始定者，四兩和酒一斗。心悶嘔逆，項強者，風在心臟，欲風欲雨，便即先發者，八兩和酒二斗。因瘡得風口強脊脈急者，五服即定，一服一盞。治 一切冷病積冷 瘦者，四兩和酒一斗，強者六兩和酒一斗半。痰飲疝瘕，上同。宿食嘔吐，四兩和酒一斗。症瘕腸鳴噫，八兩和酒二斗。久痃及久勞上同， 痔塊堅，冷噦上氣，二十兩和酒五斗。奔豚冷氣，六兩和酒一斗半。噎及冷痢上同。卒中惡注，忤心腹脹氣急欲死者，三服定，一服一盞。大吐出鮮血瘴氣上同。蠱毒，五服定，一服一盞。溫瘧、 瘧並上同，五服永瘥。治婦人諸風、諸病等，並依前件帶下十二兩和酒三斗。崩中，六兩和酒一斗半。

月閉不通及冷病不產並上同。斷緒不產，八兩和酒二斗。月水前後不調，乍多乍少，亦令人絕產，四兩和酒一斗。產後風冷，不產，六兩和酒二斗；若重者，八兩和酒二斗；甚者十六 兩和酒三斗；大重者，子宮下垂，十六兩和酒四斗。

論曰：遠覽前古莫睹此方，有高人李孝隆者，自云隋初受之於定州山僧惠通道人，此後 用之大有效驗，秘而不傳。但得其藥，其方不可得而聞。始吾得之於靜智道人，將三紀於茲 矣。時俗名醫未之許也。然比行之極有神驗。其用藥殊不倫次，將服節度大不近人情，至於救急其驗特異，方知神物效靈不拘常製，至理關感，智不能知，亦猶龍吟雲起，虎嘯風生，此其不知所以然而然，雖聖人莫之辨也。故述之篇末以貽後世好學君子詳之，非止救物兼深，亦

耆婆萬病丸

治七種痞塊，五種癲病。十種痃忤，七種飛尸，十二種蠱毒，五種黃病，十二時瘧疾，十種水病，八種大風，十二種 痺，並風入頭眼暗漠漠，及上氣咳嗽，喉中如水雞聲，不得眠臥，飲食不作肌膚，五臟滯氣，積聚不消，壅閉不通，心腹脹滿，及連胸背鼓氣堅結流入四肢，或複叉心膈氣滿時定時發，十年、二十年不瘥。五種下痢疳蟲寸白諸蟲，上下冷熱，久積痰飲，令人多睡，消瘦無力，蔭入骨髓便成滯，患身體氣腫，飲食嘔逆，腰腳酸痛，四肢沉重，行立不能久，婦人因產冷入子臟，臟中不淨，或閉塞不通，胞中瘀血，冷滯出流不盡，時時疼痛為患，或因此斷產，並小兒赤白下痢，及胡臭、耳聾、鼻塞等病。此藥以三丸為一劑，服藥不過三劑，萬病悉除，說無窮盡，故稱萬病丸。

牛黃 麝香 犀角 桑白皮 茯苓 乾薑 桂心 當歸 川芎 芍藥 甘遂 黃芩 蜀 椒細辛 桔梗 巴豆 前胡 紫菀 蒲黃 葶藶 防風 人參 朱砂 雄黃 黃連 大戟 禹
上三十一味（崔氏無黃芩、桑白皮、桔梗、防風為二十七味），並令精細，牛黃、麝香、犀角、朱砂、雄黃、禹余糧、巴豆別研，餘者合搗，重絹下篩，以白蜜和，更搗三千杵，密 封之，破除日，平旦空腹酒服三丸，如梧子大，取微下三升惡水為良。若卒暴病，不拘平旦早晚皆可服，但以吐利為度。若不吐利，更加一丸，或至三丸、五丸，須吐利為度，不得限以丸數。病強藥少即不吐利，更非他故。若其發遲以熱飲汁投之。若吐利不止即以酢飯兩三口止之。服藥忌陳臭生冷酢滑粘食，大蒜、豬雞魚狗馬驢肉、白酒、行房，七日外始得。

一日服，二日補之，得食新米，韭菜汁作羹粥 飲食之三四頓大良，亦不得全飽。產婦勿服。

吐利以後，常須閉口少語，於無風處溫床暖室將息。若旅行卒暴，無飲，以小便送之為佳，若一歲以下小兒有疾者，令乳母服兩小豆，亦以吐利為度。近病及卒病皆用，多積久病即 少服，常取微溏利為度。卒病欲死，服三丸如小豆，取吐利即瘥。卒得中惡噤，服二丸如小豆，暖水一合灌口令下，微利即瘥。

諸有痰飲者，服三丸如小豆。

五疰鬼刺客忤，服二丸如小豆，不瘥，間日更服三丸。

男女邪病，歌哭無時，腹大如妊娠，服二丸如小豆，日三夜一，間食服之。

大痢，服一丸如小豆，日三。

貓鬼病，服三丸如小豆，未瘥更服。

蠱毒吐血，腹痛如刺，服二丸如小豆，不瘥更服。

瘧病未發前，服一丸如小豆，不瘥，後日更服。

冷癖，服三丸如小豆，日三，皆間食服之常令微溏利。

宿食不消，服二丸如小豆，取利。

症瘕積聚，服二丸如小豆，即瘥。

水病，服三丸如小豆，日三，皆間食服之，以利瘥止。

拘急心腹脹滿心痛，服二丸如小豆，不瘥更服。

上氣喘逆，胸滿不得臥，服二丸如小豆，不瘥更服。

疳濕，以一丸如杏仁大，和酢二合灌下部，亦服二丸如小豆。

鼻衄，服二丸如小豆，日三，皆間食服之，瘥止，人弱隔日服之。

頭痛惡寒，服二丸如小豆，日三，覆取汗。

傷寒時行，服二丸如小豆，日三，間食服之。

小便不通，服二丸如小豆，不瘥，明日更服。

大便不通，服二丸如小豆，又納一丸下部中即通。

耳聾 耳，以綿裹一丸如小棗核大，塞之瘥。

癰腫、疔腫、破腫，納一丸如麻子大，日一敷，其根自出，瘥。凡疔腫血出，以豬脂和 敷。有孔，納孔中，瘥止。

胸背腰脊腫，以酢和敷腫上，日一易，又服二丸如小豆。

癩瘡，先以酢泔洗後，取藥和豬脂敷之。 瘡有孔，以一丸如小豆，納孔中，兼和豬脂 敷之。

痔瘡，取藥塗綿箸上，納孔中，日別易，瘥止。

瘰癧，以酢和敷上瘥。

惡刺，以一丸納瘡孔中，即瘥。

諸冷瘡積年不瘥者，以酢和塗瘡上，作餅貼之瘥。

瘡癬，先以布揩汁出後，取酢和敷上，日別一易，立瘥。

蠍螫，以少許敷螫處。

蜂螫，以少許敷螫處。

蝮蛇螫，取少許納螫處，若毒入腹，心悶欲絕者，服三丸如小豆。

婦人諸疾，胞衣不下，服二丸如小豆，取吐利即出。

小兒客忤，服二丸如米粒，和乳汁敷乳頭令嗍之。

小兒驚癇，服二丸如米粒，塗乳頭，令嗍之隨兒大小量與。

小兒乳不消，心腹脹滿，服二丸如米粒，塗乳頭，令嗍之，不瘥更服。

治一切蠱毒妖邪鬼疰，有進有退，積聚堅結，心痛如咬不得坐臥，及時行惡氣溫病，風熱瘴氣相染滅門，或時熱如 瘧，咽腫塞不下飲食，或煩滿氣短，面目時赤，或目中赤黃，或乾嘔，或吐逆，或下赤白痢，或熱氣如雲，或欲狂走自殺，或如見鬼，或手足清冷，或熱 飲冷水而不知足，或使手掇空，或面目癰腫生瘡，或耳聾目暗，頭項背脊強不得屈伸，或手 足卒癢，或百鬼惡疰狐魅走入皮膚，痛無常處方：

麝香 丹砂 特生 石 馬目毒公(即鬼臼) 雄黃(各一兩) 巴豆(九十粒) 青 野葛(三兩，一本不用) 馬齒莧(一兩，生成起棱者)
上八味為末，別搗巴豆如膏，合搗五千杵，納蜜，更搗一萬杵，丸如小豆大，強者服二丸，弱者一丸。入腹雲行四布通徹表裡，從頭下行，周遍五臟六腑，魂魄靜定，情性得安。

病在膈上吐，膈下利，或蛇蟲諸毒下五色熱水，或不吐下，便微漸除瘥。萬蟲妖精狐狸鬼魅，久痼癖塊皆消散。在表汗出，在裡直下，忌名其藥，故此方無名也。

仙人玉壺丸方

雄黃 藜蘆 丹砂 石 巴豆 八角附子(各二兩)
上六味，先搗巴豆三千杵，次納 石又搗三千杵，次納藜蘆三千杵，次納附子三千杵，輒治五百杵，納少蜜恐藥飛揚。治藥用王相吉日良時，童子齋戒為良，天晴明無雲霧，白晝 藥成封密器中，勿泄氣，著清潔處。大人服丸如小豆。欲下病者，宿勿食，平旦服二丸。不知者，以粥暖飲發之，令下。下不止，飲冷水以止之。病在膈上吐，膈下利，或噫氣即已。

若欲漸漸除及將服消病者，服如麻子大二丸。卒中惡欲死不知人，以酒若湯和二丸，強開口 灌喉中。鬼疰病百種不可名，漿水服二丸，日再。男女與鬼交通，歌哭無常，或腹大經絕，狀如妊娠，漿水服二丸如胡豆大，日三夜一。又苦酒和，令如飴，每旦敷手間，使心主。心主在手腕後第一約橫紋當中指，至暮，又敷足

三陰三陽及鼻孔，七日愈。又漿水服麻子大一丸，日三服，三十日止，惡風逆心不得氣息，服一丸。腹中如有蟲欲鑽脅出狀，急痛，一止 一作，是惡風，服二丸。憂恚氣結在胸心，苦連噫及咳，胸中刺痛，服如麻子大三丸，日三。

腹痛脹滿不食，服二丸。心腹切痛及心中熱，服一丸如麻子大，日三服，五日瘥。風疝、寒 疝、心疝、弦疝，每發腹中急痛，服二丸。卒上氣，氣但出不入，並逆氣沖喉，胃中暴積聚 者，服二丸，日再。 飲痰飲，平旦服一丸。腹中三蟲，宿勿食，明旦炙牛羊肉三臠食之，須臾進三丸如胡豆大，日中當下，過日中不下，更進二丸，爛蟲必下。卒關格不得大小便欲 死，服二丸。卒霍亂心腹痛，煩滿吐下，手足逆冷，服二丸。傷寒敕澀，時氣熱病，溫酒服 一丸，濃覆取汗，不汗更服。寒熱往來，服一丸。瘧未發一丸，已發二丸便斷。積寒熱老痞，服二丸。症堅結痞一丸，日三取愈。下痢重者，一丸取斷。食肉不消，腹堅脹，一丸立愈。

若淋瀝瘦瘠，百節酸痛，服一丸，日三。頭卒風腫，以苦酒若膏和，敷之，絮裹之。癰疽痤 癤瘰及欲作，以苦酒和，敷之。若惡瘡不可名 疥疽，以膏若苦酒和，先以鹽湯洗瘡去 痂，拭乾敷之。齒痛綿裹塞孔中。鼠以豬脂和，敷瘡，取駁舌狗子舐之。中水毒，服二丸。

若已有瘡，苦酒和三丸敷之。耳聾膿血汁出及卒聾，以赤谷皮裹二丸納之。風目赤或癢，視 物漠漠，淚出爛，蜜解如飴，塗注目 。若為蟲毒所中，吐血，腹內如刺，服一丸如麻子，有加大如胡豆，亦以塗鼻孔中。又以膏和，通塗腹背上。亦可燒之，熏口及鼻。若為蛇蝮諸 毒所中，及 犬狂馬所咋，苦酒和敷，又水服二丸。婦人產後餘疾，及月水不通，往來不時 服二丸，日再。婦人胸中苦滯氣，氣息不利，小腹堅急，繞臍絞痛，漿水服如麻子一丸，稍 加之，如小豆大。小兒百病驚癇，痞塞及有熱，百日、半歲者，以一丸如黍米大置乳頭飲之，一歲以上如麻子一丸，日三，飲送下。小兒大腹，及中熱惡毒，食物不化，結成積聚，服一丸。小兒寒熱頭痛，身熱，及吐，服一丸如麻子大。小兒羸瘦丁奚，不能食，食不能化，漿水服二丸，日三。又苦酒和，如梧子大敷腹上良。一切萬病量之不過，一二丸莫不立效。

張仲景三物備急丸

司空裴秀為散用治心腹卒暴百病方。

大黃 乾薑 巴豆（各等分） 上皆須精新。多少隨意。先搗大黃、乾薑下篩為散，別研巴豆如脂，納散中合搗千杵，即爾用之為散，亦好用蜜為丸，貯密器中，莫令泄氣，若中惡客忤，心腹脹滿、刺痛，口 噤氣急，停尸卒死者，以暖水若酒服大豆許三枚，老小量與。扶頭起，令得下喉，須臾未醒，更

大理氣丸

治萬病方。

牛膝 甘草 人參 茯苓 遠志 恆山 苦參 丹參 沙參 龍膽 龍骨 牡蒙 半夏 杏仁 紫菀 芍藥 天雄 附子 葛根 橘皮 巴豆 野狼牙（各二兩） 大黃 牡蠣 白朮（各三兩） 生薑（末五兩） 白薇（六分） 元參（七分） 蘆（大者一枚）
上二十九味，先搗篩二十七味，令熟，次搗巴豆、杏仁如膏，然後和，使相得，加白蜜 更搗五千餘杵，丸如梧子大，空腹酒服七丸，日三。疝瘕症結五十日服永瘥。吾常用理氣，大

大麝香丸

治鬼疰飛尸病方。

麝香(三分) 石(八分) 牛黃 附子 鬼臼 真珠 莽草 犀角 礬石 細辛 桂心仁(各五十枚) 芫青 地膽(《外台》作蚺蛇膽) 亭長 斑螫(各七枚)
上二十三味為末，蜜和合，更搗三千杵，丸如小豆大，飲服一丸，日再，漸加至三丸，蟲毒所螫，摩之以知為度。若欲入毒疫癘鄉死喪病處，及惡鬼塚墓間，盛絳囊中，男左女右，肘後系之，又以少許敷鼻下人中，及臥不魘。

小麝香丸

治同前。

麝香 莽草 犀角 梔子仁(各三分) 雄黃 當歸(《外台》不用) 丹砂(各四分) 乾薑 桂心 芍藥 細辛(各五分) 附子 烏頭(各五枚) 蜈蚣(一枚) 巴豆(五十枚)
上十五味為末，蜜和合，搗千杵，丸如小豆大，服三丸，日三，可加至五丸，一切尸疰 痛悉皆主之。

紫葛丸

治緒熱不調方。

紫葛 石膏 人參 丹參 紫參 苦參 元參 細辛 齊鹽 代赭 蒞蓉 巴豆 烏頭（各三分）乾薑 桂心 獨活（各五分）
上十六味為末，蜜和，更搗萬餘杵，丸如小豆，服六丸，食前三丸，食後三丸，忌五辛 豬雞魚蒜，餘不在禁限。若覺體中大熱各減一丸服之，令人肥悅，好顏色，強陽道，能食，服藥後十日得利黃白汁大佳，婦人食前、食後只服二丸。兩歲以下小兒服丸如米粒大，令人能飲酒，除百病，藥之功能損益備述如下。腹中積聚，心腹滿，心下堅，痰飲，宿食，食吐逆，上氣，短氣，咳嗽，咽喉鳴，黃膽，久瘧，面腫，身浮腫，四肢煩重，坐起體重，熱病 濕下部癢，體瘡癢，關格不通，大腸出，熱淋，下利，顏色不定，羸瘦無力，弱房少精，精冷，身體斑駁，從高墮下絕傷，墮胎後傷損血，皮肉焦爛，月水不定或後或前，月水斷心下悶滿，肩膊沉重，小兒百病，之小兒癖氣，乳不消，小兒身常壯熱，腹內有病。所錄諸病，皆紫葛丸治之。若積日服餌未愈，消息準方服之，取瘥止。

太乙神精丹

治客忤霍亂腹痛脹滿，尸疰惡氣，癲狂鬼語，蠱毒妖魅，溫瘧，但是一切惡毒無所不治 方。

丹砂 曾青 雌黃 雄黃 磁石(各四兩) 金牙(二兩半)
上六味，各搗，絹下篩，其丹砂、雌黃、雄黃三味，以 醋浸之，曾青好酒於銅器中漬，紙密封訖，日中曝百日，經夏急五日，亦得無日，以火暖之。然後各研，令如細粉，以醋拌，使乾濕得所，納土釜中，以六一泥固濟，勿令泄氣。干後安鐵環施腳高一尺五寸 置釜上，以漸放火，初放火取熟兩秤，炭各長四寸置釜上，待三分二分盡，即益。如此三度 盡用熟火，然後用益生炭其過三上熟火以外，皆須加火漸多，及至一伏時，其火已欲近釜，即便滿，就釜下益炭，經兩度即罷，火盡極冷，然後出之，其藥精飛化凝著釜上五色者上，三色者次，一色者下。雖無五色，但色光明皎潔如雪最佳。若飛上不盡，更令與火如前，以雄雞翼掃取，或

多或少不定，研如棗膏，丸如黍粒。治偏風、大風、惡疾、癲癎、癘節鬼打 等最良。服法，平旦空腹一丸為度。其瘧病積久，百方不瘥。又加心腹脹滿上氣，身面腳等 並腫垂死者，服一丸，吐即瘥，亦有不吐瘥者，若不吐複不瘥者更服一丸半。仍不瘥者後日增半丸，漸服無有不瘥。氣亦定，當吐出青黃白物，其因瘧兩脅下有癖塊者，亦當清除。若 心腹不脹滿者，可與一丸，日日加之，以知為度，不必專須吐，亦可一丸即瘥。勿並與服，亦可三日一服，皆須以意斟酌量得其宜。或腹內有水即下者勿怪。若患瘧日近，精神健，亦可斟酌病患藥性，並與兩丸作一丸頓服之，皆至午後食，勿使冷，勿使熱，豉漿粥任意食之。

若病瘧盜汗虛弱者，日服一丸，至三日吐即止。若患瘧不汗，氣複不流，腳冷者，服一丸。

至三日若不汗，氣複，腳即暖有潤汗，不至三日吐即止。若患瘧無顏色者，服藥後三日即有顏色。亦有須吐瘥者，亦有服少許而瘥者，亦有殺藥強人服三四丸，始覺藥行者，凡人稟性 不同，不可一概與之。但作黍米大服之為始漸加以知為度，藥力驗壯，勿並多服，特慎油面 魚肉蒜，當清淨服之。若有患久不瘥在床，羸瘦並腹脹滿及腫，或下痢者多死，但與藥救之，十人中或瘥三四人也，瘕症積聚，服一刀圭，以漿水送下。諸卒死中惡客忤霍亂腹滿體帶五尸疰惡風疰忤大病相易死亡滅門，狂癲鬼話，已死氣絕，心上微暖者，扶起其頭，以物撬開 口，不可開鑿去兩齒，以漿飲送藥，藥下即活，諸久病者，日服一刀圭，覆令汗，汗出即愈。

不愈者，不過再服，亦有不汗而瘥，複有不汗不愈者，服如上法加半刀圭以瘥為度。常以絳 囊帶九刀圭散，男左女右，小兒系頭上，辟瘴毒惡時氣、射工。小兒患，可以苦酒和之，塗 方寸紙上著兒心腹上，令藥在上治之。亦有已死者，冬二日夏一日，與此藥服，服得下藥便 活，若不得入腹不活。加金牙磁石者，服至五服，內必令人吐逆下利。過此即自定其藥如小豆大為始，從此漸小，不得更大，大風惡癩可二十服。偏風節，諸惡風癲病等亦可二十服。

自餘諸惡病者皆止一二服，量人輕重弱強不得多與。若欲解殺藥但爛煮，食肥豬肉，服此藥 後，小應頭痛身熱一二日來，大不能得食味，後自漸得氣味，五日後便能食。若貪食過多者宜節之。若服藥下悶亂，可煮木防己湯服之，即定。凡言刀圭者以六粟為一刀圭，一說云三小豆為一刀圭。

作土釜法

其法取兩個瓦盆，以甘土塗其內令極乾，其狀大小，隨藥多少。

作六一泥法

赤石脂 牡蠣 滑石 石 黃礬 鹵土 蚯蚓屎（各二兩） 上取 酢以足為度，若無鹵土以鹽代之。先作甘泥土，以泥各別裹前黃礬等五種作團 之，勿令泄氣，以火燒周。

三日最好，一日亦得。出火破團取藥，各搗碎，絹篩，然後與蚯蚓屎、鹵土等分以酢和之如稠粥，即得好酢。可用二分酢一分水和用，取前瓦盆以此泥塗 之。曾青如蚯蚓屎如黃連佳，世少此者，好昆侖碌亦得瘥病，丹砂亦鮮，粟砂亦得。舊不用磁石 凡雄黃皆以油煎，九日九夜備乃可入丹，不爾有毒，慎勿生用。

倉公散

治卒鬼擊鬼痱鬼刺心腹痛如刺，下血便死，不知人，及臥魘嚙，腳踵不覺者，諸惡毒瓦斯 病方（北漢文帝時太倉令淳于意方故名）。

特生 石 皂莢 雄黃 藜蘆(各等分)
上四味治，下篩，取如大豆許，納管中，吹入病患鼻，得嚏則氣通便活，若未嚏，複更 吹之，以得嚏為度，此藥起死回生。

小金牙散

治南方瘴癘疫氣腳弱風邪鬼疰方。

金牙(五分) 雄黃 蕘 黃芩 蜀椒 由跋 桂心 莽草 天雄 朱砂 麝香 烏頭 各二分) 牛黃(一分) 蜈蚣(一枚六寸者) 細辛 蕨蕤 犀角 乾薑(各三分) 黃連(四分) 囊盛帶，男左女右一寸七，省病問孝，不避夜行，塗人中，晨昏霧露亦塗之。

大金牙散

治一切蠱毒百疰不祥醫所不治方。

金牙 鸛骨 石膏(各八分) 斑蝥(七分) 活草子 胡燕屎 白朮 雷丸 龍牙(各六分) 銅鏡鼻 梔子仁 干漆 龜甲 鱉甲 鬼督郵 桃白皮 大黃(各四分) 桂心 芍藥 徐長卿 羚羊角 射干 升麻 鳶尾 馬目毒公 蜂房 細辛 乾薑 芒硝 由跋 犀角 甘草 野狼毒 蜣螂 龍膽 野狼牙 雄黃 真珠(各三分) 芫花 莽草 射罔 烏梅(各二分) 蛇蛻皮(一二十枚)
上五十味治，下篩，服一刀圭，稍加至二刀圭，帶之辟百邪，治九十九種疰(一有麝香 無

備急千金要方 卷十三 心臟方

唐 孫思邈

(凡八類)

心臟脈論第一

(論一首) 論曰：心主神。神者，五臟專精之本也。為帝王監領四方，夏旺七十二日，位在南方，離宮火也。有生之來謂之精，兩精相搏謂之神，所以任物謂之心神者，心之藏也。舌者，心之官。故心氣通於舌，舌和則能審五味矣。心在竅為耳。夫心者火也，腎者水也，水火相濟，心氣通於舌，舌非竅也。其通於竅者，寄見於耳，左耳丙，右耳丁，循環炎宮，上出唇口知味，榮華於耳外主血，內主五音。心重十二兩，中有三毛七孔，盛精汁三合，神名 藏神，號五神居，隨節應會，故云心藏脈。脈舍神，在氣為吞，在液為汗。心氣虛則悲不已，實則笑不休。心氣虛則夢救火，陽物得其時則夢燔灼。心氣盛則夢喜笑及恐畏，厥氣客於心，則夢丘山煙火。凡心臟象火，與小腸合為腑，其經手少陰，與太陽為表裡。其脈洪，相於春，旺於夏，夏時萬物洪盛，垂枝布葉皆下垂如曲，故名曰鉤。心脈洪大而長，洪則衛氣實，實則氣無從出，大則營氣萌，萌洪相薄可以發汗，故名曰長。長洪相得，即引水漿溉灌 經絡，津液皮膚。太陽洪大皆是母軀，幸得戊己，用

牢根株，陽氣上出汗見於頭，五內乾枯，胞夏脈如鉤，夏脈心也，南方火出，萬物之所以盛長也，故其氣來盛去衰，故曰鉤。反此 者病何如而反，其氣來盛去亦盛，此謂太過，病在外表。其來不盛去反盛，此謂不及，病在內。太過則令人身熱，而膚痛為浸淫。不及則令人煩心，上見咳唾，下為氣泄。

心脈來累累如連珠，如循琅，曰平。夏以胃氣為本，心脈來喘喘連屬，其中微曲，曰心病。心脈來前曲後居如操帶鉤，曰心死。

真心脈至堅而搏，如循薏苡子累累然，色赤黑不澤，毛折乃死。夏胃微鉤曰平，鉤多胃 少曰心病，但鉤無胃曰死胃，而石曰冬病，石甚曰今病。

心藏脈，脈舍神，怵惕思慮則傷神，神傷則恐懼自失，破目 脫肉，毛悴色夭，死於冬 手少陰氣絕，則脈不通。少陰者，心脈也。心者，脈之合也。脈不通則血不流，血不流 則發色不澤，面黑如漆柴者，血先死，壬篤癸死，水勝火也。

心死臟浮之實如豆麻擊手，按之益躁，疾者死。夏心火旺，其脈浮大而散（一作洪）曰 平，反得弦細而長者，是肝之乘心，母之歸子，為虛邪，雖病易治。反得大而緩者，是脾之乘心，子之乘母，為實邪，雖病自愈。反得沉濡而滑者，是腎之乘心，水之克火，為賊邪，大逆十死不治。反得微澀而短者，是肺之乘心，金之凌火，為微邪雖病即瘥，腎乘心必癰。

左手關前寸口陰絕者，無心脈也。若心下熱痛，掌中熱，時時善嘔，口中傷爛，刺手少 陽治陽。左手關前寸口陰實者，心實也。是心下有水氣，憂恚發之，刺手心主治陰。

心脈來累累如貫珠滑利，再至曰平，三至曰離經病，四至脫精，五至死，六至命盡，手 少陰脈也。

心脈急甚為瘈瘲，微急為心痛引背，食不下，緩甚為狂笑，微緩為伏梁在心下，上下行，有時唾血。大甚為喉介，微大為心痺引背，善淚出，小甚為善噦，微小為消癉。滑甚為善渴，微滑為心疝引臍，少腹鳴。澀甚為喑，微澀為血溢維厥耳鳴癲疾。

心脈搏堅而長，當病舌卷不能言，其濡而散者，當病消渴自已（渴一作環）。

赤脈之至也喘而堅，診曰，有積氣在中，時害於食，名心痺，得之外疾思慮而心虛，故邪從之。扁鵲曰：心有病則口生瘡腐爛。

心在聲為笑，在變動為憂，在志為喜，喜傷心，精氣並於心則喜，心虛則悲，悲則憂，實則笑，笑則喜。

時主夏病者，時間時甚，知其源，取其輸，觀其應，審其害。

病先發於心者，心痛一日之肺喘咳，三日之肝脅痛支滿，五日之脾閉塞不通，身痛體重，三日不已，死於冬半夜，夏日中。

病在心，日中慧，夜半甚，平旦靜。

假令心病北行若食豚魚得之，不者，當以冬時發，得病以壬癸日也。

凡心病之狀，胸內痛，脅支滿，兩脅下痛，膺背肩胛間痛，兩臂內痛，虛則胸腹大，脅 下與腰背相引而痛，取其經手少陰太陽，舌下血者，其變病刺 中血者。

心脈沉之小而緊，浮之不喘，苦心下聚氣而痛，食不下，喜咽唾，時手足熱煩滿，時忘 不樂，喜太息，得之憂思。

心病其色赤，心痛短氣，手掌煩熱，或啼笑罵詈，悲思愁慮，面赤身熱，其脈實大而數，此為可治，宜服（闕宜服者藥）。春當刺中沖，夏刺勞宮，季夏刺大陵，皆補之；秋刺間 使，冬刺曲澤，皆瀉之（此是手心主心包經絡）。又當灸巨闕五十壯，背第五椎百壯。

邪在心，則病心痛善悲，時眩仆視有餘，不足而調之其俞。

憂愁思慮則傷心，心傷則苦驚，喜忘善怒。

心中風者，翕翕發熱，不能起，心中飢餓，欲食食則嘔。

心中寒者，其人病心如啖蒜齏狀，劇者心痛徹背，背痛徹心如蟲注，其脈浮者，自吐乃愈。

心傷，其人勞倦，頭面赤而下重，心中痛徹背，自煩發熱，當臍跳手，其脈弦，此為心臟傷所致也。

邪哭使魂魄不安者，血氣少也。血氣少者屬於心，心氣虛者，其人即畏，合目欲眠，夢 遠行而精神離散，魂魄妄行。陰氣衰者，即為癲。陽氣衰者，即為狂。五臟者魂魄宅舍，精 神之依托也。魂魄飛揚者，其五臟空虛也，即邪神居之，神靈所使鬼而下之。脈短而微，其臟不足，則魂魄不安。魂屬於肝，魄屬於肺，肺主津液，即為涕泣出。肺氣衰者即泣出，肝 氣衰者魂則不安。肝主善怒其聲呼。

心水者，其人體腫（一作重）而少氣不得臥，煩而躁，其陰大腫。

真心痛手足青至節，心痛甚，旦發夕死，夕發旦死。

心腹痛懊惱發作腫聚，往來上下行痛有休作，心腹中熱，善渴涎出者，是蛔咬也。以手 聚而堅持之，無令得移，以大針刺之，久持之蟲不動乃出針。腸中有蟲蛔咬，皆不可取以小針。

心脹者，煩心短氣臥不安。

凡心脈急，名曰心疝。小腹當有形，其以心為牡藏，小腸為之使，故小腹當有形。

診得心積沉而芤時，上下無常處，病胸滿悸，腹中熱，面赤咽乾，心煩，掌中熱，甚則唾血。身瘈瘲 主血厥，夏瘥冬劇，色赤也。

心之積，名曰伏梁，起於臍上，上至心，大如臂，久久不愈。病煩心心痛，以秋庚辛日得之，何也？腎病傳心，心當傳肺，肺適以秋旺，旺者不受邪。心複欲還腎，腎不肯受，因 留結為積，故知伏梁以秋得之。

心病煩悶，少氣大熱，熱上湯心，嘔咳吐逆，狂語，汗出如珠，身體厥冷，其脈當浮，今反沉濡而滑，其色當赤而反黑者，此是水之克火，為木逆，十死不治。

徵音人者，主心聲也，心聲笑其音竽，其志喜，其經手少陰，厥逆太陽則營衛不通，陰陽反錯。陽氣外擊，陰氣內傷，傷則寒，寒則虛，虛則驚掣心悸，定心湯主之（方見十四卷）。

語聲前寬後急，後聲不續，前混後濁，口 冒昧，好自笑，此為厲風入心，荊瀝湯主之(方 見前第八卷)。心虛風寒，半身不遂，骨節離解，緩弱不收，便利無度，口面 斜，薑附湯 主之(方見前第八卷)。此病不盈旬日，宜急治之。又笑而呻，呻而反憂，此為水克火，陰擊 陽，陰起而陽伏，伏則實，實則傷熱，熱則狂，悶亂冒昧，言多謬誤，不可采聽，此心已傷。

若其人口唇正 心病為虐者，令人心煩甚，欲得清水反寒，多不甚熱(方見前第十卷)。若其人本來心性和雅，而忽弊急反於常，白朮酒主之(方見前第八卷)。或言未竟便住，以手剔腳爪，此 人必死。禍雖未及，名曰行尸，此心病，聲之候也，虛則補之，實則瀉之，不可治者，明而察 之。

赤為心，心合脈赤如雞冠者吉。心主舌，舌是心之餘，其人火形相比於上徵赤色，廣 KT 兌面小頭，好肩背髀腹小手足行安地，疾行搖肩背，肉滿有氣輕財，少信多慮，見事 明了，好顧急心，不壽暴死。耐春夏，不耐秋冬，感而生病，主手少陰竅竅然， 長短傾正則心應之，正赤色小理者則心小，小則邪弗能傷，易傷以憂。粗理者則心大，大則虛，虛則寒，寒則憂不能傷，易傷於邪，無 者則心高，高則實，實則熱，熱則滿於肺中，悶而善忘，難開以言。 小短舉者則心下，下則臟外，易傷於寒，易恐以言。 長者則心堅，堅則臟安守固。 弱以薄者則心脆，脆則善病消癉熱中。 直下不舉者則心端正，端正則和 利難傷， 向一方者則心偏傾，偏傾則操持不一，無守司也。(一云，若 小短薄弱而 下則心下，下則虛，虛則傷寒，病憂恚，內損心暴痛，而好唾清涎，口臭，蟲齒痛侵唇齒。

若 高起則心高，高則實，實則熱，熱則滿於心，悶而善忘，恐悸喉燥口痛牙癰舌傷，小兒則便秘、口重、舌鵝口、聲嘶，方見頭面方中。)凡人部分陷起者，必有病生，小腸太陽為心之部，其處陷起即病生矣。臟舍內外，部亦內外，沉濁屬內，浮清居外。若外病內入，小腹滿起，內病裡出，所部陷沒。外入內，前治陽，後補陰。內出外，前補陰，後瀉陽。陽則實熱，陰則虛寒。在陽主外，在陰主內。凡人死生休咎，則臟神前變形於外，人心前病，則口為之張。若心前死，則枯黑聲語不轉。若天中等分，墓色應之必死不治。看應增損，斟 酌賒促，賒則不出四百日內，促則不延旬月之間，心病少愈而卒死。何以知之？曰：赤黑色黯點如博棋，見顏度年上，此必卒死。心絕一日死，何以知之？兩目回回直視肩息立死。凡 面赤目白，憂恚思慮，心氣內索面色反好，急求棺槨，不過十日死。又面黃目赤不死，赤如血死。吉凶之色若在於分部， 而見赤黑入口，此必死，不出其年，名曰行尸。若年上無應，三年之夏火心脈色赤，主手太陽也。夏取盛經分腠。夏者火始治，心氣始長，脈瘦氣弱，陽氣留溢 其脈本在外踝之後，應在命門之上三寸，命門者，心上一寸也，脈根在少澤，少澤在手 小指端。

其筋起於小指之上，結於腕上，循臂內廉，結肘內蛻骨之後，彈之應小指之上，入結腋 下。其支者後走腋後廉，上繞肩胛，循頸出足太陽之筋前，結於耳後完骨。其支者入耳中，直出耳上，下結於頷上，屬目外 。

其脈起於小指之端，循手外側上腕，出踝中直上循臂骨下廉，出肘內側兩骨之間，上循 外後廉，出肩解繞肩胛，交肩上，入缺盆，向腋絡心，循咽下膈抵胃屬小腸。其支者從缺 盆循頸上頰，至目銳，卻入耳中。其支者別頰上 抵鼻，至目內 斜絡於顴，合手少陰為 表 其手太陽之別名曰支正，上腕五寸，內注少陰，其別者上走肘絡肩，主心生病。病 實則小腸熱，熱則節弛，弛則陽病。陽脈大反逆於寸口再倍，病則嗌痛頷腫耳聾目黃，臥不能言，悶則急坐。虛則小腸寒，寒則生疣，疣則陰病。陰脈反小於寸口過於一倍，病則短氣，百節病，筋急頸痛轉顧不能。(此盡是手太陽小腸經筋脈支別為病，今取心主包絡少陰心經 附於後。

手心主之別名曰內關，去腕五寸(《甲乙》作二寸)，出於兩筋間，循經以上系於心包絡。

心系，氣實則心痛，虛則為煩心，取之兩筋間。

手心主之脈起於胸中，出屬心包下膈，歷絡三焦。其支者循胸出脅下腋三寸上抵腋，下循內行太陰少陰之間，入肘中下臂，行兩筋之間，入掌中循中指出其端。其支者別掌中，循小指次指出其端。是動則病手心熱，肘臂攣急腋腫，甚則胸脅支滿，心中澹澹大動，面赤 目黃，善笑不休，是主脈所生。病者煩心心痛，掌中熱，為此諸病，盛則瀉之，虛則補之，熱則疾之，寒則留之，陷下則灸之，不盛不虛以經取之。盛者則寸口大一倍於人迎，虛者則寸口反小於人迎。

手少陰之別名曰通裡，在腕後一寸，別而上行，循經入咽中，系舌本屬目系，其實則大，膈虛則不能言，取之掌後一寸，別走太陽。

手少陰之脈起於心中，出屬心系，上膈，絡小腸。其支者從心系上挾咽，系目系（系目系一作循胸出脅）。其直者複從心系卻上肺，出腋下，下循 內後廉，行太陰心主之後，下肘內廉，循臂內後廉，抵掌後銳骨之端，入掌後內廉，循小指之內出其端。是動則病咽乾心痛，渴而欲飲，是為臂厥。是主心所生病者目黃脅滿痛，臂內後廉痛，厥掌中熱痛。為此 諸病，手少陰之脈獨無輸，何也？曰：少陰者，心脈也。心者，五臟六腑之大主也，為帝王精 神之所舍。其臟堅固，邪不能容，容之則傷心，心傷則神去，神去則身死矣。故諸邪在於心者，皆在心之包絡，包絡者，心主之脈也，故少陰無輸也。少陰無輸，心不病乎？曰：其外經腑病，臟不病，故獨取其經於掌後銳骨之端也。

夏三月，主心小腸赤脈□病也，其源從少陰太陽之氣相搏而停，則營衛不通，皮肉 痛起。太陽動發少陰，淫邪之氣因而作，則臟腑隨時受夏疫病也。其病相若腑虛則陰邪氣所傷，身戰脈掉捉所不禁。若臟實則為陽毒所侵，肉熱口開舌破咽塞聲嘶，故曰赤脈□病（方 見《傷寒》卷中）。

扁鵲云：灸腎肝心三俞主治丹（一作痺）毒病，當依源為治，表治陰陽，調和臟腑，疾不生

心虛實第二

（脈四條 方十一首 灸法一首）心實熱 左手寸口人迎以前脈陰實者，手少陰經也，病苦閉大便不利，腹滿，四肢重，身熱，名 曰心實熱也。

石膏湯

治心熱實或欲吐，吐而不出，煩悶，喘急，頭痛方。

石膏（一斤） 淡竹葉 香豉（各一升） 小麥（三升） 地骨皮（五兩） 茯苓（三兩） 梔子仁（三十枚）
上七味 咀，先以水一斗五升煮小麥、竹葉、取八升澄清，下諸藥，煮取三升去滓，分三服。（《外台》名瀉心湯）

瀉心湯

治老小下痢水穀不消，腸中雷鳴，心下痞滿，乾嘔不安方。

人參 黃芩 甘草（各一兩） 乾薑（一兩半） 黃連（二兩） 半夏（三兩） 大棗（十二枚）
上七味 咀，以水八升，煮取二升半，分三服。並治霍亂。若寒加附子一枚，渴加栝 蔞根二兩，嘔加橘皮一兩，痛加當歸一兩。客熱以生薑代乾薑。

大黃黃連瀉心湯

治心氣不足，吐血衄血方。

大黃（二兩） 黃連 黃芩（各一兩）
上三味 咀，以水三升煮取一升，頓服。亦治霍亂。

心小腸俱實 左手寸口人迎以前脈陰陽俱實者，手少陰與巨陽經俱實也，病苦頭痛身熱，大便難，心腹煩滿不得臥，以胃氣不轉水穀實也，名曰心小腸俱實。

竹瀝湯

治心實熱，驚夢喜笑恐畏悸懼不安方。

淡竹瀝（一升） 生地黃汁（一升） 石膏（八兩） 芍藥 白朮 梔子仁 人參（各三兩） 赤石脂 紫菀 知母 茯神（各二兩）
上十一味 咀，以水九升煮十味至二升七合，去滓，下竹瀝更煎，取三升。若須利入芒硝二兩，去芍藥，分三服。

茯神煮散

治心實熱，口乾煩渴，眠臥不安方。

茯神 麥門冬（各三十六銖） 通草 升麻（各三十銖） 紫菀 桂心（各十八銖） 知母（一兩） 赤石脂（四十二銖） 大棗（二十枚） 淡竹茹（雞子大一枚）
上十味治，下篩為粗散，以綿裹方寸七，井花水二升半，煮取九合，時動裹子，為一服。日再。

安心煮散

治心熱滿煩悶驚恐方。

白芍藥 遠志 宿薑（各二兩） 茯苓 知母 赤石脂 麥門冬 紫菀 石膏（各四十二銖人參（二十四銖） 桂心 麻黃 黃芩（各三十銖） 葳蕤（三十六銖） 甘草（十銖）
上十五味治，下篩為粗散，先以水五升，淡竹葉一升，煮取三升，去滓，煮散一方寸七，牢以絹裹煮時動之，煎取八合，為一服。日再。

治不能食，胸中滿膈上逆氣悶熱方：

灸心俞二七壯，小兒減半。

心 虛 寒 左手寸口人迎以前脈陰虛者，手少陰經也。病苦悸恐不樂，心腹痛難以言，心如寒恍惚，名曰心虛寒也。

茯苓補心湯

治心氣不足，善悲愁恚怒，衄血，面黃煩悶，五心熱，或獨語不覺，咽喉痛，舌本強，冷涎出（一作汗出，）
茯苓（四兩） 桂心 甘草（各二兩） 紫石英 人參（各一兩） 麥門冬（三兩） 大棗（二十枚） 赤小豆（一十四枚）
上八味 咀，以水七升煮取二升半，分三服。

半夏補心湯

治心虛寒，心中脹滿悲憂，或夢山丘平澤者方。

半夏（六兩） 宿薑（五兩） 茯苓 桂心 枳實 橘皮（各三兩） 白朮（四兩） 防風遠 志（各二兩）
上九味 咀，以水一斗煮取三升，分三服。

牛髓丸

通治百病虛瘠羸乏等方。

牛髓 羊髓 棗膏 白蜜 酥（各一升） 麥門冬 川芎 桂心 當歸 茯苓（一作茯神） 一兩） 白朮（四十
上十九味，切搗十四味篩，別研棗膏和散，次納諸髓蜜和攪令相得，納銅缽中於釜湯 中煎取堪作丸，如梧桐子大，酒服三十丸，稍加至四十丸。日再。

心小腸俱虛左手寸口人迎以前脈陰陽俱虛者，手少陰與巨陽經俱虛也。病苦洞泄，若寒少氣，四肢 厥，腸，名曰心小腸俱虛。

大補心湯

治虛損不足，心氣弱悸或時妄語，四肢損變氣力，顏色不榮方。

黃芩 附子（各一兩） 甘草 茯苓 麥門冬 乾地黃 桂心 阿膠（各三兩） 半夏 遠 志石膏（各四兩） 生薑（六兩） 飴糖（一斤） 大棗（二十枚）
上十四味，取十三味 咀，以水一斗五升煮取五升，湯成下糖，分四服。

補心丸

治臟虛善恐怖如魘狀及婦人產後餘疾，月經不調方。

當歸 防風 芎 附子 芍藥 甘草 蜀椒 乾薑 細辛 桂心 半夏 濃朴 大黃 豬苓（各一兩） 茯苓（一作茯神） 遠志（各二兩）
上十六味為末，蜜丸如梧子大，酒服五丸，日三，不知加至十丸，冷加熱藥。

心勞第三

（論一首 方一首）論曰：心勞病者補脾氣以益之，脾旺則感於心矣。人逆夏氣則手太陽不長，而心氣內洞，順之則生，逆之則死。順之則治，逆之則亂，反順為逆，是謂關格，病則生矣。

大黃泄熱湯

治心勞熱，口為生瘡，大便苦難，閉瀝不通，心滿痛，小腸熱方。

大黃　澤瀉　黃芩　芒硝　梔子仁（各三兩）桂心　通草　石膏（各二兩）甘草（一兩）
上十味　咀，用水九升，先以水一升別浸大黃一宿，餘八升煮諸藥取二升五合，去滓，下大黃煮兩沸去滓，下芒硝令烊，分三服。

脈極第四

（論一首　方一首　灸法二首）論曰：凡脈極者主心也。心應脈，脈與心合。心有病從脈起。又曰：以夏遇病為脈痺，脈痺不已，複感於邪，內舍於心，則飲食不為肌膚，咳脫血色白不澤，其脈空虛，口唇見赤色。凡脈氣衰，血焦發墮，以夏丙丁日得之於傷風，損脈為心風。心風之狀，多汗惡風。若脈氣實則熱，熱則傷心，使人好怒，口為赤色，甚則言語不快，血脫色乾燥不澤，飲食不為肌膚。若脈氣虛則寒，寒則咳，咳則心痛，喉仲介介如哽，甚則咽腫喉痺。故曰，心風虛實候也。

生地黃煎

治脈熱極則血色脫色白乾燥不澤，飲食不為肌膚，消熱止極強胃氣方。

生地黃汁　生麥門冬　赤蜜（各一升）心（一作豉）遠志（各二升）人參　白朮茯苓芍藥　乾地黃（各三兩）甘草（二兩）石膏（六兩）生葳蕤（四兩）
上十三味，十一味　咀，以水一斗二升煮取二升七合，去滓，下地黃汁及蜜，更煎取三升半，分四服。

灸法

胸中痛引腰背心下嘔逆面無滋潤，灸上門，隨年壯，穴在挾巨闕兩邊相去各半寸（一云　一寸）。顏色焦枯，勞氣失精，肩臂痛不得上頭，灸肩　百壯，穴在肩外頭近後，以手按之有解宛宛中。

脈虛實第五

（論一首　方三首　針灸法二首）論曰：凡脈虛者好驚跳不定，脈實者洪滿。凡脈虛實之應主於心小腸。若其腑臟有病，從熱生則應臟，寒則應腑也。

防風丸

補虛調中，治脈虛驚跳不定，乍來乍去，主小腸腑寒方。

防風　桂心　通草　茯神　遠志　麥門冬　甘草　人參　白石英（各三兩）
上九味為末，白蜜和丸，如梧子大，酒服三十丸，日再，加至四十丸。

升麻湯

治脈實洪滿，主心熱病方。

升麻 子芩 澤瀉 梔子仁 淡竹葉 芒硝(各三兩) 生地黃(切, 一升)
上七味 咀, 以水九升煮取三升, 去滓, 下芒硝, 分三服。

麻黃調心泄熱湯

調心泄熱, 治心脈厥大, 寸口小腸熱, 齒齲嗌痛方。

麻黃 生薑(各四兩) 細辛 子芩 茯苓 芍藥(各五兩) 白朮(二兩) 桂心(一兩) 生地黃(切一升)
上九味 咀, 以水九升煮取三升, 去滓, 分三服, 須利加芒硝三兩。

針灸法

脈不出針不容, 穴在幽門兩旁各一寸五分。心悶痛上氣牽引小腸, 灸巨闕二

心腹痛第六

(論一首 方二十六首 針灸法二十五首) 論曰：寒氣卒客於五臟六腑, 則發卒心痛胸痺。感於寒, 微者為咳, 甚者為痛為泄, 厥 心痛與背相引, 善瘈瘲如物從後觸其心。身傴僂者腎心痛也。厥心痛腹脹滿。心痛甚者, 胃心痛也。厥心痛如以針錐刺其心, 心痛甚者脾心痛也。厥心痛, 色蒼蒼如死灰狀, 終日不得太息者, 肝心痛也。厥心痛, 臥若從心間痛, 動作痛益甚, 色不變者, 肺心痛也。真心痛手足青至節, 心痛甚, 旦發夕死, 夕發旦死。蛔心痛, 心腹中痛發作腫聚, 往來上下行痛有休止, 腹中熱, 善涎出是蛔咬也, 以手按而堅持之, 勿令得移, 以大針刺之, 複久持之蟲不動乃出針。心下不可刺, 中有成聚不可取於俞, 腸中有蟲蛔咬皆不可取以小針。

治寒氣卒客於五臟六腑中則發心痛方：

大黃 芍藥 柴胡(各四兩) 升麻 黃芩 桔梗 朱砂(各三兩) 鬼臼 鬼箭羽 桂心朴硝(各二兩)
上十一味 咀, 以水九升煮取二升七合, 分三服, 先分朱砂作三份, 每服納一份, 攪勻 服之, 得快利如痛不止, 宜服後方： 赤芍(六兩) 桔梗 杏仁(各五兩) 上三味 咀, 以水六升煮取三升, 分三服。

九痛丸

治九種心痛, 並療冷沖上氣落馬墮車, 血疾等方。(一蟲心痛, 二疰心痛, 三風心痛, 四悸心痛, 五食心痛, 六飲心痛, 七冷心痛, 八熱心痛, 九來去心痛。此之謂九痛。) 附子 乾薑(各二兩) 吳茱萸 人參 巴豆(各一兩) 生野狼毒(四兩)
上六味為末, 蜜和丸, 如梧子大, 空腹服三丸。猝中惡腹脹痛口不能言者服五丸, 日一服。連年積冷流注心胸者, 亦服之, 好好將息神驗。(《金匱》方用附子三兩, 乾薑、野狼 牙各一兩。)

治九種心痛方：

取當太歲上新生槐枝一握, 去兩頭， 咀, 以水三升煮取一升, 頓服。

桂心三物湯

治心中痞諸逆懸痛方。

桂心 生薑(各二兩) 膠飴(半斤)
上三味，取二味 咀，以水六升煮取三升，去滓，納飴，分三服。(仲景用枳實五枚，不用膠飴，肘後用枳實五枚，白朮二兩，為五味。)

烏頭丸

治心痛徹背，背痛徹心方。

烏頭(六銖) 附子 蜀椒(各半兩) 乾薑 赤石脂(各一兩)
上五味為末，蜜丸，如梧子大，先食服三丸，日三，不知少增之。(范汪不用附子，服 如治心痛方：

桃白皮煮汁，空腹以意服之。(崔氏用療疰心痛。)

治暴心痛或如中惡口中涎出不可禁止回回欲吐方：

苦參(十斤) 上一味 咀，以水一石煮取二斗，去滓，下苦酒二斗，更煎取五升，加大豆黃末熬和煮 汁中煎，令可丸，並手丸之，如梧子大。每服以酒一升進三四十丸，日一，當倒腹吐，不吐下利，更酒浸苦參二斤，進丸彌佳，非止腹痛心暴痛 骨等痛。凡是腹中之疾悉主之，又宿 冷血

治猝中惡心痛方：

苦參(三兩) 上一味 咀，以好醋一升半煮取八合，強者頓服，老小分二服。

又方 桂心(一兩) 上一味 咀，以水四升煮取一升半，分三服。

治蟲心痛方：

鶴虱為末，蜜丸，如梧子大，服四十丸，蜜湯下，日一服，可加至五十丸，慎酒肉。

又方 鶴虱一兩為末，溫醋一盞和，空腹服之，蟲當吐出。

又方 服漆一合，(方見後養生服餌篇中)，凡蟲心痛皆用漆主之。

五辛湯

治心腹冷痛方。

細辛 蜀椒 桂心 乾薑 吳茱萸 芍藥 防風 苦參 甘草 當歸 乾地黃(各一兩)
上十四味 咀，以水九升煮取三升，分四服。

犀角丸

治心腹久痛積年不定，不過一時間還發，甚則數日不能食，又便出乾血，窮天下方不能瘥，甄立言處此方，數日即愈。

犀角 麝香 雄黃 桔梗 莽草 鬼臼 桂心 芫花(各半兩) 甘遂(一兩半) 附子光明砂(各六銖) 貝齒(五枚) 巴豆(二十枚) 赤足蜈蚣(二枚)
上十四味為末, 蜜丸, 如梧子, 飲服一丸, 日二, 漸加至三丸, 以微利為度。(《古今 錄驗》無雄黃。)

高良薑湯

治卒心腹絞痛如刺, 兩脅支滿, 煩悶不可忍方。

高良薑(五兩) 濃朴(二兩) 當歸 桂心(各三兩)
上四味 咀, 以水八升煮取一升八合, 分二服, 日三。若一服痛止便停, 不須更服, 強 者作二服, 弱者分三服。

當歸湯

治心腹絞痛諸虛冷氣滿痛方。

當歸 芍藥 濃朴 半夏(各二兩) 桂心 甘草 黃耆 人參 (各三兩) 乾薑(四兩) 蜀椒(一兩)
上十味 咀, 以水一斗煮取三升二合, 分四服, 羸弱人分六服。(《短劇》云人冷加附子一枚良。)

又方 治虛冷腹痛, 不下飲食, 食複不消臚脹者方。

當歸 茯苓(各五分) 黃耆 紫菀(各四分) 高良薑 乾薑(各六分) 鹿茸 桂心 肉蓯蓉 昆布 橘皮(各三分) 甘草(二兩) 烏頭(二兩) 大棗(四十枚) 桃仁(一百枚) 地 骨皮 法曲 大麥 (各一升)
上十八味 咀, 以水一斗五升煮取四升二合, 分為五服, 下利加赤石脂、龍骨各三分, 渴加麥門冬一升。

又方 治寒冷腹中痛方。(《短劇》云吳茱萸湯) 當歸(二兩) 桂心 甘草 人參(各一兩) 生薑(五兩) 半夏 小麥(各一升) 吳茱萸(二升)
上八味 咀, 以水一斗五升煮取三升, 分三服, 日三, 亦治產後虛冷。

又方 治冷氣脅下往來沖胸膈痛引脅背悶者方。

當歸 桂心 人參 甘草 吳茱萸 芍藥 大黃(各二兩) 茯苓 枳實(各一兩) 乾薑(三兩)
上十味 咀, 以水八升煮取二升半, 分三服, 日三, 並治尸疰亦佳。(《外台》仲景方 無茯苓、枳實。)

又方 治久寒疾痼, 胸腹中痛時下痢方。

當歸(三兩) 附子(一兩) 乾薑 甘草 柑皮(各二兩)
上五味 咀, 以水八升煮取二升, 分三服, 日三。

又方 治久寒宿疾, 胸腹中痛, 短氣時滯下痢方。

當歸 桂心(各三兩) 乾薑(四兩) 附子(一兩)
上四味 咀, 以水八升煮取二升, 分三服, 日三。(范汪無附子, 有甘草二兩, 云虛冷激痛甚者加黃耆、芍藥各二兩。)

溫中當歸湯

治心腹中痛發作腫聚，往來上下，痛有休止，多熱，喜涎出，是蛔蟲咬也，二三劑後 若不效有異，宜改方增損之。

當歸 人參 乾薑 茯苓 濃朴 木香 桂心 桔梗 芍藥 甘草（各二兩）
上十味 咀，以水八升煮取三升，分溫五服，日三。不耐木香者，以犀角一兩代之。

羊肉當歸湯

治腹冷絞痛方。

羊肉（半斤） 當歸（四兩） 乾薑 橘皮 黃耆 芍藥 川芎 桂心 獨活 防風（各一分） 吳茱萸 人參 甘草 乾地黃 茯苓（各一分） 生薑（六分） 大棗（三十枚）
上十七味 咀，以水一斗半先煮羊肉，取一斗出肉，納諸藥煮取三升，分三服，日三，覆取溫暖。

溫脾湯

治腹痛臍下絞結繞臍不止方。

甘草 附子 人參 芒硝（各一兩） 當歸 乾薑（各三兩） 大黃（五兩）
上七味 咀，以水七升煮取三升，分服，日三。

生薑湯

治胸腹中猝痛方。

生薑（一斤取汁） 食蜜（半斤） 醍醐（四兩）
上三味微火上耗，令相得適寒，溫服三合，日三。

熨蒸法

凡心腹冷痛者，熬鹽一斗熨或熬蠶砂燒磚石蒸熨，取其裡溫暖止蒸，土亦大

針灸法

凡邪在心，則病心痛，善悲時眩仆，視有餘不足，而調其俞。腎心痛先取京骨、昆侖 發針，不已取然谷。胃心痛取大都、太白。脾心痛取然谷、太溪。肝心痛取行間、太沖。肺 心痛取魚際、太淵。心痛引腰脊，欲嘔刺足少陰。心痛引背不得息刺足少陰，不已取手少陰。

心痛腹脹，澉澉然大便不利取足太陰。心痛小腹滿，上下無常處，溲便難，刺足厥陰。心痛氣短不足以息刺手太陰。心痛不可按煩心巨闕主之。心痛有三蟲多涎不得反側上脘主之。心痛身寒，難以俯仰，心疝沖冒死不知人，中脘主之。心痛如針錐刺然谷及太溪主之。心腹中猝痛。石門主之。心疝暴痛取足太陰。心懊微痛煩逆，灸心俞百壯。心痛如錐刀刺氣結，灸膈俞七壯。心痛冷氣上灸龍頷百壯，在鳩尾頭上行一寸半，不可刺之。心痛惡氣上脅急痛，灸通谷五十壯，在乳下二寸。心痛暴絞急絕欲死，灸神府百壯，在鳩尾正心

有忌。心痛堅煩氣結，灸太倉百壯。心痛暴惡風灸巨闕百壯。心痛灸臂腕橫紋三七壯，又灸兩虎口白肉際七 壯。

胸痺第七

（論二首 方十二首 灸法五首）論曰：胸痺之病，令人心中堅滿痞急痛，肌中苦痺絞急如刺，不得俯仰，其胸前皮皆痛，手不得犯，胸中 而滿，短氣咳唾引痛，咽塞不利，習習如癢，喉中乾燥，時欲嘔吐，煩悶，自汗出，或徹引背痛，不治之，數日殺人。

論曰：夫脈當取太過與不及，陽微陰弦即胸痺而痛，所以然者，責其極虛故也。今陽虛知在上焦，所以胸痺心痛者，以其人脈陰弦故也。

平人無寒熱，短氣不足以息者實也。

栝蔞湯

治胸痺病喘息咳唾，胸背痛短氣，寸脈沉而遲關上小緊數方。

栝蔞實（一枚） 半夏（半斤） 薤白（半斤） 枳實（二兩） 生薑（四兩）
上五味 咀，以白 漿一斗煮取四升，服一升，日三。（仲景、《肘後》不用生薑，枳實，半夏）

枳實薤白桂枝湯

治胸痺心中痞氣，氣結在胸，胸滿脅下逆搶心方。

枳實（四枚） 薤白（一斤） 桂枝（一兩） 濃朴（三兩） 栝蔞實（一枚）
上五味 咀，以水七升煮取二升，半分再服，仲景方用濃朴四兩，薤白半斤，水五升煮 取二升，分三服。

茯苓湯

治胸中氣塞短氣方。

茯苓（三兩） 甘草（一兩） 杏仁（五十枚）
上三味 咀，以水一斗三升煮取六升，去滓，為六服，日三，未瘥更合服。

治胸痺候胸中 如滿噎塞習習如癢，喉中澀燥唾沫，宜此方：

橘皮（一斤） 枳實（五枚） 生薑（半斤）
上三味 咀，以水五升煮取二升，去滓，分再服。（《金匱》名橘皮枳實生薑湯。）

治中湯

治胸痺方（方見二十卷膀胱腑霍亂門）。

通氣湯

治胸滿短氣噎塞方。

半夏(八兩) 生薑(六兩) 橘皮(三兩) 吳茱萸(四十枚)
上四味 咀, 以水八升煮取三升, 分三服。(一方, 無橘皮, 用桂枝三兩。

細辛散

治胸痺達背痛短氣方。

細辛 甘草(各二兩) 枳實 生薑 栝蔞實 乾地黃 白朮(各三兩) 桂心 茯苓 (各三兩)
上九味治, 下篩, 酒服方寸匕, 日三。

蜀椒散

治胸痺達背方。

蜀椒 食茱萸(各一兩) 桂心 桔梗(各三兩) 烏頭(半兩) 豉(六兩)
上六味治, 下篩, 食後酒服方寸匕, 日三。

前胡湯

治胸中逆氣, 心痛徹背, 少氣不食方。

前胡 甘草 半夏 芍藥(各二兩) 黃芩 當歸 人參 桂心(各一兩) 生薑(三兩) 大棗(三十枚) 竹葉(一升)
上十一味 咀, 以水九升煮取三升, 分四服。

又方 前胡 甘草 半夏 芍藥 人參 茯苓 生薑 麥門冬 餳(各三兩) 黃芩 當 歸桂心(各一兩) 大棗(三十枚)
上十三味 咀, 以水一斗四升煮取三升, 去滓, 分二服。

熨背散

治胸背疼痛而悶方。

烏頭 細辛 附子 羌活 蜀椒 桂心(各五兩) 川芎(一兩六銖)
上七味治, 下篩, 帛裹微火炙令暖, 熨背上, 取瘥乃止, 慎生冷, 如常法。

下氣湯

治胸腹背閉滿上氣喘息方。

杏仁(四七枚) 大腹檳榔(二七枚)
上二味 咀, 以童子小便三升煎取一升半, 分再服, 曾患氣發輒合服之。

檳榔湯

主破胸背惡氣聲音塞閉方。

檳榔(極大者四枚，小者八枚) 上一味二品 咀，以小兒尿三升煮減一升，去滓，分三服，頻與五劑永定。

灸法

胸痺引背時寒，間使主之。胸痺心痛，天井主之。胸痺心痛不得息，痛無常處，臨泣 主之。胸痺心痛，灸膻中百壯，穴在鳩尾上一寸，忌針。胸痺滿心痛，灸期門，隨年壯，穴 在第二肋端乳直下一寸半。

頭面風第八

(方九十二首)

芎酒

治腦風頭重頸項強， 淚出，善久目欲眠睡，憎風，劇者耳鳴，滿眉眼疼悶，吐逆 眩倒不自禁，諸風乘虛經五臟六腑皆為癲狂，諸邪病悉主之方。

川芎 辛夷 天雄 人參 天門冬 柏子仁 磁石 石膏 茵芋 山茱萸 白頭翁 桂心 秦艽(各三兩) 松蘿 羚羊角 細辛 薯蕷 菖蒲 甘草(各二兩) 雲母(一兩，燒 令赤研為粉) 防風(四兩)
上二十一味 咀，以酒二斗漬七日，初服二合，漸加至五合，日三。有女人少時患風眩 發則倒地，為婦積年無兒，服此酒並將紫石英門冬丸服之，眩瘥，生兒平複。(紫石英門冬丸見前婦人門中。)

人參湯

治頭眩屋轉眼不得開方。

人參 當歸 防風 黃耆 芍藥 麥門冬(各一兩) 獨活 白朮 桂心(各三兩)
上九味 咀，以水一斗煮取三升，分三服。

防風湯

治風眩嘔逆，水漿不下，食輒嘔，起即眩倒，發有時，手足厥冷方。

防風 防己 附子 乾薑 甘草(各一兩)蜀椒 桂心(各二兩)
上七味 咀，以水四升煮取二升，分三服，日三。(《古今錄驗》有白朮一兩。)

又方 治頭風眩欲倒眼旋屋轉腦痛方。

防風 枳實 杏仁 川芎(各三兩) 茯神 麻黃 前胡 半夏 生薑(各四兩) 細辛(二兩) 竹瀝(三升)
上十一味 咀，以水六升合竹瀝煎取二升七合，分三服，頓服三兩劑佳。

茵芋湯

治風虛眩眼暗方。

茵芋(一分) 人參 甘草 蕤蓉 黃耆 茯苓 秦艽 濃朴 烏喙(各一兩) 防風(十兩) 山茱萸 松實(各三兩)
上十二味 咀, 以水一斗煮取二升半, 分五服, 強者一日夜盡, 羸劣者二日盡。

鴟頭酒

治頭風眩轉面上游風方。

飛鴟頭(五枚) 茯神(一方無) 防風 川芎 薯蕷(各四兩) 葛根 桂心 細辛 人參 門冬) 石南(一作
上十八味 咀, 絹囊盛, 清酒四斗漬六宿, 初服二合, 日再稍加, 以知為度。

大三五七散

治頭風眩口 目斜耳聾方。

天雄(《局方》用附子) 細辛(各三兩) 山茱萸 乾薑(各五兩) 薯蕷 防風(各七兩)
上六味治, 下篩, 以清酒服五分匕, 日再, 不知稍加。(《千金翼》云, 亦治面骨疼痛)

小三五七散

治頭風目眩耳聾方。

天雄(三兩) 山茱萸(五兩) 薯蕷(十兩)
上三味治, 下篩, 以清酒服五分匕, 日再, 不知稍增, 以知為度。

茯神湯

治風眩倒屋轉吐逆惡聞人聲方。

茯神 獨活(各四兩) 黃耆 遠志 防風(各五兩) 生薑(三兩) 人參 白朮 甘草 附子 蕤蓉 當歸 牡蠣(各二兩)
上十三味 咀, 以勞水一斗二升煮取三升, 服五合, 一日夜盡。

防風散

治頭面風在眉間得熱如蟲行或頭眩目中淚出方。

防風(五兩) 桂心 天雄 細辛 人參 附子 烏頭 乾薑 朱砂(各二兩) 莽草 茯苓當歸(各二兩)
上十二味治, 下篩, 酒服方寸匕, 日三。

又方 治風頭眩惡風吐冷水心悶方。

防風(二兩) 桂心(一兩半) 天雄(《翼方》作人參) 細辛 附子 薯蕷 澤瀉(一作 澤蘭) 茯苓(各一兩) 乾薑(半兩) 白朮(二兩半)
上十味治, 下篩, 酒服方寸匕, 常令酒氣相接, 則脫巾帽解發梳頭百過, 複投一升酒便 洗手足, 須臾自熱, 解發以粉粉之, 快然便熟眠愈, 亦可洗頭面汗出。(《翼》云如服寒食 散法)

治風眩翻倒無定方：

獨活(六兩) 石膏 蒴 (各四兩) 枳實(三兩, 一方用□實)
上四味 咀, 以清酒八升煮取四升, 頓服之, 以藥滓熨頭覆眠取汗, 覺冷又納鐺中, 炒令熱熨之。

治患頭眩經久得瘥, 後四體漸羸, 食無味, 好食黃土方 曲(二斤) 白朮(三斤)
上二味為末酒和並手丸, 如梧子, 曝乾, 飲服三十丸, 日三, 斷食土為效。

治頭中五十種病方：

巴戟 菊花 川芎 乾薑 栝蔞根 防風 石南 白朮 烏頭 山茱萸 附子 細辛 薯蕷 蜀椒 乾地黃 人參 桔梗 秦艽 澤瀉 甘草 天雄 羌活(等分)
上二十二味治, 下篩, 以酒服方寸匕, 日三。

摩頭散

治同前 茹 半夏 蜀椒(各六分) 烏頭(八分) 桂心(七分) 莽草(四分) 附子 細辛(各一兩)
上八味治, 下篩, 以大酢和摩頭記日數, 三日頭膚痛, 四五日後一著藥如前, 十日以酢 漿洗頭複摩藥即愈。若生息肉並咽喉中息肉大如棗欲塞, 以藥摩之即愈。耳鼻齒有疾並用之良。

入頂散

治頭面脹滿, 腦瘈瘛偏枯, 發作有時, 狀如刀刺失聲, 陰陰然疼, 面目變青方 山茱萸 芎 防風 獨活(各一兩半) 細辛 莽草 白朮 薯蕷 牛膝 石南 甘草 (各一上十九味治, 下篩, 酒服方寸匕, 日三。

杏仁膏

治上氣頭面風, 頭痛, 胸中氣滿奔豚, 氣上下往來, 心下煩熱, 產婦金瘡諸 杏仁(一升) 上一味搗研, 以水一斗濾取汁令盡, 以銅器 火上從旦煮至日入, 當熟如脂膏下之, 空 腹, 酒服一方寸匕, 日三。不飲酒者以飲服之, 慎豬魚蒜酢。

大豆酒

治頭風方。

大豆三升, 炒令無聲。

上一味, 以一斗二升瓶盛清酒九升, 乘豆熱即傾著酒中, 密泥頭七日, 溫服之。

治中風頭痛發熱耳頰急方：

麻黃 葛根 石膏 桂心(各三兩) 附子 芍藥 甘草 秦艽 防風(各二兩) 生薑 (
上十味 咀, 以水一斗煮取三升, 分三服, 覆取汗。

薯蕷散

治頭目有風, 牽引目睛疼痛, 偏視不明方。

薯蕷(三兩) 細辛(二兩半) 秦艽 天雄(各二兩) 獨活 桂心 山茱萸(各二兩半)
上七味治, 下篩, 酒服方寸匕, 日三。

治頭中痛身熱風熱方 竹瀝(二升) 升麻 生薑 杏仁(各三兩) 柴胡 芍藥(各四兩) 石膏 生葛根 (各八兩)
上八味 咀, 以水六升合竹瀝煮取二升七合, 分三服。

菊花散

治頭面游風方。

菊花(一兩) 細辛 附子 桂心 乾薑 巴戟 人參 石南 天雄 茯苓 秦艽 防己 (各二兩) 防風 白朮 山茱萸 薯蕷(各三兩) 蜀椒(五合)
上十七味治, 下篩, 酒服方寸匕, 日三。

治頭面上風方：

松脂 石鹽 杏仁 蜜蠟(各一兩) 薰陸香(二兩) 蓖麻仁(三兩)
上六味熟搗作餅, 淨剃百會上發貼膏, 膏上安紙三日一易。若癢刺藥上不久風定。

頭風摩散方

附子(一枚中形者) 鹽(如附子大)
上二味治, 下篩, 沐頭竟以方寸匕摩頂上, 日三。

治頭風方：

服荊瀝不限多少取瘥止。

又方 蔓荊子一升為末絹袋盛, 以酒一斗浸七日, 溫服三合, 日三。

又方 搗蒴 根一升酒二升漬服, 汗出止。

又方 臘月烏雞屎一升, 炒令黃為末, 絹袋盛, 以酒三升浸, 溫服, 任性常令醺酣。

又方 七月七日以麻勃三斗, 麻子一石, 末相和蒸之, 沸湯一石五斗, 三遍淋之煮取一石, 漬神曲二十斤令發釀, 黍米二石五斗熟, 封三七日, 服清一升, 百日身中澀皮八風胸膈

治猝中惡風頭痛方：

搗生烏頭以大酢和，塗故布上敷痛處，須臾痛止，日夜五六敷，逐痛處敷之。(搗烏頭 須

又方 鹽一升為末，以麻油二升煎一宿，令消盡，塗頭。石鹽尤良。

又方 芥子為末酢和，敷頭一周時。

沐頭湯

治肺勞熱，不問冬夏老少，頭生白屑瘙癢不堪，然肺為五臟之蓋，其勞損傷肺，氣沖 頭頂，致使頭癢，多生白屑，搔之隨手起，人多患此，皆從肺來方。

大麻子 秦椒(各三升) 皂莢屑(半升,《肘後》無)
上三味熟研，納泔中一宿漬去滓，木篦攪百遍，取 乃用沐頭發際，更別作皂莢湯濯之，然

又方 菊花 獨活 茵芋 防風 細辛 蜀椒 皂莢 杜蘅 莽草 桂心(等分)
上十味作湯沐及熨之。

又方 豬椒根(三兩) 麻黃根 防風(各二兩) 細辛 茵芋(各一兩) 右五味以水三斗煮取一斗，去滓，溫沐頭。

又方 蜀椒二升煮水沐發良。

又方 葶藶子煮湯沐，不過三四度愈。

又方 以桑灰汁沐頭去屑神良。

治頭項強不得顧視方：

蒸好大豆一斗令變色，納囊中枕之。

又方 常以九月九日取菊花作枕臥良。

又方 八月後取荊芥鋪床及作枕枕頭，立春日去之。

又方 穿地作小坑，燒令赤，以水沃之，令小冷，納生桃葉滿布席就臥，令項當藥上，以衣著項兩邊，令氣蒸病上，汗出良久愈。若病大者，作地坑亦大。

犀角湯

治風毒熱頭面腫方。

犀角 生薑(各二兩) 苦參 栝蔞根 防風(各一兩) 石膏(六兩) 青木香 黃芩 升麻(各三兩) 防己(一兩半) 竹葉(二握)
上十一味 咀，以水七升煮取二升，分三服，相去十裡久，內消不利。

防風散

治頭面遍身風腫方。

防風(二兩) 白芷(一兩) 白朮(三兩)
上三味治下篩，酒服方寸匕，日三。

治猝中風頭面腫方：

搗杏仁如膏，以雞子黃合搗令相得，敷帛上濃裹之自乾，不過八九敷即瘥。

令白發還黑方：

烏麻九蒸九曝為末，棗膏為丸，久服之。

又方 旋複花(一升) 桂心(一尺) 秦椒(一升) 隴西白芷(一升)
上四味治下篩，井花水服方寸匕，日三，服三十日白發還黑，禁房室。

沐頭湯

治脈極虛寒，須發落墮，令發潤澤方。

桑根白皮切三升，以水五升淹漬，煮五六沸，去滓，洗沐發數數為之自不複落。

又方 麻子(三升碎) 白桐葉(切一把) 上二味以米泔二斗煮五六沸，去滓，洗沐 則發長，甚有驗。

治發鬢墮落令生長方：

生柏葉(一升、切) 附子(四枚) 豬膏(三升)
上三味為末，膏和，作三十丸，用布裹一丸，納泔中煎，沐發長不落。其藥密貯，勿令泄氣。

又方 柏子仁 附子 蔓荊子(各半兩)
上三味以烏雞膏和，搗三千杵，貯新瓷器中封百日，出以馬鬃膏和敷頭，訖巾裹之，勿令見風，日三敷即生。
(《肘後》不用柏子仁以酒漬澤沐)

又方 桑葉 麻葉等分 上二味泔煮去滓，沐發七遍長六尺。

又方 羊糞灰淋湯，三日一洗，不過十次大生。

摩膏

治頭中二十種病，頭眩發禿落，面中風者方。

蜀椒 莽草(各二兩) 桂心 茹 附子 細辛(各一兩半) 半夏 乾薑(各一兩)
上八味 咀，以生豬肪二十兩合搗，令肪消盡藥成。先沐頭令淨，後以藥摩囟上，日一，如非十二月合，則

用生烏麻油和，塗頭皮沐頭令淨，乃用之一次生發如昔。(《必效方》) 無蜀 夏，本門摩頭散多烏頭，少乾薑，但分兩不同。)

生發膏

治頭中風癢白屑方。

蔓荊子 附子 細辛 續斷 零陵香 皂莢 澤蘭 防風 杏仁 藿香 白芷(各二兩) 升)
上十八味 咀，以清醋三升漬藥一宿，明旦以馬鬃膏等微火煎三上三下，以白芷色黃膏 成，用以澤發。

又方 烏喙(三兩) 莽草 石南 細辛 續斷 皂莢 澤蘭 白朮 辛夷 防風 白 芷 (各二兩) 竹葉 柏葉 松葉(各半升) 豬脂(四升)
上十五味 咀，以清酢三升漬一宿，明旦微火以脂煎三上三下，白芷色黃膏成，去滓 濾淨，於沐發後塗之。一方用生油三大升。(《翼》方無石南、白芷，用杏仁去白屑良。)

又方 甘松香 丁香 白芷 澤蘭 桑白皮 桑寄生 大麻子 苜蓿 杏仁 辛夷仁 牡荊子 川芎 防風 莽草(各一兩) 零陵香 吳藿香 細辛 蜀椒(各二兩) 竹葉 松葉 柏葉 胡麻油 臘豬膏(各一升) 烏雞肪 雁肪(各一合)
上二十五味 咀，以酢漬一宿，納油膏中微火煎三上三下，白芷色黃膏成，去滓，塗頭，日二夜一發生。

又方 治發鬢禿落方。

莽草(一兩) 防風 升麻 白芷 薺 (各二兩) 蜣螂(四枚) 豹膏(一作狗膏) 熊膏(一作雄雞膏) 豬脂 馬鬃膏(各半升)
上十一味，其六味 咀與諸膏合煎，諸藥沸，則下停冷，複上火三五沸止，絞去滓，敷 頭，當澤用之。

又方 治眉落發落複生方。

白芷 附子 防風 川芎 莽草 辛夷 細辛 黃芩 當歸 蜀椒(各一兩) 大黃(一兩半) 蔓荊子(一升) 豬膏(三升) 馬鬃膏(五合)
上十四味熬膏去滓，先洗頭，治染須發方：

胡粉(二兩) 鍛石(六兩絹篩，熬令黃)
上二味以榆皮作湯和之如粉，先以皂莢湯洗發，令極淨，不得令有膩氣，曝乾。夜 藥塗發上令勻，取桑葉相綴著頭巾上，遍以裹發一夜至旦，取酢漿暖三遍，淨洗發，又以醋 泔熱暖洗發，又取生胡麻苗搗取汁三升和水煮一二沸，淨濾濯發訖，又用油湯濯之，百日黑 如漆。

又方 黑椹水漬之塗發令黑。

又方 鹽湯洗沐後，以生麻油和蒲葦灰敷之。(一作治白禿。)

又方 生麻油漬烏梅常用敷頭。

治發黃方：

臘月豬油和羊屎灰、蒲灰等分，敷封頭三日一度。

又方 大豆五升、酢漿水二斗，煮取五升，沐之。

治發鬢黃赤方：

燒梧桐灰用乳汁和，塗敷發鬢並膚肉即黑。

治風頭毛髮落不生方：

鐵上生衣研以臘月豬脂和塗之，日三，亦治眉落。

生眉毛方：

鐵上生衣，牆上青衣，右二味等分，為末水和，塗之即生。

又方 七月烏麻花陰乾為末，以生烏麻油漬，二日一塗。

治眉毛鬢發為火燒瘡瘢毛不生方：

蒲灰以正月狗腦和敷即生。

治發落不生令長方：

麻子一升熬黑壓取油，敷頭長發妙。

又方 多取烏麻花，瓷瓮盛，密蓋深埋土中百日，出用塗發，令發易長而黑。

又方 用雁肪敷之。

治鬢黃方：

新剪爪甲搔令毛孔少血出蜜塗之，即生黑毛。

治發禿者方：

黑桑椹子二升，納缶中，日中曝三七日化為水，洗瘡上三七日即生發，神效。

松瀝煎

治頭瘡及白禿方。

松瀝（七合） 丹砂 雄黃 水銀（研各二兩） 黃連（三兩） 礬石（一兩）
上六味治，下篩，納瀝中攪研，令調以塗之，先以泔清洗發及瘡，令無痂，然後敷藥，二日一敷。三敷後當更作膿，膿訖更洗。凡經三度膿出訖，以甘草湯洗去藥毒，前後洗十度 即瘥。

治白禿發落生白痂終年不瘥方：

雌黃 雄黃(各一分) 雞屎白(半分) 松脂 蓯蓉(各二分) 蛇床子 遠志 五味子(各三分) 菟絲子(五分) 白蜜(一分)
上十味治，下篩，以豬膏一升二合，先納雄黃，次納雌黃，次納雞屎白，次納松脂及蜜，又次納諸藥煎之膏成，先以桑灰汁洗頭，燥敷之。

王不留行湯

治白禿及頭面久瘡去蟲止痛方。

王不留行 東南桃枝 東引茱萸根皮(各五兩) 蛇床子 牡荊子 蒺藜子 苦竹葉(各三升) 大麻仁(一升)
上八味 咀，以水二斗半煮取一斗洗瘡，日再，並療癰疽妒乳月蝕瘡爛。

松脂膏

治白禿及癰疽百瘡方。

松脂(六兩) 礬石 杜衡(一作牡荊) 雄黃 真珠 水銀 苦參 大黃 木蘭 石 南 秦艽 附子(各一兩)
上十二味 咀，以醋漬一宿，豬膏一斤半煎之，以附子色黃去滓，礬石、雄黃、水銀 更著火三沸，安濕地待凝敷上，日三。

治白禿方：

羊肉濕脯炙令香及熱速搭上，不過三四度，癢勿搔之，牛肉亦得。

又方 新破豬肚去糞及熱速搭上，癢慎勿搔，當縛定手，日中臥半日後去之。

又方 以皂莢湯淨洗乾拭後，以陳久油滓塗之，日三。

又方 煮桃皮汁飲之並洗。

又方 曲豉二種治下篩，酢和敷上。

又方 大豆炒令焦為末，和臘豬脂熱暖，以匙抄封上遍即裹著，勿見風。

治赤禿方：

桑灰汁洗頭令淨，桑椹搗敷之，日中暴頭睡。

又方 馬蹄灰為末，以臘月豬脂和敷之。

又方 燒牛角灰和豬脂敷之。

令發不生方：

蜂灰鱉脂相和，新拔去毛，即塗孔上，永不生。

治鬼舐頭方：

燒貓兒屎，以臘月豬脂和敷上。

又方　貓兒毛燒灰，以膏和敷之。

又方　研未和蒜搗敷，日一度。

備急千金要方　卷十四　小腸腑方

唐　孫思邈

（凡七類）

小腸腑脈論第一

（論一首）論曰：小腸腑者主心也，舌是其候也。心合於小腸。小腸者受盛之腑也，號監倉吏，重　二斤十四兩，長二丈四尺，廣二寸四分（《難經》、《甲乙》云：長二丈二尺，大二寸半，徑八分分之少半也。）後附脊，左回疊積，其注於回腸者，外傅臍上，回運環反十六曲，常　留水穀二斗四升，其一斗二升是水，一斗二升是谷，應主二十四氣也。（《難經》云十六曲，盛谷二斗四升，水六升三合，合之大半。《甲乙》云：受三斗三合，合之大半。）唇濃，人中長，以小腸病者小腹痛，腰脊控睾而痛時窘之，複耳前熱。若寒甚獨肩上熱及手小指，次指之間熱。若脈滑者（《脈經》作陷，《甲乙》亦同），此其候也。

小腹控睾引腰脊上沖心，邪在小腸者連睾系屬於脊，貫肝肺絡心系。氣盛則厥逆，上沖　腸胃，動肝肺，散於盲，結於臍，故取之盲原以散之。刺太陰以與之，取厥陰以下之，取巨虛下廉以去之，按其所過之經以調之。

左手關前寸口陽絕者，無小腸脈也。苦臍痺，小腹中有疝瘕，主月即冷上搶心，刺手心主治陰，心主在掌後橫紋中入一分。

左手關前寸口陽實者，小腸實也。苦心下急熱痺，小腸內熱，小便赤黃，刺手太陽治陽，手太陽在手小指外側本節陷中。

小腸有寒其人下重，便膿血有熱必痔。

小腸有宿食，常暮發熱，明日複止。

小腸脹者，小腹　脹，引腹痛。

心前受病移於小腸，心咳不已，則氣與咳俱出。

厥氣客於小腸，夢聚邑街衢。

心應皮，皮濃者脈濃，脈濃小腸濃。皮薄者脈薄，脈薄者小腸薄。皮緩者脈緩，脈緩者，小腸大而長，皮薄而脈波小者，小腸小而短，諸陽經脈皆多紆屈者小腸結。

扁鵲云：手少陰與太陽為表裡，所以表清裡濁，清實濁虛，故食下腸實而胃虛，故腑實　而不滿，實則傷熱，熱則口張，口為之生瘡。虛則傷寒，寒則便泄膿血，或發裡水，其根在小腸，先從腹起，（方見治水篇中。

小腸絕不治六日死，何以知之？發直如干麻不得屈伸，自汗不止。

手太陽之脈，是動則咽腫痛頷腫不可以顧，肩似拔，　似折，是主液所生病者，耳聾目黃，頰頷腫，項肩　肘臂外後廉痛。（經脈支別已見心臟門中。

小腸虛實第二

（脈二首　方三首　灸法二首）小腸實熱　左手寸口人迎以前脈陽實者，手太陽經也，病苦身熱，來去汗不出。心中煩滿，身重，口中生瘡，名曰小腸實熱也。

柴胡澤瀉湯

治小腸熱脹口瘡方。

柴胡　澤瀉　橘皮（一作桔梗）黃芩　枳實　旋複花　升麻　芒硝（各二兩）生地黃（切，一升）
上九味　咀，以水一斗煮取三升，去滓，納硝，分二服。

大黃丸

治小腸熱結滿不通方。

大黃　芍藥　葶藶（各二兩）大戟　朴硝（各三兩）巴豆（七枚）杏仁（五十枚）
上七味為末，蜜和丸如梧子，飲服七丸，小兒服二三丸，日二。熱去，日一服。

灸法

小腸熱滿灸陰都，隨年壯，穴在挾中脘兩邊相去一寸是。小腸泄痢膿血灸魂舍一百壯，小兒減之，穴在挾臍兩邊相去各一寸　又灸小腸俞七壯。

小腸虛寒　左手寸口人迎以前脈陽虛者，手太陽經也，病苦顱際偏頭痛，耳頰痛，名曰小腸虛寒也

治小腸虛寒痛，下赤白，腸滑，胸中懊　補之方：

乾薑（三兩）當歸　黃柏　地榆（各四兩）黃連　阿膠（各二兩）石榴皮（三枚）
上七味　咀，以水七升煮取二升五合，去滓，下膠煮取膠烊盡，分三服。

舌論第三

（論一首）論曰：舌者心主，小腸之候也。善用機衡能調五味也。凡有所啖，若多咸則舌脈凝而變色，多食苦則舌皮槁而外毛焦枯，多食辛則舌筋急而爪枯乾，多食酸則舌肉肥而唇揭，多食甘則舌根痛而外發落。又曰：心欲苦，肺欲辛，肝欲酸，脾欲甘，腎欲鹹，此五味內合五臟之氣也。若臟熱則舌生瘡引唇揭赤。若腑寒則舌本縮，口噤唇青，寒宜補之，熱宜瀉之，不寒不熱依臟腑調之。

風眩第四

（論一首 方九首 灸法一首 食禁一首）前卷既有頭面風方，風眩不當分出，蓋以此是徐嗣伯方，不可以餘方相雜，故此特立風眩方條，專出徐氏方焉。

徐嗣伯曰：余少承家業，頗習經方名醫要治，備聞之矣。自謂風眩多途，諸家未能必驗，至於此術，鄙意偏所究也，少來用之，百無遺策，今年將衰暮，恐淹忽不追，故顯明証論，以貽於後云爾。夫風眩之病起於心氣不定，胸上蓄實，故有高風面熱之所為也。痰熱相感而動風，風火相亂則悶瞀，故謂之風眩。大人曰癲，小兒則為癎，其實則一。此方療治萬無不愈，但恐証候不審或致差違，大都忌食十二屬肉。而奔豚為患，發多氣急，氣急則死不可救，故此一湯是輕重之宜，勿因此便謂非患。所治風眩湯散丸煎共有十方，凡人初發宜急與續命湯，困急時但度灸穴，便火針針之無不瘥者，初得針竟便灸最良，灸法次列於後。余業以來三十餘年，所救活者數十百人無不瘥矣，後人能曉此方，幸勿參以余術焉。

續命湯

治風眩發則煩悶無知，口沫出，四體角弓，目反上，口噤不得言方。

竹瀝（一升二合） 生地黃汁（一升） 龍齒 生薑 防風 麻黃（各四兩） 防己（三兩） 石膏（七兩） 桂心（二兩） 附子（三分）
上十味 咀，以水一斗煮取三升，分三服。有氣加附子作一兩，紫蘇子五合，橘皮半 兩

奔豚湯

治氣奔急欲絕方。

吳茱萸（一升） 石膏 人參 半夏 芎（各三分） 桂心 芍藥 生薑（各四分） 生葛根
上十二味 咀，以水七升，清酒八升，煮取三升，分三服。

防己地黃湯

治言語狂錯，眼目霍霍或言見鬼，精神昏亂方。

防己 甘草（各二兩） 桂心 防風（各三兩） 生地黃（五斤，別切，勿合藥漬，疾小輕 二斤）
上五味 咀，以水一升漬一宿，絞汁，著一面取滓著竹簀上，以地黃著藥滓上。於五斗 米下蒸之，以銅器承取汁，飯熟以向前藥汁合絞取之，分再服。

薯蕷湯

治心中驚悸而四肢緩，頭面熱，心胸痰滿，頭目眩冒如欲動搖方。

薯蕷　麥門冬　人參(各四兩)　芍藥　生地黃　前胡(各八分)　枳實　遠志　生薑（各三分）合）
上十六味　咀，取江水高舉手揚三百九十下，量取三斗煮米減一斗，納半夏複減九升，去滓，下藥煮取四升，分四服。無江水處以千裡東流水代之。

防風湯

服前湯後四體尚不涼，頭目眩轉，服此湯大勝，宜常服。但藥中小小消息隨冷暖耳，仍不除瘥者依此方。

防風　石膏　人參　赤石脂　生薑　龍骨　寒水石　白石脂　茯苓(各三分)　桂心(二分)　紫石
上十一味　咀，以水八升煮取三升，分三服。凡用井花水取清淨也，今用江水者無泥沙　穢源泉，遠涉順勢，歸海不逆上流，用以治頭必歸於下故也。

薯蕷丸

治頭目眩冒心中煩郁，驚悸狂癲方。

薯蕷(二十八分)　甘草(二十分)　鹿角膠(《金匱》作阿膠)　大豆黃卷　桂心(各七分)　藥白朮(各六分)　柴胡　桔梗　茯苓　杏仁　川芎(各五分)　白蘞　乾薑(各三分)　大棗(一百枚取　膏)
上二十二味為末，棗膏和白蜜，丸如彈丸，先食服一丸，日三。

薯蕷煎

薯蕷(二十分)　甘草(十四分)　澤瀉　人參　黃芩(各四分)　當歸　白蘞　桂心　防風　薑　蜀椒(各二分，以上二十味並用搗篩)　生地黃(十八斤搗絞取汁，煎令餘半)　獐鹿髓　鹿　角　膠(各半斤)　麻子仁(研)　蜜(各三升)　大棗(八十枚)　桑根白皮(五升，忌岡　上自出土者大毒，大忌近籬屋垣牆下，溝瀆邊者，皆不中用也。)
上二十七味，以清酒二斗四升煮桑白皮麻子仁大棗得一斗，去滓，次下地黃汁鹿膠髓蜜　煎減半，納諸末並煎令可丸如雞子黃大，飲服一枚，日三，稍加至三丸。

天雄散

治頭目眩暈屋轉旋倒方。

天雄　防風　川芎　人參　獨活　桂心　葛根(各三分)　莽草(四分)　白朮　遠志　薯　蕷茯神　山茱萸(各六分)
上十三味治，下篩，先食以菊花酒服方寸匕，日三，漸加至三匕，以知為度。(菊花酒　法

人參丸

治心中恍惚不定方。

上黨人參 鬼臼 鐵精 牛黃 雄黃 大黃 丹砂 菖蒲 防風(各一兩) 蜥蜴 赤 足蜈蚣(各一枚)
上十一味為末，蜜丸如梧子大，用前菊花酒服七丸，日三夜一，稍加之。合藥勿用青紙，忌見婦人、青衣人、喪孝不具足人及濁穢六畜雞犬等。

灸法

其法以繩橫度口至兩邊，既得口度之寸數，便以其繩一頭更度鼻，盡其兩邊兩孔間，得鼻度之寸數，中屈之，取半，合於口之全度中屈之。先覓頭上回發當回發灸之，以度度四邊 左右前後，當繩端灸，前以面為正，並依年壯多少，一年凡三灸，皆須瘡瘥。又灸壯數如前，若連灸火氣引上，其數處回發者，則灸其近當鼻也。若回發近額者亦宜灸，若指面為瘢則闕 其面處，然病重者，亦不得計此也。

食禁

十二屬相肉物皆不得食，其為藥則牛黃龍骨齒用不可廢。

風癲第五

(論四首 方三十六首 針灸法五十八首) 論曰：黃帝問曰：人生而病癲疾者安所得之？岐伯對曰：此得之在腹中時，其母數有所大驚也，氣上而不下，精氣並居，故令子發為癲疾。病在諸陽脈，且寒且熱，名曰狂，刺之虛脈，視分盡熱病已而止。病癲初發，歲一發不治，月一發不治，四五日一發，名曰癲疾，刺諸分。其脈尤寒者以針補之。病已止，癲疾始生，先不樂，頭重直視舉目赤，其作極已而 煩心，候之於顏，取手太陽陽明太陰血變而已。癲疾始發，而反強，因而脊痛，候之足太陽陽明太陰手太陽血變而已。癲疾始作而引口啼呼(《甲乙》作喘悸者)，候之手陽明太陽，右 強者攻其左，左強者攻其右，血變而止。治癲疾者，常與之居，察其所當取之處，病至視之有過者即瀉之，置其血於瓠壺之中，至其發時血獨動矣，不動灸窮骨二十壯，窮骨者尾 也。

骨癲疾者，頷齒諸 分肉皆滿，而骨倨強直，汗出煩悶，嘔多涎沫，氣下泄不療。

筋癲疾者，身拳攣急脈大，刺項大經之本杼，嘔多涎沫，氣下泄不療。

脈癲疾者，暴仆，四肢之脈皆脹而從滿脈盡，刺之出血不滿挾項，灸太陽。又灸帶脈於腰相去三寸諸分肉本，嘔多涎沫，氣下泄不療。

治癲者，病發而狂，面皮濃敦敦者，死不療。

凡癲發則臥地，吐涎沫無知。若強掠起如狂及遺糞者難療。

癲疾脈搏大滑久自已脈沉小急實，死不療。小牢急亦不可治，脈虛可療，實則死矣。厥 成為癲疾，五臟不平，六腑閉塞之所生也。厥成為癲。故特附厥於此條也。陰衰發熱厥，陽衰發寒厥。

論曰：黃帝問曰？厥之寒熱者何也？岐伯對曰：陽氣衰於下則寒厥，陰氣衰於下則為熱 厥。問曰：熱厥必起於足下者何也？對曰：陽氣起於足五趾之表，集於足下，而聚於足心，故陽盛則足下熱也。問曰：寒厥必起於五趾而上於膝者何也？對曰：陰氣起於五趾之裡，集 於膝而聚於膝上，故陰氣盛則從五趾至膝上寒，其寒也，不從外而從內也。厥或令人腹滿，或令人暴不知人，或至半日遠至一日乃知人者何也？陰氣盛於上則下虛，下虛則腹滿，腹滿 則下氣重上而邪氣逆，氣逆則陽氣亂，亂不知人。巨陽之厥，腫首，

頭重，足不能行，發為 仆。陽明之厥，闐疾欲走呼，腹滿不得臥，面赤而熱，妄見而妄言。少陽之厥，暴聾，頰 腫而熱，脅痛，髀不可以運。太陰之厥，腹滿 脹後不利，不欲食，食則嘔，不得臥。少陰之厥，舌乾，溺赤，腹滿心痛。厥陰之厥，小腹腫痛腹脹，涇溲不利，好臥屈膝，陰縮腫 內（一作外）。熱盛則瀉之，虛則補之，不盛不虛以經取之。上寒下熱先刺其項，太陽久留 之已則火熨項與肩胛，令熱下冷乃止，所謂推而上之者也。上熱下寒，視其虛脈而陷下於經絡 者，取之氣下而止，所謂引而下之者也。刺熱厥者，留針反為寒。刺寒厥者，留針反為熱。

刺熱厥者，二陰一陽。刺寒厥者，二陽一陰。所謂二陰者，二刺陰也，所謂二陽者，二刺陽也。

論曰：溫病熱入腎中亦為痙，小兒病癇，熱盛亦為痙。凡風喑暴尸厥及鬼魘不寤皆相似，宜察之，故經言，久厥則成癲，是以知似也。

論曰：癲病有五：一曰陽癲，發時如死人遺溺有頃乃解。二曰陰癲，坐初生小時臍瘡 未愈，數洗浴，因此得之。三曰風癲，發時眼目相引牽縱反急強羊鳴，食頃方解，由熱作汗出當風，因以房室過度，醉飲飽滿行事，令心氣逼迫短氣脈悸得之。四曰濕癲，眉頭痛，身重，坐熱沐發濕結腦，汗未止得之。五曰馬癲，發時反目，口噤，手足相引，身皆熱，坐小時風氣腦熱不和得之。

治五癲方：

銅青 雄黃 空青 東門上雞頭 水銀（各一兩） 豬苓 茯苓 人參 白芷 石長生白蘞 白薇（各二兩） 卷柏 烏扇（各半兩） 硫黃（一兩半）
上十五味為末，以青牛膽和著銅器中，於甑中五斗大豆上蒸之，藥成丸如麻子，先食服 三十丸，日二夜一。

虎睛丸

治風癲掣，口眼張大，口出白沫，或作聲或死，不知人方。

虎睛（一具，酒浸一宿，炙） 鬼箭羽 露蜂房（各二分） 獨活 遠志 細辛 貫眾 麝 香白蘞（一作白薇） 升麻 白蘚皮（各三兩） 牛黃 防風 秦艽 防葵 龍齒 黃芩 雄 黃山茱萸 防己 茯苓 鐵精 鬼臼 乾地黃（一作乾薑） 人參 大黃 銀屑（各四分） 茯神 石膏 天雄（
上三十二味為末，蜜丸如梧子大，酒服十五丸，日再，稍加至二十五丸，神效。

凡癲發之候，其狀多端，口邊白沫，動無常者治方：

秦艽 人參 防葵（一作防風） 茯神（一作牡丹） 甘草（各二兩） 鉛丹（一兩） 貫 眾（一枚）
上七味 咀，以水九升煮取三升半，分三服。

雄雌丸

治風癲失性，顛倒欲死，五癲驚癇方。

雄黃 雌黃 真珠（各一兩） 鉛（二兩，熬令成屑） 丹砂（一分） 水銀（八分）
上六味為末，以蜜和搗三萬杵，丸如胡豆，先食服三丸，日二，稍加，以知為度。（《古 今錄驗》云，療五癲，牛癲則牛鳴，馬癲則馬鳴，狗癲則狗鳴，羊癲則羊鳴，雞癲則雞鳴。

病五癲狂病者，臟腑相引，盈氣起寒厥不識人，氣靜瘈瘲 吐沫，久而得蘇者。）

續命風引湯

治中風癲眩不知人，狂言舌腫出方。

麻黃 川芎 石膏 人參 防風（各三兩） 甘草 桂心 獨活（各二兩） 防己 附子當歸（
上十三味 咀，以酒三升，水一斗合煎取四升，分四服，日三夜一。

紫石煮散

治大人風引，小兒驚癇瘈瘲，日數十發，醫所不療者方。

紫石英 滑石 白石脂 凝水石 石膏 赤石脂（各六兩） 甘草 桂心 牡蠣（各三兩）
上十二味治，下篩，為粗散，盛以葦囊，懸高涼處，欲用取三指，撮以新汲井水三升煮 取一升二合，大人頓服，未百日兒服一合，未能服者以綿沾著口中，熱多者日四五服，以意 消息之，（深師方只龍骨、牡蠣、乾薑、滑石、白石脂五味）。

治百二十種風癇癲驚狂發即吐沫不識人者，四月五月宜服之方：

紫石英 芍藥 龍骨（一作黃芩） 青石脂 白蘚皮 麻黃 當歸 甘草 栝蔞根 桂心
上十三味治，下篩，為粗散，分作七裹，每以大棗十枚，水三升煮取二升半，去滓，下一裹大棗汁中煎取一升，去滓，頓服，相去七日一服，服訖即瘥。

治癲癇厥時發作方：

防葵 代赭石 人參 鉛丹 白僵蠶 鉤藤 茯神 雷丸 虎骨 生豬齒 遠志 桂心防風（各六兩） 卷柏 萇荂子 升麻 附子 牡丹 龍齒 光明砂（各一分） 牛黃（二分） 白
上二十五味治，下篩，酒服方寸匕，日二，亦可為丸，良驗。

川芎湯

治風癲引脅牽痛，發則吐，耳如蟬鳴方。

川芎 本 茹（各五兩）
上三味 咀，納酒一斗煮取三升，頓服，羸者分三服，取大汗。

鴟頭丸

治風癲方。

鴟頭（一枚） 葶藶子 鉛丹 虎掌 烏頭 栝蔞根（各三分） 甘遂 天雄 蜀椒 大戟（各二分） 白朮（一分） 茹鐵精（各一兩）
上十三味為末，蜜丸如梧子，酒下二丸，日三服。

又方　治癲癎瘈瘲　方。鉛丹（一斤）　飛鴟頭（二枚）
上二味為末，蜜丸，先食服三丸，日三，劇者夜一，稍加之。

又方　茛菪子三升搗篩，以酒一斗漬半日，絞去滓，湯中煎令可丸，先食服如小豆二丸，加至如梧子二丸，以知為度，額上手中從紋理中赤起是知也。無此候更服，病日發者三日愈，間日發者十日愈，五日發者二十日愈，半歲發者一月愈。

地黃門冬酒

治陰虛癎妄方。

地黃（三十斤）　天門冬（十斤）
上二味搗取汁，作煎服之瘥。

天門冬酒

通治五臟六腑大風洞泄虛弱五勞七傷，症結滯氣冷熱諸風，癲癎惡疾耳聾頭風，四肢拘　攣，猥退歷節，萬病久服身輕延年，齒落更生，髮白變黑方。

天門冬搗絞取汁二斗，曲二升，曲發以糯米二斗，準家釀法造酒，春夏極冷下飯，秋冬　溫如人肌　之，酒熟取服一盞，常令酒氣相接，勿至醉吐。慎生冷醋滑雞豬魚蒜，特慎鯉魚　及忌油膩，此是二斗汁法，一石二斗亦準此。服十日覺身體癮疹大癢，二十日更大癢，三十日漸止，此皆風氣出故也。四十日即覺身心朗然大快，五十日當風坐臥覺風不著人，身中諸　風悉盡。用米法：先淨淘米，曝乾，臨欲用時別取天門冬汁漬米，干漉炊之，餘汁拌飯，密　封壓。取天門冬汁法：淨洗天門冬，去心皮，漉去水切壓取汁，三四遍滓干乃止。此酒初熟　味酸，仍作臭泔腥氣，但依式服之，久停則香美，封四七日佳。凡八九月少少合，至十月多合，擬至來年五月三十日相續服之。入四月不得合，服酒時若得散服得力更倍，速散方如下：

散方：天門冬去皮心，曝乾，搗作末，以上件酒服方寸匕，日三，加至三匕，久服長生，凡酒亦得服。

灸法

大人癲，小兒驚癎，灸背第二椎及下窮骨兩處，以繩度中折繩端一處是脊骨上也。凡三處畢，複斷繩作三折，令參合如"△"字，以一角注中央，灸下二角挾脊兩邊便灸之，凡五處。故畫圖法以丹注所灸五處各百壯，削竹皮為度勝繩也。猝癲灸陰莖上宛宛中三壯，得小便通即瘥。（《翼》云，當尿孔上是穴。）又灸陰莖頭三壯。又灸足大趾上聚毛中七壯。又灸囊下縫二七壯。又灸兩乳頭三壯，又灸督脈三十壯，三報穴在直鼻中上入發際。又灸天窗百會各漸灸三百壯，灶惟小作。又灸耳上發際各五十壯。

論曰：黃帝問曰：有病怒狂者，此病安生？岐伯對曰：生於陽也。曰：陽何以使人狂？　曰：陽氣因暴折如難決，故善怒，名曰陽厥。問曰：何以知之？對曰：陽明常動，太陽少陽不動不動而動大疾，此其候也。曰：治之奈何？曰：衰其食即已。夫食入於陰，長氣於陽，故奪其食即已，使之服以生鐵落為後飯。夫生鐵落者，下氣疾也。

論曰：凡發狂則欲走，或自高賢稱神聖，皆須備諸火灸乃得永瘥。若或悲泣呻吟者，此　為邪非狂，自依邪方治之。邪入於陽則為狂，邪入於陰則為血痺，邪入於陽傳即為癲狂，邪　入於陰傳則為痛喑，陽入於陰病靜，陰入於陽病怒。

鼈甲湯

治邪氣，夢寐寤時涕泣不欲聞人聲，體中酸削，乍寒乍熱，腰脊強痛，腹中拘急不欲 飲食，或因疾病之後，勞動疲極，或觸犯忌諱，眾諸不節，婦人產生之後月經不利，時下青 赤白，肌體不生肉虛羸瘦，小便不利，或頭身發熱旋複解散，或一度交接，彌日困極，皆主之方。

鼈甲（七枚） 甘草 白薇（一作白芷） 貝母 黃芩（各二兩） 麻黃 白朮 芍藥（各二兩半） 防風（三兩） 凝水石 桂心 茯苓 知母（各四兩） 石膏（六兩）
上十四味 咀，以水二斗煮取四升，溫服一升，日三，夜一。

九物牛黃丸

治男子沾鬼魅欲死，所見驚怖欲走，時有休止，皆邪氣所為不自絕方。

牛黃（土精） 荊實（人精） 龍骨（水精） 空青（天精） 雄黃（地精） 曾青（蒼 龍精） 玉 屑（
上九味名曰九精，上通九天，下通九地，各一兩，治下篩，蜜丸，和如小豆，先食服一丸，日三，稍加以知為度。《翼方》云，凡邪病當服五邪湯，九精丸瘥。

十黃散

治五臟六腑血氣少，亡魂失魄，五臟覺不安，忽忽喜悲，心中善恐怖，如有鬼物，此 皆發於大驚及當風從高墜下落水所致悉主之方。

雄黃 人參（各五分） 黃芩 大黃 黃柏 黃耆 細辛 桂心（各三分） 黃連 黃昏 蒲
上十五味治，下篩，未食溫酒服方寸匕，日三，不知加至二匕。羸劣者更加人參五分。

一方有生黃三分。（崔氏有蜀椒五分，乾薑四分。）

別離散

治男女風邪，男夢見女，女夢見男，悲愁憂恚怒喜無常，或半年數月一發動 桂心 茵芋 天雄 菖蒲 細辛 茜根 附子 乾薑（各一兩） 白朮 桑寄生（各三兩）
上十味治，下篩，酒服方寸匕，日三。凡修合，勿令婦人雞犬及病者、病者家人知見，令邪氣

四物鳶頭散

治鬼魅方。

東海鳶頭（即由跋根） 黃牙石（一名金牙） 莨菪子 防葵（各一分）
上四味治，下篩，酒服方寸匕。欲令病患見鬼加防葵一分，欲令知鬼疰者複增一分立有驗

五邪湯

治邪氣啼泣或歌或哭方。

禹余糧 防風 桂心 芍藥 遠志 獨活 甘草 人參 白朮 石膏 牡蠣 秦艽(各二
上十七味 咀，以水二斗煮取四升，分四服，亦可如煮散法服之。

茯神湯

治五邪氣入人體中，見鬼妄語，有所見聞，心悸跳動，恍惚不定方。

茯神 茯苓 菖蒲 人參(各三兩) 赤小豆(四合)
上五味 咀，以水一斗煮取二升半，分三服。

人參湯

治風邪鬼氣往來發作有時或無時方。

人參 防風 烏頭 乾薑 栝蔞根(《翼》作桔梗) 澤瀉 豬脊 遠志 附子 黃芩 獨 活(各五分) 秦艽 牡蠣 山茱萸 五味子 前胡 細辛 石膏 川芎 蜀椒 牛膝 甘草 石南 桂心 桑白皮 麻黃 竹皮 白朮 橘皮(各十八銖) 鬼箭羽(《翼》作澤蘭) 茯苓 (各
上三十二味 咀，以水六升，酒六升合，煮取四升，分五服，日三夜二。

虎睛湯

治狂邪發無常，披發大叫喚，欲殺人，不避水火方。

虎睛 鴟頭 露蜂房(各一具) 茯苓 桂心 防風(各三兩) 人參 甘草 天雄 獨 活 (各一兩) 石長生(六分) 楓上寄生(五分)
上十二味 咀，以水一斗二升煮取三升，分四服，日三夜一。

又方 防葵 人參 貫眾(各五兩) 防風 桂心(各三兩)
上五味 咀，以水一斗煮汁三升，分四服，稍服亦可。

治猝發狂方：

苦參五斤為末；蜜和丸，如酸棗大，單服十丸。

治魅方：

水服鹿角末方寸匕，日三。

又方 水服獺肝末，日三。

治狐狸諸色精魅作種種惡怪，令人恐怖，狂癲風邪方：

雄黃(六斤) 油(一斗二升)
上二味，破雄黃如棋子並油納大鐺中，以盆合頭作灶，微火煎九日九夜，不得少時火絕，亦不是火冷須火熱，微微不絕，辟諸精魅神驗。

治風邪方：

商陸根三十斤去皮細切，以水八斗東向灶煎減半，去滓，更煎令可丸，如梧子大，服一丸，合時勿令人見。更有葸菪方大豆紫湯，皆可取汗出佳。（葸菪方見此篇前大豆紫湯，見 前三卷婦人門。）

又方 燒蝦蟆末，水服方寸匕，日三又方 水服伏龍肝末方寸匕，日三。

針灸法

論曰：凡諸百邪之病，源起多途，其有種種形相示表癲邪之端，而見其病。或有默默 而不聲，或複多言而漫說，或歌或哭或吟或笑或眠，坐溝渠啖食糞穢，或裸形露體，或晝夜 游走，或嗔罵無度，或是蜚蠱精靈，手亂目急，如斯種類癲狂之人，今針灸與方藥並主治之，凡占風扁鵲曰：百邪所病，針有十三穴，凡針先從鬼宮起，次針鬼信，次至鬼壘，又至鬼心，針至五六穴即可知矣。若是邪蠱之精便自言說，論其由男從左起針，女從右起針。若數處不言便遍穴針也，仍須依掌訣捻目而治之，萬不失一。黃帝掌訣，別是術家秘要，第一針人中名鬼宮，從左邊下針右邊出。第二針手大指爪甲下，名鬼信，入肉三分。第三針足大趾爪甲 下，名鬼壘，入肉二分。第四針掌後橫紋，名鬼心，入肉半寸（即太淵穴也。）第五針外踝 下白肉際足太陽，名鬼路，火針七針針三下（即申脈穴也。）第六針大椎上入發際一寸，名鬼 枕，火針七針針三下。第七針耳前發際宛宛中，耳垂下五分，名鬼床，火針七針針三下。第八針 承漿，名鬼市，從左出右。第九針手橫紋上三寸，兩筋間，名鬼路（即勞宮穴也。）第十針 直 鼻上入發際一寸名鬼堂，火針七針針三下（即上星穴也。）第十一針陰下縫灸三壯，女人即 玉 門頭，名鬼藏。第十二針尺澤橫紋外頭接白肉際，名鬼臣，火針七針針三下（即曲池穴也。） 第十三針舌頭一寸，當舌中下縫，刺貫出舌上，名鬼封，仍以一板橫口吻安針頭令舌不得動。

以前若是手足皆相對針兩穴，若是孤穴即單針之。邪鬼妄語，灸懸命十四壯（穴在口唇裡中央弦弦者是，一名鬼祿，又以剛力決斷弦乃佳。）邪病臥瞑瞑不自知，風府主之（一名鬼穴。） 邪病大喚罵走，灸十指端去爪一分（一名鬼城。）邪病大喚罵走遠，三裡主之（一名鬼邪。） 邪 病鬼癲四肢重，囟上主之（一名鬼門，）邪病四肢重痛諸雜候，尺澤主之（尺中動脈一名鬼 受。） 邪病語不止及諸雜候 倉公法：狂癎不識人，癲病眩亂，灸百會九壯。狂走掣 灸玉枕上三寸，一法項後一寸 灸百壯。狂邪鬼語，灸天窗九壯。狂走癲疾灸頂後二寸十二壯。或灸大幽百壯，狂言恍惚，灸天樞百壯。狂走癲癎，灸季肋端三十壯，或灸河口五十壯（穴在腕後陷中動脈是）。狂癎 哭 泣，灸手逆注三十壯（穴在左右手腕後六寸）。狂癲風癎吐舌，灸胃脘百壯。狂邪發無常披 發大喚欲殺人，不避水火及狂言妄語，灸間使三十壯（穴在腕後五寸，臂上兩骨間亦治驚恐歌 哭。）狂走喜怒悲泣，灸臣覺（一作巨攪，穴在背上胛內側反手所不及骨芒穴上捻之，痛者是也）。隨年壯。狂邪鬼語，灸伏兔百壯。悲哭鬼語，灸天府五十壯。悲泣邪語鬼忙歌哭，灸慈門五十壯。狂邪驚癎，灸承命三十壯（穴在內踝後上行三寸動脈上）。狂癲風驚厥逆心煩，灸巨陽五十壯。狂癲鬼語，灸足太陽四十壯。狂走驚恍惚，灸足陽明三十壯。狂癲癎易疾，灸足少陽，隨年壯。狂走癲厥如死人，灸足大趾三毛中九壯（一云灸大敦）。狂走易罵，灸八 會，（穴在陽明下五分。）隨年壯。狂癲驚走恍惚嗔喜，笑罵歌哭鬼語，悉灸腦戶、風池、手 陽明、太陽、太陰，足陽明、陽蹺、少陽、太陰、陰蹺、足跟，皆隨年壯。驚怖心忪少力，灸大橫五十壯。狂瘋罵詈撾斫人，名為熱陽風，灸兩吻邊燕口處赤白際各一壯，又灸陰囊 縫三十壯，令人正臥核卵上灸之，勿近前中卵，恐傷陽氣也。狂走刺人或欲死，罵詈不息，稱神鬼語，灸口吻頭赤白際一壯，又灸兩肘屈中五壯，又灸背胛中間三壯，報灸之（倉公 法神效。）鬼魅灸入發一寸百壯，又灸間使手心各五十壯。狐魅，合手大指縛，灸合間三七 壯，當狐鳴即瘥。猝狂言鬼語，以甑帶急合，縛定兩手大指便灸左右脅下對屈肋頭兩處，火 齊起各七壯，須臾鬼自道姓名。乞去徐徐問之乃解其手。猝中邪魅恍惚振噤，灸鼻下人中及 兩手足大指爪甲本，令艾丸半在爪上，半在肉上，各七壯，不止十四壯，炷如雀屎大。風邪

灸間使隨年壯，又灸承漿七壯，又灸心俞七壯，又灸三裡七壯。猝狂鬼魘，針其足大□趾爪甲下入少許即止。

（方二十三首）

遠志湯

治心氣虛驚悸善忘不進食補心方。

遠志 乾薑 白朮 桂心 黃耆 紫石英（各三兩） 人參 茯苓 甘草 芎 茯神當歸 羌活 防風（各二兩） 麥門冬 半夏（各四兩） 五味子（二合） 大棗（十二枚）
上十八味 咀，以水一斗三升煮取三升半，分五服，日三夜二。

又方 治中風心氣不足，驚悸言語謬誤，恍惚憒憒，心煩悶耳鳴方。

遠志 黃耆 茯苓 甘草 芍藥 當歸 桂心（一方無） 麥門冬 人參（各二兩） 附子（一上十二味 咀，以水一斗二升煮取四升，每服八合，羸人服五合，日三夜一。

茯神湯

治風經五臟大虛驚悸安神定志方。

茯神 防風（各三兩） 人參 遠志 甘草 龍骨 桂心 獨活（各二兩） 白朮（一兩） 酸棗（一升） 細辛 乾薑（各六兩）
上十二味 咀，以水九升煮取三升，分三服。

又方 治風虛滿、頸項強、心氣不定不能食方。

茯神 麥門冬（各四兩） 人參 遠志 羌活 當歸 甘草 紫石英 五味子（各一兩） 半夏 黃耆 防風（各三兩） 酸棗（三升） 生薑（五兩）
上十四味 咀，以水一斗三升煮棗仁至一斗，去棗，納餘藥煎取三升半，每服七合，日三夜二。

補心湯

治心氣不足，病苦驚悸汗出心中煩悶短氣，喜怒悲憂悉不自知，常苦咽喉痛，口唇黑，嘔吐血，舌本強，不通水漿方。

紫石英 人參 茯苓 遠志 當歸 茯神（深師作桂） 紫菀 甘草（各二兩） 麥門 冬（一升） 赤小豆（三合） 大棗（三十枚）
上十一味 咀，以水一斗二升煮取三升，分三服。

又方 治心氣不足，多汗心煩，喜獨語多夢不自覺，咽喉痛，時吐血，舌本強，水漿 不通方。

紫石英 人參 茯苓 桂心（各二兩） 麥門冬（三兩） 紫菀 甘草（各一兩） 赤 小豆（二十四枚） 大棗（七枚）
上九味 咀，以水八升煮取二升半，分三服，春夏服佳。

又方 治奄奄忽忽朝瘥暮劇，驚悸，心中憧憧，胸滿不下食，陰陽氣衰，脾胃不磨，不欲聞人聲，定志下氣方。

人參 茯苓 遠志 甘草 枳實 當歸 龍齒 桔梗(各三兩) 半夏 桂心(各五兩) 黃
上十四味 咀，以水一斗二升先煮粳米五合，令熟去滓，納諸藥煮取四升，分服八合，日三夜二。

又方 治心氣不足，心痛驚恐方。

遠志 蒲黃(一方用菖蒲) 人參 茯苓(各四兩)
上四味 咀，以水一斗煮取三升半，分三服。

又方 治心氣不足，腹背相引痛不能俯仰方。

茯神 遠志 黃芩 乾地黃 麥門冬 石膏(各四兩) 半夏 桂心 附子 生薑(各二兩) 甘草 阿膠 糖(各一兩) 大棗(三十枚)
上十四味以十二味 咀，水一斗煮取三升，去滓，納糖及膠更煎取二升二合，分三服。(此方與前心虛實篇大補心湯相重，分兩不同。)

小定心湯

治虛羸心氣驚弱多魘方。

茯苓(四兩) 桂心(三兩) 甘草 芍藥 乾薑 人參 遠志(各二兩) 大棗(十五枚)
上八味 咀，以水八升煮取三升，分四服，日三夜一。

大定心湯

治心氣虛悸，恍惚多忘，或夢驚魘志少不足方。

人參 茯苓 茯神 遠志 赤石脂 龍骨 乾薑 當歸 甘草 白朮 芍藥 桂心 紫 菀防風(各二兩) 大棗(二十枚)
上十五味 咀，以水一斗二升煮取三升半，分五服，日三夜二。

治驚勞失志方：

甘草 桂心(各二兩) 龍骨 防風 麥門冬 牡蠣 遠志(各一兩) 茯神(五兩) 大棗(二十枚)
上九味 咀，以水八升煮取三升，分二服，相去如人行九裡久再進。

荊瀝湯

治心虛驚悸不定羸瘦病方。

荊瀝(三升) 茯神 白蘚皮(各三兩) 人參(二兩) 白銀(十兩，以水一斗煮取 二升)
上五味 咀，以荊瀝銀汁中煮取一升四合，分三服，相去如人行十裡久進一服。

又方 荊瀝(二升) 緩火煎取一升六合，分溫四服，日三夜一。

又方　單用荊瀝煮服功力尤專。

鎮心湯

治風虛勞冷，心氣不足，善忘恐怖，神志不定方。

防風　當歸　大黃（各五分）　麥門冬（五兩）　澤瀉　大豆黃卷　白薇（各四分）　菖蒲　人參　桔梗　遠志　桂心　薯蕷　石膏（各三分）　乾薑　茯苓　紫菀（各一兩）　甘草　白朮（各十分）　附子　茯神（各二兩）　秦艽（六分）　粳米（半升）　大棗（十五枚）
上二十四味　咀，以水一斗二升先煮粳米令熟去滓，納諸藥，煮取四升分服，日三夜一。（《翼》方不用粳米，蜜丸如梧子，酒服十丸，加至二十丸。）

大鎮心散

治心虛驚悸，夢寐恐畏方。

紫石英　茯苓　防風　人參　甘草　澤瀉（各八分）　黃耆　白朮　薯蕷　秦艽　白薇（各六分）　麥門冬　當歸（各五分）　桔梗　大豆黃卷　柏子仁　桂心　遠志　大黃　石膏（各四分）　乾薑　蜀椒　芍藥　細辛（各三分）
上二十四味治，下篩，酒服三方寸匕，日三。（一方無紫石英、茯苓、澤瀉、乾薑，有大棗

又方　治風虛心氣驚弱恍惚失常，忽嗔恚悲志意不樂方。

紫石英　白石英　朱砂　龍齒　乾地黃（一本無）　人參　白朮　茯苓　桂心　乾薑　天雄
上十五味治，下篩，酒服兩方寸匕，日三。

小鎮心散

治心氣不足，虛悸恐畏，悲思恍惚，心神不定惕惕然驚者方。

人參　白朮　遠志　附子　桂心　黃耆　細辛　乾薑　乾地黃　赤小豆　龍齒　防風菖蒲（各二兩）　茯苓（四兩）
上十四味治，下篩，酒服二方寸匕，日三。

鎮心丸

治男子婦人虛損，夢寤驚悸或失精神，婦人赤白注漏或月水不利，風邪鬼疰，寒熱往　來，腹中積聚，憂恚結氣諸病方。

紫石英　茯苓　菖蒲　肉蓯蓉　麥門冬　遠志　大黃　當歸　細辛　大豆黃卷　卷柏　乾薑（各五分）　人參　丹參　防風　秦艽　澤瀉（各六分）　柏子仁　芍藥　石膏（各三分）　烏頭　桂心　桔梗　甘草　薯蕷　前胡　白薇　鐵精　銀屑　牛黃（各二分）　白朮　半夏（各三分）　蟲（十二枚）　乾地黃（十二分）　大棗（五十枚）
上三十五味為末，蜜棗和搗五千杵，丸如梧子，酒服五丸，日三，加至二十丸。（一本　無

大鎮心丸

治同前，凡是心病悉主之方。

乾地黃(六分) 牛黃(五分, 一用牛膝) 羌活 桂心 秦艽 芎 人參 遠志 麥門 冬丹砂 阿膠 甘草 大黃 紫石英 銀屑 白薇 當歸 乾薑 防風(各八分) 杏仁 蜀椒(各五分) 澤瀉 黃耆 大豆黃卷 茯苓 薯蕷 茯神 前胡 柏子仁 鐵精(各五分) 桑螵蛸(十

上三十二味為末, 白蜜棗和丸, 酒服七丸, 日三, 加至二十丸。

小鎮心丸

治心氣少弱, 驚虛振悸, 胸中逆氣, 魘夢參錯謬忘恍惚方。

紫石英 朱砂 茯神 銀屑 雄黃 菖蒲 人參 桔梗 乾薑 遠志 甘草 當歸 桂心(各二兩) 防風 防己 細辛 鐵精(各一兩)

上十七味為末, 蜜丸, 如大豆, 飲服十丸, 日三, 加至二十丸。(一方有茯苓二分, 為 十

定志小丸

治心氣不定, 五臟不足, 甚者憂愁悲傷不樂, 忽忽善忘, 朝瘥暮劇, 暮瘥朝發狂眩 方。

人參 茯苓(各三兩) 菖蒲 遠志(各二兩)

上四味為末, 蜜丸, 如梧子大, 飲服七丸, 日三。加茯神為茯神丸散, 服之亦佳。

紫石英酒

治久風虛冷, 心氣不足, 或時驚怖方。

紫石英(一斤) 鐘乳 防風 遠志 桂心(各四兩) 麻黃 茯苓 白朮 甘草(各三兩)

上九味 咀, 以酒三斗春漬三日, 每服四合, 日三, 亦可至醉, 常令有酒氣。

好忘第七

(方十六首)

枕中方

常服令人大聰。

龜甲 龍骨 菖蒲 遠志

上四味等分治, 下篩, 酒服方寸匕, 日三。治多忘, 令人不忘方 菖蒲(二分) 遠志(七分) 茯苓 茯神 人參(各五分)

上五味治, 下篩, 酒服方寸匕, 日二夜一, 五日後智神良。

開心散

治好忘方。

菖蒲(一兩) 遠志 人參(各十分) 茯苓(二兩)
上四味治, 下篩, 飲服方寸七, 日三。

又方 菖蒲 遠志 茯苓(各三分) 續斷 肉蓯蓉(各二兩)
上五味治, 下篩, 酒服方寸七, 日三, 至老不忘。

菖蒲益智丸

治善忘恍惚, 破積聚, 止痛安神定志, 聰耳明目方。

菖蒲 附子 遠志 人參 桔梗 牛膝(各五分) 茯苓(七分) 桂心(三分)
上八味為末, 蜜丸如梧子, 一服七丸, 加至二十丸, 日二夜一, 禁如藥法。

養命開心益智方 乾地黃 人參 茯苓(各二兩) 遠志 肉蓯蓉 菟絲子(各三兩) 蛇 床子(二分)
上七味治, 下篩, 服方寸七, 日二, 忌食兔肉, 餘無忌。

八味散方

天門冬(六分) 桂心 茯苓(各一兩) 乾地黃(四分) 菖蒲 遠志 石韋 五味子(各三分)
上八味治, 下篩, 後食酒或水服方寸七, 三十日力倍, 六十日氣力強志意足。

治健忘方 天門冬 遠志 茯苓 乾地黃
上四味等分, 為末, 蜜丸如梧子大, 酒服二十丸, 日三, 加至三十丸, 常服勿絕。

治好忘久服聰明益智方 龍骨 虎骨 遠志(等分)
上三味治, 下篩, 食後服方寸七, 日二。

又方 七月七日取菖蒲酒服三方寸七, 飲酒不至醉。

又方 常以甲子日取石上菖蒲一寸九節者, 陰乾百日治, 下篩, 服方寸七, 日三, 耳 目聰明不忘。(出衢州石橋寺南山。)

又方 七月七日麻勃一升, 人參三兩為末, 蒸令氣遍, 臨夜臥服一刀圭, 盡知四方之事。

又方 戊子日取東邊桃枝二七枚縛著臥床中枕之不忘。

又方 常以五月五日日未出時取東向桃枝作三寸木人, 著衣帶中令人不忘。

又方 丁酉日自往市買遠志裹著衣中, 角頭還作末服之不複忘。

治人心昏塞多忘易誤方 七月七日取蜘蛛網著衣領中, 勿令人知, 不忘。

備急千金要方 卷十五脾臟方

唐 孫思邈

（凡十類）

脾臟脈論第一

（論一首）論曰：脾主意，脾臟者，意之舍，意者存憶之志也。為諫論大夫，並四臟之所受。心有所憶謂之意，意之所存謂之志，因志而存變謂之思，因思而遠慕謂之慮，因慮而處物謂之智。

意者，脾之藏也。口唇者，脾之官，脾氣通於口，口和則能別五穀味矣，故云口為戊，舌唇為己，循環中宮，上出頤頰，次候於唇，下回脾中。榮華於舌，外主肉，內主味，脾重二斤三兩，扁廣三寸，長五寸，有散膏半斤，主裹血，溫五臟。神名俾俾主藏營，（一作意，）秩祿號為意臟，隨節應會，故曰脾藏營，營舍意，在氣為噫，在液為涎。脾氣虛則四肢不用，五臟不安，實則腹脹涇溲不利。脾氣虛則夢飲食不足，得其時則夢築垣蓋屋。脾氣盛則夢歌樂，體重，手足不舉。厥氣客於脾則夢丘陵大澤壞屋風雨。凡脾臟象土，與胃合為腑，其經足太陰與陽明為表裡，其脈緩，相於夏，旺於季夏。脾者土也，敦而福，敦者濃也。萬物眾色不同，故名曰得福者廣也。萬物懸根掛莖，其葉在巔， 蜚蠕動，□喘息，皆蒙土恩德則為緩，恩則為遲，故令太陰緩而遲。尺寸不同，酸鹹苦辛，大妙而生，互行其時，而以各行皆不群行，盡可常服。土寒則溫土，熱則涼土。有一子名曰金懷，挾抱之不離其身，金乃畏火，恐熱來熏，遂棄其母，逃於水中，水為金子而藏火神，閉門塞戶內外不通，此謂冬時土失其子，其氣衰微，水為洋溢浸漬其地，走擊皮膚，面目浮腫，歸於四肢。愚醫見水直往下之，虛脾空胃，水遂居之，肺為喘浮，肝反畏肺，故下沉沒，下有荊棘，恐傷其身，避在一邊，以為水流。心衰則伏，肝微則沉，故令脈伏而沉，上醫遠（一作來）占，因轉孔穴，利其溲便，遂通水道，甘液下流，停其陰陽，喘息則微，汗出正流。肝著其根，心氣因起，陽行四肢，肺氣亭亭，喘息則安。腎為安聲，其味為鹹，倚坐母敗， 臭如腥。土得其子，即成為四時之序，逆順之變異也。然脾脈獨何主，脾脈者，土也。孤臟以灌四旁者也。其善者，不可得見惡者，可見惡者，何如其來。如水之流者，此謂太過，病在外。如鳥之喙者，此謂不及，病在中。太過則令人四肢沉重不舉。不及則令人九竅壅塞不通，名曰重強。脾脈來而和柔相離，如雞踐地曰平。長夏以胃為本，脾脈來實而盈數，如雞舉足曰脾病。脾脈來堅銳如雞之喙（雞一作鳥），如鳥之距，如屋之漏，如水之流曰脾死，真脾脈至，弱而乍疏乍散（一作數），色黃青不澤，毛折乃死。長夏胃微濡弱曰平，弱多胃少曰脾病，但代無胃曰死，濡弱有石曰冬病，石甚曰今病，脾藏營，營舍意，憂愁不解則傷意，意傷則悶亂，四肢不舉，毛悴色夭，死於春。足太陰氣絕則脈不營其口唇。口唇者，肌肉之本也。脈弗營則肌肉濡，肌肉濡則人中滿，人中滿則唇反，唇反者，肉先死，甲篤乙死，木勝土也。脾死臟浮之大緩（一作堅），按之中如覆杯潔潔狀如搖者死。六月季夏建末也，坤末之間土之位，脾旺之時，其脈大阿阿而緩曰平，反得浮大而洪者，是心之乘脾，母之歸子為虛邪，雖病易治，反得微澀而短者，是肺之乘脾，子之乘母為實邪，雖病自愈。反得眩而長者，是肝之乘脾，木之克土，為賊邪大逆，十死不治。反得沉濡而滑者。是腎之乘脾，水之凌土為微邪，雖病即瘥。

右手關上陰絕者，無脾脈也。苦少氣下利腹滿身重，四肢不欲動，善嘔，刺足陽明治陽。右手關上陰實者，脾實也。苦腸中伏伏如堅狀，大便難，刺足太陰治陰。

脾脈長長而弱，來疏去（一作數），再至曰平，三至曰離經病，四至脫精，五至死，六至命盡，足太陰脈也。

脾脈急甚為痺瘛，微急為膈中滿，食飲入而還出，後沃沫，緩甚為痿厥，微緩為風痿，四肢不用，心慧然若無疾。大甚為擊仆，微大為脾疝氣裹大膿血在腸胃之外，小甚為寒熱，微小為消癉，滑甚為 癰，微滑為蟲毒蛔，腸鳴熱澼，甚為腸，微澼為內潰，多下膿血。

脾脈搏堅而長，其色黃，病少氣。其軟而散色不澤者，當病足 腫，若水狀黃脈之至也，大而虛，有積氣在腹中，有厥氣名曰厥疝，女子同法，得之疾，使四肢汗出當風。

扁鵲曰：脾有病則色萎黃，實則舌本強直，虛則多癖善吞注利，其實若陽氣壯，則夢飲 食之類。脾在聲為歌，在變動為噫，在志為思，思傷脾。精氣並於脾則飢。音主長夏，病變 於音者，取之經。恐懼而不解則傷精，精傷則骨酸痿厥，精時自下則病精，是故五臟主藏精 者也，不可傷，傷則守失而陰虛，虛則無氣，無氣則死。

病先發於脾，閉塞不通，身痛體重，一日之胃而腹脹，二日之腎少腹腰脊痛，脛酸，三日之膀胱背膂筋痛小便閉，十日不已，死。冬人定夏晏食。

病在脾，日 慧，平旦甚，日中持，下晡靜。(《素問》作日出甚。王冰云，日中持者，繆也)。假令脾病東行，若食雉兔肉及諸木果實，得之不者，當以春時發，得病以甲乙日也。

凡脾病之狀，必身重善飢，足痿不收(《素問》作善肌肉痿足不收，《甲乙》作苦飢，肌 肉痿足不收)，行善痺瘛腳下痛，虛則腹滿腸鳴，飧泄食不化，取其經，足太陰陽明少陰血者。

脾脈沉之而濡，浮之而虛，苦腹脹煩滿，胃中有熱，不嗜食，食而不化，大便難，四肢 苦痺時不仁，得之房內，月使不來，來而頻並。

脾病其色黃，飲食不消，腹苦脹滿，體重節痛，大便不利，其脈微緩而長，此為可治，宜服平胃丸、瀉脾丸、茱萸丸、附子湯。春當刺隱白，冬刺陰陵泉，皆瀉之。夏刺大都，季 夏刺公孫，秋刺商丘，皆補之。又當灸章門五十壯，背第十一椎百壯。

邪在脾胃肌肉痛。陽氣有餘，陰氣不足，則熱中善飢。陽氣不足，陰氣有餘，則寒中腸 鳴，腹痛。陰陽俱有餘，若俱不足則有寒有熱，皆調其三裡。

有所擊仆，若醉飽入房，汗出當風則傷脾，脾傷則中氣陰陽離別，陽不從陰，故以三分候死生。

脾中風者，翕翕發熱，形如醉人。腹中煩重，皮肉 而短氣也，脾中寒。

脾水者，其人腹大，四肢苦重，津液不生，但苦少氣小便難。

脾脹者善噦，四肢急(一作實)，體重不能衣(一作收)，趺陽脈浮而澼，浮則胃氣強，澼 則小便數，浮澼相搏，大便則堅，其脾為約。脾約者，其人大便堅小便利而反不渴。

脾氣弱，病利下白腸垢，大便堅不能更衣，汗出不止，名曰脾氣弱，或五液注下青黃赤 白黑。

寸口脈弦而滑，弦則為痛，滑則為實。痛即為急，實即為踴，痛踴相搏，胸脅搶急。趺 陽脈浮而澼，浮即胃氣微，澼即脾氣衰，微衰相搏，即呼吸不得，此為脾家失度。

寸口脈雙緊即為入，其氣不出，無表有裡，心下痞堅。

趺陽脈微而澀，微即無胃氣，澀則傷脾。寒在於膈，而反下之，寒積不消，胃微脾傷，穀氣不行，食已自噫，寒在胸膈，上虛下實，穀氣不通，為閉塞之病。

寸口脈緩而遲，緩則為陽，衛氣長，遲則為陰榮氣促（一云不足）。榮衛俱和，剛柔相得，三焦相承，其氣必強。

趺陽脈滑而緊，滑即胃氣實，緊即脾氣傷，得食而不消者，此脾不治也。能食而腹不滿，此為胃氣有餘，腹滿而不能食，心下如飢，此為胃氣不行，心氣虛也。得食而滿者，此為脾家不治。

病患鼻下平者，胃病也。微赤者病發癰，微黑者有熱，青者有寒，白者不治。唇黑者胃 先病，微燥而渴者可治，不渴者不可治，臍反出者，此為脾先落（一云先終）。

凡人病脈已解，而反暮微煩者，人見病者瘥安而強與谷，脾胃氣尚弱，不能消穀，故令微煩，損谷則愈。

診得脾積，脈浮大而長，飢則減，飽則見 起，與谷爭減，心下累累如桃李起，見於外腹滿嘔泄，腸鳴，四肢重，足脛腫，厥不能臥，是主肌肉損，色黃也。

脾之積，名曰痞氣在胃脘，覆如大盤，久久不愈，病四肢不收，黃癉，食飲不為肌膚，以冬壬癸日得之，肝病傳脾，脾當傳腎，腎適以冬旺，旺者不受邪，脾複欲還肝，肝不肯受，因 脾病，其色黃體青，失溲直視，唇反張，爪甲青，飲食吐逆，體重節痛，四肢不舉，其脈當浮大而緩。今反弦急，其色當黃而反青者，此是木之克土為逆，十死不治。

宮音人者，主脾聲也。脾聲歌，其音鼓，其志愁，其經足太陰，厥逆陽明則榮衛不通，陰陽翻祚。陽氣內擊，陰氣外傷，傷則寒，寒則虛，虛則舉體消瘦，語音沉澀如破鼓之聲，舌強不轉而好咽唾，口噤唇黑，四肢不舉，身重如山，便利無度，甚者不可治，依源麻黃湯 主之（方在別卷中）。又言聲優懼，舌本卷縮，此是木克土。陽擊陰，陰氣伏，陽氣起，起 則實，實則熱，熱則悶亂，體重不能轉側，語聲拖，聲氣深不轉而心急，此為邪熱傷脾，甚則不可治，若唇雖萎黃，語音若轉可治。

脾病為瘧者，令人寒，腹中痛，熱則腸中鳴鳴，已汗出，恆山丸主之（方見別卷中），若 其人本來少於 怒而忽反常， 喜無度，正言而鼻笑不答於人，此脾病，聲之候也。不盈旬 月，禍必至矣。陰陽之疾，經絡之源，究尋其病，取其所理，然後行治，萬無遺一也。黃為脾，脾合肉，黃如 腹者吉，脾主口唇，唇是脾餘，其人土形相比於上宮黃色，大頭圓面美，肩 耐秋冬，不耐春夏，春夏感而生病，主足太陰敦敦，然脾應月，月有虧盈。脾小大隨人唇大小，上唇濃，下唇薄，無 齦唇缺破，此人脾不正。揭聳唇者則脾高，高則實，實則熱，熱 則季脅痛，滿唇垂而大。不堅者則脾下，下則虛，虛則危，危則寒，寒則身重不能行步，唇 堅者，則脾堅，堅則臟安，安則不病，唇上下好者，則脾端正，端正則脾胃和利，人無病。

唇偏舉者，則脾偏痛好脹。凡人分部中陷起者，必有病生。胃陽明為脾之部，而臟氣通於內，外部亦隨而應之。沉濁為內，浮清為外，若表病外入，所部則起，起則前瀉陽，後補陰，若 裡病內出，所部則陷，陷則前治陰後治陽，陽則實熱，陰則虛寒。寒主外，熱主內，凡人死 生休否則臟神前，變形於外，人脾前病，唇則焦枯無潤。若脾前死，唇則干，青白漸縮，急 齒噤不開，若天中等分，墓色應之，必死不治，看色濃薄，決判賒促，賒則不盈四百日內，促則旬朔之間。脾病少愈而猝死何以知之？曰青黑如拇指靨點見顏頰上，此必卒死，脾絕十二日死，何以知之？口冷足腫腹熱，臚脹泄利，不覺其出時（一曰五日死，）面青目黃者五日死。病患著床，心痛氣短，脾竭內傷，百日複愈，欲起傍徨。因坐於地，其亡倚床能治此者，可謂神良。又

面黃目赤不死。黃如枳實死。吉凶之色，在於分部霏霏，而見黑黃，入唇必病，不出其年。（其穴在鼻上當兩眼是其分部位也。）若年上不應，三年之內，禍必應也。

季夏土脾，脈色黃，主足太陰脈也，其脈本在中封前上四寸之中，應在背俞與舌本。中封在內踝前一寸大筋裡宛宛中，脈本從中封上四寸是也。其脈根於隱白，隱白在足大趾端內側是也。其筋起於足大趾之端內側，上結於內踝。其直者，上結於膝內輔骨；上循陰股，結 於髀，聚於陰器，上腹結於臍，循腹裡，結於脅，散於胸中，其內者著於脊。其脈起於足大趾之端，循趾內側白肉際，過核骨後，上內踝前廉，上 內，循 骨後，交出厥陰之前，上循膝骨內前廉，入腹屬脾絡胃，上膈挾咽，連舌本，散舌下。其支者，複從胃別上膈，注心中，合足陽明為表裡，陽明之本在厲兌，足趺上大趾間上三寸骨解中也。同會於手太陰。

其足太陰之別，名曰公孫，去本節後一寸，別走陽明。其別者，入絡腸胃。主脾生病，實則胃熱，熱則腹中切痛，痛則陽病，陽脈反大於寸口三倍，病則舌強筋轉，卵縮牽陰股，引髀痛，腹脹身重，飲食不下，煩心，心下急注脾。脾病虛則胃寒，寒則腹中鼓脹，脹則陰病，陰脈反小於寸口一倍。病則泄水不能臥而煩，強立股膝內痛。苦筋折扭之，扭之者，脈 時綴綴動也。發動甚者死不治。

四季之月各餘十八日，此為四季之餘日，主脾胃，黃肉隨病也（一作內陽病）。其源從 太陰陽明相格節氣，相移三焦，寒濕不調，四時關格而起，則臟腑傷，隨時受癘，陽氣外泄，陰氣內伏，其病相反。若腑虛則陰邪所加，頭重頸直，皮肉強痺。若臟實則陽疫所傷，蘊而 結核起於喉頸之側，布毒熱於皮膚分肉之中，上散入發際下，貫顳，隱隱而熱，不相斷離，故扁鵲曰：灸肝脾二俞主治丹毒。四時隨病當依源補瀉，虛實之病，皮肉隨熱則須鐮破敷 貼，方咒促治，疾無逃矣。

脾虛實第二

（論一首 方二十三首 脈四首 灸法一首）脾實熱 右手關上脈陰實者，足太陰經者，病苦足寒脛熱，腹脹滿，煩擾不得臥，名曰脾實熱也

瀉熱湯

治舌本強直，或夢歌樂而體重不能行方。

前胡 茯苓 龍膽 細辛 芒硝（各三兩） 杏仁（四兩） 元參 大青（各二兩） 苦竹葉（切
上九味 咀，以水九升煮取三升，分三服，食後服。

射干煎方

主治同前。

射干（八兩） 大青（三兩） 石膏（十兩，一作一升） 赤蜜（一升）
上四味 咀，以水五升煮取一升五合，去滓，下蜜煎取二升，分三服。

治脾熱面黃目赤季脅痛滿方 半夏 母薑（各八兩） 枳實 梔子 茯苓 芒硝（各三兩） 細辛（五兩） 白朮 杏仁（各四兩） 生地黃 淡竹葉（切，各一升）
上十一味 咀，以水九升煮取三升，去滓，下芒硝，分三服。

治脾橫方 若赤黑發如瓜大，煎羊脂摩之。

又方 赤小豆末和雞子白敷之。

四肢寒熱腰痛不得俯仰，身黃腹滿食嘔，舌根直，灸第十一椎及左右各一寸五分，三處 各七壯。

脾胃俱實 右手關上脈陰陽俱實者，足太陰與陽明經俱實也。病苦脾脹腹堅，搶脅下痛，胃氣不轉，大便難，時反泄利，腹中痛，上沖肺肝，動五臟，立喘鳴，多驚，身熱汗不出，喉痺精少，名

三黃瀉熱湯方

大黃 麻黃 黃芩（各四兩） 杏仁 赤茯苓 甘草 橘皮 芒硝 澤瀉
上九味 咀，以水九升煮取三升，絞去滓，納大黃，煮兩沸去滓，下芒硝，分三服。

大黃瀉熱湯

治脾脈厥逆大腹中熱切痛，舌強腹脹，身重食不下，心注脾急痛方。

大黃（切，水一升半，漬一宿） 甘草（各三兩） 澤瀉 茯苓 黃芩 細辛 芒硝 橘皮（各
上八味 咀，以水七升煮取三升三合，去滓，下大黃更煎二沸，去滓，下芒硝，分三服。

治脾熱脅痛，熱滿不歇，目赤不止，口唇乾裂方：

石膏（一斤，碎） 生地黃汁 赤蜜（各一升） 竹葉（切、五升）
上四味先以水一斗二升煮竹葉，取七升，去滓，澄清，下石膏，煮取一升五合，去滓，下地黃汁煮兩沸，次下蜜煎取三升，細細服之。

治脾熱偏一邊痛，胸滿脅偏脹方：

茯苓 橘皮 澤瀉（各三兩） 芍藥 白朮（各四兩） 桂心 人參（各三兩） 石膏（八兩） 半夏（六兩） 生薑（切） 桑根白皮（各一升）
上十一味 咀，以水一斗二升煮取三升，去滓，分三服。若須利下，加芒硝二兩佳。

脾虛冷 右手關上脈陰虛者，足太陰經也。病苦泄注，腹滿氣逆，霍亂、嘔吐、黃膽，心煩不得臥，腸鳴，名曰脾虛冷也。

治虛脹脅痛肩息有時發作悉補之方：

五加根皮 丹參 橘皮（各一斤） 地骨皮 乾薑 白朮（各八兩） 乾地黃 芎 附子（各五兩） 豬椒根皮（二斤） 桂心 桔梗（各四兩） 甘草（三兩） 大棗（五十枚）
上十四味 咀，以酒四斗漬五七日，服七八合加至一升，日再服。

檳榔散

治脾寒飲食不消，勞倦氣脹，噫滿憂恚不樂方。

檳榔（八枚，皮子並用） 人參 茯苓 陳曲 麥 濃朴 白朮 吳茱萸（各二兩）
上八味治，下篩，食後酒服二方寸匕，日再服。（一方用橘皮一兩半。

溫脾丸

治久病虛羸脾氣弱，食不消喜噫方。

黃柏 大麥 吳茱萸 桂心 乾薑 細辛 附子 當歸 曲 大黃 黃連（各一兩）
上十一味為末，蜜丸如梧子大，每服十五丸，空腹酒服，日三。

麻豆散

主脾氣弱不下食餌，此以當食方。

大豆黃卷（二升） 大麻子（三升，熬令香）
上二味治，下篩，飲和服一合，日四五，任意多少。

脾胃俱虛右手關上脈陰陽俱虛者，足太陰與陽明經俱虛也。病苦胃中如空狀，少氣不足以息，四逆寒泄注不已，名曰脾胃俱虛也。

治腹脹善噫食則欲嘔，泄 溏下，口乾，四肢重，好怒不欲聞人聲，忘誤，喉痺，補之方：黃連（一兩） 禹余糧（二兩） 白朮 乾薑（各三兩） 大麻子（五兩） 桑白皮（八 兩） 大棗（二十枚）
上七味 咀，以水一斗二升煮取三升，分四次服。

治脾胃俱虛苦飢寒痛方：

人參 當歸 桂心 茯苓 桔梗 芎（各五兩） 濃朴 甘草 橘皮 吳茱萸（各二兩） 白朮（五兩） 麥（一升）
上十二味 咀，以水一斗二升煮取三升，分三服。

白朮散

治脾胃俱虛冷方。

白朮 濃朴 人參 吳茱萸 茯苓 麥 曲 芎（各三兩）
上八味治，下篩，酒服方寸匕，食後服，日三。（一方加大腹、橘皮。

平胃丸

凡身重不得食，食無味，心下虛滿，時時欲下，喜臥者，皆針胃脘，太倉宜，服建中湯及此方。

杏仁（五十枚） 丹參（三兩） 苦參 元參 葶藶（各二兩） 芎 桂心（各一兩）
上七味為末，蜜丸如梧子大，酒服五丸，日三，以知為度。

又方 治丈夫小兒食實不消，胃氣不調，或溫壯熱結，大小便不利者，有病冷者服露 宿丸，熱藥後當進此丸調胃方，（露宿丸見後十六卷胃腑痼冷積熱門）。

大黃（二兩） 小草 甘草 芍藥 芎 葶藶（各一兩） 杏仁（五十枚）
上七味為末，蜜丸如梧子，飲服五丸，日三。一歲小兒二丸，漸加之。（《翼方》無杏仁，有菖蒲、當歸、乾薑、茯苓、麥門冬、細辛，為十三味）。

論曰：凡病宿食在上脘，當吐之，脈數而滑者實也。有宿食不消，下之愈。胃中有 食 冷物，即痛不能食，有熱物即欲食。大腹有宿食，寒栗發熱如瘧狀。宿食在小腹者，當暮發熱，明旦複止。寸脈緊即頭痛風寒，或腹中宿食不化。寸口脈緊者，如轉索左右無常。脾胃 中有宿食不消，寸口脈浮而大，按之反澀，尺中微而澀，故知宿食。

大曲丸

主消穀斷下溫和又寒冷者，常服不患霍亂方。

大麥 曲(各一升) 附子 乾薑 當歸 人參(各三兩) 赤石脂(一兩) 桔梗 女 萎(各二兩) 吳茱萸 皂莢(各五兩) 蜀椒(二兩半) 烏梅(五十枚)
上十三味為末，蜜酢中半漬梅一宿，蒸三斗米下，去核搗如泥，和藥蜜，和搗二千杵，服十丸，日三。下甚者，加龍骨、阿膠、艾各三兩。

消食斷下丸

寒冷者常服之方。

曲 大麥 (各一升) 吳茱萸(四兩)
上三味為末，蜜和，服十五丸如梧子，日三服。

乾薑散

治不能食，心意冥然忘食方。

乾薑 法曲 蜀椒 豉 大麥 (各一升)
上五味合治，下篩，食後服三方寸匕，日三，以能食為度。

消食丸

治數年不能食方。

小麥 曲(各一升) 乾薑 烏梅(各四兩)
上四味為末蜜和服十五丸，日再加至四十丸。寒在胸中及反胃翻心者皆瘥。

曲丸

主消穀能食，除腸中水氣臚脹方。

法曲 麥 杏仁(各五兩)
上三味治，下篩，食後酒服一合，日三。

脾勞第三

（論一首 方二首）論曰：凡脾勞病者，補肺氣以益之，肺旺則感於脾。是以聖人春夏養陽氣，秋冬養陰氣，

半夏湯

治脾勞實四肢不用，五臟乖反脹滿，肩息氣急不安，承氣泄實熱方。

半夏 宿薑（各八兩）茯苓 白朮 杏仁（各三兩） 橘皮 芍藥（各四兩） 竹葉 （切，一升）
上九味 咀，以水一升煮取三升，分四服。

消食膏酒

治脾虛寒勞損氣脹噫滿食不下通噫方。

豬膏（三升） 宿薑（汁，五升） 吳茱萸（一升） 白朮（一斤）
上四味搗茱萸、白朮等二味細細下篩為散，納膏汁中煎取六升，溫清酒一升，進方寸匕，日再。

肉極第四

（論一首 方六首）論曰：凡肉極者，主脾也。脾應肉，肉與脾合，若脾病則肉變色。又曰：至陰遇病為肌痺，肌痺不已，複感於邪，內舍於脾，體癢淫淫如鼠走，其人身上津液脫，腠理開，汗大泄，鼻端色黃是其相也。

凡風氣藏於皮膚，肉色則敗。以季夏戊己日傷於風為脾風。脾風之狀，多汗陰動傷寒，寒則虛，虛則體重怠墮，四肢不欲舉，不嗜飲食，食則咳，咳則右脅下痛隱隱引肩背不可以動轉，名曰厲風，裡虛外實，若陽動傷熱，熱則實，實則人身上如鼠走，唇口壞，皮膚色變，身體津液脫，腠理開，汗大泄，名曰惡風，而須決其綱紀，知其終始，陰陽動靜，肉之虛實，實則瀉之，虛則補之，能治其病者，風始入肉皮毛肌膚筋脈之間，即須決之。若入六腑五臟則半死矣。

扁鵲曰：肉絕不治五日死，何以知之？皮膚不通外不得泄。凡肉應足太陰，太陰氣絕則唇反氣盡則肉先死，甲篤乙死木勝土，使良醫妙藥終不治也。

解風痺湯

治肉熱極肌痺淫淫如鼠走，身上津液脫，腠理開，汗大泄，為脾風。風氣藏於皮膚，肉色敗，鼻見黃色，麻黃止汗通肉方。

麻黃 防己（一作防風） 枳實 細辛 白朮（各三兩） 生薑 附子（各四兩） 甘草 桂心（各二兩） 石膏（八兩）
上十味 咀，以水九升煮麻黃，去沫，下諸藥，煎取三升，分三服。

西州續命湯

治肉極虛熱肌痺淫淫如鼠走，身上津液開泄，或痺不仁，四肢急痛方。

麻黃 生薑(各三兩) 當歸 石膏(各二兩) 芎 桂心 甘草 黃芩 防風 芍藥(各一兩) 杏仁(四十枚)
上十一味 咀, 以水九升先煮麻黃去沫, 下諸藥煮取三升, 去滓, 分四服, 日再。

越婢湯

治肉極熱則身體津液脫, 腠理開, 汗大泄, 厲風氣下焦腳弱。(有方見七卷風

石南散

治肉熱極則體上如鼠走, 或如風痺, 唇口壞, 皮膚色變, 主諸風大病方。

石南(三十銖) 薯蕷 芍藥(一作甘草) 天雄 桃花(一作桃仁) 甘菊花(各一兩) 黃耆 真珠(各十八銖) 山茱萸(一兩十八銖) 石膏(二兩) 升麻 蕨蕤(各一兩半)
上十二味治, 下篩, 酒下方寸匕, 日再食後服。

大黃酒

治肉極虛寒為脾風陰動傷寒, 體重怠墮, 四肢不舉, 關節疼痛, 不嗜飲食虛黃 桂心 巴戟天 石斛 柏子仁 澤瀉 茯苓 乾薑 蜀椒(各三兩) 防風 獨活 人參(各二兩) 天雄 芍藥 附子 烏頭 茵芋 半夏 細辛 栝蔞根 白朮 黃芩 山茱萸(各一兩)
上二十三味 咀, 絹袋貯, 以清酒三斗漬之, 秋冬七日, 春夏三日, 初服三合, 漸漸加, 微微醉為度, 日再。

治肉極虛寒猝中風, 口噤不能言, 四肢緩縱, 偏攣急痛注, 五臟恍惚, 喜怒無常, 手腳不隨方:

獨活 茵芋 黃芩(各三兩) 甘草 防風 芍藥 芎 麻黃 葛根(各二兩) 人參(一兩) 烏頭(三枚)
上十一味 咀, 以水一斗, 竹瀝四升合煎取四升, 分四服, 日三夜一。

肉虛實第五

(論一首 方二首) 論曰: 夫肉虛者, 坐不安席, 身危變動。肉實者, 坐安不動, 喘氣。肉虛實之應主於脾。若其臟腑有病從肉生, 熱則應臟, 寒則應腑。

五加酒

治肉虛坐不安席好動, 主脾病寒氣所傷方。

五加皮 枸杞皮(各二升) 乾地黃 丹參(各八兩) 石膏(一作石床) 杜仲(各一斤) 乾薑(四兩) 附子(二兩)
上八味 咀, 以清酒三斗漬三宿, 一服七合, 日再。

半夏湯

治肉實坐安席, 不能動作喘氣, 主脾病熱氣所加關格除喘方。

半夏 宿薑(各八兩) 杏仁(五兩) 細辛 橘皮(各四兩) 麻黃(一兩) 石膏 (七兩) 射干(二兩)
上八味 咀, 以水九升煮取三升, 分三服, 須利下加芒硝三兩。

秘澀第六

（論一首 方四十四首 灸法十五首）論曰：有人因時疾，瘥後得閉澀不通，遂致夭命，大不可輕之，所以備述，雖非死病，凡人不明藥餌者，拱手待斃，深可痛哉，單複諸方以虞倉猝耳。凡大便不通，皆用滑膩之物 及冷水以通之也。凡候面黃者，即知大便難。

麻子仁丸

趺陽脈浮而澀，浮則胃氣強，澀則小便數，浮澀相搏，大便則堅，其脾為約，脾約者，其人大便堅，小便利而不渴也。

麻子仁（二升） 枳實 芍藥（各八兩） 杏仁（一升） 大黃（一斤） 濃朴（一尺）
上六味為末，蜜丸如梧子大，飲服五丸，日三，漸加至十丸，（《肘後》、《外台》無杏仁）。

治關格大便不通方：

芒硝 烏梅 桑白皮（各五兩） 芍藥 杏仁（各四兩） 麻仁（三兩） 大黃（八兩）
上七味 咀，以水七升煮取三升，分三服。（一本無烏梅加枳實，乾地黃各二兩。

治大便閉澀不通神方：

豬羊膽不拘，以筒灌三合許，令深入即出矣。不盡須臾更灌。

一方加冬葵子汁和之亦妙。

又方 椒豉湯五升，加豬膏三合灌之佳。臨時不下即用之。

又方 白蜜煎成如人指大，深納穀道佳。又無灰濃酒半升，鹽三錢匕，煉如上法。

三黃湯

治下焦熱結不得大便方。

大黃（三兩） 黃芩（三兩） 甘草（一兩） 梔子（二十枚） 右四味 咀，以水五升煮取一升八合，分三服。若大閉，加芒硝二兩。

五柔丸

治腸腑閉塞及虛損不足，飲食不生肌膚，三焦不調營衛不和方。

大黃（一升，蒸三斗米下） 前胡（三兩） 半夏 肉蓯蓉 芍藥 茯苓 當歸 葶藶 細辛（各一兩）
上九味為末，蜜和合搗萬杵，為丸如梧子大，食後服十五丸，後稍增之，日再。（崔氏云，令人喜飯消穀益氣。有憂者，加松實， 閭子各半兩，服之緩中不如意，便服之，又加 黃芩一兩）。

大五柔丸

主臟氣不調，大便難通，和營衛，利九竅消穀益氣方 大黃 蓯蓉 芍藥 葶藶 枳實 甘草 黃芩 牛膝（各二兩） 桃仁（一百枚） 杏仁（四十枚）
上十味為末，蜜和丸如梧子，一服三丸，日三，加至二十丸，酒下。

濡臟湯

主大便不通六七日，腹中有燥屎，寒熱煩迫，短氣汗出脹滿方。

生葛根 豬膏（各二升） 大黃（一兩）
上三味 咀，以水七升煮取五升，去滓，納膏，煎取三升，澄清。強人頓服，羸人再服。亦治大小便不通。

治大便不通方：

大戟（一斤） 大豆（五升） 商陸 牛膝（各三斤）
上四味 咀，以水五升煮取二升，以大豆煎令汁盡，至豆干。初服三枚，以通為度。

又方 蜜和胡燕屎，納大孔中即通。

又方 水四兩，蜜一升，合煎熟，冷灌下部中，一飯頃即通。

又方 鹽半合，蜜三合，合煎如餳，出之著冷水中，丸如檳榔，形如指許大，深納下部中立通。

又方 治大便難方。

單用豉清醬，清羊酪、土瓜根汁灌之立通。

又方 以醬清漬烏梅灌下部中。

又方 桑根白皮 榆根白皮（各一把）
上二味 咀，以水三升煮取一升半，分三服。

又方 水服桃花末方寸匕，無花時桃根白皮亦得。

又方 桃皮三升，水五升，煮取一升，頓服。

又方 羊蹄根一把約半斤，水二升，煮一升頓服之。

又方 常煮麻子取汁飲。

又方 常服蜜煎五合。

又方 豬脂和陳葵子末為丸如梧子大，每服十丸，通即止。

又方 常服車前子及葉並良。

又方 搗葵根汁生服。

又方 好膠(三寸), 蔥白(一把)
上二味以水四升煮取一升半, 頓服之即下。

又方 葵子 牛酥(各一升, 豬脂亦得)。

上二味以水四升, 煮葵子取一升, 納酥煮一沸, 待冷, 分作二服。

又方 葵子汁和乳汁等分, 服之立出。

又方 醬清(三升) 麻油(二升) 蔥白(三寸)
上三味合煮令黑, 去滓, 待冷頓服之。(一方不用醬清。

芒硝丸

治脹滿不通方。

芒硝 芍藥(各一兩半) 杏仁 大黃(各三兩) 黃芩(一兩六銖)
上五味為末, 蜜丸如梧子大, 飲服十五丸加至二十丸, 取通利為度, 日三。

又方 通草 朴硝(各四兩) 郁李仁 黃芩 瞿麥(各三兩) 車前子(五合, 一云 六兩)
上六味 咀, 以水八升煮取二升半、分三服。(一方用絹袋盛煮頓服二升。)

又方 獨頭蒜燒熟去皮, 綿裹, 納下部, 中氣立通。

又方 削薑裹鹽導之, 及乾薑食鹽杏仁搗丸導之。

治脹滿閉不下方:

吳茱萸(一升) 乾薑 大黃 當歸 桂心 芍藥 甘草 川芎(各二兩) 人參 細辛 (各一兩) 桃白皮(一把) 真珠(半兩) 雄黃(十八銖)
上十三味 咀, 以水一斗煮取三升, 去滓, 納雄黃, 真珠末酒一升, 微火煮三沸, 服 一升, 得下即止。

走馬湯

主一切猝中惡心痛腹脹大便不通方。

巴豆(二枚, 去皮心熬) 杏仁(二枚)
上二味以綿纏捶令碎, 熱湯二合捻取白汁, 飲之當下, 老小量之, 通治飛尸鬼擊病。

巴豆丸

主寒癖宿食, 久飲飽不消, 大便不通方。巴豆仁一升, 清酒五升煮三日三夕碎, 大熟, 合酒微火煎令可丸如胡豆, 欲取吐下者, 服二丸。

練中丸

主宿食不消，大便難方，（《肘後》名承氣丸）。

大黃（八兩） 葶藶 杏仁（熬） 芒硝（各四兩）
上四味為末，蜜丸如梧子大，食後服七丸，日三，後稍加之。

灸法

大便難，灸第七椎兩旁各一寸，七壯。

又灸承筋二穴各三壯，在 中央陷內。

大便不通，灸挾玉泉相去各二寸，名曰腸遺，隨年壯。（一云二寸半）。又灸大敦四壯，在足大趾聚毛中。大便閉塞，氣結心堅滿，灸石門百壯。後閉不通，灸足大都，隨年壯。治 老人小兒大便失禁，灸兩腳大趾去甲一寸，三壯。又灸大趾歧間各三壯。

治大小便不通方：

葵子（末，一升） 青竹葉（一把）
上二味以水二升煮五沸，頓服。

又方 葵子（一升） 榆皮（切，一升）
上二味以水五升煮取二升，分三服。

又方 葵子一升，水三升煮取一升，去滓，納豬脂一升，空心，分二服。

又方 甑帶煮取汁，和蒲黃方寸匕，日二服。

又方 豬脂一斤，水二升煮三沸，飲汁立通。

治大小便不利方：

葵子（一升），硝石（二兩）
上二味以水五升煮取二升，分二服。

治小兒大小便不通方：

搗白花胡葵子末，煮汁服之。

又方 末雞屎白服一錢匕。

灸法

大小便不利欲作腹痛，灸營衛四穴百壯，穴在背脊四面各一寸。腹熱閉時大小便難，腰痛連脊，灸團岡百壯，穴在小腸俞下二寸橫三間下，灸之。大小便不通，灸臍下一寸三壯。

又灸橫紋百壯。大小便不利，灸八 百壯，穴在腰眼下三寸挾脊相去四寸，兩邊各四穴。

（計八穴，故名八 ）小兒大小便不通，灸口兩吻各一壯。小便不利大便數注，灸屈骨端五十壯。

又灸天樞百壯，穴在挾臍相去三寸。魂魄之舍不可針，大法在臍旁一寸，合臍相去可三寸也。

熱痢第七

（論一首 脈証二十四條）（方二十六首 灸法十首）論曰：余立身以來，三遭熱痢，一經冷痢，皆日夜百餘行，乃至移床就廁，其困篤如此，但率意自治者，尋手皆愈。乃知此疾天下易治，但中性之徒率性驕倨，良藥苦口不能克己 早餌，朝遇暮過，望其自瘥，疾勢日增，胃氣漸弱，心力俱微，食飲與藥皆不能進，既不時 愈，便稱痢病難治，斯皆自誤也。學人須深達斯旨。然此病隨宜服一物皆使得瘥，惟須力意 苦己，服食以瘥為限，則無不愈也。又大須慎口味，重者瘥後百日，次者一月日。常哀驕恣 者，不能自慎興言於此，以為至概矣。古今痢方千萬首，不可俱載此中，但撮其效者，七八 而已。如陟厘丸、烏梅丸、松皮散等，暴痢服之，何有不瘥其溫脾湯，健脾丸（方出下冷痢 篇），久下得之，焉能不愈。大凡痢有四種，謂冷熱疳蟲，冷則白。熱則赤。疳則赤白相雜 無複節度，多睡眼澀，蟲則純痢瘀血。熱則多益黃連，去其乾薑。冷則加以熱藥。疳則以藥 吹灌下部。蟲毒則以蟲法治之藥。既主對相當，痢者複自勉勵服餌，焉有不愈者也。

凡服止痢藥，初服皆劇，愚人不解，即止其藥不服，此特不可，但使藥與病源的相主對，雖劇但服，不過再三服，漸漸自知。非其主對者，慎勿服也。

凡痢病通忌生冷酢滑，豬雞魚油、乳酪酥干脯醬粉咸。所食諸食，皆須大熟爛為佳，亦 不得傷飽，此將息之大經也。若將息失所，聖醫不能救。

下痢脈滑而數，有宿食，當下之。

下痢脈遲而滑者，實也。利為末止，急下之。

下痢脈反滑，當有所去下乃愈。

下痢不欲食者，有宿食，當下之。

下痢而腹痛滿，為寒實，當下之。

下痢而譫語，腹內有燥屎，宜下之。

下痢腹中堅者，當下之。

下痢三部皆平（一作浮），按其心下堅者，急下之。

下痢已瘥，至其年月日時複發者，此為下不盡，更下之愈。風寒重者，不可下。下之後，心下堅痛，脈遲（一作浮），此為寒，但當溫之。脈沉緊，下之亦然。脈浮大弦，下之當已。

下痢脈浮大，此為虛，以強下之故也。設脈浮革者，因而腸鳴，當溫之。

下痢脈遲緊為痛，未欲止，當溫之。得冷者滿而便腸垢。

下痢身軀疼痛，急救裡，諸溫之屬，可與理中、四逆、附子湯熱藥輩急投之美。

下痢大孔痛者，當溫暖之。

下痢腹脹滿，身體疼痛者，先溫其裡，乃攻其表。

下痢清穀不可攻，其表汗出必脹滿。

下痢氣者，當利其小便。

下痢脈反浮數，尺中自澀，其人必清膿血。

下痢脈數而渴者，今自愈。設不瘥，必清膿血，有熱故也。

下痢脈沉弦者下重，其脈大者為未止，脈微弱數者為欲自止，雖發熱，必不死。

下痢脈沉而遲，其人面少赤，身有微熱，下利清穀，必郁冒，汗出而解，病患必微厥，所以然者，面戴陽下虛故也。

下痢有微熱而渴，脈弱者今自愈。

下痢脈數，有微熱，汗出今自愈。設脈緊為未解。

下痢脈弦，發熱身汗者自愈。

下痢脈大浮弦，下當已。

下痢舌黃，燥而不渴，胸中實，下不止者死。

下痢後脈絕，手足厥冷， 時脈還，手足溫者生，不還不溫者死。生死之決，此之謂 也。

下痢手足厥冷無脈者，灸之不溫，若脈不還，反微喘者死。少陰負趺陽者為順。

凡六腑氣絕於外者，手足寒，上氣腳縮。五臟氣絕於內者，下利不禁。下甚者，手足不仁也。細尋取之，萬不失一，下病體略例如此耳。

《素問》曰：春傷於風，夏為膿血。凡下多滯下也。夏傷於風，秋必洞泄，秋多下水也，患是冷也，夫積冷積熱及水穀實而下者，以大黃湯下之，強人勿過兩劑，皆消息五六日更 進一劑，其補澀湯不效者，三兩日可進一劑。

陟厘丸

治百病下痢及傷寒身熱，頭痛目赤，四肢煩疼不解，協熱下利：或醫已吐下之，腹內虛煩，欲得冷凍飲料，不能消，腹中急痛，溫食則吐，乍熱乍冷，狀如溫瘧；或小便不利，氣滿 嘔逆，下痢不止方。

水中陟厘（五兩） 紫石英（三兩） 漢中木防己（六兩） 隴西當歸（四兩） 濃朴（一兩）黃連
上八味以苦酒二升漬防己極令潤，出之切，以板瓦覆著炭火上，以濃紙藉瓦上令色槁燥有餘，苦酒複漬之，

更出熬盡苦酒止，勿令火猛，徐徐熬令極燥，各搗為末。又以餘苦酒三升浸豉一宿，明旦以瓦盆盛，以一盆覆蒸五升，土下須二氣通流，出之，研絞取濃汁，和藥搗為丸如雞頭子大，懸令陰乾，勿見風塵。此藥以三丸為一劑。平旦服一劑，晝服一劑，暮服一劑，皆以水服之。若病重藥力未行者，但益服之，日可四五劑。令腹中有藥力，飲食消是其效也。新服藥未安調，當稀糜助藥力，心中了然，後可作羹，微冷食之。若有時不喜冷食，正是藥力盡耳。若欲不複藥者，但稍溫食，藥力自盡矣。服藥不必強多飲水，禁熱食生魚豬肉蒜生菜酒及辛物肥膩。若有風病加防風一兩，人虛羸加石斛一兩。若宿有下痢，腸胃損弱者，加太一余糧二兩半，取石中黃軟香者。若婦人產後疾，加石硫黃一兩，小便黃赤不利，加

烏梅丸

下痢熱諸治不瘥方。

烏梅（一升） 黃連（一斤，金色者）
上二味蜜丸如梧子，服二十丸，日三夜二。

松皮散

治積久二三十年常下痢神方。

赤松皮去上蒼皮，切一斗為散，面粥和一升服之，日三服瘥。不過服一斗永瘥。三十年 痢，服之百日瘥。

苦參橘皮丸

治熱毒痢方。

苦參 橘皮 黃連 黃柏 鬼臼（一作鬼箭羽） 藍青 獨活 阿膠 甘草
上九味等分為末，以蜜烊膠和，並手丸之如梧子，候乾，飲服十丸，日三，後稍加猝下痢者大良。

三黃白頭翁湯

治諸熱毒下黃汁，赤如爛血，滯如魚腦，腹痛壯熱方。

黃連（二兩） 黃芩 黃柏 升麻 石榴皮（各六分） 艾葉（三分） 白頭翁 桑寄 生當 歸牡蠣 犀角 甘草（各一兩）
上十二味 咀，以水六升煮取三升，分三服。

龍骨丸

治下血痢腹痛方。

龍骨 龍膽 羚羊角 當歸 附子 乾薑 黃連（各三十珠） 赤石脂 礬石（各一兩半） 犀角 甘草 熟艾（各十八銖）
上十二味為末，蜜丸如小豆，先食服十五丸，日三，加至二十丸。

又方 龍骨 當歸 乾薑 熟艾 牛角（各三兩）附子 黃柏 赤石脂 川芎 阿 膠濃朴 甘草 橘皮 芍藥 石榴皮(各二兩) 蜀椒(一兩) 升麻(一兩半) 黃連（五合）大棗
上十九味 咀，以水一斗三升煮取四升，去滓，納牛角 末，阿膠烊化，綿絞去滓，分七

治血痢方：

蒲黃(三合) 乾地黃 桑耳 甘草 芒硝 茯苓 人參 柏葉 艾葉 阿膠 生薑(各二兩)
上十四味 咀，以水一斗煮取四升，溫分五服。

治下雜血方：

干藍 犀角 地榆(各二兩) 蜜(二合
上四味 咀，以水五升煮取一升，去滓，下蜜煎取五合，分二服，治熱毒蠱妙。

治熱毒下黑血，五內絞切痛，日夜百行氣絕欲死方：

黃連(一升) 龍骨 白朮(各二兩) 阿膠 乾薑 當歸 赤石脂(各三兩) 附子(一兩)
上八味 咀，以水一斗煮取五升，分五服。余以貞觀三年(七月十二日)，忽得此熱毒 痢，至十五日命將欲絕，處此方藥，入口即定。

白頭翁湯

治赤滯下血連月不瘥方。

白頭翁 濃朴 阿膠 黃連 秦皮 附子 黃柏 茯苓 芍藥各二兩) 乾薑 當歸 赤石脂 甘草 龍骨(各三兩) 大棗(三十枚) 粳米(一升)
上十六味 咀，以水一斗二升先煮米令熟，出米納藥，煮取三升，分四服。

治下血日夜七八十行方：

黃連 黃柏(各四兩)
上二味 咀，以醇醋五升煮取一升半，分再服。

治大熱毒純血痢不可瘥者方：

黃連六兩 咀，以水七升煮取二升半，夜露置星月下，旦起空腹頓服，臥將息即止。不瘥加黃芩二兩，更作服之。仍不瘥者，以疳痢法治之。

治下赤連年方：

地榆 鼠尾草(各一兩)
上二味 咀，以水二升煮取一升，分二服。如不止，取屋塵水漬，去滓，一升分二服。(《古今錄驗》云服屋塵汁一小杯)。

又方 秦皮(如無以槲皮代之) 鼠尾草 薔薇根
上三味等分 咀, 以水淹、煎, 去滓, 銅器中重釜煎成丸如梧子大, 服五六丸, 日三。稍增瘥止。亦可濃汁服半升。

治下痢絞痛腸滑不可瘥方：

黃連(六兩) 阿膠 鼠尾草 當歸 乾薑(各三兩)
上五味 咀, 若大冷白多以清酒一斗煮取三升, 分三服。若熱及不痛者, 去乾薑、當 歸以水煮之。

治熱痢水穀方：

黃連 阿膠(各二兩) 黃柏(一兩) 烏梅(四十枚) 梔子(三十枚)
上五味 咀, 以水五升煮取二升半, 分三服。亦治 神良。

茯苓湯

治因下空竭欲死, 滯下膿血, 日數十行, 羸篤垂死, 老少並宜服之方。

茯苓 黃芩 黃連 黃柏 龍骨 人參 乾薑 桂心 當歸 芍藥 甘草 梔子仁(各半兩) 赤石脂(一兩) 大棗(十二枚)
上十四味 咀, 以水五升煮取二升, 分再服。不瘥滿三劑。此方主風虛冷痢最佳。

溫脾湯

治下久赤白連年不止, 及霍亂, 脾胃冷實不消方。

大黃(四兩) 人參 甘草 乾薑(各二兩) 附子(一枚, 大者)
上五味 咀, 以水八升煮取二升半, 分三服, 臨熟下大黃, 與後溫脾湯小異, 須大轉 瀉者當用此方神效。

黃連湯

治赤白痢方。

黃連 黃柏 乾薑 石榴皮 阿膠(各三兩) 當歸(二兩) 甘草(一兩)
上七味 咀, 以水七升煮取三升, 分三服。

女萎丸

治熱病時氣下赤白痢遂成 方。

女萎 藜蘆(各三分) 烏頭 桂心(各四分) 黃連 雲實(各三分) 代赭(一分)
上七味為末, 蜜和丸如梧子大, 服二丸。大下痢宿勿食, 清旦以冷水服之。勿飲食。至日中過後乃飲食, 若得藥力, 明旦更服如前。亦可長服。虛羸晝夜百行膿血亦瘥。

聖湯

治下赤白痢，大孔蟲生悉皆瘥方。

鼠尾草（二兩） 豉（一升） 梔子仁 生薑（各六兩） 桃皮（一握）
上五味 咀，以水七升煮二升，分三服。

（一本單用桃皮，以酒煮服之。

治冷熱不調或水或膿或五色血痢方：

酸石榴五枚。合殼子搗絞，取汁二升，服五合，瘥止。

治赤白滯下方：

亂髮雞子大，燒末水服，不過三服。

灸法

泄痢食不消不作肌膚，灸脾俞，隨年壯。

泄注五痢便膿血重下腹痛，灸小腸俞百壯。

泄痢久下失氣勞冷，灸下腰百壯，三報穴在八魁正中央脊骨上，灸數多尤佳。三宗骨是忌針。

泄痢不禁小腹絞痛，灸丹田百壯，三報穴在臍下二寸，針入五分。泄痢不嗜食，雖食不消，灸長谷五十壯，三報穴在挾臍相去五寸，一名循際。

泄痢赤白漏，灸足太陰五十壯，三報。

久泄痢百治不瘥，灸足陽明下一寸高骨上陷中，去大趾歧三寸，隨年壯。

又屈竹量正當兩胯脊上點訖，下量一寸點兩旁各一寸，複下量一寸，當脊上合三處，一灸三十壯，灸百壯以上。

一切痢皆斷，亦治濕 冷，脊上當胯點處不灸。

又灸臍中稍稍二三百壯。

又灸關元三百壯，十日灸，並治冷痢腹痛，在臍下三寸。

赤白下痢灸窮骨，以灸數多為佳

冷痢第八

（論一首 方三十二首）論曰：舊治痢於貴勝用建脾丸，多效，今治積久冷痢，先以溫脾湯下訖，後以建脾丸補 之，未有不效者。貧家難以克辦，亦無可將息也。

溫脾湯

治積久冷熱赤白痢方。

大黃 桂心(各三兩) 附子 乾薑 人參(各一兩)
上五味 咀, 以水七升煮取二升半, 分三服。(與前溫脾湯小異)。

建脾丸

治虛勞羸瘦身體重, 脾胃冷, 飲食不消, 雷鳴腹脹, 泄痢不止方。

鐘乳粉(三兩) 赤石脂 好曲 大麥 當歸 黃連 人參 細辛 龍骨 乾薑 茯苓石斛 桂心(各二兩) 附子(一兩) 蜀椒(六兩)
上十五味為末, 白蜜丸如梧子大, 酒服十丸, 日三, 加至三十丸。弱者飲服此方, 男女 通治。(《集驗》無細辛、龍骨)。

增損建脾丸

治丈夫虛勞, 五臟六腑傷敗受冷, 初作滯下, 久則變五色赤黑如爛腸, 鐘乳粉 赤石脂(各三兩) 礬石 乾薑 蓯蓉 桂心 石斛 五味子 澤瀉 遠志 寄 生柏子仁 人參 白頭翁 天雄 當歸 石榴皮 牡蠣 龍骨 甘草(各二兩)
上二十味為末, 蜜丸, 酒服二十丸, 日三, 加至四十丸。此二方止痢神驗。

駐車丸

治大冷洞痢腸滑, 下赤白如魚腦, 日夜無度, 腹痛不可忍者方。

黃連(六兩) 乾薑(二兩) 當歸 阿膠(各三兩)
上四味為末, 以大醋八合烊膠和之, 並手丸如大豆, 候乾。大人飲服三十丸, 小兒以意 量減, 日三。

大桃花湯

治冷白滯痢腹痛方。

赤石脂 乾薑 當歸 龍骨 牡蠣(各三兩) 附子(二兩) 人參(一兩半) 白朮(一升) 甘
上十味 咀, 以水一斗二升煮術取九升, 納諸藥煮取三升, 分三服, 膿者加濃朴三兩, 嘔者加橘皮三兩。

又方 龍骨六兩) 濃朴 當歸(各三兩) 赤石脂(五兩)
上四味 咀, 以水七升煮取二升半, 分三服。熱加白頭翁二兩半, 牡蠣三兩。

桃花丸 治下冷臍下攪痛方。

乾薑 赤石脂(各十兩)
上二味為末, 蜜丸如豌豆, 服十丸, 日三服, 加至二十丸。

倉米湯

治小腹冷氣積聚結成冷痢，日夜三四十行方。

倉粳米（半升　淨淘干漉）薤白（一握，去青細切）羊脂（一升，熬）香豉（三升，以水一斗煎取五升澄清）
上四味，先以羊脂煎薤白令黃，並米納豉汁中，煎取四升，旦空腹溫服一升，如人行十裡久

附子湯

治暴下積日不住及久痢方。

附子（一枚）石榴皮（一具）阿膠（二兩）龍骨　甘草　芍藥　乾薑　黃連（各一兩）黃芩（半兩）粳米（三合）
上十味　咀，以水八升煮取三升，分三服。

治猝下痢湯方：　黃連（五兩）生薑（一斤）
上二味　咀，以水五升煮取一升，頓服。未止，更合服必效。

治久痢下純白，由積臥冷處經久病發，遂令脾胃俱冷，日夜五六十行，大小腹痛不可忍。凡白痢屬冷，赤痢屬熱方：

好曲末五升，微熬令香，粥清醇酒令熱，和曲末一升，空腹頓服，日三。若至食時，搗　蒜　餅，極爛煮之，干漉，熱納蒜　臼中相和，頓食之，少與餘食，至飢時，仍準前食曲末酒，比至瘥來

治久冷或痢不痢但腰腹患苦冷方：

新蜀椒三升，用醋漬一宿，以曲三升和椒一升緊拌，煮作粥，空腹頓服之，加蔥、豉、鹽任性調和，不瘥更作，以瘥為限，不過三升椒即愈。此方不但治冷，大治諸虛損冷極有所益，久當自知。

馬藺子丸

治積冷痢下白膿方。

馬藺子（一升，熟熬）附子（二兩）乾薑　甘草（各二兩半）神曲　麥　阿膠（各五兩）
上九味為末，蜜丸如梧子，服二十丸，日二，以知為度，或作散酒調服方寸匕亦佳。

濃朴湯

治三十年久痢不止者。

濃朴　乾薑　阿膠（各二兩）黃連（五兩）艾葉　石榴皮（各三兩）
上六味　咀，以水七升煮取二升，分再服。

四續丸

治三十年注痢骨立萎黃腸滑不瘥方。

雲實(五合，熬香) 龍骨(三兩) 附子 女萎(各二兩) 白朮(二兩半)
上五味為末，以蠟煎烊以丸，如梧子大，服五丸，日三，不過五六服。

椒艾丸

治三十年下痢，所食之物皆不消化，或青或黃，四肢沉重。起即眩倒，骨肉消盡，兩足蜀椒(三百枚) 烏梅(一百枚) 熟艾(一升) 乾薑(三兩) 赤石脂(二兩)
上五味，椒、薑艾下篩，梅著一斗米下蒸，令飯熟，去核，納薑、椒末、合搗三千杵，

下痢丸

治數十年痢，下氣消穀，令人能食，夏月長將服之不霍亂方。

大麥 法曲(各一升) 烏梅(二升半) 附子 乾薑 黃連 黃柏 桂心(各二兩) 蜀 椒(半兩) 吳茱萸(四兩)
上十味為末，蜜和丸如梧子大，食後服十丸，日三，加至二十丸，亦可至四十丸。

麥丸

治數十年下痢不止，消穀下氣，補虛羸方。

大麥 好曲(各一升) 附子 當歸 桂心(各二兩) 蜀椒(一兩) 吳茱萸 乾薑黃連烏梅肉(各四兩)
上十味為末，蜜和丸如梧子，食後服二十丸，日三。

烏梅丸

治久痢諸藥不瘥數十年者，消穀下氣，補虛方。

烏梅肉 黃連 乾薑 吳茱萸(各四兩) 桂心(二兩) 當歸(三兩) 蜀椒(一兩半)
上七味為末，蜜和丸如梧子，食後服十丸，日三。

又方 治冷痢久下方。

烏梅(三百枚) 乾薑 黃連(各十兩) 當歸 蜀椒(各四兩) 細辛 附子 桂心 人參 黃柏(各六兩，一方用麥)
上十味為末，以苦酒浸烏梅一宿，去核，蒸五升米下，別搗如泥，攪令相得，納蜜和搗 二千杵，丸如梧子，食前服十丸，日三服，稍增至二十丸。

七味散

治痢下久不瘥神驗方。

黃連(八分) 龍骨 赤石脂 濃朴 烏梅肉(各二分) 阿膠(三分) 甘草(一分) 上治，下篩，漿水服二方寸匕，日二，小兒一錢匕。

豬肝丸

治下痢腸滑飲食及服藥俱完出者方 豬肝(一斤，熬令乾) 黃連 烏梅肉 阿膠(各二兩) 胡粉(七棋子大)
上五味為末，蜜丸如梧子，酒服二十丸，日三，亦可散服方寸匕。

羊脂煎

治久痢不瘥者方。

羊脂(一棋子) 白蠟(二棋子) 黃連(一升)，米醋(七合，煎取稠) 蜜(七合 煎取五合) 烏梅肉(二兩) 亂髮(灰汁洗去垢膩燒末，一升)
上七味納銅器中，湯上煎之，攪可丸如梧子，飲服三十丸，日三。

又方 羊脂 阿膠 蠟(各二兩) 黍米(二升)
上四味合煮作粥，一服，食後即瘥。

治大下後腹中空竭、胸中虛滿、不下食方：芍藥 半夏 甘草(各一兩) 濃朴 當歸 桂心(各三兩) 生薑(五兩)
上七味以水八升煮取三升，分三服，二三劑最佳。

治下痢心胸滿不快，腹中雷鳴或嘔吐方：

黃連(五兩) 橘皮 甘草(各二兩) 龍骨 生薑 半夏(各三兩) 人參(一兩) 大棗 (十五枚)
上八味 咀，以水一斗先煮水一大沸，乃納藥，煮取三升，分四服，妊婦服亦良。

斷痢湯

治心胸下伏水方。

半夏(一升) 生薑(五兩) 茯苓 甘草 龍骨(各二兩) 附子(一兩) 人參 黃連(各三兩) 大棗(十二枚)
上九味 咀，以水八升煮取三升，分三服。

瀉心湯

治猝大下痢熱唇乾口燥嘔逆引飲方。

人參 甘草 黃芩 栝蔞根 橘皮(各一兩) 黃連(二兩) 半夏(三兩) 乾薑(一兩半)
上八味 咀，以水六升煮取二升，分三服。(胡洽云治老小利)。

香蘇湯

治下後煩氣暴上方。

生蘇(一把，冬用蘇子三兩) 香豉(五兩)
上二味，以水五升煮取二升，頓服之。

治夏月暴冷忽壯熱泄痢，引飲熱湯，驟變通身浮腫，成冷下結，脈沉細小數方。

澤漆（一兩半）吳茱萸 茯苓 白朮 當歸 犀角 桔梗 青木香 海藻 芍藥 大黃（各
上十一味 咀，以水九升煮取三升，分三服，下後，消息五六日許，可與女曲散。

女曲散

治利後虛腫水腫者，服此藥小便利得止，腫亦消。

女曲（一升）乾薑 細辛 椒目 附子 桂心（各一兩）
上六味治，下篩，酒服方寸匕，不知加至二三匕，日三，產後虛滿者大良。

治猝暴冷下下部疼悶方： 燒磚令熱，大醋沃之，三重布覆，坐上即瘥。

疳濕痢第九

（論二首 方十首）論曰：凡疳濕之病，皆由暑月多食肥濃油膩，取冷眠睡之所得也。禮云：君子盛暑之月，薄滋味、無食肥濃煮餅，此時不利人也。養生者宜深戒之，不爾，多患疳濕耳。

凡所患處，或著口斷咽喉，下部疳與月蝕，並不痛，令人不覺。其治以五月五日蝦蟆、角蒿、救月木、寒食泔澱，但得一事單用之，燒作灰，和臘月豬脂敷之，隨手便瘥，極須慎 口味。凡疳慎鹽醬醋酥油棗等一切皆忌，惟白飯、豉、苜蓿、苦苣、蕪青不在禁限。

凡吹藥入下部，沒中指許深即止。

治疳濕下黑，醫不能治垂死者方：

髑髏灰 熏黃 朱砂 青黛 石鹽 礬石 丁香 麝香 莨菪子 梔子 鐵衣 破故靴底灰 乾薑 細辛 干蝦蟆 菖蒲 葶藶 芥子 土瓜根 蜀椒（各等分）
上二十味治，下篩，以竹筒吹杏仁大、著大孔中，所有患疳瘡上悉敷之，其丁香、麝香 別搗，著藥中合之。

一方有寒食泔澱，救月木、楸葉為二十三味，若病大者，用灌方如下：

麝香 丁香 甘草 犀角（各三分）
上四味治，下篩，和以鹽，蜀椒各三合，豉二合，以水二升煮取一升，去滓，納四味散 合，分作二份，灌大孔，旦一灌，酉一灌之，凡久下一月不瘥。成疳候大孔必寬者，以此主之。

治疳濕久下痢赤白百療不瘥者方：

兔頭骨 蛇頭 荪 子 故緋（並作灰） 狸骨 蜣螂 百草（五月五日收者） 倒掛 草青黛 晚蠶蛾 青礬 丁香 蠍蟲屎 床中桄木 麝香 苦參 黃柏 乾薑 角蒿 朱砂印成鹽 救月木
上二十九味治，下篩，以筒子納下部吹著。日一二度。

治疳濕不能食身重心熱腳冷百節疼痛方：

黃芩 芍藥 苦參 甘草 當歸 蜀椒 甘松(一作甘澱) 青黛 熏黃 豉(各二兩) 東引桃根 蔥白(各一握) 鹽(一合) 麝香(半兩) 豬膽(二枚)
上十五味 咀, 以水一斗八升煮取四升, 分為二份, 一度灌一份, 候湯溫如人體, 然 後著麝香, 豬膽即灌, 灌了作蔥豉粥食之, 後日更將一份如前灌之, 七日忌生冷毒物等, 但 是油膩醬乳醋忌三十日大佳。

治疳蝕人諸處, 但是赤血痢久不瘥, 立著即瘥秘方：

干蝦蟆(五月五日收者一枚 作灰末) 人屎灰(一作髮灰) 金銀土堝(各五兩) 麝 香(一分)
上五味治, 下篩, 敷瘡上即瘥。三七日忌如前, 痢者吹下部。

治疳痢不止方：

苦參 甘草 熏黃(各二兩) 豉(一升半) 蔥白(五莖) 蜀椒(三十粒)
上六味, 以苦參等三物各搗下篩, 以水五升煮蔥白、椒、豉取三升, 以三指撮苦參末等 各一撮納汁中, 候冷暖如人體, 先飲少許豉汁, 食一口飯, 乃側臥徐徐灌之訖, 多時臥不出 為佳。大急, 乃出之於淨地, 當有疳濕蟲如白馬尾狀, 頭黑是其效也。其重者, 肛大難瘥。

當取桃枝綿裹頭, 以前件汁, 適寒溫烙之, 須近脊一上三十度烙之乃瘥神驗。

又方 崔氏曰：晉代之地多五疳, 蝕人五臟, 通見脊骨下膿血, 手足煩疼。四肢無力, 夜臥煩躁不安, 面失血色, 肩胛疼, 面與手足皆有浮氣或下血, 乃死治之之方。

雄黃 青葙(各二兩) 苦參(三兩) 礬石 雌黃 鐵衣 藜蘆(各一兩) 麝香(二分, 另
上八味治, 下篩, 以竹管納大孔中酸棗許, 吹納下部中, 日一, 不過三度, 小兒以大豆 許, 此方極救死。

又方 大麻子 胡麻(各一升半)
上二味並熬, 令黃瓦瓶, 泥表上, 濃一寸, 待泥干, 納大麻等令滿, 以四五枚葦管插 口中, 密泥之, 掘地作灶, 倒立灶口, 底著瓦器承之, 密填灶孔中, 地平聚炭瓶四面, 著墼 壘之, 日沒放火燒至明旦開取, 適寒溫灌疳濕者下部中一合, 尋覺咽中有藥氣為佳, 亦不得過多, 多則傷人, 隔日一灌, 重者再三灌之, 從旦灌至日夕, 極覺體中乏力, 勿怪也。非但

治疳濕, 凡百異同瘡疥癬並洗塗之。

論曰：凡日月蝕時, 忌食飲, 腹中生 蟲, 及房室生子不具足, 必患月蝕瘡, 亦不得與兒

治月蝕惡瘡息肉方：

硫黃 茹 斑蝥(各等分)
上三味治, 下篩, 敷瘡上, 乾者以豬脂和敷之, 日三夜一。

又方 地榆根 薔薇根 吳茱萸根(各三兩)
上三味治, 下篩, 以鹽湯洗瘡敷之, 日三。

八物茜根湯

凡下血者是蟲也, 以此治之(方見後二十六卷蟲毒門)。

小兒痢第十

（方三十六首）

溫中湯

治小兒夏月積冷，洗浴過度，及乳母亦將冷洗浴，以冷乳飲，兒兒壯熱忽值豪雨涼加 之兒，下如水，胃虛弱，則面青肉冷、目陷、乾嘔，宜先與此調其胃氣下即止方。

乾薑 濃朴（各一分） 當歸 桂心 甘草（各三分） 人參 白朮 茯苓 桔梗（各二分）
上九味 咀，以水二升煮取九合，六十日至百日兒一服二合半，餘皆隨兒大小。

溫中大黃湯

治小兒暴冷，水穀下或乳冷下青結不消，或冷實吐下，乾嘔煩悶，及冷滯赤白下者，若已服諸利湯去實，胃中虛冷，下如水，乾嘔、目陷、煩擾不宜利者，可除大黃。若中乳，乳母洗浴水氣未消，飲兒遂為霍亂，宜利者便用大黃，不須利宜溫者除之方。

大黃（六分） 桂心 濃朴 甘草 乾薑（各一分） 人參 白朮 茯苓 當歸（各二分） 桔梗（三分）
上十味，以水二升半煮取八合，凡兒三十日至六十日一服二合，七十日至百日一服二合 半，二百日者服三合。

黃柏湯

治小兒夏月傷暴寒，寒折大熱，熱入胃，下赤白滯如魚腦，壯熱頭痛身熱手足煩，此太陽之氣外傷寒，使熱氣入胃，服此方良。誤以利藥下之，或以溫脾湯下之，則熱痢。以利 藥下之，便數去赤汁如爛肉者；或下之不瘥，複以澀熱之藥斷之，下既不止，倍增壯熱者服之即效。或是溫病熱盛，複遇暴寒折之，熱入腹中，下血如魚腦者，服之良方。

黃柏 黃連 黃芩 升麻 當歸 白頭翁（一作白薇） 牡蠣 石榴皮 寄生 甘草（各二分） 犀角 艾葉（各一分）
上十二味 咀，以水三升煮取一升二合。百日兒至二百一日，一服三合。

治中結陽丸

斷冷滯下，赤白青色如魚腦，脫肛出，積日腹痛，經時不斷者方。

赤石脂（五分） 吳茱萸（三分） 乾薑 附子 當歸 濃朴 白朮 木蘭皮 白頭翁 黃連 黃柏 石榴皮（各一分）
上十二味為末，蜜丸，如大豆，二歲以上服五丸，三歲以上服十丸，十歲以上服二十丸。暴下者服少許便瘥；積下者，盡一劑，更合。

梔子丸

治少小熱痢不止方。

梔子(七枚) 黃柏(三分) 黃連(五分) 礬石(四分) 大棗(四枚, 炙令黑)
上五味為末, 蜜丸, 如小豆大, 服五丸, 日三夜二服, 不知稍加至十丸。

藜蘆丸

治少小泄清痢方。

藜蘆(二分) 黃連(二分) 附子(一分)
上三味為末, 蜜丸, 如麻子, 以粥飲服, 二丸立驗。

四物粱米湯

治少小泄注方。

粱米 黍米 稻米(各三升) 蠟(如彈子大)
上四味, 以水五升東向灶煮粱米三沸, 去滓。複以汁煮稻米三沸, 去滓。複以汁煮黍米 三沸, 去滓。以蠟納汁中和之, 蠟消取飲之, 數試有驗。

龍骨湯

治少小壯熱渴引飲下痢方。

龍骨 甘草 大黃 赤石脂 栝蔞根 石膏 寒水石 桂心(各二兩)
上八味治, 下篩, 以酒、水各五合, 煮散二合二沸, 去滓, 量兒大小服之。

大黃湯

治少小下痢苦熱不食傷飽不乳方。

大黃 麥門冬 甘草(各一兩)
上三味 咀, 以水二升煮取一升, 二三歲兒分三四服。

生金牛黃湯

治小兒積下不止因發癇方。

生金(三銖, 一方用六銖, 無生金熟金亦得) 牛黃(三銖) 麻黃(三分) 黃連 乾薑 人參 甘草(各一分) 細辛(半分)
上八味 咀, 以水一升六合煮取八合, 去滓, 臨服研牛黃以煮湯中, 嫌兒熱者用生薑 代乾薑。今世乏生金, 但用成器金亦善, 二三兩皆得用之。

澤漆茱萸湯

治小兒夏月暴寒, 寒入胃則暴下如水, 四肢被寒所折則壯熱, 經日不除, 經月許變, 通身虛, 滿腹痛, 其脈微細, 服此湯一劑得效後漸安方。

澤漆 青木香 海藻(各二分) 吳茱萸 茯苓 白朮 桔梗 芍藥 當歸(各五分) 大黃(
上十味 咀, 以水四升煮取一升半, 二百日至一歲兒, 一服二合半, 一歲以上至二歲 一服四合

枳實散

治少小久痢淋瀝, 水穀不調, 形羸不堪大湯藥者宜此方。

枳實二兩, 治下篩, 三歲以上服方寸匕。若兒小, 以意斟酌, 日三服。

治少小洞注下痢方：

蒺藜子二升, 搗汁, 溫服, 以瘥為度。

又方 取木瓜汁飲之。

又方 酸石榴燒灰為末, 服半錢匕, 日三。

又方 搗榴汁服之。

又方 炒倉米為末飲服。

又方 狗頭骨燒灰, 水和服之。

又方 羊骨灰 鹿骨灰
上二味並水和服之, 隨得一事即用之。

又方 炒豉令焦, 水淋汁服之、神驗。冷則酒淋服。

又方 五月五日百草末吹下部。

治小兒赤白滯下方：

薤白(一把) 豉(一升)
上二味, 以水三升煮取二升, 分三服。

又方 柏葉 麻子末(各一升)
上二味, 以水五升煮三沸, 百日兒每服三合。

又方 牛角 灰, 水和服三方寸匕, 佳。

又方 燒蜂房灰水和服。

又方 亂髮灰 鹿角灰
上二味等分, 三歲兒以水和服三錢匕, 日三。

治小兒赤白痢方：

白 荷根汁 生地黃汁(各五合
上二味微火煎一沸，服之。

又方 五月五日蝦蟆灰飲服半錢匕。

治小兒熱痢方：

煮木瓜葉飲之。

治小兒冷痢方：

蓼菜搗汁，量兒大小與之。(一方作芥菜。

又方 搗蒜敷兩足下。

治小兒暴痢方：

小鯽魚一頭燒灰服之，亦治大人。

又方 燒鯉魚骨末服之。(一方作龍骨。

又方 赤小豆末酒和塗足下，日三度。油和亦得。

治小兒蟲毒痢方：

藍青汁一升二合，分為四服。

治小兒渴痢方：搗冬瓜汁飲之。

備急千金要方 卷十六 胃腑方

唐 孫思邈

(凡十類)

胃腑脈論第一

(論一首) 論曰：胃腑者，主脾也。口唇者，是其候也。脾合氣於胃，胃者水穀之腑也。號倉庫守內膳吏，重二斤十四兩。迂曲屈伸長二尺六寸，大一尺五寸，徑五寸。受水穀三斗五升。其中當留谷二斗，水一斗五升。廣 大頸張胸，五穀乃容而滿，上焦泄氣出其精微，剽悍滑疾下焦下溉泄諸小腸。此腸胃所受水穀之數也。平人則不然，胃滿則腸虛，腸滿則胃虛，更滿更虛。氣得上下，五臟安定，血脈和利，精神乃居，故神者

水穀精氣也。五臟不足調於胃，故腸胃之中，當留谷二斗四升，水一斗一升，故人一日再至後(《甲乙》作圊)，後二升半，一日中五升，七日五七三斗五升，而留水穀盡。故平人不飲不食七日而死者，水穀精氣津液 皆盡，故七日而死矣。

右手關上陽絕者，無胃脈也。若吞酸頭痛胃中有冷，刺足太陰治陰，在足大趾本節後一寸。

右手關上陽實者，胃實也。若腸中伏伏(一作幅幅)不思食，得食不能消，刺足陽明治 陽，在足上動脈。脈浮而芤，浮則為陽，芤則為陰。浮芤相搏，胃氣生熱，其陽則絕。

趺陽脈浮大者，此胃家微虛煩。圊必日再行，動作頭痛重熱氣朝者屬胃。

胃脈搏堅而長，其色赤，當病折髀。其軟而散者，當病食痺。髀痛病先發於胃，脹滿五日之腎，少腹腰脊痛，脛酸。三日之膀胱，背膂筋痛，小便閉。五日上之心脾，心痛閉塞不通，身痛體重(《靈樞》云：上之心)，三日不已死。冬夜半後，夏日 。

胃病者，腹 脹，胃脘當心而痛，上支兩脅膈咽不通，飲食不下，下取三裡。

飲食不下膈塞不通，邪在胃脘。在上脘則抑而刺之。在下脘則散而去之。

胃脹者，腹滿胃脘痛，鼻聞焦臭，妨於食，大便難。

胃癉令人旦病也，善飢而不能食，食而支滿腹大，刺足陽明太陰，橫脈出血。

胃中有癖食冷物者，痛不能食，食熱則能食，脾前受病移於胃，脾咳不已，嘔吐長蟲。

厥氣客於胃，則夢飲食。

診得胃脈病形何如？曰：胃脈實則脹，虛則泄。脾應肉，肉 堅大者胃濃。肉 么者胃薄。肉 小而么者胃不堅。肉 不稱其身者胃下，胃下者脘約。肉 不堅者胃緩。肉 無 小果累標緊者胃急。肉 多小果累者胃結，胃結者，胃上脘約不利。

扁鵲云：足太陰與陽明為表裡，脾胃若病實，則傷熱，熱則引水漿常渴。虛則傷寒，寒 則苦飢常痛。發於風水，其根在胃，先從四肢起，腹滿大，通身腫。(方見治水篇中。

胃絕不治五日死，何以知之？舌腫，溺血，大便赤泄。

足陽明之脈起於鼻交 中，旁約太陽之脈，下循鼻外入上齒中，還出挾口環唇，下交承 漿，卻循頤後下廉，出大迎，循頰車，上耳前，過客主人，循發際至額顱。其支者，從大迎 前下人迎，循喉嚨，入缺盆，下膈屬胃絡脾。其直者，從缺盆下乳內廉，下挾臍，入氣街中。

其廉，下足跗，入中趾內間。其支者，下膝三寸，而別以下入中趾外間。其支者，別跗上，入大趾間，出其端也。

是動則病洒洒振寒，善伸數欠，顏黑。病至□人與火，聞木音則惕然而驚，心動欲 獨閉 是主血所生病者，狂癉溫淫，汗出鼽衄，口 唇緊，頸腫喉痺，大腹水腫，膝臏腫痛，循膺乳氣街股伏兔 外廉足跗上皆痛，中

趾不用。氣盛則身以前皆熱，其有餘於胃則消穀善 飢，溺色黃，氣不足則身以前皆寒，胃中寒則脹滿。盛者則人迎大三倍於寸口，虛者則人迎反小於寸口也。

胃虛實第二

（脈二首 方三首 灸法一首）胃實熱 右手關上脈陽實者，足陽明經也。病苦頭痛（《脈經》作腹中堅痛而熱），汗不出如溫瘧，唇口乾，善噦，乳癰，缺盆腋下腫痛，名曰胃實熱也。

瀉胃熱湯方

梔子仁 射干 升麻 茯苓（各二兩）芍藥（四兩）白朮（五兩）赤蜜 生地汁（各一升）
上八味 咀，以水七升，煮取一升半，去滓，下地黃汁，煮兩沸，次下蜜，煮取三升，分三服，老少以意加減。

胃中熱病，灸三裡三十壯，穴在膝下三寸。

胃虛冷 右手關上脈陽虛者，足陽明經也。病苦脛寒不得臥，惡風寒洒洒，目急，腹痛虛鳴（《外台》作耳虛鳴），時寒時熱，唇口乾，面目浮腫，名曰胃虛冷也。

補胃湯

治少氣口苦，身體無澤方。

柏子仁 防風 細辛 桂心 橘皮（各二兩）川芎 吳茱萸 人參（各三兩）甘草（一兩）
上九味 咀，以水一斗，煮取三升，分為三服。

人參散

補胃虛寒，身枯絕，諸骨節皆痛方。

人參 甘草 細辛（各六分）麥冬 桂心 當歸（各七分）乾薑（二兩）遠志（一兩）吳茱萸（二分）川椒（三分）
上十味治，下篩，食後，溫酒服方寸匕。

喉嚨論第三

（論一首）論曰：喉嚨者，脾胃之候也。（重十二兩，長一尺二寸，廣二寸。其層圍十二重，應十二時）。主通利水穀之道，往來神氣。若臟熱，喉則腫塞氣不通，烏 膏主之（方見第六卷 中）。

若腑寒，喉則耿耿如物，常欲窒癢痺涎唾。母薑酒主之（方見第六卷中）。熱則開之，寒則通 之，不熱不寒，依臟調之。

反胃第四

（脈二首 方十三首 灸法三首）寸緊尺澀，其人胸滿不能食而吐。吐止者為下之，故不能食。設言未止者，此為胃反，故尺為之微澀。

趺陽脈浮而澀，浮即為虛，澀即傷脾，脾傷即不磨。朝食暮吐，暮食朝吐，宿穀不化，名為胃反。趺陽脈緊而澀，其病難治。

治胃虛反食下喉便吐方：

人參（一兩） 澤瀉 甘草 桂心（各二兩） 橘皮 乾薑（各三兩） 茯苓（四兩） 竹茹（五兩）
上九味 咀，以水八升，煮取三升，一服七合。日三夜一，已利者去大黃。

治胃反吐逆不消，食吐不止方：

人參 桂心 澤瀉（各二兩） 茯苓（四兩） 橘皮 甘草 黃耆（各三兩） 大黃（一兩半） 生薑（八兩） 半夏（一升） 麥冬（三升）
上十一味 咀，以水一斗二升，煮取三升二合，一服八合，日三夜一。羸人六合。已利 去大黃。

治反胃而渴方：

茯苓 澤瀉 半夏（各四兩） 桂心 甘草（各二兩）
上五味 咀，以水五升，煮取二升，分三服。（一方入生薑四兩。

治胃反朝食暮吐，食訖腹中刺痛，此由久冷方：

橘皮（三兩） 甘草 濃朴 茯苓 桂心 細辛 杏仁 竹皮（各二兩） 檳榔（十枚） 前胡（八兩） 人參（一兩） 生薑（五兩）
上十二味 咀，以水一斗三升，煮取三升，分為三服。（一方有甘皮二兩。

又方 橘皮（三兩） 人參 白朮（各二兩） 桂心（一兩） 川椒（一百二十枚） 薤 白（一握
上六味 咀，以水二升漬一宿，納羊肚中縫合，以三升水煮，水盡出之，決破去滓，分三服。

又反胃大驗方：

前胡 生薑（各四兩） 橘皮（三兩） 阿膠（一兩） 大麻仁（五合） 桂心（三寸） 甘草（五寸） 吳茱萸（四合） 大棗（十枚）
上九味 咀，以水三升，酒二升，煮取一升七合，分三服。

華佗治胃反為病，朝食暮吐，心下堅如杯升，往來寒熱，吐逆不下食，此為關上寒 所作，將成肺痿，治之之方：

真珠 丹砂 雄黃（各三兩） 朴硝（五兩） 乾薑（十累）
上五味為末，蜜和丸如梧子大。先食服三丸。若小煩者，飲水自解，然無所忌。神良無 比。（一方用桂心一兩。

治胃反食即吐方：

搗粟米作面，水和作丸楮子大七枚，爛煮，納醋中，細細吞之，即下便已。面亦得用之

大半夏湯

治胃反不受食，食已即嘔吐方。

半夏（三升） 白朮 白蜜（各一升） 人參（二兩） 生薑（三兩）
上五味 咀，用水五升，和蜜揚之二三百下，煮取一升半，分三服。

治胃反食即吐出，上氣方：

蘆根 茅根（各二兩，切細）
上二味以水四升，煮取二升，頓服之。得下，良。

又方 飲白馬尿即止。

又方 燒雞 灰，酒服。男雄女雌。

又方 淘小芥子曝乾為末，酒服方寸匕，日三。

灸法

灸兩乳下各一寸，以痩為度。

又臍上一寸，灸二十壯。

又灸內踝下三趾稍斜向前有穴三壯（《外台秘要》云：三趾作一趾也）。

治醋咽方：

曲末（一斤） 地黃（三斤）
上二味合搗日乾，酒服三方寸匕，日三。

治噫醋咽方：

吳茱萸（半斤） 生薑（三兩） 人參（二兩） 大棗（十二枚）
上四味 咀，以水六升，煮取二升，先食服一升，日再。

治中散

食後吐酸水方。

乾薑 食茱萸（各二兩）
上二味治，下篩，酒服方寸匕，日二。胃冷服之驗。

嘔吐噦逆第五

（論一首 脈一首 方二十四首）（灸法十五首）夫吐家，脈來形狀如新臥起，陽緊陰數。其人食已即吐，陽浮而數亦為吐。寸口脈緊而 芤，緊即為寒，芤即為虛，寒虛相搏，脈為陰結而遲，其人即噎。關上數，其人則吐。趺陽脈微而澀，微即下利，澀即吐逆，穀不得入。趺陽脈浮者，胃氣虛也。寒氣在上，憂氣在下，二氣並爭，但出不入，其人即嘔而不能食，恐怖如死，寬緩即瘥。嘔而脈弱，小便複利，身有微熱，見厥難治。

論曰：凡服湯嘔逆不入腹者，先以甘草三兩，水三升煮取二升，服之，得吐。但服之不吐，益佳。消息定，然後服餘湯，即流利更不吐也。凡嘔者多食生薑，此是嘔家聖藥。

半夏湯

治逆氣心中煩悶，氣滿嘔吐氣上方（一名小茯苓湯）。

半夏（一升） 生薑（一斤） 茯苓 桂心（各五兩）
上四味 咀，以水八升，煮取二升半，分三服。若少氣加甘草二兩。

小半夏加茯苓湯

治諸嘔噦，心下堅痞，膈間有水痰，眩悸（方見後十八卷，大腸腑痰

前胡湯

治寒熱嘔逆少氣，心下堅聚膨 滿不得食，寒熱消渴補不足方。

前胡 生薑（各二兩） 甘草 朴硝（湯成下） 大黃（別浸，各三兩） 茯苓 半夏 麥 冬 當
上十六味 咀，以水一斗二升，煮取六升，分四服。

治嘔吐，四肢痺冷，上氣腹熱，三焦不調方：

前胡 川芎 甘草 當歸 石膏 人參 桂心 橘皮（各二兩） 芍藥（三兩） 半夏 （四兩） 生薑（五兩） 大棗（三十枚）
上十二味 咀，以水一斗三升，下黃芩三兩合煮，取三升，分三服。（一方不用黃芩。

小麥湯

治嘔吐不止方。

小麥（一升） 人參 濃朴（各四兩） 茯苓（三兩） 甘草（一兩） 青竹茹（二兩） 薑汁（三合）
上七味 咀，以水八升，煮取三升，去滓，分三服。

豬苓散

治嘔而膈上寒方。

豬苓 茯苓 白朮(各三兩)
上三味治下篩，以飲服方寸匕，日三。渴者多飲水。

犀角人參飲子

治嘔逆胃氣虛邪，風熱，不下食並皆治之方。

犀角 人參(各三兩) 薤白(五兩) 粟米(一合)
上四味 咀，以水五升，煮至二升下米，煮令米熟，分四服，相去人行七裡久，進一服。

治嘔噦方：

人參(一兩) 大麻子(八合，一作胡麻仁) 橘皮(一分) 枇杷葉(八兩)
上四味 咀，以水一斗煮枇杷葉，取五升下藥，煮取三升納麻仁，稍飲之。

治氣厥嘔噦不得息方：

豉(一升) 半夏(八兩) 生薑(二兩) 人參 前胡 桂心 甘草(各一兩)
上七味 咀，以水九升，煮取三升，分為三服。

又方 豉(一升) 橘皮(二兩) 生薑 甘草(各一兩) 附子(一枚) 大棗(十五枚)
上六味 咀，以水九升，煮取三升，分為三服，日三。

橘皮湯

治乾嘔噦若手足厥冷者方。

橘皮(四兩) 生薑(半斤)
上二味 咀，以水七升，煮取三升，分三服，不止，更合服之。

半夏乾薑散

治乾嘔吐逆，吐涎沫者方。

半夏 乾薑(等分)
上二味為散，取方寸匕，漿水一升半，煮取七合，頓溫服之，日三。

大黃甘草湯

治食已即吐方。

大黃(四兩) 甘草(二兩)
上二味 咀，以水三升，煮取一升半，分再服。

治春夏時行傷寒，寒傷於胃，胃冷變 方：

橘皮 桂心 葛根(各二兩) 白茅根(一升)
上四味 咀, 以水六升, 煮取三升, 分三服, 數進, 服盡更合。有熱去桂。

治傷寒後噦, 乾嘔, 不下食方：

生蘆根 青竹茹(各一升)粳米(三合) 生薑(一兩)
上四味 咀, 以水五升, 煮取二升, 分三服。不止, 服三劑。

又方 蘆根(切一升) 橘皮 通草(各三兩) 粳米(三合)
上四味 咀, 以水四升, 煮取一升半, 分三服。

治病患乾嘔方：

取羊乳汁, 飲一杯。

治噦方：

煮豉三升, 飲汁佳。

又方 空腹服薑汁一升。

又方 煮蘆根濃汁, 飲之。

治惡心方：

苦瓠穰並子一升碎, 以酒水三升, 煮取一升, 頓服。須臾吐, 並下如蝦蟆衣三升。

又方 服童子小便百日, 佳。

又方 麻子一升, 熬令香熟, 搗, 取酒三升, 熟研, 濾取一升, 飲盡, 日二服。服盡 一石瘥。

治食飲輒吐方：

頓服生熟湯三升, 即止。

灸法

乾嘔不止, 粥食湯藥皆吐, 灸手間使三十壯。若四厥, 脈沉絕不至者, 灸之便通 病患乾嘔, 灸心主尺澤佳。

又法, 灸乳下一寸, 三十壯。

治噦, 灸承漿七壯, 灶如麥大。

又灸臍下四指七壯。

吐逆嘔不得食, 灸心俞百壯。

吐嘔逆不得下食，今日食明日吐者，灸膈俞百壯。

吐變不得下食，灸胸堂百壯。

吐逆不得食，灸巨闕五十壯。

吐逆食不止，灸胃脘百壯，三報。

吐逆飲食卻出，灸脾募百壯，三報（章門穴也）。吐嘔宿汁吞酸，灸神光一名膽募百壯，三吐逆霍亂吐血，灸心主五十壯。噫噦膈中氣閉塞，灸腋下，聚毛下，附肋宛，宛中五十壯。

噫噦嘔逆，灸石關百壯。

噎塞第六

（論一首 方三十五首）

五噎丸

治胸中久寒嘔逆逆氣，飲食不下，結氣不消方（《古今錄驗》云：五噎者，氣噎、憂噎、勞噎、食噎、思噎。氣噎者，心悸，上下不通，噫噦不徹，胸脅苦痛。憂噎者，天陰苦厥逆，心下悸動，手足逆冷。勞噎者，苦氣膈，脅下支滿，胸中填塞，手足逆冷，不能自溫。食噎 者恚嗔怒，寒氣上入胸脅所致也。）乾薑 川椒 食茱萸 桂心 人參（各五分） 細辛 白朮 茯苓 附子（各四分） 橘皮（六
上十味為末，蜜丸如梧子大，酒服三丸，日三。不止，稍加至十丸。

又方 治五種之氣皆令人噎方。

人參 半夏 桂心 防風（一作防葵） 小草 附子 細辛 甘草（各二兩） 紫菀 乾薑 食茱萸 芍藥 烏頭（各六分） 枳實（三兩）
上十四味為末，蜜丸如梧子大，酒服五丸，日三。不止，加至十五丸。烏頭與半夏相反，但去一味合之。

竹皮湯

治噎聲不出方。

竹皮（一用竹葉） 細辛（各二兩） 甘草 生薑 通草 人參 茯苓 桂心 麻黃 五味子（各一兩）
上十味 咀，以水一斗，煮竹皮減二升，去竹皮下藥，煮取三升，分三服。

乾薑湯

治飲食輒噎方（《集驗》名半夏湯）。

乾薑 石膏（各四兩） 人參 桂心 栝蔞根（《集驗》作桔梗各二兩） 甘草（一兩）半夏小麥（各一升） 吳茱萸（二升） 赤小豆（三十粒）
上十味 咀，以酒五升，水一斗，煮棗二十枚，去滓合煮，取三升，分三服。

通氣湯

治胸滿氣噎方。

半夏（八兩） 生薑（六兩） 桂心（三兩） 大棗（三十枚）
上四味 咀，以水八升，煮取三升，分五服，日三，夜二。

羚羊角湯

治氣噎不通，不得食方。

羚羊角 通草 橘皮（各二兩） 吳茱萸 濃朴 乾薑（各三兩） 烏頭（五枚）
上七味 咀，以水九升，煮取三升，分三服，日三。

又方 杏仁 桂心（各三兩）
上二味為末，蜜丸如棗大，稍稍咽之。臨食先含彌佳。

治卒噎方：

滿口著蜜食之即下。

又方 刮舂杵頭細糠，含之即下，神驗。

治諸噎方：

常食干粳米飯即不噎。

又方 末火炭蜜丸如彈子大，含，少少咽即下。

又方 老牛涎如棗核大，納水中飲之，終身不複噎。

論曰：凡療病者，皆以其類。至如治 之法，豈宜以鷙 治骨，狸虎治魚 ？至於竹篾

治諸 方：

以鹿筋漬令濡，合而索之，大如彈丸，以線系，持筋端吞之入喉，推至 處，徐徐引之，著筋出。

又方 以竹篾刮令滑淨綿裹，納咽中，令至 處，可進退引之， 即隨出。

又方 用綿二兩，以蜜煎使熱，外敷 所在處，灼瓠以熨綿上。若故未出，複煮一段綿代用，並以皂莢屑少少吹鼻中，使得噦 出。

又方 薤白，煮令半熟，小嚼之。以線系薤中央，捉線吞薤下喉至 處牽引， 即出矣

治 咽方：

虎骨末或狸骨，服方寸匕

又方 服瞿麥末方寸匕。

治魚骨 方：

鷓 屎，服方寸匕。

又方 服橘皮湯。

又方 服沙糖水。

又方 魚網燒灰，服方寸匕。(《必效方》云：取魚網覆頭，立下)。

治骨鯁在喉，眾治不出方：

取飴糖，丸如雞子黃大，吞之，不去更吞。漸大作丸，可至十丸。

又方 燒虎野狼屎服之。

又方 吞豬膏如雞子，不瘥更吞。

治食中吞發，咽不去繞喉方：

取亂髮燒灰，酒服一錢匕。

治吞錢方：

艾蒿五兩，以水五升，煮取一升，頓服即下。

又方 服蜜二升即出。

又方 末火炭，酒服方寸匕，水服亦得。

治吞金銀釵環方：

白糖二斤，一頓漸漸食之，多食亦佳。

誤吞環及指 方：

燒雁毛二七枚末，服之。鵝羽亦得。

誤吞釵方：

曝韭令萎，蒸熟勿切，食一束即出。或生麥葉筋縷如韭法，皆可用，但力意多食自消。

誤吞銅鐵方：

燒銅弩牙令赤，納酒中，飲之立愈。

誤吞釘針及箭鏃方：

但多食豬脂肥肉令飽，自裹出。

誤吞針方：

取懸針磁石末，飲服方寸匕即下（《古今錄驗》云：吞針在喉中，而服磁末入腹。若含 磁石於口中，吸針而出）。

脹滿第七

（論一首 方八首 灸法十一首）論曰：病者腹滿，按而不痛者為虛，按之痛者為實也。夫腹中滿不減，減不足言，此當 下之。舌黃，未下者下之，黃自去。腹滿時減複如故，此為寒，當得溫藥。腹滿口中苦乾燥，腹趺陽脈微弦，法當腹滿不滿者，必下部閉塞，大便難，兩 下疼痛，此虛寒氣從下上也。當以溫藥服之，取瘥。腹滿轉痛來趨小腹，為欲自下利也（一云：腹中痛，若轉氣下趨小腹，為欲自利）。

溫胃湯

治胃氣不平，時脹咳，不能食方。

附子 當歸 濃朴 人參 橘皮 芍藥 甘草（各一兩） 乾薑（五分） 川椒（三合）
上九味 咀，以水九升，煮取三升，分三服。

大半夏湯

治胃中虛冷，腹滿塞下氣方。

半夏（一升） 大棗（二十枚） 甘草 附子 當歸 人參 濃朴 茯苓 枳實（各二兩） 桂心
上十二味 咀，以水一斗，煮取三升，分二服。

附子粳米湯

治腹中寒氣脹滿，腸鳴切痛，胸脅逆滿嘔吐方。

附子（一枚） 半夏 粳米（各半升） 甘草（一兩） 大棗（十枚）
上五味 咀，以水八升煮米，熟去滓，每服一升，日三服（《集驗方》加乾薑二兩）。

濃朴三物湯

治腹滿發熱數十日，脈浮而數，飲食如故方。

濃朴（半斤） 大黃（四兩） 陳枳實（大者五枚）
上三味 咀，以水一斗二升，煮取五升納大黃，煎取三升，去滓，服一升。腹中轉動 者勿服，不動者更服。一方加芒硝二兩。

濃朴七物湯

治腹滿氣脹方。

濃朴(半斤) 甘草 大黃(各三兩) 大棗(十枚) 枳實(五枚) 桂心(二兩) 生薑(五兩)
上七味 咀, 以水一斗, 煮取五升, 去滓, 納大黃, 煮取四升, 服八合, 日三。嘔逆 者加半夏五合。利者去大黃。寒多者加生薑至半斤。

吳茱萸湯

治久寒胸脅逆滿, 不得食方。

吳茱萸 半夏 小麥(各一升) 甘草 人參 桂心(各二兩) 生薑(八兩) 大棗(二十枚)
上八味 咀, 以酒五升, 水三升, 煮取三升, 分三服。

大桂湯

治虛羸胸膈滿方。

桂心 生薑(各一斤) 半夏(一升) 黃耆 (四兩)
上四味 咀, 以水一斗半, 煮取五升, 分五服, 日三夜二。

治男子卒勞內傷, 汗出中風, 腹脹大, 飢食不下, 心痛, 小便赤黃時白, 大便不利方：

大黃 葶藶 寒水石 苦參 黃連 栝蔞根(等分)
上六味為末蜜丸, 以豉汁和飲服, 如梧子大二丸, 日三, 加至十丸。

灸法

臚脹脅腹滿, 灸膈俞百壯, 三報。

胸滿心腹積聚痞痛, 灸肝俞百壯, 三報。

脹滿水腫, 灸脾俞隨年壯, 三報。

腹中氣脹引脊痛, 多飲食, 身羸瘦, 名曰食晦, 先取脾俞, 後取季脅。

臟腑積聚脹滿, 羸瘦不能飲食, 灸三焦俞, 隨年壯。

脹滿雷鳴, 灸大腸俞百壯, 三報。

脹滿氣聚寒冷, 灸胃脘百壯, 三報。穴在鳩尾下三寸。

腹滿脹繞臍結痛, 堅不能食, 灸中守百壯。穴在臍上一寸。一名水分。

脹滿癖聚滯下痛冷, 灸氣海百壯。穴在臍下一寸。忌不可針。

脹滿氣如水腫狀，小腹堅如石，灸膀胱募百壯。穴在中極臍下四寸。

脹滿腎冷瘕積泄利，灸天樞百壯。穴在臍旁相對，橫去臍兩旁各二寸。

痼冷積熱第八

（論一首 脈一條 方二十首 灸法一首 附寒疝骨蒸）論曰：凡人中寒者喜欠，其人清涕出。發熱色和者善噦，凡瞻病者，未脈望之，口燥清 涕出善噦欠。此人中寒，其人下痢，以裡虛故也。欲噦不能，此人腹中痛。凡寒脈沉弦，脈 雙弦者寒也。弦脈狀如張弓弦，按之不移。脈弦數者，當下其寒。脈雙弦而遲者，心下堅。

脈大而緊者，陽中有陰可下之。右手寸口脈弦者，即脅下拘急而痛，其人澀澀惡寒。師曰：

遲者為寒，澀為無血。寸口脈微，尺中緊而澀。緊即為寒，微即為虛，澀即為血不足，故知發汗而複下之。（大露宿丸主寒冷百病方，在第十七卷中）。

露宿丸

主寒冷積聚方。

石 桂心 附子 乾薑（各二兩）
上四味為末，蜜丸如梧子大，每服十丸，日三。後稍加之。

又方 治遇冷氣，心下結緊嘔逆，寒食不消，並主傷寒，晨夜觸寒冷惡氣方。

石 桂心 附子 烏頭（各四兩）
上四味為末，蜜丸如胡豆大，以酒服三丸，日三，加至十丸。藥耐寒，忌熱食，近火。

宜冷凍飲料食。

大露宿丸

（方見第十七卷肺臟氣極門）。

治痼冷風，眩，寒中，手足冷，胃口寒，臍下冷，百病，五勞七傷。第一令人能食，二強盛，三益氣，四有子神驗方：

大豆（三升半） 生地（十五斤取汁） 烏頭（一百五十枚）
上三味，以除日 咀烏頭，以酒一斗半，和生地汁浸烏頭至破日絞去滓，納豆藥汁中，至除日出曝之，有汁更浸曝之，至汁盡藥成。初服從二豆起，可至二十豆，酒服之。有病空 腹服，無病食後服，四時合，並得二月三月為上時，藥令人能食，益氣，強盛，有子，髮白 反黑，齒落重生，先病熱人不可服。

治心腹痼冷，百治不瘥方：曲末（三升） 白朮（五兩） 乾薑 桂心（各三兩） 川 椒吳茱萸
上六味治，下篩，以米飲服方寸匕，日二。不過五劑，諸冷頓瘥，無忌，空腹服之。

治積年冷病方：川椒（二兩） 香豉（一升）
上二味，搗椒為末，和豉更搗三千杵，丸如彈丸大，食前酒服七丸，日再。

治諸冷極，醫所不治方：

馬藺子九升，淨治去土，空腹服一合，日三。飲及酒下之，服訖須臾以食壓之，取瘥乃 止。

赤丸

治寒氣厥逆方。

茯苓 桂心（各四兩） 細辛（一兩） 烏頭 附子（各二兩） 射罔（如棗大一枚）
上六味為末，納真珠為色，蜜丸如麻子，空腹酒服一丸，日再夜一。不知，加至二丸，以知為度。（一方用半夏四兩而不用桂。）

半夏湯

治胸滿有氣心腹中冷方。

半夏（一升） 桂心（四兩） 生薑（八兩）
上三味 咀，以水七升，煮取二升，一服七合，日三服。

生薑湯

溫中下氣方。

生薑（一斤） 甘草（三兩） 桂心（四兩）
上三味 咀，以水六升，煮取一升半，一服五合，日三服。

甘草湯

治虛羸 氣欲絕方。

甘草 五味子 生薑（各二兩） 人參（一兩） 吳茱萸（一升）
上五味 咀，以水四升，煮茱萸令小沸，去滓納藥，煮取一升六合，分二服，服數劑

茱萸硝石湯

治久寒不欲飲食數十年 飲方。

吳茱萸（八合） 硝石（一升） 生薑（一斤）
上三味，以酒一斗水解令得二斗，煮藥，取四升，服二升，病即下，去勿更服也。初下如泔，後如污泥。若如沫滓，吐者，更可服。養如乳婦法。

大建中湯

治心胸中大寒大痛，嘔不能飲食，飲食下咽自知偏從一面，下流有聲，決決然。若腹中寒氣上沖皮起，出見有頭足上下而痛，其頭不可觸近方。

川椒(二合) 乾薑(四兩) 人參(二兩) 膠飴(一升)
上四味 咀, 以水四升, 煮取二升, 去滓, 納飴, 微火煮令得一升半, 分三服。服湯 如一炊頃, 可飲粥二升許, 更服, 當一日食糜, 更服之。

大黃附子湯

治脅下偏痛發熱, 其脈緊弦, 此寒也。當以溫藥下之之方。

大黃(三兩) 附子(三枚) 細辛(二兩)
上三味 咀, 以水五升, 煮取二升, 分再服。

論曰：寸口脈弦而緊, 弦則衛氣不行, 衛氣不行即惡寒。緊則不欲飲食, 弦緊相搏即為寒疝。趺陽脈浮而遲, 浮即為風虛, 遲即為寒疝。凡瘦人繞臍痛必有風冷, 穀氣不行而反下之, 其氣必沖。不沖者, 心下則痞。

大烏頭湯

主寒疝繞臍苦痛發即自汗出, 手足厥寒, 其脈沉弦者方(仲景名二物烏頭煎)。烏頭大者五枚熬黑不切, 以水三升, 煎取一升, 去滓納白蜜二斤, 煎令水氣盡得二升, 強人服七合, 羸人五合。一服未效, 明日更服, 每日只一服, 不可再也。

烏頭桂枝湯

治寒疝腹中痛逆冷, 手足不仁, 若一身盡痛, 灸刺諸藥不能治方。

秋干烏頭(實中者五枚除去角) 白蜜(一斤)
上二味以蜜煎烏頭, 減半去滓, 以桂枝湯五合解之, 令得一升許, 初服二合, 不知, 更 進三合, 複不知, 加至五合。其知者, 如醉狀, 得吐者, 為中病也。

桂枝湯方見傷寒門中(《外台》方以水二升半煮桂, 提取一升和蜜合煎一升許, 服)。

論曰：凡人患大熱皆須候脈, 若大大熱者, 不得一準方用藥, 皆準病用藥。大熱不可那 者, 當兩倍三倍。大大熱者, 乃至十倍用之, 乃可製之爾。有人苦熱不已, 皆由服石所致。

種種服餌不能製止, 惟朴硝煎可以定之。(武德中有貴高人師市奴謂之金石凌非也, 此方直 用二硝寒水石、石膏可也, 即不勞金) 有金者, 貴高人所加也。

朴硝煎方

朴硝(一斤) 芒硝(半斤) 石膏 金(各二兩) 寒水石(四兩, 如無石鹽代之)
上五味先納二硝於八升湯中攪令消, 以紙密封一宿, 取清納銅器中, 別搗寒水石、石膏, 碎如豆粒, 以絹袋盛之, 納汁中, 以微火煎, 候其上有沫起, 以箸投中。著箸如凌雪凝白 急下瀉貯盆中, 待凝取出, 烈日曝乾。積熱困悶不已者, 以方寸匕, 白蜜一合和冷水五合, 攪和令消, 頓服之, 日三, 熱定即止之。

五石湯

治胃間熱，熱病後不除，煩悶，口中乾渴方。

寒水石 硝石 赤石脂 栝蔞根 龍骨 牡蠣 黃芩 甘草(各五分) 知母 石膏 桂心
上十二味 咀，以水七升，煮取三升，分四服，日三夜一(諸本只有四石)。

竹葉湯

治五心熱，手足煩疼，口乾唇燥，胸中熱方。

竹葉 小麥(各一升) 知母 石膏(各三兩) 茯苓 黃芩 麥冬(各二兩) 人參 (一兩半) 栝蔞根 半夏 甘草(各一兩) 生薑(五兩)
上十二味 咀，以水一斗二升，煮竹葉、小麥，取八升，去滓納藥，煮取三升，分三服，老少分五服。

半夏湯

治胸中客熱，心一下煩滿氣上，大小便難方。

半夏(一升) 生薑(八兩) 前胡(四兩) 茯苓 白朮(各五兩) 杏仁 枳實(各三兩) 人參 黃芩(各二兩) 甘草(一兩)
上十味 咀，以水九升，煮取三升，分三服。胸中大熱者，沉冷服之。大小便澀者，加 大黃三兩。一方用梔子仁二兩，為十一味。

承氣湯

治氣結胸中，熱在胃脘，飲食嘔逆渴方。

前胡 枳實 桂心 大黃 寒水石 知母 甘草(各一兩) 硝石 栝蔞根 石膏(各二兩)
上十味 咀，以水一斗，煮取三升，分三服。

治熱氣手足心煩熱如火方：

竹葉(二升) 枳實(三兩) 青葙子 白前(各一兩) 吳茱萸 黃芩(各二分) 栝 蔞根 麥冬(各二兩) 生薑(六兩) 前胡(一作芍藥) 半夏(各五兩)
上十一味 咀，以水八升，煮取二升，分三服。

地黃煎

治熱方。

地黃汁(四升三合) 茯神 知母 葳蕤(各四兩) 栝蔞根(五兩) 竹瀝(三合，一用竹 葉) 薑汁 白蜜 麥冬汁 鮮骨皮(各二升) 石膏(八兩)
上十一味 咀，以水一斗二升，先煮諸藥，取汁三升，去滓，下竹瀝、地黃、麥冬汁，微火煎四五沸，下蜜、薑汁，微火煎，取六升，初服四合，日三夜一。加至六七合。四月 五月作

治積熱方：

枳實 黃芩 大黃 黃連 芒硝(各二兩)
上五味為末，蜜丸如梧子大，空心酒服三十丸，加至四十丸，日一服。

治膈上熱方：

苦參(十兩) 元參(五兩) 麥冬(三兩) 車前子(二兩)
上四味末，蜜丸如梧子大，一服十五丸，日二服。

細丸

治客熱結塞不流利方。

大黃 葶藶(各三兩) 香豉(三合) 杏仁 巴豆(各三分)。

上五味為末，蜜丸如梧子大，每日飲服二丸，以利為度。

治骨蒸羸瘦，煩悶短氣，喘息鼻張，日西即發方：

龍膽 川連 栝蔞根(各四分) 芒硝(二分) 梔子(十枚) 苦參 大黃 黃芩 芍藥 青葙子(各二兩)
上十味為末，蜜丸如梧子大，飲服二丸，日二，以知為度。(一方無苦參以下，只五味) (張

治骨蒸方：

天靈蓋如梳大，炙令黃碎，以水五升，煮取二升，分三服。起死人神方。

又方 水服芒硝一方寸匕，日二服，神良。

備急千金要方 卷十七肺臟方

唐 孫思邈

(凡八類)

肺臟脈論第一

(論一首) 論曰：肺主魄，魄臟者任物之精也。為上將軍使在上行，所以肺為五臟之華蓋，並精出 入謂之魄，魄者肺之藏也。鼻者肺之官，肺氣通於鼻，鼻和則能知香臭矣。循環紫宮上出於頰，候於鼻下，回肺中榮華於發。外主氣，內主胸，與乳相當。左乳庚，右乳辛。肺重三斤三兩，六葉兩耳。凡八葉，有十四童子七

女子守之，神名鳥鴻。主藏魄，號為魄臟，隨節應會。故云：肺藏氣，氣舍魄。在氣為咳，在液為涕。肺氣虛則鼻息利少，氣實則喘喝胸憑仰息。肺氣虛而夢見白物，見人斬血藉藉得其時則夢見兵戰。肺氣盛則夢恐懼哭泣。厥氣客於肺，則夢飛揚見金鐵之器及奇物。

凡肺臟象金，與大腸合為腑，其經手太陰與陽明為表裡。其脈浮，相於季夏，旺於秋，秋時萬物之所終，宿葉落柯，萎萎枝條。其□然獨在，其脈為微浮，衛氣遲，營氣數，數則在上，遲則在下，故名曰毛。陽當陷而不陷，陰當升而不升，為邪所中。（二氣感激，故為風寒所中。）陽中邪則卷，陰中邪則緊。卷則惡寒，緊則為 。寒 相搏，故名曰癆。

弱則發熱浮乃來出旦中旦發，暮中暮發。臟有遠近，脈有遲疾，周有度數，行有漏刻。遲在上傷毛采，數在下傷下焦。中焦有惡則見，有善則匿。陽氣下陷，陰氣則溫，陽反在下，陰反在巔，故名秋脈如浮，秋脈肺也，西方金也，萬物之所以收成也。故其氣來輕虛而浮，來急去散，故曰浮。反此者病，何如而反？其氣來毛而中央堅，兩旁虛，此謂太過病在外。其氣來毛而微，此謂不及，病在中。太過則令人氣逆而背痛，愠愠然。不及則令人喘呼吸，少氣而咳，上氣見血，下聞病音。

肺脈來，厭厭聶聶如落榆莢，曰肺平。秋以胃氣為本，肺脈來，不上不下如循雞羽，曰肺病。（《巢源》無不字。）肺脈來，如物之浮，如風吹毛，曰肺死。

真肺脈至大而虛，如以毛羽中人，膚色白赤不澤，毛折乃死。秋胃微毛曰平，毛多胃少曰肺病，但毛無胃曰死。毛而有弦曰春病，弦甚曰今病。

肺藏氣，氣舍魄。喜樂無極則傷魄，魄傷則狂，狂者意不存。人皮革焦毛悴色夭，死於夏。

手太陰氣絕，則皮毛焦。太陰者，行氣溫皮毛者也。氣弗營則皮毛焦；皮毛焦則津液去也。

肺死臟浮之虛，按之弱如蔥葉下無根者死。秋金肺旺，其脈微澀而短曰平。反得大而緩者，是脾之乘肺。母之歸子為虛邪，雖病易治。反得沉濡而滑者，是腎之乘肺，子之乘母為實邪，雖病自愈。反得浮大而洪者，是心之乘肺，火之克金為賊邪，大逆，十死不治。反得弦細而長者，是肝之乘肺。木之凌金為微邪，雖病即瘥，肝乘肺必作虛。

右手關前寸口陰絕者，無肺脈也。苦短氣咳逆，喉中塞噫逆，刺手陽明，治陽。

右手關前寸口陰實者，肺實也。苦少氣胸中滿膨膨與肩相引，刺手太陰，治陰。

肺脈來，泛泛輕如微風吹鳥背上毛，再至曰平，三至曰離經病，四至脫精，五至死，六至命盡，手太陰脈也。

肺脈，急甚為癲疾，微急為肺寒。熱怠惰咳唾血，引腰背胸。若鼻息肉不通，緩甚為多汗，微緩為痿漏風（一作偏風），頭以下汗出不可止。大甚為脛腫，微大為肺痺，引胸背起腰內，小甚為飧泄，微小為消癉。滑甚為息賁上氣，微滑為上下出血。澀甚為嘔血，微澀為鼠，在頸肢腋之間。下不勝其上，其能喜酸。

肺脈，搏堅而長當病唾血，其濡而散者當病漏（一作灌），汗至今不複散發。

白脈之至也，喘而浮，上虛下實，驚有積氣在胸中。喘而虛名曰肺痺寒熱，得之醉而使內也。

黃帝問曰：經脈十二，而手太陰之脈，獨動不休何也（手太陰本在寸口中。） 岐伯對曰：足陽明，胃脈也，胃者五臟六腑之海（胃脈在足趺上大趾間上行三寸，骨解 中是也，）其精氣上清注於肺，肺氣從太陰而行之，其行之也，以息往來，故人一呼脈再動，一吸脈亦再動，呼吸不已，脈動不止。

黃帝問曰：氣口何以獨為五臟主？岐伯對曰：胃者水穀之海，六腑胃居其大，五味入於口藏於胃，以養五臟氣。氣口者太陰是也。臟腑之氣味，皆出於胃，變見於氣口。氣口屬腑臟主，即呼寸口者也。

扁鵲曰：肺有病則鼻口張，實熱則喘逆胸憑仰息，其陽氣壯則夢恐懼等。虛寒則咳息下利少氣，其陰氣壯則夢涉水等。肺在聲為哭，在變動為咳，在志為憂。憂傷肺，精氣並於肺則悲也。

味主秋結滿而血者病在胸，及以飲食不節得病者取之合，故命曰味主合。

病先發於肺喘咳，三日之肝脅痛支滿；一日之脾閉塞不通身痛體重；五日之胃腹脹，十日不已死。冬日入，夏日出。

病在肺，下晡慧，日中甚，夜半靜。

假令肺病南行，若食馬肉及獐肉得之。不者當以夏時發，得病以丙丁日也，宜赤藥。

凡肺病之狀，必喘咳逆氣，肩息背痛，汗出，尻陰股膝攣，髀 足皆痛。虛則少氣不能報息，耳聾咽乾，取其經手太陰足太陽之外厥陰內少陰血者。

肺脈，沉之而數，浮之而喘。苦淅淅寒熱，腹滿腸中熱，小便赤，肩背痛，從腰以上汗出，得之房內汗出當風。

肺病其色白，身體但寒無熱，時時咳，其脈微遲為可治，宜服五味子大補肺湯、瀉肺散。春當刺少商，夏刺魚際，皆瀉之。季夏刺太淵，秋刺經渠，冬刺尺澤，皆補之。又當灸膻 中百壯，背第三椎二十五壯。

邪在肺，則皮膚痛發寒熱上氣，氣喘汗出，咳動肩背，取之膺中外俞背第三椎之旁，以手重按之快，然乃刺之，取之缺盆中以越之。

形寒寒飲則傷肺，以其兩寒相感，中外皆傷，故氣逆而上行。肺氣傷，其人勞倦則咳唾 血，其脈細緊浮數皆吐血，此為躁擾嗔怒得之，肺傷氣壅所致也。

肺中風者，口燥而喘，身運而重，冒而腫脹。

肺中寒者，其人吐濁涕。

肺水者，其人身體腫而小便難，時時大便如鴨溏。

肺脹者，虛而滿喘咳，目如脫狀，其脈浮大。

趺陽脈浮緩，少陽脈微緊。微為血虛，緊為微寒，此為鼠乳。

診得肺積脈浮，而手按之辟易，脅下時時痛逆背相引痛，少氣善忘，目瞑結癰皮膚寒，秋愈夏劇。主皮中時痛，如虱緣之狀，甚者如針刺之狀，時癢，色白也。

肺之積名曰息賁，在右脅下，覆大如杯，久久不愈。病洒洒寒熱氣逆喘咳，發肺癰，以春甲乙日得之，何也？心病傳肺，肺當傳肝，肝適以春旺，旺者不受邪。肺複欲還心，心不肯受，因留結為積，故知息賁以春得之。

肺病，身當有熱咳嗽短氣，唾出膿血，其脈當短澀。今反浮大，其色當白而反赤者，此是火之克金，為大逆，十死不治。

商音，人者，主肺聲也。肺聲哭，其音磬，其志樂，其經手太陰。厥逆陽明，則營衛不通，陰陽反祚。陽氣內擊，陰氣外傷，傷則寒，寒則虛，虛則厲風。所中，噓吸戰掉，語聲 嘶塞而散。下氣息短憊四肢僻弱，面色青葩遺矢便利甚則不可治。依源麻黃續命湯主之（方 在第八卷賊風篇中）。

又言音喘急短氣好唾，此為火克金。陽擊陰，陰氣沉，陽氣升。升則實，實則熱，熱則狂，狂則閉眼悸言，非常所說。口赤而張飲無時度，此熱傷肺，肺化為血，不治。若面赤而 鼻不欹，可治也。

肺病為瘧者，令人心寒，寒甚則熱，熱間善驚如有所見者，恆山湯主之（方見第十卷溫 瘧篇中）。若其人本來語聲雄烈，忽爾不亮，拖氣用力方得出言，而反於常人，呼與語直視 不應雖曰未病，勢當不久，此則肺病聲之候也。察觀疾病，表裡相應，依源審治，乃不失也。

白為肺，肺合皮，白如豕膏者吉。肺主鼻，鼻是肺之餘。其人金形相比於上商，白色小頭方面，小肩背小腹小手足，發動身輕。精瘦急，心靜悍，性喜為吏治。耐秋冬不耐春夏，春夏感而生病，主壬太陰廉廉然。肩膺濃薄正竦則肺應之正，白色小理者則肺小，小則少飲，不病喘喝。粗理者則肺大，大則虛，虛則寒喘鳴，多飲善病，胸喉痺逆氣巨。肩反膺陷喉者則肺高，高則實，實則熱上氣肩急咳逆。合腋張脅者則肺下，下則逼賁迫肝，善脅下痛鼻塞 或壅而涕生息肉。好肩背濃者則肺堅，堅則不病咳上氣。肩背薄者則肺脆，脆則易傷於熱，喘息鼻衄。肩膺好者則肺端正，端正則和利難傷。膺偏欹者則肺偏傾，偏傾則病胸偏痛，鼻 亦偏疾。凡人分部陷起者必有病生，大腸陽明為肺之部，而臟氣通於內，外部亦隨而應之。

沉濁為內，浮清為外。若外病內入則所部起內病，裡出則所部陷。外入前治陽，後治陰，內出前治陰，後治陽。實瀉虛補，陽主外，陰主內。凡人死生休否，則臟神前變形於外，人肺 前，病鼻則為之孔開焦枯。若肺前死，鼻則為之梁折孔閉青黑色。若天中等分墓色應之必死 不治。看色深淺，斟酌賒促，遠不出一年，促不延時月。肺疾少愈而卒死，何以知之？曰：

赤黑如拇指靨點見顏頰上，此必卒死。肺絕三日死，何以知之？曰：口張但氣出而不還，面 白目青，是謂亂經。飲酒當風，風入肺經，膽氣妄泄，目則為青，雖有天救，不可複生，面 黃目白如枯骨死。吉凶之色，在於分部順，順面見赤白入鼻，必病不出其年。若年上不應，三年之中，禍必應也。

秋金肺，脈色白，主手太陰脈也。秋取經輸，秋者金始治，肺將收殺，金將勝火陽氣在合。陰氣初勝，濕氣及體，陰氣未盛，未能深入，故取輸以瀉陰邪，取合以虛陽邪，陽氣始 衰，故取於合，其脈本在寸口之中，掌後兩筋間二寸中，應在腋下動脈。其脈根於太倉，太倉在臍上三寸一夫是也。

其筋起於手大指之上，循指上行結於魚後，行寸口外側，上循臂，結肘中上 內廉，入腋下，上出缺盆，結肩 前，上結缺盆，下結胸裡，散貫賁下抵季脅。

其脈起於中焦，下絡大腸，還循胃口，上膈屬肺，從肺系橫出腋下，下循 內，行少陰心主之前，下肘中後循臂內上骨下廉，入寸口，上魚，循魚際，出大指之端。其支者，從腕 後直次指內廉出其端。合手陽明為表裡，陽明之本在肘骨中，同會於手太陰。

太陰之別名列缺，起於腕下分間，並太陰之經直入掌中，散入於魚際，別走手陽明，主肺生病。病實則大腸熱，熱則手兌掌起，起則陽病，陽脈反逆大於寸口脈三倍，病則咳，上氣喘喝，煩心，胸滿， 臂內前廉痛，掌中熱，氣盛有餘，則肩背痛風汗出。中風虛則大腸 寒，寒則欠咳，小便遺數，數則陰病，陰脈反小於寸口一倍，病則肩背寒痛，少氣不足以息，季 秋三月者，主肺大腸白氣狂病也，其源從太陽擊手太陰，太陰受淫邪之氣，則經絡壅滯，毛皮緊豎，發泄邪生，則臟傷腑溫，隨秋受癘。其病相反，若腑虛，則為陰邪所傷，乍寒 乍熱，損肺傷氣，暴嗽嘔逆。若臟實則為陽毒所損，體熱生斑，氣喘引飲，故曰白氣狂病也。

扁鵲云：灸心肺二俞，主治丹毒白狸病。當依源為療，調其陽，理其陰，則臟腑之病不生矣。

肺虛實第二

（脈四首 方二十首 灸法三首）肺實熱 右手寸口氣口以前脈陰實者，手太陰經也，病苦肺脹汗出若露，上氣喘逆咽中塞如欲嘔 狀，名曰肺實熱也。

治肺實熱，胸憑仰息泄氣除熱方：

石膏（八兩） 白前 杏仁（各三兩） 白朮 橘皮（各五兩） 枸杞根皮（切二升），赤蜜（七 合）
上七味 咀，以水七升，煮取二升，去滓下蜜，煮三沸，分三服。

治肺熱悶不止，胸中喘急驚悸，客熱來去，欲死不堪，服藥泄胸中喘氣方：

桃皮 芫花（各一升）
上二味 咀，以水四斗，煮取一斗五升，去滓，以故布手巾納汁中，敷胸溫四肢，不盈 數日即歇。

橘皮湯

治肺熱氣上咳息奔喘方。

橘皮 麻黃 柴胡 干紫蘇（《刪繁》作干蘭，各三兩） 杏仁 宿薑（各四兩） 石膏（八兩）
上七味 咀，以水九升煮麻黃兩沸，去沫，下藥，煮取三升，去滓，分三服。不瘥與兩劑。

治肺熱喘息鼻衄血方：

羚羊角 元參 射干 雞蘇 芍藥 升麻 柏皮（各三兩） 生地（切一升） 梔子仁（四兩） 淡竹茹（雞子大一枚）
上十味 咀，以水九升，煮取三升，分三服。須利者下芒硝三兩，更煮三沸。

治肺熱飲酒當風，風入肺，膽氣妄泄，目青氣喘者方：

麻黃（四兩） 甘草 五味子（各三兩） 杏仁（五十粒） 母薑（五兩） 淡竹葉（切，一升
上六味 咀，以水七升，先煮麻黃，去沫，下諸藥，煮取三升，去滓，分三服。

瀉肺散

治酒客勞倦或出當風，喜怒氣舍於肺，面目黃腫，起即頭眩，咳逆上氣，時忽忽欲絕，心下弦急不能飲食，或吐膿血，胸痛引背，支滿欲嘔方。

五味子 百部(各二兩半) 茯苓 附子 肉蓯蓉 石斛 當歸 遠志 川續斷(各一兩) 細辛 甘草(各七分) 防風 川椒 紫菀 桂心 乾薑 款冬花(各一兩半) 桃仁(六十枚) 杏仁(
上十九味治, 下篩, 酒服方寸七, 日三, 後稍加至二七。

灸法：肺脹氣搶脅下熱痛, 灸陰都, 隨年壯, 穴在挾胃脘兩邊相去一寸, 胃脘在心下三寸。肺脹脅滿, 嘔吐上氣等病, 灸大椎並兩乳上第三肋間各七壯。

肺與大腸俱實 右手寸口氣口以前脈陰陽俱實者, 手太陰與陽明經俱實也。病苦頭痛, 目眩驚狂, 喉痺 痛, 手臂卷, 唇吻不收, 名曰肺與大腸俱實也。

煮散：治肺與大腸俱實, 令人氣憑滿方。

麻黃 茯苓(各六分) 黃耆 大青 桂心(各三分) 細辛 杏仁(各五分) 石膏(二兩)丹參(半兩) 五味子 甘草 橘皮 貝母 川芎(各一兩) 枳實(三枚)
上十五味治, 下篩為粗散, 帛裹一方寸七半, 以井花水一升五合, 煮取七合, 為三服, 日再。

肺虛冷 右手寸口氣口以前脈陰虛者, 手太陰經也。病苦少氣, 不足以息, 咽乾不津液, 名曰肺虛冷也。

治肺虛冷聲嘶傷, 語言用力戰掉緩弱, 虛瘠風入肺方：

防風 獨活 川芎 秦椒 乾薑 黃耆 (各四十二銖) 天雄 麻黃 山萸肉 五味子(各三十八銖) 甘草(三十六銖) 秦艽 桂心 山藥 杜仲 人參 細辛 防己(各三十銖)菊花
上二十二味治, 下篩, 以酒服方寸七, 日二服。(一方有石膏六分, 當歸五分。

酥蜜膏酒

治肺氣虛寒, 癘風所傷, 語聲嘶塞, 氣息喘憊咳唾, 止氣嗽通聲方。

酥 崖蜜 飴糖 生薑汁 生百部汁 棗肉 杏仁(各一升研) 甘皮(五具末)
上八味合和, 微火煎常攪三上三下約一炊久, 取薑汁等各減半止, 溫酒一升, 服方寸七, 細細咽之, 日二夜一。

又方 豬胰(三具) 大棗(百枚)
上二味, 以酒五升漬之, 秋冬七日, 春夏五日出, 布絞去滓, 七日服盡, 二七日忌鹽。

羊胰亦得。治咳嗽胸脅支滿多喘上氣, 尤良(《肘後方》治久咳上氣, 二十年諸治不痊者。)

治肺寒損傷氣嗽及涕唾鼻塞方：

棗肉(二斤研作脂) 杏仁(一升熬研為脂) 酥 生薑汁 白糖 白蜜 生百部汁(各一升)
上七味合和, 微火煎常攪約一炊久, 下之細細溫清酒服二合, 日二。

又方 專取豬胰滌除痰垢, 大棗通行津液, 漬酒治証如前或易羊胰入肺, 尤捷。

又方 即酥蜜膏酒, 倍用棗肉、杏仁之通津, 而去甘皮之耗氣。

補肺湯

治肺氣不足，逆滿上氣，咽中悶塞短氣，寒從背起，口中如含霜雪，言語失聲甚者吐血方。

五味子（三兩） 乾薑 桂心 款冬花（各二兩） 麥冬（一升） 桑根白皮（一斤） 大棗（一百枚） 粳米（一合）
上八味 咀，以水一斗，先煮桑白皮五沸下藥，煮取三升，分三服。

又方 黃（五兩） 甘草 鐘乳 人參（各二兩） 乾地黃 桂心 茯苓 白石英 桑白皮 濃 朴乾薑 紫菀 橘皮 當歸 五味子 遠志 麥冬（各三兩） 大棗（二十枚）
上十八味 咀，以水一斗四升，煮取四升，分五服，日三夜二。

又方 治肺氣不足，咳逆上氣，牽繩而坐，吐沫唾血，不能飲食方。

蘇子（一升） 桑白皮（五兩） 半夏（六兩） 紫菀 人參 甘草 五味子 杏仁（各二兩） 款冬花 射干（各一兩） 麻黃 乾薑 桂心（各三兩） 細辛（一兩半）
上十四味 咀，以水一斗二升，煮取三升半，分五服，日三夜二。

又方 治肺氣不足咳逆短氣，寒從背起，口中如含霜雪，語無聲音而渴，舌本乾燥方 五味子 蘇子（各一升） 白石英 鐘乳（各三兩） 款冬花 竹葉 橘皮 桂心 桑 白皮 茯苓 紫菀（各二兩） 麥冬（四兩） 生薑（五兩） 杏仁（五十枚） 粳米（二合） 大棗（十枚）
上十六味 咀，以水一斗三升，先煮桑白皮、粳米、大棗，以米熟去滓納諸藥，煮取 五升，分六服，日三。

又方 治肺氣不足，心腹支滿，咳嗽喘逆上氣唾膿血，胸背痛，手足煩熱，惕然自驚 皮毛起，或哭或歌或怒，乾嘔心煩，耳中聞風雨聲，面色白方。

款冬花 桂心（各二兩） 桑白皮（一斤） 生薑 五味子 鐘乳（各三兩） 麥冬（四兩） 粳米
上九味 咀，以水一斗二升，先煮粳米、棗令熟，去滓納藥，煎取二升，分三服，溫服之。

一方用白石英二兩（《廣濟》有紫菀，人參各二兩，名紫菀湯。）

麻子湯

治肺氣不足，咳唾膿血，氣短不得臥方。

麻子（一升） 桑皮 餳（各一斤） 桂心 人參（各二兩） 阿膠 紫菀（各一兩） 生薑（三兩） 乾地黃（四兩）
上九味 咀，以酒一斗五升，水一斗五升，合煮取四升，分五服。

餳煎

治肺氣不足，咽喉苦乾方。

作餳任多少，取乾棗一升，去核熟搗，水五升和使相得，絞去滓，澄去上清，取濁者納 飴中攪火上煎，勿令堅，令連服如雞子大，漸漸服之，日三夜二。

治肺風氣痿絕，四肢滿脹喘逆胸滿方：

灸肺俞各二壯，肺俞對乳引繩度之，在第三椎下兩旁相去各一寸五分。

肺與大腸俱虛右手寸口氣口以前脈陰陽俱虛者，手太陰與陽明經俱虛也。病苦耳鳴嘈嘈，時妄見光明，情中不樂或如恐怖，名曰肺與大腸俱虛也。

小建中湯

治肺與大腸俱不足，虛寒乏氣，小腹拘急，腰痛羸瘠百病方。

大棗（十二枚） 生薑 桂心（各三兩） 甘草（二兩） 芍藥（六兩）
上五味 咀，以水八升，煮取三升，去滓，合飴糖八兩，煮三沸，分三服（《肘後》用黃、人參各二兩，名黃耆建中湯。）

肺勞第三

（論一首 方三首 灸法一首）論曰：凡肺勞病者，補腎氣以益之，腎旺則感於肺矣。人逆秋氣，則手太陰不收，肺氣焦滿，順之則生，逆之則死。順之則治，逆之則亂，反順為逆，是謂關格，病則生矣。

麻黃引氣湯

治肺勞實氣喘鼻張，面目苦腫方。

麻黃 杏仁 生薑 半夏（各五分） 紫蘇（四分） 白前 細辛 桂心（各三分） 橘皮（二分） 石膏（八兩） 竹葉（切一升）
上十一味 咀，以水一斗，煮取三升，去滓，分三服。

半夏湯

治肺勞虛寒，心腹冷氣逆游氣，胸脅氣滿，從胸達背痛，憂氣往來，嘔逆飲食即吐，虛乏不足方。

半夏（一升） 生薑（一斤） 桂心（四兩） 甘草 濃朴（各二兩） 人參 橘皮 麥 冬（各三兩）
上八味 咀，以水一斗，煮取四升，分四服。腹痛加當歸二兩。

濃朴湯

治肺勞風虛冷痰 水氣，晝夜不得臥，頭不得近枕，上氣胸滿，喘息氣絕，此痰水盛 溢方。

濃朴 麻黃 桂心 黃芩 石膏 大戟 橘皮（各二兩） 枳實 甘草 秦艽 杏仁 茯苓（各三兩） 細辛（二兩） 半夏（一升） 生薑（十兩） 大棗（十五枚）
上十六味 咀，以水一斗三升，煮取四升，去滓，分五服。

治喉痺氣逆咳嗽口中唾涎方：

灸肺俞七壯，亦可隨年壯至百壯。

氣極第四

（論一首 方六首 灸法二首）論曰：凡氣極者，主肺也。肺應氣，氣與肺合。又曰：以秋遇病為皮痺，皮痺不已，複 感於邪，內舍於肺，則寒濕之氣客於六腑也。若肺有病則先發氣，氣上沖胸，常欲自恚。以秋庚辛日傷風邪之氣為肺風，肺風之狀多汗。若陰傷則寒，寒則虛，虛則氣逆咳，咳則短氣，暮則甚。陰氣至，濕氣生，故甚陰畏陽氣，晝日則瘥。若陽傷則熱，熱則實，實則氣喘息上胸噫，甚則唾血也。然陽病治陰，陰是其裡。陰病治陽，陽是其表。是以陰陽表裡衰旺之源。

故知以陽調陰，以陰調陽。陽氣實則決，陰氣虛則引。善治病者，初入皮毛，肌膚筋脈則治之。若至六腑五臟，半死矣。

扁鵲曰：氣絕不治，喘（一作奔）而冷汗出，二日死。氣應手太陰，太陰氣絕，則皮毛 焦，氣先死矣。

鐘乳散

治氣極虛寒，陰畏陽氣，晝瘥暮甚，氣短息寒，亦治百病，令人力強能飲食 鐘乳（別研） 乾薑 桔梗 茯苓 細辛 桂心 附子 人參（各一兩六銖） 白朮（一兩）、防風 栝蔞根 牡蠣（各二兩半）
上十二味治，下篩，酒服方寸匕，日三，漸加至二匕。五十以上可數服，得力乃止（《翼方》云：有冷加椒，有熱加芩各三兩。）

黃耆湯

治氣極虛寒皮毛焦，津液不通，虛勞百病，虛損力乏方。

黃耆（四兩） 人參 白朮 桂心（各二兩） 生薑（八兩） 大棗（十枚） 附子（三十銖，一方不用）
上七味 咀，以水八升，煮取二升，去滓，分四服。

大露宿丸

治氣極虛寒皮痺不已，內舍於肺，寒氣入客於六腑，腹脹虛滿，寒冷積聚百病方。

石（《肘後》作礬石） 乾薑 桂心 皂莢 桔梗 附子（各三兩）
上六味為末，蜜丸如梧子大，酒服十丸，日三，漸加之。慎熱及火等。

硫黃丸

治氣極虛寒 飲，胸中痰滿，心腹痛，氣急，不下飲食方。

硫黃 石 乾薑 附子 烏頭 桂心 細辛 白朮 桔梗 茯苓（各二兩）
上十味為末，蜜丸如梧子，酒服十丸，日三。漸加之，以知為度。（《肘後》無白朮、桔梗、茯苓，用吳茱萸、川椒、人參、皂莢、當歸十二味為丸，用治人大冷，夏日溫飲食不解衣者

大前胡湯

治氣極傷熱，喘息沖胸，常欲自恚，心腹滿痛，內外有熱，煩嘔不安方。

前胡(八兩) 半夏 麻黃 芍藥(各四兩) 生薑(五兩) 黃芩(三兩) 枳實(四枚) 大棗(
上八味 咀, 以水九升, 煮取三升, 去滓, 分三服。

竹葉湯

治氣極傷熱氣喘, 甚則唾血, 氣短乏不欲食, 口燥咽乾方。

竹葉(二升) 麥冬 小麥 生地(各一升) 生薑 石膏(各六兩) 麻黃(三兩) 甘草(一兩)
上九味 咀, 以水一斗, 煮取三升, 去滓, 分三服。

灸法

嘔吐上氣, 灸尺澤, 不三壯則七壯, 尺澤在腕後肘中橫紋。

腹中雷鳴相逐, 食不化逆氣, 灸上脘下一寸, 名太倉, 七壯。

積氣第五

(論二首 方五十一首 灸法二十四首) 論曰：七氣者, 寒氣、熱氣、怒氣、恚氣、喜氣、憂氣、愁氣。凡七種氣積聚堅大如杯, 若積在心下腹中, 疾痛不能飲食, 時來時去, 每發欲死如有禍祟, 皆七氣所生。寒氣即嘔逆惡心。熱氣即說物不竟而迫。怒氣即上氣不可忍, 熱痛上搶心, 短氣欲死不得息。恚氣即積聚在心下不得飲食。喜氣即不可疾行, 不能久立。憂氣即不可劇作, 暮臥不安。愁氣即喜忘不識人語, 置物四方還取不得, 去處若聞, 急即四肢浮腫, 手足筋攣, 捉不能舉如得病。此

七氣丸

烏頭 大黃(各七分) 紫菀 半夏 前胡 細辛 丹參 茯苓 川芎 桃仁(胡洽作 杏仁) 菖蒲(一作芍藥) 石膏 吳茱萸 桂心 桔梗(各三分) 人參 甘草 防葵(各一兩)乾薑 川
上二十味為末, 蜜丸如梧子大, 酒服三丸, 日三。加至十丸。一方去半夏加甘遂三分(胡洽無丹參、甘草。)

七氣丸

主七氣。七氣者, 寒氣、熱氣、怒氣、恚氣、喜氣、憂氣、愁氣, 此之為病皆生積聚, 堅牢如杯, 心腹絞痛, 不能飲食, 時去時來, 發則欲死。凡寒氣狀吐逆心滿。熱氣狀恍惚眩冒失精。怒氣狀不可當, 熱痛上蕩心, 短氣欲絕不得息。恚氣狀, 積聚心滿, 不得食飲。喜氣狀, 不可疾行久立。憂氣狀, 不可苦作, 臥不安席。愁氣狀, 平故如怒喜忘, 四肢浮腫不得舉止。亦治產後中風餘疾方。

大黃(二兩半) 人參 半夏 吳萸 柴胡 乾薑 細辛 桔梗 菖蒲(各二分) 茯苓 川芎 甘草 川椒(一用桂心) 石膏 桃仁(各三分)
上十五味為末, 蜜丸如梧子大, 每服酒下三丸, 日三服。漸加至十丸(《翼方》無茯苓、川芎、甘草、石膏、桃仁。)

七氣湯

治寒氣、熱氣、憂氣、勞氣、愁氣或飲食為膈氣, 或勞氣內傷, 五臟不調, 氣衰少力 方。

乾薑 黃芩 濃朴(深師作桂心) 半夏 甘草 地黃 芍藥 栝蔞根(深師作橘皮, 各一兩) 川椒(三兩, 深師作桔梗) 枳實(五枚) 人參(一兩) 吳萸(五合)
上十二味 咀, 以水一斗, 煮取三升, 分三服, 日三。

又方 治虛冷上氣、勞氣等方。

半夏(一升) 人參 生薑 桂心 甘草(各一兩)
上五味 咀, 以水一斗, 煮取三升, 分三服, 日二。

五膈丸

治憂膈、食膈、飲膈、氣膈、勞膈五病, 同主咸以憂、恚、思、慮、飲食得之, 若冷 食及生菜便發。其病苦心滿, 不得氣息, 引背痛如刺之狀, 食則心下堅大如粉絮, 大痛欲吐, 吐即瘥。飲食不得下, 甚者及手足冷, 上氣咳逆喘息短氣方。

麥冬 甘草(各五兩) 人參(四兩) 川椒 遠志 桂心 細辛(各三兩) 附子(一兩半) 乾薑(二兩)
上九味為末蜜丸, 微使淖, 先食含如彈丸一枚, 細細咽之。喉中胸中當熱, 藥力稍盡, 複含一丸, 日三夜二。服藥十日愈。(《延年方》云：若不能含者, 可分一大丸作十小丸盡 服之。夏月宜增麥冬、甘草、人參。胡洽云：亦可作梧子大十丸酒服之。《經心錄》以吳 萸代桂心, 酒下如梧子五丸, 空腹服之。治寒冷則心痛, 咽中有物, 吐之不出, 咽之不下, 食飲少者治結氣冷症積在脅下, 腳氣上入小腹, 腹中脹滿百病方：

大蒜去心皮三升, 搗令極熟, 以水三升和令調, 絞取汁更搗, 餘滓令熟, 更以水三升和 令調, 絞取汁更搗, 餘滓令熟, 更以水三升和令調, 絞取汁合得九升, 所得滓可桃顆大, 棄 之。以微火煎取三升, 下牛乳三升, 合煮取三升, 旦起空腹一頓溫服令盡, 至申時食, 三日服一劑, 三十日服十劑止。

大蒜煎

治疝瘕積聚, 冷癖痰飲, 心腹脹滿, 上氣咳嗽刺風, 風癲偏風, 半身不遂, 腰疼膝冷, 氣息痞塞百病方。

蒜(六斤四兩去皮切, 水四斗, 煮取一斗去滓) 酥(一升納蒜汁中) 牛乳(二升) 蕐 茇 胡椒 乾薑(各三兩) 石蜜 阿魏 戎鹽(各二兩) 石菖蒲 木香(各一兩) 干蒲桃 (四兩)
上十二味為末, 納蒜汁中, 以銅器微火煎, 取一斗, 空腹酒下一兩, 五日以上稍加至三兩, 二十日覺四體安和, 更加至六兩。此治一切冷氣甚良。

桔梗破氣丸

治氣上下痞塞不能息方。

桔梗 橘皮 乾薑 濃朴 枳實 細辛 葶藶(各三分) 吳萸 白朮(各六分) 胡 椒 川椒 烏頭(各二分) 蕐茇(十分) 人參 桂心 附子 茯苓 前胡 防葵 川芎(各五分) 甘草
上二十四味為末, 蜜丸如梧子大, 每服酒下十丸, 日三。有熱者, 空腹服之。

檳榔湯

治氣實苦積聚不得食息方。

檳榔(三七枚) 附子(一枚) 半夏(一升) 細辛(一兩) 生薑(八兩) 大黃 紫 菀柴胡(
上十二味 咀, 以水一斗, 煮取三升, 分三服, 相去如人行十裡久。若有症結堅實如石, 加鱉甲二兩, 防葵二兩, 氣上加桑皮切二升, 枳實、濃朴各二兩, 消息氣力強弱, 進二劑後, 隔十日, 更服前桔梗破氣丸。

治積年患氣, 發作有時, 心腹絞痛, 忽然氣絕, 腹中堅實, 醫所不治, 複謂是蠱方：

檳榔(大者四七枚) 附子(一枚) 半夏(一升) 柴胡(三兩) 生薑(八兩) 橘皮甘草 桂心 當歸 枳實(各二兩)
上十味 咀, 以水一斗, 煮取三升, 分三服, 五日一劑, 服三劑, 永除根本。

半夏湯

治逆氣心腹滿, 氣上沖胸脅痛, 寒冷, 心腹痛, 嘔逆及吐不下食, 憂氣結聚 半夏(一升) 生薑 桂心(各五兩) 橘皮(四兩)
上四味 咀, 以水七升, 煮取三升, 分四服, 日三夜一。人強者作三服。亦治霍亂後, 吐逆腹痛。

貝母湯

治上氣咽喉窒塞, 短氣不得臥, 腰背痛, 胸滿不得食, 面色萎黃方。

貝母(一兩) 生薑(五兩) 桂心 麻黃 石膏 甘草(各三兩) 杏仁(三十枚) 半夏(三合)
上八味 咀, 以水一斗, 煮取三升, 分三服, 日三。

麻黃湯

治上氣脈浮, 咳逆, 喉中水雞聲, 喘息不通, 呼吸欲死方。

麻黃(八兩) 甘草(四兩) 大棗(三十枚) 射干(如博棋子二枚)
上四味 咀, 以井華水一斗, 煮麻黃三沸, 去沫納藥, 煮取四升, 分四服, 日三夜一

奔氣湯

治大氣上奔胸膈中, 諸病發時, 迫滿短氣不得臥。劇者便 欲死, 腹中冷濕氣, 腸鳴 相逐成結氣方。

生薑(一斤) 半夏 吳萸(各一升) 桂心(五兩) 人參 甘草(各二兩)
上六味 咀, 以水一斗, 煮取三升, 分四服。

枳實湯

下氣治胸中滿悶方。

枳實(三枚) 附子(二枚) 大棗(十四枚) 半夏(五兩) 人參 甘草 白朮 乾薑濃 朴(各二兩)
上九味 咀, 以水七升, 煮取二升半, 每服八合, 日三。

下氣湯

治氣滿腹脹方。

半夏(一升) 生薑(一斤) 人參(一兩半) 橘皮(三兩)
上四味 咀, 以水七升, 煮取三升, 去滓, 分三服。日三。(一方無人參, 只三味。

治氣兩脅滿急風冷方：

杏仁 茯苓 防葵(各八分) 吳茱萸 橘皮 桂心 防風 澤瀉(各五分) 白朮 射 干 芍藥 蘇子 桔梗 枳實(各六分)
上十四味為末, 蜜丸如梧子大, 酒服十丸, 日二, 加至三十丸。

黎勒丸

治氣滿閉塞, 不能食喘息方。

訶黎勒十枚為末, 蜜丸如梧子大, 食後服三丸, 不忌。得利即止。

治上氣咳逆方：

蘇子(一升) 五味子(五合) 麻黃 細辛 紫菀 人參 黃芩 甘草(各二兩) 桂心 當歸(各一兩) 生薑(五兩) 薑夏(三兩)
上十二味 咀, 以水一斗, 煮取三升, 分三服。

治氣上不得臥神秘方：

橘皮 生薑 紫蘇 人參 五味子(各五兩, 一方作桔梗)
上五味 咀, 以水七升, 煮取三升, 分三服。

治熱發氣上沖不得息, 欲死不得臥方：

桂心(半兩) 白石英 麥冬 枳實 白蘚皮 貝母 茯神 檳榔仁 天冬(各二兩半) 車前子(一兩) 人參 前胡 橘皮 白薇 杏仁(各一兩半) 郁李仁(三兩) 桃仁(五分)
上十七味為末, 蜜丸如梧子大, 以竹葉飲服十丸, 日三, 加至三十丸。

竹葉飲子

竹葉 蘇子(各一升) 紫菀 白前(各二兩) 百部 甘草 生薑(各三兩)
上七味 咀, 以水八升, 煮取三升, 溫服下前丸, 藥盡更合。

人參湯

安食下氣, 理胸脅並治客熱方。

人參 麥冬 乾薑 當歸 茯苓 甘草 五味子 黃耆 芍藥 枳實(各一兩) 桂心(三兩) 半夏(一升) 大棗(十五枚)
上十三味 咀, 以水九升, 煮取三升, 去滓, 每服九合, 從旦至晡, 令盡。皆熱服, 慎勿冷。

海藻橘皮丸

下氣治風虛支滿, 膀胱虛冷, 氣上沖肺息奔, 令咽喉氣悶往來方。

海藻 橘皮 白前(各三分) 杏仁 茯苓 芍藥 桂心(各五分) 蘇子(五合) 棗 肉 桑白皮 昆布(各二兩) 吳萸 人參 白朮 葶藶(各一兩)
上十五味為末, 蜜丸如梧子大, 飲服十丸, 日二, 加至十五丸, 以小便利為度。

治氣上方： 砂 細辛 牛膝(等分)
上三味為末, 氣發酒服方寸匕, 後三日忌酒, 餘禁如藥法。

治上氣方：

上酥(一升) 獨頭蒜(五顆)
上二味先以酥煎蒜, 蒜黃出之, 用生薑汁一合, 共煎令熟, 空腹溫服一方寸匕。

治上氣嘔吐方：

芥子二升為末蜜丸, 寅時以井花水服如梧子七丸, 日二。亦可作散, 空腹服之。及可酒 浸服並治臍下絞痛。

治勞氣方：

小芥子三升搗末, 絹袋盛酒三斗浸, 密封七日, 去滓, 溫服半升, 漸至一升半, 得力更 合, 忌如藥法。

治上氣三十年不瘥方：

大棗 杏仁(各百枚) 豉(一百二十粒) 川椒(二百粒)
上四味先搗杏仁、豉令熟, 後納棗、椒更搗, 為丸如棗核大, 含稍稍咽之, 日三夜一。

治積年上氣不瘥垂死者方：

莨菪子(熬令色變) 熟羊肝(薄切曝乾)
上二味各搗等分, 以七月七日神醋拌令相著, 夜勿食, 空腹服二方寸匕, 須臾拾針, 兩食間以冷漿白粥二七止之, 隔日一服, 永瘥。四十日內, 得煮飯汁作蕪菁羹食之, 以外一切 禁斷。

下氣方：

生薑(五兩) 小麥(一升)
上二味以水三升, 煮取一升, 頓服。

又方 大棗(十四枚) 紫蘇莖葉(切一升)
上二味以酒三升，煮取一升半，分再服，水煮亦得。一方加橘皮半兩。(《肘後》無棗 用治氣方：

桃皮二斤，去黃者 咀，以水五升，煮取三升，每服一升，瘥止。

又方 驢脂二合，酒服，日二，瘥止。

又方 黃牛乳二升，煎取一升，和生乳一升，空腹服之，日二。

又方 驢乳初服三合，三日後服五合，後至七合，七日後至一升。忌葵菜、豬魚油等

又方 尿，空腹服，百日即止。治一切病。

又方 烏牛尿，空腹服，日再，至三升止。

補氣虛逆方：

大棗(三升) 甘皮(去脈 十具) 乾薑(二兩) 地黃(八兩)
上四味治，下篩，酒四升漬棗三宿，漉出棗取酒為炊汁，將棗納甑中微火蒸，令棗膏入釜中酒裡，煎酒令至二升許，候棗只存皮核乃止火貯器中，將前散及熱下攪令調，大略與糖 相似，酒服二合，日再。此方非只補氣，亦通治一切短氣，並形骸羸瘦神良。

大補氣方：

地黃(五兩) 秦椒 甘草(各一兩) 骨皮 乾薑 昆布(各四兩) 白朮 桂心 人參 濃朴 海藻(各三兩) 羊腎(一具去膏) 羊肚(一具去膏治如食法)
上十三味治，下篩，納羊肚中，合腎縫塞肚口，蒸極熟為度，乘熱，木臼合搗取肚、腎 與藥為一處，曝乾更搗為散，酒服方寸匕，日二。

白石英散

明目利小便，治氣及補五勞七傷，無所不治方。

煉成白石英十兩(白石英無多少，以錘子砧上細磓向明，選去靡翳、色暗黑黃赤者，惟 取白淨者為佳，搗篩瓷器中，研令極細熟，以生絹袋於銅器中，水飛如作粉法，如此三度，研訖澄之，漸漸去水，水盡至石英曝乾，看中有粗惡不淨者，去之。堪用者更研使熟，白絹 袋盛著瓷器中，以瓷碗蓋之，於三斗米下蒸之，以飯熟訖出，取懸之使干，更於瓷器中，研 之為成) 石斛 蓯蓉(各六分) 澤瀉 茯苓 橘皮(各一兩) 菟絲子(三兩)
上七味治，下篩，總於瓷器中研令相得，重篩，酒服方寸匕，日二，不得過服。慎豬、魚、鵝、鴨、蒜、冷、醋、滑。

白石英丸

補養肺氣方。

白石英 陽起石 磁石 菟絲子 蓯蓉 地黃(各二兩半) 栝蔞根 石斛 白朮 五味子
上十五味為末，蜜丸如梧子大，酒下十五丸，加至三十丸，日二服。

補傷散

治肺傷善泄咳，善驚恐，不能動筋，不可遠行，膝不可久立，汗出鼻乾，少氣喜悲，心下急痛，痛引胸中，臥不安席，忽忽喜夢，寒熱小便赤黃，目不能遠視，唾血方。

天冬(一升) 防風 澤瀉 人參 阿膠(各一兩半) 栝蔞根 前胡 芍藥 石膏 乾薑 大豆卷(各二兩) 紫菀 白薇(各一兩) 桂心 白朮(各四兩) 地黃 甘草 山藥 當歸(各二兩半)
上十九味治，下篩，食前酒服方寸匕，日三。

理氣丸

治氣不足方。

杏仁 桂心(各一兩) 乾薑 益智仁(各二兩)
上四味為末，蜜丸如梧子大，未食服三丸，以知為度。

治冷氣短氣方：

蜀椒五兩絹袋盛，酒一斗，浸二七日，服之，任意多少。

治讀誦勞極疲乏困頓方：

酥 油 酒 糖 白蜜(各二升) 合銅器中，微火煎二十沸，下之，為準七日七夜服之令盡。宜慎生冷。

又方 人參 甘草 茯苓 當歸(各二兩) 川芎 芍藥 地黃 黃耆 骨皮(各三兩) 大棗(二十枚)
上十味 咀，以水一斗，煮取三升，分三服。(一方用桂心三兩。)

治卒短氣方：

搗韭汁服一升，立瘥。(《肘後方》治卒上氣喘息便欲死。)

治乏氣方：

生薑 枸杞葉(各二兩)
上二味 咀，以水三升，煮取一升，頓服。

治少年房多短氣方：

豉(七合) 梔子(十四枚)
上二味以水二升，煮豉取一升半，去豉納梔，煮取八合，服半升，不瘥更服。

灸法

凡上氣冷發腹中雷鳴轉叫，嘔逆不食，灸太沖不限壯數。從痛至不痛，從不痛至痛止。

上氣厥逆，灸胸堂百壯，穴在兩乳間。

胸膈中氣，灸闕輸隨年壯。（扁鵲云：第四椎下，兩旁各一寸半，名闕輸。）心腹諸病，堅滿煩痛，憂思結氣，寒冷霍亂，心痛吐下，食不消，腸鳴泄利，灸太倉百壯。（太倉穴，一名胃募，在心下四寸，乃胃脘下一寸是。）結氣囊裹，針藥所不及，灸肓募，隨年壯。肓募二穴從乳頭斜度至臍中屈出半，從乳下行度頭是穴。

下氣，灸肺俞百壯。又灸太沖五十壯。

凡臍下絞痛，流入陰中，發作無時，此冷氣，灸關元百壯，穴在臍下三寸。

短氣不得語，灸天井百壯，穴在肘後兩筋間。又灸大椎，隨年壯。又灸肺俞百壯。又灸肝俞百壯。又灸尺澤百壯。又灸小指第四指間交脈上七壯。又灸手十指頭合十壯。

少年房多短氣，灸鳩尾頭五十壯。又鹽灸臍孔中二七壯。

乏氣，灸第五椎下，隨年壯。

論曰：凡卒厥逆上氣，氣攻兩脅，心下痛滿，奄奄欲絕，此為奔豚氣。即急作湯以浸兩手足，數數易之。

奔豚，灸氣海百壯，穴在臍下一寸半。又灸關元百壯，穴在臍下三寸。

奔豚，灸期門百壯，穴直兩乳下第二肋端旁一寸五分。 奔豚腹腫，灸章門百壯，章 門一名長平。穴在大橫外直臍季肋端。 奔豚搶心不得息，灸中極五十壯。中極一名玉泉，穴 奔豚上下腹中與腰相引痛，灸中府百壯，穴在乳上三肋間。

奔豚上下，灸四滿二七壯，穴挾丹田兩旁，相去三寸，即心下八寸，臍下橫紋是也。

肺痿第六

（論一首 方四首）論曰：寸口脈數，其人病咳，口中反有濁唾涎沫出，何也？師曰：此為肺痿之病。何從得之？師曰：病熱在上焦，因咳為肺痿，或從汗出，或從嘔吐，或從消渴小便利數，或從便 難，數被駛藥下，重亡津液，故得肺痿。又寸口脈不出而反發汗，陽脈早索陰脈不澀，三焦 踟躕，入而不出，陰脈不澀，身體反冷，其內反煩，多唾唇燥，小便反難，此為肺痿。傷於津液，便如爛瓜下如豚腦，但坐發汗故也。其病欲咳不得咳，咳出干沫，久久小便不利，其脈平弱。肺痿吐涎沫而不咳者，其人不渴必遺溺，小便數。所以然者，上虛不能製下故也。

此為肺中冷，必眩。師曰：肺痿咳唾，咽燥欲飲者自愈。自張口者短氣也。

甘草乾薑湯

溫臟治肺痿，多涎唾，小便數，肺中冷，必眩不渴（若渴者屬消渴症，）不咳，上虛下不能製溲方。

甘草(四兩) 乾薑(二兩)
上二味 咀, 以水三升, 煮取一升半, 去滓, 分二服。服此湯已小溫覆之。(《集驗》、《肘後》有大棗十二枚。

甘草湯

治肺痿涎唾多, 出血, 心中溫溫液液方(《翼方》名溫液湯)。

甘草二兩 咀, 以水三升, 煮取一升半, 去滓, 分三服。

生薑甘草湯

治肺痿咳唾涎沫不止, 咽燥而渴方。

生薑(五兩) 甘草(四兩) 人參(三兩) 大棗(十二枚)
上四味 咀, 以水七升, 煮取三升, 去滓, 分三服。

麻黃湯

治肺脹咳而上氣, 咽燥而喘, 脈浮者, 心下有水方。

麻黃 芍藥 生薑(仲景用乾薑) 細辛 桂心(各三兩) 半夏 五味子(各半斤) 石膏(四兩)
上八味 咀, 以水一斗, 煮取三升, 分三服(仲景名小青龍加石膏湯, 用甘草二兩, 為九味。)

肺癰第七

(論一首 方六首) 論曰：病咳唾膿血, 其脈數實者屬肺癰, 虛者屬肺痿。咳而口中自有津液, 舌上胎滑, 此為浮寒, 非肺痿。若口中辟燥, 咳即胸中隱隱痛, 脈反滑數, 此為肺癰也。問曰：病者咳逆, 師脈之何以知為肺癰, 當有膿血吐之則死, 後竟吐膿死。其脈何類何以別之？師曰：寸口脈微而數, 微則為風, 數則為熱;微則汗出, 數則惡寒。風中於衛, 呼氣不入。熱過於營, 吸而不出。風傷皮毛, 熱傷血脈, 風舍於肺, 其人則咳, 口乾喘滿, 咽燥不渴, 多唾濁沫, 時時振寒, 熱之所過, 血為凝滯, 蓄結癰膿, 吐如米粥, 始萌可救, 膿已成則難治。寸口脈數趺陽脈緊, 寒熱相搏, 故振寒而咳, 趺陽脈浮緩, 胃氣如經, 此為肺癰。師曰：振寒發熱, 寸口脈滑而數, 其人飲食起居如故, 此為癰腫病, 醫反不知而以傷寒治之, 不應愈也。何以知有膿？膿之所在, 何以別知其處？師曰：假令膿在胸中者為肺癰, 其脈數, 咳唾有膿血。設膿未成, 其脈自緊數, 緊去但數, 膿為已成也。

桔梗湯

治咳胸中滿而振寒, 脈數咽乾而不渴, 時時出濁唾腥臭, 久久吐膿如米粥, 是為肺癰 方。

桔梗(三兩,《集驗方》用二兩,《古今錄驗方》用一兩) 甘草(二兩)
上二味 咀, 以水三升, 煮取一升, 去滓, 分二服, 必吐膿血也。(一方有款冬花一兩半。

瀉肺湯

治肺癰喘不得臥方。

葶藶(三兩為末) 大棗(二十枚)
上二味 咀, 以水二升先煮棗, 取二升, 去棗納葶藶二方寸匕, 煮取七合, 頓服, 令盡, 三日服一劑, 可至三四劑。治肺癰胸脅脹, 一身面目浮腫, 鼻塞清涕出, 不聞香臭, 咳逆上氣, 喘鳴迫塞, 宜先進小青龍湯, 卻服前藥。(小青龍湯方見前第九卷傷寒門。)

皂莢丸

治肺癰初起, 咳逆上氣, 時時濁唾, 但坐不得臥方。

皂莢八兩為末, 蜜丸如梧子大, 以大棗膏和湯, 服三丸, 日三服, 夜一服。(《必效方》以酥炙皂莢。)

黃昏湯

治咳有微熱煩滿, 胸心甲錯, 是為肺癰者方。

黃昏手掌大一塊, 是合昏皮也。 咀, 以水三升煮取一升, 分二服。

葦莖湯方

薏苡仁 瓜瓣(各半升) 桃仁(三十枚) 葦莖(切二升, 水二斗, 煮取五升, 去
上四味 咀, 納葦汁中煮取二升, 服一升, 當有所見吐膿血。

桂枝去芍藥加皂莢湯

治肺癰吐涎沫不止方。

桂枝 生薑(各三兩) 甘草(二兩) 皂莢(一兩) 大棗(十五枚)
上五味 咀, 以水七升, 煮取三升, 去滓, 分三服。

飛尸鬼疰第八

(論一首 方四十二首 灸法十四首)

論曰：凡諸心腹痛, 服眾方熱藥入腹, 寂然不動, 但益氣息急者, 此尸疰病也。宜先服甘草汁一升, 消息少時, 服瞿麥湯盡一劑, 得下便覺稍寬。並暴 堅結宿食, 及女人血堅痛, 發作無定者, 神良。

五疰湯

治卒中賊風, 遁尸鬼邪, 心腹刺痛大脹急方。

大黃 甘草(各三兩) 當歸 芍藥(各二兩) 烏頭(十枚) 桂心(四兩) 生薑 蜜(各一斤)
上八味 咀, 別漬大黃, 以水九升, 煮取三升, 烏頭別納蜜中煎, 令得一升和湯中, 去滓, 分服三合, 如人行二十裡久, 更進一服, 日三, 不知加至四合。

蜈蚣湯

治惡疰邪氣，往來心痛徹背，或走入皮膚移動不定，苦熱，四肢煩痛，羸乏

蜈蚣（一枚） 牛黃（一分） 丹砂 人參（各三分） 大黃（二兩） 鬼臼 細辛 當歸桂心乾薑（各一兩） 黃芩 麝香（各半兩） 附子（四枚）
上十三味 咀，以水一斗，煮取三升，去滓，下牛黃、麝香末，分三服。

治卒中惡賊風寒冷入腹便絞痛，或飛尸遁尸，發作無時，搶心胸滿脅痛如刀刺，口噤者方：

吳茱萸 桂心 芍藥（各二兩） 乾地黃 乾薑 茯苓 甘草 細辛 當歸 羊脂（各一兩）
上十一味 咀，以水八升，煮取三升，去滓，納脂烊盡，分三服。欲利者，加大黃三兩。

治卒中惡風，角弓反張，或飛尸遁尸，心腹絞痛方：

乾地黃 川芎 當歸 茯苓 甘草（各一兩） 芍藥 吳茱萸 桂心 乾薑（各二兩） 梔子
上十味 咀，以水八升，煮取三升，分三服。痛甚者加羊脂三兩，人參、當歸、芍藥 各一兩。心腹堅急，加大黃三兩。

桃皮湯

治中惡氣心腹痛，胸脅脹滿短氣方。

桃白皮（一握，東引者） 真珠 附子（各一兩） 梔子仁（十四枚） 當歸（三兩） 吳茱萸（五合） 豉（
上八味 咀，以水五升，煮取二升，去滓，同真珠末分作二服。（一方無當歸以下四味

桃奴湯

治中惡諸尸蠱疰，心腹卒絞痛方。

桃奴 人參 當歸 乾薑（各二兩） 川芎 甘草（各三兩） 桂心 茯苓 鬼箭羽 犀角 丹砂 麝香（各一兩）
上十二味 咀，以水九升，煮取二升半，去滓，分三服。未食服大便不通，腹滿，加大黃三治卒中風，寒冷溫氣入腹，虛脹急滿，搶心胸久痛，氣息不通，脈弦緊，汗不出及傷寒 方

吳茱萸 當歸 麻黃 獨活 甘草 桔梗 茯苓（各二兩） 桂心 青木香 大黃 石膏 犀角（各二兩）
上十二味 咀，以水一斗，煮取三升，分三服，日三。

治風冷入腹，忽絞痛，緊急如吹，大小便閉，小腹有氣結如斗大脹滿，其脈弦緊或沉遲者方：

瞿麥 當歸 鬼箭羽 豬苓 桔梗 吳茱萸 海藻 川芎 防己（各二兩） 桂心 大黃（各三兩）（一方有犀角二兩）
上十一味 咀，以水九升，煮取三升，分三服。

治諸雜疰相連續死，及治三十年眾疰方：

桃根白皮一斤 咀，以水二斗，煮取一斗，去滓，分八九服。須令二日服盡。（崔氏用桃根白皮，治疰心腹痛不可忍者。）

又方　桃仁十四枚搗研，酒服。

又方　小芥子末，雞子白和敷。

尸疰鬼疰者，即五尸之中尸疰，又挾諸鬼邪為害也。其變動乃有三十六種至九十九種，大略令人寒熱淋瀝，沉沉嘿嘿，不得知其所苦，而無處不惡，累年積月，漸就頓滯，以至於死。死後複注易旁人，乃至滅門。覺如此候者，宜急療之方：

獺肝一具，陰乾治下篩，水服一方寸匕，日三。一具不瘥，更作。

小附著散

治飛尸賊風，發時急痛，不在一處，針之則移，發一日半日乃瘥，須臾複　細辛　天雄　甘草（各一分，一作莽草）桂心（三分）烏頭　附子　乾薑（各一兩）真珠　雄黃（各半兩）
上九味治下篩，酒服方寸匕，不知稍增，以知為度（胡洽不用桂心、附子，有蜀椒四分。）

大附著散

治五尸疰忤與前狀同者方。

天雄　桂心（各半兩）細辛　乾薑　雄黃　黃芩　黃連　由跋　椒目（各一兩）金　牙　犀
上十五味治，下篩，酒服一錢匕，日三服，以知為度。

金牙散

治鬼疰風邪，鬼語尸疰，或在腰脊胸脅，流無常處，不喜見人，志意不定，面目脫色，目赤鼻張，唇乾甲黃者方。

金牙　雄黃　鐵精　曾青　真珠　丹砂　野葛　川芎　露蜂房　大黃　甘草　蛇蛻皮　茹　干漆（各一分）石長生　狸骨（一作鸛骨）鬼臼　鬼箭羽　桔梗　烏頭　鬼督郵　椒　目野狼毒　蕪荑　藜蘆　雷丸　芫菁　滑石（各二分，一作硝石）毒公　鱉甲　牛黃　人參　胡燕屎　野狼毒　桂心（各四分）寒水石　蜈蚣　蜥蜴　附子（各一枚）蜣螂亭長（各七枚）石膏（五分）徐長卿　斑蝥（各十四枚）貝母（二枚）
上四十五味治，下篩，先食，以酒服一刀圭，日二。不知，漸加之，蟲隨大小便出（崔　氏

大金牙散

治一切疰病（方見十二卷膽腑門。）

白朮散

治風入臟腑，悶絕，常自躁痛，或風疰入身，令疰鬼疰飛尸惡氣腫起，或左或右，或前或後，或內或外，針灸流移無有常處。驚悸，腹脹，氣滿，心頭滿，或恍惚悲懼不能飲食，或進或退，陰下濕癢，或大便有血，小便赤黃，房中勞極方。

白朮(十四枚) 附子 秦艽 人參 牡蠣 蜀椒 細辛 黃芩 川芎 牛膝(各三分) 乾薑 桂心 防風(各五分) 獨活 柴胡 桔梗 茯苓 當歸(各四分) 烏頭 天雄 甘草 莽草
上二十六味治下篩，平旦酒服五分匕。訖，如人行七裡久，勢欲解，更飲酒五合為佳。

太乙備急散

治卒中惡客忤五尸入腹，鬼刺鬼痱，及中蠱疰吐血下血，及心腹卒痛，腹滿傷寒熱毒 病六七日方。

雄黃 桂心 芫花(各二兩) 丹砂 蜀椒(各一兩) 藜蘆 巴豆(各一分) 野葛(三分)附子(五分)
上九味，巴豆別研如脂，餘合治，下篩。以巴豆合和更搗，置銅器中密貯之，勿泄，有急疾，水服錢五匕，可加至半錢匕，老小半之。病在頭當鼻衄，在膈上吐，在膈下利，在四肢當汗出，此所謂如湯沃雪，手下皆愈。方宜秘之，非賢不傳。

龍牙散

治百疰邪鬼飛尸萬病方。

龍牙 茯苓(各二兩半) 雄黃 芍藥 棗膏(各五分) 乾地黃 石斛 胡燕屎(各三分)鬼箭羽 烏頭 羌活 露蜂房 曾青 真珠 桂心 杏仁 防風 桃奴 鬼臼 鸛骨(各一兩) 人參 大黃(各一兩半) 白朮(二兩) 蘇子(四合) 橘皮 甘草 川芎 遠志 鱉甲 鬼督郵 銅
上三十三味治，下篩，酒服一刀圭，以知為度，當有蟲從大便出。

治鬼疰蠱疰，毒瓦斯變化無常方：

犀角 麝香 丹砂 雄黃 鹿角 龍骨 鮫魚皮 蜈蚣 丁香 荷根 蜀椒 乾薑 (各一分) 貝子(十枚)
上十三味治，下篩，酒服方寸匕，加至二匕，日三。

備急丸

治卒中惡風，氣忤迷絕不知人(方見前第十二卷，膽腑門中。)

墨奴散

治卒得惡疰腹脹方。

釜下墨(一合) 鹽(二合)
上二味合治，以水一升半，煮取八合，一服令盡，須臾吐下即瘥。

治暴心痛，面無顏色欲死者方：

以布裹鹽如彈丸大，燒令赤，置酒中消服之，利即愈。

治哭疰方：

梳齒間刮取垢，水服之。

又方 亂髮(一兩) 臘月豬脂(一合
上二味取豬脂煎發，令消烊，服之，蟲死矣。

又方 熬大豆帛裹熨之。

治一切病食疰方(凡食上得病為食疰：) 取釜下土如雞子大為末，醋泔清一升和，服之，行五十步吐即瘥。

又方 還取本食種數多少相似各少許，和合布裹燒灰，如杏仁大，水服之。

鸛骨丸

治飛尸遁尸積聚，胸痛連背走無常處，或在臟或腫在腹，或奄奄然而痛者方 鸛骨(三寸) 丹砂(一作丹參) 牡蠣(一作牡丹) 雄黃 莽草(各四分) 藜蘆 桂心 野葛(各二分) 斑蝥 芫青(各十四枚) 蜈蚣(一枚) 巴豆(四十枚)
上十二味為末，蜜丸如小豆，每服二丸，日三，以知為度。

蜥蜴丸

治 堅水腫，蜚尸，遁尸，寒尸，喪尸，尸注，骨血相注，惡氣鬼忤，蛄毒邪氣往來，夢寐存亡，流飲結積，虎野狼所嚙， 犬所咋，鴆毒入人五臟，服藥以殺其毒，毒即消。婦人邪氣鬼忤，亦能遣之之方(方見前第十一卷，肝臟門積聚篇中。)

桔梗丸

治毒疰，鬼疰，食疰，冷疰，痰飲，宿食不消，酒癖諸病方。

桔梗 藜蘆 皂莢 巴豆 附子(各二兩)
上五味為末，蜜和搗萬杵，丸如梧子大，宿不食，平旦飲服二丸，仰臥服，勿眠至食時，膈上吐，膈下下去惡物如蝌蚪蝦蟆子，或長一二尺，下後當大虛。口乾可作雞羹飲五合，太極飲食粥一升，三四日病未盡，更服。忌如藥法。

十疰丸

主十種疰，氣疰、勞疰、鬼疰、冷疰、生人疰、死人疰、尸疰、食疰、水疰、土疰等方。

雄黃 巴各(各二兩) 人參 甘草 麥門冬 細辛(一作蒿本) 桔梗 附子 皂莢 蜀椒(各一兩)
上十味為末，蜜丸如梧子，空心服五丸，日三，稍加，以知為度。

太乙神明陷冰丸

治諸病破積聚，心下支滿，寒熱鬼疰長病，咳逆唾噫，辟除眾惡鬼逐邪氣鬼擊客忤，中惡胸中結氣，咽喉閉塞，有進有退，繞臍絞痛惻惻，隨上下按之挑手，心中慍慍如有蟲狀，毒疰相染甚至滅門者方。

雄黃(二兩) 當歸(三兩) 丹砂 礬石(一作 石) 桂心 大黃(各二兩) 芫青(五枚) 藜蘆 附子(各一兩半) 人參 真珠 麝香 鬼臼 犀角 牛黃(各一兩) 蜈蚣(一枚)射罔(一兩) 烏頭(八枚) 杏仁(三十枚) 蜥蜴(一枚) 樗雞 地膽(各七枚) 斑蝥(七枚)巴豆(一分)
上二十四味為末，蜜和搗三萬杵，丸如小豆，先食服二丸，日再。不知稍增。又以二丸著門上令眾邪不近。傷寒服之無不愈。若至病家及視病患，夜行獨宿服二丸，眾邪不能近也。(胡洽無桂心、芫青、人參、真珠、犀角、麝香、射罔、牛黃、蜥蜴、烏頭、樗雞、當歸十二味藥。)(只十二味，與積聚篇同)

江南度世丸

治萬病症結積聚，伏尸長病，寒熱疰氣流行皮中，久病著床肌肉消盡，四肢煩熱嘔逆 不食，傷寒時氣惡疰，汗退場門噤不開心痛方。

蜀椒(三兩) 人參 細辛 甘草(各二兩) 茯苓 真珠 大黃 乾薑 丹砂 野葛 桂心 雄黃 麝香 鬼臼(各一兩) 烏頭 牛黃(各二分) 附子 紫菀(各六分) 巴豆 (六十枚) 蜈蚣(二枚)
上二十味為末，蜜丸如小豆，飲服二丸，加至四丸，日一服。加獺肝一具更良。

大度世丸

治萬病與前狀同者方。

牛黃 大黃 雄黃 真珠 丹砂 人參 附子 細辛 甘草 射罔 鬼臼 莽草(各一兩) 蜀椒 麝香 鬼箭羽 桂心 茯苓 紫菀(各二兩) 乾薑(三兩) 野葛(一尺) 蜥蜴 蜈蚣(
上二十六味為末，蜜丸如小豆大，飲服二丸，日二，先食服之。

治疰病相染，易及霍亂中惡，小兒客忤長病方：

獺肝(一具) 蜈蚣(一枚) 麝香(二分) 雄黃 莽草 丹砂 鬼臼 犀角 大黃 巴豆牛
上十一味為末，蜜丸如麻子，空腹服二丸至三丸，以知為度。

雷氏千金丸

治行諸氣宿食不消，飲食中惡，心腹痛如刺及瘧方。

硝石(三分) 大黃(五分) 桂心 乾薑 (各二兩) 巴豆仁(六十枚)
上五味為末，搗三千杵，蜜丸如大豆，服二丸，神驗無比，已死者折齒灌之。

治卒得尸疰毒痛往來方：

杏仁 亂髮灰(等分)
上二味研如脂，丸如梧子，每服酒下三丸，日三。(姚氏以豬膏和丸。)

治遁尸尸疰，心腹刺痛不可忍者方：

桂心 乾薑(各一兩) 巴豆仁(二兩)
上三味治，下篩，以上醋和如泥，敷病上，乾即易之。

治遁尸尸疰，心腹及身有痛處，不得近者方：

取艾小 令碎，著痛上，濃一寸餘。熱湯和灰令強熱置艾上，冷即易，不過二三度瘥。

治遁尸飛尸，又治暴風毒腫流入四肢頭面方：

白芥子一升蒸熟搗，以黃丹二兩攪和，分作兩分，用疏布袋盛，更蒸使熱，敷痛上，當更迭蒸袋，常使熱敷之，如此三五次即定。

治人皮膚中痛，名症疰方：

醋和燕窠土敷之。

治走疰方：

燒車 令熱，暫入水，以濕布裹熨病上。

治三十年氣疰方：

豉心（半升） 生椒（一合）
上二味，以水二升，煮取半升，適寒溫，用竹筒吸取汁，令病者側臥，手擘大孔射灌之，少時當出惡物，此法垂死，悉治得瘥，百千不可具說。

灸法

凡五尸者，飛尸、遁尸、風尸、沉尸、尸疰也，今皆取一方兼治之，其狀腹痛脹急不得氣息，上沖心胸旁攻兩脅，或塊壘踴起，或攣引腰背，治之之法，灸乳後三寸，男左女右，可二七壯。不止者，多其壯數，取愈止。

又灸兩手大拇指頭各七壯。

又灸心下三寸十壯。

又灸乳下一寸，隨病左右多壯數。

又以細繩量患人兩乳頭內，即裁斷中屈之，又從乳頭向外量使當肋□於繩頭，灸三壯卒疰忤攻心胸，灸第七椎隨年壯。

又灸心下一寸三壯。

又灸手肘紋，隨年壯。

一切病食疰，灸手小指頭隨年壯，男左女右。

五毒疰不能飲食百病，灸心下三寸胃脘十壯。

水疰（口中涌水），經云：肺來乘腎，食後吐水，灸肺俞。

又灸三陰交。

又灸期門，穴在乳下二肋間。瀉肺補腎也，各隨年壯。

一切疰無新久，先仰臥灸兩乳邊斜下三寸，第三肋間，隨年壯，可至三百壯。又治諸氣，神良。一名疰。

備急千金要方 卷十八 大腸腑方

唐 孫思邈

（凡七類）

大腸腑脈論第一

論曰：大腸腑者，主肺也，鼻柱中央，是其候也，肺合氣於大腸。大腸者，為行道傳瀉之腑也，號監倉掾。重二斤十二兩，長一丈二尺，廣六寸，當臍右回疊積還反十二曲，貯水穀一斗二升。主十二時，定血脈，和利精神。（《千金》、《明堂》、《外台》同。《難經》云，右手關前寸口陽絕者，無大腸脈也，若少氣心下有水氣，立秋節即咳，刺手太陰。治陰，在魚際間。

右手關前寸口陽實者，大腸實也。若腸中切痛如針刀所刺，無休息時，刺手陽明。治陽，在手腕中瀉之。

大腸病者，腸中切痛而鳴濯濯。冬日重感於寒，則泄，當臍而痛，不能久立與胃同。候取巨虛上廉。

腸中雷鳴，氣上沖胸，喘不能久立，邪在大腸，刺盲之原，巨虛、上廉、三裡。

大腸脹者腸鳴而痛，寒則泄，食不化。

大腸有寒 溏，有熱便腸垢。

大腸有宿食，寒 發熱，有時如瘧狀。

肺前受病移於大腸，肺咳不已，咳則遺矢便利，厥氣客於大腸則夢田野。

肺應皮，皮濃者大腸濃；皮薄者大腸薄；皮緩腹裏大者，大腸緩而長；皮急者，大腸急而短；皮滑者，大腸直；皮肉不相離者，大腸結。

扁鵲云：手太陰與陽明為表裡。大腸若病實則傷熱，熱則脹滿不通，口為生瘡。食下入腸，腸實而胃虛，食下胃，胃實而腸虛，所以實而不滿，乍實乍虛乍來乍去，虛則傷寒，寒則腸中雷鳴，泄青白之痢而發於氣，水根在大腸，（方在治水篇中。

大腸絕不治，何以知之？泄利無度，利絕則死。

手陽明之脈，起於大指次指之端外側，循指上廉，出合谷兩骨之間，上入兩筋之中，循臂上臑，屬大腸。其支者，從缺盆直而上頸，貫頰入下齒縫中，還出挾口交人中，左之右，右之左，上挾鼻孔。是動則病齒痛頰腫，是主津液所生病者，目黃口乾鼽衄喉痺，肩前 痛，大指次指痛不用。氣盛有餘，則當脈所過者熱腫，虛則寒 不複盛者，則人迎大三倍於寸口，虛者則人迎反小於寸口也。

大腸虛實第二

（脈二條 方二首 灸法七首）

大腸實熱右手寸口氣口以前脈陽實者，手陽明經也。病苦腸滿善喘咳，面赤身熱，喉咽中如核狀，名曰大腸實熱也。

生薑泄腸湯

治大腸實熱，腹脹不通。口為生瘡者方。

生薑 橘皮 青竹茹 白朮 黃芩 梔子仁（各三兩） 桂心（一兩） 茯苓 芒硝（各二兩） 地黃（十兩） 大棗（十四枚）
上十一味 咀，以水七升，煮取三升，去滓，下芒硝，分二服。

治腸中臚脹不消方：

灸大腸俞四十九壯。

大腸有熱，腸鳴腹滿挾臍痛，食不化，喘不能久立，巨虛上廉主之。

大腸虛冷，右手寸口氣口以前脈陽虛者，手陽明經也。病苦胸中喘，腸鳴虛渴，唇乾目急，善驚泄白，名曰大腸虛冷也。

黃連補湯

治大腸虛冷，痢下青白，腸中雷鳴相逐方。

黃連（四兩） 茯苓 川芎（各三兩） 地榆（五兩） 酸石榴皮（五片） 伏龍肝（雞子大一枚）

治腸中雷鳴相逐痢下方：

灸承滿五十壯。穴在挾巨闕相去五寸，巨闕在心下一寸。灸之者挾巨闕兩邊各二寸半。

治腸中常鳴，時上沖心方：

灸臍中。

食飲不下，腹中雷鳴，大便不節，小便赤黃，陽綱主之。

腹脹腸鳴，氣上沖胸不能久立，腹中痛濯濯，冬日重感於寒則泄，當臍而痛，腸胃間游氣切痛，食不化，不嗜食，身腫挾臍急，天樞主之。

腸鳴而痛，溫溜主之。

肛門論第三

（論一首）論曰：肛門者，主大行道，肺、大腸候也，號為通事令史。重十二兩，長一尺二寸，廣 二寸二分。應十二時。若臟傷熱，則肛門閉塞大行不通，或腫縮入生瘡。若腑傷寒，則肛門 開大行洞泄，肛門凸出，良久乃入。熱則通之，寒則補之，虛實和平，依經調理（方見二十四卷中。）

皮虛實第四

（論一首 方二首）論曰：夫五臟六腑者，內應骨髓，外合皮毛膚肉。若病從外生，則皮毛膚肉關格強急。

若病從內發，則骨髓痛疼。然陰陽表裡，內髓外皮，其病源不可不詳之也。皮虛者寒，皮實者熱。凡皮虛實之，應主於肺大腸。其病發於皮毛，熱則應臟，寒則應腑。

蒴蒸湯

治皮虛主大腸病，寒氣關格方。

蒴 根葉（切三升） 菖蒲葉（切三升） 桃葉皮枝（三升） 細糠（一斗） 秫米（三升）
上五味以水一石五斗，煮取米熟為度，大盆器貯，於盆上作小竹床子罩盆，人身坐床中，周回四面將席荐障風，身上以衣被蓋覆。若氣急時，開孔對中泄氣，取通身接汗可得兩食久許。如此三日，蒸還溫藥足汁用之。若盆裡不過熱，盆下安炭火。非但治寒，但是皮膚 一切勞冷悉治之。

梔子煎

治皮實主肺病熱氣方。

梔子仁 枳實 大青 杏仁 柴胡 芒硝（各二兩） 生地黃 淡竹葉（切各一升） 生元參
上十味以水九升煮，取三升，去滓，下芒硝，分三服。

咳嗽第五

（論二首 方五十五首 灸法十四首）論曰：經云：五臟六腑皆令咳，肺居外而近上合於皮毛。皮毛喜受邪，故肺獨易為咳也。邪客於肺，則寒熱上氣喘汗出，咳動肩背喉鳴，甚則唾血。肺咳經久不已，傳入大腸，其狀咳則遺糞。腎咳者，其狀引腰背痛，甚則咳涎。腎咳經久不已，傳入膀胱，其狀咳則遺尿。

肝咳者，其狀左脅痛，甚者不得轉側。肝咳經久不已，傳入膽，其狀咳則清苦汁出。心咳者，其狀引心痛，喉仲介介如梗，甚者喉痺咽腫。心咳經久不已，傳入小腸，其狀咳則矢氣。脾咳者，其狀右脅痛陰陰引肩背，甚者不得動，動則咳劇。經久不已，傳入胃，其狀咳而嘔，嘔甚則長蟲出。久咳不已，三焦受之，三焦咳之狀，咳而腹滿，不能食飲，此皆聚於胃。關於肺，使人多涕唾而面浮腫氣逆也。若順時有風寒冷人觸冒解脫，傷皮毛間入腑臟為咳上氣如此也。有非時忽然暴寒，傷皮膚中與肺合，則咳嗽上氣，或胸脅支痛，咳唾有

血者，是其熱得非時之寒，暴薄之不得漸散，伏結深，喜肺癰也。因咳服溫藥，咳尤劇及壯熱吐膿血，汗出惡寒是也。天有非時寒者，急看四時方也。

問曰：咳病有十，何謂也？師曰：有風咳，有寒咳，有支咳，有肝咳，有心咳，有脾咳，有肺咳，有腎咳，有膽咳，有厥陰咳。問曰：十咳之証以何為異？師曰：欲語因咳言不得竟，謂之風咳。飲冷食寒因之而咳，謂之寒咳。心下堅滿，咳則支痛，其脈反遲，謂之支咳。

咳則引脅下痛，謂之肝咳。咳而唾血引手少陰，謂之心咳。咳而涎出續續不止，引少腹，謂之脾咳。咳引頸項而唾涎沫，謂之肺咳。咳則耳無所聞，引腰並膂中，謂之腎咳，咳而引頭痛口苦，謂之膽咳，咳而引舌本，謂之厥陰咳。風咳者，不下之。寒咳、支咳、肝咳、刺足太沖。心咳，刺手神門。脾咳，刺足太白。肺咳，刺手太淵。腎咳，刺足太溪。膽咳，刺足陽陵泉。厥陰咳，刺手大陵。

虛也。此為胸中寒實所致也，當吐之。乃可吐耳。

咳家，其人脈弦為有水，可與十棗湯下之（見下第十二方）。不能臥出者，陰不受邪故也。

留飲咳者，其人咳不得臥，引項上痛，咳者如小兒掣縱狀。夫酒家咳者，必致吐血，此坐久極飲過度所致也。其脈沉者，不可發汗。久咳數歲，其脈弱者可治，實大數者死。其脈虛者必善冒，其人本有支飲在胸中故也。治屬飲家。上氣汗出而咳，屬飲家。咳而小便利，若失溺不可發汗，汗出即厥逆冷。

夫病吐血喘咳上氣，其脈數，有熱不得臥者死。寒家咳而上氣，其脈數者死，謂其人形損故也。脈大而散散者，為氣實而血虛，名曰有表無裡。上氣面 腫肩息，其脈浮大不治，加

小青龍湯

治咳逆倚息不得臥（方見第九卷傷寒上。）小青龍湯下已多唾口燥，寸脈沉，尺脈微，手足厥逆，氣從小腹上沖胸咽，手足痺，其面翕熱如醉狀，因複下流陰股，小便難時複冒者，與桂苓五味甘草湯，治其氣沖方：

茯苓（四兩） 桂心 甘草（各三兩） 五味子（半升）
上四味 咀，以水八升，煮取三升，去滓，溫分三服。

沖氣即低而反更咳胸滿者，苓甘五味薑辛湯以治其咳滿方：

茯苓（四兩） 甘草 乾薑 細辛（各三兩） 五味子（半升）
上五味 咀，以水八升，煮取三升，去滓，溫服半升，日三。

咳滿即止而更複渴沖氣複發者，以細辛、乾薑為熱藥也，服之當遂渴，而渴反止者，為支飲也。支飲法當冒冒者必嘔，嘔者複納半夏，以去其水。桂苓五味甘草去桂加薑辛半夏湯方：

半夏 五味子（各半升） 茯苓（四兩） 細辛 乾薑 甘草（各二兩）
上六味 咀，以水一斗，煮取三升，去滓，溫服半升，日三。

水去嘔止，其人形腫者應用麻黃。以其人遂痺，故不納麻黃，納杏仁、茯苓、甘、五味，加薑辛半夏杏仁湯方：

杏仁 半夏 五味子(各半升) 茯苓(四兩) 細辛 乾薑 甘草(各三兩)
上七味 咀, 以水一斗, 煮取三升, 去滓, 溫服半升, 日三。

若逆而納麻黃, 其人必厥, 所以然者, 以其人血虛, 麻黃發其陽故也。

若面熱如醉, 此為胃熱上沖熏其面, 加大黃利之。苓甘五味加薑辛半杏大黃湯方：

大黃 細辛 乾薑 甘草(各三兩) 茯苓(四兩) 杏仁 半夏 五味子(各半升)
上八味 咀, 以水一斗, 煮取三升, 去滓, 溫服半升, 日三。

咳而上氣肺脹, 其脈浮, 心下有水氣, 脅下痛引缺盆, 設若有實者必躁, 其人常倚伏, 小青龍加石膏湯主之方：

石膏 乾薑 桂心 細辛(各二兩) 麻黃(四兩) 芍藥 甘草(各三兩) 半夏(半升)五味
上九味 咀, 以水一斗, 先煮麻黃, 減二升, 去沫, 下藥, 煮取二升半, 強者服一升。羸者減之, 小兒服四合。(仲景治肺脹咳而上氣, 煩躁而喘, 脈浮者, 心下有水。《外台》同)。

射干麻黃湯

治咳而上氣, 喉中如水雞聲者方。

射干 細辛 款冬花 紫菀(各三兩) 麻黃 生薑(各四兩) 半夏 五味子(各半升)大棗
上九味 咀, 以東流水一斗二升, 先煮麻黃, 去上沫, 納藥, 煮取三升, 去滓, 分三服, 日三。

濃朴麻黃湯

治咳逆上氣胸滿, 喉中不利如水雞聲, 其脈浮者方。

濃朴(五兩) 麻黃(四兩) 石膏(三兩) 細辛 乾薑(各二兩) 小麥(一升) 杏仁 半夏 五味子(各半升)
上九味 咀, 以水一斗二升, 先煮麥熟, 去麥納藥, 煮取三升, 去滓, 分三服, 日三。

澤漆湯

治上氣而脈沉者方。

澤漆(三斤細切, 以東流水五斗, 煮取一斗五升, 去滓澄清) 半夏(半升) 生薑 紫菀(一作紫參) 白前(各五兩) 黃芩 甘草 桂心 人參(各三兩)
上九味納澤漆汁中, 煮取五升, 每服五合, 日三, 夜一。

麥門冬湯

下氣止逆, 治大逆上氣, 咽喉不利方。

麥門冬汁(三升) 半夏(一升) 粳米(二合) 人參 甘草(各三兩) 大棗(二十枚)
上六味以水一斗二升, 煮取六升, 去滓, 分四服, 日三夜一。

麻黃石膏湯

治上氣胸滿方。

麻黃(四兩) 石膏(如雞子大) 濃朴(五兩) 小麥(一升) 杏仁(半升)
上五味以水一斗，先煮小麥熟，去麥下藥，煮取三升，去滓，分三服。(深師用此治久 逆上氣，喉中如水雞鳴咳者，加半夏、五味子各半升，乾薑三累)。

十棗湯

夫有支飲家，咳煩胸中痛者，不卒死，至一百日一歲可與此方。

大棗(十枚) 大戟 甘遂 芫花(等分) 上大戟、甘遂、芫花搗為末，以水一斗五合，煮棗取八合，去滓，納藥末，強者一錢匕，羸者半匕，頓服。平旦服而不下者，明旦更加半匕。下後自補養。咳而引脅下痛，亦十棗湯主之。

溫脾湯

治食飽而咳者方。

甘草(四兩) 棗(十枚)
上二味 咀，以水五升，煮取二升，分三服，若咽中痛而聲鳴者，加乾薑一兩。

百部根湯

治嗽不得臥兩眼突出方。

百部根 生薑(各半斤) 細辛 甘草(各三兩) 貝母 白朮 五味子(各一兩) 桂心(四兩) 麻黃(六兩)
上九味 咀，以水一斗二升，煮取三升，去滓，分三服。(《古今錄驗》有杏仁四兩，紫菀三兩)。

海藻湯

治咳而下利，胸中痞而短氣，心中時悸，四肢不欲動，手足煩不欲食，肩背痛，時惡寒方。

海藻(四兩) 半夏 五味子(各半升) 生薑(一兩) 細辛(二兩) 茯苓(六兩)杏仁(五十
上七味 咀，以水一斗，煮取三升，去滓，分三服，日三。(一方無五味子、生薑。

白前湯

治水咳逆上氣，身體浮腫，短氣脹滿，晝夜倚壁不得臥，咽中作水雞鳴方。

白前 紫菀 半夏 大戟(各二兩)
上四味 咀，以水一斗浸一宿，明旦煮取三升，分為三服。

治九種氣嗽欲死百病方：

乾薑 半夏 細辛 紫菀 薷花(一作芫花) 吳茱萸 茯苓 甘草 甘遂 防葵 人參 烏頭 大黃 杏仁(各一分) 葶藶(二分) 巴豆 濃朴 白薇(各三分) 遠志 菖蒲 五味子前胡 枳實 蜀椒 皂莢 當歸 大戟 桂心(各半分)
上二十八味為末, 蜜丸如梧子大, 先食服二丸, 日二服, 以知為度, 不知增之。

麻黃散

治上氣嗽方。

麻黃(半斤) 杏仁(百枚) 甘草(三兩) 桂心(一兩)
上四味治, 下篩, 別研杏仁如脂, 納藥末和合, 臨氣上時服一方寸匕。食久氣未下, 重 服

蜀椒丸

治上氣咳嗽, 太醫令王叔和所撰御, 服甚良方。

蜀椒(五分) 烏頭 杏仁 石菖蒲 石(一云礬石) 皂莢(各一分) 款冬花 細辛 紫菀 乾薑(各三分) 麻黃 吳茱萸(各四分)
上十二味為末, 蜜丸如梧子大, 暮臥吞二丸。治二十年久嗽, 不過二十丸。

通氣丸

治久上氣咳嗽, 咽中腥臭, 虛氣攪心痛眼疼, 耳中嘈嘈, 風邪毒疰時氣, 食不生肌肉, 胸中膈塞, 嘔逆多唾, 惡心, 心下堅滿, 飲多食少, 惡疰淋痛病方。

蜀椒(二升) 飴糖(三斤) 杏仁(一升) 天門冬(十分) 乾薑 人參(各四分) 烏頭 (七分) 桂心(六分) 大附子(五枚) 蜈蚣(五節)
上十味為末, 別治杏仁如脂, 稍稍納藥末, 搗千杵, 烊飴乃納藥末中令調和, 含如半棗一枚, 日六七, 夜三四服, 以胸中溫為度。若夢與鬼交通乃飲食者, 全用蜈蚣。食不消加杏仁五合。小腹急腰痛加天門冬、杜仲。有風加烏頭三枚, 附子一枚, 立夏後勿加也。有停飲加葶藶三兩。

治咳逆上氣方：

蜀椒 桂心 海蛤(各四分) 昆布 海藻 乾薑 細辛(各六分) 麥冬(十分)
上八味為末, 蜜丸如梧子大, 飲服十丸, 加至二十丸, 日三服。有人風虛中冷, 胸中滿上氣, 喉中如吹管聲, 吸吸氣上欲咳, 服此方得瘥。

治咳嗽胸脅支滿, 多唾上氣方：

石(一作礬石) 烏頭(一方不用) 菖蒲(各一分) 細辛 黃環(各二分) 杏仁款冬 花
上十一味為末, 蜜丸如梧子大, 每服一丸, 著牙上咽汁, 日五六服。劇者, 常含不止。

又方 薑汁(一升半) 砂糖(五合)
上二味煎薑汁減半, 納糖更煎服之。

又方 白糖(五合) 皂莢末(一方寸七)
上二味先微暖，糖令消，納皂莢末合和相得，丸如小豆，先食服三丸。

又方 酒一升半，浸肥皂莢兩挺，經宿煮取半升，分三服。七日忌如藥法。若吐多，以醋飯三四口止之。

又方 巴豆炮去皮，勿傷破肉白，飲吞下，初日二枚，二日三枚。

又方 服芥子七丸，以油酒下之。

射干煎

治咳嗽上氣方。

生射干 款冬花(各二兩) 紫菀 細辛 桑白皮 附子 甘草(各二分) 白蜜 竹瀝 生
上十一味，先以射干納白蜜、竹瀝中，煮五六沸去之， 咀六物，以水一升合浸一宿，煎七上七下，去滓，乃合飴糖、薑汁煎如，服如酸棗一丸，日三。劇者，夜二。不止加之，以止為度。

杏仁煎

治冷嗽上氣，鼻中不利方。

杏仁(五合) 五味子 款冬花(各三合) 紫菀 乾薑(各二兩) 桂心(三兩) 甘草(四兩) 麻黃(一斤)
上八味以水一斗，煮麻黃取四升，治諸藥為末，又納膠飴半斤，白蜜一斤，合納汁中，攪令相得，煎如飴，先食服如半棗許，日三服。不知者加之，以知為度。

又方 治忽暴嗽失聲語出方。

杏仁 薑汁 砂糖 蜜(各一升) 紫菀 五味子(各三兩) 通草 貝母(各四兩) 桑皮(五
上九味 咀，以水九升，煮取三升，去滓，納杏仁脂、薑汁、蜜、糖和攪，微火煎取四升，初服三合，日再夜一，後稍加之。

通聲膏方

五味子 款冬花 通草(各三兩) 人參 青竹皮 細辛 桂心 菖蒲(各二兩) 杏仁 薑汁(各一升) 白蜜(二升) 棗膏(三升) 酥(五升)
上十三味 咀，以水五升，微火煎，三上三下，去滓，納薑汁、棗膏、酥、蜜，煎令調和，酒服棗大二丸。

杏仁飲子

治暴熱嗽方。

杏仁(四十枚) 紫蘇子(一升) 橘皮(一兩) 柴胡(四兩)
上四味 咀，以水一斗，煮取三升，分三服。

蘇子煎

治上氣咳嗽方。

蘇子　杏仁　生薑汁　地黃汁　白蜜（各二升）
上五味，搗蘇子，以薑汁，地黃汁澆之，以絹絞取汁澆，又絞令味盡，去滓，熬杏仁令黃黑，治如脂，又以向汁澆之，絹絞往來六七度，令味盡，去滓納蜜合和，置銅器中，於湯上煎之，令如飴，每服方寸匕，日三夜一。（崔氏無地黃汁。）

又方　乾薑末（五兩）　膠飴（一升）
上二味和令調，蒸五升米下，冷，以棗大含化，稍稍咽之，日五夜二。

芫花煎

治新久嗽方。

芫花　乾薑（各二兩）　白蜜（一升）
上二味為末，納蜜中令相合，微火煎，令如糜，每服如棗核大一枚，日三夜一，以知為度。欲利者多服。（深師以治冷凍飲料嗽，又治三十年久嗽者，以水五升煮芫花，取三升去滓，納薑加蜜合煮，如糜服之）。

款冬煎

治同前。

款冬花　乾薑　紫菀（各三兩）　五味子（二兩）　芫花（一兩熬令赤）
上五味　咀，以水一斗煮三味，取三升半，去滓，納芫花、乾薑末，加蜜三升合，投湯中令調，於銅器中，微火煎，令如飴，每服半棗許，日三。

治三十年咳嗽，或飲或咳，寒氣嗽雖不同悉主之方：

細辛　款冬花　防風　紫菀（各三兩）　藜蘆（二兩）　蜀椒（五合）
上六味　咀，取藜蘆先著銅器中，次紫菀，次細辛，次款冬，次椒，以大棗百枚間著諸藥間，以水一斗二升，微火煮令汁盡，出棗曝令燥，雞鳴時服半棗，不知明旦服一枚，以胸中溫溫為度。若強人欲嗽吐者，可小增服之，便吐膿囊裹結，吐後勿冷凍飲料食，咳愈止藥，藥勢靜乃食，不爾，令人吐不止。

治三十年久嗽方：

百部根二十斤，搗取汁，煎如飴，服一方寸匕，日三服。（《外台》和飴一斤煎成煎，以

又方　紫菀（二兩）　款冬花（三兩）
上二味治，下篩，先食，飲服方寸匕，日三服，七日瘥。

又方　白蜜（一斤）　生薑（二斤取汁）
上二味，先秤銅銚斤兩訖，納蜜複秤知數，次納薑汁，以微火煎令薑汁盡，惟有蜜斤兩乃止，旦服如棗大，含一丸，日三服。禁一切雜食。

治久嗽不瘥方：

兔屎(四十九枚) 砂(二分) 胡桐律(一分)
上三味為末，蜜丸如梧子大，每服三丸，以粥飲下，日三服。吐令物盡，即瘥。

紫菀丸

治積年咳嗽，喉中呀聲一發不得坐臥方。

紫菀 貝母 半夏 桑白皮 百部 射干 五味子(各五分) 皂莢 乾薑 款冬花 細辛 橘皮 鬼督郵(各四分) 白石英 杏仁(各八分) 蜈蚣(二枚)
上十六味為末，蜜和丸如梧子大，飲服十丸，日再服，稍加至二十丸。(崔氏無半夏、射

款冬丸

治三十年上氣咳嗽唾膿血，喘息不得臥方。

款冬花 乾薑 蜀椒 吳茱萸 桂心 菖蒲 人參 細辛 薤花(各五分) 紫菀 甘草 桔梗 防風 芫花 茯苓 皂莢(各三分)
上十六味為末，蜜丸如梧子大，酒服三丸，日三。

又方 款冬花 紫菀 細辛 蜀椒 桂心 菖蒲 人參 甘草 防風 石斛 川芎 當歸 本 白朮 半夏 天雄 鐘乳 麻黃(各三兩) 獨活(二兩) 烏頭 附子 芫花 (各一兩) 桃仁(二十枚) 大棗(二十五枚)
上二十四味為末，蜜丸如梧子大，酒服二十丸，日二服。不知加之。酒漬服亦得。

又方 款冬花 紫菀 乾薑 桂心(各三兩) 細辛(二分) 杏仁 皂莢 石菖蒲 烏頭(各一分) 川椒(五合) 吳茱萸(六合)
上十二味為末，蜜丸如梧子大，酒服五丸，日三夜一。二十年嗽，不過五十日愈。患咳 嗽喉鳴上氣，服一劑永瘥。

治肺傷咳唾膿血，腸澼背痛不能食，惡風目暗□□，足脛寒冷方：

白膠 生薑(各五兩) 桂心 人參 紫菀(各二兩) 地黃(切半升) 桑白皮(切二升) 川芎 大麻仁 飴糖(各一升) 大麥(二升) 大棗(二十枚)
上十二味 咀，以水一斗五升煮麥，取一斗，去麥納藥，煮取三升，分五服。

五味子湯

治唾中有膿血，牽胸脅痛方。

五味子 桔梗 紫菀 甘草 川斷(各三兩) 桑皮 地黃(各五兩) 竹茹(三兩) 赤小豆
上九味 咀，以水九升，煮取二升七合，分三服。

竹皮湯

治咳逆下血不息方。

生竹皮（三兩） 紫菀（二兩） 飴糖（一斤） 生地黃（切，一斤）
上四味 咀，以水六升，煮取三升，去滓，分三服。

百部丸

治諸嗽不得氣息，唾膿血方。

百部根（三兩） 升麻（半兩） 桂心 五味子 甘草 乾薑 紫菀（各一兩）
上七味為末，蜜丸如梧子大，每服三丸，日三，以知為度。

治上氣咳嗽喘息，喉中有物唾血方：

生薑汁 杏仁（各二升） 豬膏（二合） 蜜 飴糖（各一升）
上五味，先以豬膏煎杏仁，色黃出之，以紙拭令盡，搗如膏合薑汁、糖蜜等，合煎令可丸，每服如杏核大一枚，日夜六七服，漸漸增加之。

治一切肺病咳嗽膿血，及唾血不止方：

好酥三十斤三遍煉，停取凝，當出醍醐，服一合，日三服，瘥止。一切藥皆不出此神方

又方 三煉酥如雞子黃，適寒溫灌鼻中，日二夜一。

鐘乳七星散

（一名吸散）治寒冷咳嗽上氣，胸滿唾膿血方。

鐘乳 礬石 款冬花 桂心（等分）
上四味治，下篩，作如大豆七，聚七星形，以小筒吸取酒送下，先食服，日三，不止加之。數試大驗。又云：臨臥吸服之。

又方 鐘乳 細辛 款冬花 天雄 紫菀 石膏（等分）
上六味治，下篩，取如大豆七，聚如前法吸之，日二。只得食粥，七日嗽愈乃止。若大豆聚不知，小益之，勿太多。

七星散

治三十年咳嗽方。

款冬花 紫菀 桑白皮 代赭 細辛 伏龍肝（各一兩）
上六味治，下篩，作七星聚如扁豆者，以竹筒口當藥上，一一吸咽之，令藥入腹中，先食日三丸，凡服四日，日複作七星聚，以一臠肉炙令熟，以展轉藥聚上，令藥悉遍肉上，仰臥咀嚼肉，細細咽汁，令藥力歙歙割割然毒瓦斯入咽中，藥力盡，總咽即取瘥止。（未瘥，作之如初，羊、牛、鹿肉皆可，勿用豬肉）。

治嗽熏法

以熟艾薄敷布紙上。紙廣四寸，後以硫黃末敷布艾上，務令調勻，以荻一枚，如紙長，卷之作十枚，先以火燒纏下去荻，煙從孔退場門吸煙，咽之取吐，止。明旦複熏之如前，日一二止，自然可瘥。得食白粥，餘皆忌。

又方　熏黃一兩研令細，以蠟紙並上熏黃相入，調勻卷之如前法，熏之亦如上法，日一二止，以吐為度。七日將息後，以羊肉羹補之。

又方　爛青布廣四寸，上布艾，艾上布青礬末，礬上布少熏黃末，又布少鹽，又布少豉末，急卷之燒令著，納燥罐中，以紙蒙頭，便作一小孔，吸取煙，細細咽之，以吐為度。

若心胸悶時，略歇煙盡止。日一二用，用三卷不盡，瘥。三七日慎油膩。

論曰：凡上氣多有服吐藥得瘥者，亦有針灸得除者，宜深體悟之。

灸法

嗽，灸兩乳下黑白際各百壯，即瘥。又以蒲當乳頭周匝圍身，令前後正平，當脊骨解中，灸十壯。又以繩橫量口中，折繩從脊，灸繩兩頭邊各八十壯，三報，三日畢。兩邊者是口合度。灸從大椎數下行，第五節下第六節上，穴在中間(即神道穴)。隨年壯。並主上氣。

灸手屈臂中橫紋外骨捻頭，得痛處十四壯。

上氣咳嗽，短氣氣滿，食不下，灸肺募五十壯。

上氣咳逆短氣，風勞百病，灸肩井二百壯。

上氣短氣，咳逆胸背痛，灸風門熱府百壯。

上氣咳逆，胸滿短氣牽背痛，灸巨闕、期門各五十壯。

上氣胸滿咳逆短氣，灸雲門五十壯。

上氣咳逆，胸痺背痛，灸胸堂百壯，不針。

上氣咳逆，灸膻中五十壯。

上氣氣閉，咳逆咽冷聲破喉猜，灸天瞿五十壯(一名天突)。

逆氣虛勞，寒損憂恚，筋骨攣痛，心中咳逆，泄痓腹滿，喉痺頸項強，腸痔痔血，陰急鼻衄骨痛，大小便澀，鼻中干，煩滿狂走易氣，凡二十二病，皆灸絕骨五十壯。穴在外踝上三寸宛宛中。

痰飲第六

（論一首 方四十一首 灸法一首）論曰：夫飲有四，何謂？師曰：有痰飲，有懸飲，有溢飲，有支飲。問曰：四飲之証何以為異？師曰：其人素盛今瘦，水走腸間瀝瀝有聲，謂之痰飲。飲後水流在脅下，咳唾引痛謂之懸飲。飲水過多，水行歸於四肢，當汗出而汗不出，身體疼重，謂之溢飲。其人咳逆倚 息，短氣不得臥，其形如腫，謂之支飲。

凡心下有水者，築築而悸，短氣而恐，其人眩而癲。先寒即為虛，先熱即為實。故水在於心，其人心下堅，築築短氣，惡水而不欲飲。水在於肺，其人吐涎沫，欲飲水。水在於脾，其夫病患卒飲水多，必暴喘滿。凡食少飲多，水停心下，甚者則悸，微者短氣。脈雙弦者寒也，皆大下後喜虛耳。脈偏弦者飲也，肺飲不弦，但喜喘短氣。支飲亦喘而不能眠加短氣，其脈平也。留飲形不發作，無熱，脈微，煩滿不能食，脈沉滑者留飲病。病有留飲者，脅下痛，引缺盆，嗽轉甚。其人咳而不得臥，引項上痛，咳者如小兒掣 狀。夫胸中有留飲，其人短氣而渴，四肢歷節痛。其脈沉者，有留飲也。心下有留飲，其人背寒冷大如手，病患肩息上引。此皆有溢飲在胸中。久者缺盆滿，馬刀腫有劇時，此為氣飲所致也。膈上之病，滿喘咳吐，發則寒熱，背痛惡寒，目泣自出，其人振振身 劇，必有伏飲。病患一臂不遂，時複轉移在一臂，其脈沉細，此非風也，必有飲在上焦。其脈虛者為微勞，營衛氣不周故也，冬自瘥（一本作久久自瘥。）病痰飲者，當以溫藥和之。

小半夏湯

病心腹虛冷游痰氣上胸脅滿，不下食嘔逆者方。

半夏（一升） 生薑（一斤） 橘皮（四兩）
上三味 咀，以水一斗，煮取三升，分三服。若心中急及心痛，納桂心四兩。若腹滿痛，納當歸三兩，羸弱及老人尤宜服之。一方用人參二兩（仲景無橘皮、人參。）。

又方 半夏（一升） 生薑（一斤） 桂心（三兩） 甘草（一兩）
上四味 咀，以水七升，煮取二升半，分三服。

甘草湯

治心下痰飲，胸脅支滿目眩方。

甘草（二兩） 桂心 白朮（各三兩） 茯苓（四兩）
上四味 咀，以水六升宿漬，煮取三升，去滓，服一升，日三，小便當利。

十棗湯

治病懸飲者，若下後不可與也。凡上氣汗出而咳者，此懸飲也。（方見本卷咳

小青龍湯

病溢飲者，當發其汗，小青龍湯主之（方見本卷咳嗽篇中。）（范汪用大青龍湯）。

木防己湯

治膈間有支飲，其人喘滿，心下痞堅，面色黧黑，其脈沉緊，得之數十日，醫吐下之不愈者，用此方。

木防己（三兩） 桂心（二兩） 人參（四兩） 石膏（雞子大十二枚）
上四味 咀，以水六升，煮取二升，分二服，虛者即愈。實者三日複發，發則複與，若 不愈去石膏加茯苓四兩，芒硝三合，微下利即愈。（一方不加茯苓。）

濃朴大黃湯

夫酒客咳者，必致吐血，此坐久飲過度所致。其脈虛者必胸滿，胸中有支飲，此方主之。

濃朴（一尺） 大黃（六兩） 枳實（四兩）
上三味 咀，以水五升，煮取二升，溫服，分二服。

嘔家不渴，渴為欲解，今反不渴，心下有支飲故也，小半夏湯主之。又有先渴即嘔者，此為水停心下，小半夏加茯苓湯主之。

小半夏加茯苓湯

治卒嘔吐心下痞，膈間有水，目眩悸方。

半夏（一升） 生薑（半斤） 茯苓（三兩）
上三味 咀，以水七升，煮取一升五合，去滓，溫分再服。（胡洽不用茯苓，用桂心四兩。）

五苓散

假令瘦人臍下有悸者，吐涎沫而癲眩，水也，此方主之。（方見前九卷傷寒上

椒目丸

治腹滿，口乾燥，此腸間有水氣，此方主之。

椒目 木防己 大黃（各一兩） 葶藶（二兩）
上四味為末，蜜丸如梧子大，先食飲服一丸，日三，後稍增，口中有津液止。渴者，加芒硝半兩。

甘遂半夏湯

病者脈伏，其人欲自利，利者反快，雖利心下續堅滿，此為留飲，欲去故之。

甘遂（大者三枚） 半夏（十二枚，以水一升，煮取半升） 芍藥（三枚） 甘草（一枚如指大，上四味以蜜半升，納二藥汁合一升半，煎取八合，頓服之。

大茯苓湯

主胸中結痰飲 結，臍下弦滿，嘔逆不得食，亦主風水方。

茯苓 白朮(各三兩) 半夏 桂心 細辛(一作人參) 生薑(各四兩) 橘皮 附子 當歸(各二兩)
上九味 咀, 以水一斗, 煮取三升, 去滓, 分三服, 服三劑。良。

茯苓湯

主胸膈痰滿方。

茯苓(四兩) 半夏(一升) 生薑(一斤) 桂心(八兩)
上四味 咀, 以水八升, 煮取二升半, 分四服。冷極者加大附子四兩, 若氣滿者加檳榔三七枚。

大半夏湯

治冷痰飲 胸膈, 中氣不運方。

半夏(一升) 白朮(三兩) 茯苓 人參 甘草 桂心 附子(各二兩) 生薑(八兩)
上八味 咀, 以水八升, 煮取三升, 分三服。

半夏湯

治痰飲 氣吞酸方。

半夏 吳茱萸(各三兩) 生薑(六兩) 附子(一枚)
上四味, 以水五升, 煮取二升半, 分三服, 老少各半, 日三。

乾棗湯

治腫及支滿 飲方。

大棗(十枚) 大戟 大黃 甘草 甘遂 黃芩(各一兩) 芫花 蕘花(各半兩)
上八味 咀, 以水五升, 煮取一升六合, 分四服。空心服, 以快下為度。

當歸湯

治留飲宿食不消, 腹中積聚轉下方。

當歸 人參 桂心 黃芩 甘草 芍藥 芒硝(各二兩) 大黃(四兩) 澤瀉 生薑(各三兩
上十味 咀, 以水一斗, 煮取三升, 分三服。

治痰飲飲食不消乾嘔方：

人參 旋複花 橘皮 細辛(各一兩) 澤瀉 白朮 杏仁 枳實(各一兩) 茯苓 半夏 生薑 柴胡 芍藥(各三兩)
上十三味 咀, 以水九升, 煮取二升七合, 分三服, 日二。

治胸中痰飲腸中水鳴, 食不消嘔吐水方：

檳榔(十二枚) 生薑 杏仁 白朮(各四兩) 半夏(八兩) 茯苓(五兩) 橘皮(三兩)
上七味 咀, 以水一斗, 煮取三升, 去滓, 分三服。

吳茱萸湯

治胸中積冷, 心嘈煩滿汪汪。不下飲食, 心胸應背痛方。

吳萸(三兩) 半夏(四兩) 人參 桂心(各二兩) 甘草(一兩) 生薑(三兩) 大棗(二十枚)
上七味 咀, 以水九升, 煮取三升, 去滓, 分三服, 日三。

治胸膈心腹中痰水冷氣, 心下汪洋嘈煩, 或水鳴多唾, 口中清水自出, 脅肋急脹, 痛不欲飲食, 此皆胃氣弱受冷故也, 其脈來沉弦細遲悉主之方：

半夏 生薑(各五兩) 芍藥(三兩) 茯苓(四兩) 旋複花 細辛 橘皮 桂心 人參 甘
上十一味 咀, 以水一斗, 煮取三升, 分三服。病先有時喜水下者, 用白朮三兩, 去旋複花, 若欲得利者加大黃二兩。須微調者, 用乾地黃。

治冷熱久 實, 不能飲食, 心下虛滿如水狀方：

前胡 半夏 茯苓 生薑(各四兩) 枳實 白朮 甘草(各三兩) 桂心二兩)
上八味 咀, 以水八升, 煮取三升, 分三服。

前胡湯

治胸中久寒 實, 隔塞胸痛, 氣不通利, 三焦冷熱不調, 飲食減少無味, 或寒熱身重臥不欲起方。

前胡(三兩) 人參 當歸 半夏 甘草(各二兩) 大黃 防風 麥冬 吳萸 黃芩(各一兩) 生薑(四兩) 杏仁(四十枚)
上十二味 咀, 以水一斗, 煮取三升, 去滓, 分三服。(深師方云：若脅下滿, 加大棗十

旋複花湯

治胸膈痰結唾如膠, 不下食者方。

旋複花 細辛 前胡 茯苓 甘草(各二兩) 生薑(八兩) 桂心(四兩) 半夏(一升)烏頭(三枚)
上九味 咀, 以水九升, 煮取三升, 去滓, 分三服。

薑椒湯

治胸中積聚痰飲, 飲食減少, 胃氣不足, 咳逆嘔吐方。

薑汁(七分) 川椒(三合) 桂心 附子 甘草(各一兩) 橘皮 桔梗 茯苓(各二兩)半夏(三兩)
上九味 咀, 以水九升, 煮取二升半, 去滓納薑汁, 煮取二升, 分三服, 服三劑止。

若飲服大散諸五石丸, 必先服此湯, 及進黃 丸, 佳。(一方不用甘草。

薑附湯

治痰冷 氣嘔沫，胸滿短氣，頭痛，飲食不消化方。

生薑（八兩） 附子（四兩，生用四破）
上二味 咀，以水八升，煮取二升，分四服。亦主卒風。

撩膈散

治心上結痰飲實寒冷心悶方。

瓜丁（二十八枚） 赤小豆（二七枚） 人參 甘草（各一分）
上四味治，下篩為末，酒服方寸匕，日二。亦治諸黃。

斷膈湯

治胸中痰 方。

恆山（三兩） 甘草 松蘿（各一兩） 瓜蒂（二十一枚）
上四味 咀，以水酒各二升半，煮取一升半，分三服。後漸減之，得快吐後，須服半夏湯。（方見本卷前篇。）

松蘿湯

治胸中痰積熱皆除方。

松蘿（二兩） 烏梅 梔子（各十四枚） 恆山 甘草（各三兩）
上五味 咀，以酒三升浸一宿，平旦以水三升，煮取一升半，去滓，頓服之。亦可分二服。一服得快吐，即止。

杜蘅湯

治吐百病方。

杜蘅 松蘿（各三兩） 瓜丁（二七枚）
上三味 咀，以酒一升二合漬二宿，去滓，分二服。若一服即吐者，止。未吐者，重 服，相去如人行十裡久，令藥力盡，服稀糜一升即定。老小用之，亦佳。

蜜煎

主寒熱方。

蜜（五合） 恆山 甘草（各一兩，一方用半兩）
上三味取二味 咀，以水一斗，煮取二升，去滓納蜜，溫服七合，吐即止。不吐，更服七合，勿與冷水。

又方 蜜(二合) 醋(八合)
上二味調和，平旦頓服。須臾猥猥然欲吐， 之，若意中不盡，明旦更服，無不大嘔安穩。

治卒頭痛如破，非中冷又非中風，其痛是胸膈中痰厥氣沖所致，名為厥頭痛，吐之即瘥方：

單煮茗作飲二三升許，適冷暖，飲二升，須臾 令吐，吐畢又飲，如此數過。劇者，須吐膽汁乃止。不損人而渴則瘥。

蔥白湯

治冷熱膈痰，發時頭痛悶亂，欲吐不得者方。

蔥白(二七莖) 桃葉(一握，一作枇杷葉) 真珠 恆山 烏頭 甘草(各半兩)
上六味 咀，以酒水各四升和煮，取三升，去滓納珠末，每服一升，吐即止。

大五飲丸

主五種飲：一曰留飲，水停在心下；二曰 飲，水 在兩脅下；三曰痰飲，水在胃中；四曰溢飲，水溢在膈上五臟間；五曰流飲，水在腸間，動搖有聲。夫五飲者，由飲酒後及傷寒飲冷水過多所致方。

蒞蓉 遠志 苦參 藜蘆 烏賊骨 白朮 甘遂 大黃 石膏 栝蔞根 桔梗 半夏 紫菀 前胡 五味子 芒硝 桂心 芫花 大戟 葶藶 黃芩 貝母 人參 茯苓 當歸 芍藥(各一兩) 甘草 恆山 山藥 濃朴 細辛 附子(各三分) 巴豆(三十枚)
上三十三味治下篩，蜜和丸如梧子大，飲服三丸，日三，稍稍加之，以知為度。

旋複花丸

治停痰 飲結在兩脅，腹脹滿，羸瘦不能食，食不消化，喜唾乾嘔，大小便或澀或利，腹中搖動作水聲，腹內熱，口乾好飲水漿，卒起頭眩欲倒，脅下痛方。

旋複花 桂心 枳實 人參(各五分) 甘遂(三分) 吳茱萸 細辛 大黃 黃芩 葶藶 濃朴 芫花 橘皮(各四分) 乾薑 芍藥 白朮(各六分) 茯苓 野狼毒 烏頭 石(各八分)
上二十味為末，蜜丸如梧子大，酒服五丸，日二。後加以知為度。(《延年方》無白朮、野狼毒蜀椒、杏仁、防葵各三分，地黃四分。)

中軍候黑丸

治 飲停結，滿悶目暗方。

芫花(三兩)，巴豆(八分) 杏仁(五分) 桂心 桔梗(各四分)
上五味為末，蜜丸如胡豆，每服三丸，稍增得快下止。

順流紫丸

治心腹積聚，兩脅脹滿，留飲痰癖，大小便不利，小腹切痛膈上塞方。

石膏(五分) 桂心(四分) 巴豆(七枚) 代赭 烏賊骨 半夏(各三分)
上六味為末，蜜丸如胡豆，平旦服一丸，加至二丸。(胡洽有藜蘆、蓫蓉、當歸各三分。

《范汪方》無石膏、半夏，有當歸一分，蓫蓉二分，茯苓三分，藜蘆五分。)

治停痰 飲結在兩脅，腹滿羸瘦不能飲食，食不消，喜唾乾嘔，大小便或澀或利方：

旋複花 大黃 附子 茯苓 椒目 桂心 芫花 野狼毒 乾薑 芍藥 枳實 細辛(各八分)
上十二味為末，蜜丸如梧子大，飲下三丸，日三服，後漸增。

治風氣膈上痰飲方：

用不開口苦瓠一枚，湯煮三五沸，以物裹熨心膈上。

治結積留飲 囊胸滿，飲食不消方：

灸通谷五十壯。

九蟲第七

(論三首 方四十五首) 論曰：人腹中有尸蟲，此物與人俱生，而為人大害。尸蟲之形狀似大馬尾，或如薄筋，依脾而居，乃有頭尾，皆長三寸。又有九蟲，一曰伏蟲，長四分。二曰蛔蟲，長一尺。三曰白蟲，長一寸。四曰肉蟲，狀如爛杏。五曰肺蟲，狀如蠶。六曰胃蟲，狀如蝦蟆。七曰弱蟲，狀如瓜瓣。八曰赤蟲，狀如生肉。九曰蟯蟲，至細微，形如菜蟲狀。伏蟲，則群蟲之主也。

蛔蟲貫心則殺人。白蟲相生，子孫轉多，其母轉大，長至四五丈，亦能殺人。肉蟲令人煩滿。

肺蟲令人咳嗽。胃蟲令人嘔吐，胃逆喜噦。弱蟲又名膈蟲，令人多唾。赤蟲令人腸鳴。蟯蟲居胴腸之間，多則為痔，劇則為癩。因人瘡痍，即生諸癰、疽、癬、 、 、疥、齲，蟲無所不為，人亦不必盡有，有亦不必盡多。或偏有，或偏無，類婦人常多，其蟲凶惡，人之極患也。常以白筵草沐浴佳，根葉皆可用，既是香草，且是尸蟲所畏也。

論曰：凡欲服補藥及治諸病，皆須去諸蟲，並痰飲宿 醒醒除盡，方可服補藥，不爾，必不得藥力。

治肝勞生長蟲，在肝為病恐畏不安眼中赤方：

蠟 吳茱萸東行根皮(各二兩) 干漆(四兩) 雞子(五枚去黃) 粳米粉(半斤)
上五味搗吳茱萸皮為末和藥，銅器中煎可丸，如小豆大，宿勿食，平旦飲服一百丸，小兒服五十丸，蟲當爛出。(《集驗方》無吳萸根，名雞子丸。)

治心勞熱傷，心有長蟲名曰蠱長一尺，貫心為病方：

雷丸 橘皮 桃仁(一作桃皮) 石蠶(各五分) 野狼牙(六分) 貫眾(二枚) 僵蠶(三七枚)
上十二味為末，蜜丸如梧子大，空腹飲或酒下七丸，加至二七丸，日二服。(一方無石蠶。

治脾勞熱，有白蟲在脾中為病，令人好嘔下蟲方：

大麻子(八升) 東引吳茱萸根(一尺大者) 橘皮(二兩)
上三味 咀, 以水煎, 臨時量服, 凡合, 禁聲勿語道作藥, 蟲當聞便不下, 切忌之。

治肺勞熱生蟲, 在肺為病方：

野狼牙(三兩) 東行吳茱萸根白皮(五合) 東行桑根白皮(切一升)
上三味 咀, 以酒七升, 煮取一升, 平旦頓服之。

治腎勞熱, 四肢腫急, 蟯蟲狀如菜蟲, 在腎中為病方：

蕪荑 胡粉 槐皮(各一兩) 干漆(二兩) 貫眾(三枚) 杏仁(四十枚) 吳萸(五十枚)
上七味治, 下篩, 平旦以井花水服方寸匕, 加至一匕半, 瘥止。

治蟯蟲方：

以好鹽末二兩, 苦酒半升合銅器中, 煮數沸, 宿不食, 空心頓服之。

又方 真珠(二兩) 亂髮(如雞子大燒末。)
上二味治下篩, 以苦酒調, 旦起頓服之。(《肘後方》用治三蟲)。

藨蕪丸

治少小有蛔蟲, 結在腹中, 數發腹痛, 微下白汁, 吐悶寒熱, 飲食不生肌皮, 肉痿黃四肢不相勝舉方：

藨蕪 貫眾 雷丸 山茱萸 天冬 野狼牙 (各八分) 蘆 甘菊(各四分)
上八味為末, 蜜丸如大豆, 三歲飲服五丸, 五歲以上以意加之, 漸至十丸。加 蘆六分名 蘆丸, 治老小及婦人等萬病。腹內冷熱不通, 急滿痛, 胸膈堅滿, 手足煩熱上氣, 不得飲食, 身體氣腫腰腳不遂, 腹內狀如水雞鳴, 女人月經不調, 無所不治。

治蛔蟲方：

蘆末以飲 和, 服方寸匕不覺, 加之。(《備急方》治蟯蟲)。

治熱患有蛔蟲懊惱方：

蘆(十分) 干漆 扁竹(各二分)
上三味治, 下篩, 米飲和一合服之。日三。

治蛔蟲在胃中漸漸羸人方：

干漆(《外台》作鹽) 醇酒 白蜜(各一升)
上三味納銅器中微火煎, 令可丸如桃核一枚, 溫酒中, 宿勿食, 旦服之, 蟲必下。未下更服。(《外台》治蟯蟲)。

又方 取楝實納醇苦酒中浸再宿, 用綿裹, 納穀道中入三寸, 一日易之(《集驗方》用治長

治蛔蟲攻心腹痛方：

銼薏苡根三斤，以水七升，煮取三升，先食服之，蟲即死出。

又方　鶴虱為末，苦酒空腹服方寸匕，佳。

又方　七月七日采蒺藜子陰乾燒灰，先食服方寸匕，日三，即瘥。

治寸白蟲方：

吳茱萸細根（一握，熟搗）大麻子（三升，熬，搗末）
上二味以水三升和搦取汁，平旦頓服，至巳時與好食令飽，須臾蟲出。不瘥，明旦更合　服之。不瘥，三日服。（《肘後》治三蟲，以酒漬，取汁服）。

又方　蕪荑（六分）野狼牙（四分）白薇（二分）
上三味治，下篩，以苦酒二合，和一宿，次早空腹服之。

又方　胡麻（一升）胡粉（一兩）
上二味為末，平旦空腹，以豬肉　汁啖盡，即瘥。

又方　以楹子四十九枚，去皮，月上旬平旦空腹服七枚，七日服盡，蟲消成水，永瘥

又方　以吳茱萸北陰根幹去土切一升，以酒一升浸一宿，平旦分二服。凡茱萸皆用細根東引北陰者良。若如指以上大，不任用。

又方　用石榴根如茱萸法，亦可水煮服。

又方　大麻搗取汁，五升分五服。亦治小兒蛔蟲。

又方　以好麻油二升煎令熟，納蔥白三寸令黑便熟，冷，頓服之。

又方　熬餳令十分燥作末，以方寸匕納羊肉　中，服之。

又方　桑根白皮切三升，以水七升，煮取二升，宿勿食，平旦空腹頓服之。

又方　檳榔二七枚治，下篩，以水二升半，先煮其皮，取一升半，去滓納末，頓服。

暖臥蟲出，出不盡更合服，取瘥止。宿勿食，旦服之。

論曰：凡得傷寒及天行熱病，腹中有熱，又人食少，腸胃空虛，三蟲行作求食，蝕人五臟及下部。若齒齦無色，舌上盡白，甚者唇裡有瘡，四肢沉重，忽忽喜眠，當數看其上唇，內有瘡唾血，唇內如粟瘡者，心內懊惱痛悶。此蟲在上蝕其五臟；下唇內生瘡者，其人喜眠，此蟲在下蝕其下部，人不能知，可服此蝕蟲藥，不爾，　蟲殺人。又曰：凡患濕　者，多是熱病後或久下不止，或有客熱結在腹中，或易水土溫涼氣著，多生此病。亦有干，不甚泄痢，而下部瘡癢。不問乾濕，久則殺人。凡濕得冷而苦痢，單煮黃連及艾葉、苦參之屬，皆可用之。若病患齒齦無色，舌上白者，或喜眠煩憒，不知痛癢處，或下痢，急治下部。不曉此者，但攻其上，不以下部為意。下部生瘡，蟲蝕其肛，肛爛見五臟便死，燒艾於竹筒熏之。

治傷寒 蟲病方：

取生雞子小頭叩出白，入漆一合，熟和攪令極調，當沫出，更納著殼中，仰吞之，食頃或半日乃吐下蟲。劇者再服，蟲盡熱除病愈。

治濕 方：

黃連（十分） 生薑（十分） 苦參（四分） 艾葉（八分）
上四味 咀，以水一斗，煮取三升，分三服。久者服三劑。

懊惱散

治濕 瘡爛殺除蟲 方。

扁竹（半兩） 蘆 雷丸 青葙子 女青 桃仁（各三兩）
上六味治，下篩，粥飲服方寸匕，日三。加至二匕。亦可酒服。

青葙散

治熱病有，下部生瘡方。

青葙子（一兩） 橘皮 扁竹（各二兩） 蘆（四兩） 甘草（一分） 野狼牙（三分）
上六味治，下篩，米飲和，每服一合，日三。不知，稍加之。（《短劇》無甘草）。

薑蜜湯

治濕 方 生薑汁（五合） 白蜜（三合） 黃連（三兩）
上三味以水二升，別煮黃連，取一升，去滓納薑、蜜更煎，取一升二合，五歲兒平旦空腹服四合，日二。

治 蟲蝕下部癢，穀道中生瘡方：

阿膠 當歸 青葙子（各二兩） 艾葉（一把）
上四味 咀，以水八升，煮取二升半，去滓，分三服。

杏仁湯

治 方。

杏仁（五十枚） 苦酒（二升） 鹽（一合）
上三味和煮，取五合，頓服之，小兒以意量之。

桃皮湯

治蟯蟲、蛔蟲及痔， 蟲食下部生瘡方。

桃皮 艾葉(各一兩) 槐子(三兩) 大棗(三十枚)
上四味 咀, 以水三升, 煮取半升, 頓服之, 良。

豬膽苦酒湯

治熱病有, 上下攻移殺人方。

豬膽一具, 苦酒半升和之, 火煎令沸, 三上三下, 藥成放溫, 空腹飲三滿口, 蟲死便愈

治溫病下部有瘡, 蟲蝕人五臟方：

雄黃 皂莢(各一分) 麝香 朱砂(各二分)
上四味為末, 蜜和搗萬杵, 初得病, 酒服如梧子大一丸, 日二。若下部有瘡, 取梧子大末納下部, 日二。

雄黃兌散

治時氣病, 下部生瘡方。

雄黃(半兩) 桃仁(一兩) 青葙子 黃連 苦參(各三兩)
上五味為末, 綿裹如棗核大, 納下部。亦可棗汁服方寸匕, 日三。

治濕 方 青黛(二兩) 黃連 黃柏 丁香(各一兩) 麝香(二分)
上五味治, 下篩, 以小棗大納下部中, 日一度。重者棗大和車脂二三合, 灌下部中, 日二度。

治下部生瘡方：

濃煮桃皮煎如飴, 取納下部, 若口中有瘡含之。

治濕 方：

取生薑刮去皮斷理切之, 極熟, 研取汁一升半, 又以水一升半合和相得, 平旦空腹服之。仍削生薑二枚如繭大, 以楸葉、桃葉數重裹訖, 於 灰火中燒令極熱, 納下部中, 食頃。

若濕盛者, 三旦作頻服, 無有不瘥。

治蟲蝕下部方：

胡粉 雄黃
上二味等分為末, 著穀道中, 亦治小兒。

治病 蟲方：

燒馬蹄灰作末, 以豬脂和, 敷綿繩上, 納下部中, 日五度。

治大孔蟲癢方：

蒸大棗取膏, 以水銀捻和長三寸, 綿裹訖, 宿納大孔中, 明旦蟲皆出。水銀損腸, 宜慎之。

治傷寒熱病多睡，變成濕，四肢煩疼不得食方：

羊桃十斤切，搗令熟，暖湯三斗，淹浸之，日正午時入中坐一炊久，不過三度瘥。

治熱病蛄毒，令人喜寐，不知痛處，面赤如醉，下利膿血，當數視其人下部孔稷稷然（一云搜搜然），赤即瘡也。劇因殺人，見人肝肺，服藥不瘥，可熏之方：

以泥作小罌，令受一升，竹筒一枚如指大，一頭橫穿入罌腹中，一頭納入穀道中，淺入。

可取熟艾如雞子大，著罌中燃之，於罌口吹煙，令入人腹，艾盡乃止。大人可益艾。小兒減之。羸者勿多，多亦害人。日再熏，不過三作，蟲則死，下斷。亦可末燒雄黃，如此熏之。

備急千金要方 卷十九腎臟方

唐 孫思邈

（凡八類）

腎臟脈論第一

（論一首）論曰：腎主精。腎者，生來精靈之本也。為後宮內官則為女主，所以天之在我者德也，地之在我者氣也，德流氣薄而生者也，故生來謂之精。精者，腎之藏也。耳者腎之官，腎氣通於耳，耳和則能聞五音矣。腎在竅為耳，然則腎氣上通於耳，下通於陰也。左腎壬，右腎癸，循環玄宮，上出耳門，候聞四遠，下回玉海，挾脊左右，與臍相當，經於上焦，營於中焦，衛於下焦，外主骨，內主膀胱。腎重一斤一兩，有兩枚。神名□，□主藏精。號為精臟。隨節應會，故云腎藏精，精舍志，在氣為欠，在液為唾。腎氣虛則厥逆，實則脹滿，四肢正黑。虛則使人夢見舟船溺人，得其時夢伏水中若有畏怖。腎氣盛則夢腰脊兩解不相屬，厥氣客於凡腎臟象水，與膀胱合為腑。其經足少陰，與太陽為表裡，其脈沉，相於秋，旺於冬。

冬時萬物之所藏，百蟲伏蟄，陽氣下陷，陰氣上升，陽氣中出，陰氣冽為霜，遂不上升，化為霜雪。猛獸伏蟄，蜾蠃匿藏，其脈為沉，沉為陰在裡，不可發汗，發汗則蜾蠃出，見其霜雪。陰氣在表，陽氣在裡，慎不可下，下之者傷脾。脾土弱即水氣妄行。下之者如魚出水，蛾入湯，重客在裡，慎不可熏。熏之逆客，其息則喘，無持客熱，令口爛瘡。陰脈且解，血散不通，正陽遂厥，陰不往從，客熱狂入，內為結胸，脾氣遂弱，清溲痢通。

冬脈如營。冬脈者，腎也，北方水也，萬物之所以合藏也。故其氣來沉以搏，故曰營，反此者病。何如而反？其氣來如彈石者，此謂太過，病在外。其去如數者，此謂不及，病在中。太過則令人解　脊脈痛而少氣不欲言，不及則令人心懸如病飢，　中清，脊中痛，少腹滿，小便變赤黃。

腎脈來喘喘累累如勾，按之而堅曰平，冬以胃氣為本。腎脈來如引葛，按之益堅曰腎病。腎脈來發如奪索，辟辟如彈石曰腎死。

真腎脈至搏而絕，如以指彈石辟辟然，色黃黑不澤毛折乃死。冬胃微石曰平，石多胃少曰腎病，但石無胃曰死石，而有勾曰夏病，勾甚曰今病。凡人以水穀為本，故人絕水穀則死，脈無胃氣亦死。所謂無胃氣者，但得真臟脈不得胃氣也。所謂脈不得胃氣者，肝不弦腎不石也。

腎藏精，精舍志，盛怒不止則傷志，志傷則善忘其前言，腰脊痛不可以俯仰屈伸，毛悴色夭，死於季夏。

足少陰氣絕則骨枯。少陰者，冬脈也，伏行而濡滑骨髓者也。故骨不濡，則肉不能著骨也。骨肉不相親，即肉濡而卻。肉濡而卻，故齒長而垢，發無澤。發無澤者骨先死，戊篤已死，土勝水也。

腎死臟浮之堅，按之亂如轉丸益下入尺中者死。

冬腎水旺，其脈沉濡而滑曰平。反得微澀而短者，是肺之乘腎，母之歸子，為虛邪，雖病易治。反得弦細而長者，是肝之乘腎，子之乘母，為實邪，雖病自愈。反得大而緩者，是脾之乘腎，土之克水，為賊邪大逆，十死不治。反得浮大而洪者，是心之乘腎，火之凌水，為微邪，雖病即瘥。

左手關後尺中陰絕者，無腎脈也。苦足下熱，兩髀裡急，精氣竭少，勞倦所致，刺足太陽治 足少陰右手關後尺中陰絕者，無腎脈也。苦足逆冷上搶胸痛，夢入水見鬼，善驚寐，黑色物來掩人上，刺足太陽治陽。右手關後尺中陰實者，腎實也。苦骨疼腰脊痛，內寒熱，刺足少陰治陰。

腎脈沉細而緊，再至曰平，三至曰離經病，四至脫精，五至死，六至命盡，足少陰脈也。 腎脈急甚，為骨痿癲疾，微急為奔豚沉厥，足不收不得前後緩甚為折脊，微緩為洞下。

洞下者，食不化，入咽還出。大甚為陰痿，微大為石水起，臍下以至少腹腫垂垂然上至胃脘，死黑花。澀甚為大癰，微澀為不月水、沉痔。腎脈搏堅而長，其色黃而赤，當病折腰。其軟而散者，當病少血。黑脈之至也，上堅而大。有積氣在少腹與陰，名曰腎痺，得之沐浴清水而臥。

扁鵲曰：腎有病則耳聾，腎在竅為耳，然則腎氣上通於耳。五臟不和，則九竅不通，陰陽俱盛不得相營，故曰關格。關格者，不得盡期而死也。

腎在聲為呻，在變動為，在志為恐。恐傷腎，精氣並於腎則恐，臟主冬病，在臟者取之井。

病先發於腎，少腹腰脊痛脛酸，一日之膀胱，背膂筋痛，小便閉。二日上之心，心痛。

三日之小腸脹。四日不已死。冬大晨夏晏晡。

病在腎，夜半慧日乘，四季甚，下晡靜。假令腎病中央，若食牛肉及諸土中物得之。不者，當以長夏時發，得病以戊己日也。

凡腎病之狀，必腹大脛腫痛。喘咳身重，寢汗出。憎風虛，即胸中痛，大腹小腹痛清厥，意不樂，取其經足少陰太陽血者。

腎脈沉之而大堅，浮之而大緊，苦手足骨腫厥而陰不興。腰脊痛少腹腫，心下有水氣，時脹閉時泄，得之浴水中，身未干而合房內，及勞倦發之。

腎病其色黑，其氣虛弱，吸吸少氣，兩耳苦聾，腰痛時時失精，飲食減少，膝以下清，其脈沉滑而遲少，為可治，宜服內補散，建中湯，腎氣丸、地黃煎。春當刺涌泉，秋刺複溜，冬邪在腎，則骨痛陰痺。陰痺者，撫之而不得，腹脹腰痛，大便難，肩背頸項強痛，時眩，取之涌泉、昆侖，視有血者盡取之。

有所用力舉重，若入房過度，汗出如浴水，則傷腎。

腎中風（闕） 腎中寒（闕） 腎水者，其人腹大臍腫，腰痛不得溺，陰下濕如牛鼻頭汗，其足逆寒，大便反堅（一云面 腎脹者，腹滿引背央央然，腰髀（一作痺）並痛。

腎著之病，其人身體重，腰中冷如冰狀（一作如水洗狀，一作如坐水中，形如水狀），反不渴，小便自利，食飲如故，是其証也，病屬下焦，從身勞汗出，衣裡冷濕，故久久得之。

腎著之為病，從腰以下冷，腰重如帶五千錢。

診得腎積，脈沉而急，苦脊與腰相引痛，飢則見，飽則減。少腹裡急，口乾咽腫傷爛，目□□，骨中寒，主髓厥善忘，色黑也。

腎之積名曰奔豚，發於少腹上至心下，如豚奔走之狀，上下無時，久久不愈，病喘逆骨痿少氣。以夏丙丁日得之，何也？脾病傳腎，腎當傳心，心適以夏旺。旺者不受邪，腎複欲還脾，脾不肯受，因留結為積，故知奔豚以夏得之。腎病，手足逆冷，面赤目黃，小便不禁，骨節煩疼，少腹結痛，氣沖於心，其脈當沉細而滑，今反浮大，其色當黑而反黃，此是土之克水，為大逆，十死不治。

羽音人者，主腎聲也。腎聲呻，其音瑟，其志恐，其經足少陰，厥逆太陽則營衛不通。

陰陽翻祚，陽氣內伏，陰氣外升，升則寒，寒則虛，虛則厲風所傷，語音謇吃，不轉偏枯，腳偏跛蹇。若在左則左腎傷，右則右腎傷，其偏枯風體從鼻而分半邊至腳。緩弱不遂，口亦 欹，語聲混濁，便利仰人，耳偏聾塞，腰背相引，甚則不可治，腎瀝湯主之。方在第八卷中。

又呻而好恚，恚而善忘，恍惚有所思，此為土克水，陽擊陰，陰氣伏而陽氣起。起則熱，熱 則實，實則怒，怒則忘，耳聽無聞，四肢滿急，小便赤黃，言音口動而不出，笑而看人。此為邪熱傷腎，甚則不可治。若面黑黃耳不應，亦可治。

腎病為瘧者，令人淒淒然腰脊痛宛轉，大便難。目 然身掉不定，手足寒，恆山湯主之，（方在第十卷中）。若其人本來不吃，忽然謇吃而好嗔恚，反於常性，此腎已傷，雖未發覺已是其候見。人未言而前開口笑，還閉口不聲，舉手閘極腹（一作把眼），此腎病聲之候也。

虛實表裡，浮沉清濁，宜以察之，逐以治之。

黑為腎，腎合骨黑如烏羽者吉。腎主耳，耳是腎之餘。其人水形相比於上羽黑色，大頭曲面，廣頤小肩，大腹小手，足發行，搖身下，尻長背延延也。不敬畏，善欺殆，人戮死，耐秋冬，不耐春夏，春夏感而生病，主足少陰。污污然耳大小高下濃薄偏圓，則腎應之。正黑色小理者，則腎小，小即安難傷。粗理者，則腎大，大則虛，虛則腎寒，耳聾或鳴，汗出，腰痛不得俯仰，易傷以邪。耳高者則腎高，高則實，實則腎熱，背急綴痛，耳膿血出。或生肉塞耳，耳後陷者則腎下。下則腰尻痛不可以俯仰，為狐疝。耳堅者則腎堅，堅則腎不受病，不病腰痛。耳薄者則腎脆，脆則傷熱，熱則耳吼鬧，善病消癉。耳好前居牙車者則腎端正。

端正則和利難傷，耳偏高者則腎偏欹。偏欹則善腰尻偏痛。凡人分部骨陷者，必死不免。挾 膀胱並太陽為腎之部，骨當其處陷也，而臟氣通於內外，部亦隨而應之。沉濁為內，浮清為外。若色從外走內者，病從外生部處起。若色從內出外者，病從內生部處陷。內病前治陰後

治陽，外病前治陽後治陰。陽主外陰主內，凡人生死休否，則藏神前變形於外。人腎前病，耳則為之焦枯。若腎前死，耳則為之□黑焦癖。若天中等分暮色應之，必死不治。看應增損斟酌賒促，賒不出四百日內，促則旬日之間。腎病少愈而卒死，何以知之？曰：黃黑色點如拇指應耳，此必卒死。腎絕四日死，何以知之？齒為暴黑，面為正黑，目中黃，腰中欲折，白汗出如流，面黑目青（一作白），腎氣內傷，病因留積，八日當亡，是死變也。面黃目黑不死，黑如 死。吉凶之色，天中等分左右發色不正，此是陰陽官位，相法若不遭官事 而應死也。其人面目帶黃黑連耳左右，年四十以上百日死。若偏在一邊，最凶必死。兩邊有，年上無，三年之內禍必至矣。

冬水腎脈色黑，主足少陰脈也。少陰何以主腎？曰：腎者主陰，陰水也，皆生於腎，此脈名曰太沖。凡五十七穴，冬取其井滎。冬者水始治，腎方閉，陽氣衰少，陰氣堅盛，太陽氣伏沉，陽脈乃法，故取井以下陰氣逆取滎以通（《素問》作實）陽氣。其脈本在內踝下二寸，應其筋起於小趾之下，入足心，並太陰之筋而斜走內踝之下，結於踵，與太陽之筋合而上結於內輔下，並太陰之筋而上循陰股，結於陰器，循脊內挾膂，上至項，結於枕骨，與太陽之筋合。

其脈起於小趾之下，斜趨足心，出然骨之下，循內踝之後，別入跟中以上 內，出 中內廉，上股內後廉，貫脊屬腎絡膀胱。其直者，從腎上貫肝膈入肺中，循喉嚨挾舌本。其支者，從肺出絡心注胸中，合足太陽為表裡，太陽本在跟以上五寸中，同會於手太陰。

其足少陰之別名曰大鐘，當踝後繞跟別走太陽。其別者並經上走於心包，下貫腰脊，主腎生病。病實則膀胱熱，熱則閉癃，癃則陽病，陽脈反逆大於寸口再倍。其病則口熱舌乾，咽腫上氣，咽乾及痛煩心，心痛黃癉，腸，脊骨內後廉痛。痿厥嗜臥，足下熱而痛，灸則強食而生災，緩帶被發，大杖重履而步。虛則膀胱寒，寒則腰痛，痛則陰脈反小於寸口，其病則飢而不欲食，面黑如炭色，咳唾則有血，喉鳴而喘，坐而欲起，目□□無所見，心懸若冬三月者，主腎膀胱黑骨溫病也。其源從太陽少陰相搏，蘊積三焦，上下壅塞，陰毒內行，臟腑受客邪之氣，則病生矣，其病相反。若腑虛則為陰毒所傷，裡熱外寒，意欲守火而引飲，或腰中痛欲折。若臟實則陽溫所損，胸脅切痛，類如刀刺，不得動轉，熱彭彭。若服冷藥過瘥而便洞瀉，故曰黑骨溫病也。扁鵲曰：灸脾肝腎三俞，主治丹金毒黑溫之病，當依 源為理，調臟理腑，清濁之病不生矣。

腎虛實第二

（脈八首 方四首 灸法一首）腎實熱 左手尺中神門以後脈陰實者，足少陰經也。病苦舌燥咽腫，心煩咽乾，胸脅時痛，喘咳汗出，小腹脹滿，腰背強急，體重骨熱，小便赤黃，好怒好忘，足下熱疼，四肢黑，耳聾，名曰腎實熱也。（《脈經》云：腎實熱者，病者膀胱脹閉，小腹與腰脊引痛。） 右手尺中神門以後脈陰實者，足少陰經也。病苦痺身熱心痛，脊脅相引痛，足逆熱煩，名曰腎實熱也。

瀉腎湯

治腎實熱小腹脹滿，四肢正黑，耳聾，夢腰脊離解及伏水等氣急方。

芒硝 茯苓 黃芩(各三兩) 生地汁 菖蒲(各五兩) 磁石(八兩, 碎如雀頭) 大黃(一升
上十味 咀, 以水九升, 煮七味取二升半, 去滓, 下大黃納藥汁中更煮, 減二三合, 去大黃, 納生地汁, 微煎一二沸, 下芒硝, 分為三服。

治腎熱好怒好忘, 耳聽無聞, 四肢滿急, 腰背轉動強直方：

柴胡 茯神(《外台》作茯苓) 黃芩 澤瀉 升麻 杏仁 大青 芒硝(各二兩) 磁 石 (四兩) 羚羊角(一兩) 地黃 淡竹葉(各一升)
上十二味 咀, 以水一斗, 煮取三升, 去滓, 下芒硝, 分為三服。

治腎熱, 小便黃赤不出, 出如梔子汁, 或如黃柏汁, 每欲小便莖頭即痛方：

榆白皮(切) 冬葵子(各一升) 車前草(切, 一升) 滑石(半斤碎) 子芩 通草 瞿麥 (各三兩) 石韋(四兩)
上八味 咀, 以水二斗, 先煮車前草取一斗, 去滓, 澄清, 取九升, 下諸藥, 煮取三升五合, 去滓, 分四服。

腎膀胱俱實 左手尺中, 神門以後, 脈陰陽俱實者, 足少陰與太陽經俱實也。病苦脊強反抑戴眼, 氣上搶心, 脊痛不能自反側, 名曰腎與膀胱俱實也。

右手尺中, 神門以後, 脈陰陽俱實者, 足少陰與太陽俱實也。病苦癲疾, 頭重與目相引, 痛厥欲走, 反眼, 大風多汗, 名曰腎與膀胱俱實也。

腎虛寒 右手尺中, 神門以後, 脈陰虛者, 足少陰經也。病苦心中悶, 下重足腫不可以按地, 名曰腎虛寒也。

右手尺中, 神門以後, 脈陰虛者, 足少陰經也。病苦足脛小弱, 惡寒, 脈代絕時不至, 足寒, 上重下輕, 行不可按地, 小腹脹滿, 上搶胸痛引脅下, 名曰腎虛寒也。

治腎氣虛寒陰痿, 腰脊痛, 身重緩弱, 言音混濁, 陽氣頓絕方：

蓯蓉 白朮 巴戟天 麥冬 茯苓 甘草 牛膝 五味子 杜仲(各八兩) 車前子 乾薑(各五兩) 生地(五斤)
上十二味治下篩, 食後酒服方寸匕, 日三。

治腎風虛寒方：

灸腎俞百壯, 對臍兩邊向後挾脊相去各一寸五分。

腎膀胱俱虛右手尺中, 神門以後, 脈陰陽俱虛者, 足少陰與太陽經俱虛也。病苦小便利, 心痛背寒, 時時小腹滿, 名曰腎膀胱俱虛也。

右手尺中, 神門以後, 脈陰陽俱虛者, 足少陰與太陽經俱虛也。病苦心痛, 若下重不自收篡反出, 時時苦洞泄, 寒中泄, 腎與心俱痛, 名曰腎膀胱俱虛也。

腎勞第三

(論一首 方五首) 論曰：凡腎勞病者, 補肝氣以益之, 肝旺則感於腎矣。人逆冬氣, 則足少陰不藏。腎氣沉濁, 順之則生, 逆之則死;順之則治, 逆之則亂;反順為逆, 是為關格, 病則生矣。

梔子湯

治腎勞實熱，小腹脹滿，小便黃赤，未有餘瀝，數而少，莖中痛，陰囊生瘡 梔子仁 芍藥 通草 石韋（各三兩）石膏（五兩） 滑石（八兩） 子芩（四兩） 生地 榆白皮 淡竹葉（切各一升）
上十味 咀，以水一斗，煮取三升，去滓，分三服。

麻黃根粉

治腎勞熱，陰囊生瘡方。

麻黃根 石硫黃（各三兩） 米粉（五合）
上三味治下篩，安絮如常用粉法搭瘡上，粉濕更搭之。

治腎勞熱妄怒，腰脊不可俯仰，屈伸煮散方：

丹參 牛膝 葛根 杜仲 乾地黃 甘草 豬苓（各二兩半） 茯苓 遠志 子芩（各一兩十八銖） 五加皮 石膏（各三兩） 羚羊角 生薑 橘皮（各一兩） 淡竹茹（雞子大）
上十六味治下篩為粗散，以水三升，煮兩方寸匕，綿裹之時時動，取八合為一服，日二治虛勞，陰陽失度，傷筋損脈，噓吸短氣，漏溢瀉下，小便赤黃，陰下濕癢，腰脊如折，顏色隨落方（隨一作墮）：

葶 麥冬 生地 桂心 杜仲 棗肉（各一升
上六味 咀，以酒一斗五升，漬三宿，出曝乾複漬，候酒盡取干治下篩，食後酒服方寸 匕，日二。

治腎勞虛冷，乾枯憂恚內傷，久坐濕地則損腎方：

秦艽 牛膝 川芎 防風 桂心 獨活 茯苓（各四兩） 乾薑（一作乾地黃） 麥冬 地 骨皮（各三兩） 側子 杜仲（各五兩） 石斛（六兩） 丹參（八兩） 五加皮（十兩） 薏 苡仁 （一兩） 大麻子（二升）
上十七味 咀，以酒二斗漬七日，每服七合，日三服

精極第四

（論一首 方十八首 灸法十二首）論曰：凡精極者，通主五臟六腑之病候也。若五臟六腑衰，則形體皆極，眼視而無明，齒焦而發落。身體重則腎水生，耳聾行步不正。凡陽邪害五臟，陰邪損六腑。陽實則從陰引陽，陰虛則從陽引陰。若陽病者主高，高則實，實則熱，眼視不明，齒焦發脫，腹中滿滿，則歷節痛痛，則宜瀉於內。若陰病者主下，下則虛，虛則寒，體重則腎水生，耳聾行步不正。

邪氣入內，行於五臟則咳，咳則多涕唾，面腫氣逆，邪氣逆於六腑，淫虛厥於五臟，故曰精 極也。所以形不足溫之以氣，精不足補之以味。善治精者，先治肌膚筋脈，次治六腑。若邪 至五臟，已半死矣。扁鵲曰：五陰氣俱絕不可治，絕則目系轉，轉則目精奪，為志先死，遠 至一日半日，非醫所及矣。宜須精研以表治裡，以左治右，以右治左，以我知彼，疾皆瘥矣。

竹葉黃芩湯

治精極實熱，眼視無明，齒焦發落，形衰體痛，通身虛熱方。

竹葉(切二升) 黃芩 茯苓(各三兩) 甘草 麥冬 大黃(各二兩) 生薑(六兩) 芍藥 (四
上九味 咀, 以水九升, 煮取三升, 去滓, 分三服。

治精極, 五臟六腑俱損傷虛熱, 遍身煩疼, 骨中 痛煩悶方：

生地汁(二升) 麥冬汁 赤蜜(各一升) 竹瀝(一合) 石膏(八兩) 人參 川 芎桂心甘草 黃芩 麻黃(各三兩) 當歸(四兩)
上十二味 咀, 以水七升, 煮八味取二升, 去滓, 下地黃等汁, 煮取四升, 分四服, 日三夜一。

治五勞六極, 虛羸心驚, 弱多魘亡陽方：

茯苓(四兩) 甘草 芍藥 桂心 乾薑(各三兩) 遠志 人參(各二兩) 大棗(五枚)
上八味 咀, 以水八升, 煮取三升, 分三服。

治虛勞少精方：

鹿角為末, 白蜜和丸如梧子大, 每服七丸, 日三服, 十日。大效。

又方 漿水煮蒺藜子令熟, 取汁洗陰二十日, 大效。

棘刺丸

治虛勞, 諸氣不足, 夢泄失精方。

棘刺 乾薑 菟絲子(各二兩) 天冬 烏頭 小草 防葵 山藥 蓂 細辛 石龍 芮 枸杞子 巴戟天 蔵薽 石斛 濃朴 牛膝 桂心(各一兩)
上十八味為末, 蜜丸如梧子大, 酒服五丸, 日二服。(深師以蜜雜雞子白各半和丸, 苦患風痿痺氣, 體不便, 熱煩滿, 少氣消渴, 加蔵薽、天冬、菟絲子。身黃汗, 小便赤黃不利, 加石龍芮、枸杞子。關節腰背痛, 加蓂 、牛膝。寒中氣脹, 時泄數唾嘔吐, 加濃朴、乾薑、桂心。陰囊下濕精少, 小便餘瀝, 加石斛, 皆以意增之。《古今錄驗》以乾地黃代乾薑, 以麥冬代天冬, 以杜仲代山藥, 以柏子仁代枸杞子, 以蓯蓉代蔵薽, 用治男子百病, 小便過多失精)。

治夢中泄精, 尿後餘瀝及尿精方：

人參 麥冬 赤石脂 遠志 續斷 鹿茸(各一兩半) 柏子仁 丹參 韭子(各一兩六銖)
上十四味為末, 蜜丸如梧子大, 酒服二十丸, 日再, 加至三十丸。

治虛損小便白濁夢泄方：

菟絲子 車前子 韭子(各一升) 礬石 當歸(各二兩) 川芎 附子(各三兩) 桂心(一兩)
上八味為末, 蜜丸如梧子大, 酒服五丸, 日三。

又方 大棗(五十枚) 韭子(五合) 黃耆 人參 甘草 乾薑 當歸 龍骨 半夏 芍藥
上十味為末, 蜜丸如梧子大, 酒服五丸, 日三服。

韭子丸

治房室過度，精泄自出不禁，腰背不得屈伸，食不生肌，兩腳苦弱方。

韭子（一升） 甘草 桂心 紫石英 禹余糧 遠志 山萸肉 當歸 天雄 紫菀 山 藥 細辛 茯苓 僵蠶 菖蒲 人參 杜仲 白朮 乾薑 川芎 附子 石斛 天冬（各一兩半） 蓯蓉 黃耆 菟絲子 乾地黃 蛇床子（各二兩） 大棗（五十枚） 牛髓 干漆（四兩）
上三十一味為末，牛髓合白蜜、棗膏合搗三千杵，丸如梧子大，空腹服十五丸，日再，加至二十丸。

韭子散

治小便失精及夢泄精方。

韭子 麥冬（各一升） 菟絲子 車前子（各二合） 川芎（三兩） 白龍骨（三兩）
上六味治下篩，酒服方寸匕，日三。不止，稍增。甚者，夜一服。（《肘後》用澤瀉一兩半）。

棗仁湯

治大虛勞，夢泄精，莖核微弱，氣血枯竭，或醉飽傷於房室，驚惕忪悸，小酸棗仁（二合） 澤瀉 人參 芍藥 桂心（各一兩） 黃耆 甘草 茯苓 白龍骨 牡 蠣（各二
上十二味 咀，以水九升，煮取四升，一服七合，日三。若不能食，小腹急，加桂心六兩。

治夢泄失精方：韭子一升治下篩，酒服方寸匕，日再服，立效。

治虛勞尿精方：韭子（二升） 稻米（三升） 上以水一斗七升，煮如粥，取汁六升，分三服。精溢同此。

禁精湯

治失精羸瘦，酸削少氣，目視不明，惡聞人聲方。

韭子（二升） 粳米（一合）
上二味於銅器中合熬，米黃黑乘熱，以好酒一升投之，絞取汁七升，每服一升，日三服，盡二劑。

又方 石榴皮（《外台》作柘白皮） 桑白皮（切，各五合）
上二味，以酒五升，煮取三升，分三服。

又方 干膠（三兩） 上研末，以酒二升和，分三服，溫服，瘥止。（一方用鹿角膠。

羊骨湯

治失精多睡目□□方。

羊骨（一具） 飴糖（半斤） 生地 白朮（各三斤） 大棗（二十枚） 桑皮 濃朴（各一兩） 阿
上十五味 咀，以水五斗，煮羊骨，取汁三斗，去骨，煮藥約取八升，下飴令烊，平 旦服一升，後旦服一升。

灸法

虛勞尿精，灸第七椎兩旁各三十壯。

又灸第十椎兩旁各三十壯。

又灸第十九椎兩旁各二十壯。

又灸陽陵泉、陰陵泉各隨年壯。夢泄精，灸三陰交二七壯，夢斷神良。（內踝上大脈，並 丈夫夢失精及男子小便濁難，灸腎俞百壯。

男子陰中疼痛，溺血精出，灸列缺五十壯。

失精，五臟虛竭，灸屈骨端五十壯。陰上橫骨中央，宛曲如卻月，中央是也。此名橫骨男子虛勞失精，陰上縮，莖中痛，灸大赫三十壯。穴在屈骨端三寸。

男子虛勞失精，陰縮，灸中封五十壯。

男子腰脊冷疼，溺多白濁，灸脾募百壯。

男子失精，膝脛疼痛冷，灸曲泉百壯。穴在膝內屈紋頭。

骨極第五

（論一首 方一首 灸法二首）論曰：骨極者，主腎也。腎應骨，骨與腎合。又曰：以冬遇病為骨痺，骨痺不已，複感 於邪，內舍於腎，耳鳴見黑色，是其候也。若腎病則骨極，牙齒苦痛，手足 疼，不能久立，屈伸不利，身痺腦髓酸。以冬壬癸日中邪傷風，為腎風。風歷骨，故曰骨極。若氣陰，陰則虛，虛則寒，寒則面腫垢黑，腰脊痛不能久立，屈伸不利。其氣衰則發墮齒槁，腰背相引而痛，痛甚則咳唾甚。若氣陽，陽則實，實則熱，熱則面色 隱曲，膀胱不通，牙齒腦髓苦痛，手足，耳鳴色黑，是骨極之至也。須精別陰陽，審其清濁，知其分部，視其喘息。善治 病者，始於皮膚筋脈，即須治之。若入臟腑，則半死矣。

扁鵲云：骨絕不治， 而切痛，伸縮不得，十日死。骨應足少陰，少陰氣絕則骨枯。發無澤，骨先死矣。

三黃湯

治骨極，主腎熱病，則膀胱不通，大小便閉塞，顏焦枯黑，耳鳴虛熱方。

大黃（切，別漬水一升） 黃芩（各三兩） 梔子（十四枚） 甘草（一兩） 芒硝（二兩）
上五味 咀，以水四升，先煮黃芩、梔子、甘草，取一升五合，去滓，下大黃，又煮 兩沸，下芒硝，分三服。

灸法

腰背不便，筋攣痺縮，虛熱閉塞，灸第二十一椎，兩邊相去各一寸五分，隨年壯。

小便不利，小腹脹滿虛乏，灸小腸俞，隨年壯。

骨虛實第六

（論一首 方六首 針灸法一首）論曰：骨虛者，酸疼不安好倦。骨實者，苦煩熱。凡骨虛實之應，主於腎膀胱。若其腑 臟病，從骨生。熱則應臟，寒則應腑。

治骨實苦酸痛煩熱方：

葛根汁 生地汁 赤蜜（各一升） 麥冬汁（五合）
上四味和攪，微火煎三四沸，分三服。

虎骨酒

治骨虛酸疼不安好倦，主膀胱寒方。

虎骨一具，通炙令黃焦，碎如雀頭大，釀米三石，曲四斗，水三石，如常釀酒法，所以加水曲者，其骨消曲而飲水，所以加之也。酒熟封頭，五十日開，飲之。

治骨髓中疼方：

虎骨（四兩） 芍藥（一斤） 生地（五斤）
上三味 咀，以清酒一斗，漬三宿，曝乾複入酒中，如此取酒盡為度，搗篩，酒服方寸匕，日三。

治骨髓冷疼痛方：

取地黃取一石汁，酒二斗，相攪重煎，溫服，日三。補髓。

治虛勞冷骨節疼痛無力方：

豉（二升） 地黃（八升）
上二味，兩度蒸曝乾為散，食後以酒一升，進二方寸匕，日再服。亦治虛熱。

又方 天冬為散，酒服方寸匕，日三，百日取瘥。

又方 灸上廉七十壯，三裡下三寸是穴。

腰痛第七

（論一首 方十六首 導引法一首 針灸法七首）論曰：凡腰痛有五：一曰少陰，少陰腎也，十月萬物陽氣皆衰，是以腰痛。二曰風痺，風寒著腰，是以腰痛。三曰腎虛，役用傷腎，是以腰痛。四曰 腰，墜墮傷腰，是以腰痛。

五曰取寒眠地，為地氣所傷，是以腰痛，痛不止引牽腰脊皆痛。〔（，音會。）巢會《病源》云：卒然傷腰致痛，謂之 。

杜仲酒

治腎脈逆小於寸口，膀胱虛寒，腰痛胸中動，四時通用之方。

杜仲　乾薑（各四兩，一作乾地黃）　蓆　羌活　細辛　防風　川芎　秦艽　烏頭天雄　桂心　川椒（各三兩）　五加皮　石斛（各五兩）　栝蔞根　地骨皮　續斷　桔梗　甘草（各
上十九味　咀，以酒四斗，漬四宿，初服五合，加至七八合，日再。通治五種腰痛。

又方　桑寄生　牡丹皮　鹿茸　桂心（等分）
上四味治下篩，酒服方寸匕，日三。

又方　單服鹿茸與角亦愈。

治腎虛腰痛方：

蓆　白朮　桂心（各三分）　牡丹皮（二分）
上四味治下篩，酒服方寸匕，日三。亦可作湯，服之甚良。

又方　附子（二分）　桂心　牡丹皮（各一兩）
上三味治下篩，酒服一刀圭，日再。甚驗。

腎著湯

腎著之為病，其人身體重，腰冷如坐水中，形如水狀，反不渴，小便自利，食飲如故，是其証也。從作勞汗出，衣裡冷濕，久久得之，腰以下冷痛，腰重如帶五千錢者方（《古今　錄驗》名甘草湯）　甘草（二兩）　乾薑（三兩）　茯苓　白朮（各四兩）
上四味　咀，以水五升，煮取三升，分三服。腰中即溫。

腎著散方：

杜仲　桂心（各三兩）　甘草　乾薑　牛膝　澤瀉（各二兩）　茯苓　白朮（各四兩）
上八味治下篩為粗散，一服三方寸匕，酒一升，煮五六沸，去滓，頓服，日再。

治腰疼不得立方：

甘遂　桂心（一作附子）　杜仲　人參（各二兩）
上四味治下篩，以方寸匕納羊腎中，炙令熟，服之。

治腰痛方：

蓆　杜仲　枸杞根（各一斤）
上三味　咀，好酒三斗，漬之納罌中密封頭，於銅器中煮一日，服之無節度，取醉。

杜仲丸

補之之方。

杜仲（二兩） 石斛（二分） 乾薑 乾地黃（各三分）
上四味為末，蜜丸如梧子大，酒服二十丸，日再。

丹參丸

治腰痛並冷痺方。

凡參 杜仲 牛膝 續斷（各三兩） 桂心 乾薑（各二兩）
上六味為末，蜜丸如梧子大，每服二十丸，日再夜一，禁如藥法。

獨活寄生湯

腰背痛者，皆是腎氣虛弱，臥冷濕當風得之。不時速治，喜流入腳膝，或為偏枯冷痺緩弱疼重。若有腰痛攣，腳重痺急，宜服之。（方見前八卷偏風門）。

治腰脊苦痛不遂方：

大豆三斗（熬一斗，煮一斗，蒸一斗），酒六斗，瓮一口，蒸令極熟，豆亦熟納瓮中封口，秋冬二七日，於瓮下作孔，出取，服五合，日夜二三服。

又方 地黃花為末，酒服方寸匕，日三。

又方 三月三日收桃花，取一斗一升，井花水三斗，曲六升，米六斗炊之，一時釀熟，去糟，酒服一升，日三服。若作食飲，用河水。禁如藥法，神良。

又方 鹿角去上皮取白者，熬令黃為末，酒服方寸匕，日三。特禁生魚，餘不禁。角 新者，良。陳者，不任服。角心中黃處亦不中服。大神良。

又方 羊腎為末，酒服二方寸匕，日三。

治丈夫腰腳冷不遂，不能行方：

上醇酒三斗。水三斗合著瓮中，溫漬腳至膝，三日止。冷則瓮下常著灰火勿使冷。若手 足煩者，以小便三升盆中，溫漬手足。

腰痛導引法

正東坐將手抱心，一人於前據躡其兩膝，一人後捧其頭，徐牽令偃臥，頭到地，三臥 三

針灸法

腰 痛，宜針決膝腰勾畫中青赤路脈，出血便瘥。

腰痛不得俯仰者，令患人正立，以竹柱地度至臍，斷竹乃以度背脊，灸竹上頭處，隨年 壯。灸訖藏竹，勿令人知。

腰痛，灸腳跟上橫紋中白肉際十壯，良。

又灸足巨陽七壯（巨陽在外踝下）。

又灸腰目　七壯在尻上約左右是。

又灸八　及外踝上骨約中。

腰卒痛，灸窮骨上一寸七壯，左右一寸各灸七壯。

補腎第八

（論一首　方五十九首）論曰：補方通治五勞六極，七傷虛損。五勞五臟病，六極六腑病，七傷表裡受病。五勞者，一曰志勞，二曰思勞，三曰憂勞，四曰心勞，五曰疲勞。六極者，一曰氣極，二曰血極，三曰筋極，四曰骨極，五曰髓極，六曰精極。七傷者，一曰肝傷善夢，二曰心傷善忘，三曰脾傷善飲，四曰肺傷善痿，五曰腎傷善唾，六曰骨傷善飢，七曰脈傷善嗽。凡遠思強慮傷人，憂恚悲哀傷人，喜樂過度傷人，忿怒不解傷人，汲汲所願傷人，戚戚所患傷人，寒暄失節傷人。故曰五勞六極七傷也。論傷甚眾，且言其略，後方悉主之。

建中湯

治五勞七傷，小腹急痛，膀胱虛滿，手足逆冷，食飲苦吐酸痰，嘔逆，泄下少氣，目眩耳聾，口焦，小便自利方。

膠飴（八兩）　黃耆　乾薑　當歸（各三兩）　人參　半夏　橘皮　芍藥　甘草（各二兩）附子（一兩）　大棗（十五枚）
上十一味　咀，以水一斗，煮取三升半，去滓，下膠飴，烊沸，分四服。（深師有桂心六兩，生薑一斤。無橘皮、乾薑。

又方　治虛損少氣，腹脹內急拘引小腹至冷，不得屈伸，不能飲食，寒熱頭疼，手足逆冷，大小便難，或複下痢，口乾，夢中泄精，或時吐逆恍惚，面色枯瘁，又複微腫，百節疼　酸方。

附子　濃朴（各一兩）　人參　甘草　桂心　當歸　茯苓（各二兩）　麥冬　黃耆　龍骨（各三
上十五味　咀，以水一斗二升，煮取四升，去滓，納飴糖，每服八合，日三夜一。咳者，加生薑一倍。

又方　治五勞七傷，小腹急，臍下膨，兩脅脹滿，腰脊相引，鼻口乾燥，目暗□□。憒憒不樂，胸中氣急逆不下食飲，莖中策策痛，小便黃赤，尿有餘瀝，夢與鬼神交通，去精，驚恐虛乏方。

飴糖（八兩）　黃耆　遠志　當歸（《翼方》無）　澤瀉（各三兩）　芍藥　甘草　人參　龍骨
上十一味　咀，以水一斗，煮取二升半，去滓，納飴糖令烊，一服八合，消息又一服。（深師無飴糖、遠志、澤瀉、龍骨，有桂心六兩，半夏一升，附子一枚）。

小建中湯

治男女因積勞虛損，或大病後不複常苦四肢沉滯，骨肉酸疼，吸吸少氣，行動喘，或小腹拘急，腰背強痛，心中虛悸，咽乾唇燥，面體少色，或飲食無味，陰陽廢弱，悲憂慘戚，多臥少起，久者積年，輕者百日，漸至瘦削，五臟氣竭，則難可複振治之之方。

甘草（一兩） 桂心 生薑（各三兩） 芍藥（六兩） 膠飴（一升） 大棗（十二枚）
上六味 咀，以水九升，煮取三升，去滓，納膠飴，每服一升，日三服，間三日，複作一劑，後可與諸丸散。（仲景云：嘔家不可服。《肘後》云：加人參、黃耆各二兩佳。若患痰滿

黃耆建中湯

治虛勞裡急諸不足方。

黃 生薑 桂心（各三兩） 甘草（二兩） 芍藥（六兩） 大棗（十二枚） 飴（一升）
上七味 咀，以水一升，煮取三升，去滓，納飴，溫服一升，日三。間日再作嘔者，加生薑。腹滿者，去棗加茯苓四兩，佳。（仲景、《古今錄驗》並同深師，治虛勞腹滿食少，小便多者無飴，有人參二兩，半夏一升。又治大虛不足，小腹裡急勞寒拘引臍，氣上沖胸，短氣，言語謬誤，不能食，吸吸氣乏悶亂必效。治虛勞，下焦虛冷不甚渴，小便數者，有人參、當歸各二兩。若失精加龍骨、白薇各一兩。《古今錄驗》治虛勞裡急，小腹急痛，氣引胸脅或心痛短氣者，以乾薑代生薑，加當歸四兩）。

前胡建中湯

治大勞虛羸劣，寒熱嘔逆，下焦虛熱，小便赤痛，客熱上熏頭目，及骨前胡（二兩） 黃耆 白芍 當歸 茯苓 桂心（各二兩） 甘草（一兩） 人參 半夏 白糖（各六兩） 生薑（八兩）
上十一味 咀，以水一斗二升，煮取四升，去滓，納糖，分四服。

樂令建中湯

治虛勞少氣，心胸淡冷，時驚惕，心中悸動，手足逆冷，體常自汗，五臟六腑虛損，腸鳴風濕，營衛不調百病，補諸不足，又治風裡急方。

黃 人參 橘皮 當歸 桂心 細辛 前胡 芍藥 甘草 茯苓 麥冬（各一兩） 半夏（二兩半） 生薑（五兩） 大棗（二十枚）
上十四味 咀，以水二斗，煮取四升，每服五合，日三夜一。（深師無橘皮、細辛、前胡、甘草、麥冬，有烏頭三兩，川椒二兩，遠志二兩。胡洽、崔氏有烏頭五枚、川椒一兩，崔氏樂令大黃 湯即此。）

黃湯

治虛勞不足，四肢煩疼，不欲食，食即脹，汗出方。

黃 麥冬 桂心 白芍（各三兩） 人參 當歸 細辛 甘草 五味子（各一兩） 前胡 （六
上十四味 咀，以水一斗四升，煮取三升，每服八合，日二服。（深師治虛乏，四肢沉 重，或口乾吸吸少氣，小便利，諸不足，無麥門冬、五味子、細辛、前胡，有桑螵蛸二十枚。

治丈夫虛勞，風冷少損，或大病後未平複而早牽勞，腰背強直，腳中疼弱，補諸不足者，無 五味子、細辛，有遠志、橘皮各二兩，蜀椒一兩，烏頭三枚。《短劇》治虛勞少氣，小便過 多者，無五味子、細辛、人參、前胡、茯苓、半夏，有黃芩一兩，地黃二兩，以水九升，煮 取三升。治虛勞胸中客氣寒冷癖痞，宿食不消吐噫，脅間水氣或流飲腸鳴，食不生肌肉，頭痛，上重下輕，目□□忽忽，去來躁熱，臥不得安，小腹急，小便赤，餘瀝，臨事 不起，濃朴二兩。胡洽治五臟內傷者，無麥門冬、五味子、當歸、細辛、前胡、茯苓，名大黃湯。

《延年秘錄》主補虛損，強腎氣者，無麥門冬、五味子、細辛、前胡、有防風、川芎各三兩。

大建中湯

治虛勞寒，飲在脅下，決決有聲，飲已如從一邊下決決然也，有頭並沖皮起，引兩乳內痛，裡急，善夢失精，氣短目□□，忽忽多忘方。

川椒（二合） 半夏（一升） 生薑（一斤） 甘草（二兩） 人參（三兩） 飴糖（八兩）
上六味 咀，以水一斗，煮取三升，去滓，納飴，溫服七合。裡急拘引加芍藥、桂心各三兩。手足厥，腰背冷加附子一枚。勞者加黃 一兩。

治五勞七傷，虛羸不足，面目黧黑，手足疼痛，久立腰疼，起即目眩，腹中懸急，而有絕傷外引四肢方：

生薑 芍藥 乾地黃 甘草 川芎（各五兩） 大棗（三十枚）
上六味 咀，以水六升，漬一宿，明旦複以水五升，合煮取三升，分三服。藥入四肢百脈，似醉狀是效。無生薑用乾薑二兩，酒漬一宿用之。常行此方神妙。

腎瀝湯

治虛勞損羸乏，咳逆短氣，四肢煩疼，腰背相引痛，耳鳴面黧黯，骨間熱，小便赤黃，心悸目眩，諸虛乏方。

羊腎（一具） 桂心（一兩） 人參 澤瀉 五味子 甘草 防風 川芎 地骨皮 黃耆 當歸
上十六味 咀，以水一斗五升，先煮腎，取一斗，去腎入藥，煎取三升，分三服。可常服之。（《廣濟》治虛勞百病，無人參、甘草、川芎、當歸、芍藥、元參、生薑，有蒺藜三兩，牛膝、五加皮各二兩。胡洽治大虛傷損，夢寤驚悸，上氣肩息，腎中風濕，小腹裡急引腰脊，四肢常苦寒冷，大小便澀利無常，或赤或白，足微腫，或昏僻善忘者，無澤瀉、防風、黃耆、元參、磁石、骨皮，有黃芩一兩，麥冬、地黃、遠志各三兩，大棗二十枚。崔氏

治腎臟虛勞所傷補益者，無川芎、元參、骨皮、磁石，有黃芩、遠志各二兩，乾地黃三兩，麥冬四兩，大棗二十枚。治五勞六極八風十二痺，補諸不足者，無澤瀉、甘草、防風、芍藥、元參、骨皮、生薑、五味子，有附子、丹皮各一兩，地黃一兩半，牡荊子，菖蒲桑螵蛸各二兩《近效方》除風下氣，強腰腳，明耳目，除痰飲，理營衛，永不染時疾。諸風者，無當歸、芍藥、磁石，有獨活，牛膝各一兩半，麥冬二兩，丹參五兩，為煮散，分作二十四帖，每帖 入生薑一分，杏仁十四枚，水三升，煮取一升）。

又方 羊腎（一具，切，去脂，以水一斗六升，煮取一斗三升） 大棗（二十枚） 桑 皮（六兩） 五味子 黃耆 蒺藜 巴戟天 防風 秦艽 澤瀉 人參 桂心 山藥 丹參 遠志 茯苓
上二十二味 咀，納腎汁中，煮取三升，分三服。相去如人行五裡再服。

增損腎瀝湯

治大虛不足，小便數，噓吸焦　引飲，膀胱滿急，每年三伏中常服三劑，於方中商量用之。

羊腎（一具）　麥冬　骨皮　人參　石斛　栝蔞根　乾地黃　澤瀉　桑皮（一作桑寄生）五味
上十七味　咀，以水一斗五升，先煮腎，取一斗二升，去腎納藥，煮取三升，去滓，分三服。（《短劇》無石斛、栝蔞、骨皮、桑皮、茯苓。有川芎、川連、龍骨各二兩，螵蛸二十枚。

又治腎氣不足，消渴引飲，小便過多，腰背疼痛者，無石斛、栝蔞、桑皮、骨皮、甘草，有川芎二兩，黃芩、芍藥各一兩，桑螵蛸二十枚，雞　皮一兩。崔氏治臟損虛勞，李子豫增損者，無石斛、栝蔞、骨皮、桑皮，有黃　、黃芩、芍藥、防風各二兩。

治左脅氣沖膈上滿，頭上有風如蟲行，手中頑痺，鼻塞，腳轉筋不能伸縮，兩目時腫痛方：

豬腎（一具）　防風　川芎　橘皮　澤瀉　桂心　石斛（各一兩）　半夏　茯苓　丹參　通草　生薑（各二兩）　乾地黃（三兩）
上十三味　咀，以水一斗半，煮腎，減三升，去腎下藥，煮取二升七合，去滓，分三服。

五補湯

治五臟虛竭短氣，咳逆傷損，悒郁不足，下氣通津液方。

五味子　桂心　人參　甘草（各一兩）　麥冬　小麥（各一升）　生薑（八兩）　粳米（三合）　薤白　枸杞根白皮（各一升）
上十味　咀，以水一斗二升，煮取三升，每服一升，日三。口燥先煮竹葉一把，水減　一升，去葉納諸藥，煮之。（《翼方》無生薑）。

凝唾湯

治虛損短氣，咽喉凝唾不出如膠塞喉方。

麥冬（五兩）　人參　茯苓（各半兩）　前胡（三兩）　芍藥　甘草　地黃　桂心（各一兩）　大棗（三十枚）
上九味　咀，以水九升，煮取三升，分溫三服。

補湯方

車前子（三兩）　防風　桂心（各二兩）　巴戟　丹參　鹿茸　地黃　枸杞根皮　五加皮（各五兩）

人參湯

治男子五勞七傷，胸中逆滿，害食乏氣嘔逆，兩脅下脹，小腹急痛，宛轉欲死，調中平臟理絕傷方。

人參　當歸　白芍　甘草　桂心　麥冬　白糖　生薑（各二兩）　前胡　橘皮　川椒　茯苓　五味子（各一兩）　枳實（三兩）　大棗（十五枚）
上十五味　咀，以東流水一斗五升，漬藥半日，用三年陳薑梢煎，取四升，納糖複煎數沸，服一升。二十以

下，六十以上者，服七八合。雖年盛而久羸者，亦服七八合，日三夜一．不爾，藥力不接，則不能救病，要用勞水陳蘆，不則，水強火盛猛，則藥力不出也。貞觀初有人患羸瘦殆死，餘處此方一劑，即瘥。如湯沃雪，所以記錄之。

內補散

治男子五勞六絕。其心傷者，令人善驚，妄怒無常。其脾傷者，令人腹滿喜噫，食竟欲臥，面目萎黃。其肺傷者，令人少精，腰背痛，四肢厥逆。其肝傷者，令人少血，面黑。

其腎傷者，有積聚，小腹腰背滿痺，咳唾，小便難。六絕之為病，皆起於大勞脈虛，外受風邪，內受寒熱，令人手足疼痛，膝以下冷，腹中雷鳴，時時泄痢，或閉或利，面目腫，心下憒憒，不欲語，憎聞人聲方。

地黃 菟絲子 山萸肉 地麥(各五兩) 遠志 巴戟天(各半兩) 麥冬 五味子 甘草 人參 蓯蓉 石斛 茯苓 桂心 附子(各一兩半)
上十五味治下篩，酒服方寸匕，日三，加至三匕。

石斛散

治大風，四肢不收不能自反覆，兩肩疼痛，身重脛急筋腫不能行，時寒時熱，足 如刀刺，身不能自任，此皆得之飲酒。中大風露，臥濕地，寒從下入，腰以下冷，不足無氣。

子精虛，脈寒，陰下濕莖消，令人不樂恍惚時悲，此方除風輕身益氣，明目強陰，令人有子補不足方。

石斛(十分) 牛膝(二分) 杜仲 附子(各四分) 柏子仁 松脂 石龍芮 雲母粉 芍藥
上十六味治下篩，酒服方寸匕，日二。陰不起倍菟絲子、杜仲。腹中痛倍芍藥。膝中痛倍牛膝。背痛倍蓐 。腰中風倍防風。少氣倍柏子仁。蹶不能行倍澤瀉。隨病所在倍三分，亦可

腎瀝散

治虛勞百病方。

羊腎(一具陰乾) 茯苓(一兩半) 五味子 巴戟 萸肉 石龍芮 桂心 牛膝 甘草 防風 乾薑 細辛(各一兩) 地黃(二兩) 人參 鐘乳粉 菟絲子 石斛 丹參 肉蓯蓉 附子(
上二十味治下篩，合鐘乳粉和攪，更篩令勻，平旦以清酒服方寸匕，稍加至二匕，日再又方 治男子五勞七傷，八風十二痺，無有冬夏，悲憂憔悴，凡是病皆須服之方。

羊腎(一具陰乾) 濃朴 茯苓 五味子 巴戟 桂心 石龍芮 山萸肉 細辛 人參 石斛 女萎 牡荊子 芍藥 白薇 干漆 礬石 龍膽 川芎 蓯蓉 續斷 白朮 菊花 川椒 遠志 黃耆 澤瀉 蓐 黃芩(各一兩) 乾薑 附子 防風 菖蒲 牛膝(各一兩半) 桔梗(二兩半) 山藥 秦艽(各二兩)
上三十七味治下篩，酒服方寸匕，日三。忌房室。

又方 羊腎(一具陰乾) 石龍芮 續斷 桔梗 乾薑 菖蒲 山萸肉 茯苓(各二兩)濃朴 五味子 巴戟天 桂心 細辛 人參 石斛 女萎 牡荊子 芍藥 白薇 龍膽 川芎 蓯蓉 川椒 白朮 菊花 黃耆 蓐 附子 天雄 烏頭 牛膝 山藥(一兩半) 秦艽 石(各一兩，一作礬石) 遠志(二兩半) 干漆(三兩)
上三十六味治下篩，酒服方寸匕，日三。

(此比前方無澤瀉、黃芩、防風，有烏頭、天雄，餘俱同)。

薯蕷散

補丈夫一切病，不能具述方。

山藥 荊實(一方用枸杞子) 續斷(一方用遠志) 茯苓(一方用茯神) 牛膝 菟絲子 巴戟 杜仲(各一兩) 蓯蓉 (一兩) 五味子 山萸肉(一方用防風) 蛇床子(二分)
上十二味治下篩，酒服方寸匕，日三夜二。惟禁酸、蒜，自外無所忌。服後五夜知覺，十夜力生，十五夜力壯如盛年，二十夜力倍。若多忘，加遠志、茯苓。體澀，加柏子仁服三劑，益肌肉。亦可為丸，服三十丸，日二夜一，以頭面身體暖為度。其藥和平不熱，調五臟，久 補五勞方：

五月五日采五加莖，七月七日采葉，九月九日取根，治下篩，服方寸匕，日三。常服去風勞，妙。

治五勞六極七傷虛損方：

蓯蓉 白龍骨 陽起石 續斷 天雄(各七分) 五味子 牡蠣 蛇床子 地黃 天冬桑
上十七味治下篩，酒服方寸匕，日三服。

鐘乳散

治五勞七傷，虛羸無氣力傷極方。

鐘乳(六兩，無論粗細，以白淨無赤黃黑為上，銅鐺中可盛三兩汁，並取粟粗糠二合許，納鐺中煮五六沸，乃納乳煮，水欲減又添如故。一 時出，以暖水淨淘之，曝乾，玉 研不作 鹿角(白者) 白馬莖(別研) 硫黃(別研) 鐵精 石斛 人參 磁石 桂心 僵蠶(各一兩) 蛇床子(三兩)
上十味為末，以棗膏和搗三千杵，酒服三十丸如梧子，日再。慎房室及生冷醋滑雞豬陳敗。

寒食鐘乳散

治傷損乏少氣力虛勞百病，令人力強，飲食去風冷。(方見十七卷，肺臟

地黃散

主益氣調中補絕，令人嗜飲食除熱方。

生地黃三十斤，細切曝乾，又取生者三十斤，搗汁漬之，令相得，出曝乾，複如是九番 曝，搗末，食後酒服方寸匕，勿令絕。

三石散

治風勞毒冷，百治不瘥補虛方。

鐘乳 紫石英 白石英 白朮 桔梗 防風(各五分) 栝蔞根 人參 川椒 乾薑 附子
上十六味治下篩，酒服方寸匕，日三。行十數步至五十步以上，服此大佳。少年勿用。

自余補方通用，老少皆宜，冬日服之。(《翼方》名更生散，不用紫石英、川椒、杜仲、茯苓，用赤石脂，為十三味)。

石韋丸

黃帝問五勞七傷於高陽負，高陽負曰：一曰陰衰，二曰精清，三曰精少，四曰陰消，五曰囊下濕，六曰腰(一作胸)脅苦痛，七曰膝厥痛冷不欲行，骨熱，遠視淚出，口乾腹中鳴，時有熱，小便淋瀝，莖中痛，或精自出，有病如此，所謂七傷。一曰志勞，二曰思勞，三曰 心勞，四曰憂勞，五曰疲勞，此謂五勞。黃帝曰：何以治之？高陽負曰：石韋丸主之。

石韋 細辛 石 遠志 茯苓 澤瀉 菖蒲 杜仲 蛇床子 蓯蓉 桔梗 牛膝 天雄山萸肉 柏子仁 續斷 山藥(各二兩) 防風 赤石脂(各三兩)
上十九味為末，取棗膏如蜜，和丸如梧子，酒服三十丸，日三。七日愈，二十日百病除，常服良。(崔氏無石，茯苓、澤瀉、桔梗、山藥，有栝蔞根二兩半)。

五補丸

治腎氣虛損，五勞七傷，腰腳酸疼，肢節苦痛，目暗□□，心中喜忘，恍惚不定，夜臥多夢，覺則口乾，食不得味，心常不樂，多有恚怒，房室不舉，心腹脹滿，四體疼痺，口吐酸水，小腹冷氣，尿有餘瀝，大便不利方悉主之，人服延年不老，四時勿絕，一年萬病除愈方。

杜仲 巴戟(各六分) 人參 五加皮 五味子 天雄 牛膝 防風 遠志 石斛 山藥 狗脊(各四分) 地黃 蓯蓉(各十二分) 鹿茸(十五分) 菟絲子 茯苓(各五分) 覆盆子 石龍芮(各八分) 蓆 蛇床子 石南(各三分) 白朮(三分) 天冬(七分)
上二十四味為末，蜜和丸如梧子，酒服十丸，日三。有風加芎、歸、黃耆、五加皮、石南、獨活、天雄、茯神、白朮、柏子仁各三分。有氣加濃朴、枳實、橘皮各三分。冷加乾薑、桂心、吳茱萸、附子、川椒、細辛各三分。泄精加韭子、白龍骨、牡蠣、鹿茸各三分。泄痢加赤石脂、龍骨、黃連、烏梅肉各三分。春依方服。夏加地黃五分，黃芩三分，麥冬四分，冷則去此，加乾薑、桂心、川椒各三分，若不熱不寒，亦不須增損，直爾服之。三劑以上，即覺庶事悉佳。慎酸蒜膾陳臭大冷醉吐，是外百無所慎。稍加至三十丸，不得增，常以此為度。

無比薯蕷丸

治諸虛勞百損方。

山藥(二兩) 蓯蓉(四兩) 五味子 菟絲子 杜仲(各三兩) 牛膝 山萸肉 地黃 澤瀉茯神(一作茯苓) 巴戟 赤石脂(各一兩)
上十二味為末，蜜丸如梧子，食前酒服二十丸，加至三十丸，日再。無所忌，惟禁醋蒜 陳臭等物。服七日後，令人健，四肢潤澤，唇口赤，手足暖，面有光彩，消食，身體安和，音聲清朗，是其驗也。十日後長肌肉，其藥通中入腦鼻，必酸疼，勿怪。若求大肥，加燉煌 石膏二兩。失性健忘加遠志一兩。體少潤澤加柏子仁一兩。(《古今錄驗》有白馬莖二兩，為十六味。治丈夫五勞七傷，頭痛，目眩，手足逆冷，或煩熱有時，或冷痺骨疼腰髖不遂，食雖多不生肌肉，或少食而脹滿，體澀無光澤，陽氣衰絕，陰氣不行，此藥能補十二經脈，起陰陽，通內製外，安魂定魄，開三焦，破積聚，濃腸胃，消五臟邪氣，除心內伏熱，強筋練骨，輕身明目，除風去冷，無所不治，補益處廣，常須服餌為佳，七十老人服之尚有非常力，況

大薯蕷丸

治男子女人虛損傷絕，頭目眩，骨節煩疼，飲食減少，羸瘦百病方。

山藥 附子(《古今錄驗》作茯苓) 人參 澤瀉(各八分) 天冬 地黃 黃芩 當歸(各十分) 干漆 杏仁 阿膠(各二分) 白朮 白薇(《古今錄驗》作防風) 芍藥 石膏 前胡(各三分) 桔梗 乾薑 桂心(各四分) 大黃(六分) 五味子(十六分) 甘草(二十分)大豆卷(五分。《
上二十四味為末，蜜和棗膏，搗三千杵，丸如梧子，酒服五丸，日三。漸增至十丸。(仲景無丸如彈丸，每服一丸，以一百丸為劑。)

八味腎氣丸

治虛勞不足，大渴欲飲水，腰痛，小腹拘急，小便不利方。

地黃(八兩) 萸肉 山藥(各四兩) 丹皮 茯苓 澤瀉(各三兩) 桂心 附子(各二兩)
上八味為末，蜜丸如梧子大，酒服十五丸，日三。加至二十五丸。(仲景云：常服去附子，加五味子。姚公云：加五味子三兩，蓯蓉四兩。張文仲加五味子、蓯蓉各四兩。《肘後方》用地黃四兩，澤瀉、附子各一兩，餘各二兩)。

腎氣丸

治虛勞腎氣不足，腰疼陰寒，小便數，囊冷濕，尿有餘瀝，精自出，陰痿不起，忽忽 喜悲方。

地黃(八分) 遠志 防風 乾薑 牛膝 麥冬 蕨蕤 山藥 石斛 細辛 骨皮 甘草 附子 桂心 茯苓 山萸肉(各四分) 蓯蓉(六分) 鐘乳粉(十分) 羊腎(一具)
上十九味為末，蜜丸如梧子，酒服十五丸，日三。稍加至三十丸(《古今錄驗》無遠志、防風、乾薑、蕨蕤、牛膝、骨皮、甘草、鐘乳，有狗脊一兩，黃 四兩，人參三兩，澤瀉、乾薑各二兩，大棗一百枚)。

又方 治男子婦人勞損虛羸，傷寒冷乏力，無所不治方。

石斛(二兩) 紫菀 牛膝 白朮(各五分) 麻仁(一分) 人參 當歸 茯苓 川芎 大豆卷(一具)
上十八味為末，蜜丸如梧子，酒服十丸，日再，漸增之。(一方有蓯蓉六分。

又方 此方勝胡公腎氣丸及五石丸。

地黃 茯苓 元參(各五兩) 澤瀉 山藥 山萸肉 桂心 芍藥(各四兩) 附子(三兩)
上九味為末，蜜丸如梧子，酒服二十丸，加至三十丸，以知為度。(《翼方》有丹皮四兩)

又方 治腎氣不足羸瘦日劇，吸吸少氣，體重耳聾目暗百病方。

桂心(四兩) 地黃(一斤) 澤瀉 薯蕷 茯苓(各八兩) 丹皮(六兩) 半夏(二兩)
上七味為末，蜜丸如梧子，酒服十丸，日三服。

黃湯

治五勞七傷，諸虛不足，腎氣虛損，目視□□，耳無所聞方。

黃 乾薑 當歸 羌活（一作白朮） 川芎 甘草 茯苓 細辛 桂心 烏頭 附子防
上十九味為末，以棗膏與蜜為丸如梧子大，酒服十五丸，日二，加至三十丸。一方無川 芎、乾薑、當歸、羌活，為十五味。（《古今錄驗》無羊腎，有羌活、鐘乳、紫石英、石硫黃、赤石脂、白石脂、礬石各二分，名五石黃 丸）。

又方 療虛勞方。

黃 鹿茸 茯苓 烏頭 乾薑（各三分） 地黃 當歸 桂心 川芎（各四分） 杞白皮 菟
上十五味為末，蜜丸如梧子，平旦酒服十丸夜十丸，以知為度，禁如藥法。

神化丸

治五勞七傷，氣不足，陰下濕癢或生瘡，小便數，有餘瀝，陰頭冷疼，精自出，小腹急，繞臍痛，膝重不能久立，目視漠漠，見風淚出，脛酸精氣衰微，臥不欲起，手足厥冷，調中利食方。

蓯蓉 牛膝 山藥（各六分） 續斷 萸肉 大黃（各五分） 遠志 澤瀉 天雄 柏子仁 菟絲 人參 防風 栝蔞根 杜仲 石斛 川連 白朮 甘草 石 當歸（各一兩） 桂心 石南
上三十一味為末，蜜丸如梧子，酒服五丸，日三，加至二十丸。

三仁九子丸

治五勞七傷補益方。

酸棗仁 柏子仁 薏苡仁 菟絲子 枸杞子 蛇床子 子 地膚子 烏麻子 牡荊 子地黃 山藥 桂心（各二兩） 蓯蓉 菊花子（各三兩） 五味子（二兩）
上十六味為末，蜜丸如梧子，酒服二十丸，日三夜一。

填骨丸

治五勞七傷，補五臟除萬病方。

人參 石斛 當歸 杜蒙 石長生 石韋 白朮 遠志 蓯蓉 巴戟 紫菀 茯苓 天雄 附子 乾薑 蛇床子 牛膝 牡蠣 牡丹 甘草 柏子仁 山藥 阿膠 地黃 五味子（各
上二十六味為末，蜜丸如梧子，酒服三丸，日三。

通明丸

治五勞七傷六極，強力行事舉重，重病後骨髓未滿房室，所食不消胃氣不平 麥冬（三斤） 地黃 石韋（各一斤） 紫菀 五味子 蓯蓉 甘草 阿膠 杜仲 遠 志 茯苓 天雄（各半斤）
上十二味為末，蜜丸如梧子，食上飲若酒服十丸，日三，加至二十丸。

補虛益精大通丸

治五勞七傷百病方。

地黃(八兩) 乾薑 當歸 石斛 蓯蓉 天冬 白朮 甘草 人參 芍藥(各六兩) 紫 菀大黃 黃芩(各五兩) 防風(四兩) 杏仁 茯苓(各三兩) 白芷(一兩) 麻仁(半兩) 川椒(三升)
上十九味為末, 白蜜、棗膏和丸如彈子, 空腹服一丸, 日三十日效。

赤石脂丸

治五勞七傷, 每事不如意, 男子諸疾方。

赤石脂 山萸肉(各七分) 防風 遠志 栝蔞根 牛膝 杜仲 山藥(各四分) 菖蒲 續斷 天雄 柏子仁 蓯蓉(二分) 石韋(二分) 蛇床子(六分)
上十五味為末, 蜜、棗膏和丸如梧子大, 空腹服五丸, 日三服, 十日知。久服不老。加菟絲子四分佳。

鹿角丸

補益方。

鹿角 白馬莖(一作鹿莖) 石斛 山藥 地黃 人參 菟絲子 防風 蛇床子(各五分)山萸肉 杜仲 赤石脂 澤瀉 乾薑(各四分) 石龍芮 遠志(各三分) 五味子 巴戟天 牛膝(
上二十一味為末, 蜜丸如梧子, 酒服三十丸, 日二。忌米醋。(一方無乾薑、五味子。

蓯蓉丸

補虛益氣, 治五臟虛勞損傷陰痺, 陰下濕癢或生瘡, 莖中痛, 小便餘瀝, 四肢噓吸, 陽氣絕, 陽脈傷方。

蓯蓉 山藥(各五分) 蛇床子 遠志(各四分) 菟絲子(六分) 天雄(八分) 五味子山萸
上九味為末, 蜜丸如梧子, 酒服二十丸, 日二, 加至二十五丸。

乾地黃丸

治五勞七傷六極, 臟腑虛弱, 飲食不下, 顏色黧黯, 八風所傷, 補虛益氣, 進食資顏色長陽方。

地黃 茯苓 天雄(各七分) 蛇床子(六分) 桂心 麥冬(各五分) 遠志 蓯蓉 杜仲甘草(各十分) 五味子(四分) 阿膠 棗肉(各八分)
上十三味為末, 蜜丸如梧子, 酒服二十丸, 日再, 加至三十丸。常服彌佳。

治虛勞不起, 囊下癢, 汗出, 小便淋瀝, 莖中數痛, 尿時赤黃, 甚者失精, 劇苦溺血, 目視□□, 見風淚出, 莖中冷, 精氣衰, 兩膝腫不能久立, 起則目眩補虛方：

蛇床 細辛 天雄 大黃 柏子仁 菟絲子、杜仲 茯苓 防風 蕖 菖蒲 澤瀉 (各四分) 遠志 牛膝(各六分) 栝蔞根(三分) 萸肉 桂心 蓯蓉 山藥 川椒 石 葦 白朮(各

上二十二味為末，蜜丸如梧子，酒服十五丸，日再，漸加至五十丸。十五日身體輕，三十日聰明，五十日康健複壯。

覆盆子丸

治五勞七傷羸瘦，補益，令人充健方。

覆盆子 菟絲子（各十二分） 蓯蓉 鹿茸 巴戟 白龍骨 茯苓 天雄 白石英 五味子 續斷 山藥（各十分） 地黃（八分） 遠志 乾薑（各六分） 蛇床子（五分）
上十六味為末，蜜丸如梧子，酒服十五丸，日再。細細加至三十丸。慎生冷陳臭。（張 文仲無龍骨、鹿茸、天雄、續斷、白石英，有石斛、白朮、桂心、枸杞子、人參、柏子仁、澤瀉各六分，牛膝、細辛各四分，赤石脂、甘草各八分，山萸五分。）

治五勞七傷，虛羸無力傷極方：

菟絲子 五味子（各二兩） 蛇床子（一兩）
上三味為末，蜜丸如梧子，每服十丸，日三，禁如常法。

補益方

干漆 柏子仁 山萸肉 酸棗仁（各一兩）
上四味為末，蜜丸如梧子，每服二七丸，加至二十丸，日二。

曲囊丸

治風冷，補虛弱，亦主百病方。

地黃 山藥 牡蠣 天雄 蛇床子 遠志 杜仲 鹿茸 桂心 五味子 鹿銜草 石斛 車前子 菟絲子 蓯蓉 雄雞肝 未連蠶蛾（等分）
上十七味合搗為末，蜜丸如小豆大，酒服三丸，加至七丸，日三夜一。禁如常法。須令常有藥氣大益，人服藥十日以後，少少得強。

崔平世治五勞七傷方：

鐘乳粉 蕈（各一分） 巴戟 菟絲子 蓯蓉（各二分） 乾薑（三分，一作乾地黃）
上六味為末，蜜丸如梧子，酒服七丸，日三服訖，行百步服酒三合，更行三百步，胸中熱定，即食干飯，牛羊兔肉任為羹，去肥膩。餘不忌。

明目益精長志倍力，久服長生耐老方：

遠志 茯神 細辛 菟絲子 木蘭 續斷 人參 菖蒲 龍骨 當歸 川芎 茯苓（各五分）
上十二味為末，蜜丸如梧子，服十丸，日二夜一。滿三年益智。

磁石酒

療丈夫虛勞冷骨中疼痛，陽氣不足，陰下疥（一作痛）熱方。

磁石　石斛　澤瀉　防風（各五兩）　杜仲　桂心（各四兩）　天雄　桑寄生　天冬　黃（各
上十二味　咀，以酒四斗浸漬，服三合，漸加至五合，日再服。亦可單漬磁石服之。

石英煎

治男女五勞七傷，消枯羸瘦，風虛痼冷，少氣力，無顏色，不能動作，口苦咽燥，眠中不安，惡夢驚懼百病方。

白石英（碎如米，以醇酒九升，銅器中微火煎，取三升，以竹篦攪勿住手，去滓澄清）　紫石英（製同上，各一斤）　地黃（一斤）　白蜜（三斤）　酥（一斤）　桃仁（三斤）　石　斛（五兩）柏子仁　遠志　茯苓　山萸肉　人參　麥冬　桂心　乾薑　五味子　白朮　蒞蓉　甘草　天雄白芷　細辛　川芎　黃耆　防風　山藥（各二兩）
上二十四味治下篩，納煎中，如不足加酒取足為限，煎令可丸，丸如梧子大，酒服二十丸，日三，稍加至四十丸為度。無藥者，可單服煎。令人肥白充實。

麋角丸方

取當年新角連腦頂者為上，看角根有斫痕處亦堪用，退角根不平者是不堪。諸麋角丸方，凡有一百一十方，此特出眾方之外，容成子羔服而羽化。夫造此藥取角五具，或四具、三具、二具、一具為一劑，先去尖一大寸，即各長七八寸，取勢截斷，量把鎊得，即於長流水中以竹器盛懸，浸可十宿。如無長流水處，即於淨盆中滿注水浸，每夜易換，即將出，削去皺皮，以利鎊，鎊取白處至心即止，以清粟米泔浸兩宿，初經一宿即干，沃去舊水，置新絹上曝乾淨擇，去惡物、粗骨皮及鎊不勻者，即以無灰美酒，於大白瓷器中浸經兩宿，其酒及器物隨藥多少，其藥及酒俱入淨釜中，初武火煮一食久後，即著文火微煎，如蟹目沸，以柳木篦長四尺闊三指者徐攪之，不得住手，困則易人，時時更添美酒，以成煎為度。煎之皆須平旦下手，不得經兩宿，仍看屑消似稀膠，即以牛乳五大升，酥一斤，以次漸下後藥。

麋角（一條，炙令黃為散，與諸藥同製之）　檳榔　通草　秦艽　人參　甘草　菟絲子　肉蒞蓉（各二兩）
上搗為散，如不要補，即不須此藥共煎，又可一食時候，藥似稠粥即止，火少時歇熱氣，即投諸藥散相和，攪之相得，仍待少時漸稠粘堪作丸，即以新器盛貯，以眾手一時丸就　如梧子大。若不能眾手丸，就旋暖漸丸亦得之。如粘手，著少酥塗手。其服餌之法，空腹取三果漿下之。如無三果漿，酒下亦得。初服三十丸，日加一丸至五十丸為度，日二服。初服一百日內，忌房室，服經一月，腹內諸疾自相驅逐，有微痢勿怪。漸後多泄氣，能食，聰耳明目，補心神安臟腑，填骨髓，理腰腳，能久立，髮白更黑，貌老還少。患氣者加枳實、青木香，準前各一大兩。若先曾服丹石等者，即以三黃丸食上壓令宣泄。如飲酒食面，口乾，鼻中氣粗，眼澀，即以蜜漿飲之即止，如不止，加以三黃丸使微利。諸凡如此一度發動已後，方使調暢服，至二百日，面皺自展光澤。一年，齒落更生，強記身輕，若風日行數百裡。二年，常令人肥飽少食，七十以上卻成後生。三年，腸作筋髓，預見未明。四年，常飽不食，自見仙人，三十以下服之不輟顏，一定而不變。其藥修合須淨室中，不得令女人、孝子、雞　犬等見。婦人服之亦佳。

治五臟虛勞，小腹弦急脹熱方：

灸腎俞五十壯，老少損之。若虛冷可至百壯，橫三間寸灸之。

備急千金要方 卷二十 膀胱腑方

唐 孫思邈

（凡七類）

膀胱腑脈論第一

（論一首 脈四首）

論曰：膀胱者，主腎也，耳中是其候也。腎合氣於膀胱。膀胱者，津液之府也，號水曹掾，名玉海，重九兩二銖，左回疊積上下縱廣九寸，受津液九升九合，兩邊等。應二十四氣，鼻空在外，膀胱漏泄。

黃帝問曰：夫五臟各一名一形，腎乃獨兩何也？岐伯對曰：膀胱為腑，有二處、腎亦二形應左腎合膀胱，右腎合三焦。

左手關後尺中陽絕者，無膀胱脈也。病苦逆冷，婦人月使不調，旺月則閉。男子失精，尿有餘瀝，刺足少陰經，治陰。在足內踝下動脈是也。

右手關後尺中陽絕者，無子戶脈也。病苦足逆寒，絕產，帶下，無子，陰中寒，刺足少陰經，治陰。

左手關後尺中陽實者，膀胱實也。病苦逆冷，脊下邪氣相引痛，刺足太陽經，治陽。在足小趾外側，本節後陷中。

右手關後尺中陽實者，膀胱實也。病苦小腹滿引腰痛，刺足太陽經，治陽。

病先發於膀胱者，背膂筋痛，小便閉五日之腎，小腹腰脊痛，脛酸，一日之小腸脹，一日之脾，閉塞不通，身痛體重。二日不已，死。冬雞鳴，夏下晡，（一云日夕）。

膀胱病者，小腹偏腫而痛，以手按之，則欲小便而不得，肩上熱。若脈陷，及足小趾外側及脛踝後皆熱。若脈陷，取委中。

膀胱脹者，小腹滿而氣癃。

腎前受病，傳於膀胱，腎咳不已，咳則遺溺。

厥氣客於膀胱，則夢游行。

腎應骨，密理濃皮者，三焦膀胱濃。粗理薄皮者，三焦膀胱薄。腠理疏者，三焦膀胱緩急皮而無毫毛者，三焦膀胱急。毫毛美而粗者，三焦膀胱直。稀毫毛者，三焦膀胱結也。

扁鵲云：六腑有病徹面形，腎膀胱與足少陰太陽為表裡。膀胱總通於五臟，所以五臟有疾即應膀胱，膀胱有疾即應胞囊。傷熱則小便不通，膀胱急尿苦黃赤，傷寒則小便數清白，或發石水，根在膀胱，四肢小，其腹獨大也。(方見治水篇中)。

骨絕不治，齒黃落，十日死。

足太陽之脈，起於目內 上額交巔上。其支者，從巔至耳上角。其直者，從巔入絡腦還出別下項，循肩膊內挾脊抵腰中，入循膂絡腎屬膀胱。其支者，從腰中下會於後陰，下貫臀 入中。其支者，從膊內左右別下貫胂，(一作髖)，過髀樞，循髀外後廉，下合 中以下貫內出外踝之後，循京骨至小趾外側是也。動則病沖頭痛，目似脫，項似拔，脊痛腰似折，髀不可以曲(一作回)， 如結， 如裂，是為踝厥。是主筋所生病者，痔瘧狂癲疾，頭腦 項痛，目黃淚出、鼽衄，項背腰尻 腘皆痛，小趾不用，盛者則人迎大再倍於寸口。虛者則人迎反小於寸口也。

膀胱虛實第二

(脈四首 方六首)

膀胱實熱

左手尺中神門以後脈陽實者，足太陽經也。病苦逆滿腰中痛，不可俯仰勞也，名曰膀胱實熱也。

右手尺中神門以後脈陽實者，足太陽經也。病苦胞轉不得小便，頭眩痛煩滿，脊背強，名曰膀胱實熱也。

治膀胱實熱方：

石膏(八兩) 梔子仁(一作瓜子仁) 茯苓 知母(各三兩) 蜜(五合) 淡竹葉 生地(切，各一升)
上七味 咀，以水七升，煮取二升，去滓，下蜜，煮二沸，分三服，須利，加芒硝三兩。

治膀胱熱病不已，舌乾咽腫方：

蜜(七合) 升麻 大青(各三兩) 射干 生元參 黃柏 薔微根白皮(各四兩)
上七味以水七升，煮取一升，去滓，下蜜，煮二沸，細細含之。

膀胱虛冷 左手尺中神門以後脈陽虛者，足太陽經也。病苦腘中筋急，腹中痛，引腰背不可屈伸，轉筋惡風偏枯，腰痛，外踝後痛，名曰膀胱虛冷也。

右手尺中神門以後脈陽虛者，足太陽經也。病苦肌肉振動，腘中筋急，耳聾，忽忽不聞，惡風颼颼作聲，名曰膀胱虛冷也。

治膀胱虛冷，飢不欲飲食，面黑如炭，腰脊疼痛方：

磁石(六兩) 黃耆 茯苓(各三兩) 五味子 杜仲(各四兩) 白朮 白石英(各五兩)
上七味 咀，以水九升，煮取三升，分三服。

治膀胱冷咳唾則有血，喉鳴喘息方：

羊腎(一具) 人參 元參 黃耆 桂心 川芎 甘草(各三兩) 茯苓(四兩) 骨皮生薑(各五兩) 白朮(六兩)
上十一味 咀, 以水一斗二升, 先煮羊腎, 減三升, 去腎下藥, 煮取三升, 去滓, 分三服。

龍骨丸

治膀胱腎冷, 坐起欲倒, 目□□, 氣不足骨痿方。

龍骨 柏子仁 地黃 甘草 防風(各五分) 黃耆 禹余糧 白石英 桂心 茯苓(各七分) 五味子 羌活 人參 附子(各六分) 山萸肉 元參 川芎(各四分) 磁石 杜仲乾薑(各八分)
上二十味為末, 蜜丸如梧子大, 空腹酒服三十丸, 日二, 加至四十丸。

治膀胱寒, 小便數, 漏精稠如白米泔方：

赤石脂 白石脂(各五分) 地黃(三分) 蓯蓉(六分) 赤雄雞腸 雞 (各兩具) 桑螵蛸 牡蠣 龍骨 川連(各四分)
上十味治下篩, 納雞腸及 中縫塞, 蒸之令熟, 曝乾合搗為散, 以酒和服方寸匕, 日三。

胞囊論第三

(論一首 方十六首 灸法八首)

論曰：胞囊者, 腎膀胱候也, 貯津液並尿。若臟中熱病者, 胞澀小便不通, 尿黃赤。若腑中寒病者, 胞滑小便數而多白。若至夜則尿偏甚者, 夜則內陰氣生, 故熱則瀉之, 寒則補之, 不寒不熱依經調之, 則病不生矣。

凡尿不在胞中, 為胞屈僻, 津液不通, 以蔥葉除尖頭, 納陰莖孔中深三寸, 微用口吹之, 胞脹, 津液大通即愈。

榆皮通滑泄熱煎

治腎熱應胞囊澀熱, 小便黃赤, 苦不通方。

榆白皮 赤蜜 葵子(各一升) 滑石 通草(各三兩) 車前子(五兩)
上六味 咀, 以水三斗, 煮取七升, 去滓, 下蜜更煎, 取三升, 分三服。婦人難產亦同此方。

滑石湯

治膀胱急熱, 小便黃赤方。

滑石(八兩) 子芩(三兩) 車前子 冬葵子(各一升) 榆白皮(四兩)
上五味 咀, 以水七升, 煮取三升, 分三服。

治虛勞白濁方：

榆白皮切二升, 水二斗, 煮取五升, 分五服。

又方 搗干羊骨為末，服方寸匕，日二。

凡飽食後或忍小便，或走馬、或忍小便大走及入房，皆致胞轉臍下，急滿不通治之方：

用亂髮急纏如兩拳大，燒為末，醋四合，和二方寸匕服之訖，即炒熟黑豆葉蹲坐上。

治胞轉方：

石韋（一兩） 葵子 通草 甘草（各二兩） 鬼箭羽（三兩） 滑石（四兩） 榆白皮（一升）
上七味 咀，以水一斗，煮取三升，分三服。

治胞轉不得小便八九日者方：

葵子（一升） 滑石 寒水石（各一斤）
上三味 咀，以水一斗，煮取五升，分三服。

治胞轉小便不得方：

蔥白（四七莖） 阿膠（一兩） 琥珀（二兩） 車前子（一升）
上四味 咀，以水一斗，煮取三升，分三服。

又方 阿膠三兩，水二升，煮取七合。頓服之。

又方 豉五合，以水三升，煮數沸，頓服之。

又方 以麻子煮汁，頓服之。

又方 連枷關燒灰，水調服之。

又方 筆頭燒灰，水服之。

又方 燒死蜣螂二枚為末，水服之。

又方 納白魚子莖孔中。

又方 酒和豬脂、雞子大，頓服之。

灸法

灸脾俞百壯。又灸三焦俞百壯。又灸腎俞百壯。又灸章門百壯，在季肋端。

治腰痛小便不利，苦胞轉方：

灸玉泉七壯，穴在關元下一寸，大人從心下度，取八寸是玉泉穴，小兒斟酌取之。又灸第十五椎五十壯。又灸臍下一寸。又灸臍下四寸，各隨年壯。

三焦脈論第四

（論一首）

論曰：夫三焦者，一名三關也。上焦名三管反射，中焦名霍亂，下焦名走哺。合而為一，有名無形，主五臟六腑往還神道，周身貫體，可聞而不可見，和利精氣，決通水道，息氣腸胃之間，不可不知也。三焦名中清之腑，別號玉海。水道出屬膀胱合者，雖合而不同。上中下三焦同號為孤腑，而營出中焦，衛出上焦。營者絡脈之氣道也，衛者經脈之氣道也。其三焦形相濃薄大小，並同膀胱之形云。

三焦病者，腹脹氣滿，少腹尤堅不得小便，窘急溢則為水，留則為脹，候在足太陽之外大絡，在太陽少陽之間亦見於脈，取委陽。

小腹腫痛不得小便，邪在三焦，約取太陽大絡視其結脈，與厥陰小絡結而血者，腫上及胃脘，取三裡。

三焦脹者，氣滿於皮膚，殼殼而不堅疼（一云殼殼而堅）。久咳不已傳之三焦，咳而腹手少陽之脈，起於小指次指之端，上出兩指之間，循手表腕出臂外兩骨之間，上貫肘循外上肩，而交出足少陽之後，入缺盆交膻中，散絡心包下膈，遍屬三焦。其支者，從膻中上出缺盆，上項，挾耳後，直上出耳上角，以屈下額至 。其支者，從耳後入耳中，出走耳前，過客主人前，交頰至目銳 。是動則病，耳聾，咽腫喉痺。是主氣所生病者，汗出目銳 痛。頰腫，耳後肩 肘臂外皆痛，小指次指不用。為此諸病盛則瀉之，虛則補之，熱則疾之，寒則留之，陷下則灸之，不盛不虛以經取之。盛者人迎大再倍於寸口，虛者人迎反小於寸口也。

三焦虛實第五

（論三首 方十八首 灸法七首）

論曰：夫上焦如霧（霧者霏霏起上也），其氣起於胃上脘，並咽以上貫膈布胸中走腋，循 足太陰之分而行，還注於手陽明，上至舌下注足陽明，常與營衛俱，行於陽二十五度，行於陰亦二十五度，為一周，日夜五十周身，周而複始，大會於手太陰也。主乎少陽心肺之病內而不出。人有熱則飲食下胃，其氣未定，汗則出或出於面，或出於背，身中皆熱，不循衛氣之道而出者何也？此外傷於風，內開腠理，毛蒸理泄，衛氣走之，固不得循其道，此氣剽悍 滑疾見開而出，故不得從其道，名曰漏氣，其病則肘攣痛。食先吐而後下，其氣不續，膈間 厭悶，所以飲食先吐而後下也。寒則精神不守，泄下便痢，語聲不出。若實則上絕於心。若虛則引氣於肺也。

澤瀉湯

通脈瀉熱治上焦，飲食下胃，胃氣未定汗出，面背身中皆熱，名曰漏氣方 澤瀉 半夏 柴胡 生薑（各三兩） 桂心 甘草（各一兩） 人參 茯苓（各二兩） 骨皮（五兩） 石膏（八兩） 竹葉（五合） 心（一升）
上十二味 咀，以水二斗，煮取六升，分五服。

麥門冬理中湯

治上焦熱腹滿，不欲飲食，或食先吐而後下，肘攣痛方。

麥冬 生蘆根 竹茹 廩米(各一升) 心(五合) 甘草 茯苓(各二兩) 橘皮 人參 葳蕤(各三兩) 生薑(四兩) 白朮(五兩)
上十二味 咀, 以水一斗五升, 煮取三升, 分三服。

治胸中膈氣聚痛好吐方：

灸厥陰俞, 穴在第四椎, 兩邊各相去一寸五分, 隨年壯。

黃理中湯

治上焦虛寒, 短氣不續, 語聲不出方。

黃 桂心(各二兩) 五味子 桔梗 乾薑 茯苓 甘草 川芎(各三兩) 丹參 杏仁(各
上十味 咀, 以水九升, 煮取三升, 分為三服。

黃連丸

治上焦冷下痢, 腹內不安, 食即注下方。

川連 烏梅肉(各八兩) 桂心(二兩) 乾薑 附子 阿膠(各四兩) 櫸皮 川芎 黃柏(各
上九味為末, 蜜丸如梧子大, 飲下二十丸, 加至三十丸。

濃朴湯

治上焦閉塞乾嘔, 嘔而不出, 熱少冷多, 好吐白沫清涎吞酸方。

濃朴 茯苓 川芎 白朮 元參(各四兩) 桔梗 附子 人參 橘皮(各三兩) 生薑(八兩) 吳茱萸(八合)
上十一味 咀, 以水二斗, 煮取五升, 分為五服。

論曰：中焦如漚(漚者, 在胃中如漚也), 其氣起於胃中脘, 在上焦之後。此受氣者, 主化水穀之味, 秘糟粕, 蒸津液, 化為精微, 上注於肺, 脈乃化而為血, 奉以生身, 莫貴乎此, 故獨行於經隧, 名曰營氣。主足陽明, 陽明之別號曰豐隆, 在外踝上, 去踝八寸, 別走太陰絡諸經之脈, 上下絡太倉, 主腐熟五穀, 不吐不下。實則生熱, 熱則閉塞不通, 上下隔絕。

虛則生寒, 寒則腹痛, 洞泄便痢霍亂, 主脾胃之病。夫血與氣異形而同類, 衛氣是精, 血氣是神, 故血與氣異名同類焉。夫脫血者無汗, 此是神氣。奪汗者無血, 此是精氣, 故人有兩死而無兩生, 猶精神之氣隔絕也。若虛則補於胃, 實則瀉於脾, 調其中和其源, 萬不遺一也。

大黃瀉熱湯

開關格通隔絕, 治中焦實熱閉塞, 上下不通, 不吐不下, 腹滿膨膨喘急方 川大黃(切, 以水一升浸) 黃芩 澤瀉 升麻 芒硝(各三兩) 羚羊角 梔子(各四兩) 元參(八兩) 地黃汁(一升)
上九味 咀, 以水七升, 煮取二升三合, 下大黃更煮兩沸, 去滓, 下硝, 分三服。

藍青丸

治中焦熱下痢水穀方。

藍青汁(三升) 川連(八兩) 黃柏(四兩) 烏梅肉 地膚子 地榆 白朮(各二兩) 阿膠(
上八味為末，以藍青汁和微火煎，丸如杏仁大，飲服三丸，日二。以七月七日合大良，當並手丸之。

黃連煎

治中焦寒洞泄下痢，或因霍亂後瀉黃白無度，腹中虛痛方。

黃連 酸石榴皮 地榆 阿膠(各四兩) 黃柏 當歸 濃朴 乾薑(各三兩)
上八味 咀，以水九升，煮取三升，去滓，下阿膠更煎取烊，分三服。

治四肢不可舉動，多汗洞痢方：

灸大橫隨年壯，穴在挾臍兩邊各二寸五分。

論曰：下焦如瀆(瀆者如溝，水決泄也)，其氣起胃下脘，別回腸，注於膀胱而滲入焉。

故水穀者，常並居於胃中成糟粕，而俱下於大腸，主足太陽，灌滲津液，合膀胱，主出不主入，別於清濁，主肝腎之病候也。若實則大小便不通利，氣逆不續，嘔吐不禁，故曰走哺。

若虛則大小便不止，津液氣絕。人飲酒入胃，谷未熟而小便獨先下者何？蓋酒者，熟谷之液也。其氣悍以滑，故後穀入而先谷出也，所以熱則瀉於肝，寒則補於腎也。

柴胡通塞湯

治下焦熱大小便不通方。

柴胡 羚羊角 黃芩 橘皮 澤瀉(各三兩) 香豉(一升別盛) 生地(一升) 芒 硝(一兩) 梔子(四兩) 石膏(六兩)
上十味 咀，以水一斗，煮取三升，去滓，納芒硝，分為三服。

赤石脂湯

治下焦熱或下痢膿血，煩悶恍惚方。

赤石脂(八兩) 烏梅(二十枚) 梔子(十四枚) 廩米(一升) 白朮 升麻(各三兩) 乾薑(二兩)
上七味 咀，以水一斗煮米，取熟去米下藥，煮取二升半，分為三服。

止嘔人參湯

治下焦熱盛，氣逆不續，嘔吐不禁，名走哺方。

人參 葳蕤 黃芩 知母 茯苓(各三兩) 生蘆根 梔子仁 白朮 橘皮(各四兩) 石膏(八兩)
上十味 咀, 以水九升, 煮取三升, 去滓, 分三服。

香豉湯

治下焦熱毒痢, 魚腦雜痢赤血, 臍下小腹絞痛不可忍, 欲痢不出方。

香豉 薤白(各一升) 川連 黃柏 白朮 茜根(各三兩) 梔子 黃芩 地榆(各四兩)
上九味 咀, 以水九升, 煮取三升, 分三服。

治膀胱三焦津液下大小腸中寒熱, 赤白泄痢, 及腰脊痛, 小便不利, 婦人帶下方:

灸小腸俞五十壯。

黃柏止泄湯

治下焦虛冷, 大小便洞泄不止方。

黃柏 人參 地榆 阿膠(各三兩) 川連(五兩) 茯苓 櫸皮(各四兩) 艾葉(一升)
上八味 咀, 以水一斗, 煮取三升, 去滓, 下膠, 消盡, 分三服。

人參續氣湯

治下焦虛寒, 津液不止, 短氣欲絕方。

人參 橘皮 茯苓 烏梅 麥冬 黃耆 乾薑 川芎(各三兩) 吳茱萸(三合) 桂心(二兩) 白朮 濃朴(各四兩)
上十二味 咀, 以水一斗二升, 煮取三升, 分為三服。

茯苓丸

治下焦虛寒損, 腹中瘀血, 令人喜忘, 不欲聞人語, 胸中噎塞而短氣方。

茯苓 地黃 當歸(各八分) 甘草 乾薑 人參(各七分) 黃耆 (六分) 川芎(五分) 桂心(四分) 濃朴(三分) 杏仁(五十枚)
上十一味為末, 蜜丸如梧子大, 初服二十丸, 加至三十丸為度, 日二, 清飲湯下。

伏龍肝湯

治下焦虛寒損, 或先見血後便轉, 此為近血, 或利不利方。

伏龍肝(五合末) 地黃(五兩, 一方用黃柏) 阿膠 牛膝(一作牛勞根) 甘草 乾薑 黃
上九味 咀, 以水九升, 煮取三升, 去滓, 下膠煮消, 下髮灰, 分為三服。

治下焦虛寒損, 或先便轉後見血, 此為遠血, 或利或不利, 好因勞冷而發, 宜續斷止血方:

續斷 當歸 桂心 蒲黃 阿膠(各一兩) 甘草(二兩) 乾薑 地黃(各四兩)
上八味 咀，以水九升，煮取三升半，去滓，下膠取烊，下蒲黃，分三服。

當歸湯

治三焦虛損，或上下發泄吐唾血，皆從三焦起，或熱損發，或因酒發宜此方 當歸 乾薑 小薊 阿膠 羚羊角 地黃 柏枝皮(各三兩) 芍藥 白朮(各四兩) 蒲黃(五合) 青竹茹(半升) 伏龍肝(一升) 髮灰(雞子大一枚) 黃芩 甘草(各二兩)
上十五味 咀，以水一斗二升，煮取三升半，去滓，下膠取烊，次下髮灰，蒲黃，分為三服。

灸法

五臟六腑，心腹滿，腰背疼，飲食吐逆，寒熱往來，小便不利，羸瘦少氣，灸三焦俞，隨年壯。腹疾腰痛，膀胱寒 飲注下，灸下極俞，隨年壯。三焦膀胱，腎中熱氣，灸水道，隨年壯，穴在挾屈骨，相去五寸。(屈骨在臍下五寸，屈骨端水道挾兩邊各二寸半)。三焦寒 熱，灸小腸俞，隨年壯。

霍亂第六

(論二首 証四條)

論曰：原霍亂之為病也，皆因飲食，非關鬼神。夫飽食肫膾，複餐乳酪；海陸百品，無所不啖；眠臥冷席，多飲寒漿；胃中諸食結而不消，陰陽二氣，壅而反戾。陽氣欲升，陰氣欲降，陰陽乖隔，變成吐痢。頭痛似破，百節如解，遍體諸筋，皆為回轉。論証雖小而卒病之中最為可畏，雖臨深履危，不足以喻之。養生者，宜達其旨，庶可免於夭橫矣。

凡霍亂務在溫和將息，若冷即逼體轉筋。凡此病定一日不食為佳，須三日少少粥食，三日以後可恣意食息，七日勿雜食為佳，所以養脾氣也。

大凡霍亂，皆中食膾酪及飽食雜物過度不能自裁，夜臥失覆不善將息所致，以此殞命者眾。人生稟命，以五臟為主。夫五臟者，即是五行。內為五行，外為五味。五行五味，更宜扶抑。所以春夏秋冬，逆調理之，食啖不可過度。凡飲食於五臟相克者，為病相生無他。

經曰：春不食辛，夏不食鹹，季夏無食酸，秋無食苦，冬無食甘。此不必全不食，但慎其太甚耳。諺曰，百病從口生，蓋不虛也。四時昏食不得太飽，皆能生病，從夏至秋分，忌食肥濃，然熱月人好冷食，更與肥濃，兼食果菜無節，極遂逐冷眠臥，冷水洗浴，五味更相克賊，雖欲無病不可得也。所以病苦，人自作之，非關運也。書曰：非天夭人，人中自絕命，此之謂也。

凡諸霍亂，忌與米飲，胃中得米即吐不止，但與濃朴、葛根飲。若冬瓜葉飲，沾漬咽喉而不可多與。若服湯時隨服吐者，候吐定乃止，診脈絕不通，以桂合葛根為飲，吐下心煩。

內熱汗不出，不轉筋脈急數者，可犀角合葛根為飲。吐下不止，發熱心煩欲飲水，可少飲米粉汁為佳。若不止，可與葛根、薺 飲服之。

問曰：病有霍亂者何？師曰：嘔吐而利，此謂霍亂。

問曰：病者發熱頭痛，身體疼，惡寒而複吐利，當屬何病？師曰：當為霍亂。霍亂吐利止而複發熱也。傷寒，其脈微澀，本是霍亂，今是傷寒卻四五日，至陰經上轉入陰必利。本嘔下利者，不可治也。霍亂吐多者，必轉筋不渴，即臍上築。霍亂而臍上築者，為腎氣動，當先治其築，治中湯主之，去朮加桂心。去朮者，以術壅故也。加桂者，恐作奔豚也。霍亂而臍上築吐多者，及下多者，霍亂而驚，霍亂而渴，霍亂而腹中痛，嘔而吐利。嘔而利欲得水者，皆用治中湯主之。

治中湯

治霍亂吐下脹滿，食不消化，心腹痛方。

人參　乾薑　白朮　甘草（各三兩）
上四味　咀，以水八升，煮取三升，分三服。不瘥，頓服三劑。遠行防霍亂，依前作丸　如梧子大，服三十丸。如作散，服方寸匕。酒服亦得。若轉筋者，加石膏三兩。（仲景云：若臍上築者，腎氣動也，去朮加桂心四兩。吐多者，去朮加生薑三兩。下多者，複用朮。悸者加茯苓三兩。渴欲得水者，加朮合前共四兩半。腹中痛者，加人參合前共四兩半。若寒者，加乾薑合前成四兩半。腹滿者，去朮加附子一枚，服湯後一食頃，服熱粥一升，微自溫，勿發揭衣被也）。

桂枝湯

治吐利止而身痛不休者，當消息和解，其外以此湯小和之（見十一卷篇中。）

當歸四逆加吳茱萸生薑湯

治多寒，手足厥冷，脈細欲絕方。

生薑（五兩）當歸　芍藥　細辛　桂心（各三兩）甘草　通草（各二兩）吳茱萸（二升）大
上九味　咀，以水六升，酒六升合煮，取五升，分五服。舊方用棗三十枚，今以霍亂病法多痞，故除之，如退棗入葛根二兩佳。霍亂，四逆加半夏一合，附子小者一枚。若惡寒乃與大附子。

四逆湯

治吐下而汗出，小便複利，或下利清穀，裡寒外熱，脈微欲絕，或發熱惡寒，四肢拘急，手足厥冷方。

甘草（一兩）乾薑（一兩半）附子（一枚）
上三味　咀，以水三升，煮取一升二合，溫分再服。強者可與大附子一枚，乾薑至三兩。（《廣濟方》云：若吐後吸吸少氣及下而腹滿者，加人參一兩。）

通脈四逆湯

治吐利已斷，汗出而厥，四肢拘急不解，脈微欲絕方。

大附子（一枚）甘草（一兩半）乾薑（三兩，強者四兩）
上三味　咀，以水三升，煮取一升二合，分二服，脈出即愈。若面色赤者，加蔥白九莖。

腹中痛者，去蔥加芍藥二兩。嘔逆，加生薑三兩。咽痛，去芍藥加桔梗一兩。利止脈不出者，去桔梗加人參二兩。皆與方相應，乃服之。（仲景用通脈四逆加豬膽汁湯。）

四順湯

治霍亂轉筋肉冷汗出嘔 者方。

附子（一枚） 人參 乾薑 甘草（各三兩）
上四味 咀，以水六升，煮取二升，分三服。

竹葉湯

治霍亂吐利，已服理中、四順等湯，熱不解者方。

竹葉（一撮） 小麥（一升） 生薑（十累） 甘草 人參 附子 芍藥（各一兩） 橘皮 桂心 當歸（各二兩） 白朮（三兩）
上十一味 咀，以水一斗半，先煮竹葉、小麥，取八升，去滓，下藥，煮取三升，分三服。

上氣者加吳茱萸半升即瘥。理中、四順等皆大熱，若有熱，宜此湯（《古今錄驗》無芍藥）。

甘草瀉心湯

治婦人霍亂，嘔逆吐涎沫，醫反下之，心下即痞，當先治其涎沫，可服小青龍湯。涎沫止，次治其痞可與此方。

甘草（四兩） 乾薑 黃芩（各三兩） 黃連（一兩） 半夏（半斤） 大棗（十二枚）
上六味 咀，以水一斗，煮取六升，分六服。

小青龍湯

治霍亂嘔吐方（見九卷傷寒上）。

附子粳米湯

治霍亂四逆，吐少嘔多者方。

中附子（一枚） 粳米 半夏（各半升） 乾薑（仲景方無） 甘草（各一兩） 大棗（十枚）
上六味 咀，以水八升，煮取米熟，去滓分三服。

理中散

治老年羸劣，冷氣惡心，食飲不化，心腹虛滿，拘急短氣，霍亂嘔逆，四肢厥冷，心煩氣悶流汗，扶老方。

麥門冬 乾薑（各六兩） 人參 白朮 甘草（各五兩） 附子 茯苓（各三兩）
上七味治下篩，以白湯三合服方寸匕。常服將蜜丸如梧子大，酒服二十丸。

人參湯

治毒冷霍亂吐利，煩嘔，轉筋肉冷汗出，手足指皆腫，喘息垂死，絕語音不出，百方不效，脈不通者，服此湯取瘥乃止。隨吐續服勿止，並灸之方。

人參　附子　濃朴　茯苓　甘草　橘皮　當歸　葛根　乾薑　桂心（各二兩）
上十味　咀，以水七升，煮取二升半，分三服。

治霍亂蠱毒，宿食不消，積冷心腹，煩滿鬼氣方：

用極咸鹽湯三升，熱飲一升，刺口令吐宿食使盡。不吐更服，吐訖複飲，三吐乃住靜止，此法大勝諸治，俗人以為田舍淺近之法，鄙而不用，守死而已，凡有此証即須先用之。

治霍亂方：

扁豆　香薷（各一升）
上二味以水六升，煮取二升，分服。單用亦得。

治霍亂洞下不止者方：

艾一把，水三升，煮取一升，頓服之良。

又方　香　一把，水四升，煮取一升，頓服之。青木香亦佳。

治霍亂吐下腹痛方：

桃葉煎汁，服一升立止，冬用皮。

治霍亂引飲輒乾嘔方：

生薑五兩切，以水五升，煮取二升半，分二服，高良薑亦佳。

杜若丸

治霍亂人將遠行預備方。

杜若　藿香　白朮　橘皮　吳茱萸　乾薑　人參　濃朴　木香　雞舌香　瞿麥　桂心薄荷　女萎　茴香
上十五味等分為末，蜜丸如梧子，酒下二十丸。

治霍亂永不發丸方：

虎掌　薇銜（各二兩）枳實　附子　人參　檳榔　乾薑（各三兩）濃朴（六兩）白朮（五兩）皂莢（三寸）
上十味為末，蜜丸如梧子大，每服酒下二十丸，日三。武德中有德行尼名淨明，患此已久，或一月一發，或一月再發，發即至死，時在朝太醫蔣許甘巢之徒亦不能識，余以霍亂治之，處凡先服石藥人，因霍亂吐下服諸熱藥吐下得止，因即變虛，心煩，手足熱，口乾燥欲得水，嘔逆迷悶，脈急數者，及時行熱病後，毒未盡，因霍亂吐下仍發熱，心胸欲裂者，以此解之方：

薺 人參 濃朴 知母 栝蔞根 茯苓 犀角 藍子 枳實 桔梗 橘皮 葛根 黃芩 甘草(各一兩)
上十四味 咀, 以水一斗, 煮取三升, 分三服。

治中熱霍亂暴利, 心煩脈數, 欲得冷水者方：

新汲井水, 頓服一升立愈。先患胃口冷者, 勿服之。

治霍亂醫所不治秘方：

以童女月經衣合血燒末, 酒服方寸七, 百方不瘥者用之。

治霍亂轉筋方：

用蓼一把去兩頭, 水三升, 煮取一升, 頓服之。(一作梨葉)。

又方 燒舊木梳灰為末, 酒服一枚。小者永瘥。

又方 車轂中脂, 塗足心下, 瘥。

治霍亂轉筋入腹無奈何者方：

作極咸鹽湯, 於槽中暖漬之。

又方 以醋煮青布拓之, 冷即易。

治轉筋不止者方：

男子則以手挽其陰牽之。女子則挽其乳近左右邊。

灸法

論曰：凡霍亂, 灸之或雖未能立瘥, 終無死憂, 不可逆灸。或但先腹痛或先下吐後, 當隨病狀灸之。若先心痛及先吐者, 灸巨闕七壯, 在心下一寸。不效, 更灸如前數。若先腹痛者, 灸太倉二七壯, 穴在心厭下四寸, 臍上一夫, 不止, 更灸如前數。若吐下不禁, 兩手陰陽脈俱疾數者, 灸心蔽骨下三寸, 又臍下三寸, 各六七十壯。若乾嘔者, 灸間使各七壯, 在手腕後三寸, 兩止, 更灸如前數。若手足逆冷, 灸三陰交各七壯, 在足內踝直上三寸, 廉骨際, 末瘥, 更灸如前數。若先下利者, 灸谷門二七壯, 在臍旁二寸, 男左女右, 一名大腸募。不瘥, 更灸如前數。若下不止者, 灸大都七壯, 足大趾本節後內側白肉際。若泄利所傷, 煩欲死者, 灸慈宮二十七壯, 在橫骨兩邊各二寸半, 橫骨在臍下, 橫門骨是, 轉筋在兩臂及胸中者, 灸手掌白肉際七壯, 又灸膻中、中府、巨闕、胃脘、尺澤, 並治筋拘頭及足皆愈。走哺轉筋, 灸踵踝白肉際各三七壯。又灸小腹下橫骨中央, 隨年壯。

轉筋四厥, 灸兩乳根黑白際各一壯。轉筋, 灸涌泉六七壯, 在足心下當□趾大筋上。

又大手足, 灸臍上一寸十四壯, 自不動, 勿複持之。又灸股裡大筋, 去陰一寸。霍亂轉筋, 令病人合面正臥, 伸兩手著身, 以繩橫量兩肘尖, 頭依繩下, 挾脊骨兩邊相去各一寸半, 灸一百壯, 無不瘥此華佗法。霍亂已

死有暖氣者，灸承筋七壯。起死人，取繩量圍足從趾至跟，捻取等折一半以度，令一頭至跟踏地處，引 上至度，頭即是穴。又以鹽納臍中，灸二七壯。

雜補第七

（論一首 方三十首）

論曰：彭祖云：使人力壯不老，房室不勞損氣力，顏色不衰者，莫過槀角。其法刮為末十兩，用生附子一枚合之，酒服方寸匕，日三，大良。亦可熬令微黃，單服之，亦令人不老。 然

琥珀散

治虛勞百病，除陰痿精清力不足，大小便不利如淋狀，腦門受寒氣結在關元，強行陰陽，精少餘瀝，腰脊痛，四肢重，咽乾口燥，食無常味，乏氣力，遠視□□驚悸不安，五臟虛勞，上氣喘悶方。

琥珀（一兩，研） 蕪菁子 胡麻子 車前子 蛇床子 菟絲子 枸杞子 子 麥門 冬（各一升） 橘皮 肉蓯蓉 松脂 牡蠣（各四兩） 松子 柏子 荏子（各三兩） 桂心 石韋 石斛 滑石 茯苓 川芎 人參 杜蘅 續斷 遠志 當歸 牛膝 牡丹（各三兩） 通草（三兩半）
上三十味各治下篩，合搗二千杵，盛以葦囊先食，服方寸匕，日三夜一。用牛羊乳汁煎令熟，常服令人強性輕身，益氣消穀，能食，耐寒暑，百病除愈。雖御十女不勞損，令精實如膏，服後七十日可得行房，久服老而更少，髮白反黑，齒落重生。

蓯蓉散

主輕身益氣強骨，補髓不足，能使陰氣強盛方。

肉蓯蓉 五味子 遠志 甘草（各一升） 生地黃（三十斤取汁） 楮實子 慎火草 干漆（各
上八味以地黃汁浸一宿，出曝乾複浸，令汁盡為散，空腹酒服方寸匕，日三，服三十日力倍常，雖御十女無損。

禿雞散

有房室人常服勿絕方。

蛇床子 菟絲子 五味子 遠志 防風 巴戟 杜仲 蓯蓉等分
上八味治下篩，酒服方寸匕，日二。無室勿服。

天雄散

治五勞七傷，陰痿不起衰損者方。

天雄 五味子 遠志（各一兩） 蓯蓉（二兩半） 蛇床子 菟絲子（各六兩）
上六味治下篩，酒服方寸匕，日三，常服勿止。

治陰下濕癢生瘡，失精陰痿方：

牡蒙 菟絲子 蛇床子 蓯蓉 柏子仁(各二兩)
上五味治下篩，酒服方寸七，日三，以知為度。

治陰痿精薄而冷方：

蓯蓉 鐘乳 蛇床子 遠志 續斷 薯蕷 鹿茸(各三兩)
上七味治下篩，酒服方寸七，日二，欲多房室，倍蛇床，欲堅倍遠志。欲大倍鹿茸。欲多精倍鐘乳。

治五勞七傷，庶事衰惡方：

巴戟天 蛇床子 天雄 薯蕷(各三分) 雄蠶蛾(十枚) 五味子 石斛 蓯蓉(各三分) 菟
上十一味治下篩，酒服方寸七，日三。

石硫黃散

極益房勞補虛損方。

石硫黃 白石英 鹿茸 遠志 蛇床子 五味子 天雄 僵蠶 白馬莖 菟絲子 女萎(各等分)
上十一味治下篩，酒服方寸七，日三。無房勿服。

又方 蘼蕪(六兩) 五味子 酸棗仁 柏子仁 乾地黃 枸杞根皮(各三兩)
上六味治下篩，酒服方寸七，日三。

又方 車前子莖葉根治下篩，服方寸七。強陰益精。

常餌補方：

枸杞子(一斤) 天雄(三兩) 蓯蓉 石斛 乾薑 菟絲子 遠志 續斷(各五兩) 乾地黃(
上九味治下篩，酒服方寸七，日二服，食無所忌，服藥十日，候莖頭紫色乃可行房。

治男子陰氣衰，腰背痛，苦寒莖消少精，小便餘瀝出失精，囊下濕癢、虛乏，服此令人充實肌膚肥悅方：

巴戟天 菟絲子 杜仲 桑螵蛸 石斛(各等分)
上五味治下篩，酒服方寸七，日一，常服佳。

又方 薯蕷 巴戟天 山茱萸 丹參 人參(各五分) 蛇床子 五味子(各四分) 天雄 細辛(各三分) 桂心(二分) 乾地黃(七分)
上十一味治下篩，酒服方寸七，日二夜一。

又方 五味子 蛇床子(各二兩) 續斷 牛膝(各三兩) 車前子 蓯蓉(各四兩)
上六味治下篩，酒服方寸七，日二。

杜仲散

益氣補虛，治男子羸瘦短氣，五臟痿損、腰痛不能房室方：

杜仲 蛇床子 五味子 乾地黃(各六分) 蓯蓉 遠志(各八分) 木防己 巴戟(各七 分) 菟
上九味治下篩, 食前酒服方寸匕, 日三, 常服不絕佳。

蓯蓉散

補虛益陽, 治陽氣不足, 陰囊濕癢, 尿有餘瀝, 漏泄虛損, 云為不起方：

蓯蓉 續斷 蛇床子(各八分) 天雄 薯蕷 五味子(各七分) 遠志(六分) 乾地黃巴戟天(各五分)
上九味治下篩, 酒服方寸匕, 日三。凡病皆由醉飽後或疲極之後而合陰陽, 致成此病也

白馬莖丸

治空房獨怒, 見敵不興, 口乾汗出失精, 囊下濕癢, 尿有餘瀝, 卵偏大引疼, 膝冷脛酸, 目中□□, 小腹急, 腰脊強, 男子百病方。

白馬莖 石韋 天雄 遠志 赤石脂 蛇床子 菖蒲 薯蕷 杜仲 栝蔞根 蓯蓉 石斛
上十八味為末, 白蜜丸如梧子大, 酒服四丸, 日二服, 漸加至二十丸, 七日知, 一月日百病愈。

治陰痿方：

雄雞肝(一具) 鯉魚膽(四枚)
上二味陰乾為末, 雀卵和丸如小豆大, 吞一丸。

又方 菟絲子(一升) 雄雞肝(二具)
上二味為末, 雀卵和丸如小豆大, 每服一丸, 日三。

又方 干漆 白朮 甘草 菟絲子 蓯蓉 牛膝 巴戟天 五味子 桂心(各三兩) 石南 石龍芮(各一兩) 乾地黃(四兩)
上十二味為末, 蜜和丸如梧子, 酒服二十丸, 日三。

又方 用蜂房灰夜臥敷之。

又方 用原蠶蛾末連者一升, 去頭足毛羽, 陰乾為末, 蜜丸如梧子, 每服一丸, 夜臥鹽 湯下之。

又方 磁石五斤研, 清酒三斗漬二七日, 每服三合, 日三夜一。

又方 常服天門冬亦佳。

又方 五味子一升新好者治下篩, 酒服方寸匕, 日三。稍加至三匕, 無所慎, 忌食豬魚大蒜大醋。盡一劑即得力, 百日以上可見功效。服藥常令相續不絕, 四時勿廢, 功能自知。

又方 菟絲子 蛇床子 五味子(各等分)
上三味為末, 蜜丸如梧子大, 先食飲服三丸, 日三。

又方 蛇床子 菟絲子 杜仲 蓯蓉 五味子(各等分)
上五味為末, 蜜和丸如梧子大, 酒服十四丸, 日二夜一。

又方 蛇床子(末三兩) 菟絲(汁二合)
上二味相和塗上，日五遍。又方 蛇床子 蓯蓉 遠志(各三分) 附子(一分)
上四味為末，以唾和丸如梧子大，實莖頭內玉泉中。

又方 蛇床子(三分) 天雄 遠志(各二分) 桂心(一分) 無食子(一枚)
上五味為末。唾丸如梧子，塗莖頭內玉泉中，稍時遍體熱。

備急千金要方 卷二十一 消渴淋閉方

唐 孫思邈

(凡四類)

消渴第一

(論六首 方五十三首 灸法七首)

論曰：凡積久飲酒，未有不成消渴，然則大寒凝海而酒不凍，明其酒性酷熱物無以加，脯炙鹽鹹，酒客耽嗜，不離其口，三 之後。製不由己，飲啖無度，咀嚼 醬不擇酸鹹，積 年長夜，酣興不解，遂使三焦猛熱，五臟乾燥，木石猶且焦枯，在人何能不渴。治之愈否，屬在病者。若能如方節慎，旬月可瘳。不自愛惜，死不旋踵。方書醫藥實多有效，其如不慎者何？其所慎有三：一飲酒，二房室，三咸食及面。能慎此者，雖不服藥而自可無他。不知此者，縱有金丹亦不可救，深思慎之。又曰：消渴之人，愈與未愈，常須思慮，有大癰，何者？消渴之人，必於大骨節間發癰疽而卒，所以戒之在大癰也，當預備癰藥以防之。有人病渴利，始發於春，經一夏，服栝蔞、豉汁，得其力，渴漸瘥。然小便猶數甚，晝夜二十餘行，常至三四升，極瘥不減二升也，轉久便止，漸食肥膩，日就羸瘦，喉咽唇口焦燥，吸吸 少氣，不得多語，心煩熱，兩腳酸，食乃兼倍於常而不為氣力者，當知此病皆由虛熱所致。

治法可常服栝蔞汁以除熱，牛乳、杏酪善於補，此法最有益。

治消渴除腸胃熱實方：

麥門冬 茯苓 黃連 石膏 葳蕤(各八分) 人參 龍膽 黃芩(各六分) 升麻(四分)枳
上十三味為末，蜜丸如梧子大，以茅根一升，粟米三合煮汁，服十丸，日二。若渴則與此飲至足大麻亦得。

又方 栝蔞根 生薑(各五兩) 生麥冬汁 蘆根(切，各二升) 茅根(切，三升)
上五味 咀，以水一斗，煮取三升，分為三服。

茯神湯

泄熱止渴，治胃腑實熱，引飲常渴方。

茯神(二兩,《外台》作茯苓) 知母(四兩) 蕨蕤(四兩) 栝蔞根 生麥冬(各五兩) 生地黃(六兩) 小麥(二升) 淡竹葉(三升,切) 大棗(二十枚)
上九味 咀,以水三斗,煮小麥、竹葉取九升,去滓下藥,煮取四升,分四服。不論早 晚,若渴即進。非但只治胃渴,通治渴患熱者。

豬肚丸

治消渴方。

豬肚(一具,治如食法) 黃連 粱米(各五兩) 栝蔞根 茯神(各四兩) 知母(三兩) 麥門冬(二兩)
上七味為末,納豬肚中縫塞,安甑中蒸極爛,乘熱入藥,臼中搗可丸,如硬加蜜和丸如梧子大,飲服二十丸,日三。

又方 黃耆 茯神 栝蔞根 甘草 麥冬(各三兩) 乾地黃(五兩)
上六味 咀,以水八升,煮取二升半,去滓,分三服。日進一劑,服十劑佳。

浮萍丸

治消渴方。

干浮萍 栝蔞根(等分)。

上二味為末,以人乳和丸如梧子大,空腹飲服二十丸,日三。三年病者,三日愈。治虛熱大佳。

治消渴日飲水一石者方:

鉛丹(二兩) 附子(一兩) 葛根 栝蔞根(各三兩)
上四味為末,蜜丸如梧子,飲服十丸,日三。渴則服之,春夏減附子。

黃連丸

治渴方。

黃連 生地黃(各一斤,張文仲云十斤)
上二味絞地黃汁漬黃連出曝燥,複納汁中,令汁盡,曝燥干為末,蜜丸如梧子,服二十丸,日三。食前後無拘。亦可為散,以酒服方寸匕。

栝蔞粉

治大渴秘方。

深掘一大栝蔞根,濃削去皮至白處止,寸切,水浸一日一夜,易水經五日,取出爛搗碎 研之,以絹袋濾,如出粉法干之,水服方寸匕,日三四。亦可作粉粥乳酪中食之,不限多少,瘥止。

又方 栝蔞粉和雞子曝乾,更杵為末,水服方寸匕,日三。丸服亦可。

又方　水和栝蔞散服方寸匕。亦可蜜丸如梧子大，服三十丸。

又方　濃煮竹根汁飲之，瘥止。

又方　漬豉汁任性多少，飲之。

又方　以青粱米煮取汁，飲之，以瘥止。

論曰：夫內消之為病，當由熱中所致，小便多於所飲，令人虛極短氣。夫內消者，食物　皆消作小便，又不渴。貞觀十年梓州刺史李文博，先服白石英既久，忽房道強盛，經月餘，漸患渴，經數日，小便大利，日夜百行，百方治之，漸以增劇，四體羸，不能起止，精　神恍惚，口舌焦乾而卒。此病雖稀，甚可畏也。利時六脈沉細微弱，服枸杞湯即效，但不能　長愈。服鉛丹散亦即減，其間將服除熱宣補丸。

枸杞湯

治渴而利者方。

枸杞枝葉（一斤）　黃連　栝萎根　甘草　石膏（各三兩）
上五味　咀，以水一斗，煮取三升，分五服，日三夜二。劇者多合，渴即飲之。

鉛丹散

治消渴，止小便數兼消中方。

鉛丹　胡粉　甘草　澤瀉　石膏　栝蔞根　赤石脂　白石脂（《肘後》作貝母）
上八味各五分治下篩，水服方寸匕，日三。壯人服匕半。一年病者，一日愈。二年病者，二日愈。渴甚者，夜二服。腹痛者減之。丸服亦佳，每服十丸。傷多令人腹痛。（張文仲云　藥了經三兩日，宜爛煮羊肝肚，空腹服之。或作羹亦得。宜湯淡食之，候小便得鹹，更即　宜蒺蓉丸，兼煮散將息方。見《外台》第十一卷中）。

茯神丸方

（《集驗》名除熱宣補丸，治腎消渴，小便數者）。

茯神　黃耆　人參　麥冬　甘草　黃連　知母　栝蔞根（各三兩）　菟絲子（三合）　蒺　蓉　乾地黃　石膏（各六兩）
上十二味為末，牛膽汁三合，和蜜為丸如梧子大，以茅根煎湯，服三十丸，日二服。漸　加至五十丸。

酸棗丸

治口乾燥內消方。

酸棗（一升五合）　酸安石榴子（五合）　覆盆子　葛根（各三兩）　栝蔞根　茯苓（各三兩半）　兩半）　桂心（一兩六銖）　烏梅（五十枚）
上十味為末，蜜丸，口含化，不限晝夜，以口中有津液為度，服盡複取含，無忌。

治消中，日夜尿七八升者方：

用鹿角炙令焦為末，以酒服五分匕，日二。漸加至方寸匕。

又方　葵根如五升，盆大兩束，以水五斗，煮取三斗，宿不食，平旦一服三升。

又方　漚麻汁服一升，佳。

論曰：強中之病，莖長興盛，不交精液自出也，消渴之後，即作癰疽，皆由石熱。凡如此等，宜服豬腎薺湯，製腎中石熱也。又宜服白鴨通湯（方見後二十六卷解石毒篇中）。

豬腎薺湯方

豬腎（一具）大豆（一升）薺　人參　石膏（各三兩）茯神（一作茯苓）磁　石（綿裹）知母　葛根　栝蔞根　黃芩　甘草（各二兩）
上十二味　咀，以水一斗五升，先煮豬腎、大豆、取一斗，去滓下藥，煮取三升，分三服。渴即飲之。下焦熱者，夜輒合一劑，病勢漸歇即止。

增損腎瀝湯

治腎氣不足，消渴小便多，腰痛方。

羊腎（一具）遠志　人參　澤瀉　桂心　當歸　茯苓　龍骨　乾地黃　黃芩　甘草　川　芎（各二兩）麥門冬（一升）五味子（半升）生薑（六兩）大棗（二十枚）
上十六味以水一斗五升，先煮羊腎，取一斗二升，次下諸藥，取三升，分三服。

治下焦虛熱，上注脾胃，從脾胃上注於肺，好渴利方：

竹葉（切三升）甘草（三兩）栝蔞根　生薑（各五兩）麥門冬　茯苓（各四兩）大棗（三十
上九味　咀，先以水三斗，煮小麥，取一斗去滓澄清，取八升，去上沫，取七升煮藥，取三升，為三服。

治渴利虛熱，引飲不止，消熱止渴方：

竹葉（切，二升）地骨皮（切，一升）生地黃（切，一升）生麥冬（一升半）栝　蔞根　石膏
上十一味　咀，以水一斗二升，煮取四升，分四服。

地黃丸

治面黃，手足黃，咽中乾燥，短氣，脈如連珠，除熱止渴利，補養方。

生地黃汁　生栝蔞根汁（各二升）生羊脂（三升）白蜜（四升）黃連（一升為末）
上五味合煎，令可丸如梧子大，飲服五丸，日二。加至二十丸。若苦冷而渴，渴瘥，宜別服溫藥。

治渴小便數方：

貝母（六分，一作知母）茯苓　栝蔞根（各四分）鉛丹（一分）雞　中黃皮（十四枚）
上五味治下篩，飲服方寸匕，日三，瘥後常服佳。長服不絕，則去鉛丹，以蜜丸之，用麥飲　下。

治渴利方：

用生栝蔞根三十斤切，以水一石，煮取一斗半，去滓，以牛脂五合，煎取水盡，以溫酒

治渴小便利，複非淋者方：

用榆白皮二斤切，以水一斗，煮取五升，每服三合，日三。

又方　小豆藿一把搗汁，頓服三升。

又方　取薔薇根，水煎服之，佳。(《肘後》以治睡中遺尿)。

又方　三年重鵲巢燒末，以飲服之。(《肘後》以治睡中遺尿)。

又方　桃膠如彈丸大，含之咽津。

又方　蠟如雞子大，以醋一升，煮二沸，適寒溫頓服之。

論曰：凡人生放恣者眾，盛壯之時，不自慎惜，快情縱欲，極意房中，漸至年長，腎氣虛竭，百病滋生。又年少懼不能房，多服石散，真氣既盡。石氣孤立，惟有虛耗，唇口乾焦，精液自泄，或小便赤黃，大便乾實，或渴而且利，日夜一石，或渴而不利，或不渴而利，所食之物，悉化小便，皆由房室不節所致也，凡平人夏月喜渴者，由心旺也。心旺便汗，則腎中虛燥，故渴而小便少也。冬月不汗，故小便多而數也，此為平人之証也。名為消　但小便利而不飲水者，腎實也。經云，腎實則消，消者不渴而利是也。所以服石之人小便利者，石性歸腎，得石則實，實則能消水漿故利，利多則不能潤養五臟，臟衰則生諸病。張仲景云：熱結下焦則為溺血，亦令人淋閉不通。內有熱者則喜渴，除熱則止渴。兼虛者，須熱補虛則瘥矣。

治不渴而小便大利，遂至於死者方：

用牡蠣五兩，以患人尿三升，煮取二升，分再服，神驗。

治小便不禁，日便一二斗，或如血色方：

麥冬　乾地黃(各八兩)　乾薑(四兩)　續斷　蒺藜子　桂心(各三兩)　甘草(一兩)上七味　咀，以水一斗，煮取二升五合，分三服。(《古今錄驗》亦治消腎，腳瘦細，

九房散

治小便多或不禁方。

菟絲子　蒲黃　黃連(各三兩)　肉蓯蓉(二兩)　硝石(一兩)
上五味治下篩，並雞　中黃皮三兩為散，飲服方寸匕。如人行十裡久更服，日三。(《冀　方》有五味子三兩，空腹服)。

又方　鹿茸(二寸)　桂心(一尺)　附子(大者三枚)　澤瀉(三兩)　躑躅　韭子(各一升)
上六味治下篩，以漿水服五分匕，日三，加至一錢匕。

黃湯

治消中虛勞少氣，小便數方。

黃　桂心　芍藥　當歸　甘草　生薑(各二兩)　黃芩　乾地黃　麥冬(各一兩)　大棗
上十味　咀，以水一斗，煮取三升，分三服，日三。

棘刺丸

治男子百病，小便過多失精方。

棘刺　石龍芮　巴戟天(各二兩)　濃朴　麥門冬　菟絲子　蓆(《外台》作草鞋)　柏　子仁　蕨蕤　小草　乾地黃　細辛　杜仲　牛膝　蓯蓉　石斛　桂心　防葵(各一兩)　烏　頭(半兩)
上十九味為末，蜜和更搗五六千杵，丸如梧子大，飲下十丸，日三。加至三十丸以知為度。

治尿數而多者方：

用羊肺一具作羹，納少羊肉和鹽、豉，如食法，任性食，不過三具。

治消渴，陰脈絕，胃反而吐食者方：

茯苓(八兩)　澤瀉(四兩)　白朮　桂心　生薑(各三兩)　甘草(一兩)
上六味　咀，以水一斗，煮小麥三升，取汁三升，去滓下藥，煮取二升半，每服八合，日二。

又方　取屋上瓦三十年者，碎如雀腦三升，東流水二石，煮取二斗納藥如下方。

白朮　乾地黃　生薑　人參　橘皮　甘草　黃耆　遠志　桂心　當歸　芍藥(各二兩)　大棗(三十枚)
上十二味　咀，納瓦汁中，煮取三升，分四服。或單飲瓦汁亦佳。

治熱病後虛熱、渴、四肢煩疼方：

葛根(一斤)　人參　甘草(各一兩)　竹葉(一把)
上四味　咀，以水一斗五升，煮取五升，渴即飲之，日三夜二。

骨填煎

治虛勞渴無不效方。

茯苓　菟絲子　當歸　山茱萸　牛膝　五味子　附子　巴戟天　石膏　麥冬(各三兩)　石韋　人參　蓯蓉(《外台》作遠志)　桂心(各四兩)　大豆卷(一升)　天冬(五兩)
上十六味為末，次取生地黃、栝蔞根各十斤搗，絞取汁於微火上煎減半，便作數分，納　藥，並下白蜜三斤，牛髓一斤，微火煎令如糜食，如雞子黃大，日三。亦可飲服之。

茯神煮散

治虛熱，四肢羸乏，渴熱不止，消渴補虛方。

茯神 蒞蓉 蕨薤(各四兩) 生石斛 黃連(各八兩) 栝蔞根 丹參(各五兩) 甘草 五味子 知母 當歸 人參(各三兩) 麥 (三升,《外台》作小麥)
上十三味為末,以絹袋盛三方寸匕,水三升,煮取一升,日二服,一作一服。

枸杞湯

治虛勞,口中苦渴,骨節煩熱或寒者方。

枸杞根白皮(切,五升) 麥門冬(三升) 小麥(二升)
上三味以水二斗,煮麥熟,藥成去滓,每服一升,日再。

巴郡太守奏三黃丸

治男子五勞七傷,消渴,不生肌肉,婦人帶下,手足寒熱者方。

春三月黃芩(四兩) 大黃(三兩) 黃連(四兩) 夏三月黃芩(六兩) 大黃(一兩) 黃連 (七兩) 秋三月黃芩(六兩) 大黃(二兩) 黃連(三兩) 冬三月黃芩(三兩) 大黃(五兩) 黃連(二兩)上三味隨時加減和搗,以蜜為丸如大豆,飲服五丸,日三。不知稍加至七丸,取下而已,一月病愈。久服走逐奔馬,常試有驗。(一本云:夏三月不服)。

治熱渴頭痛壯熱,及婦人血氣上沖,悶不堪者方:

茅根二升(切),三搗取汁令盡,渴即飲之。

治嶺南山瘴風熱毒瓦斯,入腎中變寒熱,腳弱虛滿而渴方:

黃連(不限多少) 生栝蔞根(搗汁) 生地黃(汁) 羊乳(汁)
上四味,以三汁和黃連末為丸,空腹飲服三十丸,如梧子大,漸加至四十丸,日三。重 病五日瘥。輕者三日瘥。無羊乳,牛乳、人乳亦得。若藥苦難服,即煮小麥粥飲服之,主虛熱。(張文仲云:名黃連丸,一名羊乳丸)。

阿膠湯

治虛熱,小便利而多服石散,人虛熱,當風取冷患腳氣,喜發動兼渴消腎,阿膠(二挺) 麻子(一升) 附子(一枚) 乾薑(二兩) 遠志(四兩)
上五味為末,以水七升,煮取二升半,去滓,納膠令烊,分三服。說云:小便利多白,日夜數十行至一石,頻服五日良。

灸法

論曰:凡消渴病經百日以上,不得灸刺,灸刺則於瘡上漏膿水不歇,遂至癰疽羸瘦而死。亦忌有所誤傷,但作針許大瘡,所飲之水,皆於瘡中變成膿水而出。若水出不止必死,慎 之慎之。初得患者,可如方灸刺之。

治消渴咽喉乾,灸胃脘下輸三穴各百壯,穴在背第八椎下橫三寸。(一云灸胸堂五十壯。

又灸足太陽五十壯。）

治消渴，口乾不可忍者，灸小腸俞百壯，橫三間寸灸之。

消渴口乾煩悶，灸足厥陰百壯。

又灸陽池五十壯。

消渴咳逆，灸手厥陰，隨年壯。

消渴小便數，灸兩手小指頭及兩足小趾頭，並灸項椎。

又灸當脊梁中央解間一處，與腰目上兩處，凡三處。

又灸背上脾俞下四寸，當挾脊梁兩處。凡諸灸，皆當隨年壯。又灸腎俞二處。

又灸腰目，在腎俞下三寸，亦挾脊骨兩旁各一寸半。左右以指按取關元一處。又兩旁各二寸二處。又陰市二處，在膝上，當伏兔上行三寸，臨膝取之，或三二列灸，相去一寸，名曰腎系者，（黃帝經云：伏兔下一寸）。曲泉、陰谷、陰陵泉複溜，此諸穴斷小便最佳，不損陽氣。又云：止遺溺也。太溪、中封、然谷、太白、大都、趺陽、行間、大敦、隱白、涌泉，凡此諸穴各一百壯，腹背兩腳凡四十七處。其腎俞、腰目、關元、水道，此可灸三十壯，五日一報，各得一百五十壯，佳。涌泉一處，可灸十壯，大敦、隱白、行間三處，可灸三壯，餘悉七壯，皆五日一報，滿三灸可止也，若發，灸諸陰而不愈，宜灸諸陽，諸陽在腳表。並灸肺俞募，按流注孔穴，壯數如灸陰家法。

小便數而少且難，用力輒失精者，令其人舒兩手合掌，並兩大指令齊急逼之，令兩爪甲相近，以一炷灸兩爪甲本肉際。肉際方後自然有角令炷當角中，小侵入爪上，此兩指共用一炷也。亦灸腳大趾，與手同法，各三炷而已。經三日又灸之。

淋閉第二

（論一首 方四十九首 証一首 灸法十五首）

論曰：熱結中焦則為堅，下焦則為溺血，令人淋閉不通，此多是虛損人，服大散，下焦客熱所為。亦有自然下焦熱者，但自少，可善候之。

凡氣淋之為病，溺難瀝常有餘瀝，石淋之為病。莖中痛溺不得卒出。膏淋之為病，尿似膏自出。勞淋之為病，勞倦即發痛引氣沖下。熱淋之為病，熱即發，甚則尿血，治之皆與氣淋同。凡人候鼻頭色黃者，小便難也。

地膚子湯

治下焦結熱，小便赤黃不利，數起出少，莖痛或血出，溫病後餘熱及霍亂後當風取熱，過度飲酒房勞，及行步冒熱冷凍飲料逐熱，熱結下焦及散石熱動關格，小腹堅，胞脹如斗，有此諸淋，悉治之立驗方。

地膚子（三兩）知母 黃芩 豬苓 瞿麥 枳實（一作松實）升麻 通草 葵子 海藻（各
上十味為末，以水一斗，煮取三升，分三服，大小便皆閉者加大黃三兩。女人房勞，腎中有熱，小便難不

利，小腹滿痛，脈沉細者，加豬腎一具。(崔氏云：若加腎，可用水一斗 五升先煮腎，取一斗汁，納藥煎之。《短劇方》不用枳實。)

治百種淋，寒淋、熱淋、勞淋，小便澀，胞中滿，腹急痛方：

通草 石韋 甘草 王不留行(各二兩) 冬葵子 滑石 瞿麥 白朮 芍藥(各三兩)
上九味 咀，以水一斗，煮取三升，分三服。(《古今錄驗》有當歸二兩，治下篩，以麥粥清服方寸七，日三。)

又方 滑石 石韋 栝蔞根(各二兩)
上三味治下篩，大麥飲服方寸七，日三。

治諸種淋方：

葵根(八兩) 茅根 石首魚頭石(各三兩) 甘草(一兩) 通草(二兩) 貝子(五合) 大麻根(五兩)
上七味為末，以水一斗二升，煮取五升，分五服，日三夜二，亦主石淋。

又方 榆皮 車前子 冬瓜子(各一升) 鯉魚齒 桃膠 通草 地脈(各二兩) 瞿 麥 (四兩)
上八味 咀，以水一斗，煮取三升，分三服，日三。

又方 細白沙三升，熬令極熱，以酒三升淋取汁，服一合。

治淋痛方：

滑石(四兩) 貝子(七枚，燒碎) 茯苓 白朮 通草 芍藥(各二兩)
上六味為末，酒服方寸七，日二服。十日瘥。

又方 葵子(五合) 茯苓 白朮 當歸(各二兩)
上四味 咀，以水七升，煮取二升，分三服，日三。

又方 取豬脂，酒服三合，日三。小兒服一合，臘月者。

治小便不利，莖中疼痛，小腹急痛者方：

通草 茯苓(各三兩) 葶藶(二兩)
上三味治下篩，以水服方寸七，日三。

又方 蒲黃 滑石(各等分)
上二味治下篩，酒服方寸七，日三。

治小便不利，膀胱脹，水氣流腫方：

水上浮萍曝乾為末，服方寸七，日三。

治小便不通方：

滑石(三兩) 葵子(二兩) 榆根白皮(一兩)
上三味治下篩, 煮麻子汁一升半, 取一升以散二方寸匕和, 分三服, 即通。

又方 水四升洗甑帶取汁, 煮葵子, 取二升半, 分二服。

又方 胡燕屎 豉(各一合)
上二味搗, 丸如梧子大, 服三丸, 日三。

又方 發去垢燒末, 葵子一升, 以飲服方寸匕, 日三。

又方 石首魚頭石為末, 水服方寸匕。日三。

又方 鯉魚齒燒灰, 酒服方寸匕, 日三。

又方 石槽塞灰土, 以井花水服之, 日三。

又方 車前子一味為末, 服方寸匕, 日三, 服百日止。

治卒不得小便方:

吞雞子白取瘥。(葛氏云:吞黃。)

又方 車前草(一把) 桑白皮(半兩)
上二味 咀, 以水三升, 煎取一升, 頓服之。

治婦人卒不得小便方:

郁李仁二十枚蒸末, 服之立下。(一本作杏仁二七枚)。

又方 紫菀為末, 以井花水服三指撮, 立通。血出者, 四五度服之。

治黃膽後小便淋瀝方:

豬腎(一具切) 茯苓(一斤) 瞿麥(六兩) 車前根(切三升) 黃芩(三兩) 椒 目(三合 綿裹) 澤瀉 地膚子(各四兩)
上八味 咀, 以水二斗, 煮車前取一斗六升, 去滓, 下豬腎, 煮取一斗二升, 去腎下藥, 煮取三升, 分為三服。

治氣淋方:

水三升煮舡底苔如鴨子大, 取二升, 頓服。

又方 水三升, 煮豉一升, 一沸去滓, 納鹽一合, 頓服, 亦可單煮豉汁服之。

又方 搗葵子末, 湯服方寸匕。

又方 空腹單茹蜀葵一滿口。

又方 熬鹽熱熨小腹，冷複易。亦治小便血。(《肘後方》治小便不通)。

灸法

臍中著鹽，灸三壯。(葛氏治小便不通)。

氣淋，灸關元五十壯。 又灸挾玉泉相去一寸半，三十壯。

石淋方：

車前子二升，以絹袋盛，水九升，煮取三升，隔宿不得食，平旦空腹頓服之。石即出。

(《備急方》云：治熱淋)。

又方 取浮石使滿一手許為末，水三升，醋一升，煮取二升，澄清，服一升，不過三服，石出。(淳酒煮之亦治嗽)。

又方 桃膠棗許大，夏以冷水三合，冬以湯三合，和服，日三。當下石子如豆卵，以石盡止。(亦治小兒痛淋。)

灸法

石淋，臍下三十六種病不得小便，灸關元三十壯。

又灸氣門三十壯。

又灸水泉三十壯。(足大敦是也)。

治膏淋方：

搗 草汁三升，醋二合，和、空腹頓服之，當尿如小豆汁也。又濃煮汁飲，亦治淋瀝，(蘇澄用療尿血。

治五勞七傷，八風十二痺，勞結為血淋，熱結為肉淋，小便不通，莖中痛，及小腹痛不可忍者方：

滑石 桂心 冬葵子 王不留行 通草 車前子(各二分) 甘遂(一分) 石韋(四分)
上八味治下篩，以麻子飲半升，和服方寸匕，日三。尿沙石出。(一方加榆白皮三分。)

灸法

勞淋，灸足太陰百壯，穴在內踝上三寸，三報之。

治熱淋方：

葵根(切一升，冬用子，夏用苗) 大棗(二七枚)
上二味以水三升，煮取一升二合，分二服。熱者加黃芩一兩。出難加滑石二兩。血者加 茜根三兩。痛者加芍藥二兩。

又方 白茅根切四斤，以水一斗五升，煮取五升，服一升，日三夜二。

又方 常煮冬葵根作飲服之。

治血淋小便碜痛方：

雞蘇（二兩） 通草 滑石（各五兩） 竹葉（一把） 生地黃（半斤） 小薊根（一兩）
上六味 咀，以水九升，煎取三升，去滓，溫分三服。

石韋散

治血淋方。

石韋 當歸 蒲黃 芍藥（等分）
上四味治下篩，酒服方寸匕，日三。

又方 生大麻根十枚，以水五升，煮取二升，頓服。（亦治小便出血）。

又方 大豆葉一把，以水四升，煮取二升，頓服。

又方 葵子一升，以水三升煮汁，取一升，日三服。（亦治虛勞尿血）。

灸法

血淋，灸丹田，隨年壯。

又灸複溜五十壯。（一云隨年壯）。

五淋不得小便，灸懸泉十四壯。穴在內踝前一寸斜行，小脈上是，中封之別名。

五淋，灸大敦三十壯。

卒淋，灸外踝尖七壯。

淋病九部諸疾，灸足太陽五十壯。

淋病不得小便，陰上痛，灸足太沖五十壯。

腹中滿小便數起，灸玉泉下一寸，名尿胞。一名屈骨端。灸二七壯。小兒以意減之。

治遺尿小便澀方：

牡蠣 鹿茸（各四兩） 桑耳（三兩，《錄驗》無） 阿膠（二兩）
上四味 咀，以水七升，煮取二升，分二服，日二。

又方 防己 葵子 防風（各二兩）
上三味 咀，以水五升，煮取二升半，分三服。作散服亦佳。

治小便失禁方：

以水三升煮雞腸，取一升，分三服。

又方 取雞 一具，並腸燒末，酒服。男雌女雄。

治尿床方：

取羊肚系盛水令滿，綠縛兩頭熟煮，即開，取中水頓服，立瘥。

又方 取羊胞盛水滿中，炭火燒之盡熟，空腹服，不過四五度瘥。

灸法

遺尿失禁，出不自知，灸陰陵泉，隨年壯。遺溺，灸遺道挾玉泉五寸。

又灸陽陵泉。

又灸足陽明，各隨年壯。

小便失禁，灸大敦七壯。

又灸行間七壯。

尿床，垂兩手兩髀上，盡指頭上有陷處，灸七壯。

又灸臍下橫紋七壯。

溺血第三

（方十三首）

治房勞傷中尿血方：

牡蠣 桂心 黃芩 車前子（各等分）
上四味治下篩，飲服方寸匕，稍加至二匕，日三服。

治小便血方：

生地黃（八兩） 柏葉（一把） 黃芩 阿膠（各二兩）
上四味 咀，以水八升，煮取三升，去滓，下膠，分三服。（一方加甘草二兩。

又方 菟絲子 蒲黃 白芷 荊實 乾地黃 酸棗（《短劇》作敗醬） 川芎 葵子當歸 茯苓（等分
上十味為末，蜜丸如梧子大，飲服五丸，日三服。稍加至十丸。

又方 戎鹽（六分） 甘草 蒲黃 鹿角膠 芍藥（各二兩） 礬石（三兩） 大棗（十枚）
上七味 咀，以水九升，煮取二升，分三服。

又方　胡麻三升搗細末，以東流水二升，漬一宿，平旦絞去滓，煮一二沸，頓服。

又方　龍骨為細末，溫水服方寸匕，日五六服。（張文仲云：酒服）。

又方　酒三升煮蜀當歸四兩，取一升，頓服。

又方　搗荊葉取汁，酒服二合。

又方　煮車前根葉子，多飲佳。

又方　酒服亂髮灰。（蘇澄用水服。）

又方　酒服葵莖灰方寸匕，日三。

又方　豉二升，酒四升，煮取一升，頓服。

又方　刮滑石末，水和，敷繞小腹及陰際，佳。（葛氏云：治小便不通。）

水腫第四

（論一首　方四十九首　証三首　灸法二首）

論曰：大凡水病難治，瘥後特須慎於口味，病水人多嗜食，所以此病難愈也。代有醫者，隨逐時情，意在財物，不本性命。病患欲食，勸令食羊頭蹄肉，如此未有一愈者。又此病　百脈之中，氣水俱實，治者皆欲令瀉之。羊頭蹄極補，哪得瘳愈？所以治水藥，多用葶藶等　諸藥。《本草》云：葶藶久服令人大虛，故水病非久虛，不得絕其根本。又有蠱脹，但腹滿不腫，水脹四肢面目俱腫，醫者不善診候，治蠱以水藥，治水以蠱藥，或但脹滿，皆以水藥。仲景所云：愚醫殺之。今錄忌如下：喪孝、產乳、音樂、房室、喧戲、一切魚，一切肉、一切生冷、醋滑　蒜、粘食、米豆、油膩。其治蠱方具在雜方篇，見第二十四卷蠱毒篇中。

上前所禁不得食，不得用心。其不禁者，並具本方之下，其房室等禁，須三年慎之，永不複　發。不爾者雖瘥，複發不可更治也。古方有十水丸歷驗，多利大便而不利小便，所以不錄。

黃帝問岐伯曰：水與膚脹、鼓脹、腸覃、石瘕，何以別之？岐伯曰：水之始起也，目窠　上微腫（《靈樞》、《太素》作微壅），如新臥起之狀。其頸脈動，時咳，陰股間寒，足脛腫　腹乃大，其水已成也。以手按其腹，隨手而起，如裹水之狀，此其候也。膚脹者，寒氣客於皮膚之間，殼殼然而堅（《太素》、《外台》作不堅），腹大身盡腫皮濃，按其腹陷（《太素　作）而不起，腹色不變，此其候也。鼓脹者，腹脹身腫大，大與膚脹等，色蒼黃，腹筋起，此其候也。腸覃者，寒氣客於腸外與胃（《太素》作衛）氣相搏，正氣不得營，因有所系瘕　而內注，惡氣乃起，息肉乃生。其始生也。大如雞卵，稍以益大，至其成也。如懷子之狀。久　者子門閉塞，氣不得通，惡血當瀉不瀉，　以留止，日以益大，狀如懷子，月事不以時下，皆　生於女子，可導而下之。曰：膚脹、鼓脹可刺乎？曰：先瀉其腹之血絡，後調其經，刺去其血脈。師曰：病有風水、有皮水、有正水、有石水、有黃汗。風水，其脈自浮，外証骨節疼　痛，惡風。皮水，其脈亦浮，外証浮腫，按之沒指，不惡風，其腹如鼓，不渴，當發其汗。

正水，其脈沉遲，外証自喘。石水，其脈自沉，外証腹滿（《脈經》作痛），不喘。黃汗，其脈沉遲，身體發熱，胸滿，四肢頭面腫，久不愈必致癰膿。心水者，身重（一作腫）而少氣，不得臥，煩而躁，其人陰腫。肝水者，

腹大不能自轉側，脅下腹中痛，時時津液微生，小便 續通。脾水者，腹亦大，四肢苦重，津液不生，但苦少氣，小便難。肺水者，其身腫，小便 難，時時鴨溏。腎水者，其人腹大，臍腫腰痛，不得溺，陰下濕如牛鼻上汗，其足逆冷，其面反瘦。師曰：諸有水者，腰以下腫，當利小便，腰以上腫，當發汗乃愈。問曰：病下利後，渴飲水，小便不利，腹滿因腫者何也？師曰：此法當病水，若小便自利及汗出者，自當愈（一作盈月當愈。）凡水病之初，先兩目上腫起如老蠶色，挾頸脈動，股裡冷，脛中滿，按之沒 指，已成，猶可治也。此病皆從虛損所致。

大病或下利後，婦人產後，飲水不消，三焦決漏，小便不利，仍相結漸漸生聚，遂流諸 經故也。

水有十種，不可治者有五。第一唇黑傷肝。第二缺盆平傷心。第三臍出傷脾。第四背平 傷肺。第五足下平滿傷腎。此五傷必不可治。

凡水病忌腹上出水，出水者，一月死，大忌之。

中軍候黑丸

治膽玄水先從頭面至腳腫，頭眩痛，身虛熱，名曰玄水。體腫大小便澀 第十八卷大腸腑門）。

治小腸水，小腹滿，暴腫，口苦乾燥方：

用巴豆三十枚和皮碎，以水五升，煮取三升，綿納汁中，拭腫上，隨手可減，日五六拭，莫近目及陰（《集驗》治身暴腫如吹）。

治大腸水乍虛乍實，上下來去方：赤小豆（五升） 桑白皮（切二升） 鯉魚（四斤） 白朮（八兩）
上四味 咀，以水三斗，煮取魚爛，勿用鹽，去魚盡食，並取汁四升許，細細飲下。

又方 羊肉（一斤） 商陸（切，一升）
上二味以水二斗，先煮商陸令爛，去滓後納羊肉及蔥、豉、醋如 法。（《肘後》云：

治卒腫滿身面洪大）。

治膀胱石水，四肢瘦，腹腫方：

桑白皮 白皮 澤漆葉（各三升） 大豆（五升） 防己 射干 白朮（各四兩）
上七味 咀，以水一斗五升，煮取六升，去滓，納好酒三升，更煮取五升，日二夜一。餘者，次日更服。（《集驗方》無澤漆、防己、射干、只四味。）

又方 桑白皮（六兩） 射干 黃芩 茯苓 白朮（各四兩） 澤瀉（三兩） 防己（二升） 大豆
上九味 咀，以水五斗煮大豆，取三斗，去豆澄清，取一斗下藥，煮取三升，空腹分三服。

治胃水四肢腫，腹滿方：

豬腎（一具） 茯苓（四兩） 防己 橘皮 元參 黃芩 杏仁 澤瀉（一作澤漆） 桑 白皮（各一兩） 豬苓 白朮（各三兩） 大豆（三升）
上十二味 咀，以水一斗八升煮豬腎，大豆、澤瀉、桑白皮取一斗共煮，澄清去滓，納 餘藥，煮取三升，分三服。若咳加五味子三兩。凡服三劑，間五日，服一劑，常用有效。

有人患氣急積久不瘥，遂成水腫，如此者眾，諸皮中浮水攻面目，身體從腰以上腫，以此發汗方：

麻黃（四兩） 甘草（二兩）
上二味 咀，以水五升煮麻黃，再沸去沫，納甘草，煮取三升，分三服。重覆取汗，愈。

慎風冷等。

治面目手足有微腫，常不能消者方：

以楮葉切二升，水四升，煮取三升，去滓納米，煮作粥食，如常食勿絕。冬則預取葉干 之，準法作粥，周年永瘥，慎生冷一切食物。

治面腫小便澀，心腹脹滿方：

茯苓 杏仁（各八分） 橘皮 防己 葶藶（各五分） 蘇子（三合）
上六味為末，蜜丸如小豆，服十丸，以桑白皮湯送下。日二服，加至三十丸。

治大腹水腫，氣息不通，命在旦夕者方：

牛黃（二分） 椒目（三分） 昆布 海藻 牽牛子 桂心（各八分） 葶藶（六分）
上七味為末，另搗葶藶如膏，蜜和丸如梧子，飲服十丸，日二，稍加。小便利為度，大良。貞觀九年漢陽王患水，醫所不治，余處此方，日夜尿一二斗，五六日即瘥。

有人患水腫腹大，其堅如石，四肢細小，勞苦足脛腫，小飲食便氣急，此終身之疾。服利下藥不瘥者，宜服此藥，微除風濕，利小便，消水穀，歲久服之乃可得力，瘥後可常服方 鬼箭羽 丹參 白朮 獨活（各五兩） 秦艽 豬苓（各三兩） 知母 海藻 茯苓 桂心（各
上十味 咀，以酒三斗，浸五日，服五合，日三。任性量力漸加之。

治水腫利小便，酒客，虛熱當風，飲冷水，腹腫，陰脹滿方：

當歸（四兩） 甘遂（一兩） 芒硝 芫花（各二兩） 吳茱萸（三兩）
上五味為末，蜜丸如梧子大，飲服三丸，日三。

（一方有大黃蕘花各二兩，無茱萸，加豬苓、麝香各一兩。

大豆散

治久水，腹肚如鼓者方。

烏豆一斗，熬令香，勿令大熟，去皮為細末篩下餳粥，皆得服之，初服一合，稍加之，若初服多，後即嫌臭，服盡更作取瘥止。不得食肥膩，渴則飲羹汁，慎酒肉豬雞魚、生冷醋 滑、房室。得食漿粥，牛羊兔鹿肉。此病難治，雖諸大藥丸散湯膏，當時暫瘥，過後複發，惟此散瘥後不發，終生服之，終生不發矣。其所禁食物（常須少啖，莫隨意食咸物，諸雜食 等）。

又方 葶藶末 蒼耳子灰（各二十七）
上二味水調和服之，日二。

又方 椒目沉水者取熬，搗如膏，酒服方寸匕。

又方 水煮馬兜鈴服之。

治水氣腫鼓脹，小便不利方：

莨菪子（一升）， 羊肺（一具，青羊亦佳）。

上二味先洗羊肺，湯微渫之，薄切曝乾作末。以三年大醋漬莨菪子一 時，出熬令變 色，熟搗如泥，和肺末蜜合，搗三千杵為丸，如梧子大，食後一食久，以麥門冬飲服四丸，日三。以喉中干、口粘，浪語為候，數日小便大利，佳。山連治韋司業得瘧，司業侄云表 所送云：數用神驗。

麥門冬飲方

麥門冬（二十五枚） 米（二十五粒）
上二味以水一升，和煮米熟，去滓，下前丸藥，逐日作服用之。

徐王煮散

治水腫利小便方。

牛角 防己 羌活 人參 丹參 牛膝 升麻 防風 秦艽 生薑屑 谷皮 紫菀 杏仁 附子 石斛（各三兩） 桑白皮（六兩） 橘皮 白朮 澤瀉 茯苓 郁李仁 豬苓 黃連（各一兩）
上二十三味治下篩為粗散，以水一升半，煮三寸匕，取一升，頓服，日再。不能者但一服，兩三月以前可服，主利多而小便澀者，用之大驗。

褚澄漢防己煮散

治水腫上氣方。

漢防己 澤漆葉 石韋 澤瀉（各三兩） 桑白皮 白朮 丹參 赤茯苓 橘皮 通草 （各三兩） 生薑（十兩） 郁李仁（五合）
上十二味治下篩為粗散，以水一升半煮三方寸匕，取八合，去滓，頓服。日三。取小便 利為度。

茯苓丸

治水腫，甄權為安康公處此方。

茯苓 白朮 椒目（各四分） 木防己 葶藶 澤瀉（各五分） 甘遂（十二分） 赤 小豆 前胡 芫花 桂心（各二分） 芒硝（七分另研）
上十二味為末，蜜丸如梧子，蜜湯下五丸，日一。稍加，以知為度。

治水腫利大小便方：

大黃 白朮（一作葶藶） 木防己（各等分）
上三味為末，蜜丸如梧子大，飲下十丸，大小便利為度，不知加之。

又方　牽牛子為末，水服方寸七，日一。以兩便利為度。

又方　葶藶（生用四兩）桂心（一兩）
上二味為末，蜜丸如梧子大，飲下七丸，日二，以知為度。

又方　郁李仁（末）面（各一升）
上二味和作餅子七枚，燒熟，空腹熱食四枚，不知加一枚，以至七枚。

又方　水銀（三兩，煮三日三夜）葶藶子　椒目（各一升）芒硝（三兩）衣魚（二十枚）水萍　瓜蒂　滑石（各一兩）
上八味搗葶藶令細，下水銀更搗、令不見水銀止，別搗椒目令細，搗瓜蒂，水萍，下篩　合和餘藥，以蜜和更搗三萬杵成丸，初服一丸如梧子大，次服二丸，次服三丸，次服四丸，次服五丸，次服六丸，至七日，還從一丸起，次服二丸，如是每至六丸，還從一丸起。始服藥，當咽喉上有　子腫起，頰車腫滿，齒齦皆腫，唾碎血出，勿怪也，不三五日即消，所苦皆瘥。已上服藥，若下多，停藥以止利，藥至五下止。病未瘥，更服，病瘥止。此治諸體　肉肥濃，按之不陷，甚者臂粗著衣袖不受，及十種大水，醫不治者，悉主之，神驗。（《深師集驗》，陶氏《古今錄驗》無衣魚，水萍，瓜蒂，滑石）。

澤漆湯

治水氣通身浮腫，四肢無力，或從消渴，或從黃膽支飲，內虛不足，營衛不通，氣不消　化，實皮膚中喘息不安，腹中響脹滿，眼目不得視方。

澤漆根（十兩）鯉魚（五斤）生薑（八兩）赤小豆（二兩）茯苓（三兩）人參甘草　麥冬
上八味　咀，以水一斗七升，先煮魚及豆，減七升，去魚、豆、納藥、煮取四升半，一服三合，日三，人弱日二。氣下喘止。可至四合，　時小便利，腫減，或大便溏下。小便若不利還增一合以大利便止，若無鯉魚，魚亦可用。若水甚不得臥，臥不得轉側，再加澤漆　一斤。渴加栝蔞根二兩。咳嗽加紫菀二兩、細辛一兩、款冬花一兩、桂心三兩、增魚汁二升。

（胡洽無小豆、麥冬，有澤瀉五兩，杏仁一兩。《錄驗》無小豆。治水在五臟，令人咳逆氣喘，腹大而響，兩足腫，目下有臥蠶狀，微渴，不得安臥，氣奔短氣，有頃乃複，小便難，少而數，肺病胸滿隱痛，宜利小便，水氣迫腫，翕翕寒熱）。

豬苓散

治虛滿通身腫，利三焦通水道方。

豬苓　葶藶　人參　元參　五味子　防風　澤瀉　桂心　野狼毒　椒目　白朮　乾薑　大戟甘草（各二兩）蓯蓉（二兩半）女曲（三合）赤小豆（二合）
上十七味治下篩，酒服方寸七，日三夜一。老小一七，以小便利為度。

麻豆煎

治水氣通身浮腫，百藥不瘥，待死者方。

大麻子(皆取新肥者佳) 赤小豆(不得一粒雜, 各一石)
上二味皆以新精者淨揀擇, 水淘洗曝乾, 蒸麻子使熟, 更曝令乾, 貯淨器中, 欲服取五升, 麻子熬令黃香, 以緩火勿令焦, 作極細末, 以水五升搦取汁令盡, 貯淨密器, 明旦欲服, 今夜以小豆一升淘浸, 至旦干漉去水, 以新水煮豆, 未及好熟, 即漉出令乾, 納麻子汁中, 煮令大爛熟, 空腹恣服, 日三服, 當小心悶, 少時即止, 五日後小便數或赤, 而唾粘口乾, 不足怪之, 服訖, 常須微行, 未得即臥。十日後, 針灸三裡, 絕骨下氣。不爾, 氣不泄盡, 服藥後五日氣逆不可下者, 取大鯉魚一頭, 先死者去鱗尾等, 以湯脫去滑, 淨洗開肚去臟, 以上件麻汁和小豆完煮, 令熟作羹, 入葱、豉、橘皮、生薑、紫蘇調和食之, 始終一切斷 鹽, 渴即飲麻汁。秋冬暖飲, 春夏冷凍飲料, 常食不得至飽, 只得免飢而已。慎房室, 嗔怒, 大語高聲、酒麵油醋, 生冷菜茹、一切魚肉、鹽醬五辛, 並治一切氣病, 服者皆瘥。凡作一月 日服之。麻子熟時, 多收新瓮貯, 擬施人也。

又方 吳茱萸 蕤芨 昆布 杏仁 葶藶(各等分)
上五味為末, 蜜丸如梧子, 服五丸。勿令飽食, 食訖, 飽悶氣急, 服之即散。

苦瓠丸

治大水, 頭面遍身腫脹方。

苦瓠白穰實, 捻如大豆, 以麵裹煮一沸, 空腹吞七枚, 至午當出水一升, 三四日水自出 不止, 大瘦乃瘥。三年內慎口味, 苦瓠須好, 無厭翳, 細理研淨者, 不爾, 有毒不堪用。(崔 氏 小便若太多, 即一二日停止)。

又方 苦瓠膜(二分) 葶藶子(五分)
上二味合搗為丸如小豆大, 服五丸, 日三。

又方 大棗肉(七枚) 苦瓠膜(如棗核大)。

上搗為末, 丸, 一服三丸。如人行十五裡久, 又服二丸, 水出, 更服一丸, 即止。

又方 葶藶 桃仁(各等分)
上二味皆熬, 合搗為丸, 服之, 利小便。一方用杏仁。

又方 搗生葶藶子, 醋和服, 以小便數為度。

又方 燒薑石令赤, 納黑牛尿中令熱, 服一升, 日二。

又方 單服牛尿, 大良。凡病水服。無不瘥。服法先從少起, 得下為度。

又方 煎人尿令可丸, 服如小豆大, 日三。

治水通身腫方:

煎豬椒枝葉如餳, 空腹服一七, 日三, 癢, 以汁洗之。

又方灸法 灸足第二趾上一寸, 隨年壯。

又灸兩手大指縫頭七壯。

麻黃煎

治風水，通身腫欲裂，利小便方。

麻黃　茯苓　澤瀉（各四兩）防風　澤漆　白朮（各五兩）杏仁　大戟（各一升）黃豬苓（各三兩）獨活（八兩）大豆（二升，水七升煮取一升），　清酒（一升）
上十三味　咀，以豆汁酒及水一斗合煮，取六升，分六七服，一日一夜，令盡，當小便　極利為度。

大豆散

治風水，通身大腫，眼合不得開，短氣欲絕方。

大豆（一升）杏仁（一升）麻黃　木防己　防風　豬苓（各四兩）澤瀉　黃耆　烏頭（各三兩）半夏（六兩）生薑（七兩）茯苓　白朮（各五兩）甘遂　甘草（各二兩）清酒（一升）
上十六味　咀，以水一斗四升煮豆，取一斗，去豆，納藥及酒合煎，取七升，分七服，日四夜三，得小便快利為度。腫消停藥，不必盡劑。若不利小便者，加生大戟一升，葶藶　二兩，無不快利，萬不失一。（深師方無豬苓、澤瀉、烏頭、半夏、甘遂）。

治風水腫方：

大豆（三升）桑白皮（五升，以水二升，煮取一升，去滓，納後藥）。

風橘皮　半夏　生薑（各五兩）鱉甲　當歸　防己　麻黃　豬苓（各三兩）大戟（一兩）葵子（一升）
上十三味　咀，納前汁中，煮取五升，每服八合，日三。相去如人行十裡久，再服。

麻子湯

治遍身流腫方。

麻子（五升）赤小豆（三升）當陸（一升，即商陸）防風（三兩）附子（一兩）
上五味　咀，先搗麻子令熟，以水三斗煮麻子，取一斗三升，去滓，納藥及豆煮，取四升，去滓，食豆飲汁。

大豆煎

治男子女人新久腫得暴惡風入腹，婦人新產上圊風入臟，腹中如馬鞭者，噓吸短氣，咳嗽方。

大豆一斗淨擇，以水五斗煮取一斗五升，澄清納釜中，以一斗半美酒納中更煎，取九升，宿勿食，平旦服三升，溫覆取汗兩食頃當下，去風氣腫退，慎風冷，十日平複，除日合服佳。若急不可待，遂急合服，腫不盡退，加之，腫瘥，更服三升。若十分瘥，勿服。病中亦　可任性飲之，使酒氣相接。（《肘後》云：腫瘥後渴，慎勿多飲）。

又方　楮皮枝葉一大束切，煮取汁隨多少釀酒，但飲醉為佳，不過三四日腫少退，瘥　後可常服之。（一方用豬椒皮枝葉。）

又方　鯉魚長一尺五寸，以尿淹漬一宿，平旦以木篦從口中貫至尾、微火炙令微熟，去皮宿勿食，空腹頓服之。不能者，分再服，勿與鹽。

摩膏

治表，凡腫病須百方內外攻之，不可一概方。

生商陸（一斤）豬膏（一斤煎，可得二升）
上二味和煎令黃，去滓，以摩腫，亦可服少許，並塗以紙覆上燥輒敷之，不過三日。瘥。

麝香散

治婦人短氣虛羸，遍身浮腫，皮膚急，人所稀見方。

麝香（三銖）雄黃（六銖）芫花　甘遂（各二分）
上四味為末，酒服五七。老少以意增減。亦可為丸如小豆大，強者服七丸。（《短劇》無雄黃。深師以蜜丸如大豆，服二丸，日三。治三焦決滿，水在胸外，名曰水病。腹獨大在腹表，用大麝香丸。《華佗方》、《肘後》有人參二分，為九服）。

治虛勞浮腫方　灸太沖百壯。

又灸腎俞。

備急千金要方　卷二十二　癰腫毒方

唐　孫思邈

（凡六類）

疔腫第一

（論一首方二十九首　証十五首灸法一首）

論曰：夫稟形之類，須存攝養。將息失度，百病萌生。故四時代謝，陰陽遞興。二氣更　相擊怒，當是時也，必有暴氣。夫暴氣者，每月之中，卒然大風大霧，大寒大熱，若不時避，人忽遇之，此皆入人四體，頓折皮膚，流注經脈，遂使腠理壅隔，營衛結滯，陰陽之氣不得宣泄，變成癰疽疔毒，惡瘡諸腫。至於疔腫，若不預識，令人死不逮辰。所以養生之士須早識此方，凡是瘡痍無所逃遁。

凡療疔腫，皆刺中心至痛。又刺四邊十餘下，令血出，去血敷藥，藥氣得入針孔中。若不達瘡內，療不得力。

又其腫好著口中頰邊舌上，見赤黑如珠子，碜痛應心是也。是秋冬寒毒久結皮中，變作 此疾，不即療之，日夜根長，流入諸脈數道，如箭入身捉人不得動搖。若不慎口味房室，死不旋踵。經五六日不瘥，眼中見火，神昏口乾心煩，即死也。

一曰麻子疔，其狀肉上起頭，大如黍米，色稍黑，四邊微赤多癢，忌食麻子及衣麻，勿入麻田中行。

二曰石疔，其狀皮肉相連，色烏黑如黑豆，甚硬，刺之不入肉內隱隱微疼，忌瓦礫磚石 之屬。

三曰雄疔，其狀 頭黑，四畔仰瘡 漿起，有水出，色黃大如錢孔形高，忌房室。

四曰雌疔，其狀瘡頭稍黃，向裡 亦如灸瘡，四畔 漿起，心凹色赤，大如錢孔，忌房室。

五曰火疔，其狀如湯火燒灼，瘡頭黑，四邊有 漿起，如赤粟米，忌火炙爍。

六曰爛疔，其狀色稍黑有白斑，瘡中潰潰則有膿水流出，瘡形大小如匙面，忌沸熱食爛 臭物。

七曰三十六疔，其狀頭黑浮起，形如黑豆，四畔起大赤色，今日生一，明日生二，後日生三，乃至十，若滿三十六，藥所不能治，如未滿三十六者可治，俗名黑 。忌嗔怒蓄積愁恨。

八曰蛇眼疔，其狀瘡頭黑皮上浮，生形如小豆，狀似蛇眼，大體硬，忌惡眼看，並嫉妒人見之及毒藥。

九曰鹽膚疔，其狀大如匙面，四畔皆赤，有黑粟粒起，忌食咸物。

十曰水洗疔，其狀大如錢形或如錢孔大，瘡頭白裡黑，汁出中硬，忌飲漿水，水洗渡河。

十一曰刀鐮疔，其狀瘡闊狹如薤葉大，長一寸，左側肉黑如燒爍，忌刺及鐮刀切割鐵刀所傷，可以藥治。

十二曰浮溫疔，其狀瘡體曲圓少許不合，長而狹如薤葉大，內黃外黑，黑處刺不痛，內黃處刺之則痛。

十三曰牛拘疔，其狀肉 起，掐不破。

上十三種瘡，初起必先癢後痛，先寒後熱，熱定則寒，多四肢沉重、頭痛、心驚、眼花，若大重者則嘔逆，嘔逆者難治。其麻子疔一種始末惟癢。所忌者不得犯觸，犯觸者即難療。其浮溫疔、牛拘疔二種，無所禁忌，縱不療亦不能殺人，其狀寒熱與諸疔同，皆以此方療之，萬不失一。欲知犯觸之狀，但脊強，瘡痛極甚不可忍者是也。

治十三種疔方：

用枸杞，其藥有四名：春名天精，夏名枸杞，秋名卻老，冬名地骨。春三月上建日采葉，夏三月上建日采枝，秋三月上建日采子，冬三月上建日采根。凡四時初逢建日，取葉子枝根等四種並曝乾。若得五月五日午時合和大良，如不得依法采者，但得一種亦得，用緋繒一片以裹藥，取匝為限，亂髮雞子大，牛黃梧子大，反鉤棘針二十七枚為末，赤小豆七枚末，先於緋上薄布亂髮，以牛黃末等布上曝，即卷緋繒作團，以發作繩，十字縛之，熨斗中急火熬令沸，沸定後自乾，即刮取搗為末，絹篩以一方寸匕，取枸杞四味合搗，絹篩取二匕和合前一匕，共為三匕令相得，又分為二份，早晨空腹酒服一份，日二。

齊州榮姥丸

凡是疔腫皆用治之方。

牡蠣（九兩爛者） 鐘乳 枸杞根皮（各二兩） 白石英（一兩） 桔梗（一兩半） 白薑石（一斤，軟黃者）
上六味各搗，絹篩合和令調，先取伏龍肝九升為末，以清酒一斗二升攪令渾，澄清取二升和藥捻作餅子，大六分，濃二分，其濁滓仍置盆中，布餅於籠上，以一幅紙藉盆上，以泥酒氣蒸之，仍數攪令氣散發，經半日，藥餅子干，納瓦坩中，一重紙，一重藥遍布，勿令相著，以泥密封三七日，干以紙袋貯置干處舉之。用法以針刺瘡中心深至瘡根，並刺四畔令血出，以刀刮取藥如大豆許納瘡上。若病重困日夜三四度，輕者一二度著，重者二日，根爛 始出。輕者一日半日爛出，當看瘡浮起，是根出之候。若根出已爛者，勿停藥仍著之，藥甚安穩，令生肌易。其病在口咽及胸腹中者，必外有腫異相也。寒熱不快，疑是此病，即以飲或清水和藥如二杏仁許服之，日夜三四服，自然消爛或以物剔露根出，即瘥。當看精神，自覺醒悟。合藥以五月五日為上，七月七日為次，九月九日，臘月臘日皆可。若急須藥，他日亦得。修合須清淨燒香，不得觸穢，無令孝子、不具足人、產婦、六畜雞犬等見之。凡有此病者，忌房室、豬牛雞魚、生韭蔥蒜、芸苔胡荽葵、酒醋、面等。若犯諸忌而發動者，取枸杞根湯和藥服並如後方，其二方本是一家，智者評論以後方最是真本。

趙嬈方

薑石（二十五兩） 牡蠣（十兩，崔氏作七兩） 茯苓（三兩） 枸杞根皮（四兩）
上四味各搗篩合和，先取新枸杞根合皮切六升，水一斗半，煎取五升，去滓，納狗屎（崔 氏云尿）二升，攪令調，澄取清和前藥熟搗，捻作餅子陰乾。病者以兩根刃針當頭直刺瘡，痛徹拔針出，刮取藥末急納瘡孔中，勿令歇氣，並遍封瘡。頭上即脹起，針挑根即出。重者，半日以上即出，或已消爛。根挑不出亦自瘥，勿憂。其病在內者，外當有腫相應，並皆惡寒發熱，以水半盞，刮取藥如梧子大五枚和服之，日夜三服，即自消也。若須根出，服藥經一日，以雞羽剔吐，即隨吐根出。若不出，根亦自消爛。在外者，亦日夜三度敷藥，根出後常敷勿住，即生肉易瘥。若犯諸忌而發動者，取枸杞根合皮骨切三升，以水五升，煮取二升，去滓，研藥末一錢匕，和枸杞汁一盞服之，日二三服。並單飲枸杞汁彌佳。又以枸杞汁攪白狗屎，取汁服之更良。合訖即可用，不待干。所言白狗屎是狗食骨，其屎色如鍛石，故言白狗屎也。如預製取，五月五日、七月七日、九月九日、臘月臘日尤良神驗。或有人忽喉中痛，乍寒乍熱者，即是其病，當即以此療之。無故而痛，惡寒發熱者，亦是此病，但依前服之，立瘥。前後二方同是一法，其用相同，亦主癰疽，甚效。

治疔腫病，忌見麻勃，見之即死者方：

胡麻 燭燼 針砂（等分）
上三味為末，以醋和敷之。

又方 鍛石（三分） 馬齒菜（二分）
上二味搗，以雞子白和敷之。

鍛石乃壯火之餘烈，善破陰毒惡瘡。《本經》有疽瘍瘙熱惡瘡死肌之治。馬齒菜散血消腫；雞子白清氣解熱，能使疔腫外出。勿以賤而忽諸。

又方 針刺四邊及中心，塗雄黃末立愈，神效。（一云塗黃土）。

又方 鼠新坌土，以小兒尿和敷之。

又方　鐵衣未，以人乳汁和敷之立愈。

又方　小豆花為末，敷之瘥。

又方　以人屎尖敷之，立瘥。

又方　以四神丹一枚，當頭上安，經宿根即出矣。

治一切疔切疔腫疔腫方：

用蒼耳根莖苗子，但取一色燒為灰，醋泔澱和如泥塗上，乾即易，不過十度，根即拔，神良。余以貞觀四年，忽口角上生疔腫達耳，予令？十日不瘥。余以此藥塗之，得愈。以後常作此藥以救人，無不瘥者，故特論之以傳後人。疔腫方千首，皆不及此，雖齊州榮姥方亦不能勝此物之造次易得也。

又方　取鐵漿，每飲一升，立瘥。

又方　臘月豬脂以面和，封上瘥。

又方　蒺藜子一升燒灰，釅醋和，封上經宿便瘥。或針破頭，封上更良。

又方　皂莢子取仁作末敷之，五日內瘥。

玉山韓光方

韓光，治疔腫人也。貞觀初，衢州徐使君訪得此方。

用艾蒿一擔燒作灰，於竹筒中淋取汁，以一二合和鍛石如面漿，以針刺瘡中至痛，即點之，點三遍，其根自拔，亦大神良。貞觀中用治三十餘人，得瘥。故錄之。

魚臍疔瘡，似新火針瘡，四邊赤中央黑，可針刺之，若不痛即殺人，治之方：

以臘月魚頭灰和髮灰等分，以雞溏屎和敷上。此瘡見之效否即殺人。(《外台》不用髮灰，用雞子清和敷)。

又方　以寒食餳敷之良。若硬者，燒灰塗貼即瘥。

治魚臍瘡，頭白腫痛不可忍者方：

先以針刺瘡四畔，搗白苣汁，滴著瘡孔內。

又方　水獺屎敷，大良。

治赤根疔方　熬白粉令黑，蜜和敷之良。

又方　以新坌鼠壤，水和塗之，熱則易。

又方　馬牙齒搗末，臘月豬脂和敷之，根即拔。燒灰用亦可。

犯疔瘡方：

蕪菁根 生鐵衣(等分)
上二味和搗，以大針刺作孔，複削蕪菁根如針大，以前生鐵衣塗上刺孔中，又塗所搗者封上，仍以方寸匕，緋帛塗貼上。有膿出即易，須臾，拔根出立瘥。忌油膩、生冷、醋滑、五辛、陳臭、粘食。

又方 刺瘡頭及四畔令汁盡出，搗生栗黃敷上，以面圍之，勿令黃出，從旦至午，根拔 矣。

又方 以面圍瘡如前法，以針亂刺瘡，銅器煮醋令沸，瀉著面圍中令容一盞，冷則易之，三度，根即出。

又方 取蛇蛻皮如雞子大，以水四升，煮三四沸，去滓，頓服，立瘥。

又方 燒蛇蛻皮灰，以雞子清和塗瘥。

又方 取蒼耳苗搗，取汁一二升服之，滓敷上，立瘥。

灸方

灸掌後橫紋後五指，男左女右，七壯即瘥。已用得效。疔腫灸法雖多，然此一法甚驗，

癰疽第二

(脈七首 論一首 方八十七首)

脈數身無熱即有內癰。

諸浮數脈，當發熱，而反洗洗惡寒，若有痛處，當結為癰。

脈浮而數，身體無熱，其形默默，胃中微燥，不知痛處，其人當發癰腫。

脈微而遲必發熱，脈弱而數，此為振寒，當發癰腫。

凡脈滑而數，滑則為實，數則為熱。滑即為營，數即為衛。營衛相逢，即結為癰。熱之所過，即為癰膿。身有痛處，時時苦有瘡。

問曰：寸口脈微而澀，法當亡血若汗出。設不汗，當云何？答曰：若身有瘡，被刀器所傷，亡血之故也。

趺陽脈滑而數，法當下重少陰。脈滑而數，婦人陰中生瘡。

論曰：夫癰疽初發至微，人皆不以為急，此實奇患，惟宜速治。稍遲緩即病成。以此致禍者不一。但發背，外皮薄為癰。外皮濃者，為疽，宜急治之。

凡癰疽始發，或似小癤，或複大痛，或複小痛，或發如米粒大白膿子，此皆微候，宜善察之，見有小異，即須大驚忙，急為攻治及斷口味，速服諸湯，下去熱毒。若無醫藥處，即灸當頭百壯。其大重者，灸四面及中央二三百壯，數灸不必多也。複敷以冷藥種種救療，必速瘥也。

凡用藥貼，法皆當瘡頭處開孔，令瀉熱氣。亦當頭以火針針入四分即瘥。

凡癰疽、瘤、石癰、結筋、瘰癧，皆不可就針角。針角者，少用不致禍也。

凡癰，無問大小，已覺即取膠如手掌大，暖水浸令軟，看大小當頭上開一孔如錢眼大，貼腫上令相當，須臾干急。若未有膿者，即定不長。已作膿者，當自出。若以鋒針當孔上刺出膿，大好，至瘥乃洗去膠。

凡腫，根廣一寸以下名癤，一寸以上名小癰，如豆粒大者名 子，皆始作。急服五香連翹湯下之，數劑取瘥乃止。

凡癰，高而光大者不大熱，其肉正平無尖而紫者，不須攻之。但以竹葉黃 湯申其氣耳。肉正平為無膿也，癰卒痛，以八味黃 散敷之。大癰七日，小癰五日。其自有堅強者，寧生破，發乳。若熱手不可近者，先內服王不留行散，外摩發背膏。若背生破無苦，在乳宜令極熟候手按之，隨手即起者，瘡熟也，宜針之，針法要得著膿，以意消息，胸背不過一寸。

斟量不得膿，即與食肉膏散著銳頭，納癰口中，如體氣熱歇，即服木占斯散。五日後癰欲著痂者，即服排膿風塞散。

凡癰，破之後便綿 欲死，內寒外熱（缺文），腫有似癰而非者，當以手按腫上無所連，乃是風毒耳，勿針之。但服升麻湯，外摩膏。破癰口當令上留三分，近下一分針之。務令極熱，熱便不痛。破後敗壞不瘥者，作豬蹄湯洗之，日二度。夏用二日，冬用六七日。用湯半劑亦可。凡癰壞後有惡肉者，宜豬蹄湯洗去穢，次敷食肉膏散，惡肉淨後，敷生肉膏散，及摩四邊，令好肉速生。當斷絕房室，忌風冷，勿自勞煩，俟筋脈平複，乃可任意耳。緣新肉易傷，傷則裡潰，潰則重發，發則難救，慎之慎之，白痂最忌。

凡諸暴腫，一一不同，無有近遠，皆服五香連翹湯。刺去血，以小豆末敷之。其間數數以針刺去血。若失療已潰爛者，猶服五香湯及漏蘆湯下之。隨熱多少依方用之，外以升麻湯拓洗熨之，摩升麻膏。（二方俱見後丹毒篇）。若生息肉者，以白 茹散敷之，青黑肉去淨即停止，好肉生敷升麻膏。如肌不生敷一物黃 散。若敷白 茹，青黑惡肉不盡者，可用漆頭 茹散半錢和白 茹散三錢，稍稍敷之。其散各取當色單搗下篩，成散用之。此數法（《集驗》用治緩疽）。

或身中忽有痛處，如遭打撲之狀，各曰氣痛。痛不可忍，游走不住，發作有時，痛則小熱，痛定則寒，此皆由冬時受溫氣，至春暴寒，風來折之，不成溫病，乃作氣痛。宜先服五香連翹湯，摩丹參膏。又以白酒煎楊柳皮及暖熨之。有赤氣點點者，即刺出血也。其五香連翹湯及小竹瀝湯可服數劑。勿以一劑未瘥便止，以謂藥無效，即禍至矣。中間將白薇散佳。

又有氣腫痛，其狀如癰腫，無頭虛腫色不變，但皮急痛，不得手近，亦須服此五香湯，次白針瀉之，次與蒺藜散敷之。

胸中痛短氣者，當入暗室中，以手中指捺左眼，視若見光者，胸中有結癰。若不見光者，是經云：氣宿於經絡中，血氣俱澀不行，壅結為癰疽也。又言：熱之所作，其後為癰，又陽氣湊集，寒化為熱，熱盛則肉腐為膿也。由人體有熱，被寒冷搏之而脈凝結不行，熱氣壅結成癰疽。方有灸法，亦有溫治法。以其中冷未成熱之時，其用冷藥貼敷之。治熱已成，以消熱令不成膿也。赤色腫有尖頭者，藜蘆膏敷之。一云醋和蚌蛤灰塗，乾則易之。

余平生數病癰疽，得效者即記之。考其病源，多是藥氣所作，或有上世服石，遂令子孫多有此疾。食中尤不宜食面，及酒蒜，及慎溫床濃被。能慎之者，可得終身無他，此皆躬自驗之，故特論之也。

五香連翹湯

治一切惡核瘰癧、癰疽、惡腫患方。

青木香 沉香 丁香 薰陸香 麝香 連翹 射干 升麻 獨活 寄生 通草(各二兩) 大黃(三兩)
上十二味 咀，以水九升，煮取四升，納竹瀝三升煮，更取三升，分三服，取快利。(《肘 後》有紫葛、甘草、無通草。治惡肉惡脈、惡核風結腫氣痛。《要籍喻義》有黃 、甘草、芒硝各六分。《千金翼》云：未瘥，中間常服佳。與小兒篇方小異)。

黃竹葉湯

治癰疽發背方。

黃 甘草 黃芩 芍藥 麥冬(各三兩) 當歸 人參 石膏 川芎 半夏(各二兩) 生
上十四味 咀，以水一斗二升，先煮取竹葉，取一斗，去滓，納藥，煮取三升，分四服，相去如人行二十裡久，日三夜一。

八味黃散方

黃 川芎 大黃 黃連 芍藥 莽草 黃芩 梔子仁(等分
上八味治下篩，雞子白和如泥，塗故帛上，隨腫大小敷之，干則易。若已開口，封瘡上，須開頭令歇氣。

王不留行散

治癰腫不能潰，困苦無賴方。

王不留行子(三合，《千金翼》作一升) 龍骨 當歸(各二兩) 野葛皮(半分) 乾薑 桂心(各一兩) 栝蔞根(六分)
上七味治下篩，食後溫酒服方寸匕，日三。以四肢習習為度，不知稍加之，令人安穩，不》云：治癰疽及諸雜腫已潰，皆服之。)

內補散

治癰疽發背，婦人乳癰、諸癤未潰者，便消不消者，令速潰疾愈方。

木占斯 人參 乾薑(一云乾地黃) 桂心 細辛 濃朴 敗醬 防風 栝蔞根 桔梗 甘草(各一兩)
上十一味治下篩，酒服方寸匕。藥入咽覺流入瘡中。若癰疽灸之不能發壞者，可服之。

未壞者去敗醬。已發膿者，納敗醬。服藥日七八，夜二三，以多為善。若病在下，當膿血出，此為腸癰也。病在裡痛者，服此即不痛。長服治諸瘡及疽痔，已潰便早愈，醫人不知用此藥。發背無有治者，若始覺背上有不好處而渴者，即勤服之。若藥力行，覺渴止便消散。若雖已壞，但日夜服勿住藥，腫自消散不覺。欲長服者，當去敗醬。婦人乳癰，宜速服此。一方無桂心，名木占斯散，主癰疽堅結。若已壞者，速愈。未壞者，使不成癰便消。(張文仲無桂心。劉涓子云：此是華佗方)。

排膿內塞散

治大瘡熱退，膿血不止，瘡中肉虛疼痛方。

防風 茯苓 白芷 桔梗 遠志 甘草 人參 川芎 當歸 黃耆（各一兩）濃朴（二兩）桂心（二分）附子（二枚）赤小豆（五合，酒浸熬之）
上十四味治下篩，酒服方寸匕，日三夜一。

豬蹄湯

治癰疽發背方。

豬蹄（一具，治如食法）黃耆 黃連 芍藥（各三兩）黃芩（二兩）薔薇根 野狼 牙根（各八兩）
上七味 咀，以水三斗，煮豬蹄令熟，澄清取二斗，下諸藥，煮取一斗，去滓，洗瘡，一食頃，以帛拭乾，貼生肉膏，日二。如痛加當歸、甘草各二兩。

又方 治癰疽發十指，或起膀胱，及發背後生惡肉者方。

豬蹄（一具，治如食法）當歸 芎 芍藥 大黃 黃芩 獨活 莽草（各一兩）
上八味 咀，以水三斗，煮豬蹄取八升，去滓，納諸藥，取四升，去滓，漬瘡兩食頃 洗，拭乾敷麝香膏。

麝香膏

治癰疽及發背諸惡瘡，去惡肉方。

麝香 茹（一作真珠）雄黃 礬石（各一兩）
上四味治下篩，以豬膏調和如泥塗之，惡肉盡止，卻敷生肉膏。

食惡肉膏方

大黃 川芎 莽草 真珠 雌黃 附子（生用各一兩）白蘞 礬石 黃芩 茹（各二兩）雄黃（半兩）
上十一味 咀，以豬脂一升半，煎五六沸，去滓，納 茹、礬石末，攪調敷之瘡中，惡肉盡乃止。

治癰腫，惡肉不盡者方：蒴 灰 鍛石（《肘後》作白炭灰）
上二味各淋取汁，合煎如膏，膏成敷之，食惡肉，亦去黑子。此藥過十日不中用。

又方 生地黃汁煎如膠，作餅子貼之，日四五度。

漆頭茹散

食惡肉散方。

漆頭 茹 硫黃 丹砂 麝香 馬齒礬 雄黃 雌黃 白礬（各二兩）
上八味治下篩，以粉之，吮食惡肉。（《翼方》敷貼，無白礬、雌黃，有藜蘆。云：亦 作膏和敷之，又處療癰疽篇無丹砂。《廣濟方》療癰腫膿潰，瘡中有紫肉，破不消，以此散 摻或內蝕之）。

白茹散

茹　礬石　雄黃　硫黃(各二分
上四味治下篩，納瘡中，惡肉盡即止，不得過好肉。

生肉膏

治癰疽、發背壞後生肉方。

生地黃(一斤)　辛夷(二兩)　獨活　當歸　大黃　黃耆　川芎　白芷　芍藥　黃芩　續　斷(各一兩)　薤白(五兩)
上十二味　咀，以臘月豬脂四升，煎取白芷、黃下之，去滓，敷立瘥。

又方　乾地黃(三兩)　甘草　當歸　白芷　蓯蓉　蜀椒　細辛(各二兩)　烏喙(六分，生用)　蛇銜(一兩)　薤白(二十莖)
上十味　咀，以醋半升漬一宿，次日以豬膏三斤，煎令沸三上三下，膏成塗之，立瘥

蛇銜生肉膏

治癰疽金瘡敗壞者方。

蛇銜　當歸(各六分)　乾地黃(三兩)　黃連　黃耆　黃芩　大黃　續斷　蜀椒　芍藥　白芨　川芎　莽草　白芷　附子　甘草　細辛(各一兩)　薤白(一把)
上十八味　咀，醋漬二宿，以臘月豬脂七升煎，三上三下，醋盡下之，去滓，取敷，日二夜一。(崔氏有大戟、獨活各一兩，無地黃、黃耆、黃連、續斷、白芨、川芎、白芷、甘草)。

五香湯

治熱毒瓦斯卒腫，痛結作核，或似癰癤而非使人頭痛、寒熱氣急者，數日不除殺　青木香　藿香　薰陸香　沉香　丁香(各二兩)
上五味　咀，以水五升，煮取二升，分三服。不瘥更作，並以滓敷腫上。(《千金翼》以麝香代藿香)。

漏蘆湯

下之之方。

漏蘆　白芨　黃芩　麻黃　白薇　枳實　升麻　芍藥　甘草(各二兩)　大黃(三兩)
上十味　咀，以水一斗，煮取三升，分為三服，快下之，無藥處單用大黃亦得。(《肘　後》云：治癰疽、丹疹、毒腫、惡肉。《千金翼》無白薇。劉涓子無芍藥，有連翹，治時行　熱毒變作赤色，癰疽、丹疹、毒腫及目赤痛生障翳。若熱盛者，可加芒硝二兩。《經心錄》無白薇，作知母、犀角、芒硝各二兩)。

丹參膏方

丹參　蒴　莽草　蜀椒　躑躅(各二兩)　秦艽　獨活　白芨　牛膝　菊花　己(各一兩)
上十二味　咀，以醋二升，漬一宿，夏半日。如急用便煎豬脂四升，煎令醋氣歇，慢　火煎，去滓，用敷患處，日五六度。(《肘後》云：用防風不用防己，治惡肉、惡核、瘰、風結諸腫。云：此膏亦可服)。

小竹瀝湯

治氣痛方。

淡竹瀝(一升) 射干 杏仁 獨活 枳實 白朮 防己 防風 秦艽 芍藥 甘草 茵 芋茯苓 黃芩 麻黃(各二兩)
上十五味 咀, 以水九升, 煎取半, 下竹瀝, 取三升, 分四服。

白薇散方

白薇 防風 射干 白朮(各六分) 麻黃 秦艽 當歸 防己 烏頭 青木香 天門 冬枳實 獨活 蕨蕤 山茱萸(各四分) 柴胡 白芷(各三分) 莽草 蜀椒(各
上十九味治下篩, 以漿水服方寸匕, 日三, 加至二七。

蒺藜散

治氣腫痛方：

上用蒺藜子一升, 熬黃為末, 以麻油和如泥, 炒令焦黑, 敷故熟布上, 如腫大小, 勿開 孔貼之。無蒺藜以赤小豆為末, 和雞子如前敷, 乾即易, 妙。

藜蘆膏

治赤色腫, 有尖頭者方。

藜蘆(二分) 黃連 礬石 雄黃 松脂 黃芩(各八分)
上六味為末, 以豬脂三升煎令熔, 調和敷上 癬頭瘡極效。又治淺瘡, 經年抓搔癢處 成孔者。

瞿麥散

治癰排膿止痛, 利小便方。

瞿麥(一兩) 芍藥 桂心 赤小豆(酒浸熬) 麥門冬 川芎 黃耆 當歸 白蘞(各二兩)
上九味為末, 先食, 酒下方寸匕, 日三。

(《翼方》有細辛、苡仁、白芷, 不用桂心、麥門冬、白蘞, 治諸癰潰及未潰瘡中疼痛, 膿血不絕而不可忍者)。

薏苡仁散

治癰腫令自潰, 長肉方。

薏苡仁 桂心 白蘞 當歸 蒞蓉 乾薑(各二兩)
上六味治下篩, 先食, 溫酒服方寸匕, 日三夜二。

黃芩苓湯

治癰疽潰後膿太多，虛熱方。

黃　麥門冬（各三兩）生薑（四兩）五味子（四合）川芎　茯苓　桂心（各二兩）大棗（二十枚）
上八味　咀，以水一斗半，煮取四升，分六服。（《翼方》有遠志、人參、當歸各二兩，甘草六兩）。

內消散

治凡是癰疽，皆宜服之方。

赤小豆（醋浸一升，熬）人參　甘草　瞿麥　當歸　豬苓　黃芩（各二兩）白蘞　薏　仁　黃（各三兩）防風（一兩）升麻（四兩）

皮散

治癰疽膿血內漏，諸漏敗壞，男發背女乳房及五痔，皆宜服之方。

皮　蜂房（各一具）地榆　附子　桂心　當歸　續斷（各五分）乾薑　蜀椒　本（各四分）濃朴（六分）
上十一味治下篩，空腹以酒服方寸匕，日三，取瘥。加斑螫七枚，益良。

凡患腫，皆因宿熱所致，須服冷藥，瘥後有患冷利不止者方：

人參　龍骨　赤石脂　甘草　乾薑（各二兩）附子（一枚）
上六味　咀，以水八升，煮取二升半，分三服。

梔子湯

治表裡俱熱，三焦不實，身體生瘡及發癰癤。大小便不利方。

梔子仁（二七枚）芒硝（二兩）黃芩　甘草　知母（各三兩）大黃（四兩）
上六味　咀，以水五升煮減半，下大黃，取一升八合，去滓，納芒硝，分三服。

五利湯

治年四十已還強壯，常大患熱，發癰疽無定處，大小便不通方（劉涓子名大黃芒硝（一兩）升麻　黃芩（各二兩）大黃（三兩）梔子仁（五兩）
上五味　咀，以水五升，煮取二升四合，去滓，下芒硝，分四服，快利即止。

乾地黃丸

凡壯熱人能長服之，終身不患癰疽，令人肥悅耐勞苦方。

乾地黃（五兩）芍藥　甘草　桂心　黃耆　黃芩　遠志（各二兩）石斛　當歸　大黃（各三
上十五味為末，蜜丸如桐子大，酒服十丸，日三，加至二十丸。

又方 治虛熱消瘡癰方。

乾地黃(四兩) 大黃(六兩) 芍藥 王不留行 茯苓 甘草 遠志 麥門冬 人參 升 麻黃芩(各三兩) 桂心(六兩)
上十二味為末，蜜和丸如梧子大，酒服十丸，日三，加至二十丸，久服令人肥健。

一方有枳實三兩(《外台》無甘草、遠志、麥門冬、人參、升麻、黃芩)。

又方 治虛勞客熱，數發癰腫瘡癰，經年不除方。

乾地黃(四兩) 黃耆 黃芩 大黃 黃連 澤瀉 細辛(各三兩) 甘草 桂心 芍藥 茯苓 干漆(各二兩) 人參(一兩) 天冬(五兩)
上十四味為末，蜜丸如梧子大，酒服十丸，日三夜一，加至二十丸。久服延年，終身不發癰疽。凡方中用大黃薄切，五升米下蒸熟，曝乾用之，熱多倍大黃。(《要籍喻義》不用澤瀉)。

地黃煎

補虛除熱，散乳石毒癰癰痔疾，悉宜服之方。

生地黃隨多少，三搗三壓，取汁令盡，銅器中，湯上煮，勿蓋覆令泄氣，得減半，出之，布絞去粗滓，再煎令如餳，丸如彈丸許，酒服，日三，勿加，百日癰疽永不發。

枸杞煎

治虛勞，輕身益氣，令人有力，一切癰疽永不發方。

枸杞三十斤銼，葉生至未落可用莖，葉落至未生可用根，以水一石，煮取五斗，去滓澱，將滓更入釜與水依前，煮取五斗，並前澄清去澱，釜中煎，取二斗許，更入小銅鍋子煎如餳止，或器盛。重湯煮更好。每日旦服一合半，日再，漸加。

治風濕體痛，不能飲食，兼癰疽後補虛羸方：

薔薇根 枸杞根(各一百斤) 生地黃 食蜜(各十斤)
上四味 咀，先以水煮二根令味濃，取二斛去澱，次納地黃煮令爛，絞去滓，微火 煎令如粥，次納蜜和令相得，每食後服如彈丸許。

拓腫方：

大黃 黃芩 白蘞 芒硝(各三分)
上四味 咀，以水六升，煮取三升汁，以故帛四重蘸汁中，以拓腫處，乾即易之，無度數，晝夜為之。

又方 青木香 犀角 大黃 梔子仁 紫檀香 升麻 黃芩 羚羊角 黃連 甘草 芒硝 射干 黃柏 白蘞(各二兩) 地黃汁(五合) 麝香(二分研入)
上十六味 咀，以水五升，煮取二升少冷，以故帛兩重蘸湯中，拓腫處，乾即易之，日夜數百度。

又方 治頸項及胸背有大腫赤發，即封之令不成膿方。

朴硝(五兩) 香豉 生地汁(各半斤)
上三味合搗，煮令地黃爛熟，敷腫處，濃二分，日三四易，至瘥止，此兼治一切腫。

又方 治癰腫痛煩悶方。

用生楸葉十重貼之，以帛裹令緩急得所，日二易。止痛兼消腫蝕膿，甚良，勝於他物。

如冬月先收乾者，臨用時以鹽潤之。亦可薄削楸皮用之。

又方 治大人小兒癰腫方。

用生豬腦子敷紙上貼之，乾則易之，日三度。

又方 芥子為末，湯調，敷紙上貼之。(《千金翼》以豬膽和塗之)。

又方 白薑石末，蒜和搗，敷上。

又方 搗馬鞭草，敷上即頭出。

灸方

灸兩足大□趾歧中立瘥，仍隨病左右。

治癰始覺腫令消方：

大黃 通草 葶藶 莽草(各等分)
上四味為末，以水和敷上，乾則易之。

又方 以莧菪末，三指撮，水和服之，日三。神良。

治癰方：

以芫花為末，膠和如粥敷之。

治癰疽發腹背陰匿處，通身有數十癰者方：

取干牛屎燒灰，治下篩，以雞子白調塗之，干複易。

若已結膿使聚長方：

栝蔞根為末，苦酒和敷，燥複易，赤小豆亦佳。

治癰有膿令潰方：

用雞羽三七枚燒末，服之即潰。

又方 人乳和面敷上，比曉膿血盡出，不用手近。

治癰腫發背初作，及經十日以上，腫赤 熱毒瓦斯盛，日夜疼痛，百藥不效方：

雞子（一枚） 新出狗屎（如雞子大）
上二味攪和，微火煎令稀稠得所，捻作餅子，於腫頭堅處貼之，以紙貼上，以帛抹之，時時看視，覺餅子熱即易，勿令轉動及歇氣，經一宿定。如多日患者，三日貼之，一日一易，至瘥止。此方穢惡不可施之貴勝，然其愈疾一切諸方皆不可及，自外諸方還複備員設儀注而已。學人當曉此方，以備諸急爾。

烏麻膏

治諸漏惡瘡，一十三般疔腫，五色游腫，癰癤毒熱，狐刺蛇毒，狂犬蟲野狼六畜所傷不可識者，二十年漏金瘡，中風，皆以此膏貼之，惡膿盡即瘥。止痛生肌，一貼不換藥，惟一日一度拭去膏上膿再貼之，至瘥止。

生烏麻油（一斤） 黃丹（四兩） 蠟（四分）
上三味，以臘日前一日從午，納油銅器中微火煎至明旦，看油減一分，下黃丹消盡，下蠟令沫消，藥成，至午時出。惟男子合之。毋令小兒、女子、六畜等見。

治諸腫貼方：

紫葛（十分） 大黃（五分） 青木香（一分） 元參 白蘞 黃芩 黃連 榆白皮 升 麻 由跋
上十一味治下篩，以生地黃汁和如泥，敷腫上，干則易。無地黃汁以米醋和之。

松脂膏

治癰腫方。

松脂（一斤半） 豬脂（一合半） 黃芩 黃連 黃耆 大黃 當歸 芍藥 川芎
上八味 咀，合二脂，微火煎，三上三下，綿絞去滓，火炙敷紙上，隨腫大小貼之，日三易，即瘥。

又方 松脂（一斤） 豬脂（半斤） 白蠟（四兩） 大黃（一兩） 黃芩 黃連 黃柏當 歸芍藥 川芎 細辛 白芷 防風 莽草 白蘞（各半兩）
上十五味 咀，先煎二脂、白蠟令烊，次納諸藥，煎三上三下，以綿及布絞，注水中為餅，取少許火炙之，敷油紙上貼瘡處。（《翼方》有黃 一兩）。

青龍五生膏

治癰疽痔漏，惡瘡、膿血出，皆以此方導之。

生梧桐白皮 生桑白皮 生柏白皮 生青竹茹 生龍膽草（各五兩） 蜂房 皮 蛇 蛻 皮（各一具） 雄黃 雌黃（各一兩） 蜀椒 附子 川芎（各五分）
上十三味 咀，以三年苦酒二斗浸一宿，於炭火上炙乾搗，下細篩，以豬脂二升半，微火煎令相得如飴，以新白瓷器盛著水中，隨病深淺敷之，並以清酒服如棗核大，日一。

治癰疽、痔漏、惡瘡、婦人妒乳、漆瘡方：

野葛 芍藥 薤白 當歸 通草(各二分) 附子(一分)
上六味 咀, 醋浸半日, 先煎豬脂八合, 令煙出, 納亂髮二分令消盡, 下之待冷, 又納松脂八分, 蠟二分, 更著火上和, 次納諸藥煎令沸, 三上三下, 去滓, 以故帛敷藥貼腫上, 乾即

滅瘢膏

治諸色癰腫、惡瘡瘥後有瘢痕方。

安息香(一作女萎) 礬石 野狼毒 羊躑躅 烏頭 附子 野葛 白芷 烏賊骨 皂莢 天雄 芍藥 川芎 赤石脂 大黃 當歸 莽草 石膏 乾地黃 地榆 白朮 續斷 鬼臼 蜀
上二十六味搗末, 用成煎豬脂四斤, 和煎, 三上三下, 以好鹽一大匙下之, 膏成須服者, 與服。須摩者, 與摩, 勿近目處。忌妊娠人。若滅瘢, 以布揩令傷敷之。若鼻中息肉, 取如大豆納鼻中。如瘀血者, 酒服如棗核大。痔漏者, 以綿裹如梅子大納下部。中風者, 摩患 上取瘥。崩中亦納之。其滅瘢, 取少許和鷹屎白敷之, 取臘日合之神效。(《翼方》有 石 一兩)。

治膿潰後, 瘡不合方：

燒鼠皮一枚為末, 敷瘡孔中。

又方 熟嚼大豆敷之。

又方 炒烏麻令黑熟搗, 敷之。

又方 牛屎敷之, 乾即易。

又方 燒破蒲席灰, 臘月豬脂和, 納孔中。

治癰癤久不瘥方：

用馬齒菜搗汁煎, 敷之。

治癰潰後膿不斷, 及為諸物刺傷瘡不瘥方：

石硫黃粉 上一味, 取箸一莖, 碎頭, 少濕, 納硫黃中以刺瘡孔, 瘡瘥為度。

治癰肉中如眼, 諸藥所不效者方：

取附子削令如棋子安腫上, 以唾貼, 以火炙之, 令附子欲焦, 複唾濕, 以火炙之, 如是三度, 令附子之熱氣徹內即瘥。此法極妙。

練石散

治癰有堅如石核者, 複大色不變, 或作石癰方。

粗理黃石(一斤) 鹿角(半斤燒) 白薇(三兩)
上三味，以醋五升，燒石赤納醋中不限數，以醋減半止，細搗末，以餘醋和如泥，濃敷 之，乾即易，取消止，盡更合。諸漏及瘰癧，其藥悉皆用之。仍火針針頭破敷藥。又單磨鹿 角、半夏末和敷之，不如前方佳也。

治石癰堅如石，不作膿者方：

生商陸根熟搗敷之，乾即易，取軟為度。

又治濕漏諸癰癤。

又方 蜀桑根白皮陰乾搗末，烊膠，酒和藥敷腫，根即拔。

又方 莨菪子為末，醋和敷瘡，根即拔。

又方 蛇蛻皮貼之，經宿便瘥。

又方 櫟子一枚，以醋於青石上磨之，以塗腫上，干更塗，不過十度，即愈。

又方 梁上塵 葵根莖灰(等分)
上二味以醋和敷之，即瘥。

又方 當上灸百壯，石子當碎出。如不出，益壯數乃佳。凡發腫至堅有根者，名曰石 癰。

治惡毒腫或著陰卵，或著一邊，疼痛攣急，引小腹不可忍者，一宿殺人方：

取茴香草搗汁，飲一升，日三四服，滓敷腫上。冬月闕生者，根亦可用。

治風勞毒腫，疼痛攣急，或牽引小腹及腰髀痛方：

用桃仁一升研，以酒三升攪和，頓服之。濃衣被蓋令汗，不過三劑瘥。

治腳腫向上至腹，即殺人者方：

用赤小豆一斗，以水三斗煮令爛，出豆以汁浸腳至膝，每日一度，瘥止。若已入腹不須浸，但煮豆食之。忌鹽菜米面等。渴飲汁，瘥乃止。

麻子小豆湯

治毒腫無定處，或赤色惡寒，或心腹刺痛煩悶者，此是毒瓦斯深重所致方：

麻子 赤小豆(各五升) 生商陸(三升) 附子(二兩) 射干(三兩) 升麻(四兩)
上六味 咀，以水四斗，先煮四味，取二斗半，去滓，次研麻子碎，和汁煮一沸，去滓，取汁煮豆爛，其汁每服五合，日二夜一。當利小便為度，腫退即瘥，並食豆。

治一切腫毒，疼痛不可忍者方：

取蔥麻子熟搗，敷之即瘥。

治諸瘡著白痂複發方：

大蒜　鼠屎　香墨(等分)
上三味為末，敷之日三。

治癰子方：

凡癰無頭者，吞葵子一枚，不得多服。

又方　生椒末　釜下土(等分)
上二味為末，醋和塗之。(《翼方》有曲末，為三味)。

又方　狗頭骨　芸薹子(等分)
上二味為末，醋和敷之。

又方　以鼠粘根葉貼之。

又方　雀屎水和敷之。

又方　燒葛蔓灰封上，自消。牛糞灰封之亦佳。

發背第三

(論一首　方十五首)

論曰：凡發背皆因服食五石寒食更生散所致，亦有單服鐘乳而發者，有上世服之者，其候率多於背兩胛間。初起如粟米大，或痛或癢，仍作赤色。人初不以為事，日漸長大，不過十日遂至於死。其臨困之時，已闊三寸，高一寸，瘡有數十孔，以手按之，諸孔中皆膿出。

尋時失音，所以養生者，小覺背上癢痛有異，即火急取淨土水和如泥，捻作餅子，濃二分，闊一寸半，以粗艾大作炷，灸泥餅子貼著瘡上灸之，一炷一易餅子。若粟米大時，可灸七餅即瘥。如榆莢大，灸七七餅炷即瘥。如錢大，可日夜灸之，不限炷數，仍服五香連翹湯。(方見本卷癰疽門中。)及鐵漿諸藥攻之乃愈。又法，諸發背未作大膿，可以冷水射之，浸石令冷熨之，日夜不住，瘥止。此病忌面酒五辛等。亦有當兩肩上發者。

凡服石人，皆須勞役四體無令自安，如不爾者，多有發動。亦不得隨便恣意取暖，稱已　適情，必須遺欲以取寒凍。雖當時不寧，於後在身多有所益，無發動之慮耳。

凡腫起背胛間，頭白如黍粟，四邊相連，腫赤黑，令人悶亂，即名發背也。禁房室、肉　酒、面蒜。若不灸治，即入內殺人。若灸當瘡上七八百壯。有人不識，多作雜腫治者皆死。

治發背及癰腫已潰未潰方：

用香豉三升少與水和，熟搗成如薄泥，依腫作餅子，濃三分以上，有孔勿覆孔中，布豉　餅以艾列其上灸之使溫，溫而熱勿令破肉，如熱痛即急易之，患當減，快得安穩，一日二度灸之。如先有瘡孔，孔中得汁出瘥。

治癰疽發背已潰、未潰及諸腫毒方：

栝蔞根 榆白皮 胡燕窠 鼠坌土(各等分)
上四味為末，以女人月經衣水洗，取汁和如泥封腫上，乾即易。潰者，四面封之，已覺即封，從一日至五日令瘥。

治發背，背上初欲結癰方：

大黃 升麻 黃芩 甘草(各三兩) 梔子(三七枚)
上五味 咀，以水九升，煮取三升，分二服，取快利便止，不利更進。

內補散

治癰疽發背已潰，排膿生肉方。

當歸 桂心(各二兩) 人參 川芎 濃朴 防風 甘草 白芷 桔梗(各一兩)
上九味治下篩，酒服方寸匕，日三夜二。未瘥更服勿絕。(《外台》無防風、甘草、白芷)

又方 治癰疽發背方。

蜀椒 乾薑 黃芩 人參(各二分) 桂心(一分) 白蘞 甘草 附子 防風(各一兩)川芎(二兩) 小豆(一合半)
上十一味治下篩，酒服方寸匕，日三夜二。

李根皮散

治癰疽發背及小小瘰癧方。

李根皮(一升) 栝蔞根 半夏(各五兩) 通草 白蘞 桔梗 濃朴 黃芩 附子(各一兩) 甘草 當歸(各二兩) 葛根(三兩) 桂心 芍藥(各四兩) 川芎(六兩)
上十五味治篩，酒服方寸匕，日三。瘡大困者，夜再服之。曾有人患骨從瘡中出，兼有三十餘癰癤，服此散瘥。

大內塞排膿散

治髮背癰腫，經年瘥後複發，此因大風或結氣在內，經脈閉塞至夏月以來出攻於背，久不治，積聚作膿血為瘡內漏方。

山茱萸 五味子 茯苓 乾薑(各一分) 甘草 石斛 人參 桂心 芍藥(各三分) 巴戟天 麥門冬 乾地黃 肉蓯蓉 遠志(各八分) 當歸 石韋 川芎(各四分) 附子(二分)地膽
上二十味治下篩，酒服方寸匕，日三夜一。稍加之。長服終身不患癰癤。

治髮背方：

用亂髮灰，酒服方寸匕，亦治瘭疽。

又方　豬脂敷上，日四五度，亦治發乳。(《救急方》云：取豬羊脂切作片，冷水浸貼　上，暖易之，五六十片，瘥。若初貼，少許即寒，寒定好眠甚妙)。

又方　三年醋滓，微火煎令稠，和牛脂敷上。

又方　豬狗牙燒灰，醋和敷上，日三四易。

又方　燒古蚌灰，以雞子白和敷之，日三易。

又方　飲鐵漿二升，取利，(見本論中)。

又方　蛇頭灰醋和敷，日三易。

又方　燒鹿角灰，醋和敷之，日四五易。

丹毒第四

(論一首　方三十八首)

論曰：丹毒，一名天火，肉中忽有赤如丹塗之色，大者如手掌，甚者遍身有癢有腫，無　定色。有白丹者，肉中腫起，癢而複痛，微虛，腫如吹狀，癮疹起也。有雞冠丹者，赤色而起，大者如連錢。小者如麻豆粒狀，肉上粟粟如雞冠肌理也，一名茱萸丹。有水丹者，由　遍體熱起，遇水濕搏之結丹，晃晃黃赤色，如有水在皮中，喜著股及陰處。此雖小疾，不治　令人至死。

升麻膏方

升麻　白薇(《肘後》作白蘞)　漏蘆　連翹　芒硝　黃芩(各二兩)　蛇銜　枳實(各三兩)　蒴　(四兩)　梔子(四十枚)
上十味微搗，以水三升，浸半日，以豬膏五升煎，令水氣盡，去滓，膏成敷上。諸丹皆　用之，及熱瘡腫上，日三。(《經心錄》無枳實，以治諸毒腫)。

升麻湯

治丹毒方。

升麻　漏蘆　芒硝(各二兩)　黃芩(三兩)　蒴　(五兩)　梔子(二十枚)
上六味　咀，以水一斗浸良久，煮取七升冷，以故帛染汁拓諸丹毒上，常令其濕，拓後　須服飲並漏蘆湯方，並見前癰腫條中，服之立瘥。(《短劇》用治丹疹，赤毒腫)。

丹方：

水苔　生蛇銜　生地黃　生菘菜(即芸苔)　蒴　菜　慎火草　五葉藤　豆葉　浮萍　以上取一味，單搗塗之。

大黃　梔子　黃芩　芒硝　以上取一味，下水和用。

上十三味或搗成末，單用一味立瘥。

又方　凡天下極冷，無過於藻菜，但有患熱毒腫並丹等，取渠中藻菜細切，熟搗敷之，濃三分，乾即易。

治諸丹神驗方：

以芸薹菜熟搗，濃封之，隨手即消。餘熱氣未愈，但三日內封之，瘥止。縱干亦封之不歇，以絕本。余以貞觀七年三月八日於內江縣飲多，至夜睡中覺四體骨肉疼痛，至曉頭痛目眩，額左角上如彈丸大腫痛，手不得近，至午時至右角，至夜諸處皆到，目遂閉合不得開，幾致殞斃，縣令周公以種種藥治不瘥，經七日餘，自處此方，其驗如神，故疏之以傳來世云耳。

治五色油丹方（俗云油腫，若犯者多致死，不可輕之）：

縛母豬枕頭臥，甚良。

又方　牛屎塗之，乾即易。

治赤流腫丹毒方：

取榆根白皮為末，雞子白和敷。（《翼方》又用雞子白和蒲席灰敷）。

又方　搗大麻子，水和敷之。

又方　煎羊脂摩之，得青羊脂最良。（《集驗》云：治人面目身體卒赤黑丹起，如疥狀，不治日劇遍身，即殺人也）。

治小兒丹毒方：

搗馬齒莧一握，取汁飲，以滓敷上。

又方　搗赤小豆五合，水和取汁，飲一合良。滓塗五心。

又方　濃煮大豆汁塗之良，瘥後亦無瘢痕。

又方　臘月豬脂，和釜下土敷之，乾即易。

治小兒五色丹方：

用豬槽下爛泥敷之，乾即易（《集驗》治卒赤黑丹）。

又方　搗蒴　葉敷之。

又方　服黃龍湯二合，並敷患上佳。

治小兒白丹方：

燒豬屎灰，以雞子白和敷之良。

治小兒赤丹方：

搗芸薹葉，汁服三合。滓敷上良(《翼》云：芸薹末以雞子白和塗之)。

治小兒赤丹斑駁者方：

以唾和胡粉，從外向內敷之。

又方　銅鐵屎，以豬脂和敷之。

又方　以屋塵，臘月豬脂和敷之。

治小兒火丹赤如朱，走皮中方：以醋和豉研敷之。

又方　鯉魚血敷之，良。

又方　搗荏子敷之。

又方　豬屎水和，絞取汁，服少許良。

治小兒天火丹，肉中有赤如丹色，大者如手，甚者遍身，或痛或癢或腫方：

赤小豆二升為末，以雞子白和如薄泥敷之，乾即易便瘥。一切丹並用此方皆瘥。

又方　生麻油塗之。

治小兒骨火丹，其瘡見骨方：

搗大小蒜，濃敷之，著足踝者是。

治小兒殃火丹毒，著兩脅及腋下者方：

用伏龍肝為末，油和敷之，干則易。若入腹及陰，以慎火草取汁用之。

治小兒尿灶丹，初從兩股起及臍間，走入陰頭，皆赤色者方：

桑白皮切二升，以水二升，煮取汁，浴之良。

又方　燒李根為灰，以田中流水和，敷之良。

治小兒朱田火丹，病一日一夜即成瘡，先從背起，漸至遍身，如棗大正赤色者方。

濃煮棘根汁洗之。已成瘡者，赤小豆末敷之。未成瘡者，雞子白和小豆末，敷之。

治小兒天灶火丹，病自髀間起，小兒未滿百日，陰頭赤腫血出方：

伏龍肝搗末，以雞子白和敷之，日三良。

又方 鯽魚肉(銼五合) 赤小豆末(三合)
上二味和搗，少水和，敷之良。

治小兒野火丹，病通身皆赤者方：

用油塗之。

治小兒茱萸丹，病初從背起，遍身如細繩，一宿成瘡者方：

用赤小豆為末，以粉之。如未成瘡者，雞子白和敷之。

治小兒廢灶火丹，初從足趺起，正赤色者方：

以棗根煮汁，沐浴五六度良。

癮疹第五

(論一首 方二十九首 灸法一首)

論曰：《素問》云：風邪客於肌中則肌虛，真氣發散又被寒搏，皮膚外發腠理開毫毛，淫氣妄行之則為癢也。所以有風疹瘙癢，皆由於此。又有赤疹者，忽起如蚊蚋啄，煩癢極者，重沓壟起，搔之逐手起。又有白疹者，亦如此。赤疹熱時即發，冷即止。白疹天陰冷即發。

白疹宜煮礬石汁拭之，或煮蒴，和少酒以浴之良。(姚氏以治赤疹。或煮石南汁拭之良，餘一切如治丹方法。)

石南湯

治六十四種風，淫液走入皮中如蟲行，腰脊強直，五緩六急，手足拘攣，癮疹搔之作瘡，風尸身癢，卒面目腫起，手不得上頭，口噤不能言方(方見第八卷風懿篇中。此方但是癮疹，悉服之瘥)。

治風瘙癮疹，心迷悶亂方：

天雄 牛膝 桂心 知母(各四分) 栝蔞根 白朮(各五分) 防風(六分) 人參 乾薑 細辛(各三分)
上十味為末，酒服半錢匕，加至一匕為度。

治瘙癢皮中風虛方：

枳實(三升) 松葉(切一升) 獨活 蒞蓉 黃耆 秦艽(各四兩) 丹參 蒴(各五兩)
上八味 咀，以酒二斗浸六宿，每服二合，日二，稍加之。

又方 大豆三升，酒六升，煮四五沸，每服一盞，日二。

又方 牛膝為末，酒下方寸匕，日三。並治骨疽癩病及 。

又方 芥子為末，漿服方寸匕，日三。

又方 白朮為末，酒服方寸匕，日三。

治小兒患癮疹入腹，體腫強而舌乾方：

蕪菁子為末，酒服方寸匕，日三。

治風瘙癮疹方：

白朮（三兩） 戎鹽 礬石（各半兩） 黃連 黃芩 細辛 芎 茵芋（各一兩）
上八味 咀，以水一斗，煮取三升洗之，日三，良。

又方 馬藺子 蒴 礬石 菥蓂子 蒺藜子 茵芋 羊桃 扁竹（各二兩）
上八味 咀，以漿水二斗，煮取一斗二升，納礬石洗之，日三。

又方 蒴 防風 羊桃 石南 茵芋 芫花 蒺藜 礬石（各一兩）
上八味 咀，以漿水一斗，煮取五升，去滓，納礬石令小沸，溫浴之。

又方 蛇床子（二升） 防風（二兩） 生蒺藜（二兩）
上三味 咀，以水一斗，煮取五升拭患上，日三五遍。

治癮疹癢痛方：

大黃 升麻 黃柏 當歸 防風 芍藥 黃芩 青木香 甘草（各二兩） 楓香（五兩）芒硝（一兩） 地黃汁（一升）
上十二味 咀，以水一斗，煮取三升半，去滓，下芒硝令消，帛染拓病上，一炊久，日四五度。

治舉體癢痛如蟲嚙，搔之皮便脫落作瘡方：

蒺藜子（三升） 蛇床子 菥蓂子（各二升） 大戟（一斤） 大黃（二兩） 礬石（三兩） 防風（
上七味 咀，以酒四升，水七升，煮取四升，去滓，納礬石，以帛染拭之。

治風瘙腫瘡癢在頭面，拓洗方：

大黃 芒硝（各一兩） 莽草（半兩，一云甘草三兩） 黃連（一兩半） 黃芩（二兩） 蒺藜子（五合）
上六味 咀，以水七升，煮取三升，去滓，下芒硝，以帛染拓洗之，日一度，勿近

治身體赤癮疹而癢，搔之隨手腫起方：莽草（半兩） 當歸 芎 大戟 細辛 芍藥 芫花 川椒 附子 躑躅（各一兩） 豬膏（二升半）
上十一味 咀，酒漬一宿，豬膏煎之，候附子色黃膏成，去滓，敷病上，日三。

青羊脂膏

治風熱赤疹，搔之隨手作瘡方。

青羊脂（四兩） 甘草 芍藥（各三兩） 寒水石 白芷 白芨 黃芩 防風 黃耆 升麻（各
上十二味 咀，先以水八升，煮石膏，竹葉，取四升，去滓，浸諸藥，以不中水豬脂 二升合煎，膏成敷病上，良。

治癮疹，百療不瘥者方：黃連（切） 芒硝（各五兩）
上二味以水六升，煮取半，去滓洗之，日四五度。

治風瘙癮疹，心迷悶亂方：巴豆二兩，以水七升，煮取三升，以故帛染汁拭之。大人小兒以意加減。

又方 礬石二兩為末，酒三升漬令消，以帛染拭病上。

又方 吳茱萸一升，酒五升，煮取一升半，帛染拭病上。

治風瘙癮疹方 酪和鹽熟煮摩之，隨手即消，良。

又方 鍛石淋取汁洗之，良。

又方 白芷根葉煮汁洗之。

治癮疹百療不瘥者方：景天一升，一名慎火草，細搗取汁敷上，熱炙手摩之，日三度，瘥。

治暴氣在表攻皮上癮疹作瘡方：

槐枝葉煮洗之。

治小兒患癮，疹八腹，體腫強而舌乾方：蠶沙二升，水二升煮，去滓，洗之，良。

又方 車前子為末，粉之，良。

又方 鹽湯洗過，以蓼子 敷之。

又方 灸曲池二穴，小兒隨年壯。發即灸之，神良。

瘭疽第六

（論一首十四條 方九十三首 灸法四首）

論曰：瘭疽者，肉中忽生點子如豆粒，小者如黍粟，劇者如梅李，或赤、或黑、或青、或白，其狀不定，有根不浮腫，痛傷之應心，根深至肌，經久便四面悉腫，黯熟紫黑色，能爛壞筋骨。若毒散，逐脈入臟殺人。南人名為拓著毒濃肉處，即割去之。亦燒鐵烙之，令焦如炭。或灸百壯。或飲葵根汁，或飲藍青汁，若犀角汁及升麻汁、竹瀝黃龍湯等諸單方治，專去其熱取瘥。其病喜著十指，故與代指相似，人不識之，呼作代指，不急治，亦逐脈上入臟殺人。南方人得之，皆斬去其指。初指頭先作黯，後始腫赤黑黯， 痛入心是也。

代指者，先腫 熱痛，色不黯，緣爪甲邊結膿。劇者，爪皆脫落。此謂之代指病也。但 得一物，冷藥汁拓漬之佳。若熱盛服漏蘆湯，（方見本卷癰疽門）及拓漬之。敷升麻膏（方見本卷丹毒門）亦可。針去血，不妨洗漬塗膏也。複有惡肉病者，身上忽有肉如赤豆粒，突出便長，推出如牛馬乳，上如雞冠狀，不治自長出不止，亦不痛癢，此由春冬時受惡風入肌脈中，變成此疾，治之宜服漏蘆湯，外燒鐵烙之，日日為之，令焦盡，即以升麻膏敷上，積日乃瘥。

又有赤脈病者，身上忽有赤脈絡起隴聳如死蚯蚓之狀，視之如有水在脈中，長短皆逐脈所處，此由春冬受惡風入絡脈中，其血肉瘀所作也，宜五香連翹湯（方見本卷癰疽門）及竹瀝等治之。刺去其血仍敷丹參膏（方見本卷癰疽門）。亦用白雞屎塗之良。

惡核病者，肉中忽有核累累如梅李核，小者如豆粒，皮肉疼痛壯熱惡寒是也。與諸瘡根瘰結筋相似。其瘡根瘰癧因瘡而生，是緩無毒。惡核病卒然而起有毒，若不治入腹，煩悶殺人，皆由冬月受溫風，至春夏有暴寒相搏，氣結成此毒也。但服五香湯主之（方見本卷癰疽門）。又以小豆末敷之，亦煮湯漬時時洗之，消後以丹參膏敷之，令餘核盡消。凡惡核初似被射工毒無常定處，多惻惻然痛，或時不痛。人不痛者即不憂，不憂則救遲，救遲則殺人，是以宜早防之。尤忌食雞、魚、豬、牛、馬、驢等肉。其疾初如粟米，或似麻子，在肉裡而堅似，長甚速。初得多惡寒，須臾即短氣，取吳茱萸半斤作末，水一升和，絞取汁，頓服，以滓凡□病喜發四肢，其狀赤脈起如編繩，急痛壯熱。其發於足，喜從 起至踝，亦如編繩，故云□病也。發於腎，喜著腋之下，皆由久勞熱氣盛為濕涼所折，氣結筋中成此病也。若不急治，其久潰膿，亦令人筋攣縮也。若不消潰，其熱氣不散，多作趺病，漏蘆湯主之。瀉後鋒針數針去惡血，氣針瀉其根，核上敷小豆末，取消為度。又用治丹法治之。又用治癰三味甘草散敷之（無方）。若潰，敷膏散一如癰法。

惡核□病瘭疽等，多起嶺表，中土鮮有，南方人所食雜類繁多，感病亦複不一，仕 人往彼深須預防，防之無法，必遭其毒，惟五香湯、小豆散（即麻子小豆散，本卷癰疽門），吳茱萸皆其要藥。

凡附骨疽者，以其無破（《外台》作故）附骨成膿，故名附骨疽。喜著大節解中，丈夫、產婦喜著 中，小兒多著脊背。大人急著者，先覺痛不得動搖，按之應骨痛，經日便覺皮肉 漸急，洪腫如肥狀是也。小兒才手近便大呼，即是肢節有痛候也。大人緩著者，先覺肌烘烘 然，經日便覺痛痺不隨。小兒四肢不能動搖，亦如不隨狀。看肢節解中，若有肌烘烘處，不知是附骨疽。令遍身成腫不至潰，體皆有青黯，大人亦有不別，呼為賊風風腫，不知是疽也。

凡 又夏秋露臥，為冷所折，風熱伏結而作此疾。急者熱多風少，緩者風多熱少。小兒未知取風冷，何故而有此疾？由其血盛肌嫩為風折之，即使凝結故也。凡初得附骨疽，即服漏蘆湯下之。敷小豆散得消。可服五香連翹湯（方見本卷癰疽門中）。

凡賊風，其人體卒無熱，中暴風冷，即骨解深痛不廢轉動，按之應骨痛，久即結痛，或結瘰癧，其附骨疽久即腫而結膿，以此為異。若治附骨作賊風，則增益病深膿多。若治賊風作附骨，則加風冷，遂成瘰癧偏枯攣曲之疾也。療之之效，皆在善始耳。此非天下至精，其孰能與於此。若候附骨與賊風為異者，附骨之始，未腫但痛而已。其賊風但痛不熱，附骨則其上壯熱，四體乍寒乍熱，小便赤，大便澀而無汗，若得下卻熱並開發腠理，便得消也。縱 不消盡，亦得浮淺近外。凡賊風，但夜痛，骨不可按抑，不得回轉，痛處不壯熱，亦不乍寒 乍熱，覺身體索索然，冷欲得熱熨，痛處即小寬，時複有汗出，此為賊風証也。宜針灸熨爆。

服又有風熱毒相搏為腫，其狀先腫上生瘭漿，如火灼處，名曰風熱毒，治之一如丹法。

又有洪燭瘡，身上忽生瘭漿，如沸湯洒。劇者遍頭面，亦有胸脅腰腹腫緩，通體如火湯灼瘭起者是也。治之法，急服漏蘆湯下之，外以升麻膏敷之。其敷升麻膏若無效，一依敷丹 方。

凡熱瘡起，便生白膿黃爛，瘡起即淺，但出黃汁名肥瘡。

浸淫瘡者，淺，搔之，蔓延長不止。瘙癢者，初如疥，搔之轉生汁，相連者是也。

瘡者，初作亦如肥瘡，喜著手足，常相對生，隨月生死，痛癢坼裂，春夏秋冬隨瘥劇 者是也。

有久癰餘瘡，敗為深疽者，在 脛間喜生瘡中水惡露寒凍不瘥，經年成骨疽，亦名 瘡。深爛青黑，四邊堅強，中央膿血汁出，百藥不瘥，汁潰好肉處皆虛腫，亦有碎骨出者，可溫赤龍皮湯漬（方見二十三卷腸癰篇）。夏月日日洗，冬月四日一洗。青肉多可敷白 茹 散（方見本卷癰疽門中）。食去惡肉，可三日一敷之止。後長敷家豬屎散（方見本卷癰疽門），得瘥止。取豬屎燒灰作末如粉，至瘡中令滿，白汁出吮去，隨更敷之瘥止。若更青肉，複著白 茹散，如前法家豬屎散取平複。

凡骨疽百藥不瘥者，可瘡上以次灸之，三日三夜便瘥。如瘡不瘥，瘥而複發，骨從孔中出者，名為骨疽，取先死烏雌雞一只，去肉取骨，熬焦如炭，取三家牛 木刮取屑，三家甑 □治瘭疽秘方：

射干 甘草 枳實 升麻 乾地黃 黃芩（各八分） 麝香（二分） 前胡（三分） 犀 角（六分） 大黃（十分）
上十味 咀，以水九升，煮取三升，下大黃一沸，去滓，納麝，分三服，瘥止。亦不限劑數（《外台》無黃芩）。

治瘭疽著手足肩背、累累如米起色白，刮之汁出，瘥後複發方：

黃（六分） 升麻（四分） 款冬花（二分） 附子 苦參（《范汪》無） 赤小豆（各一分）
上六味為末，酒服方寸匕，稍加，日三服。

豬蹄湯

治瘭疽諸疽，十指頭 赤癢痛方。

白芷 大黃 芎 黃芩 黃連 甘草 細辛 本 當歸 藜蘆 莽草（各一兩）
上十一味 咀，以水二斗，先煮豬蹄一具，取一斗煮藥，取五升浸瘡，即瘥。

又方 灶屋塵 灶突塵 釜下土（各一斤）
上三味合研令勻，以水一斗煮三沸，取汁洗，日三四度。

治瘭疽著手足肩背，忽發累累如赤豆，剝之汁出方：

又方 剝去瘡痂，以溫醋泔清洗之，以胡燕窠和百日男兒屎如膏，敷之。

又方 臘月糖晝夜連浸數日，乃愈。

鯽魚（一枚，長三寸者） 亂髮（如雞子大） 豬脂（一升）
上三味，煎為膏敷之。

治瘭疽浸淫多汁，日漸大方：

黃連（二兩） 胡粉 甘草 茹（各二分）
上四味治下篩，以粉瘡上，日三四度。

又方 青木香 滑石 龍骨（各三兩） 胡粉（一兩） 米粉（一升）
上五味為末，稍粉病上，日三。

又方 蕪菁子熬搗碎，帛裹展轉敷上良。

又方 麻子熬作末，摩上良。

又方 酒和面敷之。

又方 以豬膽敷之良。

又方 亂髮灰服方寸匕，日三。亦治發背。

又方 芸薹菜煮取汁一升服之，並食干熟芸薹數頓，少與鹽醬。冬月研子，水和服之

又方 枸杞根並葵根葉煮汁，煎令如飴，隨意服之。

治疽潰後方：

以鹽湯洗拭了，燒皂莢灰粉上，良。

又方 牛耳中垢敷之良。

又方 梁上塵和車 中脂敷之。

又方 生麻油滓，綿裹布瘡上，蟲出。

又方 以沸湯灌瘡中三四遍（湯一作餳）。

治疽似癰而小有異，膿如小豆汁，今日去明日滿者方：

用芸薹熟搗，濕布袋盛之，埋熱灰中更互熨之，不過二三度安瘧，冬用乾者。

又方 皂莢煎湯洗瘡拭乾，以柏皮為末敷，勿令作痂。

治風疽方（凡腳 及曲 中癢，搔則黃汁出是也，灸法見後）：

以青竹筒一枚，徑一寸半，長三尺，中著大豆一升，以糠、馬屎二種燒取火，當竹筒中燒之，以器承兩頭取汁，先以泔清和鹽，熱洗瘡了，即塗豆汁，不過三度，極效。

又方 嚼胡麻敷，以綿裹之，日易神良。

治石疽，狀如痤癰而皮濃方：

搗谷子敷之。亦治金瘡。

治久癰瘡敗，壞成骨疽方：

用龍骨末，粉瘡四面，濃二分。以膏著瘡中，日二易。蟲出如發，盡愈。膏方如下。

大蝦蟆（一枚自死者） 亂髮（如雞子大） 豬脂（一斤）
上三味，取二味納脂中煎，略消盡，下待冷，更納鹽一合攪和，充前用。

治瘡久不瘥，瘥而複發，骨從孔中出，名骨疽方：

以豬膽和楸葉搗，封之。

又方　搗白楊葉末，敷之。

又方　搗蕪菁子敷之，帛裹，日一易。

又方　穿地作坑，口小裡大，深二尺，取干雞屎二升，以艾及荊葉搗碎，和雞屎令可燃火，坑中燒之，令煙出，納疽於坑中熏之，以衣擁坑口，勿泄氣，半日當有蟲出，甚效。

治附骨疽方：

槲皮燒為末，飲服方寸匕。

又方　新剝鼠皮如錢孔大，貼腫上，即膿出。已潰者，取豬脊上脂，貼之。

治疽卒著五指，筋急不得屈伸方：

灸踝骨中央數十壯，或至百壯。

治久疽方：

用鯽魚一枚，破腹勿損，納白鹽於腹中，以針縫之，入銅器中火上煎，令乾作末，敷疽　瘡中。無膿者，以豬脂和敷上，小痛毋怪也，十日瘥。

又方　灸間使後一寸，隨年壯，立瘥。

苦瓠散

治浸淫瘡方(瘡表裡相當名浸淫瘡)。

苦瓠(一兩)　蜂房　蛇蛻(各半兩)　大豆(半合)　梁上塵(一合)
上五味治下篩，以粉為粥和敷紙上，貼之，日三。(《古今錄驗》無大豆。)

又方　煎餅乘熱拓之。亦治細癬。

又方　豬牙車骨年久者，槌破燒令脂出，熱塗之。

又方　苦楝皮若枝，燒作灰敷上，乾者以豬脂和塗之。並治小兒禿瘡及諸惡瘡。

治　瘡方：

用醋一升溫令沸，以生薤一把納中，封瘡上，瘥為度。

又方　搗桃葉和鯉魚　糝封之。亦可以　敷上。

又方 炒臘月飴糖敷之。

又方 燒故履系為末，敷之。

又方 燒松根取脂塗之。

治燥 方：

用醋和灰塗之。

又方 以熱牛屎塗之。

治濕 方：

燒干蝦蟆和豬脂敷之。

治 疥百療不瘥方：

楝實（一升） 桃皮 苦參 地榆根（各五兩）
上四味 咀，以水一斗，煮取五升，溫洗之，日一度。治久 疥濕瘡，浸淫日廣，癢不可堪，搔之黃汁出。

瘥後複發方：

用羊蹄根淨去土，細切，熟熬，以醋和，熟搗，洗淨瘡敷上，一時頃，以冷水洗之，日一度。又陰乾作末，癢時搔則汁出，以粉之，又以生蔥根揩之。（《千金翼》無蔥字。）

治一切 瘡（凡腳 及曲 中癢，搔則黃汁出，是名風疽）：

灸足大指歧間二七壯。

又灸大趾頭亦佳。

治諸瘡因風致腫方：

燒白芋灰溫湯和，濃三分敷瘡上，乾即易，五六度瘥。

又方 櫟根皮三十斤銼，以水三斛，煮令熱，下鹽一把，令的的然熱浸瘡，當出膿血，日日為之瘥止。

治惡露瘡方：

搗薤葉敷瘡口，以大艾炷灸藥上，令熱入內即瘥。

治惡瘡方：

礬石 松脂 亂髮 蠟（各二分） 豬膏（四兩）
上五味煎發候消，納礬石，次納松脂，次納蠟，去滓，先刮洗瘡令淨，然後用藥塗之，日二三。不痛久瘡，時愈新瘡、遲愈 、疥、癢瘡、頭禿者，皆即愈生發。

又方 燒扁竹灰和楮白汁塗之。

又方 羊屎、麻根燒煙斷膏和封上。有汁者，乾敷之。

又方 以面一升作餅大小覆瘡，灸上令熱，汁出盡瘥。

治惡瘡似火爛洗湯：

用白馬屎曝乾，以河水和煮十沸，絞出汁洗之。

治惡瘡，其大如錢，名曰馬疥瘡：

以水漬自死蛇一頭，令爛去骨，以汁塗之，隨瘥。

治惡瘡十年不瘥似癩方：

蛇蛻皮一具燒為末下篩，豬脂和敷。醋和亦得。

又方 苦瓠一枚，碎煮汁洗之，日三度。又煎以塗癬甚良。當先以泔淨洗乃塗，三日

又方 燒 豬屎敷之。

又方 鹽湯洗搗地黃葉貼之。

又方 燒莧菅子為末敷之。

又方 燒鯽魚灰和醬清敷之。

烏膏

治惡瘡方。

雄黃 雌黃 芎 升麻 烏頭 防己 竹灰 黃連 黃柏 水銀（各二兩） 胡粉（一分） 蠟（三兩） 杏仁（三十枚） 巴豆（二十枚） 松脂 亂髮（各一雞子大）
上十六味 咀，以豬膏三升急煎，令髮消，去滓，停小冷，入真珠三錢匕，攪令相得以敷之。凡用膏，先淨洗瘡拭乾，乃敷上，敷訖以赤石脂、黃連散粉之。（《翼方》無竹灰、水銀

治種種諸瘡不愈者方：

水銀（一兩） 黃連（二兩） 經墨（三分）
上三味治下篩，以不中水豬脂和敷上，不過二三度瘥，神良。若欲多作任人，水銀大須熟研。其藥惟不治金瘡。

治反花瘡並治積年諸瘡方：

取牛蒡根熟搗，和臘月豬脂封上，瘥止。並治久不瘥諸腫、惡瘡、漏瘡等，皆瘥。

又方 取馬齒菜搗封上，瘥止。

又方 取蜘蛛膜貼上，數易之，瘥止。

治身瘡及頭瘡不止方：

取菖蒲為末，敷上，日三夜二。

治瘡久不瘥者方：

蕪荑 藜蘆(各一兩) 薑黃 青礬 雄黃(各一分) 苦參 沙參(各三兩) 附子(一枚)
上八味治下篩，先以鹽汁洗瘡，去痂，干拭敷上，小兒一炊久剝去之，大人半日才剝，再敷，不過三四度愈。

治諸瘡久不瘥，並治六畜方：用棗膏三升，水三斗，煮取一斗半，數洗取愈。

治代指方：

用甘草二兩 咀，水五升，煮取一升半，漬之。

又方 以唾和白 砂，搜面作碗子，盛唾，次著 砂如棗許，以爪指著中，一日瘥。

又方 以毛雜黃土作泥，泥指上，濃五分，納 灰中煨之，令熱可忍，泥乾即易，不過數度瘥。

又方 刺指熱飯中二七遍。

又方 以麻沸湯漬之即愈。

又方 單煮地榆湯漬之半日。

又方 取薑黃、蔥葉煮沸漬之。

又方 以蜀椒四合，水一升，煮三沸漬之。

又方 先刺去膿血，炙魚 皮令溫，以纏裹周匝，痛止便愈。

治指痛欲脫方：

豬脂和鹽煮令消，熱納指中，一食久住。(《翼方》和乾薑。)

治手足指掣痛不可忍方：

用醬清和蜜，溫塗之。

又方 灸指端七壯，立瘥。

治手足指逆臚方(此緣廁上搔頭所致)：

還坐廁上以指倒捋二七下，即瘥。

又方　真珠（一分）乾薑（二分）
上二味搗，以粉瘡上，日三。

治手足皴裂逆臚代指方：

酒搦豬胰洗之，慎風冷。

治冬月冒涉凍凌面目手足皴瘃，及治熱痛欲瘃方：

用麥窠煮令濃，熱洗之。

治凍指瘃欲墮方：

用馬屎三升，以水煮令沸，漬半日愈。

治手足皴劈硬裂，血出疼痛方：

用豬脂著熱酒中洗之。

治手足皴痛方：

煮茄根洗之。

又方　芎（三分）蜀椒（二分）白芷　防風　鹽（各一兩）
上五味　咀，以水四升，煎取濃塗之。或豬脂煎更良。

治尸腳方（凡人腳無冬夏常拆裂者是）：

用雞屎一升，水二升，煮數沸，停小冷，漬半日，瘥止。亦用馬屎。忌踏、酒、吐及婦　人穢血。

又方　熔膠，膠干，以故帛貼上。

治割甲侵肉不瘥方：

以　砂、礬石為末裹之，以瘥為度。

又方　搗鬼針草苗汁，鼠粘草根和臘月豬脂敷之。

備急千金要方　卷二十三　痔漏方

唐　孫思邈

（凡五類）

九漏第一

（論一首　方八十三首　灸法十六首）

論曰：夫九漏之為病，皆寒熱瘰癧在於頸腋者，何氣使生？此皆鼠　寒熱之毒瓦斯，堤留　於脈而不去者也。鼠　之本，皆根在於臟，其末上出於頸腋之下，其浮於脈中，而未著於肌　肉，而外為膿血者易去。去之奈何？曰：請從其末，引其本，可使衰去而絕其寒熱。審按其道以予之，徐往來以去之，其小如麥者，一刺知，三刺已。決其死生，奈何？曰：反其目，視其中，有赤脈從上下貫瞳子，見一脈一歲死，見一脈半一歲半死，見二脈二歲死，見二脈　半二歲半死，見三脈三歲死。赤脈不下貫瞳子者，可治也。

凡項邊、腋下先作瘰癧者，欲作漏也。宜禁五辛酒麵，及諸熱食。凡漏有似石癰累累然　作子，有核在兩頸及腋下，不痛不熱，治者皆練石散敷其外，內服五香連翹湯下之。（二方並見二十二卷癰疽門）。已潰者治如癰法。諸漏結核未破者，火針針使著核結中，無不瘥　者。何謂九漏？一曰野狼漏，二曰鼠漏，三曰螻蛄漏，四曰蜂漏，五曰蚍蜉漏，六曰蠐螬漏，七曰浮沮漏，八曰瘰癧漏，九曰轉脈漏。

空青商陸散

治野狼漏始發於頸腫，無頭有根，起於缺盆之上，連延耳根腫大。此得之憂恚，氣上不得下，其根在肝。（一作肺）。空青主之，商陸為之佐方。

空青　腦（各二分）肝（一具）商陸　獨活　黃芩　當歸　乾薑　婦人蓐草　鱉　甲　斑
上十六味，治下篩，酒服方寸匕，日三服，十五日服之。

狸骨知母散

治鼠漏始發於頸，無頭尾，如鼷鼠，使人寒熱脫肉。此得之食有鼠毒不去，其根在胃。

以狸骨主之。知母為之佐方。

狸骨　知母　桂心　鯪鯉甲　山龜殼　雄黃　甘草　乾薑（等分）
上八味，治下篩，飲服方寸匕，日三，仍以蜜和納瘡中，無不瘥者。先灸作瘡，後以藥　敷之。已作瘡，不用灸。

治鼠漏方：

用蛇虺所吞鼠燒末，服方寸匕，日二，不過三服，此大有驗，但難得耳，並敷瘡中佳。

又方　死鼠（一枚，中形者）亂髮（如雞子大，一枚）
上二味，以臘月豬脂煎，令消盡膏成，分作二分。一分稍稍塗瘡，一分稍稍酒服之瘥。

鼠子當從瘡中出，良。

地黃膏

治鼠漏，瘡瘥複發及不愈，出膿血不止方。

以不中水豬脂， 咀生地黃，納脂中，令脂與地黃相淹，和煎六七沸。其瘡先用桑灰 汁洗去惡汁，次以地黃膏敷上，日一易。

茈子桔梗丸

治螻蛄漏，始發於頸項狀如腫。此得之食瓜果，實毒不去，其根在大腸。茈子主之。

桔梗為之佐方。

茈子 龍骨（各半兩） 附子（一兩） 蜀椒（百粒） 桂心 桔梗 乾薑 礬石 獨 活芎 （
上十味，為末，以棗二十枚合搗，醋漿和丸，如大豆，溫漿下五丸，加至十丸。

雄黃黃芩散

治蜂漏，始發於頸瘰癧，三四處俱相連以潰。此得之飲流水，中有蜂毒不去，其根在脾。雄黃主之，黃芩為之佐方。

雄黃 黃芩（各一兩） 蜂房（一具） 茴香 吳茱萸 乾薑（各半兩） 蜀椒（二百粒） 鱉 甲（
上八味，治下篩，敷瘡口上，日一度，十日止。

石防風散

治蚍蜉漏，始發於頸，初得之如傷寒。此得之食中有蚍蜉毒不去，其根在腎。 石主之，防風為之佐方。

石 防風 知母 雌黃 桃白皮 乾地黃 獨活 青黛 斑蝥 白芷 松脂（一作柏 脂） 芍藥 海藻 當歸（各二分） 白朮 皮（各四分） 蜀椒（百粒）
上十七味，治下篩，飲服一錢匕，日三。

礬石白朮散

治螭螬漏，始發於頸下無頭尾，如棗核塊累移在皮中，使人寒熱心滿。此得之喜怒哭 泣，其根在心。礬石主之，白朮為之佐方。

礬石 白朮 空青 當歸（各二分） 細辛（一兩） 皮 斑蝥 枸杞 地膽（各一分） 干烏腦（三大豆許）
上十味，為末，以醋漿服方寸匕，日三。病在上側輪臥，在下高枕，以便藥流下。

地膽甘草散

治浮沮漏，始發於頸如兩指，使人寒熱欲臥。此得之憂愁思慮，其根在膽。地膽主之，甘草為之佐方。

地膽 雄黃 乾薑 續斷 石決明 根 龍膽草(各三分) 甘草(一分) 細辛(二分) 大黃(半分)
上十味，治下篩，敷瘡，日四五度。(《古今錄驗》無雄黃，有硫黃)。

雌黃芍藥丸

治瘰癧漏，始發於頸有根，初苦痛，令人寒熱。此得之因新沐濕結發，汗流於頸所致，其根在腎。雌黃主之，芍藥為之佐方。

雌黃 芍藥 茯苓 續斷 乾地黃 空青 石 乾薑 桔梗 蜀椒 恆山 虎腎 狸肉 烏腦 斑蝥 礬石(各一分) 附子(一兩)
上十七味，為末，蜜丸，如大豆，酒服十丸，日二。

斑蝥白芷丸

治轉脈漏，始發於頸，濯濯脈轉，苦驚惕身振寒熱。此得之因驚臥失枕，其根在小腸。

(《集驗》作心。)斑蝥主之，白芷為之佐方。

斑蝥 白芷 綠青 大黃(各二分) 升麻 鐘乳 甘草 防風 地膽 續斷 麝香 石
上十七味為末，蜜丸如大豆，酒服十丸，日二。勿食菜，慎房室百日。(《外台》無大黃

治九漏方：

空青 商陸 知母 狸骨 桔梗 防風 茬子 礬石 黃芩 白芷 芍藥 甘草 雌黃白朮 石 地膽 斑蝥 雄黃(等分
上十八味，為末，蜜丸如大豆，以酢服三丸，三十日知，四十日愈，六十日平複。百日內慎房室。(一方為散，酢服一刀圭，日二服，老小減半)。

又方 皮(半枚) 鯪鯉甲 樗雞(各四枚) 鶴骨(六分) 蜥蜴 蜈蚣(各一枚) 蜀椒 附子 當歸 蜂房 桂心 地榆 通草 干漆 牡丹皮 薏苡仁 蒺藜子 漏蘆(一作 蘆) 龍膽(一作龍骨) 土瓜(各二分) 斑蝥(四分) 蛇床子 苦參 大黃 蛇蛻皮 雄黃茹 細辛
上二十八味，為末，酒服五分匕，以知為度，日一服。

又方 斑蝥(七枚) 皮 真珠 雄黃(各一分)
上四味，治下篩，酒服半錢匕，日三。

又方 未成煉松脂，填瘡孔滿，日三四度，七日瘥，有神驗。

又方 斑蝥(二七枚) 雄黃 桂心 犀角(各一兩)
上四味，為末，酒服一錢匕，日二服，病從小便出。

又方 馬齒莧(陰乾) 臘月燭燼(等分)
上二味，為末，以臘月豬脂和其瘡，先以暖泔清洗淨，拭乾後，以藥敷，日三。

又方 干牛屎 干人屎(等分)
上二味，搗，先以綿幕瘡上，綿上著屎，蟲聞屎氣即出。若癢即以綿去之，更別取屎及 綿著其上如前，蟲盡乃止。

又方 苦瓠四枚，大如盞者，各穿一孔如指大，置湯中煮數沸，取一竹筒，長一尺，一頭納瓠孔中，一頭注瘡孔，冷則易之。

治一切漏方：

斑蝥(四十枚) 豉(四十九枚) 芫青(二十枚) 生大豆黃 地膽(各十枚) 蜈 蚣(一寸 半) 犀角 牛黃(各棗核大)
上八味，為末，蜜丸，如梧子大，飲服二丸，須臾多作酸漿粥，冷凍飲料之。病從小便出，視尿盆中如有蟲形狀，又似膠汁，乃病出也。間日一服，飲粥如常。小弱者，隔三、四日。

侯無蟲出，瘡漸瘥。特忌油膩，一切器物皆須灰洗，乃作食。(崔氏云：治九漏，初服藥夜 少食，明旦服二丸，至七日。甚虛悶，可煮食蔓菁菜羹，其餘脂膩酸物果子之類，並不得食。

人強

又方 煮鹽花，以面擁病上，納鹽花面匡中，濃二寸，其下以桑葉三重籍鹽，候冷熱 得所可忍，冷則無益，熱則傷肉，一日一度，候瘰癧根株勢消則止。若已作瘡者，搗 谷為末

又方 槲背陰白皮三十斤，銼碎，以水一石，煮取一斗，去滓，煎如糖。又取都廁上雄 雌鼠屎各十四枚燒，令汁盡為末，納煎中。又溫酒一升，投煎中合攪之。羸人服半升，當有蟲出。

又方 霜下瓠花，曝乾為末，敷之。

又方 搗土瓜根敷之，燥則易，不限時節。

又方 死蛇去皮肉取骨，為末，合和封瘡上。大痛以杏仁膏摩之，痛止。

又方 死蛇和臘月豬脂合燒，為末，納孔中。

又方 燒死蜣螂為末，醋和塗之。又死蛇灰醋和，敷之。

又方 故布裹鹽，如彈丸大，燒令赤，為末，酒服之。

又方 服白馬屎汁一升。

又方 豬脂一升，酒五合，煎沸，頓服之。

又方 水研杏仁服之。

又方 鹽、面，和燒灰，敷之。

又方 正月雄狐屎陰乾，搗末，水和服。

治漏作瘡孔方：

用露蜂房為末，以臘月豬脂和，敷孔中。

治漏發心胸以下者方：

松脂　武都雄黃（各三兩）
上二味，和為塊，刀子刮為散，飲服一方寸匕，日二。不瘥，更合。

治漏方：

落鐵屑　狗頰車連齒骨（炙）　虎屎　鹿皮（帶毛，燒為灰）
上四味，等分，治下篩，以豬脂和，納瘡中，須臾即易，日五六度。

治一切冷　方：

用人所吐蛔蟲燒灰，先用甘草湯洗去瘡惡，然後著灰，無不瘥。慎口味。

治鼠　腫核痛，未成膿者方：

以柏葉敷腫上，熬鹽著葉上熨之，令熱氣下，即消。

治風漏及鼠漏方：

赤小豆　白薇　黃耆　牡蠣（等分）
上四味，為末，酒服方寸匕，日三。

治螻蛄　方：

先以泔清煮槲葉，取汁洗瘡，拭乾，次以槲葉灰納瘡中。

治蜂　方論：

初生狀如桃而癢，搔之則引大如雞子，如覆手者。熬鹽熨之三宿，四日不瘥，至百日成，其狀大如四五寸，石廣三寸，中生蜂作孔，乃有數百。以石硫黃隨多少燃燭燒，令汁出，著瘡孔中，須臾間見蜂數十，蜂盡乃瘥。

治蜂　方：

以人屎、蛇蛻灰、臘月豬膏和敷之。

又方　鴉頭燒灰敷之。

又方　取蜂窠燒灰，臘月豬脂和敷孔中。

治蟻漏孔容針，亦有三四孔者方：

用 皮、肝、心燒灰，為末，酒服一錢匕。

又方 死蛇腹中鼠，以臘月豬脂煎，候焦去滓，敷之。

又方 取大，燒耕 土令赤，以苦酒浸 土時合壁土故熱，以 著壁土上，展轉 令熱，敷瘡上。

又方 鯪鯉甲二七枚，燒末，以豬脂和，敷瘡上。

又方 半夏一枚搗末，以鴨脂和敷上。

治瘰癧橫闊作頭狀若杏仁形，亦作瘰癧方：

雄雞糞燒灰，臘月豬脂和封之。

治蜣螂 方：

用牛屎燒灰，臘月豬脂和敷之。

又方 蜣螂丸(即蜣螂所食之屎)為末敷之。

又方 干牛屎為末敷之，癢即撥卻，更濃封，瘥乃止。

又方 熱牛屎塗之，數易，應有蜣螂出。

治蚯蚓 方：

雞屎 蚯蚓屎(等分)
上二味，為末，用壯豬下頷髓和敷之。

治蠍 五六孔皆相通者方：

搗茅根汁，著孔中。

治蝦蟆 方：

用五月五日蛇頭及野豬脂，同水衣封之。

治蛇 方：

用蛇蛻皮燒灰，臘月豬脂和封之。

治蛙 方：

用蛇腹中蛙燒灰封之。

治顛當 方：

搗土瓜根敷瘥。慎口味。

治雀 方：

取母豬屎燒灰，臘月豬脂和敷上，當有蟲出如雀形。

治膿 方：

以桃花為末，豬脂和封之。

治石 兩頭出者，其狀堅實，令人寒熱方：

以大鈹針破之，次用鼠粘葉二分為末，和雞子白一枚，封之。

又方 搗槐子，和井花水封之。

又方 搗生商陸根，捻作餅子如錢大，濃三分，安漏上，以艾灸餅上，干易之，灸三四升艾，瘥。(《外台》灸瘰癧。)

又方 七月七日日未出時取麻花，五月五日取艾等分，合搗作炷，用灸瘡上百壯，(《外台》灸瘰癧)。

灸法

九漏，灸肩井二百壯。漏，灸鳩尾骨下宛宛中七十壯。諸漏，灸 周遭四畔，瘥。諸惡漏中冷息肉，灸足內踝上各三壯，二年六壯。寒熱胸滿頸痛，四肢不舉，腋下腫，上氣，胸中有音，喉中鳴，天池主之。寒熱頸頷腫，後溪主之。寒熱酸 痛，四肢不舉，腋下腫，馬刀，喉痺，髀膝脛骨搖，酸痺不仁，陽輔主之。寒熱頸腋下腫，申脈主之。胸中滿，腋下腫，馬刀，善自嚼舌頰，天牖中腫，寒熱，胸脅、腰、膝外廉痛，臨泣主之。寒熱頸腫，丘墟主之。腋下腫，馬刀肩腫，吻傷，太沖主之。寒熱頸瘰癧，大迎主之。

五白膏

治鼠漏及瘰癧方。

白牛皮 白馬屎 白豬屎 白羊屎 白雞屎(各一升) 漏蘆(二斤)
上六味，各於石上燒作灰，研篩，以豬膏一升三合，煎亂髮一兩半，令極沸盡消，乃納 諸末，微火上煎五六沸，藥成，去瘡痂，以鹽湯洗淨，帛拭乾，敷此膏。若無痂，亦須湯洗，日

曾青散

治寒熱瘰癧及鼠 方。

曾青 荏子 礬石(一作 石) 附子(各半兩) 栝蔞根 露蜂房 當歸 防風 芎 黃 黃芩 狸骨 甘草(各二兩) 細辛 乾薑(各一兩) 斑蝥
上十七味，治下篩，酒服一方寸匕，日再。

又方 治寒熱瘰癧方。

土瓜根 連翹 龍膽 黃連 栝蔞根 苦參 芍藥 恆山(各一兩)
上八味，為末，酒服五分匕，日三。(《翼方》及《外台》有狸骨一枚。《翼》一方有當歸，無栝蔞、恆山。)

薔薇丸

治身體有熱瘰癧，及常有細瘡，並口中生瘡方。

薔薇根(三兩) 黃耆 黃芩 鼠李根皮 栝蔞根 芍藥 苦參 石龍芮 防風(一作 防己) 白蘞 龍膽(各一兩) 梔子仁(四兩)
上十二味，為末，蜜丸，如梧子大，飲服十五丸，日再。(《冀方》有黃柏一兩。)

治瘰癧方：

用白僵蠶，治下篩，水服五分匕，日三服，十日瘥。

又方 狸頭一枚炙，搗篩，飲服方寸匕，日二。

又方 故履內氈替燒末五匕，和酒一升，平旦向日服之，強行須臾吐鼠出，三朝服。

又方 狸頭蹄骨等炙黃，搗篩為散，飲服一錢匕，日再。

又方 貓兩眼陰乾燒灰，井花水服方寸匕，日再。

又方 干貓舌為末，敷瘡上。

又方 野狼屎灰敷之。

又方 狐頭、狸頭灰敷之。

又方 五月五日取一切種種雜草，煮取汁洗之。

又方 貓腦 莽草(等分)
上二味，為末，著 孔中。

灸漏方：

葶藶子(一合) 豉(一升)
上二味，和搗，令極熟作餅子，如大錢，濃二分許，取一枚當瘡孔上，作大艾炷如小指 大，灸餅上，三炷一易，三餅九炷，隔三日，複一灸。(《外台》灸瘰癧，《古今錄驗》云：

不灸瘰癧方：

一切瘰癧在項上，及觸處但有肉結，凝似作 及癰癤者，以獨頭蒜截兩頭留心，大作艾 炷 一切瘰癧，灸兩脅裡患 處宛宛中，日一壯，七日止，神驗。又灸五裡、人迎各三十壯。又灸耳後發際直脈七壯。又灸患人背兩邊腋下後紋上，隨年壯。

腸癰第二

（論三首 方二十九首灸法二首）

論曰：卒得腸癰而不曉其病候，愚醫治之錯則殺人。腸癰之為病，小腹重而強，抑之則痛，小便數似淋，時時汗出，複惡寒，其身皮皆甲錯，腹皮急，如腫狀，其脈數者，小有膿 也。（《巢氏病源》云：洪數者，已有膿也。）其脈遲緊者，未有膿也。甚則腹脹大，轉側聞 水聲，或繞臍生瘡，或膿從臍中出，或小便出膿血。

問曰：宮羽林婦病，醫脈之，何以知婦人腸中有膿，為下之即愈。師曰：寸口脈滑而數，滑則為實，數則為熱。滑則為榮。數則為衛。衛數下降，榮滑上升，榮衛相干，血為濁敗，小

大黃牡丹湯

大黃（四兩） 牡丹（三兩） 芒硝（二兩） 瓜子（一升） 桃仁（五十粒）
上五味， 咀，以水五升煮取一升，頓服，當下膿血。（《金匱》方用牡丹一兩，瓜子半升，芒硝二合。《刪繁》方用瓜子半升，芒硝半合。劉涓子用硝石三合，云：腸癰之病，小腹痞堅，或在膀胱左右，其色或白，堅大如掌熱，小便欲調時自汗出，其脈遲堅者，未成 膿，可下之，當有血。脈數膿成不複，可下。《肘後》名瓜子湯。）

腸癰湯方

牡丹 甘草 敗醬 生薑 茯苓（各二兩） 桔梗 薏苡仁 麥門冬（各三兩） 丹參 芍藥（各四兩） 生地黃（五兩）
上十一味， 咀，以水一斗，煮取三升，分三服，日三。

又方 薏苡仁一升 牡丹 桃仁（各三兩） 瓜瓣（二升）
上四味， 咀，以水六升，煮取二升，分二服。（姚氏不用桃仁，用李仁。崔氏有芒硝 二兩，云：腹中 痛，煩滿不安，或脹滿不下飲食，小便澀。此病多是腸癰，人多不識。婦 人產 凡腸癰，其狀兩耳葉紋理甲錯，初患腹中苦痛，或繞臍有瘡如粟皮熱，便膿血出似赤白 下，不治必死方：

以馬蹄灰，雞子白和塗，即拔毒瓦斯，不過，再塗瘥。

又方 以瓜子三升搗末，水三升，煮取一升半，分三服。

又方 以馬牙燒灰，雞子和塗，乾即易。

灸腸癰方：

屈兩肘，正灸肘頭銳骨各百壯，則下膿血，即瘥。

論曰：產後宜勤擠乳，不宜令汁蓄積，蓄積不去，便結不複出，惡汁於內，引熱溫壯結 堅牽掣痛，大渴引飲，乳急痛，手不得近，成妒乳，非癰也。急灸兩手魚際各二十七壯，斷 癰脈也。不複惡手近乳，汁亦自出，便可手助迮捋之，則乳汁大出，皆如膿狀。內服連翹湯，外動經年月名為妒乳。婦人飲兒者，乳皆欲斷，世謂苟抄乳是也，宜以赤龍皮湯及天麻湯洗之，敷二物飛烏膏，及飛烏散佳。若始作者，可敷黃芩漏蘆散，及黃連胡粉散並佳。

赤龍皮湯方

槲皮切三升，以水一斗，煮取五升，夏冷用之，冬溫用之，分洗乳，亦洗諸敗爛久瘡，洗竟敷膏散。

天麻湯方

用天麻草，切，五升，以水一斗半，煮取一斗，隨寒熱分洗乳，以殺癢也。此草葉如麻，冬生夏著花，赤如鼠尾花也。亦洗浸淫黃爛熱瘡，癢疽濕陰蝕，小兒頭瘡，洗竟敷膏散。

飛烏膏方

傾粉（是燒朱砂作水銀上、黑煙是也，一作湘粉）。 礬石（各三兩）
上二味，為末，以甲煎和如脂，敷乳瘡，日三敷之。作散者，不須和。汁自著者，可用散。其諸熱瘡、黃爛瘡、浸淫汁癢、丈夫陰蝕癢、濕瘡、小兒頭瘡、月蝕、口邊肥瘡、 瘡 等，並皆主之。

黃連胡粉散

黃連（二兩） 胡粉（二兩半） 水銀（一兩）
上三味，為末相和，軟皮果熟搜之，自能和合，縱不得成一家，亦得水銀細散入粉中也，以敷乳瘡、諸濕瘡，黃爛肥瘡等。若干，著甲煎為膏。

治妒乳乳生瘡方：

蜂房 豬甲中土 車轍中土（各等分）
上三味，為末，苦酒和敷之。

鹿角散

治婦人乳生瘡，頭汁出疼痛不可忍者方。

鹿角（二分） 甘草（一分）
上二味，治下篩，和以雞子黃於銅器中，置溫處，炙上敷之，日再，即愈。

治妒乳方：

以葵莖灰搗篩，飲服方寸匕，日三，即愈。（《集驗方》直搗為散，不為灰。）

又方 燒自死蛇為灰，以豬脂和塗，大良。

灸法

以蒲橫度口，以度從乳上行，灸度頭二七壯。

論曰：產後不自飲兒，並失兒無兒飲乳，乳蓄結癰，不飲兒令乳上腫者，以雞子白和小豆散敷乳房，令消結也。若飲兒不泄者，數捻去之，亦可令大孩子含水使口中冷，為嗍取滯 乳汁吐去之，不含水漱去熱，喜令乳頭作瘡，乳孔塞也。

凡婦人多患乳癰，年四十以下治之多瘥，年五十以上慎勿治，治之多死，不治自得終天年。

連翹湯

治妒乳乳癰方。

連翹 芒硝(各二兩) 芍藥 射干 升麻 防已 杏仁 黃芩 大黃 柴胡 甘草(各三
上十一味， 咀，以水九升，煮取二升五合，分三服。

治乳癰方：

麥門冬(一升) 黃芩 芍藥 茯苓(各二兩) 桑寄生 人參 黃耆 防風 甘草(各三兩) 飴糖(八兩) 大棗(五枚)
上十一味， 咀，以水一斗，煮取三升，去滓，納糖，一沸，分四服。

又方 先服前湯，五日後服此丸即愈方。

天門冬(五兩) 澤蘭(五分) 大黃(十分) 升麻(六分) 羌活 桑寄生 防風 人參 黃 乾地黃 白芷 通草(各二分) 黃芩 枳實 五味子 茯神 天雄 芎 當歸(各一分)
上十九味為末，蜜丸，酒服二十丸，日二，加至四十丸。

治乳癰始作方(《廣濟方》云：治乳癰大堅硬，赤紫色，衣不得近，痛不可忍者)：

大黃 楝實 芍藥 馬蹄(各等分)
上四味，治下篩，飲服方寸匕，取汁出瘥。(《廣濟方》云：酒服方寸匕，覆取汗，當 睡

又方 黃芩 白蘞 芍藥(等分)
上三味，為末，以漿水飲服半錢匕，日三。若左乳汁結者，即捋去右乳汁，若右乳汁結 者，可捋去左乳汁。(《短劇》云：治妒乳。)

又方 鹿角治下篩，以豬脂上清汁，服方寸匕，不過，再服，亦可醋漿水服。

蒺藜丸

治婦人乳腫痛，除熱方。

蒺藜子 大黃(各一兩) 敗醬(一分) 薏苡仁 桂心 人參 附子 黃耆 黃連 雞骨 當歸 芍藥 枳實 通草(各三分)
上十四味，為末，蜜丸，和梧子大，未食飲服三丸，不知益，至五丸，日三，無所忌。

一方無大黃，敗醬、黃連、通草為散，酒服方寸匕。

排膿散

治乳癰，除惡肉方。

蒞蓉 鐵精 桂心 細辛 黃芩 芍藥 人參 防己（一作防風） 當歸 芎 乾薑（各二分） 甘
上十二味，治下篩，酒服方寸匕，日三夜一，服藥十日，膿血出多勿怪。

又方 生地黃（三升） 芒硝（三合） 豉（一升）
上三味，合搗，敷上，熱即易之，取瘥止。一切乳癰皆用之。（一方單用地黃敷之。

治乳癰方：

大黃 鼠屎（新者，各一分） 黃連（二分）
上三味為末，以黍米粥清和，敷乳四圍，痛止即愈。無黍米，即粟米，粳米亦可。

又方 大黃 莽草 生薑（各二分） 伏龍肝（十二分）
上四味，搗為末，以酢和塗，乳痛即止。

又方 取蔥白搗敷之，並絞汁一升，頓服即愈。

治乳癰二三百日，眾療不瘥，但堅紫色，青柳根熨方：

以柳根削取上皮，搗令熟，熬令溫，盛著練囊中，熨乳上，乾則易之，一宿即愈。

治妒乳乳癰腫方：

取研米槌二枚，炙令熱，以絮及故帛 乳上，以槌更互熨之瘥止，已用立效。

治乳癰堅方：

以水罐中盛醋泔清，燒石令熱納中沸止，更燒如前，少熱納乳漬之，及冷更燒石納漬，不過三度燒石愈。

五痔第三

（論一首 方二十六首 灸法二首）

論曰：夫五痔者，一曰牡痔，二曰牝痔，三曰脈痔，四曰腸痔，五曰血痔。牡痔者，肛 邊如鼠乳，時時潰膿血出。牝痔者，肛腫痛生瘡。脈痔者，肛邊有瘡癢痛。腸痔者，肛邊核痛，發寒熱。血痔者，大便清血，隨大便污衣。又，五痔有氣痔，寒溫勞濕即發，蛇蛻皮主之。牡痔生肉如鼠乳在孔中，頗出見外，妨於更衣，鱉甲主之。牝痔（《集驗》作酒痔）從孔中起，外腫五六日自潰出膿血， 皮主之。腸痔更衣挺出，久乃縮，母豬左足懸蹄甲主之。

脈痔更衣出清血，蜂房主之。五藥皆下篩等分，隨其病倍其主藥為三分，旦以井花水服半方寸匕。病甚者，旦暮服之，亦可四五服。禁寒冷、食豬肉、生魚、菜、房室，唯食干白肉。

病瘥之後百日，乃可通房內。又用藥導下部，有瘡納藥瘡中，無瘡納孔中。又用野葛燒末，刀圭納藥中，服藥五日知，二十日若三十日愈。痔痛

治五痔眾醫所不能愈者方：

秦艽 白芷 濃朴 紫參 亂髮 紫菀(各一兩) 雷丸 本(各二兩) 石南 蟲(各半
上十三味，合搗下篩，以羊髓脂煎和丸，如梧子大，空腹飲下十五丸，日二。若劇者，夜一服。四日肛邊癢止，八日膿血盡，鼠乳悉瘥。滿六十日，終身不複發。久服益善，忌魚、豬肉等。

槐子丸

治燥濕痔，痔有雄雌皆主之方。

槐子 干漆 秦艽 吳茱萸根白皮(各四兩) 白芷 桂心 黃芩 黃耆 白薇 牡蠣 龍骨 雷丸 丁香 木香 蒺藜子 附子(各二兩)
上十六味，為末，蜜丸，如梧子大，飲服二十丸，日三。(《千金翼》無白薇。深師無 黃。云：治苦暴有乾燥腫痛者，有崩血無數者，有鼠乳附核者，有腸中煩癢者，三五年皆 殺人主。忌飲酒及作勞，犯之即發)。

小槐實丸

治五痔十年者方。

槐子(三斤) 白糖(二斤) 礬石 硫黃(各一斤) 大黃 干漆 龍骨(各十兩)
上七味，以四味搗篩，其二種石細切，及糖納銅器中，一石米下蒸之，以綿絞取汁以和 藥末，並手丸如梧子大，陰乾，酒服二十丸，日三，稍增至三十丸。

槐子酒

治同前。

槐子(二斗) 槐東南枝(細銼，一石) 槐東南根(細銼，三石)
上三味，納大釜中，以十六斛水，煮取五斛澄取清，更煎取一石六斗，炊兩斛黍米，上曲二十斤釀之，攪冷調，封泥七日，酒熟取清飲適性，常令小小醉，合時，更取滓煮取汁，淘米及洗器不得用水，忌生水故也。

又方 塗熊膽，取瘥止神良，一切方皆不及此。

又方 七月七日多采槐子，熟搗取汁，納銅器中，重綿密蓋，著宅中高門上，曝二十日以上，煎成如鼠屎大，納穀道中，日三。亦主 及百種瘡。

又方 取生槐白皮十兩，熟搗，丸，如彈丸，綿裹納下部中，此病宜常食扁竹葉及煮羹 粥，大佳。

又方 取鯉魚腸三具，以火炙令香，綿裹納穀道一食久，蟲當出食魚腸，數數易之，盡 三具瘥。一方炙腸令香，坐上蟲出，經用有效。

又方 虎頭 犀角
上二味，為末，和不中水豬脂，大如雞子，塗瘡上取瘥。

治五痔及脫肛方：

槐白皮（二兩） 豬脂（半斤） 漆子（十枚） 桃仁（十枚） 巴豆（七粒） 薰草（一作薰黃） 辛
上十味， 咀，煎三上三下，去滓，以綿沾膏塞孔中，日四五過，蟲死瘥，止癢痛大佳。

治五痔方：

皮（方，三指大，切） 熏黃（如棗大，末） 熟艾（如雞子大）
上三味，穿地作孔調和，取便熏之，口中熏黃煙氣出為佳。火氣消盡即停，停三日，將 息

又方 取槐根煮洗之。

又方 用桃根煮洗之。

治五痔方：

散瘀祛毒。 皮三味熏痔透毒，槐根取其化，桃根取其散血，皆外治法也。

皮丸

治痔方（亦治漏）。

皮（一具） 礬石 當歸 連翹 乾薑 附子 續斷 黃耆 （各二兩） 槐子（三兩） 乾地黃（五兩）
上十味，為末，蜜丸，如梧子大，飲服十五丸，日再，加至四十丸。（《集驗方》無礬 石、地黃）。

又方 治崩中及痔方。

皮 人參 茯苓 白芷 禹余糧 乾地黃 槐耳 續斷（各三兩） 蒲黃 黃耆 當歸 艾葉 橘皮 白薇 甘草（各二兩） 白馬蹄（酒浸一宿，熬黃） 牛角 （各四兩） 鰻 鱺魚 頭（二十枚） 豬懸蹄甲（二十一枚，熬）
上十九味，為末，蜜丸，如梧子大，酒服二十丸，日再，稍加。

治痔方： 槐耳赤雞一斤 （即槐 ）為末，飲服方寸匕，日三。

又方 蒲黃水服方寸匕，日三。（《外台》云：治腸痔每大便常有血者。）

又方 桑耳作羹，空腹飽食之，三日食佳。

治痔下血及新產漏下方：

附子 礬石（各一兩）
上二味，為末，白蜜丸，如梧子大，酒服二丸，日三，稍加，不過數日便斷。百日服之，終身不發。（《崔氏方》有乾薑一兩。）

治外痔方(亦治惡瘡、瘡)：真珠 雄黃 雌黃(各一兩) 竹茹(三兩) 豬膏(一斤)
上五味，為末，納豬膏中和調，又切亂髮半雞子大和，東向煎三上三下，發焦出，其痔 先用鹽湯洗，拭乾後敷之。

治痔下部出膿血有蟲，旁生孔竅方：

以槐白皮一擔銼，納釜中煮，令味極出，置大盆中，適寒溫坐其中，如浴狀，蟲悉出，冷又易之，不過二三度瘥。

治穀道癢痛，繞緣腫起裡許欲生肉突出方：

大豆(三升，以水七升，急火煮取四升) 槐白皮(三升) 甘草(三兩)
上三味，以豆汁煮取二升，浸故帛敷之，冷則易，日三五度。

槐皮膏

治穀道癢痛痔瘡方。

槐皮 楝實(各五兩，《外台》作塵豉) 白芷(二兩) 當歸(三兩) 桃仁(六十一枚) 甘
上七味， 咀，以成煎豬膏一斤，微火煎白芷色黃，膏成取摩瘡上，日再，並導下部。(《刪繁》無當歸，治腎勞虛，或酒醉當風，所損腎臟，病所為肛門腫生瘡。因酒勞傷發瀉清血，肛門疼痛，蜂房膏)。

治穀道痛方：

菟絲子熬黃黑，和雞子黃敷之，日二度。

又方 杏仁熬令黃，搗作脂敷之。

治大便孔卒痛，如鳥啄方：

大、小豆各一斗和搗，納二袋中蒸，令極熱，更互坐之瘥。

灸法

久冷五痔便血，灸脊中百壯。五痔便血失屎，灸回氣百壯，穴在脊窮骨上。

疥癬第四

(論二首 方六十七首 灸法四首)

論曰：凡瘡疥，小秦艽散中加烏蛇肉二兩主之。黃 酒中加烏蛇脯一尺，亦大效。(《千金翼》云：黃 酒中加烏蛇脯一尺，烏頭、附子、茵芋、石南、莽草各等分。大秦艽散中加 之亦大效。小小疥瘙，十六味小秦艽散亦相當。黃 酒見前七卷中)。

凡諸疥瘙，皆用水銀、豬脂研，令極細，塗之。

治凡有瘡疥，腰胯手足皆生疵疥者方：

栝蔞根（四兩） 薔薇根 雀李根皮 黃連 黃柏 芍藥（各三兩） 黃耆 黃芩 當歸 苦
上十三味，為末，蜜丸，如梧子大，以薔薇飲服二十丸，日三，加至三十丸，瘥乃止。

若干疥、白癬勿服。（《千金翼》云：癰疽皆可服之。）

治寒熱瘡及風疥、諸雜瘡方：

韭根 礬石 雄黃 藜蘆 瓜蒂 胡粉（各一分） 水銀（三分）
上七味，以柳木研水銀使盡，用豬脂一升煮藜蘆、韭根、瓜蒂三沸，去滓，納諸藥和調，令相得即成，以敷之神良。（《救急方》以此用治癬瘡。

茹膏

治一切惡瘡疥癬、疽漏 方。

茹 野狼牙 青葙 地榆 藜蘆 當歸 蓄 羊蹄根（各二兩） 蛇床子 白蘞（各六分） 漏蘆（二分）
上十一味，搗，以苦酒漬一宿，明旦以成煎豬膏四升煎之，三上三下，膏成絞去滓，納 後藥如下。

雄黃 雌黃 硫黃 礬石 胡粉 松脂（各二兩） 水銀（三兩）
上七味，細研，看水銀散盡，即傾前膏中，以箸十只攪數百遍止，用瓷器密貯，勿令泄 氣。煎膏法，取微火熬，急則不中用。敷藥不可近眼及陰。先研雄黃等令細，俟膏小冷，即和攪敷之。

治疥疽諸瘡方：

水銀 胡粉（各六兩） 黃連 黃柏（各八分） 薑黃（十分） 礬石 附子 蛇床子 苦參（各三
上九味，水銀、胡粉別研如泥，餘為末，以成煎豬膏合和研，令調敷之。（《翼方》無 薑黃。）

治久疥癬方：

丹砂 雄黃 雌黃（劉涓子無） 亂髮（洗淨） 松脂 白蜜（各一兩） 茹（三兩） 豬脂（二
上九味，先煎發，令消盡，納松脂、白蜜，三上三下，去滓，納諸末更一沸止，敷之。

（《翼方》用蠟，不用蜜。）

又方 水銀 礬石（一作 石） 黃連（一作雄黃） 蛇床子（各一兩）
上四味，為末，以豬脂七合和攪，不見水銀為熟，敷之。（一方加藜蘆一兩，又云 茹

治諸瘡疥癬，久不瘥者方：

水銀（一斤） 臘月豬脂（五升）
上二味，以鐵器中壘灶，用馬通火七日七夜，勿住火，出之，停冷取膏，去水銀不妨別 用，以膏敷一切瘡，無不應手立瘥。（《千金翼》用水銀粉和豬脂塗之。）

又方 特牛尿 羊蹄根(各五升)
上二味，以牛尿漬羊蹄根一宿，日曝乾複納尿中，取盡止，作末，敷諸瘡。(《千金翼》云：和豬脂用更精。)

又方 拔取生烏頭十枚，切煮汁，洗之瘥。

論曰：凡諸瘡癬，初生時或始痛癢，即以種種單方救之，或嚼鹽塗之，又以谷汁敷之，又以蒜墨和敷之。(《翼方》以蒜作酥。)又以薑黃敷之，又以鯉魚 摻敷之，又以牛李子汁 敷之。若以此救不瘥，乃以前諸大方治之。

治細癬方：

蛇床子 白鹽(一作白堊) 羊蹄根(各一升) 赤葛根 苦參 菖蒲(各半斤) 黃連莽草
上八味， 咀，以水七升，煮取三升，適寒溫洗身，如炊一石米頃為佳，澄清後，當 微溫用之，滿三日止。

又方 以羊蹄根於石上，苦酒磨敷之，欲敷先刮瘡，以火炙乾後，敷四五遍。(《翼方 》云：搗羊蹄根，著瓷器中，以白蜜和，臨用先刮瘡，令傷敷之，如炊一石米，又拭去，更 以三年大醋和塗之。若瘡處不傷，即不瘥)。

又方 羊蹄根五升，以桑柴灰汁煮四五沸以洗之。凡方中用羊蹄根，皆以日未出時采 之佳。

又方 菖蒲末五斤，以酒五升漬釜中蒸之，使味出，先絕酒一日，每服一升，或半升

又方 干荊子燒中央，以器承兩頭取汁，刮瘡令傷，塗之。

治癬方：

取煎餅熱拓，不限多少，日一遍，良。亦治浸淫瘡。

又方 淨洗瘡，取醬瓣、雀屎和敷之，瘥止。(《翼方》云：取醬和尿塗之。)

又方 水銀、蕪荑和酥敷之。

又方 日中午搗桃葉汁敷之。

又方 搗刺薊汁敷，並服之。

又方 燒蛇蛻一具，酒調服之。

又方 服地黃汁佳。

又方 服驢尿良。

又方 搗羊蹄根和乳塗之。

又方 醋煮艾塗之。

又方　搗莧菅根，蜜和敷之。(《翼方》無根字。)

治濕癬肥瘡方：

用大麻　敷之，五日瘥。

治癬久不瘥者方：

取自死蛇燒作灰，以豬脂和塗即瘥。

治小兒癬方：

以蛇床子搗末，豬脂和敷之。

治瘙癢方：

以水銀和胡粉敷之。

治身體瘙癢，白如癬狀者方：

楮子(三枚)　豬胰(一具)　鹽(一升)　礬石(一兩)
上四味，以苦酒一升合搗，令熟拭身，日三。

治　易方：

以三年醋磨烏賊骨，先以布摩肉，令赤敷之。

又方　醋磨硫黃塗上。(《集驗方》磨硫黃、附子，使熟，將臥以布拭病上，乃以藥敷　之)。

又方　取蜣螂搗爛塗之，當揩令熱封上，一宿瘥。

又方　白薇　薰陸香
上二味，為末，揩上，井水服之。

又方　硫黃　雌黃　槲皮(燒，等分)　蛇蛻(一具)
上四味，搗篩，以清漆合和，薄塗白處。欲塗時，先以巴豆半截拭白處，皮微破，然後　敷之，不過三兩度。

又方　硫黃　水銀　礬石　灶墨(等分)
上四味，搗末，納坩子中，以蔥涕和研，臨臥敷病上。

九江散

治白癜風，及二百六十種大風方。

當歸(七分)　石南(六分)　附子　躑躅　秦艽　菊花　乾薑　防風　雄黃　丹砂　麝　香斑蝥(各十六分)　蜀椒　連翹　鬼箭羽(各一分)　石長生　知母(各八分)　鬼臼　(十一分)　人參　王不留行　石斛　天雄　烏頭　獨活　防己

莽草(各十二分) 水蛭(百枚) 蜈蚣(三枚) 虻蟲 地膽(各十枚)
上三十味，諸蟲皆去足翅，熬炙令熟為散，酒服方寸匕，日再。其病入發，令髮白，服之百日愈，發還黑。

又方 天雄 白薇 黃芩(各三兩) 乾薑(四兩) 附子(一兩) 商陸 躑躅(各一升)
上七味，治下篩，酒服五分匕，日三。

又方 酒服生胡麻油一合，日三，稍稍加至五合。慎生冷、豬、雞、魚、蒜等。百日服五斗瘥。

治白癜方：

礬石 硫黃(等分)
上二味，為末，醋和敷之。

又方 平旦以手掉取韭頭上露塗之，極效。

又方 取羅摩草煮汁拭之，亦揩令傷 白汁塗之。

又方 鍛石松脂酒主之。(方見卷末。)

又方 以蛇蛻皮熬，摩數百過，棄置草中。

又方 樹空中水洗桂末，唾和塗之，日三。

又方 以水銀數數拭之，令熱即消，瘥乃止。

治凡身諸處白駁漸漸長似癬，不瘥方：

取鰻鱺魚脂塗之。先揩病上使痛，然後塗之。

又方 灸左右手中指節去延外宛中三壯，未瘥報之。

治皮中紫赤疵痣，去黶黰方：

干漆 雌黃 礬石(各三兩) 雄黃(五兩) 巴豆(十五枚) 炭皮(二斤)
上六味，治下篩，雞子白和塗，故帛貼病上，日二易。

治赤疵方：

用京墨、大蒜、鱔血合塗之。

治贅疵痣方：

雄黃 硫黃 真珠 礬石 巴豆 茹 藜蘆(各一兩)
上七味，治下篩，以真漆合和如泥，以塗點病上，須成瘡及去面 皮中紫，不耐漆人不得用，以雞子白和之。

去疣目方：

松柏脂合和塗之，一宿失矣。

又方　以石硫黃揩六七遍。

又方　以杏仁燒令黑，研膏塗上。

又方　以豬脂癢處揩之，令少許血出，即瘥。

又方　苦酒漬鍛石六七日，滴取汁點疣上小作，疣即落。

又方　取牛口中涎，數塗自落。

又方　著艾炷疣目上，灸之三壯即除。

惡疾大風第五

（論一首　方十首）

論曰：惡疾大風有多種不同，初得雖遍體無異，而眉發已落。有遍體已壞，而眉須儼然。有諸處不異好人，而四肢腹背有頑處，重者手足十指已有墮落。有患大寒而重衣不暖，有尋常患熱，不能暫涼。有身體枯槁者，有津汁常不止者，有身體干癢徹骨，搔之白皮如麩，手下作瘡者。（《外台》作卒不作瘡。）有瘡痍荼毒重疊而生，晝夜苦痛不已者，有直置頑鈍不知痛癢者。其色亦有多種，有青、黃、赤、白、黑、光明、枯暗。此候雖種種狀貌不同，而難療易療，皆在前人不由醫者，何則？此病一著，無問賢愚，皆難與語，何則？口順心違，不受醫教，直希望藥力，不能求已，故難療易療，屬在前人，不關醫藥。予嘗手療六百餘人，瘥者十分有一，莫不一一親自撫養，所以深細諳委之。姑與其語，覺難與語不受入，即不須與療，終有觸損，病既不瘥，乃勞而無功也。又神仙傳，有數十人皆因惡疾而致仙道何者？皆由割棄塵累，懷穎陽之風，所以非止瘥病，乃因禍而取福。故余所睹病者，其中頗有士大夫，乃至有異種名人，及遇斯患，皆愛戀妻孥，系著心髓不能割舍，直望藥力，未肯近求諸身，若能絕其嗜欲，斷其所好，非但愈疾，因茲亦可自致神仙。余嘗問諸病患，皆云自作不仁之行，久久並為極猥之業，於中仍欲更作云。為雖有悔言而無悔心，但能自新，受師教命，食進藥餌，何有不除。余以貞觀年中，將一病士入山，教服松脂，服至百日，須眉皆生。由此觀之，唯須求之於己，不可一仰醫藥者也。然有人數年患身體頑痺，羞見妻子，不告之令知，其後病成，狀貌分明，乃云犯藥卒患，此皆自誤，然斯疾雖大，療之於微，亦可即瘥。

此疾一得，遠者不過十年皆死，近者五六歲而亡。然病者自謂百年不死，深可悲悼。一遇斯疾，即須斷鹽，常進松脂，一切公私物務釋然皆棄，猶如脫屣。凡百口味，皆須斷除，漸漸斷谷，不交俗事，絕乎慶弔，幽隱岩谷，周年乃瘥。瘥後終身慎房事，犯之還發。茲疾有吉凶二義，得之修善即吉，若還同俗類，必是凶矣。今略述其由致，以示後之學人，可覽而思焉。

豆治惡疾方：

用細粒烏豆，擇取摩之皮不落者，取三月四月天雄烏頭苗及根，淨去土勿洗，搗絞取汁，漬豆一宿，漉去，曝乾，如此七番。始堪服，初服三枚，漸加至六七枚，日一服。禁房室、豬

岐伯神聖散

治萬病，癰疽癩疹癬，風痿骨肉疽敗，百節痛、眉毛髮落，身體淫淫躍躍痛癢、目痛爛，耳聾齒齲，痔 方。

天雄 附子 茵芋(《外台》作 草) 躑躅 細辛 烏頭 石南 乾薑(各一兩) 蜀 椒 防風 菖蒲(各二兩) 白朮 獨活(各三兩)
上十三味，治下篩，酒服方寸七，日三，勿增之。

野狼毒散

治惡疾方。

野狼毒 秦艽(等分)
上二味，治下篩，酒服方寸七，日三，服五十日愈。

又方 煉松脂投冷水中二十遍，蜜丸，服二丸，遇飢即服之，日三。鼻柱斷離者，二百日服之瘥。斷鹽及雜食、房室。又以天門冬酒，服百日愈。

鍛石酒

主生毛髮鬚眉，去大風方。

鍛石(一石，水拌濕蒸，令氣足) 松脂成煉(十斤，為末) 上曲(一斗二升) 黍米(一石)
上四味，先於大鍋中炒鍛石，以木札著灰中，火出為度，以枸杞根銼五斗，水一石五斗，煮取九斗，去滓，以淋鍛石三遍澄清，以鍛石汁和漬曲，用汁多少一如釀酒法，訖封四七日開服，常令酒氣相及為度，百無所忌，不得觸風，其米泔及飯糟，一事以上，不得使人、畜、犬、鼠食之，皆令深埋卻，此酒九月作，二月止。恐膈上熱者，服後進冷飯三五口壓之。

婦人不能飲食，黃瘦積年及蓐風，不過一石即瘥。其松脂末初 釀酒，攤飯時均散著飯上，待飯冷乃投之，此酒、飯宜冷，不爾即醋，宜知之。

治大風，眉發落，赤白癩病，八風十二痺，筋急肢節緩弱，飛尸遁注水腫，癰疽疥癬惡瘡，腳攣手折，眼暗洞泄，痰飲宿 寒冷方：

曲(二十五斤) 商陸根(二十五斤 馬耳切之)
上二味，合於瓮中，水一斛漬之，炊黍米一石，釀如家法，使曲米相淹三 畢，密封三七日，開視曲浮酒熟，澄清溫服三升，輕者二升。藥發吐下為佳。宜食軟煮飯，牛、羊、鹿肉羹。禁生冷醋滑，及豬、犬、雞、魚等。

治風身體如蟲行方：

用鹽一斗，水一石煎減半，澄清溫洗浴三四遍，並療一切風。

又方 以淳灰汁洗面，不過一月。

又方 以大豆漬飯漿水，旦旦溫洗面，洗頭發，不淨加少面，勿以水濯之，不過十度

又方 成煉雄黃，松脂等分，蜜和丸。如梧子大，飲下十丸，日三，服百日愈。慎酒、肉、鹽、豉等。

備急千金要方 卷二十四 解毒雜治方

唐 孫思邈

（凡八類）

解食毒第一

（論一首 方三十九首）

論曰：凡人跋涉山川，不諳水土，人畜飲啖，誤中於毒，素不知方，多遭其斃，豈非枉 橫耶。然而大聖久設其法，以救活之。正為貪生樂藥，忽而不學，一朝逢遇，便自甘心，竟不識其所以。今述神農黃帝解毒方法，好事者，可少留意焉。

治諸食中毒方：

飲黃龍湯及犀角汁，無不治。飲馬尿亦良。

治飲食中毒煩懣方：

以苦參三兩， 咀，以酒二升半，煮取一升，頓服，取吐愈。

治食百物中毒方：

掘廁旁地深一尺，以水滿坑中，取廁籌七枚燒令煙，以投坑中，乃取水汁飲四五升，即愈。急者不可得，但掘地著水，即取飲之。

又方 服生韭汁數升。

又方 含貝子一枚，須臾吐食物瘥。

治食六畜肉中毒方：

各取六畜干屎為末，水服佳。若自死六畜肉毒，水服黃柏末方寸匕，須臾複與服佳。

又方 燒小豆一升為末，服三方寸匕，神良。

又方 水服灶底黃土方寸匕。

治食生肉中毒方：

掘地深三尺，取下土三升，以水五升，煮土五六沸，取上浮清者，飲一升立愈。

治食牛肉中毒方：

野狼牙燒灰，水服方寸匕，良。（一作豬牙。）

又方 溫湯服豬脂良。

又方 水煮甘草汁飲之。

治食牛馬肉中毒方：

飲人乳汁良。

治食馬肉血洞下欲死方：

豉（二百粒） 杏仁（二十枚）
上二味， 咀，蒸五升米下，飯熟搗之，再服令盡。

又方 飲蘆根汁即解。

治生食馬肝毒殺人方：

牡鼠屎（二七枚，兩頭尖者是）。以水研飲之，不瘥更作。

治食野菜馬肝肉諸脯肉毒方：

取頭垢如棗核大吞之，起死人。

又方 燒狗屎灰，水和絞取汁，飲之立愈。

又方 燒豬骨為末，水服方寸匕，日三服。

治食百獸肝中毒方：

頓服豬脂一斤佳。亦治陳肉毒。

治食狗肉不消心中堅，或腹脹口乾大渴，心急發熱，狂言妄語，或洞下方：

杏仁一升合皮研，以沸湯三升和，絞取汁，分三服，狗肉完片皆出即安，良驗。

治食豬肉中毒方：

燒豬屎為末，水服方寸匕。犬屎亦佳。

治漏脯毒方(張文仲云：茅室漏水沾脯，為漏脯)：

搗韭汁服之良，大豆汁亦得。

治郁肉濕脯毒方(張文仲云：肉閉在密器中，經宿者為郁肉)：

燒狗屎為末，水服方寸匕，凡生肉、熟肉皆不用深藏密蓋不泄氣，皆殺人。又肉汁在器中密蓋氣不泄者，亦殺人。

治脯在黍米中毒方：

陳曲一兩，鹽二撮，以水一升煮，服之良。

治牛肝諸脯毒，及餅 中毒方：

取貝子為末，水服如豆佳，不瘥更服。

人以雉肉作餅，因食吐下治方：

以犀角為末，服方寸匕，得安甚良。

治食鵝鴨肉成病，胸滿面赤，不下食者方：

服秫米泔良。

治食魚中毒方：

煮橘皮停極冷，飲之立驗。(《肘後》云：治食魚中毒，面腫煩亂者)。

治食魚中毒面腫煩亂，及食鱸魚中毒欲死者方：

銼蘆根舂取汁，多飲良，並治蟹毒。亦可取蘆葦茸汁飲之。

治食魚 及生肉在胸膈中不化，吐之不出，便成 瘕方：

濃朴(三兩) 大黃(二兩)
上二味，以酒二升，煮取一升，頓服之。

治食魚 不消方：

大黃(三兩，切) 朴硝(二兩)
上二味，以酒二升，煮取一升，頓服之。(仲景有橘皮一兩。《肘後方》云：治食豬肉遇 冷不又方 舂馬鞭草飲汁一升，即消。生薑亦良。(《肘後方》云：亦宜服諸吐藥。)

又方 鮐魚皮燒灰，水服。無完皮，以壞刀裝取之。(一名鮫魚皮，《古今錄驗》治食 魚傷毒。)

又方 魚皮燒灰，水服方寸匕。

又方　魚鱗燒灰，水服方寸匕。食諸鮑魚中毒，亦用之。

治食蟹中毒方：

冬瓜汁服二升，冬瓜亦可食。

治食諸菜中毒方：

甘草　貝齒　胡粉（等分）
上三味，治下篩，水服方寸匕。小兒尿、乳汁共服二升，亦好。

治食樹菌中毒方：

人屎汁服一升良。

治食諸菌中毒方：

掘地作坑，以水沃中，攪令濁，澄清飲之。（名地漿。）

解百藥毒第二

（論一首　方十二首　解毒品味二十八條）論曰：甘草解百藥毒，如湯沃雪，有同神妙。有人中烏頭、巴豆毒，甘草入腹即定。中藜蘆毒，蔥湯下咽便愈。中野葛毒，土漿飲訖即止。如此之事，其驗如反掌，要使人皆知之。

然人皆不肯學，誠可嘆息。方稱大豆汁解百藥毒，余每試之，大懸絕不及甘草，又能加之為甘豆湯，其驗尤奇。有人服玉壺丸，治嘔不能已，百藥與之不止，藍汁入口即定。如此之事，皆須知之，此成規更不須試練也。解毒方中條例極多，若不指出一二，學人不可卒知，餘方例爾。

石藥毒　用白鴨屎、人參汁。

雄黃毒　用防己。

鐵粉毒　用磁石。

石毒　用大豆汁、白鵝膏。

防葵毒　用葵根汁。

大戟毒　用菖蒲汁。

桔梗毒　用白粥。

甘遂毒　用大豆汁。

躑躅毒　用梔子汁。

雞子毒 用醇醋。

馬刀毒 用清水。

野芋毒 用土漿、人糞汁。

杏仁毒 用藍子汁。

百藥毒 用甘草、薺 、大小豆汁、藍葉根、實汁。

金銀毒 用水銀服數兩即出，或雞子清及屎白燒豬脂和服，水淋雞屎汁煮蔥汁。

芫花毒 用防己、防風、甘草、桂汁。

野葛毒 用雞子清、葛根汁、甘草汁、鴨頭、熱血、豬膏、雞屎、人屎。

藜蘆毒 用雄黃，溫湯煮蔥汁。

烏頭、天雄、附子毒 用大豆汁、飴糖、防風、遠志、棗肉。

射罔毒 用藍汁、大小豆汁、竹瀝、大麻子汁、藕汁、薺汁、六畜血、貝齒屑、蚯 蚓屎。

半夏毒 用生薑汁及煮乾薑汁。

莨菪毒 用薺 、甘草、犀角、蟹汁、升麻。

野狼毒毒 用杏仁、藍汁、白蘞、鹽汁、木占斯。

巴豆毒 用黃連煮汁、大豆汁、菖蒲汁、生藿汁(《肘後》云：小豆藿)煮寒水石汁。

蜀椒毒 用葵子汁、蒜汁、豉汁、桂汁、人尿、冷水、土漿、雞毛燒吸煙及水調服。

斑蝥、芫青毒 用豬膏、戎鹽、大豆汁、藍汁、巴豆、鹽湯煮豬膏。

服藥過劑悶亂者 用水和胡粉、水和葛粉、地漿、豉汁、 荷汁、粳米沈、乾薑、黃連、飴糖、藍汁 吞雞子黃
上解毒諸藥，一例中有數味者，但得一味即是，不必悉具。

解一切毒藥發不問草石，始覺惡即服此方：

豉(二升) 生麥門冬 蔥白(各八兩)
上三味，以水七升，煮取二升半，分三服。

雞腸草散

解諸毒方。

雞腸草(三分) 薺 升麻(各四分) 芍藥 當歸 甘草(各一分) 坌土(一分) 藍 子(一合)
上八味，治下篩，水服方寸匕，多飲水為佳。若為蜂、蛇等毒蟲所螫，以針刺螫上，血 出，著藥如小豆許於瘡中，令濕瘥。若為射罔箭所中，削竹如釵股長一尺五寸，以綿纏繞，水沾濕，取藥納瘡中，隨瘡深淺令至底止，有好血出即休。若服藥有毒，水服方寸匕，毒解 痛止愈。

解毒藥散方：

薺 (一分)，藍(並花，二分)
上二味，七月七日取藍，陰乾搗篩，水服方寸匕，日三。

又方 取秦燕毛二七枚，燒灰服。

解一切毒方：

母豬屎水和服之。又水三升三合和米粉飲之。

解鴆毒及一切毒藥不止煩懣方：

甘草 蜜(各四分) 粱米粉(一升)
上三味，以水五升煮甘草，取二升，去滓，歇大熱，納粉湯中，攪勻調，納蜜更煎，令熟如薄粥，適寒溫飲一升。

治食莧菅，悶亂如卒中風，或似熱盛狂病，服藥即劇方：

飲甘草汁、藍青汁即愈。

治野葛毒已死口噤者方：

取青竹去兩節，柱兩脅臍上，納冷水注之，暖即易，須臾口開，開即服藥立活，唯須數易水。

治鉤吻毒困欲死、面青口噤，逆冷身痺方：(《肘後方》云：鉤吻、茱萸、食芹相似，而薺 八兩 咀，以水六升，煮取三升，冷如人體，服五合，日三夜二。凡煮薺，唯令濃佳。

又方 煮桂汁飲之。

又方 啖蔥涕佳。(蔥涕治諸毒。)

治腹中有鐵方：

白折炭刮取末，以井花水服三錢，不過再服。

解五石毒第三

(論三首 証十八條 方三十七首)

論曰：人不服石，以庶事不佳，惡瘡疥癬，溫疫瘧疾，年年常患，寢食不安，興居常惡，非只己事不康，生子難育，所以石在身中，萬事休泰，要不可服五石也。人年三十以上可服石藥，若素肥充亦勿妄服。四十以上必須服之。五十以上三年可服一劑，六十以上二年可服一劑，七十以上一年可服一劑。

又曰：人年五十以上，精華消歇，服石猶得其力。六十以上轉惡，服石難得力。所以常 須服石，令人手足溫暖，骨髓充實，能消生冷，舉措輕便，複耐寒暑，不著諸病。是以大須服之。凡石皆熟煉用之。凡石之發，當必惡寒頭痛心悶，發作有時，狀如溫瘧，但有此兆，無過取冷水淋之，得寒乃止。一切冷食唯酒須溫，其諸解法備如後說。其發背疽腫(方見二十二卷中)。

又曰：凡服石人，慎不得雜食口味，雖百品具陳，終不用重食其肉，諸雜既重，必有相賊，積聚不消，遂動諸石，如法持心，將攝得所。石藥為益，善不可加。余年三十八九嘗服五六兩乳，自是以來深深體悉，至於將息節度，頗識其性，養生之士宜留意詳焉。然其乳石 必須土地清白光潤，羅紋鳥翮一切皆成，乃可入服。其非土地者，慎勿服之，多致殺人。甚 於鴆毒、紫石、白石極須外內映澈，光淨皎然，非爾亦不可服。寒石五石更生散方，舊說此藥方，上古名賢無此，漢末有何侯者行用，自皇甫士安以降，有進餌者，無不發背解體，而取顛覆。余自有識性以來，親見朝野仕人遭者不一，所以寧食野葛，不服五石，明其有大大猛毒，不可不慎也。有識者遇此方即須焚之，勿久留也。今但錄主對以防先服者，其方已從 煙滅，不複須存，為含生害也。

蔥白豉湯

凡鐘乳對術又對栝蔞，其治主肺上通頭胸，術動鐘乳，胸塞短氣。鐘乳動術，頭痛目疼。又鐘乳雖不對海蛤，海蛤能動鐘乳，鐘乳動則目疼短氣。有時術動鐘乳，直頭痛胸塞，然鐘乳與術為患不過此也。雖所患不同，其治一也。發動之始，要有所由，始覺體中有異，與上患相應，宜速服此方。

蔥白(半斤) 豉(二升) 甘草(三兩) 人參(三兩《外台》用吳茱萸一升。)
上四味，先以水一斗五升，煮蔥白作湯，澄取八升，納藥煮取三升，分三服，才服便使人按摩搖動，口中嚼物，然後仰臥，覆以暖衣，汗出去衣，服湯，熱歇即便冷，淘飯燥脯而已。若服此不解，複服甘草湯。

甘草湯方

甘草(三兩) 桂心(二兩) 豉(二升) 蔥白(半斤)
上四味，合服如上法。若服此已解，肺家猶有客熱餘氣，複服桂心湯。

桂心湯方

桂心 麥門冬(各三兩) 人參 甘草(各二兩) 豉(二升) 蔥白(半斤)
上六味，合服如前法。(此方與次後散發身體生瘡，麥門冬湯分兩小異。)

杜仲湯

硫黃對防風，又對細辛，其治主脾腎通主腰腳。防風動硫黃，煩熱腳疼腰痛，或嗔忿 無常，或下利不禁。防風、細辛能動硫黃，而硫黃不能動彼，始覺發便服此方。

杜仲(三兩) 枳實 甘草 李核仁(各二兩) 香豉(二升) 梔子仁(十四枚)
上六味, 合服如上法。若不能解, 複服大麥奴湯。

大麥奴湯方

大麥奴(四兩) 甘草 人參 芒硝 桂心(各二兩) 麥門冬(半斤)
上六味, 合服如上法。若服已解, 脾腎猶有餘熱氣或冷, 複服人參湯。

人參湯方

人參 乾薑 甘草 當歸(各一兩) 附子(一枚)
上五味, 合服如上法。

生麥門冬湯

白石英對附子, 其治主胃通主脾腎。附子動白石英, 煩熱腹脹。白石英動附子, 嘔逆 不得食, 或口噤不開, 或言語難, 手腳疼痛。始覺宜服此湯方。

生麥門冬(四兩) 甘草 麻黃(各二兩) 豉(二升)
上四味, 合服如上法, 不解再服大黃湯。

大黃湯方

(若煩, 加細辛五兩) 大黃(三兩) 豉(二升) 甘草(二兩) 梔子仁(三十枚) 上合服如上法, 頻服得下便止, 不下服盡。若熱勢未除, 視瞻高而患渴者, 複服栝蔞根 湯。

栝蔞根湯方

栝蔞根 大麥奴(各四兩) 甘草(二兩) 豉(二升) 蔥白(半斤)
上五味, 合服如上法, 稍稍一兩合服之, 隱約得一升許, 便可食少糜動口。若已解, 胃 中有餘熱, 複服芒硝湯。

芒硝湯方

芒硝 桂心(各二兩) 李核仁(二十一枚) 白朮(一兩) 大棗(二十枚) 甘草 通 草 (各三
上七味, 合服如上法。若腹脹, 去芒硝, 用人參二兩

人參湯

紫石英對人參, 其治主心肝通主腰腳。人參動紫石英(《外台》作細辛, 人參) 痛, 或驚悸不得眠臥, 恍惚忘誤, 失性發狂, 昏昏欲眠, 或憒憒喜嗔, 或瘧或劇, 乍寒乍熱, 或耳聾目暗。又防風雖不對紫石英, 而能動防風(《外台》云：防風雖不對紫石英, 為藥中有人參, 緣防風動人參, 轉相發動令人心痛煩熱)。令人頭項強, 始覺服此方。(《外台》黃湯。) 人參 白朮(各三兩) 甘草(《外台》無) 桂心(各二兩) 細辛(一兩) 豉(三升)

上六味，合服如上法。若嗔盛加大黃、黃芩、梔子各三兩。若忘誤狂發猶未除，複服後 列第一生麥門冬湯。

生麥門冬湯方

生麥門冬 蔥白（各半斤） 甘草（三兩） 人參（一兩） 豉（二升）
上五味，合服如上法，溫床暖覆，床下著火，口中嚼物使身稍汗一日便解。若心有餘熱，更服參桂湯。

參桂湯方

人參 防風 甘草（各三兩） 桂心（二兩） 白朮 生薑（各一兩）
上六味，合服如上法。

大麥湯

赤石脂對桔梗，其治主心通主胸背。桔梗動石脂，心痛寒噤，手足逆冷，心中煩悶。

赤石脂動桔梗，則頭痛目赤，身體壯熱。始覺發宜溫清酒飲之，隨能否，須酒勢行則解，亦 可服此方。

大麥熬令汗出燥止，勿令大焦，舂去皮，細搗絹篩，以冷水和服之。（《翼方》云：炒去皮，淘淨蒸令熟，曝乾，熬令香為末）。

蔥白豉湯

石無所偏對，其治主胃，發則令人心急口噤，骨節疼強，或節節生瘡。始覺發即服此方。（《外台》云：服麥門冬湯）。

蔥白（半斤） 豉（二升） 甘草（二兩）
上三味，以水六升，煮取二升半，分三服，若散發身體卒生瘡，宜服後方。

生麥門冬湯方

生麥門冬（五兩） 甘草（三兩） 桂心（二兩） 人參（一兩半） 蔥白（半斤） 豉（二升）
上六味，服如解鐘乳湯法。

術對鐘乳，術發則頭痛目疼，或舉身壯熱，解如鐘乳法。

附子對白石英，亦對赤石脂。附子發則嘔逆手腳疼，體強骨節痛，或項強面目滿腫。發則飲酒服 自愈。若不愈，與白石英同解。

大黃黃芩湯

桔梗對赤石脂，又對牡蠣，又對茯苓。桔梗發則頭痛目赤，身體壯熱。牡蠣發則四肢 壯熱，心腹煩悶極渴。解法並與赤石脂同。茯苓發則壯熱煩悶，宜服此方。

大黃 黃芩 梔子仁(各三兩) 蔥白(切) 豉(各一升)
上五味， 咀，以水六升，煮取二升半，分三服。

栝蔞根湯

海蛤對栝蔞，海蛤先發則手足煩熱，栝蔞先發則噤寒清涕出。宜服此方。

栝蔞根 甘草(各二兩) 大黃(一兩) 梔子仁(十四枚)
上四味，合煎服如解鐘乳法。

浴法

初熱先用暖水，後用冷水，浴時慎不可洗頭垂沐，可二三升灌之。凡藥宜浴便得解即佳。如不瘥，可余治之。

寒食散

發動者云：草藥氣力易盡，石性沉滯獨主胃中，故令數發。欲服之時，以絹袋盛散一匕，著四合酒中，塞其口一宿後，飲盡之。其酒用多少，將御節度自如舊法。

梔子豉湯

治食宿飯、陳臭肉及羹宿菜發者方。

梔子(三七枚) 豉(三升) 甘草(三兩)
上三味， 咀，以水八升，煮取三升，分三服。方可加人參、蔥白。

蔥白豉湯

治因失食發及飲酒過醉發者方。

蔥白(一升) 豉(二升) 乾薑(五兩) 甘草(二兩)
上四味， 咀，以水七升，煮取三升，分三服。不解宜服：

理中湯

人參 白朮 甘草(各三兩) 乾薑(二兩)
上四味， 咀，以水六升，煮取三升，分三服。

人參湯

治因嗔怒太過發者方。

人參 枳實 甘草(各九分) 白朮 乾薑 栝蔞根(各六分)
上六味， 咀，以水九升，煮取三升，分三服。若短氣者，稍稍數飲。(《千金翼》云 ：主散發氣逆，心腹絞痛不得氣息，命在轉燭者)。

情色過多發，宜服黃 湯。(方本闕。) 將冷太過發，則多壯熱，以冷水洗浴，然後用生熟湯五六石灌之，已，食少暖食，飲少熱酒，行步自勞。

將熱太過發，則多心悶，時時食少冷食。若夏月大熱時發動，多起於渴飲多所致，水 和少 服之，不瘥複作，以瘥為度。

冷熱熨法

若大小便閉塞不通，或淋瀝溺血，陰中疼痛，此是熱氣所致，用此法即愈 其法先以冷物熨小腹已，次以熱物熨之，又以冷物熨之。若小便數，此亦是取冷所為，暖調理自愈。

治藥發下利者方：

干服豉即斷，能多益佳。

檳榔湯

凡服散之後，忽身體浮腫，多是取冷過所致治之方。

檳榔三十枚搗，以水八升，煮取二升，分二服。

治凡散發瘡腫方：

蔓菁子(熬) 杏仁 黃連 胡粉(各一兩) 水銀(二兩)
上五味，別搗蔓菁子，杏仁如膏，以豬脂合研，令水銀滅塗上，日三夜一。

治散發赤腫者方：

生地黃(五兩) 大黃(一兩) 生商陸(三兩) 杏仁(四十枚)
上四味，切，醋漬一宿，豬膏一升，煎商陸令黑，去滓摩腫上，日三夜一。

治散發生細瘡者方：

黃連 芒硝(各五兩)
上二味， 咀，以水八升，煮黃連，取四升，去滓納芒硝令烊，漬布貼瘡上，數數易 換，多少皆著之。

治散發瘡痛不可忍方：

冷石(即滑石)三兩，治下篩，粉瘡上，日五六度，即燥，須臾痛亦定。

治服散忽發動方：

乾薑五兩， 咀，以水五升，煮取三升，去滓納蜜一合，和絞頓服，不瘥重作。

鴨通湯

解散除熱方。

白鴨通（五升，沸湯二斗半淋之，澄清取汁二斗） 豉（三升） 麻黃（八兩） 梔子仁（二十枚）
上七味，五味 咀，以鴨通汁煮取六升，去滓納豉煮三沸，分服五合。若覺體冷小便 快，止後服。若熱猶盛，小便赤促，服之不限五合，宜小勞，當漸進食，不可令食少，但勿便多耳。

解散

治盛熱實，大小便赤方。

升麻 大黃 黃連 黃柏 甘草（各三兩） 黃芩（四兩） 芍藥（六兩） 梔子仁（十四枚） 竹
上十一味， 咀，以水三斗，先煮鴨通、竹葉，取一斗二升，去滓澄清，取一斗，次納藥，煮取三升，分三服。若上氣者，加杏仁五合，腹滿加石膏三兩。

下散法

治藥發熱困方（《翼方》云：凡散數發熱無賴下去之。又云：諸丹及金石等同 用之）。

黍米三升作糜，以成煎豬脂一斤和，令調，宿不食，旦空腹食之，令飽，晚當下藥神良。

不盡熱發，更合服之。

又方 肥豬肉（五斤） 蔥白 薤（各半斤）
上三味，合煮，治如食法，宿不食，旦服之令盡，不盡，明日更服。

又方 治壓藥發動數數患熱困，下之之方。

以豬腎脂一具，不令中水，以火炙，承取汁，適寒溫一服三合，每日夜五六服，多至五六升，二日稍隨大便下。

又方 作肥豬肉 一升，調如常法，平旦空腹頓服令盡，少時腹中雷鳴，鳴定藥隨 以器盛取，用水淘石。不盡，更作如前服之。

蠱毒第四論

（論一首六條 方二十首）

論曰：蠱毒千種，種種不同，或下鮮血，或好臥暗室，不欲光明，或心性反常，乍嗔乍 喜，或四肢沉重，百節酸痛，狀貌說不可盡。亦有得之三年乃死，急者一月或百日即死。其死時，皆從九孔中或於脅下肉中出去，所以出門常須帶雄黃、麝香、神丹諸大辟惡藥，則百蟲、貓鬼、狐狸、老物精魅永不敢著人。養生之家大須慮此。俗亦有灸法，國中蟲於心下捺 便大灶灸一百壯，並主貓鬼亦灸得愈。又當足小趾尖上灸三壯，當有物出。酒上得者有酒出，飯上得者有飯出，肉菜上得者有肉菜出，即愈，神驗，皆於灸瘡上出。

凡中蠱毒，令人心腹絞痛，如有物嚙，或吐下血皆如爛肉，若不即治，蝕人五臟盡乃死矣，欲驗之法，當令病患唾水。沉者是蠱，不沉者非蠱也。

凡人患積年，時複大便黑如漆，或堅或薄或微赤者，是蠱也。

凡人忽患下血，以斷下方治更增極者，此是中盅者也。凡卒患血痢或赤或黑，無有多少，此皆是蠱毒。粗醫以斷痢藥處之，此大非也。

世有拙醫，見患蠱脹者，遍身腫滿，四肢如故，小便不甚澀，以水病治之。延日服水藥，經五十餘日望得痊愈，日複增加，奄至殞歿，如此者不一。學人當細尋方意，消息用之，萬不失一。醫方千卷，不盡其理，所以不可一一備述。

凡人中蠱，有人行蠱毒以病患者，若服藥知蠱主姓名，當使呼喚將去。若欲知蠱主姓名 者，以敗鼓皮燒作末，飲服方寸匕，須臾自呼蠱主姓名者，可語令去則愈。又以蛇涎合作蠱 藥著飲食中，使人得瘕病。此一種積年乃死，療之各自有藥。江南山間人有此，不可不信之。

太上五蠱丸

治百蠱，吐血傷中，心腹結氣，堅塞咽喉，語聲不出，短氣欲死，飲食不下，吐逆上氣，去來無常，狀如鬼祟，身體浮腫，心悶煩疼寒戰，夢與鬼交狐狸作魅，卒得心痛，上叉胸脅 痛如刀刺，經年累歲，著床不起，悉主之方。

雄黃 椒目 巴豆 莽草 芫花 真珠(即丹砂。《外台》作木香) 鬼臼 礬石 藜 蘆（各四分）附子(五分) 獺肝(一分) 蜈蚣(二枚) 斑螫(三十枚)
上十三味為末，蜜和更搗二千杵，丸如小豆，先食飲服一丸。餘密封勿泄藥氣，十丸為一劑。如不中病，後日增一丸，以下痢為度，當下蠱種種，狀貌不可具述，下後七日將息，服一劑，三十年百病盡除，忌五辛。

太乙追命丸

治百病，若中惡氣，心腹脹滿，不得喘息，心痛積聚臚脹疝瘕，宿食不消，吐逆嘔，寒熱瘰癧蠱毒，婦人產後餘疾方。

蜈蚣(一枚) 丹砂(即真珠) 附子 礬石(一作 石) 雄黃 藜蘆 鬼臼(各一分) 巴 豆(二分)
上八味，為末，蜜丸如麻子，一服二丸，日一服，傷寒一二日服一丸，當汗出，綿裹兩丸塞耳中。下利服一丸，一丸塞下部。蠱毒服二丸，在外膏和摩病上。在膈上吐，在膈下利，有治人得藥雜蠱方：

斑螫(六枚) 桂心 藜蘆(各如指大) 釜月下土(如彈丸大)
上四味，治下篩，水服一錢匕下，蟲蛇蝦蟆蜣螂毒俱出。

萬病丸

治蠱疰，四肢浮腫，肌膚消索，咳逆腹大如水狀，死後轉易家人。一名蠱脹方。(《小品》名雄黃丸。) 雄黃 巴豆 莽草 鬼臼(各四兩) 蜈蚣(三枚)
上五味，為末，蜜和搗三千杵，丸如小豆，密封勿泄氣，宿勿食，平旦空腹服一丸，一炊久不知，更加一丸，當先下清水，次下蟲長數寸，及下蛇，又下 雞子或白如膏，下後作 蔥豉粥補之，百種暖將息。

治中蠱毒，腹內堅如石，面目青黃，小便淋瀝，病變無常處方。(《肘後》、《古今錄驗》俱云：用鐵精、烏雞肝和丸，如梧子，酒服三丸，日再。甚者不過十日。《千金》用後 湯，疑誤。) 羊皮(方五寸) 犀角 芍藥 牡丹 黃連(各一兩) 荷(四兩半) 梔子仁(七 枚)
上七味， 咀，以水九升，煮取三升，分三服。(葛氏、崔氏俱無牡丹、芍藥、梔子，有

犀角丸

治蠱毒百病，腹暴痛飛尸惡氣腫方。

犀角(屑) 鬼臼(屑) 桂心(末) 羚羊角屑(各四錢七) 天雄 莽草 真珠(即丹砂) 雄黃(各一兩) 貝子(五枚，燒) 蜈蚣(五節) 巴豆(五十枚) 麝香 射罔(各如雞子黃大，一枚)
上十三味，為末，蜜丸如小豆，服一丸，日二，含咽，不知少增之。卒得腹滿蜚尸，服如大豆許二丸。若惡氣腫，以苦酒和塗上，絳囊盛藥系左臂，辟不祥鬼疰蠱毒。可以備急。

治蠱毒方：

茜根 荷根(各三兩)
上二味， 咀，以水四升，煮取二升，頓服。(《肘後》云：治中蠱吐血，或下血如爛 肝者，自知蠱主姓名)。

又方 皮灰 亂髮灰(各一方寸七) 生麻子汁(五升) 桃根皮(向陽者) 槲樹 背陰白 皮(各五兩)
上五味，先煮桃根、槲皮取濃汁一升，和麻子汁、髮灰等令勻，患人宿少食，旦服一大升，須臾著盆中，以雞翎 吐水中如牛涎犢胎，及諸蟲並出。

又方 槲樹背陰白皮一大握長五寸，水三升，煮取一升，空腹服即吐蟲出，亦治中蠱 下血。

又方 皮灰水服方寸七，亦出蟲。

又方 大戟 斑螫 五月五日桃白皮(各四分。《必效方》云：取東引者火烘之。)
上三味，治下篩，旦空腹以水一鐘，服八捻。用二指相著如開，頓服之。若指頭相離取藥太過，恐能損人。(《肘後方》云：服棗核大不瘥，十日更一服。《必效方》云：服半方寸 匕

治蛇蠱方(蛇毒入菜果中，食之令人得病，名曰蛇蠱)：

大豆末以酒漬，絞取汁，服半升。

治諸熱毒或蠱毒，鼻中及口中出血，醫所不治方：

取人屎尖七枚燒作火色，置水中研之，頓服即愈，亦解百毒時氣熱病之毒，服極神驗。

治蠱吐下血方：

櫸皮(廣五寸，長一尺) 蘆荻根(如足大趾，五寸。《短劇方》用薔薇根)
上二味， 咀，以水二升，煮取一升，頓服，極下蠱。

治中蠱下血，日數十行者方：

巴豆(二七枚) 芫青 藜蘆 附子 礬石(各二分)
上五味，為末，別治巴豆，合和相得，以綿裹藥如大豆許，納下部中，日三瘥。

又方 苦瓠一枚，以水二升，煮取一升，稍稍服之，當下蟲及吐蝦蟆，蝌蚪之狀，一月 後乃盡。(《肘後方》云：用苦酒二升煮。)

八物茜根湯

治下血狀如雞肝，腹中絞痛難忍者方。

茜根 升麻 犀角(各三兩) 桔梗 黃柏 黃芩(各二兩) 地榆 白 荷(各四兩)
上八味， 咀，以水九升，煮取二升半，分三服，此蟲利血用之。

又方 桔梗 犀角(等分)
上二味，為末，酒服方寸匕，日三。不能自服，絞口與之，藥下心中當煩，須臾自靜，有頃下，服至七日止，可食豬脾臟自補養。治蟲下血如雞肝，日夜不解欲死者，皆可用。

治腸蟲，先下赤後下黃白沫，連年不瘥者方：

牛膝一兩捶散切，以醇清酒一升漬一宿，平旦空腹服之，再服便愈。

北地太守酒

治萬病蟲毒風氣寒熱方。

烏頭 甘草 芎 黃芩 桂心 藜蘆 附子(各四兩) 白薇 桔梗 半夏 前胡 麥門冬 柏子仁(各六兩)
上十三味， 咀，以曲十斤，秫米一斛，如醞酒法，藥以絹囊盛之，沉於瓮底，酒熟 去糟，還取藥滓，以青布袋盛，沉著酒底，泥封，秋七日，冬十日，夏五日。空腹服一合，日三，以知為度。因藥有毒，故以青布盛之。服勿中止。二十日大有病出，其狀如漆。五十日即悉愈。婦人年五十，被病連年，腹中積聚，冷熱不調，時時切痛繞臍絞急，上氣胸滿，二十餘年，服藥二七日，所下四五升即愈。又有女人病偏枯絕產，服二十日，吐黑物大如刀 帶，長三尺許，即愈，其年生子。又有女人小得癲病，服十八日，出血二升半愈。有人被杖，崩血內瘀，臥著九年，服藥十三日，出黑血二三升愈。有人耳聾十七年，服藥三十五日，鼻 中出血三升，耳中出黃水五升而愈。古方云：熹平二年，北地太守臣光上，然此偏主蟲毒。

有人中蟲毒者，服無不愈。極難瘥者，不過二七日。所有效莫不備出。曾有一女人年四十餘，偏枯羸瘦不能起，長臥床枕，耳聾一無所聞，兩手不收，已經三載。餘為合之，遂得平複如舊。有人中蟲毒而先患風，服茵芋酒傷多，吐出蟲數十枚遂愈，何況此酒而不下蟲也。嘉 其功效有異常方，故具述焉。

胡臭漏腋第五

(論一首 方十五首)

論曰：有天生胡臭，有為人所染臭者。天生臭者難治，為人所染者易治。然須三年醋，敷礬石散勿止，並服五香丸，乃可得瘥。勿謂一度敷藥即瘥，只一敷時暫得一瘥耳。(五香 丸見前第六卷中。)凡胡臭人通忌食芸薹、五辛、治之終身不瘥。

鍛石散

治胡臭方。

鍛石(一升) 楓香(一作沉香) 丁香 薰陸香 青木香(各二兩) 礬石(四兩) 橘皮 陽起石(各三兩)
上八味，治下篩，以綿作篆子粗如指，長四寸，展取藥篆上，以絹囊盛著腋下，先以布 揩令痛，然後夾之。

又方 以三年苦酢和鍛石敷之。

治胡臭方：

辛夷 芎 細辛 杜蘅 本(各二分)
上五味， 咀，以醇苦酒漬一宿，煎取汁敷之，欲敷取臨臥時，以瘥為度。

又方 青木香 附子 鍛石(各一兩) 礬石(半兩)
上四味，為散，著粉中，常粉之。

又方 赤銅屑以酢和銀器中，炒極熱布裹熨腋下，冷複易。

又方 槲葉切三升，以水五升，煮取一升，洗腋下，即以白苦瓠燒令煙出熏之，數數作用。

又方 辛夷 細辛 芎 青木香(各四分)
上四味，治下篩，熏竟粉之。

又方 馬齒菜一束搗碎，以蜜和作團，以絹袋盛之，以泥紙裹濃半寸曝乾，以火燒熟，破取，更以少許蜜和使熱，勿令冷，先以生布揩之，夾藥腋下，痛久忍之不能，然後以手勒 兩

又方 牛脂 胡粉(等分)
上二味，煎令可丸，塗腋下一宿即愈，不過三劑。

又方 伏龍肝作泥敷之。

六物散

治漏腋，腋下及足心手掌陰下股裡，常如汗濕臭者方。

干枸杞根 干薔薇根 甘草(各半兩) 商陸根 胡粉 滑石(各一兩) 上件藥，治下篩，以苦酒少少和塗，當微汗出，易衣複更塗上，不過三著便愈，或一年 複發，發複塗之。

又方 水銀 胡粉(《外台》作粉霜)
上二味，以面脂研和塗之，良驗。

又方 鍛石(三升) 銀屑(一升，一作銅屑)
上二味，合和，絹囊盛，汗出粉之佳。

又方 黃礬石燒令汁盡，治為末，以絹袋盛粉之即瘥。

又方　正旦以尿洗腋下，神妙。

脫肛第六

（方十三首　灸法三首）肛門主肺，肺熱應肛門，熱則閉塞，大便不通，腫縮生瘡兌通方：

白蜜三升，煎令燥，冷水中調可得為丸，長六七寸，納肛門中，倒向上，頭向下，少時　取烊，斯須即通洞泄。

豬肝散

肛門主大腸，大腸寒應肛門，寒則洞泄，肛門滯出方。

豬肝（一斤，熬令燥）黃連　阿膠　芎（各二兩）艾葉（一兩）烏梅肉（五兩）
上六味，治下篩，溫清酒一升，服方寸匕，半日再服。若不能酒，與清白米飲亦得。

又方　磁石（四兩）桂心（一尺）皮（一枚）
上三味，治下篩，飲服方寸匕，日一服即縮，慎舉動及急帶衣，斷房室周年乃佳。（《肘　後方》云：治女人陰脫出外，用鱉頭一枚，為四味）。

壁土散

治肛門滯出方。

故屋東壁土（一升，研）皂莢（三挺，各長一尺二寸）
上二味，先搗土為散，挹粉肛頭出處，次取皂莢炙暖更遞熨，取入則止。

又方　鱉頭　故敗麻履底（各一枚）
上二味，燒鱉頭搗為散，敷肛門滯出頭，次將履底按入，即不出矣。

又方　女萎一升，以器中燒，坐上熏之即入。

治脫肛方　蒲黃二兩，以豬脂和敷肛上，納之二三度愈。

治腸隨肛出轉廣不可入方：

生栝蔞根為粉，以豬脂為膏溫塗，隨手抑按，自得縮入。

治積冷利脫肛方：

枳實一枚石上磨令滑澤，鑽安柄，蜜塗，炙令暖熨之，冷更易，取縮入止。

又方　鐵精粉納上，按令入即愈。

治脫肛歷年不愈方：生鐵三斤，水一斗，煮取五升去鐵，以汁洗，日再。

又方　鱉頭一枚燒令煙絕，治作屑，以敷肛門上進，以手按之。

又方　炙故麻履底按令入，頻按令入，永瘥。

灸法

病寒冷脫肛出，灸臍中，隨年壯。脫肛歷年不愈，灸橫骨百壯。又灸，龜尾七壯。（龜　尾

癭瘤第七

（方十三首　証一條　灸法十首）

治石癭、氣癭、勞癭、土癭、憂癭等方：

海藻　海蛤　龍膽　通草　昆布　石（一作礬石）　松蘿（各三分）　麥曲（四分）　半夏（二
上九味，治下篩，酒服方寸匕，日三。禁食豬、魚、五辛、生菜，諸難消之物。十日知，二十日愈。

又方　小麥面（一升）　海藻（一兩）　特生　石（十兩）
上三味，以三年米醋漬小麥面，曝乾，各搗為散合和，服一方寸匕，日四五服，藥含極乃咽之。禁薑、五辛、豬、魚、生菜、大吹、大讀誦、大叫語等。

又方　昆布　松蘿　海藻（各三兩）　海蛤　桂心　通草　白蘞（各二兩）
上七味，治下篩，酒服方寸匕，日三。

又方　海藻　海蛤（各三兩）　昆布　半夏　細辛　土瓜根　松蘿（各一兩）　通草　白　蘞龍膽（各二兩）
上十味，治下篩，酒服方寸匕，日二，不得作重用方。

又方　昆布二兩，洗切如指大，醋漬含咽，汁盡愈。

又方　海藻（一斤，《短劇》作三兩）　小麥曲（一斤）
上二味，以三年醋一升，溲面未，曝乾，往反醋盡，合搗為散，酒服方寸匕，日三服。

忌努力。（崔氏云：療三十年癭瘤。）

又方　菖蒲　海蛤　白蘞　續斷　海藻　松蘿　桂心　蜀椒　倒掛草　半夏（各一兩）　神曲（三
上十二味，治下篩，以牛羊髓脂為丸如梧子，日服三丸。

五癭丸方

取鹿靨以佳酒浸令沒，炙乾納酒中，更炙令香，含咽汁，味盡更易，盡十具愈

陷腫散

治二三十年癭瘤，及骨瘤、石瘤、肉瘤、脂瘤、膿瘤、血瘤，或息肉大如杯杆升斗，十年不瘥，致有漏潰，令人骨消肉盡，或堅或軟或潰，令人驚悸，寤寐不安，身體瘈瘲縮，愈而複發方。

烏賊骨 石硫黃(各一分) 鐘乳 紫石英 白石英(各二分) 丹參(三分) 琥珀 附子 胡燕屎 大黃 乾薑(各四分)
上十一味, 治下篩, 以韋囊盛, 勿泄氣。若瘡濕即敷, 若瘡干豬脂和敷, 日三四, 以乾為度。若汁不盡, 至五劑十劑止, 藥令人不痛。若不消, 加芒硝二兩佳。

治癭瘤方：

昆布 桂心(各一兩) 逆流水柳須(一兩) 海藻 乾薑(各二兩) 羊靨(七枚, 陰乾)
上六味, 為末, 蜜丸如小彈子大, 含一丸咽津。

又方 礬石 芎 當歸 大黃 黃連 黃芩 白蘞 芍藥(各二分) 吳茱萸(一分)
上九味, 治下篩, 雞子黃和塗故細布上, 隨瘤大小濃薄貼之, 干則易, 著藥熟當作膿 脂細細從孔中出, 須探膿血盡, 著生肉膏。若膿不盡, 複起如故。

生肉膏

治癰瘤潰漏及金瘡、百瘡方。

當歸 附子 甘草 白芷 芎 (各一兩) 薤白(二兩) 生地黃(三兩)
上七味, 咀, 以豬脂三升半, 煎白芷黃去滓, 稍以敷之, 日三。

又方 狗屎、 雞子敷之, 去膿水如前方說, 敷生肉膏取瘥。(方見前二十二卷癰疽

灸法

癭惡氣, 灸天府五十壯。(《千金翼》云：又灸胸堂百壯。) 癭上氣短氣, 灸肺俞百壯。

癭勞氣, 灸沖陽, 隨年壯。

癭氣面腫, 灸通天五十壯。

癭, 灸天瞿三百壯, 橫三間寸灸之。又灸中封, 隨年壯。(在兩足趺上曲尺宛宛中。) 諸癭, 灸肩 左右相對宛宛處, 男左十八壯, 右十七壯, 女右十八壯, 左十七壯, 或再三取瘥止。又, 風池百壯, 挾項兩邊。又, 兩耳後發際一百壯。又, 頭沖(一作頸沖。)頭沖 在伸兩凡肉瘤勿治, 治則殺人, 慎之。(《肘後方》云：不得針灸。)

陰第八

(論二首 方二十五首 灸法四首)

論曰： 有四種, 有腸 、卵脹、氣 、水 。其腸 、卵脹難瘥, 氣

治丸方

蜘蛛(熬) 桃仁(各五十枚) 桂心 蒺藜子 地膚子 澤瀉 防風 五味子 橘皮 茯苓
上十六味, 為末, 蜜丸如梧子大, 服十丸, 稍加至三十丸。

灸法

陰，灸足大趾下理中十壯，隨腫邊灸之。(《肘後方》云：灸足大趾第二節下橫紋正男兒，先將兒至碓頭祝之曰：坐汝令兒某甲陰囊，故灸汝三七壯，灸訖便牽小兒令雀頭下向著囊縫，當陰頭灸縫上七壯，即消已驗，艾炷 簪頭許。大凡男，當騎碓軸以莖 伸置 論曰：有人自少至長，陰下常有干癬者，宜依癬方主之。有五勞七傷而得陰下癢濕，搔 之黃汁出者，宜用補丸散主之，仍須敷藥治之。亦有患妒精瘡者，以妒精方治之。夫妒精瘡 者

蒺藜子湯

治虛熱、石藥發熱，當露臥冷濕傷肌，熱聚在裡變成熱，及水病腫滿，腹大氣急，大小便不利，腫如皮紙盛水，晃晃如老蠶色，陰莖堅腫，為瘡水出，此皆腎熱虛損，強取風陰，濕傷脾胃故也，治之之法，內宜依方服諸利小便藥，外以此湯洗四肢竟，以蔥白膏敷之，別 以豬蹄湯洗莖上方。

蒺藜子 蔥心青皮 赤小豆(各一升) 菘菜子(二升) 蒴 (五升) 巴豆(一枚，連皮 殼
上六味， 咀，以水二斗，煮取八升，以淋洗腫處。

豬蹄湯

治服石發熱，因勞損熱盛當風露臥莖腫方。

豬蹄(一具) 蒴 (三升) 蒺藜子(一升，碎) 葶藶子(半斤) 黃柏(五兩)
上五味， 咀，以水一斗，煮取三升，冷浴陰莖，日三。

蔥白膏方

蔥白 菘菜子 葶藶子 蒴 根 蒺藜子 丹參(各半升) 豬膏(五升)
上七味， 咀，煎如煎膏法，去滓用之。

治男子陰腫大如升斗核痛，人所不能療者方：

雄黃(一兩，研) 礬石(二兩，研) 甘草(一尺，切)
上三味，以水五升，煮減半，洗腫痛處。(《集驗方》無礬石，只二味。)

治陰腫皮癢方：

熬桃仁令香為末，酒服方寸匕，日三。

有人陰冷，冷氣漸入陰囊腫滿恐死，日夜疼悶(《外台》作夜即痛悶)，不得眠方：

取生椒擇令淨，以布帛裹著丸囊，令濃半寸，須臾熱氣通，日再易，取消瘥止。

又方 搗莧菜根敷之。

又方 以釜月下土，雞子白和敷之。

又方 醋和熱灰熨之。

又方 車前子為末飲之。

又方 醋和面熨之。

又方 煮大薊根汁，服一升，日三，不過三劑愈。

治陰腫痛方：

灸大敦三壯。

治卒陰痛如刺，汗出如雨方：

小蒜 韭根 楊柳根（各一斤）
上三味，合燒，以酒灌之，及熱以氣蒸之即愈。

治陰痛方：

甘草（末） 石蜜（等分）
上二味，和乳塗之。

治妒精瘡方：

用銀釵綿裹以臘月豬脂熏黃，火上暖，以釵烙瘡上，令熱，取干槐枝燒 塗之。

又方 麝香 黃礬 青礬（等分）
上三味，為末，小便後敷上，不過三度。

治陰蝕瘡方：

蒲黃（一升） 水銀（二兩）
上二味，研成粉，小便後即敷之，瘥止。

又方 野狼牙兩把（切），以水五升，煮取一升，溫洗之，日五度。

又方 肥豬肉五斤，水三斗，煮令極爛，去肉，以湯令極熱便以漬瘡中，冷即愈。

治陰蝕生瘡或癢方：

雄黃 礬石（各二分） 麝香（半分）
上三味，為末，粉瘡上即瘥。

治陰惡瘡方：

蜜煎甘草末塗之。（葛氏云：此見有人患莖頭腫坎下瘡欲斷者，以豬肉湯漬洗之，並黃柏、黃連末塗之）。

治男女陰瘡方：

石硫黃為末，以敷瘡上。

治男女陰癢生瘡方：

嚼胡麻敷之佳。

治陰下生瘡，洗湯方：

地榆　黃柏（各半斤）
上二味，　咀，以水一斗五升，煮取六升，去滓適冷暖便洗瘡，日再。或只煮黃柏汁洗　亦佳。

備急千金要方　卷二十五　備急方

唐　孫思邈

（凡四類）

卒死第一

（方八十七首　針灸法十首）

治卒死無脈，無他形候，陰陽俱竭故也。治之方：

牽牛臨鼻上二百息，牛舐必瘥，牛不肯舐，著鹽汁塗面上，即牛肯舐。

又方　牛、馬屎絞取汁飲之。無新者，水和乾者亦得。（《肘後方》云：乾者以人尿解之，此扁鵲法）。

又方　炙熨斗熨兩脅下。（《備急方》云：又治尸厥。）針灸法：

針間使各百餘息，又灸鼻下人中，一名鬼客廳。（《肘後方》云：又治尸厥。）

治魘死不自覺者方：

慎燈火，勿令人手動，牽牛臨其上即覺。若卒不能語，取東門上雞頭為末，以酒服之。

治卒魘死方：

搗韭汁灌鼻孔中。劇者灌兩耳。（仲景云：灌口中。）

治鬼魘不悟方：

伏龍肝為末，吹鼻中。

又方　皂莢為末，如大豆許，吹鼻中，噦則氣通，起死回生。(《集驗方》云：治中惡。)

辟魘方：

雄黃如棗大，系左腋下，令人終身不魘。(女系右腋。)

又方　灸兩足大趾叢毛中各二七壯。(《肘後》云：華佗法，又救卒死中惡。)

治中惡方：

蔥心黃刺鼻孔中，血出愈。(《肘後方》云：使目中血出佳。崔云：男左女右)。

又方　大豆二七粒為末，雞子黃並酒相和，頓服。

又方　使人尿其面上可愈。(《肘後方》云：此扁鵲法)。

又方　灸胃脘五十壯愈。

治中惡並蠱毒方：

冷水和伏龍肝如雞子大。服之必吐。

又方　豬脂二升溫，頓服之。

又方　車　脂如雞子大，酒服。

治卒忤方(此病即今人所謂中惡者，與卒死、鬼擊亦相類，為治皆參取而用之)：

鹽八合，以水三升，煮取一升半，分二服，得吐即愈。(《備急方》云：治鬼擊。)若小便不通，筆頭七枚燒末，水和服之即通。

又方　犢子屎半盞，酒三升，煮服之。亦治霍亂。(《肘後方》治鬼擊。)

又方　書墨為末，水服一錢匕。

又方　臘月野狐腸燒末，以水服方寸匕。死鼠灰亦佳。

灸法：

治卒忤死，灸手十指爪下各三壯，餘治同上方。(《備急方》云：治卒死而張目反折者。

又灸人中三壯，肩井百壯，間使七壯，巨闕百壯。

還魂湯

治卒感忤鬼擊，飛尸諸奄，忽氣絕無複覺，或已死絞，口噤不開，去齒下湯，湯入口 不下者，分患人發左右捉踏肩引之，藥下複增，取盡一升，須臾立蘇方。

麻黃（三兩） 桂心（二兩） 甘草（一兩） 杏仁（七十枚）
上四味， 咀，以水八升，煮取三升，分三服。（仲景方桂不用。）

治卒中鬼擊，及刀兵所傷，血漏腹中不出，煩滿欲絕方：

雄黃粉一刀圭，酒服，日三，血化為水。

治鬼擊病方：

鬼擊之病，得之無漸，卒著人如刀刺狀，胸脅腹內絞急切痛，不可抑按，或即吐血，或口鼻血出，或下血，一名鬼排。

雞屎白（如棗大） 青花麻（一把）
上二味，以酒七升，煮取三升，熱服，須臾發汗，若不汗，熨斗盛火炙兩脅下，使熱汗出愈。

又方 艾如雞子大三枚，以水五升，煮取二升，頓服。

又方 吹醋少許鼻中。

灸法

灸人中一壯立愈，不瘥更灸。又灸臍上一寸七壯，及兩踵白肉際取瘥。又灸，臍下一寸三壯。

治五絕方（夫五絕者，一曰自縊，二曰牆壁壓迮，三曰溺水，四曰魘寐，五曰：產乳絕）。

半夏一兩，細下篩，吹一大豆許，納鼻中即活。心下溫者，一日亦可治。

治自縊死方：

凡救縊死者，極須按定其心，勿截繩，手抱起徐徐解之。心下尚溫者，以氈氍覆口鼻，令兩人吹其兩耳。

又方 強臥，以物塞兩耳，竹筒納口中，使兩人痛吹之，塞口旁無令氣得出，半日得噫，噫即勿吹也。

又方 搗皂莢、細辛末如胡豆大，吹兩鼻中。

又方 刺雞冠血出，滴著口中即活。男雌女雄。

又方 雞屎白如棗大，酒半盞，和灌口及鼻中佳。

又方 皂莢為末，以蔥葉吹入兩鼻中，逆出更吹。

又方 梁上塵如大豆許，各納一小竹筒中，四人各捉一筒，同時吹入兩耳兩鼻即活。

又方 尿鼻、口、眼、耳中、並捉頭發一撮如筆管大，掣之立活。

又方 雞血塗喉下。

又方 藍青汁灌之。

又方 灸四肢大節陷大指本紋，名曰地神，名七壯。

治熱 方：

取道上熱塵土以壅心上，少冷即易，氣通止。

又方 令 人仰臥，以熱土壅臍上，令人尿之，臍中溫即愈。

又方 可飲熱湯，亦可納少乾薑、橘皮、甘草煮飲之，稍稍咽，勿頓使飽，但以熱土 及熬灰土壅臍上佳。

又方 濃煮蔘，取汁三升飲之即愈，不瘥更灌。

又方 開死人口令通，以暖湯徐徐灌口中，小舉死人頭，令湯入腹，須臾即蘇。

又方 使人噓其心令暖，易人為之。

又方 抱狗子若雞，著心上熨之。

又方 屋上南畔瓦熱熨心，冷易之。

又方 灌地漿一盞，即愈。

又方 地黃汁一盞服之。

又方 水半升和面一大抄服之。

治落水死方：

以灶中灰布地，令濃五寸，以甑側著灰上，令死者伏於甑上，使頭小垂下，炒鹽二方寸匕，納竹管中，吹下孔中，即當吐水，水下因去甑，下死者著灰中壅身，使退場門鼻即活。

又方 掘地作坑，熬數斛灰納坑中，下死人覆灰，溫徹即易，勿令大熱爆人，灰冷即易，半日即活。

又方 取大甑傾之，死人伏其上，令死人口臨甑中，燃葦火二七把燒甑中，當死人心下，令煙出小入死人鼻口中，鼻口中水出盡則活，火盡複益之。常以手候死人身及甑，勿令甚熱，當令火氣能使死人心下，足得暖。卒無甑者，於岸側削地如甑，空下如灶，燒令暖，以死人著上。亦可用車轂為之，勿令隱其腹，令死人低頭水得出，並炒灰數斛令暖，以粉其身，濕更易。

又方 埋死人暖灰中，頭足俱沒，唯開七孔。

又方 倒懸死人，以好酒灌鼻中，又灌下部。又醋灌鼻亦得。

又方 灶中灰二石埋死人，以頭至足，出七孔即活。

又方 綿裹皂莢納下部中，須臾出水。

又方 裹鍛石納下部中，水出盡即活。

又方 倒懸解去衣，去臍中垢，極吹兩耳起乃止。

又方 熬沙覆死人，面上下有沙，但退場門、鼻、耳、沙冷濕即易。

又方 屈兩腳著生人兩肩上，死人背向生人背。即負持走行，吐出水便活。

又方 解死人衣，灸臍中。凡落水經一宿猶可活。

治冬月落水，凍四肢直，口噤，尚有微氣者方：

以大器中熬灰使暖，盛以囊敷其心上，冷即易，心暖氣通，目得轉，口乃開，可溫尿粥稍稍吞之即活。若不先溫其心，更持火炙身，冷氣與火爭即死。

治凍爛瘡方：

豬後懸蹄以夜半時燒，研細篩，以豬脂和敷，亦治小兒。

治入水手足腫痛方：

搗生胡麻敷之。

治酒醉中酒，恐爛五臟方：

以湯著槽中漬之，冷複易，夏亦用湯。

又方 搗茅根汁，飲三升。

又方 凡醉不得安臥不動，必須使人搖轉不住，特忌當風席地，及水洗飲水交接。

治飲酒頭痛方：

竹茹五兩，以水八升，煮取五升，去滓令冷，納破雞子五枚，攪勻更煮二沸，飲二升，使盡瘥。

治飲酒腹滿不消方：

煮鹽湯以竹筒灌大孔中。

治飲酒中毒方：

煮大豆三沸，飲汁三升。

又方 酒漬干椹汁服之。

治酒病方：

蔥白 豉(各二升)
上二味，以水四升，煮取二升頓服。

治飲酒房勞虛受熱，積日不食，四月中熱飲酒不已，酒入百脈，心氣虛，令人錯謬失常 方：

芍藥 人參 白薇 栝蔞根 枳實 知母(各二兩) 甘草(一兩) 生地黃(八兩) 酸 棗 仁
上十味， 咀，以水一斗，煮取三升，分三服。

治連月飲酒，咽喉爛，舌上生瘡方：

大麻仁(一升) 黃芩(二兩，《肘後》、《千金翼》方俱作黃柏。)
上二味，為末，蜜和丸含之。

治酒醉不醒方：

飲葛根汁一斗二升，取醒止。(《肘後》云：治大醉連日煩毒不堪。) 飲酒令人不醉方：

柏子仁 麻子仁(各二兩)
上二味，治下篩為一服，進酒三倍。

又方 葛花 小豆花(等分)
上二味，合為末，服三方寸匕，飲時仍進葛根汁、芹汁及枇杷葉飲，並能倍酒。

又方 九月九日菊花為末，臨飲服方寸匕。

又方 小豆花葉陰乾百日，為末服之。

又方 五月五日取井中倒生草枝陰乾，為末，酒服之。

飲酒令無酒氣方：

干蔓菁根二七枚，三遍蒸，為末，取兩錢許，酒後水服。

治惡酒健嗔方：

空井中倒生草燒灰飲之，勿令知。

又方 取其人床上塵和酒飲之。

斷酒方：

柳花 臘月鼠頭灰
上二味，等分，為末，黃昏時酒服一杯。

又方 白豬乳汁一升飲之，永不飲酒。

又方 鷙 屎燒灰，水服方寸七，永斷。

又方 螭螬干搗末，和酒與飲，永世聞酒名即嘔，神驗。

又方 刮馬汗和酒與飲，終身不飲。

又方 虎屎中骨燒末，和酒與飲。

又方 白狗乳汁酒服之。

又方 臘月馬腦和酒服之。

又方 驢駒衣燒灰，酒飲方寸七。

蛇蟲等毒第二

（論六首 方一百二十七首 灸法二首）

治因熱逐涼睡熟，有蛇入口中挽不出方：

以刀破蛇尾，納生椒二三枚，裹著，須臾即出。（《肘後方》云：艾灸蛇尾即出。若無 火，以刀周匝割蛇尾，截令皮斷，乃將皮倒脫即出。）

治蛇入口中，並七孔中者：

割母豬尾、頭瀝血，著口中即出。

又方 以患人手中指等截三歲大豬尾，以器盛血，傍蛇瀉血口中，拔出之。

治卒為蛇繞不解方：

以熱湯淋之，無湯令人尿之。

治蛇蠍螫方：

服小蒜汁，滓敷上。（《肘後方》云：治蝮蛇螫。）

又方 熟搗葵取汁服之。

治蛇嚙方：

人屎濃塗，帛裹即消。

治蛇毒方：

消蠟注瘡上，不瘥更消注之。

又方　以母豬耳中垢敷之。(《肘後方》云：牛耳中垢亦可敷之。)

治蝮蛇毒方：

以射罔塗腫上，血出即愈。

又方　生麻、楮葉合搗，以水絞去滓漬之。

又方　令婦人尿瘡上。

又方　末薑敷之，乾即易。

又方　雞屎二七枚燒作灰，投酒中服之。

又方　以面圍上，令童男尿著中，燒鐵令赤，投中，冷複燒著，二三度瘥。

又方　雄黃為末敷之，日一易。

又方　鹽四兩，水一斗，煮十沸，沸定以湯浸，冷易之。

又方　紫莧搗取汁，飲一升，以滓封瘡上，以少水灌之。

又方　梳中垢如指大長一寸，尿和敷之。

又方　取合口椒同葫荽苗等分搗敷，無不瘥。

又方　用銅青敷瘡上。

又方　搗大蒜和胡粉敷之。

又方　嚼大豆葉塗之良。

又方　豬脂和鹿角灰塗之。

又方　炙梳汗出熨之。

治諸蛇毒方：

雄黃　乾薑(各等分)
上二味，為末，和射罔著竹筒中帶行，有急用之。

入山草辟眾蛇方：

雄黃 乾薑 麝香(各等分)
上三味，搗為粗末，以小絳袋盛帶之，男左女右，蛇毒塗瘡。(《集驗方》云：如無麝香，以射罔和代之。《救急方》云：以蜜和為膏，敷螫處良。)

又方 常燒 羊角使煙出，蛇則去矣。

治蛇螫人瘡已愈，餘毒在肉中淫淫痛癢方：

大蒜 小蒜(各一升)
上二味，合搗，以熱湯淋汁，灌瘡大良。

治蛇骨刺人毒痛方：

鐵精如大豆許，納管中，吹入瘡中良。

又方 燒死鼠為末敷之。

治眾蛇螫方：

灸上三七壯，無艾以火頭稱瘡孔大小 之。

治虎咬瘡方：

濃煮葛根汁，洗十數遍，及搗為散，以葛根汁服方寸匕，日五，甚者夜二。

又方 青布急卷為繩，只一物，燒一頭燃，納竹筒中，注瘡口熏之妙。

又方 煮鐵令濃洗瘡。

又方 嚼生栗子塗之良。

辟虎法：

凡入山燒水牛、 羊角，虎、野狼、蛇皆走。

論曰：凡見一切毒螫之物，必不得起惡心向之，亦不得殺之。若輒殺之，於後必遭螫毒，治亦難瘥，慎之慎之。

治蠍毒方：

凡蠍有雌雄，雄者痛只在一處，雌者痛牽諸處。若是雄者，用井底泥塗之，溫則易。雌 者用當瓦屋溝下泥敷之。若值無雨，可用新汲水從屋上淋下取泥。

又方 取齒中殘飯敷之，又豬脂封之，又射罔封之，又 砂和水塗上立愈。

治蠍螫方：

若著手足，以冷水漬之，水微暖即易之。著餘處者，冷水漬，故布 之，少暖則易。

又方 生烏頭為末，唾和敷之。

治蜂螫毒方：

取瓦子摩其上，唾二七遍，置瓦子故處。

治蜂螫方：

豬脂 蜜（各半升） 蠟（二兩）
上三味，和煎如膏，候冷以塗之。

又方 燒蜂房為末，豬膏和塗之。（《肘後方》云：先煮蜂房洗之，又燒塗之。）

又方 酥脂塗之立愈。

又方 燒牛屎灰，以苦酒和塗之。

又方 齒垢塗之。

又方 醇醋沃地，取泥塗之。

又方 嚼鹽塗之。

又方 以人尿新者洗之。

又方 尿泥塗之。

論曰：凡蠷 蟲尿人影著處，便令人病瘡，其狀身中忽有處 痛如芒刺，亦如刺蟲所螫 後，熱，劇者連起竟腰脅胸。治之法，初得之磨犀角塗上，止其毒，治如火丹法，余以武德中六月得此疾，經五六日覺心悶不佳，以他法治不愈，又有人教畫地作蠷 形，以刀子細細盡取蠷腹中土，就中以唾和成泥塗之，再塗即愈，方知天下萬物相感，莫曉其由矣。

治蠷 尿方：

羊髭燒灰，臘月豬脂和封之。

又方 搗豉封之。

又方 醋和胡粉塗之。

治蠷 尿瘡方：

燒鹿角為末，以苦酒和敷瘡上，已有汁者，燒道旁弊蒲席敷之。

又方 槐白皮半斤切，以苦酒二升漬半日，刮去瘡處以洗，日五六遍，仍以赤小豆末 以苦酒和敷之，燥複易。小兒以水和。

又方 嚼大麥以敷之，日三。

又方 燕窠中土，以豬脂和敷之。

又方 熟嚼梨葉，以水和塗，燥複易之。

又方 馬鞭草熟搗爛以敷上，燥則易之。

又方 取吳茱萸東行根下土，醋和塗之。

治三種射工蟲毒方：

論曰：江南有射工毒蟲，一名短狐，一名蜮。其蟲形如甲蟲(《外台》云：正黑，狀如大飛生)，無目，利耳，有一長角在口前如弩，以氣為矢，因水勢以射人，人聞其在水中鉍 鉍作聲，要須得水沒其口，便以口中毒射人，此蟲畏鵝，鵝能食之，其初見証有似傷寒，先 惡寒噤，寒熱筋急，亦似中尸，便口噤不能語，朝旦小蘇，晡夕輒劇，寒熱悶亂是其証也。

如得三四日急治之，治稍遲七日死。射著人影者，不即作瘡，但惡寒噤 。自非其地之人不知其証，便謂傷寒，每多誤治，及成瘡似蠷 尿，亦似瘭疽瘡。射工中瘡有三種，其一種瘡 正黑如 子，皮周邊悉赤，或衣犯之如有芒刺痛。其一種作瘡久久穿，或晡間寒熱。其一種 如火灼 起，似此者最急，數日殺人，中人頭面，又急腰以上去人心近多死，腰以下稍緩，不治亦死

治射工中人寒熱，或發瘡在一處，有異於常者方：

取鬼臼葉一把，漬苦酒中，熟搗

又方 取生吳茱萸莖葉一握，斷去前後取中，熟搗，以水二升，煮取七合，頓服。

又方 取葫荽切貼瘡，灸七壯。

又方 取蜈蚣大者一枚，火炙治為末，苦酒和敷瘡上。

又方 取赤莧菜熟搗，絞取汁，每服一升，日四五服。

又方 取白雞屎白者三枚，湯和塗中毒處。

又方 升麻(三兩) 烏扇根 犀角(各二兩)
上三味， 咀，以水四升，煮取一升半，去滓，分再服，相去如一炊頃，盡更作。

治射工中人三種瘡方：

升麻(三兩) 烏扇根(三兩)
上二味， 咀，以水三升，煮取一升適寒溫盡服，滓敷瘡上。

治射工中人已有瘡者方：

取芥子搗爛，苦酒和，濃塗瘡上，半日痛便止。

又方 取野狼牙葉，冬取根搗令熟，敷所中處，又飲四五合汁。

五香散

治江南毒瓦斯惡核，射工中人暴腫生瘡方。

甲香 犀角 鱉甲 升麻 薰陸香 丁香 沉香 烏 青木香 川連 黃芩 羚羊 角甘草 牡蠣(各四分) 吳茱萸(三分) 黃柏(六分)
上十六味，治下篩，中射工毒及諸毒皆水服方寸匕，日二，並以水和少許洗之，仍以雞子白和塗腫上，干則易。

野葛膏

治射工惡核，卒中惡毒方。

野葛(一升) 巴豆 烏頭 川椒(各半升) 茵芋 躑躅 附子 丹砂(各一兩) 雄 黃大黃(各一兩)
上十味，治下篩，以不中水豬膏三斤，煎三上三下，去滓納丹砂、雄黃末，攪至凝，似 棗核大，摩痛上，勿近眼，凡合各膏，皆無令產婦、女人、小兒、雞犬、六畜見之，唯宜清 淨。

治沙虱毒方：

斑蝥二枚熬一枚，熬為末，服一大枚，又燒一枚燒令煙絕，為末著瘡中。

又方 大蒜十枚，合皮安熱灰中炮，令熱，去皮刀斷蒜頭，取熱著毒處。

又方 麝香 大蒜
上二味，合搗，以羊脂和著小筒中帶，欲用取敷瘡上。

又方 雄黃 朱砂 恆山(各等分)
上三味，取五月五日日中時，令童子合之，取敷瘡上。

治石蛭方(山中陰濕草木上石蛭著人，則穿嚙人肌膚，行人肉中，浸淫墳起如蟲行道 之凡行山路草木中，常以臘月豬膏和鹽塗腳脛及足趾間趺上，及著鞋襪，蛭不得著人也。

已著者，灸斷其道即愈。

治水毒方：

論曰：凡山水有毒蟲，人涉水之時，中人似射工而無物，其初得之，惡寒，微頭痛，目眶疼，心中煩懊，四肢振，腰背百節皆強，兩膝痛，或翕翕而熱，但欲眠睡，旦醒暮劇，手足逆冷至肘膝，二三日腹中生蟲，蝕人下部，肛中生瘡，不痛不癢，令人不覺。不急治，過六七日下部出膿潰，蟲上食人五臟，熱盛毒煩，下利不禁，八九日雖良醫不能治矣。其毒 有陰陽之異，覺得之，急早視其下部，若有瘡正赤如截肉者，為陽毒

最急，若瘡如鯉魚齒者，為陰毒猶小緩，要皆殺人，不過二十日也。欲知是中水與非者，當作五六升湯，以小蒜五升 切，投湯中，消息，勿令大熱，去滓以浴之。是水毒，身當發赤斑，無是者非也。

解水毒飲子：

治人急中水毒，手足指冷，或至肘膝者方。

吳茱萸（一升） 生薑（切，一升半） 犀角 升麻 橘皮（各二兩） 烏梅（十四枚）
上六味， 咀，以水七升，煮取二升，分二服。

又方 浮萍草曝乾為末，酒服方寸匕。

又方 梅葉、桃葉搗，絞取汁三升許，或干以少水絞取汁飲之。小兒不能飲，以汁敷 乳頭與之。

又方 搗蒼耳汁，服一升，又以綿裹杖沾汁導下部，日三瘥。

又方 搗蓼一把，以酒和，絞取汁一升飲之，不過三服瘥。（《外台》、《肘後》作梨 葉）

又方 搗鹽一把，水解以塗浴面目身體令遍。

又方 搗蛇莓根為末，以飲之，並導下部，生者用汁。凡夏月行，常多 此藥屑入水，以方寸匕投水上流無所畏，又辟射工。凡洗浴以少許投水盆中，即無毒。

治貓鬼野道病歌哭不自由方：

五月五日自死赤蛇燒作灰，以井花水服方寸匕，日三。

又方 臘月死貓頭燒灰，水服一錢匕，日二。

針灸方見別卷中。

治貓鬼，眼見貓狸及耳雜有所聞方：

相思子 蓖麻子 巴豆（各一枚） 朱砂末（二銖） 蠟（四銖）
上五味，合搗為丸，先取麻子許大含之，即以灰圍患人，前頭著一斗灰火，吐藥火中沸，即畫火上作十字，其貓鬼並皆除矣。

治蜘蛛咬毒方 人屎敷，又油澱敷，又炮薑貼之，又猢猻屎敷之。

又方 麻油和胡粉如泥塗上，乾則易之。

治馬嚙人及踏人作瘡毒腫熱痛方：

馬鞭稍（二寸長） 鼠屎（二七枚）
上二味，合燒為末，以豬膏和塗之立愈。（《外台方》云：治遂成瘡爛，經久不愈者。《肘後方》云：用馬鞭皮燒末，豬膏和塗）。

治馬嚙人陰卵脫出方：

推納入，以桑皮細作線縫之，破烏雞取肝，細銼以封之，且忍勿小便即愈。

治犬馬嚙，及馬骨刺傷人，及馬血入舊瘡中方：

取灰汁熱漬瘡，常令汁器有火，數易汁，勿令爛人肉，三數日漬之。有腫者，炙石熨之，日二消止。

治馬血入瘡中方：

服人糞如雞子大，複以糞敷瘡上。

又方 取婦人月水敷之神良。

治剝死馬，馬骨傷人，毒攻欲死方：

即取馬腸中屎塗之大良。

治馬汗馬毛入人瘡中，腫痛欲死方：

以水漬瘡，數易水便愈。又以鍛石敷之。

又方 飲醇酒取醉即愈。

又方 燒雞毛翎末，以酒服方寸匕。

又方 以沸湯令得所浸洗之，即瘥。

論曰：凡春末夏初，犬多發狂，必預防之。防而不免者，莫出於灸，百日之中一日不闕 者，方得免難。若初見瘡瘥痛定，即言平複者，此最可畏，大禍即至，死在旦夕。凡狂犬咬 人著訖，即令人狂，精神已別，何以得知？但看灸時，一度火下，即覺心中醒然惺惺了了。

方知咬已即狂。此病至重，世皆輕之，不以為意，坐是死者，嘗年有之。吾初學醫，未以為業。有人遭此，將已見問吾，了不知報答，是以經吾手而死者不一，自此銳意學之，一解以來，治者皆愈，方知世無良醫，枉死者半，此言非虛，故將來學人非只此法，余一方皆須沉 思留心作意，殷勤學之，乃得通曉。莫以粗解一二種法，即謂知訖，極自誤也。

凡 犬咬人，七日輒應一發，三七日不發則脫也。要過百日乃得免耳。每到七日輒當 搗韭汁飲一二升，又當終身禁食犬肉、蠶蛹，食此即發，死不可救矣。瘡未愈之間，禁食生魚及諸肥膩冷食，但於飯下蒸魚，及肥器中食便發。不宜飲酒，能過一年乃佳。(《集驗方》云：若重發者，生食蟾蜍 絕良，亦可燒炙食之，不必令其人知，初得嚙毒便為之，則於後 不發也)。

治 犬毒方：

頭發 皮(各等分)
上二味，燒灰水和飲一杯服之。口噤者，折齒納藥。

又方 搗地榆，絞取汁塗瘡，無生者可取乾者，以水煮汁飲之，亦可末服，為方寸匕，日三，兼敷上，過百日止。

又方 搗韭絞取汁，飲一升，日三，瘡愈止，亦可治愈後複發者。

又方 刮虎牙若骨，服方寸匕。(《短劇方》云：刮野狼牙或虎骨末服，已發狂如 犬 者服即愈)。

又方 燒虎骨敷瘡及熨。又微熬杏仁搗研，取汁服之良。又取燈盞殘油灌瘡口，皆禁 酒、豬魚肉、生菜。

又方 用韭根一握，故梳二枚，水二升，煮取一升，頓服。

又方 桃東南枝白皮一握，水二升，煮取一升，分二服，吐出犬子。

又方 取 犬腦敷上後，不複發。

又方 蝦蟆灰以粥飲服之。

又方 服葭菅子七枚，日一。

又方 梅子末，以酒服之。

又方 以豆醬清塗之，日三四。

治狂犬嚙人方：

蛇脯一枚，炙去頭，搗末，服五分匕，日三。又燒末納瘡孔中。

又方 搗葭菅根和鹽敷，日三。

又方 青布浸汁，服三升。

又方 取驢尿一二升飲之。

治凡犬嚙人方：

熬杏仁半升令黑，研成膏敷之。

又方 取灶中熱灰以粉瘡，帛裹系之。

又方 鼠屎為末，臘豬膏和敷之。(《外台方》云：鼠一枚，豬膏煎敷之。)

又方 飲生薑汁一升。(《短劇方》云：治狂犬咬)。韭汁亦佳。(《外台方》云：亦治 已瘥後複發者。)

又方 水洗瘡任血出，勿止之，水洗不住，取血自止，以綿裹之瘥。

又方 以沸湯和灰壅瘡上。

又方 燒犬尾為末，敷瘡，日三。

又方 以頭垢少少納瘡中。

又方 火炙蠟以灌瘡中。

又方 以熱牛屎塗之佳。

又方 以苦酒和灰塗瘡中。

灸法

凡 犬所嚙未盡其惡血毒者，灸上一百壯，已後當日灸一壯，若不血出，刺出其血，百日灸乃止。禁飲酒及豬犬肉。

治豬嚙方：

松脂煉作餅上貼之。

又方 以屋溜中泥塗。

諸般傷損第三

（論一首 方九十二首）

論曰，凡被打損，血悶搶心，氣絕不能言可擘開口，尿中令下咽即醒，又墮車落馬，及 車輾木打已死者，以死人安著，以手神掩其口鼻眼上，一食頃活，眼開與熱小便二升。

治被打擊，頭眼青腫方：

炙肥豬肉令熱，拓上。（《肘後方》云：治血聚皮膚間不消散者。）

又方 牆上朽骨，唾於石上研磨塗之。乾即易。

又方 炙豬肝貼之。

又方 新殺羊肉。乘熱封之。

又方 大豆黃為末，水和塗之。

治被打傷破，腹中有瘀血方：

蒲黃（一升） 當歸 桂心（各二兩）
上三味，治下篩，酒服方寸匕，日三夜一。

又方 劉寄奴 延胡索 骨碎補（各一兩）
上三味， 咀，以水二升，煎取七合，複納酒及小便各一合，溫熱頓服。

又方 蟲 虻蟲 水蛭(各三十枚) 桃仁(五十枚) 桂心(二兩) 大黃(五兩)
上六味， 咀，以酒水各五升，煮取三升，分五服。

又方 生地黃汁三升，酒一升半，煮取二升七合，分三服。(《肘後方》治從高墮下，瘀血脹心，面青短氣欲死。)

又方 莨菪子為末敷瘡上。

白馬蹄散

治被打腹中瘀血，並治婦人瘀血，化血為水方。

白馬蹄燒令煙盡，搗篩，酒服方寸匕，日三夜一。

治被毆擊損傷聚血，腹滿煩惱悶方：

豉一升，以水三升，煮三沸，分再服，不瘥重作。更取麻子煮如豉法，不瘥，更煮豉如上法。

治有瘀血，其人喜忘，不欲聞人聲，胸中氣塞短氣方：

甘草(一兩) 茯苓(二兩) 杏仁(五十枚)
上三味 咀以水二升，煮取九合，分二服。

治從高墮下，傷折疾痛，煩躁啼叫不臥方：

取鼠屎燒末，以豬膏和塗痛止，急裹之。

治從高墮下，及為木石所迮，或因落馬，凡傷損血瘀凝積，氣絕欲死，無不治之方：

取淨土五升蒸令溜，分半，以故布數重裹之，以熨病上勿令大熱，恐破肉，冷則易之，取痛止即已。凡有損傷，皆以此法治之神效。已死不能言者，亦治。

治墮車馬間，馬鞍及諸物隱體肉斷方：

以酢和曲塗之。

當歸散

治落馬墮車，諸傷腕折臂腳痛不止方。

當歸 桂心 蜀椒 附子(各二分) 澤蘭(一分) 芎 (六分) 甘草(五分)
上七味，並熬令香。治下篩，酒服方寸匕，日三。凡是傷損皆服之，十日愈，小兒亦同。(《救急方》云：治墮馬落車被打傷，腕折叫喚痛聲不絕，服此散呼吸之間不複大痛，十三日骨筋相連。)

黃散

治腕折方。

黃　白芍(各三兩)　當歸　乾地黃　附子　續斷　桂心　乾薑　通草(各二兩)　大黃(一上十二味治下篩，先食酒服五分匕，日三。(《千金翼》無大黃)。

治折骨斷筋方：

乾地黃　當歸　羌活　苦參(各等分)
上四味，治下篩，酒服方寸匕，日三。

治腕折骨損，痛不可忍方：

以大麻根及葉搗汁，飲一升。無生麻，煮乾麻汁服，亦主墜墮撾打瘀血，心腹滿短氣。

治被傷筋絕方：取蟹頭中腦及足中髓熬之，納瘡中筋即續生。

治腕折四肢骨碎，及筋傷蹉跌方：

生地不限多少熟搗，用敷所損傷處。(《肘後方》云：《短劇方》爛搗熬之，以裹傷處，以

治四肢骨碎筋傷蹉跌方：

以水二升，漬豉三升，取汁服之。

鹿角散

治同前。

鹿角搗篩，洒服方寸匕，日三。

又方　筋骨傷初破時，以熱馬屎敷之無瘢。

又方　大豆二升，水五升，煮取二升，以醇酒六七升合和豆汁服之，一日盡，如湯沃　雪。(《肘後方》云：治墮迮瘀血，無大豆，用小豆亦佳。)

又方　羊腦(一兩)　髮灰　胡粉　胡桃脂(各半兩)
上四味，搗和調如膏敷上，以生布裹之。

治頭破腦出，中風口噤方：

大豆一升熬去腥，勿使太熟，搗末，熟蒸氣遍合甑下盆中，以酒一斗淋之，溫服一升，覆取汗，敷杏仁膏瘡上。

黑大豆淋酒，即大豆紫湯法。

大豆紫湯

治被傷風入四體，角弓反張，口噤不能言，或產婦墮胎，凡得此者，大重不過五劑。（方 見第三卷婦人產後中風門。）

膠艾湯

治丈夫從高墮下傷五臟，微者唾血，甚者吐血，及金瘡傷經崩中皆主之方。

阿膠 艾葉 乾薑（各二兩）芍藥（三兩）
上四味， 咀，以水八升，煮取三升，去滓納膠令烊，分二服，羸人分三服。兼主女人產後崩傷下血過多，虛喘腹中絞痛。下血不止者，服之悉愈。

大膠艾湯

治男子傷絕，或從高墮下傷五臟，微者唾血，甚者吐血及金瘡傷經者方。

阿膠 艾葉 甘草 當歸 芎（各二兩）乾薑（一兩） 芍藥 地黃（各三兩）
上八味， 咀，以水八升，煮取三升，去滓納膠令烊，分再服，羸人分三服，此湯治婦 人產後崩傷下血過多，虛喘欲死，腹中急痛，下血不止者神良。

竹皮湯

治為兵杖所加，木石所迮，血在胸背及脅中，痛不得氣息方。

青竹茹 亂髮灰（各如雞子大，二枚）
上二味，於炭火上炙令焦燥，合搗下篩，酒一升，煮三沸，一服盡之，三服愈。

治墮馬落車，顛仆崩血，腹滿短氣方：

大豆五升，以水一斗，煮取二升，去豆，一服令盡，劇者不過三作。

治墮落車馬間，心腹積血，吐唾無數方：

干藕根為末，以酒服方寸匕，日三。如無，取新藕搗汁服之。

桃仁湯

治從高墮下，落大木車馬間，胸腹中有血，不得氣息方。

桃仁（十四枚） 大棗（二十枚） 大黃 硝石 甘草（各一兩） 蒲黃（一兩半）
上六味， 咀，以水三升，煮取一升，絞去滓，適寒溫服盡之，當下，下不止，漬麻 汁一杯，飲之即止。

又方 治腹中瘀血，痛在腹中不出，滿痛短氣，大小便不通方。

桃仁 蟲(各三十枚) 荊芥(五分) 大黃 芎 (各三兩) 當歸 桂心 甘草 (各二兩) 蒲黃(五兩)
上九味 咀, 以水一斗, 煮取三升, 分三服。

又方 治墮落瘀血方。

桃仁(五十枚) 水蛭 虻蟲(各二十枚) 甘草 桂心 當歸(各二兩) 芒硝(三兩) 大黃(
上八味, 咀, 以水八升, 煮取三升, 絞去滓, 適寒溫, 服一升, 日三。(深師方無芒 硝。)

治腕折瘀血方：

桃仁(四十枚) 亂髮(一握) 大黃(如指節大一枚)
上三味, 以布方廣四寸, 以繞亂髮燒之, 咀桃仁、大黃, 以酒三升, 煮取一升, 頓服, 血盡出。
(《肘後方》云：仲景治墜馬及一切筋骨損方, 用大黃三兩, 緋帛如手大燒灰, 亂 發如雞子大燒灰, 久用炊單布一尺燒灰, 桃仁四十九枚, 去皮尖熬, 敗蒲席一握, 長三寸切, 甘草一枚如中指節, 上七味, 以童子小便量多少煎湯, 成納酒一大盞, 次下大黃, 去滓分溫 三服, 先別銼敗蒲席半領煎湯以浴, 衣被重覆, 服藥斯須通利數行, 痛楚立瘥。利及浴水赤勿怪, 即瘀血也。)

又方 桃仁(六十枚) 大黃(六兩) 桂心(二兩)
上三味, 咀, 以酒六升, 煮取三升, 分三服, 當下血瘥。

蒲黃散

治從高墮下, 有瘀血方。

蒲黃(八兩) 附子(一兩)
上二味, 為末, 酒服方寸匕, 日三, 不知增之, 以意消息。

又方 治腕折瘀血方。

蒲黃(一升) 當歸(二兩)
上二味, 治下篩, 先食酒服方寸匕, 日三。

又方 虻蟲(二十枚) 牡丹(一兩)
上二味, 治下篩, 酒服方寸匕, 血化為水。(《備急方》云：主久宿血在諸骨節及外不去者又方 取 草汁飲之, 子亦可服。

又方 凡被打及產後惡血, 一切血皆煮續骨木汁二升飲之。

從高墮下崩中方：

當歸 大黃(各二分)
上二味, 治下篩, 酒服方寸匕, 日三。

治杖瘡方：

鍛石(七斤) 新豬血(一升)
上二味, 和丸, 熟燒之破, 更丸, 燒三遍止, 為末敷上。

又方 釜月下土為細末, 以油和塗訖, 臥羊皮上。

又方 服小便良。

治竹木刺在皮中不出方：

羊屎燥者燒作灰, 和豬脂塗刺上, 若不出重塗, 乃言不覺刺出時(一云用干羊屎末。

又方 薔薇灰水服方寸七, 日三, 服十日刺出。

又方 酸棗核燒末服之。

又方 鑿柄燒灰酒服, 二寸七。

又方 頭垢塗之即出。

治刺在肉中不出方：煮山瞿麥汁飲之, 日三瘥止。

又方 用牛膝根莖生者並搗, 以敷之即出。瘡已合, 猶出也。

又方 白茅根燒末, 以膏和塗之, 亦治瘡因風致腫者。

又方 鹿角燒末, 以水和塗之立出, 久者不過一夕。

又方 噉白梅以塗之。(《肘後方》用烏梅。)

又方 噉豉塗之。

又方 溫小便漬之。

治久刺不出方：

服王不留行即出, 兼取根為末貼之。

治惡刺方：

苦瓠開口, 納小兒尿, 煮兩三沸浸病上。

又方 茛菪根水煮浸之, 冷複易, 神方也。

又方 李葉、棗葉合搗, 絞取汁點上即效。

又方 濃煮大豆汁漬, 取瘥。

治惡刺，並狐尿刺方：

以烏父驢尿漬之。

又方 溫白馬尿漬之。

治因瘡腫痛劇者，數日死或中風寒，或中水，或中狐尿刺主之方：

燒黍穰，牛馬屎，生桑條，取得多煙之物燒熏，汁出愈。

又方 熱蠟納瘡中，新瘡亦善。

又方 以鳧公英草摘取根莖白汁塗之，多塗為佳，瘥止。

治瘡中水腫方：

胡粉 炭 白灰（各等分）
上二味，脂和塗瘡孔上，水出痛止。

治手足卒中刺，中水毒方：

搗韭及藍青置上以火炙，熱徹即愈。

治瘡因風致腫方：

櫟木根皮一斤濃煮，納鹽一把漬之。

治破傷風腫方：

濃塗杏仁膏，燃麻燭遙灸之。

治因瘡腫痛者，皆中水及中風寒所作腫，入腹則殺人方：

溫桑灰汁漬，冷複溫之，當令熱，神秘。

治刺傷中風水方：

服黑牛熱尿，一服二升，三服即止。

又方 蠟一兩熱炙熨，薄裹上，令水出愈。

又方 魚目燒灰敷之。

又方 熱煮韭拓之。

又方 刮箭羽下漆塗之。

治瘡犯露腫方(凡八月九月中刺，手足犯惡露腫，殺人不可輕)：

生桑枝三枚，納 灰中推引令極熱，斫斷，正以枝頭著瘡口上，熱盡即易之，盡三枚 則瘡自爛，仍取薤白搗，綿裹著熱灰中，使極熱，去綿取薤白敷瘡上，以布帛急裹之，若有腫者，便取之，用薤白最佳。

治漆瘡方：

生柳葉三斤細切，以水一斗五升，煮取七升，適寒溫洗之，日三。(《肘後方》云：老 柳

又方 以磨石下滓泥塗之，取瘥止，大驗。

又方 濃煮鼠查葉以洗瘡上，亦可搗葉取汁塗之。

又方 爛搗七姑草封之。(《救急方》用七姑草和芒硝塗之)。

又方 取豬膏塗之。

又方 貫眾為末以塗上，干以油和之即愈。

又方 蓮葉燥者一斤，以水一斗，煮取五升，洗瘡上，日二。

又方 羊乳汁塗之。

又方 礬石著湯中令消，洗之。

又方 芒硝五兩湯浸以洗之。

又方 宜啖豬肉嚼 谷塗之。

火瘡等証第四

(論二首 方六十九首)

論曰：凡火燒損，慎勿以冷水洗之，火瘡得冷，熱氣更深轉入骨，壞人筋骨難瘥。初被火燒，急向火更炙，雖大痛強忍之。一食久即不痛，神驗。治火燒悶絕不識人，以新尿冷凍飲料之，及冷水和蜜飲之，口噤撬開與之，然後以下方治之。

治火瘡方：

梔子(四十枚) 白蘞 黃芩(各五兩)
上三味， 咀，以水五升，油一升合煎，令水氣歇，去滓待冷，以淋之，令溜去火熱毒，則肌得寬也。作二日，任意用膏敷，湯散治之。

又方 熬油麻為末，和梔子仁塗之，唯濃為佳，若已成瘡者，燒白糖灰粉之，即燥立瘥。

治火燒瘡方：

死鼠頭一枚，以臘月豬膏煎，令消盡，以敷，乾即敷之瘥，亦治小兒火瘡。

治火瘡敗壞方：

柏白皮切，以臘月豬膏合淹相得，煮四五沸，色變去滓，敷瘡上。(《肘後方》云：用桃

又方　柏白皮　蛇銜　生地黃　梔子仁　黃芩　苦竹葉(各一分)
上六味，　咀，以羊髓一斤半煎三上三下，去滓，冷以敷之。(《藥驗方》用生地黃四兩)

又方　以榆白皮嚼熟塗之。

治湯沃人肉爛壞方：

杏仁　附子(各二兩)　甘草(一兩)　羊脂(五兩)　松脂(雞子大)
上五味，　咀，以不中水豬膏五兩煎，塗之。

灸瘡

灸及湯火所損，晝夜啼呼，止痛滅瘢方：

羊脂　松脂(各二分)　豬膏　蠟(各一分)
上四味，取松脂破銚中，切脂嚼蠟著松明上，少傾微火令滓皆消，以杯承汁敷之。

治灸瘡方：

甘草　當歸(各一兩)　胡麻(《外台》用胡粉)　羊脂(各六分)
上四味，　咀，以豬膏五合煎，去滓敷之。

又方　松脂(五兩)　蠟(三兩)
上二味，合煎塗紙貼之，日三。

又方　取車　脂塗上。

又方　凡灸瘡不瘥，日別灸上六七壯自瘥。

治灸瘡腫痛急方：

搗灶下黃土，以水和煮令熱漬之。

治灸瘡中風冷腫痛方：

但向火炙之，瘡得熱則瘡快至痛止，日六七，炙愈。

薤白膏

治灸瘡生肉止痛方。

薤白 當歸(各二&兩) 白芷(一兩) 羊髓(一斤)
上四味, 咀合煎, 以白芷色黃藥成, 去滓敷之, 日三。

又方 治灸瘡膿壞不瘥方。

薤白(一握) 胡粉 鍛石(各一兩) 臘月豬膏(一升)
上四味, 先煎薤白令黃去之, 綿裹鍛石煎數沸去之, 次入胡粉納膏中, 令調塗故布貼上, 日三。

又方 鍛石一兩, 搗篩, 豬脂和令相得, 微火煎數沸, 以暖湯先洗瘡訖, 以布裹灰熨瘡 上, 三過, 便以藥貼瘡上, 灸之, 又搗薤敷之。

又方 白蜜(一兩) 烏賊骨(二枚, 一方作一兩)
上二味, 相和塗之。

治針灸瘡血出不止方:

燒人屎灰敷之。

又方 死蜣螂為末, 以豬膏和塗之。

金瘡

論曰:治金瘡者, 無大小冬夏。及始初傷血出。便以右灰濃敷裹之, 即止痛, 又速愈, 若瘡甚深, 未宜速合者。納少滑石, 令瘡不時合也。凡金瘡出血, 其人必渴, 當忍之, 啖燥 食並肥膩之物以止渴, 慎勿咸食, 若多飲粥及漿, 犯即血動溢出殺人。又忌嗔怒、大言笑、思想、陰陽行動、作勞、多食酸鹹, 飲酒熱羹、 輩, 瘡瘥後猶爾, 出百日半年乃可複常也。

治金瘡大散方:

五月五日平旦, 使四人出四方, 各於五裡內采一方草木莖葉, 每種各半把, 勿令漏脫一事。日正午時細切, 碓搗並鍛石極爛熟, 一石草斷一斗鍛石, 先鑿大實中桑樹令可受藥, 取藥納孔中, 實築令堅, 仍以桑樹皮蔽之, 以麻搗鍛石極密泥之, 令不泄氣。又以桑皮纏之使牢, 至九月九日午時取出, 陰乾, 百日藥成搗之, 日曝令乾, 更搗, 絹篩貯之。凡一切金瘡 傷折出血, 登時以藥封裹治使牢, 勿令動轉, 不過十日即瘥, 不腫不膿, 不畏風。若傷後數日始得藥, 須暖水洗令血出, 然後敷之, 此藥大驗。平生無事宜多合, 以備倉卒, 金瘡之要 無出於此, 雖突厥質雄黃末未能及之。(《肘後方》云:用百草心, 五月五日作, 七月七日出。)

又方 燒干梅為炭, 搗末, 敷之一宿即瘥, 亦治打傷。

又方 磁石搗末敷之, 止痛斷血。

又方 取桑白汁塗, 桑白皮裹之, 或鍛石封之妙。

又方 麻葉三斤, 以水三升熟煮, 取二升為一服。

又方 飲麻子汁數升。(《短劇方》云:治毒箭所傷。)

又方　蚯蚓屎以水服方寸七，日三。

又方　杏仁、鍛石為細末，以豬脂和封之。（亦主犬、馬、金瘡大良。）

治金瘡血出不止方：

煮桑根十沸，服一升即止。

又方　搗車前汁敷之，血即絕，連根取用亦效。

又方　柳絮封之。

又方　以蜘蛛幕貼之，血即止。

又方　飲人尿五升愈。

內補散

治金瘡出血多，虛竭方。

蓯蓉　芍藥　甘草（各四兩）蜀椒（三兩）乾薑（三兩）當歸　芎　桂心　黃芩吳茱
上十四味，治下篩，酒服方寸七，日三。

又方　當歸（三兩）乾薑（三分）芍藥　辛夷（各五分）甘草（二分）
上五味，治下篩，酒服方寸七，日三，夜一。

治金瘡內漏血不出方：

牡丹皮為末，水服三指撮，立尿出血。

治金瘡內漏方：

還自取瘡中血著杯中，水和服之愈。

又方　蒲黃（二兩）七月七日麻勃（一兩）
上二味，為末，酒服一錢匕，日三夜二。

二物湯

治金瘡腹中瘀血方。

大麻子（三升）大蔥白（二十枚）
上使數人各搗令熟，著水九升，煮取一升半，頓服，若血出不盡，腹中有膿血，更合服，當吐膿血。

內塞散

治金瘡方。

黃耆 當歸 芎 白芷 乾薑 黃芩 芍藥 續斷(各二兩) 附子(半兩) 細辛 (一兩) 鹿茸(三兩)
上十一味, 治下篩, 先食酒服五分匕, 日三, 稍增至方寸匕。

治金瘡煩滿方：

赤小豆一升, 以苦酒漬之。熬令燥, 複漬, 滿三日, 令色黑, 服方寸匕, 日三。

治金瘡苦痛方：

楊木白皮熬令燥, 為末, 服方寸匕, 日三, 又以敷瘡愈。

治金瘡苦刺痛不可忍, 百治不瘥者方：

蔥一把以水三升, 煮數沸, 取漬洗止痛良。

治金瘡煩痛, 大便不利方：

大黃 黃芩
上二味, 為末, 蜜和為丸, 如梧子大, 先食服十丸, 日三。

續斷散

治金瘡中筋骨方。

續斷(五兩) 細辛 蛇銜 地榆 乾地黃(各四兩) 當歸 芍藥 芎 蒺蓉(各三兩) 人參 甘草 附子(各二兩) 乾薑 蜀椒 桂心(各一兩半)
上十五味, 治下篩, 酒服一方寸匕, 日三。

治金瘡腸出方：

磁石 滑石 鐵精(各三兩)
上三味, 為末, 粉腸上, 後用磁石末, 飲服方寸匕, 日五夜二, 腸即入。

又方 取人屎干為末, 粉腸即入。

治被傷腸出不斷者方(《肘後方》云：治腸出欲燥, 而草土著腸者)：

作大麥粥取汁洗腸推納之, 常研米粥飲之, 二十日稍稍作強糜, 百日後可瘥。

地黃膏

治金瘡、火瘡、灸瘡不能瘥者方。

生地(一升切，搗絞取汁三合)。 薰陸香 松脂 杏仁 蠟(各二兩) 羊腎脂(五合) 烏
上八味，先下蠟，微火令消，次納羊脂令消，次下油，次下松脂，次下杏仁，次下薰陸，次下生地汁，次下石鹽，以微火煎，令生地汁水氣盡，以綿濾停凝，一切諸瘡初傷皆用敷 之，日三夜二，慎生冷、豬、雞、魚肉。此膏治瘡法，先除惡肉不著痂，先從內瘥，乃至平 複無痂，不畏風，不膿，大妙。

治金瘡血出不止方：

蒲黃(一斤) 當歸(二兩)
上二味，治下篩，酒服方寸匕，日二。

又方 取蔥葉炙取汁，塗瘡上即止。若為婦人所驚者，取婦人中衣火炙令熱，以熨瘡

又方 取豉三升熱湯漬，食頃絞去滓，納蒲黃三合，頓服，及作大豆紫湯服之。(方見 第二卷婦人門)。

治金瘡箭在肉中不出方：

白薇 半夏(等分)
上二味，治下篩，酒服方寸匕，日三。瘡淺十日出，瘡深二十日出，終不住肉中。

治箭鏃及諸刀刃在咽喉胸膈，諸隱處不出者方：

丹皮(一分) 白鹽(二分，《肘後》作白薇)
上二味，治下篩，以酒服方寸匕，日三服出。

治卒中箭不出，或肉中有聚血方：

取女人月經布燒灰屑，酒服之。

又方 取栝蔞汁塗瘡上即出。

又方 酒服瞿麥末方寸匕，日三，瘥。

又方 煎地黃汁作丸服之，百日箭出。

又方 多飲葛根汁，並治一切金瘡。

又方 搗葛根汁飲之。又葛白屑熬黃，敷瘡止血。

又方 煮蘆根汁，飲三升。

又方 貝齒末服一錢匕。

又方 雄黃為末敷之，當沸汁出愈。

又方 納鹽臍中灸之。

治中射罔箭方：

藍子(五合) 升麻(八兩) 王不留行 甘草(各四兩)
上四味，治下篩，冷水服二方寸匕，日三夜二。又以水和塗瘡，干易之。

治毒箭所中方：

搗藍汁一升飲之，並敷瘡上。若無藍，取青布漬絞汁飲之，並淋瘡中，鏃不出，搗死鼠肝塗之。

治針折入肉中方：

刮象牙為末，水和，聚著折針上即出。

又方 以鼠腦塗之。

又方 磁石吸鐵者，著上即出。

備急千金要方 卷二十六 食治方

唐 孫思邈

(凡五類)

序論第一

仲景曰：人體平和，唯須好將養，勿妄服藥。藥勢偏有所助，令人臟氣不平，易受外患。夫含氣之類，未有不資食以存生，而不知食之有成敗，百姓日用而不知，水火至近而難識，余。《河東衛汎記》曰：扁鵲云；人之所依者，形也。亂於和氣者，病也。理於煩毒者，藥也。濟命撫危者，醫也。安身之本，必資於食。救疾之速，必憑於藥。不知食宜者，不足以存生也。不明藥忌者，不能以除病也。是故食能排邪而安臟腑，悅神爽志以資血氣。若能用食平 釋情遣疾者，可謂良工。長年餌老之奇法，極養生之術也。夫為醫者，當須先洞曉病源，知其所犯，以食治之。食療不愈，然後命藥。藥性剛烈，猶若御兵。兵之猛暴，豈容妄發，發用乖宜，損傷處眾。藥之投疾，殃濫亦然。高平王熙稱：食不欲雜，雜則或有所犯，有所犯者，或有所傷，或當時雖無災苦，積久為人作患。又食啖 肴，務令簡少。魚肉果實取益人者，而食之。凡常飲食，每令節儉。若貪味多餐，臨盤大飽，食訖覺腹中膨脹短氣，或至暴疾，仍為霍亂。又夏至以後迄至秋分，必須慎肥膩餅酥油之屬，此物與酒漿、瓜果理極相妨。夫在身所以多疾者，皆因春夏取冷太過，飲食不節故也。又魚 諸腥冷之物，多損於人，斷之益善。乳酪酥等常食之，令人有筋力膽干，肌體潤澤。卒多食之，亦令臚脹泄利，漸漸自已。

黃帝曰：五味入於口，各有所走，各有所病。酸走筋，多食酸令人癃，不知何以然？少俞曰：酸入胃也，其氣澀以收也。上走兩焦，兩焦之氣澀，不能出入，不出即流於胃中，胃中和溫，即下注膀胱，膀胱走胞，胞薄以軟，得酸則縮卷，約而不通，水道不利，故癃也。

陰者積(一鹹走血，多食鹹令人渴，何也？答曰：鹹入胃也，其氣走中焦，注於諸脈。脈者血之所走也，與鹹相得即血凝，凝則胃中汁泣，汁泣則胃中乾渴。(《甲乙》云：凝則胃中汁注之，注之則胃中竭。)渴則咽路焦，焦故舌乾喜渴。血脈者中焦之道也。故鹹入胃走於血。(皇甫士安云：腎合三焦之脈，雖屬肝心，而為中焦之道，故鹹入而走血也。) 辛走氣，多食辛令人慍心，何也？答曰：辛入胃也。其氣走於上焦，上焦者受使諸氣，而榮諸陽者也。薑韭之氣熏至榮衛，不時受之，卻溜於心下，故慍慍痛也。辛味與氣俱行，故辛入胃而走氣，與氣俱出，故氣盛也。

苦走骨，多食苦令人變嘔，何也？答曰：苦入胃也，其氣燥而涌泄，五穀之氣皆不勝苦。苦入下脘，下脘者三焦之道，皆閉則不通，不通故氣變嘔也。齒者骨之所終也，故苦入胃 而走骨，入而複出。齒必黧疏。(皇甫士安云：水火相濟，故骨氣通於心。) 甘走肉，多食甘令人惡心，何也？答曰：甘入胃也，甘氣弱劣，不能上進於上焦，而與谷俱留於胃中，甘入則柔緩，柔緩則蛔動，蛔動則令人惡心。甘氣外通於肉，故甘走肉，則肉多粟起而胝。(皇甫士安云：其氣外通於皮，故曰甘入走皮矣。皮者肉之蓋，皮雖屬肺，與肉連體，故甘潤肌肉並於皮也。) 黃帝問曰：谷之五味所主，可得聞乎？伯高對曰：夫食風者則有靈而輕舉，食氣者則和 靜而延壽，食穀者則有智而勞神，食草者則愚痴而多力，食肉者則勇猛而多嗔。是以肝木青色宜酸，心火赤色宜苦，脾土黃色宜甘，肺金白色宜辛，腎水黑色宜鹹。內為五臟，外主五行，色配五方。

五臟所合法：肝合筋，其榮爪。心合脈，其榮色。脾合肉，其榮唇。肺合皮，其榮毛。腎合骨，其榮發。

五臟不可食忌法：多食酸則皮槁而毛夭，多食苦則筋縮而爪枯，多食甘則骨痛也發落，多食辛則肉胝而唇寒，多食鹹則脈凝泣而色變。

五臟所宜食法：肝病則食麻、犬肉、李、韭。心病宜食麥、羊肉、杏、薤。脾病宜食稗米、問》云：肝色青宜食甘，粳米，牛肉、棗、葵皆甘。心色赤宜食酸，小豆，犬肉、李、韭皆酸。肺色白宜食苦，麥、羊肉、杏、薤皆苦。脾色黃宜食鹹，大豆、豕肉、栗、藿皆鹹。

腎色黑宜食辛，黃黍、雞肉、桃、葱皆辛。) 五味動病法：酸走筋，筋病勿多食酸。苦走骨，骨病勿多食苦。甘走肉，肉病勿多食甘。辛走氣，氣病勿多食辛。鹹走血，血病勿多食鹹。

五味所配方：

米飯甘(《素問》云：粳米甘) 麻酸(《素問》云：小豆酸) 大豆鹹 麥苦 桃辛 棗 甘李酸 栗鹹 杏苦 黃黍辛 葵甘 韭酸 藿鹹 薤苦 葱辛 牛甘 犬酸 豕鹹 羊 苦雞辛。

五臟病五味對治法：肝苦急，急食甘以緩之。肝欲散，急食辛以散之，用酸瀉之，禁當 風。心苦緩，急食酸以收之。心欲軟，急食鹹以軟之，用甘瀉之，禁溫食、濃衣。脾苦濕，急食苦以燥之。脾欲緩，急食甘以緩之，用苦瀉之，禁溫食飽食，濕地濡衣。肺苦氣上逆息 者，急食苦以瀉之。肺欲收，急食酸以收之，用辛瀉之，禁無寒飲食、寒衣。腎苦燥，急食辛以潤之，開腠理，潤致津液通氣也。腎欲堅，急食苦以結之，用鹹瀉之，無犯 □，無熱衣、溫食。是以毒藥攻邪，五穀為養，五肉為益，五果為助，五菜為充。精以食氣，氣養精以榮色。形以食味，味養形以生力。此之謂也。神藏有五，五五二十五種。形藏有四方、四時、四季、四肢。共為五九四十五，以此輔神，可長生、久視也。精順五氣以為靈也，若食氣相惡，則傷精也。形受味以成也，若食味不調，則損形也。是以聖人先用食禁以存性，後製藥以防命也。故形不足者溫之以氣，精不足者補之以味，氣味溫補以存形精。岐伯曰：

陽為氣，陰為味，味歸形，形歸氣，氣歸精，精歸化，精食氣，形食味，化生精，氣生形。

味傷形，氣傷精。精化為氣，氣傷於味。陰味出下竅，陽氣出上竅。味濃者為陰，味薄者為陰之陽。氣濃者為陽，氣薄者為陽之陰。味濃則泄，薄則通流。氣薄則發泄，濃則閉塞。壯火之氣衰，少火之氣壯。壯火食氣，氣食少火。壯火散氣，少火生氣。味辛甘發散為陽，酸苦涌泄為陰。陰勝則陽病，陽盛則陰病。陰陽調和，則平安。春七十二日省酸增甘以養脾氣，夏七十二日省苦增辛以養肺氣，秋七十二日省辛增酸以養肝氣，冬七十二日省鹹增苦以養心氣，季月各十八日省甘增鹹以養腎氣。

果實第二

檳榔，味辛溫澀無毒，消穀逐水，除淡，殺三蟲，去伏尸，治寸白。

豆蔻，味辛溫澀無毒，溫中，主心腹痛，止吐嘔，去口氣臭。

蒲桃，味甘辛平無毒，主筋骨濕痺，益氣倍力強志，令人肥健。作酒常飲益人，逐水利小便。

覆盆子，味甘辛平無毒，益氣輕身，令發不白。

大棗，味甘辛熱滑無毒，主心腹邪氣，安中養脾氣，助十二經，平胃氣，通九竅，和百藥，補中益氣，強志，治腸 。生棗：多食令人熱渴，氣脹。苦寒熱羸瘦者，彌不可食，傷人。

藕實，味甘苦寒無毒，食之令人心歡，止渴去熱，補中養神，益氣力，除百病。生根寒，止熱渴，破留血。

雞頭實，味甘平無毒，主濕痺腰脊膝痛，補中，除暴疾，益精氣，強志意，耳目聰明。

芰實，味甘辛平無毒，安中，補五臟，不飢輕身。

栗子，味鹹溫無毒，益氣，濃腸胃，補腎氣。生食之良，治腰腳不遂。

櫻桃，味甘平澀，調中益氣，令人好顏色，美志意。

橘柚，味辛溫無毒，主胸中瘕熱逆氣，利水穀，下氣，止嘔咳，除膀胱留熱停水，破五淋，利小便，治脾不能消穀，卻胸中吐逆霍亂，止瀉利，去寸白，久服去口臭。一名橘皮，陳久者良。

梅實。味酸平澀無毒，下氣除熱煩滿，安心，去青黑痣惡疾。止下利好唾口乾，利筋脈，多食壞人齒。

柿，味甘寒澀無毒，通鼻耳氣，主火瘡、金瘡，止痛。

木瓜實，味酸鹹溫澀無毒，主濕痺氣，霍亂大吐下後腳轉筋不止。

榧實，味甘平澀無毒，主五痔，去三蟲，殺蠱毒鬼疰惡毒。

甘蔗，味甘平澀無毒，下氣和中，補脾氣，利大腸，止渴去煩，解酒毒。

軟棗，味苦冷澀無毒，多食動宿病，益冷氣，發咳嗽。

芋，味辛平滑無毒，寬腸胃，充肌膚，滑中。

杏仁，味甘苦溫冷而利有毒，主咳逆上氣，腸中雷鳴，喉痺下氣，產乳金瘡，寒心奔豚，驚癎，心下煩熱，風氣去來，時行頭痛，解肌，消心下急，殺狗毒。其一核兩仁者害人，去之。扁鵲云：杏仁不可久服，令人目盲，眉發落，動一切宿病。

桃仁，味苦甘辛平無毒，破瘀血、血閉瘕邪氣，殺小蟲，治咳逆上氣，消心下硬，除卒 暴聲血，破 瘕，通月水，止心痛。

李仁 味苦平無毒，主僵仆蹠瘀血骨痛。實：味苦酸微溫澀無毒，除固熱，調中，宜心，不可梨，味甘微酸寒澀有毒，除客熱氣，止心煩，不可多食，令人寒中金瘡，產婦勿食，令人萎困寒中。

林檎，味酸苦平澀無毒，止渴好唾，不可多食，令人百脈弱。

柰子，味酸苦寒澀無毒，耐飢，益心氣，不可多食，令人臚脹，久病患食之，其病尤甚 安石榴，味甘酸澀無毒，止咽燥渴，不可多食，損人肺。

枇杷葉，味苦平無毒，主 不止，下氣。

胡桃，味甘冷滑無毒，不可多食，動痰飲。令人惡心，吐水吐食。

菜蔬第三

枸杞葉，味苦平澀無毒，補虛羸，益精髓。

瓜子，味甘平寒無毒，令人光澤好顏色，益氣，除胸滿。一名白瓜子，即冬瓜子也。白 冬瓜，味甘微寒無毒，除小腹水脹，利小便，止消渴。

越瓜，味甘平無毒，不可久食，益腸胃。

胡瓜，味甘寒有毒，不可多食，動寒熱，多瘧病，積瘀血熱。

凡瓜，味甘寒滑無毒，去渴，多食令陰下癢濕生瘡，發黃膽，黃帝云：九月勿食被霜瓜，向冬發寒熱及溫病。初食時，即令欲吐也。食竟心內作停水不能自消，或為反胃。凡瓜入水沉者，食之得冷病，終身不瘥。

冬葵子，味甘寒無毒，主五臟六腑寒熱羸瘦，破五淋，利小便，婦人乳難血閉，葉，甘寒滑無毒，宜脾，久食利胃氣，其心傷人。黃帝云：霜葵陳者，生食之動五種流飲，飲盛則吐水。凡葵菜和鯉魚 食之害人。

莧菜實，味甘寒澀無毒，主青盲白翳，明目除邪氣，利大小便，去寒熱，殺蛔蟲。一名馬莧，即馬齒莧菜也，治反花瘡。

小莧菜，味甘大寒滑無毒，可久食，益氣力，除熱。不可共鱉肉食，成鱉瘕，蕨菜亦成鱉瘕。

苦菜，味苦大寒滑無毒，主五臟邪氣，厭谷，胃痺，腸，大渴熱中，暴疾惡瘡。

薺菜，味甘溫澀無毒，利肝氣和中，殺諸毒。其子主明目，目痛淚出。其根主目澀痛。

芫菁及蘆菔菜，味苦冷澀無毒，利五臟，輕身益氣。蕪菁子，明目，九蒸曝，療黃膽，利小便。根，主消風熱毒腫，不可久食，令人氣脹。

菘菜，味甘溫澀無毒，久食通利腸胃，除胸中煩，解消渴。

芥菜，味辛溫無毒，歸鼻，除腎邪，大破咳逆，下氣，利九竅，明目聰耳安中。其子味辛，辛亦歸鼻有毒，主喉痺，去一切風毒腫。

苜蓿，味苦平澀無毒，安中，利人四體，可久食。

荏子，味辛溫無毒，主咳逆下氣，溫中補髓。其葉主調中，去臭氣。

蔘實，味辛溫無毒，明目溫中，解肌耐風寒，下水氣面目浮腫，卻癰疽。其葉辛，歸舌，治大小腸邪氣，利中益志。黃帝云：蔘食過多有毒，發心痛，婦人月水來，不用食蔘及蒜，喜 蔥實，味辛溫無毒，明目補中，莖白，主傷寒寒熱，骨肉碎痛，能出汗，治中風面目浮腫，喉痺不通，安胎，殺桂。其青葉歸目，除肝中邪氣，安中利五臟，殺百藥毒。根須主傷寒頭痛。蔥中涕及生蔥汁止尿血，解藜蘆及桂毒。黃帝云：食生蔥即啖蜜，變作下利，食燒蔥並啖蜜，壅氣而死。正月不得食生蔥，令人面上起游風。樓蔥除瘴氣惡毒，久食益膽氣，強志 薤，味苦辛溫滑無毒，主金瘡瘡敗，能生肌肉，除寒熱，去水氣，溫中，散結氣，利產婦，病患諸瘡，中風寒水腫，生搗敷之。鯁骨在咽不下者，食之則去。黃帝云：薤不可共牛肉作羹食之，成瘕。韭亦然。

韭，味辛酸溫澀無毒，安五臟，除胃中熱，病患心腹有痼冷者，食之必加劇。其子主夢泄精尿色白。根煮汁以養發。

白 荷，味辛微溫澀無毒，主中蠱及瘧病。搗汁服二合，日二。生根主諸瘡。

紫蘇，味辛微溫無毒，下氣，除寒中。其子尤善。

雞蘇，味辛微溫澀無毒，主吐血，下氣。一名水蘇。

胡荽子，味酸平無毒，消穀，能複食味。葉，不可久食，令人多忘。華佗云：胡荽菜患 胡臭 海藻，味鹹寒滑無毒，主癭瘤結氣，散頸下硬核痛。

昆布，味鹹寒滑無毒，下十二水腫，癭瘤結氣， 瘡，破積聚。

茼蒿，味辛平無毒，安心氣，養脾胃，消痰飲。

白蒿，味苦辛平無毒，養五臟，補中益氣，長毛髮。

吳葵，一名蜀葵，味甘微寒滑無毒，花定心氣，葉除客熱，利腸胃，不可久食，鈍人志性，若食之被狗嚙者，瘡永不瘥。

藿，味鹹寒澀無毒，宜腎，主大小便數。去煩熱。

香，味辛微溫主霍亂腹痛吐下，散水腫煩心，去熱。

甜瓠，味甘平滑無毒，主消渴惡瘡，鼻口中肉爛痛。扁鵲云：患腳氣虛脹者，不得食之，患永不除。

味甘寒滑無毒，主消渴熱痺，多食動痔病。

落葵，味酸寒無毒，滑中散熱實，悅澤人面。

葰，味辛微溫有小毒，主蠷 尿瘡，多食令人氣喘，不利人腳，多食腳痛。

葫，味辛溫有毒，治 瘡，除風邪，殺蠱毒瓦斯，獨子者最良。黃帝云：生葫合青魚酢食之，令人腹內生瘡，腸中腫，又成疝瘕，多食生葫行房，傷肝氣，令人面無色。

小蒜，味辛溫無毒，主霍亂腹中不安，消穀理胃氣，溫中除邪痺毒瓦斯。黃帝云：食小蒜啖生魚，令人奪氣，陰核痛。

蒼耳子，味苦甘溫。葉，味苦辛微寒澀有小毒，主風頭寒痛，風濕痺，四肢拘急攣痛，去惡肉死肌，膝痛溪毒，久服益氣，耳目聰明，強志輕身。黃帝云：戴甲蒼耳不可共豬肉食，害食茱萸，味辛苦大溫無毒，陳久者良，閉口者有毒，不可用。止痛下氣，除咳逆，去五臟中寒冷，溫中，諸冷實不消。其生白皮主中惡腹痛，止齒痛。其根細者，去三蟲寸白。賊風中人，口僻不能語者，取茱萸一升，去合口者，好豉三升，二物以清酒煮四五沸，取汁冷，服蜀椒，味辛大熱有毒，主邪氣，溫中下氣，留飲宿食，逐皮膚中寒冷，去死肌濕痺痛，心下冷氣，除五臟六腑寒，百骨節中積冷，溫瘧大風，汗自出者，止下利散風邪。合口者害人，其中黑子有小毒，下水。

乾薑，味辛熱無毒，主胸中滿，咳逆上氣，溫中止漏血出汗，逐風濕痺，腸 下利，寒冷腹痛，中惡霍亂，脹滿，風邪諸毒，皮膚間結氣，止唾血。生者尤良。

生薑，味辛微溫無毒，主傷寒頭痛，去痰下氣，通汗。除鼻中塞，咳逆上氣。止嘔吐，去胸膈上臭氣，通神明。

葷葵，味苦平無毒，久服除人心煩急，動痰冷，身重懈惰。

芸薹，味辛寒無毒。主腰腳痺。若舊患腰腳痛者，不可食，必加劇。又治游腫丹毒。

竹筍，味甘微寒無毒，主消渴，利水道，益氣力，可久食。患冷人，食之心痛。

野苣，味苦平無毒，久服輕身少睡，不可共蜜食之，作痔。

白苣，味苦平無毒，益筋力，不可共酪食，必作蟲。

茴香菜(茴當作)，味苦辛微寒澀無毒，主霍亂，辟熱，除口氣。臭肉和水煮，下少許，即無臭氣，故曰茴香。醬臭末中亦香。其子主蛇咬瘡久不瘥者，搗敷之。又治九種 。

蕈菜，味苦寒無毒，主小兒火丹，諸毒腫，去暴熱。

扁竹葉，味苦平澀無毒，主浸淫疥癩疽痔，殺三蟲，女人陰蝕。扁鵲云：煮汁與小兒冷服，治蛔蟲。

菜，味苦酸冷澀無毒，益筋力，去伏熱，治五種黃病。生搗絞汁，冷服一升，日二。

黃帝云：五月五日勿食一切菜，發百病。凡一切菜，熟煮熱食。時病瘥後，食一切肉並蒜，食竟行房，病發必死。時病瘥後未健，食生青菜者，手足必青腫。時病瘥未健，食青菜竟行 房

谷米第四

薏苡仁，味甘溫無毒，主筋拘攣不可屈伸，久風濕痺，下氣。久服輕身益力。其生根，下三蟲。《名醫》云：薏苡仁除筋骨中邪氣不仁，利腸胃，消水腫，令人能食。

胡麻，味甘平無毒，主傷中虛羸，補五內，益氣力，長肌肉，填髓腦，堅筋骨，療金瘡，止痛，及傷寒溫瘧大吐下後，虛熱困乏。久服輕身不老，聰耳明目，耐寒暑，延年。

白麻子，味甘平無毒，宜肝，補中益氣，肥健不老。治中風汗出，逐水利小便，破積血風毒腫，複血脈，產後乳餘疾。

飴，味甘微溫無毒，補虛冷，益氣力，止腸鳴、咽痛，除唾血，卻卒嗽。

大豆黃卷，味甘平無毒，主久風濕痺，筋攣膝痛，除五臟胃氣結積，益氣止毒，去黑痣面，潤澤毛皮，宜腎。

生大豆，味甘平冷無毒，生搗醇酢和塗之，治一切毒腫，並止痛。煮汁冷服之，殺鬼毒，逐水脹，除胃中熱，卻風痺傷中、淋露下瘀血。散五臟結積內寒，殺烏頭三建，解百藥毒。

不赤小豆，味甘鹹平冷無毒，下水腫，排膿血。一名赤豆。不可久服，令人枯燥。

青小豆，味甘鹹溫平澀無毒，主寒熱熱中消渴，止瀉利，利小便，除吐逆，卒 下腹脹滿。黃帝云：青小豆合鯉魚 食之，令人眼黃，五年成干 病。

大豆豉，味苦甘寒澀無毒，主傷寒頭痛寒熱，辟瘴氣惡毒，煩躁滿悶，虛勞喘吸，兩腳疼冷，殺六畜胎子諸毒。

扁豆，味甘微溫無毒，和中下氣。其葉平，主霍亂吐下不止。

蕎麥，味酸微寒無毒，食之難消，動大熱風。其葉生食動刺風，令人身癢。黃帝云：作面和豬、羊肉熱食之，不過八九頓，作熱風，令人眉須落，又還生仍稀少。涇 以北多患此疾大麥，味鹹微寒滑無毒，宜心，主消渴，除熱，久食令人多力健行。作 溫，消食和中。熬末令赤黑，搗作，止瀉利，和清酢漿服之，日三夜一。

小麥。味甘微寒無毒，養肝氣，去客熱，止煩渴咽燥，利小便，止漏血唾血，令女人孕必得，易作曲，主小兒病食不消，下五痔蟲，平胃氣，消穀止利。

青粱米，味甘微寒無毒，主胃痺熱中，除消渴，止瀉利，利小便，益氣力，補中輕身長年。

黃粱米，味甘平無毒，益氣和中，止瀉利。

白粱米，味甘微寒無毒，除熱益氣。

粟米，味鹹微寒無毒，養腎氣，去骨痺熱中，益氣。

陳粟米，味苦寒無毒，主胃中熱消渴，利小便。

丹黍米，味苦微溫無毒，主咳逆上氣霍亂，止瀉利，除熱，去煩渴。

白黍米，味甘辛溫無毒，宜肺，補中益氣。不可久食，多熱，令人煩。

陳廩米，味鹹酸微寒無毒，除煩熱，下氣調胃，止泄利。

米，味苦微溫無毒，主寒中，下氣，除熱。

秫米，味甘微寒無毒，主寒熱，利大腸，治漆瘡。

酒，味苦甘辛大熱有毒，行藥勢，殺百邪惡氣。黃帝云：暴下後飲酒者，膈上變為伏熱。扁鵲云：久飲酒者，腐腸爛胃，潰髓蒸筋，傷神損壽。醉當風臥，以扇自扇成惡風，飽食訖多飲水及酒，成痞僻。

稷米，味甘平無毒，益氣安中，補虛和胃宜脾。

粳米，味辛苦平無毒，主心煩，斷下利，平胃氣，長肌肉，溫中。

糯米，味苦溫無毒，溫中，令人能食，多熱，大便硬。

酢，味酸溫澀無毒，消癰腫，散水氣，殺邪毒血暈。扁鵲云：多食酢，損人骨，能理諸藥，消毒熱。

鹽，味鹹溫無毒，殺鬼蠱邪注毒瓦斯，下部 瘡，傷寒寒熱，能吐胸中痰，止心腹卒痛，堅肌骨。不可多食，傷肺喜咳，令人膚色黑，損筋力。扁鵲云：鹽能除一切大風疾痛者，炒 熨之。黃帝云：食甜粥竟食鹽即吐，或成霍亂。

鳥獸第五

人乳汁，味甘平無毒，補五臟，令人肥白悅澤。

馬乳汁，味辛溫無毒，止渴。

牛乳汁，味甘微寒無毒，補虛羸，止渴，入生薑、蔥白，止小兒吐乳，補勞。

羊乳汁，味甘微溫無毒，補寒冷虛乏少血色，令人熱中。

驢乳，味酸寒無毒，主大熱黃膽，止渴。

豬乳，味平無毒，主小兒驚癇。

馬牛羊酪，味甘酸微寒無毒，補肺臟，利大腸。黃帝云：食甜酪竟，即食大酢者，變作血瘕及尿血。華佗云：馬牛羊酪，蚰蜒入耳者，灌之即出。

沙牛及白羊酥，味甘微寒無毒，除胸中客氣，利大小腸，治口瘡。

牛酥，味甘平無毒，去諸風濕痺，除熱，利大便，去宿食。

醍醐，味甘平無毒，補虛，去諸風痺，百煉乃佳，甚去月蝕瘡，添髓補中填骨，久服增年。

熊肉，味甘微寒無毒，主風痺不仁，筋急五緩。若腹中有積聚，寒熱羸瘦者，食熊肉，病永不除。其脂治與肉同，又去頭瘍、白禿、面，食飲嘔吐。熊、豬二脂，不可作燈，其煙氣入人目失明，不能遠視。

羊角，味酸苦溫微寒無毒，主青盲，明目，殺疥蟲，止寒泄心畏驚悸，除百節中結氣，及風傷蠱毒吐血，婦人產後餘痛。燒之，殺鬼魅，辟虎野狼。久服安心益氣輕身。勿令中濕有毒。

青羊膽汁，冷無毒，主諸瘡，治青盲，明目。肺，治嗽止渴。肝，補肝明目。心，主憂恚，膈中逆氣。腎，補腎氣虛弱，益精髓。肉，味苦甘大熱無毒，主暖中止痛，補中益氣力。

生脂，止下利脫肛，去風毒，婦人產後腹中絞痛。肚，治胃反，主虛羸，小便數，止虛汗。

凡一切羊蹄甲中有珠子白者，名羊懸筋，食之令人癲。白羊黑頭，食其腦作腸癰。羊肚共飯 飲常食，久之成反胃，作噎病。羊腦、豬腦，男子食之損精氣少子。青羊肝和小豆食之，令人目少明。一切生羊肝共椒食之，破人五臟，小兒彌忌。凡六畜五臟，著草自動搖，及得鹽，酢不變色，墮地不汗，又與犬，犬不食者，皆有毒，殺人。六月勿食羊肉，傷人神氣。

沙牛髓，味甘溫無毒，安五臟，平胃氣，通十二經脈，理三焦約，溫骨髓，補中，續絕傷，益氣力，止泄利，去消渴，皆以清酒和，暖服之。肝，明目。膽，可丸百藥。肉，主消渴，止唾涎出，安中益氣力，養脾胃氣。不可常食，發宿病。自死者，不可食。

黑牯牛尿，味苦辛微溫平無毒，主水腫，腹腳俱滿者，利小便。獨肝、牛肉食之殺人。

牛肉共豬肉食之，必作寸白蟲。一切牛、馬乳汁及酪共生魚食，成魚瘕。

馬心、主喜忘，肺主寒熱莖痿。肉，味辛苦平冷無毒，主傷中除熱下氣，長筋強腰脊。

黃帝云：白馬自死，食其肉害人。白馬玄頭，食其腦令人癲，白馬鞍下烏色徹肉裡者，食之傷人五臟。下利者，食馬肉必加劇。白馬青蹄肉不可食。一切馬汗氣及毛不可入食中害人。

諸食馬肉心煩悶者，飲以美酒則解，白酒則劇。五月勿食馬肉，傷人神氣。

野馬陰莖，味酸鹹溫無毒，主男子陰痿縮少精。肉，辛平無毒，主人馬癇，筋脈不能自收，周痺肌不仁。病死者，不任用。

驢肉，味酸平無毒，主風狂，愁憂不樂，能安心氣。病死者，不任用。

狗陰莖，味酸平無毒，主傷中，丈夫陰痿不起。腦，主頭風痺，下部 瘡，瘡中息肉，肉味酸鹹溫無毒，宜腎，安五臟，補絕傷勞損。犬自死不出舌者，食之害人。犬春月多狂，若鼻 豚卵，味甘溫無毒，除陰莖中疼，驚癇，鬼氣蠱毒，除寒熱奔豚，五癰邪氣攣縮。一名豚顛，陰乾勿令敗。豚肉，味辛平有小毒，不可久食，令人遍體筋肉碎痛乏氣。母豬蹄煮汁服之下乳汁，甚解石藥毒。腦，主風眩。心，主驚邪憂恚，虛悸氣逆，婦人產後中風，聚血氣驚恐。腎，除冷利，理腎氣，通膀胱。肝，主明目。肺，主凍瘡痛癢。肚，補中益氣，止渴斷暴利虛弱。腸，主消渴小便數，補下焦虛竭，肉間脂肪，主煎諸膏藥，破冷結，散宿血，解斑蝥、芫青毒。豬洞腸，主洞腸挺出血多者， 豬肉，主狂病多日不愈。凡豬肉，有小毒，補腎氣虛弱，不可久食，令人少子精，

發宿病，弱筋骨，閉血脈，虛人肌肉，有金瘡者，食之瘡尤甚。豬血，主卒下血不止。美酒清者和炒服之，又主中風絕傷，頭中風眩，及諸淋露奔豚暴氣。黃帝云：凡豬肝肺共魚 食之作癰疽。豬肝共鯉魚腸、魚子食之，傷人神，豚腦，損男子陽道，臨房不能行事，八月勿食豬肺及飴，和食之至冬發疽。十月勿食豬肉，損人神氣。

鹿頭肉，平，主消渴，多夢妄見，生血治癰腫。莖筋，主勞損。蹄肉、平、主腳膝骨中疼痛，不能踐地。骨，主內虛，續絕傷，補骨，可作酒。髓，味甘溫，主丈夫、婦人傷中脈絕，筋急痛，咳逆，以酒和服。腎、主補腎氣。肉，味苦溫無毒，補中強五臟，益氣力。肉生者，主中風口僻不正，細細銼碎，以敷僻上。華佗云：和生椒搗敷之，使一人專看，正則急去之，不爾複牽向不僻處。角，主輕身益氣力，強骨髓，補絕傷。黃帝云：鹿膽白者，食其肉害人。白鹿肉不可和蒲白作羹食，發惡瘡。

獐骨，微溫無毒，主虛損泄精。肉，味甘溫無毒，補益五臟。髓，益氣力，悅澤人面。

獐無膽，所以怯弱多驚恐。

麋脂，味辛溫無毒，主癰腫惡瘡死肌寒熱，風寒濕痺四肢拘攣不收，風頭腫氣，通腠理 柔皮之作痼疾。

虎肉，味酸無毒，主惡心欲嘔，益氣力，止多唾，不可熱食，壞人齒。虎頭骨，治風邪，眼睛，主驚癎也。

豹肉，味酸溫無毒，宜腎，安五臟，補絕傷，輕身益氣，久食利人。

狸肉，溫無毒，補中輕身益氣，亦治諸注。黃帝云：正月勿食虎、豹、狸肉，傷人神損壽。

兔肝，主目暗。肉，味辛平澀無毒，補中益氣止渴。兔無脾，所以能走。蓋以屬二月建卯木位也，木克土，故無脾焉。馬無脾，故亦能走也。黃帝云：兔肉和獺肝食之三日必成遁尸。共白雞肝，心食之，令人面失色，一年成癉黃。共薑食，變成霍亂。共白雞肉食之，令人血氣不行。

生鼠，微溫無毒，主 折，續筋補骨，搗敷之，三日一易。

獺肝，味甘有小毒，主鬼疰蟲毒，卻魚鯁，止久嗽，皆燒作灰酒和服之。獺肉，味甘溫無毒，主時病疫氣，牛馬時行病。皆煮取汁，停冷服之，六畜灌之。

狐陰莖，味甘平有小毒，主女子絕產，陰中癢，小兒陰 卵腫。肉並五臟及腸肚，味苦微寒有毒，主蠱毒寒熱，五臟痼冷，小兒驚癎，大人狂病見鬼。黃帝云：麝肉共鵠肉食之作瘕，野豬青蹄不可食，及獸赤足者不可食。野獸自死北首伏地不可食。家獸自死共 汁食之成疽瘡。一切禽獸自死無傷處不可食。

丹雄雞肉，味甘微溫無毒，主女人崩中漏下赤白帶，補虛溫中。黃雌雞肉，味酸鹹平無毒，主傷中消渴，小便數而不禁，補益五臟絕傷，五勞，益氣力。雞子黃，除熱火灼爛瘡。

卵白汁，主目熱赤痛，除心下伏熱，止煩滿咳逆。婦人產難，胞衣不出，生吞之。白雄雞肉，味酸微寒無毒，下氣去狂邪，安五臟，傷中消渴。烏雄雞肉，味甘溫無毒，補中，止心痛。

黑雌雞肉，味甘平無毒，除風寒濕痺，五緩六急，安胎。黃帝云：有六趾四距玄雞白頭及野 鳥死不伸足爪，此種食之害人。雞子白共蒜食之，令人短氣。雞子共鱉肉蒸食之害人。雞肉、獺肉共食，作遁尸。注藥所不

能治。食雞子啖生蔥變成短氣，雞肉、犬肝腎共食害人。生蔥 共雞犬肉食，令人穀道終身流血。烏雞肉合鯉魚肉食，生癰疽。雞、兔、犬肉和食必泄利。

野雞肉共家雞子食之成遁尸，尸鬼纏身，四肢百節疼痛。

雉肉，味酸微寒無毒，補中益氣，止泄利，久食令人瘦。嘴，主蟻 。

白鵝脂，主耳卒聾，消以灌耳。毛，主射工水毒。肉，味辛平，利五臟。

肪，味甘平無毒，主風虛寒熱。肉，補虛乏，除客熱，利臟腑及水道。

鴛鴦肉，味苦微溫無毒，主 瘡。清酒浸之，炙令熱以敷上，亦炙服之。又治夢思慕者雁肪，味甘平無毒，主風攣拘急偏枯，血氣不通利。

石蜜，味甘平微寒無毒，主心腹邪氣驚癇痙，安五臟，治諸不足，益氣補中，止腹痛，解諸蜜蠟，味甘微溫無毒，主下利膿血，補中續絕傷，除金瘡，益氣力，不飢。白蠟，止久泄痤後重見血者，補絕傷，利小兒。

魚，味甘無毒，主百病。

鰻鱺魚，味甘大溫有毒，主五痔，殺諸蟲。

鱔魚肉，味甘大溫，黑者無毒，主補中養血，治沈唇，魚(徒河反)，平無毒，主少氣吸吸，足不能立地。

烏賊魚骨，味鹹微溫無毒，主女子漏下，赤白經汁，血閉，陰蝕腫痛，寒熱 瘕無子，驚氣入腹，腹痛環臍，丈夫陰中痛而腫，令人有子。肉，味酸平無毒，益氣強志。

鯉魚肉，味甘平無毒，主咳逆上氣，疸黃止渴。黃帝云：食桂竟食鯉魚肉，害人。腹中宿瘕病者，食鯉魚肉害人。

鯽魚，味甘平無毒，主一切瘡，燒作灰和醬汁敷之，日二。又去腸癰。凡魚赤鱗者，不可食。魚無腮不可食。

鱉肉，味甘平無毒，主傷中益氣，補不足，療腳氣。鱉腹下成王字，不可食，鱉肉和芥子醬食之損人。鱉三足食之害人。鱉肉共莧、蕨菜食之作鱉瘕。

蟹黃生者，解結散血，愈漆瘡，養筋益氣。黃帝云：蟹目相向足斑者，食之害人，十二月勿食蟹鱉，損人神氣。

備急千金要方 卷二十七 養性

唐 孫思邈

（凡八類）

養性序第一

夫養性者，欲所習以成性，性自為善，不習無不利也。性既自善，內外百病自然不生，禍亂災害亦無由作，此養性之大經也。善養性者則治未病之病，是其義也。故養性者，不但餌藥餐霞，其在兼於百行，百行周備，雖絕藥餌足以遐年。德行不充，縱服玉液金丹未能延壽。故老子曰：善攝生者，陸行不遇虎兕，此則道德之指也，豈假服餌而祈遐年哉。聖人所以製藥餌者，以救過行之人也。故愚者抱病歷年而不修一行，纏 沒齒終無悔心。此其所以歧和長逝，彭跗永歸，良有以也。嵇康曰：養生有五難，名利不去為一難，喜怒不除為二難，聲色不去為三難，滋味不絕為四難，神慮精散為五難。五者必存，雖心希難老，口誦至言，咀嚼英華，呼吸太陽，不能不回其操，不夭其年也。五者無於胸中，則信順日躋，道德日全，不祈善而有福，不求壽而自延，此養生之大旨也。然或有服膺仁義，無甚泰之累者，抑亦其亞歟。

黃帝問於岐伯曰：余聞上古之人，春秋皆度百歲，而動作不衰。今時之人，年至半百而動作皆衰者，時代異耶？將人失之也？岐伯曰：上古之人，其知道者，法則陰陽，和於術數，飲食有節，起居有常，不妄作勞，故能形與神俱，而盡終其天年，度百歲乃去。今時之人則不然，以酒為漿，以妄為常，醉以入房，以欲竭其精，以耗散其真，不知持滿，不時御神，務避之有時，恬澹虛無，真氣從之，精神內守，病安從來。是以其志閑而少欲，其心安而不懼，其形勞而不倦，氣從以順，各從其欲，皆得所願。故甘其食，美其服，樂其俗，高下不相慕，故其民曰朴，是以嗜欲不能勞其目，淫邪不能惑其心，愚智賢不肖不懼於物，合於道數，故皆能度百歲而動作不衰者，以其德全不危也。是以人之壽夭在於撙節，若消息得所，則長生不死，恣其情欲，則命同朝露也。岐伯曰：人年四十而陰氣自半也，起居衰矣。年五十體重耳目不聰明矣。年六十陰痿，氣力大衰，九竅不利，下虛上實，涕泣俱出矣。故曰：知之則強，不知則老。故同出名異，智者察同，愚者察異。愚者不足，智者有餘。有餘則耳目聰明，身體強健，年老複壯，壯者益理。是以聖人為無為之事，樂恬淡之味，能縱欲快志，得虛無之守，故壽命無窮，與天地終。此聖人之治身也。

春三月此為發陳，天地俱生，萬物以榮，夜臥早起，廣步於庭，被發緩形，以使志生，生而勿殺，與而勿奪，賞而勿罰，此春氣之應，養生之道也。逆之則傷肝。夏為寒為變，則奉長者少。

夏三月此為蕃莠，天地氣交，萬物華實，夜臥早起，毋厭於日，使志無怒，使華英成秀，使氣得泄，若所愛在外，此夏氣之應，養長之道也。逆之則傷心。秋為 瘧，則奉收者少，冬至重病。

秋三月此為容平，天氣以急，地氣以明，早臥早起，與雞俱興，使志安寧，以緩秋刑，收斂神氣，使秋氣平，毋外其志，使肺氣清，此秋氣之應，養收之道也。逆之則傷肺。冬為飧泄，則奉藏者少。

冬三月此為閉藏，水冰地坼，無擾乎陽，早臥晚起，必待日光，使志若伏若匿，若有私 意，若已有得，去寒就溫，毋泄皮膚，使氣亟奪。此冬氣之應，養藏之道也。逆之則傷腎。

春為痿厥，則奉生者少。

天有四時五行，以生長收藏，以寒暑燥濕風。人有五臟，化為五氣，以生喜怒悲憂恐，故喜怒傷氣，寒暑傷形，暴怒傷陰，暴喜傷陽。故喜怒不節，寒暑失度，生乃不固，人能 依時攝養，故得免其夭枉也。

仲長統曰：王侯之宮，美女兼千。卿士之家，侍外家數百。晝則以醇酒淋其骨髓，夜則房室輸其血氣，耳聽淫聲，目樂邪色，宴內不出，游外不返。王公得之於上，豪傑馳之於下，及至生產不時，字育太早，或童孺

而擅氣，或疾病而構精，精氣薄惡，血脈不充，既出胞臟，養護無法，又蒸之以綿纊，爍之以五味，胎傷孩病而脆，未得堅剛，複縱情欲，重重相生，病病相孕，國無良醫，醫無審術，奸佐其間，過謬常有，會有一疾，莫能自免。當今少百歲之人者，豈非所習不純正也。

抱朴子曰：或問所謂傷之者，豈色欲之間乎？答曰：亦何獨斯哉。然長生之要，其在房 中，上士知之，可以延年除病，其次不以自伐。若年當少壯，而知還陰丹以補腦，采七益於長俗。(一作谷)者，不服藥物，不失一二百歲也，但不得仙耳。不得其術者，古人方之於凌杯以盛湯，羽苞之蓄火，又且才所不逮而強思之傷也，力所不勝而強舉之傷也，深憂重恚傷也，悲哀憔悴傷也，喜樂過度傷也，汲汲所欲傷也，戚戚所患傷也，久談言笑傷也，寢息失時傷也，挽弓引弩傷也，沉醉嘔吐傷也，飽食即臥傷也，跳走喘乏傷也，歡呼哭泣傷也。陰陽不交傷也積傷至盡，盡則早亡，盡則非道也。故養性之士，唾不至遠，行不疾走，耳不極聽，目不極視，坐不久處，立不至疲，臥不至 。先寒而衣，先熱而解。不欲極飢而食，食不可過飽。不欲極渴而飲，飲不欲過多。不欲啖生冷，不欲飲酒當風，不欲數數沐浴，不欲廣志遠願，不欲規造異巧。冬不欲極溫，夏不欲窮涼，不欲露臥星月，不欲眠中用扇，大寒大熱、大風大霧皆不得冒之。五味不欲偏多，故酸多則傷脾，苦多則傷肺，辛多則傷肝，鹹多則傷心，甘多則傷腎，此五味克五臟五行，自然之理也。凡言傷者，亦不即覺也，謂久則損壽耳。是以善攝生者，臥起有四時之早晚，興居有至和之常製，調利筋骨有俯仰之方，祛疾閑邪有吐納之術，流行營衛有補瀉之法，節宣勞逸有與奪之要。忍怒以全陰，抑喜以養陽。

然後先服草木以救虧缺，後服金丹以定無窮，養性之理盡於此矣。

夫欲快意任懷，自謂達識知命，不泥異端，極情肆力，不勞持久者，聞此言也，雖風之過耳，電之經目，不足喻也。雖身枯於留連之中，氣絕於綺紈之際，而甘心焉，亦安可告之以養性之事哉，非唯不納，乃謂妖訛也，而望彼信之，所謂以明鑒給 瞽，以絲竹娛聾夫者也。

魏武與皇甫隆令曰：聞卿年出百歲，而體力不衰，耳目聰明，顏色和悅，此盛事也。所服食施行導引，可得聞乎？若有可傳，想可密示封內。隆上疏對曰：臣聞天地之性，唯人為貴。人之所貴，莫貴於生。唐荒無始，劫運無窮。人生其間，忽如電過，每一思此，罔然心熱，生不再來，逝不可追，何不抑情養性以自保。惜今四海垂定，太平之際又當須展才布德當由萬年。萬年無窮，當由修道，道甚易知，但莫能行。臣嘗聞道人蒯京已年一百七十八，而甚丁壯，言人當朝朝服食玉泉、琢齒，使人丁壯有顏色，去三蟲而堅齒。玉泉，口中唾也。

朝嵇康曰：穰歲多病，飢年少疾，信哉不虛。是以關中土地，俗好儉嗇，廚膳肴饌，不過菹醬而已，其人少病而壽。江南嶺表，其處饒足，海陸 肴，無所不備，土俗多疾而人早夭。

北悶，赤露眠臥，宿食不消，未逾期月，大小皆病，或患霍亂腳氣脹滿，或寒熱瘧痢惡核疔腫，或癰疽痔漏，或偏風猥退，不知醫療以至於死。凡如此者，比肩皆是，唯云不習水土，都不知病之所由。靜言思之，可為太息者也。學人先須識此，以自誡慎。

抱朴子曰：人之一身，猶一國之象也。胸腹之位，猶宮室也。四肢之列，猶郊境也。骨節之分，猶百官也。神猶君也，血猶臣也，氣猶民也，知治身則能治國也。夫愛其民，所以安其國。惜其氣，所以全其身。民散則國亡，氣竭則身死。死者不可生也，亡者不可存也。

是以至人消未起之患，治未病之疾。醫之於無事之前，不追於既逝之後。夫人難養而易危也，氣難清而易濁也，故能審威德所以保社稷，割嗜欲所以固血氣，然後真一存焉，精神守焉，百病卻焉，年壽延焉。

真人曰：雖常服餌而不知養性之術，亦難以長生也。養性之道，常欲小勞，但莫大疲及 強所不能堪耳。且流水不腐，戶樞不蠹，以其運動故也。養性之道，莫久行久立，久坐久臥，久視久聽。蓋以久視傷血，久臥傷氣，久立傷骨，久坐傷肉，久行傷筋也。仍莫強食，莫強酒，莫強舉重，莫憂思，莫大怒，莫悲愁，莫大懼，莫跳踉，莫多言，莫大笑。勿汲汲於所欲，勿 懷忿恨，皆損壽命。若能不犯者，則得長生也。故善攝生者，常少思少念，少欲少事，少語少笑，少愁少樂，少喜少怒，少好少惡，行此十二少者，養性之都契也。多思則神殆，多念則志散，多欲則志昏，多事則形勞，多語則氣乏，多笑則臟傷，多愁則心懾，多樂則意溢，多喜則忘錯昏亂，多怒則百脈不定，多好則專迷不理，多惡則憔悴無歡。此十二多不除，則營衛失度，血氣妄行，喪生之本也。唯無多無少者，得幾於道矣。是知勿外緣者，真人初學之法也。若能如此者，可居瘟疫之中無憂疑矣。既屏外緣，會須守五神（肝、心、脾、肺、腎），從四正（言、行、坐、立）。言最不得浮思妄想，心念欲事，惡邪大起。故孔子曰：思無邪。嘗習黃帝內視法，存想思念，令見五臟如懸磬，五色了了分明勿輟也。仍於每旦初起面向午，展兩手於膝上，心眼觀氣，上入頂下達涌泉，旦旦如此，名曰迎氣。常以鼻引氣，口吐氣，小微吐之，不得開口，複欲得出氣少，入氣多。每欲食，送氣入腹，每欲食氣為主人也。

凡心有所愛，不用深愛，心有所憎，不用深憎，並皆損性傷神，亦不可用深贊，亦不可用深毀，常須運心於物平等，如覺偏頗，尋改正之。居貧勿謂常貧，居富勿謂常富，居貧富之中，常須守道，勿以貧富易志改性，識達道理，似不能言。有大功德，勿自矜伐。美藥勿離手，善言勿離口，亂想勿經心，常以深心至誠，恭敬於物。慎勿詐善，以悅於人。終身為善，為人所嫌。勿得起恨，事君盡禮。人以為諂，當以道自平其心，道之所在，其德不孤。

勿言行善不得善報，以自怨仇。居處勿令心有不足，若有不足，則自抑之。勿令得起，人知止足。天遺其祿，所至之處，勿得多求，多求則心自疲而志苦，若夫人之所以多病，當由不能養性。平康之日，謂言常然，縱情恣欲，心所欲得，則便為之，不拘禁忌，欺罔幽明，無所不作，自言適性，不知過後一一皆為病本，及兩手摸空，白汗流出，口唱皇天，無所逮及，皆以生平粗心不能自察，一致於此。但能少時內省身心，則自知見行之中皆長諸，將知四百四病，身手自造，本非由天。及一朝病發，和緩不救，方更誹謗醫藥無效，神仙無靈。故有智之人，愛惜性命者，當自思念，深生恥愧，戒勒身心，常修善事也。

至於居處，不得綺糜華麗，令人貪婪無厭，乃患害之源。但令雅素淨潔，無風雨暑濕為佳。衣服器械，勿用珍玉金寶，增長過失，使人煩惱根深。廚膳勿使脯肉豐盈，當令儉約為佳。然後行作鵝王步，語作含鐘聲，眠作獅子臥（右 脅著地，坐腳也），每日自詠歌云，美食須熟嚼，生食不粗吞，問我居止處，大宅總林村。胎息守五臟，氣至骨成仙。又歌曰：日食三個毒，不嚼而自消。錦繡為五臟，身著糞掃袍。

修心既平，又須慎言語。凡言語誦讀常想聲在氣海中（臍下也）。每日初入後，勿言語誦讀，寧待平旦也。旦起當專言善事，不當先計較錢財。又食上不得語，語而食者，常患胸背痛。亦不用寢臥多言笑，寢不得語言者，言五臟如鐘磬，不懸則不可發聲。行不得語，若欲語須住腳乃語，行語則令人失氣。冬至日，只可語不可言。自言曰言，答人曰語。言有人來問，不可不答，自不可發言也，仍勿觸冷開口大語為佳。

言語既慎，仍節飲食。是以善養性者，先飢而食，先渴而飲。食欲數而少，不欲頓而多，則難消也。當欲令如飽中飢，飢中飽耳。蓋飽則傷肺，飢則傷氣，鹹則傷筋，酸則傷骨，故每學淡食，食當熟嚼，使米脂入腹，勿使酒脂入腸。人之當食，須去煩惱（暴數為煩，侵觸為惱）。如食五味必不得暴嗔，多令神氣驚，夜夢飛揚。每食不用重肉，喜生百病，常須少食肉，多食飯及少菹菜，並勿食生菜、生米、小豆、陳臭之物。勿飲濁酒、食面，使塞氣孔。勿食生肉傷胃，一切肉須煮爛停冷食之，食畢當漱口數過，令人牙齒不敗口香。熱食訖，以冷酢漿漱口者，令人口氣常臭，作 齒病。又諸熱食鹹物後，不得飲冷酢漿水，喜失聲成尸咽。凡熱食汗

出，勿當風，發痙頭痛，令人目澀多睡。每食訖，以手摩面及腹，令津液通流。食畢當行步躊躇，計使中數裡來，行畢使人以粉摩腹上數百遍，則食易消，大益人，令人能飲食無百病，然後有所修為為快也。飽食即臥，乃生百病，不消成積聚。飽食仰臥成氣痞，作頭風。觸寒來者，寒未解食熱，成刺風。人不得夜食，又云夜勿過醉飽。食勿精思。

為勞苦事，有損餘，虛損人，常須日在巳時食訖，則不須飲酒，終身無乾嘔。勿食父母本命所屬肉，令人命不長。勿食自己本命所屬肉，令人魂魄飛揚。勿食一切腦，大損人。茅屋漏水墮諸脯肉上，食之成瘕病。暴肉作脯不肯乾者。食之害人。祭神肉無故自動，食之害人。

飲食上蜂行住，食之必有毒，害人。腹內有宿病勿食鯪鯉魚肉，害人。濕食及酒漿臨上看視不見人物影者，勿食之，成卒注。若已食腹脹者，急以藥下之。每十日一食葵，葵滑，所以通五臟壅氣，又是菜之主，不用合心食之。又飲酒不欲使多，多則速吐之為佳，勿令至醉，即終身百病不除。久飲酒者，腐爛腸胃，漬髓蒸筋，傷神損壽。醉不可以當風，向陽令人發狂，又不可當風臥，不可令人扇涼，皆得病也。醉不可露臥及臥黍穰中，發癩瘡。醉不可強食，或發癰疽，或發喑，或生瘡。醉飽不可以走車馬及跳躑。醉不可以接房，醉飽交接，小者面 咳嗽，大者傷絕臟脈損命。凡人飢欲坐小便，飽則立小便，慎之無病。又忍尿不便，膝冷成痺，忍大便不出，成氣痔。小便勿努，令兩足及膝冷。大便不用呼氣及強努，令人腰痛目澀，宜任之佳。凡遇山水塢中出泉者，不可久居，常食作癭病。又深陰地冷水不可飲，必作 瘧。

飲食以調，時慎脫著。濕衣及汗衣皆不可久著，令人發瘡及風瘙。大汗能易衣佳，不易 者急寒霍亂，食不消頭痛。

脫著既時，須調寢處。凡人臥，春夏向東，秋冬向西，頭勿北臥，及牆北亦勿安床。凡 欲睡，勿歌詠，不祥起。上床坐先脫左足，臥勿當舍脊下。臥訖勿留燭燈，令人魂魄及六神不安，多愁怨。人頭邊勿安火爐，日久引火氣，頭重目赤睛及鼻乾。夜臥當耳勿有孔，吹入即耳聾。夏不用露面臥，令人面皮濃，善成癬，或作面風。冬夜勿覆頭，得長壽。凡人眠，勿以腳懸踏高處，久成腎水及損房。足冷勿順牆臥，風吹入人，發癲及體重。人臥勿□床懸腳，閉口，口開即失氣，且邪惡從口入，久而成消渴及失血色。屈膝側臥，益人氣力。勝正偃臥，按孔子不尸臥，故曰：睡不厭蹙，覺不厭舒。凡人舒睡，則有鬼痛魔邪。凡眠先臥心後臥眼，人臥近前急喚。夜夢惡不須說，旦以水面東方 之，咒曰：惡夢著草木，好夢成寶玉。即無咎矣。

又夢之善惡並勿說為吉。

衣食寢處皆適，能順時氣者，始盡養生之道。故善攝生者，無犯日月之忌，毋失歲時之和。一日之忌，暮無飽食，一月之忌晦無大醉，一歲之忌暮無遠行，終身之忌暮無燃燭行房。

暮凡氣冬至起於涌泉，十一月至膝，十二月至股，正月至腰，名三陽成。二月至膊，三月至項，四月至頂。純陽用事，陰亦仿此。故四月、十月不得入房，避陰陽純用事之月也。每冬至日於北壁下濃鋪草而臥，云受元氣。每八月一日以後，即微火暖足，勿令下冷無生意，常欲使氣在下，不欲泄於上。春凍未泮，衣欲下濃上薄，養陽收陰，繼世長生。養陰收陽，禍至滅門。故云：冬時天地氣閉，血氣伏藏，人不可作勞出汗，發泄陽氣，有損於人也。又云：冬日凍腦，春秋腦足俱凍，此聖人之常法也。春欲晏臥早起，夏及秋侵夜乃臥早起，冬欲早臥晏起，皆益人。凡冬月忽有大熱之時，夏月忽有大涼之時，皆勿受之。人有患天行時氣者，皆由犯此也，即須調氣息，使寒熱平和，則免患也。每當臘日，勿歌舞，犯者必凶。 常於

居處法第三

凡人居止之室，必須周密，勿令有細隙，致有風氣得入。小覺有風，勿強忍，久坐必須急急避之，久居不覺，使人中風。古來忽得偏風，四肢不隨，或如角弓反張，或失音不語者，皆由忽此耳。身既中風，諸病總集邪氣得便遭此致卒者，十中有九，是以大須周密，無得輕之，慎焉慎焉。所居之室，勿塞井及水瀆，令人聾盲。

凡在家及外行，卒逢大飄風豪雨震電昏暗大霧，此皆是諸龍鬼神行動經過所致，宜入室 閉戶，燒香靜坐，安心以避之，待過後乃出，不爾損人。或當時雖未苦，於後不佳矣。又陰霧中亦不可遠行。

按摩法第四

天竺國按摩法

天竺國按摩。此是婆羅門法。

兩手相捉扭捩，如洗手法。兩手淺相叉，翻覆向胸。兩手相捉共按 左右同。以手如挽 此是開胸法，左右同。如拓石法，左右同。以手反捶背上，左右同。兩手據地縮身曲脊，向
上三舉。兩手抱頭宛轉 上，此是抽脅。大坐斜身偏欹如排山，左右同。大坐伸兩腳，即以一腳向前虛掣，左右同。兩手拒地回顧，此虎視法，左右同。立地反拗身三舉。兩手急相叉，以腳踏手中，左右同。起立以腳前後虛踏，左右同。大坐伸兩腳用當相手勾所伸腳著膝中以手按之，左右同。

上十八勢，但是老人日別能依此三遍者，一月後百病除，行及奔馬，補益延年，能食，眼明輕健，不複疲乏。

老子按摩法

兩手捺，左右捩身二七遍。兩手捻，左右扭肩二七遍。兩手抱頭，左右扭腰二七遍。

左右挑頭二七遍。兩手托頭三舉之。一手抱頭，一手托膝三折，左右同。一手托頭，一手托膝，從下向上三遍，左右同。兩手攀頭下向，三頓足。兩手相捉頭上過，左右三遍。兩手相叉，托心前，推卻挽三遍。兩手相叉，著心三遍。曲腕築肋挽肘，左右三遍。左右挽，前右拔，各三遍。舒手挽項，左右三遍。反手著膝，手挽肘，覆手著膝上，左右亦三遍。手摸肩，從上至下使遍，左右同。兩手空拳築三遍，兩手相叉反複攪，各七遍。外振手三遍，內振三遍，覆手振亦三遍。摩扭指三遍。兩手反搖三遍。兩手反叉，上下扭肘無數，單用十呼。兩手上聳三遍。兩手下頓三遍。兩手相叉頭上過，左右申肋十遍。兩手拳反背上，掘脊上下三遍。（掘，揩之也。）兩手反捉，上下直脊三遍。覆掌搦腕內外振三遍。覆掌前聳三遍。

覆掌兩手相叉交橫三遍。覆掌橫直，即聳三遍。若有手患冷，從上打至下，得熱便休。

舒左足，右手承之，左手捺腳聳上至下，直腳三遍，右手捺腳亦爾。前後捩足三遍。左捩足，右捩足，各三遍。前後卻捩足三遍。直腳三遍。扭 三遍。內外振腳三遍。若有腳患冷者，打熱便休。扭 以意多少，頓腳三遍。卻直腳三遍。虎據，左右扭肩三遍。推天托地左右三遍。左右排山負山拔木，各三遍。舒手直前，頓申手三遍。舒兩手兩膝各三遍。舒腳直反，頓申手三遍。捩內脊外脊，各三遍。

調氣法第五

彭祖曰：道不在煩，唯能不思衣食，不思聲色，不思勝負，不思曲直，不思得失，不思 榮辱。心無煩，形勿極，而助之以導引，行氣不已，亦可得長年，千歲不死。凡人不可無思，當以漸遣除之。彭祖曰：和神導氣之道，當得密室，閉戶安床暖席，枕高二寸半，正身偃臥，瞑目，閉氣於胸膈中，以鴻毛著鼻上而不動，經三百息，耳無所聞，目無所見，心無所思，如此則寒暑不能侵，蜂蠆不能毒，壽三百六十歲，此鄰於真人也。每旦夕（旦夕者，是陰陽轉換之時。凡旦五更初暖氣至，頻頻眼閉，是上生氣至，名曰：陽息而陰消。暮日入後冷氣至，凜凜然時乃至，床坐睡倒，是下生氣至，名曰：陽消而陰息。且五更初暖氣至，暮日入後冷氣至，常出入天地日月山川河海人畜草木一切萬物體中，代謝往來，無時休息。一進一退，如晝夜之更迭，如海水之潮汐，）是天地消息之道也面向午展兩手於膞膝上，徐徐按捺肢節，口吐濁氣，鼻引清氣。（凡吐者去故氣，亦名死氣，納者取新氣，亦名生氣，故《老子經》云：玄牝之門，天地之根，綿綿若存，用之不勤，言口鼻天地之間可以出納陰陽死生之氣也。）良久，徐徐乃以手左托右托，上托下托，前托後托，瞑目張口，叩齒摩眼，押頭拔耳，挽發放腰，咳嗽，發陽振動也。雙作只作，反手為之，然後掣足仰振，數八十九十而止。仰下徐徐定心，作禪觀之法，閉目存思，想見空中太和元氣，如紫雲成蓋，五色分明，下入毛際，漸漸入頂。如雨初晴，雲入山透皮入肉，至骨至腦，漸漸下入腹中，四肢五臟皆受其潤，如水滲入地若徹，則覺腹中有聲 然，意專思存，不得外緣，斯須即覺元氣達於氣海，須臾則自達於涌泉，則覺身體振動，兩膞蜷曲，亦令床坐有聲拉拉然，則名一通。一通二通乃至日別得三通五通，則身體悅懌，面色光輝，鬢毛潤澤，耳目精明，令人食美，氣力強健，百病皆去，五年十歲，長存不忘，得滿十萬遍，則去仙不遠矣。人身虛無，但有游 氣，氣息得理，即百病不生。若消息失宜，即諸 竟起。善攝養者，須知調氣方焉。調氣方療萬病大患，百日生眉鬚，自餘者不足言也。

凡調氣之法，夜半後日中前，氣生得調。日中後夜半前，氣死不得調。調氣之時，則仰 臥床，鋪濃軟，枕高下其身平，舒手展膞，兩手握大拇指節，去身四五寸，兩膞相去四五寸，數數叩齒，飲玉漿，引氣從鼻入腹，足則停止，有力更取，久住氣悶，從口細細吐出盡，還從鼻細細引入。出氣一如前法，閉口以心中數數，令耳不聞，恐有誤亂，兼以手下籌，能至千則去仙不遠矣。若天陰霧惡風猛寒，勿取氣也，但閉之。若患寒熱及卒患癰疽，不問日中，疾患未發前一食間即調，如其不得好瘥，明日依式更調之。若患心冷病，氣即呼出。若熱病，氣即吹出。若肺病即噓出，若肝病即呵出，若脾病即唏出，若腎病即 出。夜半後八十雞鳴，七十二平旦，六十三日出，五十四辰時，四十五巳時，三十六欲作此法，先左右導引 三百六十遍。病有四種，一冷痺，二氣疾，三邪風，四熱毒。若有患者，安心調氣，此法無有不瘥也。凡百病不離五臟，各有八十一種疾，冷熱風氣計成四百四病，事須識其相類，善以知之。心臟病者，體冷熱。相法，心色赤，患者夢中見人著赤衣，持赤刀杖，火來怖人。

療法，用呼吹二氣，呼療冷，吹治熱。肺臟病者，胸背滿脹，四肢煩悶。相法，肺色白，患者喜夢見美女美男，詐親附人，共相抱持，或作父母兄弟妻子。療法，用噓氣出。肝臟病者，憂愁不樂，悲思喜頭眼疼痛。相法，肝色青，夢見人著青衣，捉青刀杖，或獅子、虎、野狼來恐怖人。療法，用呵氣出。脾臟病者，體上游風習習，遍身痛煩悶。相法，脾色黃，通土色，夢或作小兒擊歷人邪猶人，或如旋風團欒轉。治法，用唏氣出。腎臟病者，體冷陰衰，面遍，細呼十遍，呼法，鼻中引氣入，口中吐氣出，當令聲相逐呼字而吐之。熱病者，用大吹五十遍，細吹十遍。吹如吹物之吹，當使字氣聲似字。肺病者，用大噓三十遍，細噓十遍。

肝病者，用大呵三十遍，細呵十遍。脾病者，用大唏三十遍，細唏十遍。腎病者，用大 五十遍，細 三十遍。此十二種調氣法，若有病依此法恭敬用心，無有不瘥，皆須左右導引三百六

服食法第六

（論一首 法七首 方十八首）

論曰：凡人春服小續命湯五劑，及諸補散各一劑。夏大熱，則服腎瀝湯三劑。秋服黃等丸鉤吻之殺人，不信黃精之益壽。但識五穀之療飢，不知百藥之濟命。但解施瀉以生育，不能閉固以頤養，故有服餌方焉。曰：夫欲服食，當尋性理所宜，審冷暖之適，不可見彼得力也。夫人從少至長，體習五穀，卒不可一朝頓遺之。凡服藥物為益遲微，則無充飢之驗，然積年不已，方能骨髓填實，五穀居然而自斷。今人多望朝夕之效，求目下之應，腑臟未充，便以絕粒，穀氣始除。藥未有用，又將御女，形神與俗無別，以此致弊，可不怪哉。服餌大體皆有次第，不知其術者，非止交有所損，卒亦不得其功，故服餌大法，必先去三蟲，三蟲既去，次服草藥，好得藥力，次服木藥，好得力訖，次服石藥。依此次第，及得遂其藥性，庶事安穩，可以延齡矣。

去三蟲丸方

生地黃汁三斗，東向灶葦火煎三沸，納清漆二升，以荊七攪之，日移一尺，納真丹（鉛 粉，三兩），複移一尺，納瓜子末三升（即冬瓜子），複移一尺，納大黃末三兩，微火勿令焦，候可丸，丸如梧子大，先食服一丸，日三，濁血下鼻中，三十日諸蟲皆下，五十日百病愈，面色有光澤。

又方 漆（二升） 大黃（六兩） 蕪菁子（三升，末） 酒（一升半）
上四味，以微火合煎，令可丸，如梧子大，先食服三丸，十日濁血下出鼻中，三十日蟲 皆爛下，五十日身光澤，一年行及奔馬，消息四體安穩，乃可服草藥。

服天門冬方

天門冬曝乾，搗下篩，食後服方寸匕，日三，可至十服。小兒服尤良，蜜丸服之益善，唯多彌佳。

又方 天門冬搗取汁，微火煎，取五斗，下白蜜一斗，胡麻炒為末二升，合煎，攪勿息手，可丸即止火，下大豆黃末，和為餅，徑三寸，濃半寸，一服一枚，日三，百日以上得益，此方最上、妙包眾方。一法釀酒服，始傷多無苦，多即吐去病也。（方見第十六卷小腸 腑門。）蒯道人年近二百，而少常告皇甫隆云：但取天門冬，去心皮，切，干之，酒服方寸匕，日三，令人不老，補中益氣，愈百病也。久服令人長生，氣力百倍，治虛勞絕傷，年老衰損羸瘦，偏枯不遂，風濕不仁，冷痺心腹積聚，惡瘡癰疽腫癩疾，重者周身膿壞，鼻柱敗爛，服之皮脫蟲出，顏色肥白。此無所不治，亦治陰痿、耳聾、目暗。久服白發黑，齒落生，延年益命，入水不濡。服二百日後，恬泰疾損拘急者緩，羸劣者強，三百日身輕，三年走及奔馬，又三年心腹痼疾皆去。

服地黃方

生地五十斤搗，絞取汁，澄去滓，微火上煎，減過半，納白蜜五升，棗脂一升，攪令相得可丸乃止。每服如雞子一枚，日三，令人肥白。

又方 地黃十斤細切，以醇酒二斗漬三宿出，曝乾，反複納漬，取酒盡止，加甘草、巴 戟強力無病延年。

作熟乾地黃法：

采地黃，去鬚、葉及細根，搗絞取汁以漬肥者，著甑中，蒸之一時出，曝燥，更納汁中又蒸，至汁盡止，曝乾之。亦可直切蒸之半日，數以酒洒之，使周匝至夕出，曝乾，可搗蜜丸服之。

種地黃法：

先擇好地黃赤色虛軟者，深耕之，臘月逆耕凍地彌好。擇肥大好地黃根切，長四五分至一二寸許，一斛可種一畝。二三月種之，作畦畔相去一尺，生後隨鋤壅，數耘之，至九月十月，視其葉小衰乃掘取，一畝得二十許斛。擇取大根水淨洗，其細根乃剪頭尾輩，亦洗取之，日曝令極燥，乃以竹刀切長寸餘許蒸之，從旦至暮，當黑不盡黑者，明日又擇取蒸之，先時已搗其細碎者取汁，銅器煎之如薄飴，遂以地黃納汁中，周匝出，曝乾又納，汁盡止，率百斤，生者令得一二十斤。取初八月九月中掘者，其根勿令太老，強蒸則不消盡，有筋脈。初以地黃納甑中時，先用銅器承其下，以好酒淋地黃上，令匝汁後下入器中，取以並和煎汁佳。

黃精膏方

黃精一石，去鬚毛，洗令淨潔，打碎蒸，令好熟，壓得汁，複煎去游水，得一斗，納乾薑末三兩，桂心末一兩，微火煎，看色郁郁然欲黃，便去火待冷，盛不津器中，酒五合和，服二合，常未食前，日二服。舊皮脫，顏色變光，花色有異，鬢發更改。欲長服者，不須和酒，納生大豆黃，絕穀食之，不飢渴，長生不老。

服烏麻法

取黑皮真檀色烏麻，隨多少水拌令潤，勿過濕，蒸令氣遍，即出曝乾，如此九蒸九搗，去上皮，未食前和水若酒服二方寸匕，日三，漸漸不飢絕穀，久服百病不生，常服延年不老。

餌柏實方

柏子仁二升，搗令細，醇酒四升漬，攪如泥，下白蜜二升，棗膏三升，搗令可丸，入干 地黃末、白朮末各一升，攪和丸如梧子，每服三十丸，日二服，二十日萬病皆愈。

餌松子方

七月七日采松子，過時即落不可得。治服方寸匕，日三四。一云：一服三合，百日身輕，三百日行五百裡，絕穀久服升仙。渴飲水，亦可和脂服之。若丸如梧子大，服十

服松脂方

百煉松脂下篩，以蜜和納桶中，勿令中風，日服如博棋子一枚(博棋長二寸，方一寸)，日三，漸漸不飢，延年。亦可醇酒和白蜜如餳，日服一二兩。凡取松脂，老松皮自有聚脂者最第一，其根下有傷折處，不見日月者得之，名曰：陰脂，彌良。

采松脂法

以日入時，破其陰以取其膏，破其陽以取其脂，脂膏等分，食之可以通神靈。鑿其陰陽為孔，令方五寸，深五寸，還以皮掩其孔，毋令風入，風入則不可服。以春夏時取之，取訖 封塞勿泄，以泥塗之。東北行丹砂穴有陰泉水可飲此，弘農車君以元封元年入此山食松脂，十六年夏下居長安東市，在上谷牛頭谷時往來至秦嶺上，年常如三十者。

煉松脂法

松脂七斤，以桑灰汁一石煮脂三沸，接置冷水中凝，複煮之，凡十遍，脂白色可服。衡　州東南攸縣界有松脂，與天下松脂不同。

餌茯苓方

茯苓十斤，去皮，酒漬密封下，十五日出之，取服如博棋，日三，亦可屑服方寸匕。凡　餌茯苓，皆湯煮四五沸，或以水漬六七日。

茯苓酥方

茯苓（五斤，灰汁煮十遍，漿水煮十遍，清水煮十遍）。松脂（五斤，煮如茯苓法，每　次煮四十遍）。白蜜（三斤，煎，令沫盡）　生天門冬（五斤，去心皮，曝乾作末）　蠟　牛　酥（各三斤，煉　三十遍）。

上六味，各搗篩，以銅器重湯上，先納酥，次蠟，次蜜，消訖，納藥，急攪勿住手，務　令大均，納瓷器中，密封勿令泄氣。先一日不食，欲不食先須吃好美食，令極飽，然後絕食，即服二兩，二十日後服四兩，又二十日後八兩，細丸之，以咽得下為度。第二度服以四兩為初，二十日後八兩，又二十日二兩。第三度服以八兩為初，二十日二兩，又二十日四兩。合　一百八十日，藥成自後服三丸將補，不服亦得恆以酥蜜消息之，美酒服一升為佳。合藥須取四時王相日，特忌刑、殺、厭及四激、休廢等日，大凶，此彭祖法。

茯苓膏方

（《千金翼》名：凝靈膏）茯苓（淨，去皮）　松脂（各二十四斤）　松子仁　柏子仁（各十二斤）
上四味，依法煉之，松、柏仁不煉，搗篩，白蜜二斗四斤，納銅器中湯上，微火煎一日一夕，次第下藥，攪令相得，微火煎七日七夜，丸如小棗，每服七丸，日三。欲絕穀頓服取飽，即得輕身明目不老。（此方後一本有茯苓酥、杏仁酥、地黃酥三方，然諸本並無。又《千　金翼》中已有，今更不添錄。）

服枸杞根方

主養性遐齡。

枸杞根切一石，水一石二斗，煮取六升，澄清，煎取三升，以小麥一斗乾淨，擇納汁中，漬一宿，曝二，往返令汁盡，曝乾搗末，酒服方寸匕，日二。一年之中，以二月、八月各合一劑，終身不老。

枸杞酒方

枸杞根一百二十斤切，以東流水四石煮一日一夜，取清汁一石，漬曲一如家醞法，熟取清，貯不津器中，納乾地黃末二升半，桂心、乾薑、澤瀉、蜀椒末各一升，商陸末二升，以絹袋貯，納酒底，緊塞口，埋入地三尺，堅覆上，三七日，平曉開之，其酒赤如金色，旦　空腹服半升，十日萬病皆愈，三十日瘢痕滅，惡疾人以水一升和酒半升，分五服愈。（《千　金翼》云：若欲服石者，取河中青白石如棗、杏大者二升，以水三升，煮一沸，以此酒半合　置中，須臾即熟可食。）

餌雲母水方

（療萬病）上白雲母二十斤薄擘，以露水八斗作湯，分半洮洗雲母，如此再過，又取二斗作湯，納芒硝十斤，以雲母木器中漬之，二十日出，絹袋盛，懸屋上，勿使見風日，令燥，以水漬，鹿皮為囊，揉 之從旦至日中，乃以細絹下篩滓，複揉令得好粉五斗，餘者棄之，取粉一斗納崖蜜二斤，攪令如粥，納生竹筒中薄削之，漆固口，埋北垣南岸下，入地六尺，覆土，春夏四十日，秋冬三十日，出之，當如澤為成。若洞洞不消者，更埋三十日出之。先取水一合，納藥一合，攪和盡服之，日三，水寒溫盡自任，服十日，小便當變黃，此先療勞氣風疹 也。二十日腹中寒癖消，三十日齲齒除，更新生，四十日不畏風寒，五十日諸病皆愈，顏色日少。久服不已，長生神仙，吾自驗之，所以述錄。

煉鐘乳粉法

鐘乳一斤不問濃薄，但取白淨光色好者任用。先泥鐵鐺可受四五斗者為灶，貯水令滿，去口三寸，納乳著金銀瓷□中，乃下鐺中，令水沒□上寸餘，勿使出水也。微火燒，日夜不絕，水欲竭即添暖水，每一周時，輒易水洗鐺並洮乳，七日七夜出之，淨洮干，納瓷缽 中，少著水研之，一日一夜，急著水攪令大濁，澄取濁汁，其乳粗者自然著底。作末者，即自作濁水，經宿澄取其粗著底者，準前法研之。凡五日五夜，皆細逐水作粉。好用澄煉取曝乾，即更於銀缽中研之二日，候入肉水洗不落者佳。

鐘乳散

治虛羸不足，六十以上人瘦弱不能食者，百病方。

上黨人參 石斛 乾薑（各三分）鐘乳粉（成煉者，三兩）
上四味，搗三味下篩，與乳合和相得，均分作九帖。平旦空腹溫醇酒服一帖，日午後服一帖，黃昏後服一帖，三日後準此服之。凡服此藥法，皆三日一劑，三日內只用一升半飯，一斤肉。肉及飯唯爛，不得服蔥、豉。問曰：何故三日少餐勿得飽也？答曰：三夜乳在腹中熏補臟腑，若此飽食，即推藥出腹，所以不得飽食也。何故不得生食？由食生即損藥力，藥 力既損，脂肪亦傷，所以不得食生食也。何故不得食蔥、豉？蔥、豉殺藥，故不得食也。三日服藥既盡，三日內須作羹食補之，任意所便，仍不用蔥，豉及硬食也。三日補訖，還須準 式服藥如前，盡此一斤乳訖，其氣力當自知耳，不能具述。一得此法，其後服十斤，任意所便可知也。

西岳真人靈飛散方

雲母粉（一斤）茯苓（八兩）鐘乳粉 柏子仁 人參 續斷 桂心（各七兩）菊 花（十五兩）乾地黃（十二兩）上九味，為末，生天門冬十九斤，取汁溲藥，納銅器中，蒸一石（《太清經》云一斤，）二斗黍米下，米熟曝乾為末，先食飲服方寸匕，日一，旦服，無毒。三日力倍；五日血脈充 盛；七日身輕；十日面色悅澤，知慮聰明；十五日行及奔馬，力作不知；二十日耳目聰明，力不複當；三十日夜視有光（《太清經》作：三十五日；）七十日白發盡落，故齒皆去。更取二十一七，白蜜和搗三百杵，丸如梧子大。此仙人隨身常所服藥也，入山日吞七丸，絕穀 不飢。余服此方以來，將逾三紀，頃面色美而悅之，疑而未敢措手，積年詢訪，屢有名人曾 餌得力，遂常服之一如方說，但能業之不已，功不徒棄耳。（《太清經》無人參，有白朮四兩。《千

黃帝雜忌法第七

旦起目不開洗面，令人目澀失明饒淚。清旦常言善事，勿惡言，勿聞惡事，勿嗔怒，勿叱咄呼，勿嗟嘆，勿唱奈何，勿立膝坐而交臂膝上，勿令發覆面，皆不祥。勿舉足向火，勿對灶罵詈，凡行立坐勿背日吉，勿面北坐久思，不祥。起凡欲行，常存魁綱在頭上，所向 皆吉。若征戰，存斗柄在前以指敵吉。勿面北冠帶凶，勿向西北唾，犯魁綱神凶。勿咳唾，唾不用遠，成肺病，令人手足重，及背痛、咳嗽。勿向西北大小便，勿殺龜蛇，勿怒目視日月，善令人失明。行及乘馬不用回顧；凡過神廟，慎勿輒入，入必恭敬，不得舉目恣意顧瞻，亦不得返首顧視神廟。見龍蛇，勿與心驚怪，亦勿注意瞻視。忽見鬼怪變異之物，即強抑之勿怪。又路行於眾中見殊妙美女，慎勿熟視而愛之，此當魑魅之物，無問空山曠野，稠人廣 眾之中，皆亦如之。凡山水有沙虱處，勿在中浴，害人。欲渡者，隨驢馬後急渡，不傷人。

有水弩處，射人影即死。欲渡水者，以物打水，其弩即散，急渡不傷人。諸山有孔穴，入采 寶者，唯三月、九月，余月山閉氣交，犯之死。凡空腹不用見尸臭氣入鼻，舌上白起，口常 臭，欲見尸者，皆須飲酒見之，能辟毒。遠行觸熱，途中逢河勿洗面，生烏 。

房中補益第八

論曰：人生四十以下，多有放恣，四十以上，即頓覺氣力一時衰退，衰退既至，眾病蜂 起，久而不治，遂至不救。所以彭祖曰：以人療人，真得其真。故年至四十，須識房中之術。

夫房中術者，其道甚近，而人莫能行。其法一夕御十人，閉固而已，此房中之術畢矣。兼之藥餌，四時勿絕，則氣力百倍，而智慧日新。然此方之作也，非欲務於淫佚，苟求快意，務 存節欲，以廣養生，此房中之微旨也。是以人年四十以下，即服房中之藥者，皆所以速禍，故年未滿四十者，不可與論房中之事，欲心未止，兼餌補藥，倍力行房，不過半年，精髓枯 竭，唯向死近。少年極須慎之。四十以上，常固精養氣不耗，可以不老。又餌雲母，足以愈 疾延年，勿服泄藥，常餌補藥大佳。凡御女之道，不欲令氣未感動，陽氣微弱即以交合，必須先徐徐調和，使神和意感良久，乃可令得陰氣推之，須臾自強，所謂弱而內迎，堅急出之，進退欲令疏遲，情動而止，不可高自投擲，顛倒五臟，傷絕精脈，致生百病。但數交而慎密 者，諸病患皆愈。能百接而不施瀉者，長年矣。凡人精少則病，精盡則死，不可不思，不可不慎。數交而一瀉，精氣隨長，不能使人虛也。若不數交，交而即瀉，則不得益，瀉之精氣自然生長，但遲微，不如數交接不瀉之速也。凡人習交合之時，常以鼻多納氣，口微吐氣，自然益矣。交會畢蒸熱，是得氣也，以菖蒲末三分、白粱粉敷摩令燥，既使強盛，又濕瘡 不生也。凡欲施瀉者，當閉口張目，閉氣，握固兩手，左右上下縮鼻取氣，又縮下部及吸腹，小偃脊膂，急以左手中兩指抑屏翳穴，長吐氣並琢齒千遍，則精上補腦，使人長生。若精妄 出，則損神也。《仙經》曰：令人長生不老。先與女戲，飲玉漿。玉漿口中津也。使男女感 動，以左手握持，思存丹田中有赤氣，內黃外白，變為日月，徘徊丹田中，俱入泥垣，兩半 合成一因，閉氣深納勿出但入，上下徐徐咽氣，情動欲出，急退之，此非上士有智者不能行 也。其丹田在臍下三寸。泥垣者在頭中對，兩目直入內思，作日月想，合徑三寸許，兩半放 形則一，為日月相 者也。雖出入仍思念所作者勿廢，佳也。又曰：男女俱仙之道，深納勿動，精思臍中赤色大如雞子形，乃徐徐出入，情動乃退，一日一夕可數十為定，令人益壽。

男女各息意共存思之，可猛念之。御女之法能一月再泄，一歲二十四泄，皆得二百歲，有顏 色，無疾病，若加以藥，則可長生也。人年二十者，四日一泄，三十者八日一泄，四十者十六日一泄，五十者二十日一泄，六十者閉精勿泄，若體力猶壯者，一月一泄。凡人氣力自有強盛過人者，亦不可抑忍，久而不泄，致生癰疽。若年過六十，而有數旬不得交合，意中平 平者，自可閉固也。昔貞觀初有一野老，年七十餘，詣余曰：數

日來陽氣益盛，自思氣血已 衰，何有此盛，未知垂老有此，為善惡耶？余答之曰：是大不祥，子獨不聞膏火乎，夫膏火 之將竭也，必先暗而後明，明止則滅，今足下年邁桑榆，久當閉精息欲，茲忽春情猛發，豈非反常耶。竊謂足下憂之，子其勉歟，後四旬發病而死，此其不慎之效也。如斯之輩非一，且疏一人，以勖將來耳。所以善攝生者，凡覺陽事輒盛，必謹而抑之，不可縱心竭意以自賊 也。若一度製得，則一度火滅，一度增油。若不能製，縱情施瀉，即是膏火將滅，更去其油，可晚而自保，猶得延年益壽。若年少壯而能行道者，神仙速矣。或曰年未六十，當閉精守一為可爾否，曰：不然，男不可無女，女不可無男。無女則意動，意動則神勞，神勞則損壽。若念真正無可思者，則大佳長生也。然而萬無一有，強抑鬱閉之，難持易失，使人漏精尿濁，以致鬼交之病，損一而當百也，其服食藥物，見本卷服篇中。御女之法，交會者當避丙丁日，及弦望晦朔，大風大雨大霧大寒大暑雷電霹靂，天地晦冥，日月薄蝕，虹霓地動，若御女 則損人神不吉，損男百倍，令女得病，有子必癲痴頑愚，喑啞聾聵，攣跛盲眇，多病短壽，不孝不仁。又避日月星辰，火光之下，神廟佛寺之中，井灶圊廁之側，塚墓尸柩之旁，皆所不可。夫交合如法，則有福德，大智善人降托胎中，仍令性行調順，所作和合，家道日隆，祥瑞競集，若不如法，則有薄福愚痴惡人來托胎中，仍令父母性行凶險，所作不成，家道 日否，殃咎屢至，雖生成長，家國滅亡。夫禍福之應，有如影響，此乃必然之理，可不再思 之。若欲得子者，但待婦人月經後一日、三日、五日，擇其王相日，生氣時夜半後乃施泄，有子皆男，必壽而賢明高爵也；以月經絕後二日、四日、六日施泄，有子必女；過六日後勿得施泄，既不得子，亦不成人。黃帝雜禁忌法曰：人有所怒，血氣未定，因以交合，令發癰 疽。又不可忍小便交合，使人淋莖中痛，面失血色。及遠行疲乏來入房，五勞虛損，少子。

且婦人月事未絕而與交合，令人成病，得白駁也。水銀、鹿脂不可近陰，令陰痿縮。

備急千金要方 卷二十八 脈法

唐 孫思邈

（凡十六類）

平脈大法第一

論曰：夫脈者，醫之大業也。不深究其道，何以為醫者哉。是以古之哲醫，寤寐俯仰，不與常人同域，造次必於醫，顛沛必於醫，故能感於鬼神，通於天地，可以濟眾，可以依憑。

若與常人混其波瀾，則庶事墮壞，使夫物類將何仰焉。由是言之，學人必當屏棄俗情，凝心於此經曰：診脈之法，常以平旦，陰氣未動，陽氣未散，飲食未進，經脈未盛，絡脈調勻，氣血未亂，故乃可診有過之脈。切脈動靜而視精明，察五色，觀五臟有餘不足，六腑強弱，形之盛衰，可以此參伍，決生死之分也。

又曰：平脈者，皆於平旦。先診寸口，初重指切骨，定畢便漸舉指，與皮毛相得，於輕 重之間，隨人強弱肥瘦，以意消息進退舉按之宜。稱其浮沉諸類應於四時五行，與人五臟相應，輕重相薄，尋狀論寒暑得失。

凡人稟形，氣有中適，有躁靜，各各不同。氣脈流動，亦各隨其性情，故一呼脈再至，一吸脈再至，呼吸定息之間複一至，合為五至，此為平和中適者也。春秋日夜正等，無餘分時也。其餘日則其呼而脈至多，吸而脈至少，或吸而脈至多，呼而脈至少，此則不同，如冬夏日夜長短之異也。凡氣脈呼吸法，晝夜變通效四時。然於呼吸定息應五至之限，無有虧僻，猶晷刻與四時有長短，而歲功日數無遺也。若人有羸有壯，其呼吸雖相壓遏，而晝夜息度隨其漏刻，是謂：呼吸象晝夜，變通效四時。

夫診脈，當以意先自消息，壓取病患呼吸以自同，而後察其脈數，計於定息之限，五至者為平人，若有盈縮，尋狀論病源之所宣也。

問曰：何為三部脈？答曰：寸、關、尺也。凡人修短不同，其形各異，有尺寸分三關之法，從肘腕中橫紋至掌魚際後紋，卻而十分之而入取九分，是謂尺。從魚際後紋卻還度取十分之一，則是寸。寸十分之而入取九分之中，則寸口也。此處其骨自高，故云：陰得尺內有一寸，陽得寸內九分，從寸口入卻行六分為關分，從關分又入六分為尺分。

又曰：從魚際至高骨卻行一寸，其中名曰寸口。從寸口至尺，名曰尺澤，故曰尺寸。寸 後尺前名曰關，陽出陰入以關為界，如天地人為三界，寸主射上焦頭及皮毛，竟手上部。關 主射中焦腹及腰中部。尺主射下焦小腹至足下部。此為三部法，象三才天地人，頭腹足為三元也。夫十二經皆有動脈，獨取寸口以決五臟六腑死生吉凶之候者，何謂也？然寸口者，脈 之大會，手太陰之動脈也。人一呼脈行三寸，一吸脈行三寸，呼吸定息脈行六寸。人一日一夜凡一萬三千五百息，脈行五十度，周於其身，漏水下百刻，榮衛行陽二十五度，行陰亦二十五度為一周。故五十度而複會於手太陰。太陰者，寸口也，即五臟六腑之所終始，故法取於寸口。人有三百六十脈，法三百六十日也。

診五臟脈輕重法第二

初持脈如三菽之重與皮毛相得者，肺部。（金秋三月庚辛之氣。）如六菽之重與血脈相得者，心部。（火夏三月丙丁之氣。）如九菽之重與肌肉相得者，脾部。（土旺四季，季夏 六月戊己之氣。）如十二菽之重與筋平者，肝部。（木春三月甲乙之氣。）按之至骨，舉 之來疾者，腎部。（水冬三月壬癸之氣。）心肺俱浮，何以別之？然浮而大散者，心也。（象 火浮散。）浮而短澀者，肺也。（象金浮澀。）腎肝俱沉，何以別之？然牢而長者，肝也。（如木生苗吐穎。）濡而大，舉指來實者，腎也。（濡弱如水舉重勝船。）脾者中州，故其脈 在中，是陰陽之脈也。（《千金翼》云：遲緩而長者，脾也。）

指下形狀第三

浮脈，舉之有餘，按之不足。（浮於指下。）沉脈，舉之不足，按之有餘。（重按之乃 得。）澀脈，細而遲，往來難且散，或一止複來。（一曰浮而短，一曰短而止，或如散。）滑脈，往來前卻，流利展轉，替替然與數相似。（一曰浮中如有力，一曰漉漉如欲脫。）洪 脈，極大在指下。（一曰浮而大。）細脈，小大於微，常有但細耳。微脈，極細而軟，或欲絕，若有若無。（一曰小也，一曰手下快，一曰薄，一曰按之如欲盡絕。）弦脈，舉之無有，按之如張弓弦狀。（一曰如張弓弦，按之不移。又曰浮緊乃為弦也。）緊脈，數如切繩狀。

（一曰如轉索之無常。）遲脈，呼吸三至，來去極遲。（一曰舉之不足，按之盡牢。一曰按 之盡牢，舉之無有。）數脈，去來促急。（一曰一息脈六七至，一曰數者進之名。）緩脈，去來亦遲，小快於遲。（一曰浮大而軟，陰與陽同等。）弱脈，極軟而沉，細按之欲絕指下。

(一曰按之乃得，舉之即無。） 動脈，見於關上，無頭尾大如豆，厥厥動搖。伏脈，極重 指 著骨乃得。(一曰關上沉不出，名曰伏。一曰手下裁動，一曰按之不足，舉之無有。） 芤脈，浮大而軟，按之中央空，兩邊實。(一曰指下無，兩旁有。 軟脈，極軟而浮細。一曰按之無有，舉之有餘。一曰細小如軟。《千金翼》軟作濡。） 虛脈，遲大而軟，按之不足隱指，豁豁然空。 實脈，大而長，微強，按之隱指， 然。(一曰沉浮皆得。） 促脈，來去數，時一至。 結脈，往來緩，時一止複來，脈結者生。 代脈，來數中止，不能自還，因而複動。脈代者死。 散脈，大而散，散者氣實血虛，有表無裡。 革脈，有似沉伏實，大而長，微弦。(《千金翼》以革為牢。） 弦與緊相類。軟與弱相類。 浮與芤相類。(又曰浮 與洪相類。)微與澀相類。 沉與伏相類。 緩與遲相類。(又曰軟與遲相類。） 革與實相類。(《翼

五臟脈所屬第四

心部在左手關前寸口。(亦名人迎。） 肝部在左手關上。 腎部在左手關後尺中。

肺部 脈法贊云：

心肝出左，脾肺出右。腎與命門，俱出尺部。魂魄穀神，皆見寸口。左主司官，右主司 府。左大順男，右大順女。關前一分，人命之主。左為人迎，右為氣口。神門決斷，兩在關 後。人無二脈，病死不愈。諸經損減，各隨其部。三陰三陽(一云按察陰陽，)誰先誰後，陰病治官，陽病治府(府，外也。)奇邪所舍，如何捕取。審而知之，針入病愈。脈有三部，陰陽相乘。榮衛氣血，而行人躬。呼吸出入，上下於中。因息游布，津液流通。隨時動作，效 象形容。春弦秋浮，冬沉夏洪。察色觀脈，大小不同。一時之間，變無經常。尸寸參差，或短或長。上下乖錯，或存或亡。病輒改易，進退低昂。心迷意惑，動失紀綱。願為縷陳，令得分明。(師曰）子之所問，道之根源。脈有三部，尺寸及關。榮衛流行，不失衡銓。腎沉 心洪，肺浮肝弦。此自常經，不失銖分。出入升降，漏刻周旋。水下二刻，脈一周身。旋複寸 口，虛實見焉。變化相乘，陰陽相干。風則浮虛，寒則緊弦。沉潛水蓄，支飲急弦。動弦為痛，數洪熱煩。設有不應，知變所緣。三部不同，病各異端。太過可怪，不及亦然。邪不空 見，終必有奸。審察表裡，三焦別分。知邪所舍，消息診看。料度腑臟，獨見若神。

分別病形狀第五

脈數在腑。 脈遲在臟。 脈長而弦，病在肝。(《脈經》作出於肝。） 脈小血少，病 浮，病在肺。 脈大而堅(扁鵲云：小而緊，)病在腎。 脈滑者，多血少氣。 脈澀者，少血 多氣。脈大者，血氣俱多。 又云脈來大而堅者，血氣俱實。 脈小者，血氣俱少。又云：脈 來細而微者，血氣俱虛。 脈沉細滑疾者熱。 脈遲緊為寒。(《脈經》云：洪數滑疾為熱，澀遲沉細為寒。） 脈盛滑緊者，病在外熱。 脈小實而緊者，病在內冷。脈小弱而澀，謂之久病。 脈浮滑而疾，謂之新病。 脈浮滑，其人外熱風走刺有飲，難治。 脈沉而緊，上焦有熱，下寒，得冷即便下。 脈沉而細，下焦有寒，小便數，時苦絞痛，下利重。 脈 浮緊且滑直者，外熱內冷，不得大小便。 脈洪大緊急，病速進在外，苦頭發熱癰腫。 脈 細小緊急，病速進在中，寒為疝瘕積聚，腹中刺痛。 脈沉重而直前絕者，病血在腸間。 脈 沉重而中散者，因寒食成 。 脈直前而中散絕者，病消渴。(又云：病浸淫瘡。） 脈沉重，前不至寸口徘徊絕者，病在肌肉遁尸。 脈左轉而沉重者，氣微，陽在胸中。 脈右轉出不至寸口者，內有肉 。 脈累累如貫珠不前，有風寒在大腸，伏留不去。 脈累累如止不至，寸口軟者，結熱在小腸膜中，伏留不去。 脈直前左右彈者，病在血脈中 血也。 脈後而左右彈者，病在筋骨中也。 脈前大後小，頭痛目眩。 脈前小後大，胸滿短氣。 上部有脈，下部無脈，其人當吐，不吐者死。上部無脈，下部有脈，雖困無所苦。 夫脈者，血之府也。 長則氣治。 短則氣病。數則煩心。 大則病進。上盛則氣高。 下盛則氣脹。 代則氣衰。 細(《太素》作滑)則氣少。 澀則心痛，渾渾革革至如涌泉，病進而危。

弊弊綽綽其去如弦絕者死。 短而急者，病在上。 長而緩者，病在下。 沉而弦急者，病 在內。 浮而洪大者，病在外。脈實者，病在內。 脈虛者，病在外。 在上為表，在下為裡。 浮為在表，沉為在裡。 滑為實為下。(又為陽氣衰。) 數為虛為熱。 浮為風為虛。

動為痛為驚。 沉為水為實。(又為鬼疰。) 弱為虛為悸。 遲則為寒。 澀則少血。 緩 則為虛。 洪則為氣。(一作熱。)緊則為寒。 弦數為瘧。 瘧脈自弦，弦數多熱，弦遲多寒。 微則為虛。 代散則死。 弦為痛痺。(一作浮，為風疰。) 偏弦為飲。 雙弦則脅 下拘急而痛，其人澀澀惡寒。 脈大寒熱在中。 脈伏者霍亂。 安臥脈盛，謂之脫血。 凡 亡汗，肺中寒，飲冷水，咳嗽，下利，胃中虛冷，此等其脈並緊。 浮而大者，為風，又為中風頭重鼻寒。 浮而緩者，皮膚不仁，風寒入肌肉。 滑而浮散者，癱瘓風。 滑為鬼疰。

澀而緊痺病。 浮洪大長者，風眩癲疾。 大堅疾者，癲病。 弦而鉤，脅下如刀刺，狀如蜚尸，至困不死。 緊而急者遁尸。 洪大者，傷寒熱病。浮洪大者，傷寒，秋吉春成病。 浮 而滑者，宿食。 浮滑而疾者，食不消脾不磨。 短疾而滑，酒病。 浮而細滑，傷飲。 遲 而澀，中寒有 結。 快而緊，積聚有擊痛。弦急，疝瘕小腹痛，又為癖病(一作痺病。) 遲 而滑者，脹。 盛而緊者，脹。 弦小者，寒 。 沉而弦者，懸飲內痛。 弦數，有寒飲，冬夏難治。 緊而滑者，吐逆。小弱而澀，胃反。 遲而緩者，有寒。 微而緊者，有寒。 沉 而遲者，腹臟有冷病。 微弱者，有寒少氣。 實緊，胃中有寒，若不能食，時時利者，難

治。(一作時時嘔稽難治。) 滑數，心下結熱盛。 滑疾，胃中有熱。 緩而滑，曰熱中。

沉而急，病傷暑，暴發虛熱。 浮而絕者，氣病。大而滑者，短氣。 浮短者，其人肺傷 諸氣微少，不過一年死，法當咳嗽。 沉而數，中水，冬不治自愈。 短而數，心痛心煩。 弦 而緊，脅痛，臟傷有瘀血。(一作有寒血。) 沉而滑，為下重，亦為膂痛。 脈細而滑，按 之虛，因急持直者，僵仆從高墮下，病在內。微浮者，秋吉冬成病。 微數，雖甚不成病，不可勞。 浮滑疾緊者，以合百病久易愈。 陽邪來見浮洪。 陰邪來見沉細。 水穀來見 堅實。 脈來乍大乍小，乍長乍短者，為祟。 脈來洪大裊裊者，祟。脈來沉沉澤澤，四肢 不仁而重者，土祟。脈與肌肉相得，久持之至者，可下之。 弦小緊者，可下之。 緊而數，發寒熱，必下乃愈。 弦遲者，宜溫藥。 緊數者

三關主對法第六

諸浮、諸沉、諸弦、諸緊、諸澀、諸滑，若在寸口，膈以上病(頭部)。若在關上，胃 以下平寸口脈主對法：

手寸口脈滑而遲，不沉不浮，不長不短，為無病，左右同法。 寸口太過與不及，寸 口之脈中手短者，曰：頭痛。中手長者，曰：足脛痛。中手促上擊者，曰：肩背痛。 寸口 脈沉而堅者，病在中。 寸口脈浮而盛者，曰：病在外。 寸口脈沉而弱者，曰：寒熱及疝瘕，小腹痛。(熱，一作氣，又作中。) 寸口脈沉而弱，發必墮落。 寸口脈沉而緊，苦心下有寒時時痛，有積邪。 寸口脈沉而滑者，胸中有水氣，面目腫，有微熱，為風水。寸口 脈沉大而滑，沉即為血實，滑即為氣實，血氣相搏，入臟即死，入腑即愈。 寸口脈沉，胸中短氣。 寸口脈沉而喘者，寒熱。寸口脈浮而滑者，頭中痛。 寸口脈浮大，按之反澀，尺中亦微而澀，故知有滯氣宿食。寸口脈弦而緊，弦即衛氣不行，衛氣不行，即惡寒水流走 腸間。 寸口脈緊或浮，膈上有寒，肺下有水氣。 脈緊上寸口者，中風，風頭痛亦如之。

(《翼》云：亦為傷寒頭痛。) 脈弦上寸口者，宿食。降者頭痛。 寸口脈弦大，婦人半產 漏下，男子亡血失精。 寸口脈微而弱，微則惡寒，弱則發熱，當發不發，骨節疼煩；當煩不煩，與極汗出。 寸口脈微而弱，氣血俱虛，男子吐血，婦人下血，嘔汁出。 寸口脈動 而弱，動即為驚，弱即為悸。 寸口脈緩而遲，緩即為虛，遲即為寒，虛寒相搏，則欲溫食，食冷即咽痛。 寸口脈遲而緩，遲則為寒，緩即為氣，寒氣相搏，則絞而痛。

寸口脈遲而澀，遲即為寒，澀為少血。脈來過寸入魚際者，遺尿。脈出魚際，逆氣喘息。寸口脈實者，心勞。寸口脈如羹上肥，陽氣微。連連如蜘蛛絲，陰氣衰。兩手前部陽絕者，苦心下寒毒，喙中熱。寸口脈偏絕，則臂僻不遂，兩手俱絕者，不可治。寸口脈來暫大暫小者，陰絡也，苦陰風痺，應時自發，身洗洗也。寸口脈來暫小暫大者，陽絡也，苦皮膚病，汗出惡寒，下部不仁。寸口脈浮，中風發熱頭痛，宜服桂枝湯、葛根湯，針風池、風府，向火炙身，摩治風膏，覆令汗出。寸口脈緊，苦頭痛，是傷寒，宜服麻黃湯發汗，針眉沖、顳顬，摩傷寒膏。寸口脈微，苦寒為衄，宜服五味子湯、麻黃茱萸膏，令汗出。寸口脈數，為吐，以有熱在胃脘熏胸中，宜服藥吐之，及針胃脘，服除熱湯。若傷寒七八日至十日，熱在中間煩滿而渴者，宜服知母湯。寸口脈洪大，胸脅滿，宜服生薑湯、白薇丸，亦可紫菀湯下之。針上脘、期門、章門。寸口脈緩，皮膚不仁，風寒在肌肉，宜服防風湯，以藥敷熨之佳。灸諸治風穴。寸口脈滑，陽實，胸中壅滿，吐逆，宜服前胡湯，針太陽、巨闕瀉之。寸口脈弦，心下，微頭痛，心下有水氣，宜服甘遂丸，針期門瀉之。寸口脈弱，陽氣虛弱，自汗出，宜服茯苓湯、內補散，將適飲食消息，勿極勞，針胃脘補之。寸口脈澀，是胃氣不足，宜服乾地黃湯，自養調和飲食，針胃脘（一作三裡）補之。寸口脈芤，吐血。微芤者，衄血。空虛去血故也。宜服竹皮湯、黃土湯，灸膻中。寸口脈伏，胸中逆氣痛，胸中有水氣，宜服澤漆湯，針巨闕瀉之。寸口脈軟弱，自汗出，是虛損病，宜服乾地黃湯、薯蕷丸、內補散、牡蠣散，並粉身，針太沖補之。寸口脈遲，上焦有寒，心痛，咽酸，吐酸水，宜服附子湯、生薑湯、茱萸丸，調和飲食以暖之。寸口脈實，即生熱在脾肺，嘔逆氣塞。虛則生寒在脾胃，食不消化。熱宜服竹葉湯、葛根湯，寒宜服茱萸丸、生薑湯。寸口脈細，發熱嘔吐，宜服黃芩龍膽湯。吐不止，宜服橘皮桔梗湯，及灸中府平關脈主對法：

關上脈浮而大，風在胃中，張口肩息，心下澹澹，食欲嘔。關上脈微浮，積熱在胃中，嘔吐蛔蟲，心健忘。關上脈滑而大小不均，必吐逆，是為病方欲來，不出一二日複欲發動，其人欲多飲，飲即注利。如利止者生，不止者死。關上脈緊而滑者，蛔動。關上脈弦而長（《翼》作大），有痛如刀刺之狀，在臍左右上下。（《脈經》云：有積在臍左右上下。）關上脈澀而堅，大而實，按之不減有力，為中焦實，有伏結在脾肺氣塞，實熱在胃中。

關上脈大，而尺寸細者，其人必心腹冷積，瘕結聚，欲熱飲食。關上脈時來時去，乍大乍小，乍疏乍數者，胃中寒熱羸劣，不欲飲食，如瘧狀。關上脈浮，腹滿不欲食，浮為虛滿，宜服平胃丸、茯苓湯、生薑前胡湯，針胃脘，先瀉後補之。關上脈緊，心下苦滿痛，為實，宜服茱萸當歸湯，加大黃二兩佳。（《脈經》云：又大黃湯兩治之佳。）針巨闕，下脘瀉之。關上脈微，為胃中冷，心下拘急，宜服附子湯、生薑湯、附子丸，針巨闕補之。關上脈數，胃中有客熱，宜服知母湯（一作丸）、除熱湯，針巨闕、上脘瀉之。關上脈緩，不欲食，此脾胃氣不足，宜服平胃丸、補脾湯，及針章門補之。關上脈滑，胃中有熱，滑為熱實氣滿，故不欲食，食即吐逆，宜服朴硝麻黃湯、平胃丸，（一作紫菀湯、人參大平胃丸。）針胃脘瀉之。關上脈弦，胃中有冷，心下厥逆。脈弦胃氣虛，宜服茱萸湯，溫調飲食，針胃脘補之。關上脈弱，胃氣虛，胃中有客熱。脈弱為虛熱作病，且說云：有熱不可大攻之，熱去即寒起，宜服竹葉湯，及針胃脘補之。關上脈虛細，腹滿，宜服生薑湯、茱萸蜀椒湯、白薇丸，針灸三脘。關上脈澀，血氣逆冷。脈澀為血虛，宜服乾地黃湯、四補散，針足太沖上補之。關上脈芤，大便去血，宜服生地黃並生竹皮湯，灸膈俞。若重下去血，針關元，甚者服龍骨丸。（關元一作巨闕。）關上脈伏，有水氣溏泄，宜服水銀丸，針關元，利小便，止溏泄便止。關上脈洪，胃中熱，必煩滿，宜服平胃丸，針胃脘，先瀉後補之。關上脈沉，心下有冷氣，苦滿吞酸，宜服白薇丸、茯苓丸、附子湯，針胃脘補之。關上脈軟，苦虛冷，脾虛氣弱，重下病，宜服赤石脂湯、女萎丸，針關元補之。關上脈遲，胃中寒，宜服桂枝丸、茱萸湯，針胃脘補之。關上脈實，胃中痛，宜服梔子湯、茱萸烏頭丸，針胃脘補之。關上脈牢，脾胃氣塞，盛熱，即腹滿嚮嚮，宜平尺脈主對法：

尺脈浮者，客陽在下焦。尺脈弱者，下焦冷，無陽氣，上熱沖頭面。尺脈弱寸強，胃絡脈傷。尺脈偏滑疾，面赤如醉，外熱則病。尺脈細微，溏泄冷利。（《素問》云：

尺寒脈細，謂之後泄。）尺脈虛小，足脛寒，痿痺腳疼。 尺脈澀，下血不利多汗。（《素問》云，尺澀脈滑，謂之多汗。）尺脈沉而滑者，寸白蟲。 尺脈細而急者，筋攣痺，不能行。 尺脈大者，熱在脬中，小便赤痛。 尺脈粗而熱者，謂之熱中，腰胯疼，小便赤熱。

尺脈按之不絕，婦人血閉。與關相應和滑者，男子氣血實。婦人即為妊娠。 尺脈來而斷絕 者，男子小腹有滯氣，婦人月水不利。 尺寸俱軟弱，內慍熱，手足逆冷，汗出。 尺寸俱 沉，關上無有者，苦心下喘。尺寸俱沉，關上若有，苦寒心下痛，陰中冷，腳痺。 尺寸俱 微，少心力，不欲言，氣血不足，其人腳弱短氣。 尺寸俱數，手足頭面有熱。俱遲，有寒，手足頭面有冷風。 尺脈浮，下熱風，小便難。宜服瞿麥湯、滑石散，針橫骨、關元瀉之。 尺 脈緊，臍下痛，宜服當歸湯，灸天樞，針關元補之。 尺脈微，厥逆，小腹中拘急，有寒氣，宜服小建中湯，針氣海。 尺脈數，惡寒，臍下熱痛，小便赤黃，宜服雞子湯，白魚散，針 橫骨瀉之。 尺脈緩，腳弱下腫（一本無此四字），小便難，有餘瀝，宜服滑石湯、瞿麥散，針橫骨瀉之。 尺脈滑，氣血實，經脈不利，宜服朴硝煎大黃湯，下去經血，針關元瀉之。 尺 脈弦，小腹疼，小腹及腳中拘急，宜服建中湯、當歸湯，針氣海瀉之。尺脈弱，氣少發熱 骨煩，宜服前胡湯、乾地黃茯苓湯，針關元補之。 尺脈澀，足脛逆冷，小便赤，宜服附子四逆湯，針足太沖補之。尺脈芤，下焦虛，小便去血，宜服竹皮生地黃湯，灸丹田、關元。 尺 脈伏，小腹痛 疝，水穀不化，宜服大平胃丸、桔梗丸，針關元補之。 尺脈沉，腰背痛，宜服腎氣丸，針京門補之。 尺脈軟，腳不收，風痺（一本無此五字），小便難，宜服瞿麥 湯、白魚散，針關元瀉之。 尺脈牢，腹滿陰中急，宜服葶藶茱萸丸，針丹田、關元、中極。 尺 脈遲，下焦有寒，宜服桂枝丸，針氣海、關元瀉之。 尺脈實，小腹痛，小便不禁，宜服當 歸東加大黃一兩，利其大便

五臟積聚第七

人病有積有聚有穀氣（谷一作系）。夫積者，臟病，終不移也。聚者，腑病，發作有時，展轉痛移，為可治也。穀氣者，脅下牽痛，按之則愈，愈而複發，夫病已愈不得複發，發即為穀氣也。

諸積大法，脈來細軟附骨者，為積也。寸口結者，積在胸中。 微出寸口，積在喉中。 關 上結者，積在臍旁。微下關者，積在小腹。 尺中結，積在氣沖。 上關上，積在心下。 脈 出在左，積在左。脈出在右，積在右。脈兩出，積在中央，各以其部處之。 寸口沉而橫 者，脅下及腹中有橫積痛。 脈弦，腹中急痛，腰背痛相引，腹中有寒疝瘕。 脈弦緊而細 微者， 也。 夫寒痺 瘕積聚之脈狀，皆弦緊。

若在心下，即寸弦緊。 在胃脘，即關弦緊。 在臍下，即尺弦緊。 一云：關脈長弦，有積在臍左右上下。 又脈 法。左手脈橫， 在左。 右手脈橫， 在右。 脈頭大在上，頭小在下。 又一法，橫脈見左，積在右；見右，積在左。偏得洪實而滑，亦為積。 弦 緊，亦為積，為寒痺，為疝痛。 內有積不見脈，難治。見一脈相應，為易治。 諸不相應，為不合治也。 左手脈大，右手脈小，上病在左脅，下病在左足。 右手脈大，左手脈小，上病在右脅，下病在右足。 脈弦而伏者，腹中有 不可轉也，必死不治。 脈來細沉而直 者，身有癰腫，腹中有伏梁。 脈來沉而虛者，泄注也。 脈來小沉實者，胃中有積聚，不可下，食即吐。

陰陽表裡虛實第八

弦為少陽，緩為陽明，洪為太陽，三陽也。微為少陰，遲為厥陰，沉為太陰，三陰也。

脈有一陰一陽，一陰二陽，一陰三陽。有一陽一陰，一陽二陰，一陽三陰。如此言之，寸口 有六脈俱動耶。然《經》言：如此者，非有六脈俱動也，謂浮、沉、長、短、滑、澀也。凡 脈浮、滑、長者，陽也。沉、澀、短者，陰也。所以言一陰一陽者，謂脈來沉而滑也。一陰二陽者，脈來沉滑而長也。一陰三陽者，謂脈來浮滑而長，

時一沉也。所以言一陽一陰者，謂脈來浮而澀也。一陽二陰者，謂脈來長而沉澀也。一陽三陰者，謂脈來沉澀而短，時一浮 也，各以其經所在，言病之逆順也。

脈有陽盛陰虛，陰盛陽虛，何謂也？然浮之損小，沉之實大，故云：陰盛陽虛。 沉之損小，浮之實大，故曰：陽盛陰虛，是謂陰陽虛實之意也。 凡脈浮、大、數、動、長、滑，陽也。沉、澀、弦、弱、短、微，陰也。陽病見陰脈者，逆也，主死。陰病見陽脈者，順 也，主生。 關前為陽，關後為陰。陽數即吐，陰微即下。陽弦則頭痛，陰弦則腹痛，依陰陽察病也。 又尺脈為陰，陰脈常沉而遲。寸關為陽，陽脈但浮而速。 尺脈上不至關為陰絕，寸脈下不至關為陽絕，陰絕而陽微，死不治。 呼為表屬腑，吸為裡屬臟。陽微不能呼，陰微不能吸。 呼吸不足，胸中短氣。 弱反在關，濡反在巔。微在其上，澀反在下。微即陽氣不足，沾熱汗出。澀即無血，厥而且寒。 諸腑脈為陽，主熱。諸臟脈為陰，主寒。陽微則汗，陰浮自下。(《脈經》作陰微。) 陽數，口生瘡。陰數加微，必惡寒煩擾，而不得眠。 陽芤吐血(《脈經》作陽數則吐血。) 陰芤下血(《脈經》作陰澀則下血)。無陽則厥，無陰則嘔。 寸口脈浮大而疾者，名曰陽中之陽，病苦煩滿身熱，頭痛，腹中熱， 寸口脈 沉細者，名曰陽中之陰，病苦悲傷不樂，惡聞人聲，少氣，時汗出，陰氣不通(不通一作並)，臂不能舉。(《巢氏病源》作臂偏不舉。) 尺脈沉細者，名曰陰中之陰，病苦兩脛酸疼，不能久立，陰氣衰，小便餘瀝，陰下濕癢。 尺脈滑而浮大者，名曰陰中之陽，病苦小腹痛滿，不能溺，溺即陰中痛，大便亦然。 尺脈牢而長，關上無有，此為陰乾陽，其人苦兩脛重，小腹引腰痛。 寸口壯大，尺中無有，此為陽干陰，其人苦腰背痛人有三虛三實者，何謂也？然有脈之虛實，有病之虛實，有診之虛實。脈之虛實者，脈 來濡者，虛。牢者，實也。病之虛實者，出者為虛，入者為實。言諸者為虛，不言者為實。

緩者為虛，急者為實也。診之虛實者，癢者為虛，痛者為實。外痛內快為外實內虛，內痛外快為內實外虛，故曰：虛實也。 問曰：何謂虛實？答曰：邪氣盛則實，精氣奪則虛。何謂 重 五實。 脈細皮寒，氣少，泄痢注前後，飲食不入，為五虛也。

何時得病第九

何以知人露臥得病，陽中有陰也。何以知人夏月得病，諸陽入陰也。 何以知人春得病，無肝脈也。無心脈，夏得病。無肺脈，秋得病。無腎脈，冬得病。無脾脈，四季之月得病。

扁鵲華佗察聲色要訣第十

病患五臟已奪，神明不守，聲嘶者死。 病患循衣縫，譫語者，不可治。 病患陰陽俱絕，掣衣撮空，妄言者，死。 病患妄語錯亂，及不能語者，不治。熱病見此可治。病 人陰陽俱絕，失音不能言，三日半死。 病患兩目 有黃色起者，其病方愈。 病患面黃目青者，不死。青如草滋，死。 病患面黃目赤者，不死。赤如 血，死。病患面黃目白者，不死。白如枯骨，死。 病患面黃目黑者，不死。黑如炭者，死。 病患面目俱等者，不死。

病患面黑目青者，不死。 病患面青目白者，死。 病患面赤目青者，六日死。 病患面黃目青者，九日死，是謂亂經。 飲酒當風，邪入胃經，膽氣妄泄，目則為青，雖有天救，不可複生。 病患面赤目白者，十日死。憂恚思慮，心氣內索，面色反好，急求棺槨，十日死。 病患面白目黑者死，謂榮華已去，血脈空索。 病患面黑目白者，八日死，腎氣內傷，病因留積。 病患面青目黃者，五日死。 病患著床，心痛短氣，脾竭內傷，百日複愈，能 起彷徨因坐於地，其立倚床，能治此者，可謂神良。病患面無精光，若土色，不受飲食 者，四日死。 病患目無精光，及牙齒黑色者，不治。 病患耳、目、鼻、口有黑色起入於口者，必死。 病患耳目及顴頰赤者，死在五日中。 病患黑色出於額上發際，下直鼻脊兩顴上者，亦死在五日中。病患及不病患黑色若白色起入目及鼻口者，死在三日中。 病患及 健人面忽如馬肝色，望之如青，近之如黑者，死。 病患面黑目直視，惡風者，死。 病患 面黑唇青者，死。 病患面青唇黑者，死。 病患面黑，兩脅下滿，不能自轉

側者，死。 病 人目回回直視，肩息者，一日死。 病患陰結陽絕，目精脫恍惚者，死。 病患陰陽絕竭，目眶陷者，死。 病患眉系傾者，七日死。 病患口如魚口，不能複閉，而氣出多不返者，死。 病患口張者，三日死。 病患唇青人中反者，三日死。 病患唇反人中滿者，死。 病 人唇口忽乾者，不治。 病患唇腫齒焦者，死。 病患齒忽變黑者，十三日死。 病患舌卷 卵縮者，必死。 病患汗出不流，舌卷黑者，死。 病患發直者，十五日死。 病患發如干 麻，善怒者，死。 病患發與眉沖起者，死。 病患爪甲青者，死。 病患爪甲白者，不治。

病患手足爪甲下肉黑者，八日死。 病患榮衛竭絕，面浮腫者，死。 病患卒腫，其面蒼黑 者，死。 病患手掌腫無紋者，死。病患臍腫反出者，死。 病患陰囊莖俱腫者，死。 病 人脈絕，口張足腫者，五日死。病患足趺腫，嘔吐頭重者，死。 病患足趺上腫，兩膝大如斗者，十日死。 病患臥遺屎不覺者死。 病患尸臭者，不可治。 肝病，皮白，肺之日庚 辛死。 心病，目黑，腎之日壬癸死。 脾病，唇青，肝之日甲乙死。 肺病，頰赤目腫，心之日丙丁死。 腎病，面腫唇黃，脾之日戊己死。 青欲如蒼璧之澤，不欲如藍。 赤欲如帛裹朱，不欲如赭。 白欲如鵝羽，不欲如鹽。 黑欲如重漆，不欲如炭。 黃欲如羅裹 雄黃，不欲如黃土。

診五臟六腑氣絕証候第十一

病患肝絕，八日死，何以知之？面青但欲伏眠，目視不見人，汗（一作泣）出如水不止。

（一曰、二日死。） 病患膽絕，七日死，何以知之？眉為之傾。 病患筋絕，九日死，何 以知之？手足爪甲青，呼罵不休。（一曰：八日死。） 病患心絕，一日死，何以知之？肩息回 視立死。（一曰：目亭亭二日死。） 病患腸（云小腸）絕，六日死，何以知之？發直如干麻，不得屈伸，自汗不止。 病患脾絕，十二日死，何以知之？口冷足腫，腹熱臚脹、泄利不覺，出無時度（一曰：五日死。） 病患胃絕，五日死，何以知之？脊痛，腰中重，不可反複。（一曰：腓腸平九日死。） 病患肉絕，六日死，何以知之？耳干舌腫，溺血，大便赤泄。（一曰：

足腫九日死。） 病患肺絕，三日死，何以知之？口張，但氣出而不還。（一曰：鼻口虛張短 氣。） 病患大腸絕，不治，何以知之？泄利無度，利絕則死。 病患腎絕，四日死，何以知之？齒為暴枯，面為正黑，目中黃色，腰中欲折，自汗出如流水。（一曰：人中平七日死。

）病患骨絕，齒黃落，十日死。 諸浮脈無根者皆死，以上五臟六腑為根也。

診四時相反脈第十二

春三月木旺，肝脈治當先至，心脈次之，肺脈次之，腎脈次之，此為王相順脈也。 到 六月土旺，脾脈當先至而反不至，反得腎脈，此為腎反脾也，七十日死。何謂腎反脾？夏火 旺，心脈當先至，肺脈次之，而反得腎脈，是謂腎反脾。期五月、六月，忌丙丁。 脾反肝，三十日死。何謂脾反肝？春肝脈當先至，而反不至，脾脈先至，是謂脾反肝。期正月、二月，忌甲乙。 腎反肝，三歲死。何謂腎反肝？春肝脈當先至，而反不至，腎脈先至，是謂 腎反肝。期七月、八月，忌庚辛。 腎反心，二歲死。何謂腎反心？夏心脈當先至，而反不至，腎脈先至，是謂腎反心。期六月，忌戊己。

此中不論肺金之氣，疏略未諭，指南又推五行，亦頗顛倒，待求別錄上。

凡療病，察其形貌、神氣、色澤、脈之盛衰，病之新故，乃可治之。 形氣相得，色澤 以浮，脈從四時，此為易治。 形氣相失，色夭不澤，脈實堅甚，脈逆四時，此為難治。

逆四時者，春得肺脈，夏得腎脈，秋得心脈，冬得脾脈，其至皆懸絕泚者，曰逆。 春 夏沉泚，秋冬浮大，病熱，脈靜泄痢，脈大脫血，脈實病在中，脈堅實病在外，脈不實，名 逆四時，皆難療也。 凡四時脈皆以胃氣為本，雖有四時王相之脈，無胃氣者難瘥也。何為胃氣？脈來弱而滑者是也，命曰易治。

診脈動止投數疏數死期年月第十三

脈一動一止，二日死。（一《經》云：一日死。） 脈二動一止，三日死。 脈三動一止，四日死，或五日死。 脈四動一止，六日死。 脈五動一止，七日死，或五日死。 脈六動 一止，八日死。脈七動一止，九日死。 脈八動一止，十日死。 脈九動一止，九日死。又云：十一日死。（一《經》云：十三日死，或立春死。） 脈十動一止，立春死。（一《經》 云：立夏死。） 脈十一動一止，立夏死。（一《經》云：夏至死。又云：立秋死。） 脈十二動、十三動一止，立秋死。（一《經》云：立冬死。） 脈十四動、十五動一止，立冬死。

（一《經》云：立夏死。） 脈二十動一止，一歲死，或立秋死。 脈二十一動一止，二歲 死。 脈二十五動一止，二歲死。（一《經》云：一歲死。又云：立冬死。） 脈三十動一止，二歲死，或三歲死。 脈三十五動一止，三歲死。 脈四十動一止，四歲死。 脈五十動一止，五歲死。 不滿五十動一止，五歲死。 五行氣畢，陰陽數同，榮衛出入，經脈通流，晝夜百刻，五德相生。脈來五十投而不止者，五臟皆受氣，即無病也。 脈來四十投而一止 者，一臟無氣，卻後四歲春草生而死。 脈來三十投而一止者，二臟無氣，卻後三歲麥熟時 而死。脈來二十投而一止者，三臟無氣，卻後二歲桑椹赤而死。 脈來十投而一止者，四臟無氣，歲中死，得節不動，出清明死，遠不出谷雨死矣。 脈來五動而一止者，五臟無氣，卻後五日而死。 脈一來而久住者，宿病在心，主中治。 脈二來而久住者，病在肝，枝中

治。脈三來而久住者，病在脾，下中治。 脈四來而久住者，病在腎，間中治。脈五來而久 住者，病在肺，枝中治。 五臟病，虛盛人可治，氣全故也。

扁鵲診諸反逆死脈要訣第十四

扁鵲曰：夫相死脈之氣，如群鳥之聚，一馬之馭，系水交馳之狀，如懸石之落，出筋之上，藏筋之下，堅關之裡，不在榮衛，伺候交射不可知也。 脈病患不病，脈來如屋漏、雀 啄者死。（屋漏者，其來即絕而止。時複起而不相聯續也。雀啄者，脈來數而疾絕止，複頓 來也。）又《經》言：得病七八日，脈如屋漏、雀啄者死。（脈彈人手，如黍米也。）脈來如彈石，去如解索者死。（彈石者，辟辟急也。解索者，動數而隨散亂，無複次緒也。） 脈困，病患脈如蝦之游，如魚之翔者死。（蝦游者，苒苒而起，尋複退沒不知所在，久乃複起，起輒遲而沒去速也。魚翔者，似魚不行，而但掉尾動頭身搖，而久住者是也。） 脈如懸薄卷 索者死，脈如轉豆者死，脈如偃刀者死，脈涌涌不去者死。 脈忽去忽來，暫止複來者死，脈中侈者死，脈分絕者死。（上下分散也。） 脈有表無裡者死，《經》名曰：結，去即死。

何為結？脈在指下如麻子動搖，屬腎，名曰結，去死近也。 脈五來不複增減者死，《經》名曰：代。何謂代？脈五來一止也。脈七來是人一息，半時不複增減，亦名曰：代。正死不疑。《經》言：病或有死，或有不治自愈，或有連年月不已，其死生存亡，可切脈而知之耶。設病者閉目不欲見人，脈當得肝脈，弦急而長。若反得肺脈浮短而泚者死。 病若開目而渴，心下牢者，脈當得緊實而數，反得沉滑而微者死。 病吐血鼽衄者，脈當得沉細，而反得浮大牢者死。 病若譫言妄語，身當有熱，脈當洪大，而反得手足四逆，脈反沉細微者死奈何？然病若頭痛目痛，脈反短泚者死。 病若腹痛，脈反浮大而長者死。 病腹脈反沉而滑利者死。病四肢厥逆，脈反浮大而短者死。 病耳聾，脈反浮大而泚 云：脈大者生，沉細遲者難治。） 病目□□，脈反大而緩者死。 左有病 右有病而左痛，下有病而上痛，上有病而下痛，此為逆。逆者死，不可治。脈來微細而絕者，人病當死。 脈來沉而絕濡，浮而不止推手者，半月死。（一作半日。） 人病脈不病者生。 脈 病患

不病者死。 人病尸厥，呼之不應，脈絕者死。 脈當大反小者死。 肥人脈細小如絲 欲絕者死。羸人脈躁者死。 人身澀而脈來往滑者死。人身滑而脈來往澀者死。 人身小而脈往來大者死。 人身大而脈來往小者死。 人身短而脈來往長者死。 人身長而脈來往短 者死。 尺脈上應寸口太遲者半日死。（《脈經》云：尺脈不應寸時如馳，半日死。） 診五臟六腑十二經脈皆有相反，有一反逆，即為死候也。

診百病死生要訣第十五

凡診脈，當視其人大小短長，及性氣緩急，脈之遲速大小長短，皆如其人形性者吉，反 之者凶。 診傷寒熱盛，脈浮大者生，沉小者死。 傷寒己得汗，脈沉小者生，浮大者死。

溫病三四日以下不得汗，脈大疾者生，脈細小難得者死，不治。 溫病時行大熱，其脈細 小者死。（《脈經》云：時行作穰穰。） 溫病下利，腹中痛甚者死，不治。 溫病汗不出，出不至足者死。 厥逆汗出，脈堅強急者生，虛緩者死。 熱病二三日，身體熱，腹滿頭痛，食飲如故，脈直而疾者，八日死。 四五日頭痛腹痛而吐，脈來細強，十二日死。 八九日頭不疼，身不痛，目不赤，色不變，而反利，脈來牒牒，按之不彈手時大，心下堅，十七日死。 熱病七八日，脈不軟（一作喘）不散（一作數者），當喑，喑後三日汗不出者死。 熱 病七八日，其脈微細，小便不利，加暴口燥、脈代、舌焦枯黑者死。 熱病未得汗，脈盛躁疾，得汗者生，不得汗者難瘥。熱病已得汗，脈靜安者生，脈躁者難治。熱病脈躁盛而不得汗者，此陽氣之極也，十死不治。 熱病已得汗，脈常躁盛，此陰氣之極也，亦死。（《太素》作 陽極。） 熱病已得汗，常大熱不去者，亦死。（大，一作專。） 熱病已得汗，熱未去，脈 微躁者，慎不得刺治也。 熱病發熱甚者，其脈陰陽皆竭，慎勿刺，不汗出，必下利。 診 人被風不仁瘚蹶，其脈虛者生。（《巢氏病源》云：虛數者生。）堅急疾者死。 診癲病，虛則可治，實則死。又云：脈實堅者生，脈沉細小者死。 癲病脈搏大滑者，久久自已，其脈 沉小急實，不可治，小堅急亦不可療。 診頭痛目痛，久視（一作卒視）無所見者死。 診 人心腹積聚，其脈堅強急者生，虛弱者死。又實強者生，沉者死。 其脈大，腹大脹，四肢逆 冷，其人脈形長者死。 腹脹滿便血，脈大時絕極下血，脈小疾者死。 心腹痛，痛不得息，脈細小遲者生，堅大疾者死。 腸 便血，身熱則死，寒則生。 腸下白沫，脈沉則生，浮則死。 腸 下膿血，脈懸絕則死，滑大則生。 腸 之屬身熱，脈不懸絕滑大者生，弦澀者死，以臟期之。 腸 下膿血，脈沉小流連者生，數疾且大有熱者死。 腸 筋攣，脈 小細安靜者生，脈浮大緊者死。 洞泄，食不化，下膿血，脈微小者生，緊急者死。泄注，脈緩時小結者生，浮大數者死。 蝕陰痓，其脈虛小者生，緊急者死。 咳嗽脈沉緊者死，浮直者生。浮軟者生，小沉伏匿者死。 咳嗽羸瘦，脈形堅大者死。 咳脫形發熱，脈小堅 急者死。 肌瘦下脫形，熱不去者死。 咳而嘔，腹脹且泄，脈弦急欲絕者死。 吐血、衄 血，脈滑小弱者生，實大者死。汗出若衄，脈小滑者生，大躁者死。 唾血，脈緊強者死，滑者生。 吐血而咳上氣，其脈數有熱，不得臥者死。 傷寒家咳而上氣，脈數散者死。謂 其人形損故也。 上氣喘息低昂，脈滑，手足溫者生，脈澀，四肢寒者死。 上氣面浮腫肩 息，其脈大不可治，加利必死。（一作又甚。） 上氣注液，其脈虛寧寧伏匿者生，堅強者死。

寒氣上攻，脈實而順滑則生，實而逆澀則死。（《太素》云：寒氣暴上，脈滿實，何如？曰：

實而滑則生，實而逆則死。其形盡滿何如？曰：舉形盡滿者，脈急大堅，尺滿而不應，如是者，順則生，逆則死。何為順則生，逆則死？曰：所謂順者，手足溫也。所謂逆者，手足寒 也。） 消渴脈數大者生，細小浮短者死。 癉，脈實大，病久可治，弦小堅急，病久不可治 病脹閉，其脈浮大軟者生，沉細虛小者死。 水病腹大如鼓，脈實者生，虛者死。 卒中惡，吐血數升，脈浮大疾快者生，沉細數者死。 卒中惡，腹大四肢滿，脈大而緩者生，浮 而緊者死，緊細而微者亦生。 病瘡，腰脊強急瘈瘲 者，皆不可治。 寒熱瘈瘲，其者死。 金瘡血出太多，其脈虛細者生，數實大者死。 金瘡出血，脈沉小者生，浮大者死。

斫瘡出血一二石，脈來大者，二十日死。 斫刺俱有病多少血出不自止斷者，脈止脈來大者，七日死。 從高頓仆，內有血，腹脹滿，其脈堅強者生，小弱者死。 人為百藥所中傷，脈 洪大而速(《脈經》作遲)者生，微細者死。 人病甚而脈不調者，難瘥。 人病甚而脈洪 者，易瘥。 人陰陽俱結者，見其上齒如熟小豆，其脈躁者死。(結一作竭。) 人內外俱虛，身體冷而汗出，微嘔煩擾，手足厥逆，體不得安靜者死。 脈實滿，手足寒頭熱，春秋生，冬夏死。 老人脈微，陽羸陰強者生，脈焱大加息者死。陰弱陽強，脈至而代，奇月而死。尺 脈澀而堅，為血實氣虛，其病腹痛逆滿，氣上行，此為婦人胞中絕傷，有惡血，久成結瘕，得病以冬時，黍 赤而死。 尺脈細而微者，血氣俱不足，細而有力者，是穀氣不足，病得節輒動，棗葉生而死，此病秋時得之。 左手寸口脈偏動，乍大乍小不齊，從寸口至關，關 至尺三部之位，處處動搖，各異不同，其人病在仲夏得之，此脈桃花落而死。(花一作葉。) 右 手寸口脈偏沉伏，乍小乍大，朝來浮大，暮夜沉伏。浮大即太過，上出魚際。沉伏即下不至關中，往來無常，時時複來者，榆葉(一作莢)落而死。 右手尺部脈三十動一止，有頃更 還，二十動而一止，止而複來，來逆如循直木，如循張弓弦， 然如兩人共引一索者，至立春而死。(《脈經》作立冬死。)

診三部脈虛實決死生第十六

凡三部脈大都欲等，只如小人、細人、婦人脈小軟，小兒四五歲者，脈呼吸八至細數吉。(《千金翼》云：人大而脈細，人細而脈大。人樂而脈實，人苦而脈虛，性急而脈緩，性 緩而脈躁，人壯而脈細，人羸而脈大，此皆為逆，逆則難治，反此為順，順則易治。凡婦人脈欲常濡弱於丈夫，小兒四五歲者，脈自快疾，呼吸八至也。)三部脈或至或不至，冷氣在胃中，故令脈不通。 三部脈虛，其人長病得之死。虛而澀，長病亦死。虛而滑亦死，虛而緩亦死，虛而弦急，癲病亦死。 三部脈實而長，長病得之死，實而滑，長病得之生，卒病得之部脈羸非其人，病得之死。 三部脈粗，長病得之死，卒病得之生。 三部脈細而軟，長 病得之生。細而數亦生，微而緊亦生。 三部脈微而伏，長病得之死。 三部脈軟，長病得之不治自愈，治之反死，卒病得之生。 三部脈浮而結，長病得之死。 三部脈芤，長病得之生。 三部脈弦而數，長病得之生，卒病得之死。三部脈革，長病得之死，卒病得之生。

三部脈堅而數如銀釵股，蠱毒必死。數而軟，蠱毒病得之生。 三部脈 如羹上肥，長病 得之死，卒病得之生。 三部脈連連如蜘蛛絲，長病得之死，卒病得之生。 三部脈如霹靂，長病得之死。 三部脈如角弓，長病得之死。 三部脈累累如貫珠，長病得之死。 三部脈 如水淹然流，長病不治自愈，治之反死。 三部脈如屋漏，長病十四日死。(《脈經》云：

十日死。) 三部脈如雀啄，長病七日死。 三部脈如釜中湯沸，朝得暮死，夜半得日中死，日中得夜半死。三部脈急切，腹間病，又

備急千金要方 卷二十九 針灸上

唐 孫思邈

(凡七類)

明堂三人圖第一

（仰人十四門伏人十門 側人六門）夫病源所起，本於臟腑，臟腑之脈，並出手足，循環腹背，無所不至，往來出沒，難以測量，將欲指取其穴，非圖莫可預備之要。非灸不精，故《經》曰：湯藥攻其內，針灸攻其外，則病無所逃矣。方知針灸之功，過半於湯藥矣。然去聖久遠，學徒蒙昧，孔穴出入，莫測經源，濟弱扶危，臨事多惑。余慨其不逮，聊因暇隙鳩集今古名醫《明堂》，以述針灸經一篇，用補私闕，庶依圖知穴，按經識分，則孔穴親疏，居然可見矣。舊《明堂》圖年代久遠，傳寫錯誤，不足指南。今一依甄權等新撰為定云爾。若依《明堂》正經人，是七尺六寸四分之身，今半之為圖，人身長三尺八寸二分。其孔穴相去亦皆半之。以五分為寸，其尺用夏家古尺，司馬六尺為步，即江淮吳越所用八寸小尺是也。其十二經脈，五色作之，奇經八脈以綠色為之，三人孔穴共六百五十穴，圖之於後亦睹之便令了然。仰人二百八十二穴，背人一百九十四穴，側人一百七十四穴，穴名共三百四十九，單穴四十八名，雙穴三百一名。

仰人明堂圖（四門 一百五十七穴內三十二穴單，一百二十五穴雙）

仰人頭面三十六穴遠近法第二

頭部中行，上星，在顱上直鼻中央，入發際一寸陷容豆。 囟會，在上星後一寸陷者在頭上去上星旁一寸半。承光，在五處後一寸，不灸。（一本言：一寸半。） 頭第三行，臨泣，在目上 直上入發際五分陷者中。 目窗，在臨泣後一寸。 正營，在目窗後一寸。 正面部中行，神庭，在發際直鼻，不刺。 素，在鼻柱端。 水溝，在鼻下人中。 兌端，在唇上端。 齦交，在唇內齒上齦縫。 承漿，在頤前下唇之下。廉泉，在頷下結喉上舌本。

面部第二行，曲差，挾神庭旁一寸半，在發際。攢竹，在眉頭陷中。 精明，在目內 外。

巨，挾鼻旁八分直瞳子。 迎香，在禾 上一寸鼻孔旁。 禾，在鼻孔下挾水溝旁五分。

面部第三行，陽白，在眉上一寸直瞳子。 承泣，在目下七分直瞳子，不灸。 四白，在目下一寸。 地倉，挾口旁四分。 大迎，在曲頷前一寸二分骨陷中動脈。 面部第四行，本 神，挾曲差旁一寸半，在發際。（一云：直耳上，入發際四分。） 絲竹空，在眉後陷中，不灸。 瞳子，在目外去 五分，（一名太陽，一名前關。） 面部第五行，頭維，在額角發際本神旁一寸半，不灸。 顴，在面鼽骨下下廉陷中。 上關，在耳前上廉起骨開口取之。

一名客主人。 下關，在客主人下耳前動脈下空下廉，合口有空，張口則閉。 頰車，在耳 下曲頰端陷者中。

天突，在頸結喉下五寸宛宛中。 璇璣，在天突下一寸陷中，仰而取之。 華蓋，在璇 璣下一寸陷中，仰而取之。 紫宮，在華蓋下一寸六分陷中，仰而取之。 玉堂，在紫宮下一寸六分陷中。 膻中，在玉堂下一寸六分橫直兩乳間。 中庭，在膻中下一寸六

胸博第二行六穴遠近法第三

俞府，在巨骨下去璇璣旁各二寸陷者中，仰而取之。 中，在俞府下一寸六分陷中，仰臥取之。 神藏，在中下一寸六分陷中，仰臥取之。靈墟，在神藏下一寸六分陷中，仰臥取之。（墟，或作牆。） 神封，在靈墟下一寸六分。 步廊，在神封下一寸六分陷中，仰而取之。

胸博第三行六穴遠近法第四

氣戶，在巨骨下挾俞府兩旁各二寸陷中，仰而取之。 庫房，在氣戶下一寸六分陷中，仰而取之。 屋翳，在庫房下一寸六分陷中，仰而取之。 膺窗，在屋翳下一寸六分。乳中，禁不灸刺。 乳根，在乳下一寸六分陷中，仰而取之。

胸博第四行六穴遠近法第五

雲門，在巨骨下挾氣戶兩旁各二寸陷中動脈，應手舉臂取之。 中府，在雲門下一寸。

（又云：一寸六分。）乳上三肋間動脈，應手陷中。 周榮，在中府下一寸六分陷中，仰而取之取之。 食竇，在天溪下一寸六分陷中，舉臂取之。

腹中第一行十四穴遠近法第六

鳩尾，在臆前蔽骨下五分，不可灸刺。 巨闕，在鳩尾下一寸。 上脘，在巨闕下一寸 去蔽骨三寸。 中脘，在上脘下一寸。 建裡，在中脘下一寸。 下脘，在建裡下一寸。 水 分，在下脘下一寸，臍上一寸。 臍中，禁刺。 陰交，在臍下一寸。 氣海，在臍下一寸 半。 石門，在臍下二寸，女子不灸。 關元，在臍下三寸。 中極，在臍下四寸。 曲骨，在橫骨之上，中極下一寸，毛際陷中。

腹第二行十一穴遠近法第七

幽門，在巨闕旁半寸陷中。（又心臟卷云：挾巨闕兩邊相去各一寸。） 通谷，在幽門 下一寸。陰都，在通谷下一寸。 石關，在陰都下一寸，（一名石闕。） 商曲，在石關下一寸，（一名高曲。） 肓俞，在商曲下一寸直臍旁各五分。 中注，在肓俞下五分。 四滿，在中注下一寸。（肺臟卷云：挾丹田。） 氣穴，在四滿下一寸。（《婦人方》上卷云：在關 元左邊二寸是。右邊二寸，名子戶。） 大赫，在氣穴下一寸。（腎臟卷云：在屈骨端三寸。） 橫骨，在大赫下一寸。（腎臟卷云：名屈骨，在陰上橫骨中央宛曲，和卻月中央是。）

腹第三行十二穴遠近法第八

不容，在幽門旁各一寸五分，去任脈二寸，直四肋端，相去四寸， 承滿，在不容下一寸。 梁門，在承滿下一寸。 關門，在梁門下一寸，太一上。 太一，在關門下一寸。 滑 肉門，在太一下一寸。 天樞，一名長溪，去肓俞一寸半，直臍旁二寸。（脾臟卷云：名長 谷，挾臍相去五寸。一名循際。） 外陵，在天樞下半寸，大巨上。 大巨，在臍下一寸，兩旁各二寸，長溪下二寸。 水道，在大巨下三寸。 歸來，在水道下二寸。（《外台》作 三寸。） 氣沖，在歸來下，鼠鼷上一寸。

腹第四行七穴遠近法第九

期門，在第二肋端，不容旁各一寸半，上直兩乳。 日月，在期門下五分。 腹哀，在日月下一寸半。 大橫，在腹哀下二寸，直臍旁。（《甲乙》云：三寸。） 腹結，在大橫下一寸三分。 府舍，在腹結下三寸。 沖門，上去大橫五寸，在府舍下，橫骨兩端約

手太陰肺經十穴第十

少商，在手大指端內側，去爪甲角，如韭葉。 魚際，在手大指本節後內側散脈中。

大泉，在手掌後陷者中。（此即太淵也。避唐祖名，當時改正，今存此名不改，恐後人將為別是一穴。）經渠，在寸口陷者中，不可灸。 列缺，在腕上一寸半，手太陰絡別走陽明。 孔 最，在腕上七寸，手太陰 也。 尺澤，在肘中，約上動脈。 俠白，在天府下，去肘五寸 動脈。 天府，在腋下三寸，不灸。 會，在臂前廉，去肩頭三寸。（《甲乙經》云：此穴在肩部。《外台》屬大腸。《銅人經》屬三焦。）

手厥陰心主經八穴第十一

中沖，在手中指端，去爪甲如韭葉陷者中。 勞宮，在掌中央動脈。 大陵，在掌後 兩骨間。 內關，在掌後，去腕二寸，（《外台》作五寸。）手心主絡別走少陽。 間使，在掌後三寸兩筋間。 門，在掌後，去腕五寸。（《外台》云：去內關五寸，手厥陰 也。） 曲澤，在肘內廉下陷者中，屈肘得之。 天泉，在腋下二寸，舉腋取之。

手少陰心經八穴第十二

少沖，在手小指內廉之端，去爪甲如韭葉。 少府，在手小指大節後陷者中，直勞宮。

（大節，一作本節。） 神門，在掌後銳骨端陷者中。 陰，在掌後動脈中，去腕半寸，手 少陰 也。 通裡，在腕後一寸，手少陰絡別走太陽。 靈道，在掌後一寸半。少海，在肘 內廉節後陷中。 極泉，在腋下筋間動脈入骨。

足太陰脾經十一穴第十三

隱白，在足大趾端內側，去爪甲如韭葉。

大都，在足大趾內本節後陷中。（肝臟卷云：在足大趾本節內側白肉際。） 太白，在足大趾內側，核骨下陷中。 公孫，在足大趾本節後一寸，足太陰絡別走陽明。 商丘，在足內踝下微前陷中。 三陰交，在內踝上八寸，骨下陷中。 漏谷，在內踝上六寸，骨下陷中，太陰絡。（《銅人經》云：亦名太陰絡。） 地機，一名脾舍，在膝下五寸，足太陰 也。

陰陵泉，在膝下內側，輔骨下陷者中，伸足得之。 血海，在膝臏上內廉白肉際二寸半。（一作三寸。） 箕門，在魚腹上筋間，動應手陰市內。

足陽明胃經十五穴第十四

厲兌，在足大趾、次趾之端，去爪甲角如韭葉。 內庭，在足大趾次趾外間。 陷谷，在足大趾、次趾外間本節後，去內庭二寸。沖陽，在足跗上五寸骨間，去陷谷三寸。（一云 二寸。） 解溪，在沖陽後一寸半。 豐隆，在外踝上八寸，足陽明絡別走太陰。 下廉，一名下巨虛，在上廉下三寸。 條口，在下廉上一寸。 三裡，在膝下三寸， 骨外。 巨 虛上廉，在三裡下三寸。 犢鼻，在膝臏下 上，挾解大筋中。 陰市，一名陰鼎，在膝上三寸，伏兔下。 伏兔，在膝上六寸，不灸。髀關，在膝上伏兔後交分中。 梁丘，在膝上二寸兩筋間（或云三寸），足陽明 也。

伏人明堂圖(十門一百五穴內十六穴單，八十九穴雙)

伏人頭上第一行五穴遠近法第一

後頂，在百會後一寸半。 強間，在後頂後一寸半。 腦戶，在枕骨上，強間後一寸 半，不灸。 風府，在項後入發際一寸，大筋內宛宛中。不灸。 喑門，在項後發際宛宛中。不灸。

頭上第二行三穴遠近法第二

玉枕，在絡卻後七分半，挾腦戶旁一寸三分，起肉枕骨上，入發際三寸。 絡卻，在通天後一寸半。 天柱，挾項，後發際大筋外廉陷者中。

頭上第三行三穴遠近法第三

風池，在顳 後發際陷中。 承靈，在正營後一寸半。 腦空，在承靈後一寸半，挾 玉枕旁，枕骨下陷中，一名顳 。

伏人耳後六穴遠近法第四

顱息，在耳後青脈間。 瘈瘲脈，在耳本雞足青脈。不灸。 完骨，在耳後入發際四分。 竅 陰，在完骨上枕骨下。 浮白，在耳後入發際一寸。 翳風，在耳後陷中，按之

脊中第一行十一穴遠近法第五

大椎，在第一椎上陷中。 陶道，在大椎下節間。 身柱，在第三椎下節間。 神道，在第五椎下節間。 至陽，在第七椎下節間。 筋縮，在第九椎下筋間。 脊中，在第十一椎下節間。不灸。 懸樞，在第十三椎下節間。 命門，在第十四椎下節間。 腰俞，在第 二十一椎下節間。 長強，在脊 端。

脊中第二行二十一穴遠近法第六

大杼，在項後第一椎下，兩旁各一寸半陷中。 風門，一名：熱府，在第二椎下，兩旁各一寸半。 肺俞，在第三椎下，兩旁各一寸半，對乳引繩度之。 心俞，在第五椎下，兩旁各一寸半。 膈俞，在第七椎下，兩旁各一寸半。 肝俞，在第九椎下，兩旁各一寸半。

(一云：在椎節中。) 膽俞，在第十椎下，兩旁各一寸半。 脾俞，在第十一椎下，兩旁 各一寸半。脾俞無定所，隨四季月應病，即灸藏輸是脾穴。 胃俞，在第十二椎下，兩旁各一寸半。 三焦俞，在第十三椎下，兩旁各一寸半。 腎俞，在第十四椎下，兩旁各一寸半。 大腸俞，在第十六椎下，兩旁各一寸半。 小腸俞，在第十八椎下，兩旁各一寸半。 膀胱俞，在第十九椎下，兩旁各一寸半。 中膂俞，在第二十椎下，兩旁各一寸半。 白環俞，在第 二十一椎下，兩旁各一寸半。 上，在第一空，腰髁下一寸，挾脊兩旁。 次，在第二空，挾脊陷中。 中，在第三空，挾脊陷中。 下，在第四空，挾脊陷中。 會陽，在陰尾骨兩旁。

脊中第三行十三穴遠近法第七

附分，在第二椎下，附項內廉兩旁各三寸。 魄戶，在第三椎下，兩旁各三寸。 神堂，在第五椎下，兩旁各三寸。，在肩膊內廉，挾第六椎下，兩旁各三寸。 膈關，在第七椎下，兩旁各三寸。 魂門，在第九椎下，兩

旁各三寸。(《外台》作十椎下。) 陽綱，在第十椎下，兩旁各三寸。(《外台》作十一椎。) 意舍，在第十一椎下，兩旁各三寸。

(《外台》作九椎下。) 胃倉，在第十二椎下，兩旁各三寸。 肓門，在第十三椎下，兩旁 各三寸。 志室，在第十四椎下，兩旁各三寸。 胞肓，在第十九椎下，兩旁各三寸。秩邊，在第二十一椎下，兩旁各三寸。

手少陽三焦經十七穴遠近法第八

關沖，在手小指、次指之端，去爪甲角如韭葉。 液門，在手小指、次指間陷者中。

中渚，在小指，次指本節後間陷者中。 陽池，在手表腕上陷者中。 外關，在腕後二寸 陷中，手少陽絡別走心主。 支溝，在腕後三寸，兩骨間陷者中。 會宗，在腕後三寸空中，手少陽 也。 三陽絡，在臂上大交脈支溝上一寸。不刺。 四瀆，在肘前五寸，外廉陷者中。 天井，在肘後外大骨後一寸，兩筋間陷者中，屈肘得之。 清冷泉，在肘上三寸，伸 肘舉臂取之。(泉，一作淵。) 消濼，在肩下臂外，開腋斜肘分下行。 天宗，在秉風後大骨下陷者中。(《外台》屬小腸經。) 俞，挾肩 後大骨下胛上廉陷下。 肩外俞，在肩 胛上廉，去脊三寸陷者中。 肩中俞，在肩胛內廉，去脊二寸陷者中。 曲垣，在肩中央曲 胛陷者中，按之應手痛。

手太陽小腸經九穴遠近法第九

少澤，在手小指端外側，去爪甲一分陷中。 前谷，在手小指外側本節前陷中。後溪，在手小指外側本節後陷中。 腕骨，在手外側腕前，起骨下陷中。 陽谷，在手外側腕中，銳骨之下陷中。 養老，在手踝骨上一空，在後一寸陷中，手太陽 也。 支正，在五寸，手太陽絡別走少陰。 小海，在肘內大骨外，去肘端五分。 肩貞，在肩曲胛下，兩骨解間，肩 後陷中。(《外台》在三焦經。)

足太陽膀胱經十七穴遠近法第十

至陰，在足小趾外側，去爪甲角如韭葉。通谷，在足小趾外側，本節前陷中。 束骨，在足小趾外側，本節後陷中。 京骨，在足外側，大骨下赤白肉際陷中。 申脈，陽蹻所生，在外踝下陷中，容爪甲。 金門，在足外踝下陷中。一名：關梁。足太陰 也。 仆參，一名：安耶，在足跟骨下陷中。昆侖，在足外踝後，跟骨上陷中。 承山，一名：魚腹，一名 傷山，一名肉柱。在兌 腸下分肉間陷者中。 飛揚，一名：厥陽，在外踝上七寸。足太陽絡別走少陽。 承筋，一名 腸，一名直腸。在腘後，從腳跟上七寸， 中央陷中。不刺。 合 陽，在膝約中央下三寸。 委中，在 中央，約紋中動脈。 委陽，在足太陽之前，少陽之後，出於 中，外廉兩筋間，扶承下六寸。 浮，在委陽上一寸，展足得之。 扶承，一名肉，一名陰關，一名皮部。在尻臀下股陰下紋中。(一云：尻臀下橫紋中。) 殷門，在肉下六寸。

側人明堂圖(六門共八十七穴雙)

側人耳頸二十穴遠近法第一

頷厭：在曲周顬 上廉。 懸顱，在曲周顬 中。 懸厘，在曲周顬 下廉。 天沖，在耳上如前三寸。 率谷，在耳上入發際一寸半。 曲鬢，在耳上發際曲隅陷中。 角 孫，在耳廊中間，開口有空。 和，在耳前兌發下動脈。 耳門，在耳前起肉當耳缺。 聽 會，在耳前陷中，張口得之。 聽宮，在耳中，珠子大如赤小豆。 天容，在耳下曲頰後。 天牖，在頸筋缺盆上，天容後，天柱前，完骨下，發際上一寸。 缺盆，在肩上橫骨陷中。 扶 突，在氣舍後一寸半。 天窗，在曲頰下扶突後，動應手陷中。 天鼎，在頸缺盆直扶突曲 頰下一寸，人

迎後。 人迎，在頸大脈應手，挾結喉旁，以候五臟氣。不灸。 水突，在頸 大筋前，直人迎下，氣舍上。（一本水突在曲頰下一寸近後。） 氣舍，在頸直人迎挾天突 陷中。

側脅十穴遠近法第二

章門，一名：長平，在大橫紋外，直臍季肋端。 京門，在監骨腰中季肋本挾脊。

帶脈，在季肋下一寸八分。 五樞，在帶脈下三寸。一云：在水道下一寸半。 維道，在章 門下五寸三分。居，在長平下八寸三分，監骨上。 泉腋，在腋下三寸宛宛中，舉臂得之。（中風卷云：腋門在腋下攢毛中。一名泉腋，即淵腋是也。） 大包，在泉腋下三寸。 輒 筋，在腋下三寸，複前行一寸著脅。 天池，在乳後一寸，腋下著肋直腋撅肋

側人手陽明大腸經二十穴遠近法第三

商陽，在手大指，次指內側，去爪甲角如韭葉。 二間，在手大指、次指本節前內側 陷者中。 三間，在手大指、次指本節後內側陷者中。 合谷，在手大指、次指歧骨間。 陽溪，在腕中上側，兩筋間陷中。 偏歷，在腕後三寸，手陽明絡別走太陰。 溫溜，在腕後 小士五寸，大士六寸，手陽明 也。 下廉，在輔骨下，去上廉一寸。 上廉，在三裡下一寸。 三裡，在曲池下二寸，按之肉起，兌肉之端。 曲池，在肘後轉屈肘曲骨之中。 肘，在肘大骨外廉陷中。 五裡，在肘上行向裡大脈中，不刺。 臂，在肘上七寸 肉端。

肩，在肩端 上，斜舉臂取之。 秉風，挾天 外，肩上，後舉臂有空。 肩井，在肩 上陷解中缺盆上大骨前。天，在肩缺盆中，上缺骨之際陷者中。 肩，在肩端兩骨間。

（脈極篇云：在肩外頭近後，以手按之在解宛宛中。《外台》名扁骨。） 巨骨，在肩端上行，兩叉骨間陷中。

足少陽膽經十五穴遠近法第四

竅陰，在足小趾、次趾之端，去爪甲如韭葉。（前伏人門，耳後穴，一名竅陰。） 俠 溪，在足小趾、次趾歧間本節前。 地五會，在足小趾、次趾本節後。不灸。 臨泣，在足小趾本節後間陷中，去俠溪一寸半。 丘墟，在足外踝，如前陷者中，去臨泣三寸。 付陽，在外踝上三寸，太陽前少陽後筋骨間。 懸鐘，一名：絕骨，在外踝上三寸動者中，足三陽絡。陽輔，在外踝上，輔骨前，絕骨端三分，去丘墟七寸。 光明，在足外踝上五寸，足少陽絡別走厥陰。 外丘，在外踝上七寸，足少陽 也。少陽所生。 陽交，一名別陽，一名 足陽維，在外踝上七寸，斜屬三陽分肉間。（一本云：踝上三寸。） 陽陵泉，在膝下一寸，外廉陷中。 關陽，在陽陵泉上三寸，犢鼻外。（一本云：關陵。） 中瀆，在髀骨外，膝上五寸分肉間。 環跳，在髀樞中。

足厥陰肝經十一穴遠近法第五

大敦，在足大趾端，去爪甲如韭葉及三毛中。 行間，在足大趾間動應手陷中。 太沖，在足大趾本節後二寸。（或云：一寸半陷中。）中封，在足內踝前一寸，仰足取之，伸足乃 得。蠡溝，在足內踝上五寸，足厥陰絡別走少陽。中，在內踝上七寸 骨中，與少陰相值。一名中都。 膝關，在犢鼻下三寸陷中，足厥陰 也。（《甲乙》《銅人經》云：二寸。《甲 乙》又以中 為厥陰 。） 曲泉，在膝輔骨下，大筋上小筋下陷中，屈膝乃得。陰包，在膝上四寸，股內廉，兩筋間。 五裡，在陰廉下二寸。 陰廉，在羊矢下，去氣沖二寸動 脈。

足少陰腎經十一穴遠近法第六

涌泉，一名地沖，在足心陷中，屈足卷趾宛宛中。（肝臟卷云：在腳心大趾下大筋。）然　谷，一名：龍泉，在足內踝前，起大骨下陷者中。（《婦人方》上卷云：在內踝前直下一寸。）　太溪，在足內踝後跟骨上，動脈陷中。　大鐘，在足跟後沖中，足少陰絡別走太陽。水泉，在大溪下一寸，內踝下，足少陰　也。　照海，陰蹻脈所生，在足內踝下。　複溜，一名：

昌陽，一名：伏白，在足內踝上二寸陷中。交信，在內踝上二寸，少陰前，太陰後廉，筋骨間。　築賓，在內踝上　分中。　陰谷，在膝內輔骨之後，大筋之下，小筋之上，按之應手，屈膝得之。　會陰，一名屏翳，在大便前小便後，兩陰間。

手三陰三陽穴流注法第二（上）

凡孔穴所出為井。所流為滎。所注為輸。所過為源。所行為經。所入為合。

灸刺大法：春取滎。夏取輸。季夏取經。秋取合。冬取井。

肺，出少商為井，手太陰脈也。流於魚際為滎，注於大泉為輸，過於列缺為源，行於經　渠為經，入於尺澤為合。

心，出於中沖為井，心包絡脈也。流於勞宮為滎，注於大陵為輸，過於內關為源，行於間使為經，入於曲澤為合。

又心，出於少沖為井，手少陰脈也。流於少府為滎，注於神門為輸，過於通裡為源，行　於靈道為經，入於少海為合。

大腸，出於商陽為井，手陽明脈也。流於二間為滎，注於三間為輸，過於合谷為源，行　於陽溪為經，入於曲池為合。

三焦，出於關沖為井，手少陽脈也。流於液門為滎，注於中渚為輸，過於陽池為源，行　於支溝為經，入於天井為合。

小腸，出於少澤為井，手太陽脈也。流於前谷為滎，注於後溪為輸，過於腕骨為源，行　於陽谷為經，入於小海為合。

足三陰三陽穴流注法第二（下）

胃，出於厲兌為井，足陽明脈也。流於內庭為滎，注於陷谷為輸，過於沖陽為源，行於解溪為經，入於三裡為合。

膽，出於竅陰為井，足少陽脈也。流於俠溪為滎，注於臨泣為輸，過於丘墟為源，行於陽輔為經，入於陽陵泉為合。

膀胱，出於至陰為井，足太陽脈也。流於通谷為滎，注於束骨為輸，過於京骨為源，行　於昆侖為經，入於委中為合。

脾，出於隱白為井，足太陰脈也。流於大都為滎，注於太白為輸，過於公孫為源，行於商丘為經，入於陰陵泉為合。

肝，出於大敦為井，足厥陰脈也。流於行間為滎，注於太沖為輸，過於中封為源，行於中為經，入於曲泉為合。

腎，出於涌泉為井，足少陰脈也。流於然谷為滎，注於太溪為輸，過於水泉為源，行於複溜為經，入於陰谷為合。

針灸禁忌法第三

針禁忌法：

大寒無刺。(《素問》云：天寒無刺，天溫無疑。) 月生無瀉。 月滿無補。 月郭 空無治。 新內無刺。 已刺無內。 大怒無刺。 已刺無怒。 大勞無刺。 已刺無勞。 大醉無刺。 已刺無醉。 大飽無刺。 已刺無飽。 大飢無刺。 已刺無飢。 大渴無刺。 已 刺無渴。 乘車來者，臥以休息如食頃，乃刺之。 步行來者，坐以休息如行十裡頃，乃刺 之。 大驚大恐，必定其氣乃刺之。 刺中心一日死，其動為噫。 刺中肺三日死，其動為咳。 刺中肝五日死，其動為語。 刺中脾十五日死，其動為吞。 刺中腎三日死，其動為噓。 刺中膽一日半死，其動嘔吐。刺中膈為傷中，不過一歲死。 刺趺上中大脈，血出不止死。 刺陰股中大脈，血出不止死。 刺面中流脈，不幸為盲。 刺客主人內陷中脈，為內漏，為聾。 刺膝臏出液，為跛。 刺頭中腦戶，入腦即死。 刺舌下中脈太過，血出不止為喑。 刺臂太陰脈，血出多者即死。 刺足下布絡中脈，血不出為腫。 刺足少陽脈，重虛出血，舌難以言。 刺 中大脈，令人仆脫色。 刺膺中陷中肺，為喘逆仰息。 刺氣沖中脈，血不出為腫鼠鼷。 刺肘中內陷氣歸之，為不屈伸。 刺脊間中髓，為傴。 刺陰股下三寸內陷，令人遺溺。 刺乳上中乳房，為腫根蝕。 刺腋下脅間內陷，令人咳。 刺 缺 刺腸內陷，為腫。 刺目眶上陷骨中脈，為漏、為盲。 刺關節中液出，不得屈伸。 神庭，禁不可刺。上關，刺不可深。 缺盆，刺不可深。 顱息，刺不可多出血。 臍中，禁 不可刺。 左角，刺不可久留。 雲門：刺不可深。(今雲門多忌不刺，宜詳悉之。) 五裡，禁不可刺。 伏兔，禁不可刺。(按《甲乙經》伏兔刺入五分。) 三陽絡，禁不可刺。 複 溜，刺無多見血。 承筋，禁不可刺。 然谷，刺無多見血。 乳中，禁不可刺。 鳩尾，禁不可刺。

頭維，禁不可灸。 承光，禁不可灸。

腦戶，禁不可灸。 暗門，禁不可灸。

風府，禁不可灸。 陰市，禁不可灸。

下關，耳中有干適低，無灸。耳門，耳中有膿乃適低，無灸。 人迎，禁不可灸。 陽關，禁不可灸。 絲竹空，灸之，不幸使人目小及盲。 承泣，禁不可灸。 脊中，禁不可灸。 乳中，禁不可灸。 瘈瘲脈，禁不可灸。 石門女子，禁不可灸。 白環俞，禁不可灸。

氣沖灸之，不幸不得息。 淵腋灸之，不幸生膿蝕。 天府，禁不可灸。 經渠，禁不可灸。

伏兔，禁不可灸。 地五會，禁不可灸。 鳩尾，

五臟六腑變化旁通訣第四

凡五臟六腑，變化無窮，散在諸經，其事隱沒，難得俱知。今纂集相附，以為旁通，令學人少留意推尋，造次可見矣。

五臟：腎（水一） 心（火二） 肝（木三） 肺（金四） 脾（土五） 六腑：膀胱 小腸 膽 大腸 胃 三焦 五臟經：足少陰 手少陰 足厥陰 手太陰 足太陰六腑經：足太陽 手太陽 足少陽 手陽明 足陽明 手少陽五臟脈：沉濡 洪盛 弦長 浮短 緩大五臟斤兩：一斤二兩（又云：一斤一兩） 十二兩（三毛七孔） 四斤四兩（左三葉右 四葉） 三六腑斤兩：九兩二銖 二斤十四兩 三兩三銖 二斤十二兩 二斤十四兩六腑丈尺：縱廣七寸（又云：九寸） 長二丈四尺廣二寸四分 三寸三分 一丈二尺廣 六六腑所受：九升二合（又云：九升九合） 二斗四升 一合（《難經》作三合） 一斗 二升 三斗五升 五臟官：後宮列女 帝王 上將軍（又為郎官） 大尚書（又為上將軍） 諫議大夫 六腑官：水曹掾 監倉吏 將軍決曹吏 監倉掾 內膳吏 五腑俞：十四椎 五椎 九椎 三椎 十一椎 六腑俞：十九椎 十八椎 十椎 十六椎 十二椎 十三椎 五臟募：京門 巨闕 期門 中府 章門 六腑募：中極 關元 日月 天樞 中脘 石門 五臟脈出：涌泉 中沖（此心包絡經，心經出少沖） 大敦 少商 隱白 流（《甲乙》作留：）然谷 勞宮（心經流少府） 行間 魚際 大都 注：太溪 大陵（心經注神門） 太沖 大泉 太白 過：水泉 內關（心經過通裡） 中封 列缺 公孫行：複溜 間使（心經行靈道） 中 經渠 商丘 入：陰谷 曲澤（心經入少海） 曲泉 尺澤 陰陵泉 六腑脈出：至陰 少澤 竅陰 商陽 厲兌 關沖（此三焦經出入） 流：通谷 前谷 俠溪 二間 內庭 液門 注：束骨 後溪 臨泣 三間 陷谷 中渚 過：京骨 腕骨 丘墟 合谷 沖陽 陽池 行：昆侖 陽谷 陽輔 陽溪 解溪 支溝 入：委中 小海 陽陵泉 曲池 三裡 天井 五竅：耳（二陰） 舌（口） 目 鼻 唇 五養：骨（精） 血（脈） 筋 皮毛（氣） 肉 五液：唾 汗 淚 涕 涎 五聲：呻（噫） 言 呼 哭 歌 六氣： 吹 呼 呵 噓 唏 五神：志（精） 神 血（魂） 氣（魄） 意（智又作營意） 五有餘病：脹滿 笑不止 怒 喘喝仰息 涇溲不利 五不足病：厥逆 憂（一作悲） 恐 息利少氣 四肢不用六情：惡哀 怵慮（一作惠好） 好喜（一作直喜） 威怒 樂愚 貪狠 廉貞 陰賊 寬大公正 奸邪 八性：欲忌 友愛 慈（惠悲） 氣（正） 公私（怨） 五常：智（謀） 禮（哲） 仁（肅） 義 信（聖） 五事：聽（聰） 視（明） 貌（恭） 言（從） 思（睿） 五咎：急 豫 狂 僭 蒙 五音：吟詠 肆呼 諷 唱 歌 五聲：羽（四十八絲） 徵（五十四絲） 角（六十四絲） 商（七十二絲） 宮（八 十一絲） 五色：黑 赤 青 白 黃 五味：鹹 苦 酸 辛 甘 五臭：腐 焦 膻 腥 香 五宜（子來扶母：）酸 甘 苦 鹹 辛 五惡（味之惡：）甘 鹹 辛 苦 酸 五惡（氣之惡：）燥 熱 風 寒 濕 五數：一（六） 二（七） 三（八） 四（九） 五（十） 五行：水 火 木 金 土 五時：冬 夏 春 秋 季夏 五形（外應五行之形，內法五臟之象） 曲 兌 直 方 圓 五畜：豕（《外台》云：豕鼠） 羊（《外台》云：蛇、馬） 雞（《外台》云：虎、兔） 犬 （《外台》云：猴、雞） 牛（《外台》云：龍、羊、犬、牛） 五穀：大豆 麥 麻 稻（黃黍） 稷 五果：栗 杏 李 桃 棗 五菜：藿 薤 韭 蔥 葵 論曰：假令人腎、心、肝、肺、脾為臟，則膀胱、小腸、膽、大腸、胃為腑。足少陰為腎經，足太陽為膀胱經，下至五臟、五果、五菜，皆爾觸類長之，他皆仿此。（《外台》續 添二十三條，本非《千金》之舊，今更不附入。）

用針略例第五

夫用針刺者，先明其孔穴，補虛瀉實，送堅付濡，以急隨緩，榮衛常行，勿失其理。夫 為針者，不離乎心，口如銜索，目欲內視，消息氣血，不得妄行。針入一分，知天地之氣。

針入二分，知呼吸出入，上下水火之氣。針入三分，知四時五行、五臟六腑、順逆之氣。針 皮毛腠理者，勿傷肌肉。針肌肉者，勿傷筋脈。針筋脈者，勿傷骨髓。針骨髓者，勿傷諸絡。

東方甲乙木，主人肝、膽、筋膜、魂。南方丙丁火，主人心、小腸、血脈、神。西方庚 辛金，主人肺、大腸、皮毛、魄。 北方壬癸水，主人腎、膀胱、骨髓、精、志。中央戊己 土，主人脾、胃、肌肉、意智。 針傷筋膜者，令人愕視失魂。 傷血脈者，令人煩亂失神。

傷皮毛者，令人上氣失魄。

傷骨髓者，令人呻吟失志。 傷肌肉者，令人四肢不收失智。 此為五亂，因針所生。

若更失度者，有死之憂也。所謂針能殺生人，不能起死人，謂愚人妄針必死，不能起生人也。

又須審候與死人同狀者，不可為醫。與亡國同政者，不可為謀，雖聖智神人，不能活死人，存亡國也。故曰：危邦不入，亂邦不居。凡愚人貪利，不曉於治亂存亡，危身滅族，彼此俱 喪，亡國破家，亦醫之道也。

凡用針之法，以補瀉為先，呼吸應江漢，補瀉校升斗，經緯有法則，陰陽不相干，震為陽氣始（火生於寅，）兌為陰氣終（戊為土墓，）坎為太玄華（冬至之日夜半，一陽爻生。） 離為太陽精（為中女之象，）欲補從卯南（補不足地戶至巽為地虛，）欲瀉從酉北（天門在乾。） 針入因日明（向寅至午，）針出隨月光（從申向午，午為日月光之位，）如此思五行，氣以調營衛，用以將息之，是曰：隨身寶。 凡用鋒針針者，除疾速也，先補五呼，刺入五分留十呼，刺 入一寸留二十呼，隨師而將息之。刺急者，深納而久留之。刺緩者，淺納而疾發針。刺大者，微出其血。刺滑者，疾發針淺納而久留之。刺澀者，必得其脈，隨其順逆久留之，疾出之，壓其穴，勿出其血。諸小弱者，勿用大針，然氣不足宜調以百藥。餘三針者，正中破癰堅、瘤結、息肉也，亦治久疾也。火針亦用鋒針，以油火燒之，務在猛熱，不熱即有損於人也。

隔日一報，三報之後，當膿水大出為佳。 巨闕、太倉、上下脘，此之一行有六穴，忌火針 也。大 塊當停針轉動須臾為佳。每針常須看脈，脈好乃下針，脈惡勿亂下針也。下針一宿 發熱

灸例第六

凡孔穴在身，皆是臟腑、榮衛、血脈流通，表裡往來各有所主，臨時救難，必在審詳。

人有老少，身有長短，膚有肥瘦，皆須精思商量，準而折之，無得一概，致有差失。其尺寸 之法，依古者八寸為尺，仍取病者男左女右手中指上第一節為一寸。亦有長短不定者，即取手大拇指第一節橫度為一寸，以意消息，巧拙在人。其言一夫者，以四指為一夫，又以肌肉 紋理節解縫會宛陷之中，及以手按之，病者快然、如此仔細安詳用心者，乃能得之耳。凡《經》云：橫三間寸者，則是三灸兩間。一寸有三灸，灸有三分，三壯之處即為一寸。黃帝曰：灸不三分，是謂徒冤，灶務大也，小弱灶乃小作之，以意商量。 凡點灸法，皆須平直，四體無 使傾側。灸時孔穴不正，無益於事，徒破好肉耳。若坐點則坐灸之，臥點則臥灸之，立點則立灸之，反此亦不得其穴矣。 凡言壯數者，若丁壯遇病。病根深篤者，可倍於方數。其人老小羸弱者，可複減半。依扁鵲灸法，有至五百壯、千壯，皆臨時消息之。《明堂本經》云：

針入六分灸三壯，更無餘論。曹氏灸法，有百壯者，有五十壯者，《短劇》諸方亦皆有此。

仍須準病輕重以行之，不可膠柱守株。 凡初生小兒七日以上，周年以還不過七壯，灶如雀 屎大。 凡灸先陽後陰，言：從頭向左而漸下，次後從頭向右而漸下，先上後下，皆以日正午以後，乃可下火灸之。時謂陰氣未至，灸無不著。午前平旦穀氣虛，令人癲眩，不可針灸也，慎之。其大法如此，卒急者不可用此例。 灸之生熟法，腰以上為上部，腰以下為下部，外為陽部榮，內為陰部衛，故臟腑周流，名曰：經絡。是故丈夫四十以上，氣在腰，老嫗四十以上，氣在乳，是以丈夫先衰於下，婦人先衰於上。灸之生熟，亦宜撙而節之，

法當隨病 遷變，大法外氣務生，內氣務熟，其餘隨宜耳。頭者，身之元首，人神之所法，氣口精明，三百六十五絡，皆上歸於頭。頭者，諸陽之會也。故頭病必宜審之，灸其穴不得亂，灸過多傷神，或使陽精玄熟，令陰魄再卒。是以灸頭正得滿百。脊背者，是體之橫梁，五臟之所系 著，太陽之會合。陰陽動發冷熱成疾，灸太過熟大害人也。臂腳手足者，人之枝干，其神系 於五臟六腑，隨血脈出，能遠近采物，臨深履薄，養於諸經，其地狹淺，故灸宜少，灸過多即內神不得入，精神閉塞，痞滯不仁，即臂不舉，故四肢之灸，不宜太熟也。然腹臟之內為性，貪於五味無厭成疾，風寒結痼，水穀不消，宜當熟之。然大杼、脊中、腎俞、膀胱八，可至二百壯。心主手足太陰，可至六七十壯，三裡、太溪、太沖、陰陽二陵泉、上下二廉，可至百壯。腹上下脘、中脘、太倉、關元，可至百壯。若病重者，皆當三報之，乃愈病耳。若

治諸沉結寒冷病，莫若灸之宜熟。若治諸陰陽風者，身熱脈大者，以鋒針刺之，間日一服之。

若治諸邪風鬼疰，痛處少氣，以毫針去之，隨病輕重用之，表針內藥，隨時用之，消息將之，與天同心，百年永安，終無橫病，此要略說，非賢勿傳秘之。凡微數之脈，慎勿可灸，傷血脈焦筋骨。凡汗以後，勿灸，此為大逆，脈浮熱甚，勿灸。 頭、面、目、咽，灸之最欲生少。手臂四肢，灸之欲須小熟，亦不宜多。胸、背、腹，灸之尤宜大熟。其腰、脊欲須少生，大體皆須以意商量，臨時遷改，應機千變萬化，難以一準耳，其溫病隨所著而灸之，可百壯餘，少至九十壯。大杼、胃脘可五十壯。手心主、手足太陽可五十壯。三裡、曲池、太沖可百壯，皆三報之，乃可愈耳。風勞沉重，九部盡病，及毒瓦斯為病者，不過五十壯，亦宜三報之。若攻臟腑成心腹痛者，亦宜百壯。若卒暴病鬼魅所著者、灸頭面、四肢、宜多，腹、背 宜少。其多不過五十，其少不減三、五、七、九壯。凡陰陽濡風口 僻者，不過三十壯，三日一報，報如前。微者三報，重者九報，此風氣濡微細入，故宜緩火溫氣，推排漸抽以除耳。

若卒暴催迫，則流行細入成痼疾，不可愈也，故宜緩火。凡諸虛疾，水穀沉結流離者、當灸腹、背，宜多，不可過百壯。大凡人有卒暴得風，或中時氣，凡百所苦，皆須急灸療，慎勿忍之停滯也。若旺相者，可得無他，不爾漸久後，皆難愈，深宜知此一條。凡入吳蜀地游官，體上常須三兩處灸之，勿令瘡暫瘥，則瘴癘溫瘧毒瓦斯不能著人也故吳蜀多行灸法。有阿是之法，言人有病痛，即令捏其上，若裡當其處，不問孔穴，即得便快成痛處，即云阿是。灸刺 皆驗，故曰：阿是穴也。

太醫針灸宜忌第七

論曰：欲行針灸，先知行年宜忌，及人神所在不與禁忌相應即可，今具如下。 木命 人，行年在木，則不宜針及服青藥。 火命人，行年在火，則不宜汗及服赤藥。 土命人，行年在土，則不宜吐及服黃藥。 金命人，行年在金，則不宜灸及服白藥。 水命人，行年 在水，則不宜下及服黑藥。 凡醫者不知此法，下手即困，若遇年命厄會深者，下手 推天醫血忌等月忌及日忌旁通法：

月旁通：正 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二天醫：卯 寅 丑 子 亥 戌 酉 申 未 巳 午 辰（呼師治病吉）血忌：丑 未 寅 申 卯 酉 辰 戌 巳 亥 午 子（忌針灸）月厭：戌 酉 申 未 午 巳 辰 卯 寅 丑 子 亥（忌針灸）四激：戌 戌 戌 丑 丑 丑 辰 辰 辰 未 未 未（忌針灸）月殺：戌 巳 午 未 寅 卯 辰 亥 子 丑 申 酉（百事凶）月刑：巳 子 辰 申 午 丑 寅 酉 未 亥 卯 戌（不療病）六害：巳 辰 卯 寅 丑 子 亥 戌 酉 申 未 午（不療病）上天醫上呼師避病吉，若刑害上凶。

推行年醫法：

年至：子 丑 寅 卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥 天醫：卯 戌 子 未 酉 亥 辰 寅 巳 午 丑 申 求歲天醫法：

常以傳送加太歲太乙下為天醫。

求月天醫法：

陽月以大吉，陰月以小吉，加月建功曹下為鬼道，傳送下為天醫。

推避病法：

以小吉加月建登明下為天醫，可於此避病。

推治病法：以月將加時天醫加病患年治之瘥。

喚師法：

未 卯 巳 亥 酉（鬼所在喚師凶）推行年人神法：

臍：一 十 十九 二十八 三十七 四十六 五十五 六十四 七十三 八十二心：二 十一 二十 二十九 三十八 四十七 五十六 六十五 七十四 八十三肘：三 十二 二十一 三十 三十九 四十八 五十七 六十六 七十五 八十四咽：四 十三 二十二 三十一 四十 四十九 五十八 六十七 七十六 八十五口：五 十四 二十三 三十二 四十一 五十 五十九 六十八 七十七 八十六頭：六 十五 二十四 三十三 四十二 五十一 六十 六十九 七十八 八十七 脊：七 十六 二十五 三十四 四十三 五十二 六十一 七十 七十九 膝：八 十七 二十六 三十五 四十四 五十三 六十二 七十一 八十足：九 十八 二十七 三十六 四十五 五十四 六十三 七十二 八十一上九部行神歲移一部，周而複始，不可針灸。

推十二部人神所在法：

心辰：一 十三 二十五 三十七 四十九 六十一 七十三 八十五喉卯：二 十四 二十六 三十八 五十 六十二 七十四 八十六頭寅：三 十五 二十七 三十九 五十一 六十三 七十五 八十七 眉丑：四 十六 二十八 四十 五十二 六十四 七十六 八十八 背子：五 十七 二十九 四十一 五十三 六十五 七十七 八十九 腰亥：六 十八 三十 四十二 五十四 六十六 七十八 九十腹戌：七 十九 三十一 四十三 五十五 六十七 七十九 九十一項酉：八 二十 三十二 四十四 五十六 六十八 八十 九十二足申：九 二十一 三十三 四十五 五十七 六十九 八十一 九十三膝未：十 二十二 三十四 四十六 五十八 七十 八十二 九十四陰午：十一 二十三 三十五 四十七 五十九 七十一 八十三 九十五股巳：十二 二十四 三十六 四十八 六十 七十二 八十四 九十六
上十二部人神所在，並不可針灸及損傷慎之。

日辰忌：

一日足大趾 二日外踝 三日股內 四日腰 五日口舌咽懸雍 六日足小趾（《外台》云：手小指）七日內踝 八日足腕 九日尻 十日背腰 十一日鼻柱（《千金翼》云：及 眉）十二日發際 十三日牙齒 十四日胃脘 十五日遍身 十六日胸乳 十七日氣沖（《千金翼》云：及脅）十八日腹內 十九日足趺 二十日膝下 二十一日手小指 二十二日伏兔 二十三日肝俞 二十四日手陽明兩脅 二十五日足陽明 二十六日手足 二十七日膝 二十八 日陰 二十九日膝脛顳 三十日關元下至足心。（《外台》云：足趺上。）十干十二支人神忌日：

甲日頭 乙日項 丙日肩臂 丁日胸脅 戊日腹 己日背 庚日膝 辛日腳 壬日腎 癸日足又云：甲乙日忌寅時頭 丙丁日忌辰時耳 戊己日忌午時發 庚辛日忌申時(闕文) 壬 癸日忌酉時足 子日目丑日耳 寅日口(《外台》云：胸面)卯日鼻(《外台》云：在脾) 辰 日腰 巳日手(《外台》云：頭口) 午日心 未日足(《外台》云：兩足心) 申日頭(《外台》云：二肩) 酉日背(《外台》云：脛) 戌日項(《外台》云：咽喉) 亥日頂(《外台》云：臂脛) 建日申時頭(《外台》云：足) 除日酉時膝(《外台》云：股) 滿日戌時腹 平 日亥時腰背 定日子時心 執日丑時手 破日寅時口 危日卯時鼻 成日辰時唇 收日巳時 足(《外台》云：頭)開日十二時忌：

子時踝 丑時頭 寅時目 卯時面耳(《外台》云：作項) 辰時項口(《外台》云：在面) 巳時肩(《外台》云：在乳) 午時胸脅 未時腹 申時心 酉時背胛(《外台》並《翼》云：在又：立春春分脾 立夏夏至肺 立秋秋分肝 立冬冬至心 四季十八日腎。以上並不得醫治凶。

凡五臟旺時不得治及忌針灸其經絡凶。

又：正月丑 二月戌 三月未 四月辰 五月丑 六月戌 七月未 八月辰 九月丑 十月戌 十一月未 十二月辰 又：春左脅 秋右脅 夏在臍 冬在腰(皆凶。) 又：每月六日、十五日、十八日、二十二日、二十四日，小盡日，療病令人長病。 戊午甲午(此二日大忌刺出血，服藥、針灸皆凶，《千金翼》云：不出月凶。) 甲辰 庚寅 乙卯 丙辰 辛巳(此五日針灸凶) 壬辰 甲辰 己巳 丙午 丁未(此五日男忌針灸) 甲寅乙卯 乙酉 乙巳 丁巳(此五日女人忌針灸) 甲子 壬子 甲午 丙辰 丁巳 辛卯 癸卯乙亥(此八日忌針灸。《外台》云：甲子日天子會，壬子日百王會，甲午日太子會，丁 巳 日又：男避除 女避破 男忌戌 女忌巳。

凡五辰 五酉 五未 及八節(先後各一日皆凶。) 論曰：此等法，散在諸部，不可尋究，故集作一處，造次易知，所以省披討也。

備急千金要方 卷三十 針灸下

唐 孫思邈

(凡八類)

孔穴主對法第八

論曰：凡云孔穴主對者，穴名在上，病狀在下，或一病有數十穴，或數病共一穴，皆臨 時斟酌作法用之。其有須針者，即針刺以補瀉之，不宜針者，直爾灸之。然灸之大法，但其孔穴與針無忌，即下白針若溫針訖，乃灸之，此為良醫。其腳氣一病，最宜針之。若針而不灸，灸而不針，皆非良醫也。針灸而藥，藥不針灸，亦非良醫也，但恨下裡間知針者鮮耳，所以學人深須解用針，燔針、白針皆須妙解，知針、知藥固是良醫。

頭面第一

頭病

神庭 水溝 主寒熱頭痛，喘渴，目不可視。 頭維 大陵 主頭痛如破，目痛如脫。

昆侖 曲泉 飛揚 前谷 少澤 通裡 主頭眩痛。 竅陰 強間 主頭痛如錐刺，不可以動。 腦戶 通天 腦空 主頭重痛。 消濼 主寒熱痺頭痛。 攢竹 承光 腎俞 絲竹 空瘈瘲脈 和 主風頭痛。（又云：瘈瘲脈主風頭耳後痛。） 上星 主風頭眩顏清。（又云：

上星主風頭引頷痛。） 囟會 主風頭眩，頭痛，顏清。 天牖 風門 昆侖 關元 關沖 主風眩頭痛。 合谷 五處 主風頭熱。 前頂 後頂 頷厭 主風眩偏頭痛。 玉枕主頭半 寒痛（《甲乙》云：頭眩目痛，頭半寒。） 天柱 陶道 大杼（一作本神） 孔最 後溪 主頭痛。目窗 中渚 完骨 命門 豐隆 太白 外丘 通谷 京骨 臨泣 小海 承筋 陽陵泉 主頭痛寒熱，汗出不惡寒。

項病

少澤 前谷 後溪 陽谷 完骨 小海 昆侖 攢竹 主項強急痛不可以顧。 消濼 本神 通天 強間 風府 啞門 天柱 風池 齦交 天沖，陶道 外丘 通谷 玉枕 主項如拔，不可左右顧。天容 前谷 角孫 腕骨 支正 主頸腫項痛，不可顧。（又云：天容主頸項癰。不能言。角孫主頸頷柱滿。） 飛揚 涌泉 頷厭 後頂 主頸項疼，歷節汗出。

面病

攢竹 齦交 玉枕 主面赤 頰中痛。 上星 囟會 前頂 腦戶 風池 主面赤腫。

巨 主面惡風寒，頰腫痛。 天突 天窗 主面皮熱。（又云：天窗主頰腫痛。） 腎俞 內關主面赤熱。 行間 主面蒼黑。 太沖 主面塵黑。 中渚 主顳 痛，頷顱熱痛，面 赤。 懸厘主面皮赤痛。

目病

大敦 主目不欲視，太息。 大都主目眩。 承漿 前頂 天柱 腦空 目窗 主目眩 瞑。 天柱 陶道 昆侖 主目眩，又目不明，目如脫。 腎俞 內關 心俞 複溜 大泉 腕 骨中渚 攢竹 精明 百會 委中 昆侖 天柱 本神 大杼 頷厭 通谷 曲泉 後頂 胃俞 絲竹空 主目□□不明，惡風寒。 陽白 主目瞳子痛癢，遠視□□，（昏夜 無所見。） 液門 前谷 後溪 腕骨 神庭 百會 天柱 風池 天牖 心俞 主目泣出。

（又云：天牖主目不明，耳不聰。） 至陰 主目翳。 後溪 主 爛有翳。 丘墟 主視 不精了，目翳，瞳子不見。 前谷 京骨 主目中白翳。（又云：京骨主目反白，白翳從內始。）精明 齦交 承泣 四白 風池 巨 上星 肝俞 瞳子 主目淚出多眵，內赤痛癢，生白膚翳。照海 主目痛視如見星。 肝俞 主熱病瘥後食五辛，多患眼暗如雀 目。 陽白 上星 本神 大都 曲泉 俠溪 三間 前谷 攢竹 玉枕 主目系急目上插。 絲竹空 前頂 主目上插 憎風寒。 承泣 主目 動，與項口相引。（《甲乙經》云：目不明淚出，目眩瞢，瞳子癢，遠視□□，昏夜無見，目 動與項口參相引，僻口 不能言，） 三間 前谷 主目急痛。 申脈 主目反上視，若赤痛從內始。 陽溪 陽谷主目赤痛。 曲泉主目赤腫痛。陽谷 太沖 昆侖主目急痛赤腫。（又云：太沖主下痛。） 束骨 主 爛赤。 液門 主目澀暴變。 顴 內關 主目赤黃。 二間 主 傷。

商陽 巨 上關 承光 瞳子 絡卻 主青盲無所見。期門 主目青而嘔。 風池 腦 戶玉枕 風府 上星 主目痛不能視，先取，後取天牖、風池。大泉 主目中白睛青。

俠溪 主外 赤痛逆寒，泣出目癢。

鼻病

神庭 攢竹 迎香 風門 合谷 至陰 通谷 主鼻鼽清涕出。 曲差 上星 迎香 素 水溝 齦交 通谷，禾 風府主鼻窒喘息不利，鼻 僻多涕，鼽衄有瘡。 水溝 天牖主鼻不收涕，不知香臭。(《甲乙》云：鼻鼽不能息，及衄不止。)齦交 主鼻中息肉不利，鼻頭額 中痛，鼻中有蝕瘡。 承靈 風池 風門 後溪 主鼻衄窒，喘息不通。 腦 空竅陰 主鼻管疽發為癘鼻。 風門 五處 主時時噦不已。 肝俞 主鼻中酸。 中脘 三間 偏歷 厲兌 承筋 京骨 昆侖 承山 飛揚 隱白 主頭熱鼻衄。(又云：中脘主鼻間焦臭。) 天柱 主不知香臭。複溜主涎出鼻孔中痛。 京骨 申脈 主鼻中衄血不止淋瀝。 厲兌 京骨 前谷 主鼻中不利，涕黃。

耳病

上關 下關 四白 百會 顱息 翳風 耳門 頷厭 天窗 陽溪 關沖 液門 中渚主耳痛鳴聲。 天容 聽會 聽宮 中渚 主聾嘈嘈若蟬鳴。 天牖 四瀆 主暴聾。少商 主耳前痛。 曲池 主耳痛。 外關 會宗 主耳渾渾淳淳，聾無所聞。 前谷 後 溪主耳鳴，仍取偏歷、大陵。 腕骨 陽谷 肩貞 竅陰 俠溪 主頷痛，引耳嘈嘈，耳 鳴無所聞。 商陽 主耳中風聾鳴，刺入一分留一呼，灸三壯，左取右，

口病

承注 四白 巨 禾 上關 大迎 顴骨 強間 風池 迎香 水溝主 僻不能 言。 頰車 頷 主口僻痛，惡風寒不可以嚼。 外關 內庭 三裡 大泉(《甲乙》云：

口僻，刺太淵，引而下之。) 商丘 主僻噤。 水溝 齦交 主口不能噤水漿 僻。 齦 交上關 大迎 翳風 主口噤不開引鼻中。 合谷 水溝 主唇吻不收，喑不能言，口噤 不開。 商丘 曲鬢 主口噤不開。地倉 大迎主口緩不收，不能言。 下關 大迎 翳 風主口失欠，下牙齒痛。 膽俞 商陽 小腸俞 主口舌乾，飲食不下。勞宮 少澤 三間太沖 主口熱口乾，口中爛。(又云：勞宮主大人小兒口中腫，腥臭。) 曲澤 章門 主口乾。太溪 少澤 主咽中干，口中熱，唾如膠。 兌端 目窗 正營 耳門 主唇吻強，上齒齲痛。 光明 臨泣，主喜嗽頰。 解溪 主口痛嚙舌。 京骨 陽谷 主自嚙唇。(一作頰。) 陽陵泉 主口苦，嗌仲介介然。

舌病

廉泉 然谷(《甲乙》作通谷。) 陰谷主舌下腫難言，舌 涎出。 風府 主舌緩喑不能言，舌急語難。 扶突 大鐘 竅陰 主舌本出血。魚際 主舌上黃，身熱。 尺澤 主舌乾脅痛。關沖，主舌卷口乾，心煩悶。 中沖 主舌本痛。 支溝 天窗 扶突 曲鬢 靈 道主暴喑不能言。 天突 主挾舌縫脈青。 複溜 主舌卷不能

齒病

厲兌 三間 沖陽 偏歷 小海 合谷 內庭 複溜 主齲齒。 浮白主牙齒痛，不能 言。 大迎 顴 聽會 曲池主齒痛惡寒。 陽谷 正營 主上牙齒痛。 陽谷 液門 商陽 二間 四瀆 主下齒痛。 角孫 頰車 主牙齒不能嚼。 下關 大迎 翳風 完骨主牙齒齲痛。 曲鬢 沖陽 主齒齲。

喉咽病

風府 天窗 勞宮 主喉嗌痛。扶突 天突 天溪 主喉鳴暴忤氣哽。少商 太沖 經渠 主喉中鳴。魚際 主喉中焦乾。水突 主咽喉腫。液門 四瀆 主呼吸氣短，咽 中如息肉狀。間使 主嗌中如扼。(《甲乙》作行間。)少沖，主咽中酸。少府 蠡溝 主嗌中有氣如息肉狀。中渚 支溝 內庭 主嗌痛。複溜 照海 太沖 中封主嗌干。前 谷照海 中封主咽偏腫，不可以咽。涌泉 大鐘 主咽中痛，不可納食。然谷 太溪 主嗌內腫，氣走咽喉不能言。風池 主咽喉僂引項攣

喉痺病

完骨 天牖 前谷 主喉痺，頸項腫不可俯仰，頰腫引耳後。中府 陽交主喉痺，胸滿塞，寒熱。天容 缺盆 大杼 膈俞 雲門 尺澤 二間 厲兌 涌泉 然谷 主喉痺 哽咽，寒熱。天鼎 氣舍 膈俞 主喉痺噎哽，咽腫不得消，飲食不下。天突 主喉痺，咽乾急。大陵 偏歷 主喉痺嗌干。璇璣 鳩尾 主喉痺咽腫，水漿不下。三間 陽溪主喉痺，咽如哽。神門 合谷 風池 主喉痺。三裡 溫溜 曲池 中渚 豐隆 主喉痺不能言。關沖 竅陰 少澤主喉痺，舌卷口乾。凡喉痺，脅中暴逆，先取衝脈，後取三裡、雲門各瀉之，又刺手小指端出血立已。

心腹第二

胸脅病

通谷 章門 曲泉 膈俞 期門 食竇 陷谷 石門 主胸脅支滿。大杼 心俞 主胸中郁郁。本神 顱息 主胸脅相引不得側。肝俞 脾俞 志室主兩脅急痛。腎俞 主兩脅引痛。神堂 主胸腹滿。三間 主胸滿腸鳴。陽溪 天容 主胸滿不得息。期 門缺盆 主胸中熱，息賁，脅下氣上。曲池 人迎 神道 章門 中府 臨泣 天池 璇 璣府俞 主胸中滿。支溝 主脅腋急痛。腕骨 陽谷 主脅痛不得息。豐隆 丘墟 主胸痛如刺。竅陰 主脅痛咳逆。臨泣 主季脅下支痛，胸痺不得息。陽輔 主胸脅 痛。陽交 主胸滿腫。環跳 至陰 主胸脅痛無常處，腰脅相引急痛。太白 主胸脅 脹切痛。(《甲乙》云：腸鳴切痛。)然骨 主胸中寒，咳唾有血。大鐘 主胸喘息脹。膽 俞章門 主脅痛不得臥，胸滿嘔無所出。大包 主胸脅中痛。膻中 天井 主心胸痛。

膺窗 主胸脅癰腫。華蓋 紫宮 中庭 神藏 靈墟 胃俞 俠溪 步廊 商陽 上廉 三裡 氣戶 周榮 上脘 勞宮 涌泉 陽陵泉 主胸脅柱滿。乳根 主胸下滿痛。雲門 中府 隱白 期門 肺俞 魂門 大陵 主胸中痛。(又云：雲門主胸中暴逆。)鳩尾 主胸滿咳逆。巨闕 間使 主胸中澹澹。(又云：間使主胸痺背相引。)中脘 承滿 主脅下堅痛。梁門 主胸下積氣。大泉 主胸滿 呼、胸膺痛。魚際 主痺走胸背不得息。關主氣短脅痛，心煩。少沖，主胸痛口熱。凡胸滿氣短，不得汗皆針補手太陰以出汗

心病

支溝 太溪 然谷 主心痛如錐刺，甚者手足寒至節不息者死。(又云：然谷主心如懸，少氣不足以息。)大都 太白 主暴泄，心痛腹脹，心痛尤甚。臨泣 主胸痺心痛，不得反側。(《甲乙》云：不得息，痛無常處。)行間 主心痛，色蒼蒼然如死灰狀，終日不得太息。通谷 巨闕 太倉 心俞 膻中 神府 門 曲澤 大陵 主心痛。通裡 主卒痛煩心，心中懊，數欠頻伸，心下悸而悲恐。期門 長強 天突 俠白 中沖 主心痛短氣。尺澤 主心痛彭彭然，心煩悶亂，少氣不足以息。腎俞 複溜 大陵 雲門 主心痛如懸。章門 主心痛而嘔。建裡 主心痛上搶心，不欲食。少沖 主心痛而寒。大泉主心痛肺脹，胃氣上逆。鳩尾 主心寒脹滿，不得

食，息賁唾血厥，心痛善噦，心疝太息。 上脘 主心痛有三蟲多涎，不得反側。 中脘 主心痛難以俯仰。（《甲乙》云：

身寒心疝沖冒，死不知人。） 不容 期門 主心切痛，喜噫酸。 盲門 主心下大堅。 靈 道主心痛悲恐，相引瘈瘲 。 間使 主心懸如飢。 商丘，主心下有寒痛。又主脾虛，令人病不樂，好太息。 凡卒心痛，汗出，刺大敦出血立已。 內關 主凡心實者，則心中暴 痛，虛則心煩，惕然不能動，失智。

腹病

複溜 中封 腎俞 承筋 陰包 承山 大敦 主小腹痛。（又云：複溜主腹厥痛。）石 門商丘 主小腹堅痛，下引陰中。 氣海 主小腹疝氣 游行五臟，腹中切痛。 關元 委 中照海 太溪 主小腹熱而偏痛。 膈俞 陰谷 主腹脹，胃脘暴痛、及腹積聚，肌肉痛。

高曲 主腹中積聚時切痛。（一名商曲。） 四滿 主腹僻切痛。 天樞 主腹中盡痛。 外陵主腹中盡痛。 昆侖 主腹痛喘暴滿。 氣沖主身熱腹痛。 腹結 主繞臍痛，搶心。 沖 門主寒氣滿腹中積疼淫濼。 間使主寒中少氣。 隱白 主腹中寒冷氣脹喘。 鳩尾 主腹皮痛瘙癢。 中極 主腹中熱痛。 水分 石門 主小腹中拘急痛。 巨闕 上脘 石門 陰蹻主腹中滿，暴痛汗出。 行間 主腹痛而熱上柱心。心下滿。 太溪 主腹中相引痛。 涌 泉主風入腹中小腹痛。 豐隆 主

脹滿病

中極 主小腹積聚。堅如石，小腹滿。（又云：中極主腹中熱痛。） 通谷主結積留飲 癖囊，胸滿飲食不消。膀胱俞 主堅結積聚。 上脘 主心下堅，積聚，冷脹。 胃脘 三焦俞 主小腹積聚，堅大如盤，胃脹飲食不消。三裡 章門 京門 厲兌 內庭 陰谷 絡 卻昆侖 商丘 曲泉陰陵泉 主腹脹滿，不得息。（又云：陰陵泉主腹中脹，不嗜食，脅 下滿，腹中盛水脹逆，不得臥。又云：商丘主腹中滿響響然，不便，心下有寒痛。） 隱白主腹脹逆息。（又云：主腹滿喜嘔。） 尺澤 主腹脹喘振栗， 解溪 主腹大下重。（又云：

解溪主厥氣上柱腹大。） 大鐘 主腹滿便難。 肝俞 胞盲 主小腹滿。 水道 主小腹脹滿，痛引陰中。 日月 大橫 主小腹熱欲走太息。 委中 主小腹堅腫。 關元 主寒 氣入腹。 懸樞 主腹中積上下行。 懸鐘 主腹滿。 脾俞 大腸俞 主腹中氣脹引脊痛，食飲多而身羸瘦，名曰：食晦。先取脾俞，後取季肋。陰市 主腹中滿，痿厥少氣。 丘墟 主大疝腹堅。 京門 主寒熱 脹。 高曲主腹中積聚。 盲俞 主大腹寒疝。（《甲乙》云：

大腹寒中。） 天樞 主腹脹腸鳴，氣上沖胸。 氣沖 主腹中大熱不安，腹有大氣暴脹滿癰淫濼。 太沖 主羸瘦恐懼，氣不足腹中悒悒。 期門 主腹大堅不得息。脹痺滿，小腹尤大。 太陰 主腹滿積聚。 太溪 主腹中脹腫。 沖門 主寒氣腹滿，腹中積聚疼痛。

巨闕 上脘 主腹脹，五臟脹，心腹滿 中脘 主腹脹不通疰大便堅，憂思損傷氣積聚，腹中甚痛，作膿腫往來上下。 陰交 主五臟游氣。 三裡 行間 曲泉 主腹 滿。 陷谷 主腹大滿，喜噫。 沖陽 主腹大不嗜食。 五裡 主心下脹滿而痛上氣。 太白 公孫 主腹中脹食不化，鼓脹腹中氣大滿。 漏谷 主腸鳴強欠，心悲氣逆，腹 滿急。 蠡溝 主數噫 凡腹中熱，喜渴涎出，是蛔也。以手聚而按之，堅持勿令得移，以大針刺中脘，久持之中不動，乃出針。

凡腹滿痛不得息，正仰臥屈一膝伸一腳，並氣沖，針入三寸，氣至瀉之。

陰都 主心滿氣逆腸鳴。陷谷 溫溜 漏谷 複溜 陽綱 主腸鳴而痛。上廉 主腸鳴相追逐。胃俞 主腹滿而鳴。章門 主腸鳴盈盈然。膺窗 主腸鳴泄注。太白 公 孫主腸鳴。臍中 主腸中常鳴上沖心。陰交主腸鳴濯濯如有水聲。

大小便病

豐隆 主大小便澀難。營衛四穴 主大小便不利。長強 小腸俞 主大小便難，淋癰。水道 主三焦約，大小便不通。秩邊 胞盲 主癰閉下重，大小便難。會陰 主陰中諸病，前後相引痛，不得大小便。（又云：主小便難，竅中熱。）大腸俞 八 主大小便利。陽綱 主大便不節，小便赤黃，腸鳴泄注。屈骨端主小便不利，大便泄數，並 灸天樞。勞宮主大便血不止，尿赤。太溪 主尿黃，大便難。中 石門 承山 太沖中脘大鐘 太溪 承筋 主大便難。（又云：太沖主淋不得尿，陰上痛。中脘主小腸 有熱尿黃。）昆侖 主不得大便。肓俞 主大便乾，腹中切痛。石關 主大便閉塞，寒氣結心堅滿。中注 浮 主小腹熱，大便堅。上廉下廉 主小便難黃。少府 三裡主小便不利癰。腎俞 主小便難，赤濁 骨寒熱。橫骨 大巨 期門 主小腹滿，小便難，陰下縱。大敦 箕門 委中 委陽 主陰跳遺，小便難。中極 蠡溝 漏谷 承 扶至陰 主小便不利失精。（又云：承扶主尻中腫，大便直出，陰胞有寒。小便不利。）陰陵泉 主心下滿寒中，小便不利。關元 主胞閉塞，小便不通，勞熱石淋。（又云：主石 淋，臍下三十六疾不得小便，並灸足太陽。又云：主傷中尿血。）列缺 主小便熱痛。京 門照海 主尿黃，水道不通。（又云：主溢飲，水道不通溺黃。）陰交石門 委陽 主小腹堅痛引陰中，不得小便。大陵主目赤，小便如血。承漿 主小便赤黃，或時不禁。完骨小腸俞 白環俞 膀胱俞 主小便赤黃。前谷 委中 主尿赤難。陰谷主尿難，陰痿不用。中封 行間 主振寒溲白，尿難而痛。（又云：主癰閉，莖中痛。）關元 涌泉 主胞轉氣淋，又主小便數。陰陵泉 關元 主寒熱不節，腎病不可以俯仰，氣癰尿黃。氣沖主腹中滿熱，淋閉不得尿。曲泉 主癰閉陰痿。交信主氣淋。然谷 主癰疝。複 溜主淋。（又云：主血淋。）懸鐘 主五淋。大敦 氣門 主五淋不得尿。通裡 主遺溺。曲骨 主小腹脹，血癰，小便難。關元 中府 神門 主遺尿。（《甲乙》云：

中府一作委中。）陰陵泉 陽陵泉 主失禁遺尿不自知。

凡尿青、黃、赤、白、黑，青取井，黃取俞，赤取滎，白取經，黑取合。

泄痢病

京門 然谷 陰陵泉 主洞泄不化。交信 主泄痢赤白漏血。丹田 主泄痢不禁，小腹絞痛。複溜 主腸 便膿血，泄痢後重，腹痛如 狀。脾俞主泄痢不食，食不生肌膚。

小腸俞 主泄痢膿血五色，重下腫痛。關元 太溪 主泄痢不止。京門 昆侖 主洞泄 體痛。天樞 主冬月重感於寒則泄，當臍痛，腸胃間游氣切痛。腹哀 主便膿血，寒中食 不化，腹中痛。尺澤 主嘔泄上下出，兩脅下痛。束骨 主腸 泄。長強 主頭重洞 泄。太白 主腹脹，食不化喜嘔，泄有膿血。地機 主溏瘕腹中痛臟痺。陰陵泉 隱 白主胸中熱，暴泄。太沖 曲泉 主溏泄，痢注下血。腎俞 章門 主寒中洞泄不化。

會陽 主腹中有寒，泄注、腸 、便血。三焦俞 小腸俞 下 意舍 章門 主腸鳴顱 脹，欲泄注。中 主腹脹飧 大腸俞主腸鳴，腹 腫，暴泄。

消渴病

承漿 意舍 關沖 然谷主消渴嗜飲。(又云：意舍主消渴，身熱，面目黃。) 勞宮 主苦渴，食不下。 曲池主寒熱渴。 隱白 主飲渴。 行間 太沖 主嗌干喜渴。 商丘 主煩中渴。

水腫病

公孫 主頭面腫。 水溝主水腫，人中滿。 胃倉 主水腫，臚脹，食飲不下，惡寒。

章門 主身潤，石水身腫。 屋翳 主身腫，皮痛不可近衣。 中府 間使 合谷 主面、腹腫。 陰交 石門 主水脹水氣行皮中，小腹皮敦敦然，小便黃，氣滿。 關元 主小腹滿，石水。 四滿 然谷 主大腹石水。 關門主身腫身重。 天樞 豐隆 厲兌 陷谷 沖 陽主面浮腫。(又云：豐隆主四肢腫身濕。) 天府 主身脹逆息不得臥，風汗身腫，喘息 多唾。 氣沖 主大氣石水。 解溪 主風水，而 腫，顏黑。 上廉 主風水膝腫。 三裡主水腹脹皮腫。 陷谷 列缺 主面目癰腫。(又云：列缺主汗出，四肢腫。) 臨泣 主腋下腫，胸中滿。 大敦主大腹腫脹，臍腹悒悒。 天牖 主乳腫，缺盆中腫。 昆侖 主腰尻腫， 跟腫。 丘墟 陽蹻 主腋下腫，寒熱，頸腫。 曲泉 主腹腫。 複溜 豐隆 主風逆四肢腫。 陰谷 主寒熱，腹偏腫。 完骨 巨 主頭面氣 腫， 陽陵泉 主頭面 腫。

凡頭目癰腫，留飲胸脅支滿，刺陷谷出血立已。

不能食病

豐隆 主不能食。 石門 主不欲食，穀入不化。 天樞 厲兌 內庭 主食不化，不嗜食，挾臍急。 維道主三焦有水氣，不能食。 中封 主身黃有微熱，不嗜食。 然谷 內庭脾俞 主不嗜食。 胃俞 腎俞 主胃中寒脹，食多身瘦羸。(又云：胃俞主嘔吐筋攣，食不下，不能食。)大腸俞 周榮 主食下不，喜飲。 陽綱 期門 少商 勞宮 主飲食 不下。 章門主食飲不化，入腹還出，熱中不嗜食，苦吞而聞食臭傷飽，身黃酸痛羸瘦。 中庭 中府 主膈寒，食不下，嘔吐還出。 食竇 主膈中雷鳴，察察隱隱，常有水聲。 巨 闕主膈中不利。 中極主飢不能食。 上脘 中脘 主寒中傷飽，食飲不化。

凡飲食不化，入腹還出，先取下脘，後取三裡瀉之。

凡不嗜食，刺然谷多見血，使人立飢。

嘔吐病

商丘 幽門 通谷 主喜嘔。(又云：商丘主脾虛，令人病寒不樂，好太息，多寒熱，喜嘔。) 俞府 靈墟 神藏 巨闕 主嘔吐胸滿。 率谷 主煩滿嘔吐。 天容 主咳逆 嘔沫。胃俞 腎俞 主嘔吐。 曲澤，主逆氣嘔涎。 少商 勞宮 主嘔吐。 中庭 中府 主嘔逆吐，食下還出。 石門 主嘔吐。 陽陵泉 主嘔宿汁，心下澹澹。 維道主嘔逆不止。 大鐘 太溪 主煩心滿嘔。 絕骨 主病熱欲嘔。 隱白 主膈中嘔吐，不欲食。 魂 門陽關 主嘔吐不止，多涎。 膈俞主吐食，又灸章門、胃脘。 巨闕 胸堂 主吐食。 大敦主噦噫，又灸石關。 內庭 主喜頻伸數

吐血病

上脘，不容 大陵 主嘔血。胸堂 脾俞 肩俞 手心主 間使 胃脘 天樞 肝 俞魚際 勞宮 太溪 主唾血吐血。門 主衄血嘔血。手少陰，主吐血。委中 隱 白主衄血劇不止。大泉 神門 主唾血振寒，嘔血上氣。行間 主短氣嘔血，胸背痛。

太沖 主面唇色白，時時嘔血，女子漏血。涌泉 主衄血不止。然谷 主咳唾有血。

凡內損唾血不足，外無膏澤，地五會主之，刺入三分，特忌灸。

凡唾血，瀉魚際，補尺澤。

咳逆上氣病

天容 廉泉 魄戶 氣舍 扶突 主咳逆上氣喘息，嘔沫，齒噤。(《甲乙》云：

陽氣大逆，上滿於胸中，憤 肩息。大氣逆上喘喝，坐伏不得息，取之之廉泉。咳逆上氣魄戶及氣舍、主之。咽喉鳴喝喘息，扶突主之頭維主喘逆煩滿，嘔沫流汗。缺盆 心俞 肝俞 巨闕 鳩尾 主咳唾血。(又云：鳩尾 主噫喘，胸滿咳嘔。）缺盆 膻中 巨闕 主咳嗽。期門 右手屈臂中橫紋外骨上 主咳逆上氣。(又云：期門主喘逆，臥不安席咳，脅下積聚。）天府 主上氣喘不得息。然 谷天泉 陷谷 胸堂 章門 曲泉 天突 雲門 肺俞 臨泣 肩井 風門 行間主咳逆。維道 主咳逆不止。扶突主咳逆上氣，咽中鳴喘。魄戶 中府 主肺寒熱，呼吸 不得臥，咳逆上氣，嘔沫喘氣相追逐。天池 主上氣喉鳴。大包主大氣不得息。肺俞 腎 俞主喘咳少氣百病。中 石門 主咳逆上氣，涎出多唾。天突 華蓋 主咳逆上氣喘暴。紫宮 玉堂 太溪 主咳逆上氣心煩。中 雲門 主咳逆上氣，涎出多唾，呼 吸喘悸，坐不安席。俠白 主咳逆，乾嘔、煩滿。膻中 華蓋 主短氣不得息，不能言。

步廊 安都 主膈上不通，呼吸少氣，喘息。氣戶 雲門 天府 神門 主喘逆上氣，呼 吸肩息，不知食味。少海主氣逆，呼吸噫噦嘔。庫房 中府 周榮 尺澤 主咳逆上氣，呼吸多唾濁沫，膿血。(又云：中府主肺系急，咳輒胸痛。）肩俞 主上氣。經渠 行間 主喜咳。(又云：經渠主咳逆上氣喘，掌中熱。）大陵 少商 主咳逆喘。(又云：大陵主咳逆，寒熱發。）勞宮 主氣逆噫不止。大泉 主咳逆胸滿，喘不得息。三裡 主咳嗽 多唾。支溝 主咳，面赤而凡咳喘，曲澤出血立已。又卒咳逆逆氣(缺文)，咳唾噫，善咳，氣無所出，先取三裡，後

奔豚病

章門 石門 陰交 主奔豚上氣。(《甲乙》云：奔豚腹腫，章門主之。奔豚氣上，腹痛，莖腫，先引腰，後引小腹，腰、，小腹堅痛。下引陰中，不得小便，兩丸騫，石門 主之。奔豚氣上，腹 堅痛引陰中，不得小便，兩丸騫，陰交主之。）關元 主奔豚寒氣入小腹。期門主奔豚上下。歸來 主奔豚卵上入，引莖痛。中極 主奔豚上搶心，甚則不得息。天樞 主奔豚脹疝。(《甲乙》云：氣疝，煩嘔，面腫，奔豚。）然谷 主胸中寒，脈代，時不至寸口，小腹脹，上搶心。

四肢第三

手病

液門 主手臂痛。 巨闕 主手清。 肩貞 主手 小不舉。 陰交 主手腳拘攣。

少商 主手不仁。 列缺 主手臂身熱。 大陵 主手攣不伸。(又云：主手掣) 間使 主手痛。 內關 主手中風熱。 曲澤 主手青逆氣。 中沖 勞宮 少沖 大泉 經渠 列缺主手掌熱，肘中痛。 前腋 主臂裡攣急，手不上舉。 尺澤 主掣痛，手不可伸。 養 老主手不得上下。 神門少海 主手臂攣。 內庭 主四厥手足悶。 腕骨 中渚 主五指掣，不可屈伸。曲池 主手不可舉重，腕急，肘中痛，難屈伸。(又云：主手不能舉。) 陽溪主臂腕外側痛不舉。 心俞 肝俞 主筋急手相引。

臂肘病

尺澤 關沖 外關 竅陰 主臂不及頭。 前谷 後溪 陽溪 主臂重痛，肘攣。

會支溝 曲池 腕骨肘 主肘節痺，臂酸重，腋急痛，肘難屈伸。中膂俞 主腋攣。

腕骨 前谷 曲池 陽谷 主臂腕急，腕外側痛脫如拔。天井 外關 曲池主臂痿不仁。 大泉經渠 主臂內廉痛。 間使 主肘內廉痛。 巨骨 前谷 主臂不舉。 肩 天宗 陽谷主臂痛。 曲池 關沖 三裡 中渚 陽谷 尺澤 主肘痛時寒。(又云：關沖主肘疼 不能自帶衣。) 魚際 靈道 主肘攣柱滿。 大陵 主肘攣腋腫。 陽輔申脈 委陽 天池臨泣 地五會 主腋下腫。

肩背病

氣舍 主肩腫不能顧。 涌泉 主肩背頸項痛。 曲池 天 主肩重痛不舉。 腕骨主肩臂痛。 天井主肩痛痿痺不仁，不可屈伸，肉麻木。 肩貞 關沖 肩 主肩中熱，頭不可以顧。巨骨 主肩中痛，不能動搖。 後溪 主肩 痛。 支溝 關沖 主肩臂酸重。 天宗 主肩重臂痛。 陽谷 清冷淵 主肩不舉，不能帶衣。 肩外俞 主肩胛痛而寒至肘。 曲垣 主肩胛周痺。 養老 天柱 主肩痛欲折， 天牖 缺盆 神道 大杼 天突 水道 巨骨 主肩背痛。 前腋 主肩腋前痛與胸相引。 膈俞 京門 尺澤 主肩背寒痙，肩胛內廉痛。 列缺 主肩背寒栗，凡實則肩背熱，背汗出，四肢暴腫。虛則肩背寒栗，氣不足以息。

腰脊病

神道 谷中 腰俞 長強 大杼 膈關 水分 脾俞 小腸俞 膀胱俞主腰脊急強。

腰俞 膀胱俞 長強 氣沖 上 下 居 主腰痛。 志室 京門 主腰痛脊急。 小腸俞 中膂俞 白環俞 主腰脊疝痛。 次 胞肓 承筋 主腰脊痛，惡寒。(又云：次主腰下至足不仁。) 三裡 陰市 陽輔 蠡溝 主腰痛不可以顧。(又云：陽輔主腰痛如錘，居中腫痛不可咳，咳則筋縮急，諸節痛上下無常，寒熱。) 束骨 飛揚 承筋 主腰痛如折。 申脈 太沖 陽蹺主腰痛不能舉。 昆侖 主脊強背尻骨重。 陽谷 主脊內廉痛。 委中 主腰痛挾脊至頭幾幾然。 凡腰腳重痛，於此刺出血。久痼宿疹皆立已。 大鐘主腰脊痛。附分 主背痛引頭。 合陽 主腰脊痛引腹。 委陽 殷門 主腰痛得俯不得仰。 太白 行間 陰陵泉 主腰痛不可俯仰。 扶承 主腰、脊、股、臀、尻、陰寒痛。

涌泉 主腰脊相引如解。(《甲乙》云：主腰痛，大便難。) 膈關 秩邊 京骨 主背惡寒 痛，脊強難以俯仰。京門石關 主脊 反折。(《甲乙》云：

腳病

昆侖 主腳如結，踝如別。 陰陵泉 主足痺痛。 京骨 承山 承筋 商丘 主腳 攣(又云：承山、承筋主腳脛酸，腳急跟痛，腳筋急痛兢兢。) 浮白 主足緩不收。 天柱行間主足不任身。(又云：行間主厥，足下熱。) 然谷 主足不能安，脛酸不能久立。 中都 主足下熱，脛寒，不能久立，濕痺不能行。 沖陽 三裡 飛揚，複溜 完骨 仆參 主足痿失履不收。(又云：仆參主足跟中，踝後痛。飛揚主 中痛。複溜主脛寒不能自溫。又主腳後廉急不可前卻，足跗上痛。) 京骨 然谷 腎俞 主足痛。 太溪 次 膀胱俞 主足清不仁。(又云：大溪主手足寒至節。) 地倉 大泉 主足痿痺不能行。 光明 主痿痺坐不能起。 風府 腰俞 主足不仁。 條口 三裡 承山 承筋 主足下熱，不能久立。 丘墟主腕不收，坐不得起，髀樞腳痛。 陽輔 陽交 陽陵泉 主髀樞膝骨痺不仁。 環跳束骨 交信 陰交 陰舍 主髀樞中痛不可舉。 臨泣 三陰交 主髀中痛不得行，足外皮痛。 申脈 隱白 行間 主脛中寒熱。 太沖 涌泉 主脛酸。 付陽 主 外廉骨痛。 至陰 主風寒從足小趾起，脈痺上下。 至陽 主脛疼，四肢重，少氣難言。 厲兌 條口三陰交 主脛寒不得臥。 內庭 環跳 主脛痛不可屈伸。 陽間 環跳 承筋 主脛痺不仁。 涌泉 然谷 主凡髀樞中痛不可舉，以毫針寒而留之，以月生死為息數，立已。

膝病

風市 主兩膝攣痛，引脅拘急， 或青、或枯、或黧如腐木。 大沖 主膝內踝前痛。 中封 主少氣，身重濕，膝腫，內踝前痛。 梁丘 曲泉 陽關 主筋攣，膝不得屈伸，不可以行。 犢鼻 主膝中痛，不仁。(又云：主膝不仁，難跪。) 解溪條口 丘墟 太白主膝股腫， 酸轉筋。 合陽 主膝股重。 上廉 主風水膝腫。 陰市 主膝中寒。 伏兔主膝中寒。 俠溪 陽關 主膝外廉痛。 髀關 主膝寒不仁，痿痺不得屈伸。 光明 主膝痛脛熱不能行，手足偏小。 膝關 主膝內廉痛引臏不可屈凡犢鼻腫，可灸，不可刺。若其上堅勿攻，攻之即死。

四肢病

章門 主四肢懈惰，喜怒。

列缺 主四肢厥，喜笑。 曲泉 付陽 天池 肢不舉。 照海 主四肢淫濼。 五裡 三間 天搖。 複溜 豐隆 大都主風逆四肢腫。

風痺第四

風病

率谷 主酒醉風熱發，兩目眩痛。(《甲乙》云：不能飲食，煩滿嘔吐。) 完骨 主風頭，耳後痛，煩心。(《甲乙》云：主足不收，失履，口 僻，頭項搖瘈瘲痛，牙車急。) 天柱主風眩。 絕骨 主風勞身重。 天府 曲池 列缺 百會 主惡風邪氣，泣出喜忘。 陽谷主風眩驚手卷泄風汗出，腰項急。(《甲乙》云：手卷作手腕痛。) 陰蹻 主風暴不知人，偏枯不能行。 解溪 主風從頭至足，面目赤。昆侖 主狂易大風。 臨泣 主大風目痛。(《甲乙》云：目外 痛。) 付陽 主痿厥，風頭重痛。涌泉 主風入腹中。 巨闕 照海主瘈瘲 引臍腹，短氣。(又云：照海主大風默默不知所痛，視如見星。) 間使 主頭身風熱。 商陽 主耳中風生。 關沖 主面黑渴

風。 天井 神道 心俞 主悲愁恍惚，悲傷不樂。(又云：天井主大風默默不知所痛，悲傷不樂。)命門 主瘈瘲 裡急，腰腹相引。 上關主瘈瘲 沫出，寒熱 引骨痛。 後溪 主風身寒。 液門 主風寒熱。 長強 腎俞 中膂俞 主寒熱 反折。 脾俞 膀胱俞 主熱 引骨痛。 肝俞 主筋寒熱 筋急手相引。

通裡 主不能言。 魚際 主 上失氣

濕痺病

曲池 列缺 主身浸淫時時寒。 風市 主緩縱痿痺， 腸疼冷不仁。中瀆 主寒氣在分肉間痛苦痺不仁。 陽關 主膝外廉痛不可屈伸，脛痺不仁。 懸鐘 主濕痺流腫，髀筋急瘈瘲，脛痛。 曲泉 主卒痺病引臏下節。 豐隆 主身濕。 陽陵泉 主髀痺引膝股外廉痛不仁，筋急。 絕骨 主髀樞痛，膝脛骨搖，酸痺不仁，筋縮諸節酸折。 漏谷 主久濕痺不能行。 商丘 主骨痺煩滿。 臨泣 主身痺洗淅振寒。 中封 主□厥身體不仁，少氣身濕重。

凡身體不仁，先取京骨，後取中封、絕骨，皆瀉之。

癲病

偏歷 神庭 攢竹 本神 聽宮 上星 百會 聽會 築賓 陽溪 後頂 強間 腦戶 絡卻 玉枕 主癲疾嘔逆。(又云：偏歷主癲疾多言耳鳴口僻。) 攢竹 小海 後頂 強間 主癇發瘈瘲，狂走不得臥，心中煩。 金門 仆參 主癲疾，馬癇。 兌端 齦交 承漿 大迎絲竹空 囟會 天柱 商丘 主癲疾嘔沫，寒熱痙互引。(又云：承漿，大迎主寒熱淒 厥，鼓頷癲痙口噤。天柱主卒暴癇眩。商丘主癇瘈瘲。) 通谷 絲竹空 主風癇癲疾涎沫狂煩滿。(又云：通谷主心中憒憒數欠，癲心下悸，心中澹澹恐。) 解溪 陽蹺 主癲疾。上關主瘈瘲 沫出，寒熱 。 腦戶 聽會 聽宮 翳風 風府 主骨酸，眩狂瘈瘲，口噤喉 鳴沫出，喑不能言。 會 申脈 主癲疾腠氣。五處 身柱 委中 委陽 昆侖 主脊 強反折，瘈瘲 癲疾頭痛。(又云：身柱主癲疾瘈瘲，怒欲殺人，身熱狂走，妄言見鬼。昆侖 主癇瘈瘲口閉不得開。) 尺澤 然谷 主癲疾，手臂不得上頭。 曲池 少澤 主瘈瘲 癲疾。

列缺 主熱癇驚而有所見。 後溪 主泣出而驚。 飛揚 太乙 滑肉門 主癲疾狂吐舌。

長強 主癲疾發如狂，面皮敦敦者不治。 溫溜 仆參 主癲疾，吐舌鼓頷，筋縮，狂言見 鬼。 曲骨 陰谷 行間 主驚癇狂走癲疾。 間使 主善悲驚狂面赤目黃，喑不能言。 陽溪天井 主驚瘈瘲。 完骨 主癲疾僵仆，狂瘧。 天井 小海 主癲疾 羊癇吐舌，羊鳴戾 頸。 懸厘 束骨 主癲疾互引，善驚羊鳴。 陽溪 陽谷 主吐舌，戾頸，妄言。 天沖 主頭痛，癲疾互引，數驚悸。 風池 聽會 複溜 主寒熱癲仆。 風府 昆侖 束骨 主狂 易多言不休。 天柱 臨泣 主狂易多言不休，目上反。 腦空 束骨 主癲疾，大瘦頭痛。

風府 肺俞 主狂走，欲自殺。 絡卻聽會身柱 主狂走瘈瘲 。 支正 魚際 合谷 曲池 少海 腕骨 主狂言驚恐。 下廉丘墟 主狂言非常。 溫溜 液門 京骨主狂仆。(又云：

液門主喜驚妄言面赤。) 神門 陽谷 主笑若狂。(又云：神門主數噫，恐悸不足。) 巨 闕築賓 主狂易妄言怒罵。(又云：巨闕主驚悸少氣。) 沖陽 豐隆 主狂妄行，登高而歌，棄衣而走。 勞宮 大陵 主風熱善怒，心中悲喜，思慕 欷，喜笑不止。 曲澤 大陵(《甲乙》云：作內關。)主心中澹澹喜驚。 陰交 氣海 大巨 主驚不得臥。(又云：

大巨主喜驚。）陰蹻 主臥驚，視如見鬼。 解溪 主瘈瘲 而驚。 大鐘 門 主驚恐 畏人，神氣不足。 然谷 陽陵泉 主心中怵惕恐，如人將捕之狀。 少沖 主太息煩滿，少氣主心痛數驚，心悲不樂。 三間 合谷 厲兌 主吐舌戾頸喜驚。（又云：厲兌主多臥好驚。）陰 手少陰 主氣驚心痛。

卒尸厥病

隱白 大敦 主卒尸厥不知人，脈動如故。 中極 仆參 主恍惚尸厥煩痛。 金門 主尸厥暴死。 內庭 主四厥手足悶者久持之，厥熱腦痛，腹脹皮痛者，使人久持之。邪客於手足少陰、太陰、足陽明之絡，此五絡皆會於耳中，上絡左角，五絡俱竭，令人身脈動如故，其形無所知，其狀若尸。刺足大趾內側爪甲上去端如韭葉，後刺足心，後刺足中趾爪甲上各一，後取手大指內去爪甲如韭葉，後刺手心主少陰銳骨之端各一 立已。不已，以筒吹其兩耳立已，不已，拔其左角發方寸燔之，飲以醇酒一杯，不能飲者，灌之立已。

卒中惡飛尸病

百會 玉枕 主卒起僵仆，惡見風寒。 通天 絡卻 主暫起僵仆。 大杼 主僵仆不能久立，煩滿裡急，身不安席。 天府 主卒中惡風邪氣，飛尸惡注，鬼語遁尸。 豐隆 主厥逆足卒青痛如刺，腹若刀切之狀，大便難煩心，狂見鬼好笑，面、四肢卒腫。 旁廷 在腋下四肋間與乳相當，乳後二寸陷中，俗名注市。舉腋取之，刺入五分，灸五十壯，主卒中惡飛尸遁注，胸脅滿。 九曲中府，在注市下三寸，刺入五分，灸三十壯，主惡風邪氣遁尸，內有瘀血。

熱病第五

熱病

魚際 陽谷 主熱病振栗鼓頷，腹滿陰痿色不變。 經渠 陽池 合谷 支溝 前谷 內庭後溪 腕骨 陽谷 厲兌 沖陽 解溪 主熱病汗不出。 孔最 主臂厥熱痛汗不出，皆灸刺之，此穴可以出汗。 列缺 曲池 主熱病煩心心悶，先手臂身熱瘈瘲，唇口聚鼻張目下汗出如珠。（《甲乙》云：兩乳下一寸堅，脅下滿，心悸。）中沖 勞宮 大陵 間使 關沖 少沖 陽溪 天 主熱病煩心心悶而汗不出，掌中熱，心痛，身熱如火，浸淫煩滿，舌本痛。（又云：間使主熱病煩心喜噦，胸中澹澹喜動而熱。）勞宮 主熱病三日以往不得汗，怵惕。（《甲乙》云：勞宮主熱病煩滿而欲嘔噦，三日以往不得汗，怵惕，胸脅不可轉側，咳滿溺赤。小便血衄不止，嘔吐血噫逆不止，嗌中痛，食不下，喜渴，口中爛，掌中熱，欲嘔。）三間 主氣熱，身熱而喘。（《甲乙》云：寒熱口乾，身熱喘息，目急痛，善驚。）曲澤 主傷寒，溫病身熱煩心口乾。（《甲乙》云：主傷寒，溫病心澹然，善驚，身熱心煩，口乾手清，氣逆嘔唾，肘瘈瘲搖頭顏清，汗出不過眉。）曲池 主傷寒餘熱不盡。 液門 中渚通裡 主熱病先不樂，頭痛面熱無汗。（又云：通裡主熱病先不樂數日。）上脘 上星 上曲差 陶道 天柱 懸厘 風池 命門 膀胱俞 主煩滿汗不出。飛揚 主下部寒熱，汗不出，體重。 陶道 主汗不出，淒厥惡寒。 曲泉 主身熱頭痛，汗不出。 光明 主腹、足清，寒熱汗不出。 五處 攢竹 正營 上腕 缺盆 中府 主汗出寒熱。 承漿 主汗出，血衄不止。 溫溜 主傷寒寒熱，頭痛噦衄，肩不舉。 百會 主汗出而嘔 。巨 闕主煩心喜嘔（《甲乙》云：巨闕主心腹脹噫，煩熱善嘔，膈中不通利。）商丘 主寒熱 好嘔。 大椎 主傷寒熱甚煩嘔。列缺 主寒熱，掌中熱。 懸顱 主熱病頭痛身熱。 少澤主振寒，小指不用，頭痛。 神道 關元 主身熱頭痛，進退往來。 三焦俞 主頭痛，食不下。 天井 主振寒，頸項痛。 魚際 主頭痛不甚，汗出。 玉枕 大杼 肝俞 心俞膈俞 陶道 主汗不出，淒厥惡寒。 懸厘 鳩尾 主熱病偏頭痛引目外 。膈俞 中府主寒熱皮肉骨痛，少氣不得臥，支滿。（又云：膈俞主嗜臥怠惰，不欲動搖，身常濕，不能食。）後溪 主身熱惡寒。 腎俞 主頭身熱赤振栗，腰中、四肢淫濼，欲嘔。 肩井關沖 主寒熱淒索，氣上不得臥。 尺澤 主氣隔喜嘔鼓頷，不得汗，身痛煩心。 肩貞主寒熱項歷適。（《甲乙》云：主耳鳴無聞，引缺盆肩中熱痛，麻木不舉。）

委中 主熱病挾脊痛。沖陽 主振寒而欠。 大都 主熱病汗出且厥，足清。(《外台》云：汗不出厥，手足清。) 太白主熱病，先頭重顏痛，心煩悶，身熱，熱爭則腰痛不可以俯仰。又熱病煩滿悶，不得臥，身重骨痛。 支正 少海 主熱病，先腰脛酸，喜渴數飲食，身熱項痛而強，振寒寒熱。(《甲乙》云：主振寒寒熱，頸項腫，實則肘攣，頭眩痛。虛則生疣，小者痂疥。) 複溜 主寒熱不安，汗出不止，風逆四肢腫。

凡熱病煩心，足寒清，多汗，先取然谷，後取太溪大指間動脈，皆先補之。

凡熱病，先腰脛酸，喜渴數飲身清，清則項痛而寒且酸，足熱，不欲言，頭痛顛顛然，先取涌泉及太陽井滎，熱中少氣厥寒，灸之熱去，灸涌泉三壯。煩心不嗜食，灸涌泉。熱去，四逆喘氣，偏風身汗而清，皆取俠溪。

凡熱病刺陷谷，足先寒，寒上至膝乃出針，身痺洗淅振寒，季脅支滿痛。凡溫病身熱，五日以上汗不出，刺大泉，留針一時取針，若未滿五日者，禁不可刺。 凡好太息，不嗜食，多寒熱，汗出，病至則喜嘔，嘔已乃衰，即取公孫及井俞。實則腸中切痛，厥頭面腫起，煩心狂多飲，不嗜臥。虛則臌脹。腹中氣大滿，熱痛不嗜食，霍亂。公孫主之。

黃膽病

然谷 主黃膽，一足寒一足熱，喜渴。(《甲乙》云：舌縱煩滿。) 章門 主傷飽身黃。

太沖 主黃膽熱中喜渴。 中封 五裡 主身黃，時有微熱。(《甲乙》云：主不嗜食，膝 內廉，內踝前痛，少氣身體重。) 脊中 主黃膽腹滿不食。 中脘 大陵 主目黃振寒。 勞 宮主黃膽目黃。 太溪 主黃膽。(《甲乙》云：止消癉喘氣，咽不能言，手足清，大便 難，嗌中腫痛，唾血，口中熱，唾如膠。) 脾俞 胃脘 主黃膽。(又云：脾俞主黃膽，喜 欠不下食，脅下滿欲吐，身重不欲動。)

霍亂

巨闕 關沖 支溝 公孫 陰陵泉 主霍亂。 期門 主霍亂泄注。 魚際 主胃逆霍 亂。 太陰 大都 金門 仆參 主厥逆霍亂。 太白 主霍亂逆冷。 解溪 主膝重腳轉 筋，濕痺。 三裡 主霍亂遺矢失氣。 承筋 主瘈瘲腳酸。(《甲乙》云：主霍亂脛不仁。) 大泉 主眼青轉筋，乍寒乍熱，缺盆中相引痛。 金門 仆參 承山 承筋 主轉筋霍亂。 丘 墟主腳急腫痛戰掉，不能久立，附筋腳攣。 竅陰 主四肢轉筋。 委中 委陽 主筋急身熱。 人迎 主霍亂頭痛胸滿，呼吸喘鳴不得息。

凡霍亂泄出不自知，先取太溪，後取太倉之原。

瘧病

列缺 後溪 少澤 前谷 主瘧寒熱。(又云：列缺主瘧熱甚。) 陽谷 主瘧，脅痛不得息。 大鐘 主多寒少熱。太溪 主熱多寒少。(《甲乙》云：大溪主瘧悶甚嘔，熱多寒少，欲閉戶而處，寒厥足熱。) 丘墟 主瘧振寒。(《甲乙》云：丘墟主腋下腫。) 昆 侖主瘧多汗。(《甲乙》云：主腰痛不能俯仰，目如脫，項如拔。) 然谷 主溫瘧汗出。

中封 主色蒼蒼然，太息振寒。 天府 主瘧病。 臨泣、主瘧日西發。 天樞 主瘧振寒，熱盛狂言。 少商 主振栗鼓頷。少海 主瘧背振寒。(《甲乙》云：主瘧項痛引肘腋。腰 痛引小腹中，四肢不舉。) 陽溪 主瘧甚苦寒咳嘔沫。 溫溜 主瘧面赤腫。 商丘 神庭上星 百會 完骨 風池 神道 液門 前谷 光明 至陰 大杼 主 瘧熱。(又云：商丘主寒瘧腹中痛。) 陰都 少海 商陽 三間 中渚 主身熱瘧病。 太泉 大溪 經渠主瘧

咳逆心悶，不得臥，寒熱。 大陵 腕骨 陽谷 少沖 主瘧乍寒乍熱。 合谷 陽池俠溪 京骨 主瘧寒熱。 偏歷 主風瘧汗不出。 支正 小海 主風瘧。 天井 主瘧食時發，心痛悲傷不樂。 三裡 陷谷 俠溪 飛揚 主瘧少氣。（又云：俠溪主瘧 足痛。）飛揚主狂瘧頭眩痛 反折。 少澤 複溜 昆侖 主瘧寒汗不出。 厲兌 內庭 主瘧不嗜食，惡寒。 沖陽 束骨 主瘧從腳 起。

癭瘤第六

癭瘤病

天府 會 氣舍 主癭瘤氣咽腫。（《甲乙》云：天府作天窗。） 腦戶 通天 消濼 天突主頸有大氣。 通天 主癭灸五十壯。 胸堂 羊尿灸一百壯。

痔病

飛揚 主痔篡傷痛。 絕骨 主 馬刀腋腫。 天突 章門 天池 支溝 主漏。（又云：支溝，章門主馬刀腫 。） 商丘 複溜 主痔血泄後重。（又云：商丘主痔骨蝕喜魘夢。） 天窗 天突 主漏頸痛。 勞宮 主熱痔。 承筋 承扶 委中 陽谷 主痔痛腋下腫。 會陰主痔與陰相通者死。 俠溪 陽輔太沖 主腋下腫馬刀 。 竅陰 主癰疽頭痛如錐刺，不可以動，動則煩心。 大陵 支溝 陽谷 後溪 主痂疥。

疝病

曲泉 主 疝陰跳痛引臍中，不尿陰痿。（又云：痛引莖中。） 關元 主 疝。（又云主暴疝痛。） 中都 主 疝崩中。中脘 主沖疝冒死不知人。 合陽 中 主 疝崩中，腹上下痛及腸，陰暴敗痛。 照海 主四肢淫濼，身悶陰暴起疝。 太溪 主胞中有大疝瘕積聚，與陰相引痛。 商丘 主陰股內痛氣癰，狐疝走上下引小腹痛，不可以俯仰。 肩 井，傍肩解與臂相接處 主偏 。 巨闕 主狐疝。 四滿主臍下疝積。（《甲乙》云：主胞中有血。） 臍中 石門 天樞 氣海 主小腹疝氣，游行五臟，繞臍痛，沖胸不得息。（《甲乙》云：臍疝繞臍痛。沖胸不得息，灸臍中、石門、天樞主之。） 大敦主卒暴疝痛，陰跳上入腹，寒疝陰挺出偏大腫，臍腹中悒悒不樂，小便難而痛。灸刺之立已。左取右，右取左。

（《甲乙》云：照海主之。） 沖門 太陰 主疝瘕陰疝。 天樞 主氣疝嘔。 大巨 主疝偏枯。 交信 主氣癰 疝陰急，股樞膊內廉痛。 中封 主 疝癰暴痛，痿厥身體 不仁。

氣沖 主 陰腫痛，陽痿莖中痛，兩丸騫痛不可仰臥。 少府 主陰痛，實時挺長寒熱，陰暴痛遺尿，偏虛則暴癢氣逆，卒疝小便不利。 大赫 然谷 主精溢，陰上縮。 中極 主失精。 陰市 主寒疝下至腹腘，膝腰痛如清水，小腹諸疝，按之下至膝上伏兔中寒，疝痛腹滿痿少氣。 五樞 主陰疝兩丸上下，小腹痛。 太沖 中封 地機 主 疝精不足。（又云：太沖主狐疝嘔厥。） 魚際 主陰濕，腹中餘疾。 陰交 石門 主兩丸騫。（又云：石 門主腹滿疝積。） 太沖 主兩丸騫縮，腹堅不得臥。 陰谷 主陰痿不用，小腹急引陰內廉痛。 會陰主陰頭寒。行間 主莖中痛。

雜病第七

論曰：膏肓俞無所不治，主羸瘦虛損，夢中失精，上氣咳逆，狂惑忘誤，取穴法，令人正坐曲脊，伸兩手以臂著膝前，令正直手大指與膝頭齊，以物支肘，勿令臂得搖動，從胛骨上角摸索至胛骨下頭，其間當有四肋三間，灸中間依胛骨之裡肋間空去胛骨容側指許摩 KT 膂肉之表肋間空處，按之自覺牽引胸戶中，灸兩

胛中各一處至六百壯，多至千壯，當覺氣下韇韇然如流水狀。亦當有所下處，若無停痰宿疾則無所下也。若病患已困，不能正坐，當令側臥，挽上臂令前求取穴灸之。求穴大較以右手從右肩上住，指頭表所不及者是也。左手亦 然，乃以前法灸之。若不能久正坐，當伸兩臂者，亦可伏衣袱上伸兩臂，令人挽兩胛骨，使相離，不爾胛骨覆穴不可得也。所伏衣袱當令大小常定，不爾則失其穴也。此灸訖後令人陽氣壯旺，當消息以自補養，取身體平複，其穴近第五椎相準望取之。（當以四椎下二分為準。）

論曰：夫昔秦緩不救晉侯之疾，以其在膏之下，肓之上，針藥所不能及者，此穴是也。 時人拙不能求得此穴，所以宿 難遣，若能用心方便求得，灸之無疾不愈矣。

三裡：

主腹中寒脹滿，腸鳴腹痛，胸腹中瘀血，小腹脹皮腫，陰氣不足，小腹堅，熱病汗不出。喜嘔口苦，壯熱身反折，口噤鼓頷，腰痛不可以顧，顧而有所見，喜悲上下求之。口僻乳腫，喉痺不能言。胃氣不足久泄痢，食不化，脅下柱滿，不能久立，膝痿寒熱中，消穀，苦飢腹熱，身煩狂言，乳癰，喜噫，惡聞食臭，狂歌妄笑，恐怒大罵，霍亂遺尿，失氣陽厥，淒淒惡寒頭眩，小便不利，喜噦凡此等疾，皆灸刺之，多至五百壯，少至二三百壯。

涌泉：

主喜喘喉痺，身熱痛，脊脅相引，忽忽喜忘，陰痺腹脹，腰痛大便難，肩背頸項痛，時 眩，男子如蠱，女子如阻，身體腰脊如解，不欲食，喘逆，足下清至膝，咽中痛不可納食，喑不能言，小便不利，小腹痛風入腸中癲疾，挾脊痛急，胸脅柱滿，痛衄不止，五疝，指端 盡痛，足不踐地，凡此諸疾皆主之。

婦人病第八

小腹堅痛，月水不通，刺帶脈入六分，灸五壯，在季肋端（一作下一寸八分。） 漏下，若血閉不通逆氣脹，刺血海，入五分，灸五壯，在膝臏上內廉白肉際二寸半。 漏血，小腹脹滿如阻，體寒熱，腹遍腫，刺陰谷，入四分，灸三壯。在膝內輔骨後大筋之下小筋之上，屈膝乃得之。（《甲乙》云：漏血，小便黃陰谷主之。）女子疝瘕，按之如以湯沃兩股中，小腹腫陰挺出痛，經水來下，陰中腫或癢，漉青汁如葵羹，血閉無子，不嗜食，刺曲泉，在膝 內輔骨下大筋上小筋下陷中，屈膝乃得之。刺入六分，灸三壯。 疝瘕按之如以湯沃股內至膝，飧泄，陰中痛，少腹痛堅，急重下濕，不嗜食，刺陰陵泉，入二分，灸三壯，在膝下內側輔骨下陷中，伸足乃得之。 經逆，四肢淫濼，陰暴跳疝，小腹偏痛，刺陰蹺，入三分，灸三壯，在內踝下容爪甲。（即照海穴也。） 小腹大字難，嗌干嗜飲，挾脊疝，刺中封，入四分，灸三壯，在內踝前一寸半，伸足取之。 女子不字，陰暴出，經漏，刺然谷，入三分，灸三壯，在足內踝前起大骨下陷中。 字難若胞衣不出，泄風從頭至足，刺昆侖，入五分，灸三壯，在足外踝後跟骨上。 月事不利見赤白，而有身反敗陰寒、刺行間，入六分，灸三壯，在足大趾間動應手。 月閉溺赤，脊強互引反折，汗不出，刺腰俞，入二寸，留七呼，灸三壯，在第二十一椎節下間， 絕子，瘧，寒熱，陰挺出不禁白瀝，，脊反折，刺上，入二寸，留七呼，灸三壯，在第一空腰髁下一寸挾脊。赤白瀝，心下積脹，腰痛不可俯仰，刺次，入三寸，留七呼，灸三壯，在第二空挾脊陷中。 赤淫時白，氣癰，月事少，刺中，入二寸，留七呼，灸三壯，在第三空挾脊陷中。 下蒼汁不禁，赤瀝，陰中癢痛引小腹，控不可以俯仰，刺腰尻交在兩胛 數發針立已。（一云：下 。）腸鳴泄注，刺下，入二寸，留七呼，灸三壯，在第四空挾脊陷中。 赤白裡急，瘈瘲，刺五樞，入一寸，灸五壯，在帶脈下三寸。 拘攣，腹滿，疝，月事不下，乳餘疾，絕子，陰癢，賁豚，上 腹堅痛，下引陰中不得小便，刺陰交，入八分，灸五壯，在臍下一寸。 腹滿，疝積，乳餘疾，絕子，陰絕子， 血在內不下，胞轉不得尿，小腹滿石水痛，刺關元，入二寸，灸七壯，在臍下三寸。又主引脅下脹，頭痛，身背熱，奔豚寒，小便數，泄不止。 子門不端，小腹苦寒，陰

癢及痛，奔豚搶心，飢不能食，腹脹經閉不通，小便不利，乳餘疾，絕子，內不足，刺中極，入二寸，留十呼，灸三壯，在臍下四寸。 赤白沃，陰中乾痛，惡合陰陽，小腹 堅，小便閉，刺屈骨，入一寸半，灸三壯，在中極下一寸。 月事不通，奔泄氣上下引腰脊痛，刺 氣穴，入一寸，灸五壯，在四滿下一寸。 胞中痛、惡血，月水不以時休止，腹脹腸鳴，氣上沖胸，刺天樞，入五分，灸三壯，去肓俞一寸半。 小腹脹滿，痛引陰中，月水至則腰背 痛，胞中瘕，子門寒大小便不通，刺水道，入二寸半，灸五壯，在大巨下三寸。 月水不利，或暴閉塞，腹脹滿癰，淫濼身熱，乳難子上搶心，若胞不出，眾氣盡亂，腹中絞痛，不得反息，正仰臥屈一膝伸一膝，並氣沖上，針入三寸，氣至瀉之，在歸來下一寸動脈應手。產 餘疾，食飲不下，奔豚上下，傷食腹滿，刺期門入四分，灸五壯，在第二肋端。 乳癰，驚，痺，脛重，足跗不收，跟痛，刺下廉，入三分，灸三壯，在上廉下三寸。 月水不利，見血 而有身則敗，乳腫，刺臨泣，入二分，灸三壯，在足小趾，次趾間，去俠溪一寸半。女人疝及小腹腫，溏泄，癰，遺尿，陰痛，面塵黑，目下 痛，漏血，刺太沖，入三分，灸三壯，在足大趾本節後二寸中動脈。 女子疝赤白淫下，時多時少，暴腹痛，刺蠡溝，入三分，灸三壯，在內踝上五寸。 女子無子，咳而短氣，刺涌泉，入三分，灸三壯，在足心陷者中。 乳難，子上沖心，陰疝，刺沖門，入七分，灸五壯，在府舍下上去大橫五寸。 女子不下月水，痺驚善悲不樂，如墮墜，汗不出，刺照海，入四分，灸二壯，在內踝下四分。又主女子淋，陰挺出，四肢淫濼。 血不通，刺會陰，入二寸，留七呼，灸三壯，在大便前小便後。 子臟中有惡血內逆滿痛，刺石關，入一寸，灸五壯在陰都下一寸。 肓門 主乳餘疾。 三裡 主乳癰有熱。 神封 膺窗 主乳癰寒熱，短氣臥不安。 乳根 主膺腫乳癰淒索寒熱，痛不可按。 太溪 俠溪 主乳癰腫潰。（又云：俠溪主小腹堅痛，月水不通。） 大泉 主妒乳，膺胸痛。 大赫 主女子赤沃。 四滿 主子臟中有惡血內逆滿痛疝。（又云：主胞中有血。） 中極主拘攣腹疝，月水不下，乳餘疾，絕子，陰癢。氣沖 主無子小腹痛。 支溝 主女人脊忽目 赤。 築賓 主大疝絕子。 陰廉 主絕產。 涌泉 陰谷 主男子如蠱，女子如阻，身體腰脊如解，不欲食。 大泉 照海 主不字，陰暴出，淋漏，月水不來，多悶而心下痛。

（又云：照海主陰挺下血，陰中腫或癢，漉青汁若葵汁。）

小兒病第九

本神 前頂 囟會 天柱 主小兒驚癎。 臨泣，主小兒驚癎反視。 顱息 主癎喘不得息。 然谷 主小兒臍風，口不得開，善驚。 □脈 長強 主小兒驚癎瘈瘲，多吐泄注，驚恐失精，瞻視不明眵 。懸鐘 主小兒腹滿，不能食飲。 主小兒食晦頭痛。